

## 審査意見への対応を記載した書類（3月）

### （目次） ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

1. 養成する人材像として、「ICTに関する知識・実務能力」と「ビジネスに関する知識・実務能力」を有する人材を掲げているが、「ICT」と「ビジネス」の能力をどの水準まで養成するのか不明確である。3つのポリシーや教育課程等との整合性に留意しつつ、明確に説明すること。（是正事項） ..... 1
2. ディプロマ・ポリシーが抽象的であり、例えば、「実践力」の内容が明らかなでないなど、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針を定めるものとして不適切であるため、適切に改めること。（是正事項） ..... 23
3. カリキュラム・ポリシーが抽象的であり、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定めるものとして不適切であるため、適切に改めること。（是正事項） ..... 27
4. 以下のように、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、教育課程等との対応関係が不明確であるため、是正すること。（是正事項） ..... 34
  - (1) ディプロマ・ポリシーとして掲げている「ICTを活用しビジネスを創造する力がある」や「社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる」等の内容が、カリキュラム・ポリシーと対応しているか不明確であり、教育課程の中でどのように育成するのかも不明確であるため、カリキュラム・マップ等を示した上で、明確に説明すること。（是正事項） ..... 34
  - (2) 養成する人材として、『ICT×○○』を担う人材が必要不可欠と説明しているが、3つのポリシーや教育課程等と整合しているか不明である。『ICT×○○』を担う人材」を養成できる設置計画であるか明確に説明するか適切に改めること。（是正事項） ..... 36
5. アドミッション・ポリシーにおいて学力などの能力について定めておらず、大学教育の水準としてふさわしい内容とは認められないため、適切に改めること。また、英語能力を重視した教育課程であるが、英語能力を評価する入学者選抜方法が一部にとどまるなど、アドミッション・ポリシーで掲げている内容を評価することができる入学者選抜方法であるか疑義があるため、明確に説明するか適切に改めること。（是正事項） ..... 38

6. 大学名、学部学科名、学位名について、以下の点を是正すること。(是正事項) ..... 51
- (1) 大学名について、教育研究上の目的にふさわしいものであると認められず、また、社会的通用性を有していると認められないため、適切に改めること。(是正事項) ..... 51
- (2) 大学の英語名称については、専門職大学であることがわかるように professional 又は vocational の語(若しくはこれらに類する語)を用いて、適切に改めること。(是正事項) ..... 59
- (3) 「ICTを『手段』とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材」の育成を目指すと説明しているが、学部学科及び学位の名称には、ビジネスの要素が含まれていないため、当該学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものであるか疑義がある。学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものとなるよう、適切に改めること。また、英語名称についても、イノベーションと情報通信技術との目的・手段の関係が適切に整理されていないため、留意すること。(是正事項) ..... 60
7. 学生納付金について、類似する大学の学費平均値より高いことは、一人一人に徹底した教育支援をすべて学費に含んでいるためと説明しているが、一般的な大学でも行われている教育支援であるように見受けられる。学費が学生の教育研究の支援にどう活用されているか、改めて説明すること。(改善事項) ..... 67
8. 「アカウンティング」、「ICTリテラシー」、「キャリアデザインⅠ」等の授業科目について、学修内容と配当単位数が整合していない科目が散見されるため、配当年次や単位数にふさわしい科目内容となるよう、適切に改めること。(是正事項) ..... 70
9. 基礎科目に情報科学基礎科目を配置しているが、専攻に係る職業分野の専門教育にあたる内容は基礎科目に配置することが適切であるとは考えられないため、基礎科目の趣旨を踏まえて修正すること。(是正事項) ..... 92
10. 展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応しているのか不明確であるため、当該人材に係る社会的ニーズを示して、展開科目の各領域及び各授業科目の配置の考え方及び必要性を明確にするか修正すること。その際には、他の審査意見に対応して修正されるディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性についても留意すること。(是正事項) ..... 105

11. 養成する人材像等に鑑みると、数学の基礎的な知識を担保する必要があるが、入学者選抜や導入教育において全ての学生に数学を必修で求めておらず、教育課程においても数学の基礎的な知識を教える科目が配置されていない。このため、段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程となっておらず、職業専門科目の数学を十分履修できるのかも疑義がある。数学の基礎的な知識をどのように担保するのか明らかにするとともに、段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程となるよう、適切に改めること。(是正事項) 110
12. 臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」を達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の点を是正すること。(是正事項) ..... 123
  - (1) 臨地実務実習施設について、施設の選定理由が不明確であり、臨地実務実習の目的を達成できる施設か疑義がある。また、実習先に従業員数の非常に少ない企業が含まれているが、実習指導者が業務を行いながら学生への指導を支障なく実施することが可能であるか不明確である。(是正事項) ..... 123
  - (2) 「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」について、いくつかの実務を通じて業務を遂行すると説明しているが、具体的な到達目標や学生が実習期間中に行う活動内容が不明確であるため、臨地実習の目的等に照らして適切な学修を行うことができるか実現可能性に疑義がある。(是正事項) ..... 151
  - (3) 評価基準について、より客観的に評価できるように、ルーブリックによる評価等を行うことが適切であるため、改めること。(是正事項) ..... 160
13. 選択科目が少ないため、養成する人材像ごとに作成している2つの履修モデルの差異が不明確である。養成する人材像に照らして教育課程が適切であるか明確にしつつ、2つの履修モデルの差異が明確になるよう適切に改めること。(是正事項) ..... 163
14. 教育課程連携協議会の構成員として、「臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において当該専門職大学と協力する事業者」として1名配置しているが、産業界との連携に関する審議を行うという趣旨に照らすと、さらに充実することが望まれるため、対応方針を説明すること。(改善事項) ..... 180
15. 専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。(是正事項) ..... 185
16. 大学の学生に対して指導経験を有する理論系の専任教員を充実することが望まれるため、対応方針を説明すること。(改善事項) ..... 192

17. 1室を2名で共同利用する個別研究室と共同授業・共同研究の推進や連携企業とのプロジェクトを行う研究フリースペースで教育研究を行うと説明しているが、大学における教員の研究スペース及び外部の者との打ち合わせのスペースとして十分であるか不明確であるため、個別研究室及び研究フリースペースのレイアウト図等を示して改めて説明するか、適切に改めること。また、学生に対して、個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか不明確であるため、個人情報の保護を行いながら個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか改めて説明するか、適切に改めること。(是正事項) ..... 199
18. 留学生を多数受け入れる計画であるが、日本語での教育を問題なく実施できるか懸念されるため、日本語能力等の資格要件を求めるのかを明確にした上で、日本語での教育研究を問題なく実施できるか改めて説明すること。(是正事項) ..... 203
19. 図書について、毎年3,300冊ずつ整備し、完成年度までに10,000冊を整備すると説明しているが、どのような種類の図書を整備するのか不明確であるため、各年次において、教育研究上必要な資料が整備されるのか判断できない。整備する図書の一覧を年度ごとに示し、教育研究上必要な資料が整備されるのか説明すること。また、必要に応じてなるべく早い時期に多くの図書を整備すること。(是正事項) ..... 210
20. 全学生がノートPCを購入すると説明しているが、ネットワークの整備、サポート体制、ソフトウェアの導入サポート等が整備されているか不明確であるため、改めて説明すること。(是正事項) ..... 213
21. 学則で定められている教授会の構成員について、学部長が正規の構成員として位置付けられていないため、教授会の運営を教育研究に支障なく行うことができるように、学則を改めること。(改善事項) ..... 217

【審査意見対応以外の修正事項】

法人分科会より、学生確保の見通しのアンケート調査において高校生に示している類似の大学・学部と、申請書類において説明している学びの内容が類似している近隣大学・学部が合致していないことについて理由を説明するようご指摘を頂いたため、設置認可申請書の「学生の確保の見通し等を記載した書類」における該当箇所を示すとともに追記・修正を行う。 ..... 218



(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

1. 養成する人材像として、「ICT に関する知識・実務能力」と「ビジネスに関する知識・実務能力」を有する人材を掲げているが、「ICT」と「ビジネス」の能力をどの水準まで養成するのか不明確である。  
3つのポリシーや教育課程等との整合性に留意しつつ、明確に説明すること。

(対応)

養成する人材像として、「ICT に関する知識・実務能力」と「ビジネスに関する知識・実務能力」を身に付け、グローバル社会でイノベーションを起こす人材を掲げていたが、能力水準の不明確さについてご指摘を受けたことから、本学の設置の経緯と社会的な人材ニーズを再度整理した。その上で、学部の目的、養成する人材像、3つのポリシー及び教育課程等の整合性に留意しつつ、全般的に見直すこととした。

その結果、学部の目的及び養成する人材像が明確となるように改めるとともに、養成する人材像に求める能力水準について、ディプロマ・ポリシーにおいて明確化を図るよう修正する。

また、これらに伴い3つのポリシーと教育課程を再検討し、設置の趣旨等を記載した書類の「1. 設置の趣旨及び必要性 (5)養成する人材像」を中心に修正する。

さらに、大学名・学部学科名・養成する人材像や3つのポリシー等に関し、将来的な通用性を踏まえた結果、「ICT」を「情報通信技術」に、「ビジネス」を「経営」に、「グローバル社会」を「国際社会」に変更して使用することを原則として、申請内容全体の表記を改めた。

#### <設置の経緯と社会的な人材ニーズ>

学校法人電子学園は、創設以来、「電子技術を核とした創造性豊かな技術者の育成を通して世界に貢献する」という建学の精神のもと、一貫して社会や時代のニーズを捉えた先進的な職業教育を行ってきた。

一方、近年の第4次産業革命や Society5.0 等の進展によって技術革新が進み産業構造が大きく変化してきている。人材ニーズに関しては、デジタル技術を活用し、新たなビジネスを生み出す人材である専門技術職人材が今後平成 42(2030)年には 170 万人が不足すると言われている<sup>1</sup>。また、平成 42(2030)年には IT 人材が約 60 万人不足すると言われている<sup>2</sup>。さらに、今後、「戦略的リーダーシップ」「デジタルに関する実務能力・知識」「ビジネスに関する実務能力・知識」を兼ね備えた『e リーダーシップ』を兼ね備えた人材が必要であること、ビジネスを創造し新しい仕事の価値を次々と生み出していく「価値創造型」人材が必要であることが言われている<sup>3</sup>。個別の情報通信技術関連企業の人材ニーズ調査<sup>4</sup>では、「今後必要な人材は、サービス開発の企画力があり、ICT の知識・スキルによって自らプロトタイプも制作し、かつ実装に向けてグローバルでプログラマやエンジニアをマネジメントできる人材」であるとの声を多く聞いた。

また、グローバル化する情報技術分野の人材に関しては、産業別の外国人労働者のうち、IT 人材に該当する「情報通信業に就労している外国人の推移」では平成 27(2015)年 10 月末現在、36,522 人存在し、近年増加傾向にある。ソフトウェア開発業務を行っている日本企業の 36.8%が既にオフショア開発(システム

<sup>1</sup> 三菱総合研究所「大ミスマッチ時代を乗り越える人材戦略」平成 30(2018)年 7 月

<sup>2</sup> 経産省「IT 人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」平成 28(2016)年 6 月

<sup>3</sup> 独立行政法人情報処理推進機構「IT 人材白書 2016」平成 28(2016)年

<sup>4</sup> 情報通信技術企業 6 社に対する「人材ニーズアンケート結果」(設立の趣旨書 P12～参照)

開発などの業務を海外企業、または海外の現地法人などに委託すること)を実施しており、今後行う予定の企業を含めると 40.6%となる。

以上のことから、情報通信技術を活用する様々な企業等では、グローバル化が促進されており、今後多様な国の人との協働力が求められると想定できる。

このような時代背景を踏まえ、「深く専門の学芸を教授研究し、専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開させること」を目的に制度化されたのが専門職大学である認識している。

こうした状況と本学園が調査・分析した「今後必要とされる人材像」を勘案し、様々な変化に対応し得る実践力と創造力を兼ね備え、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を、専門職大学という枠組みの目的に沿って継続的に育成・輩出していくことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献することを本学園の使命のひとつと位置付け、設置認可の申請に至った。

#### <学部目的>

上記、設置の経緯と社会的な人材ニーズを再度見直し、養成する人材像とともに学部の目的を以下のように改める。

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。

#### <養成する人材像>

上記、学部の目的を踏まえ、養成する人材像を以下のように改める。

- ・ 変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材

なお、本学では上記人材をイノベーション人材と呼ぶ。

#### <求める能力水準>

養成する人材像を踏まえ、ディプロマ・ポリシーを具体化し、養成する人材像の能力水準を明確にする。

#### ① 職業的自立を図る能力

- ・ 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。

- ・ グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
- ・ 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

## ② 経営に関する知識・スキル

- ・ 企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- ・ 市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- ・ 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- ・ 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

## ③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- ・ システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- ・ コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- ・ 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・ データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・ 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

## ④ 国際的コミュニケーション能力

- ・ 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・ 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

## ⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

### <養成する人材像と3ポリシーの整合性>

3つのポリシーと養成する人材像との整合性を以下のように再確認し、養成する人材像に求める能力水準については、上記にあるとおりディプロマ・ポリシーにおいて明確化を図り、3つのポリシーを別紙1のように改める。

① ディプロマ・ポリシーとの整合性

養成する人材像を踏まえ、学生が卒業時に身に付けるべき能力について、当初記載したディプロマ・ポリシーでは具体的な記述が少なかったと考えた。そのため、情報通信技術や経営の能力水準について具体的な水準を明確にし、ディプロマ・ポリシーとしての記述を追加する。

② カリキュラム・ポリシーとの整合性

ディプロマ・ポリシーを踏まえ、教育課程編成、教育方法・教育評価等について記載することが重要であるが、当初の記載内容には具体的な記述が少なく抽象的な表現に留まっていた。そのため、各ポリシーと整合し、具体化されたカリキュラム・ポリシーとしての記述を追記する。

③ アドミッション・ポリシーとの整合性

養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者の受入方針について記載することが重要であるが、当初の記載内容には具体的な能力水準の記述が少なく、抽象的で意欲ある入学希望者としてしか記述がなかった。そのため、各ポリシーと整合し、具体化されたアドミッション・ポリシーとしての記述を追記する。

(新旧対照表) 基本計画書

| 新        |                                                                                                                     | 旧        |                                                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [1 ページ]  |                                                                                                                     | [1 ページ]  |                                                                                                       |
| 新設学部等の目的 | 変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。 | 新設学部等の目的 | <u>ICT イノベーション学部は、未来を担う若者と学び直しが必要な社会人を対象に、変化を遂げる時代に対応し、専門職業人として有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材を輩出することを目的とする。</u> |

(新旧対照表) 学則

| 新                                                                                                                                                                    | 旧                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [2 ページ]<br>( <u>情報経営イノベーション学部の目的</u> )<br>第8条 <u>情報経営イノベーション学部は、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国</u> | [2 ページ]<br>( <u>ICT イノベーション学部の目的</u> )<br>第8条 <u>ICT イノベーション学部は、未来を担う若者と学び直しが必要な社会人を対象に、変化を遂げる時代に対応し、専門職業人として有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材を輩出することを目的とする。</u> |

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>国際社会と地域社会の産業発展に貢献することを目的とする。</p> |  |
|-------------------------------------|--|

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (16～19、21～22、26～29、32～37、42～43、47～51、53、64、79、80 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・「ICT」を一律で「情報通信技術」に変更する。<br/>(ただし、情報通信技術企業からのアンケート結果等一部は除く。)</p> <p>・「グローバル社会」を一律で「国際社会」に変更する。</p> <p>[16 ページ]</p> <p>① 設置が必要な背景と理由<br/>(中略)</p> <p>こうした状況の中で、<u>これまでに述べたように、今後の社会で求められているのは、「情報通信技術」に関する知識・実務能力」と「経営に関する知識・実務能力」を兼ね備え、変化に対応し国際社会と地域社会でイノベーションを起こす人材の育成であることが分かる。</u></p> <p>平成 30(2018)年 2 月末に公開された「専門職大学・専門職短期大学の制度化について」文部科学省(資料 6・7)では専門職大学が制度化されるに至った背景を以下としている。</p> <p>[17 ページ]</p> <p>(4)設置の必要性<br/>(中略)</p> <p>① 設置が必要な背景と理由<br/>(中略)</p> <p>このような背景から、新しいタイプの人材育成の強化が急務とされ、今後の成長分野を見据え、新たに育成すべき専門職人材として「理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引で</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>[16 ページ]</p> <p>① 設置が必要な背景と理由<br/>(中略)</p> <p>こうした状況の中で、<u>(2)で述べた「社会環境の変化に伴い本学園が見据えた今後必要とされる人材像」から、今後の社会で求められているのは、「ICTに関する知識・実務能力」と「ビジネスに関する知識・実務能力」を兼ね備え、変化に対応しグローバル社会でイノベーションを起こす人材の育成であることが分かる。</u></p> <p>平成 30(2018)年 2 月末に公開された「専門職大学・専門職短期大学の制度化について」文部科学省(資料 6)では専門職大学が制度化されるに至った背景を以下としている。</p> <p>[16、17 ページ]</p> <p>(4)設置の必要性<br/>(中略)</p> <p>① 設置が必要な背景と理由<br/>(中略)</p> <p>このような背景から、新しいタイプの人材育成の強化が急務とされ、今後の成長分野を見据え、新たに育成すべき専門職人材として「理論にも裏付けられた高度な実践力を強みとして、専門業務を牽引で</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>きる人材、かつ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことができる豊かな創造力を持つ人材」「<u>当該職種の専門技術等を有しつつ、新たなサービス・プランの企画や商品開発等を推進できる人材、さらに、それらを活かした開業や起業ができる人材</u>」と掲げられている。</p> <p>また、例示として情報分野では「プログラマやデザイナーとしての実践力に加えて、他の職業分野と連携し、新たな企画構想を商品化できる人材」が挙げられている。</p> <p>以上を踏まえ、本学園では、上述の専門職大学という枠組みの中で、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を育成・輩出していくことを本学園のもうひとつの使命と位置付けた。</u></p> <p>本学園は、<u>情報通信技術の修得を「目的」とし現場の即戦力となるエンジニアやクリエイターを育成する日本電子専門学校と、『情報通信技術と経営に関する知識・スキルを手段とし、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす人材を育成する』専門職大学を併せ持つことによって、職業教育の複線化を図りながら、広く未来を切り拓く人材を継続的に輩出していく。</u></p> <p>[18 ページ]</p> <p>② 設置大学が専門職大学である必要性<br/>(中略)</p> <p>以上のことから、本学は、「<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わ</u></p> | <p>きる人材、かつ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことができる豊かな創造力を持つ人材」(追加)と掲げている。</p> <p>また、例示として「情報分野」では「プログラマやデザイナーとしての実践力に加えて、他の職業分野と連携し、新たな企画構想を商品化できる人材」が挙げられている。</p> <p>以上を踏まえ、本学園では、上述の専門職大学という枠組みの中で、<u>ICTの実践力を活用し、グローバル社会の中でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成・輩出していくことを本学園のもうひとつの使命と位置付けた。</u></p> <p>本学園は、<u>ICTの修得を「目的」とし現場の即戦力となるエンジニアやクリエイターを育成する日本電子専門学校と、『ICTを「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する』専門職大学を併せ持つことによって、職業教育の複線化を図りながら、広く未来を切り拓く人材を継続的に輩出していく。</u></p> <p>[18 ページ]</p> <p>② 設置大学が専門職大学である必要性<br/>(中略)</p> <p>以上のことから、本学は、「<u>ICTを「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材</u>」の育成を目指す上で、高度な実践力を裏付</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>せた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の育成を目指す上で、高度な実践力を裏付ける理論の学修、豊かな創造力の基盤となる関連他分野の広い知識等の学修を進めるとともに、教育課程連携協議会の設置や実務家教員の配置、長期の企業内実習など密接な産学の連携によって、<u>情報通信技術</u>を活用するビジネス分野の激しい変化を学修内容に反映できる設置基準を有する専門職大学を設置する。</u></p> | <p>ける理論の学修、豊かな創造力の基盤となる関連他分野の広い知識等の学修を進めるとともに、教育課程連携協議会の設置や実務家教員の配置、長期の企業内実習など密接な産学の連携によって、<u>ICT</u>を活用するビジネス分野の激しい変化を学修内容に反映できる設置基準を有する専門職大学を設置する。</p> |
| <p>[18、19 ページ]</p>                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>[18、19 ページ]</p>                                                                                                                                       |
| <p>(5)養成する人材像</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>(5)人材育成像</p>                                                                                                                                          |
| <p><u>本学の養成する人材像を、以下のように定める。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                         | <p><u>本学園が設置する専門職大学の人材育成像を(図</u></p>                                                                                                                     |
| <p><u>■養成する人材像</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p><u>11)で説明する。</u></p>                                                                                                                                  |
| <p><u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u></p>                                                                                                                 |                                                                                                                                                          |
| <p><u>なお、本学では上記人材をイノベーション人材と呼ぶ。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                          |
| <p>「<u>情報通信技術</u>に関する知識・実務能力」を有するプログラマやエンジニアに代表される<u>情報通信技術</u>人材の育成は、本学園が運営する日本電子専門学校で育成していく。</p>                                                                                                                                                                                           | <p>「<u>ICT</u>に関する知識・実務能力」を有するプログラマやエンジニアに代表される <u>ICT</u> 人材の育成は、本学園が運営する日本電子専門学校で育成していく。</p>                                                           |
| <p>しかし、それだけでは、複雑化・高度化する社会の人材ニーズには対応しきれていない。</p>                                                                                                                                                                                                                                              | <p>しかし、それだけでは、複雑化・高度化する社会の人材ニーズには対応しきれていない。</p>                                                                                                          |
| <p><u>「情報通信技術に関する知識・実務能力」に加えて、「経営に関する知識・実務能力」を有し、2 つの力</u></p>                                                                                                                                                                                                                               | <p><u>「ICT に関する知識・実務能力」に加えて、「ビジネスに関する知識・実務能力」を有し、2 つの力</u></p>                                                                                           |

を基盤とし、グローバルで活躍する情報通信技術人材と協働できるビジネス英語力をもち、新たな商品やサービスを創造することができる人材が求められている。

そのため、本学では上記人材を養成する人材像とした。また、情報通信技術のプログラマ、エンジニアに代表される技術者を育成する工学系ではなく、社会科学系のビジネスで活躍できる人材像を想定している。本学園が設置する専門職大学の養成する育成像を(図 11)で説明する。



図 11 ◆本学園が設置する専門職大学の養成する人材像

(削除)

を基盤とし、グローバルで活躍する ICT 人材と協働できるビジネス英語力をもち、新たな商品やサービスを創造することができる人材が求められている。

本学では、「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて、実際に商品やサービスをイノベーションする実践力を高める教育課程を編成し、ICTを「手段」としてグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する。

そのため、ICTのプログラマ、エンジニアに代表される技術者を育成する工学系ではなく、社会科学系のビジネスで活躍できる人材像を想定している。



図 11 ◆本学園が設置する専門職大学の人材育成像

輩出人材は、企業内で ICT を活用し、新たな商品・サービスを企画・開発する人材、また、ICTを活用し新たなビジネスを生み出す起業家である。

<育成する人材と活躍できるフィールド>

①ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職

ICT×観光、ICT×金融、ICT×農業、ICT×医療、ICT×流通、ICT×サービスのように「ICT×〇〇」を担う人材は、今後第4次産業革命が進展する社会



において必要不可欠といえ、様々な業界や団体での活躍が期待される。

## ②ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家

本学では、「ICTに関する知識・実務能力」と「ビジネスに関する知識・実務能力」を身に付け、グローバル社会でイノベーションを起こす人材を育成することから、自ら起業し、ICT知識・スキルを活用して新たなビジネスを生み出し、既存の商品やサービスをイノベーションする人材として活躍が期待される。上記同様ICTを活用する産業は幅広く様々な業界での起業が可能である。

[21 ページ]



[22 ページ]

### ■教育の理念

(中略)

本学の 4 年間で、情報通信技術と経営に関する知識・スキルを活用し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす、即ち革新を創造する能力を身に付ける教育を目指す。

[22 ページ]

### ■情報経営イノベーション学部の目的

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能

[21 ページ]



[22 ページ]

### ■教育の理念

(中略)

本学の 4 年間で、ICT を手段とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす、即ち革新を創造する能力を身に付ける教育を目指す。

[22 ページ]

### ■ICTイノベーション学部の目的

未来を担う若者と学び直しを必要とする社会人を対象に「変化を遂げる時代に対応し、専門職業人とし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、<u>新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する。</u></p> <p><u>情報経営イノベーション学部</u>の3つの方針（学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）は以下のとおりである。<u>（資料 13）</u></p> <p>[26 ページ]</p> <p>(1)<u>情報経営イノベーション学部・情報経営イノベーション学科</u>の教育の特色</p> <p>「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」という教育の理念と、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献するという教育の目的を掲げており、</u>本学の教育理念と学部の目的を実現するために学部・学科に以下の特色ある教育を実現する。</p> <p>[27 ページ]</p> <p>学修モチベーションを高めるために導入教育にて<u>情報通信技術と経営の知識・スキル</u>で社会課題を解決する「志」を高めるプログラムを導入する。</p> <p>[27 ページ]</p> <p>②インターンシップにおいては、現場で即戦力として活躍できる「<u>情報通信技術</u>」「<u>経営</u>」「<u>英語</u>」の知識・スキルを身に付けたうえで長期のインターンシップを3年次に実施する</p> <p>[27、28 ページ]</p> <p>③現場で即戦力として活躍できる職業教育を行うために実務家教員を配置する</p> <p><u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能</u></p> | <p><u>て有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材」を輩出する。</u></p> <p><u>ICT イノベーション学部</u>の3つの方針（学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）は以下のとおりである。<u>（追加）</u></p> <p>[24 ページ]</p> <p>(1)<u>ICT イノベーション学部・ICT イノベーション学科</u>の教育の特色</p> <p>「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」という教育の理念と、<u>未来を担う若者と学び直しが必要な社会人を対象に「変化を遂げる時代に対応し、専門職業人として有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材」を輩出するという教育の目的を掲げており、</u>本学の教育理念と学部の目的を実現するために学部・学科に以下の特色ある教育を実現する。</p> <p>[24 ページ]</p> <p>学修モチベーションを高めるために導入教育にて<u>ICT</u>で社会課題を解決する「志」を高めるプログラムを導入する。</p> <p>[25 ページ]</p> <p>②インターンシップにおいては、現場で即戦力として活躍できる「<u>ICT</u>」「<u>ビジネス</u>」「<u>英語</u>」の知識・スキルを身に付けたうえで長期のインターンシップを3年次に実施する</p> <p>[25 ページ]</p> <p>③現場で即戦力として活躍できる職業教育を行うために実務家教員を配置する</p> <p><u>ICT を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成するために、産</u></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を育成するために、産業界で活躍していた実務家教員を配置することで、より実践的・最先端の実学教育を実現する。</p> <p>[28 ページ]</p> <p>⑥多様な学生が混在し多様な価値観の中でグローバル感を育成するキャンパス</p> <p><u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を育成する教育課程</u></p> <p>[29 ページ]</p> <p>(2)卒業後の進路の想定</p> <p><u>現場で即戦力として活躍できる「情報通信技術」「経営」「英語」の知識やスキルとその応用力を身に付けたうえで、ビジネスを発展・伸長させるための知識や情報通信技術を活用するスキルを習得する。企画能力を発揮し、一般企業において新たなサービス・ビジネスを立案・提案する企画職や、情報通信技術の開発企業において、情報通信技術の応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な知識を養い、新規のサービス・ビジネスの開発リーダーとなる技術職を想定している。また、新たなサービスやビジネスを創出し、起業家として活躍する進路も想定している。</u></p> | <p>業界で活躍していた実務家教員を配置することで、より実践的・最先端の実学教育を実現する。</p> <p>[26 ページ]</p> <p>⑥多様な学生が混在し多様な価値観の中でグローバル感を育成するキャンパス</p> <p><u>ICTを「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する教育課程</u></p> <p>[26 ページ]</p> <p>(2)卒業後の進路の想定</p> <p><u>本学のディプロマ・ポリシーである「先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICTを活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材」として、ICTを活用する様々な機関での活躍が期待できる。</u></p> <p><u>ICT×観光、ICT×金融、ICT×農業、ICT×医療、ICT×流通、ICT×サービスなど ICTを活用したイノベーションを実現することが求められており、各企業内におけるサービス開発・企画部門、企業内起業を推進する人材として活躍が可能である。また、自ら ICTを活用した起業を行うソーシャルビジネスを ICTで進化させるなど、活躍の幅は広い。</u></p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[32、33 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>(中略)</p> <p>「<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u>」を育成する教育課程を編成するため、自ら新サービスを開発、起業を目指す「イノベーションプロジェクト」を主軸とした教育課程を編成する。</p> <p>イノベーションプロジェクトは1年次から4年次までの必修科目とし、イノベーション人材に必要な<u>経営に関する知識・スキルと情報通信技術の知識・スキル</u>を修得しながら、実践の中で活用する演習科目である。イノベーション人材の育成を目指す本学においては、自ら新サービスを開発、起業を目指すことができる人材となるべく、イノベーションプロジェクト内でその手法や考え方を学び、ビジネス実践を繰り返す科目である。</p> <p>(中略)</p> <p>「総合実践演習」は、<u>経営や情報通信技術</u>の先端分野のさらなる学修や研究</p> | <p><u>&lt;想定される進路&gt;</u></p> <p><u>①ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職</u></p> <p><u>②ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家</u></p> <p>[29、30 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>(中略)</p> <p>「<u>先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICTを活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材</u>」を育成する教育課程を編成するため、自ら新サービスを開発、起業を目指す「イノベーションプロジェクト」を主軸とした教育課程を編成する。</p> <p>イノベーションプロジェクトは1年次から4年次までの必修科目とし、イノベーション人材に必要な<u>ビジネスの知識・スキルとICTの知識・スキル</u>を修得しながら、実践の中で活用する演習科目である。イノベーション人材の育成を目指す本学においては、自ら新サービスを開発、起業を目指すことができる人材となるべく、イノベーションプロジェクト内でその手法や考え方を学び、ビジネス実践を繰り返す科目である。</p> <p>(中略)</p> <p>「総合実践演習」は、<u>ICT</u>の先端分野のさらなる学修や研究、</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[34 ページ]</p> <p>(削除)</p>                                                                                                                                                                                                                                            | <p>[31 ページ]</p> <p><u>①ICT を手段としビジネスにイノベーションを実現できる人材育成</u></p> <p><u>イノベーション人材は、社会を変革する高い「志」を持つことを前提に、「自ら変化に対応し学び続ける力」「圧倒的な当事者意識」「課題を発見し解決できる力」「ICT を活用しビジネスを創造する力」「主体的に行動する力」「失敗しても乗り越えようとする力」「多様な人を巻き込み協働する力」を育成することで実現できると考えている。</u></p> <p><u>従って、通常の講義や演習に加え、「志」の基礎となる教育、イノベーションプロジェクトやインターンシップなどの実践的学修を通じてイノベーションの実践力を高める。加えて、学生時代に実際に自身でサービス開発や起業にチャレンジする経験を通じ、失敗や成功を体験することも非常に重要だと考えている。</u></p> <p><u>専任教員には、研究実績のある教員や産業界で活躍する実務家教員がお互いの強みを生かした教育研究指導を行いながら人材育成を行っていく。また、多数の連携企業とも共同教育研究を実践し、教育研究の幅を広げる。</u></p> |
| <p>①導入教育</p> <p>[35 ページ]</p> <p><u>②イノベーションプロジェクトによる実践教育</u></p> <p>本学の教育の理念である「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」が意味することは、変化する社会に対応し、自ら学び、<u>情報通信技術と経営に関する知識・スキルを活用し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす人材を育成することである。</u></p> <p>&lt;イノベーションプロジェクト I ～VI&gt;</p> <p>・イノベーションプロジェクト I では、身近な街の</p> | <p>②導入教育</p> <p>[32 ページ]</p> <p><u>③イノベーションプロジェクトによる実践教育</u></p> <p>本学の目的である「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」が意味することは、変化する社会に対応し、自ら学び、<u>ICT を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成することである。</u></p> <p>&lt;イノベーションプロジェクト I ～VI&gt;</p> <p>・イノベーションプロジェクト I では、身近な街の</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップ(資料 10)のメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、一連の授業内容を通じて自分自身が「事業を興す」ために必要な<u>経営に関する知識と情報通信技術のスキルをさらに高める必要性に気づき、</u>学生の今後の学習の意欲を高めるように促す。</p> <p>[36、37 ページ]</p> <p><u>③基礎科目「現代社会基礎」</u></p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>情報通信技術と経営の知識・スキルを手段としより良い社会に変革するという「志」とそれを実現するための目標、企画を立て、学修意欲と本学での学びを具体的なものとする。</u></p> <p><u>(削除)</u></p> | <p>生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップ(資料 10)のメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、その活動を通じて自分自身が「事業を興す」ために必要な<u>ビジネスの知識と ICT のスキルが不足していることを痛感させ、個々の学生</u>の今後の学習の意欲を高めるように促す。</p> <p>[34 ページ]</p> <p><u>④基礎科目「現代社会基礎」</u></p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>ICT を手段としより良い社会に変革するという「志」を立て高い目標の下に学修意欲を高める。</u></p> <p><u>⑤基礎科目「情報科学基礎」</u></p> <p><u>ICT 知識・スキルの基礎や普遍的な内容を学ぶとともに、変化を続ける技術を常に追いかけて生涯に亘って技術を獲得し続ける力を養う。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「データ構造と処理法」「離散数学Ⅰ」を置くほか、「コンピュータアーキテクチャ」「データサイエンス」科目を設定し職業専門科目の ICT 知識・スキルを修得するための前提を学ぶ。また、「オペレーティングシステム」「離散数学Ⅱ」「モバイルコンピューティングⅠ」「モバイルコンピューティングⅡ」「オペレーションズリサーチ」などを配置し、職業専門科目との接続を図る。変化を続ける技術の中でも、変わることのない普遍</u></p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[37 ページ]</p> <p><u>④職業専門科目「ビジネス基礎」</u></p> <p>経営に関する知識・スキルを応用し、実践するために必要な基礎知識を学修する。経営学の基礎を学ぶ「マネジメント(経営学基礎)」や「マーケティング基礎」を始め、経営に必要不可欠な「アカウンティング入門」「法務リテラシーⅠ」「ファイナンス」を必修科目として配置し、<u>経営</u>における基礎理論を修得する。</p> <p>[37 ページ]</p> <p><u>⑥職業専門科目「ビジネス実践」</u></p> <p>経営に関する基礎理論、応用知識を修得し、実践しながら創造的な役割を担うための知識・スキルを修得する科目を配置している。</p> <p>[41 ページ]</p> <p>(3)社会貢献、地域と一体化した教育</p> <p>①社会人の学び直し支援</p> <p>第4次産業革命や Society5.0 の到来によって、産業構造、就業形態、働き方、職種構造が大幅に変革する可能性が高いことから「学び直し」のニーズが高まることが予想される。</p> <p>本学は、<u>情報通信技術、経営</u>、英語に関する講座をプログラム単位</p> <p>[42 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>28 名</u>の専任教員を配置している。</p> | <p><u>的な知識・スキルを学ぶことで、どのような技術革新があっても対応できる能力を身に付ける。</u></p> <p>[35 ページ]</p> <p><u>⑥職業専門科目「ビジネス基礎」</u></p> <p><u>ビジネスの知識・スキル</u>を応用し、実践するために必要な基礎知識を学修する。経営学の基礎を学ぶ「マネジメント(経営学基礎)」や「マーケティング基礎」を始め、経営に必要不可欠な「アカウンティング」「法務リテラシーⅠ」「ファイナンス」を必修科目として配置し、<u>ビジネス</u>における基礎理論を修得する。</p> <p>[35 ページ]</p> <p><u>⑧職業専門科目「ビジネス実践」</u></p> <p><u>ビジネスの基礎理論</u>、応用知識を修得し、実践しながら創造的な役割を担うための知識・スキルを修得する科目を配置している。</p> <p>[38 ページ]</p> <p>(3)社会貢献、地域と一体化した教育</p> <p>①社会人の学び直し支援</p> <p>第4次産業革命や Society5.0 の到来によって、産業構造、就業形態、働き方、職種構造が大幅に変革する可能性が高いことから「学び直し」のニーズが高まることが予想される。</p> <p>本学は、<u>ICT、ビジネス</u>、英語に関する講座をプログラム単位</p> <p>[39 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>ICTイノベーション学部ICTイノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>27 名</u>の専任教員を配置している。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本学では、<u>情報通信技術と経営に関する知識・スキルを活用し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす人材</u>を育成すること</p> <p>[42 ページ]</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p><u>情報通信技術分野</u>に関しては、<u>情報通信技術</u>の最先端の研究者、<u>情報通信技術の実務経験者</u>、様々な<u>情報通信技術科目</u>の教授に優れている実業家を中心に構成した。<u>経営分野</u>は、起業経験者、大企業の役員クラス、グローバルコンサルタント、<u>経営系大学院</u>の教員を中心に構成し、新たなサービス開発や起業教育を実現できる体制とした。</p> <p>[43 ページ]</p> <p>(3)専任教員の研究活動</p> <p>本学では、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u></p> <p>[47～51 ページ]</p> <p>(6)履修モデル</p> <p><u>本学の養成する人材像は、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」としている。</u></p> <p><u>この人材養成を達成するために、全学生が共通し</u></p> | <p>本学では、<u>ICTを「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材</u>を育成すること</p> <p>[39 ページ]</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p><u>ICT分野</u>に関しては、<u>ICT</u>の最先端の研究者、<u>ICT</u>の実務経験者、様々な <u>ICT 科目</u>の教授に優れている実業家を中心に構成した。<u>ビジネス分野</u>は、起業経験者、大企業の役員クラス、グローバルコンサルタント、<u>ビジネス系大学院</u>の教員を中心に構成し、新たなサービス開発や起業教育を実現できる体制とした。</p> <p>[40 ページ]</p> <p>(3)専任教員の研究活動</p> <p>本学では、<u>ICTを「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材</u>を育成するための教育を行うが、それを実行性のあるものとするために、専任教員は、継続的に産業界の現場と接点を持ち、変化を体感するとともに、産業界と連携したイノベーションの実践研究を推進する。</p> <p>[44 ページ]</p> <p>(6)履修モデル</p> <p><u>本学の養成する人材像ディプロマ・ポリシーは、『先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICTを活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材』としている。想定される学びが、職業専門科目のうち経営科目群に重点を置く学生と、情報通信技術分野の重点を置く学生の2パターンに分かれると想定していることから、以下の2つの人材輩出先が想定される。それぞれの人材輩出先を想定し</u></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>て履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目（現代社会基礎）7 科目、職業専門科目 24 科目（うちビジネス基礎 4 科目、ビジネス実践 11 科目、システムデザイン基礎 9 科目）、展開科目（グローバルコミュニケーション）4 科目、総合科目 2 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を生涯にわたり獲得する素地を養うことを企図している。</u></p> <p><u>さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の 3 パターンを展開する。</u></p> <p>[53 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>本学は、「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献することを学部目的としている。</u></p> <p>[64 ページ]</p> <p>10.実習の具体的計画</p> <p>本学の養成する人材は、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮</u></p> | <p><u>た履修モデルは以下のとおりである。</u></p> <p>[48 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>本学は、「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、<u>未来を担う若者と学び直しを必要とする社会人を対象に「変化を遂げる時代に対応し、専門職業人として有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材」を輩出することを学部目的としている。</u></p> <p>[57 ページ]</p> <p>10.実習の具体的計画</p> <p>本学は、『<u>先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT を活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材に学位を授与する。</u>』ことをディプロマ・ポリシーとして教育課程(カリキュラム)を通</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材である。</p> <p><u>インターンシップでは、実践活動の場での課題発見、解決を通して、システム開発やビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及びスキルの統合を図り、イノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させることを目的とする。各 320 時間(12 単位)ずつ 640 時間(24 単位)設定しており連携企業等に協力を仰ぎ実施する計画である。</u></p> <p>[64、65 ページ]</p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>(中略)</p> <p>③実習指導者について</p> <p>イノベーション人材には、<u>情報通信技術、経営の基礎知識・スキル</u>、そして経験を通した広い視野が必要であり、多様性を重視する昨今では英語等の語学も必要となる。</p> <p>[79 ページ]</p> <p>15.社会的・職業的自立に関する指導及び体制等</p> <p>(1)基本の方針</p> <p>本学は、「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」という教育理念のもと、『<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わ</u></p> | <p>して、具体的には ICT を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材の育成を掲げており、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。</p> <p>①<u>社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる</u></p> <p>②<u>課題を発見し、ビジネスに関する知識と ICT を活用し解決する力がある</u></p> <p>③<u>ICT を活用しビジネスを創造する力がある</u></p> <p>④<u>産業界で長期のインターンシップや起業経験を通じて身に付けた実践力がある</u></p> <p>⑤<u>世界のひとと協働し、グローバル社会で活躍できる力がある</u></p> <p><u>このうち、特に④の能力を高めるために、3 年次に職業専門科目「ビジネス実践」臨地実務実習として「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を各 320 時間(12 単位)ずつ計 24 単位設定しており連携企業等に協力を仰ぎ実施する計画である。</u></p> <p>[58 ページ]</p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>(中略)</p> <p>③実習指導者について</p> <p>イノベーション人材には、<u>ICT、ビジネスの基礎知識・スキル</u>、そして経験を通した広い視野が必要であり、多様性を重視する昨今では英語等の語学も必要となる。</p> <p>[70 ページ]</p> <p>15.社会的・職業的自立に関する指導及び体制等</p> <p>(1)基本の方針</p> <p>本学は、「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」という教育理念のもと、『<u>先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT を活用し新たな価値を</u></p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>せた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を發揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材』という<u>養成人材像</u>を掲げている。</p> <p>[80 ページ]</p> <p>② 学生の起業チャレンジ制度</p> <p>本学の育成する人材の一例として、<u>「自ら起業して、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材」</u>を掲げている。卒業を待たずに起業にチャレンジしたい学生に対して本学では、正課外として在学中に起業にチャレンジする制度を設けている。</p> | <p><u>グローバル社会で生み出し続ける人材に学位を授与する。』というディプロマ・ポリシー</u>を掲げている。</p> <p>[71 ページ]</p> <p>②在学生の起業チャレンジ制度</p> <p>本学の育成する人材と活躍できるフィールド(P19 参照)として、<u>「ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家」</u>を掲げている。卒業を待たずに起業にチャレンジしたい学生に対して本学では、正課外として在学中に起業にチャレンジする制度を設けている。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (1、16～18 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・「ICT」を一律で「情報通信技術」に変更する。<br/>(ただし、情報通信技術企業からのアンケート結果及び本学設置に関するアンケート調査結果等、資料における引用文は除く。)</p> <p>・「グローバル社会」を一律で「国際社会」に変更する。</p> <p>[1 ページ]</p> <p>I. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</p> <p>1. 学生確保の見通し</p> <p>(1)定員充足の見込み</p> <p><u>情報経営イノベーション専門職大学</u>(以下「本学」という。)は、<u>情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科</u>の入学定員の設定に当たり、本学の「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」という教育の理念のもと、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国</u></p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>[1 ページ]</p> <p>I. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況</p> <p>1. 学生確保の見通し</p> <p>(1)定員充足の見込み</p> <p><u>i 専門職大学</u>(以下「本学」という。)は、<u>ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科</u>の入学定員の設定に当たり、本学の「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」という教育の理念のもと、<u>ICT を手段としグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材の育成を実現していくため</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材の育成を実現していくために、一人一人を手厚く支援していくことを念頭に置いて教育研究上の観点から適正規模を検討した。</u></p> <p>[16 ページ]</p> <p>また、専門的な技術の習得、就職に繋がる教育としては、どの業界でも必要不可欠となっている<u>情報通信技術と、経営に関する知識・スキルを、実務家教員や長期のインターンシップから直接学ぶことができ、それらに関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u>を育成するという本学の学びの特徴から、留学生の確保を見込むことができる。</p> <p>[18 ページ]</p> <p><u>次に、興味のある学問系統別でみた結果についてである。本学は「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」を育成するために、経営と情報通信技術に関する知識・スキルを身に付けさせることに重点を置いている。よって、本学の構想段階より、情報学・工学・経済学・経営学系の大学を競合校とし</u></p> | <p>に、一人一人を手厚く支援していくことを念頭に置いて教育研究上の観点から適正規模を検討した。</p> <p>[16 ページ]</p> <p>また、専門的な技術の習得、就職に繋がる教育としては、どの業界でも必要不可欠となっている <u>ICT の知識・スキルを、実務家教員や長期のインターンシップから直接学ぶことができ、ICT を手段とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する</u>という本学の学びの特徴から、留学生の確保を見込むことができる。</p> <p>[18 ページ]</p> <p><u>興味のある学問系統別でみると、本学の学びで欠かせない経済・経営・商学を選択した人の中での入学意向者は、323 人中 88.9%にあたる 287 人であった。また、情報学を選択した人の中での入学意向者は、342 人中 90.9%にあたる 311 人であり、さらに工学(情報学を除く)を選択した人の中での入学意向者は、251 人中 91.2%にあたる 229 人であった。本学は ICT を「手段」としてグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成するために、まずは ICT の知識・スキルを身に付けさせることに重点を置いている。そのため、受験・入学時にはまず ICT に関連する学問に興味を持つ人が多い</u></p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>て挙げていた。しかし、本調査においては、情報通信技術を活用して新たなサービス・ビジネスを生み出すことに着目する人は、情報・工学系に興味を持つ学生に多いと考えたことから、情報・工学系の大学をリーフレットに掲載した。しかし調査の結果、資料 8 のとおり、本学の学びで欠かせない経済・経営・商学を選択した人の中での入学意向者は、323 人中 88.9%にあたる 287 人であった。また、同じく本学の学びで欠かせない情報学を選択した人の中での入学意向者は、342 人中 90.9%にあたる 311 人であり、さらに工学(情報学を除く)を選択した人の中での入学意向者は、251 人中 91.2%にあたる 229 人であった。経済・経営・商学や情報学、工学に興味を持つ人からの入学意向が高いという今回のアンケートの結果より、本学への受験・入学者が一定程度見込まれると推測される。</u></p> <p>[39 ページ]</p> <p>Ⅱ．人材需要の動向等社会の要請</p> <p>1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的</p> <p><u>本学情報経営イノベーション学部の教育の目的は、未来を担う若者と学び直しを必要とする社会人を対象に、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、新たなサービス・ビジネスを生み出す人材を育成し、国際社会と地域社会の産業発展に貢献すること」である。そのような人材を輩出するために、「情報通信技術」と「経営」の能力を融合するとともに、国際社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて、実際に商品やサービスをイノベーションする実践力を高める教育課程を編成する。</u></p> | <p><u>と推測していたことから、情報学や工学に興味を持つ人からの入学意向が高いという今回のアンケートの結果より、本学への受験・入学者が一定程度見込まれると推測される。</u></p> <p>[39 ページ]</p> <p>Ⅱ．人材需要の動向等社会の要請</p> <p>1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的</p> <p><u>本学 ICT イノベーション学部の教育の目的は、未来を担う若者と学び直しを必要とする社会人を対象に、「変化を遂げる時代に対応し、専門職業人として有用な能力を自ら磨き、革新を創造する人材」を輩出することである。具体的には、ICT を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を輩出することを目指している。そのような人材を輩出するために、「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて、実際に商品やサービスをイノベーションする実践力を高める教育課程を編成する。</u></p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[44 ページ]</p> <p>本学では「<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u>」育成を目指し、産業界との連携を重視した学びの展開を構想している。上記の結果から、本学が目指す人材育成や学びの展開は社会的に需要があるということを証明している。</p> <p>[54 ページ]</p> <p>以上のことから、単なる<u>情報通信技術を活用できる人材</u>の輩出ではなく、<u>情報通信技術のスキル</u>を持ちながらも「主体性」「実行力」「課題設定・解決能力」「チームワーク・協調性」「論理的思考力」「社会性」「語学力」「国際性」を持つ人材を育成しようとしている本学の学びは、社会的に求められているものであり、短期的なものではなく、将来、中長期的に需要のあるものであると言える。</p> <p>[61 ページ]</p> <p>以上のことから、まず<u>情報通信技術を活用できる人材</u>の育成が第一に求められていることに加え、より実践的なことを学べる環境が大学に求められているということ、また、これらを含めた本学の学びがこれからの社会で必要であると、多くの企業から認識されているということが分かる。</p> | <p>[44 ページ]</p> <p>本学では <u>ICT</u> を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材育成を目指し、産業界との連携を重視した学びの展開を構想している。上記の結果から、本学が目指す人材育成や学びの展開は社会的に需要があるということを証明している。</p> <p>[54 ページ]</p> <p>以上のことから、単なる <u>ICT</u> 人材の輩出ではなく、<u>ICT</u> スキルを持ちながらも「主体性」「実行力」「課題設定・解決能力」「チームワーク・協調性」「論理的思考力」「社会性」「語学力」「国際性」を持つ人材を育成しようとしている本学の学びは、社会的に求められているものであり、短期的なものではなく、将来、中長期的に需要のあるものであると言える。</p> <p>[61 ページ]</p> <p>以上のことから、まず <u>ICT</u> 人材の育成が第一に求められていることに加え、より実践的なことを学べる環境が大学に求められているということ、また、これらを含めた本学の学びがこれからの社会で必要であると、多くの企業から認識されているということが分かる。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

2. ディプロマ・ポリシーが抽象的であり、例えば、「実践力」の内容が明らかでないなど、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針を定めるものとして不適切であるため、適切に改めること。

(対応)

ディプロマ・ポリシーが抽象的であり、例えば「実践力」の内容が不明確だとして指摘を頂き、内容を具体的となるよう改める。なお、審査意見 1 にもとづき、学部の目的及び養成する人材像を改めるとともに、それに伴い 3 つのポリシーの見直しを行った。ディプロマ・ポリシーの具体化にあたっては、他のポリシーとの整合性に留意し改めた。

具体的には、学部の目的及び養成する人材像を踏まえ、学生が卒業時に身に付けるべき能力について、情報通信技術や経営の能力水準を具体化し、明確にした記述を追加して以下のように改める。

<ディプロマ・ポリシーの具体化>

・養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで 128 単位を修得した者に学位を授与する。

具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。

①職業的自立を図る能力

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

②経営に関する知識・スキル

- ・企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- ・市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

③情報通信技術に関する知識・スキル

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合

開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。

- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

#### ④国際的コミュニケーション能力

- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

#### ⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (22～23 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[22、23 ページ]</p> <p>■ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)</p> <p><u>養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで128単位を修得した者に学位を授与する。</u></p> <p><u>具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。</u></p> <p><u>①職業的自立を図る能力</u></p> <p><u>・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。</u></p> <p><u>・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。</u></p> | <p>[22、23 ページ]</p> <p>■ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)</p> <p><u>先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICTを活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材に学位を授与する。</u></p> <p><u>具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する</u></p> <p><u>①社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる</u></p> <p><u>②課題を発見し、ビジネスに関する知識と ICT を活用し解決する力がある</u></p> <p><u>③ICT を活用しビジネスを創造する力がある</u></p> <p><u>④産業界における長期のインターンシップで身に</u></p> |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| <p>・ <u>変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。</u></p> <p>② <u>経営に関する知識・スキル</u></p> <p>・ <u>企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。</u></p> <p>・ <u>市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。</u></p> <p>・ <u>企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。</u></p> <p>・ <u>新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。</u></p> <p>③ <u>情報通信技術に関する知識・スキル</u></p> <p>・ <u>システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。</u></p> <p>・ <u>コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。</u></p> <p>・ <u>基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。</u></p> <p>・ <u>データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。</u></p> <p>・ <u>情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。</u></p> <p>④ <u>国際的コミュニケーション能力</u></p> <p>・ <u>英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとること</u></p> | <p><u>付けた実践力がある</u></p> <p><u>⑤世界の人と協働し、グローバル社会で活躍できる力がある</u></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                       |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>ができる。</u></p> <p><u>・ 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。</u></p> <p><u>⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力</u></p> <p><u>・ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。</u></p> |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

3. カリキュラム・ポリシーが抽象的であり、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定めるものとして不適切であるため、適切に改めること。

(対応)

カリキュラム・ポリシーが抽象的であるところをご指摘を受け、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、教育課程編成、教育方法・教育評価等について具体的な事項を追記することで、カリキュラム・ポリシーが適切となるよう改める。なお、審査意見 1 にもとづき、学部の目的及び養成する人材像を改めるとともに、それに伴い 3 つのポリシーの見直しを行っており、カリキュラム・ポリシーについても、他のポリシー及び教育課程との整合性に留意し改めた。

#### <カリキュラム・ポリシーの明確化>

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。

#### 1. 教育内容

- ① 基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。
  - ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
  - ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
  - ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。
- ② 職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。
  - ・企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
  - ・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
  - ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
  - ・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3 年次にさまざまな企業現場での臨地実務実

習を約 640 時間設定する。

- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう 4 年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクト I ～VI」を設置する。

- ③ 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

- ④ 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
- ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

- ⑤ 総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を 3 年次後期から 4 年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

## 2. 教育方法

- ・目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを 4 年間かけて作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、担任や学生支援専属の職員(イノベーションマネジャー)と共に「ふりかえり」を行う。
- ・主体的な学びの力を高めるために、グループによる少人数の演習科目やプロジェクト学習を取り入れる。

- ・教育課程の体系を理解したうえで履修し学ぶことができるよう、カリキュラムマップを活用した履修指導を行う。
- ・LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

### 3. 教育評価

- ・試験評価等をシラバスによってあらかじめ明示し基準に従って適切に行う。また主に試験及びレポートを中心に評価を行う。
- ・各成績評価をもとに単位あたりの成績評価の平均値を示す総合成績評価 GPA(Grade Point Average)を算出して履修指導等に活用する。
- ・インターンシップの履修条件として2年次終了時までに必要な科目の単位を修得していること。
- ・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (24～32 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[24、25 ページ]</p> <p>■カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。</p> <p>1. 教育内容</p> <p>①基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。</p> <p>・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標を持ち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。</p> <p>・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。</p> <p>・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。</p> <p>②職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるように以下のような教育内容で構成する。</p> <p>・企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるよ</p> | <p>[23 ページ]</p> <p>■カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)</p> <p>「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて実践力を身に付け、革新を創造する人材を育成する教育課程を編成する。</p> <p>具体的には、以下の教育課程を編成する。</p> <p>①時代の変化に対応できる基礎的な知識と情報科学の基礎を身に付ける</p> <p>②ビジネスの基礎知識・スキルの修得と応用実践を通じてビジネス能力を高める</p> <p>③新たな商品・サービスを開発できる ICT の基礎知識・スキルを身に付ける</p> <p>④グローバルで活躍し、海外の人と協働できる英語力と協働力を身に付ける</p> <p>⑤インターンシップを通じてビジネスの実践力を高める</p> <p>⑥イノベーションプロジェクトを通じて主体性・創造力を身に付ける</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>うマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。</u></p> <p><u>・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。</u></p> <p><u>・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。</u></p> <p><u>・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。</u></p> <p><u>・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。</u></p> <p><u>③職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。</u></p> <p><u>・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。</u></p> <p><u>・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。</u></p> <p><u>・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。</u></p> |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。</p> <p>・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。</p> <p>④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。</p> <p>・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。</p> <p>・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。</p> <p>⑤総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。</p> <p>2. 教育方法</p> <p>・目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを4年間かけて作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、担任や学生支援専属の職員(イノベーションマネジャー)と共に「ふりかえり」を行う。</p> <p>・主体的な学びの力を高めるために、グループによる少人数の演習科目やプロジェクト学習を取り入れる。</p> <p>・教育課程の体系を理解したうえで履修し学ぶことができるよう、カリキュラムマップを活用した履修指導を行う。</p> <p>・LMS (Learning Management System) による</p> |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。</u></p> <p><u>3. 教育評価</u></p> <p><u>・試験評価等をシラバスによってあらかじめ明示し基準に従って適切に行う。また主に試験及びレポートを中心に評価を行う。</u></p> <p><u>・各成績評価をもとに単位あたりの成績評価の平均値を示す総合成績評価 GPA(Grade Point Average)を算出して履修指導等に活用する。</u></p> <p><u>・インターンシップの履修条件として2年次終了時までに必要な科目の単位を修得していること。</u></p> <p><u>・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。</u></p> <p>[32 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>本学のカリキュラム・ポリシーは、<u>卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。</u></p> <p>[47 ページ]</p> <p>① 総合成績評価<br/>(中略)</p> <p><u>・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。</u></p> | <p>[29 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>本学のカリキュラム・ポリシーは、『<u>「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて実践力を身に付け、革新を創造する人材を育成する教育課程を編成する。</u>』としている。</p> <p>[43 ページ]</p> <p>① 総合成績評価<br/>(追加)</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

4. 以下のように、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、教育課程等との対応関係が不明確であるため、是正すること。

(1) ディプロマ・ポリシーとして掲げている「ICT を活用しビジネスを創造する力がある」や「社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる」等の内容が、カリキュラム・ポリシーと対応しているか不明確であり、教育課程の中でどのように育成するのかも不明確であるため、カリキュラム・マップ等を示した上で、明確に説明すること。

(対応)

ディプロマ・ポリシーとして「ICT を活用しビジネスを創造する力がある」や「社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる」等の内容を掲げていたが、審査意見 1～3 においてディプロマ・ポリシー等のご指摘を頂き、不明確さを解消するため、情報通信技術や経営の能力水準について具体的な水準を明確にした記述を追加して改める。また、カリキュラム・ポリシーとの対応、教育課程の中でどのように育成するかをカリキュラム・マップに示すことで明確化して説明する。

<ディプロマ・ポリシーの具体化>

- ・学部の目的及び養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで 128 単位を修得した者に学位を授与する。

具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。

① 職業的自立を図る能力

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

② 経営に関する知識・スキル

- ・企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- ・市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上

長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。

- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

#### ④ 国際的コミュニケーション能力

- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

#### ⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

#### <カリキュラムマップについて>

カリキュラム・ポリシーに基づき科目区分や各科目がどのように構成されているか、また科目区分や各科目がディプロマ・ポリシーに定める具体的な能力をどのように構成しているかを示すため、カリキュラムマップを作成した（別紙 2）。

カリキュラムマップではカリキュラム・ポリシーと科目区分とディプロマ・ポリシーの関連性を図で示すことで、各ポリシーと科目が対応していることを示す。

#### （新旧対照表）

審査意見 1、2、3 に関する対応と同様と考え、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに関しては、別紙 1 の新旧対照表にて修正箇所を表す。

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

(2) 養成する人材として、『ICT×○○』を担う人材」が必要不可欠と説明しているが、3つのポリシーや教育課程等と整合しているか不明である。『ICT×○○』を担う人材」を養成できる設置計画であるか明確に説明するか適切に改めること。

(対応)

養成する人材として、『ICT×○○』を担う人材」が必要不可欠と掲げているが、3つのポリシーや教育課程等と整合しているかが不明確、『ICT×○○』を担う人材」を養成できる設置計画であるかのご指摘を頂き、掲げた内容を全面的に改めて、以下のように養成する人材像を定める。また、3つのポリシーや教育課程等との整合性に留意し、本学において養成できる人材の設置計画であることを説明する。

<養成する人材像の明確化について>

養成する人材像を以下のように改める。

- ・ 変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材

<養成する人材と設置計画について>

上記のような人材を養成するための設置計画であることを明確とするため、まずアドミッション・ポリシーを明確にし、上記人材となるために必要な素養を持った方の入学を受け入れる計画である。次に、教育課程については、「経営の実践的知識・スキル」と「情報通信技術の実践的知識・スキル」そして「国際的コミュニケーション」を融合的に学ぶ教育課程を計画している。その上で、将来的に企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出し社会に貢献する人材であるイノベーション人材を育成する設置計画である。

育成のための特色ある科目としては、1年次から4年次まで4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」があり、将来新しい事業・サービス・解決策の構想・実現を目的に、社会課題の解決をテーマにグループで行うプロジェクト型授業を配置する。各プロジェクト学習に必要な情報通信技術やビジネスの専門的知識を学ぶ授業を自ら選択し、グローバルなビジネス社会において新たな市場を創造し、ビジネスを革新するために、これらの知識の応用を経験する科目を計画している。さらに、実務家教員を約8割配置する事により、産業界等が求める経営・情報通信技術の知識・スキルを身に付け活用できるよう計画を進めている。また、教育課程に関しては、カリキュラムマップを作成し、養成する人材像と教育課程との整合について説明をするように修正する。

なお、他の審査意見の対応を含め、掲げた人材を養成できる設置計画であることが明確となるよう、3つのポリシーを別紙1のように改める。

(新旧対照表)

審査意見 1、2、3、4(1)に関する対応と同様と考え、養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに関しては、別紙 1 の新旧対照表にて修正箇所を表す。

5. アドミッション・ポリシーにおいて学力などの能力について定めておらず、大学教育の水準としてふさわしい内容とは認められないため、適切に改めること。また、英語能力を重視した教育課程であるが、英語能力を評価する入学者選抜方法が一部にとどまるなど、アドミッション・ポリシーで掲げている内容を評価することができる入学者選抜方法であるか疑義があるため、明確に説明するか適切に改めること。

(対応)

アドミッション・ポリシーについて、学力などの能力について定めておらず、大学教育の水準としてふさわしい内容とは認められない。また、英語能力を重視した教育課程であるが、アドミッション・ポリシーで掲げている内容を評価することができる入学者選抜方法であるか疑義がある。とご指摘を頂いたため、アドミッション・ポリシーにおける学力等の能力について具体化と明確化をはかり、大学教育の水準を踏まえた内容となるよう、修正する。また、英語能力を評価する入学者選抜方法だけではなく、修正したアドミッション・ポリシーに対応する入学者選抜方法となるよう新たに策定し直す。

<アドミッション・ポリシーの明確化>

アドミッション・ポリシーを別紙1のように改める。

<修正したアドミッション・ポリシーに対応した入学者選抜方法>

本学は、アドミッション・ポリシーに基づき、大学教育を受けるのに相応しい能力、適性を多面的・総合的に評価し、公正かつ妥当な方法で実施する。受験生自らの選択により、自らの能力を十分に発揮でき、それを評価できるよう複数の選抜方法として、一般入試、推薦入試、アドミッション・オフィス(AO)入試、留学生入試、社会人入試、帰国生入試を実施する。入学者選抜方法においては、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する選抜を行い、大学独自の観点として「興味関心・意欲」の要素を追加する。

募集人員としては、一般入試60名、推薦入試50名、アドミッション・オフィス(AO)入試50名、留学生入試30名、社会人入試10名、帰国生入試若干名とする。

当初予定していた入学者選抜試験については、アドミッション・ポリシー修正に伴い変更をする。変更する入学者選抜方法については別紙3を参照し、アドミッション・ポリシーとの対応についても説明する。

また、別紙3にも記載があるが、ご指摘にある英語能力の評価方法については以下のように行う。

| 入試種別  | 評価方法                                      |
|-------|-------------------------------------------|
| AO入試  | 調査書内の「英語」の成績内容(評定)について評価対象とする。            |
| 推薦入試  | 調査書内の「英語」の成績内容(評定)について評価対象とする。            |
| 一般入試  | 英語科目を必須とし、結果を評価対象とする。                     |
| 留学生入試 | TOEIC®など英語外部検定試験の結果の提出を必須とし、その内容を評価対象とする。 |
| 社会人入試 | TOEIC®など英語外部検定試験の結果の提出を必須とし、その内容を評価対象とする。 |
| 帰国生入試 | TOEIC®など英語外部検定試験の結果の提出を必須とし、その内容を評価対象とする。 |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (26、57～62 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[26 ページ]</p> <p>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</p> <p>①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要なとなる基礎的な能力を身に付けている。</p> <p>②社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。</p> <p>③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。</p> <p>④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。</p> <p>[57 ページ]</p> <p>(1) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</p> | <p>[23 ページ]</p> <p>本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」を併せ持ち、社会により良い変革をもたらしたい「志」のある人を受け入れる。</p> <p>以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</p> <p>①論理的思考力を持っている人</p> <p>②ICTを活用しグローバル社会をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人</p> <p>③変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人</p> <p>④人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人</p> <p>[51 ページ]</p> <p>(1) 入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p>『本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身につけている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な能力を身に付けている。</u></p> <p><u>②社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。</u></p> <p><u>③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。</u></p> <p><u>④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。</u></p> | <p><u>性・多様性・協働性」を併せ持ち社会により良い変革をもたらしたい「志」のある人』を基本方針として、具体的には、以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>①論理的思考力を持っている人</u></p> <p><u>②ICTを活用しグローバル社会や産業界をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人</u></p> <p><u>③変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人</u></p> <p><u>④人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人</u></p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



(2) 選抜方法と募集人員

① 入学者選抜の概要と募集人員

一般入試 60 名、推薦入試 50 名、アドミッション・オフィス (A0) 入試 50 名、留学生入試 30 名、社会人入試 10 名、帰国生入試若干名とする。

② 各選抜方法の詳細

入試種別、入試名称、選抜方法、出願資格は以下(表 4)のとおりである。

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別 | 入試名称    | 選抜方法                                                                                                                      | 出願資格                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般入試 | 3 教科型入試 | <u>・国語</u><br><u>国語総合(古文、漢文を除く)</u><br><u>・外国語</u><br><u>(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ)</u><br><u>・数学</u><br><u>(数学Ⅰ、数学A)</u> | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および2020年3月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定または本学の審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達する者 |
| 推薦入試 | 公募制推薦入試 | ①調査書・推薦書等による書類審査<br>②面接試験                                                                                                 | 公募制度・指定校制度については以下の1、2の要件を満たす者<br>1.(1)～(2)の項のいずれかに該当する者                                                                                                                                                                                                        |

|                |               |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------|---------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | 自己推薦入試        | ①調査書・自己推薦書・活動記録報告書等による書類審査<br>②面接試験 | (1)高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を 2020 年 3 月までに卒業見込みの者<br>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を 2020 年 3 月までに修了見込みの者<br>2.(1)～(2)の項のすべてに該当する者<br>(1) <u>情報経営イノベーション専門職大学情報経営イノベーション学部</u> を専願する者<br>(2)人格・識見に優れ、高等学校長または中等教育学校長に推薦された者                                                              |
|                | 指定校制推薦入試      | ①調査書・推薦書等による書類審査<br>②面接試験           |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| アドミッション・オフィス入試 | 面接型入試         | ①書類審査<br>②面接試験                      | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および 2020 年 3 月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2020 年 3 月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2020 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者で、2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 |
|                | ワーク型入試        | ①書類審査<br>②グループワーク                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|                | <u>小論文型入試</u> | ① <u>書類審査</u><br>② <u>小論文</u>       |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|       |         |                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 留学生入試 | 留学生推薦入試 | ①書類審査<br>②面接試験         | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2.日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者<br>3. <u>日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。</u><br><u>ア)日本語能力試験 (JLPT) の N1 に合格している。</u><br><u>イ)日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が 260 点以上習得している。</u><br>4.本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者 |
|       | 留学生一般入試 | ①書類審査<br>②面接試験<br>③小論文 | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2.日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者<br>3.原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者<br>3. <u>日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。</u><br><u>ア)日本語能力試験 (JLPT) の N2 以上に合格している。</u><br><u>イ)日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が</u>                        |

|       |       |                                          |                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|-------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |       |                                          | <p><u>200 点以上習得している。</u></p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者</p>                                                                                                                                                         |
| 社会人入試 | 社会人入試 | <p>①書類審査</p> <p>②面接試験</p> <p>③小論文</p>    | <p>以下の 1、2 の要件を満たす者</p> <p>1.(1)～(3)の項のいずれかに該当する者</p> <p>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者</p> <p>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者</p> <p>(3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>2.通算して民間企業等にて 5 年以上の職務経験を有する者</p> |
| 帰国生入試 | 帰国生入試 | <p>① 書類審査</p> <p>② 面接試験</p> <p>③ 小論文</p> | <p>わが国の高等学校に相当する正規の教育機関の教育課程を修了した者のうち、日本国籍を有し、かつ国の内外を通じて 12 年の学校教育を修了又は修了見込み、かつ 2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者で、大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を</p>                                                                                                       |

|  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  | <p>有する、次の項のいずれかに該当する者</p> <p>以下の 1、2 の要件を満たす者</p> <p>1.(1)～(5)の項のすべてに該当する者</p> <p>(1)わが国の高等学校に相当する正規の教育機関の教育課程を修了した者</p> <p>(2)日本国籍を有する者</p> <p>(3)日本国の内外を通じて 12 年の学校教育を修了又は修了見込みの者</p> <p>(4)2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者</p> <p>(5)大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する者</p> <p>2.(1)～(3)の項のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含め 2 年以上継続して在学し、2020 年 3 月までに卒業(修了)見込みの者、又は卒業(修了)して 2 年以内の者</p> <p>(2)外国における高等学校に 2 年以上在籍し、帰国後日本の高等学校又は中等教育学校を 2020 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3)当該国における大学入学資格を有する者で、原則として「(1)」又は「(2)」に準ずる者</p> |
|--|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(2) 選抜方法と募集人員

① 入学者選抜の概要と募集人員

一般入試 60 名、推薦入試 50 名、アドミッション・オフィス(AO)入試 50 名、留学生入試 30 名、社会人入試 10 名、帰国生入試若干名とする。

② 各選抜方法の詳細

入試種別、入試名称、選抜方法、出願資格は以下(表 4)のとおりである。

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別 | 入試名称    | 選抜方法                                                                                                                                                                              | 出願資格                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般入試 | 3 教科型入試 | 国語・外国語(英語：必須)・数学・地理歴史・理科から 3 教科<br>・国語：国語総合(古文、漢文を除く)<br>・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ<br>・数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)<br>・地歴：地理、世界史B、日本史B<br>・理科：物理、化学 | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および 2020 年 3 月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2020 年 3 月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定または本学の審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2020 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者で、2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 |
|      | 2 教科型入試 | 国語・外国語(英語：必須)・数学から 2 教科<br>・国語：国語総合、古文(漢文除く)<br>・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ<br>・数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 推薦入試 | 公募制推薦入試 | ①調査書・推薦書等による書類審査<br>②面接試験                                                                                                                                                         | 公募制度・指定校制度については以下の 1、2 の要件を満たす者<br>1.(1)～(2)の項のいずれかに該当する者                                                                                                                                                                                                                                   |

|                |          |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------|----------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                | 自己推薦入試   | ①調査書・自己推薦書・活動記録報告書等による書類審査<br>②面接試験 | (1)高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を2020年3月までに卒業見込みの者<br>(2)通常の課程による12年の学校教育を2020年3月までに修了見込みの者<br>2.(1)～(2)の項のすべてに該当する者<br>(1) <u>i 専門職大学 ICT イノベーション学部</u> を専願する者<br>(2)人格・識見に優れ、高等学校長または中等教育学校長に推薦された者                                                   |
|                | 指定校制推薦入試 | ①調査書・推薦書等による書類審査<br>②面接試験           |                                                                                                                                                                                                                                                        |
| アドミッション・オフィス入試 | 面接型入試    | ①書類 <u>選考</u><br>②面接試験<br>③小論文      | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および2020年3月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達する者 |
|                | ワーク型入試   | ①書類 <u>選考</u><br>②グループワーク<br>③小論文   |                                                                                                                                                                                                                                                        |

|       |         |                      |                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|---------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 留学生入試 | 留学生推薦入試 | ①書類選考<br>②面接         | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2.日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者<br>3. <u>原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者</u><br>4.本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者 |
|       | 留学生一般入試 | ①書類選考<br>②面接<br>③小論文 | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2.日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者<br>3. <u>原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者</u><br>4.本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者 |



|       |       |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会人入試 | 社会人入試 | ①書類選考<br>②面接<br>③小論文    | 以下の 1、2 の要件を満たす者<br>1.(1)～(3)の項のいずれかに該当する者<br>(1)高等学校または中等教育学校を卒業した者<br>(2)通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者<br>(3)学校教育法施行規則(昭和 22 年文部省令第 11 号)第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者<br>2.通算して民間企業等にて 5 年以上の職務経験を有する者                                                                                                                  |
| 帰国生入試 | 帰国生入試 | ① 書類選考<br>② 面接<br>③ 小論文 | わが国の高等学校に相当する正規の教育機関の教育課程を修了した者のうち、日本国籍を有し、かつ国の内外を通じて 12 年の学校教育を修了又は修了見込み、かつ 2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者で、大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する、次の項のいずれかに該当する者<br><br>以下の 1、2 の要件を満たす者<br>1.(1)～(5)の項のすべてに該当する者<br>(1)わが国の高等学校に相当する正規の教育機関の教育課程を修了した者<br>(2)日本国籍を有する者<br>(3)日本国の内外を通じて 12 年の学校教育を修了又は修了見込みの者<br>(4)2020 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者 |

|  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  | <p>(5)大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する者</p> <p>2.(1)～(3)の項のいずれかに該当する者</p> <p>(1)外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含め 2 年以上継続して在学し、2020 年 3 月までに卒業(修了)見込みの者、又は卒業(修了)して 2 年以内の者</p> <p>(2)外国における高等学校に 2 年以上在籍し、帰国後日本の高等学校又は中等教育学校を 2020 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者</p> <p>(3)当該国における大学入学資格を有する者で、原則として「(1)」又は「(2)」に準ずる者</p> |
|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

6. 大学名、学部学科名、学位名について、以下の点を是正すること。

(1) 大学名について、教育研究上の目的にふさわしいものであると認められず、また、社会的通用性を有していると認められないため、適切に改めること。

(対応)

大学名としては、i 専門職大学と掲げていたが教育研究上の目的にふさわしいものであると認められず、また、社会的通用性を有していると認められないため、適切に改めることとご指摘を頂き、本学の教育研究上の目的を踏まえ、また、社会的通用性を有するよう、以下の名称に変更する。

本学の名称を「情報経営イノベーション専門職大学」とする。

<新たな大学名称の考え方>

本学の教育理念は、「変化を楽しみ、自ら学び革新を創造する。」である。また、養成する人材像は、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材であり、本学ではこれをイノベーション人材と位置付けている。

こうした人材の育成のために必要な能力は、①職業的自立を図る能力②経営に関する知識・スキル③情報通信技術に関する知識・スキル④国際的コミュニケーション能力⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力としている。また、教育課程では、情報通信技術に関する科目群と経営に関する科目群を職業専門科目に置き、学びの中心としている。

以上により、学びの中心である「情報通信技術の知識・スキル」「経営に関する知識・スキル」等を習得し、国際社会と地域社会にイノベーションを起こす人材育成を目指すことから『情報経営イノベーション専門職大学』とする。

なお、イノベーションという言葉は、オーストリアの経済学者シュンペーターによって、1912年に初めて定義され、100年以上の歴史がある言葉である。文部科学省では公式HPでその定義を紹介し、経済産業省もイノベーション政策について発表する等広く社会に広がっている言葉であると認識している。その他、イノベーションに関する著書、研究結果は世界で多数発表されている。

日本の大学、大学院の学部名、研究科名にも既にイノベーションという言葉を使用しているケース（成城大学 社会イノベーション学部、東洋大学 国際学部 グローバル・イノベーション学科、静岡県立大学 経営情報学部 大学院経営情報イノベーション研究科、法政大学専門職大学院 経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 等）も見られ、イノベーションの社会的通用性は十分にあると認識している。また、専門職大学院では、イノベーションという言葉自体は使用していないが「事業創造大学院大学」や「事業構想大学院大学」など、大学院の学びを通して新たな事業を生み出す人材の育成や起業家を育成する大学院は存在しており、「創造」や「構想」などイノベーションと類似する言葉は既に使用されて

いる。よって、本学の教育研究上の目的を鑑みればイノベーションの言葉を大学名称に付すことは、社会的通用性からみて妥当性は有していると認識している。

国際通用性に関しては、海外の大学でもイノベーションを使用した学部名学科名は存在し（テキサスA & M大学 イノベーション学部（米国）、アイルランド国立大学 メイヌース校デザインイノベーション学部（アイルランド）、サレント大学イノベーションエンジニアリング学科（イタリア）、ウィーン大学 法学部 イノベーション・デジタリゼーション学科（オーストリア）、サウザンプトン大学 ビジネススクール 戦略・イノベーション・起業学科（英国））、イノベーションは、国際的にも通用する言葉であると認識している。

なお、イノベーションを日本語で表現すると「革新」「刷新」「創造」等様々な言葉がある。それぞれの意味については、

「革新」…古くからの習慣・制度・状態・考え方などを新しく変えようとする事。

「刷新」…事態を改めて、全く新しいものにすること。

「創造」…それまでなかったものを初めてつくり出すこと。

（三省堂 大辞林参照）

一方、我々は「企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すこと」に加え、「国際社会と地域社会の産業発展に貢献すること」をイノベーションと定義している。

よって、上記3つの言葉で示される限定的な内容と本学が掲げるイノベーションとは必ずしも一致せず、イノベーションという言葉そのまま大学名として使用することが、本学の教育研究に整合すると考えている。

なお、大学名同様に「i」が付く職員名称、組織名称についても以下のように変更する。

- ・「i マネジャー」を「イノベーションマネジャー」に変更、「i マネジメント局長」を「イノベーションマネジメント局長」に変更する。「i マネジメント局」を「イノベーションマネジメント局」に変更、「i イノベーション研究所」を「イノベーション研究所」に変更する。

（新旧対照表）基本計画書

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                | 旧       |
|------------------|---------|
| 情報経営イノベーション専門職大学 | i 専門職大学 |

（新旧対照表）組織の移行表

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                | 旧       |
|------------------|---------|
| 情報経営イノベーション専門職大学 | i 専門職大学 |

(新旧対照表) 校地校舎等の図面

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧              |
|-------------------------|----------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u> |

(新旧対照表) 学則

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧                   |
|-------------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u>      |
| <u>イノベーションマネジメント局</u>   | <u>i マネジメント局</u>    |
| <u>イノベーションマネジメント局長</u>  | <u>i マネジメント局長</u>   |
| <u>イノベーション研究所</u>       | <u>i イノベーション研究所</u> |

(新旧対照表) 教授会規程

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧                |
|-------------------------|------------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u>   |
| <u>イノベーションマネジメント局</u>   | <u>i マネジメント局</u> |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                                                                        | 旧                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u><br><u>[Professional University of Information and Management for Innovation]</u> | <u>i 専門職大学</u><br><u>[i University]</u> |
| <u>イノベーションマネジャー</u>                                                                                      | <u>i マネジャー</u>                          |
| <u>イノベーションマネジメント局長</u>                                                                                   | <u>i マネジメント局長</u>                       |
| <u>イノベーションマネジメント局</u>                                                                                    | <u>i マネジメント局</u>                        |
| <u>イノベーション研究所</u>                                                                                        | <u>i イノベーション研究所</u>                     |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (29 ページ)

| 新                                                                                                                            | 旧                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| [29 ページ]<br>名称: <u>情報経営イノベーション専門職大学</u><br>英語名称: <u>Professional University of Information and Management for Innovation</u> | [27 ページ]<br>名称: <u>i 専門職大学</u><br>英語名称: <u>i University</u> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt;大学名称の理由&gt;</p> <p>大学名称は、本学が行う教育研究に整合する名称を検討した。</p> <p>本学の教育理念は、「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」である。また、養成する人材像は、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮すること、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」であり、本学ではこれをイノベーション人材と位置付けている。</p> <p>こうした人材に必要な能力は、①職業的自立を図る能力②経営に関する知識・スキル③情報通信技術に関する知識・スキル④国際的コミュニケーション能力⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力としている。よって、教育課程では、情報通信技術に関する科目群と経営に関する科目群を職業専門科目に置き、学びの中心としている。</p> <p>以上により、「情報通信技術に関する知識・スキル」および「経営に関する知識・スキル」等を習得し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす教育研究を目指すことから『情報経営イノベーション専門職大学』と称する。</p> <p>イノベーションという言葉は、オーストリアの経済学者シュンペーターによって、1912年に初めて定義され、100年以上の歴史がある言葉である。海外の大学でもイノベーションを使用した学部学科名は存在しており、国際通用性を有する表現であると認識している<sup>1</sup>。文部科学省では公式HPでその定義を紹介し、経済産業省もイノベーション政策について発表する等広く日本社会で用いられている言葉であると認識している。その他、イノベーションに関する著書、研究結果は世界で多数発表されて</p> | <p>&lt;大学名称の理由&gt;</p> <p>大学名称は、専門職大学としてふさわしい大学の名称を検討した。今後、ICT以外の分野への発展も想定できることから学問や職業内容に限定されすぎない校名を構想した。</p> <p>また、本学の教育理念が包含され、「視認性、識別性、再現性、記憶性、展開性」という機能性を重視しつつ、「個性的、信頼性、品格、アカデミック、若々しさ、活力、先進性、スマートさ、存在感、親近感」というイメージ性も重視し、ユニークな教育を標榜できる校名であり、かつグローバルでも通用する大学名を検討した。</p> <p>ICTを活用しイノベーションを実現する人材を育成することから、以下のキーワードを掲げた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <u>innovation</u>(革新)</li> <li>◇ <u>information</u>(情報)</li> <li>◇ <u>international</u>(国際)</li> <li>◇ <u>independent</u>(独立)</li> <li>◇ <u>intelligence</u>(知性)</li> <li>◇ <u>invent</u>(発明する)</li> <li>◇ <u>investigation</u>(調査・研究)</li> <li>◇ <u>industry</u>(産業・製造業)</li> <li>◇ <u>impact</u>(影響)</li> <li>◇ <u>I(私)</u> 私の大学、主体的に私に変革する</li> </ul> <p>上記の全てのキーワードを包含する意図から頭文字である「i」を取った大学名とした。また、このよう包含的な概念を標榜できる日本語の表記がないため、アルファベット表記としている。</p> <p>iの文字を小文字にしたのは、大文字の「I」はローマ数字のIと混同される可能性があることから小文字とした。また、数学の表記としては、大文字は定数を表し、小文字は変数を表すことから本学の趣旨である変化に対応するという観点でも小文字がふさわしいと判断している。加えて、iモード、iPhoneなどに代表されるマーケティングの観点でも大文字は固有名詞的イメージで小文字は一般名</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>いる。</p> <p><u>イノベーションを日本語で表現すると「革新」「刷新」「創造」等様々な言葉がある。それぞれの意味については、</u></p> <p><u>「革新」…古くからの習慣・制度・状態・考え方などを新しく変えようとする。</u></p> <p><u>「刷新」…事態を改めて、全く新しいものにする。</u></p> <p><u>「創造」…それまでなかったものを初めてつくり出す。</u></p> <p><u>(三省堂 大辞林参照)</u></p> <p><u>である。</u></p> <p><u>日本の大学の学部名称、大学院の研究科名称にも既にイノベーションという言葉を使用しているケース（成城大学社会イノベーション学部、東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科、静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科等）がある。イノベーションという言葉が、学問や職業の専門分野を表する社会的通用性はあると認識している。高度専門職業人養成のための、専門職大学院（大学）においても「事業創造大学院大学」や「事業構想大学院大学」などで、新たな事業を生み出す人材の育成や起業家の育成を目的とする大学院教育が先行しており、「創造」や「構想」などイノベーションと類似する言葉は既に使用されている。ただし、前述の「革新」「刷新」「創造」といった3つの言葉で示される限定的な内容と本学が掲げるイノベーションとは必ずしも一致していない。</u></p> <p><u>「革新」「刷新」「創造」いずれの意味をも有す「イノベーション」という言葉をそのまま大学名として使用することが、「情報通信技術に関する知識・スキル」および「経営に関する知識・スキル」等を習得し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こすという本学の教育研究に整合すると考えている。</u></p> | <p><u>詞的なイメージとなり親しみやすいことも小文字にした理由である。</u></p> <p><u>「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」という教育理念の実現に向け思いを込めた大学名である。</u></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

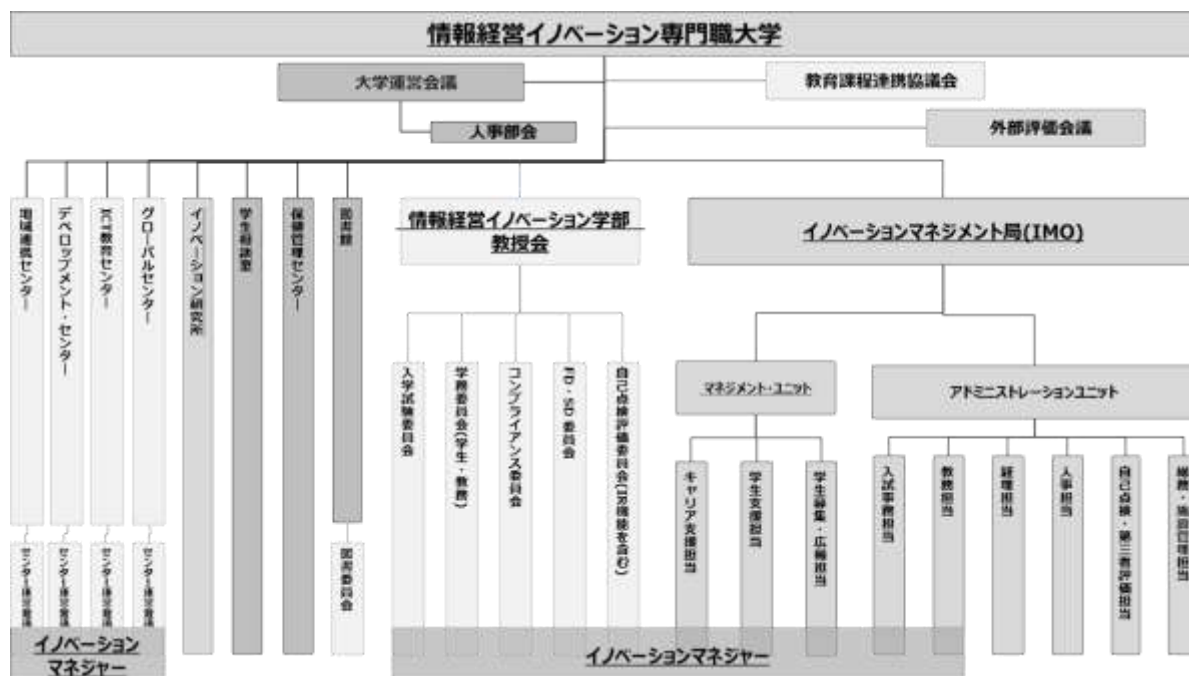
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>注釈 1</u></p> <p><u>テキサス A &amp; M 大学イノベーション学部 (米国)、</u><br/> <u>アイルランド国立大学メイヌース校デザインイノ</u><br/> <u>ベーション学部 (アイルランド)、サレント大学イ</u><br/> <u>ノベーションエンジニアリング学科 (イタリア)、</u><br/> <u>ウィーン大学 法学部 イノベーション・デジタル</u><br/> <u>ゼーション学科 (オーストリア)、サウザンプトン</u><br/> <u>大学 ビジネススクール 戦略・イノベーション・</u><br/> <u>起業学科 (英国) など。(本学調べ)</u></p> |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|



(新旧対照表)設置の趣旨等を記載した書類

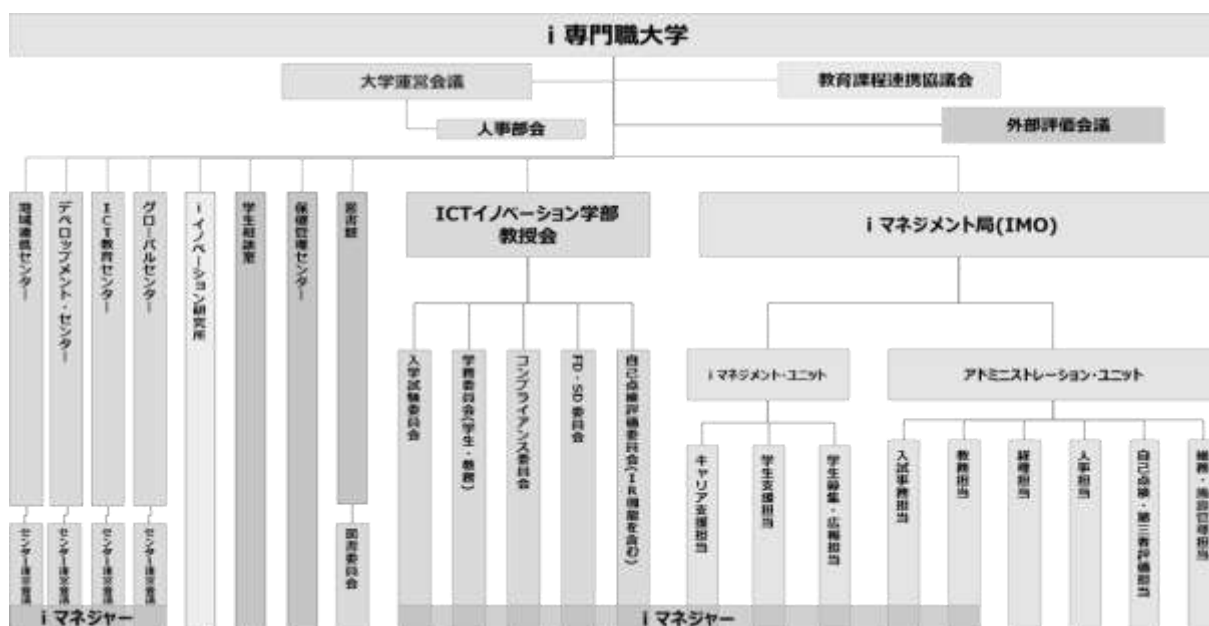
[74 ページ]

◆組織・機能図(新)



[65 ページ]

◆組織・機能図(旧)



（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧              |
|-------------------------|----------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u> |

（新旧対照表）教育課程連携協議会構成員名簿等

教育課程連携協議会構成員名簿及び教育課程連携協議会規程にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧              |
|-------------------------|----------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u> |

（新旧対照表）臨地実務実習施設等

臨地実務実習施設の確保状況説明書及び臨地実務実習施設一覧にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                       | 旧              |
|-------------------------|----------------|
| <u>情報経営イノベーション専門職大学</u> | <u>i 専門職大学</u> |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

(2) 大学の英語名称については、専門職大学であることがわかるように professional 又は vocational の語（若しくはこれらに類する語）を用いて、適切に改めること。

(対応)

大学の英語名称について、検討を行った結果、professional を用い、次のとおり改める。

■大学名

情報経営イノベーション専門職大学

Professional University of Information and Management for Innovation

(新旧対照表) 基本計画書

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                                           | 旧                   |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| <u>Professional University of Information and Management for Innovation</u> | <u>i University</u> |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                                           | 旧                   |
|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| <u>Professional University of Information and Management for Innovation</u> | <u>i University</u> |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

(3) 「ICT を『手段』とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材」の育成を目指す」と説明しているが、学部学科及び学位の名称には、ビジネスの要素が含まれていないため、当該学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものであるか疑義がある。学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものとなるよう、適切に改めること。また、英語名称についても、イノベーションと情報通信技術との目的・手段の関係が適切に整理されていないため、留意すること。

(対応)

人材養成に対して、学部学科及び学位の名称にビジネスの要素が含まれていないため、当該学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものであるか疑義がある。学部学科の教育研究上の目的にふさわしいものとなるよう、適切に改めることとご指摘を頂き、本学の教育研究上の目的にふさわしいものとなるよう適切に改める。また、英語名称についても、適切に整理し修正する。

なお、是正事項の6(1)でご指摘を頂いた通り、大学名に関しても同様のご指摘を頂いていることから、学部学科及び学位名称、また英語名称について以下のように整理し修正する。その際、ご指摘を頂いたビジネスの要素も含む名称として修正する。

・学部学科名称

「情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科」

[Faculty of Information and Management for Innovation

Department of Information and Management for Innovation]

・学位名称案

「情報経営イノベーション学士（専門職）」

[Bachelor of Information and Management for Innovation]

本学の教育理念は、「変化を楽しみ、自ら学び革新を創造する。」である。また、養成する人材像は、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」であり、本学ではこれをイノベーション人材と位置付けている。

こうした人材の育成のために必要な能力は、①職業的自立を図る能力②経営に関する知識・スキル③情報通信技術に関する知識・スキル④国際的なコミュニケーション能力⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力としている。また、教育課程では、情報通信技術に関する科目と経営に関する科目を職業専門科目に置き、学びの中心としている。

以上のことから、学びの中心である「情報通信技術の知識・スキル」「経営に関する知識・スキル」等を習得しイノベーションを起こす人材育成を教育研究上の目的とするため、情報経営イノベーション学部、情報経営イノベーション学科とし、学位名に関しては、情報経営イノベーション学士（専門職）とする。

なお、イノベーションという言葉は、オーストリアの経済学者シュンペーターによって、1912年に初めて定義され、100年以上の歴史がある言葉である。文部科学省では公式HPでその定義を紹介し、経済産業省もイノベーション政策について発表する等広く社会に広がっている言葉であると認識している。その他、イノベーションに関する著書、研究結果は世界で多数発表されている。

日本の大学、大学院の学部名、研究科名にも既にイノベーションという言葉を使用しているケース（成城大学 社会イノベーション学部、東洋大学 国際学部 グローバル・イノベーション学科、静岡県立大学 経営情報学部 大学院経営情報イノベーション研究科、法政大学専門職大学院 経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 等）も見られ、イノベーションの社会的通用性は十分にあると認識している。また、専門職大学院では、イノベーションという言葉自体は使用していないが「事業創造大学院大学」や「事業構想大学院大学」など、大学院の学びを通して新たな事業を生み出す人材の育成や起業家を育成する大学院は存在しており、「創造」や「構想」などイノベーションと類似する言葉は既に使用されている。よって、本学の教育研究上の目的を鑑みればイノベーションの言葉を学部学科、学位の名称に付すことは、社会的通用性からみて適切であると考ええる。

国際通用性に関しては、海外の大学でもイノベーションを使用した学部名学科名は存在し（テキサスA & M大学 イノベーション学部（米国）、アイルランド国立大学 メイヌース校デザインイノベーション学部（アイルランド）、サレント大学イノベーションエンジニアリング学科（イタリア）、ウィーン大学 法学部 イノベーション・デジタリゼーション学科（オーストリア）、サウザンプトン大学 ビジネススクール 戦略・イノベーション・起業学科（英国）、イノベーションは、国際的にも通用する言葉であると認識している。

以上、イノベーションという言葉の社会的、国際的通用性も踏まえ、学部学科名、学位の名称にイノベーションを使用することは、本学の教育研究に整合すると考えている。

#### （新旧対照表）基本計画書

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                                             | 旧                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 情報経営イノベーション学部<br>[Faculty of Information and Management for Innovation]       | ICTイノベーション学部<br>[Faculty of Information and Communication Technology for innovation]      |
| 情報経営イノベーション学科<br>[Department of Information and Management for Innovation]    | ICTイノベーション学科<br>[Department of Information and Communication Technology for innovation]   |
| 情報経営イノベーション学士（専門職）<br>[Bachelor of Information and Management for Innovation] | ICTイノベーション学士（専門職）<br>[Bachelor of innovation in Information and Communication Technology] |

|                    |                                  |
|--------------------|----------------------------------|
| <u>Innovation]</u> | <u>Communication Technology]</u> |
|--------------------|----------------------------------|

(新旧対照表) 組織の移行表

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |

(新旧対照表) 教育課程等の概要

| 新                         | 旧                        |
|---------------------------|--------------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u>      | <u>ICTイノベーション学部</u>      |
| <u>情報経営イノベーション学科</u>      | <u>ICTイノベーション学科</u>      |
| <u>情報経営イノベーション学士（専門職）</u> | <u>ICTイノベーション学士（専門職）</u> |

(新旧対照表) 実験、実習又は実技による授業科目等の一覧

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 授業科目の概要

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) シラバス

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 学則

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                             | 旧                                                                           |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u>                                          | <u>ICTイノベーション学部</u>                                                         |
| <u>[Faculty of Information and Management for Innovation]</u> | <u>[Faculty of Information and Communication Technology for innovation]</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u>                                          | <u>ICTイノベーション学科</u>                                                         |
| <u>[Department of Information and Management</u>              | <u>[Department of Information and</u>                                       |

|                        |                                                 |
|------------------------|-------------------------------------------------|
| <u>for Innovation]</u> | <u>Communication Technology for innovation]</u> |
|------------------------|-------------------------------------------------|

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                                                                                            | 旧                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u><br><u>[Faculty of Information and Management for Innovation]</u>        | <u>ICT イノベーション学部</u><br><u>[Faculty of Information and Communication Technology for innovation]</u>       |
| <u>情報経営イノベーション学科</u><br><u>[Department of Information and Management for Innovation]</u>     | <u>ICT イノベーション学科</u><br><u>[Department of Information and Communication Technology for innovation]</u>    |
| <u>情報経営イノベーション学士 (専門職)</u><br><u>[Bachelor of Information and Management for Innovation]</u> | <u>ICT イノベーション学士 (専門職)</u><br><u>[Bachelor of innovation in Information and Communication Technology]</u> |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (31、47 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[31 ページ]</p> <p>(2)学部・学科の名称</p> <p>学部名称 : <u>情報経営イノベーション学部</u><br/>英語名称 : <u>Faculty of Information and Management for Innovation</u></p> <p>学科名称 : <u>情報経営イノベーション学科</u><br/>英語名称 : <u>Department of Information and Management for Innovation</u></p> <p><u>本学の教育課程は、経営学に類する「情報経営学」を基盤としており、「情報通信技術の知識・スキル」「経営に関する知識・スキル」等を習得し、国際社会と地域社会でイノベーションを起こす教育研究を目指すため、学部学科名称は「情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科」とする。</u></p> <p><u>一学部一学科のため、大学名称と同様の学部・学科</u></p> | <p>[28 ページ]</p> <p>(2)学部・学科の名称</p> <p>学部名称 : <u>ICT イノベーション学部</u><br/>英語名称 : <u>Faculty of Information and Communication Technology for innovation</u></p> <p>学科名称 : <u>ICT イノベーション学科</u><br/>英語名称 : <u>Department of Information and Communication Technology for innovation</u></p> <p><u>学部・学科名称を決定するにあたって、本学のディプロマ・ポリシーは、「先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICTを活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材」のため、これまでになく概念の人材を育成する新たな専門職大学の設置を目指しており、新規の学部・学科名を設定した。また、以下のポイントに留意しつつ名称</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>名とした。</p> <p>(3)学位の名称</p> <p>名称 : <u>情報経営イノベーション学士(専門職)</u></p> <p>英語名称 : <u>Bachelor of Information and Management for Innovation</u></p> <p>本学の養成する人材像は、<u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を想定している。</u></p> <p>そのため、学位名称を決定するにあたり、学問分野は、プログラマやエンジニアに代表される<u>情報通信技術</u>人材を育成する「工学」「情報学」ではなく、経営学に類する「<u>情報経営学</u>」を基盤とし、<u>本学における教育研究の成果としてふさわしい学位名称である「情報経営イノベーション学士(専門職)」とした。</u></p> <p>[47 ページ]</p> <p>(5)卒業要件<br/>(中略)</p> | <p>設定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>専門職大学であるためどんな職業分野に結びつくのか分かりやすい名称とする</u></li> <li>・ <u>学部・学科名称が教育内容と整合性があるか</u></li> <li>・ <u>学部・学科名称が授与学位名称と整合性があるか</u></li> <li>・ <u>学部・学科名称が分かりやすいか</u></li> </ul> <p><u>という観点を基に、「ICT イノベーション学部」「ICT イノベーション学科」とした。</u></p> <p>(3)学位の名称</p> <p>名称 : <u>ICT イノベーション学士(専門職)</u></p> <p>英語名称 : <u>Bachelor of innovation in Information and Communication Technology</u></p> <p>本学の育成する人材像は、<u>ICT を「手段」としてグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こすことができる人材であり、既述のとおり「ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職」、「ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家」を想定している。</u></p> <p>そのため、学位名称を決定するにあたり、学問分野は、プログラマやエンジニアに代表される<u>ICT</u>人材を育成する「工学」「情報学」ではなく、経営学に類する「<u>ビジネス情報学</u>」を基盤とし、<u>専門職大学としてふさわしい学位名称として、「ICT イノベーション学士(専門職)」と決定した。</u></p> <p>[44 ページ]</p> <p>(5)卒業要件<br/>(中略)</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|                                                                                               |                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、 <u>情報経営イノベーション学士(専門職)</u> の学位を授与する。 | 学長は、本学に4年以上在学し、所定の単位を修得し、教授会の議を経て卒業することを認められた者に対して卒業を認定し、 <u>学士(専門職)</u> の学位を授与する。 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類

上記の書類内にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 教員名簿〔教員の氏名等〕

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 実務経験等を有する専任教員一覧

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 専任教員の年齢構成・学位保有状況 別添

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 教育課程連携協議会構成員名簿等

教育課程連携協議会構成員名簿及び教育課程連携協議会規程にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |
| <u>情報経営イノベーション学科</u> | <u>ICTイノベーション学科</u> |

(新旧対照表) 臨地実務実習施設等

臨地実務実習施設の確保状況説明書及び臨地実務実習施設一覧にて記載した以下の名称を、一律下記の通り変更する。

| 新                    | 旧                   |
|----------------------|---------------------|
| <u>情報経営イノベーション学部</u> | <u>ICTイノベーション学部</u> |

7. 学生納付金について、類似する大学の学費平均値より高いことは、一人一人に徹底した教育支援をすべて学費に含んでいるためと説明しているが、一般的な大学でも行われている教育支援であるように見受けられる。学費が学生の教育研究の支援にどう活用されているか、改めて説明すること。

(対応)

学生納付金について、類似する大学の学費平均値より高いことは、一人一人に徹底した教育支援をすべて学費に含んでいるためと説明しているが、一般的な大学でも行われている教育支援であるように見受けられる。とのご指摘を頂いた。本学における、一人一人に徹底した教育支援として、学費が学生の教育研究の支援にどう活用されているかについて、活用の内容を追記して説明する。

#### <人件費関連>

- ・全授業、1クラス40名以下の少人数教育を施す。本学の入学定員である200名の場合、必修科目では5クラスで同一内容の授業を行う。また、いくつかの選択科目においては2～3クラス開講を予定しており、そこでも同一内容の授業を行う（非常勤講師にかかる経費の増大）。
- ・クラスごとに、連携企業等をゲスト講師に迎えるプロジェクト型授業を多数実施する(事前準備や共同プロジェクトに係る教材等の教育研究経費の増大)。

#### <教育環境（インフラ）の維持>

- ・アクティブラーニング型での授業を推進するため、予習復習等に本学独自の E-learning 教材を活用する。この E-learning 教材を使用するシステムとあわせて、担当教員自らが教材を作成可能なコンテンツ作成システムを導入する。
- ・A I、クラウド、ビッグデータ、システム開発等の授業に必要な専門的なソフトウェアを用意する。また、単年ではなく継続的に保守・管理・維持・更新していく。
- ・全学的に Wi-Fi 環境を整備し、学生が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、複数の機器を活用しシステムやサービスの開発を行うこと、さらに大容量のデータ通信が想定されるため、通常よりも強固な回線を設置する。また、多くの授業や課外活動において PC を使用すること、クラウド環境を活用した授業進行を想定していることから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等インフラ環境を準備する。また、単年ではなく継続的に保守・管理・維持・更新していく。
- ・学生が教育課程を通じて新たなサービス・ビジネスを生み出せるよう、3Dプリンター等のデジタルファブリケーション機器をそろえた実習室を準備する。
- ・臨地実務実習でのPDCAサイクル強化のため、学生・教員・実習指導者等とリアルタイムにやり取りを行い、振り返り指導(日報作成や実習内容の共有等)にて必要な専用のWEBシステムを導入する。

以上のように、主に教育環境を整備し維持するための教育研究用機器備品に学費を活用する。

なお、学費が私立大学の平均よりも高額なことについては、以上のことを学生・保護者へ丁寧に説明し、学生確保を行っていく。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (27～28 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[27～28 ページ]</p> <p>一見して、本学の初年度の学費設定はやや高い状況にある。<u>学生の教育研究支援へ充てる学費の活用内容として、以下が挙げられる。</u></p> <p>&lt;人件費関連&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全授業において、1 クラス 40 名以下の少人数教育を施す。本学の入学定員である 200 名の場合、必修科目では 5 クラスで同一内容の授業を行う。また、いくつかの選択科目においては 2～3 クラス開講を予定しており、そこでも同一内容の授業を行う（非常勤講師にかかる経費の増大）。</u></li> <li>・<u>クラスごとに、連携企業等をゲスト講師に迎えるプロジェクト型授業を多数実施する（事前準備や共同プロジェクトに係る教材等の教育研究経費の増大）。</u></li> </ul> <p>&lt;教育環境（インフラ）の維持&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>アクティブラーニング型での授業を推進するため、予習復習等に本学独自の E-learning 教材を活用する。この E-learning 教材を使用するシステムとあわせて、担当教員自らが教材を作成可能なコンテンツ作成システムを導入する。</u></li> <li>・<u>AI、クラウド、ビッグデータ、システム開発等の授業に必要な専門的なソフトウェアを用意する。また、単年ではなく継続的に保守・管理・維持・更新していく。</u></li> <li>・<u>全学的に Wi-Fi 環境を整備し、学生が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、複数の機器を活用しシステムやサービスの開発を行うこと、さらに大容量のデータ通</u></li> </ul> | <p>[27 ページ]</p> <p>一見して、本学の初年度の学費設定はやや高い状況にある。<u>情報学の中でも工学部に近い設定となっていることについては、本学の以下の特徴が学費に含まれていることが理由として挙げられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>1 クラス 40 人の少人数教育</u></li> <li>・ <u>学生の入学時から卒業時まで、キャリア形成、履修支援、「イノベーションプロジェクト」の支援、インターンシップ支援、企業連携支援などのサポートを行う、学内職員である「i マネジャー」を常時配置</u></li> <li>・ <u>「ビジネスフィールドリサーチ」などの授業での課題提供、教員派遣、実習等、企業による多様な支援</u></li> <li>・ <u>情報系インフラの充実(無線 LAN の整備、インターネット接続に対する広帯域化、デジタルサイネージの設置、コンセントの設置、セキュリティの強化等)</u></li> </ul> <p><u>本学では、上記のとおり一人一人に徹底した教育支援を全て学費に含んでいるため、類似する大学の学費平均値より高い設定となっている。</u></p> <p>前述のように、大学経営の観点から、i 専門職大学の開学から完成年度の翌年までをシミュレーションした結果、開学から完成年度である 4 年目で収支差額がプラスになる想定となっており、財政的な健全性を担保するものとする。</p> <p>よって、学生募集の観点からも大学経営の観点からも適切な設定であるとする。</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>信が想定されるため、通常よりも強固な回線を設置する。また、多くの授業や課外活動において PC を使用すること、クラウド環境を活用した授業進行を想定していることから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等インフラ環境を準備する。また、単年ではなく継続的に保守・管理・維持・更新していく。</u></p> <p><u>・学生が教育課程を通じて新たなサービス・ビジネスを生み出せるよう、3D プリンター等のデジタルファブリケーション機器をそろえた実習室を準備する。</u></p> <p><u>・臨地実務実習での PDCA サイクル強化のため、学生・教員・実習指導者等とリアルタイムにやり取りを行い、振り返り指導(日報作成や実習内容の共有等)にて必要な専用の WEB システムを導入する。</u></p> <p><u>以上のように、主に教育環境を整備し維持するための教育研究用機器備品に学費を活用する。学費が私立大学の平均よりも高額なことについては、以上のことを学生・保護者へ丁寧に説明し、学生確保を行っていく。</u></p> <p><u>また、前述のように、大学経営の観点から、情報経営イノベーション専門職大学の開学から完成年度の翌年までをシミュレーションした結果、開学から完成年度である 4 年目で収支差額がプラスになる想定となっており、財政的な健全性を担保するもの</u><br/>と考える。</p> <p>よって、学生募集の観点からも大学経営の観点からも適切な設定であると考えます。</p> |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

8. 「アカウンティング」、「ICTリテラシー」、「キャリアデザインⅠ」等の授業科目について、学修内容と配当単位数が整合していない科目が散見されるため、配当年次や単位数にふさわしい科目内容となるよう、適切に改めること。

(対応)

授業科目について、学修内容と配当単位数が整合していない科目が散見されるとの指摘を受け、各科目の学修内容と配当単位数、配当年次について見直しを行った。あわせて教育課程の全体構成および各ポリシーとの整合性について検証を行い、別紙4(カリキュラム一覧)のとおり科目の配当年次、単位数を改めるとともに、学修内容の見直しを行い教育課程の概要等と講義等の内容、シラバスの変更を行った。

具体的には以下の授業科目について変更する。

「アカウンティング」

1年次科目であることを考慮し、簿記・会計の基本的な内容を「アカウンティング基礎」として、管理会計や経営の意思決定に係る内容を「アカウンティング応用」に変更して配置する。

「ICTリテラシー」

PCやソフトウェアの基本的な操作について習得する科目であったが、大学入学以前の学習で、基本的な事項は修得していると判断されること、また、その他の科目の授業を通じ修得するスキルや知識もあること等から、科目として配置しないこととした。なお、PCについてはすべての入学生が同一のものを購入することから入学時のガイダンスにソフトウェアのインストールや、基本的な操作方法の確認(復習)を行う。

「キャリアデザインⅠ」

入学直後に予定する導入教育プログラムや「イノベーションの志」とあわせて、インターンシップを含む4年間の学習を通じた大学生活での目標設定、卒業後の進路の指針となるキャリアプランの構築、本学が輩出するイノベーター人材像の具体化の観点から、一連の科目について内容の見直しを行った。本科目はインターンシップとこれを通じた自己実現をターゲットにした目標設定を行う科目として2年次に設定するとともに、その内容・実施回数を見直し、8回1単位で実施することとした。

・授業科目の名称変更

旧)「アカウンティング」 → 新)「アカウンティング入門」

旧)「IoTⅠ」 → 新)「IoT」

・授業科目の削除

「ICTリテラシー」

「離散数学Ⅰ」

「離散数学Ⅱ」  
「モバイルコンピューティングⅠ」  
「モバイルコンピューティングⅡ」  
「オペレーションズリサーチ」  
「ビジネスデザインⅠ」  
「ファイナンス」  
「ビジネスデザインⅡ」  
「ゲーム理論と交渉術」  
「モチベーションマネジメント」  
「フィンテック」  
「デザイン思考ワークショップ設計」  
「開発マネジメント」  
「シミュレーションによる問題分析」  
「情報セキュリティ演習Ⅲ」  
「ネットワーク構築Ⅳ」

・授業科目の統合

「情報システムの失敗と分析」「システムインテグレーション」を「システムインテグレーション」に統合

・新たに配置した科目

段階的に学び、実習につなげていく体系的な学修を進めるにあたり、申請時の科目の内容や段階を見直し、以下の科目を新たに配置することとした。

「リサーチ入門」  
「ファイナンス入門」  
「デザインと経営」  
「クロステックビジネスデザイン」  
「モバイルサービス概論」

審査意見 8,9,11 に対応するにあたり、以下の科目を新たに配置した。

「数学基礎 A」  
「数学基礎 B」  
「数学基礎 C」  
「情報系数学応用 A」  
「情報系数学応用 B」  
「情報系数学応用 C」

・学修内容の見直し

「イノベーションの志」

「スタディスキル」

「英語コア・スキルズⅠ」

「英語コア・スキルズⅡ」

「キャリアデザインⅠ」

「キャリアデザインⅡ」

「マーケティング基礎」

「インターンシップⅠ」

「インターンシップⅡ」

「コンピュータとソフトウェア基礎」

「データサイエンス」

・科目分類の変更

「コンピュータとソフトウェア基礎」

「データ構造と処理法」

「オペレーティングシステム」

「コンピュータアーキテクチャ」

「クラウド」

「ビッグデータ」

「AI」

・配当年次の変更

「職業倫理」

「先端グローバル社会」

「ICT と人間」

「組織行動論」

「人的資源管理論」

「イノベーション特論」

「コーポレートファイナンス」

「モデル化と要求開発」

「システムインテグレーション」

(新旧対照表)

別紙 4 (授業科目の概要)、別紙 5 (シラバス) の新旧対照表にて修正箇所を表す。



(新旧対照表) 基本計画書

| 新         |                  |                  |           |                  |                     | 旧         |                  |                  |           |                  |                     |
|-----------|------------------|------------------|-----------|------------------|---------------------|-----------|------------------|------------------|-----------|------------------|---------------------|
| [1 ページ]   |                  |                  |           |                  |                     | [1 ページ]   |                  |                  |           |                  |                     |
| 教育<br>課程  | 開設する授業科目の総数      |                  |           |                  | 卒業<br>要件<br>単位<br>数 | 教育<br>課程  | 開設する授業科目の総数      |                  |           |                  | 卒業<br>要件<br>単位<br>数 |
|           | 講義               | 演習               | 実験<br>・実習 | 計                |                     |           | 講義               | 教育<br>課程         | 講義        | 教育<br>課程         |                     |
|           | <u>43</u> 科<br>目 | <u>44</u> 科<br>目 | 10 科<br>目 | <u>97</u> 科<br>目 |                     |           | <u>40</u> 科<br>目 | <u>55</u> 科<br>目 | 10 科<br>目 | <u>105</u><br>科目 |                     |
| 128<br>単位 |                  |                  |           |                  |                     | 128<br>単位 |                  |                  |           |                  |                     |

(新旧対照表) 教育課程等の概要

新

旧

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称 | 配当<br>年次   | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|---------|------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |         |            | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎<br>科目 | 現代社会基礎  | イノベーションの志  | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | スタディスキル    | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅠ | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 数学基礎A      | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | リサーチ入門     | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |              | 1   |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅡ | 1後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 数学基礎B      | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 数学基礎C      | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | キャリアデザインⅠ  | 2前  | 1  |    | ○    |    |       | 1            |     |    | 兼1 |
|          |         | 職業倫理       | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | 先端グローバル社会  | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | 科学史        | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | ICTと人間     | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | キャリアデザインⅡ  | 3後  | 1  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 小計 (14科目)  | —   | 12 | 14 | 0    | —  | —     | 4            | 2   | 1  | 兼4 |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称 | 配当<br>年次           | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|---------|--------------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |         |                    | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎<br>科目 | 現代社会基礎  | イノベーションの志          | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | スタディスキル            | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅠ         | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | キャリアデザインⅠ          | 1後  | 1  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅡ         | 1後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 職業倫理               | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | 先端グローバル社会          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | キャリアデザインⅡ          | 2前  | 1  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 科学史                | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | ICTと人間             | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          | 情報科学基礎  | コンピュータとソフトウェア      | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | データ構造とアルゴリズム       | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | ICTリテラシー           | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | オペレーティングシステム       | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    | 1  |
|          |         | 離散数学Ⅰ              | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | コンピュータ・ネットワーク      | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | モバイルコンピュータ・ネットワークⅠ | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 離散数学Ⅱ              | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | モバイルコンピュータ・ネットワークⅡ | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1            |     |    |    |
|          |         | オペレーティングシステム       | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベース             | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     | 1  |    |
|          |         | キャリアデザインⅡ          | 3後  | 2  |    | ○    |    |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | 小計 (21科目)          | —   | 12 | 24 | 0    | —  | —     | 2            | 1   | 1  | 兼4 |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称    | 配当<br>年次          | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|------------|-------------------|-----|----|----|------|----|-------|-------------|-----|----|----|
|          |            |                   | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教員          | 准教員 | 講師 |    |
| 職業専門科目   | ビジネス基礎     | マネジメント（経営学基礎）     | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | マーケティング基礎         | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 法務リテラシーⅠ          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |             | 1   |    |    |
|          |            | アカウンティング入門        | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | オペレーションズマネジメント    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | マーケティング応用         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | アカウンティング応用        | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             | 1   |    |    |
|          |            | 法務リテラシーⅡ          | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | ファイナンス入門          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 問題形成と問題解決         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 組織行動論             | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    |    |
|          |            | ビジネスゲームによる経営意思決定  | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          | ビジネス応用     | 人的資源管理論           | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | 地域創生とイノベーション      | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | イノベーション特論         | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | コーポレートファイナンス      | 3後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | 新興市場における事業開発      | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | クロスセクタールビジネスデザイン  | 4前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | デザインと経営           | 4前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | 税務会計・会計処理         | 4後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅠ    | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅡ    | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | スタートアップ基礎（起業論）    | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅢ    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | ビジネスフィールドリサーチⅠ    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅣ    | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | ビジネスフィールドリサーチⅡ    | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅤ    | 3通  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | インターンシップⅠ         | 3前  | 12 |    |      | 臨  |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | インターンシップⅡ         | 3後  | 12 |    |      | 臨  |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅥ    | 4通  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
| 職業専門科目   | ビジネス実践     | コンピュータとソフトウェア基礎   | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | プログラミングⅠ          | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | データ構造と処理法         | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | オペレーティングシステム      | 1前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | プログラミングⅡ          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク技術          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | コンピュータアーキテクチャ     | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ソフトウェア設計・構築       | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | データベース            | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | モバイルサービス概論        | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用A          | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          | システムデザイン基礎 | 情報技術演習Ⅰ           | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | システム設計演習Ⅰ         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | データサイエンス          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用B          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用C          | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | Webシステム演習         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | インタラクティブ・システムデザイン | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報システムのプロジェクト管理   | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 情報技術演習Ⅱ           | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ソフトウェアプロセスと品質     | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | モデル化と要求開発         | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | システムインテグレーション     | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
| 職業専門科目   | システムデザイン応用 | クラウド              | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 1   |    |    |
|          |            | ビッグデータ            | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           |     |    |    |
|          |            | IoT               | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | スーパーコンピュータ        | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | AI                | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 1   |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅰ         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅰ       | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅱ         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅱ       | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅲ         | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅲ       | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅳ         | 3後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          | ICT        | 小計（64科目）          | —   | 68 | 80 | 0    | —  | —     | 13          | 6   | 4  | 兼3 |
|          |            | マネジメント（経営学基礎）     | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | マーケティング基礎         | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 法務リテラシーⅠ          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |             | 1   |    |    |
|          |            | アカウンティング入門        | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | オペレーションズマネジメント    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | マーケティング応用         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | アカウンティング応用        | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             | 1   |    |    |
|          |            | 法務リテラシーⅡ          | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | ファイナンス入門          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 問題形成と問題解決         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 組織行動論             | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    |    |
|          |            | ビジネスゲームによる経営意思決定  | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
| 職業専門科目   | ビジネス基礎     | 人的資源管理論           | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 地域創生とイノベーション      | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | イノベーション特論         | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | コーポレートファイナンス      | 3後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | 新興市場における事業開発      | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | クロスセクタールビジネスデザイン  | 4前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | デザインと経営           | 4前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | 税務会計・会計処理         | 4後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     |    | 兼1 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅠ    | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅡ    | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | スタートアップ基礎（起業論）    | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅢ    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          | ビジネス実践     | ビジネスフィールドリサーチⅠ    | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅣ    | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | ビジネスフィールドリサーチⅡ    | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           | 1   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅤ    | 3通  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | インターンシップⅠ         | 3前  | 12 |    |      | 臨  |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | インターンシップⅡ         | 3後  | 12 |    |      | 臨  |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | イノベーションプロジェクトⅥ    | 4通  | 2  |    | ○    |    |       | 3           | 2   | 2  | 共同 |
|          |            | プログラミングⅠ          | 1前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | プログラミングⅡ          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク技術          | 1後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | デジタルと要求開発         | 1後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | Webシステム演習         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
| 職業専門科目   | システムデザイン基礎 | ソフトウェア設計・構築       | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | データベース            | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | モバイルサービス概論        | 2前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用A          | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報技術演習Ⅰ           | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | システム設計演習Ⅰ         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | データサイエンス          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用B          | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | 情報系数学応用C          | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | Webシステム演習         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | インタラクティブ・システムデザイン | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報システムのプロジェクト管理   | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          | ICT        | 情報技術演習Ⅱ           | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ソフトウェアプロセスと品質     | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | モデル化と要求開発         | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | システムインテグレーション     | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | クラウド              | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 1   |    |    |
|          |            | ビッグデータ            | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 2           |     |    |    |
|          |            | IoT               | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | スーパーコンピュータ        | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | AI                | 4前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           | 1   |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅰ         | 2前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅰ       | 2後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅱ         | 2後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅱ       | 3前  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅲ         | 3前  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 情報セキュリティ演習Ⅲ       | 3後  | 2  |    | ○    |    |       | 1           |     |    |    |
|          |            | ネットワーク構築Ⅳ         | 3後  | 2  |    | ○    |    |       |             |     | 1  |    |
|          |            | 小計（64科目）          | —   | 68 | 80 | 0    | —  | —     | 13          | 6   | 4  | 兼3 |

| 科目<br>区分 |                | 授業科目の名称          | 年次   | 単位数     |         |         |         | 授業形態    |             | 専任教員等の<br>配置 |             |        |    | 備考 |    |
|----------|----------------|------------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|--------------|-------------|--------|----|----|----|
|          |                |                  |      | 必修<br>修 | 選択<br>択 | 自由<br>由 | 講義<br>義 | 演習<br>習 | 実験・実<br>習・実 | 教<br>授       | 准<br>教<br>授 | 講<br>師 |    |    |    |
| 展開科目     | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語実習Ⅰ        | 1前   | 2       |         |         |         |         | ○           | 1            | 1           | 兼1     | 共同 |    |    |
|          |                | ビジネス英語実習Ⅱ        | 1後   | 2       |         |         |         |         | ○           | 1            | 1           | 兼1     | 共同 |    |    |
|          |                | ビジネス英語実習Ⅲ        | 2前   | 2       |         |         |         |         |             |              |             |        | 兼1 | 共同 |    |
|          |                | 英語アカデミックリテラシー    | 2前   | 2       |         |         |         | ○       |             |              |             |        | 1  | 兼1 | 共同 |
|          |                | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2後   | 2       |         |         |         |         | ○           | 1            | 1           | 兼1     | 共同 |    |    |
|          |                | 英語ビジネスマネジメント     | 2後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    |    |
|          |                | 英米文学演習           | 2後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    |    |
|          |                | 実践英語：多文化理解       | 2後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 英語通訳論            | 3前   | 2       |         |         | ○       |         |             |              | 1           |        |    |    |    |
|          |                | 実践英語：日本文化        | 3前   | 2       |         |         |         | ○       |             |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 英語ディスカッション・ディベート | 3後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 実践英語：製造業         | 3後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 英語プレゼンテーション      | 4前   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 実践英語：ファイナンス      | 4前   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 実践英語：IoT         | 4前   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 英語ネゴシエーション       | 4後   | 2       |         |         |         |         | ○           |              |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 実践英語：イノベーション     | 4後   | 2       |         |         |         |         | ○           | 1            |             |        |    |    | 兼1 |
|          |                | 小計（17科目）         |      |         | —       | 8       | 26      | 0       | —           | —            | 2           | 0      | 2  | 兼3 | —  |
|          |                | 総合科目             | 総合演習 | 総合理論演習  | 3後      | 2       |         |         |             | ○            | 12          | 5      |    |    | 共同 |
|          |                |                  |      | 総合実践演習  | 4通      | 4       |         |         |             | ○            | 12          | 5      |    |    | 共同 |
| 小計（2科目）  | —              |                  |      | 6       | 0       | 0       | —       | —       | 12          | 5            | 0           | 0      | —  |    |    |
| 合計（97科目） | —              |                  |      | 94      | 120     | 0       | —       | —       | 15          | 7            | 6           | 兼10    | —  |    |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |                        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 学位又は称号                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  | 情報経営イノベーション<br>学士（専門職） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 卒業・修了要件及び履修方法                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |                        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【卒業要件】<br>次により必修科目94単位、選択科目34単位以上、計128単位以上を修得すること。<br>基礎科目 20単位以上<br>選択科目から8単位を履修する。うち、数学基礎A～Cから4単位以上を履修する。<br>職業専門科目 82単位以上<br>選択科目から14単位を履修する。<br>展開科目 20単位以上<br>選択科目から12単位を履修する。<br>総合科目 6単位<br>実習科目の40単位<br>うち臨地実務実習(インターンシップ) 24単位を含む<br>(履修科目の登録の上限：1年次46単位（年間）<br>2・4年次42単位（年間） |  |                        |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 学位又は称号                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | ICTイノベーション学士<br>(専門職) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 卒業・修了要件及び履修方法                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 【卒業要件】<br>次により必修科目96単位、選択科目32単位以上、計128単位以上を修得すること。<br>基礎科目 20単位以上<br>選択科目のうち、現代社会基礎から2単位、情報科学基礎から2単位を選択必修とする。<br>職業専門科目 82単位以上<br>選択科目から16単位を選択必修とする。<br>展開科目 20単位以上<br>選択科目から12単位を選択必修とする。<br>総合科目 6単位以上<br>実験・実習科目の40単位<br>うち臨地実務実習(インターンシップ) 24単位を含む<br>(履修科目の登録の上限：1年次50単位（年間）<br>2・4年次44単位（年間） |  |                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(新旧対照表) 授業科目の概要 (別紙 4)

(新旧対照表) シラバス (別紙 5)

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (33、36～40 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[33 ページ]</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <p>[30 ページ]</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>[36、37 ページ]</p> <p>④ 基礎科目「現代社会基礎」</p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>情報通信技術と経営の知識・スキルを手段としより良い社会に変革するという「志」とそれを実現するための目標、企画を立て、学修意欲と本学での学びを具体的なものとする。</u>4年間の学修のモチベーションを入学時点で構築することは、学習効果を高め、退学予防の観点からも重要だと考えている。「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を設定し、<u>自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアをデザインし行動できるように具体化していく。</u></p> <p>また、1年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。「英語コア・スキルズⅠ・Ⅱ」を設定し英語4技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。<u>社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）の基本的な内容として「数学基礎 A～C」を配置し、2</u></p> | <p>[34 ページ]</p> <p>④基礎科目「現代社会基礎」</p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>ICT</u>を手段としより良い社会に変革するという「志」を立て<u>高い目標の下に学修意欲を高める。</u>4年間の学修のモチベーションを入学時点で構築することは、学習効果を高め、退学予防の観点からも重要だと考えている。また、1年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。次に「英語コア・スキルズ」を設定し英語4技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。さらに、<u>「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を設定し、社会人となるうえで必要なマナーやスキル、考え方をもとに、自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアデザインを行う。さらに仕事とは何か、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについて考え、行動できるように具体化していく。その他、「職業倫理」「科学史」等イノベーション人材に繋がる基礎的な内容を学ぶ。</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>科目以上の履修を必須とする。また、「リサーチ入門」を通じて、さまざまな事象を実証的・構造的に明らかにし、課題の解決に結びつけるための方法を習得する。このほか、「職業倫理」「科学史」「先端グローバル社会」「ICT と人間」を通じて、現代社会の課題を多面的・構造的に理解する。</p> <p>(削除)</p> <p>④職業専門科目「ビジネス基礎」</p> <p>経営に関する知識・スキルを応用し、実践するために必要な基礎知識を学修する。経営学の基礎を学ぶ「マネジメント(経営学基礎)」や「マーケティング基礎」を始め、経営に必要不可欠な「アカウントイング入門」「法務リテラシーⅠ」を必修科目として配置し、経営における基礎理論を修得する。基礎理論を学ぶことで、様々な領域、規模、地域のビジネスにおいても対応できる汎用的かつ応用的な知識体系の素地を養う。</p> <p>⑤職業専門科目「ビジネス応用」</p> <p>ビジネス基礎で学んだ基礎理論を土台に、「マーケ</p> | <p>⑤ 基礎科目「情報科学基礎」</p> <p>ICT 知識・スキルの基礎や普遍的な内容を学ぶとともに、変化を続ける技術を常に追いかけて生涯に亘って技術を獲得し続ける力を養う。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「データ構造と処理法」「離散数学Ⅰ」を置くほか、「コンピュータアーキテクチャ」「データサイエンス」科目を設定し職業専門科目の ICT 知識・スキルを修得するための前提を学ぶ。また、「オペレーティングシステム」「離散数学Ⅱ」「モバイルコンピューティングⅠ」「モバイルコンピューティングⅡ」「オペレーションズリサーチ」などを配置し、職業専門科目との接続を図る。変化を続ける技術の中でも、変わることのない普遍的な知識・スキルを学ぶことで、どのような技術革新があっても対応できる能力を身に付ける。</p> <p>⑥職業専門科目「ビジネス基礎」</p> <p>ビジネスの知識・スキルを応用し、実践するために必要な基礎知識を学修する。経営学の基礎を学ぶ「マネジメント(経営学基礎)」や「マーケティング基礎」を始め、経営に必要不可欠な「アカウントイング」「法務リテラシーⅠ」「ファイナンス」を必修科目として配置し、ビジネスにおける基礎理論を修得する。基礎理論を学ぶことで、様々な領域、規模、地域のビジネスにおいても対応できる汎用的かつ応用的な知識体系の素地を養う。</p> <p>⑦職業専門科目「ビジネス応用」</p> <p>ビジネス基礎で学んだ基礎理論を土台に、「ビジネ</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ディング応用」「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「法務リテラシーⅡ」「問題形成と問題解決」「人的資源管理論」「コーポレートファイナンス」「ビジネスゲームによる意思決定」「組織行動論」「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」「税務会計・会計処理」のビジネスにおける応用的な知識・スキルを取得する選択科目を設定し、ビジネスを起こすだけでなく、発展・伸張させるために必要な知識・スキルを学び、ビジネスにおいて成果を出す技法を学ぶ。</p> <p>⑥職業専門科目「ビジネス実践」<br/>経営に関する基礎理論、(以下略)</p> <p>⑥ 職業専門科目「システムデザイン基礎」<br/>イノベーションを実現するために必要な情報通信技術の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「ITスキル標準モデルカリキュラムーレベル2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅠ・Ⅱ」「データ構造と処理法」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を履修し「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で情報通信技術を活用し、新たな商品やサービスを企画・開発するために必要な情報通信技術に関する知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「モバイルサービス概論」を配置し、情報通信技</p> | <p>スデザインⅡ」「マーケティング応用」「法務リテラシーⅡ」「モチベーションマネジメント」「ゲーム理論と交渉術」「問題形成と問題解決」「ファシリテーション」「人的資源管理論」「コーポレートファイナンス」「ビジネスゲームによる意思決定」「組織行動論」「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「イノベーション特論」「税務会計・会計処理」「デザイン思考ワークショップ設計」などのビジネスにおける応用的な知識・スキルを取得する選択科目とソリューションビジネスとして、ICTによるビジネス開発に必要である「クラウド」「ビッグデータ」「AI」「フィンテック」科目を設定し、今後さらにニーズが高まる先端分野を集中的に学ぶ仕組みとしている。ビジネスを起こすだけでなく、発展・伸張させるために必要な知識・スキルを学び、ビジネスにおいて成果を出す技法を学ぶ。</p> <p>⑧職業専門科目「ビジネス実践」<br/>ビジネスの基礎理論 (以下略)</p> <p>⑨職業専門科目「システムデザイン」<br/>イノベーションを実現するために必要な ICT の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「ITスキル標準モデルカリキュラムーレベル2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「プログラミングⅠ・Ⅱ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」を履修し「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で ICT を活用し実践するために必要な知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「IoTⅠ・Ⅱ」「スーパーコンピュータ」などを配置し、即戦力として活躍できる ICT 知識・スキルと今後、ニーズが高まる先端分野を学ぶ仕組みとしている。新たなサービスや起業を目指す中で、ICT を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>術の基本的な技術とその成り立ちを理解できるよう設定する。あわせて「情報系数学応用 A～C」「データサイエンス」を配置し、情報系科目を発展的に学ぶために必要な数学的な理解を深める素地を作る。</p> <p>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、情報通信技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</p> <p>⑧職業専門科目「システムデザイン応用」</p> <p>「システムデザイン基礎」に続き、イノベーションを実現するために必要な情報通信技術に関する具体的な知識やスキルを実践的に習得できる専門科目を配置している。なお、科目配置に当たっては、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている IT スキル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠するよう設定する。</p> <p>具体的には、選択科目として、新たなサービスやソフトウェア等の開発・改善を行うための知識やスキルを習得する「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「情報技術演習Ⅱ」「ソフトウェアプロセスと品質」等を配置する。また情報システムに関するプロジェクトマネジメント、改善等についての知識やスキルを習得するための「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求事項」「システムインテグレーション」等を配置する。あわせて、今後ニーズが高まる先端分野を学ぶ「クラウド」「ビッグデータ」「AI」「IoT」「スーパーコ</p> | <p>を育成する。</p> <p>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</p> <p>(追加)</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>ンピュータ」等を配置した。システムを構築できるようになることで、情報通信技術の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。新たなサービスや起業を目指す中で、情報通信技術を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材を育成する。</u></p> <p>⑨職業専門科目「ネットワークセキュリティ」<br/> <u>「システムデザイン基礎」に続き、ネットワーク通信を活用したシステム構築に関する学修を進める科目として「ネットワーク構築Ⅰ～Ⅲ」を、情報セキュリティやリスク管理について学ぶ「情報セキュリティ演習Ⅰ・Ⅱ」を配置した。</u></p> <p>⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」<br/> <u>「グローバル化する情報通信技術分野の人材」(※1-(2)-⑦ グローバル化する情報通信技術分野の人材参照)で記述したとおり、平成 27(2015)年 10 月末現在の外国人労働者数は 907,896 人で過去最高を更新した。また、外国人労働者を雇用する事業所数は 152,261 カ所で、前年同期比 11.1%増加している。今後、日本では多くの外国人労働者と協働して仕事をすることが想定される。</u></p> <p><u>本学における専攻である情報通信技術と経営の対象とする ICT 分野の人材に関しては、グローバル化が進展しており、産業別の外国人労働者のうち、IT 人材に該当する「情報通信業に就労している外国人の推移」では平成 27(2015)年 10 月末現在、36,522 人存在し、近年増加傾向にある。ソフトウェア開発業務を行っている日本企業の 36.8%が既にオフショア開発(システム開発などの業務を海外企業、または海外の現地法人などに委託すること)を実施しており、今後行う予定の企業を含めると 40.6%となる。</u></p> | <p>⑩職業専門科目「ネットワークセキュリティ」<br/> <u>ICT を活用する際に欠かせない、また現在ネットワークや情報セキュリティの知識・スキルを持った人材の需要が社会で高まる中、システムデザイン科目群を学んだうえでさらに応用的に修得できる科目を配置している。具体的には「情報セキュリティ演習Ⅰ～Ⅲ」「ネットワーク構築Ⅰ～Ⅳ」で構成している。選択科目としており、各学生の将来目標に沿って履修させる。</u></p> <p>⑪展開科目「ビジネス英語」<br/> <u>「グローバル化する ICT 分野の人材」(※1-(2)-⑦ グローバル化する ICT 分野の人材 参照)で記述したとおり、ICT を活用する様々な業界・団体は、急速にグローバル化が進展している。そのため、ICT・ビジネスに関する知識・スキルを持ち、産業・サービスでイノベーションを実現するためには、様々な国の人々と協働できる力が必要である。</u></p> <p><u>専門職大学設置基準第 13 条第 3 項において展開科目は、「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成するための授業科目」とされている。</u></p> <p><u>本学のカリキュラム・ポリシーは、『「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて実践力を身に付け、革新を創造する人材を育成する教育課程を編成する。』としている。本学では、専</u></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>以上のことから本学が専攻する分野である情報通信技術分野の企業等でもグローバル化が促進されており、今後、情報通信技術を活用し、国際社会において新たなサービスの開発やビジネスを起こすためには、多様な国の人とコミュニケーションをとりながら協働して仕事をする力が求められる。</p> <p>上記の社会的ニーズの示されるように、情報通信技術を活用する様々な業界・団体は、急速にグローバル化が進展している。そのため、本学の養成する人材は、情報通信技術・経営に関する知識・スキルを持ち、産業・サービスでイノベーションを実現するために、様々な国の人々と協働できる国際的なコミュニケーション能力を身に付けることとしている。また、グローバル化が進展する今日においては、「情報通信技術」と「経営」の能力を応用的にグローバルな視野をもって展開する力が求められる。つまり、国際社会でコミュニケーションが図れる能力を有することによって、様々な価値観の中で創造的な力を発揮することができる。</p> <p>以上を踏まえ、情報通信技術・経営分野の応用的な能力として展開科目に国際的なコミュニケーション能力習得のための科目群として「グローバルコミュニケーション」を設置した。</p> <p>1 年次～2 年次までの必修科目としてグローバルなビジネス現場を想定した実習科目として「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、英語でビジネスコミュニケーションができる能力を身に付ける。</p> <p>単に英語の4技能を高めるだけではなく、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを英語を通じて身に付ける科目として、「英語ビジネスマネジメント」「英米文学演習」「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」を配置した。また、実際の業務や研究の場でのルールを理解したうえでコミュニケーションをとることができるよう「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」</p> | <p>攻に係る特定の職業の分野は以下である。</p> <p>(ア) <u>ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職</u></p> <p>(イ) <u>ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家</u></p> <p>グローバル化が進展する今日においては、「ICT」と「ビジネス」の能力を応用的にグローバルで展開する力が求められる。つまり、グローバル社会でコミュニケーションが図れる能力を有することによって、様々な価値観の中で創造的な力を発揮することができる。</p> <p>以上のことから、「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳ」ではビジネス現場を想定し、実習科目として英語でビジネスができる能力を養成する。</p> <p>単に英語の4技能を高めるだけではなく、様々な価値観を持ち文化的背景の異なる人々と協働するために、多様性を受け入れられる力、コミュニケーション力、ディスカッション力、ディベート力、プレゼンテーション力、ネゴシエーション力を高める科目を配置した。</p> <p>また、ICT 関連分野にとどまらず、様々な分野・フィールドで英語が活用できるよう、製造業、ファイナンス等の専門英語を学び、実践英語でイノベーション力を高める科目を設定している。</p> <p>今後、グローバル社会において様々な国の人々と協働して、商品・サービスの開発やビジネスを起こすことによって、創造的な役割を担えるよう、科目分類「グローバルコミュニケーション」としてビジネス英語科目群を配置した。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                   |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>「英語通訳論」を配置した。「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。</p> <p>また、さまざまなビジネス分野で英語が活用できるよう、主に3年次以降には「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」などの専門性の高い英語を実践的に学ぶ。</p> |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類

資料 15 時間割 (前期)

新

|  |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 | 106 | 107 | 108 | 109 | 110 | 111 | 112 | 113 | 114 | 115 | 116 | 117 | 118 | 119 | 120 | 121 | 122 | 123 | 124 | 125 | 126 | 127 | 128 | 129 | 130 | 131 | 132 | 133 | 134 | 135 | 136 | 137 | 138 | 139 | 140 | 141 | 142 | 143 | 144 | 145 | 146 | 147 | 148 | 149 | 150 | 151 | 152 | 153 | 154 | 155 | 156 | 157 | 158 | 159 | 160 | 161 | 162 | 163 | 164 | 165 | 166 | 167 | 168 | 169 | 170 | 171 | 172 | 173 | 174 | 175 | 176 | 177 | 178 | 179 | 180 | 181 | 182 | 183 | 184 | 185 | 186 | 187 | 188 | 189 | 190 | 191 | 192 | 193 | 194 | 195 | 196 | 197 | 198 | 199 | 200 | 201 | 202 | 203 | 204 | 205 | 206 | 207 | 208 | 209 | 210 | 211 | 212 | 213 | 214 | 215 | 216 | 217 | 218 | 219 | 220 | 221 | 222 | 223 | 224 | 225 | 226 | 227 | 228 | 229 | 230 | 231 | 232 | 233 | 234 | 235 | 236 | 237 | 238 | 239 | 240 | 241 | 242 | 243 | 244 | 245 | 246 | 247 | 248 | 249 | 250 | 251 | 252 | 253 | 254 | 255 | 256 | 257 | 258 | 259 | 260 | 261 | 262 | 263 | 264 | 265 | 266 | 267 | 268 | 269 | 270 | 271 | 272 | 273 | 274 | 275 | 276 | 277 | 278 | 279 | 280 | 281 | 282 | 283 | 284 | 285 | 286 | 287 | 288 | 289 | 290 | 291 | 292 | 293 | 294 | 295 | 296 | 297 | 298 | 299 | 300 | 301 | 302 | 303 | 304 | 305 | 306 | 307 | 308 | 309 | 310 | 311 | 312 | 313 | 314 | 315 | 316 | 317 | 318 | 319 | 320 | 321 | 322 | 323 | 324 | 325 | 326 | 327 | 328 | 329 | 330 | 331 | 332 | 333 | 334 | 335 | 336 | 337 | 338 | 339 | 340 | 341 | 342 | 343 | 344 | 345 | 346 | 347 | 348 | 349 | 350 | 351 | 352 | 353 | 354 | 355 | 356 | 357 | 358 | 359 | 360 | 361 | 362 | 363 | 364 | 365 | 366 | 367 | 368 | 369 | 370 | 371 | 372 | 373 | 374 | 375 | 376 | 377 | 378 | 379 | 380 | 381 | 382 | 383 | 384 | 385 | 386 | 387 | 388 | 389 | 390 | 391 | 392 | 393 | 394 | 395 | 396 | 397 | 398 | 399 | 400 | 401 | 402 | 403 | 404 | 405 | 406 | 407 | 408 | 409 | 410 | 411 | 412 | 413 | 414 | 415 | 416 | 417 | 418 | 419 | 420 | 421 | 422 | 423 | 424 | 425 | 426 | 427 | 428 | 429 | 430 | 431 | 432 | 433 | 434 | 435 | 436 | 437 | 438 | 439 | 440 | 441 | 442 | 443 | 444 | 445 | 446 | 447 | 448 | 449 | 450 | 451 | 452 | 453 | 454 | 455 | 456 | 457 | 458 | 459 | 460 | 461 | 462 | 463 | 464 | 465 | 466 | 467 | 468 | 469 | 470 | 471 | 472 | 473 | 474 | 475 | 476 | 477 | 478 | 479 | 480 | 481 | 482 | 483 | 484 | 485 | 486 | 487 | 488 | 489 | 490 | 491 | 492 | 493 | 494 | 495 | 496 | 497 | 498 | 499 | 500 | 501 | 502 | 503 | 504 | 505 | 506 | 507 | 508 | 509 | 510 | 511 | 512 | 513 | 514 | 515 | 516 | 517 | 518 | 519 | 520 | 521 | 522 | 523 | 524 | 525 | 526 | 527 | 528 | 529 | 530 | 531 | 532 | 533 | 534 | 535 | 536 | 537 | 538 | 539 | 540 | 541 | 542 | 543 | 544 | 545 | 546 | 547 | 548 | 549 | 550 | 551 | 552 | 553 | 554 | 555 | 556 | 557 | 558 | 559 | 560 | 561 | 562 | 563 | 564 | 565 | 566 | 567 | 568 | 569 | 570 | 571 | 572 | 573 | 574 | 575 | 576 | 577 | 578 | 579 | 580 | 581 | 582 | 583 | 584 | 585 | 586 | 587 | 588 | 589 | 590 | 591 | 592 | 593 | 594 | 595 | 596 | 597 | 598 | 599 | 600 | 601 | 602 | 603 | 604 | 605 | 606 | 607 | 608 | 609 | 610 | 611 | 612 | 613 | 614 | 615 | 616 | 617 | 618 | 619 | 620 | 621 | 622 | 623 | 624 | 625 | 626 | 627 | 628 | 629 | 630 | 631 | 632 | 633 | 634 | 635 | 636 | 637 | 638 | 639 | 640 | 641 | 642 | 643 | 644 | 645 | 646 | 647 | 648 | 649 | 650 | 651 | 652 | 653 | 654 | 655 | 656 | 657 | 658 | 659 | 660 | 661 | 662 | 663 | 664 | 665 | 666 | 667 | 668 | 669 | 670 | 671 | 672 | 673 | 674 | 675 | 676 | 677 | 678 | 679 | 680 | 681 | 682 | 683 | 684 | 685 | 686 | 687 | 688 | 689 | 690 | 691 | 692 | 693 | 694 | 695 | 696 | 697 | 698 | 699 | 700 | 701 | 702 | 703 | 704 | 705 | 706 | 707 | 708 | 709 | 710 | 711 | 712 | 713 | 714 | 715 | 716 | 717 | 718 | 719 | 720 | 721 | 722 | 723 | 724 | 725 | 726 | 727 | 728 | 729 | 730 | 731 | 732 | 733 | 734 | 735 | 736 | 737 | 738 | 739 | 740 | 741 | 742 | 743 | 744 | 745 | 746 | 747 | 748 | 749 | 750 | 751 | 752 | 753 | 754 | 755 | 756 | 757 | 758 | 759 | 760 | 761 | 762 | 763 | 764 | 765 | 766 | 767 | 768 | 769 | 770 | 771 | 772 | 773 | 774 | 775 | 776 | 777 | 778 | 779 | 780 | 781 | 782 | 783 | 784 | 785 | 786 | 787 | 788 | 789 | 790 | 791 | 792 | 793 | 794 | 795 | 796 | 797 | 798 | 799 | 800 | 801 | 802 | 803 | 804 | 805 | 806 | 807 | 808 | 809 | 810 | 811 | 812 | 813 | 814 | 815 | 816 | 817 | 818 | 819 | 820 | 821 | 822 | 823 | 824 | 825 | 826 | 827 | 828 | 829 | 830 | 831 | 832 | 833 | 834 | 835 | 836 | 837 | 838 | 839 | 840 | 841 | 842 | 843 | 844 | 845 | 846 | 847 | 848 | 849 | 850 | 851 | 852 | 853 | 854 | 855 | 856 | 857 | 858 | 859 | 860 | 861 | 862 | 863 | 864 | 865 | 866 | 867 | 868 | 869 | 870 | 871 | 872 | 873 | 874 | 875 | 876 | 877 | 878 | 879 | 880 | 881 | 882 | 883 | 884 | 885 | 886 | 887 | 888 | 889 | 890 | 891 | 892 | 893 | 894 | 895 | 896 | 897 | 898 | 899 | 900 | 901 | 902 | 903 | 904 | 905 | 906 | 907 | 908 | 909 | 910 | 911 | 912 | 913 | 914 | 915 | 916 | 917 | 918 | 919 | 920 | 921 | 922 | 923 | 924 | 925 | 926 | 927 | 928 | 929 | 930 | 931 | 932 | 933 | 934 | 935 | 936 | 937 | 938 | 939 | 940 | 941 | 942 | 943 | 944 | 945 | 946 | 947 | 948 | 949 | 950 | 951 | 952 | 953 | 954 | 955 | 956 | 957 | 958 | 959 | 960 | 961 | 962 | 963 | 964 | 965 | 966 | 967 | 968 | 969 | 970 | 971 | 972 | 973 | 974 | 975 | 976 | 977 | 978 | 979 | 980 | 981 | 982 | 983 | 984 | 985 | 986 | 987 | 988 | 989 | 990 | 991 | 992 | 993 | 994 | 995 | 996 | 997 | 998 | 999 | 1000 | 1001 | 1002 | 1003 | 1004 | 1005 | 1006 | 1007 | 1008 | 1009 | 1010 | 1011 | 1012 | 1013 | 1014 | 1015 | 1016 | 1017 | 1018 | 1019 | 1020 | 1021 | 1022 | 1023 | 1024 | 1025 | 1026 | 1027 | 1028 | 1029 | 1030 | 1031 | 1032 | 1033 | 1034 | 1035 | 1036 | 1037 | 1038 | 1039 | 1040 | 1041 | 1042 | 1043 | 1044 | 1045 | 1046 | 1047 | 1048 | 1049 | 1050 | 1051 | 1052 | 1053 | 1054 | 1055 | 1056 | 1057 | 1058 | 1059 | 1060 | 1061 | 1062 | 1063 | 1064 | 1065 | 1066 | 1067 | 1068 | 1069 | 1070 | 1071 | 1072 | 1073 | 1074 | 1075 | 1076 | 1077 | 1078 | 1079 | 1080 | 1081 | 1082 | 1083 | 1084 | 1085 | 1086 | 1087 | 1088 | 1089 | 1090 | 1091 | 1092 | 1093 | 1094 | 1095 | 1096 | 1097 | 1098 | 1099 | 1100 | 1101 | 1102 | 1103 | 1104 | 1105 | 1106 | 1107 | 1108 | 1109 | 1110 | 1111 | 1112 | 1113 | 1114 | 1115 | 1116 | 1117 | 1118 | 1119 | 1120 | 1121 | 1122 | 1123 | 1124 | 1125 | 1126 | 1127 | 1128 | 1129 | 1130 | 1131 | 1132 | 1133 | 1134 | 1135 | 1136 | 1137 | 1138 | 1139 | 1140 | 1141 | 1142 | 1143 | 1144 | 1145 | 1146 | 1147 | 1148 | 1149 | 1150 | 1151 | 1152 | 1153 | 1154 | 1155 | 1156 | 1157 | 1158 | 1159 | 1160 | 1161 | 1162 | 1163 | 1164 | 1165 | 1166 | 1167 | 1168 | 1169 | 1170 | 1171 | 1172 | 1173 | 1174 | 1175 | 1176 | 1177 | 1178 | 1179 | 1180 | 1181 | 1182 | 1183 | 1184 | 1185 | 1186 | 1187 | 1188 | 1189 | 1190 | 1191 | 1192 | 1193 | 1194 | 1195 | 1196 | 1197 | 1198 | 1199 | 1200 | 1201 | 1202 | 1203 | 1204 | 1205 | 1206 | 1207 | 1208 | 1209 | 1210 | 1211 | 1212 | 1213 | 1214 | 1215 | 1216 | 1217 | 1218 | 1219 | 1220 | 1221 | 1222 | 1223 | 1224 | 1225 | 1226 | 1227 | 1228 | 1229 | 1230 | 1231 | 1232 | 1233 | 1234 | 1235 | 1236 | 1237 | 1238 | 1239 | 1240 | 1241 | 1242 | 1243 | 1244 | 1245 | 1246 | 1247 | 1248 | 1249 | 1250 | 1251 | 1252 | 1253 | 1254 | 1255 | 1256 | 1257 | 1258 | 1259 | 1260 | 1261 | 1262 | 1263 | 1264 | 1265 | 1266 | 1267 | 1268 | 1269 | 1270 | 1271 | 1272 | 1273 | 1274 | 1275 | 1276 | 1277 | 1278 | 1279 | 1280 | 1281 | 1282 | 1283 | 1284 | 1285 | 1286 | 1287 | 1288 | 1289 | 1290 | 1291 | 1292 | 1293 | 1294 | 1295 | 1296 | 1297 | 1298 | 1299 | 1300 | 1301 | 1302 | 1303 | 1304 | 1305 | 1306 | 1307 | 1308 | 1309 | 1310 | 1311 | 1312 | 1313 | 1314 | 1315 | 1316 | 1317 | 1318 | 1319 | 1320 | 1321 | 1322 | 1323 | 1324 | 1325 | 1326 | 1327 | 1328 | 1329 | 1330 | 1331 | 1332 | 1333 | 1334 | 1335 | 1336 | 1337 | 1338 | 1339 | 1340 | 1341 | 1342 | 1343 | 1344 | 1345 | 1346 | 1347 | 1348 | 1349 | 1350 | 1351 | 1352 | 1353 | 1354 | 1355 | 1356 | 1357 | 1358 | 1359 | 1360 | 1361 | 1362 | 1363 | 1364 | 1365 | 1366 | 1367 | 1368 | 1369 | 1370 | 1371 | 1372 | 1373 | 1374 | 1375 | 1376 | 1377 | 1378 | 1379 | 1380 | 1381 | 1382 | 1383 | 1384 | 1385 | 1386 | 1387 | 1388 | 1389 | 1390 | 1391 | 1392 | 1393 | 1394 | 1395 | 1396 | 1397 | 1398 | 1399 | 1400 | 1401 | 1402 | 1403 | 1404 | 1405 | 1406 | 1407 | 1408 | 1409 | 1410 | 1411 | 1412 | 1413 | 1414 | 1415 | 1416 | 1417 | 1418 | 1419 | 1420 | 1421 | 1422 | 1423 | 1424 | 1425 | 1426 | 1427 | 1428 | 1429 | 1430 | 1431 | 1432 | 1433 | 1434 | 1435 | 1436 | 1437 | 1438 | 1439 | 1440 | 1441 | 1442 | 1443 | 1444 | 1445 | 1446 | 1447 | 1448 | 1449 | 1450 | 1451 | 1452 | 1453 | 1454 | 1455 | 1456 | 1457 | 1458 | 1459 | 1460 | 1461 | 1462 | 1463 | 1464 | 1465 | 1466 | 1467 | 1468 | 1469 | 1470 | 1471 | 1472 | 1473 | 1474 | 1475 | 1476 | 1477 | 1478 | 1479 |  |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|

11

[illegible]

新

86

11

87

(新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

| 新        |                       |                                                       |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                         |                                                                 |                                                                    | 旧        |                       |                                                       |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                         |                                                                 |                                                               |
|----------|-----------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 調書<br>番号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                            | 担当授業科目の名称                                                                                                                                                                                                  | 配当<br>年次                                                                                | 担<br>当<br>単<br>位<br>数                                           | 年<br>間<br>開<br>講<br>数                                              | 調書<br>番号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                            | 担当授業科目の名称                                                                                                                                                                                                  | 配当<br>年次                                                                                | 担<br>当<br>単<br>位<br>数                                           | 年<br>間<br>開<br>講<br>数                                         |
| 1        | 専                     | ナカム イチヤ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | イノベーションの志                                                                                                                                                                                                  | 1 前                                                                                     | 10                                                              | 5                                                                  | 1        | 専                     | ナカム イチヤ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | イノベーションの志                                                                                                                                                                                                  | 1 前                                                                                     | 10                                                              | 5                                                             |
| 2        | 専                     | カシマ(カワムツ)リュウ<br>伊 中嶋(川村)隆一<br>＜平成 32 年 4 月＞           | アカウントティング入門<br>アカウントティング応用<br>ファイナンス入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                                 | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 後<br>4 通                                                         | 10<br>2<br>2<br>2<br>4                                          | 5<br>1<br>1<br>1<br>1                                              |          |                       | (追加)                                                  |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                         |                                                                 |                                                               |
| 3        | 専                     | ナンバ(沙織) ミホ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞               | リサーチ入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                                                                 | 1 後<br>3 後<br>4 通                                                                       | 10<br>2<br>4                                                    | 5<br>1<br>1                                                        | 2        | 専                     | ナンバ(沙織) ミホ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞               | ビジネスデザインⅠ<br>ビジネスデザインⅡ<br>ファシリテーション<br>デザイン思考ワーク<br>ショップ設計<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                             | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>4 後<br>3 後<br>4 通                                                  | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4                                      | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
| 4        | 専                     | エイトリアン デビッド<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | AI<br>ネットワーク技術<br>データサイエンス<br>IoT                                                                                                                                                                          | 4 前<br>1 後<br>2 後<br>3 後                                                                | 1<br>5<br>2<br>1                                                | 1<br>5<br>2<br>1                                                   | 3        | 専                     | エイトリアン デビッド<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | データサイエンス<br>AI<br>ネットワーク技術<br>シミュレーションに<br>よる問題分析<br>IoTⅠ<br>IoTⅡ                                                                                                                                          | 2 後<br>4 前<br>1 後<br>3 後<br>3 後<br>4 前                                                  | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                      | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                    |
| 4        | 専                     | テラキ(カハシ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞              | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>3 前<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                  | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                    | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                         | 4        | 専                     | テラキ(カハシ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞              | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>1 後<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                  | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                    | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
| 5        | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ<br>ネットワーク構築Ⅳ                                                                                                                     | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前                                                  | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2                                    | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                         | 5        | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ<br>ネットワーク構築Ⅳ                                                                                                                     | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後                                           | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2<br>2                               | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                               |
| 6        | 実<br>専                | クミ ノブユキ<br>久米 信行<br>＜平成 32 年 4 月＞                     | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | 6        | 実<br>専                | クミ ノブユキ<br>久米 信行<br>＜平成 32 年 4 月＞                     | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |



|    |      |                                       |                   |     |    |   |
|----|------|---------------------------------------|-------------------|-----|----|---|
| 7  | 実専   | ヒヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br><平成 32 年 4 月>     | 情報システムのプロジェクト管理   | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | システムインテグレーション     | 3 後 | 1  | 1 |
|    |      |                                       | 情報セキュリティ演習 I      | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 情報セキュリティ演習 II     | 3 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
| 8  | 実専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br><平成 32 年 4 月>     | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | オペレーティングシステムクラウド  | 1 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | インターンシップ I        | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | インターンシップ II       | 3 後 | 12 | 1 |
|    |      |                                       | インタラクティブ・システムデザイン | 2 前 | 2  | 1 |
| 9  | 実専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br><平成 32 年 4 月>    | 英語コア・スキルズ I       | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 英語コア・スキルズ II      | 1 後 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 英語アカデミックリテラシー     | 2 前 | 6  | 3 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト I   | 1 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト II  | 1 後 | 2  | 1 |
| 10 | 実(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br><平成 32 年 4 月> | イノベーションプロジェクト III | 2 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト IV  | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト V   | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト VI  | 3 通 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | ビジネスフィールドリサーチ I   | 4 通 | 2  | 1 |
| 11 | 実(研) | トミヅリ ユカ<br>富澤 豊<br><平成 32 年 4 月>      | ビジネスフィールドリサーチ II  | 2 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | キャリアデザイン I        | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | キャリアデザイン II       | 2 前 | 5  | 5 |
| 12 | 実(研) | イノ トキ<br>磯 俊樹<br><平成 32 年 4 月>        | マーケティング基礎         | 3 後 | 5  | 5 |
|    |      |                                       | マーケティング応用         | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | インターンシップ I        | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | インターンシップ II       | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
| 13 | 実(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | データサイエンス          | 2 後 | 2  | 2 |
|    |      |                                       | 数学基礎 A            | 2 後 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | 数学基礎 C            | 3 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | モバイルサービス概論        | 2 前 | 4  | 2 |
| 14 | 実(研) | カワ ナホト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | データ構造と処理法         | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 情報系数学応用 B         | 2 後 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | 情報系数学応用 C         | 3 前 | 4  | 2 |
| 15 | 実(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | データベース            | 2 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | データ構造と処理法         | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 離散数学 I            | 1 後 | 10 | 5 |
| 16 | 実(研) | カワ ナホト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | 離散数学 II           | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | データベース            | 2 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | スタディスキル           | 1 前 | 10 | 5 |
| 7  | 実専   | ヒヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br><平成 32 年 4 月>     | ICT リテラシー         | 1 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | ビッグデータ            | 3 後 | 1  | 1 |
|    |      |                                       | 情報システムのプロジェクト管理   | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 情報システムの失敗と分析      | 3 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 情報セキュリティ演習 I      | 2 後 | 2  | 1 |
| 8  | 実専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br><平成 32 年 4 月>     | 情報セキュリティ演習 II     | 3 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 情報セキュリティ演習 III    | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | オペレーティングシステムクラウド  | 1 前 | 4  | 2 |
| 9  | 実専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br><平成 32 年 4 月>    | インターンシップ I        | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | インターンシップ II       | 3 後 | 12 | 1 |
|    |      |                                       | インタラクティブ・システムデザイン | 2 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 英語コア・スキルズ I       | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 英語コア・スキルズ II      | 1 後 | 10 | 5 |
| 10 | 実(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br><平成 32 年 4 月> | 英語アカデミックリテラシー     | 2 前 | 6  | 3 |
|    |      |                                       | アカウンティングファイナンス    | 1 後 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト I   | 2 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト II  | 1 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト III | 1 後 | 2  | 1 |
| 11 | 実(研) | トミヅリ ユカ<br>富澤 豊<br><平成 32 年 4 月>      | イノベーションプロジェクト IV  | 2 前 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト V   | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | イノベーションプロジェクト VI  | 3 通 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | ビジネスフィールドリサーチ I   | 4 通 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | ビジネスフィールドリサーチ II  | 2 前 | 2  | 1 |
| 12 | 実(研) | イノ トキ<br>磯 俊樹<br><平成 32 年 4 月>        | 総合理論演習            | 2 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | キャリアデザイン I        | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | キャリアデザイン II       | 1 後 | 5  | 5 |
|    |      |                                       | マーケティング基礎         | 2 前 | 5  | 5 |
| 13 | 実(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | マーケティング応用         | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | インターンシップ I        | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | インターンシップ II       | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
| 14 | 実(研) | カワ ナホト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | データサイエンス          | 2 後 | 2  | 2 |
|    |      |                                       | モバイルコンピューティング I   | 1 後 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | モバイルコンピューティング II  | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
|    |      |                                       | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
| 15 | 実(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | データ構造と処理法         | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 離散数学 I            | 1 後 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 離散数学 II           | 2 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | データベース            | 2 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | 総合理論演習            | 3 後 | 2  | 1 |
| 16 | 実(研) | カワ ナホト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | 総合実践演習            | 4 通 | 4  | 1 |
|    |      |                                       | スタディスキル           | 1 前 | 10 | 5 |
|    |      |                                       | ICT リテラシー         | 1 前 | 4  | 2 |
|    |      |                                       | ビッグデータ            | 3 後 | 1  | 1 |
|    |      |                                       | 情報システムのプロジェクト管理   | 2 後 | 2  | 1 |

|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|----|------|-----------------------------------|------------------|----|----|---|--|--|--|------------------|----|----|---|
|    |      |                                   | インターンシップⅠ        | 3前 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップⅠ        | 3前 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | インターンシップⅡ        | 3後 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップⅡ        | 3後 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 15 | 実(研) | カマニ オサム<br>鎌谷 修<br>＜平成32年4月＞      | 情報技術演習Ⅰ          | 2後 | 10 | 5 |  |  |  | 情報技術演習Ⅰ          | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 情報技術演習Ⅱ          | 3前 | 2  | 1 |  |  |  | 情報技術演習Ⅱ          | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | IoT              | 3後 | 1  | 1 |  |  |  | IoTⅠ             | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  | IoTⅡ             | 4前 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 16 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | コンピュータとソフトウェア基礎  | 1前 | 10 | 5 |  |  |  | コンピュータとソフトウェア基礎  | 1前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | コンピュータアーキテクチャ    | 1後 | 4  | 2 |  |  |  | コンピュータアーキテクチャ    | 1後 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | スーパーコンピュータ       | 4前 | 2  | 1 |  |  |  | スーパーコンピュータ       | 4前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 17 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | 数学基礎B            | 1後 | 10 | 5 |  |  |  | オペレーションズリサーチ     | 2前 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | 情報系数学応用A         | 2前 | 4  | 2 |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   | ビッグデータ           | 3後 | 1  | 1 |  |  |  | ビッグデータ           | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | AI               | 4前 | 1  | 1 |  |  |  | AI               | 4前 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | Webシステム演習        | 2前 | 2  | 1 |  |  |  | Webシステム演習        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 18 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ソフトウェア設計・構築      | 2前 | 10 | 5 |  |  |  | ソフトウェア設計・構築      | 2前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システム設計演習         | 2後 | 10 | 5 |  |  |  | システム設計演習         | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システムインテグレーション    | 3後 | 1  | 1 |  |  |  | システムインテグレーション    | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 19 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ゲーム理論と交渉術        | 2前 | 10 | 5 |  |  |  | ゲーム理論と交渉術        | 2前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | フィンテック           | 2後 | 10 | 5 |  |  |  | フィンテック           | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | スタートアップ基礎(起業論)   | 3後 | 1  | 1 |  |  |  | スタートアップ基礎(起業論)   | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 4通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 4通 | 4  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           |    |    |   |  |  |  | 総合実践演習           |    |    |   |
| 20 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ビジネス英語実習Ⅰ        | 1前 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習Ⅰ        | 1前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅱ        | 1後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習Ⅱ        | 1後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅲ        | 2前 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習Ⅲ        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 英語ビジネスマネジメント     | 2後 | 6  | 3 |  |  |  | 英語ビジネスマネジメント     | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英米文学演習           | 2後 | 6  | 3 |  |  |  | 英米文学演習           | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英語通訳論            | 3前 | 6  | 3 |  |  |  | 英語通訳論            | 3前 | 6  | 3 |
| 21 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ビジネスフィールドリサーチⅠ   | 2前 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネスフィールドリサーチⅠ   | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネスフィールドリサーチⅡ   | 2後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネスフィールドリサーチⅡ   | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
| 22 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | 組織行動論            | 2後 | 2  | 1 |  |  |  | 組織行動論            | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 人的資源管理論          | 3前 | 2  | 1 |  |  |  | 人的資源管理論          | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
| 23 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | 先端グローバル社会デザインと経営 | 2前 | 4  | 2 |  |  |  | 先端グローバル社会        | 1後 | 4  | 2 |
|    |      |                                   |                  | 4前 | 2  | 1 |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   | 職業倫理             | 2前 | 4  | 2 |  |  |  | 職業倫理             | 1後 | 4  | 2 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
| 24 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | コーポレートファイナンス     | 3後 | 2  | 1 |  |  |  | コーポレートファイナンス     | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 税務会計・会計処理        | 4後 | 2  | 1 |  |  |  | 税務会計・会計処理        | 4後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
| 25 | 実(研) | ホツタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ビジネスゲームによる経営意思決定 | 3前 | 2  | 1 |  |  |  | モチベーションマネジメント    | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  | ビジネスゲームによる経営意思決定 | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |
|    |      |                                   |                  |    |    |   |  |  |  |                  |    |    |   |

|    |    |                                 |                                  |                  |   |   |   |
|----|----|---------------------------------|----------------------------------|------------------|---|---|---|
| 22 | 兼任 | ﾌｼﾞﾓﾃﾙ ｼﾅ<br>藤森 志保<br><平成33年4月> | ICTと人間<br>ｸﾛｽﾃｯｸﾋﾞｼﾞﾈ<br>ｽﾃﾞｻﾞｲﾝ | <u>2</u> 後<br>4前 | 4 | 2 | 1 |
| 36 | 兼任 | ﾌｼﾞﾓﾃﾙ ｼﾅ<br>藤森 志保<br><平成33年4月> | ICTと人間                           | <u>2</u> 後       | 4 | 2 |   |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

9. 基礎科目に情報科学基礎科目を配置しているが、専攻に係る職業分野の専門教育にあたる内容は基礎科目に配置することが適切であるとは考えられないため、基礎科目の趣旨を踏まえて修正すること。

(対応)

基礎科目の趣旨を踏まえ、科目区分や科目内容を改める。

基礎科目の趣旨について改めて確認するとともに、特に情報科学基礎科目の配置されていた科目について、その内容や段階的な学習における役割などの観点から、見直しを行った。あわせて教育課程の全体構成、および各ポリシーとの整合性について検証を行い、教育課程の概要等の変更を行った。

基礎科目はその目的が「生涯にわたり自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための授業科目」であることを踏まえ、本学においては、現代社会の現状や課題を自ら学びとる主体性を育成する姿勢を育むこと、どのような技術革新があっても対応できる能力を身につけることを目的とし「現代社会基礎」科目群を設置するよう変更する。これらの科目の学修を通じ、職業人として自分の考えや意見を論理的に説得力をもって表現できる思考力、明確な目標をもちその実現のために自ら考え意欲的に行動する力、課題解決のための柔軟で適切な行動を起こすことができる力を養成する。当初設置していた「情報科学基礎」科目群については、ICT 知識・スキルの基礎や普遍的な内容を学ぶ構成となっており、意見の通り、専攻に係る職業分野の専門教育につながる内容であると判断したため、科目群を廃止し、配置されていた「コンピュータとソフトウェア基礎」「データ構造と処理法」「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「オペレーションズリサーチ」「データサイエンス」は、職業専門科目に移動する。

「モバイルコンピューティングⅠ」と「モバイルコンピューティングⅡ」については科目区分の変更にあわせて内容を検討した結果、削除することとした。また、「離散数学Ⅰ」と「離散数学Ⅱ」については、科目区分の変更および意見 11 に対応するため内容を再考し、その他の情報系科目を学修するために必要な数学的な知識や考え方を習得する科目を再編することに伴い、削除することとした。

(新旧対照表) 教育課程等の概要

新

旧

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称 | 配当<br>年次   | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|---------|------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |         |            | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎科目     | 現代社会基礎  | イノベーションの志  | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | スタディスキル    | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅠ | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 数学基礎A      | 1前  | 2  | 2  |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | リサーチ入門     | 1後  | 2  |    |      | ○  |       |              | 1   |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅡ | 1後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 数学基礎B      | 1後  | 2  | 2  |      | ○  |       |              | 1   |    |    |
|          |         | 数学基礎C      | 1後  | 2  | 2  |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | キャリアデザインⅠ  | 2前  | 1  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 職業倫理       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    |    |
|          |         | 先端グローバル社会  | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    |    |
|          |         | 科学史        | 2後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    |    |
|          |         | ICTと人間     | 2後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    |    |
|          |         | キャリアデザインⅡ  | 3後  | 1  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
| 小計（14科目） |         |            | —   | 12 | 14 | 0    | —  | —     | 4            | 2   | 1  |    |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称 | 配当<br>年次       | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|---------|----------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |         |                | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎科目     | 現代社会基礎  | イノベーションの志      | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | スタディスキル        | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅠ     | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | キャリアデザインⅠ      | 1後  | 1  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 英語コア・スキルズⅡ     | 1後  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 職業倫理           | 1後  | 2  | 2  |      | ○  |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | 先端グローバル社会      | 1後  | 2  | 2  |      | ○  |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | キャリアデザインⅡ      | 2前  | 1  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 科学史            | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    | 兼1 |
|          |         | ICTと人間         | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     |    | 兼1 |
|          | 情報科学基礎  | コンピュータソフトウェア基礎 | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | データ構造と処理法      | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | ICTリテラシー       | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | オペレーティングシステム   | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | 離散数学Ⅰ          | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | コンピュータアーキテクチャⅠ | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | 離散数学Ⅱ          | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | オペレーティングシステムⅡ  | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |         | オペレーティングシステムⅢ  | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベースⅠ        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベースⅡ        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベースⅢ        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベースⅣ        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |         | データベースⅤ        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
| 小計（21科目） |         |                | —   | 16 | 24 | 0    | —  | —     | 7            | 7   | 7  | 兼4 |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称      | 配当<br>年次        | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|--------------|-----------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |              |                 | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 職業専門科目   | システムデザイン基礎   | コンピュータソフトウェア基礎  | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | プログラミングⅠ        | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | データ構造と処理法       | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | オペレーティングシステム    | 1前  | 2  |    |      | ○  |       |              |     | 1  |    |
|          |              | プログラミングⅡ        | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | ネットワーク技術        | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | コンピュータアーキテクチャ   | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | ソフトウェア設計・構築     | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | データベース          | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | キャリアデザインⅠ       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | キャリアデザインⅡ       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | キャリアデザインⅢ       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          | システムデザイン応用   | Webシステム演習       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | システムデザイン        | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | 情報システムのプロジェクト管理 | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | 情報技術演習Ⅱ         | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | ソフトウェアプロセスと品質   | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | モデル化と要求開発       | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | システムインテグレーション   | 3後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | クラウド            | 3後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | ビッグデータ          | 3後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | IoT             | 3後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | スーパーコンピュータ      | 4前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | AI              | 4前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          | ネットワークセキュリティ | ネットワーク構築Ⅰ       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | 情報セキュリティ演習Ⅰ     | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | ネットワーク構築Ⅱ       | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |              | 情報セキュリティ演習Ⅱ     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
| 小計（61科目） |              |                 | —   | 68 | 80 | 0    | —  | —     | 13           | 6   | 4  | 兼5 |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称  | 配当<br>年次          | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------|----------|-------------------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|          |          |                   | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 職業専門科目   | システムデザイン | プログラミングⅠ          | 1前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | プログラミングⅡ          | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | ネットワーク技術          | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | モデル化と要求開発         | 1後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | Webシステム演習         | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | ソフトウェア設計・構築       | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | データベース            | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | インタラクティブ・システムデザイン | 2前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | 情報技術演習Ⅰ           | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システム設計演習          | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | 離散数学Ⅱ             | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | 情報システムのプロジェクト管理   | 2後  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          | ICT      | 情報技術演習Ⅱ           | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | ソフトウェアプロセスと品質     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | 情報システムの発展と分岐      | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
|          |          | システムインテグレーション     | 3前  | 2  |    |      | ○  |       | 1            |     |    |    |
| 小計（65科目） |          |                   | —   | 68 | 80 | 0    | —  | —     | 14           | 6   | 4  | 兼5 |

| 卒業・修了要件及び履修方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 卒業・修了要件及び履修方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【卒業要件】<br/>           次により必修科目 <u>94</u> 単位、選択科目 <u>34</u> 単位以上、計 <u>128</u> 単位以上を修得すること。<br/>           基礎科目 20 単位以上<br/>           選択科目から <u>8</u> 単位を履修する。うち、数学基礎 A～C から 4 単位以上を履修する。<br/>           職業専門科目 82 単位以上<br/>           選択科目から <u>14</u> 単位を履修する。<br/>           展開科目 20 単位以上<br/>           選択科目から <u>12</u> 単位を履修する。<br/>           総合科目 6 単位</p> <p>実習科目の 40 単位<br/>           うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む<br/>           (履修科目の登録の上限：1 年次 <u>46</u> 単位 (年間)<br/>           2・4 年次 <u>42</u> 単位 (年間))</p> | <p>【卒業要件】<br/>           次により必修科目 <u>96</u> 単位、選択科目 <u>32</u> 単位以上、計 <u>128</u> 単位以上を修得すること。<br/>           基礎科目 20 単位以上<br/>           選択科目のうち、現代社会基礎から <u>2</u> 単位、情報科学基礎から <u>2</u> 単位を選択必修<br/>           職業専門科目 82 単位以上<br/>           選択科目から <u>16</u> 単位を選択必修とする。<br/>           展開科目 20 単位以上<br/>           選択科目から <u>12</u> 単位を選択必修とする。<br/>           総合科目 6 単位以上</p> <p>実験・実習科目の 40 単位<br/>           うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む<br/>           (履修科目の登録の上限：1 年次 <u>50</u> 単位 (年間)<br/>           2・4 年次 <u>44</u> 単位 (年間))</p> |

(新旧対照表) シラバス (別紙 5)

(新旧対照表) 学則 (別表 1、2)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>別表 1</p> <p>&lt; <u>情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科</u> 授業科目の名称及び単位数 &gt;</p> <p>基礎科目</p> <p>現代社会基礎</p> <p>・ <u>数学基礎 A</u> 2</p> <p>・ <u>リサーチ入門</u> 2</p> <p>・ <u>数学基礎 B</u> 2</p> <p>・ <u>数学基礎 C</u> 2</p> <p>(削除)</p> <p>職業専門科目(<u>経営、情報通信技術</u>)</p> <p>ビジネス基礎</p> <p>・ <u>アカウンティング入門</u> 2</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>ビジネス応用</p> <p>・ <u>アカウンティング応用</u> 2</p> <p>・ <u>ファイナンス入門</u> 2</p> <p>・ <u>クロステックビジネスデザイン</u> 2</p> <p>・ <u>デザインと経営</u> 2</p> | <p>別表 1</p> <p>&lt; <u>I C T イノベーション学部 I C T イノベーション学科</u> 授業科目の名称及び単位数 &gt;</p> <p>基礎科目</p> <p>現代社会基礎</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p><u>情報科学基礎</u></p> <p>職業専門科目(<u>ビジネス、ICT</u>)</p> <p>ビジネス基礎</p> <p>(追加)</p> <p>・ <u>アカウンティング</u> 2</p> <p>・ <u>ビジネスデザイン I</u> 2</p> <p>・ <u>ファイナンス</u> 2</p> <p>ビジネス応用</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> <p>(追加)</p> |

|                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| (削除)              | ・ビジネスデザインⅡ 2         |
| (削除)              | ・ゲーム理論と交渉術 2         |
| (削除)              | ・モチベーションマネジメント 2     |
| (削除)              | ・クラウド 2              |
| (削除)              | ・ビッグデータ 2            |
| (削除)              | ・フィンテック 2            |
| (削除)              | ・AI 2                |
| (削除)              | ・デザイン思考ワークショップ設計 2   |
| システムデザイン基礎        | システムデザイン             |
| コンピュータとソフトウェア基礎 2 | (追加)                 |
| データ構造と処理法 2       | (追加)                 |
| オペレーティングシステム 2    | (追加)                 |
| コンピュータアーキテクチャ 2   | (追加)                 |
| モバイルサービス概論 2      | (追加)                 |
| 情報系数学応用 A 2       | (追加)                 |
| データサイエンス 2        | (追加)                 |
| 情報系数学応用 B 2       | (追加)                 |
| 情報系数学応用 C 2       | (追加)                 |
| (削除)              | (追加)                 |
| (削除)              | ・モデル化と要求開発 2         |
| (削除)              | ・Web システム演習 2        |
| (削除)              | ・インタラクティブ・システムデザイン 2 |
| (削除)              | ・開発マネジメント 2          |
| (削除)              | ・情報システムのプロジェクト管理 2   |
| (削除)              | ・情報技術演習Ⅱ 2           |
| (削除)              | ・ソフトウェアプロセスと品質 2     |
| (削除)              | ・情報システムの失敗と分析 2      |
| (削除)              | ・システムインテグレーション 2     |
| (削除)              | ・シミュレーションによる問題分析 2   |
| (削除)              | ・IoTⅠ 2              |
| (削除)              | ・スーパーコンピュータ 2        |
| (削除)              | ・IoTⅡ 2              |
| システムデザイン応用        | (追加)                 |
| ・システムインテグレーション 2  | (追加)                 |

- ・クラウド 2
- ・ビッグデータ 2
- ・IoT 2
- ・AI 2

ネットワークセキュリティ

(削除)

(削除)

別表 2

| 科目区分   |                |              | 卒業単位 |    |    |     |
|--------|----------------|--------------|------|----|----|-----|
| 基礎科目   | 現代社会基礎         |              | 必修   | 選択 | 自由 | 小計  |
|        |                |              | 12   | 8  | 0  | 20  |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎       | 8    | 14 | 0  | 82  |
|        |                | ビジネス応用       | 0    |    | 0  |     |
|        |                | ビジネス実践       | 42   |    | 0  |     |
|        | 情報通信技術         | システムデザイン基礎   | 18   |    | 0  |     |
|        |                | システムデザイン応用   | 0    |    | 0  |     |
|        |                | ネットワークセキュリティ | 0    |    | 0  |     |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション |              | 8    | 12 | 0  | 20  |
| 総合科目   |                |              | 6    | 0  | 0  | 6   |
| 合計     |                |              | 94   | 34 | 0  | 128 |

(追加)

(追加)

(追加)

(追加)

ネットワークセキュリティ

・情報セキュリティ演習Ⅲ 2

・ネットワーク構築Ⅳ 2

別表 2

| 科目区分   |                |              | 卒業単位 |    |    |     |
|--------|----------------|--------------|------|----|----|-----|
| 基礎科目   |                |              | 必修   | 選択 | 自由 | 小計  |
|        |                | 現代社会基礎       | 10   | 2  | 0  | 20  |
|        |                | 情報科学基礎       | 6    | 2  | 0  |     |
| 職業専門科目 | ビジネス           | ビジネス基礎       | 10   | 16 | 0  | 82  |
|        |                | ビジネス応用       | 0    |    | 0  |     |
|        |                | ビジネス実践       | 42   |    | 0  |     |
|        | ICT            | システムデザイン     | 14   |    | 0  |     |
|        |                | ネットワークセキュリティ | 0    |    | 0  |     |
|        |                |              |      |    |    |     |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語       | 8    | 12 | 0  | 20  |
| 総合科目   |                | 総合演習         | 6    | 0  | 0  | 6   |
| 合計     |                |              | 96   | 32 | 0  | 128 |



(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (33、36～39 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>P33 カリキュラム構成図</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>【P30 カリキュラム構成図】</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>【36～39 ページ】</p> <p>③基礎科目「現代社会基礎」</p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>情報通信技術と経営の知識・スキル</u>を手段としより良い社会に変革するという「志」とそれを実現するための目標、<u>企画を立て、学修意欲と本学での学びを具体的なものとする。</u>4年間の学修のモチベーションを入学時点で構築することは、学習効果を高め、退学予防の観点からも重要だと考えている。「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を設定し、<u>自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアをデザインし行動できるように具体化していく。</u></p> <p>また、1年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。「英語コア・スキルズⅠ・Ⅱ」を設定し英語4技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。<u>社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）の基本的な内容として「数学基礎 A～C」を配置し、2科目以上の履修を必須とする。また、「リサーチ入門」</u></p> | <p>【34 ページ】</p> <p>④基礎科目「現代社会基礎」</p> <p>時代の変化に対応できる基礎的な知識を学ぶ。職業人として必要な基礎知識を学ぶとともに、現代社会の課題や現状を理解しイノベーションの必要性を理解する。「イノベーションの志」では、<u>ICT</u>を手段としより良い社会に変革するという「志」を立て<u>高い目標の下に学修意欲を高める。</u>4年間の学修のモチベーションを入学時点で構築することは、学習効果を高め、退学予防の観点からも重要だと考えている。また、1年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。次に「英語コア・スキルズ」を設定し英語4技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。さらに、<u>「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を設定し、社会人となるうえで必要なマナーやスキル、考え方をもとに、自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアデザインを行う。さらに仕事とは何か、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについて考え、行動できるように具体化していく。その他、「職業倫理」「科学史」等イノベーション人材に繋がる基礎的な内容を学ぶ。</u></p> |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>通信技術に関する知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「コンピュータとソフトウェア基礎」「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「モバイルサービス概論」を配置し、情報通信技術の基本的な技術とその成り立ちを理解できるように設定する。あわせて「情報系数学応用 A～C」「データサイエンス」を配置し、情報系科目を発展的に学ぶために必要な数学的な理解を深める素地を作る。</p> <p>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、情報通信技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</p> <p>⑦ 職業専門科目「システムデザイン応用」<br/>「システムデザイン基礎」に続き、イノベーションを実現するために必要な情報通信技術に関する具体的な知識やスキルを実践的に習得できる専門科目を配置している。なお、科目配置に当たっては、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「IT スキル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠するように設定する。</p> <p>具体的には、選択科目として、新たなサービスやソフトウェア等の開発・改善を行うための知識やスキルを習得するための「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「情報技術演習Ⅱ」「ソフトウェアプロセスと品質」等を配置する。また情報システムに関するプロジェクトマネジメン</p> | <p>戦力として活躍できる ICT 知識・スキルと今後、ニーズが高まる先端分野を学ぶ仕組みとしている。新たなサービスや起業を目指す中で、ICT を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材を育成する。</p> <p>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</p> <p>(追加)</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>ト、改善等についての知識やスキルを習得するための「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求事項」「システムインテグレーション」等を配置する。あわせて、今後ニーズが高まる先端分野を学ぶ「クラウド」「ビッグデータ」「AI」「IoT」「スーパーコンピュータ」等を配置した。システムを構築できるようになることで、情報通信技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。情報通信技術を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材を育成する。</p> |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

新

101

18

[illegible]

新

103

資料 15 時間割（後期）

旧

| 期    | 月  | 日 | 時間 | 科目 | 担当 | 期  | 月  | 日 | 時間 | 科目 | 担当 | 期  | 月  | 日 | 時間 | 科目 | 担当 |
|------|----|---|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|---|----|----|----|
| 第1期  | 1  | 1 | 1  | 1  | 1  | 2  | 2  | 1 | 1  | 1  | 1  | 3  | 3  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第2期  | 2  | 1 | 1  | 1  | 1  | 3  | 3  | 1 | 1  | 1  | 1  | 4  | 4  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第3期  | 3  | 1 | 1  | 1  | 1  | 4  | 4  | 1 | 1  | 1  | 1  | 5  | 5  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第4期  | 4  | 1 | 1  | 1  | 1  | 5  | 5  | 1 | 1  | 1  | 1  | 6  | 6  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第5期  | 5  | 1 | 1  | 1  | 1  | 6  | 6  | 1 | 1  | 1  | 1  | 7  | 7  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第6期  | 6  | 1 | 1  | 1  | 1  | 7  | 7  | 1 | 1  | 1  | 1  | 8  | 8  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第7期  | 7  | 1 | 1  | 1  | 1  | 8  | 8  | 1 | 1  | 1  | 1  | 9  | 9  | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第8期  | 8  | 1 | 1  | 1  | 1  | 9  | 9  | 1 | 1  | 1  | 1  | 10 | 10 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第9期  | 9  | 1 | 1  | 1  | 1  | 10 | 10 | 1 | 1  | 1  | 1  | 11 | 11 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第10期 | 10 | 1 | 1  | 1  | 1  | 11 | 11 | 1 | 1  | 1  | 1  | 12 | 12 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第11期 | 11 | 1 | 1  | 1  | 1  | 12 | 12 | 1 | 1  | 1  | 1  | 13 | 13 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第12期 | 12 | 1 | 1  | 1  | 1  | 13 | 13 | 1 | 1  | 1  | 1  | 14 | 14 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第13期 | 13 | 1 | 1  | 1  | 1  | 14 | 14 | 1 | 1  | 1  | 1  | 15 | 15 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第14期 | 14 | 1 | 1  | 1  | 1  | 15 | 15 | 1 | 1  | 1  | 1  | 16 | 16 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第15期 | 15 | 1 | 1  | 1  | 1  | 16 | 16 | 1 | 1  | 1  | 1  | 17 | 17 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第16期 | 16 | 1 | 1  | 1  | 1  | 17 | 17 | 1 | 1  | 1  | 1  | 18 | 18 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第17期 | 17 | 1 | 1  | 1  | 1  | 18 | 18 | 1 | 1  | 1  | 1  | 19 | 19 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |
|      |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |    |    | 5 | 5  | 5  | 5  |
| 第18期 | 18 | 1 | 1  | 1  | 1  | 19 | 19 | 1 | 1  | 1  | 1  | 20 | 20 | 1 | 1  | 1  | 1  |
|      |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |    |    | 2 | 2  | 2  | 2  |
|      |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |    |    | 3 | 3  | 3  | 3  |
|      |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |    |    | 4 | 4  | 4  | 4  |



10. 展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応しているのか不明確であるため、当該人材に係る社会的ニーズを示して、展開科目の各領域及び各授業科目の配置の考え方及び必要性を明確にするか修正すること。その際には、他の審査意見に対応して修正されるディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの整合性についても留意すること。

(対応)

展開科目で設定されている各領域及び各授業科目が、専攻分野の業界等において求められている資質・能力を備えた人材像に対応しているのか不明確であることご指摘を受け、本学で定める展開科目に関し、社会的ニーズがあることを明確にしたうえ、本学の養成する人材にとって、展開科目の各領域及び各授業科目が専攻分野の業界等において求められていることが明確になるように修正する。

#### <社会的な人材ニーズ>

平成 27 年 10 月末現在の外国人労働者数は 907,896 人で過去最高を更新した。また、外国人労働者を雇用する事業所数は 152,261 カ所で、前年同期比 11.1%増加している。今後、日本では多くの外国人労働者と協働して仕事をするのが想定される。

本学における専攻である情報通信技術と経営の対象とする ICT 分野の人材に関しては、グローバル化が進展しており、産業別の外国人労働者のうち、IT 人材に該当する「情報通信業に就労している外国人の推移」では平成 27 年 10 月末現在、36,522 人存在し、近年増加傾向にある。ソフトウェア開発業務を行っている日本企業の 36.8%が既にオフショア開発(システム開発などの業務を海外企業、または海外の現地法人などに委託すること)を実施しており、今後行う予定の企業を含めると 40.6%となる。

以上のことから本学が専攻する分野である情報通信技術分野の企業等でもグローバル化が促進されており、今後、情報通信技術を活用し、国際社会において新たなサービスの開発やビジネスを起こすためには、多様な国の人とコミュニケーションをとりながら協働して仕事をする力が求められる。

#### <展開科目の考え方、配置の考え方>

上記の社会的ニーズに示されるように、情報通信技術を活用する様々な業界・団体は、急速にグローバル化が進展している。そのため、本学の養成する人材は、情報通信技術・経営に関する知識・スキルを持ち、産業・サービスでイノベーションを実現するために、様々な国の人々と協働できる国際的なコミュニケーション能力を身に付けることとしている。また、グローバル化が進展する今日においては、「情報通信技術」と「経営」の能力を応用的にグローバルな視野をもって展開する力が求められる。つまり、国際社会でコミュニケーションが図れる能力を有することによって、様々な価値観の中で創造的な力を発揮することができる。

以上を踏まえ、情報通信技術・経営分野の応用的な能力として展開科目に国際的なコミュニケーション能力習得のための科目群として「グローバルコミュニケーション」を設置した。

1 年次～2 年次までの必修科目としてグローバルなビジネス現場を想定した実習科目として「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、英語でビジネスコミュニケーションができる能力を身に付ける。

さらに、単に英語の 4 技能を高めるだけではなく、様々な価値観を持ち文化的背景の異なる人々と協働するために、2 年次以降の「実践英語：多文化理解」により多様性を受け入れられる力を学び、「英語ディスカッション・ディベート」では、コミュニケーション力、ディスカッション力、ディベート力、プレゼンテーション力を身に付ける。さらにビジネスの現場におけるネゴシエーション力を高める科目として「英語ネゴシエーション」を配置した。

また、様々なビジネス分野で英語が活用できるよう、主に 3 年次以降には「実践英語：製造業」、「実践英語：ファイナンス」等の専門英語を実践的に学ぶ。

上記のように展開科目の各領域及び各授業科目の配置の考え方及び必要性を明確にするため、設置の趣旨等を記載した書類の「4、教育課程の編成の考え方及び特色」を中心に改める。その際、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーの見直しも行った。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (32、33、39～40 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[32 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>(中略)</p> <p>展開科目は「グローバルコミュニケーション」科目群から構成している。変化の激しいグローバル社会でイノベーションを実現するため、職業専門科目で修得した知識・スキルのうえにビジネスにおけるグローバルコミュニケーションを身に付けることを目的に「ビジネス英語実習」を配置している。また、前述したとおり国内産業への外国人材の流入、オフショア開発の進展など ICT によるイノベーションは、グローバルとは切り離すことはできない。語学力だけでなく、ビジネスにおけるグローバルコミュニケーションとして価値観の違う他者と協働できるスキルを高める力を身に付ける。</p> <p>P33 カリキュラム構成図</p> | <p>[29～31 ページ]</p> <p>4.教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教育課程編成の考え方</p> <p>(中略)</p> <p>展開科目の科目分類は「グローバルコミュニケーション」、科目群を「ビジネス英語」としている。変化の激しいグローバル社会でイノベーションを実現するため、職業専門科目で修得した知識・スキルのうえにビジネスにおけるグローバルコミュニケーションを身に付けることを目的に「ビジネス英語実習」を配置している。また、前述したとおり国内産業への外国人材の流入、オフショア開発の進展など ICT によるイノベーションは、グローバルとは切り離すことはできない。語学力だけでなく、ビジネスにおけるグローバルコミュニケーションとして価値観の違う他者と協働できるスキルを高める力を身に付ける。</p> <p>P30 カリキュラム構成図</p> |

|     | ビジネス実践              | 情報通信技術                        | 経営        | グローバルコミュニケーション |
|-----|---------------------|-------------------------------|-----------|----------------|
| 4年次 | 総合演習・総合実践演習         |                               |           |                |
| 3年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅠ | ビジネス実践で必要となった応用科目             |           | ビジネス英語         |
| 2年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅡ | システムデザイン基礎・応用<br>ネットワークセキュリティ | ビジネス基礎・応用 |                |
| 1年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅢ | 現代社会基礎                        | 現代社会基礎    |                |

[39、40 ページ]

⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」

「グローバル化する情報通信技術分野の人材」(※1-(2)-⑦ グローバル化する情報通信技術分野の人材 参照)で記述したとおり、平成 27(2015)年 10 月末現在の外国人労働者数は 907,896 人で過去最高を更新した。また、外国人労働者を雇用する事業所数は 152,261 カ所、前年同期比 11.1%増加している。今後、日本では多くの外国人労働者と協働して仕事をする事が想定される。

本学における専攻である情報通信技術と経営の対象とする ICT 分野の人材に関しては、グローバル化が進展しており、産業別の外国人労働者のうち、IT 人材に該当する「情報通信業に就労している外国人の推移」では平成 27(2015)年 10 月末現在、36,522 人存在し、近年増加傾向にある。ソフトウェア開発業務を行っている日本企業の 36.8%が既にオフショア開発(システム開発などの業務を海外企業、または海外の現地法人などに委託すること)を実施しており、今後行う予定の企業を含めると 40.6%となる。

以上のことから本学が専攻する分野である情報通信技術分野の企業等でもグローバル化が促進されており、今後、情報通信技術を活用し、国際社会において新たなサービスの開発やビジネスを起こすためには、多様な国の人とコミュニケーションをとりながら協働して仕事をする力が求められる。

上記の社会的ニーズに示されるように、情報通信

|     | ビジネス実践                | 経営                            | ビジネス基礎・応用 | グローバルコミュニケーション |
|-----|-----------------------|-------------------------------|-----------|----------------|
| 4年次 | 総合演習(3年次)・総合実践演習(4年次) |                               |           |                |
| 3年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅠ   | ビジネス実践で必要となった応用科目             | ビジネス英語    |                |
| 2年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅡ   | システムデザイン基礎・応用<br>ネットワークセキュリティ | ビジネス基礎・応用 |                |
| 1年次 | ビジネス実践<br>インターンシップⅢ   | 現代社会基礎                        | 現代社会基礎    |                |

[34 ページ]

⑩展開科目「ビジネス英語」

「グローバル化する ICT 分野の人材」(※1-(2)-⑦ グローバル化する ICT 分野の人材 参照)で記述したとおり、ICT を活用する様々な業界・団体は、急速にグローバル化が進展している。そのため、ICT・ビジネスに関する知識・スキルを持ち、産業・サービスでイノベーションを実現するためには、様々な国の人々と協働できる力が必要である。

専門職大学設置基準第 13 条第 3 項において展開科目は、「専攻に係る特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものを育成するための授業科目」とされている。

本学のカリキュラム・ポリシーは、『「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて実践力を身に付け、革新を創造する人材を育成する教育課程を編成する。』としている。本学では、専攻に係る特定の職業の分野は以下である。

(ア) ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職

(イ) ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>技術を活用する様々な業界・団体は、急速にグローバル化が進展している。そのため、本学の養成する人材は、情報通信技術・経営に関する知識・スキルを持ち、産業・サービスでイノベーションを実現するために、様々な国の人々と協働できる国際的なコミュニケーション能力を身に付けることとしている。また、グローバル化が進展する今日においては、「情報通信技術」と「経営」の能力を応用的にグローバルな視野をもって展開する力が求められる。つまり、国際社会でコミュニケーションが図れる能力を有することによって、様々な価値観の中で創造的な力を発揮することができる。</p> <p>以上を踏まえ、情報通信技術・経営分野の応用的な能力として展開科目に国際的なコミュニケーション能力習得のための科目群として「グローバルコミュニケーション」を設置した。</p> <p>1年次～2年次までの必修科目としてグローバルなビジネス現場を想定した実習科目として「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、英語でビジネスコミュニケーションができる能力を身に付ける。</p> <p>単に英語の4技能を高めるだけではなく、様々な価値観を持ち文化的背景の異なる人々と協働するために展開科目では「英語ビジネスマネジメント」「英米文学演習」を履修し、文化の違いやビジネスのルールなどを理解したうえでグローバルコミュニケーションができるような知識を高める。</p> <p>ビジネスやアカデミックのルールを理解したうえでコミュニケーションをとることができるよう「英語アカデミック・リテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」を2年次以降の「実践英語：多文化理解」「英米文学演習」「実践英語：日本文化」を学修する。また、「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。また、様々なビジネス分野で英語が活用できるよう、主に3年</p> | <p>グローバル化が進展する今日においては、「ICT」と「ビジネス」の能力を応用的にグローバルで展開する力が求められる。つまり、グローバル社会でコミュニケーションが図れる能力を有することによって、様々な価値観の中で創造的な力を発揮することができる。</p> <p>以上のことから、「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳ」ではビジネス現場を想定し、実習科目として英語でビジネスができる能力を養成する。</p> <p>単に英語の4技能を高めるだけではなく、様々な価値観を持ち文化的背景の異なる人々と協働するために、多様性を受け入れられる力、コミュニケーション力、ディスカッション力、ディベート力、プレゼンテーション力、ネゴシエーション力を高める科目を配置した。</p> <p>また、ICT関連分野にとどまらず、様々な分野・フィールドで英語が活用できるよう、製造業、ファイナンス等の専門英語を学び、実践英語でイノベーション力を高める科目を設定している。</p> <p>今後、グローバル社会において様々な国の人々と協働して、商品・サービスの開発やビジネスを起こすことによって、創造的な役割を担えるよう、科目分類「グローバルコミュニケーション」としてビジネス英語科目群を配置した。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                               |  |
|-------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>次以降には「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」等の専門性の高い英語を実践的に学ぶ。</p> |  |
|-------------------------------------------------------------------------------|--|

11. 養成する人材像等に鑑みると、数学の基礎的な知識を担保する必要があるが、入学者選抜や導入教育において全ての学生に数学を必修で求めておらず、教育課程においても数学の基礎的な知識を教える科目が配置されていない。このため、段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程となっておらず、職業専門科目の数学を十分履修できるのかも疑義がある。数学の基礎的な知識をどのように担保するのか明らかにするとともに、段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程となるよう、適切に改めること。

(対応)

審査意見 1 にもとづき、本学の養成する人材像を改めるとともに、それに伴い 3 つのポリシーと教育課程の見直しを行った。変更後の養成する人材像においても、数学の基礎的な知識を担保する必要があることから、アドミッション・ポリシーとして、数学に係る内容を含めるよう修正し、それに伴い数学の基礎的な知識を担保する方法として、入学者選抜において数学に関する基礎的な知識を有していることを確認するように修正する。具体的には、調査票や最終学歴の成績表をもとに数学の履修状況および成績を確認、評価する（推薦入試、AO入試、留学生入試、社会人入試、帰国生入試）、もしくは数学の学力試験（範囲は数学ⅠA程度）を実施する（一般入試）。

また、本学の教育課程においては、情報分野だけでなく、経営分野においても、理論モデルや統計データなどを用いて、分析や実証を行い、課題の解決策を提示するために、数学的な思考力が必要となる。この度、数学の基礎的な知識の担保や段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程の必要性についての指摘を受け、数学に関する科目を体系的な教育課程となるよう配置することとした。

高等教育の学びの素地となる数学的思考や計算力等を養う科目を設置し、経営系、情報系それぞれの科目を進めるために必要な数学の基礎的な知識を担保する。具体的には、解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）に基本的な内容を配置し、2 科目以上の履修を必須とする。これらの内容は経営学領域においても情報学領域においても必要とされる科目であり、数学を用いて情報を整理する力、分析する力、説明する力、定式化する力などを習得することを目的とする。

段階的に数学を学ぶ体系的な教育課程としては、基礎科目での数学力の養成とあわせて、職業専門科目の知識や技能を習得するための数学科目を配置する。基礎科目では社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる数学科目を配置し、職業専門科目では、システム開発や構築、分析を行う上で必要な数学を習得できる科目の配置に加え、実践的な科目内容の中で数学的な考え方を使いながらスキルを習得する科目を配置する。学年が上がり、システム開発の上流工程や新しい技術（ビッグデータ、AI 等）を扱う際に必要となる数学能力については職業専門科目に置いた。具体的には、基礎科目に情報系数学応用 A（微分方程式や最適化法の基本的な知識・考え方）、情報系数学応用 B（論理学・計算論の基本的な知識・考え方）、情報系数学応用 C（離散数学や情報理論の基本的な知識・考え方）といった情報処理の学修を進める中で必要となる数学の考え方を習得したうえで、職業専門科目で「データサイエンス」や「ビッグデータ」などの具体的な職業スキルを習得する科目の中で情報を整理する力、分析する力、説明する力、定式化する力を実際に使うことで、段階的に数学を学ぶ教育課程となるよう編成する。

(新旧対照表) 教育課程等の概要

新

旧

| 科目<br>区分       | 授業科目の名称    | 配当<br>年次 | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------------|------------|----------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|                |            |          | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎科目<br>現代社会基礎 | イノベーションの志  | 1前       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | スタディスキル    | 1前       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | 英語コア・スキルズⅠ | 1前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                | 数学基礎A      | 1前       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | リサーチ入門     | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              | 1   |    |    |
|                | 英語コア・スキルズⅡ | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                | 数学基礎B      | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              | 1   |    |    |
|                | 数学基礎C      | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                | キャリアデザインⅠ  | 2前       | 1   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | 職業倫理       | 2前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                | 先端グローバル社会  | 2前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                | 科学史        | 2後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                | ICTと人間     | 2後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                | キャリアデザインⅡ  | 3後       | 1   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | 小計（14科目）   | —        | 12  | 14 | 0  |      | —  |       | 4            | 2   | 1  |    |

| 科目<br>区分       | 授業科目の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 配当<br>年次 | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |       | 専任教員等の配<br>置 |     |    | 備考 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|----|----|------|----|-------|--------------|-----|----|----|
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |          | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験・実習 | 教授           | 准教授 | 講師 |    |
| 基礎科目<br>情報科学基礎 | イノベーションの志<br>スタディスキル<br>英語コア・スキルズⅠ<br>キャリアデザインⅠ<br>英語コア・スキルズⅡ<br>職業倫理<br>先端グローバル社会<br>キャリアデザインⅡ<br>科学史<br>ICTと人間                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1前       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1前       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1後       | 2   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     | 1  |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2前       | 1   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2前       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 2後       | 2   |    |    |      |    |       |              |     |    |    |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 3後       | 1   |    |    |      |    |       | 1            |     |    |    |
|                | コンピュータソフトウェア基礎<br>データ構造と処理法<br>ICTリテラシー<br>オペレーティングシステム<br>情報数学Ⅰ<br>コンピュータアーキテクチャ<br>情報数学Ⅱ<br>ネットワークデザインⅠ<br>情報数学Ⅲ<br>オペレーティングシステム<br>データベースⅠ<br>データベースⅡ<br>オペレーティングシステム<br>データベースⅡ<br>データベースⅢ<br>データベースⅣ<br>データベースⅤ<br>データベースⅥ<br>データベースⅦ<br>データベースⅧ<br>データベースⅨ<br>データベースⅩ<br>データベースⅪ<br>データベースⅫ<br>データベースⅬ<br>データベースⅭ<br>データベースⅮ<br>データベースⅯ<br>データベースⅰ<br>データベースⅱ<br>データベースⅲ<br>データベースⅴ<br>データベースⅵ<br>データベースⅶ<br>データベースⅷ<br>データベースⅸ<br>データベースⅹ<br>データベースⅺ<br>データベースⅻ<br>データベースⅼ<br>データベースⅽ<br>データベースⅾ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ<br>データベースⅿ |          |     |    |    |      |    |       |              |     |    |    |





|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>体化していく。</p> <p>また、1 年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。「英語コア・スキルズⅠ・Ⅱ」を設定し英語 4 技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。<u>社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）の基本的な内容として「数学基礎 A～C」を配置し、2 科目以上の履修を必須とする。このほか、「職業倫理」「科学史」「先端グローバル社会」「ICT と人間」を通じて、現代社会の課題を多面的・構造的に理解する。</u></p> <p>(削除)</p> <p>[38、39 ページ]</p> <p><u>⑦職業専門科目「システムデザイン基礎」</u></p> <p>イノベーションを実現するために必要な<u>情報通信技術</u>の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「IT ス</p> | <p>礎的な英語力の向上を図る。さらに、「<u>キャリアデザインⅠ・Ⅱ</u>」を設定し、社会人となるうえで必要な<u>マナーやスキル、考え方をもとに、自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアデザインを行う。さらに仕事とは何か、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについて考え、行動できるように具体化していく。その他、「職業倫理」「科学史」等イノベーション人材に繋がる基礎的な内容を学ぶ。</u></p> <p><u>⑤ 基礎科目「情報科学基礎」</u></p> <p><u>ICT 知識・スキルの基礎や普遍的な内容を学ぶとともに、変化を続ける技術を常に追いかけて生涯に亘って技術を獲得し続ける力を養う。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「データ構造と処理法」「離散数学Ⅰ」を置くほか、「コンピュータアーキテクチャ」「データサイエンス」科目を設定し職業専門科目の ICT 知識・スキルを修得するための前提を学ぶ。また、「オペレーティングシステム」「離散数学Ⅱ」「モバイルコンピューティングⅠ」「モバイルコンピューティングⅡ」「オペレーションズリサーチ」などを配置し、職業専門科目との接続を図る。変化を続ける技術の中でも、変わることのない普遍的な知識・スキルを学ぶことで、どのような技術革新があっても対応できる能力を身に付ける。</u></p> <p>[36 ページ]</p> <p><u>⑨職業専門科目「システムデザイン」</u></p> <p>イノベーションを実現するために必要な <u>ICT</u> の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「IT スキル標</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p> <u>キル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅠ・Ⅱ」「データ構造と処理法」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を履修し「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で情報通信技術を活用し、新たな商品やサービスを企画・開発するために必要な最低限の情報通信技術に関する知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「コンピュータとソフトウェア基礎」「オペレーティングシステム」「コンピュータアーキテクチャ」「モバイルサービス概論」を配置し、情報通信技術の基本的な技術とその成り立ちを理解できるよう設定する。あわせて「情報系数学応用 A～C」「データサイエンス」を配置し、情報系科目を発展的に学ぶために必要な数学的な理解を深める素地を作る。</u> </p> <p> <u>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、情報通信技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</u> </p> <p> [39 ページ] </p> <p> ⑧職業専門科目「システムデザイン応用」 </p> <p> 「システムデザイン基礎」に続き、イノベーションを実現するために必要な情報通信技術に関する具体的な知識やスキルを実践的に習得できる専門科目を配置している。なお、科目配置に当たっては、独立 </p> | <p> <u>準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「プログラミングⅠ・Ⅱ」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」を履修し「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で ICT を活用し実践するために必要な知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「IoTⅠ・Ⅱ」「スーパーコンピュータ」などを配置し、即戦力として活躍できる ICT 知識・スキルと今後、ニーズが高まる先端分野を学ぶ仕組みとしている。新たなサービスや起業を目指す中で、ICT を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材を育成する。</u> </p> <p> <u>実習科目として「プログラミングⅠ・Ⅱ」を配置している。「プログラミングⅠ・Ⅱ」では、Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解し、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も実際に行う。システム開発の基礎となるプログラミングの活用を学び、システムを構築できるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。</u> </p> <p> (追加) </p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>行政法人情報処理推進機構がまとめている IT スキル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠するように設定する。</u></p> <p><u>具体的には、選択科目として、新たなサービスやソフトウェア等の開発・改善を行うための知識やスキルを習得するための「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」「情報技術演習Ⅱ」「ソフトウェアプロセスと品質」等を配置する。また情報システムに関するプロジェクトマネジメント、改善等についての知識やスキルを習得するための「情報システムのプロジェクト管理」「モデル化と要求事項」「システムインテグレーション」等を配置する。あわせて、今後ニーズが高まる先端分野を学ぶ「クラウド」「ビッグデータ」「AI」「IoT」「スーパーコンピュータ」等を配置した。システムを構築できるようになることで、情報通信技術の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。新たなサービスや起業を目指す中で、情報通信技術を活用して“つくる”ことができる人材、“つくり方”を知る人材を育成する。</u></p> <p>[57 ページ]</p> <p>(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p><u>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献購読やレポート作成に必要な基礎的な内容を身につけている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身につけている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る</u></p> | <p>[51 ページ]</p> <p>(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p><u>『本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」を併せ持ち社会により良い変革をもたらしたい「志」のある人』を基本方針として、具体的には、以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>①論理的思考力を持っている人</u></p> <p><u>②ICT を活用しグローバル社会や産業界をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人</u></p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>数学的思考や論理的な科目に必要となる基礎的な内容を身につけている。</u></p> <p><u>②社会の様々な問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。</u></p> <p><u>③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。</u></p> <p><u>④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。</u></p> | <p><u>③変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人</u></p> <p><u>④人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人</u></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|

[57～62 ページ]

(1)選抜方法と募集人員

①入学者選抜の概要と募集人員

一般入試 60 名、推薦入試 50 名、アドミッション・オフィス(AO)入試 50 名、留学生入試 30 名、社会人入試 10 名、帰国生入試若干名とする。

②各選抜方法の詳細

入試種別、入試名称、選抜方法、出願資格は以下(表 4)のとおりである。

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別 | 入試名称    | 選抜方法                                                                                                                                             |
|------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般入試 | 3 教科型入試 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語<br/>国語総合(古文、漢文を除く)</li> <li>・外国語<br/>(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ)</li> <li>・数学<br/>(数学Ⅰ、数学Ⅱ)</li> </ul> |

[51～56 ページ]

(1)選抜方法と募集人員

①入学者選抜の概要と募集人員

一般入試 60 名、推薦入試 50 名、アドミッション・オフィス(AO)入試 50 名、留学生入試 30 名、社会人入試 10 名、帰国生入試若干名とする。

②各選抜方法の詳細

入試種別、入試名称、選抜方法、出願資格は以下(表 4)のとおりである。

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別 | 入試名称    | 選抜方法                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般入試 | 3 教科型入試 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国語・外国語(英語：必須)・数学・地理歴史・理科から 3 教科</li> <li>・国語：国語総合(古文、漢文を除く)</li> <li>・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ</li> <li>・数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ(数Ⅲ、数Ⅳ)</li> <li>・地歴：地理、世界史Ⅱ、日本史Ⅱ</li> <li>・理科：物理、化学</li> </ul> |
|      | 2 教科型入試 | <ul style="list-style-type: none"> <li>国語・外国語(英語：必須)・数学から 2 教科</li> <li>・国語：国語総合、古文(漢文除く)</li> </ul>                                                                                                                                                            |

|  |  |                                                                                                                                                     |
|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ</li> <li>・数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(数列、ベクトル)</li> </ul> |
|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

| 新                |                       |                                                      |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                |                                                                      |                                                                    | 旧                |                       |                                                      |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                |                                                                      |                                                               |
|------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 調<br>書<br>番<br>号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                           | 担当授業科目の名称                                                                                                                                                                                                  | 配<br>当<br>年<br>次                                                                               | 担<br>当<br>単<br>位<br>数                                                | 年<br>間<br>開<br>講<br>数                                              | 調<br>書<br>番<br>号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                           | 担当授業科目の名称                                                                                                                                                                                                  | 配<br>当<br>年<br>次                                                                               | 担<br>当<br>単<br>位<br>数                                                | 年<br>間<br>開<br>講<br>数                                         |
| 1                | 専                     | ナカム イチヤ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                   | イノベーションの志                                                                                                                                                                                                  | 1 前                                                                                            | 10                                                                   | 5                                                                  | 1                | 専                     | ナカム イチヤ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                   | イノベーションの志                                                                                                                                                                                                  | 1 前                                                                                            | 10                                                                   | 5                                                             |
| 2                | 専                     | カシマ(カワムツ)リュウ<br>伊 村 隆一<br>＜平成 32 年 4 月＞              | アカウントティング入門<br>アカウントティング応用<br>ファイナンス入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                                 | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 後<br>4 通                                                                | 10<br>2<br>2<br>2<br>4                                               | 5<br>1<br>1<br>1<br>1                                              |                  |                       | (追加)                                                 |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                |                                                                      |                                                               |
| 3                | 専                     | ナンバ(ミヅ) ミホ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞              | リサーチ入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                                                                 | 1 後<br>3 後<br>4 通                                                                              | 10<br>2<br>4                                                         | 5<br>1<br>1                                                        | 2                | 専                     | ナンバ(ミヅ) ミホ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞              | ビジネスデザインⅠ<br>ビジネスデザインⅡ<br>ファシリテーション<br>デザイン思考ワーク<br>ショップ設計<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                             | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>4 後<br>3 後<br>4 通                                                         | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4                                           | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
| 4                | 専                     | エトリアン デビッド<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | AI<br>ネットワーク技術<br>データサイエンス<br>IoT                                                                                                                                                                          | 4 前<br>1 後<br>2 後<br>3 後                                                                       | 1<br>5<br>2<br>1                                                     | 1<br>5<br>2<br>1                                                   | 3                | 専                     | エトリアン デビッド<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | データサイエンス<br>AI<br>ネットワーク技術<br>シミュレーションに<br>よる問題分析<br>IoTⅠ<br>IoTⅡ                                                                                                                                          | 2 後<br>4 前<br>1 後<br>3 後<br>3 後<br>4 前                                                         | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                           | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                    |
| 4                | 専                     | テラキ(カハシ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞             | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>3 前<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                         | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                         | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                         | 4                | 専                     | テラキ(カハシ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞             | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>1 後<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                         | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                         | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
| 5                | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                   | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ                                                                                                                                  | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前                                                         | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2                                         | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                         | 5                | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                   | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ<br>ネットワーク構築Ⅳ                                                                                                                     | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後                                                  | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2<br>2                                    | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                               |
| 6                | 実<br>専                | クミ ノブユキ<br>久米 信行<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 | 6                | 実<br>専                | クミ ノブユキ<br>久米 信行<br>＜平成 32 年 4 月＞                    | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |

|    |          |                                       |                      |            |          |        |
|----|----------|---------------------------------------|----------------------|------------|----------|--------|
| 7  | 実<br>専   | ヒヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br><平成 32 年 4 月>     | 情報システムのプロジェクト管理      | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | システムインテグレーション        | 3 後        | 1        | 1      |
|    |          |                                       | 情報セキュリティ演習 I         | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 情報セキュリティ演習 II        | 3 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
| 8  | 実<br>専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br><平成 32 年 4 月>     | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | オペレーティングシステム<br>クラウド | 1 前<br>3 後 | 4<br>2   | 2<br>1 |
|    |          |                                       | インターンシップ I           | 3 前        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | インターンシップ II          | 3 後        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | インタラクティブ・システムデザイン    | 2 前        | 2        | 1      |
| 9  | 実<br>専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br><平成 32 年 4 月>    | 英語コア・スキルズ I          | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 英語コア・スキルズ II         | 1 後        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 英語アカデミックリテラシー        | 2 前        | 6        | 3      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト I      | 1 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト II     | 1 後        | 2        | 1      |
| 10 | 実<br>(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br><平成 32 年 4 月> | イノベーションプロジェクト III    | 2 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト IV     | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト V      | 3 通        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト VI     | 4 通        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | ビジネスフィールドリサーチ I      | 2 前        | 2        | 1      |
| 11 | 実<br>(研) | トミヅリ ユカ<br>富澤 豊<br><平成 32 年 4 月>      | ビジネスフィールドリサーチ II     | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | キャリアデザイン I           | 2 前        | 5        | 5      |
|    |          |                                       | キャリアデザイン II          | 3 後        | 5        | 5      |
| 12 | 実<br>(研) | イノ トキ<br>磯 俊樹<br><平成 32 年 4 月>        | マーケティング基礎            | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | マーケティング応用            | 1 後        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | インターンシップ I           | 2 前        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | インターンシップ II          | 2 後        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
| 13 | 実<br>(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | データサイエンス             | 2 後        | 2        | 2      |
|    |          |                                       | 数学基礎 A               | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 数学基礎 C               | 1 後        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | モバイルサービス概論           | 2 前        | 4        | 2      |
| 14 | 実<br>(研) | カワ ナオト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | データ構造と処理法            | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 B            | 2 後        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 C            | 3 前        | 4        | 2      |
| 15 | 実<br>(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | データベース               | 2 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | データ構造と処理法            | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 離散数学 I               | 1 後        | 10       | 5      |
| 16 | 実<br>(研) | カワ ナオト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | 離散数学 II              | 2 前        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | データベース               | 2 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | スタディスキル              | 1 前        | 10       | 5      |
| 7  | 実<br>専   | ヒヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br><平成 32 年 4 月>     | ICT リテラシー            | 1 前        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | ビッグデータ               | 3 後        | 1        | 1      |
|    |          |                                       | 情報システムのプロジェクト管理      | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 情報システムの失敗と分析         | 3 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 情報セキュリティ演習 I         | 2 後        | 2        | 1      |
| 8  | 実<br>専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br><平成 32 年 4 月>     | 情報セキュリティ演習 II        | 3 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 情報セキュリティ演習 III       | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | オペレーティングシステム<br>クラウド | 1 前<br>3 後 | 4<br>2   | 2<br>1 |
| 9  | 実<br>専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br><平成 32 年 4 月>    | インターンシップ I           | 3 前        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | インターンシップ II          | 3 後        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | インタラクティブ・システムデザイン    | 2 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 英語コア・スキルズ I          | 1 前        | 10       | 5      |
|    |          |                                       | 英語コア・スキルズ II         | 1 後        | 10       | 5      |
| 11 | 実<br>(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br><平成 32 年 4 月> | 英語アカデミックリテラシー        | 2 前        | 6        | 3      |
|    |          |                                       | アカウントティング<br>ファイナンス  | 1 後<br>2 前 | 10<br>10 | 5<br>5 |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト I      | 1 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト II     | 1 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト III    | 2 前        | 2        | 1      |
| 13 | 実<br>(研) | トミヅリ ユカ<br>富澤 豊<br><平成 32 年 4 月>      | イノベーションプロジェクト IV     | 2 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト V      | 3 通        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | イノベーションプロジェクト VI     | 4 通        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | ビジネスフィールドリサーチ I      | 2 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | ビジネスフィールドリサーチ II     | 2 後        | 2        | 1      |
| 14 | 実<br>(研) | イノ トキ<br>磯 俊樹<br><平成 32 年 4 月>        | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
|    |          |                                       | キャリアデザイン I           | 1 後        | 5        | 5      |
|    |          |                                       | キャリアデザイン II          | 2 前        | 5        | 5      |
|    |          |                                       | マーケティング基礎            | 1 前        | 10       | 5      |
| 15 | 実<br>(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br><平成 32 年 4 月>     | マーケティング応用            | 2 前        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | インターンシップ I           | 3 前        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | インターンシップ II          | 3 後        | 12       | 1      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |
| 16 | 実<br>(研) | カワ ナオト<br>加藤 直人<br><平成 32 年 4 月>      | データサイエンス             | 2 後        | 2        | 2      |
|    |          |                                       | モバイルコンピューティング I      | 1 後        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | モバイルコンピューティング II     | 2 前        | 4        | 2      |
|    |          |                                       | 総合理論演習               | 3 後        | 2        | 1      |
|    |          |                                       | 総合実践演習               | 4 通        | 4        | 1      |



|    |      |                                   |                  |    |    |   |
|----|------|-----------------------------------|------------------|----|----|---|
|    |      |                                   | インターンシップⅠ        | 3前 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | インターンシップⅡ        | 3後 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 15 | 実(研) | カマニ オサム<br>鎌谷 修<br>＜平成32年4月＞      | 情報技術演習Ⅰ          | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 情報技術演習Ⅱ          | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | IoT              | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 16 | 実(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | コンピュータとソフトウェア基礎  | 1前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | コンピュータアーキテクチャ    | 1後 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | スーパーコンピュータ       | 4前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 17 | 実(研) | オホアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成32年4月＞    | 数学基礎B            | 1後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 情報系数学応用A         | 2前 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | ビッグデータ           | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | AI               | 4前 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | Webシステム演習        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 18 | 実(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | ソフトウェア設計・構築      | 2前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システム設計演習         | 2後 | 10 | 5 |
| 19 | 実(研) | オホアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成32年4月＞    | システムインテグレーション    | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 20 | 実(研) | キリタニ ケイタ<br>桐谷 恵介<br>＜平成32年4月＞    | ソフトウェア設計・構築      | 2前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システム設計演習         | 2後 | 10 | 5 |
| 21 | 実(研) | キリタニ ケイタ<br>桐谷 恵介<br>＜平成32年4月＞    | システムインテグレーション    | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 22 | 実(研) | エハタ ヒロト<br>江端 浩人<br>＜平成32年4月＞     | スタートアップ基礎(起業論)   | 1後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 23 | 実(研) | アベカミ ヒサヒロ<br>阿部川 久広<br>＜平成32年4月＞  | ビジネス英語実習Ⅰ        | 1前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅱ        | 1後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅲ        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 英語ビジネスマネジメント     | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英米文学演習           | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英語通訳論            | 3前 | 6  | 3 |
| 24 | 実(研) | カミシ シゲオ<br>各務 茂雄<br>＜平成32年4月＞     | ビジネスフィールドリサーチⅠ   | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネスフィールドリサーチⅡ   | 2後 | 2  | 1 |
| 28 | 兼任   | アサタ ユウ<br>青田 努<br>＜平成33年4月＞       | 組織行動論            | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 人的資源管理論          | 3前 | 2  | 1 |
| 19 | 兼任   | コバヤシ クミコ<br>小林 久美子<br>＜平成33年4月＞   | 先端グローバル社会デザインと経営 | 2前 | 4  | 2 |
|    |      |                                   |                  | 4前 | 2  | 1 |
| 20 | 兼任   | コバヤシ ミキ<br>小林 美紀<br>＜平成33年4月＞     | 職業倫理             | 2前 | 4  | 2 |
| 33 | 兼任   | ツジノ カズキ<br>辻 貴之<br>＜平成34年4月＞      | コーポレートファイナンス     | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 税務会計・会計処理        | 4後 | 2  | 1 |
| 21 | 兼任   | テラウラ セイジ<br>寺裏 誠司<br>＜平成34年4月＞    | ビジネスゲームによる経営意思決定 | 3前 | 2  | 1 |

|    |      |                                   |                  |    |    |   |
|----|------|-----------------------------------|------------------|----|----|---|
|    |      |                                   | インターンシップⅠ        | 3前 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | インターンシップⅡ        | 3後 | 12 | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 17 | 実(研) | カマニ オサム<br>鎌谷 修<br>＜平成32年4月＞      | 情報技術演習Ⅰ          | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 情報技術演習Ⅱ          | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | IoTⅠ             | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | IoTⅡ             | 4前 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 18 | 実(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成32年4月＞ | コンピュータとソフトウェア基礎  | 1前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | コンピュータアーキテクチャ    | 1後 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | スーパーコンピュータ       | 4前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 19 | 実(研) | オホアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成32年4月＞    | オペレーションズリサーチ     | 2前 | 4  | 2 |
|    |      |                                   | ビッグデータ           | 3後 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | AI               | 4前 | 1  | 1 |
|    |      |                                   | Webシステム演習        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 21 | 実(研) | キリタニ ケイタ<br>桐谷 恵介<br>＜平成32年4月＞    | ソフトウェア設計・構築      | 2前 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システム設計演習         | 2後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | システムインテグレーション    | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 22 | 実(研) | エハタ ヒロト<br>江端 浩人<br>＜平成32年4月＞     | ゲーム理論と交渉術        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | フロンテック           | 4前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | スタートアップ基礎(起業論)   | 1後 | 10 | 5 |
|    |      |                                   | 総合理論演習           | 3後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 総合実践演習           | 4通 | 4  | 1 |
| 23 | 実(研) | アベカミ ヒサヒロ<br>阿部川 久広<br>＜平成32年4月＞  | ビジネス英語実習Ⅰ        | 1前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅱ        | 1後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅲ        | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 英語ビジネスマネジメント     | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英米文学演習           | 2後 | 6  | 3 |
|    |      |                                   | 英語通訳論            | 3前 | 6  | 3 |
| 24 | 実(研) | カミシ シゲオ<br>各務 茂雄<br>＜平成32年4月＞     | ビジネスフィールドリサーチⅠ   | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネスフィールドリサーチⅡ   | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | シミュレーションによる問題分析  | 3後 | 1  | 1 |
| 28 | 兼任   | アサタ ユウ<br>青田 努<br>＜平成33年4月＞       | 人的資源管理論          | 2後 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 組織行動論            | 3前 | 2  | 1 |
| 30 | 兼任   | コバヤシ クミコ<br>小林 久美子<br>＜平成32年4月＞   | 先端グローバル社会        | 1後 | 4  | 2 |
| 31 | 兼任   | コバヤシ ミキ<br>小林 美紀<br>＜平成32年4月＞     | 職業倫理             | 1後 | 4  | 2 |
| 33 | 兼任   | ツジノ カズキ<br>辻 貴之<br>＜平成34年4月＞      | コーポレートファイナンス     | 3前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | 税務会計・会計処理        | 4後 | 2  | 1 |
| 34 | 兼任   | テラウラ セイジ<br>寺裏 誠司<br>＜平成33年4月＞    | モチベーションマネジメント    | 2前 | 2  | 1 |
|    |      |                                   | ビジネスゲームによる経営意思決定 | 3前 | 2  | 1 |

|    |    |                                 |                                  |                  |   |   |   |
|----|----|---------------------------------|----------------------------------|------------------|---|---|---|
| 22 | 兼任 | ﾌｼﾞﾓﾃﾙ ｼﾅ<br>藤森 志保<br><平成33年4月> | ICTと人間<br>ｸﾛｽﾃｯｸﾋﾞｼﾞﾈ<br>ｽﾃﾞｻﾞｲﾝ | <u>2</u> 後<br>4前 | 4 | 2 | 1 |
| 36 | 兼任 | ﾌｼﾞﾓﾃﾙ ｼﾅ<br>藤森 志保<br><平成33年4月> | ICTと人間                           | <u>2</u> 後       | 4 | 2 |   |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

12. 臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」を達成できる計画となっているか疑義があるため、以下の点を是正すること。

(1) 臨地実務実習施設について、施設の選定理由が不明確であり、臨地実務実習の目的を達成できる施設か疑義がある。また、実習先に従業員数の非常に少ない企業が含まれているが、実習指導者が業務を行いながら学生への指導を支障なく実施することが可能であるか不明確である。

(対応)

臨地実務実習施設について、教育理念や養成する人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設、プロデューサーやプロジェクトマネージャーが配置されている施設、システム開発・保守業務を行っている施設、以上の基準をクリアしていれば、社員数・施設の広さには基準を設けずに選定するとしていたが、施設の選定理由が不明確であり、臨地実務実習の目的を達成できる施設か疑義があるところ指摘を頂いている。また、従業員数が少ない実習先へのご指摘も頂いたため、臨地実務実習の目的と選定理由、実習先について以下のように改める。

<臨地実務実習の目的と実習先の選定理由>

臨地実務実習について、目的である「イノベーション人材としてのスキルを修得させる」を達成できる計画について改めて検討し以下のように改め、実習先の選定理由を追記する。

本学で考えるイノベーション人材とは、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」としている。

その上で、インターンシップⅠでは主に情報通信技術を学び実践する経験を、インターンシップⅡではマーケティングや企画などビジネスを学び経験する実習を計画している。また、実習の設定に関しては、一つの実習先に長期間継続的に通い、より高度な実習課題に取り組ませて、深い専門性を養う実習を考えている。

以上を踏まえ、インターンシップⅠ・Ⅱそれぞれについて、実習の到達目標について再度検討し、その目標を達成できる実習内容や実習指導が可能な施設を選定基準とする。

(インターンシップⅠ)

・主な到達目標

\*インターンシップ先において、与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。

\*課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できる。

\*システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができる。

(インターンシップⅡ)

・主な到達目標

- \* 自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。
- \* 異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。
- \* 企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。
- \* 情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。

(選定基準)

以上のことから実習先の選定基準を以下のように定める。

- (ア) インターンシップの到達目標を達成するために必要な作業、体験、課題と実習指導・フォローが可能な施設
- (イ) 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設
- (ウ) 教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設

なお、選定基準に従い、従業員数が少ない実習施設に関しては、対象から除外し、前述したとおり実習指導を十分に行える体制が整えられる従業員 10 名以上の企業を実習先とする。

(新旧対照表)

別紙 4 (授業科目の概要)、別紙 5 (シラバス) の新旧対照表にて修正箇所を表す。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (26、27、64～68 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                             | 旧                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[26 ページ]</p> <p>(1)情報経営イノベーション学部・情報経営イノベーション学科の教育の特色</p> <p>(中略)</p> <p>・8 週間のインターンシップを 2 回実施する。<u>インターンシップ I では、目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力とシステム開発スキルの獲得、インターンシップ II では、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う</u></p> <p>[64 ページ]</p> <p>10.実習の具体的計画</p> | <p>[24 ページ]</p> <p>(1)<u>ICT イノベーション学部・ICT イノベーション学科</u>の教育の特色</p> <p>(中略)</p> <p>・8 週間のインターンシップを 2 回実施する。<u>インターンシップ I では、システム開発・保守スキルの獲得、インターンシップ II ではビジネススキルの獲得を行う</u></p> <p>[57 ページ]</p> <p>10.実習の具体的計画</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>本学の養成する人材は、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材である。</u></p> <p><u>インターンシップでは、実践活動の場での課題発見、解決を通して、システム開発やビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、イノベーション人材として具備すべき知識及びスキルを修得させることを目的とする。各 320 時間(12 単位)ずつ計 640 時間(24 単位)設定しており連携企業等に協力を仰ぎ実施する計画である。</u></p> <p>(1)インターンシップ(実習)の目的</p> <p>インターンシップでは、実践活動の場での課題発見・解決を通して、<u>システム開発やビジネスにおいて新規提案・実装するために必要とされる専門的知識と実務との統合を図ることで、イノベーション人材としてのスキルを修得させることを目的とする。</u></p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>①実習先の選定基準</p> | <p><u>本学は、『先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT を活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材に学位を授与する。』ことをディプロマ・ポリシーとして教育課程(カリキュラム)を通して、具体的にはICT を「手段」とし、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材の育成を掲げており、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。</u></p> <p>①<u>社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる</u></p> <p>②<u>課題を発見し、ビジネスに関する知識と ICT を活用し解決する力がある</u></p> <p>③<u>ICT を活用しビジネスを創造する力がある</u></p> <p>④<u>産業界で長期のインターンシップや起業経験を通じて身に付けた実践力がある</u></p> <p>⑤<u>世界の人と協働し、グローバル社会で活躍できる力がある</u></p> <p><u>このうち、特に④の能力を高めるために、3 年次に職業専門科目「ビジネス実践」臨地実務実習として「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」を各 320 時間(12 単位)ずつ計 24 単位設定しており連携企業等に協力を仰ぎ実施する計画である。</u></p> <p>(1)インターンシップ(実習)の目的</p> <p>インターンシップでは、実践活動の場での課題発見・解決を通して、<u>システム開発・保守やビジネスにおいて新規提案・実装するために必要とされる専門的知識と実務との統合を図ることで、イノベーション人材としてのスキルを修得させることを目的とする。</u></p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>①実習先の選定基準</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。</p> <p><u>(ア) インターンシップの到達目標を達成するために必要な作業、体験、課題と実習指導・フォローが可能な施設</u></p> <p><u>(イ) 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設</u></p> <p><u>(ウ) 教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設</u></p> <p>②実習先の確保</p> <p>インターンシップは実習施設 1 社当たり合計 640 時間の実習時間を確保し、320 時間ずつインターンシップⅠ・Ⅱを3年次前期後期に分けて実施をする。現在実習先企業数は合計 <u>27 社</u>あり、各インターンシップ先はインターンシップⅠ・Ⅱそれぞれ 320 時間、<u>1 名～15 名</u>(企業規模によって異なる)の実習生を受け入れる。そのため、実習生 200 名に対する教育課程に必要なインターンシップ先は確保している状況である。</p> <p>[66 ページ]</p> <p>(3)実習水準の確保等</p> <p>どの実習先においても設定された能力を身に付けることができるよう、目標や具体的なインターンシップ内容、評価基準等を以下のように定めた。</p> <p><u>(インターンシップⅠ)</u></p> <p>・主な到達目標</p> <p><u>*与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。</u></p> <p><u>*課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら</u></p> | <p>実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。</p> <p><u>(ア)教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設</u></p> <p><u>(イ) プロデューサーやプロジェクトマネジャーが配置されている</u></p> <p><u>(ウ)システム開発・保守業務を行っている</u></p> <p>上記基準をクリアしていれば、社員数・施設の広さには基準を設けずに選定している。</p> <p>②実習先の確保</p> <p>インターンシップは実習施設 1 社当たり合計 640 時間の実習時間を確保し、320 時間ずつインターンシップⅠ・Ⅱを3年次前期後期に分けて実施をする。現在実習先企業数は合計 <u>26 社</u>あり、各インターンシップ先はインターンシップⅠ・Ⅱそれぞれ 320 時間、<u>2 名～15 名</u>(企業規模によって異なる)の実習生を受け入れる。そのため、実習生 200 名に対する教育課程に必要なインターンシップ先は確保している状況である。</p> <p>[59、60 ページ]</p> <p>(3)実習水準の確保等</p> <p>どの実習先においても設定された能力を身に付けることができるよう、目標や具体的なインターンシップ内容、評価基準等を以下のように定めた。</p> <p><u>①インターンシップⅠの目標</u></p> <p>・システム開発スキルの獲得</p> <p><u>大学で学習してきたシステム開発技術を使い、開発プロジェクトの一員として実務に従事する。</u></p> <p>・システム保守スキルの獲得</p> <p><u>実際の現場での保守・運用業務を通して、現場の責任者の指導の下に就業体験を行う。</u></p> <p><u>(具体的内容と計画)</u></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>最後まで実行できる。</u></p> <p><u>*システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができる。</u></p> <p><u>・実習内容（体験・作業・課題等）</u></p> |                                                                                                                                                                                                                                                     | <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> <p><u>・システム開発を行ううえでのチームワーク(コミュニケーション)、情報伝達をスムーズに行う</u></p> <p><u>・システム開発に関するスケジュール管理、システム企画、技術開発実務を行う</u></p> <p><u>・技術チームメンバーとして、システム開発作業の一工程の中で示された設計書のとおり実装する</u></p> <p><u>・システム開発を行ううえでの責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行う</u></p> <p><u>・システムの計画、設計、開発、テスト及び運用</u></p> <p><u>・設計書の見方・書き方を確認し、プログラミング言語で実装する</u></p> <p><u>・システムを導入するネットワーク環境設計やセキュリティ対策</u></p> |
| <u>初日</u>                                                                                                      | <p><u>インターンシップ I   オリエンテーション</u></p> <p>① <u>企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p>                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <u>1 週目</u>                                                                                                    | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>システム開発者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u></p> <p>③ <u>システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行うことの重要性を聴く。</u></p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <u>～3 週目</u>                                                                                                   | <p>① <u>システム開発チームメンバーとして開発作業の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与え</u></p>                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|                                   |                                                                                                                                                                                      |                                                                       |
|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
|                                   | <p><u>られたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                                                                                                                     |                                                                       |
| ～5週目                              | <p>① システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する課題に取り組む。</p> <p>② 実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</p> |                                                                       |
| ～7週目                              | <p>① 引き続き、与えられた課題を基に業務を遂行する。適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</p>                                                |                                                                       |
| ～8週目                              | <p>① 完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</p> <p>② 実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</p>                                    |                                                                       |
| <p>(インターンシップⅡ)</p> <p>・主な到達目標</p> |                                                                                                                                                                                      | <p>②インターンシップⅡの目標</p> <p>・ビジネススキルの獲得</p> <p>大学で学習してきたビジネススキルをもとに、実</p> |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>* <u>自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。</u></p> <p>* <u>異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。</u></p> <p>* <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。</u></p> <p>* <u>情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。</u></p> <p>・ <u>実習内容（体験・作業・課題等）</u></p> |                                                                                                                                                                                                         | <p><u>習先の既存ビジネスの推進(営業・マネジメント)や改善に従事する。業務を通じ、ICTを用いてビジネスを発展させるために必要なスキル・経験を積む。</u></p> <p>・ <u>ICTを活用した新規提案、企画力の獲得</u></p> <p><u>大学でのイノベーションプロジェクトの経験や知識をもとに、実習先に応じた新規事業やビジネスの提案を行う。ICTとビジネスを融合し、インターンシップ先のリソースを活用しながら価値を最大化する方法を提案する。</u></p> <p>(具体的な内容と計画)</p> <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> <p>・ <u>マーケットリサーチ、マーケティング業務</u></p> <p>・ <u>新規プロダクトの企画提案</u></p> <p>・ <u>各種プロダクトの営業活動</u></p> <p>・ <u>既存システム・コンテンツのユーザーヒアリングやフィードバックを通じた改善提案</u></p> <p>・ <u>実際のプロジェクトの一員としてサービスやシステムの仕様検討から実装</u></p> <p>・ <u>新規／既存サービスへの機能追加や UI/UX の検討</u></p> |
| 初日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p><u>インターンシップⅡ オリエンテーション</u></p> <p>① <u>必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> <p>② <u>インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 1 週目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者</u></p>                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|      |                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|      | <p><u>のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>実習先で行われる実際の会議やミーティングに参加させてもらう。</u></p> <p>③ <u>マーケティング業務経験者や企画職経験者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u></p>                                                                                               |  |
| ～3週目 | <p>① <u>営業、マーケティング業務、企画業務の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間2週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                             |  |
| ～5週目 | <p>① <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理する課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</u></p> |  |
| ～7週目 | <p>① <u>前回の課題、インターンシップⅠを踏まえ、情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデ</u></p>                                                                                                                                                        |  |

|             |                                                                                                                                                                             |  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|             | <p><u>メリットとその対処策などもあわせてプレゼンテーションする課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>課題に対し、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u></p> |  |
| <u>～8週目</u> | <p>① <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u></p> <p>② <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u></p>             |  |

## (新旧対照表) 臨地実務実習施設の確保状況説明書

| 新           |                      |         |           |            | 旧           |                      |         |           |            |            |  |  |
|-------------|----------------------|---------|-----------|------------|-------------|----------------------|---------|-----------|------------|------------|--|--|
| インターンシップⅠ   |                      |         |           |            | インターンシップⅠ   |                      |         |           |            |            |  |  |
| 臨地実務実習施設    |                      |         |           |            | 臨地実務実習施設    |                      |         |           |            |            |  |  |
| 施設番号        | 施設の名称                | 受入予定学生数 | 当該施設実習時間数 | 受入予定学生・時間数 | 施設番号        | 施設の名称                | 受入予定学生数 | 当該施設実習時間数 | 受入予定学生・時間数 |            |  |  |
| 1           | 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  | 1           | 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 2人      | 320時間     | 640人・時間    |            |  |  |
| 2           | 株式会社 MapleSystems    | 4人      | 320時間     | 1,280人・時間  | 2           | 株式会社 MapleSystems    | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 5           | 株式会社ベライチ             | 3人      | 320時間     | 960人・時間    | 5           | 株式会社ベライチ             | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 7           | 株式会社浜野製作所            | 4人      | 320時間     | 1,280人・時間  | 7           | 株式会社浜野製作所            | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 8           | 株式会社ボリグロッツ           | 1人      | 320時間     | 320人・時間    | 8           | 株式会社ボリグロッツ           | 3人      | 320時間     | 960人・時間    |            |  |  |
| 9           | フュージョン株式会社           | 4人      | 320時間     | 1,280人・時間  | 9           | 株式会社 Doorkei         | 3人      | 320時間     | 960人・時間    |            |  |  |
| 11          | 大日本印刷株式会社            | 15人     | 320時間     | 4,800人・時間  | 10          | フュージョン株式会社           | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 13          | 日本サード・パーティー株式会社      | 10人     | 320時間     | 3,200人・時間  | 12          | 大日本印刷                | 15人     | 320時間     | 4,800人・時間  |            |  |  |
| 18          | SAP ジャパン株式会社         | 15人     | 320時間     | 4,800人・時間  | 14          | 日本サードパーティー           | 10人     | 320時間     | 3,200人・時間  |            |  |  |
| 19          | 株式会社 ONE TEAM        | 3人      | 320時間     | 960人・時間    | 19          | SAP 株式会社             | 15人     | 320時間     | 4,800人・時間  |            |  |  |
| 21          | 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 2人      | 320時間     | 640人・時間    | 20          | 株式会社 ONE TEAM        | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 24          | 株式会社 LEARNie         | 1人      | 320時間     | 320人・時間    | 21          | 株式会社 TECH FUND       | 3人      | 320時間     | 960人・時間    |            |  |  |
| 25          | 株式会社ハウテレビジョン         | 3人      | 320時間     | 960人・時間    | 23          | 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |
| 26          | SHIFT 株式会社           | 10人     | 320時間     | 3200人・時間   | 26          | 株式会社 LEARNie         | 3人      | 320時間     | 960人・時間    |            |  |  |
| 27          | 株式会社SYG              | 10人     | 320時間     | 3200人・時間   |             |                      |         |           |            |            |  |  |
| 受入学生・時間数 小計 |                      |         |           | 67,200人・時間 | 受入学生・時間数 小計 |                      |         |           |            | 65,280人・時間 |  |  |
| インターンシップⅡ   |                      |         |           |            | インターンシップⅡ   |                      |         |           |            |            |  |  |
| 臨地実務実習施設    |                      |         |           |            | 臨地実務実習施設    |                      |         |           |            |            |  |  |
| 施設番号        | 施設の名称                | 受入予定学生数 | 当該施設実習時間数 | 受入予定学生・時間数 | 施設番号        | 施設の名称                | 受入予定学生数 | 当該施設実習時間数 | 受入予定学生・時間数 |            |  |  |
| 1           | 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  | 1           | 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 2人      | 320時間     | 640人・時間    |            |  |  |
| 2           | 株式会社 MapleSystems    | 4人      | 320時間     | 1,280人・時間  | 2           | 株式会社 MapleSystems    | 5人      | 320時間     | 1,600人・時間  |            |  |  |

|             |                      |         |       |            |
|-------------|----------------------|---------|-------|------------|
| 5           | 株式会社ペライチ             | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 7           | 株式会社浜野製作所            | 4人      | 320時間 | 1,280人・時間  |
| 8           | 株式会社ポリグロッツ           | 1人      | 320時間 | 320人・時間    |
| 9           | フュージョン株式会社           | 4人      | 320時間 | 1,280人・時間  |
| 11          | 大日本印刷株式会社            | 15人     | 320時間 | 4,800人・時間  |
| 13          | 日本サード・パーティー株式会社      | 10人     | 320時間 | 3,200人・時間  |
| 18          | SAP ジャパン株式会社         | 15人     | 320時間 | 4,800人・時間  |
| 19          | 株式会社 ONE TEAM        | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 21          | 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 2人      | 320時間 | 640人・時間    |
| 24          | 株式会社 LEARNie         | 1人      | 320時間 | 320人・時間    |
| 25          | 株式会社ハウテレビジョン         | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 26          | SHIFT 株式会社           | 10人     | 320時間 | 3200人・時間   |
| 27          | 株式会社SYG              | 10人     | 320時間 | 3200人・時間   |
| 受入学生・時間数 小計 |                      |         |       | 67,200人・時間 |
| 受入予定学生・時間数計 | 必修                   | 合計      |       |            |
|             | 134,400              | 134,400 |       |            |
|             | 人・時間                 | 人・時間    |       |            |

|             |                      |         |       |            |
|-------------|----------------------|---------|-------|------------|
| 5           | 株式会社ペライチ             | 5人      | 320時間 | 1,600人・時間  |
| 7           | 株式会社浜野製作所            | 5人      | 320時間 | 1,600人・時間  |
| 8           | 株式会社ポリグロッツ           | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 9           | 株式会社 Doorke1         | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 10          | フュージョン株式会社           | 5人      | 320時間 | 1,600人・時間  |
| 12          | 大日本印刷                | 15人     | 320時間 | 4,800人・時間  |
| 14          | 日本サードパーティー           | 10人     | 320時間 | 3,200人・時間  |
| 19          | SAP 株式会社             | 15人     | 320時間 | 4,800人・時間  |
| 20          | 株式会社 ONE TEAM        | 5人      | 320時間 | 1,600人・時間  |
| 21          | 株式会社 TECH FUND       | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 23          | 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 5人      | 320時間 | 1,600人・時間  |
| 26          | 株式会社 LEARNie         | 3人      | 320時間 | 960人・時間    |
| 受入学生・時間数 小計 |                      |         |       | 65,280人・時間 |
| 受入予定学生・時間数計 | 必修                   | 合計      |       |            |
|             | 130,560              | 130,560 |       |            |
|             | 人・時間                 | 人・時間    |       |            |

(新旧対照表) 臨地実務実習施設一覧

安全上の観点により、臨地実務実習施設一覧を省略いたします。

(新旧対照表) 臨地実務実習施設の概要

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                               | 旧                                            |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------|----------------|----|-------|-----------|----|-------|-----------|-----------|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-------------|----------------|----|-------|-----------|----|-------|-----------|-----------|-------|-----------|
| 株式会社NHKメディアテクノロジー                                                                                                                                                                                                                                                               | 株式会社NHKメディアテクノロジー                            |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| ・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。                                                                                                                                                                                                                                           | ・情報システム本部にてシステム開発等の業務を実施しており、作業課題を頂けるため。     |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| ・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。                                                                                                                                                                                                                                               | ・情報システム本部にて会議への参加、調査や企画提案業務等の実習が可能のため。       |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| <table><tr><th>履修予定<br/>学生数<br/>(受入学<br/>生数)</th><th>施設実習<br/>時間数</th><th>受入予定学生<br/>・時間数</th></tr><tr><td>2人</td><td>320時間</td><td>640人・時間</td></tr><tr><td>2人</td><td>320時間</td><td>640人・時間</td></tr><tr><td>のべ<br/>4人</td><td>640時間</td><td>2,560人・時間</td></tr></table>      | 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                   | 施設実習<br>時間数    | 受入予定学生<br>・時間数 | 2人 | 320時間 | 640人・時間   | 2人 | 320時間 | 640人・時間   | のべ<br>4人  | 640時間 | 2,560人・時間 | <table><tr><th>履修予定<br/>学生数<br/>(受入学<br/>生数)</th><th>施設実習<br/>時間数</th><th>受入予定学生<br/>・時間数</th></tr><tr><td>5人</td><td>320時間</td><td>1,600人・時間</td></tr><tr><td>5人</td><td>320時間</td><td>1,600人・時間</td></tr><tr><td>のべ<br/>10人</td><td>640時間</td><td>3,200人・時間</td></tr></table> | 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 | 5人 | 320時間 | 1,600人・時間 | 5人 | 320時間 | 1,600人・時間 | のべ<br>10人 | 640時間 | 3,200人・時間 |
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                                                                                                                                                                                                                                                      | 施設実習<br>時間数                                  | 受入予定学生<br>・時間数 |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 2人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 640人・時間        |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 2人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 640人・時間        |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| のべ<br>4人                                                                                                                                                                                                                                                                        | 640時間                                        | 2,560人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                                                                                                                                                                                                                                                      | 施設実習<br>時間数                                  | 受入予定学生<br>・時間数 |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 5人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,600人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 5人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,600人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| のべ<br>10人                                                                                                                                                                                                                                                                       | 640時間                                        | 3,200人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 株式会社 MapleSystems                                                                                                                                                                                                                                                               | 株式会社 MapleSystems                            |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| ・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。                                                                                                                                                                                                                                           | ・経営戦略事業部、自社開発事業部でシステムやコンテンツの設計・開発等の実習が可能のため。 |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| ・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。                                                                                                                                                                                                                                               | ・経営戦略事業部にて会議への参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。        |                |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| <table><tr><th>履修予定<br/>学生数<br/>(受入学<br/>生数)</th><th>施設実習<br/>時間数</th><th>受入予定学生<br/>・時間数</th></tr><tr><td>5人</td><td>320時間</td><td>1,600人・時間</td></tr><tr><td>5人</td><td>320時間</td><td>1,600人・時間</td></tr><tr><td>のべ<br/>10人</td><td>640時間</td><td>6,400人・時間</td></tr></table> | 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                   | 施設実習<br>時間数    | 受入予定学生<br>・時間数 | 5人 | 320時間 | 1,600人・時間 | 5人 | 320時間 | 1,600人・時間 | のべ<br>10人 | 640時間 | 6,400人・時間 | <table><tr><th>履修予定<br/>学生数<br/>(受入学<br/>生数)</th><th>施設実習<br/>時間数</th><th>受入予定学生<br/>・時間数</th></tr><tr><td>4人</td><td>320時間</td><td>1,280人・時間</td></tr><tr><td>4人</td><td>320時間</td><td>1,280人・時間</td></tr><tr><td>のべ<br/>8人</td><td>640時間</td><td>2,560人・時間</td></tr></table>  | 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 | 4人 | 320時間 | 1,280人・時間 | 4人 | 320時間 | 1,280人・時間 | のべ<br>8人  | 640時間 | 2,560人・時間 |
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                                                                                                                                                                                                                                                      | 施設実習<br>時間数                                  | 受入予定学生<br>・時間数 |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 5人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,600人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 5人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,600人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| のべ<br>10人                                                                                                                                                                                                                                                                       | 640時間                                        | 6,400人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数)                                                                                                                                                                                                                                                      | 施設実習<br>時間数                                  | 受入予定学生<br>・時間数 |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 4人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,280人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| 4人                                                                                                                                                                                                                                                                              | 320時間                                        | 1,280人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |
| のべ<br>8人                                                                                                                                                                                                                                                                        | 640時間                                        | 2,560人・時間      |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                            |             |                |    |       |           |    |       |           |           |       |           |

株式会社 Schoo

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社ネクストビート

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社ペライチ

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| のべ<br>10人                  | 640時間       | 6,400人・時間      |

株式会社システムコンサルタント

・本施設においてシステム開発・保守・運用・DB構築を実施しているため。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社浜野製作所

・本施設において、各種システム設計・保守等を実施しているため。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社 Schoo

・インノベーション推進室、システム開発部でシステム開発業務等の実習が可能のため。

・インノベーション推進室にて営業活動、会議参加、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社ネクストビート

・開発グループ内でシステム開発業務等の実習が可能のため。

・開発グループにて、会議への参加、調査・企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社ペライチ

・本社システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・本社営業チーム、企画担当と共に会議への参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |
| のべ<br>6人                   | 640時間       | 1,920人・時間      |

株式会社システムコンサルタント

・WEBセキュリティシステム部にて、システム開発・運用業務等の実習が可能のため。

・WEBセキュリティシステム部、営業部にて営業活動、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社浜野製作所

・本社システム開発担当と共に、各種システム設計・開発業務等の実習が可能のため。

・本社営業チームにて、会議への参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| のべ<br>10人                  | 640時間       | 6,400人・時間      |

株式会社ポリグロツツ

・本施設においてシステム開発・保守・運用・DB構築を実施しているため。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能  
なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |
| のべ<br>6人                   | 640時間       | 3,840人・時間      |

フュージョン株式会社

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を  
実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能  
なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |

務等の実習が可能なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 4人                         | 320時間       | 1,280人・時間      |
| 4人                         | 320時間       | 1,280人・時間      |
| のべ<br>8人                   | 640時間       | 2,560人・時間      |

株式会社ポリグロツツ

・事業所システム開発チームにて、システム開発・  
運用業務等の実習が可能なため。

・本社営業チームにて、営業活動、会議参加、調査、企画  
提案業務等の実習が可能なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 1人                         | 320時間       | 320人・時間        |
| 1人                         | 320時間       | 320人・時間        |
| のべ<br>2人                   | 640時間       | 640人・時間        |

フュージョン株式会社

・事業所内システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が  
可能なため。

・事業所内マーケティング事業部にて、会議参加、調査、企画提案  
業務等の実習が可能なため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 4人                         | 320時間       | 1,280人・時間      |
| 4人                         | 320時間       | 1,280人・時間      |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>のべ<br/>10人</p> <p>640時間</p> <p>6,400人・時間</p> <p>株式会社アウトソーシングテクノロジー</p> <p>・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。</p> <p>・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>大日本印刷株式会社</p> <p>・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。</p> <p>・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>マンパワーグループ株式会社</p> <p>・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。</p> <p>・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>日本サードパーティー株式会社</p> <p>・本施設においてシステム設計・開発、教育研修事業を実施しているため。</p> <p>・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>株式会社ゆめみ</p> <p>・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。</p> <p>・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> | <p>のべ<br/>8人</p> <p>640時間</p> <p>2,560人・時間</p> <p>株式会社アウトソーシングテクノロジー</p> <p>・ビジネスソリューション課システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が可能のため。</p> <p>・ビジネスソリューション課マーケティングチームにて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>大日本印刷株式会社</p> <p>・情報イノベーション事業部にて、システム設計・開発業務等の実習が可能のため。</p> <p>・情報イノベーション事業部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>マンパワーグループ株式会社</p> <p>・テクニカルサービス事業部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。</p> <p>・テクニカルサービス事業部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>日本サード・パーティー株式会社</p> <p>・ソフトウェアソリューション部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。</p> <p>・ソフトウェアソリューション部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> <p>株式会社ゆめみ</p> <p>・マーケティングソリューション事業部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。</p> <p>・マーケティングソリューション事業部にて、営業活動、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

ジョルダン株式会社

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社スターシステム

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

SAP ジャパン株式会社

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社 ONE TEAM

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

|                            |             |                |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |
| 5人                         | 320時間       | 1,600人・時間      |

デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社

・事業所内システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・事業所内営業チームにて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

ジョルダン株式会社

・システム開発グループにて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・マーケティング部にて、営業活動、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社スターシステム

・システムディベロップメント課にて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・システムディベロップメント課にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

SAP ジャパン株式会社

・デジタルエコシステム部にて、システム設計・開発業務等の実習が可能のため。

・デジタルエコシステム部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社 ONE TEAM

・事業開発本部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・事業開発本部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

|                            |             |                |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学<br>生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |
| 3人                         | 320時間       | 960人・時間        |

|                                        |                                                 |  |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------|--|
| <div><div>のべ</div><div>10人</div></div> | <div><div>640時間</div><div>6,400人・時間</div></div> |  |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------|--|

株式会社システムリンク

・本施設においてシステム開発・保守・運用・DB構築を実施しているため。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

|                                        |                             |                                 |
|----------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学生数)                 | 施設実習<br>時間数                 | 受入予定学生<br>・時間数                  |
| 5人                                     | 320時間                       | 1,600人・時間                       |
| 5人                                     | 320時間                       | 1,600人・時間                       |
| <div><div>のべ</div><div>10人</div></div> | <div><div>640時間</div></div> | <div><div>6,400人・時間</div></div> |

株式会社ウフル

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社

・本施設内でシステムやコンテンツの設計・開発・保守等の業務を実施している。

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

|                                       |                                                 |  |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------|--|
| <div><div>のべ</div><div>6人</div></div> | <div><div>640時間</div><div>1,920人・時間</div></div> |  |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------|--|

株式会社システムリンク

・S I 事業部にて、システム開発・運用業務等の実習が可能のため。

・S I 事業部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー

・事業所内システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・事業所内マーケティングチームにて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

|                                       |                             |                                 |
|---------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 履修予定<br>学生数<br>(受入学生数)                | 施設実習<br>時間数                 | 受入予定学生<br>・時間数                  |
| 2人                                    | 320時間                       | 640人・時間                         |
| 2人                                    | 320時間                       | 640人・時間                         |
| <div><div>のべ</div><div>4人</div></div> | <div><div>640時間</div></div> | <div><div>1,280人・時間</div></div> |

株式会社ウフル

・デリバリーイノベーション事業本部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・デリバリーイノベーション事業本部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社

・基盤システム本部にて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・企画部にて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

株式会社 LEARNie

・本施設においてシステム開発・保守・運用・DB 構築を実施しているため

・営業活動、会議参加、業務改善、企画提案業務等の実習が可能のため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|------------------------|-------------|----------------|
| 3人                     | 320時間       | 960人・時間        |
| 3人                     | 320時間       | 960人・時間        |
| のべ<br>6人               | 640時間       | 3,840人・時間      |

(追加)

(追加)

(追加)

株式会社 LEARNie

・本社システム開発チームにて、システム開発業務等の実習が可能のため。

・本社営業チームにて、会議参加、調査、企画提案業務等の実習が可能のため。

| 履修予定<br>学生数<br>(受入学生数) | 施設実習<br>時間数 | 受入予定学生<br>・時間数 |
|------------------------|-------------|----------------|
| 1人                     | 320時間       | 320人・時間        |
| 1人                     | 320時間       | 320人・時間        |
| のべ<br>2人               | 640時間       | 640人・時間        |

株式会社ハウテレビジョン

SHIFT 株式会社

株式会社SYG

・実習巡回計画表

新

<実習巡回計画表>

| ◆インターンシップⅠ           |         |    | 期間：6月～7月末日（8週間40日間） |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |                   |
|----------------------|---------|----|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|
| 実習施設名                | エリア     | 人数 |                     | 6月〇日<br>（月） | 6月〇日<br>（火） | 6月〇日<br>（水） | 6月〇日<br>（木） | 6月〇日<br>（金） | 6月〇日<br>（土） | 6月〇日<br>（日） | 7月〇日<br>（月） | 7月〇日<br>（火） | 7月〇日<br>（水） | 7月〇日<br>（木） | 7月〇日<br>（金） | 7月〇日<br>（土） | 7月〇日<br>（日） |                   |
| 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 東京都渋谷区  | 5  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 加藤          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社MapleSystems     | 東京都中央区  | 4  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 山内          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社ベライチ             | 東京都渋谷区  | 3  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             | 加藤          |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社浜野製作所            | 東京都豊田区  | 4  |                     |             |             | 久米          |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社ボリグロッツ           | 東京都新宿区  | 1  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 富澤          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| フュージョン株式会社           | 東京都千代田  | 4  | 実習<br>1週目～<br>3週目   |             |             |             |             | 井澤          | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 実習<br>6週目～8<br>週目 |
| 株式会社ONE TEAM         | 東京都中央区  | 3  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 山内          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 東京都千代田区 | 2  |                     |             |             |             | 久米          |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社LEARNie          | 東京都渋谷区  | 1  |                     |             | 加藤          |             |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社ハウテレビジョン         | 東京都渋谷区  | 3  |                     |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 山内          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| SHIFT株式会社            | 東京都港区   | 10 |                     |             | 富澤          |             |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 株式会社SYG              | 東京都千代田区 | 10 |                     |             |             |             | 井澤          |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |                   |
| 学内待機者                |         |    |                     | 富澤          | 井澤          | 井澤          | 加藤          | 山内          | 富澤          | 山内          | 井澤          | 加藤          | 山内          | 富澤          | 久米          | 井澤          | 加藤          |                   |

| ◆インターンシップⅡ            |         |    |                   |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                   |
|-----------------------|---------|----|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 期間：10月～11月末日（8週間40日間） |         |    |                   |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                   |
| 実施施設名                 | エリア     | 人数 |                   | 10月○<br>日<br>(月) | 10月○<br>日<br>(火) | 10月○<br>日<br>(水) | 10月○<br>日<br>(木) | 10月○<br>日<br>(金) | 10月○<br>日<br>(土) | 10月○<br>日<br>(日) | 11月○<br>日<br>(月) | 11月○<br>日<br>(火) | 11月○<br>日<br>(水) | 11月○<br>日<br>(木) | 11月○<br>日<br>(金) | 11月○<br>日<br>(土) | 11月○<br>日<br>(日) |                   |
| 株式会社NHKメディアテクノロジー     | 東京都渋谷区  | 5  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 加藤               |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社MapleSystems      | 東京都中央区  | 4  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 山内               |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社ベライチ              | 東京都渋谷区  | 3  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  | 加藤               |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社浜野製作所             | 東京都墨田区  | 4  |                   |                  |                  | 久米               |                  |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社ポリグロッツ            | 東京都新宿区  | 1  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 富澤               |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| フュージョン株式会社            | 東京都千代田  | 4  | 実習<br>1週目～<br>3週目 |                  |                  |                  |                  | 井澤               | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 実習<br>6週目～8<br>週目 |
| 株式会社ONE TEAM          | 東京都中央区  | 3  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 山内               |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー  | 東京都千代田区 | 2  |                   |                  |                  |                  | 久米               |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社LEARNie           | 東京都渋谷区  | 1  |                   |                  | 加藤               |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社ハウテレビジョン          | 東京都渋谷区  | 3  |                   |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               | 山内               |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| SHIFT株式会社             | 東京都港区   | 10 |                   |                  | 富澤               |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 株式会社SYG               | 東京都千代田区 | 10 |                   |                  |                  |                  | 井澤               |                  | 休み               | 休み               |                  |                  |                  |                  |                  | 休み               | 休み               |                   |
| 学内待機者                 |         |    |                   | 富澤               | 井澤               | 井澤               | 加藤               | 山内               | 富澤               | 山内               | 井澤               | 加藤               | 山内               | 富澤               | 久米               | 井澤               | 加藤               |                   |

旧

<実習巡回計画表>

| ◆インターンシップⅠ           |         |    |                   |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |  |
|----------------------|---------|----|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|
| 期間：6月～7月末日（8週間40日間）  |         |    |                   |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |             |  |
| 実習施設名                | エリア     | 人数 |                   | 6月〇日<br>（月） | 6月〇日<br>（火） | 6月〇日<br>（水） | 6月〇日<br>（木） | 6月〇日<br>（金） | 6月〇日<br>（土） | 6月〇日<br>（日） | 7月〇日<br>（月） | 7月〇日<br>（火） | 7月〇日<br>（水） | 7月〇日<br>（木） | 7月〇日<br>（金） | 7月〇日<br>（土） | 7月〇日<br>（日） |  |
| 株式会社NHKメディアテクノロジー    | 東京都渋谷区  | 2  |                   |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 加藤          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社MapleSystems     | 東京都中央区  | 5  |                   |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 山内          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社ペライチ             | 東京都渋谷区  | 5  |                   |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             | 加藤          |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社浜野製作所            | 東京都墨田区  | 5  |                   |             |             | 久米          |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社ポリグロッツ           | 東京都新宿区  | 3  |                   |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 富澤          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社Doorkei          | 東京都港区   | 3  |                   |             |             |             | 井澤          |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| フュージョン株式会社           | 東京都千代田  | 5  | 実習<br>1週目<br>～3週目 |             |             |             |             | 井澤          | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社ONE TEAM         | 東京都中央区  | 5  |                   |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          | 山内          |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社TECH FUND        | 東京都渋谷区  | 3  |                   |             |             |             |             | 井澤          | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー | 東京都千代田区 | 5  |                   |             |             |             | 久米          |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 株式会社LEARNie          | 東京都渋谷区  | 3  |                   |             | 加藤          |             |             |             | 休み          | 休み          |             |             |             |             |             | 休み          | 休み          |  |
| 学内待機者                |         |    |                   | 富澤          | 井澤          | 井澤          | 加藤          | 山内          | 富澤          | 山内          | 井澤          | 加藤          | 山内          | 富澤          | 久米          | 井澤          | 加藤          |  |

| ◆インターンシップⅡ            |         |    |                   |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |                   |
|-----------------------|---------|----|-------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------------|
| 期間：10月～11月末日（8週間40日間） |         |    |                   |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |              |                   |
| 実習施設名                 | エリア     | 人数 | 10月〇日<br>(月)      | 10月〇日<br>(火) | 10月〇日<br>(水) | 10月〇日<br>(木) | 10月〇日<br>(金) | 10月〇日<br>(土) | 10月〇日<br>(日) | 11月〇日<br>(月) | 11月〇日<br>(火) | 11月〇日<br>(水) | 11月〇日<br>(木) | 11月〇日<br>(金) | 11月〇日<br>(土) | 11月〇日<br>(日)      |
| 株式会社NHKメディアテクノロジー     | 東京都渋谷区  | 2  |                   |              |              |              |              | 休み           | 休み           | 加藤           |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社MapleSystems      | 東京都中央区  | 5  |                   |              |              |              |              | 休み           | 休み           | 山内           |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社ペライチ              | 東京都渋谷区  | 5  |                   |              |              |              |              | 休み           | 休み           |              |              |              | 加藤           |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社浜野製作所             | 東京都墨田区  | 5  |                   |              | 久米           |              |              | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社ポリグロッツ            | 東京都新宿区  | 3  |                   |              |              |              |              | 休み           | 休み           | 富澤           |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社Doorkel           | 東京都港区   | 3  |                   |              |              | 井澤           |              | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| フュージョン株式会社            | 東京都千代田区 | 5  | 実習<br>1週目<br>～3週目 |              |              |              | 井澤           | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み<br>6週目<br>～8週目 |
| 株式会社ONE TEAM          | 東京都中央区  | 5  |                   |              |              |              |              | 休み           | 休み           | 山内           |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社TECH FUND         | 東京都渋谷区  | 3  |                   |              |              |              | 井澤           | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー  | 東京都千代田区 | 5  |                   |              |              | 久米           |              | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 株式会社LEARNie           | 東京都渋谷区  | 3  |                   | 加藤           |              |              |              | 休み           | 休み           |              |              |              |              |              | 休み           | 休み                |
| 学内待機者                 |         |    | 富澤                | 井澤           | 井澤           | 加藤           | 山内           | 富澤           | 山内           | 井澤           | 加藤           | 山内           | 富澤           | 久米           | 井澤           | 加藤                |



(新旧対照表) インターンシップ要綱 (3、5～9 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[表紙]</p> <p>インターンシップ要綱</p> <p>情報経営イノベーション専門職大学</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>[表紙]</p> <p>インターンシップ要綱</p> <p>i 専門職大学</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>[3 ページ]</p> <p>■情報経営イノベーション専門職大学のインターンシップ</p> <p>1) 目的</p> <p>本学の養成する人材は、変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材である。インターンシップでは、実践活動の場での課題発見、解決を通して、システム開発やビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、イノベーション人材として具備すべき知識及びスキルを修得させることを目的とする。</p> | <p>[3 ページ]</p> <p>■i 専門職大学のインターンシップ</p> <p>1) 目的</p> <p>本学は、『先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT 分野の専門性を有し新たな価値をグローバル社会で産み出し続ける人材に学位を教授すること』をディプロマポリシーとし、教育課程(カリキュラム)を通して、具体的には ICT 技術者をマネジメントし新たなサービスを産み出すことができるプロデューサーやイノベーション人材の育成を目標と掲げている。インターンシップでは、実践活動の場での課題発見、解決を通して、システム開発・保守やビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、プロデューサーやイノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させることを目的とする。</p> |
| <p>[6～9 ページ]</p> <p>6) インターンシップでの学び</p> <p>(中略)</p> <p>■インターンシップ I の目標</p> <p>(主な到達目標)</p> <p>・与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。</p> <p>・課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づ</p>                                                                                                                                                     | <p>[5、6 ページ]</p> <p>6) インターンシップでの学び</p> <p>(中略)</p> <p>(インターンシップ I の全体目標)</p> <p>■システム開発スキルの獲得</p> <p>大学で学習してきたシステム開発技術を使い、開発プロジェクトの一員として実業務に従事する。</p> <p>■システム保守スキルの獲得</p> <p>実際の現場での保守・運用業務を通して、現場責任者の指導の下にて就業体験を行う。</p> <p>(具体的内容と計画)</p>                                                                                                                                                     |

|                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>き、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できる。</u></p> <p><u>・システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができる。</u></p> <p><u>(具体的内容と計画)</u></p> <p>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</p> <p><u>*システム開発を行う上でのチームワーク(コミュニケーション)、情報伝達をスムーズに行う。</u></p> <p><u>*システム開発に関するスケジュール管理、システム企画、技術開発実務を行う。</u></p> <p><u>*技術チームメンバーとしてシステム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する。</u></p> <p><u>*システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行う。</u></p> <p><u>*システムの計画、設計、開発、テストおよび運用。</u></p> <p><u>*設計書の見方・書き方を確認し、プログラミング言語で実装する。</u></p> <p><u>*システムを導入するネットワーク環境設計やセキュリティ対策。</u></p> |
| 初日                                                                                                                                                                     | <p><u>インターンシップ I オリエンテーション</u></p> <p>① <u>企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p>                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 1 週目                                                                                                                                                                   | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>システム開発者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u></p> <p>③ <u>システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行うことの重要性を聴く。</u></p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| ～3 週目                                                                                                                                                                  | <p>① <u>システム開発チームメンバーとして開発作業の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者から</u></p>                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

|      |                                                                                                                                                                                                    |  |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|      | <p><u>のフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                                                                                                      |  |
| ～5週目 | <p>① <u>システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</u></p> |  |
| ～7週目 | <p>① <u>引き続き、与えられた課題を基に業務を遂行する。適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u></p>                                                       |  |
| ～8週目 | <p>① <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u></p> <p>② <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u></p>                                    |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                         |     |                                               |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------|--|
| <p><b>■インターンシップⅡの目標</b></p> <p><u>(主な到達目標)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。</u></li> <li>・ <u>異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。</u></li> <li>・ <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。</u></li> <li>・ <u>情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。</u></li> </ul> <p><u>(具体的な内容と計画)</u></p> <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> | <p><u>(インターンシップⅡの全体目標)</u></p> <p><b>■ビジネススキルの獲得</b></p> <p><u>大学で学習してきたビジネススキルをもとに、実習先の既存ビジネスの推進(営業・マネジメント)や改善に従事する。業務を通じ、ICTを用いてビジネスを発展させるために必要なスキル・経験を積む。</u></p> <p><b>■ICTを活用した新規提案、企画力の獲得</b></p> <p><u>大学でのイノベーションプロジェクトの経験や知識をもとに、実習先にあった新規事業やビジネスの提案を行う。ICTとビジネスを融合し、インターンシップ先のリソースを活用しながら価値を最大化する方法を提案する。</u></p> <p><u>(具体的な内容と計画)</u></p> <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* <u>マーケットリサーチ、マーケティング業務</u></li> <li>* <u>新規プロダクトの企画提案</u></li> <li>* <u>各種プロダクトの営業活動</u></li> <li>* <u>既存システム・コンテンツのユーザーヒアリングやフィードバックを通じた改善提案業務</u></li> <li>* <u>プロジェクトの一員としてサービスやシステムの仕様検討から実装する。</u></li> <li>* <u>新規/既存サービスへの機能追加やUIUXの検討</u></li> </ul> |                                                                                                                                                                                                         |     |                                               |  |
| <table border="1"> <tr> <td data-bbox="225 1317 347 1892">初日</td><td data-bbox="347 1317 794 1892"> <p><u>インターンシップⅡ オリエンテーション</u></p> <p>① <u>必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> <p>② <u>インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> </td></tr> <tr> <td data-bbox="225 1892 347 1986">1週目</td><td data-bbox="347 1892 794 1986"> <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企</u></p> </td></tr> </table>                                                                        | 初日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p><u>インターンシップⅡ オリエンテーション</u></p> <p>① <u>必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> <p>② <u>インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> | 1週目 | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企</u></p> |  |
| 初日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p><u>インターンシップⅡ オリエンテーション</u></p> <p>① <u>必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> <p>② <u>インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                         |     |                                               |  |
| 1週目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                         |     |                                               |  |

|      |                                                                                                                                                                                                                                |  |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|      | <p><u>業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>実習先で行われる実際の会議やミーティングに参加させてもらう。</u></p> <p>③ <u>マーケティング業務経験者や企画職経験者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u></p>                  |  |
| ～3週目 | <p>① <u>営業、マーケティング業務、企画業務の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間2週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                         |  |
| ～5週目 | <p>① <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理する課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移</u></p> |  |

|             |                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|             | <u>行する。</u>                                                                                                                                                                                                                                |  |
| <u>～7週目</u> | <p>① <u>前回の課題、インターンシップ I を踏まえ、情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンテーションする課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>課題に対し、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u></p> |  |
| <u>～8週目</u> | <p>① <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u></p> <p>② <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u></p>                                                                            |  |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

(2)「インターンシップⅠ」及び「インターンシップⅡ」について、いくつかの実務を通じて業務を遂行すると説明しているが、具体的な到達目標や学生が実習期間中に行う活動内容が不明確であるため、臨地実習の目的等に照らして適切な学修を行うことができるか実現可能性に疑義がある。

(対応)

「インターンシップⅠ」の目標は、システム開発スキルの獲得、システム保守スキルの獲得とし、「インターンシップⅡ」の目標は、ビジネススキルの獲得、ICTを活用した新規提案、企画力の獲得としたが、具体的な到達目標や学生が実習期間中に行う活動内容が不明確であること指摘を頂いたため、インターンシップの目標を再度検討するとともに、他の審査意見により修正したディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーとの整合性に留意のうえ再度検討し、3年次のインターンシップで具体的に体験し到達できるレベルを設定し以下のように定める。また、到達目標に必要な実習内容（作業・体験・課題）についても具体的に明記するよう追記して修正する。

(インターンシップⅠ)

・主な到達目標

- \*与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。
- \*課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できる。
- \*システム開発の作業の一工程を、示された設計書の通りに実装することができる。

・実習内容（体験・作業・課題等）

|      |                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初日   | インターンシップⅠ オリエンテーション<br>① 企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。                                                                                                 |
| 1週目  | ① 実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。<br>② システム開発者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。<br>③ システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行うことの重要性を聴く。 |
| ～3週目 | ① システム開発チームメンバーとして開発作業の補助業務を行う。<br>② 実習期間2週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自                                                                                                   |

|      |                                                                                                                                                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | 己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。                                                                                                                                  |
| ～5週目 | <p>① システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する課題に取り組む。</p> <p>② 実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</p> |
| ～7週目 | <p>① 引き続き、与えられた課題を基に業務を遂行する。適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</p>                                                |
| ～8週目 | <p>② 完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</p> <p>③ 実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</p>                                    |

## (インターンシップⅡ)

### ・主な到達目標

- \*自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。
- \*異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。
- \*企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。
- \*情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。

### ・実習内容（体験・作業・課題等）

|    |                                                                                                                                                                                  |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初日 | <p>インターンシップⅡ オリエンテーション</p> <p>①必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</p> <p>②インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</p> |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|       |                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 週目  | <p>① 実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</p> <p>② 実習先で行われる実際の会議やミーティングに参加させてもらう。</p> <p>③ マーケティング業務経験者や企画職経験者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</p>      |
| ～3 週目 | <p>① 営業、マーケティング業務、企画業務の補助業務を行う。</p> <p>② 実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</p>                                                   |
| ～5 週目 | <p>① 企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理する課題に取り組む。</p> <p>② 実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</p>         |
| ～7 週目 | <p>① 前回の課題、インターンシップ I を踏まえ、情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンテーションする課題に取り組む。</p> <p>② 課題に対し、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</p> |
| ～8 週目 | <p>① 完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</p> <p>② 実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</p>                                                                            |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (64～68 ページ、資料 17、18)

| 新                                                                          | 旧                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| <p>[64～68 ページ]</p> <p>(1)インターンシップ(実習)の目的</p> <p>インターンシップでは、実践活動の場での課題発</p> | <p>[57～60 ページ]</p> <p>(1)インターンシップ(実習)の目的</p> <p>インターンシップでは、実践活動の場での課題発</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>見・解決を通して、<u>システム開発やビジネス</u>において新規提案・実装するために必要とされる専門的知識と実務との統合を図ることで、イノベーション人材としてのスキルを修得させることを目的とする。</p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>①実習先の選定基準</p> <p>実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。</p> <p><u>(ア) インターンシップの到達目標を達成するために必要な作業、体験、課題と実習指導・フォローが可能な施設</u></p> <p><u>(イ) 実習指導を十分に行えるよう、従業員 10 名以上の施設</u></p> <p><u>(ウ) 教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設</u></p> <p>(中略)</p> <p>(3)実習水準の確保等</p> <p>どの実習先においても設定された能力を身に付けることができるよう、目標や具体的なインターンシップ内容、評価基準等を以下のように定めた。</p> <p><u>(インターンシップ I)</u></p> <p>・主な到達目標</p> <p><u>*与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。</u></p> <p><u>*課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できる。</u></p> <p><u>*システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができる。</u></p> | <p>見・解決を通して、<u>システム開発・保守やビジネス</u>において新規提案・実装するために必要とされる専門的知識と実務との統合を図ることで、イノベーション人材としてのスキルを修得させることを目的とする。</p> <p>(2)インターンシップ(実習)先の選定基準と確保状況等</p> <p>①実習先の選定基準</p> <p>実習の目的を達成するため、受け入れ施設については以下の要件を設定している。</p> <p><u>(ア) 教育理念や育成人材像に共感し、ともに育成を目指すことに同意頂いた施設</u></p> <p><u>(イ) プロデューサーやプロジェクトマネージャーが配置されている</u></p> <p><u>(ウ) システム開発・保守業務を行っている</u></p> <p>上記基準をクリアしていれば、社員数・施設の広さには基準を設けずに選定している。</p> <p>(中略)</p> <p>(3)実習水準の確保等</p> <p>どの実習先においても設定された能力を身に付けることができるよう、目標や具体的なインターンシップ内容、評価基準等を以下のように定めた。</p> <p>①インターンシップ I の目標</p> <p>・システム開発スキルの獲得</p> <p><u>大学で学習してきたシステム開発技術を使い、開発プロジェクトの一員として実務に従事する。</u></p> <p>・システム保守スキルの獲得</p> <p><u>実際の現場での保守・運用業務を通して、現場の責任者の指導の下に就業体験を行う。</u></p> <p>(具体的内容と計画)</p> <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|       |                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                       |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 初日    | <p><u>インターンシップ I オリエンテーション</u></p> <p>① <u>企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p>                                                                                                             | <p>・<u>システム開発を行ううえでのチームワーク(コミュニケーション)、情報伝達をスムーズに行う</u></p> <p>・<u>システム開発に関するスケジュール管理、システム企画、技術開発実務を行う</u></p> <p>・<u>技術チームメンバーとして、システム開発作業の一工程の中で示された設計書のとおり実装する</u></p>              |
| 1 週目  | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>システム開発者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u></p> <p>③ <u>システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行うことの重要性を聴く。</u></p> | <p>・<u>システム開発を行ううえでの責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行う</u></p> <p>・<u>システムの計画、設計、開発、テスト及び運用</u></p> <p>・<u>設計書の見方・書き方を確認し、プログラミング言語で実装する</u></p> <p>・<u>システムを導入するネットワーク環境設計やセキュリティ対策</u></p> |
| ～3 週目 | <p>① <u>システム開発チームメンバーとして開発作業の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                                         |                                                                                                                                                                                       |
| ～5 週目 | <p>① <u>システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する課題に取り組む。</u></p>                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                       |

|                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                       | ② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</u>                   |                                                                                                                                                             |
| ～7週目                                                                                                                                                                  | ① <u>引き続き、与えられた課題を基に業務を遂行する。適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u>                |                                                                                                                                                             |
| ～8週目                                                                                                                                                                  | ② <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u><br>③ <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u> |                                                                                                                                                             |
| <p>(インターンシップⅡ)</p> <p>・ <u>主な到達目標</u></p> <p><u>*自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。</u></p> <p><u>*異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じ</u></p> |                                                                                                                                                      | <p>②インターンシップⅡの目標</p> <p>・ <u>ビジネススキルの獲得</u></p> <p><u>大学で学習してきたビジネススキルをもとに、実習先の既存ビジネスの推進(営業・マネジメント)や改善に従事する。業務を通じ、ICTを用いてビジネスを発展させるために必要なスキル・経験を積む。</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>て自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。</u></p> <p><u>*企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。</u></p> <p><u>*情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。</u></p> <p><u>・実習内容（体験・作業・課題等）</u></p> |                                                                                                                                                                                                                 | <p><u>・ICTを活用した新規提案、企画力の獲得</u></p> <p><u>大学でのイノベーションプロジェクトの経験や知識をもとに、実習先に応じた新規事業やビジネスの提案を行う。ICTとビジネスを融合し、インターンシップ先のリソースを活用しながら価値を最大化する方法を提案する。</u></p>                                                                                                                                                                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                 | <p><u>(具体的な内容と計画)</u></p> <p><u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u></p> <p><u>・マーケットリサーチ、マーケティング業務</u></p> <p><u>・新規プロダクトの企画提案</u></p> <p><u>・各種プロダクトの営業活動</u></p> <p><u>・既存システム・コンテンツのユーザーヒアリングやフィードバックを通じた改善提案</u></p> <p><u>・実際のプロジェクトの一員としてサービスやシステムの仕様検討から実装</u></p> <p><u>・新規／既存サービスへの機能追加や UI/UX の検討</u></p> |
| 初日                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p><u>インターンシップⅡ オリエンテーション</u></p> <p>① <u>必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。</u></p> <p>② <u>インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。</u></p>         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1 週目                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>① <u>実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u></p> <p>② <u>実習先で行われる実際の会議やミーティングに参加させらるう。</u></p> <p>③ <u>マーケティング業務経験者や企</u></p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|             |                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|             | <u>画職経験者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u>                                                                                                                                                                                                |  |
| <u>～3週目</u> | <p>① <u>営業、マーケティング業務、企画業務の補助業務を行う。</u></p> <p>② <u>実習期間2週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u></p>                                             |  |
| <u>～5週目</u> | <p>① <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理する課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</u></p> |  |
| <u>～7週目</u> | <p>① <u>前回の課題、インターンシップⅠを踏まえ、情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンテーションする課題に取り組む。</u></p> <p>② <u>課題に対し、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に</u></p>                                                                     |  |

|             |                                                                                                                                                                 |  |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|             | <p><u>修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u></p>                                                                        |  |
| <u>～8週目</u> | <p>① <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u></p> <p>② <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u></p> |  |

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

(3) 評価基準について、より客観的に評価できるように、ルーブリックによる評価等を行うことが適切であるため、改めること。

(対応)

臨地実務実習の評価基準について、より客観的に評価できるように、ルーブリックによる評価等を行うことが適切であることご指摘を頂いたため、臨地実務実習の評価基準について、より客観的に評価できるように、評価のあり方を再度検討した。その結果、ルーブリック評価を策定することで、全ての実習施設指導者が客観的で具体的な到達目標により同基準で評価できるよう設定する。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (69～70 ページ)

新

[69、70 ページ]

表 5 ◆インターンシップⅠの評価基準 (ルーブリック評価)

| 評価項目         | 4<br>ファイナルステップ                                                             | 3<br>サードステップ                                                        | 2<br>セカンドステップ                                              | 1<br>ファーストステップ                                  |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 目標設定         | 与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。           | 与えられた業務の目的を理解した上で、効率的・効果的な方法で完了することを目標として作業を進めることができる。              | 与えられた業務について、効率的な方法や手順で完了することを目標として作業を進めることができる。            | 与えられた業務を完了することを目標として作業を進めることができる。               |
| 計画立案・実践      | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できた。   | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況においても指導者のアドバイスに従いながら計画の修正・変更を行い、最後まで実行できた。 | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、指導者の指示に従いながら最後まで実行できた。                 | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実行しようとしていたが、最後まででは完遂できなかった。 |
| 主体性          | 自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができた。                        | 自分のやるべき業務は何かを判断し、前向きに率先して取り組むことができた。                                | 自分のやるべき業務は何かを考えながら、取り組むことができた。                             | 指示された業務を忠実に実行できた。                               |
| コミュニケーション・協働 | 異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができた。 | 異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、自ら協力しながら業務を遂行することができた。          | 異なる考え方の人たちの意見を聞いて理解したうえで、自分の意見を伝え、自ら協力しながら業務を遂行することができた。   | 異なる考え方の人たちに対して、自分の意見を伝え、相手から求められた業務を遂行することができた。 |
| システム開発       | システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができた。                                    | システム開発に関しての基本的な知識を保有し、担当する領域の作業を、上位の指導の下に行うことができた。                  | システム開発に関する基本的な知識を保有し、システム開発の作業工程として、示された設計書の内容を理解することができた。 | システム開発に関する基本的な知識を理解している。                        |



表 6 ◆インターンシップⅡの評価基準（ルーブリック評価）

| 評価項目         | 4<br>ファイナルステップ                                                                      | 3<br>サードステップ                                                               | 2<br>セカンドステップ                                                               | 1<br>ファーストステップ                                       |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 目標設定         | 与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目標として作業を進めることができる。                    | 与えられた業務の目的を理解した上で、効率的・効果的な方法で完了することを目標として作業を進めることができる。                     | 与えられた業務について、効率的な方法や手順で完了することを目標として作業を進めることができる。                             | 与えられた業務を完了することを目標として作業を進めることができる。                    |
| 計画立案・実践      | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できた。            | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況においても指導者のアドバイスに従いながら計画の修正・変更を行い、最後まで実行できた。        | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、指導者の指示に従いながら最後まで実行できた。                                  | 課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実行しようとしていたが、最後まででは完遂できなかった。      |
| 主体性          | 自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができた。                                 | 自分のやるべき業務は何かを判断し、前向きに率先して取り組むことができた。                                       | 自分のやるべき業務は何かを考えながら、取り組むことができた。                                              | 指示された業務を忠実に実行できた。                                    |
| コミュニケーション・協働 | 異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができた。          | 異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、自ら協力しながら業務を遂行することができた。                 | 異なる考え方の人たちの意見を聞いて理解したうえで、自分の意見を伝え、自ら協力しながら業務を遂行することができた。                    | 異なる考え方の人たちに対して、自分の意見を伝え、相手から求められた業務を遂行することができた。      |
| 情報の収集と分析     | 企業や事業を取り巻く状況について、調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。 | 企業や事業を取り巻く状況について、調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理することができていた。 | 企業や事業を取り巻く状況についての一般的な調査統計のデータだけでなく、アンケートやインタビューといった一次情報も適切に収集・分析することができていた。 | 企業や事業を取り巻く状況についての一般的な調査統計データを、適切に収集・分析することができていた。    |
| 解決提案とプレゼン    | 情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。   | 情報通信技術も活用しながら事業の課題を解決する方策とその実行計画をプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができた。                 | 情報通信技術も活用しながら事業の課題を解決する方策をプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができた。                         | 情報通信技術を活用しながら事業の課題を解決する方策をプレゼンしたが、指導者の十分な納得を得られなかった。 |

評価項目 4 点×項目数を満点とし、90%以上／80%以上／70%以上／60%以上のスコアで成績評価点(高評価から、S/A/B/C の順)を算出する。また、各授業それぞれの評価に週に 1 回のインターンシップ指導者からの学生評価コメントと最終評価コメントを参照してインターンシップ指導者からの最終評価とする。

旧

[61 ページ]

表 5 ◆インターンシップⅠの評価基準

| 大項目         | 小項目                                        |                        | 大変良い | 良い | 普通 | 悪い | 大変悪い |
|-------------|--------------------------------------------|------------------------|------|----|----|----|------|
| 主体性評価       | 1. 積極性                                     | 物事に進んで取り組む力            | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 2. 課題発見力                                   | 現状を分析し目的や課題を明らかにする力    | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 3. 実践力                                     | 目標を設定し確実に行動する力         | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
| コミュニケーション評価 | 1. 発信力                                     | 自分の意見をわかりやすく伝える力       | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 2. 傾聴力                                     | 相手の意見を丁寧に聴く力           | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 3. 柔軟性                                     | 意見の違いや立場の違いを理解する力      | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 4. 状況把握力                                   | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 5. 規律性                                     | 社会のルールや人との約束を守る力       | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
| 専門知識・技能評価   | 1. システム開発に関する初歩的な知識（データ構造、OSの仕組み、通信プロトコル等） |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 2. システム開発に関するスケジュール管理、システム企画、技術開発計画等の知識    |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 3. システムを導入するネットワーク環境設計やセキュリティ対策に関する基本知識    |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 4. システム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する技能      |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 5. システムの計画、設計、開発、テストおよび運用までの各工程に関する技能      |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|             | 6. 設計書の見方・書き方を確認し、プログラミング言語で実装する技能         |                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |

表 6 ◆インターンシップⅡの評価基準

| 大項目          | 小項目                                           | 大変良い | 良い | 普通 | 悪い | 大変悪い |
|--------------|-----------------------------------------------|------|----|----|----|------|
| 主体性評価        | 1. 積極性                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 2. 課題発見力                                      | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 3. 実践力                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
| コミュニケーション力評価 | 1. 発信力                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 2. 傾聴力                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 3. 柔軟性                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 4. 状況把握力                                      | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 5. 規律性                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
| 課題解決実践力評価    | 1. 課題解決力                                      | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 2. 提案力                                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 3. リーダーシップ力                                   | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
| 専門知識・技能評価    | 1. マーケットリサーチ、マーケティング業務                        | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 2. 新規プロダクトや業務プロセス等の企画提案業務                     | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 3. 各種プロダクトの営業活動力                              | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 4. 既存システム・コンテンツのユーザーエンゲージメントやフィードバックを通じた改善提案力 | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 5. サービスやシステムの仕様検討から実装できる技能                    | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |
|              | 6. 新規/既存サービスへの機能追加やUI/UXの検討力                  | 5    | 4  | 3  | 2  | 1    |

評価項目 5 点×項目数を満点とし、60%以上/70%以上/80%以上/90%以上のスコアで成績評価点(高評価から、S/A/B/C の順)を算出する。また、各授業それぞれの評価に週に 1 回のインターンシップ指導者からの学生評価コメントと最終評価コメントを参照してインターンシップ指導者からの最終評価とする。

13. 選択科目が少ないため、養成する人材像ごとに作成している2つの履修モデルの差異が不明確である。  
養成する人材像に照らして教育課程が適切であるか明確にしつつ、2つの履修モデルの差異が明確になるよう適切に改めること。

(対応)

審査意見1にもとづき、本学の養成する人材像を改めるとともに、それにともない3つのポリシーと教育課程の見直しを行ったため、履修モデルについても変更を行った。変更後の履修モデルについては、モデルの差異を明確にするとともに、養成する人材像に照らして適切であることが明確となるよう、設置の趣旨に記述を追加して修正する。また、履修モデルの変更に伴い、履修科目の上限について見直す。

#### <養成する人材像>

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材

#### <履修モデル>

上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7科目、職業専門科目24科目(うちビジネス基礎4科目、ビジネス実践11科目、システムデザイン基礎9科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4科目、総合科目2科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を獲得する素地を養うことを企図している。

さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の3つを展開する。

- ① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル
- ② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル
- ③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

- ① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービス立案・提案する人材を目指す履修モデル

一般企業において新規の事業やサービスの立案・提案を行う人材を目指す履修モデルでは、幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、実際の事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。情報通信技術を用いた新規の事業やサービスの立案・提案に携わることができるよう、経営に関する全般的な理解と情報通信技術の活用について学びを深める。

|        |                |            |    | 1年  |                 |    | 2年  |                |    | 3年  |                  |    | 4年      |                 |        |
|--------|----------------|------------|----|-----|-----------------|----|-----|----------------|----|-----|------------------|----|---------|-----------------|--------|
|        |                |            |    | 科目名 | 単位              | 期  | 科目名 | 単位             | 期  | 科目名 | 単位               | 期  | 科目名     | 単位              | 単位     |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —          | 必修 | 前期  | イノベーションの志       | 2  | 前期  | キャリアデザインⅠ      | 1  | 後期  | キャリアデザインⅡ        | 1  |         |                 |        |
|        |                |            |    | 前期  | スタディスキル         | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 前期  | 英語コア・スキルⅠ       | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | リサーチ入門          | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —          |    | 後期  | 英語コア・スキルⅡ       | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            | 選択 | 前期  | 数学基礎A           | 2  | 前期  | 職業倫理           | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | 数学基礎B           | 2  | 後期  | ICTと人間         | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    |     |                 |    |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    |     | 単位数             | 14 |     | 単位数            | 5  |     | 単位数              | 1  |         | 単位数             | 0 20   |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎     | 必修 | 前期  | マネジメント(経営学基礎)   | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 前期  | マーケティング基礎       | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | 法務リテラシーⅠ        | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | アカウンティング基礎      | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            | 選択 |     |                 |    |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                | ビジネス応用     | 選択 |     |                 |    | 前期  | マーケティング応用      | 2  | 後期  | イノベーション特論        | 2  | 前期      | クロスステックビジネスデザイン | 2      |
|        |                |            |    |     |                 |    | 後期  | 問題形成と問題解決      | 2  |     |                  | 前期 | デザインと経営 | 2               |        |
|        |                | ビジネス実践     | 必修 | 前期  | イノベーションプロジェクトⅠ  | 2  | 前期  | イノベーションプロジェクトⅢ | 2  | 通期  | イノベーションプロジェクトⅤ   | 2  | 通期      | イノベーションプロジェクトⅥ  | 2      |
|        |                |            |    | 後期  | イノベーションプロジェクトⅡ  | 2  | 前期  | ビジネスフィールドリサーチⅠ | 2  | 前期  | インターンシップⅠ        | 12 |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | スタートアップ基礎(起業論)  | 2  | 後期  | イノベーションプロジェクトⅣ | 2  | 後期  | インターンシップⅡ        | 12 |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  |                 |    | 後期  | ビジネスフィールドリサーチⅡ | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        | 情報通信技術         | システムデザイン基礎 | 必修 | 前期  | プログラミングⅠ        | 2  | 前期  | ソフトウェア設計・構築    | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 前期  | データ構造と処理法       | 2  | 前期  | データベース         | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 前期  | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2  | 後期  | 情報技術演習Ⅰ        | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | プログラミングⅡ        | 2  | 後期  | システム設計演習       | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | ネットワーク技術        | 2  |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                | システム応用デザイン | 選択 |     |                 |    | 前期  | モバイルサービス概論     | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            | 選択 |     |                 |    |     |                |    | 後期  | クラウド             | 2  |         |                 |        |
|        |                | キャリアデザイン   | 選択 |     |                 |    |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    |     |                 |    |     |                |    |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    |     | 単位数             | 24 |     | 単位数            | 22 |     | 単位数              | 30 |         | 単位数             | 6 82   |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション | —          | 必修 | 前期  | ビジネス英語実習Ⅰ       | 2  | 前期  | ビジネス英語実習Ⅲ      | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            |    | 後期  | ビジネス英語実習Ⅱ       | 2  | 後期  | ビジネス英語実習Ⅳ      | 2  |     |                  |    |         |                 |        |
|        |                |            | 選択 |     |                 |    | 後期  | 英語ビジネスマネジメント   | 2  | 前期  | 英語通訳論            | 2  | 前期      | 英語プレゼンテーション     | 2      |
|        |                |            |    |     |                 |    |     |                |    | 後期  | 英語ディスカッション・ディベート | 2  | 後期      | 実践英語:IoT        | 2      |
|        |                |            |    |     | 単位数             | 4  |     | 単位数            | 6  |     | 単位数              | 4  |         | 単位数             | 6 20   |
| 総目合    | 科目             |            | 必修 |     |                 |    | 後期  | 総合理論演習         | 2  | 通期  | 総合実践演習           | 4  |         |                 |        |
|        |                |            |    |     | 単位数             | 0  |     | 単位数            | 0  |     | 単位数              | 2  |         | 単位数             | 4 6    |
|        |                |            |    |     | 合計単位数           | 42 |     | 合計単位数          | 33 |     | 合計単位数            | 37 |         | 合計単位数           | 16 128 |

- ② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル

情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルでは、主にサービスの改善、新たなサービスの開発に向けた情報通信技術、データ

分析や活用に関する全般的な知識やスキル、および応用的な課題発見力・解決力、プロジェクト管理に関する実践力を習得する。情報通信技術を用いたサービスを開発し、組織の課題解決に応用できるように、情報通信技術の開発および活用についての学びを深める。職業専門科目の履修にあたっては、横断的な開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデル（②-1）と、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデル（②-2）の2つを想定している。

## ②-1 横断的な開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデル

サービスの改善や開発に向けた情報通信技術、データ分析や活用に関する全般的な知識やスキルを養成するために、システムデザインの応用分野へ学ぶことを想定している。

|        |                |        | 1年              |            |                | 2年       |                |                    | 3年     |           |                | 4年 |     |                |    |   |
|--------|----------------|--------|-----------------|------------|----------------|----------|----------------|--------------------|--------|-----------|----------------|----|-----|----------------|----|---|
|        |                |        | 期               | 科目名        | 単位             | 期        | 科目名            | 単位                 | 期      | 科目名       | 単位             | 期  | 科目名 | 単位             | 単位 |   |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —      | 必修              | イノベーションの志  | 2              | 前期       | キャリアデザインⅠ      | 1                  | 後期     | キャリアデザインⅠ | 1              |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 前期              | スタディスキル    | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 前期              | 英語コア・スキルⅠ  | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 後期              | リサーチ入門     | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 後期              | 英語コア・スキルⅡ  | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 選択              | 前期         | 数学基礎A          | 2        | 前期             | 先端グローバル社会          | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 | 後期         | 数学基礎C          | 2        | 後期             | 科学史                | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            | 単位数            | 14       |                | 単位数                | 5      |           | 単位数            | 1  |     | 単位数            | 0  | 2 |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎 | 必修              | 前期         | マネジメント(経営学基礎)  | 2        |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 前期              | マーケティング基礎  | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 後期              | 法務リテラシーⅠ   | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 後期              | アカウンティング基礎 | 2              |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | 選択     |                 |            |                | 前期       | オペレーションズマネジメント | 2                  |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | ス応用ネ   | 選択              |            |                |          | 後期             | 組織行動論              | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        | 情報通信技術         | ビジネス実践 | 必修              | 前期         | イノベーションプロジェクトⅠ | 2        | 前期             | イノベーションプロジェクトⅢ     | 2      | 通期        | イノベーションプロジェクトⅤ | 2  | 通期  | イノベーションプロジェクトⅦ | 2  |   |
|        |                |        |                 | 後期         | イノベーションプロジェクトⅡ | 2        | 前期             | ビジネスフィールドリサーチⅠ(実習) | 2      | 前期        | インターンシップⅠ(実習)  | 12 |     |                |    |   |
|        |                |        |                 | 後期         | スタートアップ基礎(起業論) | 2        | 後期             | イノベーションプロジェクトⅣ     | 2      | 後期        | インターンシップⅡ(実習)  | 12 |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          | 後期             | ビジネスフィールドリサーチⅡ(実習) | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | 基礎デザイン | 必修              | 前期         | プログラミングⅠ(実習)   | 2        | 前期             | ソフトウェア設計・構築        | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 | 前期         | データ構造と処理法      | 2        | 前期             | データベース             | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        | 前期             |        | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2          | 後期             | 情報技術演習Ⅰ  | 2              |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | 後期     | プログラミングⅡ(実習)    | 2          | 後期             | システム設計演習 | 2              |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | 後期     | ネットワーク技術        | 2          |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | 選択     |                 |            |                | 後期       | 情報系数学応用B       | 2                  |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                | デサ応用テム | 選択              |            |                |          | 後期             | 情報システムのプロジェクト管理    | 2      | 前期        | ソフトウェアプロセスと品質  | 2  |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          | 後期             | システムインテグレーション      | 2      |           |                | 2  |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                | 後期                 | ビッグデータ | 2         |                |    |     |                |    |   |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション | —      | 必修              | 前期         | ビジネス英語実習Ⅰ(実習)  | 2        | 前期             | ビジネス英語実習Ⅲ(実習)      | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 | 後期         | ビジネス英語実習Ⅱ(実習)  | 2        | 後期             | ビジネス英語実習Ⅳ(実習)      | 2      |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        | 選択              |            |                |          | 前期             | 英語アカデミックリテラシー      | 2      | 前期        | 英語語訳論          | 2  | 後期  | 英語ビジネスエーション    | 2  |   |
|        |                |        |                 |            |                |          | 後期             | 実践英語:多文化理解         | 2      | 後期        | 実践英語:日本文化      | 2  |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
| 総合科目   | —              | 必修     |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |
|        |                |        |                 |            |                |          |                |                    |        |           |                |    |     |                |    |   |

1つの技術分野について知識やスキルを集中的に学ぶことを想定している知識やスキルを深め、情報通信技術を通じ課題を発見・解決するための力を深める。

|        |                |            |                 | 1年             |                |                    | 2年                 |                |          | 3年            |                |    | 4年 |                |    |
|--------|----------------|------------|-----------------|----------------|----------------|--------------------|--------------------|----------------|----------|---------------|----------------|----|----|----------------|----|
|        |                |            |                 | 期              | 科目名            | 単位                 | 期                  | 科目名            | 単位       | 期             | 科目名            | 単位 | 期  | 科目名            | 単位 |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | ー          | 必修              | 前期             | イノベーションの志      | 2                  | 前期                 | キャリアデザインⅠ      | 1        | 後期            | キャリアデザインⅠ      | 1  |    |                |    |
|        |                |            | 前期              | スタディスキル        | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 前期              | 英語コア・スキルズⅠ     | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | リサーチ入門         | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | 英語コア・スキルズⅡ     | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 選択              | 前期             | 数学基礎A          | 2                  | 前期                 | 先端グローバル社会      | 2        |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | 数学基礎C          | 2              | 後期                 | 科学史                | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            |                 |                | 単位数            | 14                 | 単位数                | 5              | 単位数      | 1             | 単位数            | 0  | 2  |                |    |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎     | 必修              | 前期             | マネジメント(経営学基礎)  | 2                  |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 前期              | マーケティング基礎      | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | 法務リテラシーⅠ       | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | アカウンティング基礎     | 2              |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                | 選択         |                 |                |                | 前期                 | オペレーションズマネジメント     | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
|        | ビジネス実践         | 選択         |                 |                |                |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                | ビジネス実践     | 必修              | 前期             | イノベーションプロジェクトⅠ | 2                  | 前期                 | イノベーションプロジェクトⅢ | 2        | 通期            | イノベーションプロジェクトⅤ | 2  | 通期 | イノベーションプロジェクトⅦ | 2  |
|        |                |            | 後期              | イノベーションプロジェクトⅡ | 2              | 前期                 | ビジネスフィールドリサーチⅠ(実習) | 2              | 前期       | インターンシップⅠ(実習) | 12             |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | スタートアップ基礎(起業論) | 2              | 後期                 | イノベーションプロジェクトⅣ     | 2              | 後期       | インターンシップⅡ(実習) | 12             |    |    |                |    |
|        | 後期             |            |                 |                | 後期             | ビジネスフィールドリサーチⅡ(実習) | 2                  |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        | 情報通信技術         | システムデザイン基礎 | 必修              | 前期             | プログラミングⅠ(実習)   | 2                  | 前期                 | ソフトウェア設計・構築    | 2        |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 前期              | データ構造と処理法      | 2              | 前期                 | データベース             | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
| 前期     |                |            | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2              | 後期             | 情報技術演習Ⅰ            | 2                  |                |          |               |                |    |    |                |    |
| 後期     |                |            | プログラミングⅡ(実習)    | 2              | 後期             | システム設計演習           | 2                  |                |          |               |                |    |    |                |    |
| 後期     |                | ネットワーク技術   | 2               |                |                |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
| 選択     |                |            |                 |                | 後期             | 情報系数学応用B           | 2                  | 前期             | 情報系数学応用C | 2             |                |    |    |                |    |
| デザイン応用 | 選択             |            |                 |                |                |                    |                    |                |          | 前期            | スーパーコンピュータ     | 2  |    |                |    |
|        | ネットワーク         | 選択         |                 |                |                | 前期                 | ネットワーク構築Ⅰ          | 2              | 前期       | ネットワーク構築Ⅲ     | 2              |    |    |                |    |
|        |                | 後期         |                 |                |                | 後期                 | ネットワーク構築Ⅱ          | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            |                 |                | 単位数            | 24                 | 単位数                | 24             | 単位数      | 30            | 単位数            | 4  | 8  |                |    |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション | ー          | 必修              | 前期             | ビジネス英語実習Ⅰ(実習)  | 2                  | 前期                 | ビジネス英語実習Ⅲ(実習)  | 2        |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 後期              | ビジネス英語実習Ⅱ(実習)  | 2              | 後期                 | ビジネス英語実習Ⅳ(実習)      | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            | 選択              |                |                |                    | 前期                 | 英語アカデミックリテラシー  | 2        | 前期            | 英語通訳論          | 2  | 後期 | 英語ネゴシエーション     | 2  |
|        |                |            | 後期              | 実践英語:多文化理解     | 2              | 後期                 | 実践英語:日本文化          | 2              |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            |                 |                |                |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            |                 |                | 単位数            | 4                  | 単位数                | 8              | 単位数      | 6             | 単位数            | 2  | 2  |                |    |
| 総合科目   | ー              | 必修         |                 |                |                |                    |                    |                |          |               |                |    |    |                |    |
|        |                |            |                 |                |                |                    | 後期                 | 総合理論演習         | 2        | 通期            | 総合実践演習         | 4  |    |                |    |
|        |                |            |                 |                | 単位数            | 0                  | 単位数                | 0              | 単位数      | 2             | 単位数            | 4  |    |                |    |
|        |                |            |                 |                | 合計単位数          | 42                 | 合計単位数              | 37             | 合計単位数    | 39            | 合計単位数          | 10 | 12 |                |    |

### ③起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

既存の企業や団体に属さず、情報通信技術と経営に関する知識・スキルを活用して新たなサービス・ビジネスを生み出し、より広く社会に貢献する人材を目指す履修モデルでは、情報通信技術に関する全般的な知識やスキル、および応用的な課題発見力・解決力に加えて、自ら「起業」し、事業主として永続的に事業を進めていくために必要な経営の技法、社会の課題に対峙するための知識やその展開方法に関する思考力を身につける必要がある。情報通信技術、起業・事業継続のための経営、社会課題とその解決策についての実践的な手法について、万遍なく学ぶ。

|                |          |          | 1年             |                 |    | 2年                |                |    | 3年        |                  |    | 4年     |                |    |     |
|----------------|----------|----------|----------------|-----------------|----|-------------------|----------------|----|-----------|------------------|----|--------|----------------|----|-----|
|                |          |          | 期              | 科目名             | 単位 | 期                 | 科目名            | 単位 | 期         | 科目名              | 単位 | 期      | 科目名            | 単位 |     |
| 現代社会基礎         | －        | 必修       | 前期             | イノベーションの志       | 2  | 前期                | キャリアデザインⅠ      | 1  | 後期        | キャリアデザインⅠ        | 1  |        |                |    |     |
|                |          |          | 前期             | スタディスキル         | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 前期             | 英語コア・スキルズⅠ      | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | リサーチ入門          | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | 英語コア・スキルズⅡ      | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          | 選択       | 前期             | 数学基礎A           | 2  | 前期                | 先端グローバル社会      | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | 後期       | 数学基礎B    | 2              |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | 後期       | 数学基礎C    | 2              |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 単位数            |                 | 16 | 単位数               |                | 3  | 単位数       |                  | 1  | 単位数    |                | 0  | 20  |
| 経営             | ビジネス基礎   | 必修       | 前期             | マネジメント(経営学基礎)   | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 前期             | マーケティング基礎       | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | 法務リテラシーⅠ        | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | アカウンティング基礎      | 2  |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | 選択       |          |                |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | ビジネス応用   | 選択       |                |                 |    | 前期                | アカウンティング応用     | 2  | 後期        | 地域創生とイノベーション     | 2  | 後期     | 税務会計・会計処理      | 2  |     |
|                |          |          |                |                 |    | 後期                | ファイナンス入門       | 2  | 後期        | コーポレートファイナンス     | 2  |        |                |    |     |
|                | ビジネス実践   | 必修       | 前期             | イノベーションプロジェクトⅠ  | 2  | 前期                | イノベーションプロジェクトⅢ | 2  | 通期        | イノベーションプロジェクトⅤ   | 2  | 通期     | イノベーションプロジェクトⅦ | 2  |     |
| 後期             |          |          | イノベーションプロジェクトⅡ | 2               | 前期 | ビジネスフィールドリサーチⅠ    | 2              | 前期 | インターンシップⅠ | 12               |    |        |                |    |     |
| 後期             |          |          | スタートアップ基礎(起業論) | 2               | 後期 | イノベーションプロジェクトⅣ    | 2              | 後期 | インターンシップⅡ | 12               |    |        |                |    |     |
|                |          |          |                |                 | 後期 | ビジネスフィールドリサーチⅡ    | 2              |    |           |                  |    |        |                |    |     |
| 情報通信技術         | システムデザイン | 必修       | 前期             | プログラミングⅠ        | 2  | 前期                | ソフトウェア設計・構築    | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 前期             | データ構造と処理法       | 2  | 前期                | データベース         | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 前期             | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2  | 後期                | 情報技術演習Ⅰ        | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | プログラミングⅡ        | 2  | 後期                | システム設計演習       | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | 後期       | ネットワーク技術 | 2              |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | 選択       |          |                |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
| システム応用         | 選択       |          |                |                 | 前期 | Webシステム演習         | 2              |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          |                |                 | 前期 | インタラクティブ・システムデザイン | 2              |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                | システム応用   | 選択       |                |                 |    |                   |                |    |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 単位数            |                 | 24 | 単位数               |                | 24 | 単位数       |                  | 30 | 単位数    |                | 4  | 82  |
| グローバルコミュニケーション | －        | 必修       | 前期             | ビジネス英語実習Ⅰ       | 2  | 前期                | ビジネス英語実習Ⅲ      | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          |          | 後期             | ビジネス英語実習Ⅱ       | 2  | 後期                | ビジネス英語実習Ⅳ      | 2  |           |                  |    |        |                |    |     |
|                |          | 選択       |                |                 |    | 後期                | 英語ビジネスマネジメント   | 2  | 後期        | 英語ディスカッション・ディベート | 2  | 前期     | 実証英語：ファイナンス    | 2  |     |
|                |          |          |                |                 |    | 後期                | 実践英語：多文化理解     | 2  |           |                  |    | 後期     | 英語プレゼンテーション    | 2  |     |
|                |          |          | 単位数            |                 | 4  | 単位数               |                | 8  | 単位数       |                  | 2  | 単位数    |                | 6  | 20  |
|                |          | 必修       |                |                 |    |                   |                | 後期 | 総合理論演習    | 2                | 通期 | 総合実践演習 | 4              |    |     |
|                |          |          | 単位数            |                 | 0  | 単位数               |                | 0  | 単位数       |                  | 2  | 単位数    |                | 4  | 6   |
|                |          |          | 合計単位数          |                 | 44 | 合計単位数             |                | 35 | 合計単位数     |                  | 35 | 合計単位数  |                | 14 | 128 |

いずれの履修モデルも、養成する人材像に照らし、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を、卒業後の進路に応じた履修した科目を通じて主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献することを目指す。

また、履修モデルの変更、教育課程および教育内容の見直しに伴い、履修科目の上限単位数についても、1年次は46単位に、2年次～4年次は42単位とすることとした。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(46、47～51ページ、資料12)

| 新                                | 旧                                |
|----------------------------------|----------------------------------|
| [46ページ]                          | [43ページ]                          |
| (3)履修科目の上限                       | (3)履修科目の上限                       |
| (中略)                             | (中略)                             |
| 1年次に履修登録することができる単位数は <u>46</u> 単 | 1年次に履修登録することができる単位数は <u>50</u> 単 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>位を上限とする。2 年次～4 年次については、1 年間に履修登録することができる単位数を <u>42 単位</u>とする。</p> <p>[47～51 ページ]</p> <p>(6)履修モデル</p> <p><u>本学の養成する人材像は、「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」としている。</u></p> <p><u>上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目と指定した。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎 4 科目、ビジネス実践 11 科目、システムデザイン基礎 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。</u></p> <p><u>さらに「これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」の養成にあたり、選択科目を多数用意し、学生の希望する進路の実現にむけた履修モデルとして以下の 3 パターンを展開する。</u></p> <p><u>①ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサ</u></p> | <p>位を上限とする。2 年次～4 年次については、1 年間に履修登録することができる単位数を <u>44 単位</u>とする。</p> <p>[44～45 ページ]</p> <p>(6)履修モデル</p> <p><u>本学のディプロマ・ポリシーは、『先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT を活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材』としており、以下の 2 つの人材輩出先が想定される。それぞれの人材輩出先を想定した履修モデルは以下のとおりである。</u></p> <p><u>①「ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職」を育成するための履修モデル(資料 12)</u></p> <p><u>1 年次に「イノベーションプロジェクトⅠ・Ⅱ」を推進するために、ビジネスの基礎スキルと ICT の基本的な知識・スキルを履修する。また、英語に関する基礎的な科目を履修することで 4 技能を高める。「ビジネスデザインⅠ」を履修することで様々な課題を発見し解決する力を高める。</u></p> <p><u>2 年次には、「イノベーションプロジェクトⅢ・Ⅳ」を推進するために、さらにビジネス基礎、応用、実践科目を学ぶとともに「ビジネスデザインⅡ」「問題形成と問題解決」で課題解決力を高める。様々な業界・団体の組織内でプロジェクトを推進するために、必要な能力を「ファシリテーション」「オペレーションズマネジメント」で学修する。</u></p> <p><u>ICT を活用できるようシステムデザイン科目群を学修するとともに「Web システム演習」「ネットワーク構築Ⅰ」「開発マネジメント」「情報セキュリティ演習Ⅰ」を履修する。ビジネス英語では「英語ビジネスマネジメント」を履修し、グローバル化して</u></p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>ービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル</u></p> <p>②情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル</p> <p>③起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル</p> <p>①ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を育成する履修モデル(資料 12-①)</p> <p>一般企業において新規の事業やサービスの立案・提案を行う人材を目指す履修モデルでは、幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、実際の事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得する。情報通信技術を用いた新規の事業やサービスの立案・提案に携わることができるよう、経営に関する全般的な理解と情報通信技術の活用について学びを深める。</p> <p>1 年次は必修科目のほか、数学的な思考力や分析力を通じ経営分析や最適化などの分野で様々な課題を発見し解決する力を養うため、「数学基礎 A」「数学基礎 B」を履修する。また、2 年次には、基礎科目から「職業倫理」「ICT と人間」を通じ、情報通信技術を活用するための知識や倫理、今日的な課題などを学ぶ。</p> <p>幅広く経営に関する知識や、その知識を応用した課題発見力や解決力、事業の企画・立案や実行に関する実践力を習得するために、経営科目において、2 年次に「マーケティング応用」を通じ実際の企業のマーケティング活動の分析を、「問題形成と問題解決」を通じ問題解決手法をそれぞれ学ぶことで課題発見力・解決力を習得する。3～4 年次に情報通信</p> | <p>いる職場のマネジメントに関する知識を高める。</p> <p>2 年次までの学修を通して、3 年次に予定しているインターンシップに向けた知識・スキルを高める。</p> <p>3 年次には、「イノベーションプロジェクト V」を進めるとともに、インターンシップで実践力を高める。また、「コーポレートファイナンス」「組織行動論」を履修し、企業等の組織で必要な知識を高める。「ビッグデータ」を履修することで AI 時代に必要な力を身に付ける。また、「英語ディスカッション・ディベート」を履修し、グローバルコミュニケーション力を高める。</p> <p>4 年次は、「総合理論演習」「総合実践演習」を進めるとともに、「イノベーションプロジェクト VI」を推進する。さらに企業等でのサービス開発を推進するための「イノベーション特論」を履修する。また、グローバル社会でのプレゼンテーション力を高めるために「英語プレゼンテーション」を履修する。</p> <p>②「ICT を活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出す起業家」を育成するための履修モデル(資料 13)</p> <p>1 年次に「イノベーションプロジェクト I・II」を推進するために、ビジネスの基礎スキルと ICT の基本的な知識・スキルを履修する。また、英語に関する基礎的な科目を履修することで 4 技能を高める。「ビジネスデザイン I」を履修することで様々な課題を発見し解決する力を高める。</p> <p>2 年次には、「イノベーションプロジェクト III・IV」を推進し、起業に向けた実践力を高めるとともにビジネス基礎、応用、実践科目を学修する。加えて「問題形成と問題解決」で課題解決力を高める。また、人事の基礎的能力を高めるために「人的資源管理論」を履修する。</p> <p>ICT を手段とした起業を実現するために、システ</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>技術を用いたビジネスやサービスの企画、立案に関する実践力を身に付ける「イノベーション特論」「クロステックビジネスデザイン」と、課題発見や解決の手法を高める「デザインと経営」をそれぞれ履修する。</p> <p>情報通信技術については、2年次の「モバイルサービス概論」や3年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の基本的な知識、スキルを習得する。</p> <p>グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、3年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ習得する。また2年次の「英語ビジネスマネジメント」、3年次の「英語通訳論」、4年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための英語力を高める。</p> | <p>ムデザイン科目群を学修するとともに「ネットワーク構築Ⅰ」「情報セキュリティ演習Ⅰ」を履修する。</p> <p>2年次までの学修を通して、3年次に予定しているインターンシップに向けた知識・スキルを高める。</p> <p>3年次には、「イノベーションプロジェクトⅤ」を進めるとともにインターンシップで実践力を高める。</p> <p>また、地域の特性を踏まえた起業を実現するために「地域創生とイノベーション」を履修する。「クラウド」「ビッグデータ」「IoTⅠ」を履修することでICTを活用した起業に必要な学修を行う。また、「英語ディスカッション・ディベート」を履修し、グローバル社会で起業ができるような能力を高める。</p> <p>4年次は、「総合理論演習」「総合実践演習」を進めるとともに、「イノベーションプロジェクトⅥ」を推進する。さらに様々なICTを活用した起業の可能性を高めるために「AI」「フィンテック」を選択する。イノベーション力を高めるため「イノベーション特論」を履修する。起業に欠かせない「税務会計・会計処理」を履修。また、グローバル社会での取引・資金調達力を高めるために「英語ネゴシエーション」を履修する。</p> |
| <p>② 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料12-②-1、12-②-2）</p> <p>情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルでは、主にサービスの改善、新たなサービスの開発に向けた情報通信技術、データ分析や活用に関する全般的な知識やスキル、および応用的な課題発見力・解決力、プロジェクト管理に関する実践力を習得する。情報通信技術を用いたサービスを開発し、組織の課題解決に応用できるように、情報通信技術の開発および活用について</p>                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>の学びを深める。</u></p> <p><u>1 年次は必修科目のほか、数学的な思考力や分析力を通じ様々な課題を発見し解決する力を習得するため、「数学基礎 A」「数学基礎 C」を履修する。</u></p> <p><u>また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を習得する。グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には 2 年次の「英語アカデミックリテラシー」を通じ、情報通信技術に関する新たな知識やスキルを習得するための基本的な英語力を養成するとともに、3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを習得する。また「実践英語：多文化理解」「英語通訳論」「実践英語：日本文化」を通じ、さまざまな文化や背景を持つ人々との意思疎通を図り、協同していくための知識とコミュニケーション力を習得する。またプロジェクトを進めるうえでの交渉力を「英語ネゴシエーション」を通じ習得する。</u></p> <p><u>職業専門科目の履修にあたっては、横断的な開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデルと、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデルの 2 つを想定している。横断的な開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデルでは、サービスの改善や開発に向けた情報通信技術、データ分析や活用に関する一般的な知識やスキルを養成するために、システムデザインの応用分野へ学ぶことを想定している(資料 12・②・1)。特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーを目指す履修モデルでは、ネットワーク構築に関する知識やスキルを</u></p> |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>集中的に学ぶことを想定している（資料 12-②-2）。</p> <p>資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系応用数学 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。3 年次は「システムインテグレーション」を通じ、情報通信技術を用いたサービス改善・開発における課題発見力・解決力・プロジェクト管理に関する実践力を、「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法をそれぞれ習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。また、経営科目から「組織行動論」を履修し、通じプロジェクトなど集団活動でのマネジメント手法や、組織課題の改善をはかるために必要な知識やスキルを習得する。</p> <p>資料 12-②-2 の履修モデルでは、「ネットワーク構築Ⅰ～Ⅲ」を通じ、1 つの技術分野について知識やスキルを深める。また、ネットワークや暗号化などの技術の基礎となる知識を習得するため「情報系数学応用 B」「情報系数学応用 C」を、技術発展した事例の 1 つとして「スーパーコンピュータ」を学び、情報通信技術を通じ課題を発見・解決するための力を深めるとともに、ネットワーク技術とその応用の実践的な研究を行う「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。</p> <p>③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル(資料 12-③)</p> <p>既存の企業や団体に属さず、情報通信技術と経営</p> |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>に関する知識・スキルを活用して新たなサービス・ビジネスを生み出し、より広く社会に貢献する人材を目指す履修モデルでは、情報通信技術に関する一般的な知識やスキル、および応用的な課題発見力・解決力に加えて、自ら「起業」し、事業主として継続的に事業を進めていくために必要な経営の技法、社会の課題に対峙するための知識やその展開方法に関する思考力を身につける必要がある。情報通信技術、起業・事業継続のための経営、社会課題とその解決策についての実践的な手法について、万遍なく学ぶ。</p> <p>情報通信技術分野では起業するために必要なサービスや製品の企画、実装する知識やスキルを、経営分野では企業のサービスや価値を高め事業を継続するために必要な知識やスキルを習得する。情報通信技術と経営の双方から幅広く科目を履修し起業に向けた学びを進める。</p> <p>1 年次は必修科目のほか、起業に向けて数学的な思考力や分析力、説明力を習得するため、「数学基礎 A」「数学基礎 B」「数学基礎 C」を履修する。また、基礎科目から「先端グローバル社会」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。</p> <p>情報通信技術科目では、2 年次の「Web システム演習」「インタラクティブ・システムデザイン」を通じ、起業してビジネスやサービスを生み出すための知識やスキルを習得する。あわせて経営科目では、財務・会計分野の「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。</p> <p>グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社</p> |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p><u>会でビジネスやサービスを展開するために必要な</u><br/><u>コミュニケーション力の習得を目指す。具体的には</u><br/><u>3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4</u><br/><u>年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエ</u><br/><u>ーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力</u><br/><u>を習得する。あわせて、2 年次の「英語ビジネスマ</u><br/><u>ネジメント」「実践英語：多文化理解」、4 年次の「実</u><br/><u>践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門</u><br/><u>分野への理解と国際社会において活躍するための</u><br/><u>英語力を高める。</u></p> |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

(新旧対照表) 資料 12 履修モデル

新

**[資料 12-① 履修モデル]**

① ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

|        |                |            | 1年    |                 |                | 2年           |                  |                | 3年    |           |                | 4年          |                 |                |       |    |     |
|--------|----------------|------------|-------|-----------------|----------------|--------------|------------------|----------------|-------|-----------|----------------|-------------|-----------------|----------------|-------|----|-----|
|        |                |            | 科目名   |                 | 単位             | 科目名          |                  | 単位             | 科目名   |           | 単位             | 期           | 科目名             | 単位             | 単位    |    |     |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —          | 必修    | 前期              | イノベーションの志      | 2            | 前期               | キャリアデザインⅠ      | 1     | 後期        | キャリアデザインⅡ      | 1           |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 前期    | スタディスキル         | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 前期    | 英語コア・スキルズⅠ      | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | リサーチ入門          | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | 英語コア・スキルズⅡ      | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        | 選択             | 前期         | 数学基礎A | 2               | 前期             | 職業倫理         | 2                |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        | 後期             | 数学基礎B      | 2     | 後期              | ICTと人間         | 2            |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 単位数   | 14              | 単位数            | 5            | 単位数              | 1              | 単位数   | 0         | 20             |             |                 |                |       |    |     |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎     | 必修    | 前期              | マネジメント(経営学基礎)  | 2            |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 前期    | マーケティング基礎       | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | 法務リテラシーⅠ        | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | アカウンティング基礎      | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 選択    |                 |                |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        | ビジネス応用         | 選択         |       |                 |                | 前期           | マーケティング応用        | 2              | 後期    | イノベーション特論 | 2              | 前期          | クロスステックビジネスデザイン | 2              |       |    |     |
|        |                |            |       |                 | 後期             | 問題形成と問題解決    | 2                |                |       |           |                | 前期          | デザインと経営         | 2              |       |    |     |
|        |                |            |       |                 |                |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        | 情報通信技術         | ビジネス実践     | 必修    | 前期              | イノベーションプロジェクトⅠ | 2            | 前期               | イノベーションプロジェクトⅢ | 2     | 通期        | イノベーションプロジェクトⅤ | 2           | 通期              | イノベーションプロジェクトⅥ | 2     |    |     |
|        |                |            | 後期    | イノベーションプロジェクトⅡ  | 2              | 前期           | ビジネスフィールドリサーチⅠ   | 2              | 前期    | インターンシップⅠ | 12             |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | スタートアップ基礎(起業論)  | 2              | 後期           | イノベーションプロジェクトⅣ   | 2              | 後期    | インターンシップⅡ | 12             |             |                 |                |       |    |     |
|        |                | システムデザイン基礎 | 必修    | 前期              | プログラミングⅠ       | 2            | 前期               | ソフトウェア設計・構築    | 2     |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 前期    | データ構造と処理法       | 2              | 前期           | データベース           | 2              |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 前期    | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2              | 後期           | 情報技術演習Ⅰ          | 2              |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | プログラミングⅡ        | 2              | 後期           | システム設計演習         | 2              |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | ネットワーク技術        | 2              |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 選択    |                 |                | 前期           | モバイルサービス概論       | 2              |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 選択    |                 |                |              |                  |                | 後期    | クラウド      | 2              |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 選択    |                 |                |              |                  |                |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        | 単位数            | 24         | 単位数   | 22              | 単位数            | 30           | 単位数              | 6              | 82    |           |                |             |                 |                |       |    |     |
| 展開科目   | グローバルコミュニケーション | —          | 必修    | 前期              | ビジネス英語実習Ⅰ      | 2            | 前期               | ビジネス英語実習Ⅲ      | 2     |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 後期    | ビジネス英語実習Ⅱ       | 2              | 後期           | ビジネス英語実習Ⅳ        | 2              |       |           |                |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            | 選択    |                 | 後期             | 英語ビジネスマネジメント | 2                | 前期             | 英語通訳論 | 2         | 前期             | 英語プレゼンテーション | 2               |                |       |    |     |
|        |                |            |       |                 |                | 後期           | 英語ディスカッション・ディベート | 2              | 前期    | 実践英語:IoT  | 2              |             |                 |                |       |    |     |
|        |                |            |       |                 | 単位数            | 4            | 単位数              | 6              | 単位数   | 4         | 単位数            | 6           | 20              |                |       |    |     |
| 総合科目   |                |            | 必修    |                 |                |              | 後期               | 総合理論演習         | 2     | 通期        | 総合実践演習         | 4           |                 |                |       |    |     |
|        |                |            |       |                 |                |              |                  |                | 単位数   | 2         | 単位数            | 4           | 6               |                |       |    |     |
|        |                |            |       |                 |                |              |                  |                | 合計単位数 | 42        | 合計単位数          | 33          | 合計単位数           | 37             | 合計単位数 | 16 | 128 |



[資料 12-②-1 履修モデル]

②-1 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

|        |        |                | 1年    |                 |                | 2年        |                    |                | 3年 |               |                | 4年 |            |                |    |    |
|--------|--------|----------------|-------|-----------------|----------------|-----------|--------------------|----------------|----|---------------|----------------|----|------------|----------------|----|----|
|        |        |                | 期     | 科目名             | 単位             | 期         | 科目名                | 単位             | 期  | 科目名           | 単位             | 期  | 科目名        | 単位             | 単位 |    |
| 基礎科目   | 現代社会基礎 | ー              | 必修    | イノベーションの志       | 2              | 前期        | キャリアデザインⅠ          | 1              | 後期 | キャリアデザインⅠ     | 1              |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 前期    | スタディスキル         | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 前期    | 英語コア・スキルズⅠ      | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | リサーチ入門          | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | 英語コア・スキルズⅡ      | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        | 選択     | 前期             | 数学基礎A | 2               | 前期             | 先端グローバル社会 | 2                  |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        | 後期     | 数学基礎C          | 2     | 後期              | 科学史            | 2         |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
| 職業専門科目 | 経営     | ビジネス基礎         | 必修    | 前期              | マネジメント(経営学基礎)  | 2         |                    |                |    |               |                | 1  | 単位数        |                | 0  | 20 |
|        |        |                | 前期    | マーケティング基礎       | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | 法務リテラシーⅠ        | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | アカウンティング基礎      | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 選択    |                 |                | 前期        | オペレーションズマネジメント     | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        | 経営     | ビジネス実践         | 選択    |                 |                |           | 後期                 | 組織行動論          | 2  |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 必修    | 前期              | イノベーションプロジェクトⅠ | 2         | 前期                 | イノベーションプロジェクトⅢ | 2  | 通期            | イノベーションプロジェクトⅤ | 2  | 通期         | イノベーションプロジェクトⅥ | 2  |    |
|        |        |                | 後期    | イノベーションプロジェクトⅡ  | 2              | 前期        | ビジネスフィールドリサーチⅠ(実習) | 2              | 前期 | インターンシップⅠ(実習) | 12             |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | スタートアップ基礎(起業論)  | 2              | 後期        | イノベーションプロジェクトⅣ     | 2              | 後期 | インターンシップⅡ(実習) | 12             |    |            |                |    |    |
|        | 情報通信技術 | システム基礎デザイン     | 必修    | 前期              | プログラミングⅠ(実習)   | 2         | 前期                 | ソフトウェア設計・構築    | 2  |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 前期    | データ構造と処理法       | 2              | 前期        | データベース             | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 前期    | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2              | 後期        | 情報技術演習Ⅰ            | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | プログラミングⅡ(実習)    | 2              | 後期        | システム設計演習           | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | ネットワーク技術        | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        | 選択             |       |                 | 後期             | 情報系数学応用B  | 2                  |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        | デザイン応用・イテム     | 選択    |                 |                | 後期        | 情報システムのプロジェクト管理    | 2              | 前期 | ソフトウェアプロセスと品質 | 2              |    |            |                |    |    |
| 後期     |        |                |       | 後期              | システムインテグレーション  | 2         |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
| 展開科目   | ー      | グローバルコミュニケーション | 必修    | 前期              | ビジネス英語実習Ⅰ(実習)  | 2         | 前期                 | ビジネス英語実習Ⅲ(実習)  | 2  |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | ビジネス英語実習Ⅱ(実習)   | 2              | 後期        | ビジネス英語実習Ⅳ(実習)      | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 選択    |                 |                | 前期        | 英語アカデミックリテラシー      | 2              | 前期 | 英語通訳論         | 2              | 後期 | 英語ネゴシエーション | 2              |    |    |
|        |        |                | 後期    | 実践英語:多文化理解      | 2              | 後期        | 実践英語:日本文化          | 2              |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                | 後期    | 実践英語:製造業        | 2              |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
| 総合科目   | ー      | 必修             |       |                 |                | 後期        | 総合理論演習             | 2              | 通期 | 総合実践演習        | 4              |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |
|        |        |                |       |                 |                |           |                    |                |    |               |                |    |            |                |    |    |



〔資料 12-②-2 履修モデル〕

②-2 情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

|        |                |            |    | 1年              |    | 2年                 |    | 3年             |    | 4年             |    |     |
|--------|----------------|------------|----|-----------------|----|--------------------|----|----------------|----|----------------|----|-----|
|        |                |            |    | 科目名             | 単位 | 科目名                | 単位 | 科目名            | 単位 | 科目名            | 単位 |     |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —          | 必修 | イノベーションの志       | 2  | キャリアデザインⅠ          | 1  | キャリアデザインⅠ      | 1  |                |    |     |
|        |                |            | 前期 | スタディスキル         | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 前期 | 英語コア・スキルⅠ       | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | リサーチ入門          | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
| 基礎科目   | 現代社会基礎         | —          | 後期 | 英語コア・スキルⅡ       | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 選択 | 数学基礎A           | 2  | 先端グローバル社会          | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | 数学基礎C           | 2  | 科学史                | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            |    | 単位数             | 14 | 単位数                | 5  | 単位数            | 1  | 単位数            | 0  | 20  |
| 職業専門科目 | 経営             | ビジネス基礎     | 必修 | マネジメント(経営学基礎)   | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 前期 | マーケティング基礎       | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | 法務リテラシーⅠ        | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | アカウンティング基礎      | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 選択 |                 |    | オペレーションズマネジメント     | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                | ビジネス実践     | 選択 |                 |    |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 必修 | イノベーションプロジェクトⅠ  | 2  | イノベーションプロジェクトⅢ     | 2  | イノベーションプロジェクトⅤ | 2  | イノベーションプロジェクトⅦ | 2  |     |
|        |                |            | 後期 | イノベーションプロジェクトⅡ  | 2  | ビジネスフィールドリサーチⅠ(実習) | 2  | インターンシップⅠ(実習)  | 12 |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | スタートアップ基礎(起業論)  | 2  | イノベーションプロジェクトⅣ     | 2  | インターンシップⅡ(実習)  | 12 |                |    |     |
|        |                |            | 後期 |                 |    | ビジネスフィールドリサーチⅡ(実習) | 2  |                |    |                |    |     |
|        | 情報通信技術         | システム基礎デザイン | 必修 | プログラミングⅠ(実習)    | 2  | ソフトウェア設計・構築        | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 前期 | データ構造と処理法       | 2  | データベース             | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 前期 | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2  | 情報技術演習Ⅰ            | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | プログラミングⅡ(実習)    | 2  | システム設計演習           | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | ネットワーク技術        | 2  |                    |    |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 選択 |                 |    | 情報系数学応用B           | 2  | 情報系数学応用C       | 2  |                |    |     |
|        |                | デザイン応用     | 選択 |                 |    |                    |    |                |    | スーパーコンピュータ     | 2  |     |
|        |                |            | 選択 |                 |    |                    |    |                |    |                |    |     |
|        | グローバルコミュニケーション | —          | 必修 | ビジネス英語実習Ⅰ(実習)   | 2  | ビジネス英語実習Ⅲ(実習)      | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 後期 | ビジネス英語実習Ⅱ(実習)   | 2  | ビジネス英語実習Ⅳ(実習)      | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            | 選択 |                 |    | 英語アカデミックリテラシー      | 2  | 英語通訳論          | 2  | 英語ネゴシエーション     | 2  |     |
|        |                |            | 後期 |                 |    | 実践英語: 多文化理解        | 2  | 実践英語: 日本文化     | 2  |                |    |     |
|        |                |            | 後期 |                 |    | 実践英語: 製造業          | 2  |                |    |                |    |     |
|        |                |            |    | 単位数             | 4  | 単位数                | 8  | 単位数            | 6  | 単位数            | 2  | 20  |
| 総目合    | —              | 必修         |    |                 |    |                    |    | 総合理論演習         | 2  | 総合実践演習         | 4  |     |
|        |                |            |    | 単位数             | 0  | 単位数                | 0  | 単位数            | 2  | 単位数            | 4  | 6   |
|        |                |            |    | 合計単位数           | 42 | 合計単位数              | 37 | 合計単位数          | 39 | 合計単位数          | 10 | 128 |





〔資料 12・③ 履修モデル〕

③ 起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

|                |          |    | 1年              |                   |    | 2年             |                |       | 3年               |                |    | 4年          |                |    |  |
|----------------|----------|----|-----------------|-------------------|----|----------------|----------------|-------|------------------|----------------|----|-------------|----------------|----|--|
|                |          |    | 期               | 科目名               | 単位 | 期              | 科目名            | 単位    | 期                | 科目名            | 単位 | 期           | 科目名            | 単位 |  |
| 現代社会基礎         | －        | 必修 | 前期              | イノベーションの志         | 2  | 前期             | キャリアデザインⅠ      | 1     | 後期               | キャリアデザインⅠ      | 1  |             |                |    |  |
|                |          | 前期 | スタディスキル         | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 前期 | 英語コア・スキルズⅠ      | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | リサーチ入門          | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | 英語コア・スキルズⅡ      | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 | 前期              | 数学基礎A             | 2  | 前期             | 先端グローバル社会      | 2     |                  |                |    |             |                |    |  |
| 経営             | ビジネス基礎   |    | 後期              | 数学基礎B             | 2  |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | 数学基礎C           | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 | 単位数               | 16 | 単位数            | 3              | 単位数   | 1                | 単位数            | 0  | 20          |                |    |  |
|                |          | 必修 | 前期              | マネジメント(経営学基礎)     | 2  |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 前期 | マーケティング基礎       | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | 法務リテラシーⅠ        | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                | ビジネス実践   | 後期 | アカウンティング基礎      | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 |                 |                   |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 |                 |                   | 前期 | アカウンティング応用     | 2              | 後期    | 地域創生とイノベーション     | 2              | 後期 | 税務会計・会計処理   | 2              |    |  |
|                |          | 応用 | 後期              | ファイナンス入門          | 2  | 後期             | コーポレートファイナンス   | 2     |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 必修 | 前期              | イノベーションプロジェクトⅠ    | 2  | 前期             | イノベーションプロジェクトⅢ | 2     | 通期               | イノベーションプロジェクトⅤ | 2  | 通期          | イノベーションプロジェクトⅥ | 2  |  |
|                |          | 後期 | イノベーションプロジェクトⅡ  | 2                 | 前期 | ビジネスフィールドリサーチⅠ | 2              | 前期    | インターンシップⅠ        | 12             |    |             |                |    |  |
| 情報通信技術         | システムデザイン | 後期 | スタートアップ基礎(起業論)  | 2                 | 後期 | イノベーションプロジェクトⅣ | 2              | 後期    | インターンシップⅡ        | 12             |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | ビジネスフィールドリサーチⅡ  | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 必修 | 前期              | プログラミングⅠ          | 2  | 前期             | ソフトウェア設計・構築    | 2     |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 前期 | データ構造と処理法       | 2                 | 前期 | データベース         | 2              |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 前期 | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2                 | 後期 | 情報技術演習Ⅰ        | 2              |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | プログラミングⅡ        | 2                 | 後期 | システム設計演習       | 2              |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                | システム応用   | 後期 | ネットワーク技術        | 2                 |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 |                 |                   | 前期 | Webシステム演習      | 2              |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 応用 | 前期              | インタラクティブ・システムデザイン | 2  |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 |                 |                   |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 |                   |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 | 単位数               | 24 | 単位数            | 24             | 単位数   | 30               | 単位数            | 4  | 82          |                |    |  |
| グローバルコミュニケーション | －        | 必修 | 前期              | ビジネス英語実習Ⅰ         | 2  | 前期             | ビジネス英語実習Ⅲ      | 2     |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 後期 | ビジネス英語実習Ⅱ       | 2                 | 後期 | ビジネス英語実習Ⅳ      | 2              |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          | 選択 |                 |                   | 後期 | 英語ビジネスマネジメント   | 2              | 後期    | 英語ディスカッション・ディベート | 2              | 前期 | 実践英語・ファイナンス | 2              |    |  |
|                |          |    |                 |                   | 後期 | 実践英語・多文化理解     | 2              | 前期    | 英語プレゼンテーション      | 2              |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 |                   |    |                |                | 後期    | 英語ネゴシエーション       | 2              |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 | 単位数               | 4  | 単位数            | 8              | 単位数   | 2                | 単位数            | 6  | 20          |                |    |  |
|                |          | 必修 |                 |                   |    | 後期             | 総合理論演習         | 2     | 通期               | 総合実践演習         | 4  |             |                |    |  |
|                |          |    |                 |                   |    |                |                |       |                  |                |    |             |                |    |  |
|                |          |    |                 | 単位数               | 0  | 単位数            | 0              | 単位数   | 2                | 単位数            | 4  | 6           |                |    |  |
|                |          |    |                 | 合計単位数             | 44 | 合計単位数          | 35             | 合計単位数 | 35               | 合計単位数          | 14 | 128         |                |    |  |

旧 [資料 12 履修モデル]

◆ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出す企画職

|      |    | 科目群             |                      | 必須科目             |                 | 選択科目             |    |                |    |
|------|----|-----------------|----------------------|------------------|-----------------|------------------|----|----------------|----|
| 学年   | 期  | 基礎科目            | 単位                   | 職業専門科目           |                 | 専門科目             |    | 総合科目           |    |
|      |    |                 |                      | ビジネス             | 単位              | ICT              | 単位 | グローバルコミュニケーション | 単位 |
|      |    |                 |                      |                  |                 |                  |    | 英語             | 単位 |
| 1    | 前期 | 現代社会基礎          | ビジネス基礎               | システムデザイン         | ビジネス基礎          |                  |    |                |    |
|      |    | インノベーションの志      | 2 マネジメント（経営学基礎）      | 2 プロダクトデザインⅠ（実習） | 2 ビジネス英語実習Ⅰ（実習） | 2                |    |                |    |
|      |    | スタディスキル         | 2 マーケティング基礎          | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    | 英語コアスキルⅠ        | 2 ビジネス英語             |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    | 情報科学基礎          | 2 インノベーションプロジェクトⅠ    | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    | コンピュータとソフトウェア基礎 | 2                    |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    | データ構造と処理系       | 2                    |                  |                 |                  |    |                |    |
|      | 後期 | 現代社会基礎          | ビジネス基礎               | システムデザイン         | ビジネス基礎          |                  |    |                |    |
|      |    | キャリアデザインⅠ       | 1 法政リテラシーⅠ           | 2 プロダクトデザインⅡ（実習） | 2 ビジネス英語実習Ⅱ（実習） | 2                |    |                |    |
|      |    | 英語コアスキルⅡ        | 2 アカウンティング           | 2 ネットワーク技術       | 2               |                  |    |                |    |
|      |    | 情報科学基礎          | 2 ビジネスデザインⅠ          | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    | 情報科学Ⅰ           | 2 ビジネス英語             |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅡ    | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 スタートアップ基礎（応用編）     | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      | 小計 |                 | 13                   | 16               | 8               | 4                |    |                |    |
|      | 総計 |                 |                      | 41               |                 |                  |    |                |    |
| 2    | 前期 | 現代社会基礎          | ビジネス基礎               | システムデザイン         | ビジネス基礎          |                  |    |                |    |
|      |    | キャリアデザインⅡ       | 1 ファイナンス             | 2 ソフトウェア設計・構築    | 2 ビジネス英語実習Ⅲ（実習） | 2                |    |                |    |
|      |    |                 | 2 オペレーションズマネジメント     | 2 データベース         |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネス英語             | 2 Webシステム演習      | 2               |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅢ    | 2 ネットワークセキュリティ   |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネスフィールドリサーチⅠ（実習） | 2 ネットワーク演習Ⅰ      | 2               |                  |    |                |    |
|      | 後期 | 現代社会基礎          | ビジネス基礎               | システムデザイン         | ビジネス基礎          |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅣ    | 2 情報技術演習Ⅰ        | 2 ビジネス英語実習Ⅳ（実習） | 2                |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネスフィールドリサーチⅡ（実習） | 2 システム設計演習       | 2 英語ビジネスマネジメント  | 2                |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネス応用             | 2 経営マネジメント       | 2               |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 創発力養成と問題解決         | 2 ネットワークセキュリティ   |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ファシリテーション          | 2 情報セキュリティ演習Ⅰ    | 2               |                  |    |                |    |
|      | 小計 |                 | 1                    | 18               | 16              | 6                |    |                |    |
|      | 総計 |                 |                      | 41               |                 |                  |    |                |    |
| 3    | 前期 |                 | ビジネス英語               |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅤ    | 1                |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 12 インターンシップⅠ（実習）     |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネス応用             |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 コーポレートファイナンス       | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      | 後期 |                 | 2 経済行動論              | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | ビジネス英語               |                  |                 | ビジネス英語           |    | 総合英語演習         | 2  |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅥ    | 1                |                 | 英語ディスカッション・ディベート | 2  |                |    |
|      |    |                 | 12 インターンシップⅡ（実習）     |                  |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | 2 ビックデータ             | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      | 小計 |                 | 0                    | 32               | 0               | 2                |    |                | 2  |
|      | 総計 |                 |                      | 36               |                 |                  |    |                |    |
| 4    | 前期 |                 | ビジネス英語               |                  |                 | ビジネス英語           |    | 総合英語演習         | 2  |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅦ    | 1                |                 | 英語プレゼンテーション      | 2  |                |    |
|      |    |                 | 2 ビジネス応用             |                  |                 |                  |    |                |    |
|      | 後期 |                 | 2 インノベーション特論         | 2                |                 |                  |    |                |    |
|      |    |                 | ビジネス英語               |                  |                 |                  |    | 総合英語演習         | 2  |
|      |    |                 | 2 インノベーションプロジェクトⅧ    | 1                |                 |                  |    |                |    |
|      | 小計 |                 | 0                    | 4                | 0               | 2                |    |                | 4  |
|      | 総計 |                 |                      | 50               |                 |                  |    |                |    |
| 卒業単位 |    |                 |                      | 128              |                 |                  |    |                |    |



[資料 13 履修モデル]

◆ICT を活用したビジネスを開発し起業を実現する人材

|                 |             | 科目群                | 必須科目               |                 | 選択科目         |                  |    |                |    |       |    |
|-----------------|-------------|--------------------|--------------------|-----------------|--------------|------------------|----|----------------|----|-------|----|
| 学年              | 期           | 基礎科目               | 単位                 | 職業専門科目          |              | 選択科目             |    | 総合科目           |    | 単位    |    |
|                 |             |                    |                    | ビジネス            | 単位           | ICT              | 単位 | グローバルコミュニケーション | 単位 |       | 演習 |
| 1               | 前期          | 現代社会基礎             |                    | ビジネス基礎          |              | システムデザイン         |    | ビジネス基礎         |    |       |    |
|                 |             | インノベーションの基礎        | 2                  | マネジメント(経営学基礎)   | 2            | プログラミングⅠ(実習)     | 2  | ビジネス基礎実習Ⅰ(実習)  | 2  |       |    |
|                 |             | スタディスキル            |                    | マーケティング基礎       |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | 英語コアスキルⅠ           | 2                  | ビジネス英語          |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | 情報科学基礎             |                    | インノベーションプロジェクトⅠ | 2            |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 後期          | コンピュータとソフトウェア基礎    | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | データ構造と処理法          | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | 現代社会基礎             |                    | ビジネス基礎          |              | システムデザイン         |    | ビジネス基礎         |    |       |    |
|                 |             | キャリアデザインⅠ          | 1                  | 選修リテラシーⅠ        | 2            | プログラミングⅡ(実習)     | 2  | ビジネス基礎実習Ⅱ(実習)  | 2  |       |    |
|                 |             | 英語コア・スキルⅡ          | 2                  | アドバンシング         | 2            | ネットワーク技術         | 2  |                |    |       |    |
|                 | 情報科学基礎      |                    | ビジネスデザインⅠ          | 2               |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 創造数学Ⅰ       | 2                  | ビジネス英語             |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | インノベーションプロジェクトⅡ    | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | スタートアップ基礎(起業論)     | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 小計          |                    | 15                 |                 | 16           |                  | 8  |                | 4  |       | 0  |
| 総計              |             |                    |                    |                 |              | 41               |    |                |    |       |    |
| 2               | 前期          | 現代社会基礎             |                    | ビジネス基礎          |              | システムデザイン         |    | ビジネス基礎         |    |       |    |
|                 |             | キャリアデザインⅠ          | 1                  | ファイナンス          | 2            | ソフトウェア設計・構築      | 2  | ビジネス基礎実習Ⅲ(実習)  | 2  |       |    |
|                 |             |                    |                    |                 | データベース       | 2                |    |                |    |       |    |
|                 |             |                    | ビジネス英語             |                 | ネットワークセキュリティ | 2                |    |                |    |       |    |
|                 |             |                    | インノベーションプロジェクトⅢ    | 2               | ネットワーク構築Ⅰ    | 2                |    |                |    |       |    |
|                 | 後期          |                    | ビジネスフィールドリサーチⅠ(実習) | 2               |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネス英語             |                    | システムデザイン        |              | ビジネス基礎           |    |                |    |       |    |
|                 |             | インノベーションプロジェクトⅣ    | 2                  | 情報セキュリティ        | 2            | ビジネス基礎実習Ⅳ(実習)    | 2  |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネスフィールドリサーチⅡ(実習) | 2                  | システム設計演習        | 2            |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネス応用             |                    | ネットワークセキュリティ    |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 情報セキュリティ基礎Ⅰ | 2                  | 情報セキュリティ基礎Ⅰ        | 2               |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 英語コア・スキルⅢ   | 2                  |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 小計          |                    | 1                  |                 | 14           |                  | 14 |                | 4  |       | 0  |
|                 | 総計          |                    |                    |                 |              |                  | 37 |                |    |       |    |
|                 | 3           | 前期                 |                    | ビジネス英語          |              |                  |    |                |    |       |    |
| インノベーションプロジェクトⅤ |             |                    | 1                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
| インターンシップⅠ(実習)   |             |                    | 12                 |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
| ビジネス英語          |             |                    |                    | システムデザイン        |              | ビジネス基礎           |    | 総合演習Ⅰ          | 2  |       |    |
| インノベーションプロジェクトⅥ |             |                    | 1                  | IoTⅠ            | 2            | 英語ディスカッション・ディベート | 2  |                |    |       |    |
| 後期              |             | インターンシップⅡ(実習)      | 12                 |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネス応用             |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | 地域社会とインノベーション      | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | クラウド               | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビッグデータ             | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
| 小計              |             | 0                  |                    | 33              |              | 2                |    | 2              |    | 2     |    |
| 総計              |             |                    |                    |                 |              | 36               |    |                |    |       |    |
| 4               | 前期          |                    | ビジネス英語             |                 |              |                  |    | ビジネス基礎         |    | 総合演習Ⅱ | 2  |
|                 |             | インノベーションプロジェクトⅦ    | 1                  |                 |              |                  |    | 英語メタ認知セッション    | 2  |       |    |
|                 |             | ビジネス応用             |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | インノベーション特論         | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | AI                 | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 | 後期          | フィンテック             | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネス英語             |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | インノベーションプロジェクトⅧ    | 1                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | ビジネス応用             |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
|                 |             | 情報倫理・社会実務          | 2                  |                 |              |                  |    |                |    |       |    |
| 小計              |             | 0                  |                    | 10              |              | 0                |    | 2              |    | 4     |    |
| 総計              |             |                    |                    |                 |              |                  |    | 2              |    | 4     |    |
| 卒業単位            |             |                    |                    |                 |              |                  |    |                |    |       |    |

128

(改善事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

14. 教育課程連携協議会の構成員として、「臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において当該専門職大学と協力する事業者」として1名配置しているが、産業界との連携に関する審議を行うという趣旨に照らすと、さらに充実することが望まれるため、対応方針を説明すること。

(対応)

教育課程連携協議会の構成員として、学長が指名する教員その他の職員3名、本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活躍するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの2名、地方公共団体の職員、地域事業者による団体の関係者その他の地域の関係者1名、臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業に実施において本学と協力する事業者1名の配置を予定していたが、産業界との連携に関する審議を行うという趣旨に照らすと、さらに充実することが望まれるとご指摘を頂き、本学の教育課程連携協議会の構成員として臨地実務実習先の事業者1名を追加する。

追加する構成員には、産学連携の更なる充実を図るため、臨地実務実習の受入先であり、情報通信技術に精通している日本サード・パーティ株式会社でプロジェクトマネジャーも務める伊藤好宏氏に新たに就任頂く。全ての臨地実務実習先において、体験や作業としてシステム開発やデータ調査、プレゼンテーション等を経験させる計画であるが、日本サード・パーティ株式会社伊藤氏には主に情報通信技術に関する助言や提案を頂く計画である。

なお、すでに就任予定で教育課程連携協議会の構成員である浜野氏は、臨地実務実習先の事業者である株式会社浜野製作所の代表取締役を務めている。浜野製作所では、長期のインターンシップの受入実績が豊富にある。同社のインターンシッププログラムの1つに、学生自らのマーケティングから始まり企画立案実行までチャレンジする内容があり、終了後には入社後即戦力になり得るほど大きく成長するインターンシップの受け入れ実績がある。そのため、インターンシップでの学生の成長、プログラム内容の検討など経営やビジネスに関する多くの助言を頂く計画である。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (52、53 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                        | 旧                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[52、53 ページ]</p> <p>(2)構成員と任期及び年間開催回数</p> <p>教育課程連携協議会は次に掲げる委員を持って組織する。構成員の任期は、2年とし再任を妨げない。協議会は年2回開催し、前期・後期の振り返りを行い、次年度の教育課程の改善、教育課程全体の見直しを実施していく。</p> <p>①「教職員」：学長が指名する教員その他の職員3名</p> | <p>[47 ページ]</p> <p>(2)構成員と任期及び年間開催回数</p> <p>教育課程連携協議会は次に掲げる委員を持って組織する。構成員の任期は、2年とし再任を妨げない。協議会は年2回開催し、前期・後期の振り返りを行い、次年度の教育課程の改善、教育課程全体の見直しを実施していく。</p> <p>①「教職員」：学長が指名する教員その他の職員3名</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>②「職業」：本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活躍するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの 2名</p> <p>③「地域」：地方公共団体の職員、地域事業者による団体の関係者その他の地域の関係者 1名</p> <p>③協力」：臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業に実施において本学と協力する事業者 2名</p> <p>上記①～④の構成員の詳細は以下のとおりである。</p> <p>①「教職員」：副学長、学部長、<u>イノベーション</u>マネジメント局長。</p> <p>②「職業」：本学の教育課程に関連する職業に就いている者や団体から協力を頂く。具体的には、株式会社インフォテック・サーブの代表取締役であり、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の理事である者が就任する。社会、とりわけ当該職業に関連する産業界で求められている知識・スキルの情報提供や助言が得られ、常に最新の教育課程を開発することが可能である。また、東京商工会議所墨田支部の事務局長が就任することで、幅広い業界が求めている知識・スキルの情報や助言を得られるだけでなく、地域の抱える課題にも目を向けることが可能なため、我々が目指す地域貢献・社会貢献を鑑みた教育課程を編成することが可能である。</p> <p>③「地域」：墨田区企画経営室課長が構成員となり、大学と地域が連携した学びの展開ができるよう様々な情報や助言を得ることができる。また、企画経営室という部署の特性もあり、1つの視点だけではなく、産業・教育・福祉・観光等広い視点で地域と大学の連携が可能となる。</p> <p>④「協力」：<u>インターンシップ</u>先企業である株式</p> | <p>②「職業」：本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活躍するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの 2名</p> <p>③「地域」：地方公共団体の職員、地域事業者による団体の関係者その他の地域の関係者 1名</p> <p>④「協力」：臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業に実施において本学と協力する事業者 1名</p> <p>上記①～④の構成員の詳細は以下のとおりである。</p> <p>①「教職員」：副学長、学部長、<u>イ</u>マネジメント局長。</p> <p>②「職業」：本学の教育課程に関連する職業に就いている者や団体から協力を頂く。具体的には、株式会社インフォテック・サーブの代表取締役であり、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の理事である者が就任する。社会、とりわけ当該職業に関連する産業界で求められている知識・スキルの情報提供や助言が得られ、常に最新の教育課程を開発することが可能である。また、東京商工会議所墨田支部の事務局長が就任することで、幅広い業界が求めている知識・スキルの情報や助言を得られるだけでなく、地域の抱える課題にも目を向けることが可能なため、我々が目指す地域貢献・社会貢献を鑑みた教育課程を編成することが可能である。</p> <p>③「地域」：墨田区企画経営室課長が構成員となり、大学と地域が連携した学びの展開ができるよう様々な情報や助言を得ることができる。また、企画経営室という部署の特性もあり、1つの視点だけではなく、産業・教育・福祉・観光等広い視点で地域と大学の連携が可能となる。</p> <p>④「協力」：<u>インターンシップ</u>先企業である株式</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>会社浜野製作所の代表取締役と日本サード・パーティー株式会社でプロジェクトマネジャーを務める方が構成員となる。株式会社浜野製作所のインターンシッププログラムの1つに、学生自らのマーケティングから始まり企画立案実行までチャレンジする内容があり、終了後には入社後即戦力になり得るほど大きく成長するインターンシップの受け入れ実績がある。そのため、インターンシップでの学生の成長、プログラム内容の検討など多くの助言を頂き充実させることが可能である。また、日本サード・パーティー株式会社では、主にシステム開発やシステム保守業務を事業の中心として展開している。そのため、教育課程やインターンシップにおいて、主に情報通信技術に関する助言や提案を頂く予定である。</u></p> | <p><u>会社浜野製作所の代表取締役が構成員となる。同社のインターンシッププログラムの1つに、学生自らのマーケティングから始まり企画立案実行までチャレンジする内容があり、終了後には入社後即戦力になり得るほど大きく成長するインターンシップの受け入れ実績がある。そのため、インターンシップでの学生の成長、プログラム内容の検討など多くの助言を頂き充実させることが可能である。</u></p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(新旧対照表) 教育課程連携協議会構成員名簿

| 新                                             | 旧                                             |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <u>教育課程連携協議会構成員名簿</u>                         | <u>教育課程連携協議会構成員名簿</u>                         |
| <u>番号</u>                                     | <u>番号</u>                                     |
| <u>2</u>                                      | <u>2</u>                                      |
| <u>構成員区分</u>                                  | <u>構成員区分</u>                                  |
| <u>教職員</u>                                    | <u>教職員</u>                                    |
| <u>関係する学部等又は研究科等</u>                          | <u>関係する学部等又は研究科等</u>                          |
| <u>情報経営イノベーション学部</u>                          | <u>情報経営イノベーション学部</u>                          |
| <u>氏名</u>                                     | <u>氏名</u>                                     |
| <u>鎌谷 修</u>                                   | <u>川上慎市郎</u>                                  |
| <u>年齢</u>                                     | <u>年齢</u>                                     |
| <u>54</u>                                     | <u>47</u>                                     |
| <u>現所属及び役職名</u>                               | <u>現所属及び役職名</u>                               |
| <u>日本電信電話株式会社</u>                             | <u>グロービス経営大学院 経営研究科経営専攻</u>                   |
| <u>未来ねっと研究所 主任研究員</u>                         | <u>准教授</u>                                    |
| <u>当該専門職大学等、専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴</u> | <u>当該専門職大学等、専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴</u> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <u>なし</u><br><br><u>番号</u><br><u>8</u><br><u>構成員区分</u><br><u>協力</u><br><u>関係する学部等又は研究科等</u><br><u>情報経営イノベーション学部</u><br><u>氏名</u><br><u>伊藤 好宏</u><br><u>年齢</u><br><u>42 歳</u><br><u>現所属及び役職名</u><br><u>日本サード・パーティ株式会社</u><br><u>マネージドサービスソリューション事業部</u><br><u>ミッションクリティカルソリューションセンタ</u><br><u>第一部プロジェクトマネージャ</u> | なし<br><br>(追加) |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|

(新旧対照表) i 専門職大学教育課程連携協議会規程(案)

| 新                                                                                                                                                                                                                               | 旧                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>情報経営イノベーション専門職大学教育課程連携協議会規程(案)</u></p> <p><u>(組織)</u></p> <p>第2条 協議会は、専門職大学設置基準(平成29年9月8日文部科学省令第33号)第11条第1項の定めるところにより、次に掲げる委員をもって組織する。</p> <p><u>(中略)</u></p> <p>(4) 臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業に実施において本学と協力する事業者：<u>2名</u></p> | <p><u>i 専門職大学教育課程連携協議会規程(案)</u></p> <p><u>(組織)</u></p> <p>第2条 協議会は、専門職大学設置基準(平成29年9月8日文部科学省令第33号)第11条第1項の定めるところにより、次に掲げる委員をもって組織する。</p> <p><u>(中略)</u></p> <p>(4) 臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業に実施において本学と協力する事業者：<u>1名</u></p> |



(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

15. 専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

専任教員数について、本学の必要教員数は26名以上であり、設置認可申請時(2018年10月)では27名と掲げていたが、専任教員として2名が教授不適格であったため現在25名となっている。そのため、専門職大学設置基準の規定を満たしておらず、適切に改めることとご指摘を頂き、2名を准教授として再度申請することで、27名の教員組織を維持する。また、科目適合審査において、専任教員担当を予定していたが不適格となった「アカウンティング」については、他の審査意見への対応により、内容を易化して「アカウンティング入門」とし、新たに「アカウンティング応用」を追加した。また、同じく専任教員が担当を予定していたが不適格となった必修科目の「ファイナンス」については、教育課程を再度検討した結果、当初申請していた科目を削除し、新たに選択科目として「ファイナンス入門」を追加することとした。これらは理論系科目であることから、審査意見16の対応により新規採用する教員の担当を予定する。

以上により、補正申請時、3名を再度申請し、合計28名の教員組織を編成する。

(新旧対照表) 基本計画書

| 新     |     |     |     |      |     | 旧     |     |     |     |      |     |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|
|       |     |     |     |      |     |       |     |     |     |      |     |
| 専任教員等 |     |     |     |      |     | 専任教員等 |     |     |     |      |     |
| 教授    | 准教授 | 講師  | 助教  | 計    | 助手  | 教授    | 准教授 | 講師  | 助教  | 計    | 助手  |
| 人     | 人   | 人   | 人   | 人    | 人   | 人     | 人   | 人   | 人   | 人    | 人   |
| 15    | 7   | 6   | —   | 28   | —   | 16    | 5   | 6   | —   | 27   | —   |
| (15)  | (7) | (6) | (—) | (28) | (—) | (16)  | (5) | (6) | (—) | (27) | (—) |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (42～44 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[42～44 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>28 名</u>の専任教員を配置している。</p> <p>(中略)</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p>(中略)</p> <p>本学の収容定員 800 名に対して、専門職大学設置基準上では専任教員 26 名以上、うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員)11 名以上、そのうち 6 名以上は研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研)が必要である。本学では、専任教員 <u>28 名</u>、うち実務家教員は 22 名、そのうち研究上の業績を併せ持つ実務家教員は 11 名と基準以上で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員 <u>28 名</u></li> <li>うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員) 22 名</li> <li>うち研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研) 11 名</li> </ul> <p>専任教員の職位の構成は、以下のようになっており、バランスの取れた職位構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教授 <u>15 名</u></li> <li>・ 准教授 <u>7 名</u></li> <li>・ 講師 6 名</li> </ul> <p>主要な授業科目に専任の教授、准教授を配置し、教育課程に対する分野別の教員構成は、以下のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>情報通信技術系</u>担当教員 12 名</li> <li>・ <u>経営系</u>担当教員 <u>13 名</u></li> <li>・ <u>英語系</u>担当教員 3 名</li> </ul> | <p>[39～41 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>ICTイノベーション学部 ICTイノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>27 名</u>の専任教員を配置している。</p> <p>(中略)</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p>(中略)</p> <p>本学の収容定員 800 名に対して、専門職大学設置基準上では専任教員 26 名以上、うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員)11 名以上、そのうち 6 名以上は研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研)が必要である。本学では、専任教員 <u>27 名</u>、うち実務家教員は 22 名、そのうち研究上の業績を併せ持つ実務家教員は 11 名と基準以上で構成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員 <u>27 名</u></li> <li>うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員) 22 名</li> <li>うち研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研) 11 名</li> </ul> <p>専任教員の職位の構成は、以下のようになっており、バランスの取れた職位構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教授 <u>16 名</u></li> <li>・ 准教授 <u>5 名</u></li> <li>・ 講師 6 名</li> </ul> <p>主要な授業科目に専任の教授、准教授を配置し、教育課程に対する分野別の教員構成は、以下のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ICT系</u>担当教員 12 名</li> <li>・ <u>ビジネス系</u>担当教員 <u>12 名</u></li> <li>・ <u>英語系</u>担当教員 3 名</li> </ul> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(中略)</p> <p>(4)年齢構成と完成年度後の教員組織構想</p> <p>専任教員の開学時の年齢構成は、<u>60代5名、50代15名、40代6名、30代2名</u>となっており、バランスの取れた年齢構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60代 <u>5名(17.9%)</u></li> <li>・50代 <u>15名(53.6%)</u></li> <li>・40代 <u>6名(21.4%)</u></li> <li>・30代 <u>2名(7.1%)</u></li> </ul> <p>なお、本学の定年は<u>65歳</u>であり、<u>開学時にこれを超える教員が1名</u>いる。また、<u>完成年度までに定年を迎える教員が3名</u>いるが、本学の専任教員定年規程・再雇用及び定年超過雇用規程(資料11)を活用し、<u>70歳</u>までは専任教員として確保することができるため、<u>完成年度まで教員組織を維持し、教育水準を維持することが可能である。</u></p> | <p>(中略)</p> <p>(4)年齢構成と完成年度後の教員組織構想</p> <p>専任教員の開学時の年齢構成は、<u>60代4名、50代15名、40代6名、30代2名</u>となっており、バランスの取れた年齢構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60代 <u>4名(14.8%)</u></li> <li>・50代 <u>15名(55.6%)</u></li> <li>・40代 <u>6名(22.2%)</u></li> <li>・30代 <u>2名(7.4%)</u></li> </ul> <p>なお、本学の定年は<u>65歳</u>としているが、<u>開学時にこれを超える教員は含まれていない</u>。完成年度までに定年を迎える教員が3名いるが、本学の専任教員定年規程・再雇用及び定年超過雇用規程(資料11)を活用し、<u>70歳</u>までは専任教員として確保することができるため、<u>完成年度まで教員組織を維持し、教育水準を維持することが可能である。</u></p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

| 新    |       |                                                                  |                                                                           |                            |                        |                       | 旧    |       |                                                                  |                                                                                                                   |                                  |                            |                            |
|------|-------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------|-----------------------|------|-------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 調書番号 | 専任等区分 | フリカ`ナ氏名<br><就任(予定)年月>                                            | 担当授業科目の名称                                                                 | 配当年次                       | 担当単位数                  | 年間開講数                 | 調書番号 | 専任等区分 | フリカ`ナ氏名<br><就任(予定)年月>                                            | 担当授業科目の名称                                                                                                         | 配当年次                             | 担当単位数                      | 年間開講数                      |
| 1    | 専     | ナカマ イヤ<br>中村 伊知哉<br><平成32年4月>                                    | イノベーションの志                                                                 | 1前                         | 10                     | 5                     | 1    | 専     | ナカマ イヤ<br>中村 伊知哉<br><平成32年4月>                                    | イノベーションの志                                                                                                         | 1前                               | 10                         | 5                          |
| 2    | 専     | ナカシマ(カミマ)リュウ<br>伊中嶋(川村)隆一<br><平成32年4月>                           | <u>アカウントティング入門</u><br>アカウ`ンティ`グ応`用<br><u>ファイナンス入門</u><br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 1後<br>2前<br>2後<br>3後<br>4通 | 10<br>2<br>2<br>2<br>4 | 5<br>1<br>1<br>1<br>1 |      |       | (追加)                                                             |                                                                                                                   |                                  |                            |                            |
| 3    | 専     | ナハ` (ミヅ) ミ<br>難波(三上)美帆<br><平成32年4月>                              | <u>リサーチ入門</u><br>総合理論演習<br>総合実践演習                                         | 1後<br>3後<br>4通             | 10<br>2<br>4           | 5<br>1<br>1           | 2    | 専     | ナハ` (ミヅ) ミ<br>難波(三上)美帆<br><平成32年4月>                              | <u>ビジネスデザインⅠ</u><br><u>ビジネスデザインⅡ</u><br><u>ファシリテーション</u><br><u>デザイン思考ワーク</u><br><u>ショップ設計</u><br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 1後<br>2前<br>2後<br>4後<br>3後<br>4通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |
| 4    | 専     | エト`リアン デ`イ`<br>ット`<br>チェック<br>Adrian David<br>Cheok<br><平成32年4月> | AI<br>ネットワーク技術<br>データサイエンス<br>IoT                                         | 4前<br>1後<br>2後<br>3後       | 1<br>5<br>2<br>1       | 1<br>5<br>2<br>1      | 3    | 専     | エト`リアン デ`イ`<br>ット`<br>チェック<br>Adrian David<br>Cheok<br><平成32年4月> | データサイエンス<br>AI<br>ネットワーク技術<br><u>シミュレーションに<br/>よる問題分析</u><br><u>IoTⅠ</u><br><u>IoTⅡ</u>                           | 2後<br>4前<br>1後<br>3後<br>3後<br>4前 | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1 | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1 |

|  |    |      |                                         |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                         |                                                                 |                                                               |
|--|----|------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|  | 4  | 専    | テラキ(カハ) ヨキ<br>寺脇(高橋)由紀<br><平成 32 年 4 月> | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>3 前<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                  | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                    | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
|  | 5  | 専    | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br><平成 32 年 4 月>      | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ                                                                                                                                  | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前                                                  | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2                                    | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1                                    |
|  | 6  | 実専   | クメ ノブキ<br>久米 信行<br><平成 32 年 4 月>        | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |
|  | 7  | 実専   | ヒラヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br><平成 32 年 4 月>      | 情報システムのプロジェクト管理<br>システムインテグレーション<br>情報セキュリティ演習Ⅰ<br>情報セキュリティ演習Ⅱ<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                         | 2 後<br>3 後<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                  | 2<br>1<br>2<br>2<br>2<br>4                                      | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
|  | 8  | 実専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br><平成 32 年 4 月>       | オペレーティングシステムクラウド<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>インタラクティブ・システムデザイン                                                                                                                                            | 1 前<br>3 後<br>3 前<br>3 後<br>2 前                                                         | 4<br>2<br>12<br>12<br>2                                         | 2<br>1<br>1<br>1<br>1                                         |
|  | 9  | 実専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br><平成 32 年 4 月>      | 英語コア・スキルズⅠ<br>英語コア・スキルズⅡ<br>英語アカデミックリテラシー                                                                                                                                                                  | 1 前<br>1 後<br>2 前                                                                       | 10<br>10<br>6                                                   | 5<br>5<br>3                                                   |
|  | 10 | 実(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br><平成 32 年 4 月>   | イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ                                                                                                   | 1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通                                                  | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2                                      | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
|  | 4  | 専    | テラキ(カハ) ヨキ<br>寺脇(高橋)由紀<br><平成 32 年 4 月> | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                                     | 1 前<br>1 後<br>1 後<br>3 前<br>3 後<br>4 通                                                  | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4                                    | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
|  | 5  | 専    | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br><平成 32 年 4 月>      | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ<br>ネットワーク構築Ⅳ                                                                                                                     | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後                                           | 12<br>12<br>5<br>2<br>2<br>2<br>2                               | 1<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1                               |
|  | 6  | 実専   | クメ ノブキ<br>久米 信行<br><平成 32 年 4 月>        | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3 後<br>1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 通<br>4 通<br>2 前<br>2 後<br>3 前<br>3 後<br>3 後<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |

|    |          |                                       |                     |     |    |   |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|----|----------|---------------------------------------|---------------------|-----|----|---|--|--|--|---------------------|-----|----|---|--|
|    |          |                                       | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ  | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  | イノベーションプロ<br>ジェクトⅥ  | 4 通 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ  | 2 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ  | 2 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ  | 2 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 11 | 実<br>(研) | トシヅリ ユカ<br>富澤 豊<br>＜平成 32 年 4 月＞      | キャリアデザインⅠ           | 2 前 | 5  | 5 |  |  |  | キャリアデザインⅠ           | 1 後 | 5  | 5 |  |
|    |          |                                       | キャリアデザインⅡ           | 3 後 | 5  | 5 |  |  |  | キャリアデザインⅡ           | 2 前 | 5  | 5 |  |
|    |          |                                       | マーケティング基礎           | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | マーケティング基礎           | 1 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | マーケティング応用           | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  | マーケティング応用           | 2 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | インターンシップⅠ           | 3 前 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップⅠ           | 3 前 | 12 | 1 |  |
|    |          |                                       | インターンシップⅡ           | 3 後 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップⅡ           | 3 後 | 12 | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 12 | 実<br>(研) | イ トキ<br>磯 俊樹<br>＜平成 32 年 4 月＞         | データサイエンス            | 2 後 | 2  | 2 |  |  |  | データサイエンス            | 2 後 | 2  | 2 |  |
|    |          |                                       | 数学基礎 A              | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | モバイルコンピュー<br>ティングⅠ  | 1 後 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | 数学基礎 C              | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | モバイルコンピュー<br>ティングⅡ  | 2 前 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | モバイルサービス概<br>論      | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 13 | 実<br>(研) | カキリ マサジ<br>片桐 雅二<br>＜平成 32 年 4 月＞     | データ構造と処理法           | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | データ構造と処理法           | 1 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 B           | 2 後 | 4  | 2 |  |  |  | 離散数学Ⅰ               | 1 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 C           | 3 前 | 4  | 2 |  |  |  | 離散数学Ⅱ               | 2 前 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | データベース              | 2 前 | 10 | 5 |  |  |  | データベース              | 2 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 14 | 実<br>(研) | カウ ナト<br>加藤 直人<br>＜平成 32 年 4 月＞       | スタディスキル             | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | スタディスキル             | 1 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | ICT リテラシー           | 1 前 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | インターンシップⅠ           | 3 前 | 12 | 1 |  |  |  | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |
|    |          |                                       | インターンシップⅡ           | 3 後 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップⅠ           | 3 前 | 12 | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | インターンシップⅡ           | 3 後 | 12 | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 15 | 実<br>(研) | カマニ オサム<br>鎌谷 修<br>＜平成 32 年 4 月＞      | 情報技術演習Ⅰ             | 2 後 | 10 | 5 |  |  |  | 情報技術演習Ⅰ             | 2 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 情報技術演習Ⅱ             | 3 前 | 2  | 1 |  |  |  | 情報技術演習Ⅱ             | 3 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | IoT                 | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | IoTⅠ                | 3 後 | 1  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | IoTⅡ                | 4 前 | 1  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 16 | 実<br>(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成 32 年 4 月＞ | コンピュータとソフ<br>トウェア基礎 | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | コンピュータとソフ<br>トウェア基礎 | 1 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | コンピュータアーキ<br>テクチャ   | 1 後 | 4  | 2 |  |  |  | コンピュータアーキ<br>テクチャ   | 1 後 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | スーパーコンピュ<br>ータ      | 4 前 | 2  | 1 |  |  |  | スーパーコンピュ<br>ータ      | 4 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 17 | 実<br>(研) | オチアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成 32 年 4 月＞    | 数学基礎 B              | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | オペレーションズリ<br>サーチ    | 2 前 | 4  | 2 |  |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 A           | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |
|    |          |                                       | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | AI                  | 4 前 | 1  | 1 |  |
|    |          |                                       | AI                  | 4 前 | 1  | 1 |  |  |  | Web システム演習          | 2 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | Web システム演習          | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |
| 18 | 実<br>(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成 32 年 4 月＞ | コンピュータとソフ<br>トウェア基礎 | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | ソフトウェア設計・構<br>築     | 2 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | コンピュータアーキ<br>テクチャ   | 1 後 | 4  | 2 |  |  |  | システム設計演習            | 2 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | スーパーコンピュ<br>ータ      | 4 前 | 2  | 1 |  |  |  | システムインテグ<br>レーション   | 3 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
| 19 | 実<br>(研) | オチアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成 32 年 4 月＞    | 数学基礎 B              | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | ソフトウェア設計・構<br>築     | 2 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 A           | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | システム設計演習            | 2 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | システムインテグ<br>レーション   | 3 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | AI                  | 4 前 | 1  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | Web システム演習          | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
| 20 | 実<br>(研) | ホッタ コウイチロウ<br>堀田 耕一郎<br>＜平成 32 年 4 月＞ | コンピュータとソフ<br>トウェア基礎 | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | ソフトウェア設計・構<br>築     | 2 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | コンピュータアーキ<br>テクチャ   | 1 後 | 4  | 2 |  |  |  | システム設計演習            | 2 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | スーパーコンピュ<br>ータ      | 4 前 | 2  | 1 |  |  |  | システムインテグ<br>レーション   | 3 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
| 21 | 実<br>(研) | オチアイ ケイロ<br>落合 慶広<br>＜平成 32 年 4 月＞    | 数学基礎 B              | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | ソフトウェア設計・構<br>築     | 2 前 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | 情報系数学応用 A           | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | システム設計演習            | 2 後 | 10 | 5 |  |
|    |          |                                       | ビッグデータ              | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | システムインテグ<br>レーション   | 3 前 | 2  | 1 |  |
|    |          |                                       | AI                  | 4 前 | 1  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | Web システム演習          | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合理論演習              | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |
|    |          |                                       | 総合実践演習              | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  |                     |     |    |   |  |

|    |        |                                      |                                                                                         |                                               |                                 |                                 |
|----|--------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|    |        |                                      | 総合理論演習<br>総合実践演習                                                                        | 3 後<br>4 通                                    | 2<br>4                          | 1<br>1                          |
| 22 | 実<br>み | エハタ ヒロ<br>江端 浩人<br>＜平成 32 年 4 月＞     | スタートアップ基礎<br>(起業論)<br><br>総合理論演習<br>総合実践演習                                              | 1 後<br><br>3 後<br>4 通                         | 10<br><br>2<br>4                | 5<br><br>1<br>1                 |
| 23 | 実<br>み | アベカミ ヒサヒロ<br>阿部川 久広<br>＜平成 32 年 4 月＞ | ビジネス英語実習Ⅰ<br>ビジネス英語実習Ⅱ<br>ビジネス英語実習Ⅲ<br>ビジネス英語実習Ⅳ<br>英語ビジネスマネジ<br>メント<br>英米文学演習<br>英語通訳論 | 1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>2 後<br>2 後<br>3 前 | 2<br>2<br>2<br>2<br>6<br>6<br>6 | 1<br>1<br>1<br>1<br>3<br>3<br>3 |
| 24 | 実<br>み | カミ シゲオ<br>各務 茂雄<br>＜平成 32 年 4 月＞     | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ<br><br>ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ                                            | 2 前<br><br>2 後                                | 2<br><br>2                      | 1<br><br>1                      |
| 28 | 兼<br>任 | アタ ヲム<br>青田 努<br>＜平成 33 年 4 月＞       | 組織行動論<br>人的資源管理論                                                                        | 2 後<br>3 前                                    | 2<br>2                          | 1<br>1                          |
| 19 | 兼<br>任 | コハヤシ クミ<br>小林 久美子<br>＜平成 33 年 4 月＞   | 先端グローバル社会<br>デザインと経営                                                                    | 2 前<br>4 前                                    | 4<br>2                          | 2<br>1                          |
| 20 | 兼<br>任 | コハヤシ ミキ<br>小林 美紀<br>＜平成 33 年 4 月＞    | 職業倫理                                                                                    | 2 前                                           | 4                               | 2                               |
| 33 | 兼<br>任 | ツジ カサキ<br>辻 貴之<br>＜平成 34 年 4 月＞      | コーポレートファイ<br>ナンス<br>税務会計・会計処理                                                           | 3 後<br>4 後                                    | 2<br>2                          | 1<br>1                          |
| 21 | 兼<br>任 | テラウ セイジ<br>寺裏 誠司<br>＜平成 34 年 4 月＞    | ビジネスゲームによ<br>る経営意思決定                                                                    | 3 前                                           | 2                               | 1                               |
| 22 | 兼<br>任 | フジモリ シホ<br>藤森 志保<br>＜平成 33 年 4 月＞    | ICT と人間<br>クロステックビジネ<br>スデザイン                                                           | 2 後<br>4 前                                    | 4<br>2                          | 2<br>1                          |

|    |        |                                      |                                                                                         |                                               |                                 |                                 |
|----|--------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
|    |        |                                      | 総合理論演習<br>総合実践演習                                                                        | 3 後<br>4 通                                    | 2<br>4                          | 1<br>1                          |
| 22 | 実<br>み | エハタ ヒロ<br>江端 浩人<br>＜平成 32 年 4 月＞     | ゲーム理論と交渉術<br>フィンテック<br>スタートアップ基礎<br>(起業論)<br><br>総合理論演習<br>総合実践演習                       | 2 前<br>4 前<br>1 後<br>3 後<br>4 通               | 2<br>2<br>10<br>2<br>4          | 1<br>1<br>5<br>1<br>1           |
| 23 | 実<br>み | アベカミ ヒサヒロ<br>阿部川 久広<br>＜平成 32 年 4 月＞ | ビジネス英語実習Ⅰ<br>ビジネス英語実習Ⅱ<br>ビジネス英語実習Ⅲ<br>ビジネス英語実習Ⅳ<br>英語ビジネスマネジ<br>メント<br>英米文学演習<br>英語通訳論 | 1 前<br>1 後<br>2 前<br>2 後<br>2 後<br>2 後<br>3 前 | 2<br>2<br>2<br>2<br>6<br>6<br>6 | 1<br>1<br>1<br>1<br>3<br>3<br>3 |
| 24 | 実<br>み | カミ シゲオ<br>各務 茂雄<br>＜平成 32 年 4 月＞     | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ<br>ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ<br>シミュレーションに<br>よる問題分析                         | 2 前<br><br>2 後<br>3 後                         | 2<br><br>2<br>1                 | 1<br><br>1<br>1                 |
| 28 | 兼<br>任 | アタ ヲム<br>青田 努<br>＜平成 33 年 4 月＞       | 人的資源管理論<br>組織行動論                                                                        | 2 後<br>3 前                                    | 2<br>2                          | 1<br>1                          |
| 30 | 兼<br>任 | コハヤシ クミ<br>小林 久美子<br>＜平成 32 年 4 月＞   | 先端グローバル社会                                                                               | 1 後                                           | 4                               | 2                               |
| 31 | 兼<br>任 | コハヤシ ミキ<br>小林 美紀<br>＜平成 32 年 4 月＞    | 職業倫理                                                                                    | 1 後                                           | 4                               | 2                               |
| 33 | 兼<br>任 | ツジ カサキ<br>辻 貴之<br>＜平成 34 年 4 月＞      | コーポレートファイ<br>ナンス<br>税務会計・会計処理                                                           | 3 前<br>4 後                                    | 2<br>2                          | 1<br>1                          |
| 34 | 兼<br>任 | テラウ セイジ<br>寺裏 誠司<br>＜平成 33 年 4 月＞    | モチベーションマネ<br>ジメント<br>ビジネスゲームによ<br>る経営意思決定                                               | 2 前<br>3 前                                    | 2<br>2                          | 1<br>1                          |
| 36 | 兼<br>任 | フジモリ シホ<br>藤森 志保<br>＜平成 33 年 4 月＞    | ICT と人間                                                                                 | 2 後                                           | 4                               | 2                               |

(新旧対照表) 専任教員の年齢構成・学位保有状況

| 新                    |        |            |           |        |  | 旧                    |        |            |           |        |  |
|----------------------|--------|------------|-----------|--------|--|----------------------|--------|------------|-----------|--------|--|
| 専任教員の年齢構成・学位保有状<br>況 |        |            |           |        |  | 専任教員の年齢構成・学位保有状<br>況 |        |            |           |        |  |
| 職<br>位               | 学<br>位 | 50～<br>59歳 | 70歳<br>以上 | 合<br>計 |  | 職<br>位               | 学<br>位 | 50～<br>59歳 | 70歳<br>以上 | 合<br>計 |  |
| 教<br>授               | 修 士    | 1 人        | 1 人       | 3 人    |  | 教<br>授               | 修 士    | 1 人        | 1 人       | 3 人    |  |
|                      | 学 士    | 2 人        | 人         | 4 人    |  |                      | 学 士    | 3 人        | 人         | 5 人    |  |
| 准教<br>授              | 修 士    | 2 人        | 人         | 2 人    |  | 准教<br>授              | 修 士    | 1 人        | 人         | 1 人    |  |
|                      | 学 士    | 2 人        | 人         | 2 人    |  |                      | 学 士    | 1 人        | 人         | 1 人    |  |
| 合<br>計               | 修 士    | 4 人        | 1 人       | 8 人    |  | 合<br>計               | 修 士    | 4 人        | 人         | 7 人    |  |

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

(新旧対照表) 専任教員の年齢構成・学位保有状況 (実務家教員)

| 新                                                                |     |                    |                   | 旧                                                                |     |                    |                    |
|------------------------------------------------------------------|-----|--------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------|-----|--------------------|--------------------|
| 専任教員の年齢構成・学位保有状況<br>(専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員) |     |                    |                   | 専任教員の年齢構成・学位保有状況<br>(専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員) |     |                    |                    |
| 職位                                                               | 学位  | 50～59歳             | 合計                | 職位                                                               | 学位  | 50～59歳             | 合計                 |
| 教授                                                               | 学 士 | <u>2人</u><br>( 人 ) | <u>4人</u><br>(1人) | 教授                                                               | 学 士 | <u>3人</u><br>(1人)  | <u>5人</u><br>(2人)  |
| 准教授                                                              | 学 士 | <u>2人</u><br>(1人)  | <u>2人</u><br>(1人) | 准教授                                                              | 学 士 | <u>1人</u><br>( 人 ) | <u>1人</u><br>( 人 ) |

(改善事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

16. 大学の学生に対して指導経験を有する理論系の専任教員を充実することが望まれるため、対応方針を説明すること。

(対応)

本学の専任教員 27 名のうち、実務の経験等を有する専任教員(実務家教員)は 22 名を掲げていたが、大学の学生に対して指導経験を有する理論系の専任教員を充実することが望まれるとご指摘を頂き、大学の指導経験を有する理論系の専任教員を 1 名追加採用する。

なお、新規採用にあたり、「大学の学生に対して概ね 10 年の専任教員経験があり教授又は准教授職の経験を有す」という基準を設け採用活動を行った。専任教員の追加採用者は以下の通りである。

- ・中嶋(川村)隆一氏 (教授職として申請、アカウンティング・ファイナンス系科目担当教員)

略歴：経営学修士。現職は明海大学経済学部経済学科教授、専修大学商学部マーケティング学科会計学科兼任講師、早稲田大学産業経営研究所招聘研究員。

研究分野は会計学、国際会計。IFRS など国際会計を中心に研究を進める傍ら、30 年以上にわたり様々な大学・大学院で簿記や会計学に関する基礎から応用にわたる授業を担当。明海大学では学生部長やメディアセンター長等も務める。

(新旧対照表) 基本計画書

| 新     |     |     |     |      |     | 旧     |     |     |     |      |     |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|
|       |     |     |     |      |     |       |     |     |     |      |     |
| 専任教員等 |     |     |     |      |     | 専任教員等 |     |     |     |      |     |
| 教授    | 准教授 | 講師  | 助教  | 計    | 助手  | 教授    | 准教授 | 講師  | 助教  | 計    | 助手  |
| 人     | 人   | 人   | 人   | 人    | 人   | 人     | 人   | 人   | 人   | 人    | 人   |
| 15    | 7   | 6   | —   | 28   | —   | 16    | 5   | 6   | —   | 27   | —   |
| (15)  | (7) | (6) | (—) | (28) | (—) | (16)  | (5) | (6) | (—) | (27) | (—) |



(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (42～43 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[42、43 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>28 名</u>の専任教員を配置している。</p> <p>(中略)</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p>(中略)</p> <p>本学の収容定員 800 名に対して、専門職大学設置基準上では専任教員 26 名以上、うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員)11 名以上、そのうち 6 名以上は研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研)が必要である。本学では、専任教員 <u>28 名</u>、うち実務家教員は 22 名、そのうち研究上の業績を併せ持つ実務家教員は 11 名と基準以上で構成されている。</p> <p>・ 専任教員 <u>28 名</u></p> <p>うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員) 22 名</p> <p>うち研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研) 11 名</p> <p>専任教員の職位の構成は、以下のようになっており、バランスの取れた職位構成になっている。</p> <p>・ 教授 <u>15 名</u></p> <p>・ 准教授 <u>7 名</u></p> <p>・ 講師 6 名</p> <p>主要な授業科目に専任の教授、准教授を配置し、教育課程に対する分野別の教員構成は、以下のようになっている。</p> <p>・ <u>情報通信技術系</u>担当教員 12 名</p> <p>・ <u>経営系</u>担当教員 <u>13 名</u></p> | <p>[39 ページ]</p> <p>5.教員組織の編成の考え方及び特色</p> <p>(1)教員組織編成の考え方</p> <p><u>ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科</u>は、入学定員 200 名、収容定員 800 名に対して <u>27 名</u>の専任教員を配置している。</p> <p>(中略)</p> <p>(2)教員組織編成の構成</p> <p>(中略)</p> <p>本学の収容定員 800 名に対して、専門職大学設置基準上では専任教員 26 名以上、うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員)11 名以上、そのうち 6 名以上は研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研)が必要である。本学では、専任教員 <u>27 名</u>、うち実務家教員は 22 名、そのうち研究上の業績を併せ持つ実務家教員は 11 名と基準以上で構成されている。</p> <p>・ 専任教員 <u>27 名</u></p> <p>うち実務の経験等を有する専任教員(実務家教員) 22 名</p> <p>うち研究上の業績を併せ持つ実務家教員(実研) 11 名</p> <p>専任教員の職位の構成は、以下のようになっており、バランスの取れた職位構成になっている。</p> <p>・ 教授 <u>16 名</u></p> <p>・ 准教授 <u>5 名</u></p> <p>・ 講師 6 名</p> <p>主要な授業科目に専任の教授、准教授を配置し、教育課程に対する分野別の教員構成は、以下のようになっている。</p> <p>・ <u>ICT 系</u>担当教員 12 名</p> <p>・ <u>ビジネス系</u>担当教員 <u>12 名</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・英語系担当教員 3名</p> <p>(中略)</p> <p>(4)年齢構成と完成年度後の教員組織構想</p> <p>専任教員の開学時の年齢構成は、60代 5名、50代 15名、40代 6名、30代 2名となっており、バランスの取れた年齢構成になっている。</p> <p>・60代 5名(17.9%)</p> <p>・50代 15名(53.6%)</p> <p>・40代 6名(21.4%)</p> <p>・30代 2名(7.1%)</p> | <p>・英語系担当教員 3名</p> <p>(中略)</p> <p>(4)年齢構成と完成年度後の教員組織構想</p> <p>専任教員の開学時の年齢構成は、60代 4名、50代 15名、40代 6名、30代 2名となっており、バランスの取れた年齢構成になっている。</p> <p>・60代 4名(14.8%)</p> <p>・50代 15名(55.6%)</p> <p>・40代 6名(22.2%)</p> <p>・30代 2名(7.4%)</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(新旧対照表) 教員名簿[教員の氏名等]

| 新                |                       |                                                              |                                                                        |                                        |                              |                            | 旧                |                       |                                                              |                                                                                |                                        |                              |                            |
|------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 調<br>書<br>番<br>号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                                   | 担当授業科目の名称                                                              | 配<br>当<br>年<br>次                       | 担<br>当<br>単<br>位<br>数        | 年<br>間<br>開<br>講<br>数      | 調<br>書<br>番<br>号 | 専<br>任<br>等<br>区<br>分 | フリカゝナ<br>氏 名<br>＜就任(予定)年月＞                                   | 担当授業科目の名称                                                                      | 配<br>当<br>年<br>次                       | 担<br>当<br>単<br>位<br>数        | 年<br>間<br>開<br>講<br>数      |
| 1                | 専                     | ナカムラ イサ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                           | イノベーションの志                                                              | 1 前                                    | 10                           | 5                          | 1                | 専                     | ナカムラ イサ<br>中村 伊知哉<br>＜平成 32 年 4 月＞                           | イノベーションの志                                                                      | 1 前                                    | 10                           | 5                          |
| 2                | 専                     | カシマ(カミマ)リュウ<br>伊<br>中嶋(川村)隆一<br>＜平成 32 年 4 月＞                | アカウンティング入門<br>アカウンティング応用<br>ファイナンス入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習               | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>3 後<br>4 通        | 10<br>2<br>2<br>2<br>4       | 5<br>1<br>1<br>1<br>1      |                  |                       | (追加)                                                         |                                                                                |                                        |                              |                            |
| 3                | 専                     | ナハ(ハシ) ミハ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞                       | リサーチ入門<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                             | 1 後<br>3 後<br>4 通                      | 10<br>2<br>4                 | 5<br>1<br>1                | 2                | 専                     | ナハ(ハシ) ミハ<br>難波(三上)美帆<br>＜平成 32 年 4 月＞                       | ビジネスデザインⅠ<br>ビジネスデザインⅡ<br>ファシリテーション<br>デザイン思考ワーク<br>ショップ設計<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 1 後<br>2 前<br>2 後<br>4 後<br>3 後<br>4 通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4   | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |
| 4                | 専                     | エトリアン デビッド<br>チェック<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | AI<br>ネットワーク技術<br>データサイエンス<br>IoT                                      | 4 前<br>1 後<br>2 後<br>3 後               | 1<br>5<br>2<br>1             | 1<br>5<br>2<br>1           | 3                | 専                     | エトリアン デビッド<br>チェック<br>Adrian David<br>Cheok<br>＜平成 32 年 4 月＞ | データサイエンスⅠ<br>AI<br>ネットワーク技術<br>シミュレーションに<br>よる問題分析<br>IoTⅠ<br>IoTⅡ             | 2 後<br>4 前<br>1 後<br>3 後<br>3 後<br>4 前 | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1   | 2<br>1<br>5<br>1<br>1<br>1 |
| 4                | 専                     | テラキ(タハ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞                      | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 1 前<br>1 後<br>3 前<br>3 前<br>3 後<br>4 通 | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4 | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1 | 4                | 専                     | テラキ(タハ) ユキ<br>寺脇(高橋)由紀<br>＜平成 32 年 4 月＞                      | プログラミングⅠ<br>プログラミングⅡ<br>モデル化と要求開発<br>ソフトウェアプロセスと品質<br>総合理論演習<br>総合実践演習         | 1 前<br>1 後<br>1 後<br>3 前<br>3 後<br>4 通 | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>4 | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1 |
| 5                | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                           | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術                                     | 3 前<br>3 後<br>1 後                      | 12<br>12<br>5                | 1<br>1<br>5                | 5                | 専                     | ヤマノチ マサト<br>山内 正人<br>＜平成 32 年 4 月＞                           | インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>ネットワーク技術<br>ネットワーク構築Ⅰ                                | 3 前<br>3 後<br>1 後<br>2 前               | 12<br>12<br>5<br>2           | 1<br>1<br>5<br>1           |

|    |      |                                   |                                                                                                                                                                                                            |                                                                            |                                                                 |                                                               |  |    |      |                                     |                                                                                                                                                                                                            |                                                                            |                                                                 |                                                          |
|----|------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--|----|------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
|    |      |                                   | ネットワーク構築Ⅰ<br>ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ                                                                                                                                                                        | 2前<br>2後<br>3前                                                             | 2<br>2<br>2                                                     | 1<br>1<br>1                                                   |  |    |      | ネットワーク構築Ⅱ<br>ネットワーク構築Ⅲ<br>ネットワーク構築Ⅳ | 2後<br>3前<br>3後                                                                                                                                                                                             | 2<br>2<br>2                                                                | 1<br>1<br>1                                                     |                                                          |
| 6  | 実専   | クメ ノブキ<br>久米 信行<br>＜平成32年4月＞      | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3後<br>1前<br>1後<br>2前<br>2後<br>3通<br>4通<br>2前<br>2後<br>3前<br>3後<br>3後<br>4通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |  | 6  | 実専   | クメ ノブキ<br>久米 信行<br>＜平成32年4月＞        | 地域創生とイノベーション<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習 | 3後<br>1前<br>1後<br>2前<br>2後<br>3通<br>4通<br>2前<br>2後<br>3前<br>3後<br>3後<br>4通 | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>12<br>12<br>2<br>4 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |
| 7  | 実専   | ヒラヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br>＜平成32年4月＞    | 情報システムのプロジェクト管理<br>システムインテグレーション<br>情報セキュリティ演習Ⅰ<br>情報セキュリティ演習Ⅱ<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                                         | 2後<br>3後<br>2後<br>3前<br>3後<br>4通                                           | 2<br>1<br>2<br>2<br>2<br>4                                      | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |  | 7  | 実専   | ヒラヤマ トシロ<br>平山 敏弘<br>＜平成32年4月＞      | 情報システムのプロジェクト管理<br>情報システムの失敗と分析<br>情報セキュリティ演習Ⅰ<br>情報セキュリティ演習Ⅱ<br>情報セキュリティ演習Ⅲ<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                                                                                           | 2後<br>3前<br>2後<br>3前<br>3後<br>3後<br>4通                                     | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4                                 | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                          |
| 8  | 実専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br>＜平成32年4月＞     | オペレーティングシステムクラウド<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>インタラクティブ・システムデザイン                                                                                                                                            | 1前<br>3後<br>3前<br>3後<br>2前                                                 | 4<br>2<br>12<br>12<br>2                                         | 2<br>1<br>1<br>1<br>1                                         |  | 8  | 実専   | イヅリ テツヤ<br>井澤 哲也<br>＜平成32年4月＞       | オペレーティングシステムクラウド<br>インターンシップⅠ<br>インターンシップⅡ<br>インタラクティブ・システムデザイン                                                                                                                                            | 1前<br>3後<br>3前<br>3後<br>2前                                                 | 4<br>2<br>12<br>12<br>2                                         | 2<br>1<br>1<br>1<br>1                                    |
| 9  | 実専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br>＜平成32年4月＞    | 英語コア・スキルズⅠ<br>英語コア・スキルズⅡ<br>英語アカデミックリテラシー                                                                                                                                                                  | 1前<br>1後<br>2前                                                             | 10<br>10<br>6                                                   | 5<br>5<br>3                                                   |  | 9  | 実専   | オムラ コウイチ<br>奥村 耕一<br>＜平成32年4月＞      | 英語コア・スキルズⅠ<br>英語コア・スキルズⅡ<br>英語アカデミックリテラシー                                                                                                                                                                  | 1前<br>1後<br>2前                                                             | 10<br>10<br>6                                                   | 5<br>5<br>3                                              |
| 10 | 実(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br>＜平成32年4月＞ | イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習                                           | 1前<br>1後<br>2前<br>2後<br>3通<br>4通<br>2前<br>2後<br>3後<br>4通                   | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4                  | 1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1                |  | 11 | 実(研) | カガミ シンイチロウ<br>川上 慎市郎<br>＜平成32年4月＞   | アカウンティング<br>ファイナンス<br>イノベーションプロジェクトⅠ<br>イノベーションプロジェクトⅡ<br>イノベーションプロジェクトⅢ<br>イノベーションプロジェクトⅣ<br>イノベーションプロジェクトⅤ<br>イノベーションプロジェクトⅥ<br>ビジネスフィールドリサーチⅠ<br>ビジネスフィールドリサーチⅡ<br>総合理論演習<br>総合実践演習                     | 1後<br>2前<br>1前<br>1後<br>2前<br>2後<br>3通<br>4通<br>2前<br>2後<br>3後<br>4通       | 10<br>10<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>4<br>2<br>2<br>4 | 5<br>5<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1<br>1 |
| 11 | 実(研) | トシヅキ ユカ<br>富澤 豊<br>＜平成32年4月＞      | キャリアデザインⅠ<br>キャリアデザインⅡ<br>マーケティング基礎                                                                                                                                                                        | 2前<br>3後<br>1前                                                             | 5<br>5<br>10                                                    | 5<br>5<br>5                                                   |  | 13 | 実(研) | トシヅキ ユカ<br>富澤 豊<br>＜平成32年4月＞        | キャリアデザインⅠ<br>キャリアデザインⅡ<br>マーケティング基礎                                                                                                                                                                        | 1後<br>2前<br>1前                                                             | 5<br>5<br>10                                                    | 5<br>5<br>5                                              |

|  |  |  |                 |     |    |   |  |  |  |                  |     |    |   |
|--|--|--|-----------------|-----|----|---|--|--|--|------------------|-----|----|---|
|  |  |  | マーケティング応用       | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  | マーケティング応用        | 2 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | インターンシップ I      | 3 前 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップ I       | 3 前 | 12 | 1 |
|  |  |  | インターンシップ II     | 3 後 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップ II      | 3 後 | 12 | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | データサイエンス        | 2 後 | 2  | 2 |  |  |  | データサイエンス         | 2 後 | 2  | 2 |
|  |  |  | 数学基礎 A          | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | モバイルコンピューティング I  | 1 後 | 4  | 2 |
|  |  |  | 数学基礎 C          | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | モバイルコンピューティング II | 2 前 | 4  | 2 |
|  |  |  | モバイルサービス概論      | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  |                  |     |    |   |
|  |  |  | データ構造と処理法       | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | データ構造と処理法        | 1 前 | 10 | 5 |
|  |  |  | 情報系数学応用 B       | 2 後 | 4  | 2 |  |  |  | 離散数学 I           | 1 後 | 10 | 5 |
|  |  |  | 情報系数学応用 C       | 3 前 | 4  | 2 |  |  |  | 離散数学 II          | 2 前 | 4  | 2 |
|  |  |  | データベース          | 2 前 | 10 | 5 |  |  |  | データベース           | 2 前 | 10 | 5 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | スタディスキル         | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | スタディスキル          | 1 前 | 10 | 5 |
|  |  |  | ビッグデータ          | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | ICT リテラシー        | 1 前 | 4  | 2 |
|  |  |  | インターンシップ I      | 3 前 | 12 | 1 |  |  |  | ビッグデータ           | 3 後 | 1  | 1 |
|  |  |  | インターンシップ II     | 3 後 | 12 | 1 |  |  |  | インターンシップ I       | 3 前 | 12 | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | インターンシップ II      | 3 後 | 12 | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 情報技術演習 I        | 2 後 | 10 | 5 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | 情報技術演習 II       | 3 前 | 2  | 1 |  |  |  | 情報技術演習 I         | 2 後 | 10 | 5 |
|  |  |  | IoT             | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | 情報技術演習 II        | 3 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | IoT I            | 3 後 | 1  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | IoT II           | 4 前 | 1  | 1 |
|  |  |  | コンピュータとソフトウェア基礎 | 1 前 | 10 | 5 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | コンピュータアーキテクチャ   | 1 後 | 4  | 2 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | スーパーコンピュータ      | 4 前 | 2  | 1 |  |  |  | コンピュータとソフトウェア基礎  | 1 前 | 10 | 5 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | コンピュータアーキテクチャ    | 1 後 | 4  | 2 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | スーパーコンピュータ       | 4 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 数学基礎 B          | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 情報系数学応用 A       | 2 前 | 4  | 2 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | ビッグデータ          | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | オペレーションズリサーチ     | 2 前 | 4  | 2 |
|  |  |  | AI              | 4 前 | 1  | 1 |  |  |  | ビッグデータ           | 3 後 | 1  | 1 |
|  |  |  | Web システム演習      | 2 前 | 2  | 1 |  |  |  | AI               | 4 前 | 1  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | Web システム演習       | 2 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | ソフトウェア設計・構築     | 2 前 | 10 | 5 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | システム設計演習        | 2 後 | 10 | 5 |  |  |  | オペレーションズリサーチ     | 2 前 | 4  | 2 |
|  |  |  | システムインテグレーション   | 3 後 | 1  | 1 |  |  |  | ビッグデータ           | 3 後 | 1  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | AI               | 4 前 | 1  | 1 |
|  |  |  | 総合実践演習          | 4 通 | 4  | 1 |  |  |  | Web システム演習       | 2 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | スタートアップ基礎 (起業論) | 1 後 | 10 | 5 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ソフトウェア設計・構築      | 2 前 | 10 | 5 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | システム設計演習         | 2 後 | 10 | 5 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | システムインテグレーション    | 3 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ゲーム理論と交渉術        | 2 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | フィナンテック          | 4 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | スタートアップ基礎 (起業論)  | 1 後 | 10 | 5 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合理論演習           | 3 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | 総合実践演習           | 4 通 | 4  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習 I       | 1 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習 II      | 1 後 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習 III     | 2 前 | 2  | 1 |
|  |  |  | 総合理論演習          | 3 後 | 2  | 1 |  |  |  | ビジネス英語実習 IV      | 2 後 | 2  | 1 |

|    |        |                                                                     |                                              |                |             |             |  |    |        |                                                                     |                                                                 |                    |                 |                 |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------|-------------|-------------|--|----|--------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
|    |        |                                                                     | 英語ビジネスマネジメント<br>英米文学演習<br>英語通訳論              | 2後<br>2後<br>3前 | 6<br>6<br>6 | 3<br>3<br>3 |  |    |        | 英語ビジネスマネジメント<br>英米文学演習<br>英語通訳論                                     | 2後<br>2後<br>3前                                                  | 6<br>6<br>6        | 3<br>3<br>3     |                 |
| 24 | 実<br>み | 加 <sup>ミ</sup> シ <sup>オ</sup><br>各務 茂雄<br>＜平成32年4月＞                 | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ<br><br>ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ | 2前<br><br>2後   | 2<br><br>2  | 1<br><br>1  |  | 24 | 実<br>み | 加 <sup>ミ</sup> シ <sup>オ</sup><br>各務 茂雄<br>＜平成32年4月＞                 | ビジネスフィールド<br>リサーチⅠ<br>ビジネスフィールド<br>リサーチⅡ<br>シミュレーションに<br>よる問題分析 | 2前<br><br>2後<br>3後 | 2<br><br>2<br>1 | 1<br><br>1<br>1 |
| 28 | 兼<br>任 | ア <sup>タ</sup> ウ <sup>ム</sup><br>青田 努<br>＜平成33年4月＞                  | 組織行動論<br>人的資源管理論                             | 2後<br>3前       | 2<br>2      | 1<br>1      |  | 28 | 兼<br>任 | ア <sup>タ</sup> ウ <sup>ム</sup><br>青田 努<br>＜平成33年4月＞                  | 人的資源管理論<br>組織行動論                                                | 2後<br>3前           | 2<br>2          | 1<br>1          |
| 19 | 兼<br>任 | コ <sup>ハ</sup> ヤ <sup>シ</sup> ク <sup>ミ</sup><br>小林 久美子<br>＜平成33年4月＞ | 先端グローバル社会<br>デザインと経営                         | 2前<br>4前       | 4<br>2      | 2<br>1      |  | 30 | 兼<br>任 | コ <sup>ハ</sup> ヤ <sup>シ</sup> ク <sup>ミ</sup><br>小林 久美子<br>＜平成32年4月＞ | 先端グローバル社会                                                       | 1後                 | 4               | 2               |
| 20 | 兼<br>任 | コ <sup>ハ</sup> ヤ <sup>シ</sup> ミ <sup>キ</sup><br>小林 美紀<br>＜平成33年4月＞  | 職業倫理                                         | 2前             | 4           | 2           |  | 31 | 兼<br>任 | コ <sup>ハ</sup> ヤ <sup>シ</sup> ミ <sup>キ</sup><br>小林 美紀<br>＜平成32年4月＞  | 職業倫理                                                            | 1後                 | 4               | 2               |
| 33 | 兼<br>任 | ツ <sup>ジ</sup> カ <sup>キ</sup><br>辻 貴之<br>＜平成34年4月＞                  | コーポレートファイ<br>ナンス<br>税務会計・会計処理                | 3後<br>4後       | 2<br>2      | 1<br>1      |  | 33 | 兼<br>任 | ツ <sup>ジ</sup> カ <sup>キ</sup><br>辻 貴之<br>＜平成34年4月＞                  | コーポレートファイ<br>ナンス<br>税務会計・会計処理                                   | 3前<br>4後           | 2<br>2          | 1<br>1          |
| 21 | 兼<br>任 | テ <sup>ラ</sup> カ <sup>ラ</sup> セ <sup>イ</sup><br>寺裏 誠司<br>＜平成34年4月＞  | ビジネスゲームによ<br>る経営意思決定                         | 3前             | 2           | 1           |  | 34 | 兼<br>任 | テ <sup>ラ</sup> カ <sup>ラ</sup> セ <sup>イ</sup><br>寺裏 誠司<br>＜平成33年4月＞  | モチベーションマネ<br>ジメント<br>ビジネスゲームによ<br>る経営意思決定                       | 2前<br>3前           | 2<br>2          | 1<br>1          |
| 22 | 兼<br>任 | フ <sup>ジ</sup> モ <sup>リ</sup> シ <sup>ホ</sup><br>藤森 志保<br>＜平成33年4月＞  | ICTと人間<br>クロステックビジネ<br>スデザイン                 | 2後<br>4前       | 4<br>2      | 2<br>1      |  | 36 | 兼<br>任 | フ <sup>ジ</sup> モ <sup>リ</sup> シ <sup>ホ</sup><br>藤森 志保<br>＜平成33年4月＞  | ICTと人間                                                          | 2後                 | 4               | 2               |

(新旧対照表) 専任教員の年齢構成・学位保有状況

| 新                |        |            |            |            | 旧                |        |            |            |            |
|------------------|--------|------------|------------|------------|------------------|--------|------------|------------|------------|
| 専任教員の年齢構成・学位保有状況 |        |            |            |            | 専任教員の年齢構成・学位保有状況 |        |            |            |            |
| 職<br>位           | 学<br>位 | 50～<br>59歳 | 70歳<br>以上  | 合<br>計     | 職<br>位           | 学<br>位 | 50～<br>59歳 | 70歳<br>以上  | 合<br>計     |
| 教<br>授           | 修 士    | 1 人        | <u>1 人</u> | 3 人        | 教<br>授           | 修 士    | 1 人        | <u>1 人</u> | 3 人        |
|                  | 学 士    | <u>2 人</u> | 人          | <u>4 人</u> |                  | 学 士    | <u>3 人</u> | 人          | <u>5 人</u> |
| 准教<br>授          | 修 士    | <u>2 人</u> | 人          | <u>2 人</u> | 准教<br>授          | 修 士    | <u>1 人</u> | 人          | <u>1 人</u> |
|                  | 学 士    | <u>2 人</u> | 人          | <u>2 人</u> |                  | 学 士    | <u>1 人</u> | 人          | <u>1 人</u> |
| 合<br>計           | 修 士    | 4 人        | <u>1 人</u> | <u>8 人</u> | 合<br>計           | 修 士    | 4 人        | 人          | <u>7 人</u> |

(新旧対照表) 専任教員の年齢構成・学位保有状況 (実務家教員)

| 新                                                                |        |                    |                   | 旧                                                                |        |                    |                    |
|------------------------------------------------------------------|--------|--------------------|-------------------|------------------------------------------------------------------|--------|--------------------|--------------------|
| 専任教員の年齢構成・学位保有状況<br>(専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員) |        |                    |                   | 専任教員の年齢構成・学位保有状況<br>(専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員) |        |                    |                    |
| 職<br>位                                                           | 学<br>位 | 50～59<br>歳         | 合 計               | 職<br>位                                                           | 学<br>位 | 50～59<br>歳         | 合 計                |
| 教<br>授                                                           | 学 士    | <u>2人</u><br>( 人 ) | <u>4人</u><br>(1人) | 教<br>授                                                           | 学 士    | <u>3人</u><br>(1人)  | <u>5人</u><br>(2人)  |
| 准教<br>授                                                          | 学 士    | <u>2人</u><br>(1人)  | <u>2人</u><br>(1人) | 准教<br>授                                                          | 学 士    | <u>1人</u><br>( 人 ) | <u>1人</u><br>( 人 ) |

17. 1室を2名で共同利用する個別研究室と共同授業・共同研究の推進や連携企業とのプロジェクトを行う研究フリースペースで教育研究を行うと説明しているが、大学における教員の研究スペース及び外部の者との打ち合わせのスペースとして十分であるか不明確であるため、個別研究室及び研究フリースペースのレイアウト図等を示して改めて説明するか、適切に改めること。また、学生に対して、個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか不明確であるため、個人情報の保護を行いながら個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか改めて説明するか、適切に改めること。

(対応)

本学の専任教員が活用する研究室は、個室12室・共同研究室1室とし、計13室を準備し、1室を2名で共同利用する個別研究室と共同授業・共同研究の推進や連携企業とのプロジェクトを行う研究フリースペースで教育研究を行うとすると掲げていたが、大学における教員の研究スペース及び外部の者との打ち合わせのスペースとして十分であるか不明確であるため、個別研究室及び研究フリースペースのレイアウト図等を示して改めて説明するか、適切に改めること。また、学生に対して、個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか不明確であるため、個人情報の保護を行いながら個別面談や研究指導を行うことができるスペースが十分確保されているか改めて説明するか、適切に改めることとご指摘を頂き、各教員の研究環境の整備、各学生の個別面談や研究指導、個人情報保護の観点から、全専任教員に個人研究室（研究個室）を設置することを含め、以下のように施設計画を改める。

本学の個人研究室を含む研究スペースは以下の環境を備え、教育研究上支障がない十分な設備を整備する。

- ① 専任教員が研究活動及び執務に専念できる環境
- ② オフィスアワー等、学生の指導に適切に対応できる環境
- ③ 個人情報の適切な管理等のセキュリティの整った環境
- ④ 革新を創造するにふさわしい環境

上記①の環境整備として、個人研究室内にデスク、スチール書架、ロッカーを整備する。本学の教員の主な研究領域は経営学・情報学等であるため、情報通信技術系担当教員には、実習室も整備し研究活動を推進する。IT環境については、各教員に1台ずつPCを支給し教育研究活動に活用できるよう整備する。②に関しては、個人研究室とすることで、プライバシーの保護も含めて教員と学生の相談等ができる環境を整備する。③に関しても、個人研究室内で一時的な試験問題や解答の保管、学生の提出物等を管理可能とする。また、入口はセキュリティロックも設定し情報管理の徹底を行う。④に関しては、研究フリースペースにて総合理論演習・総合実践演習でも活用できるようなアクティブラーニングに適した机・椅子を配置して環境を整えると共に、他ゼミとの共同授業・共同研究の推進など本学の目指すイノベーション人

材の育成に対応する環境を整備する。また、研究フリースペースは、連携企業とのプロジェクト等も活発に行えるようなスペースとする。

その他、ゼミや教員の研究活動発表には、校舎3階のプレゼンテーションに適した演習室を活用し、研究活動をアウトプットする事も重視する。

※研究室のレイアウト図は別紙6 参照(研究室フロア図、各研究室の拡大図等)

なお、個人研究室の仕様と配置は以下とする。

- ・1室15㎡以上の完全個室を専任教員に1人1室割り当てる。
- ・経営系、情報通信技術系、英語系教員はそれぞれの領域同士できる限り近い位置の部屋を配置し、コミュニケーションを活発に図れるようにする。
- ・図書委員会の委員長は図書館隣の研究室に配置する。
- ・学務委員会の委員長は演習室や自習室隣の研究室に配置する。

研究フリースペースは、以下のような仕様で活用する。

- ・約200㎡のフリースペースを準備し、総合理論演習・総合実践演習の予習復習でも活用できるようなアクティブラーニングに適した机・椅子を配置して環境を整え、他ゼミとの共同授業・共同研究の推進など本学の目指すイノベーション人材の育成に対応する環境を整備する。また、イノベーションプロジェクトなどで実施する予定の、地域・連携企業とのプロジェクト等は原則各演習室で行うが、プロジェクトによっては各クラス協働で行うなど活発に行えるようなスペースにもする。

(新旧対照表) 基本計画書

| 新       |        | 旧       |  |
|---------|--------|---------|--|
| 専任教員研究室 |        | 専任教員研究室 |  |
| 室数      | 学長室1室を | 室数      |  |
| 28室     | 含む     | 12室     |  |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (53～55 ページ)

| 新                                                                                                                                      | 旧                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[53～55 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>校舎等施設としては、3階建ての校舎(5,451.87㎡)を有しており、収容定員に対し専門職大学設置基準(学部の種類：経済学関係)にある校舎基準面積を確</p> | <p>[48～50 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>校舎等施設としては、3階建ての校舎(5,451.87㎡)を有しており、収容定員に対し専門職大学設置基準(学部の種類：経済学関係)にある校舎基準面積を確</p> |



保している。

施設の内訳としては、講義室 7 室、演習室 10 室、実習室 2 室、研究室 27 室、図書館、学長室、会議室、事務室、医務室、学生自習室 1 室、学生控室を有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な授業形態に対応可能な施設設備(表 2)を設ける。

(中略)

表 2 ◆施設設備の内訳

| 施設    | 室数 | 仕様                                                                                                                                                                                                      |
|-------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学長室   | 1  | 19.91 m <sup>2</sup> ( <u>学長の研究室を兼ねる</u> )                                                                                                                                                              |
| 会議室   | 1  | 83.90 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                    |
| 事務室   | 1  | 264.49 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                   |
| 研究室   | 27 | <u>22.88 m<sup>2</sup> 3 室、21.18 m<sup>2</sup> 2 室、21.15 m<sup>2</sup> 4 室、20.79 m<sup>2</sup> 2 室、19.44 m<sup>2</sup> 2 室、19.21 m<sup>2</sup> 2 室、19.07 m<sup>2</sup> 1 室、16.42 m<sup>2</sup> 11 室</u> |
| 講義室   | 7  | 72.46 m <sup>2</sup> 3 室、87.72 m <sup>2</sup> 1 室、88.05 m <sup>2</sup> 2 室、99.16 m <sup>2</sup> 1 室                                                                                                     |
| 演習室   | 10 | 57.20 m <sup>2</sup> 6 室、61.02 m <sup>2</sup> 3 室、99.79 m <sup>2</sup> 1 室                                                                                                                              |
| 実習室   | 2  | <u>33.60 m<sup>2</sup> 1 室、91.39 m<sup>2</sup> 1 室</u>                                                                                                                                                  |
| 図書館   | 1  | 304.61 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                   |
| 医務室   | 1  | 22.88 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                    |
| 学生自習室 | 1  | 160.52 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                   |
| 学生控室  | 2  | 16.80 m <sup>2</sup> 2 室                                                                                                                                                                                |
| 講堂    | 1  | 258.72 m <sup>2</sup>                                                                                                                                                                                   |

(中略)

研究室については、教員組織として計画している専任教員 28(学長 1 名を含む)名に対して、15 m<sup>2</sup>以上の専任教員研究室 28(学長室含む)室を設ける。

(削除)

保している。

施設の内訳としては、講義室 7 室、演習室 10 室、実習室 2 室、研究室(11 室、共同研究室 1 室)、図書館、学長室、会議室、事務室、医務室、学生自習室 1 室、学生控室を有し講義科目だけではなく演習、実習科目等様々な授業形態に対応可能な施設設備(表 2)を設ける。

(中略)

表 2 ◆施設設備の内訳

| 施設    | 室数 | 仕様                                                                                                                      |
|-------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学長室   | 1  | 19.91 m <sup>2</sup>                                                                                                    |
| 会議室   | 1  | 83.90 m <sup>2</sup>                                                                                                    |
| 事務室   | 1  | 264.49 m <sup>2</sup>                                                                                                   |
| 研究室   | 12 | <u>20.95 m<sup>2</sup> 8 室、21.04 m<sup>2</sup> 2 室、研究情報管理室 41.95 m<sup>2</sup> 1 室、共同研究室 87.72 m<sup>2</sup> 1 室を含む</u> |
| 講義室   | 7  | 72.46 m <sup>2</sup> 3 室、87.72 m <sup>2</sup> 1 室、88.05 m <sup>2</sup> 2 室、99.16 m <sup>2</sup> 1 室                     |
| 演習室   | 10 | 57.20 m <sup>2</sup> 6 室、61.02 m <sup>2</sup> 3 室、99.79 m <sup>2</sup> 1 室                                              |
| 実習室   | 2  | 41.95 m <sup>2</sup> 1 室、91.39 m <sup>2</sup> 1 室                                                                       |
| 図書館   | 1  | 304.61 m <sup>2</sup>                                                                                                   |
| 医務室   | 1  | 22.88 m <sup>2</sup>                                                                                                    |
| 学生自習室 | 1  | 160.52 m <sup>2</sup>                                                                                                   |
| 学生控室  | 2  | 16.80 m <sup>2</sup> 2 室                                                                                                |
| 講堂    | 1  | 258.72 m <sup>2</sup>                                                                                                   |

(中略)

研究室については、教員組織として計画している専任教員 27(学長 1 名を含む)名に対して、一室約 20 m<sup>2</sup>の専任教員研究室 10 室と共同研究室 1 室、研究情報管理室 1 室を設けることとしている。共同研究室のほか、複数名で利用する研究室もあるが、専任教員が研究活動及び執務に専念できるとともに、オフィスアワーに適切に対応できる環境を整える。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(中略)</p> <p>研究室では具体的に以下の環境を備えた上で、教育研究上十分な設備を整備する。</p> <p>① 専任教員が研究活動及び執務に専念できる環境</p> <p>② オフィスアワーに適切に対応できる環境</p> <p>③ 個人情報セキュリティ環境</p> <p>④ <u>革新を創造するにふさわしい環境</u></p> <p><u>上記①に関しては、環境整備として、個人研究室内にデスク、スチール書架、ロッカーを整備する。本学の教員の主な研究領域は経営学・情報学等であるため、情報通信技術系担当教員には、実習室も整備し研究活動を推進する。IT環境については、各教員に1台ずつPCを支給し教育研究活動に活用できるよう整備する。②に関しては、個人研究室とすることで、プライバシーの保護も含めて教員と学生の相談等ができる環境を整備する。③に関しても、個人研究室内で一時的な試験問題や解答の保管、学生の提出物等を管理可能とする。また、入口はセキュリティロックも設定し情報管理の徹底を行う。④に関しては、研究フリースペースにて総合理論演習・総合実践演習でも活用できるようなアクティブラーニングに適した机・椅子を配置して環境を整えると共に、他ゼミとの共同授業・共同研究の推進など本学の目指すイノベーション人材の育成に対応する環境を整備する。また、研究フリースペースは、連携企業とのプロジェクト等も活発に行えるようなスペースとする。</u></p> <p><u>その他、ゼミや教員の研究活動発表には、校舎3階のプレゼンテーションに適した演習室を活用し、研究活動をアウトプットする事も重視する。</u></p> | <p>(中略)</p> <p>研究室では具体的に以下の環境を備えた上で、教育研究上十分な設備を整備する。</p> <p>① 専任教員が研究活動及び執務に専念できる環境</p> <p>② オフィスアワーに適切に対応できる環境</p> <p>③ 個人情報セキュリティ環境</p> <p>④ <u>教育上で十分に対応でき、革新を創造するにふさわしい環境</u></p> <p><u>上記①に関しては、研究個室と共同研究室にて環境を整備する。イノベーション人材の育成を目指す本学では、教員間のコラボレーションも重視し研究フリースペースの各個室は2名1室とし20名の専任教員の研究室とする。また、共同研究室は、みなし専任教員を6名配置し共同で活動できるようにした。各研究室内の設備に関しては、スチール書架、ロッカーを整備する。主な研究領域が経営学・情報学等であるが、主にICT系担当教員の実習室も整備し研究活動を推進する。</u></p> <p><u>②に関しては、各研究室を活用し、個人情報保護も含めて相談等ができる環境を整備する。</u></p> <p><u>③に関しては、研究情報管理室を設け学生の提出物等を管理する部屋とする。また、入口はセキュリティロックも設定し情報管理の徹底を行う。</u></p> <p><u>④に関しては、研究フリースペースにて総合理論演習・総合実践演習を進められるような机・椅子を配置して環境を整えると共に、他ゼミとの共同授業・共同研究の推進など本学の目指すイノベーション人材の育成に対応する環境を整備する。また、連携企業とのプロジェクト等も活発に行えるようなスペースとする。</u></p> <p><u>その他、ゼミや教員の研究活動発表には、校舎3階のプレゼンテーションに適した演習室を活用し、研究活動をアウトプットする事も重視する。</u></p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

18. 留学生を多数受け入れる計画であるが、日本語での教育を問題なく実施できるか懸念されるため、日本語能力等の資格要件を求めるのかを明確にした上で、日本語での教育研究を問題なく実施できるか改めて説明すること。

(対応)

日本語での教育を問題なく実施できるレベルの日本語力を有する留学生を受け入れることとするため、出願要件を定めるとともに、入試時の面接において、基本的な学習態度及び日本語能力の習得状況を見極めることとする。また、授業内では日常用語や一般的な用語だけではなく、専門用語を使用すること多いことから、正課外で日本語の補講やフォローアップを行うほか、学生の生活面、学習面、キャリア面にわたるサポートを行うこととする。

まず、日本語での教育を問題なく実施できるレベルの日本語力として、留学生を対象に、以下のいずれかを受験資格として定める。

(留学生一般入試)

- 1) 日本語能力試験(JLPT)の N2 以上に合格している。
- 2) 日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が 200 点以上習得している。

(留学生推薦入試)

- 1) 日本語能力試験(JLPT)の N1 に合格している。
- 2) 日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が 260 点以上習得している。

上記の日本語能力試験については多くの大学で採用されているおり、日本語での読む・聞く・書く・話すの能力を網羅的に評価できることと考える。また、いずれかを有することで、大学入学レベルに最低限の日本語能力を有すると判断できる。このことから、本学でも入学希望者の日本語能力を判定する指標の一つとして用いることとする。

実際の入学者選抜試験では、留学生以外と同様面接試験を実施する。面接試験においては、面接試験を通じ、本学で学ぶ上での学習意欲や将来の目標などを確認するとともに、質疑応答を通じ、学習態度だけでなく、本学での教育に対応できる日本語コミュニケーション力を有するかを確認、評価する。

これらを通じ、入学時点において、日本語での教育を問題なく実施できるか評価し、適切な日本語力を有する留学生の受け入れを行っていく。

また、入学後については、正課外での日本語のフォローアップと、生活面、学習面、キャリア面でのサポートを行う。

まず正課外での日本語のフォローアップについては、主に専門用語を中心とした日本語のフォローアップを正課外として実施する。本学の教育内容は、情報通信技術分野や経営学分野における基本的な内容から応用的な内容まで幅広く実施することを予定している。このため、入学前までに習得した一般的な日本語表現とは異なる専門用語やカタカナ表記、英語(原文)を用いて授業内容が展開されることが想定される。このことから、留学生を対象に、正課外で時間を設け、専門用語を中心とするフォローアップ(補講)を実施し、日々の授業に対応できるようなサポート体制をとる。

あわせて、留学生の生活面、学習面、キャリア面でのサポートを行う。現在、本学園が運営する日本電子専門学校では 27 개국、629 名(平成 30(2018)年 5 月 1 日現在)の受け入れを行っており、入学時から卒業まで留学生に対するフォローを充実させている。入学前から就職、卒業まで対応する留学生窓口があり、日本語のサポートや、英語や中国語、韓国語等の他言語での対応も行っている。これらの経験を踏まえ、本学にもグローバルセンターを設置し、日常生活や学習面、就職などのサポートを行っていく。

また、留学生の卒業後の進路については、母国への帰国・就職だけでなく、インターンシップ先も含めた日本国内の企業への就職、在学中に立案したプランに基づく起業なども想定される。また専門スキルを活かし、通常の就労ビザだけでなく、高度専門職ビザの取得も想定されることから、在学中から技術の取得、就職の支援を行っていく。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (26、45～46、60～61 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[26 ページ]</p> <p><u>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献購読やレポート作成に必要な基礎的な内容を身につけている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な内容を身につけている。</u></p> <p><u>②社会の様々な問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。</u></p> <p><u>③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。</u></p> <p><u>④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア</u></p> | <p>[23 ページ]</p> <p><u>本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」を併せ持ち、社会により良い変革をもたらしたい「志」のある人を受け入れる。</u></p> <p><u>以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> <p><u>①論理的思考力を持っている人</u></p> <p><u>②ICTを活用しグローバル社会をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人</u></p> <p><u>③変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人</u></p> <p><u>④人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人</u></p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。</u></p> <p>[45～46 ページ]</p> <p>⑤多様性のある教育環境と留学生支援<br/>(中略)</p> <p>(ウ) 留学生窓口での支援</p> <p>外国人留学生の日常生活サポート、入国管理局の取次申請関係サポート、学校生活サポートなどを行う。</p> <p><u>具体的には、主に専門用語を中心とした日本語のフォローアップを正課外として実施する。本学の教育内容は、情報通信技術分野や経営学分野における基本的な内容から応用的な内容まで幅広く実施することを予定している。このため、入学前までに習得した一般的な日本語表現とは異なる専門用語やカタカナ表記、英語（原文）を用いて授業内容が展開されることが想定される。このことから、留学生を対象に、正課外で時間を設け、専門用語を中心とするフォローアップ（補講）を実施し、日々の授業に対応できるようなサポート体制をとる。また、留学生の卒業後の進路については、母国への帰国・就職だけでなく、インターンシップ先も含めた日本国内の企業への就職、在学中に立案したプランに基づく起業なども想定される。また専門スキルを活かし、通常の就労ビザだけでなく、高度専門職ビザの取得も想定されることから、在学中から技術の取得、就職の支援を行っていく。</u></p> <p>[57 ページ]</p> <p>(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p><u>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</u></p> | <p>[42～43 ページ]</p> <p>⑤多様性のある教育環境と留学生支援<br/>(中略)</p> <p>(ウ)留学生窓口での支援</p> <p>外国人留学生の日常生活サポート、入国管理局の取次申請関係サポート、学校生活サポートなどを行う。</p> <p>[51 ページ]</p> <p>(1)入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)</p> <p><u>『本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」を併せ持ち社会により良い</u></p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

①高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献購読やレポート作成に必要な基礎的な内容を身につけている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な内容を身につけている。

②社会の様々な問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。

③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。

④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。

[60～61 ページ]

(2)選抜方法と募集人員

(中略)

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別  | 入試名称    | 選抜方法   | 出願資格                                                                |
|-------|---------|--------|---------------------------------------------------------------------|
| (中略)  |         |        |                                                                     |
| 留学生入試 | 留学生推薦入試 | ① 書類審査 | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国に |
|       |         | ② 面接試験 |                                                                     |

変革をもたらしたい「志」のある人』を基本方針として、具体的には、以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

①論理的思考力を持っている人

②ICTを活用しグローバル社会や産業界をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人

③変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人

④人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人

[51～54 ページ]

(2)選抜方法と募集人員

(中略)

表 4 ◆各選抜方法

| 入試種別  | 入試名称    | 選抜方法  | 出願資格                                                                |
|-------|---------|-------|---------------------------------------------------------------------|
| (中略)  |         |       |                                                                     |
| 留学生入試 | 留学生推薦入試 | ①書類選考 | 次の項のすべてに該当する者<br>1.外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国に |
|       |         | ②面接   |                                                                     |

|  |         |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |                                     |                                                                                                                                                                         |
|--|---------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |         |                                       | <p>において大学入学資格を有する者</p> <p>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者</p> <p>3. <u>日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。</u></p> <p><u>ア)日本語能力試験 (JLPT) の N1 に合格している。</u></p> <p><u>イ)日本留学試験 (EJU) の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が 260 点以上習得している。</u></p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者</p> |         |                                     | <p>において大学入学資格を有する者</p> <p>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者</p> <p>3.<u>原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者</u></p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者</p> |
|  | 留学生一般入試 | <p>①書類審査</p> <p>②面接試験</p> <p>③小論文</p> | <p>次の項のすべてに該当する者</p> <p>1. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者</p>                                                                                                                                                                                                                         | 留学生一般入試 | <p>①書類選考</p> <p>②面接</p> <p>③小論文</p> | <p>次の項のすべてに該当する者</p> <p>1. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者</p> <p>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に</p>                                          |

|  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |  |  |                                                                                                                          |
|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  | <p>程を修了した者および修了見込みの者、または、その国において大学入学資格を有する者</p> <p>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に 18 歳に達する者</p> <p>3. 原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者</p> <p><u>3. 日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。</u></p> <p><u>ア) 日本語能力試験 (JLPT) の N2 以上に合格している。</u></p> <p><u>イ) 日本留学試験 (EJU) の日本語科目で、読解、聴解・聴読解の合計が 200 点以上習得している。</u></p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定</p> |  |  |  | <p>達する者</p> <p><u>3. 原則、日本語の能力が入学後の学習に支障をきたさない程度に備わっている者</u></p> <p>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者</p> |
|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



|  |  |  |                                       |  |
|--|--|--|---------------------------------------|--|
|  |  |  | 法」による在留<br>資格「留学」を<br>取得または更新<br>できる者 |  |
|--|--|--|---------------------------------------|--|

(是正事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

19. 図書について、毎年 3,300 冊ずつ整備し、完成年度までに 10,000 冊を整備すると説明しているが、どのような種類の図書を整備するのか不明確であるため、各年次において、教育研究上必要な資料が整備されるのか判断できない。整備する図書の一覧を年度ごとに示し、教育研究上必要な資料が整備されるのか説明すること。また、必要に応じてなるべく早い時期に多くの図書を整備すること。

(対応)

図書について、どのような種類の図書を整備するのか不明確であるため、各年次において、教育研究上必要な資料が整備されるのか判断できない。整備する図書の一覧を年度ごとに示し、教育研究上必要な資料が整備されるのか説明すること。また、必要に応じてなるべく早い時期に多くの図書を整備することとご指摘を頂き、図書の整備計画リスト(別紙 7)を用意すると共に、3 年間で 10,000 冊を整備する計画であったが、2 年間(開学 1 年目中)で 10,177 冊を整備する計画とし、学生のために早い時期に多くの図書を整備する。具体的には、開学まで(2020 年 3 月末まで)に 6,896 冊を整備し、開学 1 年目中(2021 年 3 月末まで)に 3,281 冊を整備し、経営学、情報学、英語に関する図書で、合計 10,177 冊の整備計画とする。

なお、開学 2 年目以降については、年間 500 万円の図書費を用意し、継続的に図書を購入する。

(新旧対照表) 基本計画書 (2 ページ)

| 新               |               |                    |         | 旧               |         |               |                    |          |          |         |         |
|-----------------|---------------|--------------------|---------|-----------------|---------|---------------|--------------------|----------|----------|---------|---------|
| 図書・設備           | 新設学部等の名称      | 図書<br>〔うち外国書〕<br>冊 |         |                 | 図書・設備   | 新設学部等の名称      | 図書<br>〔うち外国書〕<br>冊 |          |          |         |         |
|                 | 情報経営イノベーション学部 | 10,177 [1,016]     |         |                 |         | ICT イノベーション学部 | 10,000 [1,000]     |          |          |         |         |
|                 | 情報経営イノベーション学科 | (6,896 [788])      |         |                 |         | ICT イノベーション学科 | (3,209 [262])      |          |          |         |         |
|                 |               | 10,177 [1,016]     |         |                 |         |               | 10,000 [1,000]     |          |          |         |         |
|                 |               | (6,896 [788])      |         |                 |         |               | (3,209 [262])      |          |          |         |         |
| (中略)            |               |                    |         | (中略)            |         |               |                    |          |          |         |         |
| 区分              | 開設前年度         | 第1年次               | 第2年次    | 第3年次            | 第4年次    | 区分            | 開設前年度              | 第1年次     | 第2年次     | 第3年次    | 第4年次    |
| 図書購入費           | 27,570千円      | 13,922千円           | 5,000千円 | 5,000千円         | 5,000千円 | 図書購入費         | 17,325千円           | 12,781千円 | 12,321千円 | 5,000千円 | 5,000千円 |
| 閲覧座席数 124 席     |               |                    |         | 閲覧座席数 92 席      |         |               |                    |          |          |         |         |
| 収納可能冊数 30,000 冊 |               |                    |         | 収納可能冊数 40,000 冊 |         |               |                    |          |          |         |         |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (56、57 ページ、資料 16)

| 新                                                                                                                                                                                                                | 旧                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[56、57 ページ]</p> <p>(4)図書館の資料及び図書室の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>図書館は、校舎の 2 階に位置し、面積は 304.61 m<sup>2</sup>であり、<u>閲覧座席(124 席)</u>を整備する。図書等の資料については、学生が講義のみならず、自ら積極的に学び、知識を習得するために、教育・研究に必要なとなる資料を整理する。図書館の収容可能冊数は</p> | <p>[50～51 ページ]</p> <p>(3)図書館の資料及び図書室の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>図書館は、校舎の 2 階に位置し、面積は 304.61 m<sup>2</sup>であり、<u>閲覧座席(92 席)</u>を整備する。図書等の資料については、学生が講義のみならず、自ら積極的に学び、知識を習得するために、教育・研究に必要なとなる資料を整理する。図書館の収容可能冊数は</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>30,000 冊</u>(すべて開架式)であり、教育課程に合わせ経営学、情報学、英語を複合的に学ぶための図書を中心に整備する。完成年度までに <u>10,177 冊</u>の図書(電子書籍は <u>2,003 冊</u>含む)、学術雑誌 38 誌、電子ジャーナルは 8 種、オンラインデータベース、DVD・ビデオを整備する(資料 16)。</p> <p><u>図書の段階的整備としては、開学前年度に 6,896 冊、開学 1 年目に 3,281 冊整備し、開学 2 年目には 10,177 冊となる計画である。</u></p> <p>(削除)</p> <p>また系統別(電子書籍含む)では、教養系約 800 冊、経営学系約 <u>3,200 冊</u>、情報学系約 <u>4,900 冊</u>、ビジネス英語系約 <u>1200 冊</u>を整備する。</p> <p>(中略)</p> <p>図書館の他、隣接する自習室でも閲覧可能とし、図書館には収容定員に対し約 <u>16%</u>に相当する閲覧座席を用意するほか、自習室でも閲覧できる環境を整備する。</p> | <p><u>40,000 冊</u>(すべて開架式)であり、教育課程に合わせ経営学、情報学、英語を複合的に学ぶための図書を中心に整備する。完成年度までに約 <u>10,000 冊</u>の図書(電子書籍は <u>2,000 冊</u>含む)、学術雑誌 38 誌、電子ジャーナルは 8 種、オンラインデータベース、DVD・ビデオを整備する(資料 16)。</p> <p><u>図書の段階的整備としては、開学前年度に約 3,300 冊、その後年度ごとに約 3,300 冊ずつ整備し開学 4 年目には 10,000 冊以上となる計画である。約 90%は専門教育の図書とし本学の学びに則した整備を行う。</u></p> <p>また系統別(電子書籍含む)では、教養系約 800 冊、経営学系約 3,000 冊、情報学系約 4,800 冊、ビジネス英語系 1000 冊を整備する。</p> <p>(中略)</p> <p>図書館の他、隣接する自習室でも閲覧可能とし、図書館には収容定員に対し約 <u>12%</u>に相当する閲覧座席を用意するほか、自習室でも閲覧できる環境を整備する。</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

20. 全学生がノートPCを購入すると説明しているが、ネットワークの整備、サポート体制、ソフトウェアの導入サポート等が整備されているか不明確であるため、改めて説明すること。

(対応)

本学では、全学生がノートPCを購入することを掲げているが、ネットワークの整備、サポート体制、ソフトウェアの導入サポート等が整備されているか不明確であることご指摘を頂いたため、改めてその活用やサポート体制について適切に改め以下のように説明を追記する。

まず、全学生が使用するノートPCについては、プログラミング等の基礎的なスキルだけではなく、先端的な情報通信技術を活用したサービスの開発、運用も想定されることから、以下のスペック以上のPCが必要であると考えている。

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| OS    | Windows10、64bit、Professional 版 |
| CPU   | Core i5                        |
| メモリ   | 8GB                            |
| ストレージ | SSD250GB                       |
| 機能    | MicrosoftOffice、ウィルスソフトつき      |

上記スペックのPCを入学生が各自で購入・調達することは難しい可能性が高いことから、あらかじめ上記要件を満たすPCを大学として手配し、入学生全員が同じPC環境で授業を受けられるよう準備する。なおPC購入に当たってはマルチドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PCは4年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。

サポート体制については、学内においては、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとして支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるよう体制を整える。導入時にはオリエンテーションの一環として全学生一律にPC操作や導入サポートを行う機会を設け、授業開始に支障がないようにする。また、在学中にPCの故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能である。

次にネットワーク整備については、すべての授業においてPCを含めた情報端末を複数使用することが想定されることから、開学時よりネットワーク環境の強化を行う。具体的には、すでにどの大学でも実施が一般的な内容ではあるが、キャンパス内にWi-Fi環境を整備し、すべての学生・教員が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、学生・教員とも複数の機器を活用しシス

テムやサービスの開発を行うことや、大容量のデータ通信が想定されるため、通常の大学より強固なものを設置する。また、ほぼすべての授業において PC を使用すること、クラウド環境を整備しこれを活用した授業進行を想定していること、学生・教員とも 1 人 1 台ノート PC を持参して授業や課外活動等を展開することから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等の環境を準備する。上記の環境を整備し、全教職員、学生が一斉に使用する場合であっても支障がないよう、電源の数、ネットワーク回線等に十分に配慮するとともに、高度で大容量の作業でもストレス無く実装できるよう環境を整える。

以上により、ネットワーク環境、操作支援等において十分なサポートを行うことで教育の充実を図っていく。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (55～56 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 旧                                     |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------|----------------|------------|------------|--------------|-----------------|-----------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[55～56 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>その他、ゼミや教員の研究活動発表には、校舎 3 階のプレゼンテーションに適した演習室を活用し、研究活動をアウトプットする事も重視する。</p> <p><u>※研究室のレイアウト図は資料 20 参照(研究室フロア図、各研究室の拡大図等)</u></p> <p><u>(3)情報通信技術環境について</u></p> <p><u>全学生が使用するノート PC については、プログラミング等の基礎的なスキルだけではなく、先端的な情報通信技術を活用したサービスの開発、運用も想定されることから、以下のスペック以上の PC が必要であると考えている。</u></p> <table border="1"> <tr> <td><u>OS</u></td><td><u>Windows10、64bit、Professional 版</u></td></tr> <tr> <td><u>CPU</u></td><td><u>Core i5</u></td></tr> <tr> <td><u>メモリ</u></td><td><u>8GB</u></td></tr> <tr> <td><u>ストレージ</u></td><td><u>SSD250GB</u></td></tr> <tr> <td><u>機能</u></td><td><u>MicrosoftOffice、ウィルスソフ</u></td></tr> </table> | <u>OS</u>                             | <u>Windows10、64bit、Professional 版</u> | <u>CPU</u> | <u>Core i5</u> | <u>メモリ</u> | <u>8GB</u> | <u>ストレージ</u> | <u>SSD250GB</u> | <u>機能</u> | <u>MicrosoftOffice、ウィルスソフ</u> | <p>[50 ページ]</p> <p>(2)校舎等施設の整備計画</p> <p>(中略)</p> <p>その他、ゼミや教員の研究活動発表には、校舎 3 階のプレゼンテーションに適した演習室を活用し、研究活動をアウトプットする事も重視する。</p> <p><u>(追加)</u></p> |
| <u>OS</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>Windows10、64bit、Professional 版</u> |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |
| <u>CPU</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <u>Core i5</u>                        |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |
| <u>メモリ</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <u>8GB</u>                            |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |
| <u>ストレージ</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>SSD250GB</u>                       |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |
| <u>機能</u>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>MicrosoftOffice、ウィルスソフ</u>         |                                       |            |                |            |            |              |                 |           |                               |                                                                                                                                                |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  | トつき                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
|  | <p>上記スペックの PC を入学生が各自で購入・調達することは難しい可能性が高いことから、あらかじめ上記要件を満たす PC を大学として手配し、入学生全員が同じ PC 環境で授業を受けられるよう準備することとした。なお PC 購入に当たってはマルチドライブなどの周辺機器を合わせて準備する。また、セキュリティ面での安全を確保するため、大学でウィルスソフトを指定するとともに、その他必要なソフトウェアのインストールとあわせて、大学入学時のガイダンス等にて支援を行う。PC は 4 年にわたる大学生活全般において使用することが必須となることから、4 年間のサポート契約および動産保険等を付加することを必須とする。</p> <p>サポート体制については、イノベーションマネジメント局内に担当者を置き、一次的なサポートを行う。故障やメンテナンス等が発生した際には、サポート契約を結ぶ取引先業者にもヘルプデスクとして支援してもらい、問題発生後にすぐ対応できるような体制を整える。導入時にはオリエンテーションの一環として全学生一律に PC 操作や導入サポートを行う機会を設け、授業開始に支障がないようにする。また、在学中に PC の故障や破損が発生した場合は、購入時に加入した動産保険をもとに、原則無償で修理・交換が可能である。</p> <p>次にネットワーク整備については、すべての授業において PC を含めた情報端末を複数使用することが想定されることから、開学時よりネットワーク環境の強化を行う。具体的には、すでにどの大学でも実施が一般的な内容ではあるが、キャンパス内に Wi-Fi 環境を整備し、すべての学生・教員が授業内外で活動するに十分なインターネット接続を確保する。その際、学生・教員とも複数の機器を活用しシステムやサービスの開発を行うことや、大容量のデータ通信が想定されるため、通常の大学より強固なものを設置する予定である。また、ほぼすべての</p> |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                       |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>授業においてPCを使用すること、クラウド環境を整備しこれを活用した授業進行を想定していること、学生・教員とも1人1台ノートPCを持参して授業や課外活動等を展開することから、一度にアクセスが集中しても耐えられるサーバー等の環境を準備する。上記の環境を整備し、全教職員、学生が一斉に使用する場合であっても支障がないよう、電源の数、ネットワーク回線等に十分に配慮するとともに、高度で大容量の作業でもストレス無く実装できるよう環境を整える。</p> <p>以上、ネットワーク環境、操作支援等において十分なサポートを行うことで教育の充実を図っていく。</p> |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|



(改善事項) ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

21. 学則で定められている教授会の構成員について、学部長が正規の構成員として位置付けられていないため、教授会の運営を教育研究に支障なく行うことができるように、学則を改めること。

(対応)

学部長は学部に関する校務をつかさどる役割であり、学部運営の責任者として専任教員のマネジメントを中心に、リーダーシップを発揮し教学面をリードして欲しいと考えている。この度、教授会において、学部長が正規の構成員として位置付けられていないため、教授会の運営を教育研究に支障なく行うことができるように、学則を改めることとご指摘を頂き、本学における学部長の役割を再度検討し、学則を変更し教授会の構成員として明記することとする。

(新旧対照表) 学則 (第 19 条 2 項)

| 新                                                                                          | 旧                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 第 19 条 本学に教授会を置く。<br>2 教授会は、学長、副学長、 <u>学部長</u> 、本学の専任教授及び <u>イノベーション</u> マネジメント局長をもって組織する。 | 第 19 条 本学に教授会を置く。<br>2 教授会は、学長、副学長、本学の専任教授及び <u>i</u> マネジメント局長をもって組織する。 |

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (73 ページ)

| 新                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 旧                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[73 ページ]</p> <p>(2)教学面における管理運営体制「教授会」</p> <p>教授会は、学部における教育研究の円滑な運営を図るため、次に掲げる教育研究に関する重要な事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。毎月 1 回定例で開催するほか、必要に応じて臨時に開催する。なお、教授会は、下記に規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、学長に意見を述べるができる。</p> <p>教授会は、学長、副学長、<u>学部長</u>、本学の専任教授及び<u>イノベーション</u>マネジメント局長を持って組織し、規定する者のほか、本学の専任の准教授、講師、助教その他必要な職員を加えることができる。</p> | <p>[64、65 ページ]</p> <p>(2)教学面における管理運営体制「教授会」</p> <p>教授会は、学部における教育研究の円滑な運営を図るため、次に掲げる教育研究に関する重要な事項を審議し、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。毎月 1 回定例で開催するほか、必要に応じて臨時に開催する。なお、教授会は、下記に規定するもののほか、教育研究に関する事項について審議し、学長に意見を述べることができる。</p> <p>教授会は、学長、副学長、<u>(追加)</u>、本学の専任教授及び <u>i</u> マネジメント局長を持って組織し、規定する者のほか、本学の専任の准教授、講師、助教その他必要な職員を加えることができる。</p> |

【審査意見対応以外の修正事項】

法人分科会より、学生確保の見通しのアンケート調査において高校生に示している類似の大学・学部と、申請書類において説明している学びの内容が類似している近隣大学・学部が合致していないことについて理由を説明するようご指摘を頂いたため、設置認可申請書の「学生の確保の見通し等を記載した書類」における該当箇所を示すとともに追記・修正を行う。

(対応)

法人分科会より、学生確保の見通しのアンケート調査において高校生に示している類似の大学・学部と、申請書類において説明している学びの内容が類似している近隣大学・学部が合致していないことについて理由を説明するようご指摘を頂いた。したがって、設置認可申請書の「学生の確保の見通し等を記載した書類」においても、該当箇所を示すとともに追記を行う。

(詳細説明)

本学の構想段階では、情報学・工学・経済学・経営学系の大学を競合校として挙げていた。しかしアンケート調査においては、情報通信技術を活用して新たなサービス・ビジネスを生み出すことに着目する人は、情報・工学系に興味を持つ学生に多いと考えたことから、情報・工学系の大学をリーフレットに掲載した。そのため、「申請書類」に参考資料として添付した資料 8(6 ページ)では、興味のある学問系統別受験・入学意向者にて、工学・情報学に焦点を当てているが、全分野別の受験・入学意向者の結果は別紙 8 のとおりとなっている。興味のある学問は複数選択式となっているが、「入学したい」と回答した高校生のうち、情報学、工学、経済・経営・商学の 3 つを比較すると、情報学を選択した入学意向者は、全体の入学意向者 1320 人のうち、23.6%にあたる 311 人であり、次いで経済・経営・商学を選択した入学意向者が 21.7%にあたる 287 人である。工学を選択した入学意向者は、17.3%にあたる 229 人と、情報、経済・経営・商学より少ない数であった。この結果とあわせて、本学が輩出する人材は、企業内での企画職や起業家であり、情報・経済・経営学系の科目をより充実させていることから、情報通信技術を扱う大学の中でも、工学に近い大学よりも情報・経済・経営学系に近い大学を競合校として打ち出していくこととなった。

これらの経緯から、申請時には競合校リストの中から、本学に近い 23 区内にあり、情報・経済・経営学系に類似する大学・学部を挙げている。

また、当該説明を設置認可申請書の「学生の確保の見通し等を記載した書類」に追記するとともに、別紙 8 を資料 8 に加える。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (18 ページ)

| 新                                                             | 旧                                                             |
|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| [18 ページ]<br>次に、興味のある学問系統別でみた結果について<br>である。本学は「変化し続ける時代の中で、経営と | [18 ページ]<br>興味のある学問系統別でみると、本学の学びで欠<br>かせない経済・経営・商学を選択した人の中での入 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材」を育成するために、経営と情報通信技術に関する知識・スキルを身に付けさせることに重点を置いている。よって、本学の構想段階より、情報学・工学・経済学・経営学系の大学を競合校として挙げていた。しかし、本調査においては、情報通信技術を活用して新たなサービス・ビジネスを生み出すことに着目する人は、情報・工学系に興味を持つ学生に多いと考えたことから、情報・工学系の大学をリーフレットに掲載した。しかし調査の結果、資料 8 のとおり、本学の学びで欠かせない経済・経営・商学を選択した入学意向者は、323 人中 88.9%にあたる 287 人であった。また、同じく本学の学びで欠かせない情報学を選択した入学意向者は、342 人中 90.9%にあたる 311 人であり、さらに工学(情報学を除く)を選択した入学意向者は、251 人中 91.2%にあたる 229 人と、情報・経済・経営・商学より少ない数であった。経済・経営・商学や情報学、工学に興味を持つ人からの入学意向が高いという今回のアンケートの結果より、本学への受験・入学者が一定程度見込まれると推測される。</p> <p>[資料 8]</p> <p>「電子学園『i 専門職大学』(仮称) 設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】報告書」及び「興味のある学問分野別受験・入学意向者集計結果」平成 30(2018)年 3 月</p> | <p>学意向者は、323 人中 88.9%にあたる 287 人であった。また、情報学を選択した人の中での入学意向者は、342 人中 90.9%にあたる 311 人であり、さらに工学(情報学を除く)を選択した人の中での入学意向者は、251 人中 91.2%にあたる 229 人であった。本学は ICT を「手段」としてグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成するために、まずは ICT の知識・スキルを身に付けさせることに重点を置いている。そのため、受験・入学時にはまず ICT に関連する学問に興味を持つ人が多いと推測していたことから、情報学や工学に興味を持つ人からの入学意向が高いという今回のアンケートの結果より、本学への受験・入学者が一定程度見込まれると推測される。</p> <p>[資料 8]</p> <p>「電子学園『i 専門職大学』(仮称) 設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】報告書」(追加) 平成 30(2018)年 3 月</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 別紙目次

別紙 1： 養成する人材像と 3 つのポリシーについて

別紙 2： カリキュラムマップ

別紙 3： 入学者選抜方法とアドミッション・ポリシーとの対応表

別紙 4： 授業科目の概要

別紙 5： シラバス

別紙 6： 研究室のレイアウト図(研究室フロア図、各研究室の拡大図等)

別紙 7： 図書リスト

別紙 8： 興味のある学問分野別受験・入学意向者集計結果

## <情報経営イノベーション専門職大学 養成する人材像と3つのポリシー>

### ■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

### ■ディプロマ・ポリシー

養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで128単位を修得した者に学位を授与する。

具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。

#### ① 職業的自立を図る能力

- ・ 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- ・ グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
- ・ 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

#### ② 経営に関する知識・スキル

- ・ 企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- ・ 市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- ・ 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- ・ 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

#### ③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- ・ システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- ・ コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- ・ 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・ データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・ 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

#### ④ 国際的コミュニケーション能力

- ・ 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・ 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

#### ⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

### ■カリキュラム・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。

#### 1. 教育内容

- ① 基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。
  - ・ 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
  - ・ グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
  - ・ 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。
- ② 職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。
  - ・ 企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
  - ・ 市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
  - ・ 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
  - ・ 目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約 640 時間設定する。
  - ・ 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう 4 年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

- ③ 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。
- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
  - ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
  - ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
  - ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
  - ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。
- ④ 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。
- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
  - ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。
- ⑤ 総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

## 2. 教育方法

- ・目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを4年間かけて作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、担任や学生支援専属の職員(イノベーションマネジャー)と共に「ふりかえり」を行う。
- ・主体的な学びの力を高めるために、グループによる少人数の演習科目やプロジェクト学習を取り入れる。
- ・教育課程の体系を理解したうえで履修し学ぶことができるよう、カリキュラムマップを活用した履修指導を行う。
- ・LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

## 3. 教育評価

- ・試験評価等をシラバスによってあらかじめ明示し基準に従って適切に行う。また主に試験及びレポートを中心に評価を行う。

- ・各成績評価をもとに単位あたりの成績評価の平均値を示す総合成績評価 GPA(Grade Point Average)を算出して履修指導等に活用する。
- ・インターンシップの履修条件として2年次終了時までに必要な科目の単位を修得していること。
- ・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。

#### ■アドミッション・ポリシー

本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

- ① 高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要な基礎的な能力を身に付けている。
- ② 社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。
- ③ 情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。
- ④ 学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。



・養成する人材像、3つのポリシー新旧対照表

| (新)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | (旧)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>養成する人材像</p> <p><u>変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>養成する人材像</p> <p><u>「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて、実際に商品やサービスをイノベーションする実践力を高める教育課程を編成し、ICTを「手段」としてグローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>ディプロマ・ポリシー</p> <p><u>養成する人材像を踏まえ、本学の定める履修要件を満たしたうえで 128 単位を修得した者に学位を授与する。</u></p> <p><u>具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する。</u></p> <p>① <u>職業的自立を図る能力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。</u></li> <li>・ <u>グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。</u></li> <li>・ <u>変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。</u></li> </ul> <p>② <u>経営に関する知識・スキル</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。</u></li> <li>・ <u>市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。</u></li> <li>・ <u>企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。</u></li> <li>・ <u>新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを</u></li> </ul> | <p>ディプロマ・ポリシー</p> <p><u>先が読めないスピードで変化を遂げる時代の中でしなやかに生き抜くために、自ら学び成長させ、ICT を活用し新たな価値をグローバル社会で生み出し続ける人材に学位を授与する。</u></p> <p>具体的には、以下の能力を身に付けた学生に学位を授与する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>社会の変化を先取りし、受容し、変化に対応するため自ら学び続けることができる</u></li> <li>② <u>課題を発見し、ビジネスに関する知識と ICT を活用し解決する力がある</u></li> <li>③ <u>ICT を活用しビジネスを創造する力がある</u></li> <li>④ <u>産業界における長期のインターンシップで身に付けた実践力がある</u></li> <li>⑤ <u>世界の人と協働し、グローバル社会で活躍できる力がある</u></li> </ul> |

提案することができる。

③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- ・ システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- ・ コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- ・ 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・ データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・ 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

④ 国際的コミュニケーション能力

- ・ 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・ 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・ 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>カリキュラム・ポリシー</p> <p><u>卒業認定・学位授与の方針に掲げる知識・スキルなどを修得させるために、基礎科目、職業専門教育科目、展開科目、総合科目を体系的な教育課程として編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業方法により展開する。教育内容、教育方法、教育評価については以下のように方針を定める。</u></p> <p>1. 教育内容</p> <p>① <u>基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。</u></li> <li>・<u>グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。</u></li> <li>・<u>変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。</u></li> </ul> <p>② <u>職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。</u></li> <li>・<u>市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。</u></li> <li>・<u>企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。</u></li> </ul> | <p>カリキュラム・ポリシー</p> <p><u>「ICT」と「ビジネス」の能力を融合するとともに、グローバル社会で活躍できる「ビジネス英語」を修得し、インターンシップ及びイノベーションプロジェクトを通じて実践力を身に付け、革新を創造する人材を育成する教育課程を編成する。</u></p> <p><u>具体的には、以下の教育課程を編成する。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① <u>時代の変化に対応できる基礎的な知識と情報科学の基礎を身に付ける</u></li> <li>② <u>ビジネスの基礎知識・スキルの修得と応用実践を通じてビジネス能力を高める</u></li> <li>③ <u>新たな商品・サービスを開発できる ICT の基礎知識・スキルを身に付ける</u></li> <li>④ <u>グローバルで活躍し、海外の人と協働できる英語力と協働力を身に付ける</u></li> <li>⑤ <u>インターンシップを通じてビジネスの実践力を高める</u></li> <li>⑥ <u>イノベーションプロジェクトを通じて主体性・創造力を身に付ける</u></li> </ol> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

③ 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

④ 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成す

る。

・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

- ⑤ 総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

## 2. 教育方法

・目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを4年間かけて作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理し、担任や学生支援専属の職員(イノベーションマネジャー)と共に「ふりかえり」を行う。

・主体的な学びの力を高めるために、グループによる少人数の演習科目やプロジェクト学習を取り入れる。

・教育課程の体系を理解したうえで履修し学ぶことができるよう、カリキュラムマップを活用した履修指導を行う。

・LMS (Learning Management System) による授業の事前事後学習の推進や結果のモニタリングを行う。

## 3. 教育評価

・試験評価等をシラバスによってあらかじめ明示し基準に従って適切に行う。また主に試験及びレポートを中心に評価を行う。

・各成績評価をもとに単位あたりの成績評価の平均値を示す総合成績評価 GPA(Grade Point Average)を算出して履修指導等に活用する。

・インターンシップの履修条件として2年次終了時までに必要な科目の単位を修得していること。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・4年間の学修成果は「総合理論演習」「総合実践演習」によって行い、複数教員による評価を活用する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>アドミッション・ポリシー</p> <p>本学の教育理念・目的に共感し、以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</p> <p>① 高等学校等までの履修内容の、「国語」あるいは「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献読解やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要となる基礎的な能力を身に付けている。</p> <p>② 社会のさまざまな問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。</p> <p>③ 情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルをもとに社会のさまざまな課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。</p> <p>④ 学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。</p> | <p>アドミッション・ポリシー</p> <p>本学の教育理念・目的に共感し、本学の専門教育に対応できる「知識・スキル」のみならず新たな価値を生み出す「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」を併せ持ち、社会により良い変革をもたらしたい「志」のある人を受け入れる。</p> <p>以下のいずれか、または複数の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。</p> <p>① 論理的思考力を持っている人</p> <p>② ICTを活用しグローバル社会をより良くするためにイノベーションを実現したいと思う人</p> <p>③ 変化をポジティブに捉え、社会への貢献に主体的に行動できる人</p> <p>④ 人に興味関心を持ち、コミュニケーション能力に優れ、人と協働することで課題を解決できる人</p> |

情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラムマップ

必修科目は下線

1年次

2年次

3年次

4年次

|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
|-----------------------------------|-------------------|----------------|--------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------|
| 現代社会基礎科目群<br>基礎科目                 | イノベーションの志         |                | キャリアデザインⅠ          |                 |                  | キャリアデザインⅡ        |             |
|                                   | スタディスキル           | リサーチ入門         |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   | 英語コア・スキルⅠ         | 英語コア・スキルⅡ      |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   | 数学基礎A             | 数学基礎B          | 職業倫理               | 科学史             |                  |                  |             |
|                                   |                   | 数学基礎C          | 先端グローバル社会          | ICTと人間          |                  |                  |             |
| ビジネス基礎科目群<br>職業専門科目               | マネジメント<br>(経営学基礎) |                | オペレーションズ<br>マネジメント |                 |                  |                  |             |
|                                   | マーケティング<br>基礎     | 法務リテラシーⅠ       |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   |                   | アカウンティング<br>入門 |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
| ビジネス応用科目群<br>職業専門科目               |                   |                | マーケティング応用          |                 | 地域創生とイノベーション     | 新興市場における事業開発     |             |
|                                   |                   |                | アカウンティング応用         | ファイナンス入門        | コーポレートファイナンス     |                  | 税務会計・会計処理   |
|                                   |                   |                | 法務リテラシーⅡ           |                 | イノベーション特論        | クロステックビジネスデザイン   |             |
|                                   |                   |                |                    | 問題形成と問題解決       | ビジネスゲームによる経営意思決定 | デザインと経営          |             |
| ビジネス実践科目群<br>職業専門科目               | イノベーションプロジェクトⅠ    | イノベーションプロジェクトⅡ | イノベーションプロジェクトⅢ     | イノベーションプロジェクトⅣ  | イノベーションプロジェクトⅤ   | イノベーションプロジェクトⅥ   |             |
|                                   |                   | スタートアップ基礎(起業論) | ビジネスフィールドリサーチⅠ     | ビジネスフィールドリサーチⅡ  | インターンシップⅠ        | インターンシップⅡ        |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
| システムデザイン基礎<br>情報通信技術<br>職業専門科目    | プログラミングⅠ          | プログラミングⅡ       | ソフトウェア設計・構築        | 情報技術演習Ⅰ         |                  |                  |             |
|                                   | データ構造と処理法         | ネットワーク技術       | データベース             | システム設計演習        |                  |                  |             |
|                                   | コンピュータとソフトウェア基礎   |                | 情報系数学応用A           | 情報系数学応用B        | 情報系数学応用C         |                  |             |
|                                   | オペレーティングシステム      | コンピュータアーキテクチャ  | モバイルサービス概論         | データサイエンス        |                  |                  |             |
| システムデザイン応用科目群<br>情報通信技術<br>職業専門科目 |                   |                | Webシステム演習          | 情報技術演習Ⅱ         |                  |                  |             |
|                                   |                   |                | インタラクティブ・システムデザイン  | ソフトウェアプロセスと品質   | システムインテグレーション    |                  |             |
|                                   |                   |                |                    | 情報システムのプロジェクト管理 | モデル化と要求開発        | クラウド             | スーパーコンピュータ  |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  | ビッグデータ           | AI          |
| ネットワーク<br>情報通信技術<br>職業専門科目        |                   |                | ネットワーク構築Ⅰ          | ネットワーク構築Ⅱ       | ネットワーク構築Ⅲ        |                  |             |
|                                   |                   |                |                    | 情報セキュリティ演習Ⅰ     | 情報セキュリティ演習Ⅱ      |                  |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |
| グローバル<br>コミュニケーション<br>展開科目群       | ビジネス英語実習Ⅰ         | ビジネス英語実習Ⅱ      | ビジネス英語実習Ⅲ          | ビジネス英語実習Ⅳ       |                  |                  |             |
|                                   |                   |                | 英語アカデミック・リテラシー     | 英語ビジネスマネジメント    | 英語通訳論            | 英語ディスカッション・ディベート | 英語プレゼンテーション |
|                                   |                   |                |                    | 実践英語：多文化理解      | 実践英語：日本文化        |                  | 実践英語：フィナンス  |
|                                   |                   |                |                    | 英米文学演習          |                  | 実践英語：製造業         | 実践英語：IoT    |
| 科目 総合                             |                   |                |                    |                 | 総合理論演習           | 総合実践演習           |             |
|                                   |                   |                |                    |                 |                  |                  |             |

【卒業要件】 必修科目94単位、選択科目34単位以上、計128単位を習得すること。

基礎科目 20単位以上

選択科目から8単位を履修する。うち、数学基礎A～Cから4単位以上を履修する。

職業専門科目 82単位以上 選択科目から14単位を履修する。

展開科目 20単位以上 選択科目から12単位を履修する。

総合科目 6単位

履修科目の登録の上限：1年次46単位（年間）、2-4年次42単位（年間）

DP① 職業的自立を図る能力

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP② 経営に関する知識・スキル

- ・企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
- ・市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
- ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③ 情報通信技術に関する知識・スキル

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④ 国際的コミュニケーション能力

- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
- ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力

- ・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

■想定される進路・就職先

一般企業  
情報通信技術の開発企業  
起業

CP① 基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

- ・自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
- ・グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
- ・変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、職業倫理や数学などの内容を学ぶ。

CP② 職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

- ・企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
- ・市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
- ・企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
- ・目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
- ・新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③ 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

- ・システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
- ・コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
- ・基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
- ・データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
- ・情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④ 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

- ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
- ・文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤ 総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。



■ 入学者選抜方法とアドミッション・ポリシーとの対応表

| 入試種別  | 入試名称     | 選抜方法                                                                                      | アドミッション・ポリシー対応表                                                                                 |                          |                          |                          | 出願資格                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 出願書類                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |          |                                                                                           | AP①                                                                                             | AP②                      | AP③                      | AP④                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| ＡＯ入試  | 面接型入試    | ①書類審査<br>②面接試験                                                                            | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者および2020年3月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達する者（「平成32年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」出願資格参照）                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④調査書                                                                                                                                                                                                                                                  |
|       | ワーク型入試   | ①書類審査<br>②グループワーク                                                                         | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | グループワークへの取り組み姿勢、発言内容にて評価 | グループワークへの取り組み姿勢、発言内容にて評価 | グループワークへの取り組み姿勢、発言内容にて評価 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|       | 小論文型入試   | ①書類審査<br>②小論文                                                                             | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | 小論文の内容にて評価               | 小論文の内容にて評価               | 調査書内の高等学校時活動内容にて評価       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 推薦入試  | 公募制推薦入試  | ①書類審査（志願書類、調査書、志望理由書、推薦書等）<br>②面接試験                                                       | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 公募制度・指定校制度については以下の1、2の要件を満たす者<br>1. (1)～(2)の項のいずれかに該当する者<br>(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を2019年3月までに卒業見込みの者<br>(2) 通常の課程による12年の学校教育を2020年3月までに修了見込みの者<br>2. (1)～(2)の項のすべてに該当する者<br>(1) 情報経営イノベーション専門職大学情報経営イノベーション学部を専願する者<br>(2) 人格・識見に優れ、高等学校長または中等教育学校長に推薦された者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④調査書<br>⑤推薦書                                                                                                                                                                                                                                          |
|       | 自己推薦入試   | ①書類審査（志願書類、調査書、志望理由書、活動記録報告書等）<br>②面接試験                                                   | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|       | 指定校制推薦入試 | ①書類審査（志願書類、調査書、志望理由書、推薦書等）<br>②面接試験                                                       | 国語・英語・数学科目の成績（評定）を評価                                                                            | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 | 面接内容にて評価                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 一般入試  | 3教科型入試   | 国語・英語・数学 3教科受験<br>英語（出題範囲はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ）<br>数学（出題範囲は数学Ⅰ、数学Ⅱ）<br>国語総合(古文、漢文を除く) | 国語・英語・数学筆記試験の成績を評価                                                                              | 国語筆記試験にて成績を評価            | 調査書内の高等学校時活動内容にて評価       | 調査書内の高等学校時活動内容にて評価       | 次の項のいずれかに該当する者<br>1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）または中等教育学校を卒業した者および2020年3月までに卒業見込みの者<br>2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2020年3月までに修了見込みの者<br>3. 学校教育法の規定または本学の審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達する者（「平成32年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」出願資格参照）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ①志願票<br>②検定料振込証明書<br>③調査書                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 社会人入試 | 社会人入試    | ①書類審査<br>②面接試験<br>③小論文                                                                    | ・最終学歴の学校等における成績（評定）を評価<br>・国語や日本語コミュニケーションについては小論文にて評価<br>・英語は、TOEICなどの英語の外部試験結果を提出させ、結果を評価     | 面接内容にて評価                 | 志望理由書内容にて評価              | 志望理由書内容にて評価              | 以下の1、2の要件を満たす者<br>1. (1)～(3)の項のいずれかに該当する者<br>(1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者<br>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者<br>(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（「平成32年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」出願資格参照）<br><br>2. 通算して2年以上の職務経験（家事専従を含む）を有する者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④調査書・成績証明書(出身高校や大学など)                                                                                                                                                                                                                                 |
| 留学生入試 | 留学生推薦入試  | ①書類審査<br>②面接試験                                                                            | ・母国での最終学歴の学校等における成績（評定）を評価<br>・日本語コミュニケーションについては面接にて評価<br>・英語は、TOEICなどの英語の外部試験結果を提出させ、結果を評価     | 面接内容にて評価                 | 志望理由書・推薦書内容にて評価          | 志望理由書・推薦書内容にて評価          | 次の項のすべてに該当する者<br>1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した（見込みの）もの、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に18歳に達する者<br>3. 日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。<br>ア)日本語能力試験（JLPT）のN1に合格している。<br>イ)日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解・聴解・聴読解の合計が260点以上習得している。<br>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④最終出身校の卒業証明書又は卒業見込み証明書及び学業証明書<br>⑤最終学校長又は指導教授の推薦書<br>⑥日本語能力証明書<br>⑦日本入国後の身元保証人の氏名、年齢、職業、住所等を記載した書類<br>⑧授業料等の支弁能力証明書<br>⑨健康診断書<br>⑩旅券の写し<br>⑪日本での最終校の出席状況証明書<br>※日本国内で学校（日本語学校、専門学校等）に在籍した、又は在籍している者のみ<br>⑫住民票の写し<br>⑬在留カードのコピー<br>⑭その他必要に応じて本学が指定する書類 |
|       | 留学生一般入試  | ①書類選考<br>②面接試験<br>③小論文                                                                    | ・母国での最終学歴の学校等における成績（評定）を評価<br>・日本語コミュニケーションについては面接・小論文にて評価<br>・英語は、TOEICなどの英語の外部試験結果を提出させ、結果を評価 | 面接内容にて評価                 | 志望理由書・推薦書内容にて評価          | 志望理由書・推薦書内容にて評価          | 次の項のすべてに該当する者<br>1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した（見込みの）もの、または、その国において大学入学資格を有する者<br>2. 日本国以外の国籍を有し、入学時に18歳に達する者<br>3. 日本語能力の基準について、以下のいずれかを受験資格として定める。<br>ア)日本語能力試験（JLPT）のN2以上に合格している。<br>イ)日本留学試験(EJU)の日本語科目で、読解・聴解・聴読解の合計が200点以上習得している。<br>4. 本学の学生として「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」を取得または更新できる者                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④最終出身校の卒業証明書又は卒業見込み証明書及び学業証明書<br>⑤最終学校長又は指導教授の推薦書<br>⑥日本語能力証明書<br>⑦日本入国後の身元保証人の氏名、年齢、職業、住所等を記載した書類<br>⑧授業料等の支弁能力証明書<br>⑨健康診断書<br>⑩旅券の写し<br>⑪日本での最終校の出席状況証明書<br>※日本国内で学校（日本語学校、専門学校等）に在籍した、又は在籍している者のみ<br>⑫住民票の写し<br>⑬在留カードのコピー<br>⑭その他必要に応じて本学が指定する書類 |
| 帰国生入試 | 帰国生入試    | ①書類審査<br>②面接試験<br>③小論文                                                                    | ・最終学歴の学校等における成績（評定）を評価<br>・国語や日本語コミュニケーションについては小論文にて評価<br>・英語は、TOEICなどの英語の外部試験結果を提出させ、結果を評価     | 面接内容にて評価                 | 志望理由書内容にて評価              | 志望理由書内容にて評価              | わが国の高等学校に相当する正規的教育機関の教育課程を修了した者のうち、日本国籍を有し、かつ国の内外を通じて12年の学校教育を修了または修了見込の2020年3月31日までに18歳に達するの者で、大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する、次の項のいずれかに該当する者<br>【以下の1、2の要件を満たす者】<br>1. (1)～(5)の項のすべてに該当する者<br>(1) わが国の高等学校に相当する正規的教育機関の教育課程を修了した者<br>(2) 日本国籍を有する者<br>(3) 国の内外を通じて12年の学校教育を修了または修了見込の者<br>(4) 2020年3月31日までに18歳に達する者<br>(5) 大学教育を受けるのに十分な日本語の能力を有する者<br><br>2. (1)～(3)の項のいずれかに該当する者<br>(1) 外国の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含め2年以上継続して在学し、2020年3月までに卒業（修了）見込みの者、または卒業（修了）して2年以内の者<br>(2) 外国における高等学校に2年以上在籍し、帰国後日本の高等学校または中等教育学校を2020年3月までに卒業または卒業見込みの者<br>(3) 国際大学入学資格を有する者、または当該国における大学入学資格を有する者で、原則として「(1)」または「(2)」に準ずる者 | ①志願票<br>②志望理由書<br>③検定料振込証明書<br>④修了証明書と成績証明書                                                                                                                                                                                                                                          |

（参照）  
■アドミッション・ポリシー

以下の項目について、①②と③もしくは④の項目に当てはまる人を受け入れる方針である。

AP①高等学校等までの履修内容のうち、「国語」または「日本語」を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力と、講義やゼミ、文献購読やレポート作成に必要な基礎的な能力を身に付けている。また、「英語」を通じて、国際的なコミュニケーションの修得に必要な基礎的な能力を身に付けている。同様に「数学」を通じて、情報通信技術に係る数学的思考や論理的な科目に必要なとなる基礎的な能力を身に付けている。

AP②社会の様々な問題について、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる。

AP③情報通信技術や経営学に興味があり、その知識やスキルを基に社会の様々な課題解決のため、新たな商品・サービス・ビジネスを生み出したいという意欲がある。

AP④学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。



## (新旧対照表) 様式第2号 (その3の1・授業科目の概要)

※科目の概要を合わせるため、旧の記載順を新に合わせて並び替える。

| 新    |        |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    | 旧    |        |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |
|------|--------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------|--------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 科目区分 |        | 授業科目<br>の名称 | 授業科目の名称                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 備考 | 科目区分 |        | 授業科目<br>の名称 | 講義等の内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 備考 |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | イノベーションの志   | <p>本学は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を育成する大学である。</p> <p>本授業ではこの「イノベーション」について理解を深めるとともに、イノベーションを生み出し、イノベーターとなるために必要な資質や素養を身につけるための土台を様々な事例を学ぶことにより構築する。</p> <p>具体的には、分野ごとにイノベーション事例を取り上げ、情報社会におけるICTを使ったイノベーションとは何かについて、自分なりの解を導き出す。各インプットを基にグループワークで意見交換を交え、他者と比較の中で、自身のビジョンステートメントを構築する授業構成をとる。</p> <p>また、イノベーションを起こす人材となるために必要なことは何か、自らイノベーションを起こすために何をするかを考え自分なりのイノベーター像、イノベーションのあり方を検討し、この後の本学での学びの素地とする。</p> |    | 基礎科目 | 現代社会基礎 | イノベーションの志   | <p>本学は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、ICTのスキルを用いて、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する大学である。</p> <p>本授業ではこの「イノベーション」について理解を深めるとともに、イノベーションを生み出し、イノベーターとなるために必要な資質や素養を身につけるための土台を様々な事例を学ぶことにより構築する。</p> <p>具体的には、イノベーションのエボクスメイキングとなった人々や出来事を振り返りつつ、情報社会におけるICTを使ったイノベーションとは何かについて、自分なりの解を導き出す。各インプットを基にグループワークで意見交換を交え、他者と比較の中で、自身のビジョンステートメントを構築する授業構成をとる。</p> <p>併せて、イノベーションを起こし、社会を変革するために必要な考え方、ビジョン、戦略、スキル、人間力といったイノベーターとしての素養は何かを考え、自分なりのイノベーター像、イノベーションのあり方を検討し、この後の本学での学びの素地とする。</p> |    |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | スタディスキル     | <p>大学生活は社会で貢献するための準備期間であり、自分が興味関心を持つ分野について主体的に学ぶとともに、社会に出ていくにあたって企業におけるプレゼンテーションに代表されるように今後は自らが情報発信をしなければならないという立場にもなる。本講義では有意義な大学生活を送るために、基本となるアカデミックスキルや社会人基礎力など、入学時に立てた目標を実現する力を身につける。具体的には、課題に取り組みながら大学生活を送るために必要なコミュニケーション、情報収集と活用、レポートやプレゼンテーションなどを身につけるとともに、取り上げる課題やテーマから大学での学びや将来の目標を考える。</p>                                                                                                                                                                                             |    | 基礎科目 | 現代社会基礎 | スタディスキル     | <p>大学生活は社会で貢献するために準備期間であり、大学入学を目標としてきた高校生活から一変する。大学生にとってまず大切なことは学ぶことであるが、大学での学び方は高校までの学び方とは大きく異なる。そして、社会で活躍するためには受信的な学びのスタイルだけではなく、自らが情報を集め、発信する能動的な学び方を身につけておく必要がある。①大学生としての心構え、キャリア形成や4年間の学びのあり方、②大学で学ぶために必要な事項（資料検索方法、レポート・プレゼン等）について理解する。本講義では、大学において学ぶことのスキルを身につけ、4年間にわたる有意義な大学生活を送るための基本的な姿勢を獲得することを目的とする。</p>                                                                                                                                                                   |    |

|      |        |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |      |        |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|------|--------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|--------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | 英語コ<br>ア・スキ<br>ルズⅠ | 現代社会において、グロー<br>バルで活躍するためには英<br>語力は必要不可欠である。<br>この授業では基本的な英語<br>4技能のうち、リーディン<br>グ能力とリスニング能力の<br>強化を図っていく。<br>具体的には、ビジネスや生<br>活などのシチュエーション<br>を題材に、個人やグループ<br>で、音読、ヒアリング、英<br>文解釈を行う。TOEIC等の<br>問題を使いながら、演習を<br>繰り返し行うことで、正し<br>く英文解釈できる力(単語<br>力、構文理解力、文法力な<br>ど)もあわせて習得する。上<br>記を通じ、ビジネスシー<br>ンで使用する英語に対する基<br>礎的な読む力と聞く力を習<br>得する。                                                                                                                                                                                                                                 |  | 基礎科目 | 現代社会基礎 | 英語コ<br>ア・スキ<br>ルズⅠ | 現代社会において、グロー<br>バルで活躍するためには英<br>語力は必要不可欠である。<br>この授業では基本的な英語<br>4技能について社会的認知<br>度の高いTOEICや<br>TOEFLなど英語能力測定<br>試験を題材にリーディング<br>能力とリスニング能力の強<br>化を図っていく。<br>具体的には、各能力試験の<br>構成を確認するとともに、<br>問題形式や出題傾向を踏ま<br>えた演習を繰り返し行う。<br>個人やグループで、音読、<br>ヒアリング、英文解釈のサ<br>イクルを繰り返し、出題内<br>容の理解を深めることで、<br>正しく英文解釈できる力<br>(単語力、構文理解力、文法<br>力など)を習得する。上記を<br>通じ、ビジネスシーンで使<br>用する英語に対する基礎<br>力、特に聞く力と読む力の<br>向上を目指す。 |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | 数学基礎<br>A          | 経営分野、工学分野等にお<br>ける実世界の課題は、数式<br>により定義でき、これを数<br>値解法を用いて解くことが<br>できるものが多く存在す<br>る。こうした課題を解くた<br>めには、数学的な課題の捉<br>え方や解き方が重要とな<br>る。本科目では基礎的な解<br>析学として「数列」「微分」<br>「積分」をテーマに取り上<br>げ、解析学の基本的な内容<br>を学んでいく。これらの理<br>論や考え方は、経営分析や<br>ディープラーニングなどの<br>分野の学習を深めるうえで<br>基本的な考え方となる。「数<br>列」「微分」「積分」におい<br>て重要な基本概念について<br>学ぶとともに、演習を通じ<br>て各手法の本質や適用方法<br>についての理解を深める。<br>なお、本科目では数学の面<br>白さや経営学、情報通信技<br>術での有用性が十分理解で<br>きるような授業を行う。                                                                                                                                         |  |      |        | (追加)               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | リサーチ<br>入門         | 社会科学の調査・分析の手法<br>をもとに、課題発見、調<br>査、解決策の提案の一連の<br>流れからリサーチの基本を<br>学ぶ。具体的には、社会調<br>査の概要を理解するととも<br>に、実際に調査するフィー<br>ルドを設定しながら授業を<br>進めていく。<br>まず、文献やインターネッ<br>ト等を用いながら、どのよ<br>うな課題があるのかを調査<br>票やインタビューなどを通<br>じて実際に調査し、課題を<br>特定する。あわせて、設定<br>された課題への対策とその<br>実行状況を調べる。問題の<br>本質はどこにあるかを分析<br>する。また、対象となる企<br>業・人・機関などへのフィ<br>ールド調査を行う対策の課<br>題を分析する。その後、明<br>確化された課題に対し、自<br>分たちがどのように解決に<br>寄与できるかを設計する。<br>本科目を通じ、さまざまな<br>事象を実証的・構造的に明<br>らかにし、課題の解決に結<br>びつけるための方法、特に<br>資料やデータの収集と分析<br>の具体的な方法とその特徴<br>について実際の調査を行い<br>ながら習得し、今後の学習<br>の基礎となるスキルを身に<br>つけることを目指す。 |  |      |        | (追加)               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |

|      |        |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |      |        |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |
|------|--------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|--------|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | 英語コ<br>ア・スキ<br>ルズⅡ | 現代社会において、グロー<br>バルで活躍するためには英<br>語力は必要不可欠である。<br>この授業では基本的な英語<br>4技能のうち、ライティン<br>グ能力とスピーキング能力<br>の強化を図っていく。<br>具体的には、ビジネスや生<br>活などのシチュエーション<br>を題材に、個人やグループ<br>で、音読、ヒアリング、英<br>文解釈を行う。TOEICや<br>TOEFL等の問題を使いなが<br>ら、演習を繰り返し行うこ<br>とで、正しく英文解釈でき<br>る力(単語力、構文理解力、<br>文法力など)もあわせて習<br>得する。上記を通じ、ビジ<br>ネスシーンで使用する英語<br>に対する基礎的な書く力と<br>話す力を習得する。                                                                                                                                                                                 |  | 基礎科目 | 現代社会基礎 | 英語コ<br>ア・スキ<br>ルズⅡ | 現代社会において、グロー<br>バルで活躍するためには英<br>語力は必要不可欠である。<br>この授業では基本的な英語<br>4技能について社会的認知<br>度の高いTOEICや<br>TOEFLなど英語能力測定<br>試験を題材にライティング<br>能力とスピーキング能力の<br>強化を図っていく。<br>具体的には、各能力試験の<br>構成を確認するとともに、<br>問題形式や出題傾向を踏ま<br>えた演習を繰り返し行う。<br>個人やグループで、音読、<br>ヒアリング、英文解釈のサ<br>イクルを繰り返すことも<br>に、教材の内容と関連する<br>エッセイやクイズを出し合<br>うことで、自らの手や頭を<br>使いながら、を向上させる<br>とともに、正しく英文で表<br>現できる力(単語力、構文理<br>解力、文法力など)を習得す<br>る。上記を通じ、ビジネス<br>シーンで使用する英語に対<br>する基礎力、特に話す力と<br>書く力の向上を目指す。 |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | 数学基礎<br>B          | 経営分野、工学分野等にお<br>ける実世界の課題は、数式<br>により定義でき、これを数<br>値解法を用いて解くことが<br>できるものが多く存在す<br>る。こうした課題を解くた<br>めには、数学的な課題の捉<br>え方や解き方が重要とな<br>る。本科目では基礎的な線<br>形代数として「ベクトル」<br>「行列」「線形方程式」など<br>をテーマに取り上げ線形代<br>数の基本的な内容を学んで<br>いく。これらの理論や考え<br>方は、データ分析やソフト<br>ウェア、IoT設計などの分<br>野の学習を深めるうえで基<br>本的な考え方となる。「ベク<br>トル」「行列」「線形方程式」<br>などの基本概念について学<br>ぶとともに、演習を通して<br>各手法の本質や適用方法に<br>ついての理解を深める。<br>本授業では、こうした数学<br>的素養の基礎となる線形代<br>数について学ぶと共に、こ<br>れに関連する各科目への入<br>り口までを講義する。なお、<br>本授業では数学の面白さや<br>経営学、情報通信技術での<br>有用性が十分理解できるよ<br>うな授業を行う。 |  |      |        | (追加)               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |

|      |        |   |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |      |   |        |           |                                                                                                                                                                                                                               |  |
|------|--------|---|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|---|--------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 数学基礎C     | 経営分野、工学分野等における実世界の課題は、数式により定義でき、これを数値解法を用いて解くことができるものが多く存在する。こうした課題を解くためには、数学的な課題の捉え方や解き方が重要となる。本科目では基礎的な確率統計として「確率」「統計」「多変量解析」などをテーマに取り上げ確率統計の基本的な内容を学んでいく。これらの理論や考え方は、経営の最適化や需要予測、ビッグデータなどの分野の学習を深めるうえで基本的な考え方となる。「確率」「統計」「多変量解析」などの基本概念について学ぶとともに、演習を通して各手法の本質や適用方法についての理解を深める。本授業では、こうした数学的素養の基礎となる確率統計等について学ぶと共に、これに関連する各科目への入り口までを講義する。なお、本科目では、数学の面白さや経営学、情報通信技術での有用性が十分理解できるような授業を行う。 |  |      |   |        | (追加)      |                                                                                                                                                                                                                               |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | キャリアデザインI | 1年間の大学生活を経て得た気づき、課題を整理するとともに、入学時に立てた目標や行動計画の振り返りを行い、3年次のインターンシップや卒業後のキャリアに向け、改めてキャリアプラン、行動計画を考える。合わせて、改めて仕事や職業への理解を深め、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについてのより具体的なアクションにつなげられるように展開する。これらを通じて大学生活やその後の人生をどのように作っていくかを考え、自分自身のキャリアを主体的に想像していく土台を作る。                                                                                                                                                  |  | 基礎科目 | — | 現代社会基礎 | キャリアデザインI | キャリアデザインIでは社会人となるうえで必要なマナーやスキル、考え方をもとに、自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアデザインを行う。合わせて、仕事とは何か、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについて考え、行動できるように具体化する。これらを通じて大学生活やその後の人生をどのように作っていくかを考え、自分自身のキャリアを主体的に想像していく土台を作る。授業は5人ほどのチームに分かれ、グループ討議及び発表を中心に行う。 |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 職業倫理      | 本授業では、ICT業界で働く者として、コンテンツを作る上で最低限知っておくべき内容や、現代社会が持つ様々な課題事項への理解を深める。ケースメソッド、ゲスト講師の講義で最新の課題を取り上げながら、パワハラ、セクハラなどハラスメントの定義や対応方法、インターネット上で広告が炎上する理由、炎上の際の企業の適切な対処方法、metoo運動が発生した背景や広がった理由など、企業の倫理、ITの倫理について考える。                                                                                                                                                                                     |  | 基礎科目 | — | 現代社会基礎 | 職業倫理      | 本授業では、ICT業界で働く者として、コンテンツを作る上で最低限知っておくべき内容や、現代社会が持つ様々な課題事項への理解を深める。ケースメソッド、ゲスト講師の講義で最新の課題を取り上げながら、パワハラ、セクハラなどハラスメントの定義や対応方法、インターネット上で広告が炎上する理由、炎上の際の企業の適切な対処方法、metoo運動が発生した背景や広がった理由など、企業の倫理、ITの倫理について考える。                     |  |

|      |        |   |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
|------|--------|---|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 先端グローバル社会 | 過去から現在のグローバルで起きている変化、今後の人口動態と未来予測を踏まえた将来のグローバル社会の潮流を理解し、これらをICTが支える可能性について探求する。具体的には持続可能な開発目標（SDGs）17のゴールをもとに、その概要と今日的な課題とそれに向けた取り組みの現状について概説する。また、グローバルな課題設定と自らの生活や学びがどのようにつながっているのかを考える。これらの学習を通じ、自分なりにグローバル社会に対し、ICTやビジネスなど本学での学びがどのように寄与していくのかを考える。最終的にはテーマを絞り、個人・グループでの実行計画を策定する。 |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 科学史       | 科学とは時間や空間を超えた普遍的なものと一般に考えられているが、人間の営みである以上、科学も歴史のなかで誕生し発展してきたものであり、その成果も歴史的な文脈によって規定されている。とりわけ近代科学は17世紀西欧社会において誕生したと考えられ、近世・近代日本における自然研究および近代日本への西欧科学の導入を、当時の歴史的な文脈の中で理解することは、現代科学の理解にとっても重要である。以上をふまえ、本講義では「科学」とは何かについて歴史的に考察し、「科学」に対する理解を深めることを目的とする。                                |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | ICTと人間    | 日々進化するICTは、個々の要素が著しく進歩しつづけているだけでなく、急速に私たちの日常生活の中にも導入されている。よって、言葉だけは聞き慣れているが、基本的な技術や性能を理解しないまま誤用してしまう場合もある。本講義では、光、電気、電波、などの基礎知識から、情報の量や単位、情報の品質に直結する通信の速度、文字データの標準や音声・画像・映像などのマルチメディア技術と適用、企業活動や事業活動の中で汎用化している技術やプロセス、身の回りのインターネットサービスの種類と活用方法など、一般社会人に求められる社会基盤としてのITに関する活用知識を修得する。   |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 先端グローバル社会 | 過去から現在のグローバルで起きている変化、今後の人口動態と未来予測を踏まえた将来のグローバル社会の潮流を理解し、これらをICTが支える可能性について探求する。具体的には持続可能な開発目標（SDGs）17のゴールをもとに、その概要と今日的な課題とそれに向けた取り組みの現状について概説する。また、グローバルな課題設定と自らの生活や学びがどのようにつながっているのかを考える。これらの学習を通じ、自分なりにグローバル社会に対し、ICTやビジネスなど本学での学びがどのように寄与していくのかを考える。最終的にはテーマを絞り、個人・グループでの実行計画を策定する。 |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | 科学史       | 科学とは時間や空間を超えた普遍的なものと一般に考えられているが、人間の営みである以上、科学も歴史のなかで誕生し発展してきたものであり、その成果も歴史的な文脈によって規定されている。とりわけ近代科学は17世紀西欧社会において誕生したと考えられ、近世・近代日本における自然研究および近代日本への西欧科学の導入を、当時の歴史的な文脈の中で理解することは、現代科学の理解にとっても重要である。以上をふまえ、本講義では「科学」とは何かについて歴史的に考察し、「科学」に対する理解を深めることを目的とする。                                |  |
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | — | ICTと人間    | 日々進化するICTは、個々の要素が著しく進歩しつづけているだけでなく、急速に私たちの日常生活の中にも導入されている。よって、言葉だけは聞き慣れているが、基本的な技術や性能を理解しないまま誤用してしまう場合もある。本講義では、光、電気、電波、などの基礎知識から、情報の量や単位、情報の品質に直結する通信の速度、文字データの標準や音声・画像・映像などのマルチメディア技術と適用、企業活動や事業活動の中で汎用化している技術やプロセス、身の回りのインターネットサービスの種類と活用方法など、一般社会人に求められる社会基盤としてのITに関する活用知識を修得する。   |  |

|      |        |   |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |   |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|--------|---|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基礎科目 | 現代社会基礎 | ー | キャリアデザインⅡ | 入学からインターンシップまでの3年間の学習や経験を通じて得たこと、感じたことを振り返り、卒業後の活躍を見据えたキャリアプランやキャリアを考える要素となる今日的な話題、考え方について学習を進める。<br>大学生活の中での活動を履歴書やポートフォリオ、キャリアカルテに整理することで、これまでの振り返りと自己理解を深める。また、インターンシップでは、実際の企業などで実践的な業務を行ってきた。この経験の中で考えた職業人として必要なスキル、知識、社会人基礎力について整理し、今後の大学生活において何を実現させていくのか、そのためにどのような学びを深めるのかを考え、キャリアプランや行動計画を作成する。キャリアに関する今日的な話題を取り上げることで、多角的に自己や周囲のキャリアについて興味関心を持ち、主体的に学び選択していく素地を作る。<br>上記を通じ、残る大学生活や今後の職業人生に対し、主体的に行動する、選び取るための意識と判断基準を持つことを目指す。 | 基礎科目 | ー | 現代社会基礎 | キャリアデザインⅡ                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | キャリアデザインⅠを通じて習得した基本的なマナーやスキル、ミッションの考え方をもとに、現状有する能力および、今後培っていく能力を考慮し、社会人としての自らのキャリアをデザインする。キャリアデザインは独りよがりのものではなく、その時々、社会背景や、周囲の友人や同僚などとも相互に作用し合う点において、自分自身のブランドマネジメント戦略という見方もできる。経営者、マネジメント側として周囲をどのようにコントロールし、またどのようにプロモートするのか、より具体的にイメージできるキャリアデザインを構築する。さらにメンバーとなった場合のフォロワーシップとしての立場を理解することにより、さまざまなキャリア意識の違いを把握する。授業は5人ほどのチームに分かれ、グループ討議及び発表を中心に行う。 |
|      |        |   | 経営        | マネジメント（経営学基礎）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |   |        | イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩するICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。<br>本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、将来動向の予測方法、事業環境の分析手順、ビジネス戦略の計画方法、組織やチームのつくり方、などを学習する。 | イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩するICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。<br>本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、将来動向の予測方法、事業環境の分析手順、ビジネス戦略の計画方法、組織やチームのつくり方、などを学習する。                                        |
|      |        |   | 経営        | マーケティング基礎                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |   |        | マーケティングの基礎的な概念とその発想法を習得することで、情報通信技術を用いたビジネスやサービスを検討する中で、実務としてマーケティング戦略の立案、戦術の策定ができるようにする。<br>具体的にはビジネスの現場で活用するためのマーケティングの基本的な知識やスキル、理論を幅広く学ぶ。身近な商品・サービスの実例を用いて、経営に欠かせないマーケティングの基礎知識を理解する。あわせて、デジタルマーケティングやソーシャルメディアを活用したマーケティングなど今日的な話題を学ぶことで、ビジネスの現場でマーケティングを活用するための知識・スキルを習得する。                               | マーケティングの基礎的な概念とその発想法を習得することで、ICT関連のビジネス・シーンで、実務としてマーケティング戦略の立案、戦術の策定ができるようにする。<br>マーケティングをビジネスの現場で活用するための、基礎能力から、理論、応用まで幅広く学ぶ。身近な商品・サービスの実例を用いて、経営に欠かせないマーケティングの基礎知識を理解する。                                                                                                                                                                             |

|        |    |        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |        |    |        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
|--------|----|--------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|----|--------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | 法務リテラシー I     | IT/ICT 事業に関わる、あるいは自ら起ち上げ、実施していく上で、社会制度としての法システムへの理解はかせない。我が国の法システムの概要を、民事法・経済法の領域を中心に解説していく。その中で、法規定の形だけでなく、それがどのように執行され事業における得失をどう生み出していくのかという視点から、理解を深める。                                                                                                                         |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | 法務リテラシー I     | IT/ICT 事業に関わる、あるいは自ら起ち上げ、実施していく上で、社会制度としての法システムへの理解はかせない。我が国の法システムの概要を、民事法・経済法の領域を中心に解説していく。その中で、法規定の形だけでなく、それがどのように執行され事業における得失をどう生み出していくのかという視点から、理解を深める。                                                                                                                                                                    |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | アカウントینگ入門    | ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえは、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。同時に、会計の適用範囲は広い。ここでは、会計を網羅的に取り上げ、その時々々の会計事情を事例として利用しながら、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。 |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | アカウントینگ      | 財務会計は企業の「構造」と「健康状態」を知るために必要不可欠な知識であり、管理会計は事業を「正しい道筋」に経営して導くために必要不可欠な指標である。本講義では、初めて起業する者を対象とした経理業務のガイドと、財務 3 表や主要な財務指標の意味合いとその事業構造との関係の読み取り方、事業収支予測（予測財務諸表）の作り方と KPI（主要業績指標）の設定のしかたについて学習し、実際の起業に際して会計処理とそれに基づく経営判断を正しく行えるようになることを目指す。また、ICT ソフトウェア関連事業に特有の会計基準として、「研究開発に係る会計基準」をめぐる諸問題と、大規模ソフトウェア開発受託事業等における工事進行基準会計についても触れる。 |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | オペレーションマネジメント | 企業の現場にとって、「価格競争に陥らないような独創的な製品やサービスを開発したい」「製品開発のスピードで他社より勝りたい」「コスト競争力をもっと上げたい」「高い品質で顧客に満足してもらいたい」といった要望に応えられる方法論はたいへん重要である。本授業では、企業の活動全般（製品・サービスの企画開発、原材料や部品の調達、生産、流通、販売、経営管理、など）を対象に、いかなる企業にとっても重要なコスト削減や時間短縮、品質向上、顧客満足度向上を実現するオペレーション（仕事の進め方や日々の仕事のやり方）の構築・改善・改革の方法論を学ぶ。           |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス基礎 | オペレーションマネジメント | 企業の現場にとって、「価格競争に陥らないような独創的な製品やサービスを開発したい」「製品開発のスピードで他社より勝りたい」「コスト競争力をもっと上げたい」「高い品質で顧客に満足してもらいたい」といった要望に応えられる方法論はたいへん重要である。本授業では、企業の活動全般（製品・サービスの企画開発、原材料や部品の調達、生産、流通、販売、経営管理、など）を対象に、いかなる企業にとっても重要なコスト削減や時間短縮、品質向上、顧客満足度向上を実現するオペレーション（仕事の進め方や日々の仕事のやり方）の構築・改善・改革の方法論を学ぶ。                                                      |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | マーケティング応用     | マーケティングを履修した上で、さまざまな企業が実際に展開してきたマーケティングの応用法について学ぶ。特に、本学の位置する東京都墨田区周辺と縁の深い企業を選定、事例として取り上げ、その取り扱う製品・サービスがマーケティングの観点からどのような企図があるのかを検証する。特に、受講者にとって日常的に接することが可能なサービス・商品について詳しく取り上げ、各企業のマーケティング活動が理論的な裏付けに基づいた展開であることを理解する。                                                              |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | マーケティング応用     | マーケティングを履修した上で、さまざまな企業が実際に展開してきたマーケティングの応用法について学ぶ。特に、本学の位置する東京都墨田区周辺と縁の深い企業を選定、事例として取り上げ、その取り扱う製品・サービスがマーケティングの観点からどのような企図があるのかを検証する。特に、受講者にとって日常的に接することが可能なサービス・商品について詳しく取り上げ、各企業のマーケティング活動が理論的な裏付けに基づいた展開であることを理解する。                                                                                                         |  |

|        |    |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |        |      |        |                                                                                                                                      |  |  |  |
|--------|----|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | <p><u>「アカウントティング入門」</u><br/>で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では主に財務会計（外部報告会計）の応用領域について学ぶ。企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルデともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務3表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー・計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みをしっかりと理解しておくことが重要である。</p> <p>また、個別企業の財務諸表だけではなく企業集団の連結財務諸表についても触れる。さらに、ICTの利用により、経済活動がボーダレス化するなかで、会計ルールの国際化への対応も考慮に入れておかなければならない。</p> <p>単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に学ぶことで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。</p> |  |        |      |        | (追加)                                                                                                                                 |  |  |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | <p>法務リテラシーⅡ</p> <p>法務リテラシーⅠの講義内容を前提として、IT/ICT 事業に関わる、あるいは自ら立ち上げ、実施していく上で必要になる諸法について、電気通信に関する事業者責任、知的財産の取扱い、表現規制への対応を中心として解説していく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | <p>法務リテラシーⅡ</p> <p>法務リテラシーⅠの講義内容を前提として、IT/ICT 事業に関わる、あるいは自ら立ち上げ、実施していく上で必要になる諸法について、電気通信に関する事業者責任、知的財産の取扱い、表現規制への対応を中心として解説していく。</p> |  |  |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | <p><u>ファイナンス入門</u></p> <p>一般に、企業は資金を調達し、それらを運用して、収益を生むという活動をおこなう。そのため、ビジネスリーダーは、資金調達活動、投資活動、財務活動を、つねに考えて行動する必要がある。その際、会計情報を利用してファイナンス(財務：企業財務あるいは経営財務ともいう)をおこなうことは重要である。</p> <p>最近、ICTを利用したビジネスの現場で、コーポレートガバナンスの強化とともに、このファイナンスの重要性が増している。そこで、この授業では、将来ビジネスリーダーを目指す学生を対象に、経営プロセスにそって、会計の知識をもとにファイナンスの基礎とその考え方を修得してもらう。それにより、経営の効率性や収益性を高め、企業価値の最大化を目指すファイナンス本来の基本的スタンスが理解できるようになる。</p>                                                           |  |        |      |        | (追加)                                                                                                                                 |  |  |  |



|        |    |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                        |  |        |    |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                        |  |
|--------|----|--------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|----|--------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 問題形成と問題解決       | 将来を見越したイノベーションを起こし、世界的な視野をもって決断し、俊敏には、高度な問題の発見・解決能力は必須である。そのために、本授業では、世界の有力企業で実際に広く活用されている問題解決手法を学習する。具体的には、①問題を明確にする②問題をブレイクダウンする③達成目標を決める④真因を考え抜く⑤対策を立てる⑥対策をやりぬく⑦結果とプロセスを評価する⑧成果を定着させる、といった8つのステップから成る問題解決手法を事例学習やグループワークを通じて体系的に学ぶ。 |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 問題形成と問題解決       | 将来を見越したイノベーションを起こし、世界的な視野をもって決断し、俊敏には、高度な問題の発見・解決能力は必須である。そのために、本授業では、世界の有力企業で実際に広く活用されている問題解決手法を学習する。具体的には、①問題を明確にする②問題をブレイクダウンする③達成目標を決める④真因を考え抜く⑤対策を立てる⑥対策をやりぬく⑦結果とプロセスを評価する⑧成果を定着させる、といった8つのステップから成る問題解決手法を事例学習やグループワークを通じて体系的に学ぶ。 |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 組織行動論           | 組織は至る所に存在しており、組織と関係せずに生活はできなくなっている。本講義では様々な組織の中で人間行動について理解する。人間行動を規定する働きのある組織の構造や形態、組織文化を扱い、仕事への意欲の程度を示すものともいえる動機づけや、働き方を学び、企業トップや管理職に対するコーチング・コンサルティング・組織開発ワークショップなどの実践理論と技術の習得を通して、個人が生かされ組織も創造性を増す組織開発を探究する。                        |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 組織行動論           | 組織は至る所に存在しており、組織と関係せずに生活はできなくなっている。本講義では様々な組織の中で人間行動について理解する。人間行動を規定する働きのある組織の構造や形態、組織文化を扱い、仕事への意欲の程度を示すものともいえる動機づけや、働き方を学び、企業トップや管理職に対するコーチング・コンサルティング・組織開発ワークショップなどの実践理論と技術の習得を通して、個人が生かされ組織も創造性を増す組織開発を探究する。                        |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | ビジネスにゲームによる意思決定 | 世の中にある様々な経営現象(人事現象、市場現象等)を理解するには、なぜそれが起こったかの現象を説明する原理を学ぶ必要があり、その1つがゲーム理論である。ゲーム理論は、人はなぜそう決めるのか、企業はなぜそう決めるのか、という「決める」ことに関する理論である。本講義では、「決める(意思決定)」ことは経営現象全てに関わる事を理解し、ゲーム理論を活用し、主に ICT 業界の経営実務における、合理的な意思決定の手法を修得する。                     |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | ビジネスにゲームによる意思決定 | 世の中にある様々な経営現象(人事現象、市場現象等)を理解するには、なぜそれが起こったかの現象を説明する原理を学ぶ必要があり、その1つがゲーム理論である。ゲーム理論は、人はなぜそう決めるのか、企業はなぜそう決めるのか、という「決める」ことに関する理論である。本講義では、「決める(意思決定)」ことは経営現象全てに関わる事を理解し、ゲーム理論を活用し、主に ICT 業界の経営実務における、合理的な意思決定の手法を修得する。                     |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 人的資源管理論         | 経済・社会活動がグローバル化するなかでの競争激化や、経済社会の成熟化により、日本企業は事業運営においてこれまでにない模索を強いられ、時に大きな事業革新を求められている。一方で、人口高齢化と人口減少の進行は、企業の人的資源の担い手を大きく変えつつある。本講義では、以上のような状況のもとで、日本企業が進めている人的資源管理の取り組みとその背景を理解し、今後のあり方について検討を行うための視点を身につけることを目的とする。                     |  | 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 人的資源管理論         | 経済・社会活動がグローバル化するなかでの競争激化や、経済社会の成熟化により、日本企業は事業運営においてこれまでにない模索を強いられ、時に大きな事業革新を求められている。一方で、人口高齢化と人口減少の進行は、企業の人的資源の担い手を大きく変えつつある。本講義では、以上のような状況のもとで、日本企業が進めている人的資源管理の取り組みとその背景を理解し、今後のあり方について検討を行うための視点を身につけることを目的とする。                     |  |

|        |    |        |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|--------|----|--------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | コーポレートファイナンス | 企業における資金の調達・運用、設備投資等に関して包括的に学び、理論を正確に理解した上で、その応用力を身につけることを目的とする。具体的には、基本的なファイナンスに関する理論、企業における資金調達と資本構成の実態、資本コストの考え方やその算出方法、企業における配当政策、債権と株式の評価方法、現在価値の概念を用いてキャッシュフローを評価する方法、デリバティブに関する基本的な理論とリスクヘッジのためのデリバティブの利用などに関する知識を修得し、企業の財務意思決定の基礎理論を理解する。                                                                                                                                  |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 地域創生とイノベーション | 墨田区はじめ講師が関与して地域創生に成功した全国の事例を学ぶ。その現場で産業・観光・文化・教育振興や、SNS等の情報発信で活躍したキーパーソンをゲスト講師に招いて議論し、理解を深める。また、実際に街あるきや工場見学などのフィールドワークを行い、受講生自らが地域の魅力を発見・発掘してSNSで発信する。その成果を学生目線の墨田区観光マップにまとめ、地域のキーパーソンに報告し、講義webやSNS等で発表する。                                                                                                                                                                        |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | イノベーション特論    | 本授業では、イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを学習する。従来、イノベーションの議論は、ビジネスの価値を持続的、漸進的に向上させるために、自社開発と外部利用の適切な判断基準はなにか、システム開発の投資効率はどう評価すべきか、イノベーションを加速させるための組織のしかけは何か、といった論点を中心に進められてきた。しかし、今後のイノベーションの議論は、ICTのさらなる格段の進歩を見据え、人と情報を中心にして、ビジネスの価値を加速的に向上させることに論点が移る。そこで、本授業では、ICT関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。 |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | コーポレートファイナンス | 企業における資金の調達・運用、設備投資等に関して包括的に学び、理論を正確に理解した上で、その応用力を身につけることを目的とする。具体的には、基本的なファイナンスに関する理論、企業における資金調達と資本構成の実態、資本コストの考え方やその算出方法、企業における配当政策、債権と株式の評価方法、現在価値の概念を用いてキャッシュフローを評価する方法、デリバティブに関する基本的な理論とリスクヘッジのためのデリバティブの利用などに関する知識を修得し、企業の財務意思決定の基礎理論を理解する。                                                                                                                                  |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 地域創生とイノベーション | 墨田区はじめ講師が関与して地域創生に成功した全国の事例を学ぶ。その現場で産業・観光・文化・教育振興や、SNS等の情報発信で活躍したキーパーソンをゲスト講師に招いて議論し、理解を深める。また、実際に街あるきや工場見学などのフィールドワークを行い、受講生自らが地域の魅力を発見・発掘してSNSで発信する。その成果を学生目線の墨田区観光マップにまとめ、地域のキーパーソンに報告し、講義webやSNS等で発表する。                                                                                                                                                                        |  |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | イノベーション特論    | 本授業では、イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを学習する。従来、イノベーションの議論は、ビジネスの価値を持続的、漸進的に向上させるために、自社開発と外部利用の適切な判断基準はなにか、システム開発の投資効率はどう評価すべきか、イノベーションを加速させるための組織のしかけは何か、といった論点を中心に進められてきた。しかし、今後のイノベーションの議論は、ICTのさらなる格段の進歩を見据え、人と情報を中心にして、ビジネスの価値を加速的に向上させることに論点が移る。そこで、本授業では、ICT関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。 |  |

|        |    |        |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |        |      |             |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------|----|--------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 新市場における事業開発 | <p>ビジネスのグローバル化を進めるうえで、海外市場を理解する視点や海外拠点・海外パートナーとの協働は重要である。また多様化していく市場を理解し、的確に事業を行っていくためのマネジメントについても正しく理解しておく必要がある。本授業では、発展途上である新興国に進出した事例の紹介、新興市場特有のマネジメントに関する知識や手法の紹介を行うとともに、実際に自分たちが新興国へ参入することを想定したビジネスプランや戦略の立案を通じて、新興市場での事業開発の考え方や手法を学ぶ。</p>                                                                    | 職業専門科目 | ビジネス | 新市場における事業開発 | <p>ビジネスのグローバル化を進めるうえで、海外市場を理解する視点や海外拠点・海外パートナーとの協働は重要である。また多様化していく市場を理解し、的確に事業を行っていくためのマネジメントについても正しく理解しておく必要がある。本授業では、発展途上である新興国に進出した事例の紹介、新興市場特有のマネジメントに関する知識や手法の紹介を行うとともに、実際に自分たちが新興国へ参入することを想定したビジネスプランや戦略の立案を通じて、新興市場での事業開発の考え方や手法を学ぶ。</p> |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | クロスセクタリウム   | <p>情報通信技術の発展のなかで、金融や教育、医療、農業などの既存のビジネス領域とテクノロジーを融合し、産業構造の変化が進んでいる。これは既存のビジネスモデルの拡大や高度化、他分野やベンチャー企業の新規参入など、多様な論点が含まれている。本科目ではこれらの産業のイノベーションの事例を紹介するとともに、テクノロジーと融合した既存のビジネスがどのように発展・成長してきたか、技術軸・時間軸の観点から概観する。あわせて、それぞれの産業特有の法律や規制などの課題や論点を整理し、諸外国での議論等を紹介しながら、日本のビジネスとテクノロジーの融合のあり方、ビジネスモデルについて検討、議論を通じて深めていきたい。</p> |        |      | (追加)        |                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | デザインと経営     | <p>ICTによる急速な社会変化への対応が企業にとって重要な経営課題となる中で、従来のビジネスモデルを刷新し、それを構築・実現する社外の人材やその知見を柔軟に取り入れることが求められている。本授業ではビジネスモデルに着目した新しいビジネスのデザインの方法論と、社外の知見の活用方法としてのオープンイノベーションについて、そのタイプと導入・実践の手法を学ぶ。また、デザイナーやアーティストなどとの協働によるイノベーション（インターベンション）を行うことで、自らイノベーションを起こすために必要な知識やスキルを習得する。</p>                                             |        |      | (追加)        |                                                                                                                                                                                                                                                 |

|        |    |        |                    |                                                                                                                                                                                                        |  |        |      |        |                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |  |
|--------|----|--------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|------|--------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス応用 | 税務会計<br>税・会計<br>処理 | 税務会計とは、税法の様々な規程に基づき、企業が課税されるべき所得を算出するものである。本授業では業界・業種ごとの会計処理の特徴やルールを学びながら、税務会計の基礎から講義を行う。税務会計を通じて、様々な業界の特色を理解するとともにそのビジネスの展開やICTの活用の可能性について理解を深める。あわせて、申告書の作成までの一連の税務申告の流れを学ぶことで、実践的な税務会計についての知識を習得する。 |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | 税務会計<br>税・会計<br>処理 | 税務会計とは、税法の様々な規程に基づき、企業が課税されるべき所得を算出するものである。本授業では業界・業種ごとの会計処理の特徴やルールを学びながら、税務会計の基礎から講義を行う。税務会計を通じて、様々な業界の特色を理解するとともにそのビジネスの展開やICTの活用の可能性について理解を深める。あわせて、申告書の作成までの一連の税務申告の流れを学ぶことで、実践的な税務会計についての知識を習得する。                                                                                                                                                                   |  |
|        |    | (削除)   |                    |                                                                                                                                                                                                        |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス基礎 | ファイナ<br>ンス         | 多くの起業家がつまずくのが、創業期の資金計画である。特にICTを活用したスケラビリティの高い事業を手がける起業家には、基本的なファイナンスのリテラシーに加えて、エクイティ・ファイナンスの知識とスキルが求められる。1～5回目で基本的なプライシング理論をまず押さえたうえで、6～12回目で創業期のファイナンスに特有の問題とそのスキーム構築、リターンの計算方法などを学び、経営者と投資家の両方の立場の期待値を理解して満たしつつ資金調達することを学ぶ。また、13回目で資本市場におけるベンチャーの評価軸を踏まえつつ、IPOやバイアウトといったエグジット戦略についても理解を深める。14回目と15回目の総合ワークでは、グループ単位で与えられる実際の事業計画に沿った資金計画を作成し、投資家を想定した資本調達のためのプレゼンを行う。 |  |
|        |    | (削除)   |                    |                                                                                                                                                                                                        |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス基礎 | ビジネス<br>デザイン<br>I  | 世界的に課題がカテゴライズされているSDGsについて学び、その中から、身近な日本、地方、大学がある自治体に引き寄せた課題を発見し、誰にどのような課題があるのかをインタビューなどを通じて調査する。ネット情報だけでなく、どのような情報源があるかを調べ、実際に超えることにより、課題を見つける。次にその課題に対してどのような対策が実施されているかを調べる。問題の本質はどこにあるかを分析する。対策を行っている機関・人などから話を聞くことにより、対策の課題を分析する。ステークホルダーを同定できたら、自分たちがどのように解決に寄与できるかを設計する。                                                                                          |  |

|  |  |      |  |  |        |      |        |               |                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--|--|------|--|--|--------|------|--------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | ビジネスデザインⅡ     | ICTによる急速な社会変化への対応が企業にとって重要な経営課題となる中で、旧来のビジネスモデルを刷新し、それを構築・実現する社外の人材やその知見を柔軟に取り入れることが求められている。本授業ではビジネスモデルに着目した新しいビジネスのデザインの的方法論と、社外の知見の活用方法としてのオープンイノベーションについて、そのタイプと導入・実践の手法を学ぶ。また、デザイナーやアーティストなどとの協働によるイノベーション（インターベンション）を行うことで、自らイノベーションを起こすために必要な知識やスキルを習得する。         |
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | ゲーム理論と交渉術     | ビジネスを实践する上では様々な決定をしなければならない。その決定によりビジネスがたどる変遷は大きく変わることには理解いただけたと考える。経営に携わるものはこの決定を常に迫られることになる。「ゲーム理論」ではそもそも人がなぜそのような決定を行うのかをモデルによって抽象化する。そして自分や競争相手が行う決定によって変化する競争環境を理解する。特に「交渉術」ではその決定に基づき交渉相手を含む各種ステークホルダーにどのように決定を伝えることで交渉を優位に運ぶことができるかを解説する。                         |
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | モチベーションマネジメント | 科学的アプローチにより、モチベーションをマネジメントするメカニズムを理解し、自己・他者・組織のモチベーションをマネジメントする手法を修得する。個人の中ではモチベーションがどのような過程を経て生まれ、変化するのかを学ぶことで、モチベーションの特徴とそのコントロール方法についてより深く理解する。また、期待理論、目標設定理論をとりあげ、他者・組織でモチベーションを阻害する要因についても理解する。授業を通じ、日常生活の中で対象に向かうモチベーションを強化していくにはどうすればよいのか、モチベーション・マネジメントの方法を修得する。 |

|        |    |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |        |      |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |
|--------|----|--------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|        |    |        | (削除)            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | ファシリテーションすなわち「促進」であるが、この授業では、会議、プロジェクト、コミュニティー形成をどのように促進することができるかをケースを通じて考え、基本的なスキルを学ぶ。<br>ファシリテーションは、ビジネスでは会議の司会進行者と目されがちだが、本来は課題の探索、アジェンダ（検討課題）設定、場所の設定、参加者の招集、イベントの設計など、企画から実施まで多岐に及ぶ役割を担うことになる。これら課題解決の促進者としてのファシリテーターの役割を知り、理解し、簡単なイベントを企画実施できるようなスキルを身につける。                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |
|        |    |        | (削除)            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス応用 | デザイン思考ワークショップ設計<br>ワークショップとはコミュニケーションを基盤に、参加者同士が協働しながら知識や技能を活用する参加型・体験型の学習の場のことである。本授業ではデザイン思考を用いて、コミュニケーションの場となるワークショップの設計について知識やスキルを習得する。デザイン思考がビジネスや社会課題の解決、組織改革、キャリア形成まで、広く応用され活用される背景からデザイン思考の要点を解説し、実際にデザイン思考のプロセスを踏みながら、デザイン思考と呼ばれる思考プロセスに沿ったワークショップが自分でも設計できるように学ぶ。基礎的なワークショップ設計の手法とデザイン思考で最も大切な課題意識の持ち方や課題設定能力の双方を重視する。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクト I | 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクト I では、身近な街の生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップのメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、その活動を通じて自分自身が「事業を興す」のに必要なビジネスの知識と ICT のスキルが不足していることを痛感させ、個々の学生の今後の学習の意欲を高めるように促す。<br><br>共同<br>(6) 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクト I                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクト I では、身近な街の生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップのメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、その活動を通じて自分自身が「事業を興す」のに必要なビジネスの知識と ICT のスキルが不足していることを痛感させ、個々の学生の今後の学習の意欲を高めるように促す。<br><br>共同<br>(6) 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 |

|        |    |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |        |      |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |
|--------|----|--------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|------|--------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅡ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトⅡでは、Ⅰのグループからメンバーを再編成したうえで、身近な生活者の課題を発見し、その課題の解決策となるプロダクト／サービスを簡単なソフトウェア開発スキルを用いて実際に実装してみる（プロトタイプピング）ことを通じて、解決策の実現可能性を高め、質を上げられるようになることを目指す。このため、Ⅰに比べてプロトタイプピングからテストにかけてのサイクルをやや長めにとり、最終プレゼンでは単なるアイデアのみならず、実装されたプロダクト／サービスとその事業化の可能性までを展示・説明できるようにする。また、この活動を通じてソフトウェア技術やデータ解析のスキル習得に対する意欲をさらに高める。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅡ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトⅡでは、Ⅰのグループからメンバーを再編成したうえで、身近な生活者の課題を発見し、その課題の解決策となるプロダクト／サービスを簡単なソフトウェア開発スキルを用いて実際に実装してみる（プロトタイプピング）ことを通じて、解決策の実現可能性を高め、質を上げられるようになることを目指す。このため、Ⅰに比べてプロトタイプピングからテストにかけてのサイクルをやや長めにとり、最終プレゼンでは単なるアイデアのみならず、実装されたプロダクト／サービスとその事業化の可能性までを展示・説明できるようにする。また、この活動を通じてソフトウェア技術やデータ解析のスキル習得に対する意欲をさらに高める。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 |
|        | 経営 | ビジネス実践 | スタートアップ基礎（起業論） | 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。<br>新しい動きではあるがそれは決して初めてではない。過去に人類が経験してきた各種の価値提供モデルの進化の動きとそれに呼応する起業家（Entrepreneur）が多数存在したのである。本授業では過去の起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法を分析し、起業に必要な要素分析をした上で現代の社会を鑑みて、今、起業家に必要と思われる要素を推測し実証することにある。           |    |        | ビジネス | ビジネス実践 | スタートアップ基礎（起業論） | 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。<br>新しい動きではあるがそれは決して初めてではない。過去に人類が経験してきた各種の価値提供モデルの進化の動きとそれに呼応する起業家（Entrepreneur）が多数存在したのである。本授業では過去の起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法を分析し、起業に必要な要素分析をした上で現代の社会を鑑みて、今、起業家に必要と思われる要素を推測し実証することにある。           |    |

|        |    |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |                                                 |
|--------|----|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------------------------|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅢ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。イノベーションプロジェクトⅢでは、デザイン思考・リーンスタートアップの技法を用いて解決する課題に国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)とも関連するものをテーマとし、またその解決策を持続的に実現させ規模的に拡大するための事業戦略まで落とし込む。そのため、課題の調査分析やアイデアの構想だけでなく、経営戦略のフレームワークを活用した事業計画作成と、グループメンバーを「経営チーム」と見立てた場合の組織の長期ビジョン開発も行う。最終プレゼンの場には学外から投資家も招いて、評価を受ける。                                                                                               | 共同 | (6) 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | ビジネスフィードバックⅠ   | 実際の企業が直面している課題の分析とその解決策の立案実習を通じて、実務における経営学の応用力を体得する。具体的には、前半の回で国内外の企業のケースを用いて「ケースを解き、クラスで議論する」というケーススタディの基本的な学習方法とその学習目的を理解・習得する。そのうえで、本学が連携する企業から提示された事例に基づき、グループでその事例に対し、調査(企業訪問、現場観察、2次情報収集、インタビュー等)、仮説形成、分析し、課題解決策をまとめ、企業の担当者にプレゼンテーションするための資料作成、パフォーマンス等準備を行う。実際の企業担当者から講評を得る。経営戦略や財務会計を中心としたケースを主に扱い、1年次前期に履修した「マネジメント(経営学基礎)」を実際の企業の経営に当てはめて検討した場合の経営判断における示唆を得、またそれを実際の企業の担当者に評価されることを目指す。 | 共同 | (6) 久米 信行、10 川上 慎市郎、24 各務 茂雄、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅢ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。イノベーションプロジェクトⅢは、デザイン思考・リーンスタートアップの技法を用いて解決する課題に国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)とも関連するものをテーマとし、またその解決策を持続的に実現させ規模的に拡大するための事業戦略まで落とし込む。そのため、課題の調査分析やアイデアの構想だけでなく、経営戦略のフレームワークを活用した事業計画作成と、グループメンバーを「経営チーム」と見立てた場合の組織の長期ビジョン開発も行う。最終プレゼンの場には学外から投資家も招いて、評価を受ける。                                                                                                | 共同 | (6) 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | ビジネスフィードバックⅠ   | 実際の企業が直面している課題の分析とその解決策の立案実習を通じて、実務における経営学の応用力を体得する。具体的には、前半の回で国内外の企業のケースを用いて「ケースを解き、クラスで議論する」というケーススタディの基本的な学習方法とその学習目的を理解・習得する。そのうえで、本学が連携する企業から提示された事例に基づき、グループでその事例に対し、調査(企業訪問、現場観察、2次情報収集、インタビュー等)、仮説形成、分析し、課題解決策をまとめ、企業の担当者にプレゼンテーションするための資料作成、パフォーマンス等準備を行う。実際の企業担当者から講評を得る。経営戦略や財務会計を中心としたケースを主に扱い、1年次前期に履修した「マネジメント(経営学基礎)」を実際の企業の経営に当てはめて検討した場合の経営判断における示唆を得、またそれを実際の企業の担当者に評価されることを目指す。 | 共同 | (6) 久米 信行、11 川上 慎市郎、24 各務 茂雄、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) |



|        |    |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |    |        |      |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |    |
|--------|----|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|------|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅣ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトⅣでは、Ⅰ～Ⅲまでに身につけたデザイン思考やリーンスタートアップの技法を踏まえながら、墨田区内の実際の企業と協働し、その企業の抱えるユニークな技術や強みを生かしたイノベーションの創出に取り組む。<br>Ⅰ～Ⅲまでの顧客ニーズを起点としたプロジェクトと異なり、技術シーズを起点としたイノベーションを創出するためには、その技術の意味合いを深く理解し、そこから発想を飛躍させてプロダクトやサービスを構想しながら、逆算してそれを解決策として求める社会的な課題の探索を行う必要がある。企業の経営者や技術担当者も巻き込みチームビルディングを行いながら、技術分析のフレームワークを用いて技術を要素分解し、デザイン思考の仮説検証サイクルを超高速で回すことを目指す。<br><br>共同<br>(8 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトⅣ | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトⅣでは、Ⅰ～Ⅲまでに身につけたデザイン思考やリーンスタートアップの技法を踏まえながら、墨田区内の実際の企業と協働し、その企業の抱えるユニークな技術や強みを生かしたイノベーションの創出に取り組む。<br>Ⅰ～Ⅲまでの顧客ニーズを起点としたプロジェクトと異なり、技術シーズを起点としたイノベーションを創出するためには、その技術の意味合いを深く理解し、そこから発想を飛躍させてプロダクトやサービスを構想しながら、逆算してそれを解決策として求める社会的な課題の探索を行う必要がある。企業の経営者や技術担当者も巻き込みチームビルディングを行いながら、技術分析のフレームワークを用いて技術を要素分解し、デザイン思考の仮説検証サイクルを超高速で回すことを目指す。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 |
|        | 経営 | ビジネス実践 | ビジネスフィールドリサーチⅡ | 本講座ではビジネスフィールドリサーチⅠの後半と同様、本学が連携する企業から提示された事例に基づいて、課題解決を提案するプロセスを実習する。<br>ビジネスフィールドリサーチⅡでは、経営戦略や財務会計に加え、オペレーションやHRM、組織行動、法務など、実際の企業経営者やマネージャーが経営において日々直面する身近な課題を含むテーマを主に扱い、あわせてこれらの領域の理論やフレームワークについても適宜復習を行う。<br>実際の企業の事例に基づく分析・解決を目指し、担当者にプレゼンして評価されることを目指す。<br><br>共同<br>(8 久米 信行、10 川上 慎市郎、24 各務 茂雄、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎)                                                                                                                                             | 共同 |        | ビジネス | ビジネス実践 | ビジネスフィールドリサーチⅡ | 本講座ではビジネスフィールドリサーチⅠの後半と同様、本学が連携する企業から提示された事例に基づいて、課題解決を提案するプロセスを実習する。<br>ビジネスフィールドリサーチⅡでは、経営戦略や財務会計に加え、オペレーションやHRM、組織行動、法務など、実際の企業経営者やマネージャーが経営において日々直面する身近な課題を含むテーマを主に扱い、あわせてこれらの領域の理論やフレームワークについても適宜復習を行う。<br>実際の企業の事例に基づく分析・解決を目指し、担当者にプレゼンして評価されることを目指す。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、11 川上 慎市郎、24 各務 茂雄、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎)                                                                                                                                             | 共同 |

|        |    |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |    |        |      |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |    |
|--------|----|--------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|------|--------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトV | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトVでは通年プログラムとし、1～2年次のプログラムの中で得た気づきを元にして、学生自身が起業や新規事業開発などのイノベーション企画を考案し、自発的にチームを編成して取り組む。教員は各グループの企画案について適切な目標を設定するようにアドバイスし、またそのプロセスにおいて課題発見やプロダクト開発、学外の専門家や連携企業などパートナーの紹介、事業化に向けた資金調達などに関し、必要に応じてメンタリングを行う。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | イノベーションプロジェクトV | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトVでは通年プログラムとし、1～2年次のプログラムの中で得た気づきを元にして、学生自身が起業や新規事業開発などのイノベーション企画を考案し、自発的にチームを編成して取り組む。教員は各グループの企画案について適切な目標を設定するようにアドバイスし、またそのプロセスにおいて課題発見やプロダクト開発、学外の専門家や連携企業などパートナーの紹介、事業化に向けた資金調達などに関し、必要に応じてメンタリングを行う。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同 |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | インターンシップI      | インターンシップIでは、企業活動の場での課題発見、解決を通して、主にシステム開発を行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、イノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。具体的には、インターンシップ先で担う業務の意義や役割を理解したうえで、システム開発の作業の一工程を担う。担当する業務についての計画を立てるとともに、実際の状況に応じながら、指導者のフィードバックのもと、業務の完了を目指す。一連の実務を通じ、システム開発の実務の理解、必要なスキルや能力を養う。<br><br>共同<br>(5 山内 正人、6 久米 信行、8 井澤 哲也、11 富澤 豊、14 加藤 直人)                               | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | インターンシップI      | インターンシップIでは、企業活動の場での課題発見、解決を通して、主にシステム開発・保守を行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、プロデューサーやイノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。<br><br>共同<br>(5 山内 正人、6 久米 信行、8 井澤 哲也、13 富澤 豊、17 加藤 直人)                                                                                                                                                                      | 共同 |
| 職業専門科目 | 経営 | ビジネス実践 | インターンシップII     | インターンシップIIでは、インターンシップIを踏まえ、実践活動の場において、情報通信技術を活用した課題発見、解決を行い、主にビジネスの観点からマーケティングや企画提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、企画や起業につながる知識や技能を修得させる。<br>具体的には、指示された業務について、アンケートやインタビューなどの調査・分析を通じ、これまで習得した知識や技能を実践する。また、与えられた業務を推進するための調整や提案を行う。一連の業務を通じ実際の企業活動の中での実務の理解、必要なスキルや能力を養う。<br><br>共同<br>(5 山内 正人、6 久米 信行、8 井澤 哲也、11 富澤 豊、14 加藤 直人)          | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス | ビジネス実践 | インターンシップII     | インターンシップIIでは、インターンシップIを踏まえ、実践活動の場での課題発見、解決を通して、主にビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、プロデューサーやイノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。<br><br>共同<br>(5 山内 正人、6 久米 信行、8 井澤 哲也、13 富澤 豊、17 加藤 直人)                                                                                                                                                  | 共同 |

|        |        |            |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |
|--------|--------|------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 職業専門科目 | 経営     | ビジネス実践     | イノベーションプロジェクトVI | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトVIでは1～3年までのイノベーションプロジェクトでの取り組みの経験を生かし、自ら新しいイノベーションを企画して事業化に取り組むグループ、2～3年で関わりを持った外部の企業・団体との連携プロジェクトをさらに発展させるグループなどに分かれ、本学のイノベーションプロジェクトを進展させ、社会的成果に結びつけるための活動を行う。またあわせて、それらのプロセスを通じて学び・発見したことを個人としてレポートにまとめ、4年間の学習の総仕上げとする。<br><br>共同<br>(8 久米 信行、10 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 共同   |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | コンピュータとソフトウェア基礎 | コンピュータがどのような仕組みで動作するのか、基本的な考え方について利用シーンを意識しながら学ぶ。まず、コンピュータシステムの利用シーンの変遷について学ぶ。次に、伝統的なコンピュータを題材に、ハードウェア、ソフトウェアの両面から動作の仕組みを学ぶ。これには、コンピュータの命令構成、データの表現、メモリと計算の仕組みを含む。さらに、ネットワーク化されたコンピュータの活用事例とそれに伴う問題点の事例を通じて、コンピュータシステムの将来像を考える基礎とする。最後に実際の製品ソフトウェア開発の手順を照会することで、ここまで学んだ内容を実務と関連付ける。                                                                        | 基礎科目 |
| 職業専門科目 | 情報科学基礎 | 情報科学基礎     | コンピュータとソフトウェア基礎 | 3～5人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトVIでは1～3年までのイノベーションプロジェクトでの取り組みの経験を生かし、自ら新しいイノベーションを企画して事業化に取り組むグループ、2～3年で関わりを持った外部の企業・団体との連携プロジェクトをさらに発展させるグループなどに分かれ、本学のイノベーションプロジェクトを進展させ、社会的成果に結びつけるための活動を行う。またあわせて、それらのプロセスを通じて学び・発見したことを個人としてレポートにまとめ、4年間の学習の総仕上げとする。<br><br>共同<br>(6 久米 信行、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、26 乗浜 誠二、27 松村 太郎) | 一    |

|        |        |            |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
|--------|--------|------------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | プログラミング I    | ICT 技術を用いて、プログラククトやサービスにイノベーションを起こすためには、コンピュータに問題解決の手順を教えるための言葉であるプログラム言語の習得は必要不可欠である。実習では、近年幅広く使われている Java を対象にして、オブジェクト指向プログラミングの理論をもとに、プログラミング言語によりソフトウェアをどのように作成するのかという基本と、問題を解決するためのアルゴリズムの概念と実装の基礎について理解する。具体的には変数の表示・計算、条件分岐、制御構造、配列、クラスなどを学習しながら、これらを用いた簡単なプログラムを記述できることを目標とする。プログラミングの基礎的な考え方を学ぶとともに、最終的には、簡単なプログラムを自分で書けるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。  |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | データ構造と処理法    | プログラムを作成する上で基本となるデータ構造と処理の基本的な流れ（アルゴリズム）について学習する。内容を解説するとともに、学習する項目毎に課題を設定し、実習形式で実際にデータ処理を行いながら学習する。選択するデータ構造と処理方法によって、同じ結果を得るための所要時間等が異なることを体験的に修得する。はじめに、文字列アルゴリズムおよび整列アルゴリズムを具体例として取り上げ、同一のタスクであってもアルゴリズムによって性能等に違いが生じる事を実習により確認し、アルゴリズムの重要性を学ぶ。その後、基本的なデータ構造（キュー、スタック、木構造など）およびその操作方法（挿入、削除など）について説明し、その特性を実習により確認する。さらにはネットワーク制御など実際の課題でも用いられる最短経路問題および最小全域木問題を取り上げ、それに対するアルゴリズムについて学ぶ。 |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | オペレーティングシステム | 情報システムの形成に必要なオペレーティングシステムの役割、基本的概念および実現方式を理解する。実際に PC を利用し、CUI での操作を修得する。基本的な概念を説明した後、実機演習を通じて操作を学ぶ。具体的にはコマンドを用いた操作、OS 操作や管理、簡単なプログラムを用いたプロセスの自動化などを演習形式で行う。オペレーティングシステムの技術や知識の習得を通じて、コンピュータシステムの動作原理に対する理解を深める。                                                                                                                                                                             |  |
| 職業専門科目 | 情報科学基礎 | 情報科学基礎     | プログラミング I    | ICT 技術を用いて、プログラククトやサービスにイノベーションを起こすためには、コンピュータに問題解決の手順を教えるための言葉であるプログラム言語の習得は必要不可欠である。実習では、近年幅広く使われている Java を対象にして、オブジェクト指向プログラミングの理論をもとに、プログラミング言語によりソフトウェアをどのように作成するのかという基本と、問題を解決するためのアルゴリズムの概念と実装の基礎について理解する。具体的には変数の表示・計算、条件分岐、制御構造、配列、クラスなどを学習しながら、これらを用いた簡単なプログラムを記述できることを目標とする。プログラミングの基礎的な考え方を学ぶとともに、最終的には、簡単なプログラムを自分で書けるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に付ける。  |  |
| 職業専門科目 | 情報科学基礎 | 情報科学基礎     | データ構造と処理法    | プログラムを作成する上で基本となるデータ構造と処理の基本的な流れ（アルゴリズム）について学習する。内容を解説するとともに、学習する項目毎に課題を設定し、実習形式で実際にデータ処理を行いながら学習する。選択するデータ構造と処理方法によって、同じ結果を得るための所要時間等が異なることを体験的に修得する。はじめに、文字列アルゴリズムおよび整列アルゴリズムを具体例として取り上げ、同一のタスクであってもアルゴリズムによって性能等に違いが生じる事を実習により確認し、アルゴリズムの重要性を学ぶ。その後、基本的なデータ構造（キュー、スタック、木構造など）およびその操作方法（挿入、削除など）について説明し、その特性を実習により確認する。さらにはネットワーク制御など実際の課題でも用いられる最短経路問題および最小全域木問題を取り上げ、それに対するアルゴリズムについて学ぶ。 |  |
| 職業専門科目 | 情報科学基礎 | 情報科学基礎     | オペレーティングシステム | 情報システムの形成に必要なオペレーティングシステムの役割、基本的概念および実現方式を理解する。実際に PC を利用し、CUI での操作を修得する。基本的な概念を説明した後、実機演習を通じて操作を学ぶ。具体的にはコマンドを用いた操作、OS 操作や管理、簡単なプログラムを用いたプロセスの自動化などを演習形式で行う。オペレーティングシステムの技術や知識の習得を通じて、コンピュータシステムの動作原理に対する理解を深める。                                                                                                                                                                             |  |

|        |        |               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
|--------|--------|---------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎    | プログラミングⅡ      | 本講義では、プログラミングⅠに引き続き Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解する。さらに、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も行う。システム開発の基礎となるプログラミングのさらなる活用を学び、簡単なシステムを構築できるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に着ける。                                                                                                   | 共同 |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎    | ネットワーク技術      | 現在多くのシステムがインターネットに繋がり、コンピュータネットワークは社会システムの基盤として動作している。本講義ではその根幹となる情報通信技術の基礎についてコンピュータネットワークの歴史や成り立ち、発展の経緯から通信をする上で重要となる標準化とその方法、階層化と各階層におけるプロトコル、LAN の基礎、ネットワークサービス、ネットワークセキュリティの基礎、最新技術動向など幅広く解説し、インターネットがどのように構成され、動作するかを理解する。また現在インターネットで広く使用されている IPv4 のみならず、今後広く使われていくと考えられる IPv6 についても解説し、社会に出て役立つネットワーク技術について体系的に解説する。<br><br>共同<br>(4 Adrian David Cheok、5 山内 正人) | 共同 |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎    | コンピュータアーキテクチャ | コンピュータハードウェアのコンポーネントの構造と振る舞い、およびプログラムが動作するために、コンポーネントがどのように相互作用するかを学ぶ。システムの安定動作、プログラムの正確な動作を担保するための方式に重点を置く。また、主要コンポーネントである CPU 内の命令セットアーキテクチャについて、汎用コンピュータの事例を学んだ後、スーパーコンピュータがどのように高速実行を行うかについて深く検討する。ソフトウェアの動作と関連させながら学ぶことによって、プログラムを高速化させる方法を理解することができる。                                                                                                               |    |
| 職業専門科目 | ICT    | システムデザイン      | プログラミングⅡ      | 本講義では、プログラミングⅠに引き続き Java の特徴的機能である、ネットワーク、マルチスレッドなどを利用する技法を理解する。さらに、開発するソフトウェアシステムの要求仕様書に基づいて、統合開発環境を活用してソフトウェアアーキテクチャの設計とプログラム開発、統合テストを実施する。プログラムやテストに関する仕様の文書化も行う。システム開発の基礎となるプログラミングのさらなる活用を学び、簡単なシステムを構築できるようになることで、ICT の技術を活用しサービスやビジネスをイノベーションするための基礎的なスキルを身に着ける。                                                                                                   | 共同 |
| 職業専門科目 | ICT    | システムデザイン      | ネットワーク技術      | 現在多くのシステムがインターネットに繋がり、コンピュータネットワークは社会システムの基盤として動作している。本講義ではその根幹となる情報通信技術の基礎についてコンピュータネットワークの歴史や成り立ち、発展の経緯から通信をする上で重要となる標準化とその方法、階層化と各階層におけるプロトコル、LAN の基礎、ネットワークサービス、ネットワークセキュリティの基礎、最新技術動向など幅広く解説し、インターネットがどのように構成され、動作するかを理解する。また現在インターネットで広く使用されている IPv4 のみならず、今後広く使われていくと考えられる IPv6 についても解説し、社会に出て役立つネットワーク技術について体系的に解説する。<br><br>共同<br>(3 Adrian David Cheok、5 山内 正人) | 共同 |
| 基礎科目   | 情報科学基礎 | コンピュータアーキテクチャ | コンピュータアーキテクチャ | コンピュータハードウェアのコンポーネントの構造と振る舞い、およびプログラムが動作するために、コンポーネントがどのように相互作用するかを学ぶ。システムの安定動作、プログラムの正確な動作を担保するための方式に重点を置く。また、主要コンポーネントである CPU 内の命令セットアーキテクチャについて、汎用コンピュータの事例を学んだ後、スーパーコンピュータがどのように高速実行を行うかについて深く検討する。ソフトウェアの動作と関連させながら学ぶことによって、プログラムを高速化させる方法を理解することができる。                                                                                                               |    |

|        |        |            |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |        |     |          |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
|--------|--------|------------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|----------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | ソフトウェア設計・構築 | <p>実用的なソフトウェア・システムやソフトウェア製品を開発するために必要となる開発プロセスや開発技術（分析、設計、検証）に関する基礎知識と実践的なプロジェクトマネジメント手法を学ぶ。また、ソフトウェア設計の代表的なモデリング手法である UML (Unified Modeling Language) を演習形式で理解する。これらの学習を通じ、ソフトウェアの設計や構築の基本的な技能と知識を習得するとともに、自らがソフトウェアやそれを使用するサービスを設計する際に協同者に対し、仕様や要件を適切に依頼できるようになることを目指す。</p>                                                                                                   |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | ソフトウェア設計・構築 | <p>実用的なソフトウェア・システムやソフトウェア製品を開発するために必要となる開発プロセスや開発技術（分析、設計、検証）に関する基礎知識と実践的なプロジェクトマネジメント手法を学ぶ。また、ソフトウェア設計の代表的なモデリング手法である UML (Unified Modeling Language) を演習形式で理解する。これらの学習を通じ、ソフトウェアの設計や構築の基本的な技能と知識を習得するとともに、自らがソフトウェアやそれを使用するサービスを設計する際に協同者に対し、仕様や要件を適切に依頼できるようになることを目指す。</p>                                                                                                   |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | データベース      | <p>ソフトウェアシステムを構築する上で欠かせないデータベース (DBMS, リレーショナル DB, オブジェクト指向 DB, エンティティ, オブジェクト, データモデル, 概念モデリング, 正規化, SQL, 情報検索) について学習する。データベースに関する一通りの知識を講義により学ぶとともに、基本的な操作および設計を体験し知識を活用する実践力を体得する。前半では、データベースの基本について、仕組み・構成要素・基本的機能から、設計の仕方、トランザクション処理・同時実行制御、障害復旧などを講義にて学ぶ。後半においては、SQL 問い合わせ、トランザクション処理・同時実行制御、設計・正規化などについて演習を通じて習得する。その後、NoSQL などの最近のデータベースおよび将来に向けたデータベースの重要性について学ぶ。</p> |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | データベース      | <p>ソフトウェアシステムを構築する上で欠かせないデータベース (DBMS, リレーショナル DB, オブジェクト指向 DB, エンティティ, オブジェクト, データモデル, 概念モデリング, 正規化, SQL, 情報検索) について学習する。データベースに関する一通りの知識を講義により学ぶとともに、基本的な操作および設計を体験し知識を活用する実践力を体得する。前半では、データベースの基本について、仕組み・構成要素・基本的機能から、設計の仕方、トランザクション処理・同時実行制御、障害復旧などを講義にて学ぶ。後半においては、SQL 問い合わせ、トランザクション処理・同時実行制御、設計・正規化などについて演習を通じて習得する。その後、NoSQL などの最近のデータベースおよび将来に向けたデータベースの重要性について学ぶ。</p> |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | モバイルサービス概論  | <p>ICT とは、“<u>Information Communications Technology</u>” の略で、<u>情報通信技術全般を指すものであり、人と人だけでなく、“人”と“モノ”をつなげる（コミュニケーションする）</u>様々なサービスに関与している。本講義では、<u>社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった“ケータイ”に着目し、人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われている ICT のコア技術を俯瞰する。そして、サービスシステムを実現するために、これらのコア技術がなぜ使われているのかを“アプリケーションの利用環境条件”や“サービス提供上の制約条件”の観点から技術を考察すること</u>で、<u>各技術の特性の違いを定性的に理解する。</u></p>              |  |        |     |          | (追加)        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |

|        |        |            |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |        |     |          |          |                                                                                                                                                                                                                                                |  |  |
|--------|--------|------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|----------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | 情報系数学応用 A | <p>本科目では微分方程式や最適化法を中心として、各産業分野で利用される代表的な手法の原理や特徴を理解すると共に、これらの手法を実世界の問題に活用する力を習得することを目標とする。微分方程式は、自然現象や物理現象を特徴付けをして記述することができ、これを解くことにより、これらの現象の解析や将来の挙動を予測が可能となる。このため数値計算と合わせて、より多くの実世界の課題が解けるように講義する。また、最適化法は、製品設計、流通計画から高度な画像・音声認識処理に至るまで多くの分野で活用されることから、これらの導入にもなるよう講義する。本科目を通じ、これらの手法の原理や特徴を理解すると共に、実世界の課題を解く力を養う。</p> |  |        |     |          | (追加)     |                                                                                                                                                                                                                                                |  |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | 情報技術演習 I  | <p>ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワークシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワークシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュー、基本動作検証、プロジェクト管理までの演習を行う。</p>                                                                                                                                           |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | 情報技術演習 I | <p>ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした情報ネットワークシステムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、より実践的なスキルを習得する。また、与えられた情報ネットワークシステムの例題に対して、ユーザインタフェース設計書を作成し、デザインレビュー、基本動作検証、プロジェクト管理までの演習を行う。</p>                                                                |  |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | システム設計演習  | <p>企業活動における販売管理、生産管理、会計の管理システム、または我々の社会生活に広く浸透している SNS まで、情報システムは、私達が暮らす社会では欠かすことができない重要なものとなっている。情報システムがどのように作られているか、その設計を理解することは、将来、設計者の立場であっても、利用者の立場であっても役立つ知識となる。この講義では、社会における情報システムの重要性を理解し、講義や演習を通じて情報システム設計に関わる際に必要な知識を得ることを目的とする。</p>                                                                            |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | システム設計演習 | <p>企業活動における販売管理、生産管理、会計の管理システム、または我々の社会生活に広く浸透している SNS まで、情報システムは、私達が暮らす社会では欠かすことができない重要なものとなっている。情報システムがどのように作られているか、その設計を理解することは、将来、設計者の立場であっても、利用者の立場であっても役立つ知識となる。この講義では、社会における情報システムの重要性を理解し、講義や演習を通じて情報システム設計に関わる際に必要な知識を得ることを目的とする。</p> |  |  |

|        |        |            |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                             |      |        |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                       |
|--------|--------|------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------|--------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | データサイエンス  | データサイエンスとは、ビッグデータの背後に隠れている意味のある情報を抽出する手法を指すものであり、画像データやセンサデータ（時系列データ）を対象としたパターン認識やデータマイニングの分野で幅広く利用されている。本講義では、一般的な数値データや画像データならびに時系列データ（音声データやセンサデータ）を例として取り上げ、それぞれのデータの特徴を理解するとともに、分析や活用する方法を理解する。これにより“実応用の場面で使いこなす観点”からデータ解析手法を学修する。実際のサービス応用事例の中で何の目的のためにどのように適用されているかという観点から各技術の特徴を理解する。また、簡単な実例をプログラミング (MATLAB) 等でサンプルに基づき実習することで、各技術の概要や特徴を体感しながら理解を深める。 | 共同<br>(4) Adrian David Cheok、<br>(12) 磯 俊樹) | 基礎科目 | 情報科学基礎 | データサイエンス | データサイエンスとは、ビッグデータの背後に隠れている意味のある情報を抽出する手法を指すものであり、画像データやセンサデータ（時系列データ）を対象としたパターン認識やデータマイニングの分野で幅広く利用されている。本講義では、一般的な数値データや画像データ、ならびに時系列データ（音声データやセンサデータ）を例として取り上げ、“実応用の場面で使いこなす観点”からデータ解析手法を学修する。すなわち、実際のサービス応用事例中で何の目的のためにどのように適用されているかという観点から各技術の特徴を理解する。また、簡単な実例をプログラミング (MATLAB) 等で実習することで、各技術の概要や特徴を体感しながら理解を深める。 | 共同<br>(3) Adrian David Cheok、15 磯 俊樹) |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | 情報系数学応用 B | 本科目では、数理論理学や計算理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。各理論／概念については具体的な応用先の例もあわせて学ぶことで、理解をより深いものとする。ソフトウェアを形式的に特徴づけたり解析するためには、計算や論理に関する知識が不可欠である。具体的には、集合・論理・関係・写像・代数系・数え上げ・グラフ理論についてその入門的な内容（用語・定義・記法、基本的概念・原理、応用先の例など）を順次学ぶことで、論理的、数理的に課題解決へのアプローチができるようになることを目指す。                                                                                            |                                             |      |        | (追加)     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                       |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン基礎 | 情報系数学応用 C | 本科目では、離散数学や情報理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。前半では、離散数学の中の一分野である代数学およびグラフ理論について取り上げ、公開鍵暗号やネットワーク解析などの実課題に適用されている手法の原理を学ぶ。後半は情報理論の基礎として、情報量・符号理論などの基礎的内容を理解するとともに、その理論が実際に適用されている事例について学ぶ。授業全体として、例題とその解説によって理解を深めるとともに、各種の課題を ICT／情報システムにより解決する場合に求められる数理的考え方や応用力を修練する。なお、本科目の履修に当たっては、「数学基礎 C」および「情報系数学応用 B」を履修していることが望ましい。                           |                                             |      |        | (追加)     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                       |



|        |        |            |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |        |     |          |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
|--------|--------|------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|----------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | Web システム演習        | 本授業では Web 上統合的システムを構築するための知識とスキルの習得を行う。『プログラミング I・II』や『ネットワーク技術』で習得した知識やスキルは、Web や Android 上でのアプリケーション開発や Web 上で使用する様々な業務システムの開発につながるものである。授業内では大規模な Web 統合システムの統合のプロセスを題材に、Web システムの設計、開発を演習形式で行う。授業内での演習を通じ、自分が実現したいサービスを形にする力を養う。                                                                                                                             |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | Web システム演習        | 本授業では Web 上統合的システムを構築するための知識とスキルの習得を行う。『プログラミング I・II』や『ネットワーク技術』で習得した知識やスキルは、Web や Andoroid 上でのアプリケーション開発や Web 上で使用する様々な業務システムの開発につながるものである。授業内では大規模な Web 統合システムの統合のプロセスを題材に、Web システムの設計、開発を演習形式で行う。授業内での演習を通じ、自分が実現したいサービスを形にする力を養う。                                                                                                                            |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | インタラクティブ・システムデザイン | スマートフォンや PC などにインストールされたアプリケーションを、ユーザが操作し、コンピュータが応答する。その応答に対してまたユーザが操作を行う（インタラクティブ・システム）。よいアプリケーションは、この相互のやり取りが優れているアプリケーションである。ユーザは違和感無く操作を始めることができ、自然に操作に習熟して、効率よく自分の目的を達成することができるようになる。ユーザとコンピュータの間の優れたやり取りは、設計と実装によって実現される。開発されたアプリケーションは、テスト・評価され、結果は次のバージョンに反映される。設計・実装・評価の一連の活動は、適切に計画されている必要がある。本講では、ユーザと相互にやりとりするシステムの計画・設計・実装・評価のための知識と技法を、実習を通じて学習する。 |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | インタラクティブ・システムデザイン | スマートフォンや PC などにインストールされたアプリケーションを、ユーザが操作し、コンピュータが応答する。その応答に対してまたユーザが操作を行う（インタラクティブ・システム）。よいアプリケーションは、この相互のやり取りが優れているアプリケーションである。ユーザは違和感無く操作を始めることができ、自然に操作に習熟して、効率よく自分の目的を達成することができるようになる。ユーザとコンピュータの間の優れたやり取りは、設計と実装によって実現される。開発されたアプリケーションは、テスト・評価され、結果は次のバージョンに反映される。設計・実装・評価の一連の活動は、適切に計画されている必要がある。本講では、ユーザと相互にやりとりするシステムの計画・設計・実装・評価のための知識と技法を、実習を通じて学習する。 |  |

|        |        |            |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |        |     |          |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|--------|--------|------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | 情報システムプロジェクト管理 | 前半は、プロジェクトマネジメントの国際標準およびディファクトスタンダードの知識体系である「PMBOK (Project Management Body of Knowledge)」を構成する 10 スキルの概要を学び、プロジェクト管理の基礎を理解する。後半では、実務につながるように、実質的なプロジェクト計画やマネジメントの方法を理解するため、ソフトウェアの開発～テスト～リリースまでの一連の流れにおける、開発工程とテスト工程の対応関係を表したモデルである「V 字モデル」や、対応するプロジェクトフェーズ双方の関連性を確保するために考えだされた「トレーサビリティ・マトリクス」を学び理解を深める。また理論に止まらず、個人特性に基づいたチームビルディング手法やチーム力アップに不可欠なモチベーションアップ手法/ビジネスコミュニケーション等、実際の現場で必ず必要となる実践力を学ぶ。加えて履修生自身の身近なスケジュール例を WBS (Work Breakdown Structure) 化するなどを通して、どのような場面でもプロジェクト管理が有用であることを理解する。 |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | 情報システムプロジェクト管理 | 前半は、プロジェクトマネジメントの国際標準およびディファクトスタンダードの知識体系である「PMBOK (Project Management Body of Knowledge)」を構成する 10 スキルの概要を学び、プロジェクト管理の基礎を理解する。後半では、実務につながるように、実質的なプロジェクト計画やマネジメントの方法を理解するため、ソフトウェアの開発～テスト～リリースまでの一連の流れにおける、開発工程とテスト工程の対応関係を表したモデルである「V 字モデル」や、対応するプロジェクトフェーズ双方の関連性を確保するために考えだされた「トレーサビリティ・マトリクス」を学び理解を深める。また理論に止まらず、個人特性に基づいたチームビルディング手法やチーム力アップに不可欠なモチベーションアップ手法/ビジネスコミュニケーション等、実際の現場で必ず必要となる実践力を学ぶ。加えて履修生自身の身近なスケジュール例を WBS (Work Breakdown Structure) 化するなどを通して、どのような場面でもプロジェクト管理が有用であることを理解する。 |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | 情報技術演習Ⅱ        | 少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーク統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。                                                                                                                                                                                                                                     |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | 情報技術演習Ⅱ        | 少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たなサービス事例の企画立案、検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。ユーザアプリケーション及びサーバアプリケーションを実際に構築し、情報ネットワーク統合システムの基本的な動作検証までの演習を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られたサービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。                                                                                                                                                                                                                                     |  |

|        |        |            |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |        |     |          |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
|--------|--------|------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|----------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | ウロ品<br>ソフトと<br>ウェア質 | ソフトウェアライフサイクルの主要工程、進化と保守、ソフトウェア品質の概念、および、ソフトウェアプロセスの概念とその改善手法を学ぶ。具体的には、ソフトウェアのもつ独特の性質、ソフトウェア開発のライフサイクルモデル、および、品質の概念についてソフトウェア工学、および、ソフトウェア開発の発展の歴史を通して学ぶ。歴史や概念をはっきりと定義した上で、ソフトウェア品質に関する現行規格に対して理解を深め、実例・例題、さらには、現場・現在の問題を通じてソフトウェア品質保証の技法を生きたノウハウにしていく（客観的事実、一般的見解と区別できる力を養う）。「測れないものは制御できない：DeMarco（1982）」という言葉のとおり計測はあらゆる管理の基本である。このため本講義では品質管理の技法についても学ぶ。                                                                                                                     |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | ウロ品<br>ソフトと<br>ウェア質 | ソフトウェアライフサイクルの主要工程、進化と保守、ソフトウェア品質の概念、および、ソフトウェアプロセスの概念とその改善手法を学ぶ。具体的には、ソフトウェアのもつ独特の性質、ソフトウェア開発のライフサイクルモデル、および、品質の概念についてソフトウェア工学、および、ソフトウェア開発の発展の歴史を通して学ぶ。歴史や概念をはっきりと定義した上で、ソフトウェア品質に関する現行規格に対して理解を深め、実例・例題、さらには、現場・現在の問題を通じてソフトウェア品質保証の技法を生きたノウハウにしていく（客観的事実、一般的見解と区別できる力を養う）。「測れないものは制御できない：DeMarco（1982）」という言葉のとおり計測はあらゆる管理の基本である。このため本講義では品質管理の技法についても学ぶ。                                                                                                                     |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | モデル化<br>と要求開<br>発   | ソフトウェア開発における開発対象のモデル化と要求仕様の作成についてUMLを通じて理解する。学習項目としては、モデル化の原則、モデルの種類、モデルの分析基礎、要求分析の基礎といった一連のモデル化技法と要求定義技法について学ぶ。<br>これまでの要求定義の目的は、顧客の要求を正確に理解し、それを設計者に伝えるための要求仕様書を作成することであった。しかし近年ソフトウェアを取り巻く環境は、ニーズの多様性と変動性、さらには短納期化という新たな問題への対応を要求定義に突きつけている。これらの新しい問題に対応するためには、これまでの要求工学の技術に加えて、ステークホルダの意図という視点にとどまらず、ニーズの発生場所であるビジネス環境そのものを理解し、そこで発生している問題を解決することが必要である。そこで本講義では、単に対象世界をモデル化するだけにとどまらず、その世界が抱えている問題を理解し解決する能力を養うために、経営工学、知識工学、民族学などの周辺領域を概観しながら実際の問題を解決するための論理的な思考体系もあわせて学ぶ。 |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | モデル化<br>と要求開<br>発   | ソフトウェア開発における開発対象のモデル化と要求仕様の作成についてUMLを通じて理解する。学習項目としては、モデル化の原則、モデルの種類、モデルの分析基礎、要求分析の基礎といった一連のモデル化技法と要求定義技法について学ぶ。<br>これまでの要求定義の目的は、顧客の要求を正確に理解し、それを設計者に伝えるための要求仕様書を作成することであった。しかし近年ソフトウェアを取り巻く環境は、ニーズの多様性と変動性、さらには短納期化という新たな問題への対応を要求定義に突きつけている。これらの新しい問題に対応するためには、これまでの要求工学の技術に加えて、ステークホルダの意図という視点にとどまらず、ニーズの発生場所であるビジネス環境そのものを理解し、そこで発生している問題を解決することが必要である。そこで本講義では、単に対象世界をモデル化するだけにとどまらず、その世界が抱えている問題を理解し解決する能力を養うために、経営工学、知識工学、民族学などの周辺領域を概観しながら実際の問題を解決するための論理的な思考体系もあわせて学ぶ。 |  |

|        |        |            |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |        |     |          |               |                                                                                                                                                                                                                        |        |
|--------|--------|------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|-----|----------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | システムインテグレーション | <p>情報システムを構築するサービスを行うにあたり、要件定義や設計、開発、保守運用を行うITコンサルティングの一連の流れを理解するとともに、失敗事例やリスク事例などを学ぶことで、情報システムを通じ、ビジネスに貢献していくことを目指す。</p> <p>前半では、過去の情報システムの失敗例や大規模障害事例などを通じ、成功のために何を注意しなければならないかについて学ぶ。また社会やビジネスモデルの変革に影響を与えた情報システム事例などを通じて、情報システムが社会に与える影響について学ぶ。後半では、ビジネスに役立つITシステムを導入するために発注者側と受注者側が何をすべきか理解する。実践的なプロジェクトマネジメント体系を用いて、経営に役立つITシステムを企画・計画し、プロジェクトの実践を通して、成功に導いていく方法について学んでいく。</p> <p>情報システムの導入、活用、改善に向けて、発注者側と受注者側の双方にメリットを生み出しビジネスに貢献していくことを目指す。</p> <p>共同<br/>(7 平山 敏弘、18 桐谷 恵介)</p> | 共同 | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | システムインテグレーション | <p>ビジネスに役立つITシステムを導入するために発注者側と受注者側が何をすべきか理解する。実践的なプロジェクトマネジメント体系を用いて、経営に役立つITシステムを企画し、計画し、プロジェクトを実践し、成功に導いていく方法について学んでいく。プロジェクトマネジメントのスキームモデル、プロジェクトライフサイクル等を理解してITプロジェクトが発注者側と受注者側の双方にメリットを生み出しビジネスに貢献していくことを目指す。</p> |        |
|        |        |            | クラウド          | <p>近年のシステム開発の現場では、一般にクラウド技術が利用されるようになってきた。本講では、クラウドに関する基本的な知識を修得する。また、大手クラウドサービス事業者のサービスを実際に利用・操作して、その基本スキルを学び、システムの実装を行う。具体的には、クラウドの分類、ネットワーク構成、クラウドサーバー・ストレージ・データベースの管理や運用、セキュリティ、負荷分散技術などについて、各テーマごとに知識の習得と演習を行い、スキルを習得する。あわせて、発展・機能追加の早い分野であることから、新たな技術動向についても適宜解説し、クラウド上で実現されている機能の利用やクラウドの果たす役割や可能性について考え、実装できるようになる。</p>                                                                                                                                                           |    |        |     |          | 職業専門科目        | ビジネス                                                                                                                                                                                                                   | ビジネス応用 |

|        |        |            |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                      |
|--------|--------|------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | ビッグデータ | 近年、コンピュータ、センサー、機器類が生成するデータの種類、量が爆発的に増大しており、今までのデータ管理ツールでは取り扱うことが困難な規模のデータ（ビッグデータ）になっている。こうしたビッグデータに潜む解析対象（人の行動、環境、社会現象）の傾向や異種データ間の関係性を洗い出すことにより、従来では発見できなかった知見を見出し、新たな学問領域やビジネスを開拓できる可能性がある。本授業では、こうしたビッグデータ解析に関する基本的な知識や解析技術等を修得する。また、実践例として分散処理システム（Hadoop）やビッグデータ処理 API（BigQuery）などを活用して、実際のビッグデータの処理・解析方法を演習を通して学修し、新しい知見を発見する力を養う。                                                                         | 共同<br>(17 加藤 直人、20 落合 慶広)            |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | IoT    | <u>IoT (Internet of Things)</u> は身近なものをインターネットとつなげ、新たなサービスやシステムを生み出す仕組みを指す。 <u>IoT</u> を通じ、新たなサービスやシステムを生み出すためには、データベース、ネットワーク、ソフトウェアなど、本学で学ぶ情報通信技術に関する様々な知識とスキルが必要となる。本科目では、ユーザーアプリケーションからサービスシステムまでを対象とした <u>IoT</u> システムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、 <u>IoT</u> に関する基本的なスキルを習得する。国際標準に準拠した <u>IoT</u> システムを構築するための、組み込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法について理解し、与えられた要求条件を満たすための、 <u>IoT</u> システムの構築について演習を行う。 | 共同<br>(4 Adrian David Cheok、15 鎌谷 修) |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | IoT I  | ユーザーアプリケーションからサービスシステムまでを対象とした <u>IoT</u> システムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、先端スキルを習得する。国際標準に準拠した <u>IoT</u> システムを構築するための、組み込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法について理解し、与えられた要求条件を満たすための、 <u>IoT</u> システムの構築について演習を行う。                                                                                                                                                                                                | 共同<br>(3 Adrian David Cheok、18 鎌谷 修) |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | ビッグデータ | 近年、コンピュータ、センサー、機器類が生成するデータの種類、量が爆発的に増大しており、今までのデータ管理ツールでは取り扱うことが困難な規模のデータ（ビッグデータ）になっている。こうしたビッグデータに潜む解析対象（人の行動、環境、社会現象）の傾向や異種データ間の関係性を洗い出すことにより、従来では発見できなかった知見を見出し、新たな学問領域やビジネスを開拓できる可能性がある。本授業では、こうしたビッグデータ解析に関する基本的な知識や解析技術等を修得する。また、実践例として分散処理システム（Hadoop）やビッグデータ処理 API（BigQuery）などを活用して、実際のビッグデータの処理・解析方法を演習を通して学修し、新しい知見を発見する力を養う。                                                                         | 共同<br>(17 加藤 直人、20 落合 慶広)            |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | IoT I  | ユーザーアプリケーションからサービスシステムまでを対象とした <u>IoT</u> システムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、先端スキルを習得する。国際標準に準拠した <u>IoT</u> システムを構築するための、組み込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法について理解し、与えられた要求条件を満たすための、 <u>IoT</u> システムの構築について演習を行う。                                                                                                                                                                                                | 共同<br>(3 Adrian David Cheok、18 鎌谷 修) |

|        |        |            |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |        |        |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |
|--------|--------|------------|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|--------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | スーパーコンピュータ | スーパーコンピュータシステムの構成（アーキテクチャ）と活用についての二つの課題について考える。スーパーコンピュータは主として科学技術計算用途に活用される、高速計算が可能なコンピュータであり、「同時代のコンピュータに比べてはるかに高速」なコンピュータというあいまいな定義が与えられている。実現に当たっては計算を並列に実行することで高性能を引き出すアーキテクチャが一般的である。第一の課題はこの並列演算の方式である。ただし、単に高速計算ができて、実際に、人の生活に貢献できる用途が与えられなければ無益である。第二の課題はスーパーコンピュータを活用するプログラム開発の手法となる。                                                       |    | 職業専門科目 | ICT    | システムデザイン | スーパーコンピュータ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | スーパーコンピュータシステムの構成（アーキテクチャ）と活用についての二つの課題について考える。スーパーコンピュータは主として科学技術計算用途に活用される、高速計算が可能なコンピュータであり、「同時代のコンピュータに比べてはるかに高速」なコンピュータというあいまいな定義が与えられている。実現に当たっては計算を並列に実行することで高性能を引き出すアーキテクチャが一般的である。第一の課題はこの並列演算の方式である。ただし、単に高速計算ができて、実際に、人の生活に貢献できる用途が与えられなければ無益である。第二の課題はスーパーコンピュータを活用するプログラム開発の手法となる。                                                       |    |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | システムデザイン応用 | A I        | 人工知能で良く用いられるニューラルネット（脳のモデル）の基本的特徴と理解し、産業応用するための実用化技術の取得、及び、応用力を養うことを目的とする。各応用分野で良く利用されるニューラルネットの構造や学習機能等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用時の問題点、及び、これを解決するために欠かせない実用化技術の知識を修得する。また、実課題への応用力を養う為に、大手ITベンダー等が公開している人工知能関連の各種のAPI、ツール等を活用して、簡単な実課題を解くためのアプリケーションを制作する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方から、実課題における検証方法まで、幅広い観点からの応用力を養う。<br><br>共同<br>(4 Adrian David Cheok、17 落合 慶広) | 共同 | 職業専門科目 | ビジネス   | ビジネス応用   | A I                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 人工知能で良く用いられるニューラルネット（脳のモデル）の基本的特徴と理解し、産業応用するための実用化技術の取得、及び、応用力を養うことを目的とする。各応用分野で良く利用されるニューラルネットの構造や学習機能等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用時の問題点、及び、これを解決するために欠かせない実用化技術の知識を修得する。また、実課題への応用力を養う為に、大手ITベンダー等が公開している人工知能関連の各種のAPI、ツール等を活用して、簡単な実課題を解くためのアプリケーションを制作する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方から、実課題における検証方法まで、幅広い観点からの応用力を養う。<br><br>共同<br>(3 Adrian David Cheok、20 落合 慶広) | 共同 |
|        |        | (削除)       |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    | 基礎科目   | 情報科学基礎 | ICTリテラシー | PCやPC上で動作するソフトウェアについて、基本的な操作を習得する。講義による基本的な概念の説明の後、演習課題に取り組む。PC上で行う個人の操作の他、グループワークを行うことで、成果物作成のノウハウを学び、また情報共有の手法を体験する。具体的には、OSの基本操作として、PCの起動・終了、フォルダ操作・ファイル操作、エディタによるテキストファイルの編集、ソフトウェアのインストール等を習得する。また、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを用いて書類・資料の作成を行えるようになる。その他、グループ作業を促進するためのツール（メールソフト、グループウェア、プロジェクト管理ツール、作図ツール等）の基本操作を身に付ける。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |

|  |  |      |  |  |      |   |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--|--|------|--|--|------|---|--------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | (削除) |  |  | 基礎科目 | 一 | 情報科学基礎 | 離散数学 I          | ソフトウェアを形式的に特徴づけたり解析するためには、計算や論理に関する知識が不可欠である。本講義では、論理学や計算理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。各理論／概念については具体的な応用先の例もあわせて学ぶことで、理解をより深いものとする。具体的には、集合・論理・関係・写像・代数系・数え上げ・グラフ理論についてその入門的な内容（用語・定義・記法、基本的概念・原理、応用先の例など）を順次学ぶことで、論理的、数理的に課題解決へのアプローチができるようになることを目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|  |  | (削除) |  |  | 基礎科目 | 一 | 情報科学基礎 | モバイルコンピューティング I | ICT とは、” Information Communications Technology ” の略で、情報通信技術全般を指すものであり、人と人だけでなく、“人”と“モノ”をつなげる（コミュニケーションする）様々なサービスに関与している。特に近年においては、ICT 分野の中でも特に情報通信インフラの充実や携帯情報端末技術の発展に伴い、ユーザがコンピュータやそれに類する端末、アプリケーションを持ちあるく、モバイルコンピューティング分野の成長が著しい。そこで本講義では、ICT の中でも特に社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった”ケータイ”に着目し、人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われている ICT のコア技術を学修する。特に、なぜ、サービスシステムを実現するために、これらのコア技術が使われているのかを”アプリケーションの利用環境条件”や”サービス提供上の制約条件”の観点から考察することで、技術の本質を理解する。モバイルコンピューティング I では、人とモノをつなげる”現実世界から情報を獲得する”系サービスと、人と人をつなげる”自らの状態を知る”系サービスを例として、“ケータイ”に搭載された各種センサを用いたメディア処理やパターン認識技術に関する ICT のコア技術を理解する。 |

|  |  |      |  |  |      |   |        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--|--|------|--|--|------|---|--------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | (削除) |  |  | 基礎科目 | 一 | 情報科学基礎 | 離散数学Ⅱ          | 「離散数学Ⅰ」に引き続き、グラフ理論、代数学、数論、数え上げの基礎についてより掘り下げた内容を学ぶ。例題解説によって解法を身につけるとともに、各種の課題をICT／情報システムにより解決する場合に求められる数理的考え方を修練する。<br>代数学の基礎としてRSA公開鍵暗号の原理など、グラフ理論の基礎としてネットワーク制御をはじめとして様々な場面で用いられているグラフの探索や連結成分など、アルゴリズム／計算量理論の基礎としてNP完全性など、数え上げの基礎としてフィボナッチ数やカタラン数などを取り上げる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|  |  | (削除) |  |  | 基礎科目 | 一 | 情報科学基礎 | モバイルコンピューティングⅡ | ICTとは、”Information Communications Technology”の略で、情報通信技術全般を指すものであり、人と人だけでなく、“人”と“モノ”をつなげる（コミュニケーションする）様々なサービスに関与している。特に近年においては、ICT分野の中でも特に情報通信インフラの充実や携帯情報端末技術の発展に伴い、ユーザがコンピュータやそれに類する端末、アプリケーションを持ちあるく、モバイルコンピューティング分野の成長が著しい。そこで本講義では、ICTの中でも特に社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった”ケータイ”に着目し、人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われているICTのコア技術を学修する。特に、なぜ、サービスシステムを実現するために、これらのコア技術が使われているのかを”アプリケーションの利用環境条件”や”サービス提供上の制約条件”の観点から考察することで、技術の本質を理解する。<br>モバイルコンピューティングⅡでは、人と人をつなげるクラウド上の”集合知利用系サービス”と”モバイル端末の入出力インタフェース”を例として、ビッグデータからの知識獲得技術（データマイニング）やインタフェース技術に関するコア技術を修学する。さらには、今後のケータイのありべき姿についても議論する。 |



|  |  |      |  |  |        |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--|--|------|--|--|--------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  | (削除) |  |  | 基礎科目   | 情報科学基礎          | オペレーションズリサーチは課題解決や意思決定を行うために数理的・科学的にアプローチするための知識技術とその研究である。本授業では、製造・流通計画から高度な画像・音声認識処理に至るまで多くの分野で活用されている各種のオペレーションズリサーチの基本手法を理解すると共に、これを活用して問題を解く力を習得するとともに、社会問題をシンプルに整理し、ICTやビジネスの知識やスキルを用いて、アプローチし解決する方法を学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                                           |
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ビジネス<br>ビジネス応用  | フィンテック<br><br>金融 (Finance) と技術 (Technology) の造語である「FinTech (フィンテック)」について、その全体像および具体的なイノベーションやビジネスモデルについて解説する。<br>本授業で扱う FinTech とは、「デジタル化」という大きな技術変化の流れの金融産業における一つの現れであり、また既存の金融産業の構造を変化させるイノベーション群である。戦略論としての FinTech には、既存の金融産業の高度化という側面と、未知のベンチャー企業との競争と共存、さらに非金融機関による新規参入といった多様な論点が含まれている。これらの視点を踏まえた上で、そもそもの FinTech の発展経緯、成長過程を概観し、技術軸・時間軸によって FinTech の発展段階と、変わりゆく競争環境について概説する。あわせて金融産業特有の法律や規制などの課題や論点を整理し、諸外国での議論等を紹介しながら、日本の FinTech のあり方について検討、議論を通じて深めていきたい。 |
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ICT<br>システムデザイン | 開発マネジメント<br><br>ビジネス環境の変化が加速化する現在、非常設の目的達成型組織であるプロジェクトによる活動が増加している。本科目では、プロジェクトマネジメントの入門編として、プロジェクトという活動の特徴と、それをマネジメントする際の基礎的知識を体系的に学ぶ。後半では情報システム開発プロジェクトの特徴とマネジメントの勘所について事例を使いながら解説し、初歩的な情報システム開発のプロジェクト計画書が作成できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                 |

|  |  |      |  |  |        |     |          |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    |
|--|--|------|--|--|--------|-----|----------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | 情報システムの失敗と分析    | 情報システムは我々の生活を支える社会インフラの一部として存在するものとなっている。また企業においては以前の業務の効率化目的だけでなく、「攻めのICT」として経営戦略を支援するツールとして利活用されている。そのような今日、情報システムプロジェクトが成功裏にサービス開始できなかったり、サービス開始後に正しく動かない場合には、社会に大きな影響を与えたり、情報漏洩により市民生活を脅かすものとなる場合もある。またプロジェクトの失敗により数億単位での訴訟も発生するなど、当事者にとっては企業の存続を左右するケースもありえる。<br>当講義では、過去の情報システムの失敗例や大規模障害事例などを通じて、失敗の原因について深く洞察し、失敗から教訓を得ることで、成功のために何を注意しなければならないのかについて学ぶ。また失敗例だけでなく、教員自らが経験した社会やビジネスモデルの変革に影響を与えた情報システム事例などを通じて、情報システムの成功が、社会や一般市民に対して影響を与えると共に、そのような仕事ができる可能性がある職業であることの理解を深める。 |    |
|  |  | (削除) |  |  | 職業専門科目 | ICT | システムデザイン | シミュレーションによる問題分析 | 実ビジネスを進める上で必要となる経営企画、KPI管理、それに必要なシミュレーションを体験し、今後さらにこの領域を深く学ぼうと思ってもらうための科目である。先行指標と遅行指標を理解し、Excelを使った簡単な数値分析を行った後に、リアルビジネスのKPIや数値計画を立ててもらい、データを管理・可視化する基盤を作る体験をしたもちった後に、機械学習の入門やクラウドを使った数値分析を体験してもらう。それらを通じて得たスキルをベースに、リアルビジネスでシミュレーションをした提案を、チームを組んで発表してもらう。<br><br>共同<br>(3 Adrian David Cheok、<br>24 各務 茂雄)                                                                                                                                                                           | 共同 |

[illegible]

|        |        |              |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |        |     |              |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
|--------|--------|--------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------|-----|--------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | ネットワークセキュリティ | ネットワーク構築Ⅱ   | 小規模なネットワークにおけるルーティングプロトコルやネットワークサービス、トラブルシューティングについて演習形式で実践的に学ぶ。ルーティングプロトコルの動作について理解し、IPv4及びIPv6での設定を行うことでIPv4とIPv6の共通点及び相違点について学ぶ。またルーティングプロトコル以外にもIPv4アドレスの自動設定方法としてDHCPの設定を行い、IPv6アドレスの自動設定方法のStateless Address Auto Configuration(SLAAC)やDHCPv6との仕組みの違いなどについて考察する。またトラブルシューティングの方法について学ぶことで問題の切り分けを行い、ネットワーク管理者へ問題や挙動について正しく説明することが出来るようになる。 |  | 職業専門科目 | ICT | ネットワークセキュリティ | ネットワーク構築Ⅱ   | 小規模なネットワークにおけるルーティングプロトコルやネットワークサービス、トラブルシューティングについて演習形式で実践的に学ぶ。ルーティングプロトコルの動作について理解し、IPv4及びIPv6での設定を行うことでIPv4とIPv6の共通点及び相違点について学ぶ。またルーティングプロトコル以外にもIPv4アドレスの自動設定方法としてDHCPの設定を行い、IPv6アドレスの自動設定方法のStateless Address Auto Configuration(SLAAC)やDHCPv6との仕組みの違いなどについて考察する。またトラブルシューティングの方法について学ぶことで問題の切り分けを行い、ネットワーク管理者へ問題や挙動について正しく説明することが出来るようになる。 |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | ネットワークセキュリティ | 情報セキュリティ演習Ⅱ | 情報セキュリティマネジメントの視点より、企業で準備しなければならないセキュリティポリシーを学び、ビジネスにおける情報の価値を理解することにより、情報におけるリスクとは何かを考える。中盤以降では、学生では経験することが難しいリスク管理やセキュリティの運用・手法について、グローバル標準であるサイバーセキュリティフレームワーク(CSF)などを参考に、セキュリティインシデント発生時の役割や防御・復旧方法などを学ぶ。また独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)から毎年発表される「情報セキュリティ10大脅威」など最新セキュリティ状況を交えることでより理解を深める。                                                          |  | 職業専門科目 | ICT | ネットワークセキュリティ | 情報セキュリティ演習Ⅱ | 情報セキュリティマネジメントの視点より、企業で準備しなければならないセキュリティポリシーを学び、ビジネスにおける情報の価値を理解することにより、情報におけるリスクとは何かを考える。中盤以降では、学生では経験することが難しいリスク管理やセキュリティの運用・手法について、グローバル標準であるサイバーセキュリティフレームワーク(CSF)などを参考に、セキュリティインシデント発生時の役割や防御・復旧方法などを学ぶ。また独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)から毎年発表される「情報セキュリティ10大脅威」など最新セキュリティ状況を交えることでより理解を深める。                                                          |  |
| 職業専門科目 | 情報通信技術 | ネットワークセキュリティ | ネットワーク構築Ⅲ   | 小規模なネットワークにおけるスイッチドネットワーク、仮想的なLANセグメント、ネットワークの冗長化及びトラブルシューティングについて演習形式で実践的に学ぶ。ネットワーク機器であるスイッチの動作について理解し、LAN環境での冗長性、リンク集約、トラブルシューティングの方法について学ぶことで問題の切り分けを行うことが出来るようになる。具体的には仮想的なLANセグメント(VLAN)の概念やその設定、VLAN間ルーティング及びスパンニングツリープロトコル、ファストホップ冗長プロトコル、ゲートウェイロードバランシングプロトコル、リンクアグリゲーションの概要とその設定方法、トラブルシューティング方法について学ぶ。                                 |  | 職業専門科目 | ICT | ネットワークセキュリティ | ネットワーク構築Ⅲ   | 小規模なネットワークにおけるスイッチドネットワーク、仮想的なLANセグメント、ネットワークの冗長化及びトラブルシューティングについて演習形式で実践的に学ぶ。ネットワーク機器であるスイッチの動作について理解し、LAN環境での冗長性、リンク集約、トラブルシューティングの方法について学ぶことで問題の切り分けを行うことが出来るようになる。具体的には仮想的なLANセグメント(VLAN)の概念やその設定、VLAN間ルーティング及びスパンニングツリープロトコル、ファストホップ冗長プロトコル、ゲートウェイロードバランシングプロトコル、リンクアグリゲーションの概要とその設定方法、トラブルシューティング方法について学ぶ。                                 |  |

|  |  |  |      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|--|--|--|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
|  |  |  | (削除) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | </ |
|--|--|--|------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|

|      |                |   |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |      |                |   |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |
|------|----------------|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------|----------------|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | ビジネス英語実習Ⅱ | <p>ビジネスとICTを用いて、世界に变革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが必要であり、様々な価値観や文化的背景の違う人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーション、ディベート、ネゴシエーション、プレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行うことができることは重要である。</p> <p>ビジネス英語実習Ⅱでは会社や事業の紹介、使用説明や問い合わせ対応時に必要な用語や表現、日常会話ではなくビジネスの現場で使用する用語や表現と、それらを用いた説明時や会議時に必要な会話力や表現力を習得する。本授業終了時には、英語を用いて、説明書や仕様書を作成できると、ネイティブの方と英語を交えて会議ができることを目標とする。</p> <p>共同<br/>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広)</p>                                            | 共同 | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | ビジネス英語実習Ⅱ | <p>ビジネスとICTを用いて、世界に变革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが必要であり、様々な価値観や文化的背景の違う人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーション、ディベート、ネゴシエーション、プレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行うことができることは重要である。</p> <p>ビジネス英語実習Ⅱでは会社や事業の紹介、使用説明や問い合わせ対応時に必要な用語や表現、日常会話ではなくビジネスの現場で使用する用語や表現と、それらを用いた説明時や会議時に必要な会話力や表現力を習得する。本授業終了時には、英語を用いて、説明書や仕様書を作成できると、ネイティブの方と英語を交えて会議ができることを目標とする。</p> <p>共同<br/>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広)</p>                                            | 共同 |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | ビジネス英語実習Ⅲ | <p>ビジネスとICTを用いて、世界に变革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが必要であり、様々な価値観や文化的背景の違う人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーション、ディベート、ネゴシエーション、プレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行うことができることは重要である。</p> <p>ビジネス英語実習Ⅲでは、1年次の「ビジネス英語実習ⅠⅡ」を土台とし、ケーススタディを通じてビジネスやICTのトレンドを活かす力、英語でビジネスプランや新たな製品やサービスの提案を行うことができる力、英語で業務の指示や相談ができる力を身に付ける。授業の後半ではグローバル企業での1dayインターンシップや職業体験などを行う。本授業終了時にはビジネスの現場で滞りなく業務を遂行できる英語力を習得することを目指す。</p> <p>共同<br/>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広)</p> | 共同 | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | ビジネス英語実習Ⅲ | <p>ビジネスとICTを用いて、世界に变革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが必要であり、様々な価値観や文化的背景の違う人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーション、ディベート、ネゴシエーション、プレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行うことができることは重要である。</p> <p>ビジネス英語実習Ⅲでは、1年次の「ビジネス英語実習ⅠⅡ」を土台とし、ケーススタディを通じてビジネスやICTのトレンドを活かす力、英語でビジネスプランや新たな製品やサービスの提案を行うことができる力、英語で業務の指示や相談ができる力を身に付ける。授業の後半ではグローバル企業での1dayインターンシップや職業体験などを行う。本授業終了時にはビジネスの現場で滞りなく業務を遂行できる英語力を習得することを目指す。</p> <p>共同<br/>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広)</p> | 共同 |

|      |                |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                               |      |                |        |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                               |
|------|----------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------|----------------|--------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 英語アカデミックス | 本授業では、英語をビジネスやICTの現場で活用し、コミュニケーションを図るだけでなく、海外の大学や国内外の研究機関で求められる発表能力を高めるものである。具体的には、前半ではInternational Baccalaureate(IB)などを題材に、海外の大学レベルで求められる基礎能力や知識を概観し、そこで用いられる英語表現そのものとあわせて学ぶことで、国内外のアカデミックリテラシーの基礎を習得する。後半ではまた、ICTやビジネスの学術論文や製品・サービスの説明書を読み書きするために必要な語彙力、表現力を学ぶことで、アカデミックと実践を繋ぐための知識と方法論を習得する。                                                                                                                    |                               | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 英語アカデミックス | 本授業では、英語をビジネスやICTの現場で活用し、コミュニケーションを図るだけでなく、海外の大学や国内外の研究機関で求められる発表能力を高めるものである。具体的には、前半ではInternational Baccalaureate(IB)などを題材に、海外の大学レベルで求められる基礎能力や知識を概観し、そこで用いられる英語表現そのものとあわせて学ぶことで、国内外のアカデミックリテラシーの基礎を習得する。後半ではまた、ICTやビジネスの学術論文や製品・サービスの説明書を読み書きするために必要な語彙力、表現力を学ぶことで、アカデミックと実践を繋ぐための知識と方法論を習得する。                                                                                                                    |                               |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語実習Ⅳ | ビジネスとICTを用いて、世界に変革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが重要である。様々な価値観や文化的背景の異なる人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーションやプレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行う必要がある。ビジネス英語実習Ⅳでは、「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅲ」を土台とし、カンファレンスやビジネスプランコンテストなどで、ビジネスプランを英語でプレゼンテーションするという想定で講義のゴールを設定する。そのためのビジネスプランそのものの、そのストーリー化、スクリプト化、プレゼンテーション資料の作成、発表に向けた段取りなどについて学習を進める。TED、SLUSH、STARTUP WORLDCUPなど、世界的なスタートアップのイベントやプレゼンテーションの機会で本学の学生がネイティブと対等にプレゼンテーションやコミュニケーションを図ることができることを目標とする。 | 共同<br>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広) | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | ビジネス英語実習Ⅳ | ビジネスとICTを用いて、世界に変革を起こしていくためには、さまざまな国の人々と協同することが重要である。様々な価値観や文化的背景の異なる人々と協働するために多様性の受容、コミュニケーションやプレゼンテーションなどを共通言語となる英語で行う必要がある。ビジネス英語実習Ⅳでは、「ビジネス英語実習Ⅰ～Ⅲ」を土台とし、カンファレンスやビジネスプランコンテストなどで、ビジネスプランを英語でプレゼンテーションするという想定で講義のゴールを設定する。そのためのビジネスプランそのものの、そのストーリー化、スクリプト化、プレゼンテーション資料の作成、発表に向けた段取りなどについて学習を進める。TED、SLUSH、STARTUP WORLDCUPなど、世界的なスタートアップのイベントやプレゼンテーションの機会で本学の学生がネイティブと対等にプレゼンテーションやコミュニケーションを図ることができることを目標とする。 | 共同<br>(10 Hug, Jose、23 阿部川久広) |

|      |                |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                |        |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|----------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------|--------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 英語ビジネス | 本授業ではビジネス書を題材とし、英文解釈（単語、構文理解、文法など）を行うだけでなく、ビジネス理論そのものの理解を深めることで、グローバルビジネスでの議論や交渉に耐えるマネジメント能力を身につけるための素地を作る。学習に当たっては、原著でビジネス理論を読むだけでなく、その論考の書かれた背景を調査、議論し、現代において各氏の提唱したマネジメント理論や戦略理論などが、実際のビジネスの現場でどのように反映されるか、活用、実践されているかを学ぶ。具体的には、ドラッカー、ポーター、クリステンセン、コトラーなどの代表的な理論を中心に取り上げる。ビジネスの古典からの知識と、現代経営からの知見や実例を融合させ、3年次以降のインターンシップにむけて、ビジネスの実践において大切なものは何かという問いに対する知的ツールや、知的フレームワークを提供し、学生各位が自主的にその答えを導き出せる力を修得する。 | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 英語ビジネス | 本授業ではビジネス書を題材とし、英文解釈（単語、構文理解、文法など）を行うだけでなく、ビジネス理論そのものの理解を深めることで、グローバルビジネスでの議論や交渉に耐えるマネジメント能力を身につけるための素地を作る。学習に当たっては、原著でビジネス理論を読むだけでなく、その論考の書かれた背景を調査、議論し、現代において各氏の提唱したマネジメント理論や戦略理論などが、実際のビジネスの現場でどのように反映されるか、活用、実践されているかを学ぶ。具体的には、ドラッカー、ポーター、クリステンセン、コトラーなどの代表的な理論を中心に取り上げる。ビジネスの古典からの知識と、現代経営からの知見や実例を融合させ、3年次以降のインターンシップにむけて、ビジネスの実践において大切なものは何かという問いに対する知的ツールや、知的フレームワークを提供し、学生各位が自主的にその答えを導き出せる力を修得する。 |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 英米文学演習 | 本授業は英米文学を題材とし、英文解釈（単語、構文理解、文法など）を行うだけでなく、その作品が作られた時代背景、文学上の位置付け、著者の作り出した世界観などを学ぶものである。英米文学の代表的な作品のいくつかをピックアップし、英米文学における代表的な作品を選出し、その中の主題となる記述をもとに授業を展開する。音読や精読を中心として内容を解釈し、その時代背景、文学上の位置付け、著者の作り出した世界観などを学ぶ。本授業を通じ、英語表現を身につけるだけでなく、真の意味での人間に対する深い洞察力を養い、グローバルな環境での議論に耐える世界観、人生観を構築するための武器としての教養をあわせて身につける。                                                                                                  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 英米文学演習 | 本授業は英米文学を題材とし、英文解釈（単語、構文理解、文法など）を行うだけでなく、その作品が作られた時代背景、文学上の位置付け、著者の作り出した世界観などを学ぶものである。英米文学の代表的な作品のいくつかをピックアップし、英米文学における代表的な作品を選出し、その中の主題となる記述をもとに授業を展開する。音読や精読を中心として内容を解釈し、その時代背景、文学上の位置付け、著者の作り出した世界観などを学ぶ。本授業を通じ、英語表現を身につけるだけでなく、真の意味での人間に対する深い洞察力を養い、グローバルな環境での議論に耐える世界観、人生観を構築するための武器としての教養をあわせて身につける。                                                                                                  |



|      |                |   |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |      |                |   |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |
|------|----------------|---|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|----------------|---|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：多文化理解 | 世界では、多文化理解は単なる教養のみならず、ビジネスパーソン必須スキルとして広く学ばれている。本授業では、様々な国で使われている多文化理解に関する英語の教材をもとに、文化の違いに気づくこと、違いを受け入れるためにできること、偏見や差別とその背景、多文化の中でのコミュニケーションなどについて、各テーマごとに2～3時間かけて学習＋討議を行う。グループ学習を基本として、テーマごとにプレゼンテーションを行い、相互理解を深める。日本のみならず世界中の事例をとりあげること、多様な人種・文化、価値観の入り混じる職場において、最大限のパフォーマンスを引き出せるリーダーとしての素養を、知識（講義とディスカッション）と体験（ロールプレイ）を通じて身につける。英語でコミュニケーションできることを目標とする。                                                                                                               |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：多文化理解 | 世界では、多文化理解は単なる教養のみならず、ビジネスパーソン必須スキルとして広く学ばれている。本授業では、様々な国で使われている多文化理解に関する英語の教材をもとに、文化の違いに気づくこと、違いを受け入れるためにできること、偏見や差別とその背景、多文化の中でのコミュニケーションなどについて、各テーマごとに2～3時間かけて学習＋討議を行う。グループ学習を基本として、テーマごとにプレゼンテーションを行い、相互理解を深める。日本のみならず世界中の事例をとりあげること、多様な人種・文化、価値観の入り混じる職場において、最大限のパフォーマンスを引き出せるリーダーとしての素養を、知識（講義とディスカッション）と体験（ロールプレイ）を通じて身につける。英語でコミュニケーションできることを目標とする。                                                                                                               |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 英語通訳論      | ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の1つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。<br>具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる7つのテクニック（1. shadowing 2. slash reading 3. missing words 4. memorizing 5. para-phrasing 6. site translation 7. quick responding）を通じ学ぶ。 |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 英語通訳論      | ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の1つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。<br>具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる7つのテクニック（1. shadowing 2. slash reading 3. missing words 4. memorizing 5. para-phrasing 6. site translation 7. quick responding）を通じ学ぶ。 |  |

|      |                |   |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |  |
|------|----------------|---|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：日本文化        | 「英語で語る日本事情」(江口裕之、Japan Times)や、「日本の伝統行事」(村上龍、講談社)などいくつかの日本文化を英語で紹介した書籍を教材として、日本独自の歴史や文化を海外の人々に英語で説明できることを目的とする。具体的には、(1) 歴史 (2) 文化的行事 (3) しきたりなど独自の文化 (4) 現代の日本 の四つの軸を中心に、それぞれについて 2～3 時間かけて学習+討議する。グループ学習を基本として、(A) 具体的にはどのような項目を選び出すかを議論 (B) 選び出した項目の説明の作成(日本語、英語) (C) プレゼンテーションの実施 という流れで講義を行う。本講座を通じて、実は私たち自身の文化への理解が不足していること、また日本で生活していれば当然と思われていることこそ、グローバルな視点では説明が必要であることを身を持って体験し、それらを英語でコミュニケーションする方法論を学ぶ。 |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 英語ディスカッション・ディベート | 主に前半はディスカッション、後半はディベートを中心とする。ディスカッションではあらかじめ提示された議論テーマ一覧をもとに、資料精読、調査などの準備を経たうえ、クラスで自身の意見を発表するとともに、他の発表者に対して、各自 3 問以上の質問をする。また授業後に自身の意見や討議の内容をエッセーにして提出する。ディベートでも同様に事前準備のうえ、賛成反対両陣営に分かれ議論し、多数決で賛否を問うとともに、授業後に議論のポイント、強みと弱み、改善点などをグループワークでまとめ、発表し、次回への学びのポイントとする。一連の流れの中で、ビジネス現場での会議など実践の現場に応用できるようなディスカッション力、ディベート力を養う。                                                                                              |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：製造業         | 主に製造業における実践的英語を学ぶ。具体的には、ICT 関連 (IoT, IIoT, Security, Cloud, Virtualization など) はもちろんのこと、広く製造業全般(自動車、半導体、装置、部品など)のテーマを扱う。教材としては、実際に製造業の現場で用いられている技術文書や、日本工業英語検定準二級問題集、各種工業英語テキストに加え、製造業系のグローバルメディアである EETimes や EDN のサイトなどの最新の記事や各企業のホワイトペーパーを利用することで、専門的なビジネスについても英語で進められる力を身につける。                                                                                                                                  |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：日本文化        | 「英語で語る日本事情」(江口裕之、Japan Times)や、「日本の伝統行事」(村上龍、講談社)などいくつかの日本文化を英語で紹介した書籍を教材として、日本独自の歴史や文化を海外の人々に英語で説明できることを目的とする。具体的には、(1) 歴史 (2) 文化的行事 (3) しきたりなど独自の文化 (4) 現代の日本 の四つの軸を中心に、それぞれについて 2～3 時間かけて学習+討議する。グループ学習を基本として、(A) 具体的にはどのような項目を選び出すかを議論 (B) 選び出した項目の説明の作成(日本語、英語) (C) プレゼンテーションの実施 という流れで講義を行う。本講座を通じて、実は私たち自身の文化への理解が不足していること、また日本で生活していれば当然と思われていることこそ、グローバルな視点では説明が必要であることを身を持って体験し、それらを英語でコミュニケーションする方法論を学ぶ。 |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 英語ディスカッション・ディベート | 主に前半はディスカッション、後半はディベートを中心とする。ディスカッションではあらかじめ提示された議論テーマ一覧をもとに、資料精読、調査などの準備を経たうえ、クラスで自身の意見を発表するとともに、他の発表者に対して、各自 3 問以上の質問をする。また授業後に自身の意見や討議の内容をエッセーにして提出する。ディベートでも同様に事前準備のうえ、賛成反対両陣営に分かれ議論し、多数決で賛否を問うとともに、授業後に議論のポイント、強みと弱み、改善点などをグループワークでまとめ、発表し、次回への学びのポイントとする。一連の流れの中で、ビジネス現場での会議など実践の現場に応用できるようなディスカッション力、ディベート力を養う。                                                                                              |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ー | 実践英語：製造業         | 主に製造業における実践的英語を学ぶ。具体的には、ICT 関連 (IoT, IIoT, Security, Cloud, Virtualization など) はもちろんのこと、広く製造業全般(自動車、半導体、装置、部品など)のテーマを扱う。教材としては、実際に製造業の現場で用いられている技術文書や、日本工業英語検定準二級問題集、各種工業英語テキストに加え、製造業系のグローバルメディアである EETimes や EDN のサイトなどの最新の記事や各企業のホワイトペーパーを利用することで、専門的なビジネスについても英語で進められる力を身につける。                                                                                                                                  |  |

|      |                |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |      |                |        |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|------|----------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|------|----------------|--------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 英語プレゼンテーション | 自ら、あるいはグループで作成したビジネスプランをプレゼンテーションを通じて、ビジネスプレゼンテーションに必要なボキャブラリやパフォーマンス等を磨く。具体的には、投資家に対して出資を依頼する設定で質疑応答まで含めた一連の準備、出資者に見立てた教員や受講生に模擬プレゼンテーションや質疑応答、出資の可否を含めた具体的な結果のやり取り、提案したビジネスを実際に社会で実施する際に想定されるやり取りなどを英語で行う。本授業を通じ、英語でのプレゼンテーション力だけでなく、自らのビジネスプランやアイデアをグローバルな場での実践に直結させる。                                          |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 英語プレゼンテーション | 自ら、あるいはグループで作成したビジネスプランをプレゼンテーションを通じて、ビジネスプレゼンテーションに必要なボキャブラリやパフォーマンス等を磨く。具体的には、投資家に対して出資を依頼する設定で質疑応答まで含めた一連の準備、出資者に見立てた教員や受講生に模擬プレゼンテーションや質疑応答、出資の可否を含めた具体的な結果のやり取り、提案したビジネスを実際に社会で実施する際に想定されるやり取りなどを英語で行う。本授業を通じ、英語でのプレゼンテーション力だけでなく、自らのビジネスプランやアイデアをグローバルな場での実践に直結させる。                                          |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 実践英語：ファイナンス | 会計、および財務の基礎を、主に CPA のテキストや問題、また代表的な財務会計テキストによって概観する。マネジメント科目の中では、「ファイナンス」を日本語テキストを用いて日本語で学ぶが、同じ内容を英語テキストを用いて学ぶことで、ファイナンスの理論の定着と、それを英語で理解し、起業や経営に伴うファイナンスを、グローバルな現場で応用できることを主眼とする。                                                                                                                                  |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 実践英語：ファイナンス | 会計、および財務の基礎を、主に CPA のテキストや問題、また代表的な財務会計テキストによって概観する。マネジメント科目の中では、「ファイナンス」を日本語テキストを用いて日本語で学ぶが、同じ内容を英語テキストを用いて学ぶことで、ファイナンスの理論の定着と、それを英語で理解し、起業や経営に伴うファイナンスを、グローバルな現場で応用できることを主眼とする。                                                                                                                                  |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 実践英語：IoT    | 業界を問わず多くの業界や企業に、すでに IT とインターネットの技術は浸透しており、いわゆる IoT 技術の活用が直接企業の業績を左右する。本講座は (1) Apple、Google、Facebook、Amazon (AGFA) などの IT を代表する企業が、いかに IoT を活用した戦略で企業として成功しているか、および (2) 代表的な企業の IoT 技術活用の成功例 (セキュリティ、データ分析、GDPR 対応、リスク対策、ディザスタリカバリー、クラウド化、仮想化など) を、英語でのホワイトペーパーや技術文書、専門誌記事などを教材として、成功事例を学び、英語力 (特に語彙力、表現力) を身につける。 |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 実践英語：IoT    | 業界を問わず多くの業界や企業に、すでに IT とインターネットの技術は浸透しており、いわゆる IoT 技術の活用が直接企業の業績を左右する。本講座は (1) Apple、Google、Facebook、Amazon (AGFA) などの IT を代表する企業が、いかに IoT を活用した戦略で企業として成功しているか、および (2) 代表的な企業の IoT 技術活用の成功例 (セキュリティ、データ分析、GDPR 対応、リスク対策、ディザスタリカバリー、クラウド化、仮想化など) を、英語でのホワイトペーパーや技術文書、専門誌記事などを教材として、成功事例を学び、英語力 (特に語彙力、表現力) を身につける。 |  |
| 展開科目 | グローバルコミュニケーション | 英語ネゴシエーション  | ビジネス交渉は世界中のあらゆる場面で生まれ、最も重要視されるべきものの 1 つである。本演習では、相手がどのようなタイプの交渉を行うネゴシエーターかを把握し、場面にあわせた様々な交渉手順や戦略を取り入れながら最善の交渉術を見出すことを目標とする。文化が交渉に与える影響力や感情の働き、人種・性差別、緊急を要する困難な状況における交渉場面を取り扱う。学生は英語で交渉理論・戦略方法を学び、幅広いテーマによるロープレー形式で実践演習を行う。                                                                                         |  | 展開科目 | グローバルコミュニケーション | ビジネス英語 | 英語ネゴシエーション  | ビジネス交渉は世界中のあらゆる場面で生まれ、最も重要視されるべきものの 1 つである。本演習では、相手がどのようなタイプの交渉を行うネゴシエーターかを把握し、場面にあわせた様々な交渉手順や戦略を取り入れながら最善の交渉術を見出すことを目標とする。文化が交渉に与える影響力や感情の働き、人種・性差別、緊急を要する困難な状況における交渉場面を取り扱う。学生は英語で交渉理論・戦略方法を学び、幅広いテーマによるロープレー形式で実践演習を行う。                                                                                         |  |

|        |                |      |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
|--------|----------------|------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 職業専門科目 | グローバルコミュニケーション | ー    | 実践英語：イノベーション | イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを英語学習する。授業趣旨は ICT 関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。特に本講義は英語によるグループワークを含む英語中心の授業とし、履修学生による海外の最新のイノベーションの事例・動向についての英語文献の調査、英語公開ビデオの聴取、英語プレゼンテーション、教員と学生による英語討議、英語ネイティブのゲスト講義の聴講・質疑応答、などにより、グローバルな視点で実社会で求められる実用的、実践的な英語力を磨く。 |    |
|        |                |      | ビジネス英語       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
| 総合科目   | ー              | 総合演習 | 総合理論演習       | 学生の興味関心に基づき、4 年次卒業課題を見通した研究を行う。研究方法について学ぶと共に、先行研究・ビジネスケース等を学び合う。また、卒業課題設定のための課題抽出、立論のための技法を学ぶ。さらにグループ発表では、抽出課題に沿った研究がなされているか（調査、製作などの方法とそのまとめ方）教員の指導を受けながら、広く柔軟な視野を持ち、4 年次卒業課題に向けて自らのテーマを創造的に発展させ、論文形式でまとめる。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。                                                                                                  | 共同 |
|        |                |      |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
| 職業専門科目 | グローバルコミュニケーション | ー    | 実践英語：イノベーション | イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを英語学習する。授業趣旨は ICT 関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。特に本講義は英語によるグループワークを含む英語中心の授業とし、履修学生による海外の最新のイノベーションの事例・動向についての英語文献の調査、英語公開ビデオの聴取、英語プレゼンテーション、教員と学生による英語討議、英語ネイティブのゲスト講義の聴講・質疑応答、などにより、グローバルな視点で実社会で求められる実用的、実践的な英語力を磨く。 |    |
|        |                |      | ビジネス英語       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |
| 総合科目   | ー              | 総合演習 | 総合理論演習       | 学生の興味関心に基づき、4 年次卒業課題を見通した研究を行う。研究方法について学ぶと共に、先行研究・ビジネスケース等を学び合う。また、卒業課題設定のための課題抽出、立論のための技法を学ぶ。さらにグループ発表では、抽出課題に沿った研究がなされているか（調査、製作などの方法とそのまとめ方）教員の指導を受けながら、広く柔軟な視野を持ち、4 年次卒業課題に向けて自らのテーマを創造的に発展させ、論文形式でまとめる。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。                                                                                                  | 共同 |
|        |                |      |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |

|      |   |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |    |
|------|---|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 総合科目 | — | 総合実践<br>演習 | <p>総合理論演習において設定したテーマおよび仮説を、専任教員の指導の下「卒業課題」として検証（実証）、実践にまとめる。卒業課題については公開の場でプレゼンテーションを行うとともに、書面及びデータで提出する。尚、課題は個人、グループのいずれかの方法での提出を可能とする。</p> <p>・卒業課題に必要となる条件について<br/>以下の項目が提出物内で具体的かつ明確に説明されていること。<br/>1. 新規性があり、産業界からのニーズに適した、理論と実務を架橋するテーマであること<br/>2. 「イノベーション人材」になるためのステップとしてふさわしいテーマであること</p> <p>・提出形式<br/>1. ビジネスプラン<br/>i) 新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br/>2. 論文<br/>i) 産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br/>3. 作品<br/>i) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品</p> <p>共同<br/>② 中嶋 隆一、③ 難波 美帆、4 寺脇 由紀、⑤ 久米 信行、⑦ 平山 敏弘、⑩ 川上 慎市郎、12 志村 一隆、⑪ 富澤 豊、14 三澤 一文、⑫ 磯 俊樹、⑬ 片桐 雅二、⑭ 加藤 直人、⑮ 鎌谷 修、⑯ 堀 田 耕一郎、⑰ 落合 慶 広、⑱ 桐谷 恵介、22 江 端 浩人</p> | 共同 |
| 総合科目 | — | 総合実践<br>演習 | <p>総合理論演習において設定したテーマおよび仮説を、専任教員の指導の下「卒業課題」として検証（実証）、実践にまとめる。卒業課題については公開の場でプレゼンテーションを行うとともに、書面及びデータで提出する。尚、課題は個人、グループのいずれかの方法での提出を可能とする。</p> <p>・卒業課題に必要となる条件について<br/>以下の項目が提出物内で具体的かつ明確に説明されていること。<br/>1. 新規性があり、産業界からのニーズに適した、理論と実務を架橋するテーマであること<br/>2. 「イノベーション人材」になるためのステップとしてふさわしいテーマであること</p> <p>・提出形式<br/>1. ビジネスプラン<br/>i) 新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br/>2. 論文<br/>i) 産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br/>3. 作品<br/>i) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品</p> <p>共同<br/>② 難波 美帆、4 寺脇 由紀、6 久米 信行、7 平山 敏弘、11 川上 慎市郎、12 志村 一隆、13 富澤 豊、14 三澤 一文、⑫ 磯 俊樹、16 片桐 雅二、17 加藤 直人、18 鎌谷 修、19 堀 田 耕一郎、20 落合 慶広、21 桐谷 恵介、22 江端 浩人</p>   | 共同 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | イノベーションの志                                      |          |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 1 年次                                           | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 中村 伊知哉                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>本学は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、<u>経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材を育成する大学である。</u></p> <p>本授業ではこの「イノベーション」について理解を深めるとともに、イノベーションを生み出し、イノベーターとなるために必要な資質や素養を身につけるための土台を様々な事例を学ぶことにより構築する。具体的には、<u>分野ごとにイノベーション事例を取り上げ</u>、情報社会における ICT を使ったイノベーションとは何かについて、自分なりの解を導き出す。各インプットを基にグループワークで意見交換を交え、他者と比較の中で、自身のビジョンステートメントを構築する授業構成をとる。</p> <p><u>また、イノベーションを起こす人材となるために必要なことは何か、自らイノベーションを起こすために何をするかを考え</u>自分なりのイノベーター像、イノベーションのあり方を検討し、この後の本学での学びの素地とする。</p> |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>情報社会におけるイノベーションについて基本的な考え方を理解すること。</p> <p>常に変化する世界の流れの中でも、イノベーションを生み出し、イノベーターになるためのスキルとマインドを身につけること。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 内容                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イントロダクション：情報社会におけるイノベーションとは何か<br>(本授業の背景、目標など) |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ICT とイノベーション①<br>(ICT を用いたイノベーションの歴史と意味)       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ICT とイノベーション②<br>(ICT の展望とイノベーションの可能性)         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例①<br>(メディア分野での ICT によるイノベーション)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例②<br>(ソーシャル分野での ICT によるイノベーション)       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例③<br>(エンタテインメント分野での ICT によるイノベーション)   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例④<br>(音楽分野での ICT によるイノベーション)          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例⑤<br>(教育分野での ICT によるイノベーション)          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | イノベーション事例⑥<br>(スポーツ分野での ICT によるイノベーション)        |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | イノベーション事例⑦<br>(公共・行政分野での ICT によるイノベーション)                            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーター像、イノベーションのあり方①</u><br>(これまでのイノベーション事例を振り返り、イノベーションとは何かを検討) |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーター像、イノベーションのあり方②</u><br>(イノベーションを起こす人材に必要な素養について)            |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーター像、イノベーションのあり方③</u><br>(自らがイノベーションを起こす人材になるために必要なこと、やるべきこと) |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーション企画</u><br>(ICT を用いたイノベーションの企画グループワーク)                     |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 最終ワーク・発表、まとめ<br>(学生によるイノベーション企画の発表・討論とイノベーションの志のまとめ)                |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>各回ごとのフィードバックレポート・授業への参加度・貢献度 (70%)<br/>最終ワーク・発表 (30%)</p> <div>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</div> <p>事前に配布される資料を基に予習を行うこと。(20〜30 分程度)<br/>最終発表に向けた準備を行うこと。(20〜30 分程度)</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：都度、配布プリントなどで指示する。</p> <p>参考文献：<br/>『リーン・スタートアップ』<br/>エリック・リース (著)、日経 BP 社、2012 年<br/>『起業の科学、スタートアップサイエンス』<br/>田所雅之 (著)、日経 BP 社、2017 年<br/>『イノベーションのジレンマ』<br/>クレイトン・M・クリステンセン (著)、翔泳社、2011 年<br/>『キャズム Ver. 2 増補改訂版』<br/>Geoffrey A. Moore (著)、翔泳社、2014 年</p> <div>7. 備考</div> |                                                                     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                       | イノベーションの志 |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 1 年次                                                  | 配当<br>学期  | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 中村 伊知哉                                                |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>本学は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」ことを教育理念とし、<u>ICT のスキルを用いて、グローバル社会でビジネスにイノベーションを起こす人材を育成する大学である。</u></p> <p>本授業ではこの「イノベーション」について理解を深めるとともに、イノベーションを生み出し、イノベーターとなるために必要な資質や素養を身につけるための土台を様々な事例を学ぶことにより構築する。</p> <p>具体的には、<u>イノベーションのエポックメイキングとなった人々や出来事を振り返りつつ、情報社会における ICT を使ったイノベーションとは何かについて、自分なりの解を導き出す。各インプットを基にグループワークで意見交換を交え、他者と比較の中で、自身のビジョンステートメントを構築する授業構成をとる。</u></p> <p><u>併せて、イノベーションを起こし、社会を変革するために必要な考え方、ビジョン、戦略、スキル、人間力といったイノベーターとしての素養は何かを考え、自分なりのイノベーター像、イノベーションのあり方を検討し、この後の本学での学びの素地とする。</u></p> |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>情報社会におけるイノベーションについて基本的な考え方を理解すること。</p> <p>常に変化する世界の流れの中でも、イノベーションを生み出し、イノベーターになるためのスキルとマインドを身につけること。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                       |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 内容                                                    |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イントロダクション：情報社会におけるイノベーションとは何か<br>(本授業の背景、目標など)        |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ICT とイノベーション①<br>(ICT を用いたイノベーションの歴史と意味)              |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ICT とイノベーション②<br>(ICT の展望とイノベーションの可能性)                |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例①<br>( <u>ICT</u> 分野でのイノベーション)               |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例②<br>( <u>産業</u> 分野での ICT によるイノベーション)        |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例③<br>( <u>メディア</u> 分野での ICT によるイノベーション)      |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例④<br>( <u>ソーシャル</u> 分野での ICT によるイノベーション)     |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例⑤<br>( <u>エンタテインメント</u> 分野での ICT によるイノベーション) |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | イノベーション事例⑥<br>( <u>音楽</u> 分野での ICT によるイノベーション)        |           |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | イノベーション事例⑦<br>( <u>教育</u> 分野での ICT によるイノベーション)                 |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーション事例⑧</u><br>( <u>スポーツ</u> 分野での ICT によるイノベーション)        |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーション事例⑨</u><br>( <u>公共・行政</u> 分野での ICT によるイノベーション)       |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>イノベーション企画</u><br>( <u>ICT を用いたイノベーションの企画グループワーク</u> )       |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>最終ワーク・発表①</u><br>( <u>学生によるイノベーション企画の発表と討論</u> )            |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 最終ワーク・発表②、まとめ<br>( <u>学生によるイノベーション企画の発表・討論とイノベーションの志のまとめ</u> ) |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p><u>各回ごとのフィードバックレポート・授業への参加度・貢献度（70％）</u><br/><u>最終ワーク・発表（30％）</u></p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>事前に配布される資料を基に予習を行うこと。<br/>最終発表に向けた準備を行うこと。<br/>(20～30 分程度)</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：都度、配布プリントなどで指示する。</p> <p>参考文献：<br/>『リーン・スタートアップ』<br/>エリック・リース（著）、日経 BP 社、2012 年<br/>『起業の科学、スタートアップサイエンス』<br/>田所雅之（著）、日経 BP 社、2017 年<br/>『イノベーションのジレンマ』<br/>クレイトン・M・クリステンセン（著）、翔泳社、2011 年<br/>『キャズム Ver.2 増補改訂版』<br/>Geoffrey A. Moore（著）、翔泳社、2014 年</p> <div>7. 備考</div> |                                                                |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                    | スタディスキル |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 1 年次                                                               | 配当学期    | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 加藤 直人                                                              |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 大学生生活は社会で貢献するための準備期間であり、自分が興味関心を持つ分野について主体的に学ぶとともに、社会に出ていくにあたって企業におけるプレゼンテーションに代表されるように今度は自らが情報発信をしなければならないという立場にもなる。本講義では有意義な大学生生活を送るために、基本となるアカデミックスキルや社会人基礎力など、入学時に立てた目標を実現する力を身につける。具体的には、課題に取り組みながら大学生生活を送るために必要なコミュニケーション、情報収集と活用、レポートやプレゼンテーションなどを身につけるとともに、取り上げる課題やテーマから大学での学びや将来の目標を考える。 |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 有意義な 4 年間の大学生生活を送るための基本となる、大学において学ぶ（授業、課外活動）ことのスキルを身につけることを目的とする。そして、本専門職大学の学生として、自覚を持って行動できるようになることを目標とする。                                                                                                                                                                                       |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                    |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 内容                                                                 |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | オリエンテーション<br>専門職大学とは、スタディスキル、社会人に必要な力・スキルとは                        |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 目標の振り返りと本科目における課題設定                                                |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 情報リテラシー①<br>インターネットの利用の仕方、SNS の利用の仕方、利用上の注意                        |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 情報リテラシー②<br>図書館の利用、専門書・文献の収集、検索方法、読み方                              |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | レポートィング①<br>考えのまとめ方、レポートの書き方<br>(文書ソフト使用時の注意点、論理構成の構築、文章表現など)      |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | レポートィング②<br>レポートの書き方（引用、参考、出典と剽窃の禁止など）                             |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | レポートィング③<br>レポートの書き方（表計算を用いたデータ作成、参考資料に基づくデータの見方など）                |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 中間発表<br>課題の進捗、振り返り、見直し                                             |         |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | プレゼンテーション①<br>プレゼンテーション資料の作り方<br>(プレゼンテーションソフトの使用方法、プレゼンテーションの構成等) |         |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>プレゼンテーション②</u><br><u>プレゼンのポイント、方法</u>    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>コミュニケーション①</u><br><u>議論、質疑応答のしかた</u>     |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>コミュニケーション②</u><br><u>自己理解、相互理解</u>       |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>コミュニケーション③</u><br><u>発信力、表現力、傾聴力</u>     |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>最終発表</u><br><u>設定した課題の発表、ディスカッション</u>    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <u>まとめ</u><br><u>課題や本科目を通じて得た気づき、目標の再定義</u> |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>・小テスト：講義で学んだ知識、理解度の確認を行う（40%）</p> <p>・課題：中間発表、最終発表、まとめの内容（60%）</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>・講義中だけではなく、大学生活や家庭生活においても常にスタディスキルを意識すること。</p> <p>・講義資料を公開する予定なので、復習では講義資料中のキーワードを自分の講義ノートであらためて整理し（2 時間程度）、実践すること。</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：必要な資料は随時配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『大学での学びをアクティブにする アカデミック・スキル入門』</p> <p>伊藤 奈賀子（編集）富原 一哉（編集）、有斐閣、2016 年</p> <p>『ゼミで学ぶスタディスキル』</p> <p>南田 勝也（著）矢田部 圭介（著）山下 玲子(著)、北樹出版、2011 年</p> <div>7. 備考</div> |                                             |



|                                                                                                                                                                                                                                      |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                 | スタディスキル                                    |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                 | 1 年次                                       | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                 | 加藤 直人                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                              |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 大学生活は社会で貢献するために準備期間であり、 <u>大学入学を目標としてきた高校生活から一変する。大学生にとってまず大切なことは学ぶことであるが、大学での学び方は高校までの学び方とは大きく異なる。大学では自分が興味関心を持つ分野について主体的に学ぶとともに、社会に出ていくにあたって企業におけるプレゼンに代表されるように今度は自らが情報発信をしなければならないという立場にもなる。本講義では有意義な大学生活を送るための基本スキルについて講義する。</u> |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                          |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 有意義な 4 年間の大学生活を送るための基本となる、大学において学ぶ（授業、課外活動）ことのスキルを身につけることを目的とする。そして、本専門職大学の学生として、自覚を持って行動できるようになることを目標とする。                                                                                                                           |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                              |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                                         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                    | <u>よりよい大学生活を送るために① 専門職大学とは、スタディスキルとは</u>   |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                    | <u>よりよい大学生活を送るために② 講義の受け方、ノートの取り方</u>      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                    | <u>よりよい大学生活を送るために③ コミュニケーション技術</u>         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                    | <u>情報リテラシー① インターネットの利用の仕方、利用上の注意</u>       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                    | <u>情報リテラシー② SNS の利用の仕方、利用上の注意</u>          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                    | <u>情報リテラシー③ LMS の利用の仕方、利用上の注意</u>          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                    | <u>図書館の利用方法① 専門書・文献の収集、検索方法</u>            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                    | <u>図書館の利用方法② 専門書・文献の読み方</u>                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                    | <u>レポーティング① 考えのまとめ方</u>                    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                   | <u>レポーティング② レポートの書き方（論理構成の構築、文章表現など）</u>   |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                   | <u>レポーティング③ レポートの書き方（引用、参考、出典と剽窃の禁止など）</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プレゼンテーション① プレゼン資料の作り方</u>               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プレゼンテーション② プレゼンのしかた</u>                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プレゼンテーション③ 議論、質疑応答のしかた</u>              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                   | <u>スタディスキル全 15 回まとめ</u>                    |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>次の2つの点数で評価する（100%）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小テスト：講義中に適時演習を行う（40%）</li><li>・定期試験：全15回の講義で学んだ知識、理解度に関する試験を行う（60%）</li></ul> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・講義中だけではなく、大学生活や家庭生活においても常にスタディスキルを意識すること。</li><li>・講義資料を公開する予定なので、復習では講義資料中のキーワードを自分の講義ノートであらためて整理し（2時間程度）、実践すること。</li></ul> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：必要な資料は随時配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『大学での学びをアクティブにする アカデミック・スキル入門』<br/>伊藤 奈賀子（編集）富原 一哉（編集）、有斐閣、2016 年</p> <p>『ゼミで学ぶスタディスキル』<br/>南田 勝也（著）矢田部 圭介（著）山下 玲子(著)、北樹出版、2011 年</p> |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                                                              |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                         | 英語コア・スキルズⅠ                                                                                                           |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                         | 1 年次                                                                                                                 | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                         | 奥村 耕一                                                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                      |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 現代社会において、グローバルで活躍するためには英語力は必要不可欠である。この授業では基本的な英語 4 技能のうち、 <u>リーディング能力とリスニング能力の強化を図っていく。</u>                                                                                  |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 具体的には、 <u>ビジネスや生活などのシチュエーションを題材に、個人やグループで、音読、ヒアリング、英文解釈を行う。TOEIC 等の問題を使いながら、演習を繰り返し行うことで、正しく英文解釈できる力(単語力、構文理解力、文法力など)もあわせて習得する。上記を通じ、ビジネスシーンで使用する英語に対する基礎的な読む力と聞く力を習得する。</u> |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                  |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| ・英語のリーディング能力とリスニング能力の向上                                                                                                                                                      |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| ・ <u>ビジネスの場面において、英語を用いた業務の基礎的なコミュニケーションをとることができる。</u>                                                                                                                        |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                      |                                                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                           | 内容                                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                            | <u>イントロダクション</u>                                                                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Eating Out／Restaurant／Shopping</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u>                   |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Eating Out／Restaurant／Shopping</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Travel／Entertainment</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u>                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Travel／Entertainment</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Office Work／Office Messages／Infomation via Email</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Office Work／Office Messages／Infomation via Email</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                            | <u>2～7 回までのまとめ、解説</u>                                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                            | <u>テーマ：Marketing、Sales、Merchandise Development</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u>          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                           | <u>テーマ：Marketing、Sales、Merchandise Development</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>                   |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>テーマ：Technology、Research</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u>         |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>テーマ：Technology、Research</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>                  |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>テーマ：Contracts &amp; Negotiation</u><br><u>テーマに関する写真描写、会話、穴埋め問題などからシチュエーションに応じた語彙や表現を学習する</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>テーマ：Contracts &amp; Negotiationh</u><br><u>テーマに関する説明文、長文読解などから、文法を学習し、構文理解力を確認する</u>         |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>9～14 回のまとめ、解説</u>                                                                            |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br/>15 回終了後に実施する TOEICIP テスト (30%)<br/>各回の理解度・参加度・貢献度 (40%)<br/>各回で実施する理解度テスト・課題 (30%)</p> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br/>各回 30～60 分を想定。<br/>予習：事前に配布される資料により英単語の確認を行うこと。<br/>復習：授業範囲の復習を行うこと。</p> <p><b>6. 教科書／参考文献</b><br/>教科書：資料を適宜配布する。<br/>『公式 TOEIC® Listening &amp; Reading 問題集 4』<br/>Educational Testing(著)、国際ビジネスコミュニケーション協会 2018 年</p> |                                                                                                 |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 英語コア・スキルズ I                                                                                |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1 年次                                                                                       | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 奥村 耕一                                                                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>現代社会において、グローバルで活躍するためには英語力は必要不可欠である。この授業では基本的な英語 4 技能について社会的認知度の高い TOEIC や TOEFL など英語能力測定試験を題材にリーディング能力とリスニング能力の強化を図っていく。</p> <p>具体的には、各能力試験の構成を確認するとともに、問題形式や出題傾向を踏まえた演習を繰り返し行う。個人やグループで、音読、ヒアリング、英文解釈のサイクルを繰り返し、出題内容の理解を深めることで、正しく英文解釈できる力(単語力、構文理解力、文法力など)を習得する。上記を通じ、ビジネスシーンで使用する英語に対する基礎力、特に聞く力と読む力の向上を目指す。</p> |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>英語のリーディング能力とリスニング能力の向上</li><li>TOEIC Listening &amp; Reading Test 550 点台を目指す。</li></ul>                                                                                                                                                                                           |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 内容                                                                                         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>イントロダクション</u><br>TOEIC Listening & Reading Test 概要                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2～7 回までのまとめ、解説                                                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>Listening…Part1 写真描写問題、Part 3 会話問題、</u><br><u>Reading…Part5 短文な穴埋め問題、Part 6 長文穴埋め問題</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>Listening…Part2 応答問題、Part 4 説明文問題、</u><br><u>Reading…Part7 読解問題</u>                     |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 8～14 回までのまとめ、解説                                                                            |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p>15 回終了時に実施する TOEIC テスト (30%)<br/>各回の理解度・参加度・貢献度 (40%)<br/>各回で実施する理解度テスト・課題 (30%)</p> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <p>各回 30～60 分を想定。<br/>予習：事前に配布される資料により英単語の確認を行うこと。<br/>復習：授業範囲の復習を行うこと。</p> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：資料を適宜配布する。<br/>『公式 TOEIC® Listening &amp; Reading 問題集 4』<br/>Educational Testing(著)、国際ビジネスコミュニケーション協会 2018 年</p> <p><b>7. 備考</b></p> |                                                                                            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 数学基礎 A                                      |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1 年次                                        | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 磯 俊樹                                        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>経営分野、工学分野等における実世界の課題は、数式により定義でき、これを数値解法を用いて解くことができるものが多く存在する。こうした課題を解くためには、数学的な課題の捉え方や解き方が重要となる。本科目では基礎的な解析学として「数列」「微分」「積分」をテーマに取り上げ、解析学の基本的な内容を学んでいく。これらの理論や考え方は、経営分析やディープラーニングなどの分野の学習を深めるうえで基本的な考え方となる。「数列」「微分」「積分」において重要な基本概念について学ぶとともに、演習を通して各手法の本質や適用方法についての理解を深める。</p> <p>なお、本科目では数学の面白さや経営学、情報通信技術での有用性が十分理解できるような授業を行う。</p> |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>・「数列」「微分」「積分」について、それぞれの考え方を説明できる。</p> <p>・適用する目的や対象に応じて考え方や計算方法を使い分けることができることを目標とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                             |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 内容                                          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イントロダクション・数列の極限（1）<br>数列の和など基本概念と数列の極限の算出方法 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 数列の極限（2）<br>数列の極限に関するまとめ、演習                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 微分（1）<br>関数の微分、合成関数・逆関数の微分公式                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 微分（2）<br>平均値の定理、関数の増減、曲線の凹凸                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 微分（3）<br>高次の導関数、テーラーの定理、漸近展開                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 多変数関数の微分（1）<br>偏微分と全微分、合成関数の微分、ヤコビアン        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 多変数関数の微分（2）<br>多変数関数の極値や陰関数の定理              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | まとめ1<br>微分に関するまとめと理解確認                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 積分（1）<br>置換積分と部分積分の計算方法                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 積分（2）<br>広義積分の計算方法                          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 積分（3）<br>区分求積法、定積分の応用                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 多変数関数の積分（1）<br>重積分の定義、畳み込み積分など応用例           |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 多変数関数の積分（2）<br>重積分の変数変換                     |      |    |     |      |         |    |      |    |

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 14 | まとめ2<br>積分に関するまとめと理解確認        |
| 15 | まとめ3<br>これまでの内容のまとめ・実社会とのつながり |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>試験：50％</p> <p>中間演習（3 回）、総合演習（1 回）：40％</p> <p>レポート提出（適時）：10％</p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>予習（事前学習）：各単元の内容をインターネットや文献等で 1 つ以上調べ、スライドにまとめる。</p> <p>復習（事後学修）：各単元で学んだ各手法に関連する演習問題をインターネットや文献等で 2 つ以上調べ、スライドにまとめる</p> <p>（あわせて各回 1 時間程度）</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：</p> <p>必要により、授業時にプリントを配布、または参考資料を適宜指示する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『エクササイズ微分積分』</p> <p>立花俊一(著)成田清正(著)、奈良知恵(著)、共立出版、1992 年</p> <p>『エクササイズ 偏微分・重積分』</p> <p>立花俊一(著)成田清正(著)、共立出版、1993 年</p> <p>7. 備考</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | リサーチ入門                                            |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1年次                                               | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 難波 美帆                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>社会科学の調査・分析の手法をもとに、課題発見、調査、解決策の提案の一連の流れからリサーチの基本を学ぶ。具体的には、社会調査の概要を理解するとともに、実際に調査するフィールドを設定しながら授業を進めていく。</p> <p>まず、文献やインターネット等を用いながら、どのような課題があるのかを調査票やインタビューなどを通じて実際に調査し、課題を特定する。あわせて、設定された課題への対策とその実行状況を調べる。問題の本質はどこにあるかを分析する。また、対象となる企業・人・機関などへのフィールド調査を行う対策の課題を分析する。その後、明確化された課題に対し、自分たちがどのように解決に寄与できるかを設計する。</p> <p>本科目を通じ、さまざまな事象を実証的・構造的に明らかにし、課題の解決に結びつけるための方法、特に資料やデータの収集と分析の具体的な方法とその特徴について実際の調査を行いながら習得し、今後の学習の基礎となるスキルを身につけることを目指す。</p> |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>リサーチの役割、調査分析のさまざまな手法、それらの特徴や活用例を説明できる。</li><li>資料やデータの収集と分析に必要なとなる知識やノウハウを身につける。</li><li>リサーチの企画・設計から実践まで行うことを通じ、調査によってできることやできないこと、またその重要性などを理解する。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 内容                                                |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | オリエンテーション                                         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | リサーチ、社会調査の概要と手法<br>調査の実例をもとにした、概要と手法を理解する。        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | フィールドを見つける①<br>グループ課題の検討                          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 予備調査①<br>予備調査とは何か、具体的な内容・手法について、実際の課題をもとに理解する。    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 予備調査②<br>予備調査を実施する。                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 予備調査③<br>予備調査の結果を分析するとともに、分析手法を理解する。              |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 中間発表とフィードバック                                      |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | フィールド調査①<br>フィールド調査の概要と手法について確認し、構想・企画する。         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | フィールド調査②<br>収集・記録の手法を理解するとともに、企画をもとにフィールド調査を実施する。 |      |    |     |     |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>フィールド調査③</u><br>調査分析の手法や考え方を理解するとともに、フィールド調査の分析を行う。  |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>課題と解決策の検討①</u><br>調査結果の振り返り、課題の明確化を行う。               |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>課題と解決策の検討②</u><br>明確化された課題をもとに解決策のアイディア検討と精査を行う。     |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>課題と解決策の検討③</u><br>提示されたアイディアを精査し、解決策の提案につなげる手法を理解する。 |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>最終発表準備</u><br><u>調査報告の技法、手法</u>                      |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>最終発表</u>                                             |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>各授業への参加度・貢献（発表、発言、準備など）：20％</p> <p>各グループ学習への参加度・貢献（発表、発言、準備など）：20％</p> <p>中間発表20％</p> <p>最終発表40％</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>参考文献や実際の調査事例を調べ、リサーチの手法、考え方について確認する。</p> <p>講義内で随時配布される資料を読み授業に臨む。</p> <p>講義内で指示された課題に取り組む。</p> <p>（各回 30～60 分程度）</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：授業内で必要な資料は適宜配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『グループディスカッションで学ぶ 社会学トレーニング』<br/>宮内 泰介（著）、三省堂、2013 年</p> <p>『自分で調べる技術―市民のための調査入門』<br/>宮内 泰介（著）、岩波書店、2004 年</p> <p>『社会科学の考え方―認識論、リサーチ・デザイン、手法』<br/>野村 康（著）、名古屋大学出版、2017 年</p> <div>7. 備考</div> |                                                         |



新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                      |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 英語コア・スキルズⅡ                                                                                                                                                                           |                                                                                       | 基礎科目 |    |     |      |         |    |      |    |
| 授業科目                                                                                                                                                                                 |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                 | 1 年次                                                                                  | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                 | 奥村 耕一                                                                                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                              |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 現代社会において、グローバルで活躍するためには英語力は必要不可欠である。この授業では基本的な英語 4 技能のうち、ライティング能力とスピーキング能力の強化を図っていく。                                                                                                 |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 具体的には、 <u>ビジネスや生活などのシチュエーションを題材に、個人やグループで、音読、ヒアリング、英文解釈を行う。TOEIC や TOEFL 等の問題を使いながら、演習を繰り返し行うことで、正しく英文解釈できる力(単語力、構文理解力、文法力など)もあわせて習得する。上記を通じ、ビジネスシーンで使用する英語に対する基礎的な書く力と話す力を習得する。</u> |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                          |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| ・英語のライティング能力とスピーキング能力の向上                                                                                                                                                             |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| ・ <u>ビジネスの場面において、英語を用いた業務の基礎的なコミュニケーションをとることができる。</u>                                                                                                                                |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                              |                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                   | 内容                                                                                    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                    | <u>イントロダクションとセルフチェック</u><br><u>TOEIC Speaking&amp;Writing Test 概要、スピーキング力、ライティング力</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                    | <u>写真描写 (Speaking) ①</u><br><u>日常の風景 (お店、レストラン、街並みなど)</u>                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                    | <u>写真描写 (Speaking) ②</u><br><u>ビジネスでの風景 (会議室、オフィスなど)</u>                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                    | <u>写真描写 (Writing)</u><br><u>日常の風景 (お店、レストラン、街並みなど)</u>                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                    | <u>応答 (Speaking) ①</u><br><u>身近な事柄のうち、日常生活にまつわる内容に答える</u>                             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                    | <u>応答 (Speaking) ②</u><br><u>ビジネスにまつわる内容に答える</u>                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                    | <u>E メール作成 (Writing) ①</u><br><u>お店や公共施設等日常のやり取り</u>                                  |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                    | <u>E メール作成 (Writing) ②</u><br><u>社内・社外に関するビジネスでのやり取り</u>                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                    | <u>解決策の提案 (Speaking) ①</u><br><u>解決策や提案する事項の整理、挨拶や日常の表現の確認</u>                        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                   | <u>解決策の提案 (Speaking) ②</u><br><u>解決策や提案の説明</u>                                        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                   | <u>意見を述べる (Writing) ①</u><br><u>日常生活やニュースに関するテーマについて、自分の意見を記述する</u>                   |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                   | <u>意見を述べる (Writing) ②</u><br><u>日常生活やニュースに関するテーマについて、自分の意見を述べる</u>                    |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>意見を述べる (Writing) ③</u><br><u>ビジネスに関するテーマについて、自分の意見を記述する意見を述べる</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>意見を述べる (Speaking)</u><br><u>ビジネスに関するテーマについて、自分の意見を述べる</u>         |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>全体のまとめ、解説</u>                                                     |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>15 回終了時に実施する TOEICSW テスト (30%)</div> <div>各回の理解度・参加度・貢献度 (40%)</div> <div>各回で実施する理解度テスト・課題 (30%)</div> <div>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</div> <div>各回 30～60 分を想定。</div> <div>予習：事前に配布される資料により英単語の確認を行うこと。</div> <div>復習：授業範囲の復習を行うこと。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：資料を適宜配布する。</div> <div>『TOEIC Speaking &amp; Writing 公式 テストの解説と練習問題』</div> <div>Educational Testing(著)、国際ビジネスコミュニケーション協会 2015 年</div> |                                                                      |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                      |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 英語コア・スキルズⅡ                                                    |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1 年次                                                          | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 奥村 耕一                                                         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <u>現代社会において、グローバルで活躍するためには英語力は必要不可欠である。この授業では基本的な英語 4 技能について社会的認知度の高い TOEIC や TOEFL など英語能力測定試験を題材にライティング能力とスピーキング能力の強化を図っていく。</u><br><u>具体的には、各能力試験の構成を確認するとともに、問題形式や出題傾向を踏まえた演習を繰り返し行う。個人やグループで、音読、ヒアリング、英文解釈のサイクルを繰り返すとともに、教材の内容と関連するエッセイやクイズを出し合うことで、自らの手や頭を使いながら、を向上させるとともに、正しく英文で表現できる力(単語力、構文理解力、文法力など)を習得する。上記を通じ、ビジネスシーンで使用する英語に対する基礎力、特に話す力と書く力の向上を目指す。</u> |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| ・ <u>英語のライティング能力とスピーキング能力の向上</u><br>・ <u>TOEIC Speaking&amp;Writing Test で 200 点台を目指す。</u>                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>イントロダクション</u><br><u>TOEIC Speaking&amp;Writing Test 概要</u> |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>セルフチェック</u><br><u>英語環境、スピーキング力、ライティング力</u>                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Writing…写真描写①</u>                                          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Writing…写真描写②</u>                                          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Speaking…写真描写</u>                                          |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Writing…E メール作成問題①</u>                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Writing…E メール作成問題②</u>                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>3～7 回までのまとめ、解説</u>                                         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>Speaking…提示された情報に基づく応答</u>                                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>Speaking…応答</u>                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>Writing…意見を記述する①</u>                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>Writing…意見を記述する②</u>                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>Speaking…意見を述べる</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>Speaking…音読</u>     |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>9～14 回までのまとめ、解説</u> |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>15 回終了時に実施する TOEICSW テスト (30%)</div> <div>各回の理解度・参加度・貢献度 (40%)</div> <div>各回で実施する理解度テスト・課題 (30%)</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>各回 30～60 分を想定。</div> <div>予習：事前に配布される資料により英単語の確認を行うこと。</div> <div>復習：授業範囲の復習を行うこと。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：資料を適宜配布する。</div> <div>『TOEIC Speaking &amp; Writing 公式 テストの解説と練習問題』</div> <div>Educational Testing(著)、国際ビジネスコミュニケーション協会 2015 年</div> |                        |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                        |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 数学基礎 B                                     |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 1 年次                                       | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 落合 慶広                                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>経営分野、工学分野等における実世界の課題は、数式により定義でき、これを数値解法を用いて解くことができるものが多く存在する。こうした課題を解くためには、数学的な課題の捉え方や解き方が重要となる。本科目では基礎的な線形代数として「ベクトル」「行列」「線形方程式」などをテーマに取り上げ線形代数の基本的な内容を学んでいく。これらの理論や考え方は、データ分析やソフトウェア、IoT 設計などの分野の学習を深めるうえで基本的な考え方となる。「ベクトル」「行列」「線形方程式」などの基本概念について学ぶとともに、演習を通して各手法の本質や適用方法についての理解を深める。</p> <p>本授業では、こうした数学的素養の基礎となる線形代数について学ぶと共に、これに関連する各科目への入り口までを講義する。なお、本授業では数学の面白さや経営学、情報通信技術での有用性が十分理解できるような授業を行う。</p> |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>・「ベクトル」「行列」「線形方程式」など線形代数の基本的な内容について、それぞれの考え方を説明できる。</p> <p>・適用する目的や対象に応じて各技術を使い分けることができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>ベクトル（1）</u><br>ベクトルの考え方、図形表現など基本的な内容の確認 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>ベクトル（2）</u><br>ベクトル空間と線形性の概要と基本定理、意味    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>ベクトル（3）</u><br>部分空間と基底、次元の概要と基本定理       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>ベクトル（4）</u><br>ベクトルと線形方程式の関係と意味         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>行列（1）</u><br>行列・線形方程式の概要と応用             |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>行列（2）</u><br>行列の基本変形と定理、正則行列や逆行列の考え方    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>行列（3）</u><br>行列式の基本定理とその意味、行列式の計算法      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>線形写像、線形変換（1）</u><br>ベクトル空間と直交性、直和の概要    |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>線形写像、線形変換（2）</u><br><u>さまざまな線形変換の概要とコンピュータビジョンへの応用</u> |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>線形写像、線形変換（3）</u><br><u>線形写像の基礎的な考え方、使い方</u>            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>固有値と固有空間（1）</u><br><u>固有値、固有ベクトルなどの考え方と意味</u>          |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>固有値と固有空間（2）</u><br><u>行列分解の各手法の特徴、違い、応用例</u>           |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>固有値と固有空間（3）</u><br><u>微分方程式や連立微分方程式との関係</u>            |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>線形代数の応用とまとめ（1）</u><br><u>線形代数のまとめと実際の事象・実社会とのつながり</u>  |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>線形代数の応用とまとめ（2）</u><br><u>線形代数のまとめと実際の事象・実社会とのつながり</u>  |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><u>各講義で出題する課題のレポート（60％）及び期末レポート（40％）により総合評価する。</u></div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><u>予習：各講義ごとに配布される資料を事前に読んでおくこ</u></div> <div><u>復習：各講義で出題する課題レポートの作成</u></div> <div><u>（合わせて各回 30 分～1 時間程度）</u></div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div><u>教科書：資料を適宜配布する</u></div> <div><br/><u>参考文献：</u></div> <div><u>『エクササイズ微分積分』</u></div> <div><u>立花俊一(著)成田清正(著)、奈良知恵(著)、共立出版、1992 年</u></div> <div><u>『世界標準 MIT 教科書ストラング:線形代数』</u></div> <div><u>ギルバート・ストラング(著)、松崎公紀(翻訳)、新妻弘(翻訳)、近代科学社、2015 年</u></div> <div><u>『高校数学でわかる線形代数―行列の基礎から固有値まで（ブルーバックス）』</u></div> <div><u>竹内淳(著)、講談社、2010 年</u></div> <div>7. 備考</div> |                                                           |

新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 数学基礎 C                                              |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 1 年次                                                | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 磯 俊樹                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>経営分野、工学分野等における実世界の課題は、数式により定義でき、これを数値解法を用いて解くことができるものが多く存在する。こうした課題を解くためには、数学的な課題の捉え方や解き方が重要となる。本科目では基礎的な確率統計として「確率」「統計」「多変量解析」などをテーマに取り上げ確率統計の基本的な内容を学んでいく。これらの理論や考え方は、経営の最適化や需要予測、ビッグデータなどの分野の学習を深めるうえで基本的な考え方となる。「確率」「統計」「多変量解析」などの基本概念について学ぶとともに、演習を通して各手法の本質や適用方法についての理解を深める。</p> <p>本授業では、こうした数学的素養の基礎となる確率統計等について学ぶと共に、これに関連する各科目への入り口までを講義する。なお、本科目では、数学の面白さや経営学、情報通信技術での有用性が十分理解できるような授業を行う。</p> |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>・「確率」「統計」「多変量解析」など確率統計の基本的な内容について、それぞれの考え方を説明できる。</p> <p>・適用する目的や対象に応じて各技術を使い分けることができる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 内容                                                  |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>確率の基礎（1）</u><br>事象や確率など基本的な概念                    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>確率の基礎（2）</u><br>条件つき確率と独立性やベイズの定理など              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>確率変数と分布関数</u><br>確率変数、確率分布、分布関数、確率変数のモーメント、分散など  |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>多次元の確率変数と分布関数</u><br>確率ベクトル、同時分布、周辺分布、共分散、相関係数など |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>まとめ（1）</u><br>確率に関するまとめと理解確認                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>統計の基礎（1）</u><br>統計の基本的な考え方と手法                    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>統計の基礎（2）</u><br>確率変数と確率分布の基本的な考え方と手法（離散型確率分布など）  |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <u>統計の基礎（3）</u><br>確率変数と確率分布の基本的な考え方と手法（連続型確率分布など）  |      |    |     |      |         |    |      |    |

|    |                                                       |
|----|-------------------------------------------------------|
| 9  | 統計の基礎（4）<br>点推定の概要や手法                                 |
| 10 | 統計の基礎（5）<br>統計的仮説検定の基本的な考え方と手法（t 検定やカイ二乗検定など）         |
| 11 | まとめ（2）<br>統計に関するまとめと理解確認                              |
| 12 | 多変量解析（1）<br>回帰分析の基本的な考え方と手法（線形回帰、重回帰、ロジスティック回帰など）     |
| 13 | 多変量解析（2）<br>その他の分析方法の基本的な考え方と手法（主成分分析、因子分析、クラスター分析など） |
| 14 | まとめ（3）<br>多変量解析に関するまとめと理解確認                           |
| 15 | まとめ（4）総合演習<br>これまでの内容のまとめ・実社会とのつながり                   |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>試験：50％<br/>中間演習（3 回）、総合演習（1 回）：40％<br/>レポート提出（適時）：10％</p>                                                                                                                                                                                                                     |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>予習（事前学習）：各単元の内容をインターネットや文献等で 1 つ以上調べ、スライドにまとめる。<br/>復習（事後学修）：各単元で学んだ各手法に関連する演習問題をインターネットや文献等で 2 つ以上調べ、スライドにまとめる<br/>（あわせて各回 1 時間程度）</p>                                                                                                                                       |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：<br/>必要により、授業時にプリントを配布、または参考資料を適宜指示する。</p> <p>参考文献：<br/>『統計学入門（基礎統計学Ⅰ）』<br/>東京大学教養学部統計学教室（編集）、東京大学出版会、1991 年<br/>『見えないものをさぐる―それがベイズ：ツールによる実践ベイズ統計』<br/>藤田一弥（著）、フォワードネットワーク（監修）、オーム社、2015 年<br/>『データ解析のための統計モデリング入門―一般化線形モデル・階層ベイズモデル・MCMC（確率と情報の科学）』<br/>久保拓弥（著）、岩波書店、2015 年</p> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                               | キャリアデザインⅠ                                                                                   |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                               | 2年次                                                                                         | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 1単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                               | 富澤 豊                                                                                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>1年間の大学生活を経て得た気づき、課題を整理するとともに、入学時に立てた目標や行動計画の振り返りを行い、3年次のインターンシップや卒業後のキャリアに向け、改めてキャリアプラン、行動計画を考える。合わせて、改めて仕事や職業への理解を深め、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについてのより具体的なアクションにつなげられるように展開する。これらを通じ大学生活やその後の人生をどのように作っていくかを考え、自分自身のキャリアを主体的に想像していく土台を作る。</u> |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>・キャリア形成について理解し、自己の目指す方向性を見極め、目標が設定できる。</u><br><u>・自分自身を振り返り、客観視する視点や考え方を得ることで、自己理解を深める。</u><br><u>・また仕事や働くことに対する理解を深め、イノベーション人材となるためのキャリアデザインを行い、職業人の基礎となる力を醸成する</u>                                                                            |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                                                                          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>イントロダクション</u><br><u>1年次の振り返り、キャリアデザインについての説明</u>                                         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>自己理解（1）</u><br><u>（自分の傾向や価値観、物事の見方やとらえ方について考える）</u>                                      |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>自己理解（2）</u><br><u>（自己理解、他者理解について考える）</u>                                                 |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>社会や仕事への理解（1）</u><br><u>（働くとは何かから、自分と社会のかかわり方について考える）</u>                                 |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>社会や仕事への理解（2）</u><br><u>（業種、職種など、仕事の分類や役割の分類などを学び、自分の仕事のとらえ方やミッションについて考える）</u>            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>行動計画・キャリアプラン（1）</u><br><u>（自己理解や仕事への理解を通じて気づいた、自分のミッションや仕事のとらえ方を振り返る）</u>                |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>行動計画・キャリアプラン（2）</u><br><u>（本科目やこれまで大学生活で学んできたことを踏まえ、卒業後のライフキャリアプラン、大学での目標、行動プランを考える）</u> |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>まとめ</u><br><u>（インターンシップまでの中期プラン、卒業後の進路に向けたキャリアプランの共有とフィードバック）</u>                        |      |    |     |     |         |    |      |    |

4. 試験および成績評価の方法と基準

授業への参加態度（70%）、授業における提出物（30%）から総合的に判断する。

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

各回テーマに応じた課題を毎回 30～60 分程度の予習・復習を行う。

6. 教科書／参考文献

教科書：随時レジュメを配布する。

参考文献：

『大学生のためのキャリアデザイン入門』

岩上 真珠（編集）大槻 奈巳（編集）、有斐閣、2014 年

『キャリアデザイン学への招待』

金山 喜昭（編集），武石 恵美子（編集），児美川 孝一郎（編集）、ナカニシヤ出版、2014 年

『キャリアデザイン入門Ⅰ基礎力編 第 2 版』

大久保 幸夫（著）、日本経済新聞出版社、2016 年

7. 備考



|                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                | キャリアデザインⅠ                                                           |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                | 1年次                                                                 | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 1単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                | 富澤 豊                                                                |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                             |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>キャリアデザインⅠでは社会人となるうえで必要なマナーやスキル、考え方をもとに、自らの能力と将来像を俯瞰し、自身のキャリアデザインを行う。合わせて、仕事とは何か、働くことやキャリアデザインの概念を学ぶことで、キャリアについて考え、行動できるように具体化する。これらを通じ大学生活やその後の人生をどのように作っていくかを考え、自分自身のキャリアを主体的に想像していく土台を作る。授業は5人ほどのチームに分かれ、グループ討議及び発表を中心に行う。</p> |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                         |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>ビジネスマナーやビジネス文書スキルをはじめとしたビジネスを円滑に進めるために必要なマインド、知識、技法を会得することで、社会人として最低限必要な基礎的能力を身につける。自らのビジネスキャリアを考え、これから歩む社会人人生の基礎となる力を醸成することを目標とする。</p>                                                                                          |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                             |                                                                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                  | 内容                                                                  |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事とは何か</u><br><u>(ミッションや役割意識の考え方を知る、なぜ人は仕事をするのかを考える)</u>         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                   | <u>自己理解①</u><br><u>(自己紹介スキル、自己プレゼン)</u>                             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                   | <u>自己理解②</u><br><u>(自分のキャリアプランを考える、複線式、セレンディピティ、ゴール設定)</u>          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解①</u><br><u>(ビジネスマナーの理解・実践)</u>                            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解②</u><br><u>(企業の組織体系と役割分担への理解)</u>                         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解③</u><br><u>(仕事での協働、役割と立場を理解した業務遂行と意識づけについて考える)</u>        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解④</u><br><u>(仕事のサイクル、円を意識した取り組み方を理解する)</u>                 |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解⑤</u><br><u>(営業マインド、仕事の報酬は何かを考える)</u>                      |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                   | <u>仕事への理解⑥</u><br><u>(目標設定と管理方法、予算、目標管理、達成意欲について考える)</u>            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                  | <u>仕事をする上で理解しておくべきコンプライアンス</u><br><u>(遵法意識、誘惑との戦い、従業員管理などを理解する)</u> |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                  | <u>仕事に必要なスキル①</u><br><u>(ビジネス文書スキル、伝わる文書術について理解し実践する)</u>           |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                  | <u>仕事に必要なスキル②</u><br><u>(ビジネスプレゼンススキル、自己紹介との違いについて理解し、実践する)</u>     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                  | <u>仕事に必要なスキル③</u><br><u>(ロジカルシンキングスキル (MECE、ロジックツリーなど) を理解する)</u>   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                  | <u>まとめ①</u><br><u>(自分のタイプ分類を行い、自己理解を深める)</u>                        |      |    |     |     |         |    |      |    |

|    |                                                                      |
|----|----------------------------------------------------------------------|
| 15 | <u>まとめ②</u><br><u>(自己理解や仕事への理解を通じて気づいた、自分のミッションや仕事のとらえ方について振り返る)</u> |
|----|----------------------------------------------------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>授業への参加態度（70％）、授業における提出物（30％）から総合的に判断する。</p>                                                                                                                                                                                     |
| <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>各回テーマに応じた課題を毎回 30～60 分程度の予習・復習を行う。</p>                                                                                                                                                                                          |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：随時レジュメを配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『大学生のためのキャリアデザイン入門』<br/>岩上 真珠（編集）大槻 奈巳（編集）、有斐閣、2014 年</p> <p>『キャリアデザイン学への招待』<br/>金山 喜昭（編集）、武石 恵美子（編集）、児美川 孝一郎（編集）、ナカニシヤ出版、2014 年</p> <p>『キャリアデザイン入門ⅠⅠ基礎力編 第2版』<br/>大久保 幸夫（著）、日本経済新聞出版社、2016 年</p> |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                      |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------|----|-----|-----|-------------|----|----------|----|----|----|---|--------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | キャリアデザインⅡ                                                            |          |    |     |     |             |    | 基礎科目     |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 3年次                                                                  | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 1単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 講義 |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 富澤 豊                                                                 |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| <p>1. 授業概要</p> <p><u>入学からインターンシップまでの3年弱の学習や経験を通じて得たこと、感じたことを振り返り、卒業後の活躍を見据えたキャリアプランやキャリアを考える要素となる今日的な話題、考え方について学習を進める。</u></p> <p><u>大学生活の中での活動を履歴書やポートフォリオ、キャリアカルテに整理することで、これまでの振り返りと自己理解を深める。また、インターンシップでは、実際の企業などで実践的な業務を行ってきた。この経験の中で考えた職業人として必要なスキル、知識、社会人基礎力について整理し、今後の大学生活において何を実現させていくのか、そのためにどのような学びを深めるのかを考え、キャリアプランや行動計画を作成する。キャリアに関する今日的な話題を取り上げることで、多角的に自己や周囲のキャリアについて興味関心を持ち、主体的に学び選択していく素地を作る。</u></p> <p><u>上記を通じ、残る大学生活や今後の職業人生に対し、主体的に行動する、選び取るための意識と判断基準を持つことを目指す。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                      |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| <p>2. 授業の目的、目標</p> <p><u>これまでの学習やインターンシップを経て得た学びをもとに、自分や周囲のキャリアプランや職業選択を主体的に行うための意識づけ、判断基準を持つ。</u></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                      |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| <p>3. 授業計画</p> <table><tr><td>回数</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td><u>振り返りと目標設定（1）</u><br/><u>（キャリアプラン、インターンシップや大学での学習の振り返り）</u></td></tr><tr><td>2</td><td><u>振り返りと目標設定（2）</u><br/><u>（職業人としてのスキル、知識、社会人基礎力）</u></td></tr><tr><td>3</td><td><u>振り返りと目標設定（3）</u><br/><u>（これまでの学習や活動の整理、履歴書やポートフォリオなど自己の活動の伝え方）</u></td></tr><tr><td>4</td><td><u>振り返りと目標設定（4）</u><br/><u>（今後のキャリアプラン、大学生活での目標）</u></td></tr><tr><td>5</td><td><u>キャリアを取り巻く今日的な話題（1）</u><br/><u>（企業や社会での中での役割、他者とのかわり方）</u></td></tr><tr><td>6</td><td><u>キャリアを取り巻く今日的な話題（2）</u><br/><u>（仕事とメンタルヘルス、制度的なサポート）</u></td></tr><tr><td>7</td><td><u>キャリアを取り巻く今日的な話題（3）</u><br/><u>（多様な働き方、ライフスタイル）</u></td></tr><tr><td>8</td><td><u>まとめ</u><br/><u>（キャリアとは何か、自分なりのキャリアプラン）</u></td></tr></table> |                                                                      |          |    |     |     |             |    |          |    | 回数 | 内容 | 1 | <u>振り返りと目標設定（1）</u><br><u>（キャリアプラン、インターンシップや大学での学習の振り返り）</u> | 2 | <u>振り返りと目標設定（2）</u><br><u>（職業人としてのスキル、知識、社会人基礎力）</u> | 3 | <u>振り返りと目標設定（3）</u><br><u>（これまでの学習や活動の整理、履歴書やポートフォリオなど自己の活動の伝え方）</u> | 4 | <u>振り返りと目標設定（4）</u><br><u>（今後のキャリアプラン、大学生活での目標）</u> | 5 | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（1）</u><br><u>（企業や社会での中での役割、他者とのかわり方）</u> | 6 | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（2）</u><br><u>（仕事とメンタルヘルス、制度的なサポート）</u> | 7 | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（3）</u><br><u>（多様な働き方、ライフスタイル）</u> | 8 | <u>まとめ</u><br><u>（キャリアとは何か、自分なりのキャリアプラン）</u> |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 内容                                                                   |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>振り返りと目標設定（1）</u><br><u>（キャリアプラン、インターンシップや大学での学習の振り返り）</u>         |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>振り返りと目標設定（2）</u><br><u>（職業人としてのスキル、知識、社会人基礎力）</u>                 |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>振り返りと目標設定（3）</u><br><u>（これまでの学習や活動の整理、履歴書やポートフォリオなど自己の活動の伝え方）</u> |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>振り返りと目標設定（4）</u><br><u>（今後のキャリアプラン、大学生活での目標）</u>                  |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（1）</u><br><u>（企業や社会での中での役割、他者とのかわり方）</u>          |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（2）</u><br><u>（仕事とメンタルヘルス、制度的なサポート）</u>            |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題（3）</u><br><u>（多様な働き方、ライフスタイル）</u>                 |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>まとめ</u><br><u>（キャリアとは何か、自分なりのキャリアプラン）</u>                         |          |    |     |     |             |    |          |    |    |    |   |                                                              |   |                                                      |   |                                                                      |   |                                                     |   |                                                             |   |                                                           |   |                                                      |   |                                              |

4. 試験および成績評価の方法と基準

授業への参加態度（70％）、授業における提出物（30％）から総合的に判断する。

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

事前準備学習 30 分～60 分。当回の振り返りのための復習 30 分程度。

6. 教科書／参考文献

教科書：必要な資料を適宜配布する。

参考文献：

『キャリアアップのための戦略論』

平井 孝志（著）、日本経済新聞出版社、2017 年

『なぜ部下はリーダーの足を引っ張るのか』

小倉 広（著）、すばる舎、2011 年

『仕事の哲学』

P・F・ドラッカー（著）上田 惇生（翻訳）、ダイヤモンド社、2003 年

7. 備考



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | キャリアデザインⅡ                                                                                     |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2年次                                                                                           | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 1単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 富澤 豊                                                                                          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>キャリアデザインⅠを通じて習得した基本的なマナーやスキル、ミッションの考え方をもとに、現状有する能力および、今後培っていく能力を考慮し、社会人としての自らのキャリアをデザインする。キャリアデザインは独りよがりのものではなく、その時々<span>の</span>社会背景や、周囲の友人や同僚などとも相互に作用し合う点において、自分自身のブランドマネジメント戦略という見方もできる。経営者、マネジメント側として周囲をどのようにコントロールし、またどのようにプロモートするのか、より具体的にイメージできるキャリアデザインを構築する。さらにメンバーとなった場合<span>の</span>フォロワーシップとしての立場を理解することにより、さまざまなキャリア意識の違いを把握する。授業は5人ほどのチームに分かれ、グループ討議及び発表を中心に行う。</p> |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>キャリアデザインⅠで学んだビジネスの基礎をもとに、i大生として、また後の社会人人生における基準となる自らのキャリア設計を作り上げる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 内容                                                                                            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自分のキャリアプランの再確認。</u><br><u>（前期中に自分のキャリアに影響のあったことの棚卸し（学業、プライベート、他）とキャリアプランの見直し。ミッションの確認）</u> |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自己分析①</u><br><u>（自分の強み、弱みは何か、アルバイト経験、インターンシップ、部活動、サークル活動、自己評価、他者評価）</u>                    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自己分析②</u><br><u>（自分が進むべきキャリアにおける現状の自分の位置づけ、伸ばすべき能力・足りない能力の把握）</u>                          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自己PRの手法①</u><br><u>（著名人、タレントなどの見せ方、自分のブランド化、ストーリーマーケティング）</u>                              |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自己PRの手法②</u><br><u>（エントリーシートへの書き方、集団に紛れない個性）</u>                                           |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>他者との協働①</u><br><u>（上司・部下・同僚、協力会社、取引先など）</u>                                                |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>他者との協働②</u><br><u>（お客様との協働、周囲を巻き込む方法）</u>                                                  |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自分の所属する「場」の分析（現在、将来、3C、5Forces）</u>                                                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>自分のポジショニングを考える（採用面接時、仲間、職場）</u>                                                            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>役割意識①</u><br><u>（経営者としてのリーダーシップ、メンバーマネジメント、カリスマ性）</u>                                      |      |    |     |     |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>役割意識②</u><br><u>（フォロワーシップ、部下の類型の理解、チームワークとは何か）</u>                       |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>役割意識③</u><br><u>（究極の救難時における役割意識）</u>                                     |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題①</u><br><u>（社会貢献ー地域との関わり、ボランティア、メセナ、寄付行為）</u>            |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>キャリアを取り巻く今日的な話題②</u><br><u>（セカンドキャリアーアスリートのセカンドキャリア、ビジネスマンのセカンドキャリア）</u> |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>まとめ、i大生としてのキャリアを考える</u>                                                  |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br/>授業への参加態度（70％）、授業における提出物（30％）から総合的に判断する。</p> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br/>事前準備学習 30分～60分。当回の振り返りのための復習 30分程度。</p> <p><b>6. 教科書／参考文献</b><br/>教科書：<br/><u>『キャリアアップのための戦略論』</u><br/>平井 孝志（著）、日本経済新聞出版社、2017年</p> <p>参考文献：<br/>『なぜ部下はリーダーの足を引っ張るのか』<br/>小倉 広（著）、すばる舎、2011年<br/>『仕事の哲学』<br/>P・F・ドラッカー(著)上田 惇生（翻訳）、ダイヤモンド社、2003年</p> |                                                                             |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                             |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                 |                                                                            | マーケティング基礎 |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                 | 1 年次                                                                       | 配当学期      | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                 | 富澤 豊                                                                       |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                              |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| マーケティングの基礎的な概念とその発想法を習得することで、 <u>情報通信技術を用いたビジネスやサービスを検討する中で、実務としてマーケティング戦略の立案、戦術の策定ができるようにする。</u>                                                                                                    |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>具体的にはビジネスの現場で活用するためのマーケティングの基本的な知識やスキル、理論を幅広く学ぶ。身近な商品・サービスの実例を用いて、経営に欠かせないマーケティングの基礎知識を理解する。あわせて、デジタルマーケティングやソーシャルメディアを活用したマーケティングなど今日的な話題を学ぶこと</u> で、 <u>ビジネスの現場でマーケティングを活用するための知識・スキルを習得する。</u> |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                          |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| マーケティングの基礎理論を理解し、 <u>情報通信技術とビジネス、マーケティングとの関係性と実践方法を説明できるようになる。</u>                                                                                                                                   |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                              |                                                                            |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                   | 内容                                                                         |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                    | マーケティングとは何か、ICT とマーケティングの関係性。                                              |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                    | S T P 戦略①Segmentation                                                      |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                    | S T P 戦略②Targeting、Positioning                                             |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                    | 4 P ・ 4 C① <u>Product と Customer Value</u> （価値とは何か）                        |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                    | 4 P ・ 4 C② <u>Price と Cost</u> （価格戦略）                                      |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                    | 4 P ・ 4 C③ <u>Place と Convenience</u> （売り方）                                |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                    | 4 P ・ 4 C④ <u>Promotion と Communication</u> （メディアと顧客コミュニケーション）             |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                    | <u>マーケティング・リサーチ</u><br><u>（意思決定のために必要な調査・分析について概観する）</u>                   |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                    | <u>ネーミング、パッケージ</u><br><u>（商品やサービスのブランディングについて考える）</u>                      |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                   | <u>WEBマーケティング、SNSマーケティング</u><br><u>（マーケティングの今日的な手法について理解を深める）</u>          |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                   | <u>サービス・マーケティング</u><br><u>（形がないという特性を踏まえたマーケティングの考え方等について理解を深める）</u>       |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                   | <u>ビッグデータとA I（人工知能）</u><br><u>（マーケティングの観点から、ICT の先端的な技術の活用法について理解を深める）</u> |           |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                   | <u>G I Sマーケティング、街の見方、商圈調査</u><br><u>（地域特性を考慮したマーケティングの考え方について理解を深める）</u>   |           |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                                                       |
|----|-----------------------------------------------------------------------|
| 14 | スポーツマーケティング<br>（五輪、W杯など <u>マーケティングの場としてのスポーツとそのマネジメントについて理解を深める</u> ） |
| 15 | これまでの振り返り、マーケティングの未来                                                  |

|                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>・各回での事例検討レポートおよび授業態度・参加度（40％）</div> <div>・期末のレポート（60％）</div>                                                |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>毎回の授業内容について、事前に教科書や配布資料をよく読むこと。</div> <div>また事例検討レポートを作成する。その際、自分の身の回りのモノで当てはまる事項を考えてくる（各回30～60 分程度）。</div> |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回レジュメを配布する。</div> <div>『マーケティングの着眼点 25（Kindle 版）』</div> <div>富澤 豊（著）、祇園書房、2018 年</div>                        |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                               |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

|                                                                                                                                                                                                                                    |                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                               | マーケティング基礎                                       |      |    |     |      |         |    | 職業基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                               | 1 年次                                            | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                               | 富澤 豊                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要<br>マーケティングの基礎的な概念とその発想法を習得することで、 <u>ICT 関連のビジネス・シーン</u> で、実務としてマーケティング戦略の立案、戦術の策定ができるようにする。<br><u>マーケティング</u> をビジネスの現場で活用するための、 <u>基礎能力</u> から、 <u>理論</u> 、 <u>応用</u> まで幅広く学ぶ。身近な商品・サービスの実例を用いて、経営に欠かせないマーケティングの基礎知識を理解する。 |                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標<br>マーケティングの基礎理論を理解し、 <u>ICT</u> とマーケティングとの関係性と実践方法を説明できるようになる。                                                                                                                                                         |                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                            |                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                  | マーケティングとは何か、ICT とマーケティングの関係性。                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                  | S T P 戦略①Segmentation                           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                  | S T P 戦略②Targeting、Positioning                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                  | 4 P ・ 4 C ① <u>Product</u> （価値とは何か）             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                  | 4 P ・ 4 C ② <u>Price</u> （価格戦略）                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                  | 4 P ・ 4 C ③ <u>Place</u> （売り方）                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                  | 4 P ・ 4 C ④ <u>Promotion</u> （メディアと顧客コミュニケーション） |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                  | <u>ネーミング、パッケージ</u>                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                  | <u>WEBマーケティング、SNSマーケティング</u>                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                 | <u>サービス・マーケティング</u>                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                 | <u>マーケティング・リサーチ</u>                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                 | ビッグデータとA I（人工知能） <u>～マーケティングの観点から～</u>          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                 | G I Sマーケティング、街の見方、商圈調査                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                 | スポーツマーケティング（五輪、W杯など）                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                 | これまでの振り返り、マーケティングの未来                            |      |    |     |      |         |    |        |    |

4. 試験および成績評価の方法と基準

- ・各回での事例検討レポートおよび授業態度・参加度（40％）

- ・期末のレポート（60％）

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

毎回の授業内容について、事前に教科書や配布資料をよく読むこと。

また事例検討レポートを作成する。その際、自分の身の回りのモノで当てはまる事項を考えてくる（各回30～60 分程度）。

6. 教科書／参考文献

教科書：各回レジュメを配布する。

『マーケティングの着眼点 25』

富澤 豊（著）、祇園書房、2018 年

7. 備考

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | アカウントिंग入門                                    |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1 年次                                          | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 中嶋 隆一                                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえば、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。同時に、会計の適用範囲は広い。ここでは、会計を網羅的に取り上げ、その時々<sup>1</sup>の会計事情を事例として利用しながら、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。</u> |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>ICT を利用してビジネス社会で活躍する人材の育成をめざし、必要とされる会計の基礎知識を広く習得することを目的としている。これにより、会計の基本的考え方・必要性が理解できるようになる。とりわけ、会計情報の重要性をより深く学び、会計をビジネスのツールとして利用できるようになることが目標である。</u>                                                                                                                                             |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 内容                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>会計の役割とは（会計の意義・目的・仕組みについて）</u>              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>財務会計の基礎（1）企業外部者のための会計情報と財務諸表</u>           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>財務会計の基礎（2）財務諸表の構成要素とその役割・・・貸借対照表・損益計算書</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>財務会計の基礎（3）財務諸表の構成要素とその役割・・・キャッシュフロー計算書</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>簿記のルール（1）簿記の意味・役割・種類と簿記一巡の手続き（仕訳）</u>      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>簿記のルール（2）簿記一巡の手続き（転記・試算表）</u>              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>簿記のルール（3）簿記一巡の手続き（精算表・財務諸表の出来るまで）</u>      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>財務分析とは・・・財務諸表の利用の仕方と分析方法の概要</u>            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>会計と法制度・・・日本の会計制度（中小企業の会計制度を含む）の体系</u>      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>監査とは・・・監査の基本とその必要性</u>                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>管理会計の基礎・・・企業内部者のための会計とは</u>                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>原価計算の必要性</u>                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>税務会計とは・・・企業会計と税務会計の相違について</u>              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>会計領域の拡大（1）グローバル社会の会計ルール・・・国際会計基準とは</u>     |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                            |
|----|----------------------------|
| 15 | 会計領域の拡大（2）環境会計・公会計等への応用の現状 |
|----|----------------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業内小テスト・レポート・課題プレゼンテーション等を含む平常点30％</div> <div>最終試験70％（授業範囲すべてを含む）</div>                                                                                                                                                                                               |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>予習：毎回完結型のテーマによる授業のため、関連する事例等をインターネット等で調べておく</div> <div>復習：授業時に適宜配布するレジュメと講義内容の復習</div> <div>授業時に適宜課す課題については平常点に係るので、提出準備をしておく（あわせて1時間程度）</div>                                                                                                                        |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：オリジナルのレジュメ形式で毎回配布する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『会計学基礎論 第五版』神戸大学会計学研究室、同文館出版、2016 年</div> <div>『スタートアップ会計学 第2 版』上野清貴編著、同文館出版、2018 年2 月。</div> <div>『新版 会計学入門 第5 版』千代田邦夫著、中央経済社、2018 年2 月</div> <div>『会計学入門（第5 版）』櫻井久勝、日経文庫、2018 年7 月。</div> <div>その他テーマごとに適宜提示する。</div> |
| 7. 備考                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | アカウンティング                          |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 1 年次                              | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 川上 慎市郎                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>財務会計は企業の「構造」と「健康状態」を知るために必要不可欠な知識であり、管理会計は事業を「正しい道筋」に経営して導くために必要不可欠な道標である。本講義では、初めて起業する者を対象とした経理業務のガイドと、財務3表や主要な財務指標の意味合いとその事業構造との関係の読み取り方、事業収支予測（予測財務諸表）の作り方と KPI（主要業績指標）の設定のしかたについて学習し、実際の起業に際して会計処理とそれに基づく経営判断を正しく行えるようになることを目指す。</p> <p>また、ICT ソフトウェア関連事業に特有の会計基準として、「研究開発に係る会計基準」をめぐる諸問題と、大規模ソフトウェア開発受託事業等における工事進行基準会計についても触れる。</p> |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・会社設立における経理業務を、クラウド会計ソフトなどを用いて実際にできるようになる</li><li>・財務3表と主要な財務指標についてその意味合いを理解し、事業構造と結びつけられるようになる</li><li>・事業構造を理解したうえで予測財務諸表を作成し、その事業の目指すべき状態を管理会計上の指標 (KPI) で表現できるようになる</li></ul>                                                                                                                     |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 会計とは何か（会計の種類・役割、事業活動と会計のつながり）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 起業における経理業務（1）起業に必要な会計関連の準備        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 起業における経理業務（2）クラウド会計ソフトの使い方と資金繰り管理 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 財務会計の基礎（1）財務3表                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 財務会計の基礎（2）主要な財務指標とその意味合い          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 財務分析演習（1）流通業                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 財務分析演習（2）製造業                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 財務分析演習（3）IT 産業                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 会計基準と不正会計（研究開発会計基準、工事進行基準会計など）    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 総合演習（1）事業構造と財務分析                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 管理会計の基礎（1）さまざまな原価計算               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 管理会計の基礎（2）損益分岐点の計算                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 管理会計の基礎（3）予測損益計算書の作成と KPI 設定      |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                  |
|----|------------------|
| 14 | 総合演習（2）事業計画と財務分析 |
| 15 | 総合演習（3）事業戦略と財務分析 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・動画による事前学習の確認テストの評価（初回と総合演習以外の各回 1%、計 10%）</li><li>・クラス中の発言回数およびその内容（各回 2%、計 30%）</li><li>・5 回目、10 回目、15 回目の終了後に行われる 3 回の理解度テストの評価（各 20%、計 60%）</li></ul>                                                         |  |
| <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予習：動画による事前学習（各回 1 時間程度）</li><li>・復習：各回の学習内容の振り返り（各回 1 時間程度）</li><li>・課題：動画視聴による事前学習と、（オンライン掲示板等を用いた）各回の学習内容の振り返り</li></ul>                                                                                       |  |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：<br/>『起業したらまっさきに読む経理の本 新装版』<br/>笠原 清明（著）、クロスメディア・パブリッシング、2018 年</p> <p>参考文献：<br/>『新・現代会計入門 第3版』<br/>伊藤 邦雄（著）、日本経済新聞出版、2018 年<br/>『ビジネススクールで教える経営分析』<br/>太田 康広（著）、日本経済新聞出版社、2018 年<br/>『武器としての会計思考力 会社の数字をどのように戦略に活用するか?』<br/>矢部謙介（著）、日本実業出版社、2017 年</p> |  |
| 7. 備考                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | アカウンティング応用                       |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2 年次                             | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 中嶋 隆一                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>「アカウンティング入門」で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では主に財務会計（外部報告会計）の応用領域について学ぶ。企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルテともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務 3 表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー・計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みをしっかりと理解しておくことが重要である。</p> <p>また、個別企業の財務諸表だけではなく企業集団の連結財務諸表についても触れる。さらに、ICT の利用により、経済活動がボーダレス化するなかで、会計ルールの国際化への対応も考慮に入れておかなければならない。</p> <p>単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に学ぶことで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。</p> |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>この授業を通じて、会計情報の重要性、財務諸表の読み方、分析ができるようになり、ICT を利用した企業の発展およびグローバル社会への対応が可能となる。同時に、企業の付加価値を高める創造力を養うことが目標である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 内容                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 会計の意義と役割                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 企業会計の仕組み                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 企業会計制度の体系                        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 資産会計（1）資産の分類と評価基準                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 資産会計（2）個別テーマの検討                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 資産会計（3）個別テーマの検討                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 負債会計（1）負債の分類と構成内容                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 負債会計（2）個別テーマの検討                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 資本会計（1）資本の分類と構成内容                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 資本会計（2）個別テーマの検討                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 損益会計：損益項目の分類と内容                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 財務諸表の作成：法体系とのかかわりと財務 3 表の関連性について |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                        |
|----|------------------------|
| 13 | 連結財務諸表：意義と目的および作成方法の基本 |
| 14 | 財務分析：分析目的と分析方法の概要      |
| 15 | 会計の国際化：国際会計基準への対応      |

|                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>授業内小テスト・レポート・課題プレゼンテーション等を含む平常点30％</p> <p>最終試験70％（授業範囲すべてを含む）</p>                                                                                                                                                     |  |
| <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>予習：毎回完結型のテーマによる授業のため、関連する事例等をインターネット等で調べておく</p> <p>復習：授業時に適宜配布するレジュメと講義内容の復習</p> <p>授業時に適宜課す課題については平常点に係るので、提出準備をしておく（あわせて1時間程度）</p>                                                                                  |  |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：</p> <p>新井清光・川村義則著『新版 現代会計学 第2版』、中央経済社、2018年。</p> <p>参考文献：</p> <p>桜井久勝著『財務会計講義 第19版』中央経済社 2018年。</p> <p>伊藤邦雄著『新・現代会計入門 第3版』日本経済新聞社 2018年。</p> <p>橋本尚・山田善隆『IFRS 会計学基本テキスト第5版』中央経済社 2018年。</p> <p>その他必要に応じ適宜参考文献を紹介する。</p> |  |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                       |  |



新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ファイナンス入門                                   |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2年次                                        | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 中嶋 隆一                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>一般に、企業は資金を調達し、それらを運用して、収益を生むという活動をおこなう。そのため、ビジネスリーダーは、資金調達活動、投資活動、財務活動を、つねに考えて行動する必要がある。その際、会計情報を利用してファイナンス(財務：企業財務あるいは経営財務ともいう)をおこなうことは重要である。</p> <p>最近、ICTを利用したビジネスの現場で、コーポレートガバナンスの強化とともに、このファイナンスの重要性が増している。そこで、この授業では、将来ビジネスリーダーを目指す学生を対象に、経営プロセスにそって、会計の知識をもとにファイナンスの基礎とその考え方を修得してもらう。それにより、経営の効率性や収益性を高め、企業価値の最大化を目指すファイナンス本来の基本的スタンスが理解できるようになる。</p> |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>ICTを利用してビジネスの世界で活躍する人材の育成をめざし、必要とされるファイナンスの基礎知識を修得することを目的としている。単なる技術的手法を学ぶだけでなく、理論的考察をおこなうことで、実践力と創造力を養い、会計とともにビジネスの世界で必要なツールとして利用できるようになることが目標である。</p>                                                                                                                                                                                                      |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ファイナンスとは何か：ファイナンスの意義と必要性                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 会計とファイナンスの基礎 (1) 会計上の利益と経済利益の違い            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 会計とファイナンスの基礎 (2) 損益計算書(P/L)の仕組みと様式         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 会計とファイナンスの基礎 (3) 貸借対照表 (B/S)の仕組みと様式        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 会計とファイナンスの基礎 (4) キャッシュ・フロー計算書 (C/F)の仕組みと様式 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 経営環境を分析する：財務3表を中心とした財務諸表分析、CVP 分析          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 資金を調達する (1) デット・ファイナンス (負債による資金調達) とは      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 資金を調達する (2) エクイティ・ファイナンス(株式による資金調達) とは     |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 資金を調達する (3) 資本コストの意味・役割と算出方法(WACC)を学ぶ      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 運用・投資を判断する(1) ポートフォリオ理論の概要と CAPM           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 運用・投資を判断する(2) NPV(正味現在価値)法と IRR(内部収益率法)を学ぶ |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 運用・投資を判断する(3) 回収期間法その他と比較してみる              |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | リスク管理を考える：運転資本管理と資金運用表の作成                  |      |    |     |     |         |    |        |    |

|    |                                |
|----|--------------------------------|
| 14 | 業績評価の方法を考える：EVA(経済付加価値)の考え方を学ぶ |
| 15 | 企業価値について考える(応用)：DCF 法について学ぶ    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>・授業内小テスト・レポート・課題プレゼンテーション等を含む平常点30%</p> <p>・最終試験70% (授業範囲すべてを含む)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>予習：毎回完結型のテーマによる授業のため、関連する事例等をインターネット等で調べておく</p> <p>復習：授業時に適宜配布するレジュメと講義内容の復習</p> <p>授業時に適宜課す課題については平常点に係るので、提出準備をしておく(各回1～2時間程度)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |  |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：毎回、レジュメ形式で配布した資料により授業をおこなう。</p> <p>参考文献：</p> <p>『あわせて学ぶ 会計&amp;ファイナンス入門講座』<br/>保田隆明(著)、田中慎一(著)、ダイヤモンド社、2013年</p> <p>『ビジネスリーダーが学んでいる 会計&amp;ファイナンス』<br/>日沖健 (著)、中央経済社、2015年</p> <p>『図解 簿記からはじめる企業財務入門』<br/>津森信也(著)、東洋経済新報社、2014年</p> <p>『コーポレートファイナンス入門〈第2版〉』<br/>砂川伸幸(著)、日本経済新聞出版社、2017年</p> <p>『新・企業価値評価』<br/>伊藤邦雄(著)、日本経済新聞出版社、2014年</p> <p>『コーポレート・ファイナンス&lt;第10班&gt;上・下』<br/>リチャード・ブリリー(著)、スチャワート・マイヤーズ(著)、フランクリン・アレン(著)、<br/>藤井真理子(翻訳)、 國枝繁樹 (翻訳)、日経BP 社、2014年</p> |  |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |



新設のため該当なし

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イノベーション特論                               |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|----|----|---|-----------------------------------------|---|----------------------------|---|----------------------------|---|------------------------|---|------------------------|---|------------------|---|------------------|---|--------------|---|------------------|----|------------------|----|--------------------|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 3年次                                     | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 三澤 一文                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| <div>1. 授業概要</div> <p>本授業では、イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを学習する。従来、イノベーションの議論は、ビジネスの価値を持続的、漸進的に向上させるために、自社開発と外部利用の適切な判断基準はなにか、システム開発の投資効率はどう評価すべきか、イノベーションを加速させるための組織のしかけは何か、といった論点を中心に進められてきた。</p> <p>しかし、今後のイノベーションの議論は、ICT のさらなる格段の進歩を見据え、人と情報を中心にして、ビジネスの価値を加速的に向上させることに論点に移る。そこで、本授業では、ICT 関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。</p> <div>2. 授業の目的、目標</div> <p>今後の市場、顧客、技術などの最新動向を踏まえ、イノベーションを実践する際の典型的課題と取り組み方法を先進企業の事例で学習する。それにより、イノベーションを具体的に実現、加速させる高度なスキルを習得する。</p> <p>加えて、実社会に入る直前の4年次の授業として、イノベーションを ICT と経営の両方から複眼的に考えることの必要性や、技術やマーケティング、営業、管理など様々な専門の人たちと協働的に活動することの重要性を認識する。</p> <div>3. 授業計画</div> <table><tr><th>回数</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など）</td></tr><tr><td>2</td><td>市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1）</td></tr><tr><td>3</td><td>市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2）</td></tr><tr><td>4</td><td>デジタル・トランスフォーメーション（その1）</td></tr><tr><td>5</td><td>デジタル・トランスフォーメーション（その2）</td></tr><tr><td>6</td><td>デジタル時代の経営戦略（その1）</td></tr><tr><td>7</td><td>デジタル時代の経営戦略（その2）</td></tr><tr><td>8</td><td>中間発表・フィードバック</td></tr><tr><td>9</td><td>スマート・ファクトリー（その1）</td></tr><tr><td>10</td><td>スマート・ファクトリー（その2）</td></tr><tr><td>11</td><td>アジャイル・イノベーション（その1）</td></tr></table> |                                         |      |    |     |     |         |    |        |    | 回数 | 内容 | 1 | イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など） | 2 | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1） | 3 | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2） | 4 | デジタル・トランスフォーメーション（その1） | 5 | デジタル・トランスフォーメーション（その2） | 6 | デジタル時代の経営戦略（その1） | 7 | デジタル時代の経営戦略（その2） | 8 | 中間発表・フィードバック | 9 | スマート・ファクトリー（その1） | 10 | スマート・ファクトリー（その2） | 11 | アジャイル・イノベーション（その1） |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内容                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など） |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1）              |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2）              |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル・トランスフォーメーション（その1）                  |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル・トランスフォーメーション（その2）                  |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル時代の経営戦略（その1）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル時代の経営戦略（その2）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中間発表・フィードバック                            |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | スマート・ファクトリー（その1）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | スマート・ファクトリー（その2）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | アジャイル・イノベーション（その1）                      |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | アジャイル・イノベーション（その2） |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | デジタル・オペレーション（その1）  |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | デジタル・オペレーション（その2）  |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 期末発表・フィードバック       |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>中間発表・フィードバック：30％<br/>期末発表・フィードバック：40％<br/>授業内討議への参加度：30％</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>毎回の授業で事前配布する参考資料の予習が必要です（1時間程度）。</p> <p>また、中間と期末の発表・フィードバックの準備については、別途、担当教員から指示があります。</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：プリントを毎回の授業の前に配布</p> <p>参考文献：</p> <p>『デジタルの未来 事業の存続をかけた変革戦略』<br/>ユルゲン・メフェルト（著）野中 賢治（著）アンドレ・アンドニアン（その他）小川 敏子（翻訳）、日本経済新聞出版社、2018年</p> <p>『スクラム実践入門——成果を生み出すアジャイルな開発プロセス』<br/>貝瀬 岳志(著) 原田 勝信(著) 和島 史典(著) 栗林 健太郎(著) 柴田 博志(著) 家永 英治（著）、技術評論社、2015年</p> <div>7. 備考</div> |                    |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                         |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|----|----|---|-----------------------------------------|---|----------------------------|---|----------------------------|---|------------------------|---|------------------------|---|------------------|---|------------------|---|--------------|---|------------------|----|------------------|----|--------------------|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イノベーション特論                               |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 4年次                                     | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 三澤 一文                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| <div>1. 授業概要</div> <p>本授業では、イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを学習する。従来、イノベーションの議論は、ビジネスの価値を持続的、漸進的に向上させるために、自社開発と外部利用の適切な判断基準はなにか、システム開発の投資効率はどう評価すべきか、イノベーションを加速させるための組織のしかけは何か、といった論点を中心に進められてきた。</p> <p>しかし、今後のイノベーションの議論は、ICT のさらなる格段の進歩を見据え、人と情報を中心にして、ビジネスの価値を加速的に向上させることに論点に移る。そこで、本授業では、ICT 関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。</p> <div>2. 授業の目的、目標</div> <p>今後の市場、顧客、技術などの最新動向を踏まえ、イノベーションを実践する際の典型的課題と取り組み方法を先進企業の事例で学習する。それにより、イノベーションを具体的に実現、加速させる高度なスキルを習得する。</p> <p>加えて、実社会に入る直前の4年次の授業として、イノベーションを ICT と経営の両方から複眼的に考えることの必要性や、技術やマーケティング、営業、管理など様々な専門の人たちと協働的に活動することの重要性を認識する。</p> <div>3. 授業計画</div> <table><tr><td>回数</td><td>内容</td></tr><tr><td>1</td><td>イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など）</td></tr><tr><td>2</td><td>市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1）</td></tr><tr><td>3</td><td>市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2）</td></tr><tr><td>4</td><td>デジタル・トランスフォーメーション（その1）</td></tr><tr><td>5</td><td>デジタル・トランスフォーメーション（その2）</td></tr><tr><td>6</td><td>デジタル時代の経営戦略（その1）</td></tr><tr><td>7</td><td>デジタル時代の経営戦略（その2）</td></tr><tr><td>8</td><td>中間発表・フィードバック</td></tr><tr><td>9</td><td>スマート・ファクトリー（その1）</td></tr><tr><td>10</td><td>スマート・ファクトリー（その2）</td></tr><tr><td>11</td><td>アジャイル・イノベーション（その1）</td></tr></table> |                                         |      |    |     |     |         |    |        |    | 回数 | 内容 | 1 | イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など） | 2 | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1） | 3 | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2） | 4 | デジタル・トランスフォーメーション（その1） | 5 | デジタル・トランスフォーメーション（その2） | 6 | デジタル時代の経営戦略（その1） | 7 | デジタル時代の経営戦略（その2） | 8 | 中間発表・フィードバック | 9 | スマート・ファクトリー（その1） | 10 | スマート・ファクトリー（その2） | 11 | アジャイル・イノベーション（その1） |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内容                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | イントロダクション（本授業の概要、最近のイノベーションの成功・失敗事例、など） |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その1）              |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 市場・技術の動向とベスト・プラクティス企業（その2）              |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル・トランスフォーメーション（その1）                  |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル・トランスフォーメーション（その2）                  |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル時代の経営戦略（その1）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | デジタル時代の経営戦略（その2）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中間発表・フィードバック                            |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | スマート・ファクトリー（その1）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | スマート・ファクトリー（その2）                        |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | アジャイル・イノベーション（その1）                      |      |    |     |     |         |    |        |    |    |    |   |                                         |   |                            |   |                            |   |                        |   |                        |   |                  |   |                  |   |              |   |                  |    |                  |    |                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | アジャイル・イノベーション（その2） |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | デジタル・オペレーション（その1）  |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | デジタル・オペレーション（その2）  |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 期末発表・フィードバック       |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>中間発表・フィードバック：30％<br/>期末発表・フィードバック：40％<br/>授業内討議への参加度：30％</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>毎回の授業で事前配布する参考資料の予習が必要です（1時間程度）。</p> <p>また、中間と期末の発表・フィードバックの準備については、別途、担当教員から指示があります。</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：プリントを毎回の授業の前に配布</p> <p>参考文献：</p> <p>『デジタルの未来 事業の存続をかけた変革戦略』<br/>ユルゲン・メフェルト（著）野中 賢治（著）アンドレ・アンドニアン（その他）小川 敏子（翻訳）、日本経済新聞出版社、2018年</p> <p>『スクラム実践入門——成果を生み出すアジャイルな開発プロセス』<br/>貝瀬 岳志(著) 原田 勝信(著) 和島 史典(著) 栗林 健太郎(著) 柴田 博志(著) 家永 英治（著）、技術評論社、2015年</p> <div>7. 備考</div> |                    |

|                                                                                                                                                                                                                                                  |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                             | イノベーションプロジェクトⅠ                    |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                             | 1 年次                              | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                             | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎   |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                          |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                                             |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| I では、身近な街の生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップのメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、その活動を通じて自分自身が「事業を興す」ために必要なビジネスの知識と ICT のスキルが不足していることを痛感させ、個々の学生の今後の学習の意欲を高めるように促す。 |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                      |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・異なる価値観、性格のメンバーと、ゴールに向けて協働し期待された結果を出せるようになる                                                                                                                                                                                                      |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・観察、定義、解決策の考案・実装というデザイン思考の基本プロセスを理解し、実践できる                                                                                                                                                                                                       |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・身近なところに潜む課題解決に必要なスキルセットをイメージし、主体的に学習する意欲を得る                                                                                                                                                                                                     |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                          |                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                               | 内容                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                | 顧客観察と理解の手法、フィールドワーク               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                | 顧客課題の分析と特定（1）共感マップ                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                | 顧客課題の分析と特定（2）                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                | 課題の解決策のアイデア創出（1）バリュープロポジション・キャンバス |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                | 課題の解決策のアイデア創出（2）                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                | アイデアのプロトタイピング（実装）                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                | プロトタイプテスト（1）フィールドワーク              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                | テスト結果の分析と再実装への反映                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプテスト（2）フィールドワーク              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                               | ストーリーテリングの手法                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                               | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                               | 中間プレゼン発表とフィードバック                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                               | プレゼンテーションの再構成                     |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                  |
|----|------------------|
| 15 | 最終プレゼン発表とフィードバック |
|----|------------------|

|                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>・12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div> <div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div> <div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div>                                                                 |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>・予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</div> <div>・復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</div> <div>・課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</div> |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとに必要な資料を適宜配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『Lean Customer Development: Building Products Your Customers Will Buy』<br/>Cindy Alvarez（著）、O’ Reilly Media、2017<br/>『起業の科学 スタートアップ・サイエンス』<br/>田所雅之（著）、日経 BP 社、2017</div>               |
| 7. 備考                                                                                                                                                                                                                                                           |

|                                                                                                                                                                                                                                                 |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                            | イノベーションプロジェクト I                   |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                        | 1 年次                              | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                            | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎   |          |    |     |      |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                         |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                                            |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| I では、身近な街の生活者など身の回りの人々の行動観察から課題を発見し、その課題を解決するプロダクト／サービスを考案し、その開発に取り組む。ワークショップ形式の授業では、デザイン思考、リーンスタートアップのメソドロジーを取り入れて行い、適切なチームビルディングと事業開発のステップを踏めるようになることを狙う。また、その活動を通じて自分自身が「事業を興す」のに必要なビジネスの知識と ICT のスキルが不足していることを痛感させ、個々の学生の今後の学習の意欲を高めるように促す。 |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| ・異なる価値観、性格のメンバーと、ゴールに向けて協働し期待された結果を出せるようになる                                                                                                                                                                                                     |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| ・観察、定義、解決策の考案・実装というデザイン思考の基本プロセスを理解し、実践できる                                                                                                                                                                                                      |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| ・身近なところに潜む課題解決に必要なスキルセットをイメージし、主体的に学習する意欲を得る                                                                                                                                                                                                    |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                         |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                               | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客観察と理解の手法、フィールドワーク               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題の分析と特定（1）共感マップ                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題の分析と特定（2）                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                               | 課題の解決策のアイデア創出（1）バリュープロポジション・キャンバス |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                               | 課題の解決策のアイデア創出（2）                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアのプロトタイピング（実装）                 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプテスト（1）フィールドワーク              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                               | テスト結果の分析と再実装への反映                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                              | プロトタイプテスト（2）フィールドワーク              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーテリングの手法                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                              | 中間プレゼン発表とフィードバック                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                              | プレゼンテーションの再構成                     |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 最終プレゼン発表とフィードバック |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><div>・12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div><div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div><div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div></div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><div>・予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</div><div>・復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</div><div>・課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</div></div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとに必要な資料を適宜配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『Lean Customer Development: Building Products Your Customers Will Buy』<br/>Cindy Alvarez（著）、O’ Reilly Media、2017<br/>『起業の科学 スタートアップ・サイエンス』<br/>田所雅之（著）、日経 BP 社、2017</div> <div>7. 備考</div> |                  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | イノベーションプロジェクトⅡ                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 1 年次                            | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。</p> <p>イノベーションプロジェクトⅡでは、Ⅰのグループからメンバーを再編成したうえで、身近な生活者の課題を発見し、その課題の解決策となるプロダクト／サービスを簡単なソフトウェア開発スキルを用いて実際に実装してみる（プロトタイピング）ことを通じて、解決策の実現可能性を高め、質を上げられるようになることを目指す。このため、Ⅰに比べてプロトタイピングからテストにかけてのサイクルをやや長めにとり、最終プレゼンでは単なるアイデアのみならず、実装されたプロダクト／サービスとその事業化の可能性までを展示・説明できるようにする。また、この活動を通じてソフトウェア技術やデータ解析のスキル習得に対する意欲をさらに高める。</p> |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>異なる価値観・性格のメンバーと、素早く打ち解けて協働できる対人スキルを身につける</li><li>デザイン思考の基本プロセスを正しく理解し、その仮説検証サイクルを素早く回せるようになる</li><li>ICT を用いた課題解決に必要なスキル（ソフトウェア開発・データ解析など）の全体像を把握し、それを用いたプロダクト実装と事業化した際の簡単な収益シミュレーションができるようになる</li></ul>                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客観察と課題の分析・特定（1）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客観察と課題の分析・特定（2）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 課題の解決策のアイデア創出                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアの模式図化と UX 設計                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアのプロトタイピング（1）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのテスト（1）フィールドワーク           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアのプロトタイピング（2）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのテスト（2）フィールドワーク           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビジネスモデルへの落とし込み（1）UX 設計と MOT     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビジネスモデルへの落とし込み（2）収支シミュレーション     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                  |
|----|------------------|
| 13 | 中間プレゼン発表とフィードバック |
| 14 | プレゼンテーションの再構成    |
| 15 | 最終プレゼン発表とフィードバック |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</li><li>グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</li><li>中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</li><li>復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</li><li>課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：各回ごとに必要な資料を適宜配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『Lean UX 第 2 版 ―アジャイルなチームによるプロダクト開発（THE LEAN SERIES）』ジェフ・ゴーセルフ（著）ジョシュ・セイデン（著）坂田一倫（監修）エリック・リース（編集）児島修（翻訳）、オライリージャパン、2017 年</p> <p>『UX for Lean Startups: Faster, Smarter User Experience Research and Design』Laura Klein（著）、O’ Reilly Media、2013 年</p> |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                 | イノベーションプロジェクトⅡ |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 1 年次                            | 配当学期           | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎 |                |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。</p> <p>イノベーションプロジェクトⅡでは、Ⅰのグループからメンバーを再編成したうえで、身近な生活者の課題を発見し、その課題の解決策となるプロダクト／サービスを簡単なソフトウェア開発スキルを用いて実際に実装してみる（プロトタイピング）ことを通じて、解決策の実現可能性を高め、質を上げられるようになることを目指す。このため、Ⅰに比べてプロトタイピングからテストにかけてのサイクルをやや長めにとり、最終プレゼンでは単なるアイデアのみならず、実装されたプロダクト／サービスとその事業化の可能性までを展示・説明できるようにする。また、この活動を通じてソフトウェア技術やデータ解析のスキル習得に対する意欲をさらに高める。</p> |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>異なる価値観・性格のメンバーと、素早く打ち解けて協働できる対人スキルを身につける</li><li>デザイン思考の基本プロセスを正しく理解し、その仮説検証サイクルを素早く回せるようになる<ul style="list-style-type: none"><li>ICT を用いた課題解決に必要なスキル（ソフトウェア開発・データ解析など）の全体像を把握し、それを用いたプロダクト実装と事業化した際の簡単な収益シミュレーションができるようになる</li></ul></li></ul>                                                                                           |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                              |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客観察と課題の分析・特定（1）                |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 顧客観察と課題の分析・特定（2）                |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 課題の解決策のアイデア創出                   |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアの模式図化と UX 設計                |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアのプロトタイピング（1）                |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのテスト（1）フィールドワーク           |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アイデアのプロトタイピング（2）                |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのテスト（2）フィールドワーク           |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビジネスモデルへの落とし込み（1）UX 設計と MOT     |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビジネスモデルへの落とし込み（2）収支シミュレーション     |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |                |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                  |
|----|------------------|
| 13 | 中間プレゼン発表とフィードバック |
| 14 | プレゼンテーションの再構成    |
| 15 | 最終プレゼン発表とフィードバック |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><div>・12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div><div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div><div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div></div>                                                                                                                               |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><div>・予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</div><div>・復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</div><div>・課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</div></div>                                                               |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとに必要な資料を適宜配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『Lean UX 第 2 版 ―アジャイルなチームによるプロダクト開発（THE LEAN SERIES）』<br/>ジェフ・ゴーセルフ(著)ジョシュ・セイデン(著)坂田一倫(監修)エリック・リース(編集)児島修(翻訳)、オライリージャパン、2017 年<br/>『UX for Lean Startups: Faster, Smarter User Experience Research and Design』<br/>Laura Klein（著）、O’ Reilly Media、2013 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                 | イノベーションプロジェクトⅢ |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------|----|-----|------|---------|----|--------|------|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 2 年次                            | 配当学期           | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習   |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎 |                |    |     |      |         |    |        | 共同担当 |
| <b>1. 授業概要</b><br>3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。イノベーションプロジェクトⅢでは、デザイン思考・リーンスタートアップの技法を用いて解決する課題に国連の「持続可能な開発目標」(SDGs) とも関連するものをテーマとし、またその解決策を持続的に実現させ規模的に拡大するための事業戦略まで落とし込む。そのため、課題の調査分析やアイデアの構想だけでなく、経営戦略のフレームワークを活用した事業計画作成と、グループメンバーを「経営チーム」と見立てた場合の組織の長期ビジョン開発も行う。最終プレゼンの場には学外から投資家も招いて、評価を受ける。 |                                 |                |    |     |      |         |    |        |      |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>・異なる価値観、性格のメンバーと協働しながら、他者にも協力を促せる強度のある長期ビジョンをまとめられるようになる<br>・デザイン思考によるプロダクト／サービス開発と事業戦略開発とを連動させながら、事業化のための仮説検証サイクルを回せるようになる                                                                                                                                                                        |                                 |                |    |     |      |         |    |        |      |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                 |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 内容                              |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 顧客観察と課題の分析・特定（1）                |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 顧客観察と課題の分析・特定（2）                |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 課題の解決策のアイデア創出                   |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | アイデアのプロトタイピング                   |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | プロトタイプの実フィールドテスト                |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ビジネスモデルへの落とし込み・収益シミュレーション       |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | プロトタイプブラッシュアップとテスト              |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | スケールのための事業戦略立案（1）               |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | スケールのための事業戦略立案（2）               |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 経営理念と長期ビジョンの開発                  |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |                |    |     |      |         |    |        |      |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 中間プレゼン発表とフィードバック                |                |    |     |      |         |    |        |      |

|    |                  |
|----|------------------|
| 14 | プレゼンテーションの再構成    |
| 15 | 最終プレゼン発表とフィードバック |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</li><li>グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</li><li>中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</li><li>復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</li><li>課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：各回ごとに必要な資料は配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『リーンプランディング ―リーンスタートアップによるブランド構築（THE LEAN SERIES）』ローラ・ブッシュ（著）堤孝志（監修）飯野将人（監修）エリック・リース（編集）児島修（翻訳）オライリージャパン、2016 年</p> <p>『ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか』ピーター・ティール（著）ブレイク・マスターズ（著）瀧本 哲史（その他）関 美和（翻訳）、NHK 出版、2014 年</p> |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | イノベーションプロジェクトⅢ                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 2 年次                            | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。イノベーションプロジェクトⅢでは、デザイン思考・リーンスタートアップの技法を用いて解決する課題に国連の「持続可能な開発目標」(SDGs) とも関連するものをテーマとし、またその解決策を持続的に実現させ規模的に拡大するための事業戦略まで落とし込む。そのため、課題の調査分析やアイデアの構想だけでなく、経営戦略のフレームワークを活用した事業計画作成と、グループメンバーを「経営チーム」と見立てた場合の組織の長期ビジョン開発も行う。最終プレゼンの場には学外から投資家も招いて、評価を受ける。</p> |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>・異なる価値観、性格のメンバーと協働しながら、他者にも協力を促せる強度のある長期ビジョンをまとめられるようになる</p> <p>・デザイン思考によるプロダクト／サービス開発と事業戦略開発とを連動させながら、事業化のための仮説検証サイクルを回せるようになる</p>                                                                                                                                                                        |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 顧客観察と課題の分析・特定（1）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 顧客観察と課題の分析・特定（2）                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 課題の解決策のアイデア創出                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | アイデアのプロトタイピング                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | プロトタイプのフィールドテスト                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ビジネスモデルへの落とし込み・収益シミュレーション       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | プロトタイプのブラッシュアップとテスト             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | スケールのための事業戦略立案（1）               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | スケールのための事業戦略立案（2）               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 経営理念と長期ビジョンの開発                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 中間プレゼン発表とフィードバック                |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                  |
|----|------------------|
| 14 | プレゼンテーションの再構成    |
| 15 | 最終プレゼン発表とフィードバック |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><div>・12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div><div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div><div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div></div>                                                                                                |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><div>・予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</div><div>・復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</div><div>・課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</div></div>                                |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとに必要な資料は配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『リーンプランディング ―リーンスタートアップによるブランド構築（THE LEAN SERIES）』<br/>ローラ・ブッシュェ（著）堤孝志（監修）飯野将人（監修）エリック・リース（編集）児島修（翻訳）<br/>オライリージャパン、2016 年<br/>『ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか』<br/>ピーター・ティール（著）ブレイク・マスターズ（著）瀧本 哲史（その他）関 美和（翻訳）、<br/>NHK 出版、2014 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------|----|------|------|------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ビジネスフィールドリサーチⅠ                   |      |    |      |      |      |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 2 年次                             | 配当年次 | 前期 | 配当年次 | 2 単位 | 配当年次 | 必修 | 配当年次   | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ◎久米 信行、川上 慎市郎、各務 茂雄、乗浜 誠二、松村 太郎  |      |    |      |      |      |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| <p>実際の企業が直面している課題の分析とその解決策の立案実習を通じて、実務における経営学の応用力を体得する。</p> <p>具体的には、前半の回で国内外の企業のケースを用いて「ケースを解き、クラスで議論する」というケーススタディの基本的な学習方法とその学習目的を理解・習得する。そのうえで、本学が連携する企業から提示された事例に基づき、グループでその事例に対し、調査（企業訪問、現場観察、2 次情報収集、インタビュー等）、仮説形成、分析し、課題解決策をまとめ、企業の担当者にプレゼンテーションするための資料作成、パフォーマンス等準備を行う。実際の企業担当者から講評を得る。</p> <p>経営戦略や財務会計を中心としたケースを主に扱い、1 年次前期に履修した「マネジメント（経営学基礎）」を実際の企業の経営に当てはめて検討した場合の経営判断における示唆を得、またそれを実際の企業の担当者に評価されることを目指す。</p> |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトベースドラーニング（課題解決型学習）という学習方法を正しく理解し、スピーディーに問いと検証を回せるようになる</li><li>企業の戦略について、定性、定量の両方の側面から分析を深め、実現可能な施策を導ける</li><li>戦略や財務などの分析ツールを正しく使いこなし、その適用条件や限界についても理解する</li></ul>                                                                                                                                                                                                             |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                               |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 本コースの全体像、プロジェクトベースドラーニングとは何か     |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（1）問い（イシュー）を立てる           |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（2）答えの選択肢を仮設する            |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（3）仮設を検証する理論を選び、事実を分析する   |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（4）分析を深掘りする（理論と事実の矛盾点の発見） |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（5）分析の結果から示唆を得る           |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 総合演習（1）                          |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 総合演習（2）                          |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | リアルスタディ（1）事例の情報収集：二次情報の調査        |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | リアルスタディ（2）問いを立て、答えの選択肢を仮説する      |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | リアルスタディ（3）事例の情報収集：インタビュー         |      |    |      |      |      |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4）理論に沿った事例の分析     |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（5）分析の深掘りと示唆の獲得    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（6）中間プレゼンと全体討議     |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（7）企業の担当者へのプレゼンと講評 |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <ul style="list-style-type: none"><li>クラス内での議論への貢献（発言）：各回 2%、計 30%</li><li>グループ活動での貢献（相互評価）：9～14 回の 6 回で各 3%、計 18%</li><li>企業担当者へのグループプレゼンの内容：52%</li></ul> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：ケーススタディやリアルスタディの予習のための調べ学習（約 1 時間）</li><li>復習：ケースセッションやリアルスタディ、グループ学習の振り返り（約 1 時間）</li><li>課題：指示に基づいたケースの分析</li></ul> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：随時資料を配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『経営戦略言論』<br/>琴坂 将広（著）、東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法』<br/>名和 高司（著）東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『イノベーションの DNA 破壊的イノベータの 5 つのスキル（Harvard Business School Press）』<br/>クレイトン・クリステンセン（著）、ジェフリー・ダイアー（著）、ハル・グレガーセン（著）、櫻井祐子（翻訳）、翔泳社、2012 年</p> |                           |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------|----|------|------|------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ビジネスフィールドリサーチ I                  |      |    |      |      |      |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 2 年次                             | 配当年次 | 前期 | 配当年次 | 2 単位 | 配当年次 | 必修 | 配当年次   | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ◎川上 慎市郎、久米 信行、各務 茂雄、乗浜 誠二、松村 太郎  |      |    |      |      |      |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| <p>実際の企業が直面している課題の分析とその解決策の立案実習を通じて、実務における経営学の応用力を体得する。</p> <p>具体的には、前半の回で国内外の企業のケースを用いて「ケースを解き、クラスで議論する」というケーススタディの基本的な学習方法とその学習目的を理解・習得する。そのうえで、本学が連携する企業から提示された事例に基づき、グループでその事例に対し、調査（企業訪問、現場観察、2 次情報収集、インタビュー等）、仮説形成、分析し、課題解決策をまとめ、企業の担当者にプレゼンテーションするための資料作成、パフォーマンス等準備を行う。実際の企業担当者から講評を得る。</p> <p>経営戦略や財務会計を中心としたケースを主に扱い、1 年次前期に履修した「マネジメント（経営学基礎）」を実際の企業の経営に当てはめて検討した場合の経営判断における示唆を得、またそれを実際の企業の担当者に評価されることを目指す。</p> |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトベースドラーニング（課題解決型学習）という学習方法を正しく理解し、スピーディーに問いと検証を回せるようになる</li><li>企業の戦略について、定性、定量の両方の側面から分析を深め、実現可能な施策を導ける</li><li>戦略や財務などの分析ツールを正しく使いこなし、その適用条件や限界についても理解する</li></ul>                                                                                                                                                                                                             |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                  |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                               |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 本コースの全体像、プロジェクトベースドラーニングとは何か     |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（1）問い（イシュー）を立てる           |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（2）答えの選択肢を仮設する            |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（3）仮設を検証する理論を選び、事実を分析する   |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（4）分析を深掘りする（理論と事実の矛盾点の発見） |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ケーススタディ（5）分析の結果から示唆を得る           |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 総合演習（1）                          |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 総合演習（2）                          |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | リアルスタディ（1）事例の情報収集：二次情報の調査        |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | リアルスタディ（2）問いを立て、答えの選択肢を仮説する      |      |    |      |      |      |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | リアルスタディ（3）事例の情報収集：インタビュー         |      |    |      |      |      |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4）理論に沿った事例の分析     |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（5）分析の深掘りと示唆の獲得    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（6）中間プレゼンと全体討議     |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（7）企業の担当者へのプレゼンと講評 |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <ul style="list-style-type: none"><li>クラス内での議論への貢献（発言）：各回 2%、計 30%</li><li>グループ活動での貢献（相互評価）：9～14 回の 6 回で各 3%、計 18%</li><li>企業担当者へのグループプレゼンの内容：52%</li></ul> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：ケーススタディやリアルスタディの予習のための調べ学習（約 1 時間）</li><li>復習：ケースセッションやリアルスタディ、グループ学習の振り返り（約 1 時間）</li><li>課題：指示に基づいたケースの分析</li></ul> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：随時資料を配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『経営戦略言論』<br/>琴坂 将広（著）、東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法』<br/>名和 高司（著）東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『イノベーションの DNA 破壊的イノベータの 5 つのスキル（Harvard Business School Press）』<br/>クレイトン・クリステンセン（著）、ジェフリー・ダイアー（著）、ハル・グレガーセン（著）、櫻井祐子（翻訳）、翔泳社、2012 年</p> |                           |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                           |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                            |                                 | イノベーションプロジェクトⅣ |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                            | 2 年次                            | 配当学期           | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                            | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎 |                |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                         |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                            |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| イノベーションプロジェクトⅣでは、Ⅰ～Ⅲまでに身につけたデザイン思考やリーンスタートアップの技法を踏まえながら、墨田区内の実際の企業と協働し、その企業の抱えるユニークな技術や強みを生かしたイノベーションの創出に取り組む。                                                                                                                  |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| Ⅰ～Ⅲまでの顧客ニーズを起点としたプロジェクトと異なり、技術シーズを起点としたイノベーションを創出するためには、その技術の意味合いを深く理解し、そこから発想を飛躍させてプロダクトやサービスを構想しながら、逆算してそれを解決策として求める社会的な課題の探索を行う必要がある。企業の経営者や技術担当者も巻き込みチームビルディングを行いながら、技術分析のフレームワークを用いて技術を要素分解し、デザイン思考の仮説検証サイクルを超高速で回すことを目指す。 |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                     |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| ・企業の競争力の源泉であり、イノベーションのシーズともなる技術の意味を深く理解し、それを顧客ニーズと結びつける発想の飛躍をデザイン思考の手法を用いて生み出せるようになる                                                                                                                                            |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| ・これまでの学びを生かし、イノベーションのアイデアを実現可能な事業計画にまで落とし込んで、企業の担当者にその意図や価値が明確に伝わるようにプレゼンできるようになる                                                                                                                                               |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                         |                                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                              | 内容                              |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                               | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                               | 技術シーズの分析（1）技術の意味合いを理解する         |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                               | 技術シーズの分析（2）技術の要素から発想を飛躍させる      |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題仮説の立案と検証（1）                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題仮説の立案と検証（2）                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                               | 技術を用いたプロダクト／サービスのプロトタイピング       |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのフィールドテスト                 |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのブラッシュアップと再テスト            |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                               | ビジネスモデルへの落とし込み・収益シミュレーション       |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                              | スケールのための事業戦略立案（1）トラクションの獲得      |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                              | スケールのための事業戦略立案（2）               |                |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |                |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中間プレゼン発表とフィードバック |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | プレゼンテーションの再構成    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 最終プレゼン発表とフィードバック |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</li><li>グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</li><li>中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</li><li>復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</li><li>課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：各回ごとに必要な資料を配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『トラクション スタートアップが顧客をつかむ 19 のチャンネル』<br/>ガブリエル・ワインバーグ（著）ジャスティン・メアーズ（著），和田 祐一郎（翻訳）<br/>オライリージャパン、2015 年</p> |                  |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                  |

|                                                                                                                                                                                                                                 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                            | イノベーションプロジェクトⅣ                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                            | 2 年次                            | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                            | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                         |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                            |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| イノベーションプロジェクトⅣでは、Ⅰ～Ⅲまでに身につけたデザイン思考やリーンスタートアップの技法を踏まえながら、墨田区内の実際の企業と協働し、その企業の抱えるユニークな技術や強みを生かしたイノベーションの創出に取り組む。                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| Ⅰ～Ⅲまでの顧客ニーズを起点としたプロジェクトと異なり、技術シーズを起点としたイノベーションを創出するためには、その技術の意味合いを深く理解し、そこから発想を飛躍させてプロダクトやサービスを構想しながら、逆算してそれを解決策として求める社会的な課題の探索を行う必要がある。企業の経営者や技術担当者も巻き込みチームビルディングを行いながら、技術分析のフレームワークを用いて技術を要素分解し、デザイン思考の仮説検証サイクルを超高速で回すことを目指す。 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                     |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・企業の競争力の源泉であり、イノベーションのシーズともなる技術の意味を深く理解し、それを顧客ニーズと結びつける発想の飛躍をデザイン思考の手法を用いて生み出せるようになる                                                                                                                                            |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・これまでの学びを生かし、イノベーションのアイデアを実現可能な事業計画にまで落とし込んで、企業の担当者にその意図や価値が明確に伝わるようにプレゼンできるようになる                                                                                                                                               |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                         |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                              | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                               | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                               | 技術シーズの分析（1）技術の意味合いを理解する         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                               | 技術シーズの分析（2）技術の要素から発想を飛躍させる      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題仮説の立案と検証（1）                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                               | 顧客課題仮説の立案と検証（2）                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                               | 技術を用いたプロダクト／サービスのプロトタイピング       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのフィールドテスト                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                               | プロトタイプのブラッシュアップと再テスト            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                               | ビジネスモデルへの落とし込み・収益シミュレーション       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                              | スケールのための事業戦略立案（1）トラクションの獲得      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                              | スケールのための事業戦略立案（2）               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                              | ストーリーの構想とプレゼンテーション練習            |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 中間プレゼン発表とフィードバック |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | プレゼンテーションの再構成    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 最終プレゼン発表とフィードバック |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>・12 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div> <div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div> <div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>・予習：事前に、それぞれの回で必要となる知識やフレームワークについて教科書の指定範囲を読み込み、解説動画を視聴しておく（約 1 時間）</div> <div>・復習：次回講義までにその成果物をグループ単位でまとめ、発表できるようにしてくる（約 2～3 時間）</div> <div>・課題：各回ともグループワーク課題が課され、それに取り組んで成果を発表する。もしくは、前回課された課題の成果を発表したうえで、その見直しに取り組む</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとに必要な資料を配布する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『トラクション スタートアップが顧客をつかむ 19 のチャンネル』</div> <div>ガブリエル・ワインバーグ（著）ジャスティン・メアーズ（著），和田 祐一郎（翻訳）</div> <div>オライリージャパン、2015 年</div> <div>7. 備考</div> |                  |

|                                                                                                                                                                                                                                                    |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                               | ビジネスフィールドリサーチⅡ                       |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                               | 2年次                                  | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                               | ◎久米 信行、川上 慎市郎、各務 茂雄、乗浜 誠二、松村 太郎      |      |    |     |     |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>本講座ではビジネスフィールドリサーチⅠの後半と同様、本学が連携する企業から提示された事例に基づいて、課題解決を提案するプロセスを実習する。</p> <p>経営戦略や財務会計に加え、オペレーションやHRM、組織行動、法務など、実際の企業経営者やマネージャーが経営において日々直面する身近な課題を含むテーマを主に扱い、あわせてこれらの領域の理論やフレームワークについても適宜復習を行う。実際の企業の事例に基づく分析・解決を目指し、担当者にプレゼンして評価されることを目指す。</p> |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                        |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>・ケーススタディの学習について、周囲の意見も受け止めながら、より広くバランスの取れた視野から分析を行えるようになる。</p> <p>・企業の組織や構成員の行動とその制約などについて、相手の気持ちに立って考え、企業をより良くするための効果的な施策を講じることができるようになる。</p>                                                                                                  |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                  | 本コースの全体像                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－2）事例の情報収集（インタビュー）          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－4）中間プレゼンと全体討議              |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－5）企業の担当者へのプレゼンと講評          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－2）事例の情報収集（インタビュー）          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得、中間プレゼン |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（3－4）企業の担当者へのプレゼンと講評          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－2）事例の情報収集（インタビュー）          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得、中間プレゼン |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | リアルスタディ（4－4）企業の担当者へのプレゼンと講評 |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 最終発表                        |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・クラス内での議論への貢献（発言）：2～15回の各回1%、計14%</li><li>・グループ活動での貢献（相互評価）：2～15回の14回で各3%、計42%</li><li>・企業担当者へのグループプレゼンの内容：3回で各14%（最終回のみ16%）、計44%</li></ul>                                                                                                                                                                                                      |                             |
| <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予習：リアルスタディの予習（約1時間）</li><li>・復習：リアルスタディやグループ学習の振り返り（約1時間）</li><li>・課題：指示に基づいたケーススタディの分析</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                               |                             |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：都度必要な資料を配布する</p> <p>参考文献：</p> <p>『経営戦略言論』<br/>琴坂 将広（著）、東洋経済新報社、2018年</p> <p>『コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法』<br/>名和 高司（著）東洋経済新報社、2018年</p> <p>『イノベーションのDNA 破壊的イノベータの5つのスキル（Harvard Business School Press）』<br/>クレイトン・クリステンセン（著）、ジェフリー・ダイアー（著）、ハル・グレガーセン（著）、櫻井祐子（翻訳）、翔泳社、2012年</p> <p>『HIGH OUTPUT MANAGEMENT－人を育て、成果を最大にするマネジメント』<br/>アンドリュー・S・グローブ（著）、ベン・ホロウィッツ（その他）、小林 薫（翻訳）、日経BP社、2017年</p> |                             |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                             |



|                                                                                                                                                                                                                                                    |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----------------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                               |                                      | ビジネスフィールドリサーチⅡ |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                           | 2 年次                                 | 配当<br>学期       | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                               | ◎川上 慎市郎、久米 信行、各務 茂雄、乗浜 誠二、松村 太郎      |                |    |     |      |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>本講座ではビジネスフィールドリサーチⅠの後半と同様、本学が連携する企業から提示された事例に基づいて、課題解決を提案するプロセスを実習する。</p> <p>経営戦略や財務会計に加え、オペレーションやHRM、組織行動、法務など、実際の企業経営者やマネージャーが経営において日々直面する身近な課題を含むテーマを主に扱い、あわせてこれらの領域の理論やフレームワークについても適宜復習を行う。実際の企業の事例に基づく分析・解決を目指し、担当者にプレゼンして評価されることを目指す。</p> |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                        |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>・ケーススタディの学習について、周囲の意見も受け止めながら、より広くバランスの取れた視野から分析を行えるようになる。</p> <p>・企業の組織や構成員の行動とその制約などについて、相手の気持ちに立って考え、企業をより良くするための効果的な施策を講じることができるようになる。</p>                                                                                                  |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                            |                                      |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                   |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                  | 本コースの全体像                             |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－2）事例の情報収集（インタビュー）          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得        |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－4）中間プレゼンと全体討議              |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（2－5）企業の担当者へのプレゼンと講評          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－2）事例の情報収集（インタビュー）          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                  | リアルスタディ（3－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得、中間プレゼン |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（3－4）企業の担当者へのプレゼンと講評          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－1）事例の情報収集、仮説構築、分析          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－2）事例の情報収集（インタビュー）          |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－3）理論にそった分析の深堀、示唆の獲得、中間プレゼン |                |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                 | リアルスタディ（4－4）企業の担当者へのプレゼンと講評          |                |    |     |      |             |    |          |    |

| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 最終発表 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・クラス内での議論への貢献（発言）：2～15 回の各回 1%、計 14%</li><li>・グループ活動での貢献（相互評価）：2～15 回の 14 回で各 3%、計 42%</li><li>・企業担当者へのグループプレゼンの内容：3 回で各 14%（最終回のみ 16%）、計 44%</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予習：リアルスタディの予習（約 1 時間）</li><li>・復習：リアルスタディやグループ学習の振り返り（約 1 時間）</li><li>・課題：指示に基づいたケーススタディの分析</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：都度必要な資料を配布する</p> <p>参考文献：</p> <p>『経営戦略言論』<br/>琴坂 将広（著）、東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法』<br/>名和 高司（著）東洋経済新報社、2018 年</p> <p>『イノベーションの DNA 破壊的イノベータの 5 つのスキル（Harvard Business School Press）』<br/>クレイトン・クリステンセン（著）、ジェフリー・ダイアー（著）、ハル・グレガーセン（著）、櫻井祐子（翻訳）、翔泳社、2012 年</p> <p>『HIGH OUTPUT MANAGEMENT－人を育て、成果を最大にするマネジメント』<br/>アンドリュー・S・グローブ（著）、ベン・ホロウィッツ（その他）、小林 薫（翻訳）、日経 BP 社、2017 年</p> |      |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |

|                                                                                                                                                                                                                          |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                     | イノベーションプロジェクトⅤ                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                     | 3 年次                            | 配当学期 | 通期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                     | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                     |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| イノベーションプロジェクトⅤでは通年プログラムとし、1～2 年次のプログラムの中で得た気づきを元にして、学生自身が起業や新規事業開発などのイノベーション企画を考案し、自発的にチームを編成して取り組む。教員は各グループの企画案について適切な目標を設定するようにアドバイスし、またそのプロセスにおいて課題発見やプロダクト開発、学外の専門家や連携企業などパートナーの紹介、事業化に向けた資金調達などに関し、必要に応じてメンタリングを行う。 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                              |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・自らの強みや弱みを踏まえて最適なチームメンバーを募り、グループを組成できる                                                                                                                                                                                   |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・グループで社会課題の解決につながるイノベーションの企画を立案し、開発・検討を進められる                                                                                                                                                                             |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・適切なマイルストーンを設定しながらチームを率いて、設定した企画の目標を達成する                                                                                                                                                                                 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                       | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                        | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                        | 企画立案と目標・ワークロードの設定、フィードバック       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（1）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（2）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（3）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（4）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（5）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                        | 中間プレゼン発表とフィードバック                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（6）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（7）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（8）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（9）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（10）        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（11）        |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 最終プレゼン発表とフィードバック |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2～7 回目と 9～14 回目の各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</li><li>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</li><li>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予習：各グループで設定したマイルストーンに向けてイノベーション企画に取り組み、進捗結果をまとめて報告できるようにする（約 2～3 時間）</li><li>・課題：グループの進捗結果を発表し、受けたフィードバックをもとに適宜見直しを行いながら企画の実現に取り組む</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：必要に応じ適宜配布</p> <p>参考文献：</p> <p>『STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント』<br/>ダイアナ・キャンダー（著），牧野 洋（翻訳）、新潮社、2017 年</p> <p>『Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール』<br/>ランダル・ストロス(著),滑川海彦(翻訳),高橋信夫(翻訳),TechCrunch Japan 翻訳チーム(翻訳)、日経 BP 社、2013 年</p> <p>『スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた』<br/>アニス・ウッツァマン（著）講談社、2013 年</p> <p><b>7. 備考</b></p> |                  |



|                                                                                                                                                                                                                          |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                     | イノベーションプロジェクトV                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                     | 3 年次                            | 配当学期 | 通期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                     | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                     |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| イノベーションプロジェクトVでは通年プログラムとし、1～2 年次のプログラムの中で得た気づきを元にして、学生自身が起業や新規事業開発などのイノベーション企画を考案し、自発的にチームを編成して取り組む。教員は各グループの企画案について適切な目標を設定するようにアドバイスし、またそのプロセスにおいて課題発見やプロダクト開発、学外の専門家や連携企業などパートナーの紹介、事業化に向けた資金調達などに関し、必要に応じてメンタリングを行う。 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                              |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・自らの強みや弱みを踏まえて最適なチームメンバーを募り、グループを組成できる                                                                                                                                                                                   |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・グループで社会課題の解決につながるイノベーションの企画を立案し、開発・検討を進められる                                                                                                                                                                             |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| ・適切なマイルストーンを設定しながらチームを率いて、設定した企画の目標を達成する                                                                                                                                                                                 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                       | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                        | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                        | 企画立案と目標・ワークロードの設定、フィードバック       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（1）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（2）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（3）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（4）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（5）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                        | 中間プレゼン発表とフィードバック                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                        | 各グループからの進捗報告とフィードバック（6）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（7）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（8）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（9）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（10）        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                       | 各グループからの進捗報告とフィードバック（11）        |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 最終プレゼン発表とフィードバック |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><div>・2～7 回目と 9～14 回目の各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 48%）</div><div>・グループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 30%）</div><div>・中間および最終プレゼン発表におけるパフォーマンス（各 11%、計 22%）</div></div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><div>・予習：各グループで設定したマイルストーンに向けてイノベーション企画に取り組み、進捗結果をまとめて報告できるようにする（約 2～3 時間）</div><div>・課題：グループの進捗結果を発表し、受けたフィードバックをもとに適宜見直しを行いながら企画の実現に取り組む</div></div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：必要に応じ適宜配布</div> <div>参考文献：</div> <div>『STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント』</div> <div>ダイアナ・キャンダー（著）, 牧野 洋（翻訳）、新潮社、2017 年</div> <div>『Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール』</div> <div>ランダル・ストロス(著),滑川海彦(翻訳),高橋信夫(翻訳),TechCrunch Japan 翻訳チーム(翻訳)、日経 BP 社、2013 年</div> <div>『スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた』</div> <div>アニス・ウッツァマン（著）講談社、2013 年</div> <div>7. 備考</div> |                  |

|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                   |                                   | インターンシップ I                                                                                                     |    |     |       |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                   | 3 年次                              | 配当学期                                                                                                           | 前期 | 単位数 | 12 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                   | ◎富澤 豊、山内 正人、久米 信行、井澤 哲也、加藤 直人     |                                                                                                                |    |     |       |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| インターンシップ I では、企業活動の場での課題発見、解決を通して、主にシステム開発を行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、イノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。具体的には、インターンシップ先で担う業務の意義や役割を理解したうえで、システム開発の作業の一工程を担う。担当する業務についての計画を立てるとともに、実際の状況に応じながら、指導者のフィードバックのもと、業務の完了を目指す。一連の実務を通じ、システム開発の実務の理解、必要なスキルや能力を養う。 |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                            |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| ・与えられた業務がどのような意義を持つのかを理解し、効率的・効果的な方法で業務を完了することを目指すとして作業を進めることができる。                                                                                                                                                                                     |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| ・課題解決や目標の達成に向けた計画を立て、実際の状況に応じた計画修正の必要に自ら気づき、指導者の承認を受けて修正・変更しながら最後まで実行できる。                                                                                                                                                                              |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| ・チームメンバーとしてシステム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装することができる。                                                                                                                                                                                                     |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                |                                   |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   | 内容                                                                                                             |    |     |       |         |    |        |    |
| 3 日                                                                                                                                                                                                                                                    | 事前指導 1 日目                         | 動機付け（実施目的・内容・計画などの理解）                                                                                          |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | 動機付け（職業観に関するガイダンス）                                                                                             |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | 目標設定（成果目標の設定・確認、行動計画の策定）                                                                                       |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | 実践スキル（社会人マナー：挨拶・服装・電話やメールのマナー等）                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        | 事前指導 2 日目                         | 実践スキル（論理的思考・プレゼンテーション技法）                                                                                       |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | 実践スキル（実践に必要な専門知識の復習）                                                                                           |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）                                                                                      |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        |                                   | その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）                                                                                         |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        | 事前指導 3 日目                         | その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）                                                                                    |    |     |       |         |    |        |    |
| 40 日                                                                                                                                                                                                                                                   | インターンシップ実践（6 月～8 月末のうち 8 週、週 5 日） |                                                                                                                |    |     |       |         |    |        |    |
|                                                                                                                                                                                                                                                        | 初日                                | インターンシップ I オリエンテーション<br>企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。 |    |     |       |         |    |        |    |

|                                                                                                                    |           |                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                    | 1 週目      | ① 実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先企業の取り扱い製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。<br>② システム開発者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。<br>③ システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行うことの重要性を聴く。 |
|                                                                                                                    | ～3 週目     | ① システム開発チームメンバーとして開発作業の補助業務を行う。<br>② 実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。                                              |
|                                                                                                                    | ～5 週目     | ① システム開発の作業の一工程を、示された設計書の通りに実装する課題に取り組む。<br>② 実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。                                         |
|                                                                                                                    | ～7 週目     | ① 引き続き、与えられた課題を基に業務を遂行する。適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。                                                                                  |
|                                                                                                                    | ～8 週目     | ① 完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。<br>② 実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。                                                                          |
| 2 日                                                                                                                | 事後指導 1 日目 | 成果確認（目的や成長目標に到達したかの確認）                                                                                                                                                                                          |
|                                                                                                                    |           | 言語化と意味づけ（インターンシップ後の意識と行動の変化を確認）                                                                                                                                                                                 |
|                                                                                                                    |           | 評価確認（自己評価・他者評価による再認識）                                                                                                                                                                                           |
|                                                                                                                    |           | 今後の行動計画の作成（大学での学びに繋がる目標設定と行動計画の作成）                                                                                                                                                                              |
|                                                                                                                    | 事後指導 2 日目 | インターンシップ報告会（自らの体験を発表する）                                                                                                                                                                                         |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>事前課題 10%、インターンシップ中の評価 60%<br>事後課題（インターンシップノート、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等）30%で総合評価する。 |           |                                                                                                                                                                                                                 |
| <b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br>インターンシップ先の企業研究、レポート作成等<br>図書館などでシステム開発・保守等に関連する文献を調べ、視野を広げること。                        |           |                                                                                                                                                                                                                 |

|                         |
|-------------------------|
| 6. 教科書／参考文献<br>配布資料による。 |
| 7. 備考                   |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

|                                                                                                                        |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|----|-----|------------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                   | インターンシップ I                    |                                     |    |     |            |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                               | 3 年次                          | 配当<br>学期                            | 前期 | 単位数 | 1 2 単<br>位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                   | ◎富澤 豊、山内 正人、久米 信行、井澤 哲也、加藤 直人 |                                     |    |     |            |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>インターンシップ I では、企業活動の場での課題発見、解決を通して、主にシステム開発・保守を行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、プロデューサーやイノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。</u> |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                            |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システム開発スキルの獲得</u><br>大学で学習してきたシステム開発技術を使い、開発プロジェクトの一員として実業務に従事する。                                                   |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システム保守スキルの獲得</u><br>実際の現場での保守・運用業務を通して、現場の責任者の指導の下にて就業体験を行う。                                                       |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| (インターンシップ I の具体的内容と計画)                                                                                                 |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u>                                                                               |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システム開発を行う上でのチームワーク(コミュニケーション)、情報伝達をスムーズに行う。</u>                                                                    |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システム開発に関するスケジュール管理、システム企画、技術開発実務を行う。</u>                                                                           |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・技術チームメンバとしてシステム開発の作業の一工程として、示された設計書の通りに実装する。</u>                                                                   |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システム開発を行う上での責任範囲、役割を理解し、手順に沿ってシステム開発を行う。</u>                                                                       |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システムの計画、設計、開発、テストおよび運用。</u>                                                                                        |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・設計書の見方・書き方を確認し、プログラミング言語で実装する。</u>                                                                                 |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>・システムを導入するネットワーク環境設計やセキュリティ対策。</u>                                                                                  |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                |                               |                                     |    |     |            |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                     |                               | 内容                                  |    |     |            |             |    |          |    |
| 3 日                                                                                                                    | 事前指導 1 日目                     | 動機付け（実施目的・内容・計画などの理解）               |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        |                               | 動機付け（職業観に関するガイダンス）                  |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        |                               | 目標設定（成果目標の設定・確認、行動計画の策定）            |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        |                               | 実践スキル<br>（社会人マナー：挨拶・服装・電話やメールのマナー等） |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        | 事前指導 2 日目                     | 実践スキル（論理的思考・プレゼンテーション技法）            |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        |                               | 実践スキル（実践に必要な専門知識の復習）                |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                        |                               | その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）           |    |     |            |             |    |          |    |

|                                                                                                                                  |           |                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------------|
|                                                                                                                                  |           | その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）                   |
|                                                                                                                                  | 事前指導 3 日目 | その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）              |
| 40 日                                                                                                                             |           | <u>インターンシップ実践（6 月～8 月末のうち 8 週、週 5 日）</u> |
| 2 日                                                                                                                              | 事後指導 1 日目 | 成果確認（目的や成長目標に到達したかの確認）                   |
|                                                                                                                                  |           | 言語化と意味づけ<br>（インターンシップ後の意識と行動の変化を確認）      |
|                                                                                                                                  |           | 評価確認（自己評価・他者評価による再認識）                    |
|                                                                                                                                  |           | 今後の行動計画の作成<br>（大学での学びに繋がる目標設定と行動計画の作成）   |
|                                                                                                                                  | 事後指導 2 日目 | インターンシップ報告会（自らの体験を発表する）                  |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>事前課題 1 0 %<br>インターンシップ中の評価 6 0 %<br>事後課題（インターンシップノート、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等） 3 0 %<br>で総合評価する。 |           |                                          |
| <b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br>インターンシップ先の企業研究、レポート作成等<br>図書館などでシステム開発・保守等に関連する文献を調べ、視野を広げること。                                      |           |                                          |
| <b>6. 教科書／参考文献</b><br>配布資料による。                                                                                                   |           |                                          |
| <b>7. 備考</b>                                                                                                                     |           |                                          |

|                                                                                                                                        |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                   | インターンシップⅡ                           |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                               | 3 年次                                | 配当<br>学期                                                                                                                                                            | 後期 | 単位数 | 12 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                   | ◎富澤 豊、山内 正人、久米 信行、井澤 哲也、加藤 直人       |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| インターンシップⅡでは、インターンシップⅠを踏まえ、実践活動の場において、情報通信技術を活用した課題発見、解決を行い、主にビジネスの観点からマーケティングや企画提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、企画や起業につながる知識や技能を修得させる。 |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| 具体的には、指示された業務について、アンケートやインタビューなどの調査・分析を通じ、これまで習得した知識や技能を実践する。また、与えられた業務を推進するための調整や提案を行う。一連の業務を通じ実際の企業活動の中での実務の理解、必要なスキルや能力を養う。         |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                            |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| ・自分のやるべき業務を的確に判断し、効率的な方法を考え、率先して創意工夫をしながら取り組むことができる。                                                                                   |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| ・異なる考え方の人たちと意見を交わして調整し、互いに納得できる結論を導き、状況に応じて自分の役割を適切に変えながら協力して業務を遂行することができる。                                                            |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| ・企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理し、ビジネス上の的確な示唆を提示できる。                                                    |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| ・情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンし、指導者の納得と助言を得ることができる。                                                     |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                |                                     |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                     |                                     | 内容                                                                                                                                                                  |    |     |       |             |    |          |    |
| 2 日                                                                                                                                    | 事前指導 1 日目                           | 動機付け（実施目的・内容・計画などの理解）                                                                                                                                               |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | 動機付け（職業観に関するガイダンス）                                                                                                                                                  |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | 目標設定（成果目標の設定・確認、行動計画の策定）                                                                                                                                            |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | 実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）                                                                                                                                               |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        | 事前指導 2 日目                           | 実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）                                                                                                                                               |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）                                                                                                                                           |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）                                                                                                                                              |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                                     | その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）                                                                                                                                         |    |     |       |             |    |          |    |
| 40 日                                                                                                                                   | インターンシップ実践（10 月～11 月末のうち 8 週、週 5 日） |                                                                                                                                                                     |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        | 初日                                  | インターンシップⅡ オリエンテーション<br>① 必要に応じ、企業の沿革、組織説明、就業規則、実習・研修の体制などの説明と、研修内容についてのオリエンテーションを実施する。また、自分自身の将来の目標について実習先指導者とすり合わせる。<br>② インターンシップⅠで発見した自分自身の課題等について実習先指導者とすり合わせる。 |    |     |       |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        | 1 週目                                | ① 実習生自らが業務の流れを見聞きし、理解したうえで、実習先                                                                                                                                      |    |     |       |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                               |           |                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                               |           | <u>企業の取り扱う製品やサービス、ビジネスの企画、開発、生産などの付随した業務内容を補助するための計画を行い実習期間中の各自の目標設定を行い、実習指導者のフィードバックを得る。</u><br>② <u>実習先で行われる実際の会議やミーティングに参加させてもらう。</u><br>③ <u>マーケティング業務経験者や企画職経験者の仕事の様子(プロジェクト型業務)を見学する。</u>                               |
|                                                                                                                                                                               | ～3 週目     | ① <u>営業、マーケティング業務、企画業務の補助業務を行う。</u><br><u>実習期間 2 週間を振り返り、補助業務内容の反省および、必要とされる知識、技術の不足部分、問題点と、実習日誌の実習指導者からのフィードバックを基に自己分析を行う。また、実習先から与えられたテーマを課題として、企画立案、計画準備など、課題毎に取り組む。</u>                                                   |
|                                                                                                                                                                               | ～5 週目     | ① <u>企業や事業を取り巻く状況について調査統計、アンケートやインタビューといった情報を適切に収集・分析し、それらを分かりやすく整理する課題に取り組む。</u><br>② <u>実習先から与えられた各自の課題に対しての進捗状況を適宜、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行いながら業務を遂行する。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、次のステップに移行する。</u>       |
|                                                                                                                                                                               | ～7 週目     | ① <u>前回の課題、インターンシップⅠを踏まえ、情報通信技術も活用し、事業の課題を解決する方策と実行計画、それによって生じるデメリットとその対処策などもあわせてプレゼンテーションする課題に取り組む。</u><br>② <u>課題に対し、実習指導者のチェックを受け、企画、計画など内容に修正がないか確認を行う。週末までに、修正内容の改善計画を確認し、実習指導者のアドバイスを受け、最終プレゼンテーションに備えてブラッシュアップを行う。</u> |
| 3 日                                                                                                                                                                           | ～8 週目     | ① <u>完成した成果物についてのプレゼンテーションならびに実習目標に伴う報告を行う。</u><br>② <u>実習先企業に協力を得て、できる限り多くのスタッフから評価を得ることを目指す。その評価を基に、得られた改善点について実習日誌にまとめ、成果物とともに実習指導者に提出し報告を行う。</u>                                                                          |
|                                                                                                                                                                               | 事後指導 1 日目 | 成果確認（目的や成長目標に到達したかの確認）                                                                                                                                                                                                        |
|                                                                                                                                                                               |           | 言語化と意味づけ（インターンシップ後の意識と行動の変化を確認）                                                                                                                                                                                               |
|                                                                                                                                                                               |           | 評価確認（自己評価・他者評価による再認識）                                                                                                                                                                                                         |
|                                                                                                                                                                               |           | 今後の行動計画の作成<br>（大学での学びに繋がる目標設定と行動計画の作成）                                                                                                                                                                                        |
|                                                                                                                                                                               | 事後指導 2 日目 | インターンシップ報告会（自らの体験を発表する）                                                                                                                                                                                                       |
|                                                                                                                                                                               | 事後指導 3 日目 | インターンシップ報告会（インターンシップⅠ・Ⅱのまとめ）                                                                                                                                                                                                  |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>事前課題 1 0 %<br/>インターンシップ中の評価 6 0 %<br/>事後課題（インターンシップノート、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等） 3 0 %<br/>で総合評価する。</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> |           |                                                                                                                                                                                                                               |

|                                                                |
|----------------------------------------------------------------|
| インターンシップ先の企業研究、レポート作成等<br>図書館などでシステム開発・保守等に関連する文献を調べ、視野を広げること。 |
| 6. 教科書／参考文献<br>配布資料による。                                        |
| 7. 備考                                                          |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

| 授業科目                                                                                                                                   |                               | インターンシップⅡ                |    |     |            |             |    | 職業専門科目   |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------|----|-----|------------|-------------|----|----------|----|
| 配当<br>年次                                                                                                                               | 3 年次                          | 配当<br>学期                 | 後期 | 単位数 | 1 2 単<br>位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 実習 |
| 担当教員                                                                                                                                   | ◎富澤 豊、山内 正人、久米 信行、井澤 哲也、加藤 直人 |                          |    |     |            |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>インターンシップⅡでは、インターンシップⅠを踏まえ実践活動の場での課題発見、解決を通して、主にビジネスにおける新規提案・実装するために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図り、プロデューサーやイノベーション人材として具備すべき知識及び技能を修得させる。</u> |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                            |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・ビジネススキルの獲得                                                                                                                            |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>大学で学習してきたビジネススキルをもとに、実習先の既存ビジネスの推進(営業・マネジメント)や改善に従事する。業務を通じ、ICT を用いてビジネスを発展させるために必要なスキル、経験を積む。</u>                                  |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・ICTを活用した新規提案、企画力の獲得                                                                                                                   |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>大学でのイノベーションプロジェクトの経験や知識をもとに、実習先にあった新規事業やビジネスの提案を行う。ICT とビジネスを融合し、インターンシップ先のリソースを活用しながら価値を最大化する方法を提案する。</u>                          |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| (インターンシップⅡの具体的な内容と計画)                                                                                                                  |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| <u>以下の実務を通して、指導者に指導・助言を受けながら業務を遂行する。</u>                                                                                               |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・マーケットリサーチ、マーケティング業務                                                                                                                   |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・新規プロダクトの企画提案                                                                                                                          |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・各種プロダクトの営業活動                                                                                                                          |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・既存システム・コンテンツのユーザーヒアリングやフィードバックを通じた改善提案力                                                                                               |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・実際のプロジェクトの一員としてサービスやシステムの仕様検討から実装できる技能                                                                                                |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| ・新規/既存サービスへの機能追加やUIUX の検討                                                                                                              |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                |                               |                          |    |     |            |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                     |                               | 内容                       |    |     |            |             |    |          |    |
| 2 日                                                                                                                                    | 事前指導 1 日目                     | 動機付け（実施目的・内容・計画などの理解）    |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                               | 動機付け（職業観に関するガイダンス）       |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                               | 目標設定（成果目標の設定・確認、行動計画の策定） |    |     |            |             |    |          |    |
|                                                                                                                                        |                               | 実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）    |    |     |            |             |    |          |    |

|                                                                                                                                  |           |                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------------------------------------|
|                                                                                                                                  | 事前指導 2 日目 | 実践スキル（専門的に必要な専門知識の復習）                      |
|                                                                                                                                  |           | その他の準備（インターンシップノートの説明、作成）                  |
|                                                                                                                                  |           | その他の準備（受け入れ企業の事前調査の実施）                     |
|                                                                                                                                  |           | その他の準備（受け入れ企業からの事前課題への取り組み）                |
| 40 日                                                                                                                             |           | <u>インターンシップ実践（10 月～11 月末のうち 8 週、週 5 日）</u> |
| 3 日                                                                                                                              | 事後指導 1 日目 | 成果確認（目的や成長目標に到達したかの確認）                     |
|                                                                                                                                  |           | 言語化と意味づけ（インターンシップ後の意識と行動の変化を確認）            |
|                                                                                                                                  |           | 評価確認（自己評価・他者評価による再認識）                      |
|                                                                                                                                  |           | 今後の行動計画の作成（大学での学びに繋がる目標設定と行動計画の作成）         |
|                                                                                                                                  | 事後指導 2 日目 | インターンシップ報告会（自らの体験を発表する）                    |
|                                                                                                                                  | 事後指導 3 日目 | インターンシップ報告会（インターンシップⅠ・Ⅱのまとめ）               |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>事前課題 1 0 %<br>インターンシップ中の評価 6 0 %<br>事後課題（インターンシップノート、インターンシップ報告書、報告会でのプレゼンテーション等） 3 0 %<br>で総合評価する。 |           |                                            |
| <b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br>インターンシップ先の企業研究、レポート作成等<br>図書館などでシステム開発・保守等に関連する文献を調べ、視野を広げること。                                      |           |                                            |
| <b>6. 教科書／参考文献</b><br>配布資料による。                                                                                                   |           |                                            |
| <b>7. 備考</b>                                                                                                                     |           |                                            |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | イノベーションプロジェクトⅥ                  |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 4 年次                            | 配当学期 | 通期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ◎志村 一隆、久米 信行、川上 慎市郎、乗浜 誠二、松村 太郎 |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。<br>イノベーションプロジェクトⅥでは 1～3 年までのイノベーションプロジェクトでの取り組みの経験を生かし、自ら新しいイノベーションを企画して事業化に取り組むグループ、2～3 年で関わりを持った外部の企業・団体との連携プロジェクトをさらに発展させるグループなどに分かれ、本学のイノベーションプロジェクトを発展させ、社会的成果に結びつけるための活動を行う。またあわせて、それらのプロセスを通じて学び・発見したことを個々人としてレポートにまとめ、4 年間の学習の総仕上げとする。 |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>・自らの強みや弱みを踏まえて取り組むべきことを決め、協力して取り組むことのできるチームメンバーを集めてグループを組成し、適切な目標、マイルストーンを設定してプロジェクトを遂行できる<br>・プロジェクトにおける自分自身の行動や成果を振り返り、学びや気づきを体系化してレポートにまとめる                                                                                                                                                  |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 内容                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 企画立案と目標・ワークロードの設定、フィードバック       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 各グループからの進捗報告とフィードバック（1）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 各グループからの進捗報告とフィードバック（2）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 各グループからの進捗報告とフィードバック（3）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 各グループからの進捗報告とフィードバック（4）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 各グループからの進捗報告とフィードバック（5）         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | グループのプレゼン発表とフィードバック             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（1）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（2）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（3）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（4）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（5）     |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 14 | 個人レポートのプレゼン発表とフィードバック（1） |
| 15 | 個人レポートのプレゼン発表とフィードバック（2） |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>7 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 28%）</li><li>グループプレゼン発表におけるパフォーマンス（20%）</li><li>1～8 回目のグループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 16%）</li><li>個人レポートとそのプレゼン発表の評価（36%）</li></ul>                                                                                                  |
| <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>予習：各グループで設定したマイルストーンに向けてイノベーション企画に取り組み、進捗結果をまとめて報告できるようにする（約 2～3 時間）</li><li>課題：前期は、グループの進捗結果を発表し、受けたフィードバックをもとに適宜見直しを行いながらプロジェクトの完遂に取り組む。後期は、個人のレポートを企画し、それについて必要な調査や分析を行う</li></ul>                                                                                               |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：必要に応じ適宜配布</p> <p>参考文献：</p> <p>『STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント』<br/>ダイアナ・キャンダー (著), 牧野 洋 (翻訳)、新潮社、2017 年</p> <p>『Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール』<br/>ランダル・ストロス (著), 滑川海彦(翻訳), 高橋信夫(翻訳), TechCrunch Japan 翻訳チーム(翻訳)、日経 BP 社、2013 年</p> <p>『スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた』<br/>アニス・ウッツァマン (著)講談社、2013 年</p> |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                         |                                 | イノベーションプロジェクトVI |    |     |      |             |    |          | 職業専門科目 |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------|----|-----|------|-------------|----|----------|--------|--|
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                     | 4 年次                            | 配当<br>学期        | 通期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 演習     |  |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                         | ◎川上 慎市郎、久米 信行、志村 一隆、乗浜 誠二、松村 太郎 |                 |    |     |      |             |    | 共同担当     |        |  |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                      |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 3～5 人のグループ単位で事業計画の策定を行い事業の立ち上げを目指す、一連の中核プログラムの一部である。                                                                                                                                                                                         |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| イノベーションプロジェクトVIでは 1～3 年までのイノベーションプロジェクトでの取り組みの経験を生かし、自ら新しいイノベーションを企画して事業化に取り組むグループ、2～3 年で関わりを持った外部の企業・団体との連携プロジェクトをさらに発展させるグループなどに分かれ、本学のイノベーションプロジェクトを発展させ、社会的成果に結びつけるための活動を行う。またあわせて、それらのプロセスを通じて学び・発見したことを個々人としてレポートにまとめ、4 年間の学習の総仕上げとする。 |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                  |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| ・自らの強みや弱みを踏まえて取り組むべきことを決め、協力して取り組むことのできるチームメンバーを集めてグループを組成し、適切な目標、マイルストーンを設定してプロジェクトを遂行できる                                                                                                                                                   |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| ・プロジェクトにおける自分自身の行動や成果を振り返り、学びや気づきを体系化してレポートにまとめる                                                                                                                                                                                             |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                      |                                 |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                           | 内容                              |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 1                                                                                                                                                                                                                                            | 科目の全体像と流れの説明、グループ編成、チームビルディング   |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 2                                                                                                                                                                                                                                            | 企画立案と目標・ワークロードの設定、フィードバック       |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 3                                                                                                                                                                                                                                            | 各グループからの進捗報告とフィードバック（1）         |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 4                                                                                                                                                                                                                                            | 各グループからの進捗報告とフィードバック（2）         |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 5                                                                                                                                                                                                                                            | 各グループからの進捗報告とフィードバック（3）         |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 6                                                                                                                                                                                                                                            | 各グループからの進捗報告とフィードバック（4）         |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 7                                                                                                                                                                                                                                            | 各グループからの進捗報告とフィードバック（5）         |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 8                                                                                                                                                                                                                                            | グループのプレゼン発表とフィードバック             |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 9                                                                                                                                                                                                                                            | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（1）     |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 10                                                                                                                                                                                                                                           | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（2）     |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 11                                                                                                                                                                                                                                           | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（3）     |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 12                                                                                                                                                                                                                                           | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（4）     |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |
| 13                                                                                                                                                                                                                                           | 個人レポートの企画検討と進捗報告、フィードバック（5）     |                 |    |     |      |             |    |          |        |  |

|    |                          |
|----|--------------------------|
| 14 | 個人レポートのプレゼン発表とフィードバック（1） |
| 15 | 個人レポートのプレゼン発表とフィードバック（2） |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・7 回目までの各回のグループでの成果物提出とその内容（各回 4%、計 28%）</li><li>・グループプレゼン発表におけるパフォーマンス（20%）</li><li>・1～8 回目のグループ内メンバーのグループワークにおけるリーダーシップの相互評価（各回 2%、計 16%）</li><li>・個人レポートとそのプレゼン発表の評価（36%）</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・予習：各グループで設定したマイルストーンに向けてイノベーション企画に取り組み、進捗結果をまとめて報告できるようにする（約 2～3 時間）</li><li>・課題：前期は、グループの進捗結果を発表し、受けたフィードバックをもとに適宜見直しを行いながらプロジェクトの完遂に取り組む。後期は、個人のレポートを企画し、それについて必要な調査や分析を行う</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：必要に応じ適宜配布</p> <p>参考文献：</p> <p>『STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント』<br/>ダイアナ・キャンダー (著), 牧野 洋 (翻訳), 新潮社, 2017 年</p> <p>『Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール』<br/>ランダル・ストロス (著), 滑川海彦(翻訳), 高橋信夫(翻訳), TechCrunch Japan 翻訳チーム(翻訳), 日経 BP 社, 2013 年</p> <p>『スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた』<br/>アニス・ウッツァマン (著)講談社、2013 年</p> |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | コンピュータとソフトウェア基礎                            |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 1 年次                                       | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 堀田 耕一郎                                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要<br>コンピュータがどのような仕組みで動作するのか、基本的な考え方について利用シーンを意識しながら学ぶ。まず、コンピュータシステムの利用シーンの変遷について学ぶ。次に、伝統的なコンピュータを題材に、ハードウェア、ソフトウェアの両面から動作の仕組みを学ぶ。 <u>これには、コンピュータの命令構成、データの表現、メモリと計算の仕組みを含む。</u> さらに、 <u>ネットワーク化されたコンピュータの活用事例とそれに伴う問題点の事例を通じて、コンピュータシステムの将来像を考える基礎とする。</u> 最後に実際の製品ソフトウェア開発の手順を照会することで、ここまでに学んだ内容を実務と関連付ける。 |                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標<br>コンピュータがどのように機能しているのか、その動作原理と各機能の利用方法について、ソフトウェアの動作を通じて理解する。 <u>これにより、コンピューティングリテラシーを身に着ける。</u>                                                                                                                                                                                                     |                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 内容                                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 情報技術の利用シーン 「情報」の活用と表現                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | コンピュータシステムの構成要素                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ユーザーインターフェース                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | コンピュータの <u>ハードウェア</u> （1）コンピュータの命令         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | コンピュータの <u>ハードウェア</u> （2）メモリとレジスタ          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>コンピュータのソフトウェア（1）基本的なソフトウェアの種類</u>       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>コンピュータのソフトウェア（2）データの内部表現</u>            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>コンピュータネットワーク（1）インターネット</u>              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <u>コンピュータネットワーク（2）クラウドコンピューティング</u>        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>コンピュータの応用（1）音楽や動画の配信</u>                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>コンピュータの応用（2）電話とネットワーク</u>               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ICT 社会での問題点（1）コンピュータのトラブルによる社会問題</u>    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ICT 社会での問題点（2）コンピュータのセキュリティ問題</u>       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ソフトウェア工学（商用ソフトウェア開発の実態）（1）ソフトウェアの設計</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ソフトウェア工学（商用ソフトウェア開発の実態）（2）ソフトウェアの評価</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への貢献度（質問、発言など）20%</div> <div>各回の課題の提出状況とその内容の評価50%</div> <div>期末の成果物とその評価30%</div>                                                                                                                 |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>講義毎に復習中心の簡単な課題を提示するので、次の講義までに回答を用意すること。その内容を、次の講義内での議論のきっかけとする。</div>                                                                                                                                |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：必要な資料を適宜配布する</div> <div>参考文献：<br/>『コンピュータはなぜ動くのか〜知っておきたいハードウェア&amp;ソフトウェアの基礎知識〜』<br/>矢沢久雄（著）、日経ソフトウェア、日経 BP 社、2003 年<br/>『プログラムはなぜ動くのか 第2版 知っておきたいプログラムの基礎知識』<br/>矢沢久雄（著）、日経ソフトウェア、日経 BP 社、2007 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                        |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | コンピュータとソフトウェア基礎              |      |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 1 年次                         | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 堀田 耕一郎                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| コンピュータがどのような仕組みで動作するのか、基本的な考え方について利用シーンを意識しながら学ぶ。まず、コンピュータシステムの利用シーンの変遷について学ぶ。次に、伝統的なコンピュータを題材に、ハードウェア動作の仕組みについて、コンピュータの命令構成、データの表現、メモリと計算の仕組みを学ぶ。さらに、ソフトウェアの観点からアルゴリズムとプログラミングの概念を学んだ上で、実際に簡単なプログラムを作成し、プログラムテストを実施する。さらに、現在のコンピュータの発展の基本構造となっているネットワーク社会について事例を学ぶ。最後に実際の製品ソフトウェア開発の手順を照会することで、ここまでに学んだ内容を実務と関連付ける。 |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| コンピュータがどのように機能しているのか、その動作原理と各機能の利用方法について、ソフトウェアの動作を通じて理解する。簡単なプログラムを自作しテストできることを目標とする。                                                                                                                                                                                                                               |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                           |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 情報技術の利用シーン 「情報」の活用と表現        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | コンピュータシステムの構成要素              |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ユーザーインターフェース                 |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | コンピュータの動作（1）コンピュータの命令        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | コンピュータの動作（2）メモリとレジスタ         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | コンピュータの動作（3）データの内部表現と計算      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 数値計算と誤差                      |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | プログラミング基礎（1）アルゴリズム           |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | プログラミング基礎（2）プログラム言語Ⅰ         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | プログラミング基礎（3）プログラム言語Ⅱ         |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | プログラミング基礎（4）プログラムのテスト        |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | コンピュータネットワーク（1）インターネット       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | コンピュータネットワーク（2）クラウドコンピューティング |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | コンピュータネットワーク（3）セキュリティ        |      |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ソフトウェア工学（商用ソフトウェア開発の実態） |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への貢献度（質問、発言など）20%<br/>各回の課題の提出状況とその内容の評価 50%<br/>期末の成果物とその評価 30%</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>講義毎に復習中心の簡単な課題を提示するので、次の講義までに回答を用意すること。その内容を、次の講義内での議論のきっかけとする。（各回 60 分程度）</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：必要な資料を適宜配布する<br/><br/>参考文献：<br/>『コンピュータはなぜ動くのか〜知っておきたいハードウェア&amp;ソフトウェアの基礎知識〜』<br/>矢沢久雄（著）日経ソフトウェア（著）、日経 BP 社、2003 年<br/>『プログラムはなぜ動くのか 第2版 知っておきたいプログラムの基礎知識』<br/>矢沢久雄（著）、日経ソフトウェア、2007 年</div> <div>7. 備考</div> |                         |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | データ構造と処理法                         |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1 年次                              | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 片桐 雅二                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>プログラムを作成する上で基本となるデータ構造と処理の基本的な流れ（アルゴリズム）について学習する。内容を解説するとともに、学修する項目毎に課題を設定し、実習形式で実際にデータ処理を行いながら学修する。選択するデータ構造と処理方法によって、同じ結果を得るための所要時間等が異なることを体験的に修得する。</p> <p>はじめに、文字列アルゴリズムおよび整列アルゴリズムを具体例として取り上げ、同一のタスクであってもアルゴリズムによって性能等に違いが生じる事を実習により確認し、アルゴリズムの重要性を学ぶ。その後、基本的なデータ構造（キュー、スタック、木構造など）およびその操作方法（挿入、削除など）について説明し、その特性を実習により確認する。さらにはネットワーク制御など実際の課題でも用いられる最短経路問題および最小全域木問題を取り上げ、それに対するアルゴリズムについて学ぶ。</p> |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>基本的なデータ構造に対して、その基礎的な操作方法（挿入、削除、探索、整列など）とともにその特性を理解し、説明できるようになる。</p> <p>所望の課題に応じた適切なデータ構造および処理方法を検討する際に、必要に応じて自らより深く調べる手がかりとして、得た知識を課題解決に活用できるようになる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                  |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | アルゴリズムとは                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 文字列アルゴリズム（1）文字列の走査、素朴な方法、KMP 法    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 文字列アルゴリズム（2）パターン照合テーブル            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 整列アルゴリズム（1）整列問題、選択ソート、挿入ソート       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 整列アルゴリズム（2）分割統治法、クイックソート、マージソート   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 整列アルゴリズム（3）基数ソート                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 基本データ構造とその操作（1）データ構造の重要性、キュー、スタック |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 基本データ構造とその操作（2）二分探索木、平衡木、ヒープ      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 基本データ構造とその操作（3）素集合データ構造           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 最短経路アルゴリズム（1）最短経路問題、グラフの表現方法      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 最短経路アルゴリズム（2）ダイクストラ法              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 最短経路アルゴリズム（3）ベルマン-フォード法           |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                               |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--|--|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 最小全域木アルゴリズム（1）最小全域木問題、最良優先探索法 |  |  |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 最小全域木アルゴリズム（2）クラスカル法          |  |  |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | アルゴリズムとは                      |  |  |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>単元ごとのレポートの内容（75%）、定期試験の結果（15%）、受講態度等（10%）により総合評価する。</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>特に復習によって自分なりに内容を消化することが大切である（30-60 分／回）</p> <p>単元ごとにレポート課題を設定する（60-120 分×5 回）</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：『アルゴリズムとデータ構造』</p> <p>藤田 聡(著)，グラフィック情報工学ライブラリ，数理工学社，2013</p> <div>7. 備考</div> |                               |  |  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | データ構造と処理法                         |          |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 1 年次                              | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 必修 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 片桐 雅二                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>プログラムを作成する上で基本となるデータ構造と処理の基本的な流れ（アルゴリズム）について学習する。内容を解説するとともに、学修する項目毎に課題を設定し、実習形式で実際にデータ処理を行いながら学修する。選択するデータ構造と処理方法によって、同じ結果を得るための所要時間等が異なることを体験的に修得する。<br>はじめに、文字列アルゴリズムおよび整列アルゴリズムを具体例として取り上げ、同一のタスクであってもアルゴリズムによって性能等に違いが生じる事を実習により確認し、アルゴリズムの重要性を学ぶ。その後、基本的なデータ構造（キュー、スタック、木構造など）およびその操作方法（挿入、削除など）について説明し、その特性を実習により確認する。さらにはネットワーク制御など実際の課題でも用いられる最短経路問題および最小全域木問題を取り上げ、それに対するアルゴリズムについて学ぶ。 |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>基本的なデータ構造に対して、その基礎的な操作方法（挿入、削除、探索、整列など）とともにその特性を理解し、説明できるようになる。<br>所望の課題に応じた適切なデータ構造および処理方法を検討する際に、必要に応じて自らより深く調べる手がかりとして、得た知識を課題解決に活用できるようになる。                                                                                                                                                                                                                                              |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | アルゴリズムとは                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 文字列アルゴリズム（1）文字列の走査、素朴な方法、KMP 法    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 文字列アルゴリズム（2）パターン照合テーブル            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 整列アルゴリズム（1）整列問題、選択ソート、挿入ソート       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 整列アルゴリズム（2）分割統治法、クイックソート、マージソート   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 整列アルゴリズム（3）基数ソート                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 基本データ構造とその操作（1）データ構造の重要性、キュー、スタック |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 基本データ構造とその操作（2）二分探索木、平衡木、ヒープ      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 基本データ構造とその操作（3）素集合データ構造           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 最短経路アルゴリズム（1）最短経路問題、グラフの表現方法      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 最短経路アルゴリズム（2）ダイクストラ法              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 最短経路アルゴリズム（3）ベルマン-フォード法           |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                        |                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 13                                                                                                     | 最小全域木アルゴリズム（1）最小全域木問題、最良優先探索法 |
| 14                                                                                                     | 最小全域木アルゴリズム（2）クラスカル法          |
| 15                                                                                                     | 最小全域木アルゴリズム（3）プリム法            |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>単元ごとのレポートの内容（75%）、定期試験の結果（15%）、受講態度等（10%）により総合評価する。                       |                               |
| <b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br>特に復習によって自分なりに内容を消化することが大切である（30-60 分／回）<br>単元ごとにレポート課題を設定する（60-120 分×5 回） |                               |
| <b>6. 教科書／参考文献</b><br>教科書：『アルゴリズムとデータ構造』<br>藤田 聡(著)，グラフィック情報工学ライブラリ，数理工学社，2013                         |                               |
| <b>7. 備考</b>                                                                                           |                               |

|                                                                                                                                                                                                                   |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                              | オペレーティングシステム                             |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                          | 1 年次                                     | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                              | 井澤 哲也                                    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                           |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 情報システムの形成に必要なオペレーティングシステムの役割，基本的概念および実現方式を理解する。実際に PC を利用し、CUI での操作を修得する。基本的な概念を説明した後、実機演習を通じて操作を学ぶ。具体的にはコマンドを用いた操作、OS 操作や管理、簡単なプログラムを用いたプロセスの自動化などを演習形式で行う。オペレーティングシステムの技術や知識の習得を通じて、コンピュー タシステムの動作原理に対する理解を深める。 |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                       |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| OS の構成要素とそれぞれの役割について説明できるようになる。                                                                                                                                                                                   |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| コマンドラインによる OS の操作、スクリプトによるテストの編集、OS の操作を行えるようになる。                                                                                                                                                                 |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| OS のユーザー管理、ソフトウェアインストール、資源管理など基本的な管理・設定を行えるようになる。                                                                                                                                                                 |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                           |                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                | 内容                                       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                 | PC の準備（起動・停止）と基本操作                       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                 | オペレーティングシステムの機能と構成要素                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                 | コマンドによるファイル、ディレクトリの操作(1) ディレクトリ、ファイルの作成  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                 | コマンドによるファイル、ディレクトリの操作(2) ディレクトリ、ファイルの管理  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                 | テキストエディタの利用                              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                 | OS によるプログラム実行の管理 プロセスの表示、一時停止、停止         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作の基礎(1) シェルスクリプト                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作の基礎(2) テキストデータの高度な編集(sed/awk)  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作の基礎(3) その他のスクリプト言語(perl, ruby) |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                | ネットワークの管理                                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                | ユーザー管理と権限管理 ユーザーの追加と権限の管理                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                | ログ管理 OS およびソフトウェアのログの参照方法と管理             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                | ソフトウェアのインストールと設定                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                | その他の OS の基本操作                            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                | 仮想環境の構成                                  |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>各回の課題の提出状況と、その内容を評価する。(70%)<br/>加えて、授業中への参加度・貢献度（質問、発言など）を評価する。(30%)</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>予習として、事前に示す参考文献・Web サイトを参照して、各分野で使われる基本的な用語・概念を知っておくこと。<br/>各回ごとに課題を提示する。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：<br/>『入門者の Linux』<br/>奈佐原 顕郎（著）、講談社、2016 年<br/>＊上記のほか、適宜プリントを配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『macOS コマンド入門』西村 めぐみ（著）新居 雅行 （監修）、技術評論社、2017 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|                                                                                                                                                                                                                   |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                              | オペレーティングシステム                            |          |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                          | 1 年次                                    | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                              | 井澤 哲也                                   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                           |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 情報システムの形成に必要なオペレーティングシステムの役割，基本的概念および実現方式を理解する。実際に PC を利用し、CUI での操作を修得する。基本的な概念を説明した後、実機演習を通じて操作を学ぶ。具体的にはコマンドを用いた操作、OS 操作や管理、簡単なプログラムを用いたプロセスの自動化などを演習形式で行う。オペレーティングシステムの技術や知識の習得を通じて、コンピュー タシステムの動作原理に対する理解を深める。 |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                       |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| OS の構成要素とそれぞれの役割について説明できるようになる。                                                                                                                                                                                   |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| コマンドラインによる OS の操作、スクリプトによるテストの編集、OS の操作を行えるようになる。                                                                                                                                                                 |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| OS のユーザー管理、ソフトウェアインストール、資源管理など基本的な管理・設定を行えるようになる。                                                                                                                                                                 |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                           |                                         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                | 内容                                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                 | PC の準備（起動・停止）と基本操作                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                 | オペレーティングシステムの機能と構成要素                    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                 | コマンドによるファイル、ディレクトリの操作(1) ディレクトリ、ファイルの作成 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                 | コマンドによるファイル、ディレクトリの操作(2) ディレクトリ、ファイルの管理 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                 | テキストエディタの利用                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                 | OS によるプログラム実行の管理 プロセスの表示、一時停止、停止        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作(1) シェルスクリプト                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作(2) テキストデータの高度な編集(sed/awk)    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                 | スクリプトによる操作(3) その他のスクリプト言語(perl, ruby)   |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                | ネットワークの管理                               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                | ユーザー管理と権限管理 ユーザーの追加と権限の管理               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                | ログ管理 OS およびソフトウェアのログの参照方法と管理            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                | ソフトウェアのインストールと設定                        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                | その他の OS の基本操作                           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                | 仮想環境の構成                                 |          |    |     |      |             |    |          |    |

4. 試験および成績評価の方法と基準

各回の課題の提出状況と、その内容を評価する。(70%)  
加えて、授業中への参加度・貢献度（質問、発言など）を評価する。(30%)

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

予習として、事前に示す参考文献・Web サイトを参照して、各分野で使われる基本的な用語・概念を知っておくこと。  
各回ごとに課題を提示する。

6. 教科書／参考文献

教科書：  
『入門者の Linux』  
奈佐原 顕郎（著）、講談社、2016 年  
＊上記のほか、適宜プリントを配布する。

参考文献：  
『macOS コマンド入門』西村 めぐみ（著）新居 雅行 （監修）、技術評論社、2017 年

7. 備考

|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                          | コンピュータアーキテクチャ               |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 年次                        | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                          | 堀田 耕一郎                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>コンピュータハードウェアのコンポーネントの構造と振る舞い、およびプログラムが動作するために、コンポーネントがどのように相互作用するかを学ぶ。システムの安定動作、プログラムの正確な動作を担保するための方式に重点を置く。また、主要コンポーネントである CPU 内の命令セットアーキテクチャについて、汎用コンピュータの事例を学んだ後、スーパーコンピュータがどのように高速実行を行うかについて深く検討する。ソフトウェアの動作と関連させながら学ぶことによって、プログラムを高速化させる方法を理解することができる。 |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>コンピュータがどのように機能しているのか、各機能の動作原理と複数の機能の連携について、理解する。コンピュータアーキテクチャを評価できるレベルを目指す。                                                                                                                                                                             |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                            | 内容                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                             | コンピュータの概念設計                 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                             | 論理設計の基礎                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                             | コンピュータの性能決定要因               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:ハードウェアでの演算の仕組み          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:データの表現と算術論理演算           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:命令セットアーキテクチャ (1)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:命令セットアーキテクチャ (2)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:データバスとその制御              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                             | メモリアーキテクチャ (1)：仮想記憶とデータの階層性 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                            | メモリアーキテクチャ (2)：キャッシュメモリの仕組み |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                            | 入出力装置                       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                            | 性能：パイプライン処理と性能向上            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                            | 性能：性能評価とプログラムチューニングの技法      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                            | マルチプロセッサの構成                 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                            | 並列システム                      |          |    |     |      |             |    |          |    |

4. 試験および成績評価の方法と基準

授業への貢献度（質問、発言など）30%  
各回の課題の提出状況とその内容の評価 20%  
期末の成果物とその評価 50%

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

講義毎に復習中心の簡単な課題を提示するので、次の講義までに回答を用意すること。その内容を、次の講義内での議論のきっかけとする。（各回 60 分程度）

6. 教科書／参考文献

教科書：必要な資料を適宜配布する。

参考文献：  
『コンピュータアーキテクチャ（電子情報通信レクチャーシリーズ）』  
坂井 修一（著）電子情報通信学会（編集）電子通信学会（編集）、コロナ社、2014 年  
『コンピュータの構成と設計 第 5 版』  
ジョン・L. ヘネシー（著）デイビッド・A. パターソン（著）成田光彰（翻訳）、日経 B P 社、2014 年

7. 備考



|                                                                                                                                                                                                                                                                               |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                          | コンピュータアーキテクチャ               |          |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 年次                        | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                          | 堀田 耕一郎                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>コンピュータハードウェアのコンポーネントの構造と振る舞い、およびプログラムが動作するために、コンポーネントがどのように相互作用するかを学ぶ。システムの安定動作、プログラムの正確な動作を担保するための方式に重点を置く。また、主要コンポーネントである CPU 内の命令セットアーキテクチャについて、汎用コンピュータの事例を学んだ後、スーパーコンピュータがどのように高速実行を行うかについて深く検討する。ソフトウェアの動作と関連させながら学ぶことによって、プログラムを高速化させる方法を理解することができる。 |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>コンピュータがどのように機能しているのか、各機能の動作原理と複数の機能の連携について、理解する。コンピュータアーキテクチャを評価できるレベルを目指す。                                                                                                                                                                             |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                |                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                            | 内容                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                             | コンピュータの概念設計                 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                             | 論理設計の基礎                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                             | コンピュータの性能決定要因               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:ハードウェアでの演算の仕組み          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:データの表現と算術論理演算           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:命令セットアーキテクチャ (1)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:命令セットアーキテクチャ (2)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                             | CPU:データバスとその制御              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                             | メモリアーキテクチャ (1)：仮想記憶とデータの階層性 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                            | メモリアーキテクチャ (2)：キャッシュメモリの仕組み |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                            | 入出力装置                       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                            | 性能：パイプライン処理と性能向上            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                            | 性能：性能評価とプログラムチューニングの技法      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                            | マルチプロセッサの構成                 |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                            | 並列システム                      |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への貢献度（質問、発言など）30%</div> <div>各回の課題の提出状況とその内容の評価20%</div> <div>期末の成果物とその評価50%</div>                                                                                                                                                   |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>講義毎に復習中心の簡単な課題を提示するので、次の講義までに回答を用意すること。その内容を、次の講義内での議論のきっかけとする。（各回 60 分程度）</div>                                                                                                                                                       |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：必要な資料を適宜配布する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『コンピュータアーキテクチャ（電子情報通信レクチャーシリーズ）』</div> <div>坂井 修一（著）電子情報通信学会（編集）電子通信学会（編集）、コロナ社、2014 年</div> <div>『コンピュータの構成と設計 第 5 版』</div> <div>ジョン・L. ヘネシー（著）デイビッド・A. パターソン（著）成田光彰（翻訳）、日経 B P 社、2014 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                        | モバイルサービス概論 |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2 年次                                                                                                   | 配当学期       | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 磯 俊樹                                                                                                   |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                        |            |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>ICT とは、“Information Communications Technology” の略で、情報通信技術全般を指すものであり、人と人だけでなく、“人”と“モノ”をつなげる（コミュニケーションする）様々なサービスに關与している。本講義では、社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった“ケータイ”に着目し、人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われている ICT のコア技術を俯瞰する。そして、サービスシステムを実現するために、これらのコア技術がなぜ使われているのかを“アプリケーションの利用環境条件”や“サービス提供上の制約条件”の観点から技術を考察することで、各技術の特性の違いを定性的に理解する。</u> |                                                                                                        |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                        |            |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>人とモノをつなげる“現実世界から情報を獲得する”系サービス、人と人をつなげる“自らの状態を知る”系サービス、クラウド上の“集合知利用系サービス”，さらには “モバイル端末の入出力インタフェース”に関する ICT の主な技術の特徴や用途が平易な表現で説明できることを目指す。そして、“ユーザの視点”、“サービス提供者の視点”、“技術者の視点”をバランスよく持ってサービス企画立案できる“技術のソムリエになること”を究極の目標とする。</u>                                                                                                         |                                                                                                        |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                        |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 内容                                                                                                     |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「モバイルサービスの変遷」<br/>ケータイを中心に進歩してきたモバイルサービスの動向を、社会的な役割や行動心理学の観点で分析する。</u>                              |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“外界から情報を獲得する系サービス”を実現する ICT（1）」<br/>ケータイ搭載カメラから情報が得られる二次元コード（QR コードやVisualtag）<br/>読取技術の概要を学ぶ。</u> |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“外界から情報を獲得する系サービス”を実現する ICT（2）」<br/>景観画像から情報を獲得する特定画像認識の概要を学ぶ。</u>                                 |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“外界から情報を獲得する系サービス”を実現する ICT（3）」<br/>モーションセンサとカメラを用いたモバイル AR 技術の概要を学ぶ。</u>                          |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「中間演習（1）」<br/>“外界から情報を獲得する系サービス”を実現する ICT の特徴を、サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。</u>                         |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“自分の状態を知る系サービス”を実現する ICT（1）」<br/>ケータイの携行方法にロバストなモーションセンサを用いた歩行状態認識の概要を学ぶ。</u>                      |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“自分の状態を知る系サービス”を実現する ICT（2）」<br/>把持センサを用いたケータイ利用中の個人認証の概要を学ぶ。</u>                                  |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「“自分の状態を知る系サービス”を実現する ICT（3）」<br/>生体情報センサを用いたヘルスケア技術の概要を学ぶ。</u>                                     |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>「中間演習（2）」<br/>“自分の状態を知る系サービス”を実現する ICT の特徴を、サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。</u>                            |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>「“集合知利用系サービス”を実現する ICT（1）」<br/>ケータイの位置情報に基づいて人流れを公共利用する“モバイル空間統計サービス”での技術の概要を学ぶ。</u>                |            |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>「“集合知利用系サービス”を実現する ICT（2）」<br/>Web サイトのレコメンドシステムで利用されている協調フィルタリング等の概要を</u>                          |            |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                            |                                                                               |
|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
|                                                            | <u>学ぶ。</u>                                                                    |
| 12                                                         | 「“集合知利用系サービス”を実現する ICT（3）」<br>しゃべってコンシェルサービスで利用されている音声認識や知識処理に関する技術を学ぶ。       |
| 13                                                         | 「中間演習（3）」<br>“集合知利用系サービス”を実現する ICT の特徴を、サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。              |
| 14                                                         | 「“モバイル端末の入出力インタフェース”で利用される ICT」<br>インテリジェントグラス等のウェアラブルデバイスの技術を学ぶ。             |
| 15                                                         | 「将来あるべきモバイルサービスやケータイの姿」<br>今後のモバイルサービスに求められるものが何で、それを実現するために必要な ICT は何かを議論する。 |
| 4. 試験および成績評価の方法と基準                                         |                                                                               |
| 試験：50%                                                     |                                                                               |
| 中間演習（2 回）：40%                                              |                                                                               |
| レポート提出（適時）：10%                                             |                                                                               |
| 5. 準備学習（予習・復習、課題等）                                         |                                                                               |
| 予習：各単元の実例をインターネットや文献等で 1 つ以上調べてスライドにまとめる                   |                                                                               |
| 復習：各単元で学んだ内容についてインターネットや文献等で 2 つ以上調べてスライドにまとめる。（各回 1 時間程度） |                                                                               |
| 6. 教科書／参考文献                                                |                                                                               |
| 教科書：                                                       |                                                                               |
| 必要により、授業時にプリントを配布，または参考資料を適宜指示する。                          |                                                                               |
| 参考文献：                                                      |                                                                               |
| 『iPhone のすごい中身』                                            |                                                                               |
| 柏尾 南壮（著）、日本実業出版社、2010 年                                    |                                                                               |
| 『ジャイロセンサ技術』                                                |                                                                               |
| 多摩川精機株式会社（編集）、東京電機大学出版局、2011 年                             |                                                                               |
| 『わかりやすい G P S 測量』                                          |                                                                               |
| 小白井 亮一（著）、オーム社、2010 年                                      |                                                                               |
| 『カオス時系列解析の基礎と応用』                                           |                                                                               |
| 池口 徹（著）小室 元政（著）山田 泰司（著）合原 一幸（編集）、産業図書、2000 年               |                                                                               |
| 『データ解析のための統計モデリング入門』                                       |                                                                               |
| 久保拓弥（著）、岩波書店、2012 年                                        |                                                                               |
| 『統計数理は隠された未来をあらわにするーベイジアンモデリングによる実世界イノベーション』               |                                                                               |
| 樋口知之（著）照井伸彦（著）井元清哉（著）北川源四郎（著）石井信（著）東京電機大学出版局、2007 年        |                                                                               |
| 『デジカメの画像処理』                                                |                                                                               |
| 蚊野浩（監修）映像情報メディア学会（編集）、オーム社、2011 年                          |                                                                               |
| 『フリーソフトでつくる音声認識システム』                                       |                                                                               |
| 上野俊行（著）、森北出版、2018 年                                        |                                                                               |
| 7. 備考                                                      |                                                                               |



新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 情報系数学応用 A                                                                                         |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 2 年次                                                                                              | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 落合 慶広                                                                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>本科目では微分方程式や最適化法を中心として、各産業分野で利用される代表的な手法の原理や特徴を理解すると共に、これらの手法を実世界の問題に活用する力を習得することを目標とする。微分方程式は、自然現象や物理現象を特徴付けをして記述することができ、これを解くことにより、これらの現象の解析や将来の挙動を予測が可能となる。このため数値計算と合わせて、より多くの実世界の課題が解けるように講義する。また、最適化法は、製品設計、流通計画から高度な画像・音声認識処理に至るまで多くの分野で活用されることから、これらの導入にもなるよう講義する。本科目を通じ、これらの手法の原理や特徴を理解すると共に、実世界の課題を解く力を養う。</p> |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・微分方程式や最適化等の基礎知識を習得し、説明できる。</li><li>・上記知識を用い、課題の捉え方や定式化、その課題に適した解法の実践方法や適用方法など、得た知識をもとに課題解決に活用できる。</li></ul>                                                                                                                                                                        |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 内容                                                                                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式（1）</u><br><u>微分方程式の概要、特徴による基本的な分類、解の分類など</u>                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式（2）</u><br><u>変数分離形、斉次方程式などの概要、解き方、使い方</u>                                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式（3）</u><br><u>1 階線形微分方程式の考え方、解き方、使い方</u>                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式（4）</u><br><u>2 階線形微分方程式の考え方、解き方、使い方</u>                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式（5）</u><br><u>実世界の問題でよく知られている微分方程式、活用事例</u>                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式の数値解法（1）</u><br><u>いくつかの微分方程式を事例とし、より多くの問題が解けるようになる考え方や解き方、使い方を知る（差分法、テイラー法など）</u>        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>微分方程式の数値解法（2）</u><br><u>いくつかの微分方程式を事例とし、より多くの問題が解けるようになる考え方や解き方、使い方（オイラー法、Runge-Kutta 法など）</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>最適化法（1）</u><br><u>最適化の基本的な考え方、様々な手法の特徴や違い</u>                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>最適化法（2）</u><br><u>線形計画法の基本的な考え方、代表的な手法の特徴や違い</u>                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                                              |
|----|--------------------------------------------------------------|
| 10 | <u>最適化法（3）</u><br><u>非線形計画法の基本的な考え方、代表的な手法の特徴や違い</u>         |
| 11 | <u>最適化法（4）</u><br><u>収束の早い非線形計画法の代表的な手法と説き方の違い</u>           |
| 12 | <u>最適化法（5）</u><br><u>これまで学んできた最適化法の A I における学習法との関連など</u>    |
| 13 | <u>最適化法（6）</u><br><u>実世界の課題をもとにした多目的最適化法やパレート効率性の考え方、使い方</u> |
| 14 | <u>最適化法（7）</u><br><u>大域的最適化法や遺伝的アルゴリズムの考え方や計算方法と産業応用</u>     |
| 15 | まとめ<br><u>工業製品における形状・機能設計、物流配送計画等、活用事例やその方法</u>              |

|                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><u>各授業において出題する理解度確認課題（60％）</u><br/><u>考察レポート（40％）</u></div>                                                                                                                  |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><u>予習：講義資料は事前に掲示、指示するので、事前に読んでおくこと。</u><br/><u>復習：レポート課題ではツールを用いて解く課題もありこうしたツールについては、授業の中で周知する。</u><br/><u>（各回 20～30 分程度）</u></div>                                          |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div><u>教科書：毎回、必要な資料を配布する。</u><br/><br/><u>参考文献：</u><br/><u>『すぐわかる微分方程式』</u><br/><u>石村 園子（著）、東京図書、2017 年</u><br/><u>『これなら分かる最適化数学―基礎原理から計算手法まで』</u><br/><u>金谷健一（著）、共立出版、2005 年</u></div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                |

新設のため該当なし

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                     | データサイエンス |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2 年次                                                                | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ◎磯 俊樹、Adrian David Cheok                                            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>データサイエンスとは、ビックデータの背後に隠れている意味のある情報を抽出する手法を指すものであり、画像データやセンサデータ（時系列データ）を対象としたパターン認識やデータマイニングの分野で幅広く利用されている。</p> <p>本講義では、一般的な数値データや画像データならびに時系列データ（音声データやセンサデータ）を例として取り上げ、<u>それぞれのデータの特徴を理解するとともに、分析や活用の方法を理解する。</u><u>これにより</u>“実応用の場面で使いこなす観点”からデータ解析手法を学修する。実際のサービス応用事例の中で何の目的のためにどのように適用されているかという観点から各技術の特徴を理解する。</p> <p>また、簡単な実例をプログラミング（MATLAB）等で<u>サンプルに基づき</u>実習することで、各技術の概要や特徴を体感しながら理解を深める。</p> |                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>実応用の分野で用いられている代表的なデータサイエンスに関する手法を用途に応じて適材適所で見極められることを究極の目標とし、各手法の特徴や用途が平易な表現で説明できることを目指す。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内容                                                                  |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>データサイエンスとは</u><br><u>事例をもとに、データから情報を獲得するまでの処理過程を大局的に理解する</u>     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>数値データの観察</u><br><u>数値データをさまざまな観点から観察し、データの特徴を理解する</u>            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>数値データの分析</u><br><u>定性的、定量的な観点での様々な分析手法を学ぶ</u>                    |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>中間演習（1）</u><br><u>これまでの振り返りと MATLAB を用いたデータ分析</u>                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>画像データの観察する</u><br><u>ノイズ除去などの前処理手法の理解、画像データの性質の観察</u>            |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>画像データからの特徴の抽出</u><br><u>様々な局所特徴量を用いた BOF によりを事例とした画像の特徴の表現事例</u> |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>画像データの識別（1）</u><br><u>実応用の分野で用いられている識別手法について学ぶ</u>               |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>画像データの識別（2）</u><br><u>Deep Learning を用いたパターン認識手法について学ぶ。</u>      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <u>中間演習（2）</u><br><u>これまでの振り返りと MATLAB を用いた画像解析・認識</u>              |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>時系列データを整える</u><br><u>ノイズ除去やデータ補間などのデータの前処理手法</u>      |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>時系列データの観察</u><br><u>様々な観点からの時系列データの性質の観察</u>          |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>時系列データの特徴の抽出</u><br><u>音声データを事例とした時系列データの特徴の抽出事例</u>  |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>時系列データの予測</u><br><u>状態空間モデルを中心に時系列データ予測方法について理解する</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>中間演習（3）</u><br><u>これまでの振り返りと MATLAB を用いた時系列データ分析</u>  |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <u>データサイエンスのまとめ</u><br><u>対象データや用途に応じた各手法の特徴の整理、使い分け</u> |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p><u>試験</u>：50％</p> <p>中間演習（3 回）：40％</p> <p>レポート提出（適時）：10％</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                          |
| <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <p>予習：各単元の実例をインターネットや文献等で <u>1 つ以上</u>調べ、スライドにまとめる</p> <p>復習：各単元で学んだ内容についてインターネットや文献等で <u>2 つ以上</u>調べ、スライドにまとめる。（各回 1 時間程度）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                          |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：</p> <p>必要により、授業時にプリントを配布、または参考資料を適宜指示する。</p> <p>参考文献：</p> <p><u>『統計学入門（基礎統計学Ⅰ）』</u><br/>東京大学教養学部統計学教室(編集)、東京大学出版会、1991 年</p> <p><u>『見えないものをさぐるーそれがベイズ：ツールによる実践ベイズ統計』</u><br/>藤田一弥(著)、フォワードネットワーク(監修)、オーム社、2015 年</p> <p><u>『詳解 ディープラーニング』</u><br/>巢籠 悠輔(著)、マイナビ出版、2017 年</p> <p><u>『デジタル画像処理』</u><br/>画像情報教育振興協会(著)、画像情報教育振興協会、2015 年</p> <p><u>『臨床医学のためのウェーブレット解析』</u><br/>石川 康宏（著）、医学出版、2000 年</p> <p><u>『基礎からわかる時系列分析』</u><br/>萩原淳一郎(著)、瓜生真也(著)、牧山幸史(著)、石田基広(監修)、技術評論社、2018 年</p> <p><u>『フリーソフトでつくる音声認識システム パターン認識・機械学習の初歩から対話システムまで』</u><br/>荒木雅弘（著）、森北出版、2017 年</p> |                                                          |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                          |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                     | データサイエンス |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2 年次                                                                                | 配当学期     | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ◎磯 俊樹、Adrian David Cheok                                                            |          |    |     |      |         |    | 共同担当 |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                     |          |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>データサイエンスとは、ビッグデータの背後に隠れている意味のある情報を抽出する手法を指すものであり、画像データやセンサデータ（時系列データ）を対象としたパターン認識やデータマイニングの分野で幅広く利用されている。</p> <p>本講義では、一般的な数値データや画像データ、ならびに時系列データ（音声データやセンサデータ）を例として取り上げ、「実応用の場面で使いこなす観点」からデータ解析手法を学修する。すなわち、実際のサービス応用事例中で何の目的のためにどのように適用されているかという観点から各技術の特徴を理解する。</p> <p>また、簡単な実例をプログラミング（MATLAB）等で実習することで、各技術の概要や特徴を体感しながら理解を深める。</p> |                                                                                     |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                     |          |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>実応用の分野で用いられている代表的なデータサイエンスに関する手法を用途に応じて適材適所で見極められることを究極の目標とし、各手法の特徴や用途が平易な表現で説明できることを目指す。</p>                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                     |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                     |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内容                                                                                  |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「データサイエンスとは？」：データから情報を獲得するまでの処理過程を、様々な応用例から大局的に理解する。また、データサイエンスで用いられる処理の大きな流れを理解する。 |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「数値データを観察する！」：数値データを対象として、ヒストグラム分布や主成分分析などを用いて種々の観点からデータの特徴が観察できることを学ぶ。             |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「数値データを分析する！」：クラスター分析や自己組織化マップなどを用いて定性的な観点や定量的な観点で分析できることを学ぶ。                       |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「中間演習（1）」：これまでの授業内容の理解を深めるために、数値データを使ったパターン認識アルゴリズムをMATLABで構築し、動作させることを実践する。        |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「画像データを観察する！」：ノイズ除去を施した上で、フーリエ解析やウェーブレット解析などを用いて種々の観点から画像データの性質が観察できることを学ぶ。         |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「画像データから特徴を抽出する！」：様々な局所特徴量を用いたBOFにより、画像の特徴が表現できることを学ぶ。                              |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「画像データを識別する！」：SVMやadaBoostなど実応用の分野で用いられている識別手法について学ぶ。                               |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「画像データから一気に識別する！」：Deep Learningを用いたパターン認識手法について学ぶ。                                  |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 「中間演習（2）」：これまでの授業内容の理解を深めるために、画像データを使ったパターン認識アルゴリズムをMATLABで構築し、動作させることを実践する。        |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「時系列データを整える！」：ノイズ除去やデータ補間を中心としたデータの前処理について学ぶ。                                       |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「時系列データを観察する！」：フーリエ解析やウェーブレット解析などを用いて種々の観点から時系列データの性質が観察できることを学ぶ。                   |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「時系列データから特徴を抽出する！」：音声データを例に取って、時系列データの特徴抽出方法について学ぶ。                                 |          |    |     |      |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 「時系列データを予測する！」：状態空間モデルを中心に時系列データ予測方法について学ぶ。                                         |          |    |     |      |         |    |      |    |

|    |                                                                                          |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | 「 <u>中間演習（3）</u> 」：これまでの授業内容の理解を深めるために、時系列データを使ったパターン認識アルゴリズムを MATLAB で構築し、動作させることを実践する。 |
| 15 | 「 <u>データサイエンスのまとめ</u> 」：対象データや用途に応じて各手法の特徴を整理することで、各手法の使い分けを理解する。                        |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>最終試験：50％<br/>中間演習（3回）：40％<br/>レポート提出（適時）：10％</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>予習（事前学習）：(1 時間程度)<br/>各単元の実例をインターネットや文献等で 1 つ調べて、それぞれをスライド 1 枚にまとめる。）<br/>復習（事後学修）：(1 時間程度)<br/>各単元で学んだ各手法についてインターネットや文献等で 2 つ調べて、スライド 2 枚にまとめる。</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：<br/>必要により、授業時にプリントを配布、または参考資料を適宜指示する。</p> <p>参考文献：<br/>『<u>詳解 ディープラーニング</u>』<br/>巢籠悠輔(著)、マイナビ出版、2017 年<br/>『<u>コンピュータビジョン 最先端ガイド 1 ～ 7</u>』<br/>倉爪亮(著)石川博(著)加藤丈和(著)佐藤淳(著)三田雄志(著)八木康史(編集)斎藤英雄(編集)、<br/>アドコム・メディア、2008 年<br/>『<u>ディジタル画像処理</u>』<br/>画像情報教育振興協会(著)、画像情報教育振興協会、2015 年</p> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 情報系数学応用 B                                                                |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 2 年次                                                                     | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 片桐 雅二                                                                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>本科目では、数理論理学や計算理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。各理論／概念については具体的な応用先の例もあわせて学ぶことで、理解をより深いものとする。ソフトウェアを形式的に特徴づけたり解析するためには、計算や論理に関する知識が不可欠である。</p> <p>具体的には、集合・論理・関係・写像・代数系・数え上げ・グラフ理論についてその入門的な内容（用語・定義・記法、基本的概念・原理、応用先の例など）を順次学ぶことで、論理的、数理的に課題解決へのアプローチができるようになることを目指す。</p> |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>・数理論理学や計算理論等の基礎知識を習得し、説明できるようになる。</p> <p>・上記知識を用い、実際の課題についてソフトウェアを用いて解決する際に、必要に応じて自らより深く調べる手がかりとして、得た知識を課題解決に活用できるようになる。</p>                                                                                                                                                       |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 内容                                                                       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>集合（1）</u><br>集合の基礎知識として、集合の定義、集合の数学的表現方法、<br>いろいろな集合とその性質、集合に対する基本的演算 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>集合（2）</u><br>集合の基礎知識（ベン図、包除原理、応用）、実課題での応用事例                           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>論理（1）</u><br>論理学の基礎知識となる、命題の定義、論理演算、条件付き命題など                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>論理（2）</u><br>推論、必要条件と十分条件、応用と、実課題での応用事例                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>関係（1）</u><br>関係の定義と表現方法（関係グラフ、隣接行列、有向グラフなど）                           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>関係（2）</u><br>関係の上で定義できる基本的な性質（反射的・対称的・反対称的・推移的など）と<br>実課題での応用事例       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>写像（1）</u><br>単射・全射・全単射、合成、鳩の巣原理など基礎知識                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>写像（2）</u><br>置換、集合の濃度、写像による集合の表現方法と、実課題での応用事例                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>代数系（1）</u><br>代数系の基礎知識（二項演算および代数系の定義など）                               |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                                               |
|----|---------------------------------------------------------------|
| 10 | <u>代数系（2）</u><br>代数系の構造、準同型写像と同型写像などの考え方                      |
| 11 | <u>計算の複雑さ・数え上げ</u><br>様々な事例に基づく数え上げの原理、順列および二項係数など            |
| 12 | <u>順序集合から束へ（1）</u><br>半順序関係の定義や考え方、ハッセ図の描画方法                  |
| 13 | <u>順序集合から束へ（2）</u><br>最大元・最小元、極大元・極小元、上界と上限・下界と下限、束、分配束と可補束など |
| 14 | <u>グラフ理論（1）</u><br>グラフ理論の基礎的知識、数学的定義、表現方法                     |
| 15 | <u>グラフ理論（2）</u><br>グラフの応用事例（オイラーグラフ、ハミルトン閉路、平面グラフなど）          |

|                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p><u>最終試験の結果（80%）</u><br/><u>受講態度（授業への参加度・貢献度）等（20%）により総合評価する。</u></p>                                                |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p><u>授業範囲について講義開始までに教科書で予習を行うこと。</u><br/><u>また、授業内で出された事例・例題を用いて、復習によって自分なりに内容を消化すること。</u><br/><u>（30-60 分／回）</u></p> |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <p><u>教科書：</u><br/><u>『応用事例とイラストでわかる離散数学』</u><br/><u>延原 肇（著）、共立出版、2015 年</u><br/><u>参考文献：</u><br/><u>必要に応じ適宜紹介する。</u></p>     |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                     |



新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                           | 情報系数学応用 C |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 3 年次                                                                                      | 配当<br>学期  | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 片桐 雅二                                                                                     |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>本科目では、離散数学や情報理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。前半では、離散数学の中の一分野である代数学およびグラフ理論について取り上げ、公開鍵暗号やネットワーク解析などの実課題に適用されている手法の原理を学ぶ。後半は情報理論の基礎として、情報量・符号理論などの基礎的内容を理解するとともに、その理論が実際に適用されている事例について学ぶ。授業全体として、例題とその解説によって理解を深めるとともに、各種の課題を ICT／情報システムにより解決する場合に求められる数理的考え方や応用力を修練する。</p> <p>なお、本科目の履修に当たっては、「数学基礎 C」および「情報系数学応用 B」を履修していることが望ましい。</p> |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・離散数学および情報理論の基本知識を習得し、説明できるようになる。</li><li>・離散数学や情報理論を中心に数学的発想と論理的思考について学び、実際の課題解決を検討するための能力を獲得する。</li></ul>                                                                                                                                                                                                      |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                           |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 内容                                                                                        |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>代数学の基礎（1）</u><br><u>合同式の基本的な考え方、数学的な定義。</u><br><u>数学的な証明の例（ユークリッドの互除法）</u>             |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>代数学の基礎（2）</u><br><u>有限体の基本的な考え方、数学的定義、フェルマーの小定理</u>                                    |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>代数学の基礎（3）</u><br><u>RSA 公開鍵暗号の仕組みを代数学の考え方から理解する</u>                                    |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>グラフ（1）</u><br><u>グラフ構造の基本的性質、パス、連結性の基本的な定理、手法の基礎</u>                                   |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>グラフ（2）</u><br><u>グラフ理論の難しさ（計算複雑性）への理解、代表的な手法の概要</u>                                    |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>グラフ（3）</u><br><u>グラフ彩色問題を事例に、代表的な問題設定とそれに対する代表的な手法の概要</u>                              |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>グラフ（4）</u><br><u>複雑ネットワークに関する構造の解析と有用性</u><br><u>（中心性、スケールフリー性、スモールワールド性、PageRank）</u> |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>情報理論（1）</u><br><u>情報理論の概要、確率の基礎的な知識の復習</u>                                             |           |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>情報理論（2）</u><br><u>エントロピーの意味、計算方法</u>                                                   |           |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（3）</div> <div>ダイバージェンスの意味、2つの確率分布間のダイバージェンスの計算方法</div>                                            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（4）</div> <div>様々な符号の定義や違い、計算の方法</div>                                                             |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（5）</div> <div>木構造や数直線を用いた語頭符号の理解、クラフトの不等式の理解</div>                                                |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（6）</div> <div>符号化アルゴリズムの基本的な考え方</div>                                                             |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（7）</div> <div>通信路符号化（通信路モデル）、通信路容量、誤り訂正符号などの理解</div>                                              |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                | <div>情報理論（8）</div> <div>情報理論の応用として音声・画像・動画などで用いられている符号化方式、</div> <div>スペクトル拡散通信方式、情報ハイディングなどのセキュリティ技術</div> |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>以下による総合評価</div> <div><div>・演習レポートの内容（50%）</div><div>・定期試験の結果（40%）</div><div>・受講態度等（10%）</div></div>                                                                                                            |                                                                                                             |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>授業範囲について講義開始までに教科書で予習を行うこと。</div> <div>また、授業内で出された事例・例題を用いて、復習によって自分なりに内容を消化すること。</div> <div>（各回 1 時間程度）</div>                                                                                                 |                                                                                                             |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：プリントを適宜配布</div> <div>参考文献：</div> <div>『情報工学のための離散数学入門』</div> <div>西野哲朗(著)、若月光夫(著)、数理工学社、2015 年</div> <div>『はじめての情報理論』</div> <div>稲井寛(著)、森北出版 2011 年</div> <div>『情報量-情報理論への招待』</div> <div>山本宙(著)、コロナ社、2019 年</div> |                                                                                                             |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                             |



新設のため該当なし

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | モデル化と要求開発                                                     |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 3年次                                                           | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 寺脇 由紀                                                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>ソフトウェア開発における開発対象のモデル化と要求仕様の作成について UML を通じて理解する。学習項目としては、モデル化の原則、モデルの種類、モデルの分析基礎、要求分析の基礎といった一連のモデル化技法と要求定義技法について学ぶ。</p> <p>これまでの要求定義の目的は、顧客の要求を正確に理解し、それを設計者に伝えるための要求仕様書を作成することであった。しかし近年ソフトウェアを取り巻く環境は、ニーズの多様性と変動性、さらには短納期化という新たな問題への対応を要求定義に突きつけている。これらの新しい問題に対応するためには、これまでの要求工学の技術に加えて、ステークホルダの意図という視点にとどまらず、ニーズの発生場所であるビジネス環境そのものを理解し、そこで発生している問題を解決することが必要である。そこで本講義では、単に対象世界をモデル化するだけにとどまらず、その世界が抱えている問題を理解し解決する能力を養うために、経営工学，知識工学，民族学などの周辺領域を概観しながら実際の問題を解決するための論理的な思考体系もあわせて学ぶ。</p> |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>要求を定義するプロセスは、要求獲得，要求記述，要求検証，要求管理である。本講義では、要求定義のプロセスを理解し、さらには、要求獲得，要求記述，要求検証を対象とし、ステークホルダの特定に始まり、ユースケースモデリング，要求仕様化，要求検証においての方法と手法を習得することが目的となる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 内容                                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | イントロダクション：オリエンテーションを行い，要求工学の基礎知識を説明する。                        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求の分類：IEEE，SQuaRE シリーズなどの標準規格を参照しながら，機能要求および品質要求を理解する。        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（1）：ニーズを引き出すことに焦点を置き，問題分析手法および，ゴール指向分析について理解する。           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（2）：抽出した要求の合意形成や意思決定の手法を理解する。                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（3）：合意形成や意思決定のための各種手法を用いた演習を行う。                           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | シナリオによる要求分析技法：シナリオ分析，ユースケース分析などの要求分析技法を説明する。要求の優先順位決定手法を理解する。 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求仕様：要求仕様の目的，特性，構成と内容を理解する。                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求言語：要求仕様化のための言語について理解する。                                     |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求仕様化技法：構造化分析とオブジェクト指向分析を説明する。                                |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (1)：静的な側面を表現するモデル表現について理解する。                            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (2)：動的な側面を表現するモデル表現について理解する。                            |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (3)：状態を表すモデル表現について理解する。                                 |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 要求仕様とソフトウェア開発管理：要求仕様の規模から算出する方法について学ぶ                       |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | プロトタイプ型ライフサイクルモデルと要求：利用者に試用させることによって要求を定義するライフサイクルモデルを説明する。 |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 総括：学んだ内容を総括し総合解説を行う。                                        |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>授業中に行う小テスト（30％），授業への取り組み態度（20％），定期試験（50％）として評価する。</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>教員の作成する教材で進めるため授業前後に内容を確認すること。</p> <p>授業中に行う演習の遅れは，次回授業までにキャッチアップすること。</p> <p>（全体でおおむね 30～60 分程度）</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：教員の作成する教材で進める。</p> <p>参考文献：国際基準であることから英語で記載された文献を参考として挙げる。</p> <p>授業ではこれらの内容を日本語に翻訳し解説する。</p> <p>『Requirements Engineering from System Goals to UML Models to Software Specifications』Axel van Lamsweerde，（著）、John W IEEE, Recommended Practice for Software Requirements Specifications. Std 830-1998, 1998. iley &amp; Sons Ltd, 2009 年</p> <div>7. 備考</div> |                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | モデル化と要求開発                                                     |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 1年次                                                           | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 寺脇 由紀                                                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>ソフトウェア開発における開発対象のモデル化と要求仕様の作成について UML を通じて理解する。学習項目としては、モデル化の原則、モデルの種類、モデルの分析基礎、要求分析の基礎といった一連のモデル化技法と要求定義技法について学ぶ。</p> <p>これまでの要求定義の目的は、顧客の要求を正確に理解し、それを設計者に伝えるための要求仕様書を作成することであった。しかし近年ソフトウェアを取り巻く環境は、ニーズの多様性と変動性、さらには短納期化という新たな問題への対応を要求定義に突きつけている。これらの新しい問題に対応するためには、これまでの要求工学の技術に加えて、ステークホルダの意図という視点にとどまらず、ニーズの発生場所であるビジネス環境そのものを理解し、そこで発生している問題を解決することが必要である。そこで本講義では、単に対象世界をモデル化するだけにとどまらず、その世界が抱えている問題を理解し解決する能力を養うために、経営工学、知識工学、民族学などの周辺領域を概観しながら実際の問題を解決するための論理的な思考体系もあわせて学ぶ。</p> |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>要求を定義するプロセスは、要求獲得、要求記述、要求検証、要求管理である。本講義では、要求定義のプロセスを理解し、さらには、要求獲得、要求記述、要求検証を対象とし、ステークホルダの特定に始まり、ユースケースモデリング、要求仕様化、要求検証においての方法と手法を習得することが目的となる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 内容                                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | イントロダクション：オリエンテーションを行い、要求工学の基礎知識を説明する。                        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求の分類：IEEE, SQuaRE シリーズなどの標準規格を参照しながら、機能要求および品質要求を理解する。       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（1）：ニーズを引き出すことに焦点を置き、問題分析手法および、ゴール指向分析について理解する。           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（2）：抽出した要求の合意形成や意思決定の手法を理解する。                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求獲得（3）：合意形成や意思決定のための各種手法を用いた演習を行う。                           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | シナリオによる要求分析技法：シナリオ分析、ユースケース分析などの要求分析技法を説明する。要求の優先順位決定手法を理解する。 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求仕様：要求仕様の目的、特性、構成と内容を理解する。                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求言語：要求仕様化のための言語について理解する。                                     |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 要求仕様化技法：構造化分析とオブジェクト指向分析を説明する。                                |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (1)：静的な側面を表現するモデル表現について理解する。                            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (2)：動的な側面を表現するモデル表現について理解する。                            |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | UML (3)：状態を表すモデル表現について理解する。                                 |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 要求仕様とソフトウェア開発管理：要求仕様の規模から算出する方法について学ぶ                       |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | プロトタイプ型ライフサイクルモデルと要求：利用者に試用させることによって要求を定義するライフサイクルモデルを説明する。 |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 総括：学んだ内容を総括し総合解説を行う。                                        |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>授業中に行う小テスト（30%）、授業への取り組み態度（20%）、定期試験（50%）として評価する。</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>教員の作成する教材で進めるため授業前後に内容を確認すること。</p> <p>授業中に行う演習の遅れは、次回授業までにキャッチアップすること。</p> <p>（全体でおおむね 30～60 分程度）</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：教員の作成する教材で進める。</p> <p>参考文献：国際基準であることから英語で記載された文献を参考として挙げる。</p> <p>授業ではこれらの内容を日本語に翻訳し解説する。</p> <p>『Requirements Engineering from System Goals to UML Models to Software Specifications』Axel van Lamsweerde,（著）、John W IEEE, Recommended Practice for Software Requirements Specifications. Std 830-1998, 1998. iley &amp; Sons Ltd, 2009 年</p> <div>7. 備考</div> |                                                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | システムインテグレーション                                               |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 3 年次                                                        | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ◎平山 敏弘、桐谷 恵介                                                |          |    |     |      |             |    | 共同担当     |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>情報システムを構築するサービスを行うにあたり、要件定義や設計、開発、保守運用を行う IT コンサルティングの一連の流れを理解するとともに、失敗事例やリスク事例などを学ぶことで、情報システムを通じ、ビジネスに貢献していくことを目指す。</p> <p>前半では、過去の情報システムの失敗例や大規模障害事例などを通じ、成功のために何を注意しなければならないかについて学ぶ。また社会やビジネスモデルの変革に影響を与えた情報システム事例などを通じて、情報システムが社会に与える影響について学ぶ。後半では、ビジネスに役立つ IT システムを導入するために発注者側と受注者側が何をすべきか理解する。実践的なプロジェクトマネジメント体系を用いて、経営に役立つ IT システムを企画・計画し、プロジェクトの実践を通して、成功に導いていく方法について学んでいく。</p> <p>情報システムの導入、活用、改善に向けて、発注者側と受注者側の双方にメリットを生み出しビジネスに貢献していくことを目指す。</p> |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・情報システムの開発・構築を行う際のリスクやプロジェクトの失敗例を学び、分析することで、成功に導くために必要な検討項目を理解する</li><li>・問題の洗い出しから課題のまとめ、施策の立案方法について理解する</li><li>・システムの企画から設計、開発、運用、保守までの流れについて理解する</li><li>・事業価値をあげる IT システムの活用方法。特に新しい技術（AI や IoT 技術など）をどのように取り入れていくかを理解する。</li></ul>                                                                                                                                                                                 |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 内容                                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>ガイダンス</u><br>(IT システムとプロジェクトマネジメント、システムトラブルとそのリスク)       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>情報システムトラブル三大リスク</u><br>(システム開発失敗、セキュリティ、システムダウン)         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>情報システムの失敗</u><br>(大規模システム開発やパッケージソフト導入プロジェクト等の事例)        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>要件定義の重要性</u><br>(システム開発プロジェクトの失敗と要件定義のポイント)              |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>リスク管理</u><br>(大規模なシステムダウンや事業継続等に関するリスク管理)                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>セキュリティの対策とその検討</u><br>(サイバー攻撃とセキュリティ被害のリスクと注意点)          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>まとめ①</u><br>(情報システムの失敗に学ぶ成功へのヒント、プロジェクト管理への理解)           |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>情報システムの課題の抽出とシステムによる対応</u><br>(P2M のスキームモデルを例とした課題抽出の手法) |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>要件定義と要件定義、システム開発の概要 1</u><br>(発注者側、受注者側それぞれの視点から見た、要件定義プロセス、プロジェクト管理) |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>要件定義と要件定義、システム開発の概要 2</u><br>(システムの品質とプロジェクト管理)                       |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>要件定義 (RFP) の作り方 1</u><br>(業務要件のまとめ方、RFP で伝えるポイント)                     |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>要件定義 (RFP) の作り方 2</u><br>(ビジネスモデルキャンパスモデル、課題対策シートをもとにした RFP)          |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>提案書作成の実務 1 (演習)</u><br>(RFP の発表および提案書の作成 (構成、ドキュメント形式、書くべき内容など))      |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>提案書作成の実務 2 (演習)</u><br>(前回に引き続き、具体的なサンプルをもとに RFP から提案書を作成)            |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>まとめ②</u><br>(これまでの学習を踏まえた提案依頼書、提案書の発表、講評)                             |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>・まとめ①および②での課題、レポート、発表。(60%)</p> <p>・講義時に提出する授業内容確認小レポートによる評価 (20%)。</p> <p>・授業への参加姿勢、演習発表などでの貢献度を総合的に判断 (授業への貢献度 20%)</p> <p>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</p> <p>予習：次回講義内容に関する事例を参考資料などを利用し事前に調査する</p> <p>復習：授業内で完了しなかった課題については次回発表できるよう準備する。</p> <p>講義内容の復習</p> <p>(各回 1 時間程度)</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：各回必要な資料を配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『動かないコンピュータ ～情報システムに見る失敗の研究～』</p> <p>日経コンピュータ、日経 B P 社、2002 年</p> <p>『イノベーションを確実に遂行する 実践プログラムマネジメント』</p> <p>吉田 邦夫 (著)、山本 秀男 (著) 日刊工業新聞社、2014 年</p> <p>『SECBOOKS 共通フレーム 2013』</p> <p>独立行政法人情報処理推進機構 (著、編集)、独立行政法人情報処理推進機構、2013 年</p> <p>7. 備考</p> |                                                                          |

|                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                | システムインテグレーション |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                          | 3 年次                                                                                                                                                                           | 配当学期          | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                          | 桐谷 恵介                                                                                                                                                                          |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>ビジネスに役立つ IT システムを導入するために発注者側と受注者側が何をするべきか理解する。実践的なプロジェクトマネジメント体系を用いて、経営に役立つ IT システムを企画し、計画し、プロジェクトを実践し、成功に導いていく方法について学んでいく。プロジェクトマネジメントのスキームモデル、プロジェクトライフサイクル等を理解して IT プロジェクトが発注者側と受注者側の双方にメリットを生み出しビジネスに貢献していくことを目指す。</u> |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>事業価値をあげる IT システムの活用方法。特に新しい技術（AI や IoT 技術など）をどのように取り入れていくかなど</u>                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>問題の洗い出しから課題のまとめ、施策の立案方法について演習を通して理解する</u>                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>IT システムの企画から設計、開発、運用、保守までの流れについて、講義を通して理解する</u>                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>IT システムの発注時に重要な契約とその考え方について実際のケースを体験しながら学ぶ</u>                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>RFP の作成と受注者側の提案書の作成について講義と実習を通して理解する</u>                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                            | 内容                                                                                                                                                                             |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                             | <u>ガイダンス</u><br><u>IT システムとビジネスモデル、事業価値について</u><br><u>ビジネスモデルを PM ではどのように捕らえているかなど、全体の講義テーマについて。</u><br><u>新しい技術のトレンドなど。</u>                                                   |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                             | <u>IT プロジェクトはなぜ失敗するか</u><br><u>IT システムの失敗とは何か、JUAS (社団法人日本情報システム・ユーザー協会) のレポート等から。</u><br><u>共通フレーム 2013 の概要</u><br><u>共通フレームとはなにか、共通フレーム 2013 の経緯とプロセスの重要性、共通フレームの特徴について。</u> |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                             | <u>事業価値を創造する IT システムはビジネスモデルから</u><br><u>IT システムを組み込んだビジネスモデルの作り方を、ビジネスモデルキャンパスを使って解説する。</u>                                                                                   |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                             | <u>ビジネス企画と IT プロジェクトについて</u><br><u>ビジネスプランの立て方についてその概要をビジネスモデルキャンパスを用いて演習する。</u><br><u>架空の企業、自社のビジネスをモデルにビジネスモデルキャンパスを作成するワークを行う。</u>                                          |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                             | <u>様々な IT システムの開発の特徴について</u><br><u>様々な IT システムの開発の種類について。開発の特徴や携わるエンジニアの違いなどを具体例をあげながら学ぶ。</u><br><u>パッケージやクラウドの場合にどのような進め方になるのか解説する。</u>                                       |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                             | <u>課題の抽出とシステムによる対応</u><br><u>P2M のスキームモデルで用いるプロファイリングやシステムズアプローチなど問題を洗い出し、その中から課題を抽出していく方法について学ぶ。</u>                                                                          |               |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                             | <u>課題の抽出とシステムによる対応（演習）</u><br><u>第 6 回で解説した課題について、各自が作成したプレゼンテーションの発表会を行う。</u>                                                                                                 |               |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                        | <u>課題の掘り下げとそのまとめ方、具体的な対策の創り方などを復習しながら学ぶ。</u>                                                                                                              |
| 8                                                                                                                                                                                                                      | <u>要求定義と要件定義、システム開発の概要</u><br><u>発注者側の要求定義から、受注者側の要件定義の進め方について、発注者側の課題の明確化手法について、企画プロセス、要件定義プロセスの進め方について学ぶ。</u>                                           |
| 9                                                                                                                                                                                                                      | <u>プロジェクト管理と品質の考え方創り方</u><br><u>IT システムの品質についての考え方や品質がどのようにビジネスに影響するか理解を深める。</u>                                                                          |
| 10                                                                                                                                                                                                                     | <u>発注側と受注側からみたシステム開発の流れ</u><br><u>開発の進め方と発注者側と受注者側のコストや期間に対しての考え方の相違点とコミュニケーションについてポイントを学ぶ。</u><br><u>フェーズの概念、プロジェクト管理について理解する。（最終課題説明）</u>               |
| 11                                                                                                                                                                                                                     | <u>発注側の要求定義 (RFP) の作り方 1（演習）</u><br><u>要求定義はどのような内容をどのようにまとめて作成するべきか、業務要件のまとめ方と RFP で伝えなければならないポイントを学ぶ。</u><br><u>具体的にビジネスを企画について RFP 作成のためのヒアリングを行う。</u> |
| 12                                                                                                                                                                                                                     | <u>発注側の要求定義 (RFP) の作り方 2（演習）</u><br><u>ビジネスモデルキャンパスや課題対策シートから要求仕様書（RFP）を作成する流れと実際に要求仕様書を作成するワークを行う。</u>                                                   |
| 13                                                                                                                                                                                                                     | <u>提案書作成の実務 1（演習）</u><br><u>受注者側が要求定義書 (RFP) を受け取った後、どのようにして提案書を作成していくのか、構成、ドキュメント形式、書くべき内容など提案書の作り方を具体的に学ぶ。</u><br><u>前回の講義で作成した RFP の発表を行う。</u>         |
| 14                                                                                                                                                                                                                     | <u>提案書作成の実務 2（演習）</u><br><u>RFP から提案書を作成する流れを、具体的なサンプルをもとに提案書として作成する演習を行う。</u>                                                                            |
| 15                                                                                                                                                                                                                     | <u>まとめ</u><br><u>作成した提案依頼書・提案書の発表を行う。質疑応答を行う。</u>                                                                                                         |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>演習成果発表 (60%)、授業での参加姿勢等の平常点 (40%) を考慮し総合的に判断する。</div>                                                                                                                                |                                                                                                                                                           |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>授業内で演習課題が完成しなかった場合は、次回までに完成させておくこと。</div> <div>また次の授業に備えて復習をしておくこと（各回 30 分～1 時間程度）。</div>                                                                                           |                                                                                                                                                           |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回必要な資料を配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『イノベーションを確実に遂行する 実践プログラムマネジメント』<br/>吉田 邦夫（著）、山本 秀男（著）日刊工業新聞社、2014 年<br/>『SECBOOKS 共通フレーム 2013』<br/>独立行政法人情報処理推進機構（著、編集）、独立行政法人情報処理推進機構、2013 年</div> |                                                                                                                                                           |
| 7. 備考                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | クラウド                                        |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 3 年次                                        | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 井澤 哲也                                       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>近年のシステム開発の現場では、一般にクラウド技術が利用されるようになってきた。</p> <p>本講では、クラウドに関する基本的な知識を修得する。また、大手クラウドサービス事業者のサービスを実際に利用・操作して、その基本スキルを学び、システムの実装を行う。具体的には、クラウドの分類、ネットワーク構成、クラウドサーバー・ストレージ・データベースの管理や運用、セキュリティ、負荷分散技術などについて、各テーマごとに知識の習得と演習を行い、スキルを習得する。</p> <p>あわせて、発展・機能追加の早い分野であることから、新たな技術動向についても適宜解説し、クラウド上で実現されている機能の利用やクラウドの果たす役割や可能性について考え、実装できるようになる。</p> |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>OS やネットワーク、データベースなど、従来から利用されている技術要素をクラウド上で利用する場合、どのような共通点があるのか。また、サーバーレスや負荷分散技術など、相違点、注意点は何か。これらを身に付けることが目標である。</p>                                                                                                                                                                                                                          |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドの概要と利用方法<br>IaaS、SaaS、PaaS の概念          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで実現するネットワーク<br>プライベートネットワークとパブリックネットワーク |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで実現する<br>仮想サーバーの管理（起動・接続・利用・バックアップ）     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するストレージ<br>ブロックストレージとオブジェクトストレージ     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するデータベース(1) マネージドな RDBMS             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するデータベース(2) NoSQL でビッグデータを扱う         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドのセキュリティ<br>ユーザーの認証と認可、ネットワークのセキュリティ     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 負荷分散の技術<br>ロードバランサーとレプリケーション                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 演習：クラウド上で Web サイトを実装する                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | サーバーレスアーキテクチャ<br>サーバーレスな環境でのプログラムの実行        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | モバイルデバイスの認証・認可                              |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | AI サービスの利用<br>画像認識、音声認識など |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(1) 設計        |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(2) 実装        |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(3) 評価        |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への参加度：20%</div> <div>授業内成果物・レポート提出：30%</div> <div>期末成果物・レポート提出：50%</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>事前に指定する Web ページを読み、各回の内容に関わる用語・概念について予習すること。</div> <div>期末にはグループでの制作を行う。成果物に関連するドキュメント、レポートを提出すること。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとにプリントを配布する。</div> <div>また、パブリッククラウドサービスを利用するので、当該サービスの公式ドキュメントを参照する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『Amazon Web Services 基礎からのネットワーク&amp;サーバー構築 改訂版』</div> <div>玉川憲（著）片山暁雄 （著）今井雄太（著）大澤文孝（著）、日経 BP 社、2017 年</div> <div>『絵で見てわかるクラウドインフラと API の仕組み』</div> <div>平山毅(著, 監修)中島倫明(著)中井悦司(著)矢口悟志(著)森山京平(著)元木顕弘(著)、翔泳社、2016 年</div> |                           |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                           |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | クラウド                                        |          |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3 年次                                        | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 井澤 哲也                                       |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>近年のシステム開発の現場では、一般にクラウド技術が利用されるようになってきた。</p> <p>本講では、クラウドに関する基本的な知識を修得する。また、大手クラウドサービス事業者のサービスを実際に利用・操作して、その基本スキルを学び、システムの実装を行う。具体的には、クラウドの分類、ネットワーク構成、クラウドサーバー・ストレージ・データベースの管理や運用、セキュリティ、負荷分散技術などについて、各テーマごとに知識の習得と演習を行い、スキルを習得する。</p> <p>あわせて、発展・機能追加の早い分野であることから、新たな技術動向についても適宜解説し、クラウド上で実現されている機能の利用やクラウドの果たす役割や可能性について考え、実装できるようになる。</p> |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>OS やネットワーク、データベースなど、従来から利用されている技術要素をクラウド上で利用する場合、どのような共通点があるのか。また、サーバーレスや負荷分散技術など、相違点、注意点は何か。これらを身に付けることが目標である。</p>                                                                                                                                                                                                                          |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドの概要と利用方法<br>IaaS、SaaS、PaaS の概念          |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで実現するネットワーク<br>プライベートネットワークとパブリックネットワーク |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで実現する<br>仮想サーバーの管理（起動・接続・利用・バックアップ）     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するストレージ<br>ブロックストレージとオブジェクトストレージ     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するデータベース(1) マネージドな RDBMS             |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドで利用するデータベース(2) NoSQL でビッグデータを扱う         |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | クラウドのセキュリティ<br>ユーザーの認証と認可、ネットワークのセキュリティ     |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 負荷分散の技術<br>ロードバランサーとレプリケーション                |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 演習：クラウド上で Web サイトを実装する                      |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | サーバーレスアーキテクチャ<br>サーバーレスな環境でのプログラムの実行        |          |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | モバイルデバイスの認証・認可                              |          |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | AI サービスの利用<br>画像認識、音声認識など |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(1) 設計        |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(2) 実装        |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラウド上のシステム実装(3) 評価        |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への参加度：20%</div> <div>授業内成果物・レポート提出：30%</div> <div>期末成果物・レポート提出：50%</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>事前に指定する Web ページを読み、各回の内容に関わる用語・概念について予習すること。</div> <div>期末にはグループでの制作を行う。成果物に関連するドキュメント、レポートを提出すること。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：各回ごとにプリントを配布する。</div> <div>また、パブリッククラウドサービスを利用するので、当該サービスの公式ドキュメントを参照する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『Amazon Web Services 基礎からのネットワーク&amp;サーバー構築 改訂版』</div> <div>玉川憲（著）片山暁雄 （著）今井雄太（著）大澤文孝（著）、日経 BP 社、2017 年</div> <div>『絵で見てわかるクラウドインフラと API の仕組み』</div> <div>平山毅(著, 監修)中島倫明(著)中井悦司(著)矢口悟志(著)森山京平(著)元木顕弘(著)、翔泳社、2016 年</div> |                           |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                           |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ビッグデータ                                           |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 3 年次                                             | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ◎加藤 直人、落合 慶広                                     |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>近年、コンピュータ、センサー、機器類が生成するデータの種類、量が爆発的に増大しており、今までのデータ管理ツールでは取り扱うことが困難な規模のデータ（ビッグデータ）になっている。こうしたビッグデータに潜む解析対象（人の行動、環境、社会現象）の傾向や異種データ間の関係性を洗い出すことにより、従来では発見できなかった知見を見い出し、新たな学問領域やビジネスを開拓できる可能性がある。<br>本授業では、こうしたビッグデータ解析に関する基本的な知識や解析技術等を修得する。また、実践例として分散処理システム（Hadoop）やビッグデータ処理 API（BigQuery）などを活用して、実際のビッグデータの処理・解析方法を演習を通して学修し、新しい知見を発見する力を養う。 |                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>本授業では、ビッグデータ解析の一連の処理～データ収集・解析、可視化、結果の解釈～における基本的なデータの取り扱い方法や解析手法・手順を理解すると共に、ビッグデータ解析特有の問題点やこれを解決する方法・技術などについても理解し、様々な分野の多種多様なデータを適切に取り扱う方法を習得する。<br>また、ビッグデータ解析を可能にするための解析環境を構築し、解析技術の適用方法、結果の吟味の仕方等の演習を通して習得し、これらを活用して新しい知見を発見する力を養うことを目的とする。                                                                                            |                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 内容                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビッグデータの誕生と従来の統計学等との違い                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビッグデータ解析～収集・解析・結果の可視化・解釈～の現状と課題                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビッグデータ解析における目標設定、解析計画の策定、及び、データ解析技術、プラットフォームについて |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | データ種別に応じたデータ収集、及び、データ登録の演習                       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 統計解析、可視化ツール：R と環境構築、入力データ特性の把握の演習                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ビッグデータ解析プラットフォーム：Hadoop, Hbase/Hive 等と環境構築の演習    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | MapReduce フレームワークと入力データの分散処理 (Map 処理) の演習        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 分散処理結果の集約処理 (Reduce 処理) の演習                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | データ解析途中結果の検証方法とデータ抽出、解析方法の見直しの演習                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 解析結果の可視化、結果の吟味・検証方法、解析計画の見直し（P D C A）の演習         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 機械学習の利用による高度解析処理と演習                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 解析結果の演繹に基づく産業施策への展開、リアルタイム処理の演習                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 選択課題による演習 1                                      |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 14 | 選択課題による演習 2                          |
| 15 | 選択課題の結果の発表会、他のビッグデータ解析プラットフォームと今後の展望 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>各授業において出題する理解度確認課題（7 0 %）と選択課題レポート（3 0 %）により評価する</div>                                                                                                                                                                                                            |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>講義資料は、事前に掲示、指示するので、事前に読んでおくこと。（2 0 ～3 0 分程度）。</div> <div>各演習で各種ツール類を利用する為、Linux OS の取扱いに慣れていることが望ましい。</div>                                                                                                                                                       |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：下記の参考文献、配布プリントなどで指示する。</div> <div>参考文献：<br/>『Hadoop 徹底入門 第2 版オープンソース分散処理環境の構築』<br/>太田一樹 (著) 岩崎正剛 (著) 猿田浩輔 (著) 下垣徹 (著) 藤井達朗 (著) 山下真一 (著) 濱野賢一朗 (監修)、翔泳社、2013 年<br/>『HBase 徹底入門 Hadoop クラスタによる高速データベースの実現』<br/>株式会社サイバーエージェント、鈴木俊裕 (著) 梅田永介（著）柿島大貴（著）、翔泳社、2015 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                  | ビッグデータ |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3 年次                                             | 配当学期   | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ◎加藤 直人、落合 慶広                                     |        |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>近年、コンピュータ、センサー、機器類が生成するデータの種類、量が爆発的に増大しており、今までのデータ管理ツールでは取り扱うことが困難な規模のデータ（ビッグデータ）になっている。こうしたビッグデータに潜む解析対象（人の行動、環境、社会現象）の傾向や異種データ間の関係性を洗い出すことにより、従来では発見できなかった知見を見い出し、新たな学問領域やビジネスを開拓できる可能性がある。</p> <p>本授業では、こうしたビッグデータ解析に関する基本的な知識や解析技術等を修得する。また、実践例として分散処理システム（Hadoop）やビッグデータ処理 API（BigQuery）などを活用して、実際のビッグデータの処理・解析方法を演習を通して学修し、新しい知見を発見する力を養う。</p> |                                                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| <p>本授業では、ビッグデータ解析の一連の処理～データ収集・解析、可視化、結果の解釈～における基本的なデータの取り扱い方法や解析手法・手順を理解すると共に、ビッグデータ解析特有の問題点やこれを解決する方法・技術などについても理解し、様々な分野の多種多様なデータを適切に取り扱う方法を習得する。</p> <p>また、ビッグデータ解析を可能にするための解析環境を構築し、解析技術の適用方法、結果の吟味の仕方等の演習を通して習得し、これらを活用して新しい知見を発見する力を養うことを目的とする。</p>                                                                                                |                                                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 内容                                               |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ビッグデータの誕生と従来の統計学等との違い                            |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ビッグデータ解析～収集・解析・結果の可視化・解釈～の現状と課題                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ビッグデータ解析における目標設定、解析計画の策定、及び、データ解析技術、プラットフォームについて |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | データ種別に応じたデータ収集、及び、データ登録の演習                       |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 統計解析、可視化ツール：R と環境構築、入力データ特性の把握の演習                |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ビッグデータ解析プラットフォーム：Hadoop, Hbase/Hive 等と環境構築の演習    |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | MapReduce フレームワークと入力データの分散処理 (Map 処理) の演習        |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 分散処理結果の集約処理 (Reduce 処理) の演習                      |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | データ解析途中結果の検証方法とデータ抽出、解析方法の見直しの演習                 |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 解析結果の可視化、結果の吟味・検証方法、解析計画の見直し（P D C A）の演習         |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 機械学習の利用による高度解析処理と演習                              |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 解析結果の演繹に基づく産業施策への展開、リアルタイム処理の演習                  |        |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 選択課題による演習 1                                      |        |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 14 | 選択課題による演習 2                          |
| 15 | 選択課題の結果の発表会、他のビッグデータ解析プラットフォームと今後の展望 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>各授業において出題する理解度確認課題（7 0 %）と選択課題レポート（3 0 %）により評価する</div>                                                                                                                                                                                                                          |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>講義資料は、事前に掲示、指示するので、事前に読んでおくこと。（2 0 ～3 0 分程度）。</div> <div>各演習で各種ツール類を利用する為、Linux OS の取扱いに慣れていることが望ましい。</div>                                                                                                                                                                     |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：下記の参考文献、配布プリントなどで指示する。</div> <div>参考文献：</div> <div>『Hadoop 徹底入門 第2 版オープンソース分散処理環境の構築』<br/>太田一樹 (著) 岩崎正剛 (著) 猿田浩輔 (著) 下垣徹 (著) 藤井達朗 (著) 山下真一 (著) 濱野賢一朗 (監修)、翔泳社、2013 年</div> <div>『HBase 徹底入門 Hadoop クラスタによる高速データベースの実現』<br/>株式会社サイバーエージェント、鈴木俊裕 (著) 梅田永介（著）柿島大貴（著）、翔泳社、2015 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|------|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                  | IoT      |    |     |      |             |      | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 3 年次                                                                                             | 配当<br>学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択   | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎鎌谷 修、Adrian David Cheok                                                                         |          |    |     |      |             | 共同担当 |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
| <u>IoT（Internet of Things）は身近なものをインターネットとつなげ、新たなサービスやシステムを生み出す仕組みを指す。IoT を通じ、新たなサービスやシステムを生み出すためには、データベース、ネットワーク、ソフトウェアなど、本学で学ぶ情報通信技術に関する様々な知識とスキルが必要となる。本科目では、ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした IoT システムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、IoT に関する基本的なスキルを習得する。国際標準に準拠した IoT システムを構築するための、組込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法について理解し、与えられた要求条件を満たすための、IoT システムの構築について演習を行う。</u> |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
| <u>国際標準に準拠した IoT アーキテクチャ全体像の理解と、演習による実際の動作実証。</u><br><u>与えられた要求条件を元にした、IoT システム設計スキルの習得。</u><br><u>組込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法の理解。</u><br><u>演習による実際の動作検証の手法を身に付ける。</u>                                                                                                                                                                                             |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                  |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                                                                                               |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>授業の概要と目的、演習の進め方</u><br><u>演習で必要とされる IoT 基本技術についての説明。</u>                                      |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>演習に必要な各種 IoT センサ、アクチュエータ、制御ソフトウェアについての説明</u><br><u>基本動作の検証</u>                                |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>IoT システムで利用される各種無線伝送プロトコルの概要</u><br><u>デバイスネットワークング設計、データ転送動作の基本検証。</u>                       |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>IoT システムにおけるゲートウェイモデル、ゲートウェイサーバの構築手法の概要</u><br><u>データ収集及び変換処理の動作検証。</u>                       |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>IoT システムにおけるデータ構造、データベース、データ蓄積サーバ技術の概要</u><br><u>ゲートウェイ連携動作及びデータ蓄積処理の基本検証。</u>                |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>IoT システムによって収集したデータの分析手法、可視化技術の概要</u><br><u>収集データの活用及び提示処理の基本検証</u>                           |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>IoT システムの例題を提示し、概要の説明</u><br><u>ソフトウェア仕様設計手法、演習の進め方の説明</u><br><u>例題に対するユーザアプリケーション開発手法の演習</u> |          |    |     |      |             |      |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>演習：</u><br><u>センサ及びアクチュエータ制御ソフトウェア開発手法</u>                                                    |          |    |     |      |             |      |          |    |

|    |                                                                 |
|----|-----------------------------------------------------------------|
| 9  | <u>演習：</u><br><u>ゲートウェイサーバ及びデータ蓄積サーバ制御ソフトウェア開発手法</u>            |
| 10 | <u>演習：</u><br><u>例題に対する、基本動作検証のためのプロジェクト計画を検討、策定、実施。</u>        |
| 11 | <u>演習：</u><br><u>プロジェクト計画における、要件定義検討、必要となるソフトウェア仕様の検討</u>       |
| 12 | <u>演習：</u><br><u>プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア開発</u>                  |
| 13 | <u>演習：</u><br><u>プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア連携動作</u>                |
| 14 | <u>プロジェクト計画における IoT システム基本動作検証結果の取りまとめ</u><br><u>発表会に向けた準備。</u> |
| 15 | <u>プロジェクト計画結果についての発表会</u>                                       |

|                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><u>レポート（2 回）60%＋発表会における討論 40%</u></div>                                                                                                                                                                          |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><u>演習に必要な情報については別途提示する</u><br/><u>演習期間中にレポート提出を行う（2 回）</u></div>                                                                                                                                                 |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div><u>教科書：演習等必要な資料を別途配布する</u><br/><u>参考文献：</u><br/>『M2M/IoT 教科書』<br/>稲田 修一（監修）、富田 二三彦、山崎 徳和、MCPC M2M/IoT 委員会（編）、インプレス、2015 年<br/>『IoT の基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書』<br/>八子 知礼、杉山 恒司、竹之下 航洋、松浦 真弓、土本 寛子（著）、SB クリエイティブ、2017 年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                    |

|                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                       | IoT I                                                                                                           |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                       | 3 年次                                                                                                            | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                       | ◎鎌谷 修、Adrian David Cheok                                                                                        |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>ユーザアプリケーションからサーバシステムまでを対象とした IoT システムの全体アーキテクチャを理解し、演習による基本動作検証の体験を通じて、先端スキルを習得する。国際標準に準拠した IoT システムを構築するための、組み込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法について理解し、与えられた要求条件を満たすための、IoT システムの構築について演習を行う。 |                                                                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>2. 授業の目的、目標</b><br>国際標準に準拠した IoT アーキテクチャ全体像の理解と、演習による実際の動作実証。与えられた要求条件を元にした、IoT システム設計スキルの習得。組み込みコンピュータ、各種センサ、アクチュエータの制御手法の理解と、演習による実際の動作検証の手法を身に付ける。                                                   |                                                                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <b>3. 授業計画</b>                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                         | 内容                                                                                                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                          | 授業の概要と目的、演習の進め方、演習で必要とされる IoT 基本技術について説明を行う。<br>演習で利用するリソース(ハードウェア等)の動作確認と、必要なオペレーションシステム、仮想マシンのインストール、動作確認を行う。 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                          | 演習に必要な各種 IoT センサ、アクチュエータ、制御ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                          | IoT システムで利用される各種無線伝送プロトコルの概要を説明し、デバイスネットワーク設計、データ転送動作の基本検証を行う。                                                  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                          | IoT システムにおけるゲートウェイモデル、ゲートウェイサーバの構築手法について概要を説明し、データ収集及び変換処理の動作検証を行う。                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                          | IoT システムにおけるデータ構造、データベース、データ蓄積サーバ技術の概要を説明し、ゲートウェイ連携動作及びデータ蓄積処理の基本検証を行う。                                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                          | IoT システムによって収集したデータの分析手法、可視化技術の概要を説明し、収集データの活用及び提示処理の基本検証を行う。                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                          | IoT システムの例題を提示し、概要の説明を行う。ソフトウェア仕様設計手法、演習の進め方について説明する。例題に対するユーザアプリケーション開発手法について説明し、演習を行う。                        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                          | 例題に対するセンサ及びアクチュエータ制御ソフトウェア開発手法について説明し、演習を行う。                                                                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                          | 例題に対するゲートウェイサーバ及びデータ蓄積サーバ制御ソフトウェア開発手法について説明し、演習を行う。                                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                         | 例題に対する、基本動作検証のためのプロジェクト計画を検討、策定、実施する。                                                                           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                         | プロジェクト計画における、要件定義検討、必要となるソフトウェア仕様の検討について、演習を行う。                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                         | プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア開発について、演習を行う。                                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                         | プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア連携動作について、演習を行う。                                                                          |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                                       |
|----|-------------------------------------------------------|
| 14 | プロジェクト計画における IoT システム基本動作検証結果について取りまとめ、発表会向けの資料作成を行う。 |
| 15 | プロジェクト計画結果についての発表会を実施する。                              |

|                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p>レポート (2 回) 60%+発表会における討論 40%</p>                                                                                                                                                                                 |
| <p><b>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</b></p> <p>演習に必要な情報については別途提示する</p> <p>演習期間中にレポート提出を行う (2 回)</p>                                                                                                                                                            |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>教科書：演習等必要な資料を別途配布する</p> <p>参考文献：</p> <p>『M2M/IoT 教科書』</p> <p>稲田 修一 (監修)、富田 二三彦、山崎 徳和、MCPC M2M/IoT 委員会(編)、インプレス、2015 年</p> <p>『IoT の基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書』</p> <p>八子 知礼、杉山 恒司、竹之下 航洋、松浦 真弓、土本 寛子(著)、SB クリエイティブ、2017 年</p> |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                                                                                                                  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | AI                                                         |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 4 年次                                                       | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ◎Adrian David Cheok、落合 慶広                                  |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 人工知能で良く用いられるニューラルネット（脳のモデル）の基本的特徴と理解し、産業応用するための実用化技術の取得、及び、応用力を養うことを目的とする。各応用分野で良く利用されるニューラルネットの構造や学習機能等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用時の問題点、及び、これを解決するために欠かせない実用化技術の知識を修得する。また、実課題への応用力を養う為に、大手 IT ベンダー等が公開している人工知能関連の各種の API、ツール等を活用して、簡単な実課題を解くためのアプリケーションを制作する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方から、実課題における検証方法まで、幅広い観点からの応用力を養う。 |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 本授業では、各種ニューラルネットの基本的な機能、特徴を理解すると共に、特に、産業応用するための実用化技術の習得、及び、応用力を養うことを目標としている。                                                                                                                                                                                                                                |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 人工知能の産業応用で良く使われるニューラルネットのモデル構造・学習方法等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用する際に必要となる実用化技術（学習の加速化、汎化技術等）を理解する。また、ニューラルネットを実課題に応用する力を養う為、大手 IT ベンダー等が公開している各種機械学習ツールの使い方を習得し、これを用いて簡易な産業課題に応用する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方、解決方針の立案、学習データの選定、実課題での検証方法等、幅広い観点からの応用力を養う                                                                   |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                                                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 人工知能研究の盛衰と近年の産業活用について<br>～大脳の機能とニューラルネットで実現できる機能の比較なども交えて～ |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 機械学習モデルの種類、特徴とその応用事例                                       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ニューラルネットの学習法と加速化法：誤差逆伝搬法の原理と非線形最適化法の観点から加速化法を解説する          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ニューラルネットを用いた学習課題、及び、過学習と汎化技法                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 深層ニューラルネットと深層学習～深層学習における加速化、汎化技法なども交えて～                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 教師あり学習とサポートベクトルマシンとクラス分類への応用、教師なし学習と自己組織化マップとクラスタリングへの応用、  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 畳み込みニューラルネットと画像認識への応用                                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | リカレントニューラルネットと時系列予測と応用                                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 自然言語処理への応用～Encoder-Decoder モデルと機械翻訳、CNN と類似文書検索～           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 選択課題演習                                                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 隠れマルコフモデルとボルツマンマシン、音声認識への応用                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 確率的推論に基づくエージェントモデルとロボティクスへの応用                              |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 選択課題演習                                                         |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 人工知能を産業応用する際の開発時の課題と解決方法<br>～人と関わる人工知能が備えるべき機能、コミュニケーションを例にして～ |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 選択課題演習                                                         |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>各演習での取り組み（60％）、及び、考察やレポート（40％）で成績を評価する。</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>各テーマごとの資料を事前配布する為、授業前に事前に読んでおくこと（20～30分）。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：資料を配布。<br/>AI ツール、利用マニュアルは、各授業で最も適したものを別途指示する。<br/><br/>参考文献：<br/>『深層学習 Deep Learning (監修：人工知能学会)』<br/>麻生英樹(著)安田宗樹(著)前田新一(著)岡野原大輔(著)岡谷貴之(著)久保陽太郎(著)<br/>ボレガラ・ダヌシカ(著)人工知能学会(監修)神寫敏弘(編集)、近代科学社、2015 年<br/>『機械学習のための連続最適化』<br/>金森 敬文(著)鈴木 大慈(著)竹内 一郎(著)佐藤 一誠(著)、講談社、2016 年<br/>『これなら分かる最適化数学』<br/>金谷健一(著)、共立出版、2005 年</div> |                                                                |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | AI                                                         |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 4 年次                                                       | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ◎Adrian David Cheok、落合 慶広                                  |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 人工知能で良く用いられるニューラルネット（脳のモデル）の基本的特徴と理解し、産業応用するための実用化技術の取得、及び、応用力を養うことを目的とする。各応用分野で良く利用されるニューラルネットの構造や学習機能等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用時の問題点、及び、これを解決するために欠かせない実用化技術の知識を修得する。また、実課題への応用力を養う為に、大手 IT ベンダー等が公開している人工知能関連の各種の API、ツール等を活用して、簡単な実課題を解くためのアプリケーションを制作する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方から、実課題における検証方法まで、幅広い観点からの応用力を養う。 |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 本授業では、各種ニューラルネットの基本的な機能、特徴を理解すると共に、特に、産業応用するための実用化技術の習得、及び、応用力を養うことを目標としている。                                                                                                                                                                                                                                |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 人工知能の産業応用で良く使われるニューラルネットのモデル構造・学習方法等の基本的特徴を理解すると共に、産業応用する際に必要となる実用化技術（学習の加速化、汎化技術等）を理解する。また、ニューラルネットを実課題に応用する力を養う為、大手 IT ベンダー等が公開している各種機械学習ツールの使い方を習得し、これを用いて簡易な産業課題に応用する演習を実施する。演習では、産業課題の捉え方、解決方針の立案、学習データの選定、実課題での検証方法等、幅広い観点からの応用力を養う                                                                   |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 内容                                                         |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 人工知能研究の盛衰と近年の産業活用について<br>～大脳の機能とニューラルネットで実現できる機能の比較なども交えて～ |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 機械学習モデルの種類、特徴とその応用事例                                       |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ニューラルネットの学習法と加速化法：誤差逆伝搬法の原理と非線形最適化法の観点から加速化法を解説する          |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ニューラルネットを用いた学習課題、及び、過学習と汎化技法                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 深層ニューラルネットと深層学習～深層学習における加速化、汎化技法なども交えて～                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 教師あり学習とサポートベクトルマシンとクラス分類への応用、教師なし学習と自己組織化マップとクラスタリングへの応用、  |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 畳み込みニューラルネットと画像認識への応用                                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | リカレントニューラルネットと時系列予測と応用                                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 自然言語処理への応用～Encoder-Decoder モデルと機械翻訳、CNN と類似文書検索～           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 選択課題演習                                                     |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 隠れマルコフモデルとボルツマンマシン、音声認識への応用                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 確率的推論に基づくエージェントモデルとロボティクスへの応用                              |      |    |     |      |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 選択課題演習                                                         |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 人工知能を産業応用する際の開発時の課題と解決方法<br>～人と関わる人工知能が備えるべき機能、コミュニケーションを例にして～ |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 選択課題演習                                                         |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>各演習での取り組み（60％）、及び、考察やレポート（40％）で成績を評価する。</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>各テーマごとの資料を事前配布する為、授業前に事前に読んでおくこと（20～30分）。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：資料を配布。<br/>AI ツール、利用マニュアルは、各授業で最も適したものを別途指示する。<br/><br/>参考文献：<br/>『深層学習 Deep Learning (監修:人工知能学会)』<br/>麻生英樹(著)安田宗樹(著)前田新一(著)岡野原大輔(著)岡谷貴之(著)久保陽太郎(著)<br/>ボレガラ・ダヌシカ(著)人工知能学会(監修)神寫敏弘(編集)、近代科学社、2015 年<br/>『機械学習のための連続最適化』<br/>金森 敬文 (著) 鈴木 大慈 (著) 竹内 一郎 (著) 佐藤 一誠 (著)、講談社、2016 年<br/>『これなら分かる最適化数学』<br/>金谷健一 (著)、共立出版、2005 年</div> |                                                                |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                |

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                              |                                       | 英語通訳論 |    |     |      |         |    | 展開科目 |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                              | 3 年次                                  | 配当学期  | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                              | 阿部川 久広                                |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                           |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の1つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。 |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる7つのテクニック（1. shadowing 2. slash reading 3. missing words 4. memorizing 5. para-phrasing 6. site translation 7. quick responding ）を通じ学ぶ。                                                             |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                       |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| ・「通訳」の行為やその役割を理解する。                                                                                                                                                                                                                                               |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| ・英語力、特にリスニング力、スピーキング力を強化する。                                                                                                                                                                                                                                       |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| ・日英・英日での基本的な通訳スキルを習得する。                                                                                                                                                                                                                                           |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| ・通訳訓練の題材を通じて、教養やコミュニケーションを身につける。                                                                                                                                                                                                                                  |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                           |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                | 内容                                    |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                 | オリエンテーション、通訳とは                        |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                 | 日英通訳体験：日英通訳に必要な技能と運用能力                |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                 | 通訳訓練法基礎①<br>Shadowing、Slash Reading   |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                 | 通訳訓練法基礎②<br>Missing Words、Memorize 基礎 |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                 | 通訳訓練法基礎③<br>Para-phrasing 基礎          |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                 | 通訳訓練法基礎④<br>Site Translation 基礎       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                 | 通訳訓練法基礎⑤<br>quick responding 基礎       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                 | まとめ①<br>（通訳の7つのテクニック）                 |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                 | 場面別通訳①<br>（日常場面）                      |       |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳②<br>（実務的な場面）            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳③<br>（フォーマル・スピーチ）        |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳④<br>（ビジネス場面）            |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳⑤<br>（技術・サービスに関するビジネス場面） |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳⑥<br>（その他の場面）            |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                        | まとめ②<br>（通訳と今後への課題）           |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>授業の理解度・参加度・貢献度（50%）<br/>まとめ・振り返り回での内容理解・ワーク（20%）<br/>最終回のワークショップ（内容、方法など）（30%）</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>各テクニックに対する復習、繰り返し演習</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：各回ごとに資料を配布する。<br/>参考文献：<br/>『通訳の技術』小松達也(著)、研究社、(2005/9/1)</p> <div>7. 備考</div> |                               |



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                       | 英語通訳論 |    |     |      |         |    | 展開科目 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 2 年次                                  | 配当学期  | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 阿部川 久広                                |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の1つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。</p> <p>具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる7つのテクニック（1. shadowing 2. slash reading 3. missing words 4. memorizing 5. para-phrasing 6. site translation 7. quick responding ）を通じ学ぶ。</p> |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・「通訳」の行為やその役割を理解する。</li><li>・英語力、特にリスニング力、スピーキング力を強化する。</li><li>・日英・英日での基本的な通訳スキルを習得する。</li><li>・通訳訓練の題材を通じて、教養やコミュニケーションを身につける。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 内容                                    |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | オリエンテーション、通訳とは                        |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 日英通訳体験：日英通訳に必要な技能と運用能力                |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通訳訓練法基礎①<br>Shadowing、Slash Reading   |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通訳訓練法基礎②<br>Missing Words、Memorize 基礎 |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通訳訓練法基礎③<br>Para-phrasing 基礎          |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通訳訓練法基礎④<br>Site Translation 基礎       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 通訳訓練法基礎⑤<br>quick responding 基礎       |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | まとめ①<br>（通訳の7つのテクニック）                 |       |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 場面別通訳①<br>（日常場面）                      |       |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳②<br>（実務的な場面）            |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳③<br>（フォーマル・スピーチ）        |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳④<br>（ビジネス場面）            |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳⑤<br>（技術・サービスに関するビジネス場面） |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 場面別通訳⑥<br>（その他の場面）            |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                        | まとめ②<br>（通訳と今後への課題）           |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <p>授業の理解度・参加度・貢献度（50%）<br/>まとめ・振り返り回での内容理解・ワーク（20%）<br/>最終回のワークショップ（内容、方法など）（30%）</p> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <p>各テクニックに対する復習、繰り返し演習</p> <div>6. 教科書／参考文献</div> <p>教科書：各回ごとに資料を配布する。<br/>参考文献：<br/>『通訳の技術』小松達也(著)、研究社、(2005/9/1)</p> <div>7. 備考</div> |                               |

|                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                     | 総合理論演習                                                                                                |      |    |     |      |         |    | 総合科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                     | 3 年次                                                                                                  | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                     | ◎鎌谷 修、川上 慎市郎、中嶋 隆一、難波 美帆、寺脇 由紀、久米 信行、平山 敏弘、志村 一隆、富澤 豊、三澤 一文、磯 俊樹、片桐 雅二、加藤 直人、堀田 耕一郎、落合 慶広、桐谷 恵介、江端 浩人 |      |    |     |      |         |    | 共同担当 |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 学生の興味関心に基づき、4 年次卒業課題を見通した研究を行う。研究方法について学ぶと共に、先行研究・ビジネスケース等を学び合う。また、卒業課題設定のための課題抽出、立論のための技法を学ぶ。さらにグループ発表では、抽出課題に沿った研究がなされているか（調査、製作などの方法とそのまとめ方）教員の指導を受けながら、広く柔軟な視野を持ち、4 年次卒業課題に向けて自らのテーマを創造的に発展させ、論文形式でまとめる。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。 |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 興味関心のあるテーマに基づき、関連図書・研究論文の講読、フィールドワーク等を通して知見を増やすと同時に、卒業課題の設定を目的に、自ら課題抽出をする力を養う。また、自ら抽出した課題についての先行研究・ビジネスケース・既存製品等を批判的に考え、論文形式でまとめる力を養う。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。                                                                       |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                       | 内容                                                                                                    |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                        | 総合理論演習の進め方                                                                                            |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                        | 研究方法の学習                                                                                               |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                        | 先行研究・ケース等の発表：課題抽出                                                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                        | 先行研究・ケース等の発表：課題抽出                                                                                     |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                        | 文献研究 1                                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                        | グループ発表・ディスカッション                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                        | 文献研究 2                                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                        | グループ発表・ディスカッション                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                        | 文献研究 3                                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                       | グループ発表・ディスカッション                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                       | 卒業課題テーマ探求の為のフィールドワーク学習                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                       | グループ発表・ディスカッション                                                                                       |      |    |     |      |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                       | 振り返り・卒業課題テーマ設定に向けた文献研究                                                                                |      |    |     |      |         |    |      |    |

|    |                        |
|----|------------------------|
| 14 | 振り返り・卒業課題テーマ設定に向けた文献研究 |
| 15 | 卒業課題の仮テーマ設定と計画書作成      |

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p>グループ発表・ディスカッション内容(40%)</p> <p>個人課題（卒業課題のテーマおよび概説、課題設定、計画設計）(40%)</p> <p>その他演習への参加・取り組み姿勢(20%)</p>                        |
| <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <p>毎回の授業で出す小課題については、次回授業までに必ず取り組むこと。</p> <p>指摘された事項を踏まえ、各自必ず振り返りを行うこと。</p> <p>発表に当たっては、自ら文献を探すなど念入りに準備をし、発表技術の向上に努めること。</p> |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>配布資料による。</p>                                                                                                                    |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                          |



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                         | 総合理論演習 |    |     |     |         |    | 総合科目 |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                              | 3年次                                                                                                     | 配当学期   | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                              | ◎川上 慎市郎、難波 美帆、寺脇 由紀、久米 信行、平山 敏弘、志村 一隆、富澤 豊、三澤 一文、磯 俊樹、片桐 雅二、加藤 直人、共同担当<br>鎌谷 修、堀田 耕一郎、落合 慶広、桐谷 恵介、江端 浩人 |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要<br>学生の興味関心に基づき、4年次卒業課題を見通した研究を行う。研究方法について学ぶと共に、先行研究・ビジネスケース等を学び合う。また、卒業課題設定のための課題抽出、立論のための技法を学ぶ。さらにグループ発表では、抽出課題に沿った研究がなされているか（調査、製作などの方法とそのまとめ方）教員の指導を受けながら、広く柔軟な視野を持ち、4年次卒業課題に向けて自らのテーマを創造的に発展させ、論文形式でまとめる。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。 |                                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標<br>興味関心のあるテーマに基づき、関連図書・研究論文の講読、フィールドワーク等を通して知見を増やすと同時に、卒業課題の設定を目的に、自ら課題抽出をする力を養う。また、自ら抽出した課題についての先行研究・ビジネスケース・既存製品等を批判的に考え、論文形式でまとめる力を養う。また、卒業課題の仮テーマ設定と計画書もあわせて作成する。                                                                 |                                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                | 内容                                                                                                      |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                 | 総合理論演習の進め方                                                                                              |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                 | 研究方法の学習                                                                                                 |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                 | 先行研究・ケース等の発表：課題抽出                                                                                       |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                 | 先行研究・ケース等の発表：課題抽出                                                                                       |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                 | 文献研究 1                                                                                                  |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                 | グループ発表・ディスカッション                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                 | 文献研究 2                                                                                                  |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                 | グループ発表・ディスカッション                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                 | 文献研究 3                                                                                                  |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                | グループ発表・ディスカッション                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                | 卒業課題テーマ探求の為のフィールドワーク学習                                                                                  |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                | グループ発表・ディスカッション                                                                                         |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                | 振り返り・卒業課題テーマ設定に向けた文献研究                                                                                  |        |    |     |     |         |    |      |    |

|    |                        |
|----|------------------------|
| 14 | 振り返り・卒業課題テーマ設定に向けた文献研究 |
| 15 | 卒業課題の仮テーマ設定と計画書作成      |

|                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p>グループ発表・ディスカッション内容(40%)</p> <p>個人課題（卒業課題のテーマおよび概説、課題設定、計画設計）(40%)</p> <p>その他演習への参加・取り組み姿勢(20%)</p>                        |
| <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <p>毎回の授業で出す小課題については、次回授業までに必ず取り組むこと。</p> <p>指摘された事項を踏まえ、各自必ず振り返りを行うこと。</p> <p>発表に当たっては、自ら文献を探すなど念入りに準備をし、発表技術の向上に努めること。</p> |
| <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>配布資料による。</p>                                                                                                                    |
| <p><b>7. 備考</b></p>                                                                                                                                          |

情報経営イノベーション学部情報経営イノベーション学科

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                   | 総合実践演習   |    |     |      |             |    | 総合科目     |      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----|-----|------|-------------|----|----------|------|
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4 年次                                                                                                              | 配当<br>学期 | 通期 | 単位数 | 4 単位 | 必修・選択の<br>別 | 必修 | 授業形<br>態 | 演習   |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ◎鎌谷 修、川上 慎市郎、中嶋 隆一、難波 美帆、寺脇 由紀、<br>久米 信行、平山 敏弘、志村 一隆、富澤 豊、三澤 一文、磯 俊樹、<br>片桐 雅二、加藤 直人、堀田 耕一郎、落合 慶広、桐谷 恵介、<br>江端 浩人 |          |    |     |      |             |    |          | 共同担当 |
| <b>1. 授業概要</b><br>総合理論演習において設定したテーマおよび仮説を、専任教員の指導の下「卒業課題」として検証（実証）、実践にまとめる。<br>卒業課題については公開の場でプレゼンテーションを行うとともに、書面及びデータで提出する。尚、課題は個人、グループ<br>のいずれかの方法での提出を可能とする。<br>・卒業課題に必要な条件について<br>以下の項目が提出物内で具体的かつ明確に説明されていること。<br>1. 新規性があり、産業界からのニーズに適した、理論と実務を架橋するテーマであること<br>2. 「イノベーション人材」になるためのステップとしてふさわしいテーマであること<br>・提出形式<br>1. ビジネスプラン<br>i )新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br>2. 論文<br>i )産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br>3. 作品<br>i ) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品<br><b>2. 授業の目的、目標</b><br>以下を目標として卒業課題に取り組む。<br>1. ビジネスプラン<br>＜提出形式＞<br>i ) 新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・ビジネスプランとして必要となる「市場分析」「コンテンツ（製品・サービスなど）の特徴」「事業戦略」「事業計画」を<br>明記すること<br>・ビジネスプランにとりあげるサービスなどを作成<br>2. 論文<br>＜提出形式＞<br>i )産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・研究テーマを取り上げる目的や先行研究・事例、研究の方法とそれに基づく結果、そこから考察されることなどから構成<br>されるもの<br>3. 作品・プロダクト<br>＜提出形式＞<br>i ) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・I C T技術を用いて制作した作品および作品説明(企画書等)とする。<br><b>3. 授業計画</b> |                                                                                                                   |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 内容                                                                                                                |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 授業の進め方と卒業課題の概要、テーマ、スケジュール説明                                                                                       |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 卒業課題の設定に向けた準備：文献研究、調査、情報収集等                                                                                       |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 卒業課題の設定に向けた準備：文献研究、調査、情報収集等                                                                                       |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | グループ発表・ディスカッション                                                                                                   |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | グループ発表・ディスカッションの振り返り                                                                                              |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 卒業課題テーマの決定・発表                                                                                                     |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 卒業課題計画の決定・発表                                                                                                      |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 課題内容の構想と準備                                                                                                        |          |    |     |      |             |    |          |      |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 課題進捗状況の報告・ディスカッション                                                                                                |          |    |     |      |             |    |          |      |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 中間まとめ(発表)          |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 中間まとめ(振り返り)        |
| 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 17                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 18                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 19                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 20                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 21                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 22                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 23                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 24                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題の提出            |
| 25                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表準備           |
| 26                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表準備           |
| 27                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表準備           |
| 28                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表内容の決定        |
| 29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表会            |
| 30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 卒業課題発表会            |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>課題への取り組みと提出課題に基づいて評価(90%)、卒業課題発表会の内容(10%)<br>(評価基準)<br>【ビジネスプラン】<br>・テーマ設定条件への適合<br>・テーマに対する事業アプローチの設定根拠<br>・先行事例・関連事例の調査状況<br>・ビジネスプランとしての競争優位性・分析・評価等の調査手法<br>・市場環境の分析・調査手法<br>・財務計画の適切性<br>【論文】<br>・テーマ設定条件への適合<br>・テーマに対するアプローチの設定論拠<br>・先行研究・関連研究の調査状況<br>・論文としての新規性<br>・分析・評価等の調査手法<br>・研究を通じた学術への貢献<br>・卒業課題の完成度/発展性<br>【作品】<br>・テーマ設定条件への適合<br>・テーマに対する作品アプローチの設定根拠<br>・先行事例・関連事例の調査状況<br>・作品としての競争優位性・分析・評価等の調査手法<br>・市場環境の分析・調査手法<br>・学外の学会、展示会での発表、学術誌、新聞等に掲載され、高い評価を得ることができる作品で<br>あるか否か<br><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br>・各自のテーマに沿って、自ら学習の計画を立て、その計画に沿って進めること。<br>・指摘された事項を踏まえ、各自必ず振り返りを行うこと。<br>・発表に当たっては、自ら文献を探すなど念入りに準備をし、発表技術の向上に努めること。<br><b>6. 教科書／参考文献</b><br>配布資料による。<br><b>7. 備考</b> |                    |

ICT イノベーション学部 ICT イノベーション学科

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                 | 総合実践演習 |    |     |     |         |    | 総合科目 |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4年次                                                                                             | 配当学期   | 通期 | 単位数 | 4単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | ◎川上 慎市郎、難波 美帆、寺脇 由紀、久米 信行、平山 敏弘、志村 一隆、富澤 豊、三澤 一文、磯 俊樹、片桐 雅二、加藤 直人、鎌谷 修、堀田 耕一郎、落合 慶広、桐谷 恵介、江端 浩人 |        |    |     |     |         |    | 共同担当 |    |
| <b>1. 授業概要</b><br>総合理論演習において設定したテーマおよび仮説を、専任教員の指導の下「卒業課題」として検証（実証）、実践にまとめる。卒業課題については公開の場でプレゼンテーションを行うとともに、書面及びデータで提出する。尚、課題は個人、グループのいずれかの方法での提出を可能とする。<br>・卒業課題に必要な条件について<br>以下の項目が提出物内で具体的かつ明確に説明されていること。<br>1. 新規性があり、産業界からのニーズに適した、理論と実務を架橋するテーマであること<br>2. 「イノベーション人材」になるためのステップとしてふさわしいテーマであること<br>・提出形式<br>1. ビジネスプラン<br>i)新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br>2. 論文<br>i)産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br>3. 作品<br>i) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品<br><b>2. 授業の目的、目標</b><br>以下を目標として卒業課題に取り組む。<br>1. ビジネスプラン<br>＜提出形式＞<br>i) 新規性があり、産業界からのニーズに適したビジネスプラン<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・ビジネスプランとして必要となる「市場分析」「コンテンツ（製品・サービスなど）の特徴」「事業戦略」「事業計画」を明記すること<br>・ビジネスプランにとりあげるサービスなどを作成<br>2. 論文<br>＜提出形式＞<br>i)産業界における新規性、先見性の認められる仮説を立て、それを検証した論文<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・研究テーマを取り上げる目的や先行研究・事例、研究の方法とそれに基づく結果、そこから考察されることなどから構成されるもの<br>3. 作品・プロダクト<br>＜提出形式＞<br>i) 新規性があり、かつコンテンツ産業および関連産業から特に優れたものと評価された作品<br>＜アウトプットイメージ＞<br>・ICT技術を用いて制作した作品および作品説明(企画書等)とする。<br><b>3. 授業計画</b> |                                                                                                 |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                                                                                              |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 授業の進め方と卒業課題の概要、テーマ、スケジュール説明                                                                     |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 卒業課題の設定に向けた準備：文献研究、調査、情報収集等                                                                     |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 卒業課題の設定に向けた準備：文献研究、調査、情報収集等                                                                     |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | グループ発表・ディスカッション                                                                                 |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | グループ発表・ディスカッションの振り返り                                                                            |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 卒業課題テーマの決定・発表                                                                                   |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 卒業課題計画の決定・発表                                                                                    |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 課題内容の構想と準備                                                                                      |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 課題進捗状況の報告・ディスカッション                                                                              |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 課題進捗状況の報告・ディスカッション                                                                              |        |    |     |     |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 課題進捗状況の報告・ディスカッション                                                                              |        |    |     |     |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中間まとめ(発表)          |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 中間まとめ(振り返り)        |
| 16                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 17                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 18                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 19                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 20                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 21                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 22                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 23                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 課題進捗状況の報告・ディスカッション |
| 24                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題の提出            |
| 25                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表準備           |
| 26                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表準備           |
| 27                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表準備           |
| 28                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表内容の決定        |
| 29                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表会            |
| 30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 卒業課題発表会            |
| <p><b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b></p> <p>課題への取り組みと提出課題に基づいて評価(90%)、卒業課題発表会の内容(10%)</p> <p>(評価基準)</p> <p>【ビジネスプラン】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テーマ設定条件への適合</li><li>・テーマに対する事業アプローチの設定根拠</li><li>・先行事例・関連事例の調査状況</li><li>・ビジネスプランとしての競争優位性・分析・評価等の調査手法</li><li>・市場環境の分析・調査手法</li><li>・財務計画の適切性</li></ul> <p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テーマ設定条件への適合</li><li>・テーマに対するアプローチの設定論拠</li><li>・先行研究・関連研究の調査状況</li><li>・論文としての新規性</li><li>・分析・評価等の調査手法</li><li>・研究を通じた学術への貢献</li><li>・卒業課題の完成度/発展性</li></ul> <p>【作品】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・テーマ設定条件への適合</li><li>・テーマに対する作品アプローチの設定根拠</li><li>・先行事例・関連事例の調査状況</li><li>・作品としての競争優位性・分析・評価等の調査手法</li><li>・市場環境の分析・調査手法</li><li>・学外の学会、展示会での発表、学術誌、新聞等に掲載され、高い評価を得ることができる作品であるか否か</li></ul> <p><b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各自のテーマに沿って、自ら学習の計画を立て、その計画に沿って進めること。</li><li>・指摘された事項を踏まえ、各自必ず振り返りを行うこと。</li><li>・発表に当たっては、自ら文献を探すなど念入りに準備をし、発表技術の向上に努めること。</li></ul> <p><b>6. 教科書／参考文献</b></p> <p>配布資料による。</p> <p><b>7. 備考</b></p> |                    |

削除

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------|----|-----|------|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                      | ICT リテラシー |    |     |      |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 年次                                                 | 配当学期      | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 加藤 直人                                                |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>PC やPC 上で動作するソフトウェアについて、基本的な操作を習得する。講義による基本的な概念の説明の後、演習課題に取り組む。PC 上で行う個人の操作の他、グループワークを行うことで、成果物作成のノウハウを学び、また情報共有の手法を体験する。</p> <p>具体的には、OS の基本操作として、PC の起動・終了、フォルダ操作・ファイル操作、エディタによるテキストファイルの編集、ソフトウェアのインストール等を習得する。また、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトを用いて書類・資料の作成を行えるようになる。</p> <p>その他、グループ作業を促進するためのツール（メールソフト、グループウェア、プロジェクト管理ツール、作図ツール等）の基本操作を身に付ける。</p> |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| <p>学生が全員購入する予定の PC について、基本的な操作を習得する。オペレーティングシステム、データベース、ネットワークなどの構成要素や活用方法を実習を通して学習する。</p> <p>またオフィススイート（Pages・Numbers・Keynote、G-Suite、MS Office）による文書作成、表計算ソフトによる集計・分析処理、プレゼンテーションソフトによるプレゼン資料作成を実機操作を通じて学ぶ。</p> <p>さらに学生生活を通じて必要となるメールによる通信、グループウェアを利用した情報共有についても習得する。</p>                                                                              |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 内容                                                   |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | PC の操作(1) OS の起動と終了-フォルダとファイルの管理<br>情報共有(1) メールによる通信 |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | PC の操作(2) OS の基本操作 検索、ショートカットキー等                     |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | PC の操作(3) ソフトウェアの管理（インストールと更新）                       |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | オフィススイートの基礎(1) 文書の作成と印刷設定                            |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | オフィススイートの基礎(2) 構造的な文書の作成                             |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 情報共有(2) グループウェアの利用                                   |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | オフィススイートの基礎(3) プレゼンテーション資料の作成                        |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | オフィススイートの基礎(4) プレゼンテーションの実施（グループワーク）                 |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | オフィススイートの基礎(5) 表計算ソフトの基礎                             |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | オフィススイートの基礎(6) 表計算ソフトにおけるマクロの利用                      |           |    |     |      |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 情報共有(3) クラウドサービス（SaaS）の利用<br>作図サービス、プロジェクト管理サービス等    |           |    |     |      |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | PC の操作(4) エディタとコマンドの利用       |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | PC の操作(5) スクリプトによる処理の自動化     |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | グループワーク:企画書・プレゼンテーション資料の作成   |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | グループワーク:企画書のプレゼンテーションと報告書の作成 |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業への参加度・貢献度（質問、発言など）を評価する。（20%）</div> <div>各回の課題の提出状況と、その内容を評価する。（30%）</div> <div>期末の総合演習の成果物（文書とプレゼンテーション）を評価する。（50%）</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>予習として、参考文献・Web サイトを参照して、事前に各分野で使われる基本的な用語・概念を知っておくこと。また各回の課題にも取り組む。各回につき、1 時間程度の個人学習（復習、課題）に取り組む。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：<u>各回ごとにプリントを配布する。</u></div> <div>参考文献：<br/>『MacBook マスターブック』<br/>松山 茂（著） 矢橋 司（著）、マイナビ出版、2017 年<br/>『Pages・Numbers・Keynote マスターブック』<br/>東弘子（著）マイナビ出版、2017 年</div> <div>7. 備考</div> |                              |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                | 離散数学Ⅰ                         |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                | 1年次                           | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 必修 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                | 片桐 雅二                         |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                             |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>ソフトウェアを形式的に特徴づけたり解析するためには、計算や論理に関する知識が不可欠である。本講義では、論理学や計算理論を中心に、関連する議論も含め、ICT 技術を支える中核的な理論の基礎を広く学習する。各理論／概念については具体的な応用先の例もあわせて学ぶことで、理解をより深いものとする。</p> <p>具体的には、集合・論理・関係・写像・代数系・数え上げ・グラフ理論についてその入門的な内容（用語・定義・記法、基本的概念・原理、応用先の例など）を順次学ぶことで、論理的、数理的に課題解決へのアプローチができるようになることを目指す。</p> |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                         |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <p>論理学や計算論等の基礎知識を習得し、説明できるようになる。</p> <p>実際の課題についてソフトウェアを用いて解決する際に、必要に応じて自らより深く調べる手がかりとして、得た知識を課題解決に活用できるようになる。</p>                                                                                                                                                                  |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                             |                               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 内容                            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 集合（1）定義、表現、性質、演算              |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 集合（2）ベン図、包除原理、応用              |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 論理（1）命題                       |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 論理（2）推論、必要条件と十分条件、応用          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 関係（1）定義、表現、合成                 |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 関係（2）性質、包除原理、同値関係、応用          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 写像（1）単射・全射・全単射、合成、鳩の巣原理       |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 写像（2）置換、応用                    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 代数系（1）二項演算、単位元と逆元             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 代数系（2）半群とモノイド群、群、準同型写像と同型写像   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 計算の複雑さ・数え上げ                   |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 順序集合から束へ（1）順序、ハッセ図            |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 順序集合から束へ（2）上限・下限、束、分配束と可補束    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                  | グラフ理論（1）数学的定義、隣接行列・接続行列、経路    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                  | グラフ理論（2）オイラーグラフ、ハミルトン閉路、平面グラフ |      |    |     |     |         |    |      |    |

|                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>定期試験の結果（80%）、受講態度（授業への参加度・貢献度）等（20%）により総合評価する。</p>                                                   |
| <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>授業範囲について講義開始までに教科書で予習を行うこと。</p> <p>また、授業内で出された事例・例題を用いて、復習によって自分なりに内容を消化すること。</p> <p>（30-60 分／回）</p> |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：</p> <p>『応用事例とイラストでわかる離散数学』</p> <p>延原 肇（著）、共立出版、2015 年</p>                                              |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                      |

削除



| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                       | モバイルコンピューティング I |    |     |      |             |    | 基礎科目     |    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 1 年次                                                                                  | 配当<br>学期        | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 磯 俊樹                                                                                  |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                       |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>ICT とは、“Information Communications Technology” の略で、情報通信技術全般を指すものであり、人と人だけでなく、“人” と “モノ” をつなげる（コミュニケーションする）様々なサービスに関与している。特に近年においては、ICT 分野の中でも特に情報通信インフラの充実や携帯情報端末技術の発展に伴い、ユーザがコンピュータやそれに類する端末、アプリケーションを持ちあるく、モバイルコンピューティング分野の成長が著しい。そこで本講義では、ICT の中でも特に社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった“ケータイ”に着目し、人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われている ICT のコア技術を学修する。特に、なぜ、サービスシステムを実現するために、これらのコア技術が使われているのかを“アプリケーションの利用環境条件”や“サービス提供上の制約条件”の観点から考察することで、技術の本質を理解する。</p> <p>モバイルコンピューティング I では、人とモノをつなげる“現実世界から情報を獲得する”系サービスと、人と人をつなげる”自らの状態を知る”系サービスを例として、“ケータイ”に搭載された各種センサを用いたメディア処理やパターン認識技術に関する ICT のコア技術を理解する。</p> |                                                                                       |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                       |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>人とモノをつなげる“現実世界から情報を獲得する”系サービスと、人と人をつなげる“自らの状態を知る”系サービスに関する ICT の主な技術の特徴や用途が平易な表現で説明できることを目指す。そして、“ユーザの視点”、“サービス提供者の視点”、“技術者の視点”をバランスよく持ってモバイルサービス企画立案することを究極の目標とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                       |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                       |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 内容                                                                                    |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「モバイルサービスの変遷」：ケータイを中心に進歩してきたモバイルサービスの動向を、社会的な役割や行動心理学の観点で分析する。                        |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT の基礎技術 (A)」：画像処理や画像認識に関する基本技術を学ぶ。                           |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT (1)」：ケータイ搭載カメラから情報が得られる二次元コード (QR コードや Visualtag) 読取技術を学ぶ。 |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT (2)」：景観画像から情報を獲得する看板認識や特定画像認識を学ぶ。                          |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT (3)」：Deep Learning (深層学習) による一般画像認識を学ぶ。                    |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT の基礎技術 (B)」：ケータイに搭載されたモーションセンサに関する基本技術を学ぶ。                  |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT (4)」：モーションセンサとカメラを用いたモバイル AR 技術を学ぶ。                        |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「まとめ (1)」：外界から情報を獲得する系サービスを実現する ICT の特徴を、サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。                     |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「自分の状態を知る系サービスを実現する ICT (1)」：ケータイの携行方法にロバストなモーションセンサを用いた歩行状態認識を学ぶ。                    |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 「自分の状態を知る系サービスを実現する ICT (2)」：モーションセンサを用いた動作認識を学ぶ。                                     |                 |    |     |      |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 「自分の状態を知る系サービスを実現する ICT (3)」：把持センサを用いたケータイ利用中の個人認証を学ぶ。                                |                 |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 「自分の状態を知る系サービスを実現する ICT (4)」：生体情報センサを用いた低次メンタル状態推定技術を学ぶ。                   |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 「自分の状態を知る系サービスを実現する ICT (5)」：生体情報センサを用いたヘルスケア技術を学ぶ。                        |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 「まとめ (2)」：自分の状態を知る系サービスを実現する ICT の特徴を、サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。             |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 「将来あるべきモバイルサービスやケータイの姿」：今後のモバイルサービスに求められるものが何で、それを実現するために必要な ICT は何かを議論する。 |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>最終試験：50％</p> <p>まとめ (2 回)：40％</p> <p>レポート提出 (適時)：10％</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                            |
| <p>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</p> <p>予習 (事前学習)：各単元の実例をインターネットや文献等で 1 つ調べて、それぞれをスライド 1 枚にまとめる。(1 時間程度)</p> <p>復習 (事後学習)：各単元で学んだ各手法についてインターネットや文献等で 2 つ調べて、スライド 2 枚にまとめる。(1 時間程度)</p>                                                                                                                                                                    |                                                                            |
| <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：</p> <p>必要により、授業時にプリントを配布、または参考資料を適宜指示する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『iPhone のすごい中身』</p> <p>柏尾 南壮 (著)、日本実業出版社、2010 年</p> <p>『ジャイロセンサ技術』</p> <p>多摩川精機株式会社 (編集)、東京電機大学出版局、2011 年</p> <p>『わかりやすい G P S 測量』</p> <p>小白井 亮一 (著)、オーム社、2010 年</p> <p>『カオス時系列解析の基礎と応用』</p> <p>池口 徹 (著) 小室 元政 (著) 山田 泰司 (著) 合原 一幸 (編集)、産業図書、2000 年</p> |                                                                            |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                            |

削除

|                                                                                                                                                   |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目                                                                                                                                              | 離散数学Ⅱ                  |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                              | 2年次                    | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                              | 片桐 雅二                  |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                           |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>「離散数学Ⅰ」に引き続き、グラフ理論、代数学、数論、数え上げの基礎についてより掘り下げた内容を学ぶ。例題解説によって解法を身につけるとともに、各種の課題を ICT／情報システムにより解決する場合に求められる数理的考え方を修練する。</u>                        |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>代数学の基礎として RSA 公開鍵暗号の原理など、グラフ理論の基礎としてネットワーク制御をはじめとして様々な場面で用いられているグラフの探索や連結成分など、アルゴリズム／計算量理論の基礎として NP 完全性など、数え上げの基礎としてフィボナッチ数やカタラン数などを取り上げる。</u> |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                       |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>ICT 技術の発展を支える基盤である離散数学の基本知識を習得し、説明できるようになる。</u>                                                                                                |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| <u>その発想と論理的思考について学び、実際の課題解決を検討するための基礎能力を獲得する。</u>                                                                                                 |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                           |                        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 回数                                                                                                                                                | 内容                     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 1                                                                                                                                                 | 代数学の基礎（1）合同式、最大公約数     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 2                                                                                                                                                 | 代数学の基礎（2）有限体、フェルマーの小定理 |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 3                                                                                                                                                 | 代数学の基礎（3）RSA 公開鍵暗号     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 4                                                                                                                                                 | グラフ（1）定義、パス、連結性        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 5                                                                                                                                                 | グラフ（2）探索               |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 6                                                                                                                                                 | グラフ（3）連結成分             |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 7                                                                                                                                                 | アルゴリズム（1）定義、べき乗の計算     |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 8                                                                                                                                                 | アルゴリズム（2）ユークリッドの互除法    |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 9                                                                                                                                                 | アルゴリズム（3）クリーク問題        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 10                                                                                                                                                | 計算量（1）計算時間、因数分解        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 11                                                                                                                                                | 計算量（2）P=NP?問題          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 12                                                                                                                                                | 計算量（3）NP 完全性           |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 13                                                                                                                                                | 数え上げ（1）初等的な方法          |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 14                                                                                                                                                | 数え上げ（2）パスカルの三角形        |      |    |     |     |         |    |      |    |
| 15                                                                                                                                                | 数え上げ（3）フィボナッチ数、カタラン数   |      |    |     |     |         |    |      |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>演習レポートの内容（50%）、定期試験の結果（40%）、受講態度等（10%）により総合評価する。</p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>授業範囲について講義開始までに教科書で予習を行うこと。<br/>また、授業内で出された事例・例題を用いて、復習によって自分なりに内容を消化すること<br/>(30-60 分／回)<br/>項目毎に演習課題を設定し演習レポートの提出を課す（60-120 分×5 回）</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：プリントを適宜配布する。</p> <p>参考文献：<br/>『情報工学のための離散数学入門』西野 哲朗（著）若月 光夫（著）、数理工学社、2015 年<br/>『初等離散数学』秋山 仁（著）占部 正承（著）一松 信（編集）、森北出版、1998 年</p> |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

削除

|      |                |      |    |     |     |         |    |      |    |
|------|----------------|------|----|-----|-----|---------|----|------|----|
| 授業科目 | モバイルコンピューティングⅡ |      |    |     |     |         |    | 基礎科目 |    |
| 配当年次 | 2年次            | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 磯 俊樹           |      |    |     |     |         |    |      |    |

1. 授業概要

ICT とは, ” Information Communications Technology” の略で, 情報通信技術全般を指すものであり, 人と人だけでなく, “人” と “モノ” をつなげる (コミュニケーションする) 様々なサービスに関与している。特に近年においては, ICT 分野の中でも特に情報通信インフラの充実や携帯情報端末技術の発展に伴い, ユーザがコンピュータやそれに類する端末、アプリケーションを持ちあるく、モバイルコンピューティング分野の成長が著しい。そこで本講義では, ICT の中でも特に社会生活で情報をやり取りする際に不可欠なツールとなった” ケータイ” に着目し, 人とモノをつなげているモバイルサービスを実現するために使われている ICT のコア技術を学修する。特に, なぜ, サービスシステムを実現するために, これらのコア技術が使われているのかを” アプリケーションの利用環境条件” や” サービス提供上の制約条件” の観点から考察することで, 技術の本質を理解する。

モバイルコンピューティングⅡでは, 人と人をつなげるクラウド上の” 集合知利用系サービス “と “モバイル端末の入出力インタフェース” を例として, ビッグデータからの知識獲得技術 (データマイニング) やインタフェース技術に関するコア技術を修学する。さらには, 今後のケータイのあるべき姿についても議論する。

2. 授業の目的、目標

人と人をつなげるクラウド上の” 集合知利用系サービス “と “モバイル端末の入出力インタフェース” に関する ICT の主な技術の特徴や用途が平易な表現で説明できることを目指す。そして, “ユーザの視点”, “サービス提供者の視点”, “技術者の視点” をバランスよく持ってモバイルサービス企画立案することを究極の目標とする。

3. 授業計画

| 回数 | 内容                                                                                |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 「モバイルサービスの変遷」: ケータイを中心に進歩してきたモバイルサービスの動向を, 社会的な役割や行動心理学の観点で分析する。                  |
| 2  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT の基礎技術 (A)」: 確率統計やベイズ推定に関する基本技術を学ぶ。                           |
| 3  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT (1)」: ケータイの位置情報に基づいて人流れを公共利用する “モバイル空間統計サービス” で利用されている技術を学ぶ。 |
| 4  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT (2)」: Web サイトのレコメンドシステムで利用されている協調フィルタリング等を学ぶ。                |
| 5  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT (3)」: 潜在トピックモデルを利用したユーザプロファイリング技術を学ぶ。                        |
| 6  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT の基礎技術 (B)」: 音声認識に関する基本技術を学ぶ。                                 |
| 7  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT (4)」: しゃべってコンシェルサービスで利用されている音声認識や知識処理に関する技術を学ぶ。              |
| 8  | 「集合知利用系サービスを実現する ICT (5)」: 音声翻訳サービスで利用されている翻訳技術を学ぶ。                               |
| 9  | 「まとめ (1)」: 集合知利用系サービスを実現する ICT の特徴を, サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる。                     |
| 10 | 「モバイル端末の入出力インタフェースで利用される ICT の基礎技術」: モバイル端末 (スマートフォン) に搭載センサに関する基本技術を理解する。        |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「モバイル端末の入出力インタフェースで利用される ICT (1)」: ケータイカメラの手振れ補正技術を学ぶ                                    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「モバイル端末の入出力インタフェースで利用される ICT (2)」: インテリジェントグラス等のウェアラブルデバイスの技術を学ぶ.                        |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「まとめ (2)」: モバイル端末の入出力インタフェースで利用される ICT の特徴を, サービス適用条件や制約条件等の観点からまとめる.                    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ケータイ事業者の取り組んでいる ICT : 5G, IoT, AI 等の技術を利用したモバイルサービスの取り組みについて専門家等の話を聞くことで ICT の最新動向を把握する. |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 「将来あるべきモバイルサービスやケータイの姿」: 今後のモバイルサービスに求められるものが何で, それを実現するために必要な ICT は何かを議論する.             |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>最終試験 : 50%</p> <p>まとめ (2 回) : 40%</p> <p>レポート提出 (適時) : 10%</p> <p>5. 準備学習 (予習・復習、課題等)</p> <p>予習 (事前学習) : 1 時間程度</p> <p>各単元の実例をインターネットや文献等で 1 つ調べそれぞれをスライド 1 枚にまとめる.</p> <p>復習 (事後学修) : 1 時間程度</p> <p>各単元で学んだ各手法についてインターネットや文献等で 2 つ調べてスライド 2 枚にまとめる.</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書 :</p> <p>必要により, 授業時にプリントを配布, または参考資料を適宜指示する.</p> <p>参考文献 :</p> <p>『データ解析のための統計モデリング入門』</p> <p>久保拓弥 (著)、岩波書店、2012 年</p> <p>『統計数理は隠された未来をあらわにするーベイジアンモデリングによる実世界イノベーション』</p> <p>樋口知之 (著) 照井伸彦 (著) 井元清哉 (著) 北川源四郎 (著) 石井信 (著) 東京電機大学出版局、2007 年</p> <p>『デジカメの画像処理』</p> <p>蚊野浩 (監修) 映像情報メディア学会 (編集)、オーム社、2011 年</p> <p>『フリーソフトでつくる音声認識システム』</p> <p>上野俊行 (著)、森北出版、2018 年</p> |                                                                                          |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                          |

削除



|                                                                                                                                                                                                                        |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------|----|-----|-----|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                   | オペレーションズリサーチ                                                   |          |    |     |     |             |    | 基礎科目     |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                               | 2年次                                                            | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                   | 落合 慶広                                                          |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| <p>オペレーションズリサーチは課題解決や意思決定を行うために数理的・科学的にアプローチするための知識技術とその研究である。本授業では、製造・流通計画から高度な画像・音声認識処理に至るまで多くの分野で活用されている各種のオペレーションズリサーチの基本手法を理解すると共に、これを活用して問題を解く力を習得するとともに、社会問題をシンプルに整理し、ICT やビジネスの知識やスキルを用いて、アプローチし解決する方法を学ぶ。</p> |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                            |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| <p>近年、製造・流通における最適化問題のみならず、高度な画像・音声認識処理から都市計画、防災計画の策定に至るまで、オペレーションズリサーチが果たす役割が大きくなっている。本講義では、幅広い観点から各種手法の原理を理解し、これらを使いこなして活用する力を習得する。また、AI における学習法の導入にもなるように合わせて講義する。</p>                                               |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                |                                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                     | 内容                                                             |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                      | オペレーションズリサーチで用いられる各手法の全体像の理解と産業応用事例について講義する。                   |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                      | 線形計画法1：基礎概念と定式化、シンプレックス法について講義する。                              |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                      | 線形計画法2：双対定理と感度分析、産業応用について講義する。                                 |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                      | 非線形最適化1（制約なし局所最適化）：基礎概念と定式化、最急降下法とニュートン法について講義する。              |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                      | 非線形最適化2（制約なし局所最適化）：収束の速さと共役勾配法、準ニュートン法について講義する。                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                      | 非線形最適化3（制約あり局所最適化）：ラグランジェ未定乗数法と Karush-Kunh-Tucker 条件について講義する。 |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                      | 非線形最適化の産業応用と AI における学習との関係について講義する。                            |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                      | 多目的最適化法とパレート最適、産業応用について講義する。                                   |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                      | 大域的最適化法と遺伝的アルゴリズム、及び産業応用について講義する。                              |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                     | 確率的最適化法と産業応用について講義する。                                          |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                     | ネットワーク最適化1：最短路問題、最大流問題について講義する。                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                     | ネットワーク最適化2：最小費用流問題について講義する。                                    |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                     | 組合せ最適化1：分岐限定法について講義する。                                         |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                     | 組合せ最適化2：動的計画法、近似解放について講義する                                     |          |    |     |     |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>並列最適化法と超並列コンピューティングの動向について講義する。</u> |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p><u>各授業において出題する理解度確認課題（60％）と考察レポート（40％）により評価する</u></p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p><u>講義資料は、事前に掲示、指示するので、事前に読んでおくことが望ましい（20～30 分程度）。レポート課題では、ツールを用いて解く課題もあり、こうしたツールについては、授業の中で周知する。</u></p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p><u>教科書：配布プリントなどで指示する。</u></p> <p>参考文献：</p> <p><u>『これなら分かる最適化数学-基礎原理から計算手法まで』</u><br/><u>金谷 健一（著）、共立出版、2005 年</u></p> <p><u>『数理計画法』</u><br/><u>尾方 わかは（著）、オーム社、2010 年</u></p> <p><u>『組合せ最適化-メタ戦略を中心として』</u><br/><u>柳浦睦憲（著）茨木俊秀（著）伊理正夫（編集）西田俊夫（編集）森村英典（編集）刀根薫（編集）長谷川利治（編集）、朝倉書店、2001 年</u></p> <p>7. 備考</p> |                                        |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ビジネスデザインⅠ                                        |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1年次                                              | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 難波 美帆                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>世界的に課題がカテゴライズされている SDG s について学び、その中から、身近な日本、地方、大学がある自治体に引き寄せた課題を発見し、誰にどのような課題があるのかをインタビューなどを通じて調査する。ネット情報だけでなく、どのような情報源があるかを調べ、実際に調査することにより、課題を見つける。次にその課題に対してどのような対策が実施されているかを調べる。問題の本質はどこにあるかを分析する。対策を行っている機関・人などから話を聞くことにより、対策の課題を分析する。また、発見した課題に対し、自分たちがどのように解決に寄与できるかを設計する。</u> |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>課題発見、調査、解決策の提案の一連の流れから、ビジネスデザインの基礎となる、社会科学の調査・分析の手法を学ぶ。</u>                                                                                                                                                                                                                          |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 内容                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>オリエンテーション</u>                                 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>フィールドを見つける①</u><br><u>SDG s の概説とグループ課題の策定</u> |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>フィールドを見つける②</u><br><u>グループ課題の検討</u>           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>ビジネスデザインと調査①</u><br><u>社会調査とは、その手法</u>        |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>ビジネスデザインと調査②</u><br><u>予備調査</u>               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>ビジネスデザインと調査③</u><br><u>予備調査の分析</u>            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>ビジネスデザインと調査④</u><br><u>中間発表準備</u>             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>フィールド調査①</u><br><u>概要と手法</u>                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <u>フィールド調査②</u><br><u>構想・企画</u>                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>フィールド調査③</u><br><u>収集・記録</u>                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>フィールド調査④</u><br><u>調査分析</u>                   |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | フィールド調査⑤<br>課題検討、解決へのアイディエーション |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | フィールド調査⑥<br>解決へのアイディエーション      |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 最終発表準備<br>調査報告の技法、手法           |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 最終発表                           |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>各授業への参加度・貢献（発表、発言、準備など）：20％</p> <p>各グループ学習への参加度・貢献（発表、発言、準備など）：20％</p> <p>中間発表20％</p> <p>最終発表40％</p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>SDG s について自分なりに学習しまとめておく。</p> <p>教科書や参考図書を読み、社会科学の手法、考え方について予習しておく。</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：授業内で必要な資料は適宜配布する。</p> <p>参考文献：</p> <p>『グループディスカッションで学ぶ 社会学トレーニング』<br/>宮内 泰介（著）、三省堂、2013 年</p> <p>『自分で調べる技術―市民のための調査入門』<br/>宮内 泰介（著）、岩波書店、2004 年</p> <p>『社会科学の考え方―認識論、リサーチ・デザイン、手法』<br/>野村 康（著）、名古屋大学出版、2017 年</p> <p>7. 備考</p> |                                |

削除

|                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|----------|----|-----|-----|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                   | ビジネスデザインⅡ                                      |          |    |     |     |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                               | 2年次                                            | 配当<br>学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                   | 難波 美帆                                          |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| <u>ICTによる急速な社会変化への対応が企業にとって重要な経営課題となる中で、旧来のビジネスモデルを刷新し、それを構築・実現する社外の人材やその知見を柔軟に取り入れることが求められている。本授業ではビジネスモデルに着目した新しいビジネスのデザインの方法論と、社外の知見の活用方法としてのオープンイノベーションについて、そのタイプと導入・実践の手法を学ぶ。また、デザイナーやアーティストなどとの協働によるイノベーション（インターベンション）を行うことで、自らイノベーションを起こすために必要な知識やスキルを習得する。</u> |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| <u>・ICTを用いたビジネスのデザインのプロセスを理解し、産業の再デザインを構想する</u><br><u>・さまざまなオープンイノベーションの手法を概覧し、そのメリット・デメリットを理解する</u>                                                                                                                                                                   |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                     | 内容                                             |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ビジネスモデルとは何か（ビジネスモデルキャンバス）</u>               |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ビジネスモデルをデザインする（1）ICTによる事業環境の変化の理解</u>       |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ビジネスモデルをデザインする（2）ICTによる顧客価値の分解・再統合</u>      |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ビジネスモデルをデザインする（3）ICTによる需要の予測と創造</u>         |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ビジネスモデルをデザインする（4）ICTによる急速な普及と成長</u>         |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>既存の産業を破壊するビジネスモデルのデザイン演習（1）</u>             |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>既存の産業を破壊するビジネスモデルのデザイン演習（2）</u>             |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>オープンイノベーションとは何か（類型とその変遷）</u>                |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>オープンイノベーションをデザインする（1）顧客にR&amp;Dを委託する</u>    |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>オープンイノベーションをデザインする（2）スタートアップを支援する</u>       |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>オープンイノベーションをデザインする（3）アライアンスとM&amp;A</u>     |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>オープンイノベーションをデザインする（4）エコシステムを構築する</u>        |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>欧米の先端事例</u><br><u>（アーティスティック・インターベンション）</u> |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>オープンイノベーションのデザイン演習（1）</u>                   |          |    |     |     |             |    |          |    |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>オープンイノベーションのデザイン演習（2）</u>                   |          |    |     |     |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><div>・7回目と15回目の演習の発表内容（各25%、計50%）</div><div>・クラス・グループ活動への貢献（25%）</div><div>・レポート（25%）</div></div>                                                                                                                                                                                                                               |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><div>・予習：事前課題の学習（各回1時間程度）</div><div>・復習：各回の学習内容の振り返り（各回1時間程度）</div><div>・課題：6～7回、14～15回はグループワーク、それ以外は個人ワークとする</div></div>                                                                                                                                                                                                       |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：必要な資料を適宜配布する。</div> <div>参考文献：<br/>『一流ビジネススクールで教える デジタル・シフト戦略 テクノロジーを武器にするために必要な変革』<br/>ジョージ・ウェスターマン（著）ディディエ・ボネ（著）アンドリュウ・マカフィー（著）<br/>グロービス（翻訳）、ダイヤモンド社、2018年<br/>『オープン・イノベーションの教科書——社外の技術でビジネスをつくる実践ステップ』<br/>星野 達也（著）、ダイヤモンド社、2015年<br/>『世界のビジネスリーダーがいまアートから学んでいること』<br/>ニール・ヒンディ（著）長谷川雅彬（監修）小巻靖子（訳）、クロスメディア・パブリッシング、2018年</div> |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

削除

|                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                            | ゲーム理論と交渉術                                  |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                            | 2年次                                        | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                            | 江端 浩人                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>ビジネスを実践する上では様々な決定をしなければならない。その決定によりビジネスがたどる変遷は大きく変わることをご理解いただけると考える。経営に携わるものはこの決定を常に迫られることになる。</p> <p>「ゲーム理論」ではそもそも人がなぜそのような決定を行うのかをモデルによって抽象化する。そして自分や競争相手が行う決定によって変化する競争環境の理解する。特に「交渉術」ではその決定に基づき交渉相手を含む各種ステークホルダーにどのように決定を伝えることで交渉を優位に運ぶことができるかを解説する。</p> |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>参加者が「ゲーム理論」に関し講義により理解し、「交渉」についてはグループシミュレーションにより方法論を体得することを目標とします。</p>                                                                                                                                                                                        |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                         |                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                               | イントロダクション：本授業の進行と意味の解説、他の授業との関係の説明         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                               | ゲーム理論とは？選択と意思決定。デシジョンツリー、リスクを含む選択、動機付け理論など |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                               | 非協力ゲーム：利得表、混合戦略と順戦略、最適応答とナッシュ均衡など          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                               | 非協力ゲームのグループワークショップ：非協力ゲームを体感するワークショップ      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                               | ナッシュ均衡に関する例題と現実の事象解説                       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                               | ジレンマゲーム：囚人のジレンマとチキンゲーム、ナッシュ均衡とパレート最適       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                               | 協力と対立、繰り返しゲーム                              |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                               | 囚人のジレンマワークショップ：囚人のジレンマを体感するワークショップ         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                               | 交渉ゲーム：2人交渉問題、ナッシュ交渉解、交渉戦略                  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                              | 交渉ゲームワークショップ：交渉ゲームを体感するワークショップ             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                              | 協力ゲーム：基礎概念、個人合理性とパレート最適性、コアの概念、限界貢献度による解   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                              | 不確実な相手とのゲーム：情報不完備ゲーム、シグナリング・ゲームとモラル・ハザード   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                              | ゲーム理論総括と様々な交渉シーン、ゲーミング・シミュレーション            |      |    |     |     |         |    |        |    |

|    |                             |
|----|-----------------------------|
| 14 | ゲーミングシミュレーションワークショップ        |
| 15 | 進化ゲーム：進化ゲームの基礎と例示、ESS、協力の進化 |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>授業やワークショップへの参加に関する評価 60%</p> <p>期末試験 40%</p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>事前の資料のリーディング（60分程度）</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：プリントを適宜配布します</p> <p>参考文献：</p> <p>『図解で学ぶゲーム理論入門』</p> <p>天谷 研一（著）、日本能率協会マネジメントセンター、2011年</p> <p>『ゲーム理論・入門 新版--人間社会の理解のために』</p> <p>岡田 章（著）、有斐閣、2014年</p> |
| <p>7. 備考</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------|----|-----|-----|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                  | ファシリテーション |    |     |     |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2年次                                              | 配当<br>学期  | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 難波 美帆                                            |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| <p><u>ファシリテーションすなわち「促進」であるが、この授業では、会議、プロジェクト、コミュニティー形成をどのように促進することができるかをケースを通じて考え、基本的なスキルを学ぶ。</u></p> <p><u>ファシリテーションは、ビジネスでは会議の司会進行者と目されがちだが、本来は課題の探索、アジェンダ（検討課題）設定、場所の設定、参加者の招集、イベントの設計など、企画から実施まで多岐に及ぶ役割を担うことになる。これら課題解決の促進者としてのファシリテーターの役割を知り、理解し、簡単なイベントを企画実施できるようなスキルを身につける。</u></p> |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| <p><u>ファシリテーターの意義、必要性を理解した上で、ファシリテーターに期待される4つの基本的な役割「会議の場を創る」「意見を引き出し受け止める」「意見を整理し絞り込む」「コンセンサスが見える化する」を果たすためのスキルを習得し、それらを活用しながら、イベントやワークショップを進めることができる。</u></p>                                                                                                                            |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 内容                                               |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                          | オリエンテーション                                        |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの概要①<br>ファシリテーションの各段階                   |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの技術②<br>コミュニティーによる課題解決、場の創造             |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの概要③<br>ファシリテーターの役割と技術                  |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの技術①<br>モチベーションの探索、チームビルディング            |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの技術②<br>合意に向けた論点整理と記録、合意形成              |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの技術③<br>アイスブレイク、適切なグループサイズ              |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションの技術④<br>告知・参加者、賛同者の集め方、イベントと場所の意味       |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ファシリテーションとコミュニケーション①<br>非言語コミュニケーション             |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ファシリテーションとコミュニケーション②<br>言語コミュニケーション              |           |    |     |     |             |    |          |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ファシリテーション実践①<br>与えられたテーマ・シチュエーションでのファシリテーションを行う。 |           |    |     |     |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ファシリテーション実践②</u><br><u>与えられたテーマ・シチュエーションでのファシリテーションを行う。</u> |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ファシリテーション実践③</u><br><u>与えられたテーマ・シチュエーションでのファシリテーションを行う。</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <u>ファシリテーション実践④</u><br><u>与えられたテーマ・シチュエーションでのファシリテーションを行う。</u> |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | まとめと総括                                                         |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p><u>毎回授業への貢献（発表、発言、準備など）：20%</u></p> <p><u>毎回グループ学習への貢献（発表、発言、準備など）：20%</u></p> <p><u>最後のグループワークショップの内容：40%</u></p> <p><u>毎回授業の振り返りの提出：20%</u></p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p><u>グループでの準備が必要であり、指示された到達点までの準備が求められる。概ね、そのための調べ学習やディスカッション、発表準備作業に予習復習時間として各回1時間程度の学習時間を確保することが必要となる。</u></p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：<br/><u>『ワークショップー新しい学びと創造の場』</u><br/><u>中野 民夫（著）、岩波書店、2001年</u></p> <p>参考文献：<br/><u>『ファシリテーターの道具箱ー組織の問題解決に使えるパワーツール 49』</u><br/><u>森 時彦/ファシリテーターの道具研究会（著）、ダイヤモンド社、2008年</u></p> <p><u>『MAKE SPACE メイク・スペース スタンフォード大学dスクールが実践する創造性を最大化する「場」のつくり方』</u><br/><u>スコット・ドーリー（著）スコット・ウィットフト（著）イトーキ オフィス総合研究所（監修）</u><br/><u>藤原朝子（翻訳）、CCCメディアハウス、2012年</u></p> <p>7. 備考</p> |                                                                |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | フィンテック                                            |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 4 年次                                              | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 江端 浩人                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>金融（Finance）と技術（Technology）の造語である「FinTech（フィンテック）」について、その全体像および具体的なイノベーションやビジネスモデルについて解説する。</u>                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>本授業で扱う FinTech とは、「デジタル化」という大きな技術変化の流れの金融産業における一つの現れであり、また既存の金融産業の構造を変化させうるイノベーション群である。戦略論としての FinTech には、既存の金融産業の高度化という側面と、未知のベンチャー企業との競争と共存、さらに非金融機関による新規参入といった多様な論点が含まれている。これらの視点を踏まえた上で、そもそもの FinTech の発展経緯、成長過程を概観し、技術軸・時間軸によって FinTech の発展段階と、変わりゆく競争環境について概説する。あわせて金融産業特有の法律や規制などの課題や論点を整理し、諸外国での議論等を紹介しながら、日本の FinTech のあり方について検討、議論を通じて深めていきたい。</u> |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>FinTech や FinTech を扱う企業について理解するとともに、これを活用した経営戦略、新サービス、プロセス改革等について、具体的に立案することができるようにする。</u>                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | FinTech（フィンテック）の概要：FinTech の動向について、概観する           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 金融情報システムとリスクマネジメントの解説                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 資金調達と FinTech：企業の資金調達に関する FinTech について理解する        |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 企業会計と FinTech：企業会計に関する FinTech について理解する           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事例研究（企業会計）：企業会計に関する FinTech についての事例検討             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事例研究の討議（企業会計）：前回の事例研究をもとにディスカッションを行う              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事例研究（資金調達）：資金調達に関する FinTech についての事例検討             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事例研究の討議（資金調達）：前回の事例研究をもとにディスカッションを行う              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 事例研究（決済）：決済分野に関する FinTech についての事例検討               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 事例研究の討議（決済）：前回の事例研究をもとにディスカッションを行う                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | プロジェクト中間発表：グループの FinTech 活用プロジェクトを発表し、ディスカッションを行う |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | メガバンクの FinTech の対応：メガバンクの FinTech への対応について理解する    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 地域金融機関の FinTech への対応：地域金融機関の FinTech への対応について理解する |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 14 | プロジェクト最終発表：グループないし個人のプロジェクトを発表する |
| 15 | プロジェクトに関するディスカッションとまとめ           |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |     |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------|-----|--------|-----|-------------------|-----|-----------------------|-----|
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <table><tr><td>課題レポート（含む事例研究レポート）（5 回予定）</td><td>30%</td></tr><tr><td>最終レポート</td><td>20%</td></tr><tr><td>グループプロジェクトの発表と成果物</td><td>40%</td></tr><tr><td>講義への貢献度（発言、質疑等の参加度合い）</td><td>10%</td></tr></table>                                                                                                                                                                                             |     | 課題レポート（含む事例研究レポート）（5 回予定） | 30% | 最終レポート | 20% | グループプロジェクトの発表と成果物 | 40% | 講義への貢献度（発言、質疑等の参加度合い） | 10% |
| 課題レポート（含む事例研究レポート）（5 回予定）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 30% |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| 最終レポート                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 20% |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| グループプロジェクトの発表と成果物                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 40% |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| 講義への貢献度（発言、質疑等の参加度合い）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 10% |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>事前の資料のリーディング（60 分程度）</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |     |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：プリントを適宜配布します</div> <div>参考文献：<br/>『FinTech が中小企業にもたらす影響（政策金融公庫論集）』遠藤 正之（著）、2017 年 11 月号<br/><a href="https://www.ifc.go.jp/n/findings/pdf/ronbun1711_03.pdf">https://www.ifc.go.jp/n/findings/pdf/ronbun1711_03.pdf</a><br/>『金融情報システムのリスクマネジメント大規模開発から FinTech まで 6 観点（CORE-0Q）の戦略的活用』遠藤 正之（著）、日科技連出版社、2016 年<br/>『FinTech 入門』辻庸介（著）瀧俊雄（著）、日経 BP 社、2016 年<br/>『企業のためのフィンテック入門』小倉隆志（著）、幻冬舎、2017 年</div> |     |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |
| <div>7. 備考</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |     |                           |     |        |     |                   |     |                       |     |

削除

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | デザイン思考ワークショップ設計                                                |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4年次                                                            | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 難波 美帆                                                          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>ワークショップとはコミュニケーションを基盤に、参加者同士が協働しながら知識や技能を活用する参加型・体験型の学習の場のことである。本授業ではデザイン思考を用いて、コミュニケーションの場となるワークショップの設計について知識やスキルを習得する。デザイン思考がビジネスや社会課題の解決、組織改革、キャリア形成まで、広く応用され活用される背景からデザイン思考の要点を解説し、実際にデザイン思考のプロセスを踏みながら、デザイン思考と呼ばれる思考プロセスに沿ったワークショップが自分でも設計できるように学ぶ。基礎的なワークショップ設計の手法とデザイン思考で最も大切な課題意識の持ち方や課題設定能力の双方を重視する。</u> |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>デザイン思考と呼ばれ、世界中で活用されている思考プロセスの要旨を理解する。</u><br><u>自らの課題意識を、チームもしくは組織で取り組む課題定義にまで高めることができるようになる。</u><br><u>デザイン思考を活用したワークショップの設計について体験しながら、ワークショップ設計の基礎的な考え方を学ぶ</u>                                                                                                                                                  |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 内容                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>オリエンテーション</u>                                               |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方1</u><br><u>デザインの定義、考え方、デザインの力</u>            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方2</u><br><u>デザイン思考とは何か、デザイン思考によってもたらされる成果</u> |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方3</u><br><u>課題の発見、共有、アイディアの創出方法、コンセプトワーク</u>  |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方4</u><br><u>プロトタイピング、分析・ビジュアライゼーション</u>       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方5</u><br><u>ストーリーテリング</u>                     |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>デザイン思考の基本的な考え方6</u><br><u>ビジネスモデルとバリュープロポジション</u>           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>ワークショップ設計1</u><br><u>ワークショップのつくり方</u>                       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>ワークショップ設計2</u><br><u>課題意識の持ち方、課題設定能力</u>                    |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ワークショップ設計3</u><br><u>ワークショップをより効果的にするための考え方</u>     |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プログラムデザイン1</u><br><u>ワークショップの企画設計</u>               |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プログラムデザイン2</u><br><u>ワークショップの企画設計</u>               |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プログラムデザイン</u><br><u>企画設計したワークショップの実演と相互フィードバック①</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プログラムデザイン</u><br><u>企画設計したワークショップの実演と相互フィードバック②</u> |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ワークショップ設計</u>                                       |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div>授業・グループワークへの貢献 60%<br/>(予習・授業中の発表・グループワークでのリーダーシップ、役割の定義、チームへの貢献)<br/>各授業会の内容の理解 20%<br/>ワークショップ設計の理解 20%</div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div>予習（各回 30～60 分程度）<br/>・デザイン思考について、参考文献などを参考に、自分なりにまとめて授業に臨む。<br/>・自らの課題意識（社会やビジネスで、誰にどんな課題が存在しているか）をまとめて授業に臨む。<br/>復習（各回 30～60 分程度）<br/>・单元ごとに調査やディスカッションの課題に取り組む。（前半は個人ごと、後半はグループごと）<br/>・また、グループでコミュニケーションを取るためのツール（SNS など）を準備し参加する。</div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div>教科書：随時必要な資料を配布する。</div> <div>参考文献：以下、スタンフォード大学が作成した基礎的な文献となる。<br/>『デザイン思考のポケット・ガイド -pocket guide of design thinking』<br/><a href="https://designthinking.or.jp/index.php?pocket">https://designthinking.or.jp/index.php?pocket</a><br/>『デザイン思考 5つのステップ』<br/><a href="https://designthinking.or.jp/index.php?dt_text">https://designthinking.or.jp/index.php?dt_text</a><br/>『デザイン思考家が知っておくべき 39 のメソッド -the d.school bootcamp bootleg-』<br/><a href="https://designthinking.or.jp/index.php?39">https://designthinking.or.jp/index.php?39</a></div> <div>7. 備考</div> |                                                        |

削除

|                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                            | 開発マネジメント                                                                                    |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                            | 2年次                                                                                         | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                            | 桐谷 恵介                                                                                       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                         |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>ビジネス環境の変化が加速化する現在、非常設の目的達成型組織であるプロジェクトによる活動が増加している。本科目では、プロジェクトマネジメントの入門編として、プロジェクトという活動の特徴と、それをマネジメントする際の基礎的知識を体系的に学ぶ。後半では情報システム開発プロジェクトの特徴とマネジメントの勘所について事例を使いながら解説し、初歩的な情報システム開発のプロジェクト計画書が作成できるようにする。</u> |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                     |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>(1)プロジェクトのライフサイクルと運営のしくみを理解し、説明できる</u>                                                                                                                                                                       |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>(2)WBSをベースとしたシステム開発の計画書が作成できる</u>                                                                                                                                                                            |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>(3)クリティカルパスの概念を理解し、クリティカルパス分析ができる</u>                                                                                                                                                                        |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>(4)コスト、品質、リスク、調達など、それぞれに関するマネジメントについて理解し、説明できる</u>                                                                                                                                                           |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                         |                                                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                              | 内容                                                                                          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                               | <u>ガイダンス</u><br><u>プロジェクトのライフサイクル</u><br><u>プロジェクトという活動の概要と、プロジェクトのライフサイクルと運営のしくみを理解する。</u> |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                               | <u>管理の計測と基本 PDCA</u><br><u>プロジェクトのマネジメント技術の中核である、定量的な計測の大切さと PDCA について理解する。</u>             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクトの立ち上げプロセス</u><br><u>プロジェクトを立ち上げる際のリーダーの役割と、立ち上げの手順について理解する。</u>                    |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクトのタイムマネジメント</u><br><u>スケジュール管理を行なうための WBS をベースとした計画表の作成について理解する。</u>                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                               | <u>クリティカルパスの見つけ方と対応</u><br><u>クリティカルパスのロジックと、期間短縮の策について理解する。</u>                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクトのコストマネジメント</u><br><u>コスト計画の作成と、進捗把握の手法である EVM の考え方を理解する。</u>                       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクトの品質マネジメント</u><br><u>プロジェクトの品質目標の考え方から、目標設定とその実行評価までのプロセスを理解する。</u>                 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクトの組織マネジメント</u><br><u>プロジェクトにおける組織形成のしかた、ならびに「場」の大切さと、プロジェクトの中での人材育成について理解する。</u>    |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <u>プロジェクトのコミュニケーションマネジメント</u><br><u>プロジェクトにおける人と人の間のコミュニケーションの効果的なとりかたについて学習する。</u>                |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プロジェクトのリスクマネジメント</u><br><u>プロジェクトにおけるリスクの理解と、その対応のしかたについて理解する。</u>                              |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プロジェクトの調達マネジメント</u><br><u>プロジェクトにおける調達活動について、計画の立て方から契約と納入までのプロセスについて理解する。</u>                  |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>システム要求仕様書</u><br><u>プロジェクトの成果物を記述した要求仕様書について、その概要を理解する。</u><br><u>(システム要求仕様書提出・評価)</u>          |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>プロジェクト実施計画書の作成</u><br><u>本講義で学んできたプロジェクトマネジメントの知識を計画書に盛り込み、実際に活用できるようにする。(プロジェク実施ト計画書提出・評価)</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>まとめ①</u><br><u>全体のまとめとして、プロジェクトマネジメントの基本である、PDCA、コミュニケーション、能力発揮について掘り下げる。</u>                   |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>まとめ②</u><br><u>これまでの学習をもとに、プロジェクトの成功の確率を上げる工夫を検討する。</u>                                         |
| <div>4. 試験および成績評価の方法と基準</div> <div><u>各回ごとの提出物評価 (60%)、授業での参加姿勢等の平常点 (40%) を考慮し総合的に判断する。</u></div> <div>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</div> <div><u>各回ごとに出される提出課題（レポートなど）に取り組むこと。次回のテーマについての予習を行うこと（各回 30 分～1 時間程度）。</u></div> <div>6. 教科書／参考文献</div> <div><u>教科書：毎回、必要な資料を配布する。</u></div> <div><u>参考文献：</u><br/><u>『プロジェクトマネジメントの基本 この1冊ですべてわかる』</u><br/><u>好川 哲人(著)、日本実業出版社、2016 年</u></div> <div>7. 備考</div> |                                                                                                    |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ソフトウェアプロセスと品質                                                                        |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 3年次                                                                                  | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 寺脇 由紀                                                                                |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>ソフトウェアライフサイクルの主要工程、進化と保守、ソフトウェア品質の概念とテスト技法、管理方法、および、ソフトウェアプロセスの概念とその改善手法を学ぶ。具体的には、ソフトウェアのもつ独特の性質、ソフトウェア開発のライフサイクルモデル、および、品質の概念についてソフトウェア工学、および、ソフトウェア開発の発展の歴史を通して学ぶ。歴史や概念をはっきりと定義した上で、ソフトウェア品質に関する現行規格に対して理解を深め、事例・例題、さらには、現場・現在の問題を通じてソフトウェア品質保証の技法を生きたノウハウにしていく（客観的事実、一般的見解と区別できる力を養う）。「測れないものは制御できない：DeMarco（1982）」という言葉のとおり計測はあらゆる管理の基本である。このため本講義では品質管理の技法についても学ぶ。</u> |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <u>ソフトウェアのもつ独特の性質に着目し、それを作るプロセスや手法を学ぶ。さらには、ソフトウェア品質に対する変遷を学び、高品質なソフトウェアを開発するための考え方を説明できるようになり、各種技法を使えるようになる。</u>                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 内容                                                                                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>イントロダクション：オリエンテーションを行い、ソフトウェアおよび、ソフトウェア開発における諸問題について理解する</u>                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>ソフトウェアの開発工程：提唱されているさまざまなソフトウェア開発モデルを解説する工程について説明する</u>                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>品質の概念：品質の定義および品質の考え方の変遷について学ぶ</u>                                                 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>ソフトウェア品質（1）：ソフトウェアの品質に対する考え方の変遷を学ぶ</u>                                            |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>ソフトウェア品質（2）：ソフトウェア品質モデル、品質特性、ソフトウェア開発プロセスと品質を標準規格を元に理解する</u>                      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>品質保証の考え方：品質保証の定義を認識し、ISOにおけるソフトウェア品質保証規格、日本的品質保証の特徴を通じて、ソフトウェア品質保証の考え方を理解する</u>   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>検査：検査のあり方およびソフトウェア品質保証の組織と体系について理解する</u>                                          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>ソフトウェア開発と品質保証の方法：開発プロジェクトの失敗の原因を認識し、失敗をさけるための開発計画書・構造評価指標といった高品質設計の要点について理解する</u> |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <u>デザインレビューとドキュメント検査：デザインレビューとドキュメント検査について学び、そこで起こる諸問題について考察する</u>                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <u>テストと品質管理：不良予測と目標値管理について認識し、不良摘出状況管理図を用いたテスト工程の不良分析について理解する</u>                    |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>フィールド保証：フィールド保証活動、稼働品質管理と尺度、再発防止策について学ぶ</u>                       |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>品質検査・評価の主要技術（1）：レビュー技術、テスト技術について理解し、外部仕様テストの技法や内部仕様テストの技法をを学ぶ</u> |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>品質検査・評価の主要技術（2）：品質評価技術の動向を説明し、信頼性予測技術や不良分類の方法を学ぶ</u>              |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>品質管理技法の活用：QCの7つ道具およびOR手法について説明する</u>                              |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <u>総括：学んだ内容を総括し総合解説を行う</u>                                           |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p><u>授業中に行う課題（30%）、授業への取り組み態度（20%）、定期試験（50%）として評価する。</u></p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p><u>授業における資料、参考文献を用いて授業後復習を行う。</u></p> <p><u>課題については授業内で演習時間を十分に確保できないため授業外で課題を完了させ提出する。（各回 30～60 分程度）</u></p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p><u>教科書：教員の作成する教材で進める。</u></p> <p><u>参考文献：</u></p> <p><u>『ソフトウェア品質知識体系ガイドーSQuBOK Guide（第2版）』</u></p> <p><u>SQuBOK 策定部会（編集）、オーム社、2014 年</u></p> |                                                                      |
| 7. 備考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                      |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                | 情報システムの失敗と分析 |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 3 年次                                                                                                                           | 配当<br>学期     | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択<br>の別 | 選択 | 授業<br>形態 | 講義 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 平山 敏弘                                                                                                                          |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>情報システムは我々の生活を支える社会インフラの一部として存在するものとなっています。また企業においては以前の業務の効率化目的だけでなく、「攻めの ICT」として経営戦略を支援するツールとして利活用されています。そのような今日、情報システムプロジェクトが成功裏にサービス開始できなかったり、サービス開始後に正しく動かない場合には、社会に大きな影響を与えたり、情報漏洩により市民生活を脅かすものとなる場合もあります。またプロジェクトの失敗により数百億円単位での訴訟も発生するなど、当事者にとっては企業の存続を左右するケースもありえます。</p> <p>当講義では、過去の情報システムの失敗例や大規模障害事例などを通じて、失敗の原因について深く洞察し、失敗から教訓を得ることで、成功のために何を注意しなければならないかについて学びます。また失敗例だけでなく、教員自らが経験した社会やビジネスモデルの変革に影響を与えた情報システム事例などを通じて、情報システムの成功が、社会や一般市民に対して影響を与えると共に、そのような仕事ができる可能性がある職業であることの理解を深めます。</p> |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
| <p>情報システムの失敗と成功の事例を通じて下記の点について理解することを目標としています。</p> <p>(1) 情報システムの開発・構築を行う際には、大きく三つのリスクがあることを理解する</p> <p>(2) プロジェクトの失敗事例を学び、分析することで、成功に導くために必要な検討項目を理解する</p> <p>(3) 成功事例を学ぶことで成功の要因を理解する</p> <p>また当講義は、情報システムの失敗や成功の分析に止まらず、情報システム関連の仕事が、社会やビジネスモデルの変化に大きな影響を与えることができる仕事であること理解することで、履修生が自身の職業観を考えることも目的としています。</p>                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 内容                                                                                                                             |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 情報システムトラブル三大リスク<br>情報システムのトラブルとなる三大リスク（システム開発失敗、セキュリティ、システムダウン）とは、どのようなものであるかについて学びます。                                         |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 大規模システム開発における失敗<br>金融や製造などの各業種の大手企業における、大規模プロジェクトの失敗事例を学び、なぜ開発が遅れたのか、稼働直後のトラブルがなぜ起きたかなどを検証します。                                 |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | パッケージ・ソフトウェア導入プロジェクトにおける失敗<br>オフィス・ソフトウェアや基幹業務パッケージなどのソフトウェア製品に不具合があり、トラブルに巻き込まれた事例や製品仕様にこだわりすぎたための失敗事例について学びます。               |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 世界各国での失敗事例<br>海外では、オンライン証券会社、オークション会社など、インターネット関連ビジネス事例については、日本以上に進んでいるケースも多いため、失敗事例も多く存在します。それらの海外におけるインターネット関連システムの失敗例を学びます。 |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 演習 1<br>第 2 回から 4 回までに学んだシステム開発の失敗がなぜ発生したのかについてチームで議論する演習を行ないます。                                                               |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 発表<br>失敗原因についての検討結果を発表します。                                                                                                     |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | システム開発プロジェクトにおける要件定義工程の重要性<br>システム開発プロジェクトが失敗した際の多くの原因は要件定義にあると言われていま<br>す。なぜ要件定義が重要なのかについて学びます。                               |              |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 終わらないシステム統合<br>ビジネス環境が厳しくなる中、企業の統廃合が行なわれるケースが増加しています。しか<br>し、その際のシステム統合プロジェクトの失敗も多く、いつまでもプロジェクトが終了しない                          |              |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                            |                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                            | 事例などが発生しています。なぜシステム統合が難しいのかについて事例を通じて学びます。                                                                                                                   |
| 9                                                                                                                          | <u>停止する大規模システム</u><br>社会の ICT 依存が増す中、情報システムの機能やシステム連携の複雑度が年々増しています。複雑度が上がることによる、予期せぬ大規模なシステムダウンのリスクについて学びます。                                                 |
| 10                                                                                                                         | <u>事業継続とリスク管理</u><br>情報システムの障害は、事業の継続を妨げる大きな要因になります。万一の際に発生する可能性のあるリスクを管理し、事業が継続できる情報システムを構築する際に必要な検討項目について学びます。                                             |
| 11                                                                                                                         | <u>システムの不具合を引き起こすサイバー攻撃</u><br>不具合やハードウェアの故障以外の要因として、サイバー攻撃やセキュリティ脆弱性関係のトラブルが大きなリスクとなりつつあります。サイバー攻撃によってシステム障害に陥った事例を学び、セキュリティ対策における注意点を理解します。                |
| 12                                                                                                                         | <u>セキュリティ被害からのシステム停止と損害</u><br>セキュリティ被害の増加は、ユーザの要求に従ってシステムを構築しただけでは不十分な時代に突入して来ています。セキュリティ脅威が企業活動にどの程度の影響を与えるのかについて事例を通じて学び、非機能要件としてセキュリティを検討する必要性について理解します。 |
| 13                                                                                                                         | <u>ICT 戦略事例（1）</u><br>教員が経験したビジネスモデル変革事例を学び、今後の ICT 化戦略を考える上でのヒントを得ます。I T 戦略事例（1）では、現金社会からクレジット社会という物理市場から仮想化市場への変化が社会や人々の生活にどのような影響を与えたかについて学びます。           |
| 14                                                                                                                         | <u>ICT 戦略事例（2）</u><br>インターネットの発展により、商流や物流の変化を企業戦略に取り込むことで大きく発展した企業事例を学びます。                                                                                   |
| 15                                                                                                                         | <u>情報システムの失敗に学ぶ成功へのヒント</u><br>情報システムの失敗と成功の両面を学んだ点を振り返り、情報システムプロジェクト時に考慮すべき項目についての理解を定着させます。また ICT に関連した職業がいかに社会に役立つ仕事であるかの理解も深めます。                          |
| 4. 試験および成績評価の方法と基準                                                                                                         |                                                                                                                                                              |
| <u>（1）試験・テストについて</u><br>定期試験を実施します。                                                                                        |                                                                                                                                                              |
| <u>（2）試験以外の評価方法</u><br>講義時に提出する授業内容確認小レポートによる評価をします。                                                                       |                                                                                                                                                              |
| <u>（3）成績の配分・評価基準等</u><br>定期試験の評価に加え、毎回の授業時に提出する小レポートおよび演習発表などの授業への貢献度を総合的に判断して評価します。<br>(定期試験 70%, 小レポート 20%, 授業への貢献度 10%) |                                                                                                                                                              |
| 5. 準備学習（予習・復習、課題等）                                                                                                         |                                                                                                                                                              |
| <u>予習）</u><br>次回講義内容について、インターネットや参考資料などを利用して、事例などについて事前に自身でも調査しておくこと。(標準学習時間：1 時間)                                         |                                                                                                                                                              |
| <u>復習）</u><br>講義内容を復習して、確認しておくこと。また演習作業の講義後には、次回講義時に発表できるための資料準備。(標準学習時間：1 時間)                                             |                                                                                                                                                              |
| 6. 教科書／参考文献                                                                                                                |                                                                                                                                                              |
| 教科書：必要な資料については、講義時に配布する資料を使用します。                                                                                           |                                                                                                                                                              |
| 参考文献：<br>『動かないコンピュータ ～情報システムに見る失敗の研究～』<br>日経コンピュータ、日経 B P 社、2002 年                                                         |                                                                                                                                                              |
| 7. 備考                                                                                                                      |                                                                                                                                                              |

削除

|                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|-----|------|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                             | IoT II                                                                                                        |      |    |     |      |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                             | 4 年次                                                                                                          | 配当学期 | 前期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                             | ◎鎌谷 修、Adrian David Cheok                                                                                      |      |    |     |      |         |    | 共同担当   |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>少人数グループ毎に、実際の社会課題及びサービス事例の調査を行い、新たな IoT サービス事例の検討を行う。検討結果から、ユースケースの議論及び、要求条件の明確化を行い、ソフトウェア設計書を作成する。国際標準に準拠した IoT システムを実際に構築し、基本的な動作検証を行う。グループ毎に動作検証結果の中間報告を行い、改善点について議論し、ソフトウェア設計書の改訂を行う。最終的に得られた IoT サービスの検証を行い、グループ毎に最終報告を行い、演習全体を総括する。</u> |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| <u>社会課題を解決するための IoT サービス検討、ユースケース及び要求条件検討を通じた、IoT アーキテクチャ全体像の実践的な理解と、演習による実際の動作実証。IoT サービス導入までのプロジェクト管理と進捗確認によるフィードバックを演習を通じ、実践的なプロジェクトマネジメントスキルを習得する。</u>                                                                                       |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                               | 内容                                                                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                | <u>講義の概要と目的、演習の進め方、演習で必要とされる基本技術について説明を行う。演習で利用するリソース(ハードウェア等)の動作確認と、必要なオペレーションシステム、仮想マシンのインストール、動作確認を行う。</u> |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                | <u>演習に必要な各種ソフトウェアについて説明を行い、基本動作の検証を行う。</u>                                                                    |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                | <u>実際の社会課題、IoT サービス事例の調査について、調査方法の説明、事例の紹介を行い、演習を行う。</u>                                                      |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                | <u>新たな IoT サービス事例の検討について、演習を行う。</u>                                                                           |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                | <u>ユースケース及び要求条件の明確化について、演習を行う。</u>                                                                            |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                | <u>検討した新 IoT サービスの基本動作検証のためのプロジェクト計画を検討、中間発表向けの資料作成を行う。</u>                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プロジェクト計画についての、中間発表会を実施する。</u>                                                                              |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プロジェクト計画の修正を適宜検討し、実施する。</u>                                                                                |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                | <u>プロジェクト計画における、要件定義検討、必要となる IoT ソフトウェア仕様の検討について、演習を行う。</u>                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア開発について、演習を行う。</u>                                                                   |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクト計画における、IoT ソフトウェア連携動作について、演習を行う。</u>                                                                 |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                               | <u>IoT サービスの評価を実施し、IoT ソフトウェア仕様の修正を適宜検討し実施する。</u>                                                             |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                               | <u>修正した IoT ソフトウェアの動作検証を行い、IoT サービス評価を実施する。</u>                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                               | <u>プロジェクト計画における評価結果について取りまとめ、発表会向けの資料作成を行う。</u>                                                               |      |    |     |      |         |    |        |    |

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 15 | <u>サービス評価結果についての発表会を実施する。</u> |
|----|-------------------------------|

4. 試験および成績評価の方法と基準

レポート（2回）60%＋発表会における討論 40%

5. 準備学習（予習・復習、課題等）

演習に必要な情報については別途提示する

演習期間中にレポート提出を行う（2回）

6. 教科書／参考文献

教科書：演習等必要な資料を別途配布する

参考文献：

『俯瞰図から見える IoT で激変する日本型製造業ビジネスモデル』

大野 治(著)、日刊工業新聞社、2016 年

『大胆予測！IoT が生み出すモノづくり市場 2025』

井熊 均、木通 秀樹（著）、日刊工業新聞社、2018 年

The IoT-European Platforms Initiative

URL

<https://iot-epi.eu/>

<https://iot-epi.eu/wp-content/uploads/2018/07/Advancing-IoT-Platform-Interoperability-2018-IoT-EPI.pdf>

7. 備考

削除

| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                       | 情報セキュリティ演習Ⅲ |    |     |      |             |    | 職業専門科目   |    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----|-----|------|-------------|----|----------|----|
| 配当<br>年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 3 年次                                                                                                                                  | 配当<br>学期    | 後期 | 単位数 | 2 単位 | 必修・選択の<br>別 | 選択 | 授業形<br>態 | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 平山 敏弘                                                                                                                                 |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| <u>ICT 利用を中心として高度な先進技術の導入であらゆる課題が解決されていく、ソサエティ 5.0（超スマート社会）時代の実現が叫ばれる中、多くの企業において業務を支える情報システムの重要性が益々高まっている。その様な環境の中、現代社会において事業を継続する上で安心安全な情報システムを設計開発することは、企業の大きな命題となる。</u><br>当講義では取り扱う情報の価値が年々高まり、さらに重要性が高まっている情報システムをセキュリティの観点から見直し、セキュア（安心・安全）なシステムデザインを演習形式で検討しながら実施することで、情報システムの設計（デザイン）能力の基礎を身につける。本授業では、実際のサーバ構築は実施しないが、システム設計や構成図作成などチーム単位で実施する演習形式をとる。 |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 当講義では取り扱う情報の価値が年々高まり、さらに重要性が高まっている情報システムをセキュリティの観点から見直し、セキュアなシステムデザインをチームで検討しながら実施することで、以下の項目ができることを目標としている。                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| (1) システムアーキテクチャの視点より、情報システムの設計（デザイン）能力の基礎が身につく                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| (2) セキュリティの観点よりシステムを見直し、セキュアシステムデザイン手法の基礎が身につく                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| (3) 設計したシステムを説明することにより、プレゼンテーション能力が身につく                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 授業の進め方は、ユースケースやUMLモデリングなどのシステム要求分析の基礎から始まり、システムアーキテクチャ設計を理解して、簡単なシステムデザインおよび構成ができることを目指す。後半は、作成した情報システム構成について、セキュリティの観点から見直し、セキュアシステムデザイン手法の基礎を学び、理解する。                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                       |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 内容                                                                                                                                    |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>オリエンテーション，チーム編成</u><br>実際のプロジェクトでも実践される「要求分析」から「論理設計」「物理設計」と、その後セキュリティ強化を行なうための「セキュアシステムデザイン」という各フェーズの概要説明と次回以降の演習を進める上でのチーム編成を行う。 |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>講義 要求分析（機能要求・非機能要求）概要</u><br>プロジェクトで重要である要求分析において、機能要求とは何か、非機能要求とは機能要求と何が違うのかについて学ぶ。                                               |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>演習 仮想プロジェクトの設定</u><br>今後演習進める上で必要な、想定するケースについて、各チームで仮想のプロジェクトを設定して、ケース内容を検討する。                                                     |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>発表 仮想プロジェクト</u><br>自チームが今後検討を進める仮想プロジェクト内容について発表する。                                                                                |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>講義 ユースケース・UML 概要</u><br>システムデザインを検討するうえで必要なユースケースや、UML について学び、次回以降の講義でできるように理解する。                                                  |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>講義 アーキテクチャ設計概要 1（論理設計）</u><br>論理設計を実施する際に用いられるコンポーネントモデル設計の手法を学ぶ。                                                                  |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>演習 論理設計図</u><br>第 6 回で学んだコンポーネントモデルの設計手法を利用して、仮想プロジェクトシステムの論理設計を行う。                                                                |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>講義 アーキテクチャ設計概要 2（物理設計）</u><br>物理設計を実施する際に用いられるフィジカルレベルのオペレーショナルモデル設計の手法を学ぶ。                                                        |             |    |     |      |             |    |          |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <u>演習 物理システム設計</u><br>第 8 回で学んだフィジカルレベルのオペレーショナルモデルの設計手法を利用して、仮想プロジェクト                                                                |             |    |     |      |             |    |          |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <u>システムの物理設計を行う。</u>                                                                                                    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>発表 システム構成</u><br><u>物理設計より作成した、各チームの仮想プロジェクトのシステム構成を発表する。</u>                                                        |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>講義 セキュアシステム分析手法</u><br><u>システムの脆弱性診断を行なうセキュリティコンサルティング手法の概説を学ぶ。</u>                                                  |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>演習 セキュアシステムデザイン（仮想プロジェクト）</u><br><u>自分たちが作成した仮想プロジェクトシステムのセキュリティ脆弱性診断を実施し、必要なセキュリティ対策製品などを追加したシステムデザインを実施する。</u>     |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>演習 他チームシステムのセキュリティ脆弱性診断</u><br><u>第 12 回で作成したセキュアシステムデザインについて、他チームと交換して、セキュリティの脆弱性がないかを診断し、その結果を該当チームへフィードバックする。</u> |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>演習 セキュアシステムデザイン完成版作成</u><br><u>第 13 回講義で他チームより指摘を受けた内容を反映して、より強化なセキュリティを実現した仮想プロジェクトシステムの完成版を作成する。</u>               |
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <u>最終発表 各チームからの発表</u><br><u>最終的なシステムデザインと設計した際の考慮点や講義の中での学びなどについてのプレゼンテーションを実施する。</u>                                   |
| <b>4. 試験および成績評価の方法と基準</b><br>(1) 試験・テストについて<br><u>レポート形式での論述試験を実施。</u><br><br>(2) 試験以外の評価方法<br>・講義時に提出する演習資料と発表評価<br>・授業時の貢献度（毎回の講義時に提出する小レポートなどにより判断）<br><br>(3) 成績の配分・評価基準等<br><u>試験の評価に加え、授業時作成資料・発表内容および授業への貢献度を総合的に判断して評価する。</u><br><u>（試験 50％，授業内での発表(3 回)および成果物 30％，授業への貢献度 20％）</u>                       |                                                                                                                         |
| <b>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</b><br><u>演習成果を発表することになるため、チームおよび個人での演習資料作成など、約 2 時間程度の講義時間以外の予習復習が必要。</u><br><u>復習）</u><br><u>講義内で実施した演習について、講義時間内で終了しない内容の継続検討および、演習結果資料のまとめを行なっておくこと。（標準学習時間：1 時間）</u><br><u>予習）</u><br><u>次回講義にプレゼンテーション実施できるため発表資料の準備。次回講義時の場合には講義内で使用される言葉の内容を調べておくなどの事前調査を行なっておくこと。（標準学習時間：1 時間）</u> |                                                                                                                         |
| <b>6. 教科書／参考文献</b><br><u>教科書：必要な資料については、講義時に配布する資料を使用。</u><br><u>参考文献：</u><br><u>『ゼロからわかる UML 超入門改訂 2 版 はじめてのモデリング』</u><br><u>河合 昭男(著)、技術評論社、2017 年</u><br><u>『IT アーキテクト 最強の指南書』</u><br><u>日経 SYSTEMS(編)、日経 BP 社、2016 年</u>                                                                                       |                                                                                                                         |
| <b>7. 備考</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                         |

削除



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------|----|-----|-----|---------|----|--------|----|
| 授業科目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ネットワーク構築Ⅳ                                                   |      |    |     |     |         |    | 職業専門科目 |    |
| 配当年次                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 3年次                                                         | 配当学期 | 後期 | 単位数 | 2単位 | 必修・選択の別 | 選択 | 授業形態   | 演習 |
| 担当教員                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 山内 正人                                                       |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1. 授業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>安全にネットワークを構築し運用するためには、セキュリティの考慮された設計となっており、また計測監視から障害や不審な通信を早期発見し修正や対策を行える必要がある。本演習ではシステム等への攻撃時に発生する通信等について確認するとともにその計測技術や対策技術、防御方法などについて実践的に学ぶ。演習の前半では主にペネトレーションテストやペネトレーションテストで用いる攻撃ツールの検証を通して対策技術や防御方法について考察する。演習の後半では主に無線ネットワークを対象とした攻撃方法や攻撃ツールの検証を通してその対策技術や防御方法について考察する。防御方法を考察することで必ずしも技術的な側面に囚われない幅広い側面から考える実践力を養う。</p> |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2. 授業の目的、目標                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| <p>安全に配慮されたネットワークとするため不審な通信の発見、対策の実践的なスキル習得を目的とする。ネットワークやシステムへの基本的な攻撃方法について理解し、その対策について説明できることを目標とする。</p>                                                                                                                                                                                                                          |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3. 授業計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 回数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 内容                                                          |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ネットワークの状態を確認するコマンドや可視化ツールの使用方法について学ぶ)      |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ペネトレーションテストについて学ぶ)                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ペネトレーションテストについて学ぶ)                         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ペネトレーションテストや攻撃ツールの検証を行う)                   |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ペネトレーションテストや攻撃ツールに対する防御方法について考察する)         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(ペネトレーションテストや攻撃ツールに対する防御方法について考察する)         |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(演習成果についてまとめる)                              |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ネットワークシステム攻撃防御演習(演習成果について発表する)                              |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 無線LANネットワークセキュリティ演習(無線ネットワークの状態を確認するコマンドや可視化ツールの使用方法について学ぶ) |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 無線LANネットワークセキュリティ演習(無線ネットワークに対する攻撃ツールを検証する)                 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 無線LANネットワークセキュリティ演習(無線ネットワークに対する攻撃ツールを検証する)                 |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 無線LANネットワークセキュリティ演習(無線ネットワークへの攻撃に対する防御方法について考察する)           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 13                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 無線LANネットワークセキュリティ演習(無線ネットワークへの攻撃に対する防御方法について考察する)           |      |    |     |     |         |    |        |    |
| 14                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 無線LANネットワークセキュリティ演習(演習成果についてまとめる)                           |      |    |     |     |         |    |        |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 無線LANネットワークセキュリティ演習(演習成果について発表する) |
| <p>4. 試験および成績評価の方法と基準</p> <p>演習課題および期末試験(80%)と、演習への取り組み(20%)で評価する。</p> <p>5. 準備学習（予習・復習、課題等）</p> <p>授業における資料や教材を用いて予習・復習を行う。</p> <p>また演習課題については授業外の時間も活用し課題を完了させること。</p> <p>(あわせて各回 30～60 分程度)</p> <p>6. 教科書／参考文献</p> <p>教科書：適宜プリント配布やオンライン教材を用いる</p> <p>参考文献：</p> <p>『サイバーセキュリティテスト完全ガイド 〜Kali Linux によるペネトレーションテスト〜』</p> <p>Peter Kim(著)、マイナビ出版、2016 年</p> <p>7. 備考</p> |                                   |

## 別紙 6

※ 安全上の観点により図面は省略いたします。

①教室等レイアウト図

2F 平面図

2F 研究室例



## 情報経営イノベーション専門職大学設置に係る図書等資料購入計画

開設前年次

【図書】

| 区 分     | 内 国   |            | 外 国 |           | 合 計   |            |
|---------|-------|------------|-----|-----------|-------|------------|
|         | 冊 数   | 計          | 冊 数 | 計         | 冊 数   | 金 額 計      |
| 一般図書    | 650   | 1,677,700  | 119 | 1,192,697 | 769   | 2,870,397  |
| 専門図書    | 4,458 | 12,459,401 | 669 | 6,483,908 | 5,127 | 18,943,309 |
| 小 計     | 5,108 | 14,137,101 | 788 | 7,676,605 | 5,896 | 21,813,706 |
| 電 子 書 籍 | 1,000 | 5,757,000  |     |           | 1,000 | 5,757,000  |
| 合 計     | 6,108 | 19,894,101 | 788 | 7,676,605 | 6,896 | 27,570,706 |

【学術雑誌】

|               | 内 国 |         | 外 国 |           | 合 計 |           |
|---------------|-----|---------|-----|-----------|-----|-----------|
|               | 種   | 計       | 種   | 計         | 種   | 金額        |
| 新 刊           | 28  | 547,165 | 2   | 455,400   | 30  | 1,002,565 |
| 電 子 ジ ャ ー ナ ル |     |         | 8   | 2,545,600 | 8   | 2,545,600 |
| 計             | 28  | 547,165 | 10  | 3,001,000 | 38  | 3,548,165 |

【オンラインデータベース】

|             | 内 国 |           | 外 国 |   | 合 計 |           |
|-------------|-----|-----------|-----|---|-----|-----------|
|             | 点   | 計         | 点   | 計 | 点   | 金 額       |
| オンラインデータベース | 4   | 1,602,000 |     |   | 4   | 1,602,000 |
| 合 計         | 4   | 1,602,000 | 0   | 0 | 4   | 1,602,000 |

【図書、学術雑誌、オンラインデータベース、DVD・ビデオ 合計】

|             |       |            |     |            |       |            |
|-------------|-------|------------|-----|------------|-------|------------|
| 図 書         | 6,108 | 19,894,101 | 788 | 7,676,605  | 6,896 | 27,570,706 |
| 学 術 雑 誌     | 28    | 547,165    | 10  | 3,001,000  | 38    | 3,548,165  |
| デ ー タ ベ ー ス | 4     | 1,602,000  | 0   | 0          | 4     | 1,602,000  |
| 合 計         |       | 22,043,266 |     | 10,677,605 |       | 32,720,871 |

## 情報経営イノベーション専門職大学設置に係る図書等資料購入計画

1年次

【図書】

| 区 分     | 内 国   |            | 外 国 |           | 合 計   |            |
|---------|-------|------------|-----|-----------|-------|------------|
|         | 冊 数   | 計          | 冊 数 | 計         | 冊 数   | 金 額 計      |
| 一 般 図 書 |       |            |     |           | 0     | 0          |
| 専 門 図 書 | 2,053 | 5,790,086  | 228 | 2,304,220 | 2,281 | 8,094,306  |
| 小 計     | 2,053 | 5,790,086  | 228 | 2,304,220 | 2,281 | 8,094,306  |
| 電 子 書 籍 | 1,000 | 5,828,360  |     |           | 1,000 | 5,828,360  |
| 合 計     | 3,053 | 11,618,446 | 228 | 2,304,220 | 3,281 | 13,922,666 |

【学術雑誌】

|               | 内 国 |   | 外 国 |   | 合 計 |     |
|---------------|-----|---|-----|---|-----|-----|
|               | 種   | 計 | 種   | 計 | 種   | 金 額 |
| 新 刊           |     |   |     |   |     | 0   |
| 電 子 ジ ャ ー ナ ル |     |   |     |   |     | 0   |
| 計             | 0   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0   |

【オンラインデータベース】

|             | 内 国 |   | 外 国 |   | 合 計 |     |
|-------------|-----|---|-----|---|-----|-----|
|             | 点   | 計 | 点   | 計 | 点   | 金 額 |
| オンラインデータベース |     |   |     |   | 0   | 0   |
| 合 計         | 4   | 0 | 0   | 0 | 0   | 0   |

【図書、学術雑誌、オンラインデータベース、DVD・ビデオ 合計】

|             |       |            |     |           |       |            |
|-------------|-------|------------|-----|-----------|-------|------------|
| 図 書         | 3,053 | 11,618,446 | 228 | 2,304,220 | 3,281 | 13,922,666 |
| 学 術 雑 誌     | 0     | 0          | 0   | 0         | 0     | 0          |
| デ ー タ ベ ー ス | 4     | 0          | 0   | 0         | 0     | 0          |
| 合 計         |       | 11,618,446 |     | 2,304,220 |       | 13,922,666 |

【和書】一般図書

| 科目区分 | 書名詳細                                      | 出版社              | 価格    |
|------|-------------------------------------------|------------------|-------|
| 一般   | いま、哲学が始まる。：明大文学部からの挑戦（明治大学リバティブックス）       | 明治大学出版会          | 2,400 |
| 一般   | なぜ世界は存在しないのか（講談社選書メチエ 666）                | 講談社              | 1,850 |
| 一般   | 哲学の奇妙な書棚：バズル・パラドックス、なぞなどへんてこ話             | 共立出版             | 2,400 |
| 一般   | 「論理」を分析する（岩波現代全書 111）                     | 岩波書店             | 1,900 |
| 一般   | 「東洋」哲学の根本問題：あるいは井筒俊彦（講談社選書メチエ 668）        | 講談社              | 1,800 |
| 一般   | メルロ＝ポンティ読本                                | 法政大学出版局          | 3,600 |
| 一般   | 「おいしさ」の錯覚：最新科学でわかった、美味の真実                 | KADOKAWA         | 1,800 |
| 一般   | 風味は不思議：多感覚と「おいしい」の科学                      | 原書房              | 2,200 |
| 一般   | 世界で最も美しい問題解決法：賢く生きるための行動経済学、正しく判断するための統計学 | 青土社              | 2,600 |
| 一般   | ラカン哲学：哲学の実践としての精神分析（講談社選書メチエ 671）         | 講談社              | 1,750 |
| 一般   | 自分を変えれば人生が変わる：あなたを困らせる10の（性格の癖）           | 金剛出版             | 3,200 |
| 一般   | 進化するマインドフルネス：ウェルビーイングへと続く道                | 創元社              | 2,000 |
| 一般   | 友情の哲学：緩いつながりの思想                           | 作品社              | 1,800 |
| 一般   | 幸せの鍵が見つかる世界の美しいことば：Inspirational Sayings  | 創元社              | 1,600 |
| 一般   | 宗教と資本主義・国家：激動する世界と宗教                      | KADOKAWA         | 1,600 |
| 一般   | 宗教と暴力（激動する世界と宗教）                          | KADOKAWA         | 1,600 |
| 一般   | 人は「死後の世界」をどう考えてきたか                        | KADOKAWA         | 1,800 |
| 一般   | 年表でわかる現代の社会と宗教                            | 平凡社              | 1,600 |
| 一般   | 「靈魂」を探して                                  | KADOKAWA         | 1,600 |
| 一般   | はじまりが見える世界の神話                             | 創元社              | 1,700 |
| 一般   | 世界昆虫神話                                    | 八坂書房             | 2,800 |
| 一般   | 女神信仰と日本神話                                 | 青土社              | 2,000 |
| 一般   | 図説ケルト神話伝説物語                               | 原書房              | 2,800 |
| 一般   | ギリシア神話の光と影：アキレウスとオデュッセウス                  | 青土社              | 2,300 |
| 一般   | クルアーン入門                                   | 作品社              | 2,700 |
| 一般   | 日本の神様解剖図鑑：八百万の神々の起源・性格とご利益がマルわかり          | エクスナレッジ          | 1,600 |
| 一般   | 古代の神社と神職：神をまつる人びと（歴史文化ライブラリー 467）         | 吉川弘文館            | 1,700 |
| 一般   | 神学の技法：キリスト教は役に立つ                          | 平凡社              | 2,400 |
| 一般   | 帝国の最期の日々：上                                | 原書房              | 2,200 |
| 一般   | 帝国の最期の日々：下                                | 原書房              | 2,200 |
| 一般   | 失敗だらけの人類史：英雄たちの残念な決断（NATIONAL GEOGRAPHIC） | 日経ナショナルジオグラフィック社 | 2,600 |
| 一般   | 教養のグローバル・ヒストリー：大人のための世界史入門                | ミネルヴァ書房          | 2,500 |
| 一般   | 逆転の世界史：覇権争奪の5000年                         | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 一般   | 馬・車輪・言語：文明はどこで誕生したのか：上                    | 筑摩書房             | 2,900 |
| 一般   | 馬・車輪・言語：文明はどこで誕生したのか：下                    | 筑摩書房             | 3,000 |
| 一般   | 日本史モノ事典：続 新版                              | 平凡社              | 2,800 |
| 一般   | 日記で読む日本史：9 平安期日記文学総説                      | 臨川書店             | 3,000 |
| 一般   | 日記で読む日本史：16 徳川日本のナショナル・ライブラリー             | 臨川書店             | 3,500 |
| 一般   | 文学で読む日本の歴史：古典文学篇                          | 山川出版社            | 1,800 |
| 一般   | 文学で読む日本の歴史：中世社会篇                          | 山川出版社            | 2,000 |
| 一般   | 文学で読む日本の歴史：戦国社会篇 応仁の乱ー秀吉・家康               | 山川出版社            | 2,000 |
| 一般   | 国宝「火焔型土器」の世界 笹山遺跡（シリーズ「遺跡を学ぶ」124）         | 新泉社              | 1,600 |
| 一般   | 徳島の土製飯面と巨大銅鐙のムラ 矢野遺跡（シリーズ「遺跡を学ぶ」125）      | 新泉社              | 1,600 |
| 一般   | 出雲王と四隅突出型埴土墓 西谷墳墓群（シリーズ「遺跡を学ぶ」123）        | 新泉社              | 1,600 |
| 一般   | 古代日中間係の展開（日本歴史私の最新講義 21）                  | 敬文舎              | 2,400 |
| 一般   | 入門歴史時代の考古学                                | 同成社              | 2,200 |
| 一般   | 埋葬からみた古墳時代：女性・親族・王権（歴史文化ライブラリー 465）       | 吉川弘文館            | 1,800 |
| 一般   | 飢饉と戦争の戦国を行く（読みなおす日本史）                     | 吉川弘文館            | 2,200 |
| 一般   | 鎖国前夜ラブソディ：惺窩と家康の「日本の大航海時代」（講談社選書メチエ 669）  | 講談社              | 1,650 |
| 一般   | 秀吉の武威、信長の武威：天下人はいかに服属を迫るのか（中世から近世へ）       | 平凡社              | 1,700 |
| 一般   | トピックで読み解く日本近世史                            | 昭和堂              | 2,200 |
| 一般   | 戦中史                                       | KADOKAWA         | 1,800 |
| 一般   | 日本近代の歴史：1 維新と開化                           | 吉川弘文館            | 2,800 |
| 一般   | 日本近代の歴史：2 「主権国家」成立の内と外                    | 吉川弘文館            | 2,800 |
| 一般   | 日本近代の歴史：3 日清・日露戦争と帝国日本                    | 吉川弘文館            | 2,800 |
| 一般   | 日本近代の歴史：4 国際化時代「大正日本」                     | 吉川弘文館            | 2,800 |
| 一般   | 日本近代の歴史：5 戦争とファシズムの時代へ                    | 吉川弘文館            | 2,800 |

|    |                                                                       |               |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 一般 | 日本近代の歴史：6 総力戦のなかの日本政治                                                 | 吉川弘文館         | 2,800 |
| 一般 | 戊辰戦争の新視点：上 世界・政治                                                      | 吉川弘文館         | 2,200 |
| 一般 | 囚われた若き僧 峯尾節堂：未決の大逆事件と現代                                               | 岩波書店          | 2,100 |
| 一般 | 大正＝歴史の踊り場とは何か：現代の起点を探る（講談社選書メチエ 674）                                  | 講談社           | 1,700 |
| 一般 | 世界史のなかの昭和史                                                            | 平凡社           | 1,700 |
| 一般 | 沖縄からの本土爆撃：米軍出撃基地の誕生（歴史文化ライブラリー 468）                                   | 吉川弘文館         | 1,800 |
| 一般 | 京（みやこ）のまちなみ史：平安京への道 京都のあゆみ                                            | 昭和堂           | 2,300 |
| 一般 | 陸軍中野学校と沖縄戦：知られざる少年兵「護郷隊」（歴史文化ライブラリー 466）                              | 吉川弘文館         | 1,700 |
| 一般 | 古代韓半島と倭国（中公叢書）                                                        | 中央公論新社        | 1,800 |
| 一般 | ナショナリズムから見た韓国・北朝鮮近現代史（叢書東アジアの近現代史 第4巻）                                | 講談社           | 2,200 |
| 一般 | 古写真・絵葉書で旅する東アジア150年                                                   | 勉誠出版          | 3,800 |
| 一般 | 渤海国とは何か（歴史文化ライブラリー 458）                                               | 吉川弘文館         | 1,700 |
| 一般 | イランの歴史：イラン・イスラーム共和国高校歴史教科書（世界の教科書シリーズ 45）                             | 明石書店          | 5,000 |
| 一般 | 教養としての「ローマ史」の読み方                                                      | PHPエディタズ・グループ | 1,800 |
| 一般 | SPQRローマ帝国史：1 共和政の時代                                                   | 亜紀書房          | 2,400 |
| 一般 | SPQRローマ帝国史：2 皇帝の時代                                                    | 亜紀書房          | 2,400 |
| 一般 | 大英帝国の歴史：上 膨張への軌跡                                                      | 中央公論新社        | 2,900 |
| 一般 | 大英帝国の歴史：下 絶頂から凋落へ                                                     | 中央公論新社        | 2,900 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：1                           | 論創社           | 4,800 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：2                           | 論創社           | 4,200 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：3                           | 論創社           | 4,200 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：4                           | 論創社           | 3,500 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：5                           | 論創社           | 3,500 |
| 一般 | フランス史（中世）：HISTOIRE DE FRANCE：LE MOYEN AGE：6                           | 論創社           | 4,500 |
| 一般 | パリとカフェの歴史                                                             | 原書房           | 3,600 |
| 一般 | 図説呪われたアメリカの歴史                                                         | 原書房           | 2,800 |
| 一般 | ヒストリーズ・ビーブル：人格と個性が歴史を変える                                              | えにし書房         | 2,300 |
| 一般 | あだ名で読む中世史：ヨーロッパ王侯貴族の名づけと家門意識をさかのぼる                                    | 八坂書房          | 2,400 |
| 一般 | 藤原彰子：天下第一の母（ミネルヴァ日本評伝選）                                               | ミネルヴァ書房       | 3,000 |
| 一般 | 皇后四代の歴史：昭憲皇太后から美智子皇后まで                                                | 吉川弘文館         | 2,200 |
| 一般 | 王たちの最期の日々：上                                                           | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | 王たちの最期の日々：下                                                           | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | 世界の国旗と国章大図鑑：PICTORIAL BOOK OF NATIONAL FLAGS&EMBLEMS OF THE WORLD、5訂版 | 平凡社           | 2,000 |
| 一般 | 岩瀬忠震：五州何ぞ遠しと謂わん（ミネルヴァ日本評伝選）                                           | ミネルヴァ書房       | 4,000 |
| 一般 | 北条氏政：乾坤を截破し太虚に帰す（ミネルヴァ日本評伝選）                                          | ミネルヴァ書房       | 3,500 |
| 一般 | 豊国大明神の誕生：変えられた秀吉の遺言（中世から近世へ）                                          | 平凡社           | 1,800 |
| 一般 | 1924：ヒトラーが“ヒトラー”になった年（亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-4）                        | 亜紀書房          | 3,000 |
| 一般 | 図説ルイ14世：太陽王とフランス絶対王政（ふくろうの本）                                          | 河出書房新社        | 1,800 |
| 一般 | マリー・アントワネットの最期の日々：上                                                   | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | マリー・アントワネットの最期の日々：下                                                   | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | エピソードで読む世界の国243：2018・2019                                             | 山川出版社         | 1,600 |
| 一般 | 地球情報地図50：自然環境から国際情勢まで                                                 | 創元社           | 3,200 |
| 一般 | 世界「奇景」探索百科：ヨーロッパ・アジア・アフリカ編                                            | 原書房           | 2,800 |
| 一般 | 世界「奇景」探索百科：南北アメリカ・オセアニア編                                              | 原書房           | 2,800 |
| 一般 | 幕末横浜オランダ商人見聞録                                                         | 河出書房新社        | 2,400 |
| 一般 | 中東欧の文化遺産への招待：ポーランド・チェコ・旧東ドイツを歩く                                       | 青弓社           | 2,000 |
| 一般 | グッバイ、レニングラード：ソ連邦崩壊から25年後の再訪                                           | 文藝春秋          | 1,700 |
| 一般 | マヤ探検記：人類史を書きかえた偉大なる冒険：上                                               | 青土社           | 2,800 |
| 一般 | マヤ探検記：人類史を書きかえた偉大なる冒険：下                                               | 青土社           | 2,800 |
| 一般 | イザベラ・バードのハワイ紀行（平凡社ライブラリー 868）                                         | 平凡社           | 1,800 |
| 一般 | ゲノムで社会の謎を解く：教育・所得格差から人種問題、国家の盛衰まで                                     | 作品社           | 2,800 |
| 一般 | 独裁者たちの最期の日々：上                                                         | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | 独裁者たちの最期の日々：下                                                         | 原書房           | 2,000 |
| 一般 | 子どもの「社会脳」を育てよう：共感し、信頼する力を伸ばす！子育てコーチング                                 | 河出書房新社        | 1,700 |
| 一般 | 世界の美しい鳥の神話と伝説                                                         | エクスナレッジ       | 3,200 |
| 一般 | 現代アートとは何か                                                             | 河出書房新社        | 2,700 |
| 一般 | もういちど訪ねる日本の美：上                                                        | 山川出版社         | 2,500 |
| 一般 | もういちど訪ねる日本の美：下                                                        | 山川出版社         | 2,500 |
| 一般 | 今、何かを表そうとしている10人の日本と韓国の若手対談（日韓同時代人の対話シリーズ 03）                         | クオン           | 2,200 |

|    |                                                                     |                  |       |
|----|---------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 1 古代                             | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 2 中世 1 キリスト教美術の誕生とビザンティン世界       | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 3 中世 2 ロマネスクとゴシックの宇宙             | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 4 ルネサンス 1 百花繚乱のイタリア、新たな精神と新たな表現  | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 5 ルネサンス 2 北方の覚醒、自意識と自然表現         | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 6 17～18世紀                        | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 7 19世紀                           | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | 西洋美術の歴史: A HISTORY OF WESTERN ART: 8 20世紀                           | 中央公論新社           | 3,800 |
| 一般 | レオナルド・ダ・ヴィンチの「解剖手稿A」: 人体の秘密にメスを入れた天才のデッサン                           | グラフィック社          | 2,600 |
| 一般 | アートの裏側を知るキーワード: Keywords to understand museums and the field of art | 美術出版社            | 1,600 |
| 一般 | 流出した日本美術の至宝: なぜ国宝級の作品が海を渡ったのか(筑摩選書 0159)                            | 筑摩書房             | 1,700 |
| 一般 | 世界遺産ガイド: アメリカ合衆国編(世界遺産シリーズ)                                         | シンクタンクセとうち総合研究機構 | 2,500 |
| 一般 | 文化遺産シニア時代: 価値を深掘る“すらし”の視角                                           | 社会評論社            | 1,800 |
| 一般 | 国宝の解剖図鑑: 国宝を知れば日本の美術と歴史がわかる                                         | エクスナレッジ          | 1,600 |
| 一般 | 47都道府県・国宝/重要文化財百科                                                   | 丸善出版             | 3,800 |
| 一般 | イサム・ノグチ庭の芸術への旅                                                      | 武蔵野美術大学出版局       | 3,200 |
| 一般 | 日本画とは何だったのか: 近代日本画史論(角川選書 596)                                      | KADOKAWA         | 2,400 |
| 一般 | 禅のこころを描く白隠(とんぼの本)                                                   | 新潮社              | 1,600 |
| 一般 | もっと知りたい文人画: 大雅・蕪村と文人画の巨匠たち(アート・ビギナーズ・コレクション)                        | 東京美術             | 2,000 |
| 一般 | 歌麿『画本虫撰』『百千鳥狂歌合』『潮干のつと』(講談社選書メチエ 675)                               | 講談社              | 1,600 |
| 一般 | 河鍋曉斎・暁翠伝: 先駆の絵師魂!父娘で挑んだ画の真髄                                         | KADOKAWA         | 2,300 |
| 一般 | もっと知りたい横山大観: 生涯と作品(アート・ビギナーズ・コレクション)                                | 東京美術             | 2,000 |
| 一般 | 藤田嗣治の少女: Fujita's Paintings of Girls                                | 講談社              | 3,000 |
| 一般 | 精神と光彩の画家中村貞夫: 揺籃期から世界四大文明を超えて(大阪大学総合学術博物館叢書 15)                     | 大阪大学出版会          | 2,800 |
| 一般 | ミュシャ: バリの華、スラヴの魂(とんぼの本)                                             | 新潮社              | 1,800 |
| 一般 | 絵を読み解く絵本入門                                                          | ミネルヴァ書房          | 2,600 |
| 一般 | 日本のグラフィック100年: 100 YEARS OF JAPANESE GRAPHIC DESIGN                 | パイインターナショナル      | 3,900 |
| 一般 | 実例付きフォント字典: JAPANESE FONT LIBRARY WITH EXAMPLES, 改訂版                | パイインターナショナル      | 3,900 |
| 一般 | 日本語ラップ・インタビューズ: Japanese RAP interviews                             | 青土社              | 1,600 |
| 一般 | 身体的物語論: Talks About A Somatic Approach to Drama                     | 徳間書店             | 1,800 |
| 一般 | 映画の言葉を聞く: 早稲田大学「マスターズ・オブ・シネマ」講義録                                    | フィルムアート社         | 2,800 |
| 一般 | ヌーヴェル・ヴァーグの世界劇場: 映画作家たちはいかに演劇を通して映画を再生したか                           | フィルムアート社         | 3,100 |
| 一般 | THE BIG HOUSEアメリカを撮る                                                | 岩波書店             | 1,800 |
| 一般 | 言葉の魂の哲学(講談社選書メチエ 673)                                               | 講談社              | 1,700 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第1冊 桐壺・常木・空蟬・夕顔・若紫                                    | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第2冊 末摘花・紅葉賀・花宴・葵・賢木・花散里                               | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第3冊 須磨・明石・澤標・蓬生・関屋・絵合・松風                              | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第4冊 薄雲・朝顔・少女・玉鬘・初音・胡蝶                                 | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第5冊 蛸・常夏・篝火・野分・行幸・藤袴・真木柱・梅枝・藤裏葉                       | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第6冊 若菜(上)・若菜(下)                                       | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第7冊 柏木・横笛・鈴虫・夕霧・御法・幻                                  | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第8冊 勾宮・紅梅・竹河・橋姫・椎本・総角                                 | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第9冊 早蕨・宿木・東屋                                          | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 正訳源氏物語: 本文対照: 第10冊 浮舟・蜻蛉・手習・夢浮橋                                     | 勉誠出版             | 2,500 |
| 一般 | 江戸怪談文芸名作選: 第3巻 清涼井蘇来集                                               | 国書刊行会            | 5,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 01 古事記                                                      | 河出書房新社           | 2,000 |
| 一般 | 日本文学全集: 02 口訳万葉集 百人一首 新々百人一首                                        | 河出書房新社           | 2,600 |
| 一般 | 日本文学全集: 03 竹取物語 伊勢物語 堤中納言物語 土左日記 更級日記                               | 河出書房新社           | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 04 源氏物語 上                                                   | 河出書房新社           | 3,500 |
| 一般 | 日本文学全集: 07 枕草子 方丈記 徒然草                                              | 河出書房新社           | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 08 日本霊異記 今昔物語 宇治拾遺物語 発心集                                    | 河出書房新社           | 2,900 |
| 一般 | 日本文学全集: 09 平家物語                                                     | 河出書房新社           | 3,500 |
| 一般 | 日本文学全集: 10 能・狂言 説経節 曾根崎心中 女殺油地獄 菅原授手習鑑 義経千本桜 仮名手本忠臣蔵                | 河出書房新社           | 3,500 |
| 一般 | 日本文学全集: 11 好色一代男 雨月物語 通言総鑑 春色梅児誉美                                   | 河出書房新社           | 3,000 |
| 一般 | 日本文学全集: 12 松尾芭蕉/おくのほそ道 与謝蕪村 小林一茶 とくとか歌仙                             | 河出書房新社           | 2,600 |
| 一般 | 日本文学全集: 13 樋口一葉 たけくらべ 夏目漱石 森鷗外                                      | 河出書房新社           | 2,900 |
| 一般 | 日本文学全集: 14 南方熊楠 柳田國男 折口信夫 宮本常一                                      | 河出書房新社           | 2,900 |
| 一般 | 日本文学全集: 15 谷崎潤一郎                                                    | 河出書房新社           | 2,900 |
| 一般 | 日本文学全集: 16 宮沢賢治 中島敦                                                 | 河出書房新社           | 2,900 |

|    |                                                         |           |       |
|----|---------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 一般 | 日本文学全集: 17 堀辰雄 福永武彦 中村真一郎                               | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 18 大岡昇平                                         | 河出書房新社    | 2,600 |
| 一般 | 日本文学全集: 19 石川淳 辻邦生 丸谷才一                                 | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 20 吉田健一                                         | 河出書房新社    | 3,100 |
| 一般 | 日本文学全集: 21 日野啓三 開高健                                     | 河出書房新社    | 3,100 |
| 一般 | 日本文学全集: 22 大江健三郎                                        | 河出書房新社    | 2,900 |
| 一般 | 日本文学全集: 23 中上健次                                         | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 24 石牟礼道子                                        | 河出書房新社    | 3,100 |
| 一般 | 日本文学全集: 25 須賀敦子                                         | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 26 近現代作家集 1                                     | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 27 近現代作家集 2                                     | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 28 近現代作家集 3                                     | 河出書房新社    | 2,800 |
| 一般 | 日本文学全集: 29 近現代詩歌                                        | 河出書房新社    | 2,600 |
| 一般 | 日本文学全集: 30 日本語のために                                      | 河出書房新社    | 2,600 |
| 一般 | マニエリスム談義: 驚異の大陸をめぐる超英米文学史(フィギュール彩 100)                  | 彩流社       | 1,800 |
| 一般 | カズオ・インシグロの長崎                                            | 長崎文献社     | 1,800 |
| 一般 | 世界を旅するシェイクスピア                                           | 中央公論事業出版  | 2,300 |
| 一般 | ラヴェルスタイン                                                | 彩流社       | 2,500 |
| 一般 | モラルの話: MORAL TALES                                      | 人文書院      | 2,300 |
| 一般 | 日の名残り, ノーベル賞記念版                                         | 早川書房      | 2,700 |
| 一般 | タッチ: 距離を巡る旅                                             | 中央大学出版部   | 2,700 |
| 一般 | 女王ロアーナ、神秘の炎: 上                                          | 岩波書店      | 2,400 |
| 一般 | 女王ロアーナ、神秘の炎: 下                                          | 岩波書店      | 2,400 |
| 一般 | 処刑への誘い 事件 ワルツの発明(ナボコフ・コレクション)                           | 新潮社       | 4,800 |
| 一般 | ギリシャ・ラテン文学: 韻文の系譜をたどる15章                                | 研究社       | 3,000 |
| 一般 | コミュニティ・アーカイブをつくらう: せんだいメディアテーク「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記 | 晶文社       | 1,850 |
| 一般 | デジタル・ジャーナリズムは稼げるか: メディアの未来戦略                            | 東洋経済新報社   | 2,200 |
| 一般 | 記者襲撃: 赤報隊事件30年目の真実                                      | 岩波書店      | 1,900 |
| 一般 | 「親米」日本の誕生(角川選書 597)                                     | KADOKAWA  | 1,700 |
| 一般 | 「ポスト真実」と対テロ戦争報道: メディアの日米同盟を検証する                         | 明石書店      | 2,800 |
| 一般 | 食べることの哲学(教養みらい選書 002)                                   | 世界思想社     | 1,700 |
| 一般 | 日本の風水(角川選書 602)                                         | KADOKAWA  | 1,700 |
| 一般 | 進歩: 人類の未来が明るい10の理由                                      | 晶文社       | 1,850 |
| 一般 | 奇妙な同盟: ルーズベルト、スターリン、チャーチルは、いかにして第二次大戦に勝ち、冷戦を始めたか: 1     | 藤原書店      | 2,800 |
| 一般 | 奇妙な同盟: ルーズベルト、スターリン、チャーチルは、いかにして第二次大戦に勝ち、冷戦を始めたか: 2     | 藤原書店      | 2,800 |
| 一般 | 昭和ノスタルジー解体: 「懐かしさ」はどう作られたのか                             | 晶文社       | 2,500 |
| 一般 | 東京大学が文京区になかったら: 「文化のまち」はいかに生まれたか                        | NTT出版     | 1,900 |
| 一般 | メイド・イン・ソビエト: 20世紀ロシアの生活図鑑                               | 水声社       | 2,500 |
| 一般 | パンと野いちご: 戦火のセルビア、食物の記憶                                  | 勁草書房      | 3,200 |
| 一般 | 大統領を操るバンカーたち: 秘められた蜜月の100年: 上                           | 早川書房      | 2,700 |
| 一般 | 大統領を操るバンカーたち: 秘められた蜜月の100年: 下                           | 早川書房      | 2,700 |
| 一般 | 一緒に冒険をする                                                | 弘文堂       | 1,800 |
| 一般 | 法の番人として生きる: 大森政輔元内閣法制局長官回顧録                             | 岩波書店      | 2,800 |
| 一般 | 熊橋と猫                                                    | 共和国       | 2,300 |
| 一般 | エマニュエル・マクロン: フランス大統領に上り詰めた完璧な青年                         | プレジデント社   | 2,000 |
| 一般 | カストロ: 上                                                 | 原書房       | 2,400 |
| 一般 | カストロ: 下                                                 | 原書房       | 2,400 |
| 一般 | スティーブ・ジョブズ: 青春の光と影                                      | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 一般 | スティーブ・ジョブズ: Steve Jobs: 2 アップルⅢとリサの蹉跌                   | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 一般 | スティーブ・ジョブズ: Steve Jobs: 3 マッキントッシュの栄光と悲慘                | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 一般 | スティーブ・ジョブズ: Steve Jobs: 4 楽園追放とピクサー創立                   | 東京電機大学出版局 | 2,900 |
| 一般 | 反脆弱性: 不確実な世界を生き延びる唯一の考え方: 上                             | ダイヤモンド社   | 2,000 |
| 一般 | 反脆弱性: 不確実な世界を生き延びる唯一の考え方: 下                             | ダイヤモンド社   | 2,000 |
| 一般 | 危機の領域: 非ゼロリスク社会における責任と納得(けいそうブックス)                      | 勁草書房      | 2,600 |
| 一般 | 習近平が変えた中国                                               | 小学館       | 1,600 |
| 一般 | 沸騰インド: 超大国をめざす巨象と日本                                     | 白水社       | 2,200 |
| 一般 | ブーチンのユートピア: 21世紀ロシアとプロバガンダ                              | 慶應義塾大学出版会 | 2,800 |
| 一般 | 保守と立憲: 世界によって私が変えられないために                                | スタンド・ブックス | 1,800 |
| 一般 | ローカリズム宣言: 「成長」から「定常」へ                                   | デコ        | 1,600 |

|    |                                                       |           |       |
|----|-------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 一般 | AIが開く新・資本主義: ジョイフルビーイング・スタディーズ                        | 彩流社       | 1,800 |
| 一般 | 日本の気配                                                 | 晶文社       | 1,600 |
| 一般 | 高島素之の亡霊: ある国家社会主義者の危険な思想 (新潮選書)                       | 新潮社       | 1,900 |
| 一般 | 危機の政治学: カール・シュミット入門 (講談社選書メチエ 670)                    | 講談社       | 2,050 |
| 一般 | 超国家主義: 煩悶する青年とナショナリズム                                 | 筑摩書房      | 1,700 |
| 一般 | 吉田茂と岸信介: 自民党・保守二大潮流の系譜                                | 岩波書店      | 1,800 |
| 一般 | なぜ政治はわかりにくいのかー社会と民主主義をとらえなおす                          | 春秋社       | 1,900 |
| 一般 | 習近平帝国の暗号2035                                          | 日本経済新聞出版社 | 1,800 |
| 一般 | 風刺画で読み解くイギリス宰相列伝: ウォルポールからメイジャーまで                     | ミネルヴァ書房   | 3,500 |
| 一般 | ブーチンとロシア人                                             | 産経新聞出版    | 1,800 |
| 一般 | パノン悪魔の取引: トランプを大統領にした男の危険な野望                          | 草思社       | 1,800 |
| 一般 | アメリカ大統領の権限とその限界: トランプ大統領はどこまでできるか                     | 日本評論社     | 2,700 |
| 一般 | 天皇制と民主主義の昭和史                                          | 人文書院      | 2,500 |
| 一般 | 世界の選挙制度                                               | 三省堂       | 2,600 |
| 一般 | 九条俳句訴訟と公民館の自由                                         | エイデル研究所   | 1,800 |
| 一般 | メディアと市民: 責任なき表現の自由が社会を破壊する                            | 彩流社       | 1,800 |
| 一般 | ジハード大陸: 「テロ最前線」のアフリカに行く                               | 白水社       | 2,200 |
| 一般 | ブラック・フラッグス: 「イスラム国」台頭の軌跡: 上                           | 白水社       | 2,300 |
| 一般 | ブラック・フラッグス: 「イスラム国」台頭の軌跡: 下                           | 白水社       | 2,300 |
| 一般 | 実録・レイシストをしばき隊                                         | 河出書房新社    | 1,800 |
| 一般 | 辺境中国: 新疆、チベット、雲南、東北部に行く                               | 白水社       | 2,800 |
| 一般 | 誰が世界を支配しているのか?                                        | 双葉社       | 1,600 |
| 一般 | グローバル化する靖国問題: 東南アジアからの問い (岩波現代全書 113)                 | 岩波書店      | 2,200 |
| 一般 | 戦火の欧州・中東関係史: 収奪と報復の200年                               | 東洋経済新報社   | 1,600 |
| 一般 | ヘンリー・スティムソン回顧録: 上                                     | 国書刊行会     | 4,600 |
| 一般 | ヘンリー・スティムソン回顧録: 下                                     | 国書刊行会     | 4,800 |
| 一般 | 共謀: トランプとロシアをつなぐ黒い人脈とカネ                               | 集英社       | 2,300 |
| 一般 | 軍事的暴力を問う: 旅する痛み                                       | 青弓社       | 3,000 |
| 一般 | いま、「非戦」を掲げる: 西谷修対談集                                   | 青土社       | 2,600 |
| 一般 | 核戦争の瀬戸際で                                              | 東京堂出版     | 2,500 |
| 一般 | 介入のとき: コフィ・アナン回顧録: 上                                  | 岩波書店      | 2,700 |
| 一般 | 介入のとき: コフィ・アナン回顧録: 下                                  | 岩波書店      | 2,700 |
| 一般 | 9条誕生: 平和国家はこうして生まれた                                   | 岩波書店      | 1,800 |
| 一般 | 「創作子どもボルノ」と子どもの人権: マンガ・アニメ・ゲームの性表現規制を考える              | 勁草書房      | 2,700 |
| 一般 | 経済用語イラスト図鑑                                            | 新星出版社     | 1,700 |
| 一般 | 21世紀の橋円幻想論: その日暮らしの哲学                                 | ミシマ社      | 1,800 |
| 一般 | エコミクス・ルール: 憂鬱な科学の功罪                                   | 白水社       | 1,800 |
| 一般 | ドーナツ経済学が世界を救う: 人類と地球のためのパラダイムシフト                      | 河出書房新社    | 2,400 |
| 一般 | 若い読者のための経済学史 (Yale University Press Little Histories) | すばる舎      | 3,200 |
| 一般 | 善と悪の経済学: 続 資本主義の精神分析                                  | 東洋経済新報社   | 3,400 |
| 一般 | ダーウィン・エコノミー: 自由、競争、公益                                 | 日本経済新聞出版社 | 2,000 |
| 一般 | 世界を変えた14の密約                                           | 文藝春秋      | 2,200 |
| 一般 | 脱ポピュリズム国家: 改革を先送りしない真の経済成長戦略へ                         | 日本経済新聞出版社 | 1,700 |
| 一般 | この戦いはわたしたちの戦いだ: アメリカの中間層を救う闘争                         | 蒼天社出版     | 2,800 |
| 一般 | シャルマの未来予測: これから成長する国沈む国                               | 東洋経済新報社   | 2,800 |
| 一般 | 人口減少社会の未来学                                            | 文藝春秋      | 1,600 |
| 一般 | 向こう半分の人々の暮らし: 19世紀末ニューヨークの移民下層社会                      | 創元社       | 2,700 |
| 一般 | 江崎利一: 菓子産業に新しい地平を拓いた天性のマーケター (PHP経営叢書 日本の企業家 12)      | PHP研究所    | 2,400 |
| 一般 | 闘う商人中内功: ダイエーは何を目指したのか                                | 岩波書店      | 1,800 |
| 一般 | 宝塚戦略: 小林一三の生活文化論 (読みなおす日本史)                           | 吉川弘文館     | 2,200 |
| 一般 | 3つのゼロの世界: 貧困0・失業0・CO2排出0の新たな経済                        | 早川書房      | 1,900 |
| 一般 | ビットコインはテグリス川を漂う: マネーテクノロジーの未来史                        | みすず書房     | 3,400 |
| 一般 | 次なる金融危機                                               | 岩波書店      | 1,800 |
| 一般 | 社会学者がニューヨークの地下経済に潜入してみた                               | 東洋経済新報社   | 2,200 |
| 一般 | なぜ僕たちは金融街の人びとを嫌うのか?                                   | 英治出版      | 1,800 |
| 一般 | 新・贈与論: お金との付き合い方で社会が変わる                               | コモンズ      | 1,900 |
| 一般 | 金融政策の「誤解」: “壮大な実験”の成果と限界                              | 慶應義塾大学出版会 | 2,500 |
| 一般 | アベノミクスは進化する: 金融岩石理論を問う                                | 中央経済社     | 1,800 |
| 一般 | 財政破綻後: 危機のシナリオ分析                                      | 日本経済新聞出版社 | 2,000 |

|    |                                                  |           |       |
|----|--------------------------------------------------|-----------|-------|
| 一般 | サブカルの想像力は資本主義を超えるか                               | KADOKAWA  | 1,700 |
| 一般 | 説得力: 社会心理学からのアプローチ (新世ライブラリLife & Society 1)     | 新世社       | 1,550 |
| 一般 | Q&Aでわかる中国人とのつき合い方                                | 大修館書店     | 1,800 |
| 一般 | 近代日本メディア人物誌: 創始者・経営者編                            | ミネルヴァ書房   | 2,800 |
| 一般 | 近代日本メディア人物誌: ジャーナリスト編                            | ミネルヴァ書房   | 2,500 |
| 一般 | 歴史修正主義とサブカルチャー: 90年代保守言説のメディア文化 (青弓社ライブラリー 92)   | 青弓社       | 1,600 |
| 一般 | 文化戦争: やわらかいプロパガンダがあなたを支配する                       | 春秋社       | 2,400 |
| 一般 | 遅刻してくれて、ありがとう: 常識が通じない時代の生き方: 上                  | 日本経済新聞出版社 | 1,800 |
| 一般 | 遅刻してくれて、ありがとう: 常識が通じない時代の生き方: 下                  | 日本経済新聞出版社 | 1,800 |
| 一般 | 美の日本: 「もののあはれ」から「かわいい」まで (明治大学リパティブックス)          | 明治大学出版会   | 2,300 |
| 一般 | 21世紀の女性と仕事 (放送大学叢書 043)                          | 左右社       | 1,850 |
| 一般 | 大卒無業女性の憂鬱: 彼女たちの働かない・働けない理由                      | 新泉社       | 2,000 |
| 一般 | 女性が活躍する社会の実現: 多様性を活かした日本へ                        | 中央経済社     | 3,400 |
| 一般 | 雇用は契約: 雰囲気になけない働き方 (筑摩選書 0158)                   | 筑摩書房      | 1,600 |
| 一般 | 誰も置き去りにしない社会へ: 貧困・格差の現場から                        | 新日本出版社    | 1,600 |
| 一般 | ダルク: 回復する依存者たち                                   | 明石書店      | 2,000 |
| 一般 | ちょっと気になる医療と介護 増補版                                | 勁草書房      | 2,500 |
| 一般 | 障害者の経済学: 新版                                      | 東洋経済新報社   | 1,600 |
| 一般 | 3.11靈性に抱かれて: 魂といのちの生かされ方                         | 新曜社       | 1,800 |
| 一般 | 津波の霊たち: 3・11死と生の物語                               | 早川書房      | 1,800 |
| 一般 | 激甚化する水害: 地球温暖化の脅威に挑む                             | 日経BP社     | 2,000 |
| 一般 | チェルノブイリという経験: フクシマに何を問うのか                        | 岩波書店      | 1,800 |
| 一般 | 放射能汚染はなぜくりかえされるのか: 地域の経験をつなぐ                     | 東信堂       | 2,000 |
| 一般 | 避難指示解除後を生きる: 福島第1原発事故7年                          | 明石書店      | 2,000 |
| 一般 | 子どもの人権をまもるために (犀の教室・Liberal Arts Lab-)           | 晶文社       | 1,700 |
| 一般 | 教師の歴史: ヴィジュアル版                                   | 国書刊行会     | 5,800 |
| 一般 | 思春期の育ちと高校教育: なぜみんな高校へ行くんだらう?                     | 福村出版      | 1,600 |
| 一般 | 手話の歴史: ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで: 上                   | 築地書館      | 2,500 |
| 一般 | 手話の歴史: ろう者が手話を生み、奪われ、取り戻すまで: 下                   | 築地書館      | 2,500 |
| 一般 | シニア学びの群像: 定年後ライフスタイルの創出                          | 弘文堂       | 2,500 |
| 一般 | アイヌ文化の基礎知識 増補・改訂                                 | 草風館       | 1,600 |
| 一般 | ありがとうもごめんなさいもいらない森の民と暮らして人類学者が考えたこと              | 亜紀書房      | 1,800 |
| 一般 | ストリートの精霊たち                                       | 世界思想社     | 1,900 |
| 一般 | 「女性婚」を生きる: キブシギスの「女の知恵」を考える                      | 神奈川大学出版会  | 2,500 |
| 一般 | 「くらし」の時代: ファッションからライフスタイルへ                       | 勁草書房      | 2,600 |
| 一般 | 食の文化を探る (フィールド科学の入口)                             | 玉川大学出版部   | 2,400 |
| 一般 | 食べる (慶應義塾大学教養研究センター極東証券寄附講座 生命の教養学 12)           | 慶應義塾大学出版会 | 2,400 |
| 一般 | サラダの歴史 (「食」の図書館)                                 | 原書房       | 2,200 |
| 一般 | パスタと麺の歴史 (「食」の図書館)                               | 原書房       | 2,200 |
| 一般 | ホットドッグの歴史 (「食」の図書館)                              | 原書房       | 2,200 |
| 一般 | 食の冒険: フィールドから探る                                  | 昭和堂       | 2,600 |
| 一般 | 食えることをどう考えるのか: 現代を生きる食の倫理                        | 筑波書房      | 2,000 |
| 一般 | 食の歴史: 100のレシピをめぐる人々の物語                           | 枕風舎       | 6,500 |
| 一般 | 嗜好品の謎、嗜好品の魅力: 高校生からの歴史学・日本語学・社会学入門 (成蹊大学人文叢書 15) | 風間書房      | 2,000 |
| 一般 | 英雄たちの食卓                                          | 宝島社       | 1,700 |
| 一般 | 英国一家、日本をおかわり                                     | KADOKAWA  | 1,800 |
| 一般 | 甘葛煎再現プロジェクト: よみがえる古代の甘味料 (奈良女子大学文学部〈まほろば〉叢書)     | かもがわ出版    | 1,600 |
| 一般 | 日本の洋食: 洋食から紐解く日本の歴史と文化 (シリーズ・ニッポン再発見 9)          | ミネルヴァ書房   | 2,000 |
| 一般 | 事典和菓子の世界 増補改訂版                                   | 岩波書店      | 2,800 |
| 一般 | 密造酒の歴史                                           | 原書房       | 2,000 |
| 一般 | 中世の喫茶文化: 儀礼の茶から「茶の湯」へ (歴史文化ライブラリー 461)           | 吉川弘文館     | 1,700 |
| 一般 | 戸隠の民具: 写真集                                       | 産業編集センター  | 3,900 |
| 一般 | 日本現代怪異事典                                         | 笠間書院      | 2,200 |
| 一般 | 新時代「戦争論」                                         | 原書房       | 2,600 |
| 一般 | 兵士は戦場で何を見たのか (亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-7)           | 亜紀書房      | 2,300 |
| 一般 | 永田鉄山軍事戦略論集 (講談社選書メチエ 658)                        | 講談社       | 1,950 |
| 一般 | 現代史の中の安倍政権: 憲法・戦争法をめぐる攻防                         | かもがわ出版    | 1,800 |
| 一般 | 総力戦体制の正体                                         | 柏書房       | 3,200 |
| 一般 | 米軍基地がやってきたこと                                     | 原書房       | 2,800 |

|    |                                                                       |                  |        |
|----|-----------------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 一般 | 追跡日米地位協定と基地公害:「太平洋のゴミ捨て場」と呼ばれて                                        | 岩波書店             | 1,900  |
| 一般 | 日本の星名事典                                                               | 原書房              | 3,800  |
| 一般 | 人類は何を失いつつあるのか:ゴリラ社会と先住民社会から見てきたもの                                     | 東海教育研究所          | 2,700  |
| 一般 | 1型糖尿病をご存知ですか?:「1型はひとつの個性」といえる社会をめざして(シリーズ・福祉と医療の現場から 6)               | ミネルヴァ書房          | 2,200  |
| 一般 | 水俣から: 寄り添って語る                                                         | 岩波書店             | 1,800  |
| 一般 | 水俣へ: 受け継いで語る                                                          | 岩波書店             | 1,800  |
| 一般 | 老年という海をゆく: 看取り医の回想とこれから                                               | みすず書房            | 2,700  |
| 一般 | 反ワクチン運動の真実: 死に至る選択                                                    | 地人書館             | 2,800  |
| 一般 | インドの代理母たち                                                             | 柘植書房新社           | 2,300  |
| 一般 | 食べる(シリーズ人間科学 1)                                                       | 大阪大学出版会          | 1,800  |
| 一般 | スパイス百科: 起源から効能、利用法まで                                                  | 丸善出版             | 5,800  |
| 一般 | 「石油」の終わり: エネルギー大転換                                                    | 日本経済新聞出版社        | 1,800  |
| 一般 | おだやかで恵み豊かな地球のために: 地球人間圏科学入門                                           | 古今書院             | 2,800  |
| 一般 | 現場とつながる学者人生: 市民環境運動と共に半世紀                                             | 藤原書店             | 2,800  |
| 一般 | もう「ゴミの島」と言わせない: 豊島産廃不法投棄、終わりにき闘い                                      | 藤原書店             | 3,000  |
| 一般 | 日本の原子力外交: 資源小国70年の苦闘(中公叢書)                                            | 中央公論新社           | 1,600  |
| 一般 | 原子力公害: 人類の未来を脅かす核汚染と科学者の倫理・社会的責任, 新版                                  | 明石書店             | 4,600  |
| 一般 | 原発再稼働と海                                                               | 緑風出版             | 2,800  |
| 一般 | 学生のためのSNS活用の技術, 第2版                                                   | 講談社              | 2,200  |
| 一般 | フランス香水伝説物語: 文化、歴史からファッションまで                                           | 原書房              | 2,400  |
| 一般 | ワインの味の科学                                                              | エクスナレッジ          | 2,200  |
| 一般 | 世界のシードル図鑑                                                             | 原書房              | 6,000  |
| 一般 | 被服学事典                                                                 | 朝倉書店             | 18,000 |
| 一般 | 和食の英語表現事典: The Comprehensive Guide to Washoku in Japanese and English | 丸善出版             | 3,800  |
| 一般 | 日本茶の事典: 淹れ方・楽しみ方・文化がわかる. 増補・改訂版                                       | スタジオタッククリエイティブ   | 1,700  |
| 一般 | 日本の食をとりまく社会と人                                                         | 筑波書房             | 1,600  |
| 一般 | 蒼生のミャンマー: 農村の暮らしからみた、変貌する国                                            | 明石書店             | 2,000  |
| 一般 | ビジュアルスペシャルティコーヒー大事典, 普及版(NATIONAL GEOGRAPHIC)                         | 日経ナショナルジオグラフィック社 | 2,800  |
| 一般 | スパイス三都物語: ヴェネツィア・リスボン・アムステルダム の興亡の歴史                                  | 原書房              | 2,800  |
| 一般 | 近未来の交通・物流と都市生活: ユニバーサルデザインとエコデザインの融合                                  | 慶應義塾大学出版会        | 2,700  |
| 一般 | 国道16号線スタディーズ: ニ〇〇〇年代の郊外とロードサイドを読む                                     | 青弓社              | 2,000  |
| 一般 | 鉄道と観光の近現代史(河出ブックス 107)                                                | 河出書房新社           | 1,600  |
| 一般 | ドイツの観光学(広島修道大学テキストシリーズ)                                               | ナカニシヤ出版          | 3,000  |
| 一般 | ソーシャル化と放送メディア                                                         | 学文社              | 2,900  |
| 一般 | 舞台の上の障害者: 境界から生まれる表現                                                  | 九州大学出版会          | 3,200  |
| 一般 | フィギュアスケートとジェンダー: ぼくらに寄り添うスポーツの力                                       | 現代書館             | 1,800  |
| 一般 | 身体と動きで学ぶスポーツ科学: 運動生理学とバイオメカニクスがパフォーマンスを変える                            | 東京大学出版会          | 2,800  |
| 一般 | 観るまゝに読む大修館スポーツルール: 2018                                               | 大修館書店            | 1,800  |
| 一般 | 常勝キャプテンの法則: スポーツに学ぶ最強のリーダー                                            | 早川書房             | 2,300  |
| 一般 | スポーツをテクノロジーする: トップアスリートの記録を引き出した技術の力                                  | 日経BP社            | 1,800  |
| 一般 | 1964東京五輪聖火空輸作戦                                                        | 原書房              | 2,500  |
| 一般 | 〈ニッポン〉のオリンピック: 日本はオリンピックとどう向き合ってきたのか                                  | 青弓社              | 2,600  |
| 一般 | 日本代表を、生きる。:「6月の軌跡」の20年後を追って                                           | 文藝春秋             | 1,750  |
| 一般 | 壁を越える: 車いすのラグーマンパラリンピックへの挑戦                                           | 山川出版社            | 1,800  |
| 一般 | 野球殿堂: THE BASEBALL HALL OF FAME: 2018                                 | ベースボール・マガジン社     | 2,500  |
| 一般 | 日系人戦時収容所のベースボール: ハーブ栗間の輝いた日々(刀水歴史全書 94)                               | 刀水書房             | 2,000  |
| 一般 | 競輪文化:「働く者のスポーツ」の社会史                                                   | 青弓社              | 2,000  |
| 一般 | 振武館物語: 青年教育の日本的伝統                                                     | 集広舎              | 2,000  |
| 一般 | 心の影: 意識をめぐる未知の科学を探る: 1. 新装版                                           | みすず書房            | 5,000  |
| 一般 | 心の影: 意識をめぐる未知の科学を探る: 2. 新装版                                           | みすず書房            | 5,200  |
| 一般 | 岡潔先生をめぐる人びと: フィールドワークの日々の回想                                           | 現代数学社            | 3,800  |
| 一般 | 無限の天才: 天逝の数学者・ラマヌジャン, 新装版                                             | 工作舎              | 5,500  |
| 一般 | ラボ・ガール: 植物と研究を愛した女性科学者の物語                                             | 化学同人             | 2,600  |
| 一般 | チェリー・イングラム: 日本の桜を救ったイギリス人                                             | 岩波書店             | 2,300  |
| 一般 | ドーキンス自伝: 2 ささやかな知のロウソク                                                | 早川書房             | 3,700  |
| 一般 | 科学捜査ケースファイル: 難事件はいかにして解決されたか                                          | 化学同人             | 3,200  |
| 一般 | 科学の発見                                                                 | 文藝春秋             | 1,950  |
| 一般 | 自然科学のためのはかる百科                                                         | 丸善出版             | 12,000 |
| 一般 | 「偶然」と「運」の科学                                                           | SBクリエイティブ        | 1,700  |

|    |                                                              |                  |       |
|----|--------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 一般 | 科学はなぜわかりにくいのか: 現代科学の方法論を理解する(知の扉シリーズ)                        | 技術評論社            | 1,580 |
| 一般 | 科学者、あたりまえを疑う                                                 | 青土社              | 1,900 |
| 一般 | 歴史のなかの科学                                                     | 青土社              | 2,000 |
| 一般 | ホワット・イズ・デイス?: むずかしいことをシンプルに言ってみた                             | 早川書房             | 3,200 |
| 一般 | 完全無欠の賭け: 科学がギャンブルを征服する                                       | 草思社              | 1,800 |
| 一般 | 科学の最前線を歩く(知のフィールドガイド)                                        | 白水社              | 2,400 |
| 一般 | きらめくチャンスをつかまえて: 理工系は女性の可能性を広げる                               | アドスリー            | 1,600 |
| 一般 | ふたたびの高校数学: 大人のための再入門＆再発見                                     | すばる舎             | 3,200 |
| 一般 | ひとけたの数に魅せられて                                                 | 岩波書店             | 2,600 |
| 一般 | 数学魔術師ベンジャミンの教室: レベル1                                         | 岩波書店             | 2,000 |
| 一般 | 数学魔術師ベンジャミンの教室: レベル2                                         | 岩波書店             | 2,000 |
| 一般 | 気持ちはいい高校数学: 各単元練習問題付き                                        | 秀和システム           | 2,200 |
| 一般 | 1から学ぶ大人の数学教室: 円周率から微積分まで                                     | 早川書房             | 3,300 |
| 一般 | ビジュアル数学全史: 人類誕生前から多次元宇宙まで                                    | 岩波書店             | 4,200 |
| 一般 | フィボナッチ アラビア数学から西洋中世数学へ(双書・大数学者の数学 15)                        | 現代数学社            | 2,800 |
| 一般 | 数学史のすすめ: 原典味読の愉しみ                                            | 日本評論社            | 2,700 |
| 一般 | おいしい数学: 証明の味はパイの味                                            | 岩波書店             | 2,300 |
| 一般 | 数学を使えばうまくいく: アート、デザインから投資まで数学でわかる100のこと                      | 青土社              | 2,400 |
| 一般 | 実験数学読本: 真剣に遊ぶ数理実験から大学数学へ                                     | 日本評論社            | 2,800 |
| 一般 | 数学の創造: 著作集自註, 新版                                             | 日本評論社            | 2,700 |
| 一般 | ユークリッドと彼の現代のライバルたち                                           | 日本評論社            | 2,900 |
| 一般 | ルイス・キャロルのユークリッド論                                             | 日本評論社            | 2,700 |
| 一般 | 多面体百科                                                        | 丸善出版             | 5,800 |
| 一般 | 物理の基礎的13の法則                                                  | 丸善出版             | 1,900 |
| 一般 | 一般相対性理論を一步一步数式で理解する                                          | ベレ出版             | 3,500 |
| 一般 | 重力: アインシュタインの一般相対性理論入門: 上                                    | 日本評論社            | 3,600 |
| 一般 | 重力: アインシュタインの一般相対性理論入門: 下                                    | 日本評論社            | 3,600 |
| 一般 | 今度こそ理解できるシュレーディンガー方程式入門                                      | 化学同人             | 1,800 |
| 一般 | フラインマン経路積分の発見                                                | 岩波書店             | 3,600 |
| 一般 | 量子論はなぜわかりにくいのか:「粒子と波動の二重性」の謎を解く(知の扉シリーズ)                     | 技術評論社            | 1,580 |
| 一般 | 世界でもっとも美しい量子物理の物語: 量子のモーメント                                  | 日経BP社            | 2,800 |
| 一般 | 量子物理学の発見: ヒッグス粒子の先までの物語                                      | 文藝春秋             | 1,600 |
| 一般 | 持続性の本質: 物理学からみた地球の環境                                         | 培風館              | 1,800 |
| 一般 | いまさら流体力学?: 新装復刊(バリティブックス)                                    | 丸善出版             | 1,800 |
| 一般 | 物理学を変えた二人の男: ファラデー、マクスウェル、場の発見                               | 岩波書店             | 3,200 |
| 一般 | 地底から宇宙をさぐる: ニュートリノ質量が発見されるまで, 増補新版                           | 岩波書店             | 1,800 |
| 一般 | 教養としての化学入門: 未来の課題を解決するために                                    | 化学同人             | 3,000 |
| 一般 | 教養の現代化学, 新版第2版                                               | 三共出版             | 2,400 |
| 一般 | 元素ビジュアル図鑑, 新版                                                | 洋泉社              | 1,800 |
| 一般 | 空気のはなし: 科学の眼で見る日常の疑問                                         | 情報堂出版            | 2,000 |
| 一般 | アストロバイオロジー: 地球外生命の可能性                                        | 丸善出版             | 2,800 |
| 一般 | 広い宇宙に地球人しか見当たらない75の理由: フェルミのパラドックス                           | 青土社              | 2,800 |
| 一般 | 世界で一番美しい深宇宙図鑑: 太陽系から宇宙の果てまで                                  | 創元社              | 3,800 |
| 一般 | 五〇億年の孤独: 宇宙に生命を探す天文学者たち                                      | 早川書房             | 2,000 |
| 一般 | 私たちは宇宙から見られている?:「地球外生命」探求の最前線                                | 日本評論社            | 2,800 |
| 一般 | 幻の惑星ヴァルカン: アインシュタインはいかにして惑星を破壊したのか                           | 亜紀書房             | 2,200 |
| 一般 | 宇宙へようこそ: 宇宙物理学をめぐる旅                                          | 青土社              | 3,400 |
| 一般 | 天空の地図: 人類は頭上の世界をどう描いてきたのか(NATIONAL GEOGRAPHIC)               | 日経ナショナルジオグラフィック社 | 2,700 |
| 一般 | 時空のさざなみ: 重力波天文学の夜明け                                          | 化学同人             | 3,000 |
| 一般 | 重力波は歌う: アインシュタイン最後の宿題に挑んだ科学者たち                               | 早川書房             | 1,600 |
| 一般 | 動く地球の測りかた: 宇宙測地技術が明らかにした動的地球像                                | 東海大学出版部          | 1,800 |
| 一般 | デージーワールドと地球システム: The Earth Systemの抄訳と編著者のノートから               | 大阪公立大学共同出版会      | 1,800 |
| 一般 | 地震・火山や生物でわかる地球の科学(阪大リーブル 59)                                 | 大阪大学出版会          | 1,600 |
| 一般 | 異常気象と温暖化がわかる: どうなる?気候変動による未来(知りたいサイエンスILLUSTRATED-最新図解- 004) | 技術評論社            | 2,180 |
| 一般 | 最新気象学のキホンがよ〜くわかる本, 第3版(図解入門-How-nual- Visual Guide Book)     | 秀和システム           | 2,300 |
| 一般 | 異常気象で読み解く現代史                                                 | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 一般 | 海の世界地図                                                       | 丸善出版             | 2,800 |
| 一般 | 海の大図鑑: イラストレイテッド・アトラス                                        | 丸善出版             | 9,000 |
| 一般 | 北極がなくなる日                                                     | 原書房              | 2,400 |

|    |                                                            |                  |        |
|----|------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 一般 | 深海底の地球科学                                                   | 朝倉書店             | 3,400  |
| 一般 | 大絶滅時代とパンゲア超大陸: 絶滅と進化の8000万年                                | 原書房              | 2,500  |
| 一般 | 化石が語る生命の歴史: 111の化石・生命誕生を語る                                 | 築地書館             | 2,200  |
| 一般 | 化石が語る生命の歴史: 28つの化石・進化の謎を解く                                 | 築地書館             | 2,000  |
| 一般 | 化石が語る生命の歴史: 36つの化石・人類への道                                   | 築地書館             | 1,800  |
| 一般 | オーストラリアの荒野によみがえる原始生命 (共立スマートセクション 5)                       | 共立出版             | 1,800  |
| 一般 | 教養としての生命科学: いのち・ヒト・社会を考える                                  | 丸善出版             | 2,400  |
| 一般 | 自然を楽しむ: 見る・描く・伝える                                          | 東京大学出版会          | 2,700  |
| 一般 | 星屑から生まれた世界: 進化と元素をめぐる生命38億年史                               | 化学同人             | 2,800  |
| 一般 | 生物はなぜ誕生したのか: 生命の起源と進化の最新科学                                 | 河出書房新社           | 2,200  |
| 一般 | 生命の起源はどこまでわかったか: 深海と宇宙から迫る                                 | 岩波書店             | 1,700  |
| 一般 | サルは大西洋を渡った: 奇跡的な航海が生んだ進化史                                  | みすず書房            | 3,800  |
| 一般 | そもそも島に進化あり (生物ミステリー)                                       | 技術評論社            | 1,880  |
| 一般 | 都会の自然の話を聴く: 玉川上水のタヌキと動植物のつながり                              | 彩流社              | 2,300  |
| 一般 | 細胞の分子生物学: 第6版                                              | ニュートンプレス         | 22,300 |
| 一般 | 利己的細胞: 遺伝子と細胞の闘争と進化                                        | 新曜社              | 2,600  |
| 一般 | 細胞は会話する: 生命現象の真の理解のために                                     | 青土社              | 1,800  |
| 一般 | 自然がつくる不思議なパターン: なぜ銀河系とカタツムリは同じかたちなのか (NATIONAL GEOGRAPHIC) | 日経ナショナルジオグラフィック社 | 4,800  |
| 一般 | ひまわりの黄金比: 形の科学への入門                                         | 日本評論社            | 2,200  |
| 一般 | NATURE'S ROBOTS: それはタンパク質研究の壮大な歴史                          | エヌ・ティー・エス        | 2,800  |
| 一般 | 物理の眼で見る生き物の世界: バイオメティクス皆伝                                  | コロナ社             | 2,400  |
| 一般 | 「生きものらしさ」をもとめて                                             | 藤原書店             | 1,800  |
| 一般 | 知られざる地下微生物の世界: 極限環境に生命の起源と地球外生命を探る                         | 青土社              | 2,800  |
| 一般 | 土と内臓: 微生物がつくる世界                                            | 築地書館             | 2,700  |
| 一般 | 闘う微生物: 抗生物質と農業の濫用から人体を守る                                   | 築地書館             | 2,200  |
| 一般 | 雪と氷の世界を旅して: 氷河の微生物から環境変動を探る (フィールドの生物学 19)                 | 東海大学出版部          | 2,000  |
| 一般 | 世界は細菌にあふれ、人は細菌によって生かされる                                    | 柏書房              | 2,700  |
| 一般 | 美しい電子顕微鏡写真と構造図で見るウイルス図鑑101                                 | 創元社              | 3,800  |
| 一般 | 遺伝子: 親密なる人類史: 上                                            | 早川書房             | 2,500  |
| 一般 | 遺伝子: 親密なる人類史: 下                                            | 早川書房             | 2,500  |
| 一般 | 遺伝単: 遺伝学用語集対訳付き (『生物の科学遺伝』別冊 No.22)                        | エヌ・ティー・エス        | 2,800  |
| 一般 | 遺伝子の社会                                                     | NTT出版            | 2,800  |
| 一般 | マンモスのつくりかた: 絶滅生物がクローンでよみがえる                                | 筑摩書房             | 2,200  |
| 一般 | セレンゲティールール: 生命はいかに調節されるか                                   | 紀伊国屋書店           | 2,200  |
| 一般 | 生物多様性の多様性 (共立スマートセクション 23)                                 | 共立出版             | 1,800  |
| 一般 | となりの生物多様性: 医・食・住からベンチャーまで                                  | 工作舎              | 1,900  |
| 一般 | 絵でわかる生物多様性 (絵でわかるシリーズ)                                     | 講談社              | 2,000  |
| 一般 | 外来種は本当に悪者か?: 新しい野生THE NEW WILD                             | 草思社              | 1,800  |
| 一般 | 外来種のウソ・ホントを科学する                                            | 築地書館             | 2,400  |
| 一般 | サステイニング・ライフ: 人類の健康はいかに生物多様性に頼っているか                         | 東海大学出版部          | 5,600  |
| 一般 | 元サルの物語: 科学は人類の進化をいかに考えてきたのか                                | 青土社              | 2,600  |
| 一般 | ゲノム革命: ヒト起源の真実                                             | 早川書房             | 2,200  |
| 一般 | 「糖」が解き明かす人類進化の謎: なぜヒトの脳は大きくなったのか                           | 日本評論社            | 1,700  |
| 一般 | 種子: 人類の歴史をつくった植物の華麗な戦略                                     | 白揚社              | 2,600  |
| 一般 | 植物の世代交代制御因子の発見 (シリーズ・遺伝子から探る生物進化 3)                        | 慶應義塾大学出版会        | 2,200  |
| 一般 | 植物はなぜ自家受精をするのか (シリーズ・遺伝子から探る生物進化 5)                        | 慶應義塾大学出版会        | 2,400  |
| 一般 | 植物の知恵とわたしたち                                                | 大学教育出版           | 2,800  |
| 一般 | 植物 奇跡の化学工場: 光合成・菌との共生から有毒物質まで                              | 築地書館             | 2,000  |
| 一般 | 森を食べる植物: 腐生植物の知られざる世界                                      | 岩波書店             | 2,000  |
| 一般 | となりの地衣類: 地味で身近なふしぎの菌類ウォッチング                                | 八坂書房             | 1,900  |
| 一般 | 知られざる地球動物大図鑑: 驚くべき生物の多様性                                   | 東京書籍             | 5,500  |
| 一般 | 動物保護入門: ドイツとギリシャに学ぶ共生の未来                                   | 世界思想社            | 1,800  |
| 一般 | 巨大生物解剖図鑑                                                   | スペースシャワーネットワーク   | 5,800  |
| 一般 | 胎児期に刻まれた進化の痕跡 (シリーズ・遺伝子から探る生物進化 2)                         | 慶應義塾大学出版会        | 2,000  |
| 一般 | 動物はいつから眠るようになったのか?: 線虫、ハエからヒトに至る睡眠の進化 (知りたいサイエンス 140)      | 技術評論社            | 1,680  |
| 一般 | ストレスをめぐる生物学: ネズミから学ぶ                                       | アドスリー            | 1,600  |
| 一般 | ダイエットをめぐる生物学                                               | アドスリー            | 1,600  |
| 一般 | ダーウィンの覗き穴: 性的器官はいかに進化したか                                   | 早川書房             | 2,000  |
| 一般 | 動物になって生きてみた                                                | 河出書房新社           | 1,900  |

|    |                                                               |           |       |
|----|---------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 一般 | ヒトはどこまで進化するのか                                                 | 亜紀書房      | 2,000 |
| 一般 | 寄生蟲図鑑: ふしぎな世界の住人たち 増補版                                        | 講談社       | 2,300 |
| 一般 | 干潟生物観察図鑑: 干潟に潜む生き物の生態と見つけ方がわかる                                | 誠文堂新光社    | 1,800 |
| 一般 | すばらしい海洋生物の世界                                                  | 創元社       | 3,800 |
| 一般 | 土の中の生きものからみた横浜の自然: ダンゴムシ・大型土壌動物・ササラダニ                         | 海青社       | 1,600 |
| 一般 | 数をかぞえるクマ サーフィンするヤギ: 動物の知性と感情をめぐる驚くべき物語                        | NHK出版     | 1,600 |
| 一般 | 動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか                                            | 紀伊国屋書店    | 2,200 |
| 一般 | 進化教育学入門: 動物行動学から見た学習                                          | 春秋社       | 1,700 |
| 一般 | 趣味からはじめる昆虫学: 知られざる虫の姿を新発見!                                    | オーム社      | 2,600 |
| 一般 | 昆虫は最強の生物である: 4億年の進化がもたらした驚異の生存戦略                              | 河出書房新社    | 2,300 |
| 一般 | 昆虫の行動の仕組み: 小さな脳による制御とロボットへの応用 (共立スマートセクション 13)                | 共立出版      | 1,800 |
| 一般 | 教養のための昆虫学                                                     | 東海大学出版部   | 3,000 |
| 一般 | 植物をたくみに操る虫たち: 虫こぶ形成昆虫の魅力 (フィールドの生物学 21)                       | 東海大学出版部   | 2,000 |
| 一般 | カメムシの母が子に伝える共生細菌: 必須相利共生の多様性と進化 (共立スマートセクション 21)              | 共立出版      | 1,800 |
| 一般 | 野生ミツバチとの遊び方                                                   | 築地書館      | 2,400 |
| 一般 | ミツバチの世界へ旅する (フィールドの生物学 24)                                    | 東海大学出版部   | 2,400 |
| 一般 | チョウの生態「学」始末 (共立スマートセクション 25)                                  | 共立出版      | 1,800 |
| 一般 | 鳥の行動生態学: Behavioural Ecology of Birds                         | 京都大学学術出版会 | 3,200 |
| 一般 | なぜ・どうして種の数は増えるのか: ガラバゴスのダーウィンフィンチ                             | 共立出版      | 3,200 |
| 一般 | 日本のネズミ: 多様性と進化                                                | 東京大学出版会   | 4,200 |
| 一般 | イヌに「ころ」はあるのか: 遺伝と認知の行動学                                       | 原書房       | 2,500 |
| 一般 | タヌキ学入門: かちかち山から3.11まで身近な野生動物の意外な素顔                            | 誠文堂新光社    | 2,000 |
| 一般 | クジラの鼻から進化を覗く(シリーズ・遺伝子から探る生物進化 1)                              | 慶應義塾大学出版会 | 2,000 |
| 一般 | 山極寿一×鎌田浩毅ゴリラと学ぶ: 家族の起源と人類の未来 (MINERVA知の白熱講義 1)                | ミネルヴァ書房   | 2,200 |
| 一般 | 温泉ザル: スノーモンキーの暮らし (フィギュール彩 78)                                | 彩流社       | 1,800 |
| 一般 | なぜベニスはそんな形なのか: ヒトについての不謹慎で真面目な科学                              | 化学同人      | 2,500 |
| 一般 | なぜ老いるのか、なぜ死ぬのか、進化論でわかる                                        | インターシフト   | 2,100 |
| 一般 | ヒトはなぜ病み、老いるのか: 寿命の生物学                                         | 新日本出版社    | 1,700 |
| 一般 | 人類の進化が病を生んだ                                                   | 河出書房新社    | 2,200 |
| 一般 | ゲノム編集と細胞政治の誕生: Genome Editing and the Birth of Cell-Politics  | 青土社       | 2,200 |
| 一般 | マイクロバイオームの世界: あなたの中と表面と周りにいる何兆もの微生物たち                         | 紀伊国屋書店    | 2,000 |
| 一般 | エネルギーのはなし: 科学の眼で見る日常の疑問                                       | 技報堂出版     | 2,000 |
| 一般 | 「かわいい」工学                                                      | 朝倉書店      | 2,500 |
| 一般 | 未来の科学者のためのナノテクガイドブック                                          | エヌ・ティー・エス | 1,600 |
| 一般 | 安全基準はどのようにできてきたか: How have SAFETY STANDARDS been Constructed? | 東京大学出版会   | 3,600 |
| 一般 | 図説日本と世界の土木遺産: ものづくり技術遺産(土木の博物誌)                               | 秀和システム    | 2,400 |
| 一般 | 水と生きる建築土木遺産                                                   | 彰国社       | 2,300 |
| 一般 | そこで液状化が起きる理由(わけ): 被害の実態と土地条件から探る                              | 東京大学出版会   | 2,400 |
| 一般 | 世界の橋並み: 地域景観をつくる橋                                             | 鹿島出版会     | 2,800 |
| 一般 | 日本の橋: その物語・意匠・技術 (シリーズ・ニッポン再発見 5)                             | ミネルヴァ書房   | 2,000 |
| 一般 | 世界の橋: 巨大建築の美と技術の粋                                             | 河出書房新社    | 6,800 |
| 一般 | 知っておきたい水問題                                                    | 九州大学出版会   | 1,800 |
| 一般 | 水の土木遺産: 水とともに生きた歴史を今に伝える                                      | 鹿島出版会     | 2,500 |
| 一般 | 物語日本の治水史                                                      | 鹿島出版会     | 2,600 |
| 一般 | レーダーで洪水を予測する (気象ブックス 043)                                     | 成山堂書店     | 2,000 |
| 一般 | 都市の技術、改訂版                                                     | 技報堂出版     | 3,000 |
| 一般 | 世界の広場への旅: もうひとつの広場論                                           | 彰国社       | 2,500 |
| 一般 | 気候を人工的に操作する: 地球温暖化に挑むジオエンジニアリング (DOJIN選書 69)                  | 化学同人      | 2,000 |
| 一般 | 生態学と化学物質とリスク評価 (共立スマートセクション 18)                               | 共立出版      | 1,800 |
| 一般 | もっと知りたいPM2.5の科学                                               | 日刊工業新聞社   | 1,800 |
| 一般 | 地方で建築を仕事にする: 日常に目を開き、耳を澄ます人々たち                                | 学芸出版社     | 2,400 |
| 一般 | 藤森照信の建築探偵放浪記: 風の向くまま気の向くまま                                    | 経済調査会     | 3,600 |
| 一般 | 偶有性操縦法 (コンテンジエンシマニユアル): 何が新国立競技場問題を迷走させたのか                    | 青土社       | 1,800 |
| 一般 | キーワードでわかる都市・建築2.0 (日経アーキテクチュアSelection)                       | 日経BP社     | 2,400 |
| 一般 | 冒険する建築: ADVENTURING ARCHITECTURE                              | 左右社       | 2,500 |
| 一般 | 下町の名建築さんぽ                                                     | エクスナレッジ   | 1,600 |
| 一般 | 図解ここが見どころ古建築                                                  | 学芸出版社     | 2,000 |
| 一般 | むかしの家に学ぶ: 登録文化財からの発信 (阪大リーブル 52)                              | 大阪大学出版会   | 1,600 |
| 一般 | 聴竹居: 日本人の理想の住まい                                               | 平凡社       | 9,800 |

|    |                                              |                  |       |
|----|----------------------------------------------|------------------|-------|
| 一般 | 受け継がれる住まい: 住居の保存と再生法 (住総研住まい読本)              | 柏書房              | 1,800 |
| 一般 | 世界の美しいモスク: BEAUTIFUL MOSQUES IN THE WORLD    | エクスナレッジ          | 1,800 |
| 一般 | 世界の建築家解剖図鑑: 古代から現代まで建築家でたどる名建築の全歴史           | エクスナレッジ          | 1,800 |
| 一般 | 名建築の歴史図鑑                                     | エクスナレッジ          | 2,800 |
| 一般 | モダニスト再考: 建築の20世紀はここから始まった: 海外編               | 彰国社              | 3,000 |
| 一般 | モダニスト再考: 建築の20世紀はここから始まった: 日本編               | 彰国社              | 3,300 |
| 一般 | ブレモダン建築巡礼: 1868-1942                         | 日経BP社            | 2,400 |
| 一般 | モダニズム建築紀行: 日本の戦前期・戦後1940～50年代の建築             | 六耀社              | 2,600 |
| 一般 | 磯崎新と藤森照信のモダニズム建築談義: 戦後日本のモダニズムの核は、戦前・戦中にあった。 | 六耀社              | 3,600 |
| 一般 | フランク・ロイド・ライト最新建築ガイド                          | エクスナレッジ          | 1,800 |
| 一般 | ウッドファースト!: 建築に木を使い、日本の山を生かす (別冊環 21)         | 藤原書店             | 3,800 |
| 一般 | 図説英国の住宅: 住まいに見るイギリス人のライフスタイル (ふくろうの本)        | 河出書房新社           | 1,800 |
| 一般 | すまい再発見: 世界と日本の珠玉の住宅76                        | 建築資料研究社          | 2,300 |
| 一般 | 新可笑しな家: 世界の奇想天外ハウス50軒                        | 二見書房             | 1,900 |
| 一般 | クリマデザイン: 新しい環境文化のかたち                         | 鹿島出版会            | 3,200 |
| 一般 | ドライバーレス革命: 自動運転車の普及で世界はどう変わるか?               | 日経BP社            | 2,000 |
| 一般 | ドローンが拓く未来の空: 飛行のしくみを知り安全に利用する (DOJIN選書 73)   | 化学同人             | 1,700 |
| 一般 | 空の旅を科学する: 人工知能がひらく!?21世紀の「航空管制」              | 河出書房新社           | 1,600 |
| 一般 | 推論トリプルメルトダウン: 原子炉主任技術者が福島第一原発の事故原因を探る        | 創英社              | 2,300 |
| 一般 | 「白い光」を創る: 社会と技術の革新史                          | 東京大学出版会          | 3,200 |
| 一般 | 情報通信技術はどのように発達してきたのか (BERET SCIENCE)         | ベレ出版             | 1,700 |
| 一般 | 柔らかくヒューマノイド: ロボットが知能の謎を解き明かす (DOJIN選書 70)    | 化学同人             | 1,600 |
| 一般 | ロボットからヒトを識る (大阪大学総合学術博物館叢書 14)               | 大阪大学出版会          | 2,000 |
| 一般 | 「リアル」を掴む!: 力を感じ、感触を伝えるハプティクスが人を幸せにする         | 東京電機大学出版局        | 1,600 |
| 一般 | ロボティクス最前線                                    | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 一般 | ロボット: 職を奪うか、相棒か? (MITエッセンシャル・ナレッジ・シリーズ)      | 日本評論社            | 2,200 |
| 一般 | 漆学: 植生、文化から有機化学まで (明治大学リバティブックス)             | 明治大学出版会          | 2,500 |
| 一般 | 生物模倣: 自然界に学ぶイノベーションの現場から                     | 作品社              | 2,600 |
| 一般 | トマト缶の黒い真実 (ヒストリカル・スタディーズ 21)                 | 太田出版             | 1,900 |
| 一般 | インテリア・ガール: 今日もいんてりあがある                       | 鹿島出版会            | 1,800 |
| 一般 | TPPが日本農業を強くする                                | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 一般 | 食科学入門: 食の総合的理解のために (シリーズ食を学ぶ)                | 昭和堂              | 2,300 |
| 一般 | 食糧と人類: 飢餓を克服した大増産の文明史                        | 日本経済新聞出版社        | 2,400 |
| 一般 | フード・マイレージ: あなたの食が地球を変える. 新版                  | 日本評論社            | 1,800 |
| 一般 | 地域を支える農協: 協同のセーフティネットを創る                     | コモンズ             | 2,200 |
| 一般 | エシカルな農業: 未来のために今すべきこと                        | 誠文堂新光社           | 1,900 |
| 一般 | 食と農のアフリカ史: 現代の基層に迫る                          | 昭和堂              | 3,900 |
| 一般 | 地中生命の驚異: 秘められた自然誌. 新装版                       | 青土社              | 2,400 |
| 一般 | 世界からバナナがなくなるまでに: 食糧危機に立ち向かう科学者たち             | 青土社              | 2,800 |
| 一般 | サルはなぜ山を下りる?: 野生動物との共生 (学術選書 084)             | 京都大学学術出版会        | 1,800 |
| 一般 | 全国棚田ガイド: 日本の棚田百選を含む全国の美しい棚田212               | 家の光協会            | 2,500 |
| 一般 | サツマイモの世界 世界のサツマイモ: 新たな食文化のはじまり               | 現代書館             | 2,000 |
| 一般 | 磯崎新と藤森照信の「にわ」建築談義                            | 六耀社              | 3,400 |
| 一般 | ガーデニングとイギリス人: 「園芸大国」はいかにしてつくられたか             | 大修館書店            | 3,300 |
| 一般 | 人類と家畜の世界史                                    | 河出書房新社           | 2,600 |
| 一般 | 動物・人間・暴虐史: “飼い貶し”の大罪、世界紛争と資本主義               | 新評論              | 3,800 |
| 一般 | 世界で一番美しい犬の図鑑                                 | エクスナレッジ          | 3,800 |
| 一般 | ビジュアル犬種百科図鑑                                  | 緑書房              | 6,800 |
| 一般 | 猫はこうして地球を征服した: 人の脳からインターネット、生態系まで            | インターシフト          | 2,200 |
| 一般 | ビジュアル猫種百科図鑑                                  | 緑書房              | 6,800 |
| 一般 | 森林・林業はよみがえるか: 「緑のオーナー制度」裁判から見えるもの            | 新日本出版社           | 1,600 |
| 一般 | 150の樹木百科図鑑                                   | 原書房              | 2,800 |
| 一般 | 世界の巨樹・古木: ヴィジュアル版                            | 原書房              | 6,000 |
| 一般 | 心に響く樹々の物語 (NATIONAL GEOGRAPHIC)              | 日経ナショナルジオグラフィック社 | 2,750 |
| 一般 | 樹と暮らす: 家具と森林生態                               | 築地書館             | 2,200 |
| 一般 | 吉祥寺ハモニカ横丁のつくり方                               | 彰国社              | 1,900 |
| 一般 | 価値がわかる宝石図鑑                                   | ナツメ社             | 2,200 |
| 一般 | 日本刀の科学 (B&Tブックス おもしろサイエンス)                   | 日刊工業新聞社          | 1,600 |
| 一般 | 数学者たちの楽園: 「ザ・シンプソンズ」を作った天才たち                 | 新潮社              | 2,400 |

|    |                    |       |       |
|----|--------------------|-------|-------|
| 一般 | 現代ゲーム全史: 文明の遊戯史観から | 早川書房  | 2,800 |
| 一般 | 植物の和名・漢名と伝統文化      | 日本評論社 | 8,200 |
| 一般 | 数学する人生             | 新潮社   | 1,800 |



## 【和書】専門図書

| 科目区分 | 書名詳細                                                                                            | 出版社       | 価格    |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門   | できる研究者の論文作成メソッド: 書き上げるための実践ポイント                                                                 | 講談社       | 2,000 |
| 専門   | できる研究者の論文生産術: どうすれば「たくさん」書けるのか                                                                  | 講談社       | 1,800 |
| 専門   | 〈インターネット〉の次に来るもの: 未来を決める12の法則                                                                   | NHK出版     | 2,000 |
| 専門   | 脳のレリギオ: ビッグデータ社会で心をつくる                                                                          | NTT出版     | 1,800 |
| 専門   | あなたを支配し、社会を破壊する。AI・ビッグデータの罠                                                                     | インターシフト   | 1,850 |
| 専門   | サイバーセキュリティ2020: 脅威の近未来予測 (インプレスR&D(NextPublishing) New Thinking and New Ways E-Book/Print Book) | インプレスR&D  | 1,700 |
| 専門   | 情報と職業, 改訂2版 (IT Text)                                                                           | オーム社      | 2,500 |
| 専門   | 「ものづくり」を変えるITの「ものがたり」: 日本の産業、教育、医療、行政の未来を考える (クオン人文・社会シリーズ 04)                                  | クオン       | 2,000 |
| 専門   | さよなら、インターネット: GDPRはネットとデータをどう変えるのか                                                              | ダイヤモンド社   | 2,000 |
| 専門   | パーソナルデータの衝撃: 一生を丸裸にされる「情報経済」が始まった                                                               | ダイヤモンド社   | 1,800 |
| 専門   | 勝手に選別される世界: ネットの「評判」がリアルを支配するとき、あなたの人生はどう変わるのか                                                  | ダイヤモンド社   | 1,800 |
| 専門   | 破壊: 新旧激突時代を生き抜く生存戦略                                                                             | ダイヤモンド社   | 1,800 |
| 専門   | 情報倫理: 技術・プライバシー・著作権                                                                             | みすず書房     | 5,500 |
| 専門   | 情報社会のデジタルメディアとリテラシー: 情報倫理を学ぶ、第3版                                                                | ムイスリ出版    | 1,800 |
| 専門   | ネット社会の諸相                                                                                        | 学文社       | 2,100 |
| 専門   | 情報倫理の挑戦: 「生きる意味」へのアプローチ                                                                         | 学文社       | 2,000 |
| 専門   | 未来を味方にする技術: これからのビジネスを創るITの基礎の基礎                                                                | 技術評論社     | 1,580 |
| 専門   | ICT未来予想図: 自動運転、知能化都市、ロボット実装に向けて (共立スマートセレクション 9)                                                | 共立出版      | 1,600 |
| 専門   | モバイルネットワーク時代の情報倫理: 被害者・加害者にならないためのメディアリテラシー、第2版                                                 | 近代科学社     | 1,600 |
| 専門   | 監視社会とライアンの社会学: プライバシーと自由の擁護を越えて                                                                 | 晃洋書房      | 2,500 |
| 専門   | 多様性社会と人間: IT社会と経営・食文化・ダイバーシティ                                                                   | 時潮社       | 2,800 |
| 専門   | ネット空間を変えるモバイル社会 (東洋英和女学院大学社会科学研究叢書 2)                                                           | 春風社       | 2,500 |
| 専門   | ドラッグネット監視網社会: オンライン・プライバシーの守り方                                                                  | 祥伝社       | 1,650 |
| 専門   | デジタルウィズダム時代の時代へ: 若者とデジタルメディアのエンゲージメント                                                           | 新曜社       | 4,000 |
| 専門   | 第四の革命: 情報圏が現実をつくりかえる                                                                            | 新曜社       | 3,400 |
| 専門   | プロトコル: 脱中心化以後のコントロールはいかに作動するのか                                                                  | 人文書院      | 3,800 |
| 専門   | ポスト・モバイル社会: セカンドオフラインの時代へ                                                                       | 世界思想社     | 3,600 |
| 専門   | ツイッターの心理学: 情報環境と利用者行動                                                                           | 誠信書房      | 2,700 |
| 専門   | ウェブに夢見るバカ: ネットで頭がいっぱいの人のための96章                                                                  | 青土社       | 2,400 |
| 専門   | オンライン・バカ: 常時接続の世界がわたしたちにしていること                                                                  | 青土社       | 2,200 |
| 専門   | インターネットは自由を奪う: 〈無料〉という落とし穴                                                                      | 早川書房      | 2,300 |
| 専門   | 超監視社会: 私たちのデータはどこまで見られているのか?                                                                    | 草思社       | 2,000 |
| 専門   | 情報社会における法・ルールと倫理                                                                                | 中央経済社     | 3,600 |
| 専門   | デジタル革命によるソーシャルデザインの研究 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 23)                                                    | 中央大学出版部   | 2,600 |
| 専門   | シリコンバレー発アルゴリズム革命の衝撃: Fintech・IoT・Cloud Computing・AI…アメリカで起きていること、これから日本で起きていること                 | 朝日新聞出版    | 1,600 |
| 専門   | プロフェッショナルの未来: AI、IoT時代に専門家が生き残る方法                                                               | 朝日新聞出版    | 2,400 |
| 専門   | デジタル社会の法制度、第7版 (情報処理基礎講座)                                                                       | 電子開発学園出版局 | 2,200 |
| 専門   | インターネット・バイ・デザイン: 21世紀のスマートな社会・産業インフラの創造へ                                                        | 東京大学出版会   | 2,800 |
| 専門   | あなたのデータ、「お金」に換えてもいいですか?: プライバシー大論争                                                              | 日経BP社     | 1,600 |
| 専門   | アルゴリズムが「私」を決める                                                                                  | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門   | 伝説のハッカーが教える超監視社会で身をまもる方法                                                                        | 日経BP社     | 2,000 |
| 専門   | 進化する情報社会, 改訂版 (放送大学教材)                                                                          | 放送大学教育振興会 | 2,600 |
| 専門   | 日常生活のデジタルメディア, 改訂版 (放送大学教材)                                                                     | 放送大学教育振興会 | 2,600 |
| 専門   | やさしい英語で日本の魅力を詳しく伝える                                                                             | 明日香出版社    | 1,600 |
| 専門   | 英語で案内する日本の伝統・大衆文化辞典: A Dictionary of Japan in English                                           | 三省堂       | 3,500 |
| 専門   | 英語で伝える日本の文化・観光・世界遺産                                                                             | 三修社       | 2,000 |
| 専門   | 英語で紹介する観光都市「東京」: 通訳案内士・ボランティアガイド必携                                                              | 語研        | 2,000 |
| 専門   | 英語で語る日本事情2020: Japan: Then and Now                                                              | ジャパンタイムズ  | 2,100 |
| 専門   | 英語で日本文化の本: The Japan Culture Book                                                               | ジャパンタイムズ  | 2,000 |
| 専門   | NEXT WORLD: 未来を生きるためのハンドブック                                                                     | NHK出版     | 1,800 |
| 専門   | マッキンゼーが予測する未来: 近未来のビジネスは、4つの力に支配されている                                                           | ダイヤモンド社   | 1,800 |
| 専門   | 2100年へのパラダイム・シフト: 日本の代表的知性50人が、世界/日本の大変動を見通す                                                    | 作品社       | 1,800 |
| 専門   | 〈データブック〉近未来予測2025                                                                               | 早川書房      | 2,200 |
| 専門   | メガトレンド: 世界の終わりと始まり                                                                              | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門   | 大収斂: 膨張する中産階級が世界を変える                                                                            | 中央公論新社    | 3,200 |
| 専門   | グローバル化と私たちの社会 (放送大学教材)                                                                          | 放送大学教育振興会 | 2,900 |
| 専門   | グローバル・サウスとは何か: What is "Global South"? (グローバル・サウスはいま 1)                                         | ミネルヴァ書房   | 3,500 |

|    |                                                               |           |       |
|----|---------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 私たちの国際学の「学び」: 大切なのは「正しい答え」ではない                                | 新評論       | 1,800 |
| 専門 | 世界と未来への架橋 (国際学研究叢書)                                           | 創成社       | 8,000 |
| 専門 | 新・考える民法: 1 民法総則                                               | 慶應義塾大学出版会 | 2,800 |
| 専門 | 民法の体系: 市民法の基礎, 第6版                                            | 慶應義塾大学出版会 | 5,200 |
| 専門 | Before/After民法改正                                              | 弘文堂       | 3,300 |
| 専門 | ブレップ民法, 第5版 (ブレップシリーズ)                                        | 弘文堂       | 1,700 |
| 専門 | 民法〈財産法〉のしくみ: 図解で早わかり                                          | 三修社       | 1,800 |
| 専門 | ピンポイント民法 (DAILY法学選書)                                          | 三省堂       | 1,600 |
| 専門 | ものすごくわかりやすい民法の授業, 第3版                                         | 自由国民社     | 2,000 |
| 専門 | 図解による民法のしくみ, 第8版                                              | 自由国民社     | 1,800 |
| 専門 | Law Practice民法: 1 総則・物権編, 第4版                                 | 商事法務      | 3,300 |
| 専門 | Law Practice民法: 2 債権編, 第4版                                    | 商事法務      | 3,300 |
| 専門 | Law Practice民法: 3 親族・相続編                                      | 商事法務      | 3,200 |
| 専門 | 民法への招待, 第5版                                                   | 税務経理協会    | 2,400 |
| 専門 | リーガルベシス民法入門, 第2版                                              | 日本経済新聞出版社 | 4,500 |
| 専門 | スタートライン民法総論, 第3版                                              | 日本評論社     | 2,200 |
| 専門 | 伊藤真の民法入門: 講義再現版, 第6版                                          | 日本評論社     | 1,700 |
| 専門 | 破産から新民法がみえる: 民法の盲点と破産法入門                                      | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | 民法, 新訂 (放送大学教材)                                               | 放送大学教育振興会 | 2,900 |
| 専門 | 基本演習民法                                                        | 法学書院      | 2,500 |
| 専門 | 民法改正がわかった                                                     | 法学書院      | 2,300 |
| 専門 | 18歳からはじめる民法, 第3版 (From 18)                                    | 法律文化社     | 2,200 |
| 専門 | 新ブリメール民法: 1 民法入門・総則 (αブックス)                                   | 法律文化社     | 2,800 |
| 専門 | 新ブリメール民法: 2 物権・担保物権法 (αブックス)                                  | 法律文化社     | 2,700 |
| 専門 | 新ブリメール民法: 3 債権総論 (αブックス)                                      | 法律文化社     | 2,700 |
| 専門 | 新ブリメール民法: 4 債権各論 (αブックス)                                      | 法律文化社     | 2,600 |
| 専門 | 新ブリメール民法: 5 家族法 (αブックス)                                       | 法律文化社     | 2,500 |
| 専門 | 民法入門                                                          | 法律文化社     | 2,000 |
| 専門 | 〈判旨〉から読み解く民法: Understanding Civil Law Decisions (法学教室LIBRARY) | 有斐閣       | 3,900 |
| 専門 | 民法: 1 総則判例30! (START UP)                                      | 有斐閣       | 1,600 |
| 専門 | 民法: 2 物権判例30! (START UP)                                      | 有斐閣       | 1,600 |
| 専門 | 民法: 3 債権総論判例30! (START UP)                                    | 有斐閣       | 1,600 |
| 専門 | 民法: 4 債権各論判例30! (START UP)                                    | 有斐閣       | 1,600 |
| 専門 | 民法: 5 親族・相続判例30! (START UP)                                   | 有斐閣       | 1,600 |
| 専門 | 民法がわかる民法総則: An Introduction to Japanese Civil Law, 第4版        | 弘文堂       | 2,000 |
| 専門 | 民法総則, 第9版 (法律学講座双書)                                           | 弘文堂       | 3,600 |
| 専門 | 民法総則 (新民法基本講義)                                                | 信山社       | 4,200 |
| 専門 | 基本テキスト民法総則                                                    | 中央経済社     | 3,400 |
| 専門 | 民法総則 (ベーシック+)                                                 | 中央経済社     | 2,400 |
| 専門 | 民法総則                                                          | 日本評論社     | 4,500 |
| 専門 | 民法総則, 第2版                                                     | 日本評論社     | 3,700 |
| 専門 | 民法総則 (日評ベーシック・シリーズ)                                           | 日本評論社     | 1,800 |
| 専門 | 民法: 総則・物権, 第6版 (有斐閣アルマ Basic)                                 | 有斐閣       | 1,800 |
| 専門 | 法学講義民法総則, 第3版                                                 | 勁草書房      | 2,800 |
| 専門 | 担保物権法                                                         | 日本評論社     | 3,400 |
| 専門 | 債権法改正を読む: 改正論から学ぶ新民法                                          | 慶應義塾大学出版会 | 2,700 |
| 専門 | 一問一答・民法〈債権関係〉改正 (一問一答シリーズ)                                    | 商事法務      | 3,600 |
| 専門 | 講義債権法改正                                                       | 商事法務      | 3,000 |
| 専門 | 新しい債権法を読みとく                                                   | 商事法務      | 2,800 |
| 専門 | 「新民法典」の成立: その新たな解釈論 (信山社ブックス)                                 | 信山社       | 3,200 |
| 専門 | やさしく役に立つ改正民法〈債権法〉: 一般市民・企業のための改正とは                            | 信山社       | 1,800 |
| 専門 | 改正民法〈債権法〉の要点解説: 新旧条文対照表付                                      | 信山社       | 1,600 |
| 専門 | 新債権総論: 1 (法律学の森)                                              | 信山社出版     | 7,000 |
| 専門 | 新債権総論: 2 (法律学の森)                                              | 信山社出版     | 6,600 |
| 専門 | スタートライン債権法, 第6版                                               | 日本評論社     | 2,400 |
| 専門 | 債権総論, 第2版 (セカンドステージ債権法 2)                                     | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | 債権総論                                                          | 日本評論社     | 4,500 |
| 専門 | 債権法: 債権総論・契約                                                  | 日本評論社     | 3,700 |
| 専門 | 解説民法〈債権法〉改正のポイント                                              | 有斐閣       | 3,200 |

|    |                                                    |           |        |
|----|----------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | 債権各論: 2 不法行為法, 第3版 (弘文堂NOMIKA 4-2)                 | 弘文堂       | 2,700  |
| 専門 | 債権各論: 基本講義: 1 契約法・事務管理・不当利得, 第3版 (ライブラリ法学基本講義 6-1) | 新世社       | 2,980  |
| 専門 | 債権各論: 基本講義: 2 不法行為法, 第3版 (ライブラリ法学基本講義 6-2)         | 新世社       | 2,450  |
| 専門 | 契約法講義: Droit des obligations Contrat, 第4版          | 弘文堂       | 3,000  |
| 専門 | 契約各論講義録 (契約法 2)                                    | 信山社       | 3,400  |
| 専門 | 契約法 (新民法基本講義)                                      | 信山社       | 3,800  |
| 専門 | 契約法                                                | 有斐閣       | 4,800  |
| 専門 | 不法行為法・事務管理・不当利得: 判例による法形成, 第3版                     | 成文堂       | 3,300  |
| 専門 | 不法行為法, 第2版 (民法を学ぶ)                                 | 有斐閣       | 3,700  |
| 専門 | 不法行為法, 第5版                                         | 有斐閣       | 2,700  |
| 専門 | 最新判例にみるインターネット上の名誉毀損の理論と実務 (動草法律実務シリーズ)            | 動草書房      | 4,400  |
| 専門 | 損害賠償の法務 (動草法律実務シリーズ)                               | 動草書房      | 3,500  |
| 専門 | 親族・相続法, 第2版 (弘文堂NOMIKA 5)                          | 弘文堂       | 4,100  |
| 専門 | 家族と法                                               | 信山社       | 1,800  |
| 専門 | 家族と高齢社会の法 (放送大学教材)                                 | 放送大学教育振興会 | 2,400  |
| 専門 | 事例で学ぶ家族法, 第4版                                      | 法学書院      | 2,200  |
| 専門 | 家族法, 第3版 (民法を学ぶ)                                   | 有斐閣       | 4,100  |
| 専門 | 民法: 親族・相続, 第5版 (有斐閣アルマ Basic)                      | 有斐閣       | 2,300  |
| 専門 | 子どもと離婚: 合意解決と履行の支援                                 | 信山社       | 6,200  |
| 専門 | 面会交流支援の方法と課題: 別居・離婚後の親子へのサポートを目指して                 | 法律文化社     | 3,200  |
| 専門 | 高葛藤紛争における子の監護権: 弁護士実務の視点から法的課題を問う                  | 弘前大学出版会   | 2,600  |
| 専門 | 新成年後見制度の解説, 改訂版                                    | 金融財政事情研究会 | 6,500  |
| 専門 | 成年後見読本, 第2版                                        | 三省堂       | 2,300  |
| 専門 | 法人後見のてびき: 成年後見制度のソリューション                           | 日本加除出版    | 2,700  |
| 専門 | 借地借家法案内 (動草法学案内シリーズ)                               | 動草書房      | 2,600  |
| 専門 | 信託法 (現代民法 別巻)                                      | 有斐閣       | 3,500  |
| 専門 | ストーリーに学ぶ所有者不明土地の論点                                 | 商事法務      | 3,200  |
| 専門 | はじめてのビジネス法                                         | 晃洋書房      | 1,700  |
| 専門 | Law Practice商法, 第3版                                | 商事法務      | 3,200  |
| 専門 | 伊藤真の商法入門: 講義再現版, 第5版                               | 日本評論社     | 1,700  |
| 専門 | 民法でみる商法・会社法                                        | 日本評論社     | 2,200  |
| 専門 | 商法総則・商行為法・保険法・海商法, 第4版 (演習ノート)                     | 法学書院      | 2,400  |
| 専門 | アクチュアル企業法, 第2版                                     | 法律文化社     | 3,100  |
| 専門 | 企業関係法の新潮流: 神戸学院大学法学部開設50周年記念企業法論文集                 | 中央経済社     | 6,500  |
| 専門 | 商事法の研究                                             | 有斐閣       | 6,800  |
| 専門 | 時代を彩る商事判例                                          | 商事法務      | 5,200  |
| 専門 | 商法判例集, 第7版                                         | 有斐閣       | 3,200  |
| 専門 | 商法総則・商行為法: プチ・コンメンタール, 改訂版                         | 税務経理協会    | 2,400  |
| 専門 | サマリー商法総則・商行為法                                      | 中央経済社     | 2,200  |
| 専門 | 商法総論・会社法総則                                         | 中央経済社     | 2,500  |
| 専門 | やさしい商法総則・商行為法, 第3版補訂版                              | 法学書院      | 1,600  |
| 専門 | 商法総則・商行為法, 第7版 (有斐閣法律学叢書)                          | 有斐閣       | 2,800  |
| 専門 | 商業登記法入門                                            | 有斐閣       | 2,600  |
| 専門 | よくわかる会社法入門講座                                       | ビジネス教育出版社 | 2,000  |
| 専門 | よくわかる会社法, 第3版 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)               | ミネルヴァ書房   | 2,500  |
| 専門 | 入門講義会社法, 第2版                                       | 慶應義塾大学出版会 | 2,800  |
| 専門 | ケースブック会社法, 第5版 (弘文堂ケースブックシリーズ)                     | 弘文堂       | 2,500  |
| 専門 | 会社法: 伊藤真の全条解説                                      | 弘文堂       | 6,400  |
| 専門 | 会社法, 第20版 (法律学講座双書)                                | 弘文堂       | 2,500  |
| 専門 | 新会社法エッセンス, 第4版補正版                                  | 弘文堂       | 3,600  |
| 専門 | 基礎から学ぶ会社法: 80のステップで学ぶ会社のしくみ                        | 晃洋書房      | 2,800  |
| 専門 | 会社法                                                | 嵯峨野書院     | 3,500  |
| 専門 | 会社法概論                                              | 嵯峨野書院     | 2,600  |
| 専門 | ピンポイント会社法 (DAILY法学選書)                              | 三省堂       | 1,600  |
| 専門 | 基本がわかる会社法                                          | 三省堂       | 2,200  |
| 専門 | 日本一読みやすい会社六法: 関連政省令付き条文集                           | 三省堂       | 2,400  |
| 専門 | 類型別中小企業のための会社法, 第2版                                | 三省堂       | 2,800  |
| 専門 | アドバンス会社法                                           | 商事法務      | 6,500  |
| 専門 | コンメンタール会社法施行規則・電子公告規則, 第2版                         | 商事法務      | 13,000 |

|    |                                                                     |                  |        |
|----|---------------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 専門 | 一問一答・平成26年改正会社法, 第2版 (一問一答シリーズ)                                     | 商事法務             | 3,600  |
| 専門 | 会社法                                                                 | 商事法務             | 3,700  |
| 専門 | 会社法実務相談                                                             | 商事法務             | 5,600  |
| 専門 | 会社法詳解: A Treatise on the Law of Corporations, 第2版                   | 商事法務             | 5,400  |
| 専門 | 新・日本の会社法                                                            | 商事法務             | 3,500  |
| 専門 | 新会社法, 第4版 (法律学の森)                                                   | 信山社出版            | 6,500  |
| 専門 | 会社法入門, 第2版 (基礎コース 法学 5)                                             | 新世社              | 2,200  |
| 専門 | 会社法重要判例, 第2版                                                        | 成文堂              | 2,000  |
| 専門 | 企業法の現代的課題: 正井章祐先生古稀祝賀                                               | 成文堂              | 17,000 |
| 専門 | 現代会社法講義, 第3版                                                        | 成文堂              | 4,200  |
| 専門 | やさしく学べる会社法入門                                                        | 税務経理協会           | 2,300  |
| 専門 | アタック会社法: ATTACK Corporate law                                       | 中央経済社            | 3,300  |
| 専門 | サマリー会社法: Summary in Corporate Law                                   | 中央経済社            | 2,700  |
| 専門 | テキストブック会社法, 第2版                                                     | 中央経済社            | 2,600  |
| 専門 | ビジネススタンダード会社法: Business Standard: Corporate Law                     | 中央経済社            | 3,400  |
| 専門 | 会社法: Japanese Corporation Law, 第2版                                  | 中央経済社            | 4,000  |
| 専門 | 会社法概説: Principles of Japanese Corporation Law, 第3版                  | 中央経済社            | 3,300  |
| 専門 | 会社法講義30講                                                            | 中央経済社            | 3,500  |
| 専門 | 会社法新判例の分析                                                           | 中央経済社            | 6,200  |
| 専門 | 基本テキスト会社法                                                           | 中央経済社            | 3,400  |
| 専門 | 最新会社法講義, 第3版                                                        | 中央経済社            | 2,800  |
| 専門 | 最新基本会社法                                                             | 中央経済社            | 4,000  |
| 専門 | 事例で学ぶ会社法実務, 全訂版                                                     | 中央経済社            | 4,200  |
| 専門 | 詳説会社法                                                               | 中央経済社            | 5,200  |
| 専門 | 入門会社法: Laws of Corporations                                         | 中央経済社            | 3,000  |
| 専門 | 会社法: CORPORATE LAW                                                  | 東京大学出版会          | 3,800  |
| 専門 | 図解新会社法のしくみ, 第3版                                                     | 東洋経済新報社          | 1,800  |
| 専門 | 会社法入門, 第5版                                                          | 同文館出版            | 3,500  |
| 専門 | 中小企業と法: The Law of Small and Medium Enterprises, 第2版                | 同文館出版            | 3,200  |
| 専門 | 会社法の学び方                                                             | 日本評論社            | 2,500  |
| 専門 | 設問でスタートする会社法                                                        | 法律文化社            | 2,300  |
| 専門 | ひとりで学ぶ会社法                                                           | 有斐閣              | 2,700  |
| 専門 | ポイントレクチャー会社法, 第2版                                                   | 有斐閣              | 3,800  |
| 専門 | リーガルマインド会社法, 第14版                                                   | 有斐閣              | 3,200  |
| 専門 | 会社訴訟・紛争実務の基礎: ケースで学ぶ実務対応                                            | 有斐閣              | 2,400  |
| 専門 | 会社法: CORPORATE LAW (有斐閣ストウディア)                                      | 有斐閣              | 1,900  |
| 専門 | 会社法, 第4版 (LEGAL QUEST)                                              | 有斐閣              | 2,900  |
| 専門 | 会社法要説: The Elements of Corporate Law, 第2版                           | 有斐閣              | 2,500  |
| 専門 | 株式会社法: Laws of Stock Corporations, 第7版                              | 有斐閣              | 5,600  |
| 専門 | 企業金融と会社法・資本市場規制: Law of Corporate Finance and Securities Regulation | 有斐閣              | 6,000  |
| 専門 | 現代会社法入門: Modern Corporation Law in Japan, 第4版                       | 有斐閣              | 2,900  |
| 専門 | 事例で考える会社法: Cases and Problems on Corporate Law, 第2版 (法学教室LIBRARY)   | 有斐閣              | 3,500  |
| 専門 | 平成26年会社法改正: 会社実務における影響と判例の読み方 (ジュリストBOOKS)                          | 有斐閣              | 1,600  |
| 専門 | 平成26年改正会社法: 改正の経緯とポイント, 規則対応補訂版                                     | 有斐閣              | 1,800  |
| 専門 | 金融から学ぶ会社法入門                                                         | 動草書房             | 4,000  |
| 専門 | 論文演習会社法: 上巻                                                         | 動草書房             | 3,500  |
| 専門 | 論文演習会社法: 下巻                                                         | 動草書房             | 3,200  |
| 専門 | グローバル化がわかる                                                          | 創成社              | 1,600  |
| 専門 | グローバル化とショック波及の経済学: 地方自治体・企業・個人の対応                                   | 有斐閣              | 2,600  |
| 専門 | ビジネス法入門: Introduction to Business Law, 第2版                          | 中央経済社            | 2,600  |
| 専門 | 企業法とコンプライアンス: “法令遵守”から“社会的要請への適応”へ, 第3版                             | 東洋経済新報社          | 3,800  |
| 専門 | 現代国際ビジネス法                                                           | 日本加除出版           | 2,700  |
| 専門 | 企業法入門, 第5版                                                          | 日本評論社            | 2,200  |
| 専門 | 描きながら考える力: 「ドゥードル」革命ーラクガキのパワーが思考とビジネスを変える!                          | クロスメディア・パブリッシング  | 2,480  |
| 専門 | シンプルに結果を出す人の5W1H思考: もう、あらゆるフレームワークに頼るのはやめよう                         | ずばる舎             | 1,800  |
| 専門 | SPRINT 最速仕事術: あらゆる仕事がかんたん! 最も合理的な方法                                 | ダイヤモンド社          | 1,600  |
| 専門 | 外資系コンサルの3STEP思考術: どんな難問にも答えを出せるアタマの使い方                              | ダイヤモンド社          | 1,600  |
| 専門 | 「ハカる」力: プロフェッショナルをめざす人のための新ビジネス基礎力養成講座                              | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 1,600  |
| 専門 | 最高の答えがひらめく、12の思考ツール: 問題解決のためのクリエイティブ思考                              | ビー・エヌ・エヌ新社       | 1,800  |

|    |                                                                                                 |                 |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | なぜデータ主義は失敗するのか?: 人文科学的思考のすすめ                                                                    | 早川書房            | 1,900 |
| 専門 | 本質思考: MIT式課題設定&問題解決                                                                             | 東洋経済新報社         | 1,600 |
| 専門 | 問題解決のジレンマ: イグノランスマネジメント: 無知の力                                                                   | 東洋経済新報社         | 1,600 |
| 専門 | ビジネス思考実験: 「何が起きるか?」を見通すための経営学100命題                                                              | 日経BP社           | 2,000 |
| 専門 | 最強のシンプル思考: 最高の結果を出すためのたった一つのルール                                                                 | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | 誰も教えてくれない考えるスキル: ロジカルシンキングで挫折したらこの本からやり直そう!                                                     | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | コンセプチュアル思考: Conceptual Thinking                                                                 | 日本経済新聞出版社       | 1,600 |
| 専門 | 超ロジカル思考: 「ひらめき力」を引き出す発想トレーニング                                                                   | 日本経済新聞出版社       | 1,600 |
| 専門 | 問題解決フレームワーク大全: Complete Catalogue of Problem-solving Methods                                    | 日本経済新聞出版社       | 1,600 |
| 専門 | 生産性が高い「残業ゼロ職場」のつくり方: 定時退社でも業績は上げられる!                                                            | 日本実業出版社         | 1,600 |
| 専門 | 問題解決「脳」のつくり方: なぜ、最高のソリューションが出ないのか?                                                              | 日本実業出版社         | 1,750 |
| 専門 | 新社会人のためのビジネスマナー講座: Business Etiquette Lecture for New Members of Society                        | ミネルヴァ書房         | 1,800 |
| 専門 | 社会人になる前に知っておきたいビジネスパーソンの常識とマナー                                                                  | 学文社             | 1,800 |
| 専門 | よくわかる自信がつくプレゼンテーション: 引きつけて離さないテクニック, 改訂版                                                        | FOM出版           | 1,800 |
| 専門 | 一生使えるプレゼン上手の資料作成入門: 説得力が劇的アップ                                                                   | インプレス           | 1,800 |
| 専門 | 説明がなくても伝わる図解の教科書                                                                                | かんき出版           | 1,600 |
| 専門 | 上司と部下のためのソーシャルスキル (ライブラリソーシャルスキルを身につける 2)                                                       | サイエンス社          | 1,900 |
| 専門 | ベストプレゼンテーション: マスターすべき98のスキルとトレーニング                                                              | ずばる舎            | 2,400 |
| 専門 | 伝わるプレゼン資料作成成功の実践法則50: 相手をうなずかせるための「考え方」と「実践ノウハウ」                                                | ソーテック社          | 1,580 |
| 専門 | 「困った会議」の進め方・まとめ方 (フェニックスシリーズ 63)                                                                | パンローリング         | 1,600 |
| 専門 | シンプル・ビジュアル・プレゼンテーション: SIMPLE VISUAL PRESENTATION                                                | ブックウォーカー        | 1,600 |
| 専門 | スライドを極めればプレゼンは100%成功する!: プレゼンテーションはスライドで変わる!                                                    | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 直感に刺さるプレゼンテーション                                                                                 | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | ビジネスパーソンのためのアサーション入門                                                                            | 金剛出版            | 2,000 |
| 専門 | 描いて、見せて、伝えるスゴいプレゼン                                                                              | 談話社             | 1,900 |
| 専門 | 組織に効くコミュニケーション: 等身大の関係性の築き方 (フィギュール彩 88)                                                        | 彩流社             | 1,800 |
| 専門 | ビジネスで使いこなすためのロジカルコミュニケーション77                                                                    | 産業能率大学出版部       | 1,800 |
| 専門 | プレゼン資料作成のツボとコツがゼッタイにわかる本: 元外資系コンサル会社のパワボの達人が教える!                                                | 秀和システム          | 2,200 |
| 専門 | 働くときのA・B・C: 働く前に、これだけは知っておきたいマナー・ルール・法律: 2016改訂増補2版 (全基連のテキストシリーズ)                              | 全国労働基準関係団体連合会   | 1,600 |
| 専門 | 実践ビジネス・コミュニケーション: 相手のこととビジネスの両方を満たすスキルが手に入る                                                     | 創成社             | 1,600 |
| 専門 | すぐに実践できるコミュニケーション読本                                                                             | 中央経済社           | 1,800 |
| 専門 | 技術1割のプレゼン: プレクラ標準テキスト                                                                           | 中外医学社           | 2,800 |
| 専門 | 表現技法: ビジネスマナーと文章技法, 第4版 (ヒューマンスキルアップ講座)                                                         | 電子開発学園出版局       | 2,000 |
| 専門 | 外資系コンサルのスライド作成術(事例集): 実例から学ぶリアルテクニック                                                            | 東洋経済新報社         | 2,000 |
| 専門 | 外資系コンサルのプレゼンテーション術: 課題解決のための考え方 & 伝え方                                                           | 東洋経済新報社         | 1,800 |
| 専門 | あなたと働きたいと言われる42のルール                                                                             | 同友館             | 2,000 |
| 専門 | ビジネス・ベクトル: 「意識改革」の前に「言葉がけ改革」                                                                    | 日刊工業新聞社         | 1,800 |
| 専門 | ビジネスと人を動かす驚異のストーリープレゼン: 人生・仕事・世界を変えた37人の伝え方                                                     | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | プレゼンテーションの教科書: Textbook for presentation, 第3版                                                   | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | 稲盛流コンパ: 最強組織をつくる究極の飲み会                                                                          | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | 商談・会議を成功させるビジネスプレゼン必勝法: 相手の心をつかむ資料作りとプレゼンのポイント                                                  | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | 世界最高のプレゼン教室: THE ART OF STORYTELLING                                                            | 日経BP社           | 2,600 |
| 専門 | 誰も教えてくれない質問するスキル: デキる人になりたいならこの本から見直そう!                                                         | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | 成功する人の話し方: 7つの絶対法則                                                                              | 日本経済新聞出版社       | 1,600 |
| 専門 | Google流資料作成術                                                                                    | 日本実業出版社         | 2,000 |
| 専門 | 新人広告プランナーが入社時に叩き込まれる「プレゼンテーション」基礎講座                                                             | 日本実業出版社         | 1,800 |
| 専門 | 職場のコミュニケーション改善の処方箋: モチベーション・生産性アップのための                                                          | 日本法令            | 1,900 |
| 専門 | 資料作成から発表までたったの4STEPでこんなに通る! プレゼン                                                                | 明日香出版社          | 1,700 |
| 専門 | シンプル×PowerPoint社内プレゼンの決定力を上げる本                                                                  | 翔泳社             | 1,600 |
| 専門 | スライドデザインの心理学: 一発で決まるプレゼン資料の作り方                                                                  | 翔泳社             | 2,180 |
| 専門 | 新エバンジェリスト養成講座: Tips for Presentation                                                            | 翔泳社             | 1,600 |
| 専門 | ビジネス教養としてのデザイン: 資料作成で活きるシンプルデザインの考え方 (できるビジネス)                                                  | インプレス           | 1,600 |
| 専門 | 一生使える見やすい資料のデザイン入門: プレゼン資料が劇的改善                                                                 | インプレス           | 1,800 |
| 専門 | 「速さ」と「質」を両立させるデッドライン資料作成術                                                                       | クロスメディア・パブリッシング | 1,580 |
| 専門 | 外資系コンサルが実践する図解作成の基本: 魅せて伝える図形ルール20 図解パターン16 デザイン56                                              | ずばる舎            | 2,800 |
| 専門 | 伝わるビジネス文書デザインの教科書                                                                               | ソシム             | 1,680 |
| 専門 | 図解見せれば即決! 資料作成術: 3秒で決まるプレゼン資料、ビジネス資料はここが違う                                                      | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | Excel & Wordでできる見解書顧客リストビジネス定番書類のつくり方: Excel 2016/2013/2010 Word 2016/2013/2010対応 (あめしたいにこうしたい) | 技術評論社           | 1,850 |
| 専門 | 半分の時間で3倍の説得力に仕上げるPowerPoint活用企画書作成術: PowerPointのイライラを解消                                         | 宣伝会議            | 1,800 |

|    |                                                                     |             |        |
|----|---------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
| 専門 | 外資系コンサルのビジネス文書作成術: ロジカルシンキングと文章術によるWord文書の作り方                       | 東洋経済新報社     | 1,800  |
| 専門 | ビジネス文章クリニック: 気になる「症状」治します!                                          | 日経BP社       | 1,800  |
| 専門 | 伝えるプレゼンテーション魅せる工夫                                                   | PILAR PRESS | 1,800  |
| 専門 | メディア・レトリック論: 文化・政治・コミュニケーション (〈シリーズ〉メディアの未来 10)                     | ナカニシヤ出版     | 2,400  |
| 専門 | 日常から考えるコミュニケーション学: メディアを通して学ぶ (〈シリーズ〉メディアの未来 7)                     | ナカニシヤ出版     | 2,000  |
| 専門 | 情念・感情・顔: 「コミュニケーション」のメタヒストリー                                        | 以文社         | 1,780  |
| 専門 | コミュニケーション研究: 社会の中のメディア, 第4版                                         | 慶應義塾大学出版会   | 2,800  |
| 専門 | 昭和30年代に学ぶコミュニケーション: 不易流行の考え方 (フィギュール彩 63)                           | 彩流社         | 1,800  |
| 専門 | グローバル・コミュニケーション学入門                                                  | 三省堂         | 2,300  |
| 専門 | フランスの他者: コミュニケーション思想とジェンダー                                          | 創英社         | 2,500  |
| 専門 | 〈顔〉のメディア論: メディアの相貌                                                  | 法政大学出版局     | 3,800  |
| 専門 | いろいろなあるコミュニケーションの社会学                                                | 北樹出版        | 1,900  |
| 専門 | パブリックコミュニケーションの世界, 改訂版 (叢書現代の社会学とメディア研究 第9巻)                        | 北樹出版        | 1,800  |
| 専門 | 文化とコミュニケーション (叢書現代の社会学とメディア研究 第2巻)                                  | 北樹出版        | 1,800  |
| 専門 | 現代対話学入門: 政治・経済から身体・AIまで                                             | 明石書店        | 2,700  |
| 専門 | 対話で育む多文化共生入門: ちがいを楽しみ、ともに生きる社会をめざして                                 | 明石書店        | 2,200  |
| 専門 | CAPTIVATE最強の人間関係術                                                   | ダイヤモンド社     | 1,600  |
| 専門 | 消極性デザイン宣言: 消極的な人よ、声を上げよ。…いや、上げなくてよい。                                | ピー・エヌ・エヌ新社  | 2,000  |
| 専門 | THE RHETORIC 人生の武器としての伝える技術                                         | ポプラ社        | 1,980  |
| 専門 | なぜこの人はわかってくれないのか: 対立を超える会話の技術                                       | 英治出版        | 2,000  |
| 専門 | 場づくりの教科書                                                            | 芸術新聞社       | 1,600  |
| 専門 | 相手も自分も大切にするコミュニケーション+社会学: 学校では教えてくれない人間関係の極意                        | 晃洋書房        | 1,700  |
| 専門 | あなたは、なぜ、つながれないのか: ラポールと身体知                                          | 春秋社         | 1,600  |
| 専門 | やわらかな言葉と体のレッスン                                                      | 春秋社         | 1,700  |
| 専門 | 好奇心のパワー: コミュニケーションが変わる                                              | 新評論         | 2,000  |
| 専門 | 人狼ゲームで学ぶコミュニケーションの心理学: 嘘と説得、コミュニケーショントレーニング                         | 新曜社         | 1,700  |
| 専門 | 「コミュ障」の社会学                                                          | 青土社         | 1,800  |
| 専門 | 一緒にいてもスマホ: SNSとFTF                                                  | 青土社         | 2,400  |
| 専門 | 全米最高視聴率男の「最強の伝え方」                                                   | 青土社         | 1,800  |
| 専門 | ほめかたの研究: 元氣と幸せを生み出す                                                 | 早稲田教育出版     | 1,600  |
| 専門 | 中国式コミュニケーションの処方箋: 世代の溝を埋め成功に導く                                      | 日本僑報社       | 1,900  |
| 専門 | NVC人と人との関係にいのちを吹き込む法, 新版                                            | 日本経済新聞出版社   | 1,900  |
| 専門 | グローバル社会のヒューマンコミュニケーション                                              | 八潮社         | 2,000  |
| 専門 | お世辞を言う機械はお好き?: コンピューターから学ぶ対人関係の心理学                                  | 福村出版        | 3,000  |
| 専門 | 英語で伝えたいいつもの日本                                                       | DHC         | 1,800  |
| 専門 | 知へのステップ: 大学生からのスタディ・スキルズ, 第4版                                       | くろしお出版      | 1,800  |
| 専門 | プロジェクト学習で始めるアクティブラーニング入門: テーマ決定からプレゼンテーションまで                        | コロナ社        | 2,000  |
| 専門 | 知的キャンパスライフのすすめ: スタディ・スキルズから自己開発へ, 第4版                               | 学術図書出版社     | 1,800  |
| 専門 | 新よくわかるライフデザイン入門: 大学でどのように学ぶか                                        | 古今書院        | 1,900  |
| 専門 | ゼミで学ぶスタディスキル, 第3版                                                   | 北樹出版        | 1,900  |
| 専門 | 学習設計マニュアル: 「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン                                | 北大路書房       | 2,200  |
| 専門 | アカデミック・スキル入門: 大学での学びをアクティブにする (有斐閣ブックス 698)                         | 有斐閣         | 1,700  |
| 専門 | 名言・格言・ことわざ辞典: Dictionary of WITTY REMARK, FAMOUS SAYING and PROVERB | ミネルヴァ書房     | 3,500  |
| 専門 | ことわざのタマゴ: 当世コトワザ読本                                                  | 朝倉書店        | 2,300  |
| 専門 | 疑惑の科学者たち: 盗用・捏造・不正の歴史                                               | 原書房         | 2,400  |
| 専門 | ニュートンのりんご、アインシュタインの神: 科学神話の虚実                                       | 青土社         | 2,900  |
| 専門 | リヴァイアサンと空気ポンプ: ホップズ、ボイル、実験的生活                                       | 名古屋大学出版会    | 5,800  |
| 専門 | 白い大陸への挑戦: 日本南極観測隊の60年                                               | 現代書館        | 1,800  |
| 専門 | 世界科学史大年表: ビジュアル版                                                    | 終風舎         | 19,000 |
| 専門 | 為末の未来対談: 僕たちの可能性ととりあえずの限界の話をしよう                                     | プレジデント社     | 1,600  |
| 専門 | 大英自然史博物館の〈至宝 (トレジャーズ) 〉250                                          | 創元社         | 3,600  |
| 専門 | 筆算をひろめた男: 幕末明治の算数物語                                                 | 臨川書店        | 2,400  |
| 専門 | 物理学は歴史をどう変えてきたか: 古代ギリシャの自然哲学から暗黒物質の謎まで                              | 東京書籍        | 2,400  |
| 専門 | ジオコスモスの変容: デカルトからライプニッツまでの地球論 (bibliotheca hermetica叢書)             | 勁草書房        | 4,800  |
| 専門 | 日本の地震予知研究130年史: 明治期から東日本大震災まで                                       | 東京大学出版会     | 7,600  |
| 専門 | 人新世とは何か: 〈地球と人類の時代〉の思想史                                             | 青土社         | 3,200  |
| 専門 | 生命の不思議に挑んだ科学者たち                                                     | 山川出版社       | 1,800  |
| 専門 | 難読誤植植物名漢字よみかた辞典                                                     | 日外アソシエーツ    | 2,300  |
| 専門 | 描かれた病: 疾病および芸術としての医学挿画                                              | 河出書房新社      | 3,800  |

|    |                                                                              |          |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|
| 専門 | 50の事物で知る図説医学の歴史                                                              | 原書房      | 2,800  |
| 専門 | ノーベル賞の真実: いま明かされる選考の裏面史                                                      | 東京化学同人   | 2,800  |
| 専門 | 病原菌と国家: ヴィクトリア時代の衛生・科学・政治                                                    | 名古屋大学出版会 | 6,300  |
| 専門 | 心臓の科学史: 古代の「発見」から現代の最新医療まで                                                   | 青土社      | 2,800  |
| 専門 | 精神医学の歴史と人類学(シリーズ精神医学の哲学 2)                                                   | 東京大学出版会  | 4,800  |
| 専門 | 緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く                                                            | 思文閣出版    | 2,300  |
| 専門 | 描かれた手術: 19世紀外科学の原理と実際およびその挿画                                                 | 河出書房新社   | 3,800  |
| 専門 | 日本が優生社会になるまで: 科学啓蒙、メディア、生殖の政治                                                | 勁草書房     | 5,500  |
| 専門 | 技術の文化史: 2 匠の技と美                                                              | 関西大学出版部  | 3,300  |
| 専門 | 発明とアイデアの文化誌                                                                  | 東京堂出版    | 2,200  |
| 専門 | この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた                                                        | 河出書房新社   | 2,300  |
| 専門 | やさしい21世紀科学技術の真相: ネットでは判らない真実に迫る!                                             | 人間の科学新社  | 7,000  |
| 専門 | オートメーション・バカ: 先端技術がわたしたちにしていること                                               | 青土社      | 2,200  |
| 専門 | 拡張の世紀: テクノロジーによる破壊と創造                                                        | 東洋経済新報社  | 2,400  |
| 専門 | 2050年の技術: 英『エコノミスト』誌は予測する                                                    | 文藝春秋     | 1,700  |
| 専門 | 世界の発明発見歴史百科                                                                  | 原書房      | 4,500  |
| 専門 | 世界をつくった6つの革命の物語: 新・人類進化史                                                     | 朝日新聞出版   | 1,900  |
| 専門 | メディアとICTの知的財産権, 第2版(未来へつなぐデジタルシリーズ 12)                                       | 共立出版     | 2,900  |
| 専門 | はばたき-21世紀の知的財産法: 中山信弘先生古稀記念論文集                                               | 弘文堂      | 14,000 |
| 専門 | 知的財産法                                                                        | 弘文堂      | 3,700  |
| 専門 | 知的財産法演習ノート: 知的財産法を楽しむ23問, 第4版                                                | 弘文堂      | 3,000  |
| 専門 | 知的財産権六法: a compendium of intellectual property laws and court cases: 2018    | 三省堂      | 2,800  |
| 専門 | 知的財産・コンピュータと法: 野村豊弘先生古稀記念論文集                                                 | 商事法務     | 16,000 |
| 専門 | 知的財産法講義, 3訂版                                                                 | 税務経理協会   | 3,000  |
| 専門 | 知的財産法入門: INTRODUCTION TO INTELLECTUAL PROPERTY LAW THEORY AND PRACTICE, 第15版 | 中央経済社    | 3,400  |
| 専門 | 企業人・大学人のための知的財産権入門: 特許法を中心に, 第3版                                             | 東京化学同人   | 2,800  |
| 専門 | 知的財産・知的財産権・知的財産戦略                                                            | 同文館出版    | 2,000  |
| 専門 | プロダクトデザイン保護法: 商品・空間・情報を対象としたデザインの法的保護                                        | 日本加除出版   | 3,300  |
| 専門 | 国際知的財産法入門                                                                    | 日本評論社    | 3,000  |
| 専門 | 中国知財戦略: イノベーションの実態と知財プラクティス                                                  | 白桃書房     | 2,800  |
| 専門 | 知的財産権法概論                                                                     | 発明推進協会   | 3,250  |
| 専門 | 日本知的財産法: Intellectual Property Law in Japan                                  | 発明推進協会   | 3,000  |
| 専門 | 実践知的財産法: 制度と戦略入門                                                             | 法律文化社    | 4,000  |
| 専門 | 知的財産関係条約: TREATIES OF INTELLECTUAL PROPERTY                                  | 有斐閣      | 3,200  |
| 専門 | 知的財産法: 2 著作権法(有斐閣ストゥディア)                                                     | 有斐閣      | 1,800  |
| 専門 | 知的財産法(Legal Quest)                                                           | 有斐閣      | 3,500  |
| 専門 | 知的財産法, 第8版(有斐閣アルマ Specialized)                                               | 有斐閣      | 2,900  |
| 専門 | 知的財産法入門: INTELLECTUAL PROPERTY LAW, 第2版                                      | 有斐閣      | 2,600  |
| 専門 | 入門知的財産法: An Introduction to Intellectual Property Law                        | 有斐閣      | 2,600  |
| 専門 | 知財の正義                                                                        | 勁草書房     | 6,800  |
| 専門 | できるサーチャーになるための特許調査の知識と活用ノウハウ                                                 | オーム社     | 2,400  |
| 専門 | 特許法, 第3版(法律学講座双書)                                                            | 弘文堂      | 4,500  |
| 専門 | 特許の英語表現・文例集, 増補改訂版                                                           | 講談社      | 3,400  |
| 専門 | 特許権行使の制限法理                                                                   | 商事法務     | 7,500  |
| 専門 | 特許訴訟の実務, 第2版(裁判実務シリーズ 2)                                                     | 商事法務     | 6,200  |
| 専門 | 新・注解特許法: 上巻 第1条～第65条(第1章～第3章の2), 第2版                                         | 青林書院     | 16,000 |
| 専門 | 新・注解特許法: 中巻 第66条～第112条の3(第4章第1節～第3節), 第2版                                    | 青林書院     | 18,000 |
| 専門 | 新・注解特許法: 下巻 第113条～第204条(第5章～第11章)附則・判例索引・事項索引, 第2版                           | 青林書院     | 16,000 |
| 専門 | 特許法: PATENT LAW, 第2版                                                         | 有斐閣      | 3,200  |
| 専門 | 標準特許法: Patent Law From the Ground Up, 第6版                                    | 有斐閣      | 2,600  |
| 専門 | 意匠法, 新版 第3版(知的財産法実務シリーズ 3)                                                   | 中央経済社    | 3,200  |
| 専門 | デザイン保護法制の現状と課題: 法学と創作の視点から                                                   | 日本評論社    | 6,300  |
| 専門 | 商標法, 第2次改訂版                                                                  | 学陽書房     | 6,500  |
| 専門 | 新しい商標と商標権侵害: 色彩、音からキャッチフレーズまで                                                | 青林書院     | 7,200  |
| 専門 | 商標法, 新版 第5版(知的財産法実務シリーズ 2)                                                   | 中央経済社    | 3,500  |
| 専門 | 商標法の研究(日本大学法学部叢書 第38巻)                                                       | 中央経済社    | 6,800  |
| 専門 | 技術レポート作成と発表の基礎技法, 改訂版                                                        | コロナ社     | 2,000  |
| 専門 | 科学機器の歴史: 望遠鏡と顕微鏡: イタリア・オランダ・フランスとアカデミー                                       | 日本評論社    | 2,600  |
| 専門 | 核の恐怖全史: 核イメージは現実政治にいかなる影響を与えたか                                               | 人文書院     | 6,800  |

|    |                                                                               |                  |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 専門 | ブルートピア: 原子力村が生みだす悲劇の連鎖                                                        | 講談社              | 3,000  |
| 専門 | インターネットの光と影: 被害者・加害者にならないための情報倫理入門, Ver.6                                     | 北大路書房            | 2,000  |
| 専門 | 戦争の物理学: 弓矢から水爆まで兵器はいかに生みだされたか                                                 | 白揚社              | 2,800  |
| 専門 | ビジネス文書と日本語表現: 正しい美しい日本語で相手の心をつかむ, 改訂2版                                        | 学文社              | 2,200  |
| 専門 | 英語ビジネスドキュメント・ライティングの技術: Techniques for Business Document Writing              | 日本経済新聞出版社        | 1,700  |
| 専門 | 日本の銭湯ガイド: How to Take a Japanese Bath                                         | IBCパブリッシング       | 1,800  |
| 専門 | 鉄道の歴史: 鉄道誕生から磁気浮上式鉄道まで                                                        | 創元社              | 2,800  |
| 専門 | 英語で伝えたい日本の世界遺産: Introducing World Heritage Sites in Japan                     | ジャパンタイムズ         | 1,900  |
| 専門 | 能面の神秘: バイリンガル版                                                                | IBCパブリッシング       | 3,400  |
| 専門 | アメリカ映画の名セリフベスト100: 映画スターが英語の先生                                                | フォーインスクリーンプレイ事業部 | 1,600  |
| 専門 | TED TALKS: スーパープレゼンを学ぶTED公式ガイド                                                | 日経BP社            | 1,800  |
| 専門 | 山根基世の朗読読本                                                                     | 評論社              | 3,800  |
| 専門 | はじめての朗読表現トレーニング                                                               | 雷鳥社              | 1,800  |
| 専門 | 日本語のしくみ, 新版                                                                   | 白水社              | 1,600  |
| 専門 | さらに悩ましい国語辞典: 辞書編集者を惑わす日本語の不思議!                                                | 時事通信出版局          | 1,600  |
| 専門 | 漢字の使い分けときあかし辞典                                                                | 研究社              | 2,300  |
| 専門 | 広辞苑, 第7版 机上版                                                                  | 岩波書店             | 14,000 |
| 専門 | 角川新字源, 改訂新版                                                                   | KADOKAWA         | 3,000  |
| 専門 | 全訳漢辞海, 第4版 机上版                                                                | 三省堂              | 5,500  |
| 専門 | 新明解故事ことわざ辞典, 第2版                                                              | 三省堂              | 3,000  |
| 専門 | 麗言雑言辞典, 新装版                                                                   | 東京堂出版            | 1,800  |
| 専門 | 三省堂反対語対立語辞典                                                                   | 三省堂              | 2,200  |
| 専門 | 新全訳古語辞典                                                                       | 大修館書店            | 1,800  |
| 専門 | 用例でわかるカタカナ新語辞典: A Dictionary of Katakana Words, 改訂第4版                         | 学研プラス            | 2,400  |
| 専門 | 見やすいカタカナ新語辞典, 第2版                                                             | 三省堂              | 2,200  |
| 専門 | 新修聴語大辞典                                                                       | 皓星社              | 7,500  |
| 専門 | おいしさの表現辞典, 新装版                                                                | 東京堂出版            | 2,200  |
| 専門 | 音の表現辞典                                                                        | 東京堂出版            | 2,500  |
| 専門 | 実例詳解古典文法総覧                                                                    | 和泉書院             | 8,000  |
| 専門 | 読解のための古典文法教室: 大学生・古典愛好家へ贈る                                                    | 和泉書院             | 2,200  |
| 専門 | 現代感動詞用法辞典                                                                     | 東京堂出版            | 4,700  |
| 専門 | 現代副詞用法辞典, 新装版                                                                 | 東京堂出版            | 5,500  |
| 専門 | 迷った時にすぐ引ける勘違い敬語の辞典                                                            | 東京堂出版            | 1,800  |
| 専門 | 伝わる文章Before)))After: せっかく書くならみんなに読んでもらいたい                                     | まわいブックスギャラリー     | 1,600  |
| 専門 | 文章表現の四つの構造                                                                    | 石文書院             | 1,600  |
| 専門 | 「伝わる日本語」練習帳                                                                   | 近代科学社            | 1,800  |
| 専門 | 文章表現の基礎技法                                                                     | 八千代出版            | 2,000  |
| 専門 | これだけは知っておきたい公用文の書き方・用字用語例集, 第2版                                               | 日本加除出版           | 2,300  |
| 専門 | 小論文は怖くない: 基本を知ればスラスラ書ける!                                                      | あいり出版            | 1,900  |
| 専門 | プロジェクトとしての論文執筆: 修士論文・博士論文の執筆計画                                                | 関西学院大学出版会        | 1,900  |
| 専門 | これからレポート・卒論を書く若者のために, 第2版                                                     | 共立出版             | 1,800  |
| 専門 | これから論文を書く若者のために, 究極の大改訂版                                                      | 共立出版             | 2,700  |
| 専門 | 論理コミュニケーション, 第2版                                                              | 慶應義塾大学出版会        | 1,800  |
| 専門 | 社会で活躍するためのロジカル・ライティング: 自己分析と文章力の養成                                            | 弘文堂              | 1,900  |
| 専門 | アカデミック・ライティングの基礎: 資料を活用して論理的な文章を書く                                            | 晃洋書房             | 1,700  |
| 専門 | 学術論文の作法, 第2版                                                                  | 成文堂              | 2,500  |
| 専門 | レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド: 大学生・大学院生のための自己点検法29                                 | 大修館書店            | 1,600  |
| 専門 | 日本語表現力: アカデミック・ライティングのための基礎トレーニング                                             | 朝倉書店             | 2,500  |
| 専門 | 採用される作文・レポート・論文の書き方: 大学生教員採用試験受験者必読!                                          | 東洋館出版社           | 2,300  |
| 専門 | 英語習慣をつくる1日まるごと表現600プラス                                                        | コスモピア            | 1,600  |
| 専門 | 日常まるごと英語表現ハンドブック: 英語習慣をつくる! 増補改訂版                                             | コスモピア            | 2,300  |
| 専門 | 日本の地理・歴史・文化を英語で表現する                                                           | ナツメ社             | 2,200  |
| 専門 | 英語で論理的に賛成・反対が言えるトレーニング: 200パターンで1000の英文を使いこなす                                 | ベレ出版             | 1,800  |
| 専門 | The First Step for Studying Abroad                                            | 英宝社              | 2,200  |
| 専門 | 学びなおしEnglish                                                                  | 慶應義塾大学出版会        | 1,800  |
| 専門 | 大学で学ぶ英語の教科書                                                                   | 慶應義塾大学出版会        | 2,000  |
| 専門 | アメリカの現在(いま)を知る重要表現24: Building Effective English Listening and Reading Skills | 研究社              | 1,600  |
| 専門 | もしも、こんな英語の授業に出会っていたら?: 英語の「なぜ?」を解き明かす55の秘話, 改訂版                               | 三恵社              | 1,600  |
| 専門 | なぜあの人ば中学英語で世界のトップを説得できるのか: 孫正義のYesと言わせる技術                                     | 祥伝社              | 1,570  |

|    |                                                                                                              |               |        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|
| 専門 | 英語実践力獲得への道: ストラテジーと演習                                                                                        | 大学教育出版        | 2,400  |
| 専門 | TOEIC850点から始める読得力のある英語                                                                                       | 東京図書出版        | 1,600  |
| 専門 | 英文書類や英語論文で必須の基本表現: これだけは身に付けたい基礎ルール                                                                          | 南雲堂           | 2,000  |
| 専門 | 使える英語を身につけるための4つの法則: 教材大国ニッポンの迷信を打ち破る!                                                                       | IBCパブリッシング    | 1,600  |
| 専門 | 究極の英語学習法はじめてのK/Hシステム: ゼロから英語のOS(基盤力)を構築する                                                                    | アルク           | 2,200  |
| 専門 | はじめての多読的シャドーイング: 3ステップによるシャドーイングでぐんぐん英語力がアップする!                                                              | コスモピア         | 1,900  |
| 専門 | 英語の本を読むためのガイドブック: Guidebook to read a book in English                                                        | 講談社エディトリアル    | 2,200  |
| 専門 | 英語を使いこなすための実践的学習法: my Englishのすすめ                                                                            | 大修館書店         | 1,600  |
| 専門 | 映画英語のリスニング恋するブルックリン: ボトムアップ式 (CD BOOK)                                                                       | DHC           | 1,800  |
| 専門 | 4技能が身につく究極の音読プログラム: 中級編                                                                                      | IBCパブリッシング    | 1,600  |
| 専門 | グリム名作選: TOEICテスト300点以上 (IBCオーディオボックス-やさしい英語を聴いて読む-)                                                          | IBCパブリッシング    | 1,800  |
| 専門 | そして誰もいなくなった: TOEICテスト470点未満 (IBCオーディオボックス-やさしい英語を聴いて読む-)                                                     | IBCパブリッシング    | 1,900  |
| 専門 | 英語発音体操: 脳細胞を活性化し、新陳代謝もよくなる、スピーキング革命!                                                                         | IBCパブリッシング    | 1,800  |
| 専門 | 英語の発音パーフェクト学習事典: 英語の音声のすべてがここにある! 改訂版                                                                        | アルク           | 2,600  |
| 専門 | 音声英語の諸相                                                                                                      | 近代文藝社         | 2,300  |
| 専門 | イギリス英語発音教本                                                                                                   | 研究社           | 2,000  |
| 専門 | もっとイギリス英語でしゃべりたい!: UKイントネーション・パーフェクトガイド (CD BOOK)                                                            | 研究社           | 2,000  |
| 専門 | 英語で聞く力。: 81のサンプル・リスニングで鍛える!                                                                                  | 三修社           | 2,400  |
| 専門 | 英語の発音とリスニングの音則: 日本人に伝えたい                                                                                     | 新日本教育図書       | 2,300  |
| 専門 | 耳から学ぶ英語 (放送大学教材)                                                                                             | 放送大学教育振興会     | 2,600  |
| 専門 | オックスフォード英単語由来大辞典                                                                                             | 校風舎           | 18,000 |
| 専門 | 日常英語連想辞典: A Dictionary of Word Imagery & Associations                                                        | 三省堂           | 2,200  |
| 専門 | オックスフォード現代英辞典: Oxford Advanced Learner's Dictionary, 第9版                                                     | オックスフォード大学出版局 | 5,500  |
| 専門 | 難訳・和英「語感」辞典: The Unafraid Semantic Dictionary-Japanese to English                                            | さくら舎          | 3,000  |
| 専門 | オーレックス英和辞典: O-LEX ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY, 第2版 新装版                                                       | 旺文社           | 3,300  |
| 専門 | リーダーズ英和中辞典: KENKYUSHA'S SHORTER ENGLISH READER'S DICTIONARY, 第2版                                             | 研究社           | 5,000  |
| 専門 | グランドセンチュリー英和辞典: The Grand Century English-Japanese Dictionary, 第4版                                           | 三省堂           | 3,000  |
| 専門 | ジーニアス英和辞典: Genius ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY, 第5版 机上版                                                       | 大修館書店         | 6,400  |
| 専門 | 図解英単語イメージ辞典: An Illustrated Dictionary of Common English Words                                               | 大修館書店         | 3,200  |
| 専門 | 小学館オックスフォード英語コロケーション辞典: Shogakukan-Oxford   English-Japanese Collocations Dictionary for students of English | 小学館           | 4,800  |
| 専門 | オックスフォード英語ことわざ・名言辞典                                                                                          | 校風舎           | 15,000 |
| 専門 | 英語語彙大講座                                                                                                      | DHC           | 2,200  |
| 専門 | 語源で増やす政治・経済・社会の英単語                                                                                           | ベレ出版          | 1,700  |
| 専門 | 発信型英語類語使い分けマップ                                                                                               | ベレ出版          | 1,900  |
| 専門 | ネイティブの語感に迫るアクティブな英単語力: 大学入学レベル (一歩進める英語学習・研究ブックス)                                                            | 開拓社           | 2,300  |
| 専門 | 語尾単: 「語源」からスイスイ覚える英単語                                                                                        | 学研プラス         | 1,600  |
| 専門 | 謎解きの英文法: 副詞と数量詞                                                                                              | くろしお出版        | 1,600  |
| 専門 | 謎解きの英文法: 動詞                                                                                                  | くろしお出版        | 1,600  |
| 専門 | 瞬発力で話す!語順マスター英作文初級                                                                                           | コスモピア         | 1,600  |
| 専門 | 表現英文法: わかるから使えるへ、増補改訂第2版                                                                                     | コスモピア         | 2,100  |
| 専門 | 話すための表現英文法トレーニング                                                                                             | コスモピア         | 1,600  |
| 専門 | 一生モノの英文法COMPLETE: ゆるぎない基礎英語力を獲得するための最短ルート                                                                    | ベレ出版          | 2,200  |
| 専門 | 基礎がため一生モノの英文法BASIC: ゼロから学べて入門コースに確実に乗るための最短ルート                                                               | ベレ出版          | 1,800  |
| 専門 | ジョークで楽しむ英文法再入門: English Grammar through Jokes                                                                | 開拓社           | 2,900  |
| 専門 | CEFRIに基づく英文法                                                                                                 | 桐原書店          | 2,800  |
| 専門 | 生英語で鍛える英文法                                                                                                   | 研究社           | 1,600  |
| 専門 | 要点明解アルファ英文法、新装版                                                                                              | 研究社           | 2,500  |
| 専門 | 吸血鬼の英文法                                                                                                      | 彩流社           | 2,200  |
| 専門 | 英文法は役に立つ: 英語をもっと深く知りたい人のために                                                                                  | 春風社           | 2,000  |
| 専門 | 聞くだけで中学英語を3時間で簡単に身につける本                                                                                      | 南雲堂           | 1,800  |
| 専門 | 英語事始め (放送大学教材)                                                                                               | 放送大学教育振興会     | 2,800  |
| 専門 | 超英語思考グラマー (CD BOOK)                                                                                          | 明日香出版社        | 1,600  |
| 専門 | オックスフォード実例現代英語用法辞典、第4版                                                                                       | 研究社           | 6,000  |
| 専門 | 英語の名詞をきわめる: 可算名詞と不可算名詞の使い分け                                                                                  | 春風社           | 1,800  |
| 専門 | 英語冠詞大講座                                                                                                      | DHC           | 2,000  |
| 専門 | 研究社英語の数量表現辞典: KENKYUSHA'S GUIDE TO QUANTITATIVE EXPRESSIONS IN ENGLISH, 増補改訂版                                | 研究社           | 3,800  |
| 専門 | ネイティブが教える英語の時の制の使い分け: Mastering English Tenses                                                               | 研究社           | 1,700  |
| 専門 | 英語のしくみがわかる基本動詞24、新装版                                                                                         | 研究社           | 2,500  |
| 専門 | イメージで比べてわかる前置詞使い分けBOOK: 豊富な(イラスト図解)・(例文)詳しい解説で前置詞の感覚がつかまる                                                    | ベレ出版          | 1,800  |

|    |                                                                                                       |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | イメージ感覚で捉える英語の前置詞: 39の前置詞を集中マスター (一歩進める英語学習・研究ブックス)                                                    | 開拓社              | 1,800 |
| 専門 | 英語で書くあいさつ・お知らせ: 日常・社交・ビジネスに                                                                           | アスク出版            | 1,600 |
| 専門 | ここで差がつく!英文ライティングの技術: 英語は!ではじめるな!                                                                      | ティエス企画           | 1,800 |
| 専門 | 英語ライティングの原理原則: テストに強くなる レポート・論文で評価される                                                                 | ティエス企画           | 1,600 |
| 専門 | 基本を学び構成力を養う英語ライティングルールブック                                                                             | ティエス企画           | 1,600 |
| 専門 | 「国際会議・研究発表・学術イベント」読のための英語表現: INTERNATIONAL CONFERENCE ENGLISH: Towards Logical and Impressive Writing | ベレ出版             | 2,400 |
| 専門 | 英語で書く力。: 70のサンプル・ライティングで鍛える!                                                                          | 三修社              | 2,400 |
| 専門 | 添削!日本人英語: 世界で通用する英文スタイルへ                                                                              | 朝日出版社            | 1,800 |
| 専門 | 日本人のための英語ライティング講座: 日本語発想の転換から英語の書き方をやさしく学ぶ                                                            | 南雲堂              | 1,991 |
| 専門 | メールとレターの英語表現5500: そのまま使える                                                                             | 語研               | 2,000 |
| 専門 | 放送英語ニュースの楽しい世界: 世界に向けて、日本を伝えるその楽しさとハードル!                                                              | 創英社              | 1,600 |
| 専門 | 英文精読術: 東大名誉教授と名作・ムームの『赤毛』を読む                                                                          | DHC              | 1,800 |
| 専門 | 東大名誉教授と原文で楽しむ英文読書術                                                                                    | DHC              | 1,800 |
| 専門 | 英語がどんどん読めるようになる! 1日10分トレーニング                                                                          | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | 学校では教えてくれない!1ヶ月で洋書が読めるタニキ式英語リーディング: 連続トレーニング教材!1ヶ月分&厳選1000単語リスト付ですぐに始められる!                            | プチ・レトル           | 2,200 |
| 専門 | 英語シナリオで楽しむSTAR WARS: エピソード1ファントム・メナス エピソード2クローンの攻撃 エピソード3シスの復讐                                        | 学研プラス            | 1,600 |
| 専門 | 英語シナリオで楽しむSTAR WARS: エピソード4新たなる希望 エピソード5帝国の逆襲 エピソード6ジェダイの帰還                                           | 学研プラス            | 1,600 |
| 専門 | やさしい英語ニュースで学ぶ現代社会と健康: Contemporary News in Health and Community by Basic English                      | 講談社              | 2,400 |
| 専門 | 英文ニュースで学ぶ健康とライフスタイル: Exploring English through Health Care Issues toward a Better Life                | 講談社              | 2,600 |
| 専門 | 英語で読む力。: 54のサンプル・リーディングで鍛える!                                                                          | 三修社              | 2,400 |
| 専門 | 英語で読むイソップ物語: 田舎のネズミと町のネズミ/北風と太陽/オオカミと少年 キツネとブドウ/アリとキリギリス/金の卵を産むガチョウ他 (IBC対訳ライブラリー)                    | IBCパブリッシング       | 2,000 |
| 専門 | 英語で読むオペラ座の怪人: The Phantom of the Opera (IBC対訳ライブラリー)                                                  | IBCパブリッシング       | 1,800 |
| 専門 | 英語で読むオリエンタル急行殺人事件: Murder on the Orient Express (IBC対訳ライブラリー)                                         | IBCパブリッシング       | 1,800 |
| 専門 | 英語で読むクマのプーさん: 楽しく読んで英語力アップ (IBC対訳ライブラリー)                                                              | IBCパブリッシング       | 1,900 |
| 専門 | 英語で読むグリム名作選: The Best of Grimm's Fairy Tales (IBC対訳ライブラリー)                                            | IBCパブリッシング       | 2,000 |
| 専門 | 英語で読む羽生結弦: 世界の英知が身に付き英語力がアップする (IBC対訳ライブラリー)                                                          | IBCパブリッシング       | 1,800 |
| 専門 | 英語で読む芥川龍之介短編集: Short Stories of Ryunosuke Akutagawa (IBC対訳ライブラリー)                                     | IBCパブリッシング       | 2,000 |
| 専門 | 英語で読む宮沢賢治短編集: Short Stories of Kenji Miyazawa (IBC対訳ライブラリー)                                           | IBCパブリッシング       | 2,000 |
| 専門 | 海外クラシック傑作選: Enjoy Reading (IBC対訳ライブラリー)                                                               | IBCパブリッシング       | 2,200 |
| 専門 | 海外メディアから読み解く世界情勢: 日英対訳                                                                                | IBCパブリッシング       | 2,200 |
| 専門 | 日本まるごとQ&A: Everything You Should Know about Japan (対訳ニッポン双書)                                          | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | シンプルな英語で話すアメリカ史: 対訳                                                                                   | ジャパンタイムズ         | 1,800 |
| 専門 | シンプルな英語で話す西洋の天才たちWESTERN GENIUS: 対訳                                                                   | ジャパンタイムズ         | 1,800 |
| 専門 | シンプルな英語で話す日本史: 対訳                                                                                     | ジャパンタイムズ         | 1,800 |
| 専門 | グレース・オブ・モナコ: 公妃の切り札 (スクリーンプレイ・シリーズ 174)                                                               | フォーインスクリーンプレイ事業部 | 1,600 |
| 専門 | ジョーシャックの空に: 名作映画完全セリフ集 (スクリーンプレイ・シリーズ 182)                                                            | フォーインスクリーンプレイ事業部 | 1,600 |
| 専門 | ブラダを着た悪魔: 名作映画完全セリフ音声集、再改訂版 (スクリーンプレイ・シリーズ 183)                                                       | フォーインスクリーンプレイ事業部 | 1,600 |
| 専門 | 英語で日本昔ばなし: 和英対訳                                                                                       | ベレ出版             | 1,800 |
| 専門 | Hapa英会話ネイティブ感覚で話す英語フレーズ                                                                               | DHC              | 1,800 |
| 専門 | 英語リプロダクショントレーニング: English Reproduction Training: アドバンス編 通訳メソッドだから短期間で確実に効果が出せる! (CD BOOK)             | DHC              | 1,800 |
| 専門 | 会話力がアップする英語雑談75                                                                                       | DHC              | 1,900 |
| 専門 | 図式で攻略!英語スピーキング: 論理的スピーチ60+ダイアログ20で徹底トレーニング                                                            | DHC              | 2,300 |
| 専門 | 知識と教養の英会話: 政治・経済・社会編                                                                                  | DHC              | 1,900 |
| 専門 | 知識と教養の英会話、第2版                                                                                         | DHC              | 1,900 |
| 専門 | いちばんシンプルな英語の答え方                                                                                       | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | こんなとき英語でどう乗り切る!?: 海外で起こりうる140のシチュエーション                                                                | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | 英語「瞬発」スピーキング: 日本人の弱点である「瞬発力」をパワー音読で徹底的にトレーニングする!                                                      | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | 音読JAPAN: 英語でいまのニッポンを語ろう!                                                                              | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | 日本を語る英語                                                                                               | IBCパブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | 英会話8倍増量トレーニング: 必要最低限の50フレーズがみるみる増える                                                                   | アルク              | 1,800 |
| 専門 | 英会話日常表現大辞典10000+: 言いたい表現はすべてここにある! 新装版                                                                | アルク              | 2,800 |
| 専門 | 起きてから寝るまで英語で「7つの習慣」                                                                                   | アルク              | 1,600 |
| 専門 | 起きてから寝るまで英語表現1000: 1日の「体の動き」「心のつづやき」を全部英語で言って会話力アップ!                                                  | アルク              | 1,600 |
| 専門 | 今日から使える「留学&ホームステイのための英会話: 出発から現地授業のシミュレーションまで                                                         | アルク              | 1,800 |
| 専門 | 外国人から日本についてよく聞かれる質問200: 外国人観光客からはよく聞かれるのに日本人には想定外の質問あれこれ                                              | クロスメディア・ランゲージ    | 1,680 |
| 専門 | いきなり英語スピーキング: 日本語で考えないイラスト反射特訓                                                                        | ジャパンタイムズ         | 1,600 |
| 専門 | 英会話びったりフレーズ3000: 日本語→英語MP3音声無料ダウンロード                                                                  | ジャパンタイムズ         | 1,800 |
| 専門 | 敬語の英語: 礼儀正しく、的確に伝える                                                                                   | ジャパンタイムズ         | 1,600 |
| 専門 | 論理を学び表現力を養う英語スピーキングルールブック                                                                             | ティエス企画           | 1,800 |

|    |                                                                |            |       |
|----|----------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | ホームステイの英会話リアル表現BOOK                                            | ナツメ社       | 1,680 |
| 専門 | 50トピックでトレーニング英語で意見を言ってみる                                       | ベレ出版       | 1,900 |
| 専門 | ニュアンスそのまゝ! 日常のこんな日本語を英語で言いたい! こんな英語表現の本が欲しかった! (CD BOOK)       | ベレ出版       | 1,900 |
| 専門 | 超ガチレ英語スピーキング上達トレーニング                                           | ベレ出版       | 3,500 |
| 専門 | 英語スピーチ・クリニック: SPEECH CLINIC FOR ENGLISH LEARNERS               | 研究社        | 1,600 |
| 専門 | 英語で雑談できるようになる生活フレーズ集                                           | 研究社        | 1,600 |
| 専門 | 英語で説明する人文科学                                                    | 語研         | 2,400 |
| 専門 | 英語で説明する日本の観光名所100選, 改訂第2版                                      | 語研         | 2,200 |
| 専門 | 英語はもっとネイティブ感覚で話そう: NZ発の人気英語学習ブログ                               | 語研         | 1,700 |
| 専門 | 英語はもっとフレーズで話そう: Learning Real English with PHRASEMIX           | 語研         | 1,800 |
| 専門 | 英語で話す力。: 141のサンプル・スピーチで鍛える!                                    | 三修社        | 2,400 |
| 専門 | 不思議の国のアリス: 対訳・注解                                               | 研究社        | 3,500 |
| 専門 | グラフをつくる前に読む本: 一瞬で伝わる表現はどのように生まれたのか                             | 技術評論社      | 1,600 |
| 専門 | わかりやすいIT基礎入門, 第2版                                              | アイテック      | 1,800 |
| 専門 | アクティブラーニングで学ぶ情報リテラシー                                           | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | 入門コンピュータ科学: ITを支える技術と理論の基礎知識                                   | ドウゴ        | 3,800 |
| 専門 | 情報科学基礎: コンピュータとネットワークの基本                                       | ムイスリ出版     | 2,300 |
| 専門 | 情報システム (東京大学工学教程 情報工学)                                         | 丸善出版       | 2,300 |
| 専門 | 情報工学 (理工系の基礎)                                                  | 丸善出版       | 2,800 |
| 専門 | IT研究者のひらめき本棚: ビブリオ・トーク: 私のオススメ                                 | 近代科学社      | 1,800 |
| 専門 | ICTことば辞典: ネット時代のニュースがよくわかる250の重要キーワード                          | 三省堂        | 2,000 |
| 専門 | 考える情報学2.0: アクティブ・ラーニングのための事例集, 改訂                              | 樹村房        | 2,200 |
| 専門 | 情報トレーニング: パズルで学ぶなっとくの60題                                       | 朝倉書店       | 2,700 |
| 専門 | 情報科学の基礎知識, 新版                                                  | 朝倉書店       | 2,200 |
| 専門 | 情報: 東京大学教養学部テキスト, 第2版                                          | 東京大学出版会    | 1,900 |
| 専門 | コンピュータとは何か?: What is a computer?                               | 東京電機大学出版局  | 2,400 |
| 専門 | 情報学へのとびら (放送大学教材)                                              | 放送大学教育振興会  | 2,800 |
| 専門 | 基礎情報学のヴァイアビリティ: ネオ・サイバネティクスによる開放系と閉鎖系の架橋                       | 東京大学出版会    | 4,400 |
| 専門 | 最新の情報技術と私たちの暮らし (横浜商科大学公開講座 34)                                | 南窓社        | 2,600 |
| 専門 | 情報基礎数学                                                         | オーム社       | 2,700 |
| 専門 | 情報理論                                                           | オーム社       | 2,900 |
| 専門 | 情報理論のエッセンス                                                     | オーム社       | 2,700 |
| 専門 | アンダースタンディングコンピューテーション: 単純な機械から不可能なプログラムまで                      | オライリー・ジャパン | 3,200 |
| 専門 | クラウド量子計算入門: IBMの量子シミュレーションと量子コンピュータ                            | カットシステム    | 5,500 |
| 専門 | オートマトン・形式言語理論                                                  | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | 通信理論入門: Introduction to Communication Theory                   | コロナ社       | 3,200 |
| 専門 | やさしい計算理論: 有限オートマトンからチューリング機械まで (Information & Computing 117)   | サイエンス社     | 1,900 |
| 専門 | チューリングの考えるキカイ: 人工知能の父に学ぶコンピュータ・サイエンスの基礎                        | 技術評論社      | 2,280 |
| 専門 | 量子アルゴリズム                                                       | 技報堂出版      | 5,400 |
| 専門 | 量子プログラミングの基礎                                                   | 共立出版       | 6,500 |
| 専門 | 量子情報への表現論的アプローチ                                                | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | DNAコンピュータがわかる本: 究極の「超小型コンピュータ」の現状と展望 (I/O BOOKS)               | 工学社        | 1,900 |
| 専門 | ヒューマンコンピューテーションとクラウドソーシング (機械学習プロフェッショナルシリーズ)                  | 講談社        | 2,400 |
| 専門 | 情報メディア論: テクノロジー・サービス・社会                                        | 講談社        | 2,400 |
| 専門 | 情報理論: 情報量～誤り訂正がよくわかる                                           | 森北出版       | 2,600 |
| 専門 | 量子情報工学                                                         | 森北出版       | 3,400 |
| 専門 | 例解図説オートマトンと形式言語入門                                              | 森北出版       | 2,200 |
| 専門 | 形式言語・オートマトン入門 (グラフィック情報工学ライブラリ GIE-3)                          | 数理工学社      | 1,800 |
| 専門 | 連想情報学と機械学習: Association Informatics and Machine Learning       | 創成社        | 4,200 |
| 専門 | コンピュータと数学 (現代基礎数学 2)                                           | 朝倉書店       | 2,800 |
| 専門 | 記号と再帰: 記号論の形式・プログラムの必然, 新装版                                    | 東京大学出版会    | 3,400 |
| 専門 | 精霊の箱: チューリングマシンをめぐる冒険: 上 (ARCHIMAGE GARRET'S APPRENTICESHIP 2) | 東京大学出版会    | 2,600 |
| 専門 | 精霊の箱: チューリングマシンをめぐる冒険: 下 (ARCHIMAGE GARRET'S APPRENTICESHIP 2) | 東京大学出版会    | 2,600 |
| 専門 | 数理議論学: Argumentation Computation Logic Agent                   | 東京電機大学出版局  | 3,600 |
| 専門 | 進化する符号理論                                                       | 日本評論社      | 2,800 |
| 専門 | デジタル情報の処理と認識 (放送大学教材)                                          | 放送大学教育振興会  | 2,200 |
| 専門 | 計算論: 自然環境科学プログラム, 改訂版 (放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)               | 放送大学教育振興会  | 2,900 |
| 専門 | 情報幾何学の基礎 (数理情報科学シリーズ 29)                                       | 牧野書店       | 2,700 |
| 専門 | デジタル・ビッグバン: 驚異的IT進化のメカニズム                                      | 日経メディカル開発  | 1,800 |

|    |                                                                                                                                                  |             |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 専門 | 情報リテラシー, 改訂版                                                                                                                                     | FOM出版       | 2,000 |
| 専門 | 情報リテラシー: 総合編, 改訂版                                                                                                                                | FOM出版       | 2,500 |
| 専門 | 情報リテラシー: アプリ編, 改訂版                                                                                                                               | FOM出版       | 1,800 |
| 専門 | コンピュータリテラシ: 情報環境の使い方, 新版                                                                                                                         | オーム社        | 1,800 |
| 専門 | 情報リテラシー教科書: Windows 10/Office 2016対応版                                                                                                            | オーム社        | 1,900 |
| 専門 | 情報リテラシー教科書: Windows 10/Office 2016+Access 2016対応版                                                                                                | オーム社        | 2,200 |
| 専門 | 情報基礎と情報処理, 第4版                                                                                                                                   | オーム社        | 2,600 |
| 専門 | 情報文化スキル, 第3版                                                                                                                                     | オーム社        | 2,500 |
| 専門 | 図解コンピュータ概論: ソフトウェア・通信ネットワーク, 改訂4版                                                                                                                | オーム社        | 2,500 |
| 専門 | 図解コンピュータ概論: ハードウェア, 改訂4版                                                                                                                         | オーム社        | 2,500 |
| 専門 | コンピュータシステムの理論と実装: モダンなコンピュータの作り方                                                                                                                 | オライリー・ジャパン  | 3,600 |
| 専門 | 入門ソーシャルデータ: ソーシャルウェブのデータマイニング, 第2版                                                                                                               | オライリー・ジャパン  | 3,600 |
| 専門 | IT系のわかるようなわからないような英語のお話                                                                                                                          | カットシステム     | 1,600 |
| 専門 | コンピュータのしくみ                                                                                                                                       | コロナ社        | 2,500 |
| 専門 | コンピュータの基礎 (電子情報通信レクチャーシリーズ A-6)                                                                                                                  | コロナ社        | 2,800 |
| 専門 | はじめて学ぶコンピュータ概論: ハードウェア・ソフトウェアの基本                                                                                                                 | コロナ社        | 2,100 |
| 専門 | 意思決定を助ける情報可視化技術: ビッグデータ・機械学習・VR/ARへの応用                                                                                                           | コロナ社        | 2,300 |
| 専門 | 基本情報技術入門: Introduction to Basic Information Technology                                                                                           | コロナ社        | 2,800 |
| 専門 | 情報処理入門: 学力のためのIT基礎スキル                                                                                                                            | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | 入門情報リテラシー: Office 2013/2010対応                                                                                                                    | コロナ社        | 2,200 |
| 専門 | コンピュータアーキテクチャ入門 (Computer Science Library 6)                                                                                                     | サイエンス社      | 2,200 |
| 専門 | コンピュータと情報システム, 第2版 (Information & Computing ex.45)                                                                                               | サイエンス社      | 1,900 |
| 専門 | 実習情報リテラシ, 第2版 (実習ライブラリ 10)                                                                                                                       | サイエンス社      | 1,980 |
| 専門 | 情報活用力を培うための情報リテラシ (Information & Computing ex.43)                                                                                                | サイエンス社      | 2,000 |
| 専門 | パソコン操作の基礎技能                                                                                                                                      | サンタクロース・プレス | 2,800 |
| 専門 | アキレスとコンピュータ 蟻の冒険: GPU・プログラム・OS-コンピュータの仕組み                                                                                                        | シーアンドアール研究所 | 2,000 |
| 専門 | パソコン入門: Windows Word PowerPoint Excel 2016                                                                                                       | ムイスリ出版      | 1,900 |
| 専門 | レポート作成のためのコンピュータリテラシー, 第3版                                                                                                                       | ムイスリ出版      | 2,380 |
| 専門 | 情報の表現とコンピュータの仕組み, 第5版                                                                                                                            | ムイスリ出版      | 2,250 |
| 専門 | 必携ICTガイドブック: マシンコードからクラウドまで                                                                                                                      | ラルズ         | 2,980 |
| 専門 | 情報発: 情報・ネットワーク・社会                                                                                                                                | 梓書院         | 1,800 |
| 専門 | LET'S ENJOY COMPUTING: 情報処理: 2018                                                                                                                | 学術図書出版社     | 1,800 |
| 専門 | オープンソース・ソフトウェアで学ぶ情報リテラシ: LibreOffice (Writer, Calc, Impress, Math), Mozilla Firefox Mozilla Thunderbird 情報処理とモラル Linux OS入門 (Cent OS 7.4), 改訂第5版 | 学術図書出版社     | 2,700 |
| 専門 | 情報の基礎, 第3版                                                                                                                                       | 学術図書出版社     | 1,800 |
| 専門 | 情報基礎: コンピュータの基本操作と情報活用術, 新装 (改訂版)                                                                                                                | 学術図書出版社     | 2,400 |
| 専門 | 大学新入生のための情報リテラシー                                                                                                                                 | 学術図書出版社     | 1,800 |
| 専門 | これからの情報科学                                                                                                                                        | 学文社         | 2,900 |
| 専門 | 事例で学ぶコンピュータリテラシー, 改訂版                                                                                                                            | 学文社         | 2,000 |
| 専門 | 大学一年生のための情報リテラシー                                                                                                                                 | 丸善出版        | 2,000 |
| 専門 | コンピュータのしくみ (新装版数学入門シリーズ)                                                                                                                         | 岩波書店        | 2,400 |
| 専門 | コンピュータプログラムはどのように動くのか?: アタマとカラダで理解する!                                                                                                            | 技術評論社       | 2,780 |
| 専門 | たった1日で即戦力になるMacの教科書                                                                                                                              | 技術評論社       | 1,680 |
| 専門 | データビジュアライゼーションのデザインパターン20: 混沌から意味を見つける可視化の理論と導入                                                                                                  | 技術評論社       | 2,580 |
| 専門 | パソコンのしくみがよくわかる本: 理解するほどおもしろい!                                                                                                                    | 技術評論社       | 1,880 |
| 専門 | パソコン入門5冊分: Windows 10入門+Windows 10活用+インターネット&メール+Word+Excel                                                                                      | 技術評論社       | 1,780 |
| 専門 | 即戦力になるためのパソコンスキルアップ講座: 土台をつくる基礎知識と効率アップの仕事術                                                                                                      | 技術評論社       | 1,580 |
| 専門 | CIによる情報処理入門                                                                                                                                      | 共立出版        | 2,000 |
| 専門 | Windows 10を用いたコンピュータリテラシーと情報活用                                                                                                                   | 共立出版        | 2,300 |
| 専門 | グループウェアによる情報リテラシ: 情報の収集・分析から, 論理的思考, 課題解決, 情報の表現まで                                                                                               | 共立出版        | 2,500 |
| 専門 | コンピュータリテラシ: 情報処理入門, 第3版                                                                                                                          | 共立出版        | 2,800 |
| 専門 | コンピュータ科学の基礎                                                                                                                                      | 共立出版        | 2,400 |
| 専門 | コンピュータ概論: 情報システム入門, 第7版                                                                                                                          | 共立出版        | 2,800 |
| 専門 | デジタル情報の活用と技術: Application and Technology of Digital Information                                                                                  | 共立出版        | 2,200 |
| 専門 | 計算科学講座: Computational Science and Engineering: 3 統計・多変量解析とソフトコンピューティング, 改訂版                                                                      | 共立出版        | 4,600 |
| 専門 | 計算科学講座: Computational Science and Engineering: 4 計算科学のための並列計算                                                                                    | 共立出版        | 3,800 |
| 専門 | 情報の基礎・基本と情報活用の実践力, 第3版                                                                                                                           | 共立出版        | 2,800 |
| 専門 | 情報活用とアカデミック・スキル: Office 2016                                                                                                                     | 共立出版        | 2,700 |
| 専門 | 情報活用の「眼」: データ収集・分析, そしてプレゼンテーション                                                                                                                 | 共立出版        | 2,300 |
| 専門 | 情報処理入門: Windows10 & Office2016                                                                                                                   | 共立出版        | 2,200 |



|    |                                                                                  |            |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | 大学生のための情報リテラシー                                                                   | 共立出版       | 2,200 |
| 専門 | 大学生の知の情報スキル: Windows 10・Office 2016対応                                            | 共立出版       | 2,900 |
| 専門 | 大学生の知の情報ツール: ICT tools for academic skills: 1 Word & PowerPoint, 第2版             | 共立出版       | 2,300 |
| 専門 | 大学生の知の情報ツール: ICT tools for academic skills: 2 Excel & 情報検索とGoogle活用, 第2版         | 共立出版       | 2,300 |
| 専門 | 理工系コンピュータリテラシーの活用: MS-Office2016対応                                               | 共立出版       | 2,200 |
| 専門 | Microsoft Office 2016を使った情報リテラシーの基礎                                              | 近代科学社      | 2,500 |
| 専門 | Office2016で学ぶコンピュータリテラシー                                                         | 実教出版       | 2,100 |
| 専門 | Windows 10・Office 2016による情報処理入門                                                  | 実教出版       | 2,000 |
| 専門 | 最新情報処理概論, 改訂版                                                                    | 実教出版       | 2,400 |
| 専門 | 情報可視化: データ分析・活用のためのしくみと考えかた                                                      | 森北出版       | 2,400 |
| 専門 | 実践によるコンピュータアーキテクチャ: MIPSプロセッサで学ぶアーキテクチャの基礎 (グラフィック情報工學ラブラリ GIE-6)                | 数理工学社      | 1,900 |
| 専門 | デスクトップLinuxで学ぶコンピュータ・リテラシー, 第2版                                                  | 朝倉書店       | 3,000 |
| 専門 | 演習でまなぶ情報処理の基礎                                                                    | 朝倉書店       | 3,000 |
| 専門 | 英語で学ぶコンピュータ概論: INTRODUCTION to COMPUTERS in ENGLISH                              | 電気書院       | 2,100 |
| 専門 | コンピューティング科学: Science of Computing, 新版                                            | 東京大学出版会    | 2,700 |
| 専門 | LibreOfficeで学ぶ情報リテラシー                                                            | 東京電機大学出版局  | 2,900 |
| 専門 | 学生のための情報リテラシー: Office 2016/Windows 10版                                           | 東京電機大学出版局  | 2,200 |
| 専門 | 実践情報リテラシー: 基礎から応用まで                                                              | 同友館        | 2,200 |
| 専門 | 情報リテラシー基礎: 入門からビジネスまで, 新訂6版                                                      | 同友館        | 2,850 |
| 専門 | 新・現代情報リテラシー                                                                      | 同友館        | 2,400 |
| 専門 | 基礎情報処理: 1, 第2版                                                                   | 日経BP社      | 2,250 |
| 専門 | 子どもといっしょにコンピュータとプログラミングを学ぶ本: すごいなぜ? どうして?                                        | 日経BP社      | 1,900 |
| 専門 | 実践に役立つ情報処理: 基礎から応用まで: 2018年度版                                                    | 日経BP社      | 1,900 |
| 専門 | 情報リテラシー入門: 2018年版                                                                | 日経BP社      | 2,300 |
| 専門 | 大学生の情報基礎, 第3版                                                                    | 日経BP社      | 1,900 |
| 専門 | コンピュータ基礎と応用: 学生生活と就活に必要なICT能力, 改訂2版                                              | 日本教育訓練センター | 1,900 |
| 専門 | 基礎情報科学: 東洋英和女学院大学: 2018年版                                                        | 日本教育訓練センター | 1,900 |
| 専門 | コンピュータと情報システム                                                                    | 日本理工出版会    | 2,500 |
| 専門 | 基礎から学ぶ情報処理, 改訂版                                                                  | 培風館        | 1,750 |
| 専門 | 大学生の情報リテラシー: 2018年版 大学生のICT活用標準テキスト                                              | 富山大学出版会    | 2,000 |
| 専門 | コンピュータと生きる: No Computer, No Life                                                 | 武蔵野美術大学出版局 | 2,000 |
| 専門 | コンピュータ入門演習, 第4版                                                                  | 文化書房博文社    | 1,600 |
| 専門 | コンピュータとソフトウェア (放送大学教材)                                                           | 放送大学教育振興会  | 2,500 |
| 専門 | コンピューティング: 原理とその展開 (放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)                                    | 放送大学教育振興会  | 2,900 |
| 専門 | 遠隔学習のためのパソコン活用, 改訂版 (放送大学教材)                                                     | 放送大学教育振興会  | 3,000 |
| 専門 | 数値の処理と数値解析 (放送大学教材)                                                              | 放送大学教育振興会  | 2,800 |
| 専門 | データサイエンティストの基礎知識: 挑戦するITエンジニアのために                                                | リックテレコム    | 2,400 |
| 専門 | データ分析とデータサイエンス: DATA ASSAY & DATA SCIENCE                                        | 近代科学社      | 3,500 |
| 専門 | Excel VBAでAccessを操作するツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                        | 秀和システム     | 2,500 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Excel 2016: 基礎                                                    | FOM出版      | 2,000 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Excel 2016: 応用                                                    | FOM出版      | 2,000 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft PowerPoint 2016: 基礎                                               | FOM出版      | 2,000 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft PowerPoint 2016: 応用                                               | FOM出版      | 2,000 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016, 改訂版                             | FOM出版      | 2,400 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016, 改訂版 | FOM出版      | 2,400 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016スキルアップ問題集: ビジネス実践編                | FOM出版      | 1,700 |
| 専門 | Excel最強の教科書: 完全版                                                                 | SBクリエイティブ  | 1,580 |
| 専門 | できるビジネスパーソンのためのExcel関数 & マクロの仕事術: Excelの業務効率を10倍にする方法 (Excel for Biz)            | SBクリエイティブ  | 1,800 |
| 専門 | BIOS/UEFI完全攻略読本: 国内マザーボードシェアNo.1 ASUS監修だから安心! (パソコン自作の専門誌が作ったBIOS/UEFI解説書 第3弾)   | インプレス      | 2,380 |
| 専門 | Excel 2016 Windows 10/8.1/7対応 (できる大事典)                                           | インプレス      | 2,980 |
| 専門 | Excel関数2016/2013/2010対応 (できる大事典)                                                 | インプレス      | 3,500 |
| 専門 | できるExcelグラフ: 魅せる & 伝わる資料作成に役立つ本                                                  | インプレス      | 1,980 |
| 専門 | できるExcelデータベース: 大量データのビジネス活用に役立つ本                                                | インプレス      | 1,980 |
| 専門 | できるExcelパーフェクトブック困った! & 便利ワザ大全                                                   | インプレス      | 1,680 |
| 専門 | できるExcelピボットテーブル: データ集計・分析に役立つ本                                                  | インプレス      | 2,300 |
| 専門 | できるExcel関数 & マクロ困った! & 便利技パーフェクトブック: ワザ & 用語集582項目                               | インプレス      | 1,980 |
| 専門 | できるPowerPointパーフェクトブック困った! & 便利ワザ大全: 2016/2013/2010/2007対応                       | インプレス      | 1,800 |
| 専門 | できるWord & Excel 2016                                                             | インプレス      | 1,980 |
| 専門 | できるWord & Excelパーフェクトブック困った! & 便利ワザ大全                                            | インプレス      | 1,850 |

|    |                                                                                             |                 |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | 動きで魅せるプレゼンPowerPointテンプレート1500: 動くスライドがすぐ作れる! (デジタル素材BOOK)                                  | インプレス           | 1,980 |
| 専門 | Web制作者のためのSublime Textの教科書: 今すぐ最高のエディタを使いこなすプロのノウハウ                                         | インプレスジャパン       | 2,400 |
| 専門 | Excelビジネス活用!仕事をはかどる116のテクニック: Excel 2016/2013対応 (SCC Books B-390)                           | エスシーシー          | 1,600 |
| 専門 | アプリケーションソフトの基礎知識 (デジタルリテラシーの基礎 3)                                                           | オデッセイコミュニケーションズ | 1,800 |
| 専門 | 就職前に覚えておくべきExcel 2016必須テクニック (先輩が教える series32)                                              | カッドシステム         | 2,200 |
| 専門 | 見栄えをUPする!エクセル表現手法のウラ技                                                                       | シーアンドアール研究所     | 1,750 |
| 専門 | 「伝わるデザイン」Excel資料作成術: 好感度アップ                                                                 | ソーテック社          | 1,800 |
| 専門 | 「伝わるデザイン」PowerPoint資料作成術: 知識がなくても大丈夫!                                                       | ソーテック社          | 1,800 |
| 専門 | 今日から使えるExcel関数 & マクロ: 知ろう使おう応用例の3ステップでしっかり身につく                                              | ソシム             | 1,890 |
| 専門 | 考えながら書く人のためのScrivener入門: 小説・論文・レポート、長文を書きたい人へ                                               | ビー・エヌ・エヌ新社      | 2,500 |
| 専門 | 速効!図解Excel 2016: 総合版                                                                        | マイナビ出版          | 1,790 |
| 専門 | 速効!図解PowerPoint 2016: 総合版                                                                   | マイナビ出版          | 1,790 |
| 専門 | 速効!図解Word & Excel 2016                                                                      | マイナビ出版          | 1,790 |
| 専門 | 魅せるPowerPointテクニック: 劇的にプレゼンが変わる目からウロコのテクニック満載                                               | マイナビ出版          | 1,980 |
| 専門 | Excelがわかる表計算とデータ処理                                                                          | ムイスリ出版          | 1,700 |
| 専門 | データ処理・レポート・プレゼンテーションとOffice2016                                                             | ムイスリ出版          | 1,850 |
| 専門 | お仕事にすぐ使えるPCスキルが楽しく身につくレシピ: これ1冊でExcel・Word・PowerPoint・Outlookがわかる (学研WOMAN)                 | 学研バブリッシング       | 1,600 |
| 専門 | いつもの仕事を10倍速く終わらせるExcel時短術 (仕事の教科書BOOKS)                                                     | 学研プラス           | 1,980 |
| 専門 | わかるエクセル・ワード・パワーポイントこれ1冊                                                                     | 学研プラス           | 1,800 |
| 専門 | 〈逆引き〉Excel関数パワーテクニック600 (パワーテクニック)                                                          | 技術評論社           | 2,480 |
| 専門 | Atom実践入門: 進化し続けるハッカブルなエディタ (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                          | 技術評論社           | 2,680 |
| 専門 | Excel & Wordプロ技BESTセクション: Excel & Word 2016/2013/2010対応版 (今すぐ使えるかんたんEx)                     | 技術評論社           | 1,880 |
| 専門 | Excelデータベースプロ技BESTセクション: Excel 2016/2013/2010対応版 (今すぐ使えるかんたんEx)                             | 技術評論社           | 1,880 |
| 専門 | Excelデータベース入門: 膨大なビジネスデータを活用して業務を効率化する! (速効!ビジネスPC)                                         | 技術評論社           | 2,580 |
| 専門 | Excelピボットテーブル作成超入門: 仕事の現場で即使える                                                              | 技術評論社           | 2,400 |
| 専門 | Excel関数組み合わせプロ技BESTセクション: Excel 2016/2013/2010/2007対応版 (今すぐ使えるかんたんEx)                       | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | Excel作図入門 (地図・アイコン・図解資料)プロ技BESTセクション (今すぐ使えるかんたんEx)                                         | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | Excel集計・抽出テクニック大全集: あらゆる種類の表に対応、引くだけで一発解決                                                   | 技術評論社           | 2,980 |
| 専門 | Excel入文5冊分!: 基本操作と計算+関数+グラフとデータベース+マクロ+サンプル                                                 | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | Excel文書作成プロ技セクション: 決定版 (今すぐ使えるかんたんEx)                                                       | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | PowerPointでできる定番書類のつくり方: 実例満載                                                               | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | PowerPoint/パワーポイント2016プロ技BESTセクション (今すぐ使えるかんたんEx)                                           | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | Vim scriptテクニックバイブル: Vim使いの魔法の杖                                                             | 技術評論社           | 2,580 |
| 専門 | これからはじめるパワーポイントの本: PowerPoint 2016/2013対応版 (自分で選べるパソコン到達点)                                  | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | これからはじめるワード & エクセルの本: Word & Excel 2016/2013対応版 (自分で選べるパソコン到達点)                             | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | パワーポイントスライドデザインのセオリー: セオリーを押さえればわかりやすく魅力的なスライドは誰でも簡単に作れる!                                   | 技術評論社           | 1,800 |
| 専門 | プロのグラフ仕事: 伝えるためのExcelエッセンス                                                                  | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | 計算ミスが激減するExcelの数式入力のコツ: 数式をワンボタン化すればExcelの作業は驚くほど速くなる!                                      | 技術評論社           | 1,520 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcelグラフ: Excel 2016/2013/2010対応版 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcelデータベース: Excel 2016/2013/2010対応版 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)             | 技術評論社           | 1,840 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcelピボットテーブル (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                    | 技術評論社           | 2,280 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcel完全 (コンプリート)ガイドブック: 困った解決 & 便利技                                               | 技術評論社           | 1,680 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcel関数 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                          | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcel文書作成: 定番ビジネス文書がすぐに作れる! (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                      | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんOffice 2016: Word & Excel & PowerPoint & Outlook (Imasugu Tsukaeru Kantan Series) | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんOutlook完全 (コンプリート)ガイドブック: 困った解決 & 便利技                                             | 技術評論社           | 1,580 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんPowerPoint完全 (コンプリート)ガイドブック困った解決 & 便利技                                            | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんWord & Excel 2016 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 最速で最高に魅せるPowerPointプロフェッショナルテクニック                                                           | 技術評論社           | 1,680 |
| 専門 | 仕事ですぐ役立つVim & Emacsエキスパート活用術 (SoftwareDesign別冊)                                             | 技術評論社           | 2,480 |
| 専門 | 仕事に役立つPDF & Acrobatプロ技BESTセクション: Acrobat DC/Reader DC/2017対応版 (今すぐ使えるかんたんEx)                | 技術評論社           | 2,180 |
| 専門 | 世界一わかりやすいExcelテキスト: ベテラン講師がつくりました                                                           | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | 直感でわかるデータ分析                                                                                 | 技術評論社           | 1,780 |
| 専門 | 定番書類のつくり方: 実例満載 (Excelでできる)                                                                 | 技術評論社           | 1,880 |
| 専門 | 例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel標準テキスト                                                               | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 例題35+演習問題65でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト                                               | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | はじめてのAtomエディタ: (オープンソース)開発者向け「テキストエディタ」(I/O BOOKS)                                          | 工学社             | 1,900 |
| 専門 | はじめてのVisual Studio Code: 「Windows/Mac/Linux」で使えるオープンソースのコードエディタ (I/O BOOKS)                 | 工学社             | 2,300 |
| 専門 | はじめてのWPS Office: 安価で高機能!「ワープロ」「表計算」「プレゼンテーション」(I/O BOOKS)                                   | 工学社             | 2,300 |

|    |                                                               |            |       |
|----|---------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | 100年に1人の逸材になるエクセル講座                                           | 秀和システム     | 1,600 |
| 専門 | Excel多量データ整形テクニック: 何万件ものデータやピボットテーブルで苦しんでいる人のための              | 秀和システム     | 2,400 |
| 専門 | Excel分析ツール完全詳解: Use 19 different analysis tools thoroughly    | 秀和システム     | 2,000 |
| 専門 | これ一冊で完璧!Excelでデータ分析即戦力講座                                      | 秀和システム     | 1,800 |
| 専門 | すごい関数: 作業効率を劇的に変えるExcelの使いかた                                  | 秀和システム     | 1,600 |
| 専門 | はじめてのExcelグラフ: 伝わる資料作成入門 (BASIC MASTER SERIES 497)            | 秀和システム     | 1,580 |
| 専門 | はじめてのExcelピボットテーブル: 2016/2013対応 (BASIC MASTER SERIES 464)     | 秀和システム     | 2,000 |
| 専門 | はじめてのOffice 2016 (BASIC MASTER SERIES 460)                    | 秀和システム     | 1,980 |
| 専門 | はじめてのWord & Excel 2016 (BASIC MASTER SERIES 452)              | 秀和システム     | 1,880 |
| 専門 | 東大式伝わるパワーポイントスライドの作り方                                         | 秀和システム     | 1,600 |
| 専門 | 情報リテラシーを身につけるExcel 2016基礎編                                    | 創成社        | 1,800 |
| 専門 | 100題で学ぶ表計算: 初歩から実用まで, 第3版                                     | 日経BP社      | 1,600 |
| 専門 | Excel 2016: 基礎 (セミナーテキスト)                                     | 日経BP社      | 1,700 |
| 専門 | Excel 2016: 応用 (セミナーテキスト)                                     | 日経BP社      | 1,900 |
| 専門 | Office 2016基本演習: Word/Excel/PowerPoint                        | 日経BP社      | 2,800 |
| 専門 | PowerPoint 2016: 基礎 (セミナーテキスト)                                | 日経BP社      | 1,700 |
| 専門 | PowerPoint 2016: 応用 (セミナーテキスト)                                | 日経BP社      | 1,900 |
| 専門 | Preziデザインブック: あなたのプレゼンが劇的に変わる!                                | 日経BP社      | 2,100 |
| 専門 | Preziで極めるビジュアルプレゼンテーション                                       | 日経BP社      | 2,000 |
| 専門 | いちばんやさしいExcel 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 初級    | 日経BP社      | 2,300 |
| 専門 | いちばんやさしいExcel 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 中級    | 日経BP社      | 2,300 |
| 専門 | いちばんやさしいExcel 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 上級    | 日経BP社      | 2,300 |
| 専門 | ビジネスExcel完全版: 操作 関数 文書 マクロ                                    | 日経BP社      | 1,580 |
| 専門 | ひと目でわかるOneNote 2016                                           | 日経BP社      | 1,700 |
| 専門 | 情報リ活用基本演習                                                     | 日経BP社      | 1,600 |
| 専門 | コンピューターリテラシー-Microsoft Office: Word & PowerPoint編             | 日本理工出版会    | 2,200 |
| 専門 | コンピューターリテラシー-Microsoft Office: Excel編                         | 日本理工出版会    | 2,200 |
| 専門 | Excelピボットテーブル データ集計・分析の「引き出し」が増える本                            | 翔泳社        | 2,280 |
| 専門 | Excel関数逆引き辞典パーフェクト, 第3版                                       | 翔泳社        | 2,400 |
| 専門 | なぜ、あなたのExcelは「バツとしない」のか?: いまさら聞けない社会人のための再入門                  | 翔泳社        | 1,580 |
| 専門 | 現場で役立つタブレット&Excelデータ連携・活用ガイド: 入力業務を10倍効率化する仕組み                | 翔泳社        | 2,380 |
| 専門 | 迷惑をかけないExcel: 業務効率を上げる正しい使い方                                  | 翔泳社        | 1,780 |
| 専門 | 動くメカニズムを図解&実験!Linux超入門: コンピュータの性能を100%引き出すために (My Linuxシリーズ)  | CQ出版       | 3,200 |
| 専門 | Linuxのブートプロセスをみる, 新装改訂版                                       | KADOKAWA   | 2,800 |
| 専門 | はじめてUNIXで仕事をする人が読む本                                           | KADOKAWA   | 1,800 |
| 専門 | Linuxコマンドブックビギナーズ, 第4版                                        | SBクリエイティブ  | 1,900 |
| 専門 | 新しいLinuxの教科書                                                  | SBクリエイティブ  | 2,700 |
| 専門 | 標準テキストCentOS 7構築・運用・管理パーフェクトガイド                               | SBクリエイティブ  | 4,200 |
| 専門 | CentOS 7実践ガイド: IT技術者のための現場ノウハウ (impress top gear)             | インプレス      | 3,000 |
| 専門 | Windows 10 (できる大事典)                                           | インプレス      | 2,980 |
| 専門 | これから学ぶmacOSターミナル                                              | インプレス      | 2,600 |
| 専門 | 1週間でLPICの基礎が学べる本, 第2版 (徹底攻略)                                  | インプレスジャパン  | 2,400 |
| 専門 | オペレーティングシステム, 改訂2版 (IT Text)                                  | オーム社       | 2,800 |
| 専門 | オペレーティングシステムの基礎: ネットワークと融合する現代OS                              | オーム社       | 3,000 |
| 専門 | 詳解システム・パフォーマンス                                                | オライリー・ジャパン | 5,400 |
| 専門 | Oracle Solaris 11システム管理ハンドブック                                 | カットシステム    | 5,000 |
| 専門 | UNIXはじめの一歩, 第2版 (やさしいプログラミング)                                 | カットシステム    | 2,000 |
| 専門 | お気に入りのUbuntu: 無償OS & 無償ソフトで何でも揃う!                             | カットシステム    | 2,800 |
| 専門 | macOS High Sierraパーフェクトマニュアル: Mac最新OSの使い方をわかりやすく解説!           | ソーテック社     | 1,980 |
| 専門 | macOS Sierra/パーフェクトマニュアル                                      | ソーテック社     | 1,980 |
| 専門 | Windows 10パーフェクトマニュアル, 2018年改訂版                               | ソーテック社     | 1,800 |
| 専門 | いちばんやさしいLinuxコマンド入門教室: 豊富な図解とイラストで超わかる!                       | ソーテック社     | 1,780 |
| 専門 | Windows 10完全活用マニュアル: はじめてでも安心の1冊                              | ソシム        | 1,600 |
| 専門 | コマンドで覚えるLinux: 現場で役立つ、実務に直結した「使えるリファレンス」!                     | ソシム        | 2,200 |
| 専門 | 完全活用Windows 10: 基本操作と便利ワザ360TIPS                              | ソシム        | 1,600 |
| 専門 | Unix考古学: Truth of the Legend                                  | ドワンゴ       | 2,600 |
| 専門 | はじめてUNIXで仕事をする人が読む本                                           | ドワンゴ       | 1,800 |
| 専門 | Windows上でラクラク学べるLinux OS超入門: 今あるWindows PC上でLinuxを動かかし基礎から学習! | マイナビ       | 2,280 |
| 専門 | 速効!図解Windows 10: 総合版                                          | マイナビ       | 1,790 |

|    |                                                                                                        |           |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | macOS High Sierraマスターブック: 基本からさまざまな連携までマックOS/ハインセラを網羅 (MacFan BOOKS)                                   | マイナビ出版    | 1,980 |
| 専門 | macOS Sierraマスターブック: 基本からさまざまな連携までmacOSシエラを網羅 (MacFan BOOKS)                                           | マイナビ出版    | 1,980 |
| 専門 | ターミナルコマンドでOS Xを12倍深く使うための本: ターミナル.appを起動すれば見えてくる、そこはUNIXの世界                                            | ラトルズ      | 2,280 |
| 専門 | Windows/Linuxのトラブル追跡実践ノウハウ: エンジニア必携                                                                    | リックテレコム   | 3,200 |
| 専門 | 15時間でわかるCentOS集中講座                                                                                     | 技術評論社     | 2,680 |
| 専門 | Firefox OS (決定版)開発ガイドブック: コネクテッドデバイスの次世代プラットフォームを徹底詳説                                                  | 技術評論社     | 3,200 |
| 専門 | Linuxエンジニア養成読本: IoTもクラウドも、システムの基礎と基盤はLinux! 改訂3版 (Software Design plus 10年先も役立つ力をつくる)                  | 技術評論社     | 2,080 |
| 専門 | Linuxコマンドポケットリファレンス, 改訂第3版 (Pocket Reference)                                                          | 技術評論社     | 2,380 |
| 専門 | Linuxシステムコール基本リファレンス: OSを知る突破口 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                 | 技術評論社     | 2,880 |
| 専門 | Linuxステップアップラーニング: 基本操作をマスター!                                                                          | 技術評論社     | 2,580 |
| 専門 | macOSコマンド入門: 基礎知識+リファレンス                                                                               | 技術評論社     | 2,600 |
| 専門 | OS X Mavericks詳細リファレンス: エンジニアの仕事道具としてMacを整備・拡張する                                                       | 技術評論社     | 3,300 |
| 専門 | UNIX独習への近道 (SoftwareDesign別冊)                                                                          | 技術評論社     | 1,940 |
| 専門 | Windows 10プロ技セレクション: 決定版 (今すぐ使えるかんたんEx)                                                                | 技術評論社     | 1,580 |
| 専門 | Windows→Ubuntu乗り換え100%活用ガイド: この一冊で最新Ubuntuがすぐわかる!                                                      | 技術評論社     | 1,880 |
| 専門 | Windowsコマンドプロンプトポケットリファレンス, 改訂新版 (Pocket Reference)                                                    | 技術評論社     | 2,980 |
| 専門 | 今すぐ使えるUbuntu入門ガイド Linuxをはじめよう                                                                          | 技術評論社     | 2,580 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんmacOS Sierra完全 (コンプリート)ガイドブック: 困った解決 & 便利技                                                   | 技術評論社     | 2,180 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんmacOS完全 (コンプリート)ガイドブック: High Sierra対応版                                                       | 技術評論社     | 2,180 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんOS X El Capitan完全 (コンプリート)ガイドブック困った解決 & 便利技                                                  | 技術評論社     | 1,980 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんOS X Yosemite完全攻略ガイドブック: 決定版 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                | 技術評論社     | 1,980 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんWindows 10大事典: Windows 10 Perfect Book (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                      | 技術評論社     | 2,680 |
| 専門 | 試して理解Linuxのしくみ: 実験と図解で学ぶOSとハードウェアの基礎知識                                                                 | 技術評論社     | 2,980 |
| 専門 | オペレーティングシステム: Operating Systems (未来へつなぐデジタルシリーズ 25)                                                    | 共立出版      | 2,600 |
| 専門 | 分散システム (未来へつなぐデジタルシリーズ 31)                                                                             | 共立出版      | 2,800 |
| 専門 | 「μITRON」入門: “組み込み系”リアルタイムOSの基礎 (I/O BOOKS)                                                             | 工学社       | 2,300 |
| 専門 | Linuxカーネル「ソースコード」を読み解く (I/O BOOKS)                                                                     | 工学社       | 2,300 |
| 専門 | CentOS システム管理ガイド: systemd/NetworkManager/Firewalld徹底攻略                                                 | 秀和システム    | 2,600 |
| 専門 | ITエンジニアになるチャレンジLinux                                                                                   | 秀和システム    | 2,400 |
| 専門 | Windows 10パーフェクトマスター: Microsoft Windows 10 (Perfect Master 165)                                        | 秀和システム    | 3,000 |
| 専門 | これならわかる!Linux入門講座, 第3版                                                                                 | 秀和システム    | 2,500 |
| 専門 | たった2日でわかるLinux: 自宅のWindows or MacでOK! 最新版                                                              | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | ちょっとだけLinuxにさわってみたい人のための Bash on Ubuntu on Windows入門                                                   | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | はじめてのCentOS 7: Linuxサーバ構築編 (TECHNICAL MASTER 82)                                                       | 秀和システム    | 3,200 |
| 専門 | 基礎オペレーティングシステム: その概念と仕組み (グラフィック情報工学ライブラリ GIE-7)                                                       | 数理工学社     | 1,900 |
| 専門 | Windows 10, 第2版 (セミナーテキスト)                                                                             | 日経BP社     | 1,700 |
| 専門 | Windows 10 vs Windows 8.1/7操作・設定比較ガイド                                                                  | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門 | Windows Sysinternals徹底解説: 無償ツールで極めるトラブルシューティングテクニック, 改訂新版 (マイクロソフト公式解説書)                               | 日経BP社     | 5,500 |
| 専門 | インサイドWindows: 上 システムアーキテクチャ、プロセス、スレッド、メモリ管理、他 (マイクロソフト公式解説書)                                           | 日経BP社     | 7,800 |
| 専門 | グループポリシー逆引きリファレンス厳選98, 改訂新版 (TechNet ITプロシリーズ)                                                         | 日経BP社     | 2,950 |
| 専門 | オペレーティングシステム(OS)基本技術: The Fundamental Technology of Operating Systems(OS)for Computers, 第2版 (情報技術シリーズ) | 日本理工出版会   | 2,500 |
| 専門 | コンピュータの動作と管理, 改訂版 (放送大学教材)                                                                             | 放送大学教育振興会 | 3,100 |
| 専門 | Citrix XenDesktop: デスクトップ & アプリケーション仮想化実践ガイド                                                           | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | LinuxコマンドABCリファレンス: 素早くひける                                                                             | 翔泳社       | 2,380 |
| 専門 | Mac OS X Yosemite知りたいことがズバツとわかる本 (ポケット百科DX)                                                            | 翔泳社       | 1,780 |
| 専門 | VMware徹底入門, 第4版                                                                                        | 翔泳社       | 3,800 |
| 専門 | Windows 10完全制覇パーフェクト                                                                                   | 翔泳社       | 2,780 |
| 専門 | Windows 10上級リファレンス: 最高級の設定 & カスタマイズを詳細解説                                                               | 翔泳社       | 2,580 |
| 専門 | イラストでそこそこわかるLPIC 1年生 (Linux教科書)                                                                        | 翔泳社       | 2,400 |
| 専門 | 絵で見てわかるWindowsインフラの仕組み                                                                                 | 翔泳社       | 2,580 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Excel 2016VBAプログラミング実践                                                                  | FOM出版     | 2,400 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Excel 2016マクロ/VBA                                                                       | FOM出版     | 2,600 |
| 専門 | Excel VBA最強リファレンス                                                                                      | SBクリエイティブ | 2,580 |
| 専門 | かんたんだけどしっかりわかるExcelマクロ・VBA入門: 短時間で身につく忙しい人のためのエクセルの教科書                                                 | SBクリエイティブ | 1,980 |
| 専門 | できるビジネスパーソンのためのExcel VBAの仕事術: Excel業務の自動化を基礎から学ぶ (Excel for BIZ)                                       | SBクリエイティブ | 1,800 |
| 専門 | Excel VBA 2016/2013/2010/2007対応 (できる大事典)                                                               | インプレス     | 3,800 |
| 専門 | Excel VBAを極める勝ちワザ700: 2016/2013/2010/2007対応 (できる逆引き)                                                   | インプレス     | 2,980 |
| 専門 | いちばんやさしいExcel VBAの教本: 人気講師が教える実務に役立つマクロの始め方                                                            | インプレス     | 2,200 |
| 専門 | できるExcelマクロ & VBA: 作業の効率化 & スピードアップに役立つ本                                                               | インプレス     | 1,580 |



|    |                                                                                                                                 |             |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 専門 | Excel VBA繰り返しサヨウナラ: ビジネスシーンの生産性を飛躍的に改善するマクロ活用術                                                                                  | カットシステム     | 2,800 |
| 専門 | Access VBA逆引きハンドブック 改訂3版                                                                                                        | シーアンドアール研究所 | 4,970 |
| 専門 | Excel VBA逆引きハンドブック 改訂4版                                                                                                         | シーアンドアール研究所 | 5,230 |
| 専門 | Excel VBA実戦のための技術: 入門レベルでは決して足りない実務に必須のスキルとは                                                                                    | ソシム         | 2,400 |
| 専門 | 今日から使えるExcel VBA: 仕事の即戦力                                                                                                        | ソシム         | 1,980 |
| 専門 | 今日から使えるExcelマクロ&VBA: 知ろう使おう応用例の3ステップでしっかり身につく                                                                                   | ソシム         | 1,980 |
| 専門 | Excel VBAでデータ分析: データ分析の基本と自動化がやさしくわかる                                                                                           | マイナビ        | 1,940 |
| 専門 | Excel VBA誰でもできる「即席マクロ」でかんたん効率化                                                                                                  | マイナビ        | 1,680 |
| 専門 | わかるマクロ&VBA Excelすぐ使える作例集: Q&A方式                                                                                                 | 学研パブリッシング   | 1,800 |
| 専門 | 〈逆引き〉Access VBAパワーテクニック545: パワーテクニック                                                                                            | 技術評論社       | 2,780 |
| 専門 | 〈逆引き〉Excel VBAパワーテクニック525 (パワーテクニック)                                                                                            | 技術評論社       | 2,560 |
| 専門 | Accessマクロ&VBA: 職場ですぐに役立つテクニック&サンプル (速効ビジネスPC)                                                                                   | 技術評論社       | 3,200 |
| 専門 | Excel VBA本格入門: 日常業務の自動化からアプリケーション開発まで                                                                                           | 技術評論社       | 2,980 |
| 専門 | Excelマクロ&VBAプロ技BESTセレクション: Excel 2016/2013/2010/2007対応版 (今すぐ使えるかんたんEx)                                                          | 技術評論社       | 1,580 |
| 専門 | Excelマクロ&VBAプロ技セレクション: 決定版 (今すぐ使えるかんたんEx)                                                                                       | 技術評論社       | 1,580 |
| 専門 | いつもの作業を自動化したい人のExcel VBA1冊目の本                                                                                                   | 技術評論社       | 2,040 |
| 専門 | てっとり早く確実にマスターできるExcel VBAの教科書                                                                                                   | 技術評論社       | 2,180 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんExcelマクロ&VBA (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                                                         | 技術評論社       | 1,880 |
| 専門 | 最速攻略Access VBAサンプル大全集                                                                                                           | 技術評論社       | 3,200 |
| 専門 | 自分のペースでゆったり学ぶExcel VBA: いちばんやさしいVBAの本                                                                                           | 技術評論社       | 1,980 |
| 専門 | 例題30+演習問題70でしっかり学ぶExcel VBA標準テキスト                                                                                               | 技術評論社       | 1,980 |
| 専門 | “解る”を“使える”に変える!Excel VBA即戦力講座                                                                                                   | 秀和システム      | 2,000 |
| 専門 | Access VBA逆引き大全600の極意: Microsoft Office                                                                                         | 秀和システム      | 2,600 |
| 専門 | Excel VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本: 続々 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                                                                      | 秀和システム      | 2,500 |
| 専門 | Excel VBAパーフェクトマスター: Microsoft Excel 2016 (Perfect Master 168)                                                                  | 秀和システム      | 3,000 |
| 専門 | Excel VBAプログラミング作法パーフェクトマスター: 効率化、自動化のノウハウを解説! (Perfect Master 176)                                                             | 秀和システム      | 2,300 |
| 専門 | Excel VBAを実務で使い倒す技術                                                                                                             | 秀和システム      | 1,800 |
| 専門 | エクセルVBAのプログラミングをはじめからじつくりと: プログラミング未経験者でもこれなら必ず最後まで読める                                                                          | 秀和システム      | 1,800 |
| 専門 | これならわかる!Excel VBA入門講座                                                                                                           | 秀和システム      | 1,900 |
| 専門 | これ一冊で完璧!Access VBA即戦力講座                                                                                                         | 秀和システム      | 2,000 |
| 専門 | サンプルをサクッと使い尽くしたい人のためのExcel VBA: コードを手軽にアレンジする技術                                                                                 | 秀和システム      | 2,000 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!Access VBA逆引き大全600の極意: 600 Tips to Use AccessVBA Better!                                                              | 秀和システム      | 2,600 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!Excel VBA逆引き大全600の極意: 600 Tips to Use ExcelVBA Better!                                                                | 秀和システム      | 2,600 |
| 専門 | 図解!Excel VBAのツボとコツがゼッタイにわかる本: “超”入門編 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                                                                       | 秀和システム      | 1,600 |
| 専門 | 大村あつしのExcel VBA Win64/32 APIプログラミング                                                                                             | 秀和システム      | 4,000 |
| 専門 | 学生のためのExcel VBA 第2版                                                                                                             | 東京電機大学出版局   | 1,800 |
| 専門 | ひと目でわかるExcel VBAアプリケーション開発入門                                                                                                    | 日経BP社       | 2,700 |
| 専門 | Excel VBA逆引き辞典パーフェクト 第3版                                                                                                        | 翔泳社         | 2,580 |
| 専門 | EXCEL VBA業務自動化: 仕事の効率を劇的に上げるノウハウ (ビジテックBUSINESS TECHNIQUE)                                                                      | 翔泳社         | 2,300 |
| 専門 | 小さな会社のExcel VBA業務自動化アプリケーション作成・運用ガイド: Windows 10、Excel 2016/2013/2010対応 (Small Business Support: 時間がない 予算がない 知識がない そんな弱社でも大丈夫!) | 翔泳社         | 2,800 |
| 専門 | 縦断データの分析: 2 イベント生起のモデリング                                                                                                        | 朝倉書店        | 6,500 |
| 専門 | できるビジネスパーソンのためのExcelデータ分析の仕事術: ビジネスシーンですぐに使える分析手法のすべて (Excel for BIZ)                                                           | SBクリエイティブ   | 2,000 |
| 専門 | Excelビジネス統計パーフェクトマスター: ダウンロードサービス付 (Perfect Master 158)                                                                         | 秀和システム      | 3,200 |
| 専門 | EXCELグラフ作成: データを可視化するノウハウ (ビジテックBUSINESS TECHNIQUE)                                                                             | 翔泳社         | 2,200 |
| 専門 | EXCELビジネス統計分析: 2016/2013/2010対応 第3版 (ビジテックBUSINESS TECHNIQUE)                                                                   | 翔泳社         | 2,380 |
| 専門 | エクセルで分析、パワポでプレゼン! 説得力を高めるプレゼン活用テクニック (SCC Books B-373)                                                                          | エスシーシー      | 2,000 |
| 専門 | ビジネスPowerPoint実践入門: 戦略から始めるスライド作成のセオリー                                                                                          | 技術評論社       | 1,780 |
| 専門 | 「伝わる資料」PowerPoint企画書デザイン: 極上のビジネス資料術                                                                                            | ソーテック社      | 1,800 |
| 専門 | 現場ですぐ使える時系列データ分析: データサイエンティストのための基礎知識                                                                                           | 技術評論社       | 1,980 |
| 専門 | 統計学が最強の学問である: 実践編 データ分析のための思想と方法                                                                                                | ダイヤモンド社     | 1,900 |
| 専門 | 統計学が最強の学問である: 数学編 データ分析と機械学習のための新しい教科書                                                                                          | ダイヤモンド社     | 2,400 |
| 専門 | 統計学の7原則: 人びとが笑った知恵の支柱                                                                                                           | パンローリング     | 2,800 |
| 専門 | 1歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方                                                                                                           | ミネルヴァ書房     | 2,200 |
| 専門 | 統計データの理論と実際                                                                                                                     | 日本統計協会      | 1,800 |
| 専門 | はじめてのバカロレア数学: 公式暗記は不要!思考力がつく“社会で使える”数学                                                                                          | BABジャパン     | 2,500 |
| 専門 | プログラマの数学 第2版                                                                                                                    | SBクリエイティブ   | 2,200 |
| 専門 | 読むだけでわかる数学再入門: 微分・積分編                                                                                                           | インデックス出版    | 2,500 |
| 専門 | 数学図鑑: やりなおしの高校数学                                                                                                                | オーム社        | 2,200 |
| 専門 | Pythonからはじめる数学入門                                                                                                                | オライリー・ジャパン  | 2,800 |

|    |                                                                             |           |        |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | 応用数学: 徹底解説                                                                  | コロナ社      | 2,500  |
| 専門 | 大学新入生のための基礎数学: Basic Mathematics for Freshmen                               | コロナ社      | 2,400  |
| 専門 | 大学生のための基礎から学ぶ教養数学 (サイエンスライブラリ 数学 36)                                        | サイエンス社    | 1,800  |
| 専門 | 教養としての数学 増補版                                                                | ナカニシヤ出版   | 2,500  |
| 専門 | スラッシング実力がつくと評判の大学基礎数学キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる! 改訂2                | マセマ出版社    | 2,120  |
| 専門 | 演習で学ぶ科学のための数学 (Chemistry Primer Series 3)                                   | 化学同人      | 3,000  |
| 専門 | 大学教養基礎数学: 大学理学学部1年生のための「線形代数」「常微分方程式」への橋渡し: 演習編                             | 開拓社       | 2,800  |
| 専門 | ハンズ・オン・スタートMathematica: Wolfram言語によるプログラミング                                 | 丸善出版      | 5,500  |
| 専門 | 初歩からの数学: 1 関数の基礎とファイナンス数学                                                   | 丸善出版      | 2,300  |
| 専門 | 初歩からの数学: 2 線形方程式と線形計画法                                                      | 丸善出版      | 2,400  |
| 専門 | 初歩からの数学: 3 論理・確率とマルコフ連鎖                                                     | 丸善出版      | 2,600  |
| 専門 | 初歩からの数学: 4 微分積分 上                                                           | 丸善出版      | 2,600  |
| 専門 | 初歩からの数学: 5 微分積分 下                                                           | 丸善出版      | 2,600  |
| 専門 | 初歩からの数学: ハードカバー版                                                            | 丸善出版      | 15,000 |
| 専門 | 数学: 1 (理工系の基礎)                                                              | 丸善出版      | 2,500  |
| 専門 | 数学: 2 (理工系の基礎)                                                              | 丸善出版      | 2,500  |
| 専門 | 非線形数学 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                                      | 丸善出版      | 2,800  |
| 専門 | 数学者の思考トレーニング: 複素解析編                                                         | 岩波書店      | 2,700  |
| 専門 | 工学系学生のための数学入門                                                               | 共立出版      | 2,000  |
| 専門 | 初等数学論考                                                                      | 共立出版      | 5,000  |
| 専門 | 大学生のための役に立つ数学                                                               | 共立出版      | 2,400  |
| 専門 | はじめてのMATLAB                                                                 | 近代科学社     | 2,700  |
| 専門 | 数学の道具箱Mathematica: 基本編                                                      | 近代科学社     | 3,800  |
| 専門 | 「Raspberry Pi 2」でMathematicaプログラミング: 「超低価格マシン」で「数式処理ソフト」を使いこなす! (I/O BOOKS) | 工学社       | 2,500  |
| 専門 | はじめてのMATLABプログラミング: 「個人」から「業務」まで幅広く使える数値計算&解析ソフト (I/O BOOKS)                | 工学社       | 1,900  |
| 専門 | Excelで学ぶ社会科学系の基礎数学 第2版                                                      | 晃洋書房      | 2,800  |
| 専門 | 最新使える!MATLAB 第2版                                                            | 講談社       | 2,800  |
| 専門 | 理工系の基礎数学: 専門へのステップアップ (Primary大学テキスト)                                       | 実教出版      | 2,200  |
| 専門 | 最新MATLABハンドブック: The language of technical computing 第6版                     | 秀和システム    | 3,000  |
| 専門 | 国際バカロレアの数学: 世界標準の高校数学とは                                                     | 松柏社       | 1,800  |
| 専門 | 本質から理解する数学的手法                                                               | 裳華房       | 2,300  |
| 専門 | Coq/SSReflect/MathCompによる定理証明: フリーソフトではじめる数学の形式化                            | 森北出版      | 3,200  |
| 専門 | 応用数学 (工学系数学テキストシリーズ)                                                        | 森北出版      | 2,500  |
| 専門 | 数学の計算回避のしかた (発見的教授法による数学シリーズ 別巻2)                                           | 森北出版      | 2,000  |
| 専門 | 大学新入生のためのリメディアル数学 第2版                                                       | 森北出版      | 2,400  |
| 専門 | 応用数学 (LIBRARY工学基礎&高専TEXT T4)                                                | 数理工学社     | 2,700  |
| 専門 | Mathematicaへの誘い: 今日から始める基礎と応用                                               | 成山堂書店     | 2,600  |
| 専門 | 新応用数学: Applied Mathematics                                                  | 大日本図書     | 1,800  |
| 専門 | 理工系のための数学基礎                                                                 | 電気書院      | 3,400  |
| 専門 | 基礎数学: 1 集合・数列・級数・微積分                                                        | 東京化学同人    | 2,400  |
| 専門 | 基礎数学: 2 多変数関数の微積分                                                           | 東京化学同人    | 2,000  |
| 専門 | 詳解大学院への数学: 微分積分編                                                            | 東京図書      | 2,400  |
| 専門 | 詳解大学院への数学: 線形代数編                                                            | 東京図書      | 2,400  |
| 専門 | 大学数学の教則: 数学ライセンス取得のためのノート                                                   | 東京図書      | 2,500  |
| 専門 | これなら使える大学数学の本: 本当はメチャメチャ簡単! 力学・制御編                                          | 日刊工業新聞社   | 1,900  |
| 専門 | 数学ビギナーズマニュアル: これだけは知っておきたい 第2版                                              | 日本評論社     | 1,600  |
| 専門 | 大学数学への誘い (日評ベーシック・シリーズ)                                                     | 日本評論社     | 2,000  |
| 専門 | 応用数理: 基礎・モデリング・解法                                                           | 培風館       | 2,300  |
| 専門 | 基礎数学: 数学の基礎を学び考える力をつける                                                      | 培風館       | 1,650  |
| 専門 | 理工系のための基礎数学                                                                 | 培風館       | 1,700  |
| 専門 | 数理科学: 離散モデル (放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)                                      | 放送大学教育振興会 | 2,600  |
| 専門 | 一般系学生のための基礎から学べる数学                                                          | 理工図書      | 2,800  |
| 専門 | 理工系学生のための基礎数学                                                               | 理工図書      | 3,000  |
| 専門 | 「数」を分析する (岩波現代全書 114)                                                       | 岩波書店      | 2,100  |
| 専門 | 数学英和・和英辞典: MATHEMATICS ENGLISH-JAPANESE & JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY 増補版   | 共立出版      | 3,500  |
| 専門 | 数学小辞典 第2版増補                                                                 | 共立出版      | 5,600  |
| 専門 | 読むだけでわかる数学再入門: 微分・積分編                                                       | 朝倉書店      | 18,000 |
| 専門 | 数学図鑑: やりなおしの高校数学                                                            | 朝倉書店      | 18,000 |
| 専門 | 世界数学者事典                                                                     | 日本評論社     | 6,500  |
| 専門 | プリンストン数学大全                                                                  | 朝倉書店      | 18,000 |

|    |                                                         |            |       |
|----|---------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | 「数学」の公式・定理・決まりごとがまとめてわかる事典 (BERET SCIENCE)              | ベレ出版       | 1,800 |
| 専門 | 高校－大学数学公式集: 第1部 高校の数学                                   | 近代科学社      | 2,800 |
| 専門 | 高校－大学数学公式集: 第2部 大学の数学                                   | 近代科学社      | 2,800 |
| 専門 | 数学ガール: ボアンカレ予想                                          | SBクリエイティブ  | 1,900 |
| 専門 | 数学の現在: $i$                                              | 東京大学出版会    | 2,800 |
| 専門 | 数学の現在: $\pi$                                            | 東京大学出版会    | 2,800 |
| 専門 | 数学の現在: $e$                                              | 東京大学出版会    | 3,000 |
| 専門 | 数学の問題の発見的解き方: 1. 新装版                                    | みすず書房      | 5,400 |
| 専門 | 数学の問題の発見的解き方: 2. 新装版                                    | みすず書房      | 5,400 |
| 専門 | 新・数学の学び方                                                | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 数学の研究をはじめよう: 高校生にもできる新しい数学研究へのいざない: 1                   | 現代数学社      | 1,800 |
| 専門 | 数学の研究をはじめよう: 2 高校生も分る新しい数論研究への誘い                        | 現代数学社      | 1,800 |
| 専門 | 数学の研究をはじめよう: 3 素数の織りなす世界を見てみよう                          | 現代数学社      | 1,600 |
| 専門 | 数学の研究をはじめよう: 4 完全数の新しい世界                                | 現代数学社      | 1,800 |
| 専門 | この数学パズル、解けますか?                                          | SBクリエイティブ  | 2,200 |
| 専門 | アルゴリズムパズル: プログラムのための数学パズル入門                             | オライリー・ジャパン | 3,000 |
| 専門 | プログラムで愉しむ数理パズル: 未解決の難問やAIの課題に挑戦                         | コロナ社       | 2,800 |
| 専門 | 数学ゲーム必勝法: 1                                             | 共立出版       | 3,800 |
| 専門 | 数学ゲーム必勝法: 2                                             | 共立出版       | 3,600 |
| 専門 | 数学パズル事典: Encyclopedia of Mathematical Puzzles, 改訂版      | 東京堂出版      | 1,900 |
| 専門 | 完全版マーティン・ガードナー数学ゲーム全集: 1 ガードナーの数学パズル・ゲーム                | 日本評論社      | 2,200 |
| 専門 | 完全版マーティン・ガードナー数学ゲーム全集: 2 ガードナーの数学娯楽                     | 日本評論社      | 2,400 |
| 専門 | 完全版マーティン・ガードナー数学ゲーム全集: 3 ガードナーの新・数学娯楽                   | 日本評論社      | 3,000 |
| 専門 | 完全版マーティン・ガードナー数学ゲーム全集: 4 ガードナーの予期せぬ絞首刑                  | 日本評論社      | 3,300 |
| 専門 | もっとプログラマ脳を鍛える数学パズル: アルゴリズムが脳にしみ込む70問                    | 翔泳社        | 2,580 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 1 方程式を解く, 新装版                                | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 2 図形を考える, 新装版                                | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 3 代数で幾何を解く, 新装版                              | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 4 図形を変換する, 新装版                               | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 5 関数をしらべる, 新装版                               | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 好きになる数学入門: 6 微分法を応用する, 新装版                              | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 共立講座21世紀の数学: 16 ヒルベルト空間と量子力学, 改訂増補版                     | 共立出版       | 3,800 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 1 数理医学入門                                     | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 2 リーマン面と代数曲線                                 | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 3 スペクトル幾何                                    | 共立出版       | 4,300 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 4 結び目の不変量                                    | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 5 K3曲面                                       | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 6 素数とゼータ関数                                   | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 7 確率微分方程式                                    | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 8 粘性解                                        | 共立出版       | 4,000 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 9 3次元リッチフローと幾何学的トポロジー                        | 共立出版       | 4,500 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 10 保型関数                                      | 共立出版       | 4,300 |
| 専門 | 共立講座数学の輝き: 11 D加群                                       | 共立出版       | 4,500 |
| 専門 | あいまいさの数理 (リスク工学シリーズ 5)                                  | コロナ社       | 3,000 |
| 専門 | 例題から展開する集合・位相 (ライブラリ例題から展開する大学数学 6)                     | サイエンス社     | 1,800 |
| 専門 | カントールの連続体仮説: ミーたんとかうちは第2回国際数学会会議に出席していた (Parade Books)  | パレード       | 3,500 |
| 専門 | 大学数学ほんとうに必要なのは『集合』 (BERET SCIENCE)                      | ベレ出版       | 1,900 |
| 専門 | 離散数学入門, 第2版                                             | 学術図書出版社    | 2,000 |
| 専門 | ヴァン・リント&ウィルソン組合せ論: 上                                    | 丸善出版       | 3,900 |
| 専門 | 13歳の娘に語るアルキメデスの無限小                                      | 岩波書店       | 2,600 |
| 専門 | 「集合と位相」をなぜ学ぶのか: 数学の基礎として根づくまでの歴史                        | 技術評論社      | 2,040 |
| 専門 | 応用事例とイラストでわかる離散数学                                       | 共立出版       | 2,400 |
| 専門 | 代数的組合せ論入門 (共立叢書現代数学の潮流)                                 | 共立出版       | 5,800 |
| 専門 | 不完全性定理: The Incompleteness Theorems                     | 共立出版       | 4,500 |
| 専門 | ファジーでデータを読む: ラフにしか収集できない「生データ」から「使える結論」を抽出! (I/O BOOKS) | 工学社        | 2,300 |
| 専門 | 今度こそわかるP≠NP予想 (今度こそわかるシリーズ)                             | 講談社        | 2,800 |
| 専門 | 離散数学, 第2版 (情報工学レクチャーシリーズ)                               | 森北出版       | 2,600 |
| 専門 | 例題で学ぶ集合と論理                                              | 森北出版       | 2,200 |
| 専門 | 石取りゲームの数学: ゲームと代数の不思議な関係                                | 数学書房       | 3,200 |

|    |                                                            |            |        |
|----|------------------------------------------------------------|------------|--------|
| 専門 | 情報工学のための離散数学入門 (グラフィック情報工学ライブラリ GIE-2)                     | 数理工学社      | 1,700  |
| 専門 | 証明の探究, 増補版 (共通教育シリーズ)                                      | 大阪大学出版会    | 1,900  |
| 専門 | 集合・論理と位相 (基幹講座数学)                                          | 東京図書       | 2,500  |
| 専門 | 論理と集合のはなし: 正しい思考の法則, 改訂版                                   | 日科技連出版社    | 2,300  |
| 専門 | P≠NP予想とはなんだろう? ゴールデンチケットは見つかるか?                            | 日本評論社      | 2,200  |
| 専門 | キューネン数学基礎論講義                                               | 日本評論社      | 3,800  |
| 専門 | ヘルマン・ヴァイル連続体: 解析学の基礎についての批判的研究                             | 日本評論社      | 3,500  |
| 専門 | 集合と位相 (日評ベシック・シリーズ)                                        | 日本評論社      | 2,100  |
| 専門 | 離散数学入門 (数理情報科学シリーズ 30)                                     | 牧野書店       | 2,600  |
| 専門 | 数理論理学: 合理的エージェントへの応用に向けて                                   | コロナ社       | 2,800  |
| 専門 | スマリヤン数理論理学: 述語論理と完全性定理                                     | 丸善出版       | 3,000  |
| 専門 | 証明と論理に強くなる: 論理式の読み方から、ゲーデルの門前まで (知の扉シリーズ)                  | 技術評論社      | 1,780  |
| 専門 | 現代数理論理学入門                                                  | 共立出版       | 4,200  |
| 専門 | 情報理論のための数理論理学 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 31)              | 共立出版       | 1,900  |
| 専門 | 万能コンピュータ: ライブニッツからチューリングへの道すじ                              | 近代科学社      | 3,600  |
| 専門 | 論理数学 (大学数学スポットライト・シリーズ 2)                                  | 近代科学社      | 2,400  |
| 専門 | 含意命題の探究: 「ならば」のロジックで数学する頭脳を鍛えよう                            | 現代数学社      | 2,300  |
| 専門 | 今度こそわかる論理: 数理論理学はなぜわかりにくいのか (今度こそわかるシリーズ)                  | 講談社        | 2,700  |
| 専門 | コンピュータは数学者になれるのか?: 数学基礎論から証明とプログラムの理論へ                     | 青土社        | 2,800  |
| 専門 | スマリヤン数理論理学講義: 不完全性定理の理解のために: 上巻                            | 日本評論社      | 4,000  |
| 専門 | 学んでみよう記号論理                                                 | 日本評論社      | 2,500  |
| 専門 | 記号論理学 (放送大学教材)                                             | 放送大学教育振興会  | 3,000  |
| 専門 | 代数系: 理工基礎 (ライブラリ新数学大系 E12)                                 | サイエンス社     | 1,850  |
| 専門 | 代数への出発 (新装版数学入門シリーズ)                                       | 岩波書店       | 2,800  |
| 専門 | 新修代数, 新訂                                                   | 現代数学社      | 2,800  |
| 専門 | 数からはじめる代数学: Algebra start from the number                  | 日本評論社      | 2,700  |
| 専門 | 代数・解析パーフェクト・マスター (めざせ, 数学オリンピック)                           | 日本評論社      | 2,400  |
| 専門 | インド代数学研究: 『ピージャガニタ』+『ピージャパツラヴァ』全訳と注                        | 恒星社厚生閣     | 24,000 |
| 専門 | 複素数の幾何学 (新装版数学入門シリーズ)                                      | 岩波書店       | 2,800  |
| 専門 | 複素数と複素数平面: 幾何への応用 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 33)          | 共立出版       | 1,700  |
| 専門 | これならわかる図解場合の数と確率                                           | ナツメ社       | 1,580  |
| 専門 | 順列・組合せと確率 (新装版数学入門シリーズ)                                    | 岩波書店       | 2,600  |
| 専門 | 行列プログラマー: Pythonプログラムで学ぶ線形代数                               | オライリー・ジャパン | 5,400  |
| 専門 | 基礎からの線形代数                                                  | コロナ社       | 2,600  |
| 専門 | テキスト線形代数: 電子ファイルがサポートする学習 (サイエンスライブラリ 数学 35)               | サイエンス社     | 1,650  |
| 専門 | 基礎演習線形代数 (ライブラリ数理・情報系の数学講義 別巻1)                            | サイエンス社     | 2,100  |
| 専門 | 新しい線形代数学通論 (ライブラリ理工新数学 T4)                                 | サイエンス社     | 1,980  |
| 専門 | 新しく始める線形代数 (サイエンステキストライブラリ 12)                             | サイエンス社     | 1,550  |
| 専門 | 例題から展開する線形代数 (ライブラリ例題から展開する大学数学 2)                         | サイエンス社     | 1,900  |
| 専門 | 例題から展開する線形代数演習 (ライブラリ例題から展開する大学数学 別巻1)                     | サイエンス社     | 1,950  |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の演習線形代数キャンパス・ゼミ, 改訂5                          | マセマ出版社     | 2,180  |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる! 単位なんて案に取れる! 改訂6 | マセマ出版社     | 2,370  |
| 専門 | 初めから学べると評判の演習大学基礎数学線形代数キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!     | マセマ出版社     | 1,800  |
| 専門 | 初めから学べると評判の大学基礎数学線形代数キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!       | マセマ出版社     | 1,800  |
| 専門 | 新基礎コース線形代数                                                 | 学術図書出版社    | 1,900  |
| 専門 | 線型代数の発想, 第5版                                               | 学術図書出版社    | 2,300  |
| 専門 | 線形代数                                                       | 学術図書出版社    | 2,000  |
| 専門 | 線形代数学                                                      | 学術図書出版社    | 1,600  |
| 専門 | 線形代数入門, 第2版                                                | 学術図書出版社    | 2,000  |
| 専門 | 線形代数入門                                                     | 学術図書出版社    | 1,600  |
| 専門 | ラックス線形代数: 数値解析へのアプローチ                                      | 丸善出版       | 5,900  |
| 専門 | 線形代数: 1 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                   | 丸善出版       | 2,600  |
| 専門 | 1冊でマスター大学の線形代数                                             | 技術評論社      | 2,280  |
| 専門 | これだけはつかみたい線形代数                                             | 共立出版       | 1,900  |
| 専門 | 基礎から身につける線形代数                                              | 共立出版       | 2,200  |
| 専門 | 線形代数の基礎講義: Introduction to Linear Algebra                  | 共立出版       | 2,200  |
| 専門 | 線形代数学講義, 改訂版                                               | 共立出版       | 2,800  |
| 専門 | 大学新入生のための線形代数入門                                            | 共立出版       | 2,000  |
| 専門 | ストラング: 線形代数イントロダクション (世界標準MIT教科書)                          | 近代科学社      | 8,000  |

|    |                                                                        |           |       |
|----|------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | ようこそ線形代数へ: 予備校講師が教えるゼロからの行列・1次変換                                       | 現代数学社     | 2,000 |
| 専門 | 基礎からやさしく学ぶ理工学系・情報科学系のための線形代数                                           | 現代数学社     | 1,800 |
| 専門 | 線型代数と固有値問題: スペクトル分解を中心に, 新装版                                           | 現代数学社     | 3,000 |
| 専門 | はじめての線形代数 15講                                                          | 講談社       | 2,200 |
| 専門 | はじめての線形代数学: 工学基礎                                                       | 講談社       | 2,200 |
| 専門 | これだけ線形代数                                                               | 秀和システム    | 1,800 |
| 専門 | コア講義線形代数                                                               | 裳華房       | 2,200 |
| 専門 | 手を動かしてまなぶ線形代数                                                          | 裳華房       | 2,500 |
| 専門 | 線型代数学, 新装版 (数学選書 1)                                                    | 裳華房       | 3,400 |
| 専門 | 線形代数学入門: 平面上の1次変換と空間図形から                                               | 裳華房       | 2,400 |
| 専門 | 1次変換のしくみ: 線形代数へのウォーミングアップ (発見的教授法による数学シリーズ 別巻1)                        | 森北出版      | 2,000 |
| 専門 | LAPACK/BLAS入門: Linear Algebra PACKage/Basic Linear Algebra Subprograms | 森北出版      | 2,600 |
| 専門 | 線形代数 (工学系数学テキストシリーズ)                                                   | 森北出版      | 1,900 |
| 専門 | 線形代数: ベクトルからベクトル空間・線形写像まで                                              | 森北出版      | 2,600 |
| 専門 | 線形代数と幾何: ベクトル・行列・行列式がよくわかる                                             | 森北出版      | 2,200 |
| 専門 | 工学のための線形代数 (工学のための数学 EKM-1)                                            | 数理工学社     | 2,200 |
| 専門 | 線形代数への招待: 行列と1次変換が開く線形の世界                                              | 聖文新社      | 2,000 |
| 専門 | 線型代数+ $\alpha$                                                         | 大学教育出版    | 2,000 |
| 専門 | 電気電子情報のための線形代数                                                         | 朝倉書店      | 3,500 |
| 専門 | 「正比例」の数学: 線形代数学の基礎理論案内                                                 | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | サクサク読んで単位を取得 線形代数: サク単!                                                | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | なるほど!とわかる線形代数                                                          | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | 演習すぐわかる線形代数                                                            | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | 弱点克服大学生の線形代数, 改訂版                                                      | 東京図書      | 2,800 |
| 専門 | 大学1・2年生のためのすぐわかる線形代数                                                   | 東京図書      | 2,600 |
| 専門 | 齋藤正彦線型代数学                                                              | 東京図書      | 3,000 |
| 専門 | こういうことだったのか線形代数学: 線形代数学の基礎理論のイメージがしっかり持てる                              | 東京図書出版    | 1,800 |
| 専門 | 明解線形代数: 行列の標準形, 固有空間の理解に向けて                                            | 内田老鶴園     | 2,600 |
| 専門 | 33の素敵な数学小景: フィボナッチ数, タイル張り, アルゴリズムを線形代数で眺めてみると...                      | 日本評論社     | 2,500 |
| 専門 | 線型代数: Linear Algebra, 改訂版                                              | 日本評論社     | 3,300 |
| 専門 | 線型代数講義: 現代数学への誘い                                                       | 日本評論社     | 3,300 |
| 専門 | 線形代数: 行列と数ベクトル空間 (日評ベーシック・シリーズ)                                        | 日本評論社     | 2,300 |
| 専門 | 線形代数とネットワーク                                                            | 日本評論社     | 2,500 |
| 専門 | 明解線形代数, 改訂版                                                            | 日本評論社     | 2,700 |
| 専門 | 教養の線形代数, 6訂版                                                           | 培風館       | 1,800 |
| 専門 | 工科系学生のための線形代数                                                          | 培風館       | 2,300 |
| 専門 | 実例詳説線形代数                                                               | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 初めて学ぶ線形代数                                                              | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 専門基礎線形代数学                                                              | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 線形代数・講義と演習, 改訂版                                                        | 培風館       | 2,300 |
| 専門 | 要点明解線形数学, 改訂版                                                          | 培風館       | 2,200 |
| 専門 | 理科系の基礎 線形代数                                                            | 培風館       | 2,100 |
| 専門 | 理工系のための線形代数                                                            | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 理工系学生のための線形代数: Webアシスト演習付                                              | 培風館       | 1,900 |
| 専門 | 理工系基礎線形代数学                                                             | 培風館       | 2,200 |
| 専門 | 線型代数学, 新訂 (放送大学教材)                                                     | 放送大学教育振興会 | 3,100 |
| 専門 | 入門線型代数, 改訂版 (放送大学教材)                                                   | 放送大学教育振興会 | 3,100 |
| 専門 | 2次行列の世界 (新装版数学入門シリーズ)                                                  | 岩波書店      | 2,800 |
| 専門 | ワナにはまらないベクトル行列 (オオカミ流高校数学再入門)                                          | 技術評論社     | 2,180 |
| 専門 | 連立方程式から学ぶ行列・行列式: 意味と計算の完全理解 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 23)            | 共立出版      | 1,900 |
| 専門 | ランダム行列の数理論と科学                                                          | 森北出版      | 3,400 |
| 専門 | 齋藤正彦数学講義行列の解析学                                                         | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | 行列とベクトルのはなし: 線形代数の基礎, 改訂版                                              | 日科技連出版社   | 2,300 |
| 専門 | ベクトルと行列: 基礎からはじめる線形代数                                                  | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 初めて学ぶ人のための行列と行列式                                                       | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 不可能の証明へ: アーベル 前編 (双書・大数学者の数学 11)                                       | 現代数学社     | 2,000 |
| 専門 | 代数方程式のはなし: A Dogmatic Introduction to Algebraic Equations              | 内田老鶴園     | 2,300 |
| 専門 | 方程式のはなし: 式をたて解くテクニック, 改訂版                                              | 日科技連出版社   | 2,200 |
| 専門 | ベーシック圏論: 普遍性からの速習コース                                                   | 丸善出版      | 3,700 |

|    |                                                              |           |       |
|----|--------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 圏論                                                           | 共立出版      | 4,300 |
| 専門 | 量子点描                                                         | 共立出版      | 2,800 |
| 専門 | 群の表示 (大学数学スポットライト・シリーズ 6)                                    | 近代科学社     | 2,400 |
| 専門 | 整数と群・環・体: 素数と数の認識論                                           | 現代数学社     | 2,300 |
| 専門 | 入門入門群論: 代数的構造への第一歩, 新装版                                      | 現代数学社     | 2,300 |
| 専門 | ベクトル空間からはじめる抽象代数入門: 群・体・テンソルまで                               | 森北出版      | 2,600 |
| 専門 | 対称群の表現とヤング図形集団の解析学: 漸近的表現論への序説 (数学の杜 4)                      | 数学書房      | 7,000 |
| 専門 | 代数群と軌道 (数学の杜 3)                                              | 数学書房      | 7,000 |
| 専門 | 圏と加群 (現代基礎数学 16)                                             | 朝倉書店      | 4,000 |
| 専門 | 群論序説                                                         | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | 圏論の技法: アーベル圏と三角圏でのホモロジー代数                                    | 日本評論社     | 4,600 |
| 専門 | 圏論の歩き方: Category Theory Trotters                             | 日本評論社     | 3,800 |
| 専門 | 見える群論入門                                                      | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | 代数学入門: 先につながら群, 環, 体の入門 (日評ベーシック・シリーズ)                       | 日本評論社     | 2,300 |
| 専門 | 文様の幾何学: 文様における群作用と対称性                                        | 牧野書店      | 2,400 |
| 専門 | 保型形式とユニタリ表現 (数学の杜 2)                                         | 数学書房      | 6,000 |
| 専門 | 杉浦光夫ユニタリ表現入門                                                 | 東京図書      | 3,500 |
| 専門 | 鏡映の数学: 有限鏡映群の幾何学                                             | 丸善出版      | 3,900 |
| 専門 | シローの定理 (大学数学スポットライト・シリーズ 1)                                  | 近代科学社     | 2,400 |
| 専門 | 保型形式特論 (共立叢書現代数学の潮流)                                         | 共立出版      | 5,400 |
| 専門 | はじめて学ぶリー環: 線型代数から始めよう                                        | 現代数学社     | 2,800 |
| 専門 | はじめて学ぶリー群: 線型代数から始めよう                                        | 現代数学社     | 2,800 |
| 専門 | 四元数の発見                                                       | 海鳴社       | 2,000 |
| 専門 | 可換環論の勘どころ (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 32)                    | 共立出版      | 1,900 |
| 専門 | 可換環論の様相: クルルの定理と正則局所環 (大学数学スポットライト・シリーズ 7)                   | 近代科学社     | 2,800 |
| 専門 | 四元数: Quaternion                                              | 森北出版      | 2,800 |
| 専門 | 図解と実例と論理で、今度こそわかるガロア理論                                       | SBクリエイティブ | 2,000 |
| 専門 | ガロアの数学「体」入門: 魔円陣とオイラー方陣を例に (数学への招待)                          | 技術評論社     | 1,680 |
| 専門 | ガロア理論「超」入門: 方程式と図形の関係から考える (知りたい!サイエンス 137)                  | 技術評論社     | 1,680 |
| 専門 | 数Ⅲ方式ガロアの理論: アイデアの変遷を追って, 新装版                                 | 現代数学社     | 3,800 |
| 専門 | 今度こそわかるガロア理論 (今度こそわかるシリーズ)                                   | 講談社       | 2,900 |
| 専門 | ガロアに出会う: はじめてのガロア理論                                          | 数学書房      | 2,200 |
| 専門 | ガロアとガロア理論: MATH+                                             | 東京図書      | 2,000 |
| 専門 | ガロア理論と表現論: ゼータ関数への出発                                         | 日本評論社     | 2,400 |
| 専門 | イデアル論入門 (大学数学スポットライト・シリーズ 5)                                 | 近代科学社     | 2,600 |
| 専門 | モデル-フルテンギスの定理: ディオファントス幾何からの完全証明 (ライブラリ数理論科学のための数学とその展開 AL1) | サイエンス社    | 2,770 |
| 専門 | 高次元代数多様体論 (岩波数学叢書)                                           | 岩波書店      | 5,500 |
| 専門 | 複素代数幾何学入門, 新装版                                               | 岩波書店      | 4,800 |
| 専門 | グレブナー教室: 計算代数統計への招待                                          | 共立出版      | 3,000 |
| 専門 | ジークルモジュラー関数論                                                 | 共立出版      | 6,000 |
| 専門 | 代数曲線入門                                                       | 共立出版      | 2,700 |
| 専門 | 代数曲線の幾何学, 改訂新版                                               | 現代数学社     | 2,500 |
| 専門 | 連接層の導来圏に関わる諸問題 (問題・予想・原理の数学 1)                               | 数学書房      | 3,000 |
| 専門 | 面心の代数幾何学: Algebraic Geometry via Area-Centers                | 東京電機大学出版局 | 3,200 |
| 専門 | 平面代数曲線のはなし: An Invitation to Plane Algebraic Curves          | 内田老鶴園     | 2,600 |
| 専門 | 魅惑と驚きの「数」たち                                                  | SBクリエイティブ | 2,100 |
| 専門 | 発見・予想を積み重ねるーそれが整数論                                           | オーム社      | 3,200 |
| 専門 | なるほど整数論                                                      | 海鳴社       | 3,000 |
| 専門 | 数の体系: 解析の基礎 (数学クラシックス 第28巻)                                  | 丸善出版      | 3,800 |
| 専門 | 初学者のための数論入門                                                  | 講談社       | 1,600 |
| 専門 | ガウスの数論世界をゆく: 正多角形の作図から相互法則・数論幾何へ (数学書房選書 6)                  | 数学書房      | 2,400 |
| 専門 | 素数モンスター: 100までの数とそのキャラクターたち                                  | 数学書房      | 2,000 |
| 専門 | 整数論基礎講義                                                      | 朝倉書店      | 6,500 |
| 専門 | 整数論: 3 解析的整数論への誘い                                            | 日本評論社     | 3,400 |
| 専門 | 探検!数の密林・数論の迷宮                                                | 日本評論社     | 2,700 |
| 専門 | 天に向かって続く数                                                    | 日本評論社     | 2,400 |
| 専門 | 素数姫の素数入門                                                     | 洋泉社       | 1,600 |
| 専門 | 数の不思議: 初等整数論への招待                                             | SBクリエイティブ | 1,600 |
| 専門 | 分数と小数から広がる整数の世界: フェルマーの小定理からアルチン予想まで (数学への招待)                | 技術評論社     | 1,680 |

|    |                                                                                  |            |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | 整数と平面格子の数学 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 28)                                       | 共立出版       | 1,700 |
| 専門 | ガウスに学ぶ初等整数論 (MATH+)                                                              | 東京図書       | 1,800 |
| 専門 | 初等整数パーフェクト・マスター: めざせ、数学オリンピック                                                    | 日本評論社      | 2,200 |
| 専門 | 岩澤理論とその展望: 上 (岩波数学叢書)                                                            | 岩波書店       | 4,500 |
| 専門 | 岩澤理論とその展望: 下 (岩波数学叢書)                                                            | 岩波書店       | 7,400 |
| 専門 | わかりやすい類体論と虚数乗法入門: 下 (やさしい数学の発見シリーズ 4)                                            | 天の川教育文化研究所 | 3,000 |
| 専門 | 解析的整数論: 1                                                                        | 岩波書店       | 4,000 |
| 専門 | 解析的整数論: 2                                                                        | 岩波書店       | 5,800 |
| 専門 | マルコフ方程式: 方程式から読み解く美しい数学 (数学への招待)                                                 | 技術評論社      | 1,720 |
| 専門 | 数理解析学概論: 新訂版                                                                     | 現代数学社      | 4,500 |
| 専門 | 応用解析学の基礎: 複素解析・フーリエ解析・ラプラス変換: 新装版                                                | 森北出版       | 2,100 |
| 専門 | 工学系の数学解析: Mathematical Analysis for Advanced Engineering                         | 大阪大学出版会    | 1,900 |
| 専門 | テクノロジーへの解析学: ベクトル解析・微分方程式・フーリエ解析とその応用                                            | 東京図書       | 2,800 |
| 専門 | 十進BASICで方程式を遊ぶ                                                                   | 東京図書出版     | 3,500 |
| 専門 | 「極限」を使いこなす: 微積分・微分方程式・確率統計                                                       | 東京大学出版会    | 3,600 |
| 専門 | 新しい解析入門コース: 新装版                                                                  | 日本評論社      | 2,200 |
| 専門 | 超準解析と物理学: 増補改訂版 (数理物理シリーズ)                                                       | 日本評論社      | 5,500 |
| 専門 | 徹底入門解析学                                                                          | 日本評論社      | 3,000 |
| 専門 | 応用解析: 微分方程式・ラプラス変換・フーリエ解析                                                        | 培風館        | 2,300 |
| 専門 | 解析学入門                                                                            | 培風館        | 2,400 |
| 専門 | 解析入門: 改訂新版 (放送大学教材)                                                              | 放送大学教育振興会  | 3,000 |
| 専門 | イメージでつかむイプシロンデルタ・位相空間論                                                           | ブレアデス出版    | 2,600 |
| 専門 | 美しい無限級数: ゼータ関数とL関数をめぐる数学                                                         | ブレアデス出版    | 2,100 |
| 専門 | 微分積分学の誕生: デカルト『幾何学』からオイラー『無限解析序説』まで                                              | SBクリエイティブ  | 2,000 |
| 専門 | 楽しく学ぶ微積分                                                                         | インデックス出版   | 2,000 |
| 専門 | 基礎からの微積分                                                                         | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | 微積分学入門: 改訂                                                                       | コロナ社       | 2,300 |
| 専門 | 微積分分講義テキスト: Textbook for Calculus Courses                                        | コロナ社       | 2,500 |
| 専門 | 理工系基礎数学演習                                                                        | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | ひとりで学べる微積分演習 (ひとりで学べる数学演習ライブラリ 2)                                                | サイエンス社     | 1,950 |
| 専門 | 詳解微積分演習: 基礎から本質の確かな理解へ (数学基礎コース H別巻1)                                            | サイエンス社     | 2,100 |
| 専門 | ふたたびの微分・積分: 眠っていた数学脳がよみがえる!                                                      | すずばる舎      | 2,200 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の微積分キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる! 改訂4                         | マセマ出版社     | 2,360 |
| 専門 | 初めから学べると評判の演習大学基礎数学微積分キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!                            | マセマ出版社     | 1,800 |
| 専門 | 初めから学べると評判の大学基礎数学微積分キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!                              | マセマ出版社     | 1,800 |
| 専門 | 根底から理解する微積分学入門                                                                   | ムイスリ出版     | 2,300 |
| 専門 | 基礎微積分                                                                            | 学術図書出版社    | 2,000 |
| 専門 | 新基礎コース微積分                                                                        | 学術図書出版社    | 2,000 |
| 専門 | 微積分分: 講義・演習テキスト: 第2版                                                             | 学術図書出版社    | 1,550 |
| 専門 | 微積分分: 増補版                                                                        | 学術図書出版社    | 1,900 |
| 専門 | 微積分分学: 基礎から学ぶ理工系                                                                 | 学術図書出版社    | 1,900 |
| 専門 | 例題と演習で学ぶ微積分学                                                                     | 学術図書出版社    | 1,600 |
| 専門 | 微積分 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                                             | 丸善出版       | 2,200 |
| 専門 | 微積分への道 (新装版数学入門シリーズ)                                                             | 岩波書店       | 2,500 |
| 専門 | 微分・積分、いい気分。                                                                      | 岩波書店       | 2,200 |
| 専門 | 1冊でマスター大学の微積分                                                                    | 技術評論社      | 2,280 |
| 専門 | 使い道がわかる微積分: 物理屋が贈る数学講義                                                           | 技術評論社      | 1,680 |
| 専門 | 親切ガイドで迷わない大学の微積分: 高校のおさらいからはじめてしっかり計算できるようになるやさしいテキスト                            | 技術評論社      | 1,880 |
| 専門 | 頭にしみこむ微積分 (瀬山先生の数学講義シリーズ)                                                        | 技術評論社      | 1,680 |
| 専門 | 微積分学講義: 下                                                                        | 京都大学学術出版会  | 4,500 |
| 専門 | これだけはつかみたい微積分                                                                    | 共立出版       | 1,900 |
| 専門 | 古典的名著に学ぶ微積分の基礎: Foundation of Calculus Learning from Ancient and Modern Classics | 共立出版       | 2,500 |
| 専門 | 微分: 改訂版                                                                          | 共立出版       | 1,600 |
| 専門 | 微積分学入門: 第1課: 新装版                                                                 | 近代科学社      | 2,000 |
| 専門 | 演算的に見た微分・積分の代数: 1 表示変形論: 導入編                                                     | 現代数学社      | 2,600 |
| 専門 | 大学新入生のための微積分分: 基礎と実践                                                             | 現代数学社      | 2,500 |
| 専門 | 実用のための「微積」と「ラグランジャン」: 実際に使いこなすための「考える力」を身につける! (I/O BOOKS)                       | 工学社        | 2,300 |
| 専門 | はじめての微積分15講                                                                      | 講談社        | 2,200 |
| 専門 | 新しい微積分: NEW APPROACH TO CALCULUS: 上                                              | 講談社        | 2,200 |

|    |                                            |           |       |
|----|--------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 新しい微積分: NEW APPROACH TO CALCULUS: 下        | 講談社       | 2,400 |
| 専門 | 微分積分学の史的展開: ライブニッツから高木貞治まで                 | 講談社       | 4,500 |
| 専門 | これだけ!微積分                                   | 秀和システム    | 1,600 |
| 専門 | コア講義微積分                                    | 裳華房       | 2,300 |
| 専門 | 微積分リアル入門: イメージから理論へ                        | 裳華房       | 2,700 |
| 専門 | 微積分 (LIBRARY工学基礎 & 高専TEXT T3)              | 数理工学社     | 2,600 |
| 専門 | 基礎微積分学: 2015改訂版                            | 東海大学出版部   | 2,400 |
| 専門 | スチュワート微積分学: 1 微積分の基礎                       | 東京化学同人    | 3,900 |
| 専門 | サクサク読んで単位を取得 微積分分: サク単!                    | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | なるほど!とわかる微積分                               | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | 演習すぐわかる微積分                                 | 東京図書      | 2,200 |
| 専門 | 大学1・2年生のためのすぐわかる数学: 改訂版                    | 東京図書      | 2,800 |
| 専門 | 大学1・2年生のためのすぐわかる微積分                        | 東京図書      | 2,600 |
| 専門 | 微積分分 (基幹講座数学)                              | 東京図書      | 2,500 |
| 専門 | 記号と規則、あるいは変数と微分: 力学についての非科学的考察             | 東京図書出版    | 1,800 |
| 専門 | 微分の教科書 (大学数学基礎力養成)                         | 東京電機大学出版局 | 2,300 |
| 専門 | 微積分分学: 数学解析第一編: 第1巻: 改訂新編                  | 内田老鶴園     | 7,500 |
| 専門 | 微積分分学: 数学解析第一編: 第2巻: 改訂新編                  | 内田老鶴園     | 7,500 |
| 専門 | “お理工さん”の微積分                                | 日本評論社     | 2,500 |
| 専門 | dxとdyの解析学: オイラーに学ぶ: 増補版                    | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | すべての人の微積分学: 改訂版                            | 日本評論社     | 2,700 |
| 専門 | 初学微分と積分                                    | 日本評論社     | 2,600 |
| 専門 | 微積分分: 1変数と2変数 (日評ベシック・シリーズ)                | 日本評論社     | 2,300 |
| 専門 | 微積分分学: 1 微分学                               | 日本評論社     | 2,800 |
| 専門 | 微積分分学: 2 積分学                               | 日本評論社     | 3,200 |
| 専門 | 微積分分学: 3 実数論講義                             | 日本評論社     | 3,200 |
| 専門 | 微積分分講義: 改訂版                                | 日本評論社     | 2,500 |
| 専門 | ステップアップ微積分学                                | 培風館       | 2,200 |
| 専門 | 工科系学生のための微積分学                              | 培風館       | 2,100 |
| 専門 | 専門基礎微積分学                                   | 培風館       | 2,100 |
| 専門 | 微積分分の演習: Exercises for Calculus            | 培風館       | 1,800 |
| 専門 | 微積分分の基礎                                    | 培風館       | 2,400 |
| 専門 | 要点明解微積分学: 改訂版                              | 培風館       | 2,100 |
| 専門 | 理工系のための微積分                                 | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 理工系学生のための微積分分: Webアシスト演習付                  | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 理工系新課程微積分分演習: 解法のポイントと例題解説                 | 培風館       | 2,000 |
| 専門 | 例題でわかる微積分: 改訂版                             | 培風館       | 2,100 |
| 専門 | 入門微積分分 (放送大学教材)                            | 放送大学教育振興会 | 3,000 |
| 専門 | 微積分分学: 改訂版                                 | 牧野書店      | 2,200 |
| 専門 | 積分: 改訂版                                    | 共立出版      | 1,600 |
| 専門 | 早わかりルベーク積分 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!- 29) | 共立出版      | 1,900 |
| 専門 | ルベーク積分入門: 新装版 (数学選書 4)                     | 裳華房       | 4,200 |
| 専門 | ルベーク積分: 理論と計算手法                            | 森北出版      | 3,600 |
| 専門 | ルベーク積分入門                                   | 朝倉書店      | 4,000 |
| 専門 | 積分の教科書 (大学数学基礎力養成)                         | 東京電機大学出版局 | 2,300 |
| 専門 | 実解析: 測度論・積分、およびヒルベルト空間 (プリンストン解析学講義 3)     | 日本評論社     | 5,000 |
| 専門 | ルベーク積分の基礎・基本 (理工系数学の基礎・基本 16)              | 牧野書店      | 1,700 |
| 専門 | 絶対ゼータ関数論                                   | 岩波書店      | 3,500 |
| 専門 | リーマン予想を解こう: 新ゼータと因数分解からのアプローチ (知の扉シリーズ)    | 技術評論社     | 1,580 |
| 専門 | 関数とは何か: 近代数学史からのアプローチ                      | 近代科学社     | 4,200 |
| 専門 | ゼータの冒険と進化                                  | 現代数学社     | 2,300 |
| 専門 | ラマヌジャンとの衝撃 (双書・大数学者の数学 14)                 | 現代数学社     | 2,100 |
| 専門 | リーマンの夢: ゼータ関数の探求                           | 現代数学社     | 2,100 |
| 専門 | 絶対数学原論                                     | 現代数学社     | 2,300 |
| 専門 | リーマン教授にインタビューする: ゼータの起源から深リーマン予想まで         | 青土社       | 1,800 |
| 専門 | 絶対数学の世界: リーマン予想・ラングランズ予想・佐藤予想              | 青土社       | 2,000 |
| 専門 | オイラーとリーマンのゼータ関数 (シリーズゼータの現在)               | 日本評論社     | 1,900 |
| 専門 | ゼータへの招待 (シリーズゼータの現在)                       | 日本評論社     | 1,900 |
| 専門 | ラマヌジャン《ゼータ関数論文集》                           | 日本評論社     | 3,000 |

|    |                                                                          |         |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------|---------|-------|
| 専門 | 数理科学のための複素関数論(ライブラリ数理科学のための数学とその展開 F3)                                   | サイエンス社  | 2,300 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の複素関数キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる!. 改訂4               | マセマ出版社  | 2,580 |
| 専門 | 複素関数論: 2 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                                | 丸善出版    | 2,500 |
| 専門 | 複素解析入門, 第2版                                                              | 共立出版    | 1,900 |
| 専門 | 複素関数論講義                                                                  | 共立出版    | 2,800 |
| 専門 | 明快複素解析: ゼロからスタート                                                         | 現代数学社   | 2,300 |
| 専門 | 電気系の複素関数入門: Introduction to Complex Functions for Electrical Engineering | 弘前大学出版会 | 2,000 |
| 専門 | 複素関数入門: Introduction to Complex Functions                                | 弘前大学出版会 | 2,000 |
| 専門 | スタンダード工学系の複素解析                                                           | 講談社     | 1,700 |
| 専門 | 複素関数論の基礎: Basics of Complex Function Theory                              | 裳華房     | 2,400 |
| 専門 | 工科のための複素解析 (工科のための数理 MKM-8)                                              | 数理工学社   | 2,300 |
| 専門 | 道具としての複素関数                                                               | 日本実業出版社 | 2,700 |
| 専門 | 複素解析 (日評ベシック・シリーズ)                                                       | 日本評論社   | 2,300 |
| 専門 | 複素関数論の要諦, 新装版                                                            | 日本評論社   | 2,800 |
| 専門 | 擬等角写像講義 (数学クラシックス 第29巻)                                                  | 丸善出版    | 3,400 |
| 専門 | 応用のためのウェーブレット (シリーズ応用数理 第5巻)                                             | 共立出版    | 3,300 |
| 専門 | ウェーブレット変換がわかる本: 「周波数解析」の新理論 (I/O BOOKS)                                  | 工学社     | 2,300 |
| 専門 | ウェーブレット変換がわかる本: 実践編 R用Waveletパッケージ「Rwave」 (I/O BOOKS)                    | 工学社     | 2,300 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判のラプラス変換キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる!. 改訂2             | マセマ出版社  | 2,220 |
| 専門 | 楕円関数概観: 楕円積分から虚数乗法まで                                                     | 共立出版    | 2,500 |
| 専門 | 楕円関数論への道: アーベル 後編 (双書・大数学者の数学 16)                                        | 現代数学社   | 2,100 |
| 専門 | 多変数超幾何関数: ゲルファント講義1989                                                   | 日本評論社   | 3,000 |
| 専門 | 多変数複素解析入門                                                                | 開成出版    | 2,500 |
| 専門 | 多変数複素解析, 増補版                                                             | 岩波書店    | 4,000 |
| 専門 | 岡澤多変数関数論の建設 (双書・大数学者の数学 12)                                              | 現代数学社   | 2,300 |
| 専門 | 現代複素解析への道標: レジेंटたちの射程                                                   | 現代数学社   | 2,800 |
| 専門 | 多変数複素関数論を学ぶ: Complex Analysis in Several Variables                       | 日本評論社   | 3,500 |
| 専門 | 多変数解析関数論, 複製版                                                            | 培風館     | 4,600 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判のフーリエ解析キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる!. 改訂4             | マセマ出版社  | 2,240 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の演習フーリエ解析キャンパス・ゼミ                                           | マセマ出版社  | 2,100 |
| 専門 | フーリエ・ラプラス解析 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                             | 丸善出版    | 2,500 |
| 専門 | フーリエ現代を担保するもの (双書・大数学者の数学 13)                                            | 現代数学社   | 2,700 |
| 専門 | スタンダード工学系のフーリエ解析・ラプラス変換                                                  | 講談社     | 2,000 |
| 専門 | 単位が取れるフーリエ解析ノート (単位が取れるシリーズ)                                             | 講談社     | 2,400 |
| 専門 | リーマンと代数関数論: 西欧近代の数学の結節点                                                  | 東京大学出版会 | 4,800 |
| 専門 | フーリエ解析学初等講義 (実用数学全書)                                                     | 日新出版    | 1,800 |
| 専門 | 道具としてのフーリエ解析                                                             | 日本実業出版社 | 2,400 |
| 専門 | 指数関数ものごと                                                                 | 日本評論社   | 2,200 |
| 専門 | 書き込み式工学系の微分方程式入門                                                         | コロナ社    | 2,200 |
| 専門 | 基礎課程微分方程式 (数学基礎コース K5)                                                   | サイエンス社  | 1,900 |
| 専門 | 微分方程式概説, 新訂版 (数学基礎コース O4)                                                | サイエンス社  | 1,700 |
| 専門 | パターン形成と分岐理論: 自発的パターン発生の力学系入門 (シリーズ・現象を解明する数学)                            | 共立出版    | 3,200 |
| 専門 | 自然現象から学ぶ微分方程式                                                            | 共立出版    | 2,500 |
| 専門 | 脳のなかに数学を見る (連携する数学 1)                                                    | 共立出版    | 3,400 |
| 専門 | 力学系入門: 微分方程式からカオスまで, 原著第3版                                               | 共立出版    | 6,600 |
| 専門 | ストラング: 微分方程式と線形代数 (世界標準MIT教科書)                                           | 近代科学社   | 9,000 |
| 専門 | 日常現象からの解析学                                                               | 近代科学社   | 3,600 |
| 専門 | スタンダード工学系の微分方程式                                                          | 講談社     | 1,700 |
| 専門 | だれでもわかる微分方程式                                                             | 講談社     | 1,900 |
| 専門 | これだけ微分方程式                                                                | 秀和システム  | 1,600 |
| 専門 | 現象を解き明かす微分方程式の定式化と解法                                                     | 森北出版    | 2,800 |
| 専門 | 求積法のさきにあるもの: 微分方程式は解ける                                                   | 数学書房    | 2,300 |
| 専門 | 微分方程式, 増補版                                                               | 数学書房    | 2,000 |
| 専門 | 微分方程式概論, 新訂版 (新・数理/工学ライブラリ 応用数学=1)                                       | 数理工学社   | 1,700 |
| 専門 | 応用微分方程式 (現代基礎数学 10)                                                      | 朝倉書店    | 3,200 |
| 専門 | 可積分系の数理 (解析学百科 2)                                                        | 朝倉書店    | 7,500 |
| 専門 | 微分方程式入門, 新版                                                              | 朝倉書店    | 3,600 |
| 専門 | すぐわかる微分方程式, 改訂版                                                          | 東京図書    | 2,000 |
| 専門 | 数学 理性の音楽: 自然と社会を貫く数学                                                     | 東京大学出版会 | 2,800 |

|    |                                                                      |               |       |
|----|----------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | Mathematicaと微分方程式 (実用数学全書)                                           | 日新出版          | 2,200 |
| 専門 | 理工学のための微分方程式                                                         | 培風館           | 2,100 |
| 専門 | 理工系微分方程式: 解き方から基礎理論への入門                                              | 培風館           | 2,300 |
| 専門 | 微分方程式 (放送大学教材)                                                       | 放送大学教育振興会     | 3,100 |
| 専門 | 解ける!使える!微分方程式                                                        | 北海道大学出版会      | 3,000 |
| 専門 | 基礎演習微分方程式 (ライブラリ数理・情報系の数学講義 別巻3)                                     | サイエンス社        | 2,100 |
| 専門 | 微分方程式講義 (ライブラリ数理・情報系の数学講義 4)                                         | サイエンス社        | 2,200 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の演習常微分方程式キャンパス・ゼミ, 改訂1                                  | マセマ出版社        | 2,220 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の常微分方程式キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる!. 改訂4         | マセマ出版社        | 2,580 |
| 専門 | 常微分方程式入門, 第3版                                                        | 共立出版          | 2,000 |
| 専門 | 常微分方程式の新しい教科書                                                        | 朝倉書店          | 2,400 |
| 専門 | 常微分方程式 (大学数学の入門 10)                                                  | 東京大学出版会       | 3,400 |
| 専門 | 常微分方程式 (日評ベシック・シリーズ)                                                 | 日本評論社         | 2,200 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の偏微分方程式キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる!単位なんて楽に取れる!. 改訂2         | マセマ出版社        | 2,450 |
| 専門 | 偏微分方程式 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                              | 丸善出版          | 2,800 |
| 専門 | 侵入・伝播と拡散方程式 (シリーズ・現象を解明する数学)                                         | 共立出版          | 3,000 |
| 専門 | 偏微分方程式への誘い                                                           | 現代数学社         | 2,000 |
| 専門 | 工科のための偏微分方程式 (工科のための数理 MKM-7)                                        | 数理工学社         | 2,900 |
| 専門 | 反応拡散方程式: Reaction-Diffusion Equations                                | 東京大学出版会       | 4,600 |
| 専門 | 変分問題: 直接法と解の正則性 (大学数学スポットライト・シリーズ 8)                                 | 近代科学社         | 2,500 |
| 専門 | 離散トモグラフィーとデルタ関数: Discrete Tomography through Delta Functions         | 東京電機大学出版局     | 3,200 |
| 専門 | ヴィジュアルでやさしいグラフへの入門 (情報系のための数学 4)                                     | サイエンス社        | 2,200 |
| 専門 | 複素および混合超曲面特異点入門 (現代数学シリーズ 第20巻)                                      | 丸善出版          | 4,800 |
| 専門 | 低次元の幾何からポアンカレ予想へ: 世紀の難問が解決されるまで (数学への招待)                             | 技術評論社         | 1,580 |
| 専門 | グラフの数え上げ: 母関数を礎にして                                                   | 共立出版          | 3,300 |
| 専門 | グラフ理論とフレームワークの幾何 (数学のかんどころ・ここがわかれば数学はこわくない!- 34)                     | 共立出版          | 1,700 |
| 専門 | 波面の伝播と特異点: Wave Front Propagations and Singularities                 | 共立出版          | 4,600 |
| 専門 | 多様体への道 (大学数学スポットライト・シリーズ 4)                                          | 近代科学社         | 2,400 |
| 専門 | $\varepsilon - \delta$ 論法からトポロジーへ                                    | 現代数学社         | 2,300 |
| 専門 | やさしい位相幾何学の話, 新装版                                                     | 現代数学社         | 2,100 |
| 専門 | 多様体とモース理論, 新装版                                                       | 現代数学社         | 2,300 |
| 専門 | 具体例から学ぶ多様体                                                           | 裳華房           | 3,000 |
| 専門 | 多様体入門, 新装版 (数学選書 5)                                                  | 裳華房           | 4,400 |
| 専門 | グラフ理論入門: 基本とアルゴリズム                                                   | 森北出版          | 1,600 |
| 専門 | よくわかるトポロジー                                                           | 森北出版          | 2,500 |
| 専門 | グラフ理論の魅惑の世界: 巡回セールスマン問題、四色問題、中国人郵便配達問題...                            | 青土社           | 3,400 |
| 専門 | 多様体のトポロジー (幾何学百科 1)                                                  | 朝倉書店          | 6,400 |
| 専門 | 4次元のトポロジー, 新版                                                        | 日本評論社         | 3,400 |
| 専門 | パリオレで数学を: サーストンと挑んだポアンカレ予想                                           | 日本評論社         | 2,500 |
| 専門 | 結び目理論の圖論: 「結び目」のほどこ方                                                 | 日本評論社         | 3,200 |
| 専門 | 結び目のはなし, 新版                                                          | 遊星社           | 2,100 |
| 専門 | 流れるようにわかる統計学: こんなふうには教わりなかった!                                        | KADOKAWA      | 2,300 |
| 専門 | できるビジネスパーソンのためのExcel統計解析入門: ビジネスにおける最強の武器、統計学を基礎から学ぶ (Excel for Biz) | SBクリエイティブ     | 2,000 |
| 専門 | 仕事に役立つExcel統計解析, 第4版 (Excel徹底活用シリーズ)                                 | SBクリエイティブ     | 2,480 |
| 専門 | 社会人1年生のための統計学教科書: データの見方からリスク・リテラシーまで                                | SBクリエイティブ     | 1,800 |
| 専門 | 人間と社会を変えた9つの確率・統計学物語                                                 | SBクリエイティブ     | 1,900 |
| 専門 | エクセル統計学, 改訂新版                                                        | アイ・ケイコーポレーション | 2,300 |
| 専門 | ネットワーク理論: モノの流れを科学する                                                 | アイ・ケイコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | できるやさしく学ぶExcel統計入門: 難しいことはパソコンにまかせて仕事で役立つデータ分析ができる本                  | インプレス         | 1,980 |
| 専門 | やさしく学ぶデータ分析に必要な統計の教科書: Excelですぐに試せる! (できるビジネス)                       | インプレス         | 1,600 |
| 専門 | 4Stepsエクセル統計, 第4版                                                    | オーエムエス出版      | 4,000 |
| 専門 | 7日間集中講義Excel統計学入門: データを見ただけで分析できるようになるために                            | オーム社          | 2,500 |
| 専門 | Excelで学ぶ統計解析入門                                                       | オーム社          | 2,700 |
| 専門 | JMPではじめる統計的問題解決入門                                                    | オーム社          | 3,200 |
| 専門 | Pythonによる統計分析入門                                                      | オーム社          | 2,700 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 多変量解析編                                         | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 基本操作・データ編集編                                    | オーム社          | 2,000 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 基本統計編                                          | オーム社          | 2,000 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: アンケート解析編                                       | オーム社          | 2,800 |

|    |                                                                            |            |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 顧客分析編                                                | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 品質管理編                                                | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 保健・看護統計編                                             | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | SAS Enterprise Guide: 時系列分析編                                               | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | SAS Studioによるやさしい統計データ分析                                                   | オーム社       | 2,200 |
| 専門 | SPSSによるロジスティック回帰分析, 第2版                                                    | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | SPSSによる応用多変量解析                                                             | オーム社       | 3,200 |
| 専門 | SPSSによる実践統計分析                                                              | オーム社       | 3,000 |
| 専門 | The R Tips: データ解析環境Rの基本技・グラフィックス活用集, 第3版                                   | オーム社       | 3,600 |
| 専門 | データサイエンス入門: Excelで学ぶ統計データの見方・使い方・集め方                                       | オーム社       | 2,300 |
| 専門 | ベイズ推定入門: モデル選択からベイズ的最適化まで                                                  | オーム社       | 2,400 |
| 専門 | マンガでわかるベイズ統計学                                                              | オーム社       | 2,200 |
| 専門 | やさしく学ぶSPSSによる統計解析                                                          | オーム社       | 2,400 |
| 専門 | 見えないものをさぐるーそれがベイズ: ツールによる実践ベイズ統計                                           | オーム社       | 2,000 |
| 専門 | 挫折しない統計学入門: 数学苦手意識を克服する                                                    | オーム社       | 2,200 |
| 専門 | 実践R統計分析                                                                    | オーム社       | 3,800 |
| 専門 | 対応分析入門: 原理から応用まで                                                           | オーム社       | 2,600 |
| 専門 | 統計学図鑑: Data is here                                                        | オーム社       | 2,500 |
| 専門 | 例題とExcel演習で学ぶ多変量解析: 回帰分析・判別分析・コンジョイント分析編                                   | オーム社       | 2,800 |
| 専門 | 例題とExcel演習で学ぶ多変量解析: 生存時間解析・ロジスティック回帰分析・時系列分析編                              | オーム社       | 3,500 |
| 専門 | 例題とExcel演習で学ぶ多変量解析: 因子分析・コレスポネンシス分析・クラスター分析編                               | オーム社       | 3,000 |
| 専門 | Think Bayes: プログラマのためのベイズ統計入門                                              | オライリー・ジャパン | 2,400 |
| 専門 | Think Stats: プログラマのための統計入門, 第2版                                            | オライリー・ジャパン | 2,400 |
| 専門 | データサイエンスのための統計学入門: 予測、分類、統計モデリング、統計的機械学習とRプログラミング                          | オライリー・ジャパン | 3,000 |
| 専門 | 統計クイックリファレンス                                                               | オライリー・ジャパン | 3,700 |
| 専門 | 統計解析ソフト「SAS」, 改訂版                                                          | カッツシステム    | 6,800 |
| 専門 | 文系でも仕事に使える統計学はじめての一步                                                       | かんき出版      | 1,600 |
| 専門 | IoT時代のデータ処理の基本と実践: スマホ内蔵センサ取得データを用いて                                       | コロナ社       | 2,200 |
| 専門 | はじめての統計学                                                                   | コロナ社       | 2,500 |
| 専門 | 最適化の基礎                                                                     | コロナ社       | 1,800 |
| 専門 | 数理統計学入門: 基礎と実践, 改訂版                                                        | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | コア・テキスト確率統計 (ライブラリ数学コア・テキスト 6)                                             | サイエンス社     | 1,800 |
| 専門 | RIによるハイパフォーマンスコンピューティング                                                    | ソシム        | 3,600 |
| 専門 | 完全独習ベイズ統計学入門                                                               | ダイヤモンド社    | 1,800 |
| 専門 | Rで多変量解析: Multivariate Analysis by R Language                               | ナカニシヤ出版    | 2,200 |
| 専門 | ゼロからはじめる統計モデリング                                                            | ナカニシヤ出版    | 2,200 |
| 専門 | リアルデータとエクセルによる統計入門                                                         | ブレアデス出版    | 2,100 |
| 専門 | 平均・分散から始める一般化線形モデル入門                                                       | ブレアデス出版    | 2,500 |
| 専門 | 「穴埋め」で統計分析がスラスラできる (BERET SCIENCE)                                         | ベレ出版       | 1,600 |
| 専門 | 意味がわかるベイズ統計学: まずはこの一冊から (BERET SCIENCE)                                    | ベレ出版       | 2,000 |
| 専門 | 意味がわかる多変量解析: まずはこの一冊から (BERET SCIENCE)                                     | ベレ出版       | 1,900 |
| 専門 | データサイエンティストのための最新知識と実践: Rではじめよう! (モダン) なデータ分析                              | マイナビ出版     | 2,490 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の演習統計学キャンパス・ゼミ, 改訂2                                           | マセマ出版社     | 2,040 |
| 専門 | スバラシク実力がつくと評判の統計学キャンパス・ゼミ: 大学の数学がこんなに分かる! 単位なんて楽に取れる!, 改訂4                 | マセマ出版社     | 2,300 |
| 専門 | 初めから学べると評判の演習大学基礎数学確率統計キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!                     | マセマ出版社     | 1,800 |
| 専門 | 初めから学べると評判の大学の基礎数学確率統計キャンパス・ゼミ: 高校数学から大学数学へスムーズに実力UP!                      | マセマ出版社     | 1,800 |
| 専門 | マンガで学ぶデータ解析                                                                | みみずく舎      | 2,200 |
| 専門 | 確率・統計                                                                      | 学術図書出版社    | 1,800 |
| 専門 | 確率・統計の基礎                                                                   | 学術図書出版社    | 1,800 |
| 専門 | 新基礎コース確率・統計                                                                | 学術図書出版社    | 1,600 |
| 専門 | 統計と確率の基礎, 第3版                                                              | 学術図書出版社    | 2,000 |
| 専門 | Shrinkage Regression Estimators and Their Feasibilities (関西学院大学研究叢書 第182編) | 関西学院大学出版会  | 4,000 |
| 専門 | 確率・統計: 2 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                                  | 丸善出版       | 2,500 |
| 専門 | 最適化と変分法 (東京大学工学教程 基礎系数学)                                                   | 丸善出版       | 3,000 |
| 専門 | ヒラノ教授の線形計画法物語                                                              | 岩波書店       | 1,600 |
| 専門 | ベイズモデリングの世界: The Expanding World of Bayesian Modeling                      | 岩波書店       | 1,600 |
| 専門 | 数理統計学の考え方: 推測理論の基礎                                                         | 岩波書店       | 2,200 |
| 専門 | 調査観察データ解析の実際: 1 欠測データの統計科学                                                 | 岩波書店       | 3,200 |
| 専門 | 日常のなかの統計学 (新装版数学入門シリーズ)                                                    | 岩波書店       | 2,700 |

|    |                                                                             |        |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| 専門 | Rで楽しむベイズ統計入門: しくみから理解するベイズ推定の基礎 (Data Science Library)                      | 技術評論社  | 2,880 |
| 専門 | プロ野球でわかる! はじめての統計学: 野球のデータで統計の基本を楽しく学ぶ                                      | 技術評論社  | 2,280 |
| 専門 | 親切ガイドで迷わない統計学: 平均だけが統計じゃない! 統計の基礎から応用までしっかりわかる                              | 技術評論社  | 1,880 |
| 専門 | 身につくベイズ統計学: 入門者のための標準テキスト (ファーストブックSTEP)                                    | 技術評論社  | 1,880 |
| 専門 | 身につく入門統計学: 統計学の超基本が手を動かして学べる! (ファーストブックSTEP)                                | 技術評論社  | 1,680 |
| 専門 | 前処理大全: データ分析のためのSQL/R/Python実践テクニック                                         | 技術評論社  | 3,000 |
| 専門 | 統計学の図鑑 (まなびのずかん)                                                            | 技術評論社  | 2,480 |
| 専門 | 統計思考の世界: 曼荼羅で読み解くデータ解析の基礎                                                   | 技術評論社  | 2,300 |
| 専門 | Pythonによるベイズ統計モデリング: PyMCでのデータ分析実践ガイド                                       | 共立出版   | 3,600 |
| 専門 | R Commanderによるデータ解析, 第2版                                                    | 共立出版   | 2,800 |
| 専門 | Rプログラミング本格入門: 達人データサイエンティストへの道                                              | 共立出版   | 5,500 |
| 専門 | Wonderful R: 1 Rで楽しむ統計                                                      | 共立出版   | 2,500 |
| 専門 | Wonderful R: 2 StanとRでベイズ統計モデリング                                            | 共立出版   | 3,000 |
| 専門 | Wonderful R: 3 再現可能性のすゝめ                                                    | 共立出版   | 2,500 |
| 専門 | スパース推定法による統計モデリング (統計学One Point 6)                                          | 共立出版   | 2,200 |
| 専門 | データ解析のためのロジスティック回帰モデル                                                       | 共立出版   | 8,200 |
| 専門 | データ処理の手法と考え方                                                                | 共立出版   | 2,200 |
| 専門 | ベイズ統計モデリング: R,JAGS,Stanによるチュートリアル                                           | 共立出版   | 8,200 |
| 専門 | やさしいMCMC入門: 有限マルコフ連鎖とアルゴリズム                                                 | 共立出版   | 2,500 |
| 専門 | レイティング・ランキングの数理: No.1は誰か?                                                   | 共立出版   | 5,000 |
| 専門 | 欠測データ処理: RIによる単一代入法と多重代入法 (統計学One Point 5)                                  | 共立出版   | 2,200 |
| 専門 | 構造的因果モデルの基礎                                                                 | 共立出版   | 3,700 |
| 専門 | 数理モデリング入門: ファイブ・ステップ法                                                       | 共立出版   | 4,300 |
| 専門 | 数理統計学の基礎 (クロスセクショナル統計シリーズ 1)                                                | 共立出版   | 2,500 |
| 専門 | 線形代数に基づくデータ分析法                                                              | 共立出版   | 3,000 |
| 専門 | 多重比較法の理論と数値計算: Theory of Multiple Comparison Procedures and Its Computation | 共立出版   | 4,300 |
| 専門 | 統計学: Rを用いた入門書, 改訂第2版                                                        | 共立出版   | 4,600 |
| 専門 | 統計学の要点: 基礎からRの活用まで                                                          | 共立出版   | 2,200 |
| 専門 | 統計学基礎                                                                       | 共立出版   | 1,900 |
| 専門 | スッキリわかる確率統計: 定理のくわしい証明つき                                                    | 近代科学社  | 2,700 |
| 専門 | はじめての最適化                                                                    | 近代科学社  | 2,700 |
| 専門 | モデリング: 広い視野を求めて (シリーズ: 最適化モデリング 1)                                          | 近代科学社  | 2,800 |
| 専門 | モデリングの諸相: ORと数理科学の交差点 (シリーズ: 最適化モデリング 5)                                    | 近代科学社  | 3,200 |
| 専門 | ロバスト統計: 外れ値への対処の仕方 (ISMシリーズ: 進化する統計数理 6)                                    | 近代科学社  | 3,500 |
| 専門 | 確率的シミュレーションの基礎 (IMIシリーズ: 進化する産業数学 1)                                        | 近代科学社  | 3,600 |
| 専門 | 角度データのモデリング (ISMシリーズ: 進化する統計数理 7)                                           | 近代科学社  | 3,700 |
| 専門 | 極値統計学 (ISMシリーズ: 進化する統計数理 5)                                                 | 近代科学社  | 4,200 |
| 専門 | 青少年のための統計学入門                                                                | 現代図書   | 2,600 |
| 専門 | 安定マッチングの数理とアルゴリズム: トラブルのない配属を求めて                                            | 現代数学社  | 1,900 |
| 専門 | 「R」ではじめるプログラミング: 「統計処理」と「プログラミング」を同時にマスター! (I/O BOOKS)                      | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | 統計学, 増補第3版                                                                  | 晃洋書房   | 3,300 |
| 専門 | だれでもわかる数理統計                                                                 | 講談社    | 1,900 |
| 専門 | 今日から使える組合せ最適化: 離散問題ガイドブック                                                   | 講談社    | 2,800 |
| 専門 | 実践のための基礎統計学                                                                 | 講談社    | 2,600 |
| 専門 | 横浜発確率・統計入門                                                                  | 産業図書   | 2,500 |
| 専門 | Excelでできるらくらく統計解析: Windows用Excel2016/2013/2010対応版                           | 自由国民社  | 1,600 |
| 専門 | これだけはおさえたい確率統計 (Primary大学テキスト)                                              | 実教出版   | 1,900 |
| 専門 | 教養のための統計入門 (事例でわかる統計シリーズ)                                                   | 実教出版   | 2,300 |
| 専門 | 理工系のための統計入門 (事例でわかる統計シリーズ)                                                  | 実教出版   | 2,200 |
| 専門 | R統計解析パーフェクトマスター: 最新版Windows Macintosh対応 (Perfect Master 171)                | 秀和システム | 2,800 |
| 専門 | 現場ですぐに使える! R言語プログラミング逆引き大全350の極意: 350 Tips to Use R Language Better!        | 秀和システム | 3,200 |
| 専門 | 多変量解析の基本と実践がよくわかる本: データ解析の手法を図解で説明! (How-nual図解入門 ビジネス)                     | 秀和システム | 1,800 |
| 専門 | マンガでわかる統計学入門                                                                | 新星出版社  | 1,700 |
| 専門 | いまさら聞けない疑問に答える統計学のキホンQ&A100                                                 | 新曜社    | 1,900 |
| 専門 | Pythonで体験するベイズ推論: PyMCによるMCMC入門                                             | 森北出版   | 3,200 |
| 専門 | RIによるデータサイエンス: データ解析の基礎から最新手法まで, 第2版                                        | 森北出版   | 3,600 |
| 専門 | データ解析の実務プロセス入門                                                              | 森北出版   | 2,400 |
| 専門 | 意思決定の数理: 最適な案を選択するための理論と手法                                                  | 森北出版   | 3,600 |
| 専門 | 一段深く理解する確率統計                                                                | 森北出版   | 2,400 |



|    |                                                      |          |       |
|----|------------------------------------------------------|----------|-------|
| 専門 | 最適化手法の基礎: 力学モデルによる理解と実装                              | 森北出版     | 3,200 |
| 専門 | 数理計画法による最適化: 実際の問題に活かすための考え方と手法                      | 森北出版     | 2,600 |
| 専門 | 数理計画法入門                                              | 森北出版     | 2,400 |
| 専門 | 統計解析法入門: 推定・検定・分散分析の考え方                              | 森北出版     | 2,600 |
| 専門 | 例題で学ぶオペレーションズ・リサーチ入門                                 | 森北出版     | 2,200 |
| 専門 | 確率と乱数 (数学書房選書 4)                                     | 数学書房     | 2,000 |
| 専門 | Rプログラミングマニュアル, 第2版 (新・数理/工学ライブラリ 情報工学=2)             | 数理工学社    | 4,200 |
| 専門 | ベイズの誓い: ベイズ統計学はAIの夢を見る                               | 聖学院大学出版会 | 3,200 |
| 専門 | 統計学への招待: 大学生・社会人に必要な知識                               | 税務経理協会   | 2,000 |
| 専門 | ベイズ統計学 (やさしく知りたい先端科学シリーズ 1)                          | 創元社      | 1,800 |
| 専門 | EXCELで考える統計学                                         | 創成社      | 2,600 |
| 専門 | 例題で学ぶ統計の方法, 改訂版                                      | 創成社      | 3,000 |
| 専門 | 「偶然」の統計学                                             | 早川書房     | 1,800 |
| 専門 | ケースで身につく統計学, 第2版                                     | 中央経済社    | 2,800 |
| 専門 | Rで学ぶ多変量解析                                            | 朝倉書店     | 3,800 |
| 専門 | シリーズ(多変量データの統計科学): 1 多変量データ解析                        | 朝倉書店     | 3,800 |
| 専門 | セミパラメトリック推測と経験過程 (統計ライブラリー)                          | 朝倉書店     | 3,700 |
| 専門 | データ解析のためのSAS入門                                       | 朝倉書店     | 4,800 |
| 専門 | ノンパラメトリック法 (統計解析スタンダード)                              | 朝倉書店     | 3,400 |
| 専門 | はじめての統計データ分析: ベイズ的(ポストp値時代)の統計学                      | 朝倉書店     | 2,600 |
| 専門 | ビジネスマンがはじめて学ぶベイズ統計学: ExcelからRへステップアップ                | 朝倉書店     | 3,200 |
| 専門 | ベイズ計算統計学 (統計解析スタンダード)                                | 朝倉書店     | 3,400 |
| 専門 | 一般化線形モデル (統計解析スタンダード)                                | 朝倉書店     | 3,600 |
| 専門 | 応用をめざす数理統計学 (統計解析スタンダード)                             | 朝倉書店     | 3,500 |
| 専門 | 回帰診断 (統計ライブラリー)                                      | 朝倉書店     | 4,500 |
| 専門 | 確率計画法 (シリーズ応用最適化 5)                                  | 朝倉書店     | 3,200 |
| 専門 | 頑健回帰推定 (統計ライブラリー)                                    | 朝倉書店     | 3,600 |
| 専門 | 基礎からのベイズ統計学: ハミルトニアンモンテカルロ法による実践的入門                  | 朝倉書店     | 3,200 |
| 専門 | 空間統計学: 自然科学から人文・社会科学まで (統計ライブラリー)                    | 朝倉書店     | 3,500 |
| 専門 | 経時データ解析 (統計解析スタンダード)                                 | 朝倉書店     | 3,400 |
| 専門 | 欠測データの統計解析 (統計解析スタンダード)                              | 朝倉書店     | 3,400 |
| 専門 | 実践ベイズモデリング: 解析技法と認知モデル                               | 朝倉書店     | 3,200 |
| 専門 | 線形回帰分析 (統計ライブラリー)                                    | 朝倉書店     | 5,500 |
| 専門 | 統計的因果推論 (統計解析スタンダード)                                 | 朝倉書店     | 3,600 |
| 専門 | 非線形計画法 (シリーズ応用最適化 6)                                 | 朝倉書店     | 3,400 |
| 専門 | 分割表の統計解析: 二元表から多元表まで (統計ライブラリー)                      | 朝倉書店     | 2,900 |
| 専門 | 確率統計序論, 第3版                                          | 東海大学出版部  | 1,600 |
| 専門 | 統計学序論, 改訂版                                           | 東海大学出版部  | 2,400 |
| 専門 | Excelによる理工系のための統計学                                   | 東京化学同人   | 2,200 |
| 専門 | Rで学ぶ統計学入門                                            | 東京化学同人   | 2,700 |
| 専門 | JMPLによるデータ分析: 統計の基礎から多変量解析まで, 第2版                    | 東京図書     | 3,000 |
| 専門 | SPSSでやさしく学ぶアンケート処理, 第4版                              | 東京図書     | 2,500 |
| 専門 | SPSSでやさしく学ぶ多変量解析, 第5版                                | 東京図書     | 2,600 |
| 専門 | SPSSでやさしく学ぶ統計解析, 第6版                                 | 東京図書     | 2,500 |
| 専門 | SPSSIによるアンケート調査のための統計処理                              | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | SPSSIによるデータ分析                                        | 東京図書     | 2,500 |
| 専門 | SPSSIによる多変量データ解析の手順, 第5版 (ていねいでわかりやすいクリックするだけの統計入門)  | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | SPSSIによる統計処理の手順, 第8版 (ていねいでわかりやすいクリックするだけの統計入門)      | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | SPSSIによる分散分析と多重比較の手順, 第5版 (ていねいでわかりやすいクリックするだけの統計入門) | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | SPSS完全活用法データの入力と加工, 第4版                              | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | SPSS超入門: インストールからはじめるデータ分析                           | 東京図書     | 2,200 |
| 専門 | すぐわかる統計用語の基礎知識                                       | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | はじめての共分散構造分析: Amosによるパス解析, 第2版                       | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | もうひとつの重回帰分析: 予測変数を直交化する方法                            | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | 共分散構造分析: 構造方程式モデリング: R編                              | 東京図書     | 3,400 |
| 専門 | 統計学 (基幹講座数学)                                         | 東京図書     | 2,200 |
| 専門 | 統計学入門: 記述統計学                                         | 東京図書     | 1,800 |
| 専門 | 問題解決のためのRとJAGS: 小中高で学ぶ統計からベイズ統計、サンプルサイズまで            | 東京図書     | 2,800 |
| 専門 | 統計学: STATISTICS                                      | 東京大学出版会  | 2,800 |

|    |                                                                                    |                  |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 専門 | 評価と数量化のはなし: 科学的評価へのアプローチ, 改訂版                                                      | 日科技連             | 2,300  |
| 専門 | ゼロから始めるR: 四則演算から多変量解析まで                                                            | 日科技連出版社          | 2,000  |
| 専門 | 数理統計学入門                                                                            | 日科技連出版社          | 2,000  |
| 専門 | 目からウロコの統計学: データの溢れる世界を生き抜く15の処方箋                                                   | 日科技連出版社          | 2,600  |
| 専門 | 分散分析と実験計画法: これで納得!即実践!                                                             | 日刊工業新聞社          | 2,400  |
| 専門 | 統計ソフトRによるデータ活用入門: 統計解析の基礎から応用まで (実用理工学入門講座)                                        | 日新出版             | 2,300  |
| 専門 | Excelでここまでできる統計解析: ヒストグラムから重回帰分析まで, 第2版                                            | 日本規格協会           | 2,900  |
| 専門 | カラーイメージで学ぶ統計学の基礎, 新版 第2版                                                           | 日本教育研究センター       | 4,500  |
| 専門 | 統計学をまる裸にする: データはもう怖くない                                                             | 日本経済新聞出版社        | 1,800  |
| 専門 | マンガでやさしくわかる統計学                                                                     | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,800  |
| 専門 | ベイズ法の基礎と応用: 条件付き分布による統計モデリングとMCMC法を用いたデータ解析                                        | 日本評論社            | 3,500  |
| 専門 | 現代統計学                                                                              | 日本評論社            | 2,700  |
| 専門 | 実例で学ぶ確率・統計                                                                         | 日本評論社            | 2,800  |
| 専門 | Excelで実践する基礎統計学                                                                    | 農林統計協会           | 3,500  |
| 専門 | スタンダード統計学基礎                                                                        | 培風館              | 2,600  |
| 専門 | スタンダード文科系の統計学                                                                      | 培風館              | 2,200  |
| 専門 | 確率と統計: Webアシスト演習付                                                                  | 培風館              | 2,200  |
| 専門 | 基本統計学                                                                              | 培風館              | 2,600  |
| 専門 | 理工系学生のための確率・統計講義                                                                   | 培風館              | 2,200  |
| 専門 | 身近な統計 (放送大学教材)                                                                     | 放送大学教育振興会        | 3,800  |
| 専門 | 問題解決の数理, 改訂版 (放送大学教材)                                                              | 放送大学教育振興会        | 2,900  |
| 専門 | Q&Aで理解する統計学の基礎                                                                     | 北大路書房            | 2,400  |
| 専門 | 統計学: Statistics :Data Science for Social Studies, 改訂版 (New Liberal Arts Selection) | 有斐閣              | 3,200  |
| 専門 | みなか先生といっしょに統計学の王国を歩いてみよう: 情報の海と推論の山を越える翼をアナタに!                                     | 羊土社              | 2,300  |
| 専門 | Pythonで学ばたらしい統計学の教科書: 統計学はどのような学問なのだろう (AI& TECHNOLOGY)                            | 翔泳社              | 3,000  |
| 専門 | わかる&使える統計学用語                                                                       | アーク出版            | 2,800  |
| 専門 | モンテカルロ法ハンドブック                                                                      | 朝倉書店             | 18,000 |
| 専門 | 世界を変えた確率と統計のからくり134話                                                               | SBクリエイティブ        | 1,900  |
| 専門 | 「蓋然性」の探求: 古代の推論術から確率論の誕生まで                                                         | みずす書房            | 6,300  |
| 専門 | ホワイトノイズ (量子数理シリーズ 5)                                                               | 丸善出版             | 3,800  |
| 専門 | ホイヘンスが教えてくれる確率論: 勝つための賭け方 (知りたいサイエンス 135)                                          | 技術評論社            | 1,680  |
| 専門 | 確率がわかる: 豊富な例題と図解で、基本からやさしく解説!集合からいていねいに勉強したい人に最適! (ファーストブック)                       | 技術評論社            | 1,680  |
| 専門 | カルマンフィルタ: Rを使った時系列予測と状態空間モデル (統計学One Point 2)                                      | 共立出版             | 2,200  |
| 専門 | ランダムウォークははじめの一步: 自然現象の解析を見すえて                                                      | 共立出版             | 2,900  |
| 専門 | 確率で読み解く日常の不思議: あなたが10年後に生きている可能性は?                                                 | 共立出版             | 2,500  |
| 専門 | 確率解析への誘い: 確率微分方程式の基礎と応用                                                            | 共立出版             | 4,300  |
| 専門 | 確率微分方程式入門: 数理ファイナンスへの応用 (数学のかんどころ-ここがわかれば数学はこわくない!-) 26)                           | 共立出版             | 1,900  |
| 専門 | 待ち行列理論の基礎と応用 (未来へつなぐデジタルシリーズ 29)                                                   | 共立出版             | 3,000  |
| 専門 | ポアソン分布・ポアソン回帰・ポアソン過程 (統計スポットライト・シリーズ 2)                                            | 近代科学社            | 2,200  |
| 専門 | 確率論の黎明: 確率論前史ーバスカル以前の確率概念の系譜, 新装版                                                  | 現代数学社            | 3,200  |
| 専門 | 確率論史: バスカルからラブラスの時代までの数学史の一断面, 新装版                                                 | 現代数学社            | 9,000  |
| 専門 | 確率と確率過程: 具体例で学ぶ確率論の考え方                                                             | 森北出版             | 3,400  |
| 専門 | 確率微分方程式とその応用                                                                       | 森北出版             | 4,800  |
| 専門 | 確率論講義ノート: 場合の数から確率微分方程式まで                                                          | 森北出版             | 2,800  |
| 専門 | 図で解る量子ウォーク入門                                                                       | 森北出版             | 3,600  |
| 専門 | 量子ウォーク                                                                             | 森北出版             | 4,500  |
| 専門 | 待ち行列の数理モデル (確率工学シリーズ 1)                                                            | 朝倉書店             | 3,600  |
| 専門 | 確率概念の近傍: ベイズ統計学の基礎をなす確率概念                                                          | 内田老鶴圃            | 2,500  |
| 専門 | ブロックの確率                                                                            | 日経BP社            | 2,200  |
| 専門 | 確率バズルの迷宮                                                                           | 日本評論社            | 2,200  |
| 専門 | 確率論入門: 2 (確率論教程シリーズ 2)                                                             | 培風館              | 5,100  |
| 専門 | Excelで学ぶ統計的予測                                                                      | オーム社             | 3,200  |
| 専門 | Rによるノンパラメトリック検定                                                                    | オーム社             | 2,700  |
| 専門 | SPSSIによるノンパラメトリック検定                                                                | オーム社             | 2,800  |
| 専門 | 最速の推計統計: 正規分布の徹底攻略                                                                 | コロナ社             | 2,600  |
| 専門 | パネルデータの調査と分析・入門                                                                    | ナカニシヤ出版          | 2,800  |
| 専門 | 時系列分析と状態空間モデルの基礎: RとStanで学ぶ理論と実装                                                   | ブレアデス出版          | 2,500  |
| 専門 | 統計学の基礎                                                                             | ムイスリ出版           | 2,300  |
| 専門 | 乱数生成と計算量理論 (確率と情報の科学)                                                              | 岩波書店             | 3,000  |

|    |                                                                    |             |        |
|----|--------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
| 専門 | 基礎からわかる時系列分析: Rで実践するカルマンフィルタ・MCMC・粒子フィルタ (Data Science Library)    | 技術評論社       | 3,980  |
| 専門 | 暗号と乱数: 乱数の統計的検定 (統計学One Point 7)                                   | 共立出版        | 2,200  |
| 専門 | 確率的グラフィカルモデル: Probabilistic Graphical Model                        | 共立出版        | 3,600  |
| 専門 | 時系列解析 (統計学One Point 4)                                             | 共立出版        | 2,200  |
| 専門 | 必携統計の大標本論: その基礎理論と演習                                               | 共立出版        | 4,000  |
| 専門 | 時系列分析ハンドブック                                                        | 朝倉書店        | 18,000 |
| 専門 | 分布からはじめる確率・統計入門: 実用のための直感的アプローチ                                    | 東京図書        | 2,400  |
| 専門 | 統計ソフトRによる多次元データ処理入門: 仮説検定・分散分析・主成分分析 (実用理工学入門講座)                   | 日新出版        | 2,800  |
| 専門 | ダメな統計学: 悲惨なほど完全なる手引書                                               | 勁草書房        | 2,200  |
| 専門 | Rで学ぶ実験計画法                                                          | 朝倉書店        | 3,800  |
| 専門 | 実験計画法と分散分析 (統計解析スタンダード)                                            | 朝倉書店        | 3,600  |
| 専門 | 最小二乗法・交互最小二乗法 (統計学One Point 3)                                     | 共立出版        | 2,200  |
| 専門 | 数値解析の基礎: パソコンによる計算実験, 改装版                                          | エスアイビー・アクセス | 3,200  |
| 専門 | 科学技術計算のためのPython: 確率・統計・機械学習                                       | エヌ・ティー・エス   | 6,000  |
| 専門 | 数値計算入門, 新訂版 (Computer Science Library 17)                          | サイエンス社      | 1,650  |
| 専門 | 数値計算入門 (C言語版) (Computer Science Library 別巻1)                       | サイエンス社      | 1,900  |
| 専門 | 直接構造化コーディング                                                        | 丸善プラネット     | 2,400  |
| 専門 | MATLABとOctaveによる科学技術計算: 数値計算の理論と手法                                 | 丸善出版        | 5,600  |
| 専門 | 数値解析の原理: 現象の解明をめざして (岩波数学叢書)                                       | 岩波書店        | 6,800  |
| 専門 | Fortranハンドブック: 数値計算に最適なソフトウェアFortran95の基礎から実践まで                    | 技術評論社       | 3,200  |
| 専門 | 「科学技術計算」で使うPython: 「配列処理」「グラフ作成」から「統計解析」「数式処理」まで (I/O BOOKS)       | 工学社         | 2,300  |
| 専門 | 数値計算 (理工系の数値)                                                      | 裳華房         | 2,700  |
| 専門 | CIによる数値計算法入門, 第2版 新装版                                              | 森北出版        | 2,200  |
| 専門 | 数値計算法, 第2版 新装版                                                     | 森北出版        | 2,000  |
| 専門 | 並列計算の数理とアルゴリズム                                                     | 森北出版        | 4,600  |
| 専門 | 古典的数式処理プログラムMACSYMAとその今日への継承                                       | 柏館舎         | 3,200  |
| 専門 | 工学の基幹数学 (理工系の基礎)                                                   | 丸善出版        | 2,000  |
| 専門 | ものづくりの数学のすすめ: 技術革新をリードする現代数学活用法                                    | 現代数学社       | 2,500  |
| 専門 | 計算力をつける応用数学問題集                                                     | 内田老鶴園       | 1,900  |
| 専門 | コンピューター&テクノロジー-解体新書: ビジュアル版                                        | SBクリエイティブ   | 2,700  |
| 専門 | コンピューターアーキテクチャ: Computer Architecture, 改訂4版                        | オーム社        | 3,700  |
| 専門 | コンピュータ工学入門                                                         | コロナ社        | 2,800  |
| 専門 | 新・コンピュータ解体新書, 第2版 (Information & Computing ex.46)                  | サイエンス社      | 1,650  |
| 専門 | コンピューターアーキテクチャ技術入門: 高速化の追求×消費電力の壁 (WEB+DB PRESS plus)              | 技術評論社       | 2,780  |
| 専門 | 計算機システム基礎 (シリーズ知能機械工学 7)                                           | 共立出版        | 2,600  |
| 専門 | 計算機学入門: デジタル世界の原理を学ぶ                                               | 共立出版        | 2,900  |
| 専門 | コンピュータ工学への招待                                                       | 近代科学社       | 2,700  |
| 専門 | コンピュータ技術最前線: 「パソコン」「タブレット」「スマホ」の「奥の奥」までわかる! (I/O BOOKS)            | 工学社         | 1,900  |
| 専門 | コンピューターアーキテクチャ (情報工学レクチャーシリーズ)                                     | 森北出版        | 2,800  |
| 専門 | コンピューターアーキテクチャ, 第2版                                                | 朝倉書店        | 2,900  |
| 専門 | ディジタルコンピューティングシステム, 新版                                             | 朝倉書店        | 2,800  |
| 専門 | コンピュータの構成と設計: ハードウェアとソフトウェアのインタフェース: 上, 第5版                        | 日経BP社       | 4,200  |
| 専門 | コンピュータの構成と設計: ハードウェアとソフトウェアのインタフェース: 下, 第5版                        | 日経BP社       | 4,200  |
| 専門 | ヘネシー&パターソンコンピュータアーキテクチャ定量的アプローチ                                    | 翔泳社         | 8,300  |
| 専門 | 「CPU」「GPU」「メモリ」半導体技術の流れ: 「ノイマン型」から「SoC」まで、仕組みの変化を理解する! (I/O BOOKS) | 工学社         | 1,900  |
| 専門 | みんなのIoT: Learning IoT with Python & Raspberry Pi                   | SBクリエイティブ   | 2,280  |
| 専門 | Chromebook徹底活用ガイド: Chromebookを徹底的に使いこなすための最強バイブル                   | マイナビ        | 2,690  |
| 専門 | JavaでRaspberry Pi入門: Blue Jで楽々プログラミング                              | リックテレコム     | 2,700  |
| 専門 | クラウドを支える技術: データセンターサイズのマシン設計法入門 (WEB+DB PRESS plus)                | 技術評論社       | 2,580  |
| 専門 | 「スマホ」時代のコンピュータ活用術: PCの使い方を「性能」「価格」「機能拡張」から考える! (I/O BOOKS)         | 工学社         | 1,900  |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Word 2016: 基礎                                       | FOM出版       | 2,000  |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Word 2016: 応用                                       | FOM出版       | 2,000  |
| 専門 | 法文書作成のためのMicrosoft Word 2016                                       | カッシステム      | 2,600  |
| 専門 | 速効図解Word 2016: 総合版                                                 | マイナビ出版      | 1,790  |
| 専門 | アウトライナー実践入門: 「書く・考える・生活する」創造的アウトライン・プロセッシングの技術                     | 技術評論社       | 1,980  |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんWord完全 (コンプリート) ガイドブック困った解決&便利技: 2016/2013/2010対応版       | 技術評論社       | 1,580  |
| 専門 | 世界一わかりやすいWordテキスト: ペテラン講師がつくりました                                   | 技術評論社       | 1,780  |
| 専門 | 地図や案内図のつくり方: Word/Excel/PowerPoint対応版 (ああしたい!こうしたい!)               | 技術評論社       | 1,980  |
| 専門 | 例題30+演習問題70でしっかり学ぶWord標準テキスト                                       | 技術評論社       | 1,980  |

|    |                                                                                             |                  |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | Word 2016: 基礎 (セミナーテキスト)                                                                    | 日経BP社            | 1,700 |
| 専門 | Word 2016: 応用 (セミナーテキスト)                                                                    | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | いちばんやさしいWord 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 初級                                   | 日経BP社            | 2,300 |
| 専門 | いちばんやさしいWord 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 中級                                   | 日経BP社            | 2,300 |
| 専門 | いちばんやさしいWord 2016スクール標準教科書: 本に必要なことだけをとにかくやさしく説明した入門書: 上級                                   | 日経BP社            | 2,300 |
| 専門 | クチコミデザイン                                                                                    | すばる舎             | 1,800 |
| 専門 | データサイエンティスト養成読本: R活用編 データ分析の現場で役立つ知識が満載! (Software Design plus 10年先も役立つ力をつくる)               | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | データサイエンティスト養成読本: 機械学習入門編 ビッグデータ時代のビジネスを支える最新知識が満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる) | 技術評論社            | 2,280 |
| 専門 | データサイエンティスト養成読本: プロになるためのデータ分析力が身につく! 改訂2版 (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)         | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | データサイエンティスト養成読本: 電脳編 データ分析の新常識/デザイナーのための必須スキルが満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)  | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | データサイエンティスト・ハンドブック                                                                          | 近代科学社            | 2,500 |
| 専門 | マーケティングの統計モデル (統計解析スタンダード)                                                                  | 朝倉書店             | 3,200 |
| 専門 | 留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー                                                                      | 共立出版             | 2,200 |
| 専門 | インターンシップ: キャリア形成に資する就業体験, 第2版                                                               | 学文社              | 1,900 |
| 専門 | インターンシップ入門: 就活力・仕事力を身につける                                                                   | 玉川大学出版部          | 2,400 |
| 専門 | キャリアデザイン: 社会人に向けての基礎と実践                                                                     | 樹村房              | 1,900 |
| 専門 | 問題解決大全: ビジネスや人生のハードルを乗り越える37のツール                                                            | フォレスト出版          | 1,800 |
| 専門 | 問題解決の進め方 (放送大学教材)                                                                           | 放送大学教育振興会        | 2,300 |
| 専門 | インド・シフト: 世界のトップ企業はなぜ、「バンガロール」に拠点を置くのか?                                                      | PHP研究所           | 1,800 |
| 専門 | これ1冊でわかる契約書の読み方・つくり方IT版                                                                     | あさ出版             | 3,200 |
| 専門 | プラットフォーム革命: 経済を支配するビジネスモデルはどう機能し、どう作られるのか                                                   | 英治出版             | 1,900 |
| 専門 | 100万人から教わったウェブサービスの極意: 「モバツイ」開発1268日の知恵と視点                                                  | 技術評論社            | 1,580 |
| 専門 | IT起業家10人の10年                                                                                | 講談社              | 1,600 |
| 専門 | IoT時代のプラットフォーム競争戦略: ネットワーク効果のレバレッジ                                                          | 中央経済社            | 2,600 |
| 専門 | ITグローバル分業経営: 日中間の「差異認知によるプロセス共有」                                                            | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | ビッグデータの衝撃: 巨大なデータが戦略を決める                                                                    | 東洋経済新報社          | 1,800 |
| 専門 | ミッシングリンク: デジタル大国ニッポン再生                                                                      | 東洋経済新報社          | 1,600 |
| 専門 | 21世紀のICT多国籍企業                                                                               | 同文館出版            | 3,000 |
| 専門 | 参加型ネットワークのビジネスモデル: シェアリングを成功に導く優先度概念                                                        | 同文館出版            | 3,200 |
| 専門 | Googleクラウドの核心: 巨大データセンターの変貌と運用の経済学                                                          | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | Yコンビネーター: シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール                                                           | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | シリコンバレー最強の仕組み: 人も企業も、なぜありえないスピードで成長するのか?                                                    | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | プラットフォームの教科書: 超速成長ネットワーク効果の基本と応用                                                            | 日経BP社            | 1,700 |
| 専門 | 短時間で的確に作り上げるIT現場の文書作成術                                                                      | 日経BP社            | 2,500 |
| 専門 | VR〈仮想現実〉ビジネス成功の法則                                                                           | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 成熟期のウェブ戦略: 新たな成長と競争のルール                                                                     | 日本経済新聞出版社        | 1,900 |
| 専門 | コーポレートベンチャリング新時代: 本格化するベンチャーの時代と大手ICT企業の成長戦略                                                | 白桃書房             | 2,800 |
| 専門 | マスタースイッチ: 「正しい独裁者」を模索するアメリカ                                                                 | 飛鳥新社             | 2,500 |
| 専門 | 現代中国のICT多国籍企業                                                                               | 文眞堂              | 3,000 |
| 専門 | アマゾミクス: データ・サイエンティストはこう考える                                                                  | 文藝春秋             | 1,800 |
| 専門 | ビッグデータビジネスの時代: 堅実にイノベーションを生み出すポスト・クラウドの戦略                                                   | 翔泳社              | 1,800 |
| 専門 | プラットフォームビジネス最前線: 26の分野を図解とデータで徹底解剖                                                          | 翔泳社              | 2,200 |
| 専門 | 無敵の天才たち: スティーブ・ジョブズが駆け抜けたシリコンバレーの歴史的瞬間                                                      | 翔泳社              | 3,200 |
| 専門 | ひらめきクリック! 大全: WHAT IS CREATIVE THINKING?                                                    | PHPエディターズ・グループ   | 1,900 |
| 専門 | 世界で最もクリエイティブな国デンマークに学ぶ発想力の鍛え方                                                               | クロスメディア・パブリッシング  | 1,980 |
| 専門 | クリエイティブ・シンキング入門                                                                             | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 2,400 |
| 専門 | どうしてあの人はクリエイティブなのか?: 創造性と革新性のある未来を手に入れるための本                                                 | ピー・エヌ・エヌ新社       | 1,900 |
| 専門 | 来週のプレゼンに勝つ! マンガデザイン版                                                                        | プレジデント社          | 1,600 |
| 専門 | POWERS OF TWO二人で一人の天才                                                                       | 英治出版             | 2,300 |
| 専門 | ブレインステリング: 10億ドルのアイデアを生み出す新発想法                                                              | 阪急コミュニケーションズ     | 1,800 |
| 専門 | メイク・スペース: スタンフォード大学dスクールが実践する創造性を最大化する「場」のつくり方                                              | 阪急コミュニケーションズ     | 3,600 |
| 専門 | 図説アイデア入門: 言葉、ビジュアル、商品企画を生み出す14法則と99の見本                                                      | 宣伝会議             | 2,000 |
| 専門 | 発想の技術: アイデアを生むにはルールがある                                                                      | 電通               | 1,600 |
| 専門 | ひらめきはカオスから生まれる                                                                              | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 馬を飛ばそう: IoT提唱者が教える偉大なアイデアのつくり方                                                              | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | アイデア・ハンター: ひらめきや才能に頼らない発想力の鍛え方                                                              | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | フォーカス                                                                                       | 日本経済新聞出版社        | 1,700 |
| 専門 | モチベーションをまなぶ12の理論: ゼロからわかる「やる気の心理学」入門!                                                       | 金剛出版             | 3,200 |
| 専門 | モチベーション再考: コンピテンス概念の提唱                                                                      | 新曜社              | 1,800 |



|    |                                                        |                   |        |
|----|--------------------------------------------------------|-------------------|--------|
| 専門 | モチベーションの科学: 知識創造性の高め方                                  | 創成社               | 2,600  |
| 専門 | スマート・チェンジ: 悪い習慣を良い習慣に作り変える5つの戦略                        | CCCメディアハウス        | 1,700  |
| 専門 | アンシンク: 眠れる創造力を生かす、考えない働き方                              | 講談社               | 1,600  |
| 専門 | ジェイン・オースティンに学ぶゲーム理論: 恋愛と結婚をめぐる戦略的思考                    | NTT出版             | 4,600  |
| 専門 | 意思決定理論入門                                               | NTT出版             | 2,800  |
| 専門 | 行動ゲーム理論入門: Introduction to Behavioral Game Theory      | NTT出版             | 2,500  |
| 専門 | 正義のゲーム理論的基礎 (叢書《制度を考える》)                               | NTT出版             | 4,200  |
| 専門 | ゲーム理論 (Tokyo Tech Be-TEXT)                             | オーム社              | 2,800  |
| 専門 | ゲーム理論とその経済学への応用                                        | シーエビー出版           | 3,500  |
| 専門 | 世界の一流企業は「ゲーム理論」で決めている: ビジネスパーソンのための戦略思考の教科書            | ダイヤモンド社           | 1,800  |
| 専門 | 競争優位で勝つ統計学: わずかな差を大きな勝利に変える方法                          | 河出書房新社            | 1,900  |
| 専門 | ゲームと情報の経済分析: 基礎編, 改訂版                                  | 九州大学出版会           | 3,000  |
| 専門 | ゲームと情報の経済分析: 応用編, 改訂版                                  | 九州大学出版会           | 4,800  |
| 専門 | メカニズムデザインと意思決定のフロンティア                                  | 慶應義塾大学出版会         | 2,800  |
| 専門 | 戦略的思考をどう実践するか: エール大学式「ゲーム理論」の活用法                       | 阪急コミュニケーションズ      | 4,000  |
| 専門 | ゲーム理論における単調な外部性の分析                                     | 三菱経済研究所           | 1,800  |
| 専門 | マッチングゲームの実証分析                                          | 三菱経済研究所           | 1,700  |
| 専門 | 見間違えのあるくり返し囚人のジレンマ: 私的不完全観測下の実験とトーナメント                 | 三菱経済研究所           | 1,600  |
| 専門 | ゲーム理論講義 (新経済学ライブラリ 別巻12)                               | 新世社               | 2,300  |
| 専門 | はじめて学ぶゲーム理論                                            | 新世社               | 2,000  |
| 専門 | 非協力ゲーム理論 (数理経済学叢書 1)                                   | 知泉書館              | 4,400  |
| 専門 | オークション理論: 単一財競売メカニズムの数学的解明                             | 中央経済社             | 4,200  |
| 専門 | ゲーム理論アプリケーションブック                                       | 東洋経済新報社           | 3,000  |
| 専門 | ルービンシュタイン ゲーム理論の力                                      | 東洋経済新報社           | 3,200  |
| 専門 | 直観でわかるゲーム理論: 勝負頭脳が冴える「シンプルな必勝法」                        | 東洋経済新報社           | 1,800  |
| 専門 | ゲーム理論はアート: 社会のしくみを思いつづけたための繊細な哲学                       | 日本評論社             | 2,000  |
| 専門 | ゲーム理論: Game Theory, 新版                                 | 有斐閣               | 3,800  |
| 専門 | ゲーム理論・入門: 人間社会の理解のために, 新版 (有斐閣アルマ Basic)               | 有斐閣               | 1,900  |
| 専門 | ゲーム理論ワークブック: Game Theory Workbook                      | 有斐閣               | 1,900  |
| 専門 | ゲーム理論と経済行動: 刊行60周年記念版                                  | 勁草書房              | 13,000 |
| 専門 | シグナリングのゲーム理論: The Game Theory of Signaling             | 勁草書房              | 3,000  |
| 専門 | ミクロ動機とマクロ行動                                            | 勁草書房              | 2,700  |
| 専門 | 完全理解ゲーム理論・契約理論                                         | 勁草書房              | 2,400  |
| 専門 | 協力ゲームの基礎と応用                                            | 勁草書房              | 2,800  |
| 専門 | 不確実性下の意思決定理論                                           | 勁草書房              | 3,800  |
| 専門 | ゼロ・トゥ・ワン: 君はゼロから何を生み出せるか                               | NHK出版             | 1,600  |
| 専門 | Lean Analytics: スタートアップのためのデータ解析と活用法 (THE LEAN SERIES) | オライリー・ジャパン        | 3,300  |
| 専門 | Running Lean: 実践リーンスタートアップ (THE LEAN SERIES)           | オライリー・ジャパン        | 2,200  |
| 専門 | やりたいことを3年後にビジネスにする: とっておきの秘策                           | セルバ出版             | 1,600  |
| 専門 | CVCコーポレートベンチャーキャピタル: グローバルビジネスを勝ち抜く新たな経営戦略             | ダイヤモンド・ビジネス企画     | 2,200  |
| 専門 | ビジネス・クリエーション!: アイデアや技術から新しい製品・サービスを創る24ステップ            | ダイヤモンド社           | 2,500  |
| 専門 | 企業成長の理論, 第3版                                           | ダイヤモンド社           | 4,500  |
| 専門 | 現役経営者が教えるベンチャーファイナンス実践講義                               | ダイヤモンド社           | 2,400  |
| 専門 | ビジネス学びのことはじめ: ステップアップ・ワークブック                           | ナカニシヤ出版           | 1,900  |
| 専門 | ベンチャー起業家社会の実現: 起業家教育とエコシステムの構築                         | ナカニシヤ出版           | 2,000  |
| 専門 | ベンチャー白書: ベンチャービジネスに関する年次報告: 2017                       | ベンチャーエンタープライズセンター | 5,000  |
| 専門 | よくわかる企業論, 第2版 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)                   | ミネルヴァ書房           | 2,700  |
| 専門 | 設: 脱じり貧の経営                                             | ミネルヴァ書房           | 2,400  |
| 専門 | アップルとシリコンバレーで学んだ賢者の起業術                                 | 海と月社              | 2,800  |
| 専門 | イノベーション・エコシステムと新成長戦略                                   | 丸善出版              | 3,400  |
| 専門 | ビジネスモデル症候群: なぜ、スタートアップの失敗は繰り返されるのか?                    | 技術評論社             | 1,680  |
| 専門 | 企業 契約 金融構造                                             | 慶應義塾大学出版会         | 3,200  |
| 専門 | 起業と経済成長: Global Entrepreneurship Monitor調査報告           | 慶應義塾大学出版会         | 4,500  |
| 専門 | ベンチャー企業: 起業の認識と成長のプロセス (大阪経済大学研究叢書 第73冊)               | 晃洋書房              | 2,800  |
| 専門 | 起業論再考: 調査事例からの示唆 (大阪経済大学研究叢書 第82冊)                     | 晃洋書房              | 3,800  |
| 専門 | 現代企業にみる日本経済: 大激変の時代                                    | 産業能率大学出版部         | 2,000  |
| 専門 | 事業構想力の研究: イノベーションへの処方箋                                 | 事業構想大学院大学出版部      | 1,600  |
| 専門 | ミライを変えるモノづくりベンチャーのはじめ方: テクノロジーで世界を刷新する!                | 実務教育出版            | 1,600  |
| 専門 | 起業のツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                | 秀和システム            | 1,600  |

|    |                                                                   |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | ドラッカー日本への言葉: なぜ「明治の経営者」を賞賛したのか                                    | 祥伝社              | 1,600 |
| 専門 | スタートアップ: アイデアから利益を生み出す組織マネジメント                                    | 新潮社              | 1,700 |
| 専門 | ベンチャービジネス総論: イノベーションによる成長経営戦略                                     | 税務経理協会           | 3,000 |
| 専門 | ベンチャー企業経営論, 改訂版                                                   | 税務経理協会           | 2,700 |
| 専門 | 会社のつくり方: 経営学の理論に基づく起業                                             | 創成社              | 1,600 |
| 専門 | 経営学の理論に基づく会社のつくり方                                                 | 創成社              | 1,600 |
| 専門 | 現代企業要論 (経営学要論シリーズ 5)                                              | 創成社              | 2,700 |
| 専門 | コーポレートアクセラレーター: オープンイノベーションの最強手法                                  | 中央経済社            | 2,000 |
| 専門 | コーポレートベンチャーキャピタルの実務                                               | 中央経済社            | 2,200 |
| 専門 | 何がベンチャーを急成長させるのか: 経営チームのダイナミズム                                    | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | 企業論テキスト: Essentials of Contemporary Business                      | 中央経済社            | 2,700 |
| 専門 | 技術系ベンチャー企業の経営・知財戦略: アントレプレナーの心得                                   | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 成功する起業家はこう考える: マインド、マーケティング、モチベーションの原則                            | 中央経済社            | 1,800 |
| 専門 | 日本型ハイブリッド経営: 21世紀経営者の役割                                           | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | テクノロジー・スタートアップが未来を創る: テック起業家をめざせ                                  | 東京大学出版会          | 1,600 |
| 専門 | ビジネスのためのデザイン思考: Innovate by Design-based Management               | 東洋経済新報社          | 2,000 |
| 専門 | ベンチャー経営論 (はじめての経営学)                                               | 東洋経済新報社          | 2,000 |
| 専門 | 起業の教科書: 次世代リーダーに求められる資質とスキル                                       | 東洋経済新報社          | 2,600 |
| 専門 | スタンダード企業論: 企業のガバナンス・成長・ネットワーク化・国際化, 改訂版                           | 同文館出版            | 2,800 |
| 専門 | テキスト現代企業論, 第4版                                                    | 同文館出版            | 3,500 |
| 専門 | シリコンバレー流起業入門: 投資を引き出すためのビジネスプラン作成ガイド, 新版                          | 同友館              | 2,000 |
| 専門 | 起業GAME: VCの気持ちを動かす起業家の条件                                          | 道出版              | 1,700 |
| 専門 | ハーバードが教える10年後に生き残る会社、消える会社                                        | 徳間書店             | 1,700 |
| 専門 | Hey Siri世界を変える仕事をするにはどうすればいいの?: 新規事業を立ち上げ、育て、そしてトップになるための手引き      | 日刊工業新聞社          | 2,600 |
| 専門 | 20 under 20: 答えがない難問に挑むシリコンバレーの人々                                 | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | STARTUP STUDIO: 連続してイノベーションを生む「ハリウッド型」プロ集団                        | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | リーン・スタートアップ: ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す                             | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | 起業の科学: スタートアップサイエンス                                               | 日経BP社            | 2,300 |
| 専門 | 起業家とつくった起業の教科書: イノベーションで社会を変えたい人のための                              | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 図解リーン・スタートアップ成長戦略                                                 | 日経BP社            | 2,200 |
| 専門 | 模倣の経営学: 偉大なる会社はマナから生まれる                                           | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | 模倣の経営学: 実践プログラム版                                                  | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | ケースで学ぶ実戦・起業塾: Case Studies: Starting and Running Your Own Venture | 日本経済新聞出版社        | 3,000 |
| 専門 | ベンチャーマネジメント〈事業創造〉入門 (マネジメント・テキスト)                                 | 日本経済新聞出版社        | 3,000 |
| 専門 | 起業で本当に成功するために大切なこと                                                | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | 起業のWeb技術: スタートアップのための                                             | 日本実業出版社          | 2,000 |
| 専門 | プリンストン大学の起業の教科書: 元気に育ち、長く続く会社のつくり方                                | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,000 |
| 専門 | コーポレートデザインの再設計                                                    | 白桃書房             | 4,000 |
| 専門 | 企業および企業人: 21世紀初頭の日本と企業人のあり方, 7訂版                                  | 白桃書房             | 4,500 |
| 専門 | 戦略本社のマネジメント: 多角化戦略と組織構造の再検討                                       | 白桃書房             | 3,600 |
| 専門 | 企業行動論, 第3版                                                        | 八千代出版            | 2,800 |
| 専門 | ベンチャーコミュニティを巡って: 起業家と投資家の世界                                       | 武蔵野デジタル出版        | 2,000 |
| 専門 | 企業統治と経営行動                                                         | 文真堂              | 2,500 |
| 専門 | 自分で企業をつくり、育てるための経営学入門: 起業戦略を考える (新しい経営学 2)                        | 文真堂              | 1,850 |
| 専門 | 起業家育成論: 育成のための理論とモデル                                              | 唯学書房             | 2,800 |
| 専門 | 企業論, 第4版 (有斐閣アルマ Specialized)                                     | 有斐閣              | 2,100 |
| 専門 | 経営の再生: 戦略の時代・組織の時代, 第4版                                           | 有斐閣              | 2,800 |
| 専門 | アントレプレナーの教科書: シリコンバレー式イノベーション・プロセス, 新装版                           | 翔泳社              | 2,400 |
| 専門 | スタートアップ・マニュアル: ベンチャー創業から大企業の新事業立ち上げまで                             | 翔泳社              | 3,200 |
| 専門 | リーン・アントレプレナー: ビジナリーに学ぶ事業開発、イノベーション、市場破壊                           | 翔泳社              | 2,480 |
| 専門 | 日中対照基本経営用語辞典                                                      | 学文社              | 2,500 |
| 専門 | 未来をつくる起業家: 日本発スタートアップの失敗と成功20ストーリー, 新装版                           | クロスメディア・パブリッシング  | 1,680 |
| 専門 | ハーバード・ビジネス・レビューBEST10論文: 世界の経営者が愛読する (Harvard Business Review)    | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 経営の針路: 世界の転換期で日本企業はどこを目指すか                                        | ダイヤモンド社          | 1,600 |
| 専門 | 人と企業はどこで間違えるのか?: 成功と失敗の本質を探る「10の物語」                               | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 善き経営: GBIの理論と実践 (経営学を考えるシリーズ 1)                                   | 丸善雄松堂            | 2,600 |
| 専門 | リーマン・ショック後の企業経営と経営学 (経営学論集 第82集)                                  | 千倉書房             | 2,800 |
| 専門 | 社会と企業: いま企業に何が問われているか (経営学論集 第80集)                                | 千倉書房             | 3,000 |
| 専門 | 新たな経営原理の探求 (経営学論集 第81集)                                           | 千倉書房             | 3,000 |

|    |                                                                                                  |            |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | 企業の不条理:「合理的失敗」はなぜ起こるのか                                                                           | 中央経済社      | 2,800 |
| 専門 | 野中郁次郎ナレッジ・フォーラム講義録                                                                               | 東洋経済新報社    | 2,800 |
| 専門 | 企業のサステナビリティ戦略とビジネス・クオリティ: Corporate Sustainability Strategy and Business Quality (明治大学社会科学研究所叢書) | 同文館出版      | 4,300 |
| 専門 | 経営の作法 (次世代リーダー育成塾)                                                                               | 日本経済新聞出版社  | 1,900 |
| 専門 | 経営の流儀: 次世代リーダー育成塾                                                                                | 日本経済新聞出版社  | 1,900 |
| 専門 | 全員経営: 自律分散イノベーション企業成功の本質                                                                         | 日本経済新聞出版社  | 1,800 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第1巻 技術開発に賭ける                                                 | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第2巻 私心なき経営哲学                                                 | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第3巻 成長発展の経営戦略                                                | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第4巻 繁栄する企業の経営手法                                              | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第5巻 リーダーのあるべき姿                                               | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | 稲盛和夫経営講演選集: KAZUO INAMORI LECTURES: 第6巻 企業経営の要諦                                                  | ダイヤモンド社    | 3,980 |
| 専門 | コーポレーションの進化多様性: 集合認知・ガバナンス・制度 (叢書「制度を考える」)                                                       | NTT出版      | 3,400 |
| 専門 | 企業のコミュニケーション能力: 仕事は単語・キャリアは言語・CSRとCSVは文法                                                         | ナカニシヤ出版    | 2,200 |
| 専門 | 企業人の社会貢献意識はどう変わったのか: 社会的責任の自覚と実践                                                                 | ミネルヴァ書房    | 7,000 |
| 専門 | 社会貢献によるビジネス・イノベーション: 「CSR」を超えて                                                                   | 丸善出版       | 3,200 |
| 専門 | ワークブック文化経営論                                                                                      | 地人舎学術出版部   | 2,100 |
| 専門 | 責任ある競争力: CSRを問い直す                                                                                | NTT出版      | 2,200 |
| 専門 | 会社は社会を変えられる: 社会問題と事業を「統合」するCSR戦略                                                                 | プレジデント社    | 1,600 |
| 専門 | 現代企業と持続可能なマネジメント: 環境経営とCSRの統合理論の構築 (MINERVA現代経営学叢書 42)                                           | ミネルヴァ書房    | 5,500 |
| 専門 | 覇者・鴻海の経営と戦略 (Minerva Library「経営学」1)                                                              | ミネルヴァ書房    | 6,500 |
| 専門 | 未来に選ばれる会社: CSRから始まるソーシャル・ブランディング                                                                 | 学芸出版社      | 1,800 |
| 専門 | 企業の社会的責任: 地域・労働者との共生をめざして (シリーズ●民主的改革のための経済学 2)                                                  | 学習の友社      | 2,000 |
| 専門 | 企業社会関係資本と市場評価: 不祥事企業分析アプローチ                                                                      | 学文社        | 3,000 |
| 専門 | マーケティング倫理が企業を救う!                                                                                 | 生産性出版      | 2,200 |
| 専門 | 日本企業のCSR経営                                                                                       | 千倉書房       | 2,800 |
| 専門 | 現代CSR経営要論 (経営学要論シリーズ 3)                                                                          | 創成社        | 3,000 |
| 専門 | 社会的責任の経営: 会計論: CSRの矛盾構造とソシオマネジメントの可能性                                                            | 創成社        | 3,000 |
| 専門 | 震災と企業の社会性・CSR: 東日本大震災における企業活動とCSR                                                                | 創成社        | 2,400 |
| 専門 | CSRの基礎: 企業と社会の新しいあり方                                                                             | 中央経済社      | 3,000 |
| 専門 | 現代企業の社会性: 理論と実態 (中央大学企業研究所研究叢書 31)                                                               | 中央大学出版部    | 4,100 |
| 専門 | CSR経営戦略: 「社会的責任」で競争力を高める. 新版                                                                     | 東洋経済新報社    | 2,800 |
| 専門 | グリーン・オーシャン戦略: 「恩」を次の世代につなぐ経営実学                                                                   | 東洋経済新報社    | 1,600 |
| 専門 | サステナビリティと中小企業                                                                                    | 同友館        | 2,600 |
| 専門 | ISO 26000を読む: 人権・労働・環境…。社会的責任の国際規格: ISO/SRとは何か                                                   | 日科技連出版社    | 2,500 |
| 専門 | ISO 26000: 2010社会的責任に関する手引: 日本語訳                                                                 | 日本規格協会     | 4,500 |
| 専門 | ISO26000で経営はこう変わる: CSRが拓く成長戦略                                                                    | 日本経済新聞出版社  | 2,200 |
| 専門 | CSR新時代の競争戦略: ISO26000活用術                                                                         | 日本評論社      | 2,400 |
| 専門 | CSRのマネジメント: イシューマイオピアに陥る企業                                                                       | 白桃書房       | 2,600 |
| 専門 | 人にやさしい会社: 安全・安心・絆の経営                                                                             | 白桃書房       | 2,381 |
| 専門 | 企業とNPOのパートナーシップ・ダイナミクス                                                                           | 文眞堂        | 3,200 |
| 専門 | 経営哲学からの責任の研究                                                                                     | 文眞堂        | 4,000 |
| 専門 | 東アジアのCSR: 国連グローバル・コンパクトの新たなチャレンジ                                                                 | 法政大学現代法研究所 | 2,000 |
| 専門 | なぜ企業に倫理を問えるのか: 企業道徳の主体論争を読み解く (奈良学園大学社会科学学会研究叢書 2)                                               | 萌書房        | 3,000 |
| 専門 | NGO・NPOと「企業協働力」: CSR経営論の本質                                                                       | 明石書店       | 2,800 |
| 専門 | 企業倫理と社会の持続可能性                                                                                    | 麗澤大学出版会    | 2,600 |
| 専門 | ハイエク主義の「企業の社会的責任」論: A Hayekian Theory of 'CSR'                                                   | 勁草書房       | 3,000 |
| 専門 | グローバル化のなかの企業文化: 国際比較調査から (中央大学社会科学研究所研究叢書 25)                                                    | 中央大学出版部    | 4,600 |
| 専門 | レジリエント・カンパニー: なぜあの企業は時代を超えて勝ち残ったのか                                                               | 東洋経済新報社    | 1,600 |
| 専門 | 世界のビジネス・アーカイブズ: 企業価値の源泉                                                                          | 日外アソシエーツ   | 3,600 |
| 専門 | 事業創造のロジック: ダントツのビジネスを発想する                                                                        | 日経BP社      | 1,700 |
| 専門 | これからの経営は「南」から学べ: 新興国の爆発的成長が生んだ新常識                                                                | 日本経済新聞出版社  | 1,800 |
| 専門 | 大転換: 危機に立ち向かう企業                                                                                  | 日本経済新聞出版社  | 1,600 |
| 専門 | 図表でみる起業活動: OECDインディケータ: 2012年版                                                                   | 明石書店       | 3,000 |
| 専門 | ケース・スタディ日本企業事例集: 世界のビジネス・スクールで採用されている                                                            | ダイヤモンド社    | 3,800 |
| 専門 | レジリエント・マネジメント: Resilient Management                                                              | ナカニシヤ出版    | 2,500 |
| 専門 | 変貌する日本型経営: グローバル市場主義の進展と日本企業                                                                     | 中央経済社      | 3,600 |
| 専門 | グローバル化の中の日本型経営: ポスト市場主義の挑戦                                                                       | 同文館出版      | 2,300 |
| 専門 | 企業文化力と経営新時代                                                                                      | 同友館        | 2,200 |

|    |                                                                    |                 |       |
|----|--------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | 日本のビジネスシステム: その原理と革新                                               | 有斐閣             | 2,600 |
| 専門 | 新規開業企業の軌跡: パネルデータにみる業績・資源・意識の変化                                    | 勁草書房            | 3,500 |
| 専門 | アジア最強の経営を考える: 世界を席巻する日中韓企業の戦い方                                     | ダイヤモンド社         | 1,800 |
| 専門 | アジア経営論: ダイナミックな市場環境と企業戦略                                           | ミネルヴァ書房         | 2,800 |
| 専門 | 転換期を迎える東アジアの企業経営: 組織イノベーションと戦略転換 (大阪商業大学比較地域研究所研究叢書 第11巻)          | 御茶の水書房          | 3,600 |
| 専門 | 台湾の企業戦略: 経済発展の担い手と多国籍企業化への道                                        | 勁草書房            | 3,400 |
| 専門 | アジアフロンティア地域の制度と国際経営: CLMVT (カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム・タイ)と中国の制度と経営環境    | 文眞堂             | 3,500 |
| 専門 | 企業経営行動と文化: マレーシアにおけるエスニック集団の企業経営行動: 比較分析                           | 文眞堂             | 3,500 |
| 専門 | インド・ウエイ飛躍の経営                                                       | 英治出版            | 2,200 |
| 専門 | アメリカの経営・日本の経営: グローバル・スタンダードの行方 (現代社会を読む経営学 13)                     | ミネルヴァ書房         | 2,800 |
| 専門 | グローバル企業の経営倫理・CSR                                                   | 白桃書房            | 3,000 |
| 専門 | 人と組織の問題を劇的に解決するU理論入門                                               | PHPエディタズ・グループ   | 1,800 |
| 専門 | リーンエンタープライズ: イノベーションを実現する創発的な組織づくり (THE LEAN SERIES)               | オライリー・ジャパン      | 3,400 |
| 専門 | 10日で学ぶMBA: 米国MBAトップ10校の教育内容の真髄. 新版                                 | ソフトバンククリエイティブ   | 2,600 |
| 専門 | グロービスMBAクリティカル・シンキング. 改訂3版                                         | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | グロービスMBAマネジメント・ブック: 2                                              | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | シリコンバレー式最高のイノベーション                                                 | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | ドラッカーの実践マネジメント教室: 経営のリアルな問題をいかにして解決へ導くか                            | ダイヤモンド社         | 1,800 |
| 専門 | 経営の真髄: 知識社会のマネジメント: 上                                              | ダイヤモンド社         | 2,400 |
| 専門 | 経営の真髄: 知識社会のマネジメント: 下                                              | ダイヤモンド社         | 2,400 |
| 専門 | 経営は何をすべきか: 生き残るための5つの課題                                            | ダイヤモンド社         | 2,200 |
| 専門 | 決断の条件: マネジメント力を鍛える実践ケース50                                          | ダイヤモンド社         | 1,800 |
| 専門 | 貢献力の経営 (マネジメント): 押し寄せる課題に皆で立ち向かう仕組み                                | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | 超MBA進化論                                                            | ファーストプレス        | 1,800 |
| 専門 | ビジネススクールで学ぶ101のアイデア                                                | フィルムアート社        | 1,800 |
| 専門 | 未来企業: レジリエンスの経営とリーダーシップ                                            | プレジデント社         | 2,000 |
| 専門 | ドラッカー教養としてのマネジメント                                                  | マクロウヒル・エデュケーション | 3,800 |
| 専門 | 「なんとなく経営」から脱皮せよ!: 自己変革生命体へのロードマップ                                  | マネジメント社         | 1,600 |
| 専門 | マズロー理論研究序説: 「自己実現」概念とその経営学的意義 (神奈川大学経済貿易研究所研究叢書 第27号)              | まほろば書房          | 7,500 |
| 専門 | よくわかる経営管理 (やわらかアカデミズム・わかる)シリーズ                                     | ミネルヴァ書房         | 2,800 |
| 専門 | U理論: 過去と偏見にとらわれず、本当に必要な「変化」を生み出す技術. 第2版                            | 英治出版            | 3,500 |
| 専門 | ゼロのちから: 成功する非営利組織に学ぶビジネスの知恵11                                      | 英治出版            | 1,800 |
| 専門 | 出現する未来から導く: U理論で自己と組織、社会のシステムを変革する                                 | 英治出版            | 2,400 |
| 専門 | 解説経営管理学                                                            | 学文社             | 2,800 |
| 専門 | 現代の経営管理論. 第2版 (リーディングスリニューアル経営学)                                   | 学文社             | 2,800 |
| 専門 | 組織の機能と戦略: 現代のマネジメント                                                | 学文社             | 2,800 |
| 専門 | 日産モノづくりの知識創造経営: 知識創造を促進する行為とリーダーシップ                                | 晃洋書房            | 3,000 |
| 専門 | 「評判」はマネジメントせよ: 企業の浮沈を左右するレピュテーション戦略                                | 阪急コミュニケーションズ    | 2,000 |
| 専門 | ザ・ホスピタリティ: 「おもてなし」「思いやり」から経営へ                                      | 産業能率大学出版部       | 2,000 |
| 専門 | ビジネスモデル革命: グローバルな「ものがたり」への挑戦. 第3版                                  | 生産性出版           | 2,400 |
| 専門 | マネジメントの基礎: モノづくり企業のリバイバル手法                                         | 創成社             | 3,000 |
| 専門 | 価値創造の経営管理論. 改訂5版                                                   | 創成社             | 2,800 |
| 専門 | 企業経営の情報論: 知識経営への展開                                                 | 創成社             | 2,400 |
| 専門 | 新経営管理論                                                             | 創成社             | 2,600 |
| 専門 | 人と組織のマネジメント. 改訂版                                                   | 創成社             | 2,300 |
| 専門 | 企業経営入門. 第2版 (経済経営セメスターシリーズ)                                        | 多賀出版            | 2,200 |
| 専門 | イノベーションで開く持続可能社会                                                   | 中央経済社           | 3,000 |
| 専門 | マネジメントの航海図: 個人と組織の複眼的な経営管理                                         | 中央経済社           | 2,700 |
| 専門 | モノボリーで学ぶビジネスの基礎                                                    | 中央経済社           | 2,600 |
| 専門 | 映画に学ぶ経営管理論: Business management theory: Learn from the movies. 第2版 | 中央経済社           | 2,800 |
| 専門 | 経営管理論 (ベーシック+)                                                     | 中央経済社           | 2,400 |
| 専門 | 経営品質科学の研究: 企業活動のクオリティを科学する                                         | 中央経済社           | 4,000 |
| 専門 | なぜ障がい者を雇う中小企業は業績を上げ続けるのか?: 経営戦略としての障がい者雇用とCSR                      | 中央法規出版          | 1,800 |
| 専門 | フェイスブック時代のオープン企業戦略                                                 | 朝日新聞出版          | 2,400 |
| 専門 | BCG経営コンセプト: 市場創造編                                                  | 東洋経済新報社         | 2,000 |
| 専門 | BCG経営コンセプト: 構造改革編                                                  | 東洋経済新報社         | 2,000 |
| 専門 | MBB: 「思い」のマネジメント: 知識創造経営の実践フレームワーク                                 | 東洋経済新報社         | 1,800 |
| 専門 | アリストテレスの言葉: 経営の天啓                                                  | 東洋経済新報社         | 1,700 |
| 専門 | コラーの「予測不能時代」のマネジメント                                                | 東洋経済新報社         | 2,400 |

|    |                                                                |                 |       |
|----|----------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | もっと使いこなす「システム思考」教本                                             | 東洋経済新報社         | 1,600 |
| 専門 | 現場論:「非凡な現場」をつくる論理と実践                                           | 東洋経済新報社         | 1,800 |
| 専門 | 場のマネジメント実践技術: 職場の「壁」を壊し、組織統合の「壁」を乗り越える                         | 東洋経済新報社         | 2,200 |
| 専門 | MBAのための基本問題集: 戦略、マーケティング、組織行動、会計・財務、ビジネス経済・統計、改訂版              | 同文館出版           | 2,700 |
| 専門 | 経営管理要論                                                         | 同文館出版           | 3,200 |
| 専門 | MBAに乾杯!! MBAで未来を切り開く。経営者・起業家・自己啓発を目指す方への参考書                    | 同友館             | 1,800 |
| 専門 | 京セラ稲盛和夫心の経営システム: 全従業員の物心両面の幸福と競争力を両立させる経営のしくみ (B&Tブックス)        | 日刊工業新聞社         | 2,000 |
| 専門 | HIGH OUTPUT MANAGEMENT: 人を育て、成果を最大にするマネジメント                    | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | あなたの会社が理不尽理由: 経営学者の読み方                                         | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | スタートアップ・ウェイ: 予測不可能な世界で成長し続けるマネジメント                             | 日経BP社           | 2,000 |
| 専門 | ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門: WBS MBA ESSENTIALS                       | 日経BP社           | 1,800 |
| 専門 | 全員で稼ぐ組織: JALを再生させた「アメーバ経営」の教科書                                 | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | 統計的思考による経営: Management by Statistical Approach                 | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | 〈超トヨタ式〉「絶対不可能」を可能にする経営: 逆転のチェンジメソッド                            | 日本経済新聞出版社       | 1,600 |
| 専門 | V字回復の経営: 2年で会社を変えられますか、増補改訂版                                   | 日本経済新聞出版社       | 1,800 |
| 専門 | どうやって社員が会社を変えたのか: 企業変革ドキュメンタリー                                 | 日本経済新聞出版社       | 1,700 |
| 専門 | なぜ、わかっていても実行できないのか: 知識を行動に変えるマネジメント                            | 日本経済新聞出版社       | 1,800 |
| 専門 | 経営の失敗学: ビジネスの成功確率を上げる                                          | 日本経済新聞出版社       | 1,800 |
| 専門 | 道具としての経営理論: ユニクロ、アップル、P&G、楽天、アサヒビール、グーグル…成功企業の事例に学ぶ「理論の使いこなし方」 | 日本実業出版社         | 1,600 |
| 専門 | 経営システム学への招待: 日本経営システム学会創立30周年記念                                | 日本評論社           | 2,800 |
| 専門 | マッチング・ビジネスが変える企業戦略: 情報化社会がもたらす企業境界の変化                          | 白桃書房            | 3,000 |
| 専門 | ストーリーで学ぶマネジメント: 経営管理「超」入門                                      | 文真堂             | 2,200 |
| 専門 | マネジメント: MANAGEMENT                                             | 文真堂             | 2,700 |
| 専門 | ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略: 組織からコミュニティのデザインへ                       | 有斐閣             | 2,600 |
| 専門 | ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス: 共感のマネジメント                              | 有斐閣             | 2,600 |
| 専門 | マネジメント・コントロール: 8つのケースから考える人と企業経営の方向性                           | 有斐閣             | 2,200 |
| 専門 | アメーバ経営の進化: 理論と実践                                               | 中央経済社           | 2,800 |
| 専門 | 社長、そのデザインでは売れません!                                              | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | マネジメント基本全集: 3 市場創造、改訂版                                         | 学文社             | 2,400 |
| 専門 | 比較ケースから学ぶ戦略経営                                                  | KADOKAWA        | 2,200 |
| 専門 | A3一枚でつくる事業計画の教科書                                               | あさ出版            | 1,800 |
| 専門 | しかけ人たちの企画術                                                     | インプレスジャパン       | 1,680 |
| 専門 | コネクト: 企業と顧客が相互接続された未来の働き方                                      | オイライリー・ジャパン     | 2,200 |
| 専門 | ビジネスプラン・シナリオ作成術: 事業企画・商品企画が成功する10ステップ                          | かんき出版           | 1,800 |
| 専門 | 金融機関からお金を引っ張る事業計画書のつくり方: 小さな会社も個人事業も使える                        | かんき出版           | 1,600 |
| 専門 | 成功と失敗の事例に学ぶ戦略ケースの教科書                                           | かんき出版           | 2,400 |
| 専門 | スタンフォード・マギンゼーで学んできた熟断思考: Deliberate and Resolute Decisions     | クロスメディア・パブリッシング | 1,580 |
| 専門 | 合理性を超えた先にイノベーションは生まれる: あえて常識の枠を外す意思決定                          | クロスメディア・パブリッシング | 1,580 |
| 専門 | 戦略経営論: 競争力とグローバルゼーション、改訂新版                                     | センテージラーニング      | 3,700 |
| 専門 | 起業で使える事業計画書のつくり方: 知識ゼロでも大丈夫!                                   | ソシム             | 1,600 |
| 専門 | C.クリステンセン経営論                                                   | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | イノベーション5つの原則: 世界最高峰の研究機関SRIが生み出した実践理論                          | ダイヤモンド社         | 2,400 |
| 専門 | グロービスMBAビジネスプラン、新版                                             | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | グロービスMBA経営戦略、新版                                                | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | グロービスMBA事業開発マネジメント                                             | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | グロービスMBA事業戦略                                                   | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | ダイナミック・ケイバリティ戦略: イノベーションを創発し、成長を加速させる力                         | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | なぜ良い戦略が利益に結びつかないのか: 高収益企業になるための5つの実践法                          | ダイヤモンド社         | 2,000 |
| 専門 | ビジネス意思決定: 理論とケースで決断力を鍛える                                       | ダイヤモンド社         | 2,400 |
| 専門 | ブルー・オーシャン・シフト                                                  | ダイヤモンド社         | 2,100 |
| 専門 | ブルー・オーシャン戦略: 競争のない世界を創造する、新版 (Harvard Business Review Press)   | ダイヤモンド社         | 2,000 |
| 専門 | ブルー・オーシャン戦略論文集 (Harvard Business Review Press)                 | ダイヤモンド社         | 2,000 |
| 専門 | 競争戦略の謎を解く: コロンビア大学ビジネス・スクール特別講義                                | ダイヤモンド社         | 2,800 |
| 専門 | 事業計画書は1枚にまとめないさ! 公庫の元融資課長が教える開業資金らくらく攻略法                       | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | 失敗は「そこ」からはじまる                                                  | ダイヤモンド社         | 1,800 |
| 専門 | 戦略の経営学: 日本を取り巻く環境変化への解                                         | ダイヤモンド社         | 4,200 |
| 専門 | 戦略プロフェッショナル: 競争逆転のドラマ、増補改訂版                                    | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | プロ直伝!成功する事業計画書のつくり方: マンガでわかるビジネスの教科書                           | ナツメ社            | 1,800 |
| 専門 | スタート・イノベーション!: ビジネスイノベーションをはじめるための実践ビジュアルガイド&思考ツールキット          | ビー・エヌ・エス新社      | 2,600 |

|    |                                                                  |                 |       |
|----|------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | 「なるほど、その手があったか!」が量産できる“ひらめき”の作法                                  | ファーストプレス        | 1,800 |
| 専門 | トレードオフ: 上質をとるか、手軽をとるか                                            | プレジデント社         | 1,714 |
| 専門 | サステナビリティ経営戦略: 利益・環境・社会をつなぐ未来型マネジメント                              | マグロウヒル・エデュケーション | 3,400 |
| 専門 | ゼロからの経営戦略 (シリーズ・ケースで読み解く経営学 1)                                   | ミネルヴァ書房         | 2,000 |
| 専門 | 古今の名将に学ぶ経営戦略: グローバル・ビジネス戦争を勝ち抜くための七つの処方箋                         | ミネルヴァ書房         | 2,600 |
| 専門 | 101デザインメソッド: 革新的な製品・サービスを生む「アイデアの道具箱」                            | 英治出版            | 2,500 |
| 専門 | シナリオ・プランニング: 未来を描き、創造する                                          | 英治出版            | 2,400 |
| 専門 | デザインコンサルタントの仕事術                                                  | 英治出版            | 1,600 |
| 専門 | ビッグ・ピボット: なぜ巨大グローバル企業が(大転換)するのか                                  | 英治出版            | 2,100 |
| 専門 | 発想を事業化するイノベーション・ツールキット: 機会の特定から実現性の証明まで                          | 英治出版            | 2,800 |
| 専門 | パーフェクト・タイミング: 最高の意思決定をもたらす戦略的時間術                                 | 河出書房新社          | 1,800 |
| 専門 | 新経営戦略論 (21世紀経営学シリーズ 3)                                           | 学文社             | 2,800 |
| 専門 | 競争戦略と経営システムの構築                                                   | 関西大学出版部         | 3,500 |
| 専門 | マネして完成!事業計画書: 10業種36の事例で事業計画のまとめ方がよくわかる (Biz得)                   | 技術評論社           | 1,980 |
| 専門 | 事業の意思決定: 基礎理論からリアルオプションの実践まで                                     | 技報堂出版           | 2,800 |
| 専門 | ナポレオンの直観: 「戦略」の秘密を解き明かす10の物語                                     | 慶應義塾大学出版会       | 2,700 |
| 専門 | 躍進の切り札「Means End分析法」: あなたの会社を危機から救い、発展へと導く!                      | 経営書出版           | 6,477 |
| 専門 | 情報を捨てるセンス選ぶ技術                                                    | 談話社             | 1,800 |
| 専門 | ありえない決断: フォーチュン誌が選んだ史上最高の経営判断                                    | 阪急コミュニケーションズ    | 1,700 |
| 専門 | 現場観察に基づくイノベーション・アイデア創発入門                                         | 三恵社             | 1,900 |
| 専門 | 戦略指向エンジニアリング                                                     | 三恵社             | 2,000 |
| 専門 | ケースで学ぶ経営戦略の実践                                                    | 産業能率大学出版部       | 2,000 |
| 専門 | 経営戦略のフレームワークがわかる: 現場ですぐに使える50のフレームワーク                            | 産業能率大学出版部       | 2,000 |
| 専門 | 経営戦略概論: 戦略理論の潮流と体系                                               | 産業能率大学出版部       | 2,400 |
| 専門 | 成功確率を高める意思決定                                                     | 産業能率大学出版部       | 2,000 |
| 専門 | 最新事業計画書の読み方と書き方がよくわかる本: 社内新規事業からベンチャーまで、第3版 (図解入門ビジネス・How・nual-) | 秀和システム          | 1,800 |
| 専門 | コア・テキスト事業戦略 (ライブラリ経営学コア・テキスト 8)                                  | 新世社             | 2,600 |
| 専門 | マンガでわかる事業計画書のつくり方: カラー版                                          | 西東社             | 1,700 |
| 専門 | 企業経営戦略論の基盤解明                                                     | 税務経理協会          | 3,200 |
| 専門 | 経営戦略の方程式: Corporate Management Strategy                          | 税務経理協会          | 2,900 |
| 専門 | 1からの戦略論、第2版                                                      | 碩学舎             | 2,400 |
| 専門 | 事業の定義: 新訳 (碩学叢書)                                                 | 碩学舎             | 3,400 |
| 専門 | 逆境を「アイデア」に変える企画術: 崖っぷちからV字回復するための40の公式                           | 宣伝会議            | 1,800 |
| 専門 | ビジネスデザインと経営学                                                     | 創成社             | 3,000 |
| 専門 | 経営戦略: 環境適応から環境創造へ                                                | 創成社             | 2,000 |
| 専門 | 現代経営戦略要論 (経営学要論シリーズ 4)                                           | 創成社             | 2,600 |
| 専門 | マイケル・ポーターの競争戦略: エッセンシャル版                                         | 早川書房            | 2,000 |
| 専門 | 決定力! 正解を導く4つのプロセス                                                | 早川書房            | 1,900 |
| 専門 | 事業計画書のつくり方: 経営目標を必ず突破できる!                                        | 総合法令出版          | 1,600 |
| 専門 | 「戦略」大全                                                           | 大和書房            | 1,800 |
| 専門 | アントレプレナーの戦略論: 事業コンセプトの創造と展開                                      | 中央経済社           | 2,600 |
| 専門 | グローバル経営の意思決定スピード: 世界で勝ち残る経営管理の条件とアプローチ                           | 中央経済社           | 2,800 |
| 専門 | シチュエーション・ストラテジー: 環境に応じて戦略を使い分ける                                  | 中央経済社           | 3,000 |
| 専門 | ビジネスモデル・イノベーション: 未来志向の経営革新戦略                                     | 中央経済社           | 3,000 |
| 専門 | ビジネスモデルのグランドデザイン: 顧客価値と利益の共創                                     | 中央経済社           | 2,600 |
| 専門 | 経営戦略入門: Introduction to Corporate Strategy                       | 中央経済社           | 2,200 |
| 専門 | 経営理念の機能: 組織ルーティンが成長を持続させる                                        | 中央経済社           | 3,000 |
| 専門 | 使える!経営戦略111                                                      | 中央経済社           | 2,800 |
| 専門 | 資金を引き出す「事業計画書」の作り方                                               | 中央経済社           | 2,400 |
| 専門 | 誰も教えてくれなかった事業計画を実現させる方法                                          | 中央経済社           | 2,300 |
| 専門 | 日産V-upの挑戦: カルロス・ゴーンが生んだ課題解決プログラム                                 | 中央経済社           | 1,800 |
| 専門 | 現代経営戦略の軌跡: グローバル化の進展と戦略的対応 (中央大学経済研究所研究叢書 67)                    | 中央大学出版部         | 4,300 |
| 専門 | 現代経営戦略の展開 (中央大学経済研究所研究叢書 53)                                     | 中央大学出版部         | 3,700 |
| 専門 | 最新プラットフォーム戦略: マッチメイカー                                            | 朝日新聞出版          | 2,300 |
| 専門 | リスクのもとでの意思決定                                                     | 追手門学院大学出版会      | 2,800 |
| 専門 | イノベーション・マネジメント: プロセス・組織の構造化から考える                                 | 東京大学出版会         | 4,800 |
| 専門 | グローバル経営戦略                                                        | 東京大学出版会         | 3,200 |
| 専門 | BCG未来をつくる戦略思考: 勝つための50のアイデア                                      | 東洋経済新報社         | 2,800 |
| 専門 | コ・イノベーション経営: 価値共創の未来に向けて                                         | 東洋経済新報社         | 2,400 |

|    |                                                                       |                     |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------|---------------------|-------|
| 専門 | コピーキャット: 模倣者こそがイノベーションを起こす                                            | 東洋経済新報社             | 1,800 |
| 専門 | ストーリーとしての競争戦略: 優れた戦略の条件 (Hitotsubashi Business Review Books)          | 東洋経済新報社             | 2,800 |
| 専門 | ビジネスモデル・イノベーション: 知を価値に転換する賢慮の戦略論                                      | 東洋経済新報社             | 2,800 |
| 専門 | ビジネスモデルの教科書: 経営戦略を見る目と考える力を養う                                         | 東洋経済新報社             | 1,800 |
| 専門 | ビジネスモデルの教科書: The business model handbook: 上級編 競争優位の仕組みを見抜く&構築する       | 東洋経済新報社             | 1,850 |
| 専門 | プラットフォーム戦略: 21世紀の競争を支配する「場をつくる」技術                                     | 東洋経済新報社             | 1,600 |
| 専門 | ブロックバスター戦略: ハーバードで教えているメガヒットの法則                                       | 東洋経済新報社             | 2,200 |
| 専門 | リ・インベンション: 概念のブレークスルーをどう生み出すか                                         | 東洋経済新報社             | 2,000 |
| 専門 | ワイドレンス: イノベーションを成功に導くエコシステム戦略                                         | 東洋経済新報社             | 1,800 |
| 専門 | 一橋MBAケースブック: 戦略転換編                                                    | 東洋経済新報社             | 3,400 |
| 専門 | 外資系コンサルタントの企画力: 「考えるスイッチ」であなたの思い込みを覆す                                 | 東洋経済新報社             | 1,600 |
| 専門 | 競争戦略論: Strategic Management, 第2版 (Hitotsubashi Business Review Books) | 東洋経済新報社             | 2,600 |
| 専門 | 経営戦略原論: The Elements of Strategic Management                          | 東洋経済新報社             | 2,000 |
| 専門 | 一橋MBA戦略ケースブック: STRATEGIC ANALYSIS HITOTSUBASHI MBA PROGRAM KUNITACHI  | 東洋経済新報社             | 2,800 |
| 専門 | 市場戦略の読み解き方: 一橋MBA戦略ケースブック vol.2                                       | 東洋経済新報社             | 2,800 |
| 専門 | 新しい市場のつくりかた: 明日のための「余談の多い」経営学                                         | 東洋経済新報社             | 2,000 |
| 専門 | 世界最高峰の頭脳集団NASAに学ぶ決断技法: 不可能の壁を破る思考の力                                   | 東洋経済新報社             | 1,800 |
| 専門 | 戦略サファリ: 戦略マネジメント・コンプリートガイドブック, 第2版                                    | 東洋経済新報社             | 4,200 |
| 専門 | 戦略マップ: バランス・スコアカードによる戦略策定・実行フレームワーク, 復刻版                              | 東洋経済新報社             | 4,800 |
| 専門 | 戦略暴走: ケース179編から学ぶ経営戦略の落とし穴                                            | 東洋経済新報社             | 3,800 |
| 専門 | 定量分析の教科書: ビジネス数字力養成講座                                                 | 東洋経済新報社             | 2,600 |
| 専門 | 情報ネットワークによる組織の意思決定                                                    | 東洋大学出版会             | 4,000 |
| 専門 | MBAのためのビジネスプランニング, 改訂版                                                | 同文館出版               | 2,300 |
| 専門 | MBAのためのビジネスプランニング手法                                                   | 同文館出版               | 2,500 |
| 専門 | 組織における意思決定の心理: 組織の記述的意思決定論                                            | 同文館出版               | 3,200 |
| 専門 | アイデアソン!: アイデアを実現する最強の方法                                               | 徳間書店                | 1,700 |
| 専門 | 戦略的意思決定法                                                              | 日科技連出版社             | 3,500 |
| 専門 | ジャッジメントコール: 決断をめぐる12の物語                                               | 日経BP社               | 1,800 |
| 専門 | プロデューサーシップ: 創造する組織人の条件                                                | 日経BP社               | 1,900 |
| 専門 | 偶然と必然の方程式: 仕事に役立つデータサイエンス入門                                           | 日経BP社               | 1,900 |
| 専門 | 物語戦略: SYMBOLIC STORY STRATEGY                                         | 日経BP社               | 1,600 |
| 専門 | 事業の発想力: 実践編 (事業構想研究シリーズ 1)                                            | 日本教育研究団事業構想大学院大学出版部 | 1,800 |
| 専門 | アイデア・イノベーション: 創発を生むチーム発想術 (Facilitation skills)                       | 日本経済新聞出版社           | 1,800 |
| 専門 | イノベーションは新興国に学べ!: カネをかけず、シンプルであるほど増大する破壊力                              | 日本経済新聞出版社           | 1,900 |
| 専門 | ケースブック経営戦略の論理: 全面改訂版                                                  | 日本経済新聞出版社           | 1,900 |
| 専門 | ゲーム・チェンジャーの競争戦略: ルール、相手、土俵を変える                                        | 日本経済新聞出版社           | 1,600 |
| 専門 | ザ・ダイヤモンド: 爆発的ヒットを生む需要創出術                                              | 日本経済新聞出版社           | 1,900 |
| 専門 | サーキュラー・エコノミー: デジタル時代の成長戦略                                             | 日本経済新聞出版社           | 2,500 |
| 専門 | ディジジョン・メイキング: 賢慮と納得の意思決定術 (Facilitation skills)                       | 日本経済新聞出版社           | 2,000 |
| 専門 | なぜ戦略の落とし穴にはまるのか                                                       | 日本経済新聞出版社           | 1,700 |
| 専門 | 会議は長いのに、なぜ何も決まらないのか?                                                  | 日本経済新聞出版社           | 1,600 |
| 専門 | 競争しない競争戦略: 消耗戦から脱する3つの選択                                              | 日本経済新聞出版社           | 1,600 |
| 専門 | 競争優位の終焉: 市場の変化に合わせて、戦略を動かし続ける                                         | 日本経済新聞出版社           | 2,000 |
| 専門 | 君臨する企業の「6つの法則」: 戦略のベストプラクティスを求めて                                      | 日本経済新聞出版社           | 3,200 |
| 専門 | 経営戦略とコーポレートファイナンス: Corporate Finance and Strategy                     | 日本経済新聞出版社           | 3,200 |
| 専門 | 経営戦略の論理: ダイナミック適合と不均衡ダイナミズム, 第4版                                      | 日本経済新聞出版社           | 2,000 |
| 専門 | 経営戦略入門 (マネジメント・テキスト)                                                  | 日本経済新聞出版社           | 3,400 |
| 専門 | 決断という技術                                                               | 日本経済新聞出版社           | 1,600 |
| 専門 | 御社の意思決定がダメな理由                                                         | 日本経済新聞出版社           | 1,800 |
| 専門 | 行動する意思決定: 自発力を引き出す目標仮説とヒューマンプロセス思考                                    | 日本経済新聞出版社           | 2,700 |
| 専門 | 自走するビジネスモデル: 勝ち続ける企業の仕組みと工夫                                           | 日本経済新聞出版社           | 2,200 |
| 専門 | 成長戦略とM&Aの未来 (ビジネスの未来 3)                                               | 日本経済新聞出版社           | 2,000 |
| 専門 | 孫子に経営を読む                                                              | 日本経済新聞出版社           | 1,600 |
| 専門 | 良い戦略、悪い戦略                                                             | 日本経済新聞出版社           | 2,000 |
| 専門 | 「事業計画書」のつくり方: 51の質問に答えるだけですぐできる                                       | 日本実業出版社             | 1,600 |
| 専門 | とらわれない発想法: あなたのの中に眠っているアイデアが目覚めます                                     | 日本実業出版社             | 1,600 |
| 専門 | 合理的なのに愚かな戦略                                                           | 日本実業出版社             | 1,700 |
| 専門 | マンガでやさしくわかる起業のための事業計画書                                                | 日本能率協会マネジメントセンター    | 1,800 |
| 専門 | マンガでやさしくわかる事業計画書: ダウンロードサービス付                                         | 日本能率協会マネジメントセンター    | 1,800 |

|    |                                                                                |                 |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | ビジネスゲームセオリー: 経営戦略をゲーム理論で考える                                                    | 日本評論社           | 1,800 |
| 専門 | グローバルビジネス戦略 (東京大学知的資産経営総括寄付講座シリーズ 第2巻)                                         | 白桃書房            | 2,500 |
| 専門 | パズル理論: 意思決定にみるジグソーパズル型と知恵の輪型                                                   | 白桃書房            | 3,000 |
| 専門 | ビジネスモデルイノベーション: Business Model Innovation (東京大学知的資産経営総括寄付講座シリーズ 第1巻)           | 白桃書房            | 2,500 |
| 専門 | プラットフォーム・モデルの競争戦略: 事業創造のマネジメント                                                 | 白桃書房            | 3,000 |
| 専門 | 行動意思決定論: バイアスの罠                                                                | 白桃書房            | 3,800 |
| 専門 | 仕事の決断プロセス: デキル人ほど陥る「6つの落とし穴」                                                   | 白桃書房            | 3,100 |
| 専門 | 新規事業開発のマネジメント: 社外からの著名効果の分析                                                    | 白桃書房            | 3,600 |
| 専門 | ケースで読み解く経営戦略論                                                                  | 八千代出版           | 2,500 |
| 専門 | 経営戦略の新展開 (目白大学経営研究所ライブラリー 3)                                                   | 富山房インターナショナル    | 2,600 |
| 専門 | 桁違いの効果の経営戦略: 新製品・新事業のビジネスモデル創造                                                 | 芙蓉書房出版          | 2,500 |
| 専門 | 消費者志向の経営戦略                                                                     | 芙蓉書房出版          | 1,800 |
| 専門 | イノベーションの創発プロセス研究                                                               | 文真堂             | 2,900 |
| 専門 | 実践としての戦略: 新たなパースペクティブの展開                                                       | 文真堂             | 3,500 |
| 専門 | プランB: 破壊的イノベーションの戦略                                                            | 文藝春秋            | 1,900 |
| 専門 | 7日で作る事業計画書: 1週間で作り上げる短期集中プログラム                                                 | 明日香出版社          | 2,000 |
| 専門 | 企画で勝負をしている人のアイデアのワザ: ヒット率・独創力UP                                                | 明日香出版社          | 1,600 |
| 専門 | ダイナミック競争戦略論・入門: ポーター理論の7つの謎を解いて学ぶ                                              | 有斐閣             | 2,400 |
| 専門 | 経営戦略: 論理性・創造性・社会性の追求, 第3版 (有斐閣アルマ Specialized)                                 | 有斐閣             | 2,000 |
| 専門 | 経営戦略をつかむ (TEXTBOOKS TSUKAMU)                                                   | 有斐閣             | 2,100 |
| 専門 | 経営理念の浸透: アイデンティティ・プロセスからの実証分析                                                  | 有斐閣             | 3,600 |
| 専門 | 事業創成: イノベーション戦略の彼岸                                                             | 有斐閣             | 2,100 |
| 専門 | 永続企業の条件: 環境変化に打ち克つ5原則                                                          | 龍澤大学出版会         | 1,600 |
| 専門 | カフェオレからはじまるイノベーション: オトナがますます育つ「考え方」の絵本                                         | 翔泳社             | 1,680 |
| 専門 | コラーのイノベーション・マーケティング                                                            | 翔泳社             | 2,380 |
| 専門 | ストラテジック・イノベーション: 戦略的イノベーターに捧げる10の提言 (Harvard Business School Press)            | 翔泳社             | 2,000 |
| 専門 | バリュー・プロポジション・デザイン: 顧客が欲しがらる製品やサービスを創る                                          | 翔泳社             | 2,800 |
| 専門 | ビジネスモデル・ジェネレーション: ビジネスモデル設計書                                                   | 翔泳社             | 2,480 |
| 専門 | ビジネスモデル・ナビゲーター                                                                 | 翔泳社             | 2,200 |
| 専門 | プロジェクト・デザイン・パターン: 企画・プロデュース・新規事業に携わる人のための企画のコツ32                               | 翔泳社             | 2,200 |
| 専門 | 自分でババッとできる事業計画書                                                                | 翔泳社             | 1,680 |
| 専門 | 手を動かしながら考える企画提案: アイデアがみるみるカタチになるFreeMind仕事術                                    | 翔泳社             | 2,000 |
| 専門 | 図解ビジネスモデル・ジェネレーションワークショップ: Business Model Generation WORK SHOP                 | 翔泳社             | 1,800 |
| 専門 | 成功するイノベーションは何が違うのか? (Harvard Business Review Press)                            | 翔泳社             | 2,800 |
| 専門 | 論理思考 × PowerPointで企画を作り出す本                                                     | 翔泳社             | 1,600 |
| 専門 | クリエイティビティ・マネジメント: 創造性研究とその系譜                                                   | 白桃書房            | 3,500 |
| 専門 | デザインプリント: プロダクトを成功に導く短期集中実践ガイド                                                 | オライリー・ジャパン      | 3,000 |
| 専門 | 21世紀のビジネスにデザイン思考が必要な理由                                                         | クロスメディア・パブリッシング | 1,580 |
| 専門 | 瞬間フレームワーク: 超速で問題を解決する                                                          | クロスメディア・パブリッシング | 1,580 |
| 専門 | アウトプットの質を高める仮説検証力: HYPOTHESIS TESTING APPROACH                                 | ずばる舎            | 1,600 |
| 専門 | 問題の解決に効く100のビジネスサブリ                                                            | セルバ出版           | 1,600 |
| 専門 | はじめての問題解決カトリニング: 図を描けば本当の問題点が発見できる                                             | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | 問題解決の5S: ソリューション型ビジネスリーダーへ                                                     | ダイヤモンド社         | 1,600 |
| 専門 | 問題解決の実学: 成果をあげる思考と行動, 新版                                                       | ダイヤモンド社         | 2,000 |
| 専門 | 問題解決プロフェッショナル! 思考と技術J: Professional Problem Solving: Skills and Techniques, 新版 | ダイヤモンド社         | 2,330 |
| 専門 | ビジネスマンのための問題解決ハンドブック: 知っておくべき「35」のテクニックとツール                                    | ピアソン桐原          | 1,900 |
| 専門 | VISUAL THINKING: 組織を活性化する、ビジュアルシンキング実践ガイド                                      | ピー・エヌ・エヌ新社      | 2,600 |
| 専門 | グループ創造セッション: プロセス革新をめざすグループによる問題解決の方法                                          | ユニテ             | 1,700 |
| 専門 | 問題解決: あらゆる課題を突破するビジネスパーソン必須の仕事術                                                | 英治出版            | 2,200 |
| 専門 | 改善活動のマネジメント: 問題発見・解決能力を組織に蓄積する                                                 | 慶應義塾大学出版会       | 2,700 |
| 専門 | 4日で使える実践!超ビジュアルシンキング                                                           | 講談社             | 2,200 |
| 専門 | 実践システム・シンキング: 論理思考を超える問題解決のスキル                                                 | 講談社             | 2,200 |
| 専門 | イノベーションを起こすために問題解決のセンスをみがく本                                                    | 総合法令出版          | 1,800 |
| 専門 | デザインする思考力 (東大エグゼクティブ・マネジメント)                                                   | 東京大学出版会         | 2,000 |
| 専門 | ファンリテーションの教科書: 組織を活性化させるコミュニケーションとリーダーシップ                                      | 東洋経済新報社         | 2,400 |
| 専門 | 課題達成に役立つツール                                                                    | 日科技連出版社         | 2,800 |
| 専門 | 課題達成に役立つツール: 英語版                                                               | 日科技連出版社         | 3,600 |
| 専門 | 革新的課題解決法                                                                       | 日科技連出版社         | 2,200 |
| 専門 | 生き活き改善活動あれこれ27か条: 13の実践ワークシートと8つのExcel解析                                       | 日科技連出版社         | 1,900 |

|    |                                                       |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | よくわかる「問題解決」の本 (ナットク現場改善シリーズ)                          | 日刊工業新聞社          | 2,200 |
| 専門 | BABOK超入門: Business Analysis Body of Knowledge         | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | クリエイティブ・マインドセット: 想像力・好奇心・勇気が目覚める驚異の思考法                | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | システム×デザイン思考で世界を変える: 慶應SDM「イノベーションのつくり方」               | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | デザイン思考の教科書: 欧州トップスクールが教えるイノベーションの技術                   | 日経BP社            | 2,400 |
| 専門 | 世界で一番やさしい会議の教科書: 入社2年目の女子がグダグダ会議を変える!                 | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 世界で一番やさしい会議の教科書: 実践編「8つの基本動作」で劇的に変わる会議ファシリテーションの極意を伝授 | 日経BP社            | 2,200 |
| 専門 | 誰も教えてくれない問題解決スキル: 仕事で「壁」にぶつかったらこの本で乗り越えよう!            | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 溫孔知心: 孔子の心、経営の鏡                                       | 日本僑報社            | 1,900 |
| 専門 | あなたの職場は、なぜ問題ばかり起きるのか?                                 | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | ファシリテーション・ベーシックス: 組織のパワーを引き出す技法 (Facilitation skills) | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 外資系コンサルが実践している英語ファシリテーションの技術                          | 日本経済新聞出版社        | 1,850 |
| 専門 | 考える力を伸ばす教科書: ダイアログと論理で思考力を高める                         | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | 非合理的な職場: あなたのロジカルシンキングはなぜ役に立たないのか                     | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 現場で使える問題解決・業務改善の基本                                    | 日本実業出版社          | 2,000 |
| 専門 | 新人コンサルタントが入社時に叩き込まれる「問題解決」基礎講座                        | 日本実業出版社          | 1,600 |
| 専門 | 実践問題解決最強ツール37                                         | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,600 |
| 専門 | 問題を整理し、分析する技術: 新版 (実務入門)                              | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,800 |
| 専門 | デザイナーの頭の中を覗く: ビジネスで使える「デザイン思考」                        | 論創社              | 1,600 |
| 専門 | リーダーシップからフォロワーシップへ: カリスマリーダー不要の組織づくりとは、新版             | CCCメディアハウス       | 1,600 |
| 専門 | 組織行動: 理論と実践                                           | NTT出版            | 2,800 |
| 専門 | エラスティックリーダーシップ: 自己組織化チームの育て方                          | オライリー・ジャパン       | 2,800 |
| 専門 | オーガニゼーションズ: 現代組織論の原典、第2版                              | ダイヤモンド社          | 3,200 |
| 専門 | 強いチームをつくる技術: 個と組織を再生する「リチーミング」の12ステップ                 | ダイヤモンド社          | 1,600 |
| 専門 | デザインリーダーシップ: デザインリーダーはいかにして組織を構築し、成功に導くのか?            | ピー・エス・エス新社       | 2,400 |
| 専門 | As One: 目標に向かって1つになる                                  | プレジデント社          | 3,500 |
| 専門 | ガバナンスの機構: 経済組織の学際的研究 (国際産業関係研究所叢書 第2巻)                | ミネルヴァ書房          | 6,500 |
| 専門 | よくわかる組織論 (やわらかアカデミズム・わかる)シリーズ                         | ミネルヴァ書房          | 2,800 |
| 専門 | 「学習する組織」入門: 自分・チーム・会社が変わる 持続的成長の技術と実践                 | 英治出版             | 1,900 |
| 専門 | DREAM WORKPLACE: だれもが「最高の自分」になれる組織をつくる                | 英治出版             | 1,800 |
| 専門 | チームが機能するとはどういうことか: 「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ             | 英治出版             | 2,200 |
| 専門 | ティール組織: マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現                         | 英治出版             | 2,500 |
| 専門 | なぜ弱さを見せあえる組織が強いのか: すべての人が自己変革に取り組む「発達指向型組織」をつくる       | 英治出版             | 2,500 |
| 専門 | なぜ人と組織は変わらないのか: ハーバード流自己変革の理論と実践                      | 英治出版             | 2,500 |
| 専門 | レジリエンスビルディング: 「変化に強い」人と組織のつくり方                        | 英治出版             | 2,400 |
| 専門 | 学習する組織: システム思考で未来を創造する                                | 英治出版             | 3,500 |
| 専門 | 現代経営組織論の基礎 (現代経営基礎シリーズ 5)                             | 学文社              | 2,600 |
| 専門 | ORIGINALS 誰もが「人と違うこと」ができる時代                           | 三笠書房             | 1,800 |
| 専門 | 基礎からわかる経営組織                                           | 産業能率大学出版部        | 2,400 |
| 専門 | コア・テキストマクロ組織論 (ライブラリ経営学コア・テキスト 3)                     | 新世社              | 2,900 |
| 専門 | 組織と人材開発 (中京大学大学院ビジネス・イノベーションシリーズ)                     | 税務経理協会           | 2,600 |
| 専門 | 組織と市場: 組織の環境適合理論、増補新装版 (bibliothèque chikura)         | 千倉書房             | 3,600 |
| 専門 | イノベーションと組織                                            | 創成社              | 2,400 |
| 専門 | ビギナーズ経営組織論                                            | 中央経済社            | 2,700 |
| 専門 | 協働と躍動のマネジメント                                          | 中央経済社            | 2,700 |
| 専門 | 協働の経営学: Studies on Collaboration and Management       | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | 組織マネジメント入門                                            | 中央経済社            | 2,200 |
| 専門 | 組織変革のマネジメント: 人の意識・行動とOI活動                             | 中央経済社            | 3,300 |
| 専門 | 入門組織行動論、第2版                                           | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 変革とパラドックスの組織論: Change and Paradox in Organizations    | 中央経済社            | 4,300 |
| 専門 | 流動化する組織の意思決定: エージェント・ベース・アプローチ                        | 東京大学出版会          | 7,000 |
| 専門 | グローバル組織開発ハンドブック: 3つの複雑性を5つの視点から考える                    | 東洋経済新報社          | 2,800 |
| 専門 | チーム思考                                                 | 東洋経済新報社          | 1,600 |
| 専門 | 経営組織論 (はじめての経営学)                                      | 東洋経済新報社          | 2,200 |
| 専門 | ハンドブック組織ディスコース研究                                      | 同文館出版            | 6,800 |
| 専門 | 経営組織要論                                                | 同文館出版            | 3,200 |
| 専門 | 行為する組織: 組織と管理の理論についての社会科学的基盤                          | 同文館出版            | 3,200 |
| 専門 | ザ・チーム: 日本の一番大きな問題を解く                                  | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | マーケティングとは「組織革命」である.: 個人も会社も劇的に成長する森岡メソッド              | 日経BP社            | 1,600 |

|    |                                                                           |               |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | 意外と会社は合理的: 組織にはびこる理不尽のメカニズム                                               | 日本経済新聞出版社     | 1,800 |
| 専門 | シャイン博士が語る組織開発と人的資源管理の進め方: プロセス・コンサルテーション技法の用い方 (E.H.Schein Basic Library) | 白桃書房          | 1,850 |
| 専門 | 企業文化: ダイバーシティと文化の仕組み、改訂版                                                  | 白桃書房          | 3,500 |
| 専門 | 経営学における組織文化論の位置づけとその理論的展開                                                 | 白桃書房          | 3,100 |
| 専門 | 組織文化とリーダーシップ                                                              | 白桃書房          | 4,000 |
| 専門 | 組織論レビュー: 1 組織とスタッフのダイナミズム                                                 | 白桃書房          | 3,000 |
| 専門 | 組織論レビュー: 2 外部環境と経営組織                                                      | 白桃書房          | 3,000 |
| 専門 | 二重性のダイナミクス: 組織変革の構造                                                       | 白桃書房          | 2,800 |
| 専門 | オーガニゼーションナル・エビステモロジー                                                      | 文眞堂           | 2,900 |
| 専門 | 組織コミットメント再考: 中日米における実証研究を手がかりに                                            | 文眞堂           | 3,200 |
| 専門 | 組織デザインの原理: 構想・原則・構造                                                       | 文眞堂           | 3,800 |
| 専門 | 組織の震: 人間行動の現実                                                             | 文眞堂           | 2,000 |
| 専門 | 組織学への道                                                                    | 文眞堂           | 2,500 |
| 専門 | サイロ・エフェクト: 高度専門化社会の罠                                                      | 文藝春秋          | 1,660 |
| 専門 | 〈先取り志向〉の組織心理学: プロアクティブ行動と組織                                               | 有斐閣           | 2,700 |
| 専門 | キャリアで語る経営組織: 個人の論理と組織の論理 (有斐閣アルマ Specialized)                             | 有斐閣           | 2,100 |
| 専門 | 学習を促す組織文化: マルチレベル・アプローチによる実証分析                                            | 有斐閣           | 3,700 |
| 専門 | 関わりあう職場のマネジメント: Management of Workplace Relationship                      | 有斐閣           | 2,500 |
| 専門 | 組織論、補訂版 (有斐閣アルマ Specialized)                                              | 有斐閣           | 2,100 |
| 専門 | ダイナミック・ケイバビリティ: 組織の戦略変化                                                   | 勁草書房          | 3,400 |
| 専門 | 現代組織論                                                                     | 勁草書房          | 2,900 |
| 専門 | ビジネスモデルfor Teams: 組織のためのビジネスモデル設計書                                        | 翔泳社           | 2,800 |
| 専門 | 長期勤続女性の活用に関する心理学的研究: 女性のリーダーシップ、マネジメント・スキルからのアプローチ (社会学選書 8)              | いなほ書房         | 2,800 |
| 専門 | マネジメントとは何か                                                                | ソフトバンククリエイティブ | 1,600 |
| 専門 | 中国市場で成功する人材マネジメント: 广汽ホンダとカネボウ化粧品中国に学ぶ                                     | ダイヤモンド社       | 1,600 |
| 専門 | リーダーが覚えるコーチングメソッド: 7つの質問でチームが劇的に進化する (フェニックスシリーズ 57)                      | パンローリング       | 1,600 |
| 専門 | トヨタ人事方式の戦後史: 企業社会の誕生から終焉まで (MINERVA社会学叢書 35)                              | ミネルヴァ書房       | 9,000 |
| 専門 | ヒト・仕事・職場のマネジメント: 人的資源管理の理論と展開                                             | ミネルヴァ書房       | 3,000 |
| 専門 | 最高の職場: いかに創り、いかに保つか、そして何が大切か                                              | ミネルヴァ書房       | 2,000 |
| 専門 | 人事の統計分析: 人事マイクロデータを用いた人材マネジメントの検証 (MINERVA現代経営学叢書 48)                     | ミネルヴァ書房       | 4,000 |
| 専門 | 賃金・人事制度改革の軌跡: 再編過程とその影響の実態分析 (MINERVA人文・社会科学学叢書 170)                      | ミネルヴァ書房       | 5,500 |
| 専門 | コーチングのすべて: その成り立ち・流派・理論から実践の指針まで                                          | 英治出版          | 3,200 |
| 専門 | チームコーチング: 集団の知恵と力を引き出す技術                                                  | 英治出版          | 2,800 |
| 専門 | 人的資源管理、新版 (21世紀経営学シリーズ 8)                                                 | 学文社           | 2,500 |
| 専門 | 人的資源管理論の基礎: The Foundation of Human Resource Management                   | 学文社           | 2,400 |
| 専門 | 賃金・人事処遇制度の史的展開と公正性                                                        | 学文社           | 7,000 |
| 専門 | グローバル人事改革の挫折と再生: 制度論で捉える組織変革 (プリミエ・コレクション 92)                             | 京都大学学術出版会     | 3,400 |
| 専門 | 働きやすい職場づくりのヒント: キャリアコンサルティングに活かせる                                         | 金剛出版          | 2,600 |
| 専門 | 『新時代の「日本の経営」』オールヒストリー: 雇用多様化論の起源 (慶應義塾大学産業研究所選書 戦後労働史研究)                  | 慶應義塾大学出版会     | 4,600 |
| 専門 | 日本の雇用慣行は変化しているのか: 本社人事部の役割 (慶應義塾大学産業研究所叢書)                                | 慶應義塾大学出版会     | 4,600 |
| 専門 | 能力主義管理研究会オールヒストリー: 日本の人事管理の基盤形成 (慶應義塾大学産業研究所選書 戦後労働史研究)                   | 慶應義塾大学出版会     | 3,800 |
| 専門 | ダイバーシティと女性活躍の推進: グローバル化時代の人材戦略                                            | 経済産業調査会       | 2,500 |
| 専門 | 企業力を高める: 女性の活躍推進と働き方改革                                                    | 経団連出版         | 1,800 |
| 専門 | 「やりがいのある仕事」と「働きがいのある職場」: ブラック企業を反面教師に                                     | 晃洋書房          | 2,000 |
| 専門 | キャリア・マネジメント: 人材マネジメントの視点から                                                | 晃洋書房          | 2,400 |
| 専門 | 個別的労使関係と人事労務管理: 個の欲求と組織充足の調整・繋ぎ                                           | 晃洋書房          | 2,900 |
| 専門 | 労働管理の基本構造                                                                 | 晃洋書房          | 3,300 |
| 専門 | アメリカ企業には就業規則がない: グローバル人事「違い」のマネジメント                                       | 国書刊行会         | 2,500 |
| 専門 | モチベーション・マネジメント: Motivation Management                                     | 産業能率大学出版部     | 1,800 |
| 専門 | 最新コーチングの手法と実践がよくわかる本: 「人を動かす力」が身に付く虎の巻、第3版 (図解入門ビジネス・How・nual-)           | 秀和システム        | 1,700 |
| 専門 | CSは女子力で決まる! 「顧客満足・従業員満足・収益力の同時達成」で企業は育つ                                   | 生産性出版         | 1,800 |
| 専門 | キャリア・リスクの経済学                                                              | 生産性出版         | 3,500 |
| 専門 | 変革するマネジメント: 戦略的人的資源管理、第2版                                                 | 千倉書房          | 2,000 |
| 専門 | テキスト経営・人事入門                                                               | 創成社           | 2,400 |
| 専門 | 人的資源管理論、第5版                                                               | 創成社           | 2,600 |
| 専門 | 成長する人と組織: 人間主義的視点をもつ人的資源管理論                                               | 創成社           | 2,200 |
| 専門 | ポジティブ・コーチングの教科書: 成長を約束するツールとストラテジー                                        | 草思社           | 1,900 |
| 専門 | どうする!?職場の「困ったさん」                                                          | 中央経済社         | 1,600 |
| 専門 | 現代人的資源管理: グローバル市場主義と日本型システム                                               | 中央経済社         | 3,400 |



|    |                                                                                                      |                  |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 国際人的資源管理 (ベーシック+)                                                                                    | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | 人件費生産性を高める人事制度設計の考え方・進め方: standard                                                                   | 中央経済社            | 2,600 |
| 専門 | 人事戦略のためのアセスメント・センター: 予測・診断・開発の理論と実践                                                                  | 中央経済社            | 6,000 |
| 専門 | 人的資源管理 (ベーシック+)                                                                                      | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | 人的資源管理論: 理論と制度, 第2版                                                                                  | 中央経済社            | 2,500 |
| 専門 | 世界で勝ち抜くためのグローバル人材の育成と活用                                                                              | 中央経済社            | 2,600 |
| 専門 | 組織を動かす働き方改革: いますぐスタートできる!効果的な目的・施策・導入プロセス                                                            | 中央経済社            | 2,200 |
| 専門 | 多様化する雇用形態の人事管理: 人材ポートフォリオの実証分析                                                                       | 中央経済社            | 3,200 |
| 専門 | 知識労働者の人的資源管理: 企業への定着・相互作用・キャリア発達                                                                     | 中央経済社            | 3,600 |
| 専門 | 中国企業の人的資源管理 (国際産業関係研究所叢書 第1巻)                                                                        | 中央経済社            | 3,600 |
| 専門 | 入門人的資源管理, 第2版                                                                                        | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 日本企業のヒューマン・リソース・マネジメント: 人的資源管理/人材マネジメント                                                              | 東京経済情報出版         | 2,800 |
| 専門 | 能力主義管理の国際比較                                                                                          | 東京図書出版会          | 2,000 |
| 専門 | 人材開発研究大全: The Complete Handbook of Research on Human Resource Development                            | 東京大学出版会          | 9,200 |
| 専門 | ワーク・ルールズ!: 君の生き方とリーダーシップを変える                                                                         | 東洋経済新報社          | 1,980 |
| 専門 | 新興国進出のためのグローバル組織・人材マネジメント: Global Talent & Organization Management for Advancing in Emerging Nations | 東洋経済新報社          | 2,400 |
| 専門 | 承認とモチベーション: 実証されたその効果                                                                                | 同文館出版            | 1,900 |
| 専門 | 人的資源管理と日本の組織: Human Resource Management and Japanese Organization                                    | 同文館出版            | 2,600 |
| 専門 | マネジメントの心理学: 経営心理学入門, 第2版                                                                             | 日科技連出版社          | 1,700 |
| 専門 | サムソンの戦略人事: 知られざる競争力の真実                                                                               | 日本経済新聞出版社        | 2,400 |
| 専門 | ジャスト・イン・タイムの人材戦略: 不確実な時代にどう採用し、育てるか                                                                  | 日本経済新聞出版社        | 2,400 |
| 専門 | 今すぐできる!英語deコーチング: 部下を育てる基本スキルと英語表現                                                                   | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | 人が育つ会社をつくる: キャリア創造のマネジメント, 新版                                                                        | 日本経済新聞出版社        | 1,700 |
| 専門 | 人材活用進化論                                                                                              | 日本経済新聞出版社        | 4,000 |
| 専門 | 人事と組織の経済学: 実践編                                                                                       | 日本経済新聞出版社        | 4,800 |
| 専門 | 世界でいばん会社が好き!日本人                                                                                      | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 正社員消滅時代の人事改革                                                                                         | 日本経済新聞出版社        | 2,400 |
| 専門 | 戦略人事論: 競争優位の人材マネジメント                                                                                 | 日本経済新聞出版社        | 2,800 |
| 専門 | 創発(はぐれ)人材をさがせ: イノベーションを興す                                                                            | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | 日本の人事を科学する: 因果推論に基づくデータ活用                                                                            | 日本経済新聞出版社        | 2,300 |
| 専門 | 日本企業のグローバル人事戦略: Global HR strategy for Japanese firms                                                | 日本経済新聞出版社        | 2,300 |
| 専門 | 学歴と格差の経営史: 新しい歴史像を求めて                                                                                | 日本経済評論社          | 7,300 |
| 専門 | 人事・労務用語辞典, 第7版                                                                                       | 日本経済連出版          | 2,400 |
| 専門 | ワークライフバランス: 考え方と導入法, 改訂版                                                                             | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,500 |
| 専門 | 経営を強くする戦略人事: Strategic HRM                                                                           | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,300 |
| 専門 | 実践ワークライフバランス: プロジェクトの進め方と定着の仕組みづくり                                                                   | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,500 |
| 専門 | 人事の仕事がよくわかる本: 人とかかわる「組織をつくる新任担当者のための基本と実践 (はじめの1冊)!                                                  | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,600 |
| 専門 | 人事管理実務ハンドブック: 基本業務から基幹業務・戦略業務・制度設計まで                                                                 | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,800 |
| 専門 | キャリア・イノベーション: 私生活の充実が未来をひらく, 第2版 (HAKUTO Management)                                                 | 白桃書房             | 3,000 |
| 専門 | チェンジャング・チャイナの人的資源管理: 新しい局面を迎えた中国への投資と人事                                                              | 白桃書房             | 2,800 |
| 専門 | 異文化間のグローバル人材戦略: 多様なグローバル人材の効果的マネジメント                                                                 | 白桃書房             | 3,600 |
| 専門 | 新興国における人事労務管理と現地経営: ベトナム・インドネシア・インド・バングラデシュ・ブラジルの労働事情と日本企業7社のケーススタディ                                 | 白桃書房             | 3,200 |
| 専門 | 人材イノベーション: ワーク・ライフ施策・組織コミットメントおよび企業業績                                                                | 白桃書房             | 4,000 |
| 専門 | 人的資源マネジメント: 「意識化」による組織能力の向上                                                                          | 白桃書房             | 3,300 |
| 専門 | 戦略的人的資源管理論: 人事施策評価へのアプローチ                                                                            | 白桃書房             | 2,750 |
| 専門 | 組織的管理から自律的管理へ: キャリア開発による新しい管理論の試み                                                                    | 白桃書房             | 2,800 |
| 専門 | 中国の現場からみる日系企業の人事・労務管理: 人材マネジメントの事例を中心に                                                               | 白桃書房             | 3,000 |
| 専門 | 働く人々のwell-beingと人的資源管理                                                                               | 白桃書房             | 3,300 |
| 専門 | 日本企業のグローバル人的資源管理                                                                                     | 白桃書房             | 5,800 |
| 専門 | ぼくがジョブズに教えたこと: 「才能」が集まる会社をつくる51条                                                                     | 飛鳥新社             | 1,574 |
| 専門 | はじめて学ぶ人のための人材マネジメント論入門 (文真堂ブックス セメスターテキストシリーズ 2)                                                     | 文真堂              | 1,800 |
| 専門 | 学生のためのHRM入門                                                                                          | 文真堂              | 1,600 |
| 専門 | 韓国企業の人的資源管理: その特質と変容                                                                                 | 文真堂              | 3,000 |
| 専門 | 人的資源管理の基本, 新版 第2版                                                                                    | 文真堂              | 2,500 |
| 専門 | 人的資源管理の力                                                                                             | 文真堂              | 2,700 |
| 専門 | 人的資源管理入門                                                                                             | 文真堂              | 2,800 |
| 専門 | 人的資源管理: 社会経営科学プログラム, 新訂 (放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)                                                   | 放送大学教育振興会        | 2,900 |
| 専門 | 経験から学ぶ人的資源管理, 新版 (有斐閣ブックス 456)                                                                       | 有斐閣              | 2,800 |
| 専門 | 新しい人事労務管理, 第5版 (有斐閣アルマ Specialized)                                                                  | 有斐閣              | 2,000 |

|    |                                                                                     |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 人事と法の対話: 新たな融合を目指して                                                                 | 有斐閣              | 1,900 |
| 専門 | 人事管理: 人と企業とともに活きるために (有斐閣ストゥディア)                                                    | 有斐閣              | 2,100 |
| 専門 | ワーク・ライフ・バランスと働き方改革                                                                  | 勁草書房             | 2,400 |
| 専門 | 個性を活かす人材マネジメント: 近未来型人事革新のシナリオ                                                       | 勁草書房             | 2,700 |
| 専門 | 人材を活かす企業: 「人材」と「利益」の方程式 (Harvard Business School Press)                             | 翔泳社              | 2,400 |
| 専門 | ICTイノベーションの変革分析: 産業・企業・消費者行動との相互展開 (MINERVA現代経営学叢書 45)                              | ミネルヴァ書房          | 4,000 |
| 専門 | 国際競争力を創るグリーンIT: 世界の低炭素化を引き込む事業戦略                                                    | 東洋経済新報社          | 1,800 |
| 専門 | 競争に勝つ条件                                                                             | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | ITコスト半減化実践ハンドブック: 削減と最適化のバランスの考え方から削減の実行方法まで                                        | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,200 |
| 専門 | MBAアントレプレナー・ファイナンス入門: 詳解ベンチャー企業の価値評価                                                | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | 起業のエクイティ・ファイナンス: 経済革命のための株式と契約                                                      | ダイヤモンド社          | 3,600 |
| 専門 | 資本予算の管理会計: DCF法の生成と発展                                                               | 中央経済社            | 3,600 |
| 専門 | 図解企業価値入門: 考え方から投資戦略までの活用法がわかる, 第3版                                                  | 東洋経済新報社          | 1,800 |
| 専門 | 意思決定の仕組み作り: 戦略的投資モデルが日本企業を強くする                                                      | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | 起業のファイナンス: ベンチャーにとって一番大切なこと, 増補改訂版                                                  | 日本実業出版社          | 2,300 |
| 専門 | 基本からわかる管理会計 (SANNO会社の数字がわかるシリーズ)                                                    | 産業能率大学出版部        | 1,800 |
| 専門 | 内部統制・内部統制監査の研究 (JLF叢書 VOL.19)                                                       | 商事法務             | 3,400 |
| 専門 | ケースブック管理会計 (ライブラリケースブック会計学 4)                                                       | 新世社              | 2,550 |
| 専門 | 管理会計論, 第2版 (新経営学ライブラリ 9)                                                            | 新世社              | 3,100 |
| 専門 | 日本内部監査制度の史的展開                                                                       | 森山書店             | 4,200 |
| 専門 | コーポレート・ガバナンス: 課題と展望                                                                 | 成文堂              | 5,000 |
| 専門 | 要説管理会計事典: Encyclopedia of Management Accounting                                     | 清文社              | 4,000 |
| 専門 | セミナー管理会計                                                                            | 税務経理協会           | 2,900 |
| 専門 | 会計による経営管理                                                                           | 税務経理協会           | 3,000 |
| 専門 | 管理会計の基礎: 理論と実践, 第4版                                                                 | 税務経理協会           | 3,400 |
| 専門 | 管理会計を学ぶ (わしづかみシリーズ)                                                                 | 税務経理協会           | 2,200 |
| 専門 | 管理会計演習: 会計大学院教科書                                                                    | 税務経理協会           | 2,900 |
| 専門 | 企業間管理と管理会計: サプライチェーン・マネジメントを中心として (関西学院大学研究叢書 第195編)                                | 税務経理協会           | 3,200 |
| 専門 | 活動を基準とした管理会計技法の展開と経営戦略論                                                             | 創成社              | 2,500 |
| 専門 | 管理会計入門ゼミナール, 改訂版                                                                    | 創成社              | 2,200 |
| 専門 | 管理会計論, 第2版                                                                          | 創成社              | 2,200 |
| 専門 | 現代管理会計論再考: 会計と管理会計と非会計を考える                                                          | 創成社              | 3,200 |
| 専門 | インタンジブルズの管理会計: INTANGIBLES: Management Accounting for Intangibles (メルコ学術振興財団研究叢書 4) | 中央経済社            | 4,200 |
| 専門 | エッセンシャル管理会計, 第3版                                                                    | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | ケース管理会計: Case Management Accounting                                                 | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | プラクティカル管理会計: Practical Management Accounting                                        | 中央経済社            | 2,300 |
| 専門 | ベーシック管理会計, 新版                                                                       | 中央経済社            | 2,300 |
| 専門 | ものづくり企業の管理会計                                                                        | 中央経済社            | 2,900 |
| 専門 | 一から学ぶ管理会計入門                                                                         | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | 会計基準と経営者行動: 会計政策の理論と実証分析                                                            | 中央経済社            | 4,800 |
| 専門 | 管理会計の基礎と応用                                                                          | 中央経済社            | 3,000 |
| 専門 | 管理会計の変革: 情報ニーズの拡張による理論と実務の進展 (メルコ学術振興財団研究叢書 7)                                      | 中央経済社            | 4,000 |
| 専門 | 管理会計の理論と実務, 第2版                                                                     | 中央経済社            | 3,200 |
| 専門 | 管理会計基礎論: Fundamentals of Management Accounting                                      | 中央経済社            | 2,600 |
| 専門 | 管理会計研究のフロンティア: THE FRONTIERS of Management Accounting Research                      | 中央経済社            | 4,800 |
| 専門 | 管理会計変化の探究: Approaches to Management Accounting Change                               | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 管理会計論, 第2版 (スタンダードテキスト)                                                             | 中央経済社            | 5,000 |
| 専門 | 管理会計論: 問題演習編 (スタンダードテキスト)                                                           | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 企業グループの管理会計                                                                         | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 原価・管理会計の基礎                                                                          | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 原価・管理会計入門                                                                           | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | 事業部制の業績測定: DIVISIONAL PERFORMANCE                                                   | 中央経済社            | 4,800 |
| 専門 | 事例研究アメーバ経営と管理会計                                                                     | 中央経済社            | 4,600 |
| 専門 | 次世代管理会計の礎石                                                                          | 中央経済社            | 4,800 |
| 専門 | 自律的組織の管理会計: 原価企画の進化 (メルコ学術振興財団研究叢書 5)                                               | 中央経済社            | 5,600 |
| 専門 | 内部統制と会社役員の法的責任 (関西学院大学研究叢書 第198編)                                                   | 中央経済社            | 4,000 |
| 専門 | 日本の管理会計の深層                                                                          | 中央経済社            | 3,800 |
| 専門 | 日本の管理会計の探究                                                                          | 中央経済社            | 3,800 |
| 専門 | 入門管理会計: Introduction to Management Accounting, 第2版                                  | 中央経済社            | 2,400 |

|    |                                                                                                                                        |           |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 基礎から学ぶ管理会計: Introduction to Management Accounting                                                                                      | 東京経済情報出版  | 2,800 |
| 専門 | スタンダード管理会計: STANDARD MANAGEMENT ACCOUNTING, 第2版                                                                                        | 東洋経済新報社   | 4,800 |
| 専門 | 図解一番はじめに読む内部監査の本, 第2版                                                                                                                  | 東洋経済新報社   | 1,800 |
| 専門 | 図解管理会計入門                                                                                                                               | 東洋経済新報社   | 1,800 |
| 専門 | ケースで学ぶ管理会計: ビジネスの成功と失敗の裏には管理会計の優劣がある                                                                                                   | 同文館出版     | 1,900 |
| 専門 | マテリアルフローコスト会計の理論と実践                                                                                                                    | 同文館出版     | 3,700 |
| 専門 | 管理会計: Management Accounting, 第6版                                                                                                       | 同文館出版     | 5,200 |
| 専門 | 管理会計: 基礎編                                                                                                                              | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | 管理会計のエッセンス, 新版                                                                                                                         | 同文館出版     | 3,700 |
| 専門 | 企業集団における内部統制                                                                                                                           | 同文館出版     | 3,300 |
| 専門 | 基本管理会計                                                                                                                                 | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | 事例でみる企業不正の理論と対応                                                                                                                        | 同文館出版     | 1,800 |
| 専門 | 内部統制の有効性とコーポレート・ガバナンス: A Study of the Relationship between Effectivity of Internal Control and Characteristics of Corporate Governance | 同文館出版     | 4,200 |
| 専門 | 現場が動き出す会計: 人はなぜ測定されると行動を変えるのか                                                                                                          | 日本経済新聞出版社 | 2,400 |
| 専門 | 管理会計, 3訂版 (放送大学教材)                                                                                                                     | 放送大学教育振興会 | 2,800 |
| 専門 | 現代の内部監査 (放送大学教材)                                                                                                                       | 放送大学教育振興会 | 2,500 |
| 専門 | 組織運営と内部監査, 改訂版 (放送大学教材)                                                                                                                | 放送大学教育振興会 | 2,300 |
| 専門 | 管理会計・入門: 戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング, 第4版 (有斐閣アルマ Basic)                                                                                   | 有斐閣       | 2,300 |
| 専門 | 経済社会環境の変化と企業会計                                                                                                                         | ビジネス教育出版社 | 3,000 |
| 専門 | 非営利組織体の会計・業績および税務: 理論・実務・制度の見地から                                                                                                       | 関東学院大学出版会 | 2,600 |
| 専門 | 会計学の基本問題: FUNDAMENTAL ISSUES IN ACCOUNTING                                                                                             | 慶應義塾大学出版会 | 4,300 |
| 専門 | 会計と会計学のレーゾン・デートル (慶應義塾大学商学会商学研究叢書 22)                                                                                                  | 慶應義塾大学商学会 | 3,000 |
| 専門 | 会計と社会: 公共会計学論考 (慶應義塾大学商学会商学研究叢書 21)                                                                                                    | 慶應義塾大学商学会 | 4,700 |
| 専門 | IFRS公正価値情報の測定と監査: 見積り・予測・リスク情報拡大への対応                                                                                                   | 国元書房      | 3,500 |
| 専門 | ケースブック会計学入門, 第4版 (ライブラリケースブック会計学 1)                                                                                                    | 新世社       | 2,000 |
| 専門 | ケースブック財務会計 (ライブラリケースブック会計学 3)                                                                                                          | 新世社       | 2,700 |
| 専門 | 財務会計 (会計学叢書Introductory)                                                                                                               | 新世社       | 2,700 |
| 専門 | ドイツ会計制度論                                                                                                                               | 森山書店      | 4,200 |
| 専門 | はじめての会計学, 第5版                                                                                                                          | 森山書店      | 2,400 |
| 専門 | 会計学, 第3版                                                                                                                               | 森山書店      | 2,950 |
| 専門 | 会計学の基本: 基礎から現代の会計, 第2版                                                                                                                 | 森山書店      | 2,300 |
| 専門 | 基礎財務会計, 第17版                                                                                                                           | 森山書店      | 3,200 |
| 専門 | 歴史から見る公正価値会計: 会計の根源的な役割を問う                                                                                                             | 森山書店      | 3,400 |
| 専門 | 会計・ファイナンス入門, 第2版                                                                                                                       | 税務経理協会    | 2,100 |
| 専門 | 会計の歴史: A History of Accounting, 改訂版                                                                                                    | 税務経理協会    | 2,400 |
| 専門 | 会計学はどこで道を間違えたのか                                                                                                                        | 税務経理協会    | 2,600 |
| 専門 | 会計学原理: Principles of Accounting                                                                                                        | 税務経理協会    | 2,800 |
| 専門 | 現代会計用語辞典, 新版                                                                                                                           | 税務経理協会    | 2,900 |
| 専門 | 最初に読む会計学入門 (「即戦力」シリーズ)                                                                                                                 | 税務経理協会    | 2,300 |
| 専門 | 財務会計論, 3訂版                                                                                                                             | 税務経理協会    | 5,800 |
| 専門 | 財務会計論, 新版 改訂版                                                                                                                          | 税務経理協会    | 4,400 |
| 専門 | 財務会計論                                                                                                                                  | 税務経理協会    | 3,800 |
| 専門 | 中日英・日中英投資・会計・税務用語辞典                                                                                                                    | 税務経理協会    | 3,400 |
| 専門 | 歴史に学ぶ会計の「なぜ?」: アメリカ会計史入門                                                                                                               | 税務経理協会    | 3,400 |
| 専門 | グローバル化時代におけるリスク会計の探求                                                                                                                   | 千倉書房      | 3,700 |
| 専門 | フランス会計の展開: 複式簿記の生成から現代                                                                                                                 | 千倉書房      | 4,400 |
| 専門 | 会計制度改革の視座                                                                                                                              | 千倉書房      | 4,100 |
| 専門 | 会計の基礎ハンドブック, 第3版                                                                                                                       | 創成社       | 2,775 |
| 専門 | 会計学のスズメ: 一度は読んでおきたい会計学の名著                                                                                                              | 創成社       | 1,600 |
| 専門 | 現代会計の論理と展望: 会計論理の探究方法                                                                                                                  | 創成社       | 3,200 |
| 専門 | 非営利組織会計テキスト                                                                                                                            | 創成社       | 2,000 |
| 専門 | アドバンスト財務会計: Advanced Financial Accounting, 第2版                                                                                         | 中央経済社     | 3,800 |
| 専門 | エッセンシャル財務会計: FINANCIAL ACCOUNTING, 第2版                                                                                                 | 中央経済社     | 3,800 |
| 専門 | ゲーム理論で考える企業会計: 会計操作・会計規制・会計制度                                                                                                          | 中央経済社     | 3,400 |
| 専門 | これだけは知っておきたい会計のこころ                                                                                                                     | 中央経済社     | 2,400 |
| 専門 | スタートガイド会計学                                                                                                                             | 中央経済社     | 2,200 |
| 専門 | スタートライン会計学                                                                                                                             | 中央経済社     | 2,400 |
| 専門 | テキスト会計学講義                                                                                                                              | 中央経済社     | 2,000 |
| 専門 | テキスト入門会計学, 第4版                                                                                                                         | 中央経済社     | 2,600 |

|    |                                                              |              |        |
|----|--------------------------------------------------------------|--------------|--------|
| 専門 | マクロとミクロの実証会計                                                 | 中央経済社        | 4,400  |
| 専門 | まなびの入門会計学, 新版 第3版                                            | 中央経済社        | 2,600  |
| 専門 | レクチャー財務会計, 第2版                                               | 中央経済社        | 3,200  |
| 専門 | 英文会計用語辞典: Dictionary of English Accounting Terms, 第4版        | 中央経済社        | 3,600  |
| 専門 | 会計ディスクロージャーと企業行動: 市場の価値評価は経営にどのような影響を及ぼすか                    | 中央経済社        | 3,000  |
| 専門 | 会計の再生: 21世紀の投資家・経営者のための対話革命                                  | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 会計の力: The Power of Accounting                                | 中央経済社        | 3,800  |
| 専門 | 会計学エッセンス, 第3版                                                | 中央経済社        | 2,600  |
| 専門 | 会計学スタンダード                                                    | 中央経済社        | 2,200  |
| 専門 | 会計学の研究方法                                                     | 中央経済社        | 4,200  |
| 専門 | 会計学の手法: 実証・分析・実験によるアプローチ                                     | 中央経済社        | 2,600  |
| 専門 | 会計学はじめての一步: The First Step of Accounting                     | 中央経済社        | 2,000  |
| 専門 | 会計学ベーシック: Basic Accounting                                   | 中央経済社        | 2,900  |
| 専門 | 会計学入門: 会計・監査の基礎を学ぶ, 新版 第5版                                   | 中央経済社        | 3,000  |
| 専門 | 会計規制の研究: ACCOUNTING REGULATION                               | 中央経済社        | 4,200  |
| 専門 | 会計研究者として活躍する女性たち: 輝ける未来へ向けて                                  | 中央経済社        | 4,600  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 1 棚卸資産会計の実務                                      | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 2 固定資産会計の実務                                      | 中央経済社        | 3,200  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 3 金融商品会計の実務                                      | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 4 外貨建取引会計の実務, 第2版                                | 中央経済社        | 3,600  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 5 研究開発費・ソフトウェア会計の実務                              | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 6 退職給付会計の実務                                      | 中央経済社        | 3,000  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 7 税効果会計の実務                                       | 中央経済社        | 3,000  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 8 資本会計の実務                                        | 中央経済社        | 3,400  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 9 組織再編会計の実務, 第2版                                 | 中央経済社        | 3,200  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 10 連結決算の実務, 第2版                                  | 中央経済社        | 4,200  |
| 専門 | 会計実務ライブラリー: 11 ディスクロージャーの実務                                  | 中央経済社        | 4,000  |
| 専門 | 会計処理ハンドブック, 第6版                                              | 中央経済社        | 11,000 |
| 専門 | 会計情報と資本市場: 変容の分析と影響                                          | 中央経済社        | 5,000  |
| 専門 | 会計測定思想史と論理: 現在まで息づいている論理の解明                                  | 中央経済社        | 6,800  |
| 専門 | 会計法規集, 新版 第9版                                                | 中央経済社        | 2,100  |
| 専門 | 会計理論研究の方法と基本思考                                               | 中央経済社        | 5,600  |
| 専門 | 株式会社会計の基本構造                                                  | 中央経済社        | 4,400  |
| 専門 | 企業と会計の道しるべ                                                   | 中央経済社        | 2,200  |
| 専門 | 基礎学問としての会計学: 構造・歴史・方法                                        | 中央経済社        | 4,400  |
| 専門 | 金融危機と会計規制: 公正価値測定の誤謬                                         | 中央経済社        | 6,000  |
| 専門 | 金融商品会計のしくみ (図解でざっくり会計シリーズ 3)                                 | 中央経済社        | 1,900  |
| 専門 | 研究開発費の会計: 制度・理論・実証                                           | 中央経済社        | 5,400  |
| 専門 | 現代会計学: Understanding facts and concepts of accounting, 新版第2版 | 中央経済社        | 2,400  |
| 専門 | 現代財務会計のエッセンス                                                 | 中央経済社        | 2,600  |
| 専門 | 公正価値会計のフレームワーク                                               | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 公正価値測定とオフバランス化: Fair Value Measurement Off-Balance-Sheet     | 中央経済社        | 5,800  |
| 専門 | 最新中小企業会計論                                                    | 中央経済社        | 3,000  |
| 専門 | 財務会計, 第13版                                                   | 中央経済社        | 3,800  |
| 専門 | 財務会計の基礎, 第4版                                                 | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 財務会計の理論と制度                                                   | 中央経済社        | 5,600  |
| 専門 | 財務会計教科書                                                      | 中央経済社        | 2,400  |
| 専門 | 財務会計研究の回顧と展望                                                 | 中央経済社        | 6,600  |
| 専門 | 財務会計入門, 第5版                                                  | 中央経済社        | 2,600  |
| 専門 | 財務会計論: 1 基本論点編, 第11版 (スタンダードテキスト)                            | 中央経済社        | 4,800  |
| 専門 | 財務会計論: 2 応用論点編, 第11版 (スタンダードテキスト)                            | 中央経済社        | 4,800  |
| 専門 | 財務会計論: 3 問題演習編, 第2版 (スタンダードテキスト)                             | 中央経済ホールディングス | 3,600  |
| 専門 | 財務会計論の基礎と応用                                                  | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 財務報告における公正価値測定                                               | 中央経済社        | 5,800  |
| 専門 | 実験制度会計論: 未来の会計をデザインする                                        | 中央経済社        | 3,400  |
| 専門 | 初めての会計学: Introduction to Accounting, 第2版                     | 中央経済社        | 2,000  |
| 専門 | 詳解中小会社の会計要領                                                  | 中央経済社        | 2,800  |
| 専門 | 心理会計学: 会計における判断と意思決定                                         | 中央経済社        | 4,600  |
| 専門 | 体系現代会計学: 第1巻 企業会計の基礎概念                                       | 中央経済社        | 4,800  |

|    |                                                                                            |           |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 体系現代会計学: 第2巻 企業会計の計算構造                                                                     | 中央経済社     | 3,400 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第3巻 会計情報の有用性                                                                      | 中央経済社     | 4,600 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第4巻 会計基準のコンバージェンス                                                                 | 中央経済社     | 3,600 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第5巻 企業会計と法制度                                                                      | 中央経済社     | 5,000 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第6巻 財務報告のフロンティア                                                                   | 中央経済社     | 4,400 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第7巻 会計監査と企業統治                                                                     | 中央経済社     | 3,800 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第8巻 会計と会計学の歴史                                                                     | 中央経済社     | 5,000 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第9巻 政府と非営利組織の会計                                                                   | 中央経済社     | 5,000 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第10巻 業績管理会計                                                                       | 中央経済社     | 3,600 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第11巻 戦略管理会計                                                                       | 中央経済社     | 3,200 |
| 専門 | 体系現代会計学: 第12巻 日本企業の管理会計システム                                                                | 中央経済社     | 3,400 |
| 専門 | 中日・日中会計・税務・投資用語辞典, 第2版                                                                     | 中央経済社     | 3,200 |
| 専門 | 入門財務会計, 第2版                                                                                | 中央経済社     | 3,400 |
| 専門 | 保守主義のジレンマ: 会計基礎概念の内内部化                                                                     | 中央経済社     | 3,600 |
| 専門 | 会計と社会: ミクロ会計・メソ会計・マクロ会計の視点から (中央大学経済研究所研究叢書 61)                                            | 中央大学出版部   | 5,200 |
| 専門 | MBAのための財務会計: 基礎からIFRSまで, 3訂版                                                               | 同文館出版     | 2,700 |
| 専門 | アカウンティング: 現代会計入門, 5訂版                                                                      | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | グローバリゼーションと会計・監査: Major Issues in Global Standardization of Accounting and Auditing System | 同文館出版     | 3,200 |
| 専門 | スタートアップ会計学, 第2版                                                                            | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | ズバツとわかる会計学                                                                                 | 同文館出版     | 2,600 |
| 専門 | チャレンジ・アカウンティング: Challenge Accounting, 3訂版                                                  | 同文館出版     | 2,600 |
| 専門 | はじめて学ぶ国際会計論: IFRS対応                                                                        | 同文館出版     | 2,000 |
| 専門 | 会計の歴史探訪: 過去から未来へのメッセージ                                                                     | 同文館出版     | 3,500 |
| 専門 | 会計学基礎論, 第5版補訂版                                                                             | 同文館出版     | 3,500 |
| 専門 | 会計学説の系譜と理論構築                                                                               | 同文館出版     | 5,200 |
| 専門 | 企業会計の基礎理論, 第2版                                                                             | 同文館出版     | 1,900 |
| 専門 | 近代会計史入門: Modern Accounting History: An Introduction                                        | 同文館出版     | 3,400 |
| 専門 | 財務会計・法人税法論文の書き方・考え方: 論文作法と文献調査, 改訂版                                                        | 同文館出版     | 2,000 |
| 専門 | 財務会計の基礎理論と展開, 第2版                                                                          | 同文館出版     | 2,600 |
| 専門 | 財務会計の基本を学ぶ, 第12版                                                                           | 同文館出版     | 3,600 |
| 専門 | 財務会計理論, 8訂版 (基本テキスト・シリーズ)                                                                  | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | 収入支出観の会計思考と論理                                                                              | 同文館出版     | 4,800 |
| 専門 | 税効果会計入門                                                                                    | 同文館出版     | 2,300 |
| 専門 | 帳簿が語る歴史の真実: 通説という名の誤り                                                                      | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | アメリカ会計学: 理論、制度、実証                                                                          | 同友館       | 5,000 |
| 専門 | 会計不正はこう見抜け                                                                                 | 日経BP社     | 2,800 |
| 専門 | 新・会計図解事典: 会計がわかる人だけが手にするもの                                                                 | 日経BP社     | 2,400 |
| 専門 | 粉飾決算vs会計基準                                                                                 | 日経BP社     | 2,400 |
| 専門 | 企業価値向上のための財務会計リテラシー                                                                        | 日本経済新聞出版社 | 2,800 |
| 専門 | 新・現代会計入門: Accounting Theory and Today, 第3版                                                 | 日本経済新聞出版社 | 3,500 |
| 専門 | 世界のエリートがやっている会計の新しい教科書                                                                     | 日本経済新聞出版社 | 1,700 |
| 専門 | 非営利組織のソーシャル・アカウンティング: 社会価値会計・社会性評価のフレームワーク構築に向けて                                           | 日本評論社     | 5,400 |
| 専門 | 揺れる現代会計: ハイブリッド構造とその矛盾                                                                     | 日本評論社     | 1,800 |
| 専門 | ガイダンス企業会計入門: 手ほどき絵ほどきA to Z, 第4版                                                           | 白桃書房      | 1,905 |
| 専門 | ケースでまなぶ財務会計: 新聞記事のケースを通して財務会計の基礎をまなぶ, 第8版                                                  | 白桃書房      | 2,800 |
| 専門 | ストック・オプション会計                                                                               | 白桃書房      | 3,600 |
| 専門 | 会計学・簿記入門: 韓国語財務諸表・中国語財務諸表付, 第13版                                                           | 白桃書房      | 2,800 |
| 専門 | 国際会計論                                                                                      | 白桃書房      | 2,600 |
| 専門 | 財務会計, 第5版 (HAKUTO Accounting)                                                              | 白桃書房      | 3,400 |
| 専門 | 財務会計の現状と展望                                                                                 | 白桃書房      | 3,500 |
| 専門 | 損益計算と情報開示, 8訂版                                                                             | 白桃書房      | 3,000 |
| 専門 | 会計学の基本問題: 会計観の株主 (資本主) 中心から企業本位への変遷                                                        | 文理閣       | 2,800 |
| 専門 | 帳簿の世界史                                                                                     | 文藝春秋      | 1,950 |
| 専門 | 現代会計 (放送大学教材)                                                                              | 放送大学教育振興会 | 2,800 |
| 専門 | 社会のなかの会計, 新訂 (放送大学教材)                                                                      | 放送大学教育振興会 | 2,600 |
| 専門 | 中小企業の経理と税務入門                                                                               | 法令出版      | 2,315 |
| 専門 | アカウンタビリティから経営倫理へ: 経済を超えるために                                                                | 有斐閣       | 2,700 |
| 専門 | はじめて出会う会計学, 新版 (有斐閣アルマ Interest)                                                           | 有斐閣       | 2,000 |
| 専門 | 企業会計入門: 考えて学ぶ, 補訂版                                                                         | 有斐閣       | 1,800 |

|    |                                                                         |           |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | 財務会計・入門: 企業活動を描き出す会計情報とその活用法, 第12版 (有斐閣アルマ Basic)                       | 有斐閣       | 1,800  |
| 専門 | 簿記概論 (First Stageシリーズ 商業・経済)                                            | 実教出版      | 2,300  |
| 専門 | 江戸時代帳合法成立史の研究: 和式会計のルーツを探索する                                            | 森山書店      | 5,000  |
| 専門 | 複式簿記生成史の研究: ドイツ固有の簿記とイタリア簿記の交渉と融合                                       | 森山書店      | 3,800  |
| 専門 | 初歩から学ぶ簿記・経営分析                                                           | 税務経理協会    | 3,000  |
| 専門 | 簿記概論: An Introduction to Bookkeeping, 3訂版                               | 税務経理協会    | 3,300  |
| 専門 | 簿記のススメ: 人生を豊かにする知識                                                      | 創成社       | 1,600  |
| 専門 | はじめての簿記・会計学教室                                                           | 中央経済社     | 2,000  |
| 専門 | 会計記録の研究: Study of Record-keeping and Accounting                         | 中央経済社     | 3,000  |
| 専門 | 株式会社簿記論                                                                 | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | 勘定科目・仕訳事典, 第2版                                                          | 中央経済社     | 3,600  |
| 専門 | 企業簿記の基礎, 第2版                                                            | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 基本簿記教室                                                                  | 中央経済社     | 2,300  |
| 専門 | 現代簿記の原理                                                                 | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | 入門現代簿記                                                                  | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 入門簿記のエッセンス                                                              | 中央経済社     | 1,800  |
| 専門 | 入門簿記講義: ビジュアル版, 改訂版                                                     | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | 簿記ははじめの一步: The First Step of Bookkeeping                                | 中央経済社     | 2,000  |
| 専門 | 基本簿記用語辞典, 6訂版                                                           | 同文館出版     | 1,800  |
| 専門 | 簿記の基本を学ぶ, 第4版                                                           | 同文館出版     | 3,000  |
| 専門 | 初級簿記, 改訂版 (放送大学教材)                                                      | 放送大学教育振興会 | 2,400  |
| 専門 | キャッシュフロー会計の軌跡                                                           | 森山書店      | 2,800  |
| 専門 | IFRSと日本的経営: 何が、本当の課題なのか?!                                               | 清文社       | 2,400  |
| 専門 | IFRS設定の背景: 基本事項の決定・従業員給付                                                | 税務経理協会    | 3,800  |
| 専門 | IFRS設定の背景: 金融商品                                                         | 税務経理協会    | 6,200  |
| 専門 | 会計基準の最前線                                                                | 税務経理協会    | 3,000  |
| 専門 | 国際会計基準の着地点: 田中弘が語るIFRSの真相                                               | 税務経理協会    | 2,200  |
| 専門 | 国際会計基準を学ぶ, 第2版 (わしづかみシリーズ)                                              | 税務経理協会    | 2,200  |
| 専門 | 財務諸表論の基礎, 8訂版                                                           | 税務経理協会    | 4,200  |
| 専門 | 財務諸表論の考え方: 会計基準の背景と論点                                                   | 税務経理協会    | 3,000  |
| 専門 | 新財務諸表論, 第5版                                                             | 税務経理協会    | 3,800  |
| 専門 | 国際財務報告基準 (IFRS) 詳説: iGAAP2016: 第1巻                                      | 第一法規      | 16,000 |
| 専門 | 国際財務報告基準 (IFRS) 詳説: iGAAP2016: 第2巻                                      | 第一法規      | 14,000 |
| 専門 | 国際財務報告基準 (IFRS) 詳説: iGAAP2016: 第3巻                                      | 第一法規      | 14,000 |
| 専門 | IFRSの基盤となる概念フレームワーク入門                                                   | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | IFRS会計学基本テキスト, 第5版                                                      | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | IFRS国際会計基準の基礎, 第5版                                                      | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | IFRS財務会計入門, 新版                                                          | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | エッセンシャルIFRS: Essential International Financial Reporting Standards, 第5版 | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | エッセンシャル連結会計: Consolidation Accounting                                   | 中央経済社     | 2,500  |
| 専門 | ニューベシック連結会計                                                             | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | ベーシック国際会計                                                               | 中央経済社     | 2,900  |
| 専門 | レクチャー財務諸表論                                                              | 中央経済社     | 3,000  |
| 専門 | 英文財務諸表の実務: 日米会計基準の比較と作成方法, 第9版                                          | 中央経済社     | 7,800  |
| 専門 | 会計基準の研究, 増補改訂版                                                          | 中央経済社     | 4,200  |
| 専門 | 会計基準の針路                                                                 | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | 会計基準の読み方Q&A100                                                          | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | 会計基準研究の原点                                                               | 中央経済社     | 5,600  |
| 専門 | 企業会計制度の再構築 (別冊企業会計)                                                     | 中央経済社     | 2,400  |
| 専門 | 国際財務報告の基礎概念                                                             | 中央経済社     | 3,600  |
| 専門 | 国際財務報告基準規定の探究: 金融負債をめぐる議論に基づく考察                                         | 中央経済社     | 4,200  |
| 専門 | 財務諸表会計の基礎: The basics of financial statements accounting                | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 中小企業の会計制度: 日本・欧米・アジア・オセアニアの分析                                           | 中央経済社     | 4,400  |
| 専門 | 統合財務報告制度の形成                                                             | 中央経済社     | 4,000  |
| 専門 | 表解IFRS会計講義                                                              | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | 米国財務会計基準の実務, 第10版                                                       | 中央経済社     | 9,200  |
| 専門 | 連結会計の基礎, 第3版                                                            | 中央経済社     | 3,000  |
| 専門 | 連結会計入門, 第6版                                                             | 中央経済社     | 3,600  |
| 専門 | IFRSはこうなる: 「連単分離」と「任意適用」へ                                               | 東洋経済新報社   | 1,600  |



|    |                                                                         |          |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------|----------|--------|
| 専門 | 最新アメリカの会計原則, 第2版                                                        | 東洋経済新報社  | 4,600  |
| 専門 | The FASB財務会計基準審議会: その政治的メカニズム, 新版                                       | 同文館出版    | 3,600  |
| 専門 | 会計の変革: 財務報告のコンバージェンス、危機および複雑性に関する年代記                                    | 同文館出版    | 3,600  |
| 専門 | テキスト国際会計基準, 第6版                                                         | 白桃書房     | 3,300  |
| 専門 | 会計理論のアポリア: Aporia in Accounting Theory                                  | 同文館出版    | 2,300  |
| 専門 | 引当金会計制度論: 日本における引当金会計制度の史変遷                                             | 森山書店     | 6,500  |
| 専門 | 知的資産の会計: マネジメントと測定・開示, 改訂増補版                                            | 千倉書房     | 3,600  |
| 専門 | 資本会計の基礎概念: 負債・持分の識別と企業再編会計                                              | 中央経済社    | 3,800  |
| 専門 | 負債と資本の会計学: 新株予約権・複合金融商品・ストック・オプションの検討                                   | 中央経済社    | 3,500  |
| 専門 | 利益率の持続性と平均回帰                                                            | 中央経済社    | 4,400  |
| 専門 | のれん会計と減損会計                                                              | 同文館出版    | 3,500  |
| 専門 | 監査判断の実証分析: Empirical Analysis of Audit Judgment and Decision Making     | 千倉書房     | 3,800  |
| 専門 | ケースブック監査論, 第5版 (ライブラリケースブック会計学 6)                                       | 新世社      | 2,500  |
| 専門 | 会計監査本質論                                                                 | 森山書店     | 3,300  |
| 専門 | 監査論を学ぶ, 第2版 (わしづかみシリーズ)                                                 | 税務経理協会   | 2,000  |
| 専門 | 会計倫理の視座: 規範的・教育的・実証的考察                                                  | 千倉書房     | 3,600  |
| 専門 | 監査の原理と原則 (香川大学経済研究叢書 31)                                                | 創成社      | 2,400  |
| 専門 | はじめてまなぶ監査論                                                              | 中央経済社    | 2,300  |
| 専門 | まなびの入門監査論, 新版 第2版                                                       | 中央経済社    | 2,600  |
| 専門 | 会計士監査制度の再構築: The Audit System in Japan for the Public Interest          | 中央経済社    | 4,200  |
| 専門 | 監査・保証業務の総合研究                                                            | 中央経済社    | 5,800  |
| 専門 | 監査意見形成の構造と分析 (明治大学社会科学研究所叢書)                                            | 中央経済社    | 4,000  |
| 専門 | 監査基準論: Auditing standards theory, 第3版                                   | 中央経済社    | 5,600  |
| 専門 | 監査論: 問題演習編, 第2版 (スタンダードテキスト)                                            | 中央経済社    | 2,400  |
| 専門 | 監査論テキスト, 第6版                                                            | 中央経済社    | 2,200  |
| 専門 | 監査論入門: Introduction to AUDIT THEORY, 第3版                                | 中央経済社    | 2,800  |
| 専門 | 財務ディスクロージャーと会計士監査の進化                                                    | 中央経済社    | 11,000 |
| 専門 | 体系監査論: A Theory of Auditing                                             | 中央経済社    | 4,600  |
| 専門 | 関う公認会計士: アメリカにおける150年の軌跡                                                | 中央経済社    | 3,800  |
| 専門 | ベーシック監査論, 7訂版                                                           | 同文館出版    | 3,800  |
| 専門 | 会計監査人論                                                                  | 同文館出版    | 3,200  |
| 専門 | 会計倫理の基礎と実践: 公認会計士の職業倫理                                                  | 同文館出版    | 3,600  |
| 専門 | 監査の現場からの声: 監査品質を高めるために                                                  | 同文館出版    | 2,300  |
| 専門 | 実証的監査理論の構築 (日本監査研究学会リサーチ・シリーズ 9)                                        | 同文館出版    | 3,600  |
| 専門 | 外国企業との取引と税務, 第5版                                                        | 商事法務     | 7,200  |
| 専門 | ドイツ商法現代化と税務会計                                                           | 森山書店     | 3,300  |
| 専門 | 税務会計分析: 税務計画と税務計算の統合                                                    | 森山書店     | 4,200  |
| 専門 | 現代税務会計論                                                                 | 中央経済社    | 3,000  |
| 専門 | 国際税務のよくあるケース50: これだけは押さえておこう, 第2版                                       | 中央経済社    | 2,200  |
| 専門 | 税務会計学辞典, 新版                                                             | 中央経済社    | 5,200  |
| 専門 | 税務会計論: Tax Accounting, 新版 第4版                                           | 中央経済社    | 3,800  |
| 専門 | 税務会計要論, 新訂 第3版                                                          | 同文館出版    | 2,900  |
| 専門 | 税務行動分析                                                                  | 北海道大学出版会 | 5,300  |
| 専門 | 法人税の損金不算入規定                                                             | 中央経済社    | 4,200  |
| 専門 | 海外直接投資の理論・実証研究の新潮流                                                      | 三菱経済研究所  | 2,300  |
| 専門 | 新興市場ビジネス入門: 国際経営のフロンティア                                                 | 中央経済社    | 2,300  |
| 専門 | セカンドブランド戦略: ポリウムゾーンを狙え                                                  | 日本経済評論社  | 2,000  |
| 専門 | 新興国市場戦略論: 拡大する中間層市場へ・日本企業の新戦略 (東京大学ものづくり経営研究シリーズ)                       | 有斐閣      | 4,100  |
| 専門 | 日英関係経営史: 英国企業の現地経営とネットワーク形成 (広島経済大学研究双書 第31冊)                           | 溪水社      | 3,500  |
| 専門 | アジア新興国のビジネス環境比較: カンボジア、ラオス、ミャンマー、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ編 (海外調査シリーズ No.389) | ジェトロ     | 2,500  |
| 専門 | アジアの経営・財務戦略30講: ビジネスチャンスとリスク分析                                          | 晃洋書房     | 2,200  |
| 専門 | 日本企業のアジア・バリューチェーン戦略                                                     | 新評論      | 2,300  |
| 専門 | アジア進出ハンドブック, 新版                                                         | 東洋経済新報社  | 2,400  |
| 専門 | 日本企業のアジア・マーケティング戦略 (マーケティング史研究会実践史シリーズ 7)                               | 同文館出版    | 2,500  |
| 専門 | 実態調査で見た中堅・中小企業のアジア進出戦略「光と陰」                                             | 日刊工業新聞社  | 3,000  |
| 専門 | 実践アジアのインフラ・ビジネス: 最前線の現場から見た制度・市場・企業とファイナンス                              | 日本評論社    | 3,000  |
| 専門 | わかりやすい現地に寄り添うアジアビジネスの教科書: 市場の特徴から「BOPビジネス」の可能性まで                        | 白桃書房     | 2,500  |
| 専門 | アジアからのグローバル経営論, 新版                                                      | 文真堂      | 2,000  |
| 専門 | 成功に導く中小製造企業のアジア戦略                                                       | 文真堂      | 3,400  |

|    |                                                                                               |                  |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 日本企業のアジアFTA活用戦略: TPP時代のFTA活用に向けた指針                                                            | 文真堂              | 2,400 |
| 専門 | グワンシ: 中国人との関係のつくりかた                                                                           | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 1,800 |
| 専門 | 中国ビジネス超入門: 成功への扉を開ける                                                                          | 産業能率大学出版部        | 1,600 |
| 専門 | それでも中国で儲けなければならない日本人へ                                                                         | 成甲書房             | 1,700 |
| 専門 | 中国ビジネスを理解する: 大局をつかむ11の論点                                                                      | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | 中国・インドの戦略的意味: グローバル企業戦略の再構築                                                                   | 同文館出版            | 2,800 |
| 専門 | 弱肉強食の大地: いかに中国内販を成功させるか                                                                       | 日本経済新聞出版社        | 1,900 |
| 専門 | 中国市場戦略: グローバル企業に学ぶ成功の鍵                                                                        | 日本経済新聞出版社        | 2,200 |
| 専門 | 中国市場と日中台ビジネスライアンス                                                                             | 文真堂              | 2,400 |
| 専門 | 日本型ビジネスモデルの中国展開                                                                               | 有斐閣              | 3,200 |
| 専門 | 日本企業の東南アジア進出のルーツと戦略: 戦前期南洋での国際経営と日本人移民の歴史                                                     | 同文館出版            | 3,500 |
| 専門 | タイビジネスと日本企業                                                                                   | 同友館              | 2,000 |
| 専門 | インドネシアはポスト・チャイナとなるのか: アジア巨大市場の10年後                                                            | 同文館出版            | 1,900 |
| 専門 | イスラーム圏ビジネスの法と実務                                                                               | 経済産業調査会          | 3,800 |
| 専門 | 欧州新興市場国への日系企業の進出: 中欧・ロシアの現場から                                                                 | 文真堂              | 2,800 |
| 専門 | アフリカビジネス                                                                                      | 経済産業調査会          | 1,800 |
| 専門 | アメリカ留学公式ガイドブック: 大学・大学院留学を成功に導く: 2018第2版                                                       | アルク              | 1,800 |
| 専門 | 理系大学院留学: アメリカで実現する研究者への道 (留学応援シリーズ-世界にはばたくニッポン人になろう-)                                         | アルク              | 3,200 |
| 専門 | アメリカ大学・大学院留学, 改訂第2版 (地球の歩き方成功する留学)                                                            | ダイヤモンド・ビッグ社      | 2,500 |
| 専門 | 留学・アメリカ大学院への道: 栄陽子留学研究所                                                                       | 三修社              | 2,500 |
| 専門 | 大学院留学のすべて: 最新版                                                                                | 明日香出版社           | 2,500 |
| 専門 | イノベーションのアイデアを生み出す七つの法則                                                                        | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | ものづくりのための創造性トレーニング: 温故創新                                                                      | コロナ社             | 2,500 |
| 専門 | トリーズの発明原理40: あらゆる問題解決に使える(科学的)思考支援ツール                                                         | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 2,400 |
| 専門 | “できる”技術者になる!「問題解決デザイン」のノウハウ                                                                   | 産業能率大学出版部        | 2,000 |
| 専門 | 技術者の仕事の勘所: 問題解決実践力: 問題発見と問題解決の進め方がわかる                                                         | 日科技連出版社          | 2,800 |
| 専門 | 問題解決教育の社内展開: 本場に役立つ社内教育の進め方がわかる                                                               | 日科技連出版社          | 3,200 |
| 専門 | 気付け力が夢を叶える!: 研究開発力を格段に高める思考と実践法 (B&Tブックス)                                                     | 日刊工業新聞社          | 2,000 |
| 専門 | 知ってなアカン!技術者のためのマネジメント思考上達法: わかりやすく・やさしく・役に立つ (B&Tブックス)                                        | 日刊工業新聞社          | 2,200 |
| 専門 | コトラー マーケティングの未来と日本: 時代に先回りする戦略をどう創るか                                                          | KADOKAWA         | 1,800 |
| 専門 | 確率思考の戦略論: USJでも実証された数学マーケティングの力                                                               | KADOKAWA         | 3,200 |
| 専門 | なぜ企業はマーケティング戦略を誤るのか: ビジネスを成功に導く11の理論                                                          | PHP研究所           | 2,000 |
| 専門 | 競争優位を実現するファイブ・ウェイ・ポジショニング戦略                                                                   | イースト・プレス         | 2,200 |
| 専門 | スマートフォンチャンス!: iPhoneとAndroidが生んだ巨大ビジネス市場の攻略法                                                  | インプレスジャパン        | 1,600 |
| 専門 | Rによるデータ駆動マーケティング                                                                              | オーム社             | 2,600 |
| 専門 | マーケティングのための統計分析                                                                               | オーム社             | 2,700 |
| 専門 | マッピングエクスペリエンス: カスタマージャーニー、サービスブループリント、その他ダイアグラムから価値を創る                                        | オラリリー・ジャパン       | 3,600 |
| 専門 | 成功事例に学ぶマーケティング戦略の教科書                                                                          | かんき出版            | 2,000 |
| 専門 | 全史×成功事例で読む「マーケティング」大全: the Complete book of Marketing the whole history and success stories   | かんき出版            | 3,200 |
| 専門 | 超入門コトラーの「マーケティング・マネジメント」                                                                      | かんき出版            | 1,600 |
| 専門 | 技術マーケティングとインテリジェンス (情報・技術経営シリーズ 14)                                                           | コロナ社             | 3,000 |
| 専門 | Facebookマーケティング: How to Optimize Social Media Marketing in the Facebook Era                   | ソフトバンククリエイティブ    | 1,600 |
| 専門 | ビッグデータ時代の新マーケティング思考                                                                           | ソフトバンククリエイティブ    | 1,600 |
| 専門 | 顧客の心に火をつける!: トライブを生み出すSNSプラットフォームの作り方                                                         | ソフトバンククリエイティブ    | 1,600 |
| 専門 | 超高齢社会マーケティング: 8つのキーワードで攻略する新・注目市場の脈脈 (DIAMOND流通選書)                                            | ダイヤモンド・フリードマン社   | 2,000 |
| 専門 | ウソはバレる: 「定説」が通用しない時代の新しいマーケティング                                                               | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | ザ・マーケティング: 激変する環境で通用する唯一の教科書: 基本篇                                                             | ダイヤモンド社          | 3,800 |
| 専門 | ザ・マーケティング: 激変する環境で通用する唯一の教科書: 実践篇                                                             | ダイヤモンド社          | 3,800 |
| 専門 | シニアシフトの衝撃: 超高齢社会をビジネスチャンスに変える方法                                                               | ダイヤモンド社          | 1,600 |
| 専門 | ソーシャル時代のブランドコミュニティ戦略: つながる。発信する。共に創るためのプラットフォーム構築法                                            | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | なぜ脳は「なんとなく」で買ってしまうのか?: ニューロマーケティングで変わる5つの常識                                                   | ダイヤモンド社          | 1,600 |
| 専門 | ブランドで競争する技術: 名前は知られているのに、なぜ売れないのか                                                             | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | ブランド論: 無形の差別化をつくる20の基本原則                                                                      | ダイヤモンド社          | 2,400 |
| 専門 | マーケティングの教科書: ハーバード・ビジネス・レビュー戦略マーケティング論文ベスト10 (Harvard Business Review DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー) | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 経営はデザインそのものである                                                                                | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 日本企業はモノづくりに至上主義で生き残れるか: 「スーパー現場」が顧客情報をキャッシュに変える                                               | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 買い物客はそのキーワードで手を伸ばす: 深層心理で消費者インサイトを見抜く「価値創造型プロモーション」                                           | ダイヤモンド社          | 1,600 |
| 専門 | 未来の売れ筋発掘学: データマイニングを超えた価値センシングの技術                                                             | ダイヤモンド社          | 2,400 |
| 専門 | ジョブ理論: イノベーションを予測可能にする消費のメカニズム                                                                | ハーバー・コリンズ・ジャパン   | 2,000 |

|    |                                                             |              |       |
|----|-------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 専門 | THIS IS SERVICE DESIGN THINKING: Basics…Tools…Cases         | ピー・エヌ・エヌ新社   | 3,400 |
| 専門 | これからのマーケティングに役立つ、サービス・デザイン入門。商品開発・サービスに革新を巻き起こす。顧客目線のビジネス戦略 | ピー・エヌ・エヌ新社   | 1,600 |
| 専門 | ストーリーマッピングをはじめよう: あらゆる体験(UX)は一本の物語                          | ピー・エヌ・エヌ新社   | 2,300 |
| 専門 | ビジネスで活かすサービスデザイン: 顧客体験を最大化するための実践ガイド                        | ピー・エヌ・エヌ新社   | 2,300 |
| 専門 | スベンド・シフト: 〈希望〉をもちたらず消費                                      | ブレジデント社      | 1,800 |
| 専門 | ケースで学ぶマーケティング, 第2版 (MINERVA TEXT LIBRARY 20)                | ミネルヴァ書房      | 3,200 |
| 専門 | ブランド戦略から学ぶマーケティング: 消費者の視点から企業戦略を知る                          | ミネルヴァ書房      | 2,800 |
| 専門 | よくわかる現代マーケティング (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)                       | ミネルヴァ書房      | 2,200 |
| 専門 | 子ども消費者へのマーケティング戦略: 熾烈化する子どもビジネスにおける自制と規制                    | ミネルヴァ書房      | 4,500 |
| 専門 | 実践的グローバル・マーケティング (シリーズ・ケースで読み解く経営学 2)                       | ミネルヴァ書房      | 2,000 |
| 専門 | 北欧型サービス志向のマネジメント: 競争を生き抜くマーケティングの新潮流                        | ミネルヴァ書房      | 4,200 |
| 専門 | 未来を創造する国際マーケティング戦略論: 標準化・適応化戦略の理論と実践                        | ミネルヴァ書房      | 3,600 |
| 専門 | ネクスト・マーケット: 「貧困層」を「顧客」に変える次世代ビジネス戦略, 増補改訂版 (ウォートン経営戦略シリーズ)  | 英治出版         | 3,200 |
| 専門 | 機会発見: 生活者起点で市場をつくる                                          | 英治出版         | 1,900 |
| 専門 | あのサービスが選ばれる理由: サービス・マーケティングのバイブル!                           | 海と月社         | 1,600 |
| 専門 | すべては「売る」ために: 利益を徹底追求するマーケティング                               | 海と月社         | 1,800 |
| 専門 | 独自性の発見: 消費者の心をつかむ唯一の方法                                      | 海と月社         | 1,800 |
| 専門 | マーケティング戦略論                                                  | 学文社          | 2,300 |
| 専門 | マールコム・モード論: MarCom Mode                                     | 学文社          | 2,300 |
| 専門 | 戦略的マーケティングの思考: Thinking of Strategic Marketing              | 学文社          | 2,300 |
| 専門 | カテゴリーの役割と構造: ブランドとライフスタイルをつなぐもの                             | 関西学院大学出版会    | 2,800 |
| 専門 | コラー＆ケラーのマーケティング・マネジメント: 基本編                                 | 丸善出版         | 3,800 |
| 専門 | コラー＆ケラーのマーケティング・マネジメント                                      | 丸善出版         | 8,500 |
| 専門 | コラー、アームストロング、恩蔵のマーケティング原理                                   | 丸善出版         | 4,800 |
| 専門 | コラーのマーケティング入門                                               | 丸善出版         | 7,600 |
| 専門 | サービスデザイン: ユーザーエクスペリエンスから事業戦略をデザインする                         | 丸善出版         | 2,400 |
| 専門 | ソロモン消費者行動論, ハードカバー版                                         | 丸善出版         | 8,800 |
| 専門 | ソロモン消費者行動論: 上                                               | 丸善出版         | 3,200 |
| 専門 | ソロモン消費者行動論: 中                                               | 丸善出版         | 2,800 |
| 専門 | ソロモン消費者行動論: 下                                               | 丸善出版         | 3,200 |
| 専門 | 価値づくりマーケティング: 需要創造のための実践知                                   | 丸善出版         | 2,800 |
| 専門 | マーケティング思考の可能性                                               | 岩波書店         | 3,400 |
| 専門 | 集客の科学                                                       | 技報堂出版        | 3,000 |
| 専門 | サービスデザイン: フレームワークと事例で学ぶサービス構築                               | 共立出版         | 3,200 |
| 専門 | 国際的消費者行動論: マーケティング戦略策定へのインパクト                               | 九州大学出版会      | 2,800 |
| 専門 | マーケティングと消費者 (入門消費経済学 5)                                     | 慶應義塾大学出版会    | 2,900 |
| 専門 | マーケティングの理論と戦略                                               | 五絃舎          | 2,500 |
| 専門 | マーケティング論                                                    | 五絃舎          | 2,200 |
| 専門 | 戦略的マーケティング・マネジメント                                           | 五絃舎          | 2,200 |
| 専門 | プレステップマーケティング, 新版 (PRE-STEP 04)                             | 弘文堂          | 1,800 |
| 専門 | グリーン⇄ゴールデンマーケティング: Green⇄Golden Marketing                   | 晃洋書房         | 2,300 |
| 専門 | ブランド価値創造戦略に求められるもの: 目に見えるものを通して目に見えない何かを捉える (阪南大学叢書 105)    | 晃洋書房         | 3,500 |
| 専門 | マーケティング, 交換取引                                               | 晃洋書房         | 2,500 |
| 専門 | マーケティングの理論と実際: 基礎理論から参加型マーケティング構築まで                         | 晃洋書房         | 2,400 |
| 専門 | 経験の社会経済: 事例から読み解く感動価値                                       | 晃洋書房         | 2,400 |
| 専門 | 地場産業の高価格ブランド戦略: 朝日酒蔵・スノーピーク・ゼニス・ウブロに見る感性価値創造                | 晃洋書房         | 2,200 |
| 専門 | データサイエンティストが創る未来: これからの医療・農業・産業・経営・マーケティング                  | 関談社          | 2,000 |
| 専門 | ホワイトスペース戦略: ビジネスモデルの〈空白〉をねらえ                                | 阪急コミュニケーションズ | 1,900 |
| 専門 | メーカーの知らない「95%」: 消費者の「買いたい!」を作り出す実践脳科学                       | 阪急コミュニケーションズ | 2,000 |
| 専門 | ヤバい予測学: 「何を買うか」からいつ死ぬか」まであなたの行動はすべて読まれている                   | 阪急コミュニケーションズ | 2,000 |
| 専門 | 本当のブランド理念について語ろう: 「志の高さ」を成長に変えた世界のトップ企業50                   | 阪急コミュニケーションズ | 2,000 |
| 専門 | デジタル・ワークシフト: マーケティングを変えるキーワード30                             | 産学社          | 2,200 |
| 専門 | ソーシャル・プロダクト・マーケティング: 社会に良い。信頼されるブランドをつくる3つの方法               | 産業能率大学出版部    | 1,700 |
| 専門 | マーケティング・イノベーション: これからのマーケティングがわかる                           | 産業能率大学出版部    | 2,000 |
| 専門 | 老舗: 時代を超えて愛される秘密                                            | 産業能率大学出版部    | 1,600 |
| 専門 | マーケティングの基礎 (First Stageシリーズ 商業・経済)                          | 実教出版         | 1,700 |
| 専門 | 現代マーケティング論, 第2版 (専門基礎ライブラリー)                                | 実教出版         | 1,900 |
| 専門 | コア・テキストマーケティング (ライブラリ経営学コア・テキスト 9)                          | 新世社          | 2,400 |
| 専門 | マーケティング: Marketing, 第3版 (基礎コース 経営学 5)                       | 新世社          | 2,300 |

|    |                                                             |         |       |
|----|-------------------------------------------------------------|---------|-------|
| 専門 | マーケティング・オン・ビジネス: 基礎からわかるマーケティングと経営                          | 新世社     | 2,100 |
| 専門 | イノベーションの消費者行動                                               | 成文堂     | 3,400 |
| 専門 | サービス・マーケティング: サービス商品の開発と顧客価値の創造, 第2版                        | 生産性出版   | 2,500 |
| 専門 | メディアの循環「伝えるメカニズム」(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書 14)            | 生産性出版   | 2,000 |
| 専門 | モダン・マーケティング・リテラシー: MODERN MARKETING LITERACY                | 生産性出版   | 2,800 |
| 専門 | 市場における欺瞞的説得: 消費者保護の心理学                                      | 誠信書房    | 4,000 |
| 専門 | 「売る」から、「売れる」へ。: 水野学のブランディングデザイン講義                           | 誠文堂新光社  | 1,600 |
| 専門 | ブランディング戦略: ブランディングの基礎と実践 (広告キャリアアップシリーズ 2)                  | 誠文堂新光社  | 1,800 |
| 専門 | エリア・マーケティングアーキテクチャー: Area Marketing Architecture, 増補版       | 税務経理協会  | 3,200 |
| 専門 | 1からのグローバル・マーケティング                                           | 碩学舎     | 2,400 |
| 専門 | 1からのマーケティング・デザイン                                            | 碩学舎     | 2,400 |
| 専門 | 1からのマーケティング分析                                               | 碩学舎     | 2,400 |
| 専門 | 1からの消費者行動                                                   | 碩学舎     | 2,400 |
| 専門 | グローバル・ブランディング: モノづくりからブランドづくりへ (SGビジネス双書)                   | 碩学舎     | 1,800 |
| 専門 | ことばとマーケティング: 「癒し」ブームの消費社会史 (碩学叢書)                           | 碩学舎     | 3,400 |
| 専門 | コラー8つの成長戦略: 低成長時代に勝残る戦略的マーケティング (SGビジネス双書)                  | 碩学舎     | 1,800 |
| 専門 | コラー世界都市間競争: マーケティングの未来 (SGビジネス双書)                           | 碩学舎     | 2,400 |
| 専門 | ビジョナリー・マーケティング: Think Differentな会社たち (SGビジネス双書)             | 碩学舎     | 2,000 |
| 専門 | マーケティング・ケーススタディ: Marketing Case Study (SGビジネス双書)            | 碩学舎     | 3,000 |
| 専門 | マーケティング戦略は、なぜ実行でつまづくのか: 実践のための新しい理論とモデルの探究 (碩学叢書)           | 碩学舎     | 3,400 |
| 専門 | メガブランド: グローバル市場の価値創造戦略 (碩学叢書)                               | 碩学舎     | 3,400 |
| 専門 | 寄り添う力: マーケティングをプラグマティズムの視点から (SGビジネス双書)                     | 碩学舎     | 1,800 |
| 専門 | 新しい公共・非営利のマーケティング: 関係性にもとづくマネジメント (碩学叢書)                    | 碩学舎     | 3,400 |
| 専門 | グローバル・マーケティング・コミュニケーション                                     | 千倉書房    | 4,300 |
| 専門 | ネットワークと消費者行動                                                | 千倉書房    | 3,200 |
| 専門 | 消費者行動の多国間分析: 原産国イメージとブランド戦略                                 | 千倉書房    | 3,200 |
| 専門 | 消費者行動研究と方法                                                  | 千倉書房    | 3,200 |
| 専門 | 消費者購買意思決定とクチコミ行動: 説得メカニズムからの解明                              | 千倉書房    | 3,600 |
| 専門 | 成熟消費時代の生活者起点マーケティング: 流通・マーケティングの新たな可能性                      | 千倉書房    | 2,400 |
| 専門 | 日本発のマーケティング                                                 | 千倉書房    | 3,600 |
| 専門 | R3コミュニケーション: 消費者との「協働」による新しいコミュニケーションの可能性                   | 宣伝会議    | 1,600 |
| 専門 | フェイスブックインパクト: つながりを変える企業戦略                                  | 宣伝会議    | 1,600 |
| 専門 | 体験デザインブランディング: コトの時代の、モノの価値の作り方                             | 宣伝会議    | 1,600 |
| 専門 | 現代マーケティング論                                                  | 泉文堂     | 2,600 |
| 専門 | グローバル・マーケティング: Global Marketing, 第5版                        | 創成社     | 1,800 |
| 専門 | サービス・マーケティング: SERVICE MARKETING                             | 創成社     | 2,000 |
| 専門 | 企業ブランド・マネジメント戦略: CEO・企業・製品間のブランド価値創造のリンケージ                  | 創成社     | 4,000 |
| 専門 | 現代マーケティングの基礎知識, 改訂版                                         | 創成社     | 2,300 |
| 専門 | 現代マーケティングの新潮流: 脱コモディティへの道                                   | 創成社     | 1,700 |
| 専門 | 現代マーケティング論: 戦略的アプローチ                                        | 創成社     | 3,000 |
| 専門 | 現代消費者行動論, 第4版                                               | 創成社     | 2,600 |
| 専門 | 消費入門: 消費者の心理と行動,そして、文化・社会・経済                                | 創成社     | 2,500 |
| 専門 | ファンダム・レボリューション: SNS時代の新たな熱狂                                 | 早川書房    | 1,700 |
| 専門 | 彼女はなぜ「それ」を選ぶのか?: 世界で売れる秘密                                   | 早川書房    | 1,800 |
| 専門 | BtoB事業のための成分ブランディング: 製品開発と組織購買への応用                          | 中央経済社   | 2,800 |
| 専門 | ケースに学ぶ青山企業のマーケティング戦略                                        | 中央経済社   | 2,900 |
| 専門 | マーケティング理論の焦点: 企業・消費者・交換                                     | 中央経済社   | 3,200 |
| 専門 | 価格の掟: ザ・プライシングマンと呼ばれた男の告白                                   | 中央経済社   | 2,800 |
| 専門 | 企業ブランディング: 新世代マーケティング                                       | 中央経済社   | 2,400 |
| 専門 | 現代マーケティング: IGT時代の新しいコミュニケーション                               | 中央経済社   | 3,200 |
| 専門 | 消費者行動論 (ベーシック+)                                             | 中央経済社   | 2,400 |
| 専門 | 戦略的ブランド経営                                                   | 中央経済社   | 2,500 |
| 専門 | 脱「コモディティ化」の競争戦略                                             | 中央経済社   | 1,800 |
| 専門 | 中小企業マーケティング                                                 | 中央経済社   | 2,600 |
| 専門 | 現代社会の変容による人間行動の変化について: 消費行動の変容を中心として (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 18) | 中央大学出版部 | 2,600 |
| 専門 | FREE経済が日本を変える: 「無料」で儲ける人たちだけが知っていること                        | 中経出版    | 1,600 |
| 専門 | ブランド評価手法: マーケティング視点によるアプローチ (シリーズマーケティング・エンジニアリング 5)        | 朝倉書店    | 3,400 |
| 専門 | 消費者行動のモデル (シリーズマーケティング・エンジニアリング 3)                          | 朝倉書店    | 3,200 |
| 専門 | コラーのマーケティング4.0: スマートフォン時代の究極法則                              | 朝日新聞出版  | 2,400 |

|    |                                                                                   |           |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | ハーバード流ソーシャルメディア・プラットフォーム戦略                                                        | 朝日新聞出版    | 2,500 |
| 専門 | エッセンシャル戦略的ブランド・マネジメント、第4版                                                         | 東急エージェンシー | 4,000 |
| 専門 | 戦略的ブランド・マネジメント、第3版                                                                | 東急エージェンシー | 7,600 |
| 専門 | マーケティング・サイエンスのトップランナーたち: 統計的予測とその実践事例                                             | 東京図書      | 2,400 |
| 専門 | クチコミとネットワークの社会心理: 消費と普及のサービスイノベーション研究                                             | 東京大学出版会   | 3,200 |
| 専門 | B to Bマーケティング: 日本企業のための成長シナリオ                                                     | 東洋経済新報社   | 2,800 |
| 専門 | グッドワークス!                                                                          | 東洋経済新報社   | 2,200 |
| 専門 | デジタルマーケティングの教科書: 5つの進化とフレームワーク                                                    | 東洋経済新報社   | 2,000 |
| 専門 | なぜ、あの「音」を聞く和買いたくなるのか: サウンド・マーケティング戦略                                              | 東洋経済新報社   | 2,400 |
| 専門 | なぜ、日本人は考えずにモノを買いたいのか?: 1万人の時系列データでわかる日本の消費者                                       | 東洋経済新報社   | 1,600 |
| 専門 | マーケティング思考法: 考えて行動するための実践的引手書                                                      | 東洋経済新報社   | 2,400 |
| 専門 | モバイルパワーの衝撃: スマートフォン時代の事業モデル革命                                                     | 東洋経済新報社   | 1,600 |
| 専門 | ラグジュアリー戦略: 真のラグジュアリーブランドをいかに構築しマネジメントするか                                          | 東洋経済新報社   | 4,800 |
| 専門 | 価値創造の思考法                                                                          | 東洋経済新報社   | 1,600 |
| 専門 | 実践B to Bマーケティング: 法人営業成功の条件                                                        | 東洋経済新報社   | 2,200 |
| 専門 | 戦略としてのブランド: 「コンセプト」×「オペレーション」×「組織」でつくる成功の方程式                                      | 東洋経済新報社   | 2,400 |
| 専門 | 戦略的産業財マーケティング: B2B営業成功の7つのステップ                                                    | 東洋経済新報社   | 3,400 |
| 専門 | 4A・オブ・マーケティング: 顧客・企業・社会のための新価値創造                                                  | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | ケースブック価値共創とマーケティング論                                                               | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | コミュニケーション・マーケティング: Communication Marketing (DO BOOKS マーケティング・ベーシック・セクション・シリーズ)    | 同文館出版     | 1,800 |
| 専門 | コンテンツがブランドを創る: 文化のコミュニケーションが生む可能性                                                 | 同文館出版     | 2,200 |
| 専門 | サービス・ドミナント・ロジックの進展: 価値共創プロセスと市場形成                                                 | 同文館出版     | 3,500 |
| 専門 | サービス・ドミナント・ロジックの発想と応用                                                             | 同文館出版     | 3,800 |
| 専門 | ターゲット・マーケティング: Target Marketing (DO BOOKS マーケティング・ベーシック・セクション・シリーズ)               | 同文館出版     | 2,000 |
| 専門 | プラットフォーム時代のイノベーション: クローズドからオープンビジネスモデルへの進化                                        | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | ブランド・マーケティング: Brand Marketing (DO BOOKS マーケティング・ベーシック・セクション・シリーズ)                 | 同文館出版     | 1,800 |
| 専門 | ブランド戦略・ケースブック: ブランドはなぜ成功し、失敗するのか                                                  | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | ベーシック・マーケティング: 理論から実践まで                                                           | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | マーケティングは進化する: クリエイティブなMarketingの発想                                                | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | 異文化マネジメントの理論と実践                                                                   | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | 価値共創とマーケティング論                                                                     | 同文館出版     | 2,700 |
| 専門 | 現代マーケティング総論                                                                       | 同文館出版     | 2,600 |
| 専門 | 現代マーケティング入門                                                                       | 同文館出版     | 2,500 |
| 専門 | 顧客起点のマーケティング・システム                                                                 | 同文館出版     | 3,500 |
| 専門 | 国際マーケティング講義: The Lecture on International Marketing                               | 同文館出版     | 2,300 |
| 専門 | 国際マーケティング論の系譜と新展開                                                                 | 同文館出版     | 3,400 |
| 専門 | 消費者ニーズ・ハンドブック: ロングセラー商品を生み出す240の法則                                                | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | 消費者行動論: Consumer Behavior、第2版                                                     | 同文館出版     | 3,400 |
| 専門 | 消費者心理のしくみ: ヒット商品を生む! (DO BOOKS ビジュアル図解)                                           | 同文館出版     | 1,800 |
| 専門 | 戦略的マーケティング (DO BOOKS マーケティング・ベーシック・セクション・シリーズ)                                    | 同文館出版     | 1,900 |
| 専門 | 戦略的マーケティングの構図: マーケティング研究における現代的諸問題                                                | 同文館出版     | 3,800 |
| 専門 | 中小企業マーケティングの構図: The Structure of Marketing for Small and Medium-sized Enterprises | 同文館出版     | 2,800 |
| 専門 | 日本は次に何を売るか                                                                        | 同文館出版     | 2,200 |
| 専門 | 日本企業は次に何を学ぶべきか                                                                    | 同文館出版     | 1,900 |
| 専門 | カプフェレ教授のラグジュアリー論: いかにラグジュアリーブランドが成長しながら稀少であり続けるか                                  | 同友館       | 2,800 |
| 専門 | マーケティングの諸問題                                                                       | 同友館       | 2,900 |
| 専門 | リレーションシップ・マーケティング: 消費者経験アプローチ                                                     | 同友館       | 2,800 |
| 専門 | 遊び概念と消費者行動                                                                        | 同友館       | 2,800 |
| 専門 | グレイトフル・デッドにマーケティングを学ぶ                                                             | 日経BP社     | 1,700 |
| 専門 | シェアリングエコノミー: Airbnb、Uber!に続くユーザー主導の新ビジネスの全貌                                       | 日経BP社     | 2,000 |
| 専門 | データ・サイエンティストに学ぶ「分析力」: ビッグデータからビジネス・チャンスをつかむ                                       | 日経BP社     | 2,000 |
| 専門 | ピーター・ドラッカー マーケターの罪と罰                                                              | 日経BP社     | 2,200 |
| 専門 | ビジネス・ツイッター: 世界の企業を変えた140文字の会話メディア                                                 | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門 | リアルタイム・マーケティング: 生き残る企業の即断・即決戦略                                                    | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門 | 世界最先端のマーケティング: 顧客とつながる企業のチャネルシフト戦略                                                | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門 | 超先進企業が駆使するデジタル戦略: データ分析、SNS、クラウドで本当に強くなるための5大原則                                   | 日経BP社     | 2,000 |
| 専門 | 売れる色はこう決まる!: カラー★マーケティング50選                                                       | 日経BP社     | 1,600 |
| 専門 | 3万人調査で読み解く日本の生活者市場: ニューノーマルがわかる88のポイント                                            | 日本経済新聞出版社 | 1,700 |
| 専門 | イノベーションの発想技術: ゲームでひらくビジネスチャンス                                                     | 日本経済新聞出版社 | 1,700 |

|    |                                                                                 |                  |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | カテゴリー・イノベーション: ブランド・レバンスで戦わずして勝つ                                                | 日本経済新聞出版社        | 2,800 |
| 専門 | クール: 脳はなぜ「かっこいい」を買ってしまうのか                                                       | 日本経済新聞出版社        | 2,000 |
| 専門 | コミュニケーション・リーダースhip: 考える技術・伝える技術                                                 | 日本経済新聞出版社        | 2,200 |
| 専門 | シェアリング・エコノミー: Uber、Airbnbが変えた世界                                                 | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | シニアマーケティングはなぜうまくいかないのか: 新しい大人消費が日本を動かす                                          | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | ゼミナールマーケティング入門、第2版                                                              | 日本経済新聞出版社        | 3,200 |
| 専門 | ソーシャルな資本主義: つながりの経営戦略                                                           | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | なぜ「あれ」は流行るのか?: 強力に「伝染」するクチコミはこう作る!                                              | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | ビッグデータ分析Excel新機能で簡単に!                                                           | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | ブランディング7つの原則: 成長企業の世界標準ノウハウ、改訂版                                                 | 日本経済新聞出版社        | 2,800 |
| 専門 | ボイス: ソーシャルの力で会社を変える                                                             | 日本経済新聞出版社        | 1,900 |
| 専門 | マーケティング・メトリクス: 市場創造のための生きた指標ガイド                                                 | 日本経済新聞出版社        | 2,600 |
| 専門 | マーケティング戦略の未来 (ビジネスの未来 4)                                                        | 日本経済新聞出版社        | 2,000 |
| 専門 | マトリックス・マーケティング: 水平思考で市場をつくる                                                     | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 女性市場攻略法: 生活者市場予測が示す広がる消費、縮む消費                                                   | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | 商品よりも、ニュースを売れ!: 情報連鎖を生み出すマーケティング                                                | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | 小さな会社を強くするブランドづくりの教科書                                                           | 日本経済新聞出版社        | 1,600 |
| 専門 | ブランディングの基本: この1冊ですべてわかる                                                         | 日本実業出版社          | 1,600 |
| 専門 | 価格の心理学: なぜ、カフェのコーヒースは「高い」と思わないのか?                                               | 日本実業出版社          | 1,600 |
| 専門 | 買いたがる脳: なぜ、「それ」を選んでしまうのか?                                                       | 日本実業出版社          | 1,750 |
| 専門 | マーケティングに役立つ統計の読み方                                                               | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,600 |
| 専門 | シェア: 〈共有〉からビジネスを生み出す新戦略                                                         | 日本放送出版協会         | 1,900 |
| 専門 | イノベーションの普及における正当化とフレーミングの役割: 「自分へのご褒美」消費の事例から                                   | 白桃書房             | 3,500 |
| 専門 | グローバル・マーケティング零                                                                  | 白桃書房             | 2,500 |
| 専門 | グローバル戦略市場経営: グローバル展開とマーケティング・マネジメントの統合                                          | 白桃書房             | 6,500 |
| 専門 | こだわりと日本人: 若者の新生活感: 選択基準と購買行動                                                    | 白桃書房             | 2,800 |
| 専門 | サービス・ロジックによる現代マーケティング理論: 消費プロセスにおける価値共創へのノルディック学派アプローチ                          | 白桃書房             | 3,500 |
| 専門 | セレブリティ・コミュニケーション戦略: 効果とリスクの実証研究                                                 | 白桃書房             | 3,000 |
| 専門 | ブランド管理論: Global Brand Management (HAKUTO Management)                            | 白桃書房             | 4,700 |
| 専門 | マーケティング・マインドとイノベーション                                                            | 白桃書房             | 3,000 |
| 専門 | マーケティングの批判精神: 持続可能社会の実現を目指して                                                    | 白桃書房             | 2,500 |
| 専門 | マーケティング講義ノート: MARKETING LECTURE NOTE                                            | 白桃書房             | 2,600 |
| 専門 | マーケティング零                                                                        | 白桃書房             | 2,500 |
| 専門 | マーケティング論、改訂版                                                                    | 白桃書房             | 2,600 |
| 専門 | わかりやすい消費者行動論                                                                    | 白桃書房             | 2,600 |
| 専門 | 意味解釈のマーケティング: 人間の学としての探究                                                        | 白桃書房             | 4,200 |
| 専門 | 営業トヨタウェイのグローバル戦略                                                                | 白桃書房             | 2,381 |
| 専門 | 共感ブランド: 場と物語がつくる顧客参加の仕組み                                                        | 白桃書房             | 2,500 |
| 専門 | 産業財マーケティング・マネジメント: 組織購買顧客から構成されるビジネス市場に関する戦略的考察: ケース編 (HAKUTO Management)       | 白桃書房             | 3,800 |
| 専門 | 日本型マーケティングの進化と未来: ビジネスパラダイムの変革とマーケティングの戦略的変革                                    | 白桃書房             | 3,200 |
| 専門 | 流通動態と消費者の時代 (日本流通学会設立25周年記念出版プロジェクト 2)                                          | 白桃書房             | 3,000 |
| 専門 | 贅沢の法則: 消費ユートピアの透視図                                                              | 白桃書房             | 2,315 |
| 専門 | 消費者行動論: 購買心理からニューロマーケティングまで                                                     | 八千代出版            | 2,300 |
| 専門 | 入門   マーケティング論、第5版                                                               | 八千代出版            | 2,500 |
| 専門 | コンテクストデザイン戦略: 価値発現のための理論と実践 (叢書アカデミア 4)                                         | 芙蓉書房出版           | 3,200 |
| 専門 | ブランドデザイン戦略: コンテクスト転換のモデルと事例 (叢書アカデミア 3)                                         | 芙蓉書房出版           | 2,800 |
| 専門 | 新・消費者理解のための心理学                                                                  | 福村出版             | 2,600 |
| 専門 | リレーションシップのマネジメント: Relationship Management (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター叢書 8)        | 文真堂              | 2,600 |
| 専門 | マーケティング (放送大学教材)                                                                | 放送大学教育振興会        | 2,300 |
| 専門 | マーケティング論 (放送大学教材)                                                               | 放送大学教育振興会        | 2,800 |
| 専門 | コース・リレーテッド・マーケティング: 社会貢献をマーケティングに活かす戦略、増補改訂版                                    | 北樹出版             | 2,600 |
| 専門 | グローバル・マーケティング戦略 (有斐閣アルマ Specialized)                                            | 有斐閣              | 2,200 |
| 専門 | ケースに学ぶマーケティング: Introduction to Marketing: Studying through Cases (有斐閣ブックス 473)  | 有斐閣              | 2,200 |
| 専門 | はじめてのマーケティング: MARKETING FOR BEGINNERS (有斐閣ストゥディア)                               | 有斐閣              | 1,800 |
| 専門 | フェイス・トゥ・フェイス・ブック: クチコミ・マーケティングの効果を最大限に高める秘訣                                     | 有斐閣              | 2,600 |
| 専門 | ブランド戦略論: Integrated Brand Strategy: Theory, Practice, & Cases                   | 有斐閣              | 4,000 |
| 専門 | マーケティング: Marketing: Consumer Behavior and Strategy (New Liberal Arts Selection) | 有斐閣              | 3,700 |
| 専門 | マーケティング・エンジニアリング入門 (有斐閣アルマ Specialized)                                         | 有斐閣              | 2,000 |
| 専門 | マーケティング・コンセプトを問い直す: 状況の思考による顧客志向                                                | 有斐閣              | 3,000 |

|    |                                                                               |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | マーケティング・サイエンス入門: 市場対応の科学的マネジメント. 新版 (有斐閣アルマ Specialized)                      | 有斐閣              | 2,100 |
| 専門 | マーケティング・リフレーミング: 視点が変わると価値が生まれる                                               | 有斐閣              | 2,400 |
| 専門 | マーケティングをつかむ. 新版 (TEXTBOOKS TSUKAMU)                                           | 有斐閣              | 2,100 |
| 専門 | マーケティング戦略. 第5版 (有斐閣アルマ Specialized)                                           | 有斐閣              | 2,000 |
| 専門 | リレーションシップ・マーケティング: コミットメント・アプローチによる把握                                         | 有斐閣              | 4,000 |
| 専門 | 外部マーケティング資源としての消費者行動: 市場の異質性から競争優位を獲得する                                       | 有斐閣              | 3,300 |
| 専門 | 感覚マーケティング: 顧客の五感が買い物にどのような影響を与えるのか                                            | 有斐閣              | 2,000 |
| 専門 | 企業と市場と観察者: マーケティング方法論研究の新地平                                                   | 有斐閣              | 3,500 |
| 専門 | 競争を味方につけるマーケティング: 脱コモディティ化のための新発想                                             | 有斐閣              | 1,900 |
| 専門 | 消費者行動論: マーケティングとブランド構築への応用 (有斐閣アルマ Specialized)                               | 有斐閣              | 2,200 |
| 専門 | 日本の消費者はなぜタフなのか: 日本的・現代的特性とマーケティング対応                                           | 有斐閣              | 4,300 |
| 専門 | 日本企業のマーケティング力 (一橋大学日本企業研究センター研究叢書 3)                                          | 有斐閣              | 3,600 |
| 専門 | 日本型マーケティングの新展開                                                                | 有斐閣              | 3,300 |
| 専門 | 入門・マーケティング戦略                                                                  | 有斐閣              | 2,100 |
| 専門 | 宝塚ファンから読み解く(超)高関与消費者へのマーケティング: marketing for ultra-high involvement consumers | 有斐閣              | 2,000 |
| 専門 | 類似性の構造と判断: 他者とと比較が消費者行動を変える                                                   | 有斐閣              | 4,500 |
| 専門 | 消費の美学: 消費者の感性とは何か                                                             | 勁草書房             | 2,200 |
| 専門 | 消費資本主義: 見せびらかしの進化心理学                                                          | 勁草書房             | 3,500 |
| 専門 | 未来洞察のための思考法: シナリオによる問題解決 (KDDI総研叢書 3)                                         | 勁草書房             | 3,200 |
| 専門 | 3Dマーケティングがビジネスを変える: 3D映像/3Dデータ/メタバース/AR/位置情報                                  | 翔泳社              | 1,800 |
| 専門 | EXCELマーケティングリサーチ&データ分析 (ビジネスBUSINESS TECHNIQUE)                               | 翔泳社              | 2,380 |
| 専門 | Facebookブランディング: Facebookを使ってブランドを育てる実践ノウハウ                                   | 翔泳社              | 1,700 |
| 専門 | Facebookマーケティング戦略: Facebook Marketing Strategies                              | 翔泳社              | 1,600 |
| 専門 | インテント・エコノミー: 顧客が支配する経済 (Harvard Business School Press)                        | 翔泳社              | 2,200 |
| 専門 | ウェブPR力: マスコミに頼らないPRとマーケティングの新ルール70                                            | 翔泳社              | 1,890 |
| 専門 | ウェブ動画力: ROI(投資対効果)を最大化する動画マーケティングの実践的ノウハウ96                                   | 翔泳社              | 2,100 |
| 専門 | エンパワード: ソーシャルメディアを最大活用する組織体制 (Harvard Business School Press)                  | 翔泳社              | 2,200 |
| 専門 | キャズム: 新商品をブレイクさせる「超」マーケティング理論. Ver.2増補改訂版                                     | 翔泳社              | 2,000 |
| 専門 | モバイルマーケティングコンサルタント養成講座                                                        | 翔泳社              | 1,800 |
| 専門 | リ・ポジショニング戦略                                                                   | 翔泳社              | 1,680 |
| 専門 | 数字思考力×EXCELでマーケティングの成果を上げる本                                                   | 翔泳社              | 1,600 |
| 専門 | ブランド発展史: The History of Brand Development                                     | 専修大学出版局          | 4,200 |
| 専門 | ブランド創造史: その起源・展開・未来                                                           | 創元社              | 2,200 |
| 専門 | シリーズ・歴史から学ぶマーケティング: 第1巻 マーケティング研究の展開 (マーケティング史研究会学説シリーズ 4)                    | 同文館出版            | 3,500 |
| 専門 | シリーズ・歴史から学ぶマーケティング: 第2巻 日本企業のマーケティング                                          | 同文館出版            | 3,500 |
| 専門 | シリーズ・歴史から学ぶマーケティング: 第3巻 海外企業のマーケティング (マーケティング史研究会実践史シリーズ 6)                   | 同文館出版            | 3,700 |
| 専門 | マーケティング学説史: 日本編, 増補版                                                          | 同文館出版            | 3,500 |
| 専門 | グローバル競争と流通・マーケティング: 流通の変容と新戦略の展開 (現代社会を読む経営学 9)                               | ミネルヴァ書房          | 2,800 |
| 専門 | 先を読むマーケティング: 新しいビジネスモデルの構築に向けて                                                | 同文館出版            | 2,800 |
| 専門 | Rで学ぶ統計データ分析: マーケティングデータを分析しながら正しい理論と分析力を身につける                                 | オーム社             | 2,600 |
| 専門 | ソーシャルメディアクオミ分析入門: Twitter/ブログ/掲示板…に秘められた生活者が本当に求めるものを見つけ方                     | ソフトバンククリエイティブ    | 2,400 |
| 専門 | 「行動観察」の基本: The Fundamentals of Behavior Observation                           | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 課題解決!マーケティング・リサーチ入門: プロに学ぶ「市場の事実」「消費者の心理」「商品の可能性」の調べ方                         | ダイヤモンド社          | 2,400 |
| 専門 | サイレント・ニーズ: ありふれた日常に潜む巨大なビジネスチャンスを探る                                           | 英治出版             | 1,800 |
| 専門 | 「おいしい」のマーケティングリサーチ: 新市場創造への宝探し (SGビジネス双書)                                     | 碩学舎              | 2,200 |
| 専門 | 消費者理解のための定性的マーケティング・リサーチ (SGビジネス双書)                                           | 碩学舎              | 3,000 |
| 専門 | アンケート調査入門: 失敗しない顧客情報の読み方・まとめ方                                                 | 東京図書             | 2,400 |
| 専門 | ビッグデータの使い方・活かし方: マーケティングにおける活用事例                                              | 東京図書             | 2,200 |
| 専門 | スピリチュアル市場の研究: データで読む急拡大マーケットの真実                                               | 東洋経済新報社          | 1,800 |
| 専門 | マーケティング・リサーチ: Marketing Research (DO BOOKS マーケティング・ベーシック・セレクション・シリーズ)         | 同文館出版            | 1,900 |
| 専門 | 図解インターネット・リサーチのことがわかる本 (DO BOOKS)                                             | 同文館出版            | 1,700 |
| 専門 | アンケート調査の計画・分析入門: JUSE-StatWorksオフィシャルテキスト (実務に役立つシリーズ 5)                      | 日科技連出版社          | 2,900 |
| 専門 | 世代×性別×ブランドで切る!: 3万人調査が語るニッポンの消費生活. 第5版                                        | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | 団塊シニアの諸相: 調査報告書                                                               | 日本経済新聞社産業地域研究所   | 8,000 |
| 専門 | 心理マーケティングの基本: この1冊ですべてわかる                                                     | 日本実業出版社          | 2,000 |
| 専門 | 図解マーケティングリサーチの進め方がわかる本: 企画設計から調査票の作成・実査・集計・分析・報告書作成まで                         | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,600 |
| 専門 | マーケティングリサーチの論理と技法. 第4版                                                        | 日本評論社            | 3,300 |
| 専門 | リサーチ・ビジョン: マーケティング・リサーチの実践                                                    | 白桃書房             | 2,500 |
| 専門 | 現代マーケティング・リサーチ: 市場を読み解くデータ分析                                                  | 有斐閣              | 2,700 |

|    |                                                                           |                               |        |
|----|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------|
| 専門 | パーソナルプロジェクトマネジメント: PMでONでもOFFでも結果を出す. 増補改訂版                               | 日経BP社                         | 1,700  |
| 専門 | 暗号技術入門: 秘密の国のアリス. 第3版                                                     | SBクリエイティブ                     | 3,000  |
| 専門 | 暗号とセキュリティ (新インターユニバーシティ)                                                  | オーム社                          | 2,300  |
| 専門 | Pythonで学ぶ実践画像・音声処理入門                                                      | コロナ社                          | 2,500  |
| 専門 | ゲーム情報学概論: ゲームを切り拓く人工知能                                                    | コロナ社                          | 3,000  |
| 専門 | 音声言語処理と自然言語処理: Spoken Language Processing and Natural Language Processing | コロナ社                          | 2,800  |
| 専門 | 暗号のための代数入門 (Computer Science Library 5)                                   | サイエンス社                        | 1,950  |
| 専門 | NATURE OF CODE: Processingではじめる自然現象のシミュレーション                              | ポーンデジタル                       | 3,600  |
| 専門 | シミュレーション: Simulation (未来へつなぐデジタルシリーズ 18)                                  | 共立出版                          | 2,800  |
| 専門 | 現代暗号のしくみ: 共通鍵暗号,公開鍵暗号から高機能暗号まで (共立スマートセレクション 12)                          | 共立出版                          | 1,600  |
| 専門 | 公開鍵暗号の数理 (シリーズ応用数理 第2巻)                                                   | 共立出版                          | 3,500  |
| 専門 | オリジナルの画像認識AIを簡単に作る!                                                       | 秀和システム                        | 2,000  |
| 専門 | クラウドを支えるこれからの暗号技術: Applied Cryptography for the Cloud                     | 秀和システム                        | 2,800  |
| 専門 | 暗号の数学: シーザー暗号・公開鍵・量子暗号…                                                   | 青土社                           | 3,200  |
| 専門 | 情報システム入門: 社会を守る暗号セキュリティ編                                                  | 日科技連出版社                       | 2,600  |
| 専門 | 知能情報工学入門: ソフトコンピューティングの基礎理論 (実用理工学入門講座)                                   | 日新出版                          | 2,700  |
| 専門 | 代数学から学ぶ暗号理論: 整数論の基礎から楕円曲線暗号の実装まで                                          | 日本評論社                         | 3,200  |
| 専門 | 暗号技術のすべて: CIPHER and CODE: ALGORITHMS FOR SECURE SYSTEMS                  | 翔泳社                           | 3,500  |
| 専門 | サイバネティクス全史: 人類は思考するマシンに何を夢見たのか                                            | 作品社                           | 3,600  |
| 専門 | よくわかる人工知能: 最先端の人だけが知っているディープラーニングのひみつ                                     | KADOKAWA                      | 1,700  |
| 専門 | 人工知能プログラミングのための数学がわかる本                                                    | KADOKAWA                      | 2,500  |
| 専門 | シンギュラリティ: 人工知能から超知能へ                                                      | NTT出版                         | 2,400  |
| 専門 | データ分析のための機械学習入門: Pythonで勘し、理解できる, 人工知能技術 (Informatics & IDEA)             | SBクリエイティブ                     | 2,580  |
| 専門 | Artificial Intelligence: A Non-Technical Introduction                     | Sophia University Press上智大学出版 | 2,100  |
| 専門 | Deep Learning Javaプログラミング: 深層学習の理論と実装 (impress top gear)                  | インプレス                         | 3,400  |
| 専門 | Machine Learning実践の極意: 機械学習システム構築の勘所をつかむ! (impress top gear)              | インプレス                         | 3,400  |
| 専門 | Python機械学習プログラミング: 達人データサイエンティストによる理論と実践. 第2版 (impress top gear)          | インプレス                         | 4,000  |
| 専門 | Rではじめる機械学習: データサイズを抑えて軽量な環境で攻略法を探る (impress top gear)                     | インプレス                         | 3,600  |
| 専門 | TensorFlowではじめるDeepLearning実装入門: 実務で役に立つ深層学習の知識を収録 (impress top gear)     | インプレス                         | 2,600  |
| 専門 | TensorFlow機械学習クックブック: Pythonベースの活用レシピ60+ (impress top gear)               | インプレス                         | 4,200  |
| 専門 | いちばんやさしい機械学習プロジェクトの教本: 人気講師が教える仕事にAIを導入する方法                               | インプレス                         | 1,800  |
| 専門 | エンジニアのためのAI入門 (Think IT BOOKS)                                            | インプレス                         | 2,200  |
| 専門 | 不確実性人工知能: クラウド環境による新たな発展                                                  | エヌ・ティー・エス                     | 36,000 |
| 専門 | シンキング・マシン: 人工知能の脅威・コンピュータに「心」が宿るとき。                                       | エムティエヌコーポレーション                | 1,800  |
| 専門 | AIによる大規模データ処理入門                                                           | オーム社                          | 2,800  |
| 専門 | Chainer v2による実践深層学習 (ディープラーニング): 複雑なNNの実装方法                               | オーム社                          | 2,500  |
| 専門 | Chainerによる実践深層学習 (ディープラーニング): 複雑なNNの実装方法                                  | オーム社                          | 2,400  |
| 専門 | Excelで学ぶ進化計算: ExcelによるGAシミュレーション                                          | オーム社                          | 3,200  |
| 専門 | Pythonによる機械学習入門                                                           | オーム社                          | 2,600  |
| 専門 | Rによる機械学習入門                                                                | オーム社                          | 2,600  |
| 専門 | これだけは知っておきたいデータサイエンスの基本がわかる本                                              | オーム社                          | 2,000  |
| 専門 | はじめてのAIアプリケーション: C言語で作るネットワークエージェントと機械学習                                  | オーム社                          | 2,400  |
| 専門 | はじめての機械学習                                                                 | オーム社                          | 2,600  |
| 専門 | 強化学習と深層学習: C言語によるシミュレーション                                                 | オーム社                          | 2,600  |
| 専門 | 坂本真樹先生が教える人工知能がほほほわかる本                                                    | オーム社                          | 1,800  |
| 専門 | 実装ディープラーニング                                                               | オーム社                          | 3,200  |
| 専門 | 進化計算 (ニューロエボリューション)と深層学習 (ディープラーニング): 創発する知能                              | オーム社                          | 2,700  |
| 専門 | 進化計算アルゴリズム入門: 生物の行動科学から導く最適解                                              | オーム社                          | 2,700  |
| 専門 | 人工知能. 改訂2版 (IT Text)                                                      | オーム社                          | 2,800  |
| 専門 | 人工知能と社会: 2025年の未来予想                                                       | オーム社                          | 1,800  |
| 専門 | 人工知能と人工生命の基礎: Artificial Intelligence & Artificial Life                   | オーム社                          | 2,800  |
| 専門 | 人工知能の基礎. 第2版                                                              | オーム社                          | 2,900  |
| 専門 | 人工知能の創発: 知能の進化とシミュレーション                                                   | オーム社                          | 2,800  |
| 専門 | Mahoutイン・アクション                                                            | オライリー・ジャパン                    | 4,000  |
| 専門 | Pythonではじめる機械学習: scikit-learnで学ぶ特徴量エンジニアリングと機械学習の基礎                       | オライリー・ジャパン                    | 3,400  |
| 専門 | scikit-learnとTensorFlowによる実践機械学習                                          | オライリー・ジャパン                    | 4,500  |
| 専門 | ゼロから作るDeep Learning: Pythonで学ぶディープラーニングの理論と実装                             | オライリー・ジャパン                    | 3,400  |
| 専門 | 仕事ではじめる機械学習                                                               | オライリー・ジャパン                    | 2,800  |
| 専門 | 実践Deep Learning: PythonとTensorFlowで学ぶ次世代の機械学習アルゴリズム                       | オライリー・ジャパン                    | 3,600  |

|    |                                                                  |             |       |
|----|------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 専門 | 実践コンピュータビジョン                                                     | オライリー・ジャパン  | 3,000 |
| 専門 | 実践機械学習システム                                                       | オライリー・ジャパン  | 3,200 |
| 専門 | 入門機械学習                                                           | オライリー・ジャパン  | 3,200 |
| 専門 | スパースモデリングって何だ?: データ構造を解き明かす先端技法 (テクノロジーを知る 7)                    | カットシステム     | 1,600 |
| 専門 | Javaによる知能プログラミング入門、改訂                                            | コロナ社        | 2,700 |
| 専門 | Pythonで体験する深層学習: Caffe, Theano, Chainer, TensorFlow              | コロナ社        | 3,700 |
| 専門 | マルチエージェントによる自律ソフトウェア設計・開発 (マルチエージェントシリーズ B-2)                    | コロナ社        | 3,000 |
| 専門 | メタヒューリスティクスとナチュラルコンピューティング: Metaheuristics and Natural Computing | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | 人工知能の方法: ゲームからWWWまで                                              | コロナ社        | 3,300 |
| 専門 | 人工知能原理 (コンピュータサイエンス教科書シリーズ 12)                                   | コロナ社        | 2,900 |
| 専門 | 対話システム (自然言語処理シリーズ 7)                                            | コロナ社        | 3,700 |
| 専門 | 知識システムの実装基礎: スライドで理解する人工知能技術                                     | コロナ社        | 2,900 |
| 専門 | 入門パターン認識と機械学習                                                    | コロナ社        | 3,200 |
| 専門 | 入門機械学習による異常検知: RIによる実践ガイド                                        | コロナ社        | 3,800 |
| 専門 | 例題で学ぶ知能情報入門                                                      | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | AIの世紀カンブリア爆発: 人間と人工知能の進化と共生                                      | さくら舎        | 1,600 |
| 専門 | Chainerで作るコンテンツ自動生成AIプログラミング入門                                   | シーアンドアール研究所 | 3,420 |
| 専門 | いちばんやさしいディープラーニング入門教室: 豊富な図解とイラストで超わかる!                          | ソーテック社      | 2,580 |
| 専門 | チャットボット: AIとロボットの進化が変革する未来                                       | ソーテック社      | 1,580 |
| 専門 | 機械学習入門Jubatus実践マスター                                              | ソーテック社      | 3,480 |
| 専門 | 最新図解で早わかり人工知能がまるごとわかる本                                           | ソーテック社      | 1,580 |
| 専門 | 機械脳の時代: データサイエンスは戦略・組織・仕事をどう変えるのか?                               | ダイヤモンド社     | 1,800 |
| 専門 | 人工知能は私たちを滅ぼすのか: 計算機が神になる100年の物語                                  | ダイヤモンド社     | 1,600 |
| 専門 | 深層学習                                                             | ドワンゴ        | 4,600 |
| 専門 | 弱いAIのデザイン: ツールからエージェントへ。                                         | ビー・エヌ・エヌ新社  | 2,600 |
| 専門 | 人工知能のための哲学塾                                                      | ビー・エヌ・エヌ新社  | 2,400 |
| 専門 | 人工知能のための哲学塾: 東洋哲学篇                                               | ビー・エヌ・エヌ新社  | 2,500 |
| 専門 | C++で学ぶディープラーニング: ニューラルネットワークの基礎からC++による実装まで                      | マイナビ出版      | 3,590 |
| 専門 | PythonとKerasによるディープラーニング                                         | マイナビ出版      | 3,880 |
| 専門 | TensorFlowで学ぶディープラーニング入門: 畳み込みニューラルネットワーク徹底解説                    | マイナビ出版      | 2,690 |
| 専門 | TensorFlowで学ぶ機械学習・ニューラルネットワーク                                    | マイナビ出版      | 3,580 |
| 専門 | いちばんやさしいAI(人工知能)超入門                                              | マイナビ出版      | 1,580 |
| 専門 | ニューラルネットワーク自作入門                                                  | マイナビ出版      | 2,690 |
| 専門 | ビジネスパーソンのための人工知能入門:「人工知能を使ったプロジェクト」でチャンスをつかむ!                    | マイナビ出版      | 1,850 |
| 専門 | やさしく学ぶ機械学習を理解するための数学のきほん: アヤノ&ミオと一緒に学ぶ機械学習の理論と数学、実装まで            | マイナビ出版      | 2,580 |
| 専門 | 将棋AIで学ぶディープラーニング: 人より強い将棋プログラムを作る!                               | マイナビ出版      | 3,180 |
| 専門 | 詳解ディープラーニング: TensorFlow・Kerasによる時系列データ処理                         | マイナビ出版      | 3,400 |
| 専門 | 夢みるプログラム: 人工無脳・チャットボットで考察する会話と心のアルゴリズム                           | ラトルズ        | 2,200 |
| 専門 | Cognitive Services入門: マイクロソフト人工知能APIの使い方                         | リックテレコム     | 3,200 |
| 専門 | Google Cloud Platformではじめる機械学習と深層学習                              | リックテレコム     | 2,600 |
| 専門 | PyTorchで始める深層学習: 数式なしで基礎から実装まで                                   | リックテレコム     | 2,800 |
| 専門 | クラウドではじめる機械学習: Azure MLでらくらく体験                                   | リックテレコム     | 2,600 |
| 専門 | ソニー開発のNeural Network Console入門: 数式なし、コーディングなしのディープラーニング          | リックテレコム     | 2,400 |
| 専門 | ワトソンで体感する人工知能                                                    | リックテレコム     | 1,800 |
| 専門 | 初めてのTensorFlow: 数式なしのディープラーニング                                   | リックテレコム     | 2,200 |
| 専門 | 初めてのWatson: APIの用例と実践プログラミング、改訂版                                 | リックテレコム     | 2,200 |
| 専門 | 初めてのディープラーニング: オープンソース“Caffe”による演習付き                             | リックテレコム     | 2,200 |
| 専門 | 知りたい分かります! 人の体験する機械学習: フリーソフトWekaによる実践講座                         | リックテレコム     | 2,000 |
| 専門 | AI白書: 2017 人工知能がもたらす技術の革新と社会の変貌                                  | 角川アスキー総合研究所 | 3,300 |
| 専門 | 機械学習 (東京大学工学教程 情報工学)                                             | 丸善出版        | 2,800 |
| 専門 | 強いAI・弱いAI: 研究者に聞く人工知能の実像                                         | 丸善出版        | 1,800 |
| 専門 | 知識システム: 1 知識の表現と学習 (東京大学工学教程 システム工学)                             | 丸善出版        | 2,500 |
| 専門 | 知識システム: 2 知識の創造と意思決定 (東京大学工学教程 システム工学)                           | 丸善出版        | 2,500 |
| 専門 | 知識情報処理 (東京大学工学教程 情報工学)                                           | 丸善出版        | 2,300 |
| 専門 | Chainerで学ぶディープラーニング入門                                            | 技術評論社       | 2,760 |
| 専門 | Excelでわかるディープラーニング超入門: AIのしくみをやさしく理解できる!                         | 技術評論社       | 1,880 |
| 専門 | ITエンジニアのための機械学習理論入門: 機械学習のしくみを学びデータサイエンスの本質を理解する                 | 技術評論社       | 2,580 |
| 専門 | TensorFlow活用ガイド: 機械学習アプリケーション開発入門                                | 技術評論社       | 2,580 |
| 専門 | イメージでつかむ機械学習入門: 豊富なグラフ、シンプルな数学、Rで理解する                            | 技術評論社       | 2,340 |

|    |                                                                     |           |        |
|----|---------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | コンピューターで「脳」がつくれるか: AIが恋に落ちる日                                        | 技術評論社     | 1,680  |
| 専門 | ディープラーニングがわかる数学入門: 数学で読み解くディープラーニング! 人工知能 (AI) のしくみがドンドンわかる! 見えてくる! | 技術評論社     | 2,280  |
| 専門 | はじめての深層学習 (ディープラーニング) プログラミング: Python Chainer TensorFlow Deel       | 技術評論社     | 2,280  |
| 専門 | 人工知能を超える人間の強みとは                                                     | 技術評論社     | 1,780  |
| 専門 | カーネル法によるパターン解析                                                      | 共立出版      | 6,800  |
| 専門 | コンピュータビジョン: アルゴリズムと応用                                               | 共立出版      | 16,000 |
| 専門 | スパースモデリング: l1/l0ノルム最小化の基礎理論と画像処理への応用                                | 共立出版      | 6,000  |
| 専門 | ソフトコンピューティングの基礎と応用 (未来へつなぐデジタルシリーズ 8)                               | 共立出版      | 2,600  |
| 専門 | 情報論的学習理論: Information Theoretic Learning Theory                     | 共立出版      | 4,200  |
| 専門 | 人工知能: AIの基礎から知的探索へ                                                  | 共立出版      | 2,500  |
| 専門 | 人工知能学大事典: ENCYCLOPEDIA OF ARTIFICIAL INTELLIGENCE                   | 共立出版      | 43,000 |
| 専門 | 人工知能入門: Introduction to Artificial Intelligence                     | 共立出版      | 2,300  |
| 専門 | 推薦システム: 統計的機械学習の理論と実践                                               | 共立出版      | 3,800  |
| 専門 | 速習強化学習: 基礎理論とアルゴリズム                                                 | 共立出版      | 3,000  |
| 専門 | 知能の原理: 身体性に基づく構成論的アプローチ                                             | 共立出版      | 5,500  |
| 専門 | 統計的学習の基礎: データマイニング・推論・予測                                            | 共立出版      | 14,000 |
| 専門 | アンサンブル法による機械学習: 基礎とアルゴリズム                                           | 近代科学社     | 4,200  |
| 専門 | 一人称研究のすすめ: 知能研究の新しい潮流                                               | 近代科学社     | 2,700  |
| 専門 | 深層学習: Deep Learning                                                 | 近代科学社     | 3,500  |
| 専門 | 進化技術ハンドブック: 第1巻 基礎編                                                 | 近代科学社     | 7,000  |
| 専門 | 進化技術ハンドブック: 第2巻 応用編: 情報・通信システム                                      | 近代科学社     | 8,000  |
| 専門 | 進化技術ハンドブック: 第3巻 応用編: 生産・物流システム                                      | 近代科学社     | 8,000  |
| 専門 | 人工知能とは                                                              | 近代科学社     | 2,400  |
| 専門 | 超実践アンサンブル機械学習                                                       | 近代科学社     | 2,700  |
| 専門 | ディスカッションを科学する: 人間と人工知能の共生                                           | 慶應義塾大学出版会 | 3,600  |
| 専門 | 「ディープ・ラーニング」ガイドブック: 基礎知識から、環境構築、ライブラリの活用法まで! (I/O BOOKS)            | 工学社       | 1,900  |
| 専門 | 人工知能: 教科書 (I/O BOOKS)                                               | 工学社       | 2,500  |
| 専門 | 人工知能ガイドブック: 「ビッグデータ+人工知能」時代目前-その可能性と問題点 (I/O BOOKS)                 | 工学社       | 1,900  |
| 専門 | イラストで学ぶディープラーニング                                                    | 講談社       | 2,600  |
| 専門 | イラストで学ぶ機械学習: 最小二乗法による識別モデル学習を中心に                                    | 講談社       | 2,800  |
| 専門 | イラストで学ぶ人工知能概論                                                       | 講談社       | 2,600  |
| 専門 | ニューラルネットワーク: Excelで遊ぶ人工知能、改訂版                                       | 三恵社       | 3,000  |
| 専門 | 関数型オブジェクト指向AIプログラミング: Scalaによる人工知能の実装                               | 三恵社       | 2,100  |
| 専門 | フリーライブラリで学ぶ機械学習入門                                                   | 秀和システム    | 2,400  |
| 専門 | 最新人工知能がよ〜くわかる本: 人工知能の最新動向を基礎から学ぶ (図解入門・How-nual- Visual Guide Book) | 秀和システム    | 1,600  |
| 専門 | 人工超知能: 生命と機械の間にあるもの                                                 | 秀和システム    | 1,600  |
| 専門 | 夢見る機械学習: 回帰・パーセプトロン (Python実装) 入門                                   | 秀和システム    | 1,650  |
| 専門 | AIの法律と論点                                                            | 商事法務      | 4,000  |
| 専門 | これからの強化学習                                                           | 森北出版      | 4,200  |
| 専門 | はじめてのパターン認識                                                         | 森北出版      | 3,000  |
| 専門 | パターン認識のためのサポートベクトルマシン入門                                             | 森北出版      | 3,600  |
| 専門 | フリーソフトではじめる機械学習入門: Python/Wekaで実践する理論とアルゴリズム, 第2版                   | 森北出版      | 3,600  |
| 専門 | 事例+演習で学ぶ機械学習: ビジネスを支えるデータ活用のしくみ                                     | 森北出版      | 2,800  |
| 専門 | 心を交わす人工知能: 言語・感情・倫理・ユーモア・常識                                         | 森北出版      | 2,800  |
| 専門 | 人狼知能: だます・見破る・説得する人工知能                                              | 森北出版      | 2,400  |
| 専門 | ディープラーニング (やさしく知りたい先端科学シリーズ 2)                                      | 創元社       | 1,800  |
| 専門 | IBM奇跡の「ワトソン」プロジェクト: 人工知能はクイズ王の夢をみる                                  | 早川書房      | 1,800  |
| 専門 | 機械より人間らしくなれるか?: AIとの対話が、人間でいることの意味を教えてくれる                           | 草思社       | 2,800  |
| 専門 | 機械学習: データを読み解くアルゴリズムの技法                                             | 朝倉書店      | 6,200  |
| 専門 | 人工知能と知識処理 新版                                                        | 朝倉書店      | 2,600  |
| 専門 | 搭載!! 人工知能: 究極のそして最後のエレクトロニクス                                        | 電気書院      | 2,200  |
| 専門 | 自動人形 (オートマトン) の城: 人工知能の意図理解をめぐる物語                                   | 東京大学出版会   | 2,200  |
| 専門 | 決定版AI人工知能                                                           | 東洋経済新報社   | 1,600  |
| 専門 | 人工知能 (AI) のはなし: エキスパートシステム、ニューラルネット、ロボット…、改訂版                       | 日科技連出版社   | 2,300  |
| 専門 | AIは「心」を持てるのか: 脳に近いアーキテクチャ                                           | 日経BP社     | 2,200  |
| 専門 | グーグルに学ぶディープラーニング: 人工知能ブームの牽引役その仕組みをやさしく解説                           | 日経BP社     | 1,800  |
| 専門 | さわってわかるクラウドAI Microsoft Cognitive Services実践ガイド                     | 日経BP社     | 3,200  |
| 専門 | さわってわかる機械学習Azure Machine Learning実践ガイド                              | 日経BP社     | 2,700  |
| 専門 | スマートマシンがやってくる: 情報過多時代の頼れる最強ブレーン                                     | 日経BP社     | 1,600  |





|    |                                                                              |              |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 専門 | IT技術者の能力限界の研究: ケイパビリティ・ピーフの観点から                                              | 日本評論社        | 8,000 |
| 専門 | プロのWebクリエイターになるための教科書                                                        | 毎日コミュニケーションズ | 2,480 |
| 専門 | Microservices on Azure: DevOpsとマイクロサービスを活用したSaaSの構築                          | 翔泳社          | 3,200 |
| 専門 | エンジニアが生き残るためのテクノロジーの授業: 変化に強い人材になれる技術と考え方 (CodeZine BOOKS)                   | 翔泳社          | 1,980 |
| 専門 | エンジニアのための図解思考再入門講座: 情報の“本質”を理解するための実践テクニック                                   | 翔泳社          | 2,200 |
| 専門 | エンジニアを説明上手にする本: 相手に応じた技術情報や知識の伝え方                                            | 翔泳社          | 2,200 |
| 専門 | プログラマーとお仕事をするということ: 折れないプロジェクトは異文化コミュニケーションから                                | 翔泳社          | 2,300 |
| 専門 | 現場で困らないITエンジニアのための英語リーディング: 英語が苦手でも読める                                       | 翔泳社          | 1,800 |
| 専門 | 統合型プロジェクト管理のススメ: プロジェクトを失敗させない実践手法 (DB Magazine SELECTION)                   | 翔泳社          | 2,400 |
| 専門 | 情報管理学: 学士力のための情報活用能力基盤                                                       | コロナ社         | 2,300 |
| 専門 | ドキュメント作成システム構築ガイド: GitHub, RedPen, AsciiDoctor, CIIによるモダンライティング              | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | Rubyによるクローラー開発技法: 巡回・解析機能の実装と21の運用例                                          | SBクリエイティブ    | 2,980 |
| 専門 | データを集める技術: 最速で作るスクレイピング&クローラー (Informatics & IDEA)                           | SBクリエイティブ    | 2,400 |
| 専門 | PythonによるWebスクレイピング                                                          | オライリー・ジャパン   | 3,000 |
| 専門 | RIによるスクレイピング入門: スクレイピングの実践テク満載!                                              | シーアンドアール研究所  | 3,220 |
| 専門 | JS+Node.jsによるWebクローラー/ネットエージェント開発テクニック: HTML文法解析から機械学習まで                     | ソシム          | 3,200 |
| 専門 | Pythonによるスクレイピング&機械学習開発テクニック: BeautifulSoup, scikit-learn, TensorFlowを使ってみよう | ソシム          | 3,200 |
| 専門 | 実践Webスクレイピング&クローリング: オープンデータ時代の収集・整形テクニック                                    | マイナビ         | 3,180 |
| 専門 | Apache Solr入門: オープンソース全文検索エンジン                                               | 技術評論社        | 3,600 |
| 専門 | Pythonクローリング&スクレイピング: データ収集・解析のための実践開発ガイド                                    | 技術評論社        | 3,200 |
| 専門 | RIによる自動データ収集: Webスクレイピングとテキストマイニングの実践ガイド                                     | 共立出版         | 6,000 |
| 専門 | 情報検索のためのユーザインタフェース                                                           | 共立出版         | 5,700 |
| 専門 | 情報アクセス技術入門: 情報検索・多言語情報処理・テキストマイニング・情報可視化                                     | 森北出版         | 2,400 |
| 専門 | Pythonによるクローラー&スクレイピング入門: 設計・開発から収集データの解析・運用まで                               | 翔泳社          | 3,000 |
| 専門 | クローリングハック: あらゆるWebサイトをクロールするための実践テクニック                                       | 翔泳社          | 2,680 |
| 専門 | Apache Sparkビッグデータ性能検証 (THINK IT BOOKS)                                      | インプレス        | 2,000 |
| 専門 | Hadoopクラスター構築実践ガイド: ビッグデータ分析基盤の構築事例集 (impress top gear)                      | インプレス        | 3,400 |
| 専門 | UIデザインの心理学: わかりやすさ・使いやすさの法則                                                  | インプレス        | 3,200 |
| 専門 | フラットデザインの基本ルール: Webクリエイティブ&アプリの新しい考え方.                                       | インプレスジャパン    | 1,980 |
| 専門 | ヒューマンインタフェース論 (SCC Books B-405)                                              | エスシーシー       | 1,800 |
| 専門 | Pythonによるテキストマイニング入門                                                         | オーム社         | 2,500 |
| 専門 | RIによるやさしいテキストマイニング                                                           | オーム社         | 2,600 |
| 専門 | RIによるやさしいテキストマイニング: 機械学習編                                                    | オーム社         | 2,800 |
| 専門 | アジャイル・ユーザビリティ: ユーザエクスペリエンスのためのDIYテスト                                         | オーム社         | 2,200 |
| 専門 | ヒューマンコンピュータインタラクション, 改訂2版 (IT Text)                                          | オーム社         | 2,800 |
| 専門 | ユーザビリティエンジニアリング: ユーザエクスペリエンスのための調査・設計・評価手法, 第2版                              | オーム社         | 2,500 |
| 専門 | Being Geek: ギークであり続けるためのキャリア戦略                                               | オライリー・ジャパン   | 2,300 |
| 専門 | Hadoop, 第3版                                                                  | オライリー・ジャパン   | 4,800 |
| 専門 | Hadoop Hacks: プロフェッショナルが使う実践テクニック                                            | オライリー・ジャパン   | 3,600 |
| 専門 | Hadoop MapReduceデザインパターン: MapReduceによる大規模テキストデータ処理                           | オライリー・ジャパン   | 2,800 |
| 専門 | Hadoopオペレーション: システム運用管理ガイド                                                   | オライリー・ジャパン   | 3,200 |
| 専門 | RIによるテキストマイニング: tidytextを活用したデータ分析と可視化の基礎                                    | オライリー・ジャパン   | 3,000 |
| 専門 | Sparkによる実践データ解析: 大規模データのための機械学習事例集                                           | オライリー・ジャパン   | 3,400 |
| 専門 | ZooKeeperによる分散システム管理                                                         | オライリー・ジャパン   | 3,000 |
| 専門 | インタフェースデザインの実践教室: 優れたユーザビリティを実現するアイデアとテクニック                                  | オライリー・ジャパン   | 3,000 |
| 専門 | インタフェースデザインの心理学: ウェブやアプリに新たな視点をもたらす100の指針                                    | オライリー・ジャパン   | 2,800 |
| 専門 | インタフェースデザインの心理学: 続 ウェブやアプリに新たな視点をもたらす+100の指針                                 | オライリー・ジャパン   | 2,800 |
| 専門 | デザイン・インターフェイス: パターンによる実践的インタラクションデザイン, 第2版                                   | オライリー・ジャパン   | 4,600 |
| 専門 | ビューティフルデータ (THEORY/IN/PRACTICE)                                              | オライリー・ジャパン   | 3,400 |
| 専門 | マイクロインタラクション: UI/UXデザインの神が宿る細部                                               | オライリー・ジャパン   | 2,400 |
| 専門 | 初めてのSpark                                                                    | オライリー・ジャパン   | 3,200 |
| 専門 | 入門PySpark: PythonとJupyterで活用するSpark2エコシステム                                   | オライリー・ジャパン   | 3,400 |
| 専門 | ヒューマンコンピュータインタラクション入門 (Computer Science Library 11)                          | サイエンス社       | 2,150 |
| 専門 | 現場のインフラ屋が教えるインフラエンジニアになるための教科書                                               | ソシム          | 2,680 |
| 専門 | さよなら、インタフェース: 脱「画面」の思考法                                                      | ビー・エヌ・エヌ新社   | 2,400 |
| 専門 | ほんとに使える「ユーザビリティ」: より良いデザインへのシンプルなアプローチ                                       | ビー・エヌ・エヌ新社   | 2,800 |
| 専門 | 融けるデザイン: ハード×ソフト×ネット時代の新たな設計論                                                | ビー・エヌ・エヌ新社   | 2,400 |
| 専門 | 実践マルチメディア: マルチメディア検定エキスパート対応書籍, 改訂新版                                         | 画像情報教育振興協会   | 3,600 |
| 専門 | 入門マルチメディア: マルチメディア検定ベーシック対応書籍, 改訂新版                                          | 画像情報教育振興協会   | 2,700 |

|    |                                                                   |                |       |
|----|-------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 専門 | SF映画で学ぶインタフェースデザイン: アイデアと想像力を鍛え上げるための141のレッスン                     | 丸善出版           | 3,200 |
| 専門 | Atomic Design: 堅牢で使いやすいUIを効率良く設計する                                | 技術評論社          | 2,980 |
| 専門 | UIデザインの基礎知識: プログラム設計からアプリケーションデザインまで                              | 技術評論社          | 2,380 |
| 専門 | はじめてのHadoop: 分散データ処理の基本から実践まで                                     | 技術評論社          | 3,800 |
| 専門 | ビッグデータを支える技術: 刻々とデータが脈打つ自動化の世界 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)            | 技術評論社          | 2,960 |
| 専門 | フラットデザインで考える新しいUIデザインのセオリー                                        | 技術評論社          | 2,380 |
| 専門 | 失敗から学ぶユーザインタフェース: 世界はBADUIであふれている                                 | 技術評論社          | 2,980 |
| 専門 | 詳解Apache Spark: 大規模データ分析を基礎から、徹底的に                                | 技術評論社          | 3,600 |
| 専門 | 並行システムの検証と実装: 形式手法GSPiに基づく高信頼並行システム開発入門 (トップエスリー実践講座 6)           | 近代科学社          | 4,600 |
| 専門 | マルチメディア入門, 増補版 (I/O BOOKS)                                        | 工学社            | 2,000 |
| 専門 | イラストで学ぶヒューマンインタフェース                                               | 講談社            | 2,600 |
| 専門 | アプリケーションエンジニアのためのApache Spark入門                                   | 秀和システム         | 3,400 |
| 専門 | 分散処理システム (情報工学レクチャーシリーズ)                                          | 森北出版           | 2,800 |
| 専門 | コンピュータと表現: 人間とコンピュータの接点 (グラフィック情報工学ライブラリ GIE-10)                  | 数理工学社          | 1,600 |
| 専門 | ネットワーク技術を内包する現代の情報処理, 3訂版                                         | 税務経理協会         | 2,000 |
| 専門 | 計算科学のためのHPC技術: 1                                                  | 大阪大学出版会        | 3,600 |
| 専門 | 計算科学のためのHPC技術: 2                                                  | 大阪大学出版会        | 3,900 |
| 専門 | UX虎の巻: ユーザー満足度を向上する設計開発テクニック                                      | 日刊工業新聞社        | 2,000 |
| 専門 | デザイナー、エンジニアのためのUX・画面インタフェースデザイン入門                                 | 日刊工業新聞社        | 2,400 |
| 専門 | SEのためのUIデザインの教科書                                                  | 日経BP社          | 2,700 |
| 専門 | SEを極める50の鉄則: 入門編, 新版                                              | 日経BP社          | 1,700 |
| 専門 | SEを極める50の鉄則: マネジメント編, 新版                                          | 日経BP社          | 1,900 |
| 専門 | コンピュータと人間の接点, 改訂版 (放送大学教材)                                        | 放送大学教育振興会      | 3,500 |
| 専門 | Apache Spark入門: 動かして学ぶ最新並列分散処理フレームワーク (NEXT ONE)                  | 翔泳社            | 3,200 |
| 専門 | Hadoop徹底入門: オープンソース分散処理環境の構築, 第2版                                 | 翔泳社            | 3,800 |
| 専門 | UIデザインの教科書: マルチデバイス時代のサイト設計-アーキテクチャからUXまで                         | 翔泳社            | 2,200 |
| 専門 | パターンでわかるHadoop MapReduce: ビッグデータのデータ処理入門 (NEXT-ONE)               | 翔泳社            | 3,400 |
| 専門 | ORACLEデータベース用語でわかるSQL Server                                      | FOM出版          | 2,400 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Access 2016: 基礎                                    | FOM出版          | 2,000 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Access 2016: 応用                                    | FOM出版          | 2,000 |
| 専門 | よくわかる事例で学ぶ情報セキュリティ, 改訂2版                                          | FOM出版          | 2,000 |
| 専門 | 10年戦えるデータ分析入門: SQLを武器にデータ活用時代を生き抜く                                | SBクリエイティブ      | 2,400 |
| 専門 | この一冊で全部わかるセキュリティの基本 (Informatics & IDEA イラスト図解)                   | SBクリエイティブ      | 1,680 |
| 専門 | プロとしてのOracleアーキテクチャ入門: 図解と実例解説で学ぶ、データベースの仕組み, 第2版 (Oracle現場主義)    | SBクリエイティブ      | 2,600 |
| 専門 | 基礎からのMySQL, 第3版 (プログラマの種シリーズ -SE必修!-)                             | SBクリエイティブ      | 2,980 |
| 専門 | 動かして学ぶセキュリティ入門講座: 自宅や会社のパソコンで今すぐ試せる (Informatics & IDEA)          | SBクリエイティブ      | 2,200 |
| 専門 | セキュリティ技術の教科書: 情報処理安全確保支援士試験                                       | アイテック          | 4,200 |
| 専門 | MySQL (できるPRO)                                                    | インプレス          | 2,500 |
| 専門 | MySQL Clusterによる高可用システム運用ガイド (THINK IT BOOKS)                     | インプレス          | 2,200 |
| 専門 | MySQL即効クエリチューニング (THINK IT BOOKS)                                 | インプレス          | 1,800 |
| 専門 | できるAccess 2016: Windows 10/8.1/7対応                                | インプレス          | 1,880 |
| 専門 | できるAccessクエリデータ抽出・解析に役立つ本                                         | インプレス          | 1,880 |
| 専門 | できるAccessクエリデータ抽出・分析・加工に役立つ本                                      | インプレス          | 2,200 |
| 専門 | できるAccessパーフェクトブック困った!&便利ワザ大全                                     | インプレス          | 2,300 |
| 専門 | やさしく学べるMySQL運用・管理入門: 5.7対応                                        | インプレス          | 2,600 |
| 専門 | 徹底理解ブロックチェーン: ゼロから着実にわかる次世代技術の原則 (impress top gear)               | インプレス          | 2,900 |
| 専門 | スッキリわかるSQL入門: ドリル215問付き!                                          | インプレスジャパン      | 2,800 |
| 専門 | データ・スマート: Excelではじめるデータサイエンス入門                                    | エムディエヌコーポレーション | 3,800 |
| 専門 | 7つのデータベース7つの世界: PostgreSQL,Riak,HBase,MongoDB,CouchDB,Neo4J,Redis | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | FileMaker Pro開発運用講座, 第2版                                          | オーム社           | 4,800 |
| 専門 | RIによるデータマイニング入門                                                   | オーム社           | 2,900 |
| 専門 | データベースシステム                                                        | オーム社           | 3,200 |
| 専門 | 情報システム・ソフトウェアの信頼性及びセキュリティの取組強化に向けて                                | オーム社           | 2,200 |
| 専門 | 情報セキュリティ (InfoCom Be・TEXT)                                        | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | Cassandra                                                         | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | Google BigQuery                                                   | オライリー・ジャパン     | 4,600 |
| 専門 | HACKING: 美しき策謀: 脆弱性攻撃の理論と実際, 第2版                                  | オライリー・ジャパン     | 4,200 |
| 専門 | HBase                                                             | オライリー・ジャパン     | 4,200 |
| 専門 | MongoDBイン・アクション                                                   | オライリー・ジャパン     | 3,400 |

|    |                                                                                      |               |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | MySQLトラブルシューティング                                                                     | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | Pythonデータサイエンスハンドブック: Jupyter, NumPy, pandas, Matplotlib, scikit-learnを使ったデータ分析、機械学習 | オライリー・ジャパン    | 4,200 |
| 専門 | Pythonではじめるデータラングリング: データの入手、準備、分析、プレゼンテーション                                         | オライリー・ジャパン    | 3,700 |
| 専門 | Rではじめるデータサイエンス                                                                       | オライリー・ジャパン    | 4,000 |
| 専門 | SQLアンチパターン                                                                           | オライリー・ジャパン    | 3,200 |
| 専門 | アジャイルデータサイエンス: スケーラブルに構築するビッグデータアプリケーション                                             | オライリー・ジャパン    | 2,600 |
| 専門 | アナライジング・マルウェア: フリーツールを使った感染事案対処 (ART/OF/REVERSING)                                   | オライリー・ジャパン    | 3,000 |
| 専門 | グラフデータベース: Neo4jによるグラフデータモデルとグラフデータベース入門                                             | オライリー・ジャパン    | 3,000 |
| 専門 | スケーラブルリアルタイムデータ分析入門: ラムダアーキテクチャによるビッグデータ処理                                           | オライリー・ジャパン    | 3,800 |
| 専門 | セキュリティの神話                                                                            | オライリー・ジャパン    | 2,200 |
| 専門 | ゼロからはじめるデータサイエンス: Pythonで学ぶ基本と実践                                                     | オライリー・ジャパン    | 3,200 |
| 専門 | データサイエンス講義                                                                           | オライリー・ジャパン    | 3,000 |
| 専門 | データ匿名化手法: ヘルスデータ事例に学ぶ個人情報保護                                                          | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | パッドデータハンドブック: データにまつわる問題への19の処方箋                                                     | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | プログラミングHive                                                                          | オライリー・ジャパン    | 3,800 |
| 専門 | 実践Metasploit: ベネレーションテストによる脆弱性評価                                                     | オライリー・ジャパン    | 3,800 |
| 専門 | 実践ハイパフォーマンスMySQL, 第3版                                                                | オライリー・ジャパン    | 4,800 |
| 専門 | シェルスクリプトデータベース活用テクニック: Bourne ShellとSQLiteによるDBシステム構築のすすめ                            | カットシステム       | 3,800 |
| 専門 | やさしいSQL入門: 演習問題で学ぶデータベース操作法                                                          | カットシステム       | 2,300 |
| 専門 | ソーシャル・ビッグデータサイエンス入門: 基本概念からマイニング技術、応用まで                                              | コロナ社          | 4,200 |
| 専門 | データベースと知識発見                                                                          | コロナ社          | 2,800 |
| 専門 | データベースの基礎                                                                            | コロナ社          | 2,400 |
| 専門 | データベースの実装とシステム運用管理                                                                   | コロナ社          | 2,400 |
| 専門 | マルチエージェントのためのデータ解析 (マルチエージェントシリーズ A-2)                                               | コロナ社          | 2,500 |
| 専門 | 音響情報ハイディング技術 (音響テクノロジーシリーズ 20)                                                       | コロナ社          | 2,700 |
| 専門 | 基礎から学ぶデータマイニング                                                                       | コロナ社          | 2,000 |
| 専門 | 実践サイバーセキュリティモニタリング                                                                   | コロナ社          | 2,700 |
| 専門 | リレーショナルデータベース入門: データモデル・SQL・管理システム・NoSQL, 第3版 (Information & Computing 116)          | サイエンス社        | 3,200 |
| 専門 | 実習データベース: ExcelとAccessで学ぶ基本と活用 (実習ライブラリ 11)                                          | サイエンス社        | 1,950 |
| 専門 | FileMaker Proそれはどうやるの?: EXCELデータベース機能から始めるPro/Advanced/Go/Server ver.15              | サンタクロース・プレス   | 3,000 |
| 専門 | セキュリティエンジニアの教科書                                                                      | シーアンドアール研究所   | 2,000 |
| 専門 | ブロックチェーン技術の教科書: 徹底解説                                                                 | シーアンドアール研究所   | 2,830 |
| 専門 | FileMaker 17スーパーリファレンス: Windows & macOS & iOS対応                                      | ソーテック社        | 2,680 |
| 専門 | FileMaker Pro 16スーパーリファレンス: Windows & Mac対応                                          | ソーテック社        | 2,680 |
| 専門 | FileMaker Pro関数・スクリプトサンプル活用辞典                                                        | ソーテック社        | 2,980 |
| 専門 | SQL Server 2016の教科書: 基礎から実践まで学べる: 開発編                                                | ソジム           | 3,600 |
| 専門 | サンプルで覚えるMySQL: データベース接続の基本から応用まで                                                     | ソジム           | 2,400 |
| 専門 | 世界一わかりやすいSQLの授業                                                                      | ソジム           | 1,980 |
| 専門 | 基礎からのMySQL, 改訂版 (プログラマの種シリーズ-SE必修!-)                                                 | ソフトバンククリエイティブ | 2,980 |
| 専門 | セキュリティコンテストチャレンジブック: CTFで学ぼう!情報を守るための戦い方                                             | マイナビ          | 3,180 |
| 専門 | データ集計・分析のためのSQL入門                                                                    | マイナビ          | 2,880 |
| 専門 | 脱Excel!FileMakerで作るデータベース: 顧客管理名簿・売上伝票・営業報告書                                         | マイナビ          | 2,800 |
| 専門 | セキュリティコンテストのためのCTF問題集                                                                | マイナビ出版        | 3,280 |
| 専門 | ビッグデータ分析・活用のためのSQLレシピ: データ加工から売上・ユーザー把握、レポート作成等々の各種データ分析まで                           | マイナビ出版        | 3,800 |
| 専門 | ブロックチェーンアプリケーション開発の教科書: 作って学ぶ、暗号通貨とスマートコントラクトの理論と実践                                  | マイナビ出版        | 3,290 |
| 専門 | 速効!図解Access 2016: 総合版                                                                | マイナビ出版        | 1,980 |
| 専門 | わかりやすいデータ解析入門: C++による演習                                                              | ムイス出版         | 2,450 |
| 専門 | Hyperledger Fabricによるアプリケーション開発: ブロックチェーンの革新技術                                       | リックテレコム       | 3,400 |
| 専門 | ITエンジニアのためのデータベース再入門                                                                 | リックテレコム       | 2,200 |
| 専門 | Nessus入門: ネットワーク脆弱性試験ツール活用術                                                          | リックテレコム       | 2,500 |
| 専門 | NOSQLの基礎知識: ビッグデータを活かすデータベース技術                                                       | リックテレコム       | 2,400 |
| 専門 | グラフ型データベース入門: Neo4jを使う                                                               | リックテレコム       | 3,000 |
| 専門 | サイバーリスクの脅威に備える: 私たちに求められるセキュリティ三原則 (DOJIN選書 68)                                      | 化学同人          | 1,700 |
| 専門 | 〈入門〉はじめてのデータベース                                                                      | 技術評論社         | 2,480 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶMySQL入門, 改訂2版                                                            | 技術評論社         | 2,480 |
| 専門 | Accessクエリ徹底活用ガイド: 仕事の現場で即使える                                                         | 技術評論社         | 2,500 |
| 専門 | Accessデータベースプロ技BESTセレクション: Access 2016/2013/2010対応版 (今すぐ使えるかんたんEX)                   | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | Accessデータベース本格作成入門: 仕事の現場で即使える                                                       | 技術評論社         | 2,480 |
| 専門 | Accessではじめるデータベース超入門, 改訂2版 (かんたんIT基礎講座)                                              | 技術評論社         | 2,040 |

|    |                                                                                     |       |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------|
| 専門 | Accessはじめてのデータベース, 改訂3版                                                             | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | Accessレポート&フォーム完全操作ガイド: 仕事の現場で即使える                                                  | 技術評論社 | 2,980  |
| 専門 | Excel & Access連携実践ガイド: 仕事の現場で即使える                                                   | 技術評論社 | 2,680  |
| 専門 | MariaDB & MySQL全機能バイブル: 内部構造の詳説から運用管理までMariaDB/MySQLのすべてを網羅 (現場で役立つA to Z)          | 技術評論社 | 3,500  |
| 専門 | MySQL Cluster構築・運用バイブル: 仕組みからわかる基礎と実践のノウハウ                                          | 技術評論社 | 4,300  |
| 専門 | Oracleデータベースポケットリファレンス (Pocket Reference)                                           | 技術評論社 | 2,980  |
| 専門 | Oracleの基本: データベース入門から設計/運用の初歩まで                                                     | 技術評論社 | 2,640  |
| 専門 | Oracleの現場を効率化する100の技: Effective methods for Oracle Database Administration          | 技術評論社 | 2,980  |
| 専門 | PCのウイルスを根こそぎ削除する方法: コンピュータウイルス (マルウェア) はあなたのお金と情報を狙っている! (Software Design plusシリーズ) | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | PostgreSQL全機能バイブル: 現場で役立つA to Z                                                     | 技術評論社 | 3,500  |
| 専門 | PythonユーザのためのJupyter(実践)入門                                                          | 技術評論社 | 3,300  |
| 専門 | RユーザのためのRStudio(実践)入門: tidyverseによるモダンな分析フローの世界                                     | 技術評論社 | 2,780  |
| 専門 | SQLポケットリファレンス, 改訂第4版 (Pocket Reference)                                             | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | SQL実践入門: 高速でわかりやすいクエリの書き方 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                   | 技術評論社 | 2,580  |
| 専門 | SQL書き方ドリル: すらすらと手が動くようになる, 改訂第3版 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                            | 技術評論社 | 2,460  |
| 専門 | Webエンジニアのためのデータベース技術(実践)入門 (Software Design plusシリーズ)                               | 技術評論社 | 2,580  |
| 専門 | エキスパートのためのMySQL運用+管理トラブルシューティングガイド                                                  | 技術評論社 | 3,300  |
| 専門 | これからはじめるMySQL入門                                                                     | 技術評論社 | 2,980  |
| 専門 | これからはじめるSQL入門                                                                       | 技術評論社 | 2,800  |
| 専門 | ゼロからわかるSQL超入門: はじめてのデータベース操作 (かんたんIT基礎講座)                                           | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | データベースエンジニア教本: MySQL & PostgreSQL & NoSQL編 (SoftwareDesign別冊)                       | 技術評論社 | 2,100  |
| 専門 | データベースエンジニア養成読本: DBを自由自在に活用するための知識とノウハウ満載! (Software Design plusシリーズ)               | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | データベースの気持ちかわかるSQLはじめての一歩 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                    | 技術評論社 | 2,180  |
| 専門 | データベースの限界性能を引き出す技術: NoSQLに飛びつく前に知っておきたい原理と最新テクニック                                   | 技術評論社 | 2,680  |
| 専門 | データベース徹底攻略: DB設計   SQLアタマ   MySQL   MongoDB   Redis   Redis (WEB+DB PRESS plusシリーズ) | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | プロが教える情報セキュリティの鉄則: 守り・防ぐ・戦う科学 (Software Design plus)                                | 技術評論社 | 2,480  |
| 専門 | 堅牢なスマートコントラクト開発のためのブロックチェーン(技術)入門                                                   | 技術評論社 | 2,980  |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんAccess 2016 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                              | 技術評論社 | 1,880  |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんFileMaker Pro: FileMaker Pro16/15/14対応版 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)  | 技術評論社 | 2,340  |
| 専門 | 最速攻略Accessクエリテクニック大全集                                                               | 技術評論社 | 2,780  |
| 専門 | 事例から学ぶ情報セキュリティ: 基礎と対策と脅威のしくみ (Software Design plus)                                 | 技術評論社 | 2,480  |
| 専門 | 情報セキュリティの基礎知識: イラスト図解満載                                                             | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | 新人エンジニアのためのデータベースのしくみと運用がわかる本                                                       | 技術評論社 | 1,980  |
| 専門 | 図解SQLこれからはじめる基本の知識 (知りたいテクノロジー)                                                     | 技術評論社 | 1,880  |
| 専門 | 即戦力のDB2管理術: 仕組みからわかる効率的管理のノウハウ                                                      | 技術評論社 | 3,500  |
| 専門 | 即戦力のOracle管理術: 仕組みからわかる効率的管理のノウハウ                                                   | 技術評論社 | 3,600  |
| 専門 | 内部構造から学ぶPostgreSQL設計・運用計画の鉄則 (Software Design plus)                                 | 技術評論社 | 3,300  |
| 専門 | 理論から学ぶデータベース実践入門: リレーショナルモデルによる効率的なSQL (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                      | 技術評論社 | 2,880  |
| 専門 | ITリスク学: 「情報セキュリティ」を超えて                                                              | 共立出版  | 3,400  |
| 専門 | Rで学ぶデータ・プログラミング入門: RStudioを活用する                                                     | 共立出版  | 3,200  |
| 専門 | サイバーセキュリティ入門: 私たちを取り巻く光と闇 (共立スマートセレクション 7)                                          | 共立出版  | 1,600  |
| 専門 | データベース: ビッグデータ時代の基礎 (未来へつなぐデジタルシリーズ 26)                                             | 共立出版  | 2,800  |
| 専門 | データベース: 基礎からネット社会での応用まで (情報工学テキストシリーズ 第6巻)                                          | 共立出版  | 2,500  |
| 専門 | データベース応用: データモデリングから実装まで (未来へつなぐデジタルシリーズ 34)                                        | 共立出版  | 3,200  |
| 専門 | データマイニングと集合知: 基礎からWeb, ソーシャルメディアまで (未来へつなぐデジタルシリーズ 11)                              | 共立出版  | 2,800  |
| 専門 | 楽しく学べるデータベース: INTRODUCTION of DATABASES                                             | 共立出版  | 2,400  |
| 専門 | 情報セキュリティの基礎 (未来へつなぐデジタルシリーズ 2)                                                      | 共立出版  | 2,800  |
| 専門 | 情報セキュリティ基盤論: Information Security Infrastructure                                    | 共立出版  | 2,500  |
| 専門 | コンパイラ: Compiler (未来へつなぐデジタルシリーズ 24)                                                 | 共立出版  | 2,600  |
| 専門 | すべての人のためのJavaプログラミング: Java for Everyone, 第3版                                        | 共立出版  | 3,000  |
| 専門 | やさしいJavaの入門書                                                                        | 共立出版  | 24,859 |
| 専門 | 演習でマスターするJavaプログラミング: First Step of Java and Object-Oriented Programming, 第2版       | 共立出版  | 3,600  |
| 専門 | 楽しく学べるC言語                                                                           | 共立出版  | 2,300  |
| 専門 | 簡潔データ構造 (アルゴリズム・サイエンスシリーズ 8 数理技法編)                                                  | 共立出版  | 3,400  |
| 専門 | 基礎C言語プログラミング: Fundamental C Programming                                             | 共立出版  | 2,700  |
| 専門 | 基礎から学ぶCプログラミング                                                                      | 共立出版  | 2,200  |
| 専門 | 近似アルゴリズムデザイン                                                                        | 共立出版  | 12,000 |
| 専門 | 写経型学習によるC言語プログラミングワークブック                                                            | 共立出版  | 2,500  |
| 専門 | 適応的分散アルゴリズム (アルゴリズム・サイエンスシリーズ 3 数理技法編)                                              | 共立出版  | 3,600  |



|    |                                                                                             |               |        |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|
| 専門 | C言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング                                                                      | 近代科学社         | 2,400  |
| 専門 | GUIプログラミング技法: HTML, Visual Basic, Javaで学ぶ                                                   | 近代科学社         | 2,800  |
| 専門 | JavaとUMLで学ぶオブジェクト指向プログラミング                                                                  | 近代科学社         | 2,500  |
| 専門 | Pythonで体験してわかるアルゴリズムとデータ構造                                                                  | 近代科学社         | 2,400  |
| 専門 | Python言語によるプログラミングイントロダクション: データサイエンスとアプリケーション, 第2版 (世界標準MIT教科書)                            | 近代科学社         | 4,600  |
| 専門 | Rubyで数独: AIプログラミング入門                                                                        | 近代科学社         | 2,400  |
| 専門 | アルゴリズムイントロダクション: 世界標準MIT教科書, 第3版 総合版                                                        | 近代科学社         | 14,000 |
| 専門 | アルゴリズムの基礎とデータ構造: 数理とCプログラム                                                                  | 近代科学社         | 2,700  |
| 専門 | オブジェクト指向Javaプログラミング入門, 第2版                                                                  | 近代科学社         | 2,800  |
| 専門 | グラフ・ネットワークアルゴリズムの基礎: 数理とCプログラム                                                              | 近代科学社         | 2,700  |
| 専門 | コンピュータ科学とプログラミング入門: コンピュータとアルゴリズムの基礎                                                        | 近代科学社         | 2,300  |
| 専門 | セジウィック: アルゴリズムC: 第1〜4部 基礎 データ構造 整列 探索                                                       | 近代科学社         | 9,000  |
| 専門 | はじめてのアルゴリズム                                                                                 | 近代科学社         | 2,400  |
| 専門 | Processingプログラミングで学ぶ情報表現入門                                                                  | 公立はこだて未来大学出版会 | 2,229  |
| 専門 | 情報表現入門: Processingプログラミング                                                                   | 公立はこだて未来大学出版会 | 2,000  |
| 専門 | 「Qt」プログラミング入門: 使いやすいフレームワークを基礎から解説 (I/O BOOKS)                                              | 工学社           | 2,800  |
| 専門 | 「Raspberry Pi 2」&Scratchでプログラミング: 「ブロック」式の簡単プログラミングを「超低価格マシン」で! (I/O BOOKS)                 | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | Alexaスキル制作テクニック: Amazonのスマートスピーカー用アプリを作る! (I/O BOOKS)                                       | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | Androidタブレットプログラミング入門: Tegra搭載機をターゲットに, 簡単なプログラムからはじめる! (I/O BOOKS)                         | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | C#による「Windowsフォーム」プログラミング: 「フォーム」「イベント」など基本の技法から, 規模の大きい「アプリケーション」の例まで (I/O BOOKS)          | 工学社           | 2,500  |
| 専門 | C#プログラミング入門: 「オブジェクト指向」の「プログラミング手法」を基礎から解説 (I/O BOOKS)                                      | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | C/C++で動かすRaspberry Pi 3: 小型Linuxボードを定番言語で制御! (I/O BOOKS)                                    | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | ClangではじめるC言語: 「MacOS」「FreeBSD」「Android NDK」の標準コンパイラをWindowsで (I/O BOOKS)                   | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | コンピュータネットワーク, 第5版                                                                           | 日経BP社         | 8,000  |
| 専門 | OS X Server Essentials: OS X Mountain LionにおけるOS X Serverの設定とトラブルシューティング (アップルプロトレーニングシリーズ) | ボーデデジタル       | 13,000 |
| 専門 | 数理的技法による情報セキュリティ (シリーズ応用数理 第1巻)                                                             | 共立出版          | 3,500  |
| 専門 | 多変量解析によるデータマイニング: Data Mining by Multivariate Analysis                                      | 共立出版          | 2,500  |
| 専門 | 大規模データのマイニング                                                                                | 共立出版          | 5,500  |
| 専門 | データ仮説構築: データマイニングを通して                                                                       | 近代科学社         | 2,500  |
| 専門 | 情報セキュリティ: 暗号・認証・マネジメント                                                                      | 近代科学社         | 3,000  |
| 専門 | 情報セキュリティ入門: INTRODUCTION TO INFORMATION SECURITY, 第3版                                       | 慶應義塾大学出版会     | 2,800  |
| 専門 | サイバーセキュリティ読本: Cyber Security Handbook                                                       | 原書房           | 1,600  |
| 専門 | ネットの危険を正しく知るファミリー・セキュリティ読本                                                                  | 原書房           | 1,600  |
| 専門 | データマイニングがわかる本: 大量のデータから「知識」「情報」を発掘する! (I/O BOOKS)                                           | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | はじめてのMongoDB: オープンソースのNoSQLデータベース (I/O BOOKS)                                               | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | データ解析におけるプライバシー保護 (機械学習プロフェッショナルシリーズ)                                                       | 講談社           | 3,000  |
| 専門 | Accessクエリビジネス活用事典, 最新版!                                                                     | 秀和システム        | 2,000  |
| 専門 | Accessのデータベースのツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                                          | 秀和システム        | 2,200  |
| 専門 | Excelもうイヤだ!という人のためのAccess超入門                                                                | 秀和システム        | 2,200  |
| 専門 | RDB技術者のためのNoSQLガイド                                                                          | 秀和システム        | 3,400  |
| 専門 | Splunkではじめるビッグデータ分析: 基本操作からTwitterのログ分析まで                                                   | 秀和システム        | 3,000  |
| 専門 | SQL Server 2016データベース構築・管理ガイド: Enterprise対応                                                 | 秀和システム        | 3,700  |
| 専門 | SQL逆引き大全363の極意: 363 Tips to Use SQL Better!                                                 | 秀和システム        | 2,400  |
| 専門 | SQL辞典, 第3版 (ポケット詳解)                                                                         | 秀和システム        | 2,200  |
| 専門 | サイバー攻撃の足跡を分析するハニーポット観察記録                                                                    | 秀和システム        | 2,200  |
| 専門 | たった2日でわかるSQL: 自宅のWindows or MacでOK!                                                         | 秀和システム        | 2,000  |
| 専門 | データ分析ツールJupyter入門                                                                           | 秀和システム        | 2,800  |
| 専門 | よくわかる最新Oracleデータベースの基本と仕組み: アーキテクチャと機能から学ぶ, 第4版 (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)          | 秀和システム        | 2,000  |
| 専門 | 使っているうちに!即戦力になれる真面目なAccessの教科書                                                              | 秀和システム        | 1,980  |
| 専門 | 小さな会社ではじめてIT担当になった人のセキュリティ入門: やさしい図解                                                        | 秀和システム        | 1,600  |
| 専門 | 世界でいちばん簡単なOracleのe本: 最新版                                                                    | 秀和システム        | 1,600  |
| 専門 | はじめてのデータベースはじめてのAccess                                                                      | 創成社           | 1,700  |
| 専門 | ネット社会と本人認証: 原理から応用まで                                                                        | 電子情報通信学会      | 3,300  |
| 専門 | ユーザ目線のSQL等活用術: 事務系オラクルユーザが書いた業務システム習得事例集                                                    | 東京図書出版        | 2,560  |
| 専門 | データベース (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                                            | 東京電機大学出版局     | 2,500  |
| 専門 | 群知能とデータマイニング                                                                                | 東京電機大学出版局     | 3,600  |
| 専門 | IoT時代のセキュリティと品質: ダークネットの脅威と脆弱性                                                              | 日科技連出版社       | 3,200  |
| 専門 | DeNAのサイバーセキュリティ: Mobageを守った男の戦いの記録                                                          | 日経BP社         | 2,000  |
| 専門 | あなたのセキュリティ対応間違っています                                                                         | 日経BP社         | 1,800  |

|    |                                                                                                   |             |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 専門 | あなたの知らないセキュリティの非常識                                                                                | 日経BP社       | 1,800 |
| 専門 | ソーシャル・エンジニアリング: 最大の弱点“人間”をハッカーの魔の手から守るには                                                          | 日経BP社       | 2,600 |
| 専門 | Cassandra実用システムインテグレーション: NoSQLデータベース (NEXT-ONE)                                                  | 翔泳社         | 3,200 |
| 専門 | DB2 10エバリュエーション・ガイドブック: DB2 10 Evaluation Guidebook                                               | 翔泳社         | 3,200 |
| 専門 | DBビギナーズ: DBが動く仕組みから開発/運用の基本まで                                                                     | 翔泳社         | 1,680 |
| 専門 | Effective SQL: RDBMSのパフォーマンスを最大限引き出す61の手法と思考                                                      | 翔泳社         | 3,500 |
| 専門 | HBase徹底入門: Hadoopクラスタによる高速データベースの実現 (CodeZine BOOKS)                                              | 翔泳社         | 3,980 |
| 専門 | MySQL徹底入門, 第3版                                                                                    | 翔泳社         | 3,480 |
| 専門 | NoSQLプログラミング実践活用技法 (Programmer's SELECTION)                                                       | 翔泳社         | 3,800 |
| 専門 | Oracleデータベースセキュリティ: セキュアなデータベース構築・運用の原則                                                           | 翔泳社         | 5,200 |
| 専門 | PostgreSQL徹底入門, 第3版                                                                               | 翔泳社         | 3,280 |
| 専門 | SAP SQL Anywhere 17: 自己管理型RDBMS入門ガイド                                                              | 翔泳社         | 3,800 |
| 専門 | SQL: ゼロからはじめるデータベース操作, 第2版 (プログラミング学習シリーズ)                                                        | 翔泳社         | 1,880 |
| 専門 | おうちで学べるデータベースのきほん: 全く新しいデータベースの入門書                                                                | 翔泳社         | 2,200 |
| 専門 | パフォーマンス改善と事前対策に役立つOracle SQLチューニング: 本気で学ぶ実践的な考え方とテクニック (DB SELECTION)                             | 翔泳社         | 2,600 |
| 専門 | プログラマのためのSQL: すべてを知り尽くしたいあなたに, 第4版                                                                | 翔泳社         | 4,600 |
| 専門 | プログラマのためのSQLグラフ原論: リレーショナルデータベースで木と階層構造を扱うために                                                     | 翔泳社         | 3,600 |
| 専門 | 絵で見てわかるシステムパフォーマンスの仕組み                                                                            | 翔泳社         | 2,580 |
| 専門 | 絵で見てわかるシステム構築のためのOracle設計: 一冊でわかる高性能 高可用性 耐障害性 (DB SELECTION)                                     | 翔泳社         | 2,800 |
| 専門 | 機能で学ぶOracle Database入門: エンジニアが知っておきたいRDBMSの基本 (DB SELECTION)                                      | 翔泳社         | 2,200 |
| 専門 | 現場で役立つExcel & Accessデータ連携・活用ガイド: 仕事がはかどる! (Small Business Support)                                | 翔泳社         | 2,680 |
| 専門 | 小さな会社のFileMakerデータベース作成・運用ガイド: Pro 15/14対応 (Small Business Support・時間がない 予算がない 知識がない そんな御社でも大丈夫!) | 翔泳社         | 2,800 |
| 専門 | 詳解MySQL5.7: 止まらぬ進化に乗り遅れないためのテクニカルガイド (NEXT ONE)                                                   | 翔泳社         | 3,600 |
| 専門 | 情シス担当者のための絵で見てわかる情報セキュリティ: DB Magazine連載「プロが教える情報セキュリティABC」より (DB Magazine SELECTION)             | 翔泳社         | 2,200 |
| 専門 | 新・門外不出のOracle現場ワザ: エキスパートが明かす運用・管理の極意 (DB SELECTION)                                              | 翔泳社         | 2,680 |
| 専門 | 達人に学ぶDB設計徹底指南書: 初級者で終わりにたくないあなたへ                                                                  | 翔泳社         | 2,600 |
| 専門 | FPGAキットで始めるハード&ソフト丸ごと設計: CPUと周辺回路を作り込んでCプログラミング (Design Wave)                                     | CQ出版        | 4,800 |
| 専門 | Chef活用ガイド: コードではじめる構成管理                                                                           | KADOKAWA    | 3,900 |
| 専門 | システム設計の謎を解く: 強いSEになるための機能設計と入出力設計の極意, 改訂版 (Informatics & IDEA)                                    | SBクリエイティブ   | 2,400 |
| 専門 | SysML/UMLによるシステムエンジニアリング入門: モデリング・分析・設計 (iMAtecアーカイブ 1)                                           | エスアイビー・アクセス | 3,600 |
| 専門 | システム設計論, 改訂版                                                                                      | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | 基礎からはじめるUML2.4: 基本から活用までをわかりやすく解説!                                                                | ソーテック社      | 2,380 |
| 専門 | モデル検査: 上級編 実践のための三つの技法 (CVS教程 2)                                                                  | ナノソフト・メディア  | 2,800 |
| 専門 | 今日からはじめる情報設計: センスメイキングするための7ステップ                                                                  | ビー・エヌ・エヌ新社  | 2,000 |
| 専門 | オブジェクト指向による情報システムの設計, 第2版                                                                         | ムイスリ出版      | 2,450 |
| 専門 | わかりやすい情報システムの設計: UML/Javaを用いた演習, 第2版                                                              | ムイスリ出版      | 2,450 |
| 専門 | だまし絵を描かないための要件定義のセオリー: Theory of Requirement Definition                                           | リックテレコム     | 2,500 |
| 専門 | ユーザー要求を正しく実装へつなぐシステム設計のセオリー                                                                       | リックテレコム     | 3,300 |
| 専門 | Java/Webでできる大規模オープンシステム開発入門: 全工程を学ぶ14回の体験レッスン                                                     | 丸善出版        | 2,800 |
| 専門 | Chef実践入門: コードによるインフラ構成の自動化 (WEB+DB PRESS plus)                                                    | 技術評論社       | 2,770 |
| 専門 | システム開発徹底攻略: 要件定義   システム設計   プロジェクトマネジメント   業務システム   ドキュメント (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                | 技術評論社       | 1,880 |
| 専門 | Puppet(設定 & 管理)活用ガイド: 効率的なインフラ構築・管理を実現するプロビジョニングツールの決定版                                           | 技術評論社       | 3,700 |
| 専門 | インフラデザインパターン: 安定稼働に導く127の設計方式 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                             | 技術評論社       | 2,680 |
| 専門 | かんたんUML入門, 改訂2版 (プログラミングの教科書)                                                                     | 技術評論社       | 2,960 |
| 専門 | ゼロからわかるUML超入門: はじめてのモデリング, 改訂2版 (かんたんIT基礎講座)                                                      | 技術評論社       | 2,180 |
| 専門 | はじめよう!システム設計: 要件定義のその後に                                                                           | 技術評論社       | 2,180 |
| 専門 | はじめよう!プロセス設計: 要件定義のその前に                                                                           | 技術評論社       | 1,980 |
| 専門 | はじめよう!要件定義: ビギナーからベテランまで                                                                          | 技術評論社       | 1,980 |
| 専門 | 現場で役立つシステム設計の原則: 変更を楽で安全にするオブジェクト指向の実践技法                                                          | 技術評論社       | 2,940 |
| 専門 | 常時結合によるシステム開発効率化ガイド                                                                               | 技術評論社       | 3,500 |
| 専門 | Excel環境下でのシステム開発への挑戦: データベース機能の活用, 第2版                                                            | 共立出版        | 2,200 |
| 専門 | 情報システムの開発法: 基礎と実践 (未来へつなぐデジタルシリーズ 21)                                                             | 共立出版        | 2,800 |
| 専門 | 知的システム工学: Intelligent Systems Engineering (情報工学テキストシリーズ 第2巻)                                      | 共立出版        | 2,500 |
| 専門 | システム設計教科書: 「分析」「設計」から「評価」「管理」まで (I/O BOOKS)                                                       | 工学社         | 2,300 |
| 専門 | システムズモデリング言語SysML                                                                                 | 東京電機大学出版局   | 6,600 |
| 専門 | 形式手法モデル理論アプローチ: 情報システム開発の基礎: モデル編, 第2版                                                            | 日科技連出版社     | 2,200 |
| 専門 | 形式手法モデル理論アプローチ: 情報システム開発の基礎: 実践編, 第2版                                                             | 日科技連出版社     | 2,200 |
| 専門 | 「なぜ」で始める要件定義: SEの参考書                                                                              | 日経BP社       | 1,600 |
| 専門 | 1からはじめるITアーキテクチャー構築入門: システム設計の基礎から実践まで                                                            | 日経BP社       | 2,500 |

|    |                                                                                                  |               |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | UMLモデリングの本質: 良いモデルを作るための知識と実践, 第2版                                                               | 日経BP社         | 2,400 |
| 専門 | オブジェクト指向でなぜつくるのか: 知っておきたいOOP、設計、関数型言語の基礎知識, 第2版                                                  | 日経BP社         | 2,400 |
| 専門 | 演習で身につく要件定義の実践テクニック: システム開発の手戻りをなくす                                                              | 日経BP社         | 2,400 |
| 専門 | 手戻りなしの要件定義実践マニュアル, 増補改訂版                                                                         | 日経BP社         | 2,700 |
| 専門 | 図解でなっとく!トラブル知らずのシステム設計: エラー制御・排他制御編                                                              | 日経BP社         | 2,500 |
| 専門 | 図解でなっとく!トラブル知らずのシステム設計                                                                           | 日経BP社         | 2,400 |
| 専門 | 本当に使える開発プロセス: システム開発をより速く確実に, 改訂版                                                                | 日経BP社         | 2,500 |
| 専門 | DevOps導入指南: Infrastructure as Codeでチーム開発・サービス運用を効率化する (DEV Engineer's Books)                     | 翔泳社           | 3,000 |
| 専門 | アジャイル時代のオブジェクト脳のつくり方: Rubyで学ぶ究極の基礎講座                                                             | 翔泳社           | 2,800 |
| 専門 | インフラCI実践ガイド: Ansible/GitLabを使ったインフラ改善サイクルの実現                                                     | 翔泳社           | 4,200 |
| 専門 | ずっと受けたかった要求分析の基礎研修                                                                               | 翔泳社           | 2,000 |
| 専門 | ダイアグラム別UML徹底活用, 第2版 (DB Magazine SELECTION)                                                      | 翔泳社           | 2,580 |
| 専門 | 絵で見てわかるITインフラの仕組み: 高性能・耐障害性を実現する基盤技術の基礎 (DB SELECTION)                                           | 翔泳社           | 2,380 |
| 専門 | 独習オブジェクト指向開発, 第2版                                                                                | 翔泳社           | 3,400 |
| 専門 | ソフトウェアシステムアーキテクチャ構築の原理: ITアーキテクトの決断を支えるアーキテクチャ思考法, 第2版                                           | SBクリエイティブ     | 5,200 |
| 専門 | デザイナーからプログラマーまで絶対わかるGitバージョン管理                                                                   | SBクリエイティブ     | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェア・グラフィティ: Software Graffiti                                                                 | SRA           | 1,700 |
| 専門 | ASTERIA WARP基礎と実践, 改訂版                                                                           | インプレス         | 2,600 |
| 専門 | ASTERIA WARP逆引きリファレンス                                                                            | インプレス         | 2,800 |
| 専門 | DevOpsを支えるHashiCorpツール大全 (THINK IT BOOKS)                                                        | インプレス         | 2,200 |
| 専門 | Docker実践ガイド: IT現場の即戦力 (impress top gear IT技術者のための現場ノウハウ)                                         | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | GitLab実践ガイド: DevOpsワークフローの導入と運用 (impress top gear)                                               | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | Web制作者のためのGitHubの教科書: チームの効率を最大化する共同開発ツール                                                        | インプレス         | 2,200 |
| 専門 | Windowsコンテナ技術入門: ITインフラの基礎知識 (impress top gear)                                                  | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェアグローバル化入門: 国際化I18Nと地域化L10Nによる多言語対応 (impress top gear)                                       | インプレス         | 2,400 |
| 専門 | アプリケーションをつくる英語: エンジニアよ、世界市場を狙え!                                                                  | インプレスジャパン     | 2,400 |
| 専門 | ソフトウェア要求と仕様: 実践、原理、偏見の辞典, 復刻版                                                                    | エスアイビー・アクセス   | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェアテストと導入・移行 (SCC Books B-407)                                                                | エスシーシー        | 2,500 |
| 専門 | 図解でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメント (SCC Books B-389)                                                       | エスシーシー        | 2,500 |
| 専門 | 演習で身につくソフトウェア設計入門: 構造化分析設計法とUML, 第2版                                                             | エヌ・ティ・エス      | 2,000 |
| 専門 | Gitが、おもしろいほどわかる基本の使い方33                                                                          | エムティエスコポレーション | 2,000 |
| 専門 | CoBRA法入門: 「勘」を見える化する見積り手法                                                                        | オーム社          | 2,600 |
| 専門 | Gitによるバージョン管理                                                                                    | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | SPINモデル検査入門                                                                                      | オーム社          | 3,300 |
| 専門 | アジャイルコーチング                                                                                       | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | アジャイルサムライ: 達人開発者への道                                                                              | オーム社          | 2,600 |
| 専門 | エクストリームプログラミング                                                                                   | オーム社          | 2,200 |
| 専門 | ソフトウェアエンジニアリング基礎知識体系: SWEBOK V3.0                                                                | オーム社          | 4,000 |
| 専門 | ソフトウェア開発, 改訂2版 (IT Text)                                                                         | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェア工学 (IT Text)                                                                               | オーム社          | 2,600 |
| 専門 | ソフトウェア品質知識体系ガイド: SQuBOK Guide V2, 第2版                                                            | オーム社          | 4,000 |
| 専門 | チケット&計測でITプロジェクト運営の体質改善                                                                          | オーム社          | 2,400 |
| 専門 | テスト駆動開発                                                                                          | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | リーン開発の現場: カンバンによる大規模プロジェクトの運営                                                                    | オーム社          | 2,400 |
| 専門 | 形式手法入門: ロジックによるソフトウェア設計                                                                          | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | 実践反復型ソフトウェア開発                                                                                    | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | 抽象によるソフトウェア設計: Alloyではじめる形式手法                                                                    | オーム社          | 4,500 |
| 専門 | Docker                                                                                           | オライリー・ジャパン    | 3,600 |
| 専門 | GitHubツールビルディング: GitHub APIを活用したワークフローの拡張とカスタマイズ                                                 | オライリー・ジャパン    | 3,200 |
| 専門 | Jenkins                                                                                          | オライリー・ジャパン    | 3,600 |
| 専門 | Making Software: エビデンスが変えるソフトウェア開発 (THEORY/IN/PRACTICE)                                          | オライリー・ジャパン    | 3,800 |
| 専門 | PDF構造解説                                                                                          | オライリー・ジャパン    | 2,200 |
| 専門 | SREサイトリリアビリティエンジニアリング: Googleの信頼性を支えるエンジニアリングチーム                                                 | オライリー・ジャパン    | 4,800 |
| 専門 | Team Geek: Googleのギークたちはいかにしてチームを作るのか                                                            | オライリー・ジャパン    | 2,200 |
| 専門 | あなただけならどこまでソフトウェアは何をいっているのか? 映画やゲームのグラフィックス、データ検索、暗号化、セキュリティ、データ圧縮、ルーティン探索…豊かな技術の裏でソフトウェアがしていること | オライリー・ジャパン    | 2,600 |
| 専門 | アブレンティスシップ: パターン: 徒弟制度に学ぶ熟練技術者の技と心得 (THEORY/IN/PRACTICE)                                         | オライリー・ジャパン    | 2,200 |
| 専門 | テスト駆動開発による組み込みプログラミング: C言語とオブジェクト指向で学ぶアジャイルな設計                                                   | オライリー・ジャパン    | 3,600 |
| 専門 | プロダクションレディマイクロサービス: 運用に強い本番対応システムの実装と標準化                                                         | オライリー・ジャパン    | 2,600 |
| 専門 | マイクロサービスアーキテクチャ                                                                                  | オライリー・ジャパン    | 3,400 |

|    |                                                                                                                  |               |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | ユーザーストーリーマッピング                                                                                                   | オライリー・ジャパン    | 3,000 |
| 専門 | 実践JUnit: 達人プログラマーのユニットテスト技法                                                                                      | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | 実践Vagrant                                                                                                        | オライリー・ジャパン    | 2,600 |
| 専門 | 実用Git                                                                                                            | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | 入門Kubernetes                                                                                                     | オライリー・ジャパン    | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェア設計論: 役に立つUMLモデリングへ向けて                                                                                      | コロナ社          | 2,900 |
| 専門 | わかばちゃん和学ぶGit使い方入門: マンガ+実践でGitの使い方がよくわかる!                                                                         | シーアンドアール研究所   | 2,230 |
| 専門 | 開発効率をUPするGit逆引き入門: 分散型バージョン管理システムの標準ツール                                                                          | シーアンドアール研究所   | 2,200 |
| 専門 | Docker入門: コンテナ型仮想化技術Dockerの導入と実践!                                                                                | ソーテック社        | 2,480 |
| 専門 | Redmine実践ガイド: 理論と実践、事例で学ぶ新しいプロジェクトマネジメント                                                                         | ソシム           | 3,800 |
| 専門 | この1冊でよくわかるソフトウェアテストの教科書: 品質を決定づけるテスト工程の基本と実践                                                                     | ソフトバンククリエイティブ | 2,500 |
| 専門 | 継続的デリバリー: 信頼できるソフトウェアリリースのためのビルド・テスト・デプロイメントの自動化                                                                 | ドワンゴ          | 3,800 |
| 専門 | Web制作者のためのGit入門 (Mynavi Advanced Library)                                                                        | マイナビ          | 2,290 |
| 専門 | Docker!によるアプリケーション開発環境構築ガイド: Dockerの基本から現場で使える実践的なテクニックまで                                                        | マイナビ出版        | 3,800 |
| 専門 | Docker実戦活用ガイド                                                                                                    | マイナビ出版        | 3,080 |
| 専門 | スクラム現場ガイド: スクラムを始めてみたけどうまくいかない時に読む本                                                                              | マイナビ出版        | 3,480 |
| 専門 | 「仮想化」実装の基礎知識                                                                                                     | リックテレコム       | 2,500 |
| 専門 | カンバン: ソフトウェア開発の変革                                                                                                | リックテレコム       | 3,400 |
| 専門 | マイクロサービス入門: アーキテクチャと実装                                                                                           | リックテレコム       | 2,500 |
| 専門 | 人月の神話                                                                                                            | 丸善出版          | 3,200 |
| 専門 | ソフトウェア社会のゆくえ                                                                                                     | 岩波書店          | 2,200 |
| 専門 | 15時間でわかるGit集中講座                                                                                                  | 技術評論社         | 2,580 |
| 専門 | Dockerエキスパート養成読本: 活用の基礎と実践/ノウハウ満載! (Software Design plusシリーズ ガッツリ!最新技術)                                          | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | Docker実践入門: Linuxコンテナ技術の基礎から応用まで (Software Design plus)                                                          | 技術評論社         | 2,680 |
| 専門 | Emacs実践入門: 思考を直感的にコード化し、開発を加速する, 改訂新版 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                    | 技術評論社         | 2,580 |
| 専門 | GitHub実践入門: Pull Requestによる開発の変革 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                         | 技術評論社         | 2,580 |
| 専門 | Gitポケットリファレンス, 改訂新版 (Pocket Reference)                                                                           | 技術評論社         | 2,780 |
| 専門 | JavaScriptエンジニア養成読本: Webアプリ開発の定番構成Backbone.js+CoffeeScript+Gruntを1冊で習得! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる) | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | Jenkins実践入門: ビルド・テスト・デプロイを自動化する技術, 改訂第3版 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                 | 技術評論社         | 2,980 |
| 専門 | JUnit実践入門: 体系的に学ぶユニットテストの技法 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                              | 技術評論社         | 3,300 |
| 専門 | Trac入門: ソフトウェア開発・プロジェクト管理活用ガイド, 改訂 (Software Design plusシリーズ)                                                    | 技術評論社         | 3,200 |
| 専門 | アジャイル開発マネジメントクイックガイド                                                                                             | 技術評論社         | 2,480 |
| 専門 | アプリケーションアーキテクチャ設計パターン: Design Patterns of Application Architecture                                               | 技術評論社         | 3,500 |
| 専門 | オブジェクト指向設計実践ガイド: Rubyでわかる進化しつづける柔軟なアプリケーションの育て方                                                                  | 技術評論社         | 3,280 |
| 専門 | スクラム実践入門: 成果を生み出すアジャイルな開発プロセス (WEB+DB PRESS plus)                                                                | 技術評論社         | 2,580 |
| 専門 | チーム開発実践入門: 共同作業を円滑に行うツール・メソッド (WEB+DB PRESS plus)                                                                | 技術評論社         | 2,680 |
| 専門 | 演習で学ぶソフトウェアテスト特訓150問, 改訂版                                                                                        | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | 開発ツール徹底攻略: Git   GitHub   Jenkins   Vim   Emacs   Linuxの基礎知識 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                             | 技術評論社         | 1,880 |
| 専門 | 要求を仕様化する技術・表現する技術: 入門+実践, 改訂第2版                                                                                  | 技術評論社         | 2,580 |
| 専門 | ソフトウェアシステム工学入門 (未来へつなぐデジタルシリーズ 22)                                                                               | 共立出版          | 2,600 |
| 専門 | ソフトウェア工学の基礎 (未来へつなぐデジタルシリーズ 13)                                                                                  | 共立出版          | 2,600 |
| 専門 | ソフトウェア信頼性の基礎: モデリングアプローチ                                                                                         | 共立出版          | 2,800 |
| 専門 | Event-B: リファインメント・モデリングに基づく形式手法                                                                                  | 近代科学社         | 3,800 |
| 専門 | REBOKに基づく要求分析実践ガイド (REBOKシリーズ 3)                                                                                 | 近代科学社         | 2,500 |
| 専門 | UPPAALによる性能モデル検証: リアルタイムシステムのモデル化とその検証 (トップエスイー実践講座 5)                                                           | 近代科学社         | 3,800 |
| 専門 | VDM++による形式仕様記述: 形式仕様入門・活用の第一歩 (トップエスイー実践講座 4)                                                                    | 近代科学社         | 3,800 |
| 専門 | アジャイル開発への道案内                                                                                                     | 近代科学社         | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェアエンジニアリング最前線: 情報処理学会SEシンポジウム, 2010                                                                          | 近代科学社         | 4,100 |
| 専門 | ソフトウェア工学                                                                                                         | 近代科学社         | 3,200 |
| 専門 | はじめてのDocker: 「仮想化技術」で「サーバ」を簡単構築! (I/O BOOKS)                                                                     | 工学社           | 1,900 |
| 専門 | 形式手法教科書: 「論理学」を用いた、「ソフト工学」への数学的アプローチ (I/O BOOKS)                                                                 | 工学社           | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェア開発の定量化手法: 生産性と品質の向上をめざして, 第3版                                                                              | 構造計画研究所       | 7,500 |
| 専門 | ソフトウェア開発を変革する: もっと俊敏になるために                                                                                       | 構造計画研究所       | 3,300 |
| 専門 | ソフトウェア工学のベストプラクティス: ソフトウェア工学の真の工学への発展をめざして                                                                       | 構造計画研究所       | 8,700 |
| 専門 | ソフトウェア品質の経済的側面                                                                                                   | 構造計画研究所       | 5,000 |
| 専門 | Javaビルドツール入門 Maven/Gradle/SBT/Bazel対応                                                                            | 秀和システム        | 2,800 |
| 専門 | SE一年目のための仕事の書き方: システム品質を高める文章術                                                                                   | 秀和システム        | 1,800 |
| 専門 | アジャイルでやってみた。: ウォーターフォールしか知らなかった僕らSlerのスクラム日記                                                                     | 秀和システム        | 2,800 |
| 専門 | よくわかる最新PMBOKソフトウェア拡張版: 情報産業特化版PMBOKを学ぶ (図解入門-How-nual- Visual Guide Book)                                        | 秀和システム        | 1,800 |

|    |                                                                                          |           |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | 最新オープンソースがよ〜わるから本: 人工知能も、FinTech(ブロックチェーン)も、ビッグデータも、みんなオープンソースでできている(図解入門ビジネス・How-nuoi-) | 秀和システム    | 1,600 |
| 専門 | 入門Redmine: オープンソースの課題解決システム, 第5版                                                         | 秀和システム    | 2,400 |
| 専門 | ソフトウェア工学(情報工学レクチャーシリーズ)                                                                  | 森北出版      | 3,000 |
| 専門 | ソフトウェア工学の基礎と応用: 高品質ソフトウェア開発を目指して(グラフィック情報工学ライブラリ GIE-12)                                 | 数理工学社     | 1,600 |
| 専門 | ソフトウェア工学, 第3版(情報科学こんせぶつ 7)                                                               | 朝倉書店      | 2,600 |
| 専門 | ソフトウェア開発実践: 科学技術シミュレーションソフトの設計                                                           | 東京大学出版会   | 5,000 |
| 専門 | ソフトウェア開発入門: シミュレーションソフト設計理論からプロジェクト管理まで                                                  | 東京大学出版会   | 3,800 |
| 専門 | アジャイル概論(シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                                         | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 専門 | テスト駆動開発(シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                                         | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェアテスト技法ドリル: テスト設計の考え方と実際                                                             | 日科技連出版社   | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェアの信頼性(信頼性技術叢書)                                                                      | 日科技連出版社   | 3,400 |
| 専門 | ソフトウェアプロセス改善手法SaPID入門: 現場力を引き出すシステムズアプローチ                                                | 日科技連出版社   | 2,500 |
| 専門 | ソフトウェアメトリクス統計分析入門: 現場エンジニアによる直観的解説と実践ドリル                                                 | 日科技連出版社   | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェア品質会計: NECの高品質ソフトウェア開発を支える品質保証技術                                                    | 日科技連出版社   | 3,000 |
| 専門 | データ指向のソフトウェア品質マネジメント: メトリクス分析による「事実にもとづく管理」の実践                                           | 日科技連出版社   | 3,600 |
| 専門 | 事例とツールで学ぶHAYST法: ソフトウェアテストの考え方と上達のポイント                                                   | 日科技連出版社   | 2,800 |
| 専門 | 図解はじめての「開発のためのCMMI」とプロセス改善: CMMI-DEV, 第2版                                                | 日刊工業新聞社   | 2,600 |
| 専門 | 設計者に必要なソフトウェアの基礎知識: これだけは知っておきたいソフトウェアの知識と考え方(実際の設計選書)                                   | 日刊工業新聞社   | 3,400 |
| 専門 | NETのエンタープライズアプリケーションアーキテクチャ・NETを例にしたアプリケーション設計原則(マイクロソフト公式解説書)                           | 日経BP社     | 5,000 |
| 専門 | DevOps教科書                                                                                | 日経BP社     | 3,000 |
| 専門 | SEとプロマネを極める仕事が早くなる文章作法, 増補改訂版                                                            | 日経BP社     | 1,800 |
| 専門 | The DevOpsハンドブック: 理論・原則・実践のすべて                                                           | 日経BP社     | 3,200 |
| 専門 | ZERO BUGS: シリコンバレープログラマの教え                                                               | 日経BP社     | 2,400 |
| 専門 | アジャイルソフトウェアエンジニアリング: 基本概念から継続的フィードバックまで                                                  | 日経BP社     | 3,800 |
| 専門 | ステップアップのためのソフトウェアテスト実践ガイド, 改訂版                                                           | 日経BP社     | 2,800 |
| 専門 | ソフトウェア要求, 第3版                                                                            | 日経BP社     | 6,500 |
| 専門 | チーム開発の教科書: C#によるモダンな開発を実践しよう!                                                            | 日経BP社     | 2,700 |
| 専門 | テストから見えてくるグーグルのソフトウェア開発: テストファーストによるエンジニアリング生産性向上                                        | 日経BP社     | 2,600 |
| 専門 | パーフェクトソフトウェア: テストにまつわる幻想                                                                 | 日経BP社     | 2,200 |
| 専門 | 革新を続けるソフトウェア生産技術: グローバル競争を勝ち抜く企業のために                                                     | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門 | 今すぐ実践カンバンによるアジャイルプロジェクトマネジメント                                                            | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門 | 本当に使える見積もり技術: ソフトウェア開発を成功に導く, 改訂第3版                                                      | 日経BP社     | 3,200 |
| 専門 | ソフトウェアのしくみ(放送大学教材)                                                                       | 放送大学教育振興会 | 2,000 |
| 専門 | ソフトウェア工学: 情報学プログラム(放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)                                             | 放送大学教育振興会 | 2,900 |
| 専門 | 情報学の技術: 情報学プログラム(放送大学大学院教材 放送大学大学院文化科学研究科)                                               | 放送大学教育振興会 | 2,900 |
| 専門 | 100人のプロが選んだソフトウェア開発の名著: 君のために選んだ1冊                                                       | 翔泳社       | 1,800 |
| 専門 | astah professional活用ガイド                                                                  | 翔泳社       | 2,400 |
| 専門 | Bugハンター日記: iPhoneやSolaris、ウイルス検出ソフトにも脆弱性はあった                                             | 翔泳社       | 2,800 |
| 専門 | Gitで困ったときに読む本(Programmer's SELECTION)                                                    | 翔泳社       | 3,400 |
| 専門 | Gradle徹底入門: 次世代ビルドツールによる自動化基盤の構築                                                         | 翔泳社       | 3,800 |
| 専門 | IMPACT MAPPING: インパクトのあるソフトウェアを作る                                                        | 翔泳社       | 1,600 |
| 専門 | Redmineによるタスクマネジメント実践技法: チケット駆動開発+テスト工程管理のA to Z                                         | 翔泳社       | 3,280 |
| 専門 | SCRUM BOOT CAMP THE BOOK: スクラムチームではじめるアジャイル開発                                            | 翔泳社       | 2,400 |
| 専門 | The RSpec Book (Professional Ruby Series)                                                | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | VDM++によるオブジェクト指向システムの高品質設計と検証: 仕様の品質を飛躍的に高める手法(IT Architects' Archive ソフトウェア開発の実践)       | 翔泳社       | 5,480 |
| 専門 | アーキテクチャ中心設計手法: ソフトウェア主体システム開発のアーキテクチャデザインプロセス(IT Architects' Archive ソフトウェア開発の実践)        | 翔泳社       | 4,800 |
| 専門 | アジャイルエンタープライズ: アジャイル型組織の構築と運用(Object Oriented SELECTION)                                 | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | アジャイルソフトウェア要求: チーム、プログラム、企業のためのリッチな要求プラクティス(Object Oriented SELECTION)                   | 翔泳社       | 5,200 |
| 専門 | アジャイル開発とスクラム: 顧客・技術・経営をつなぐ協調的ソフトウェア開発マネジメント                                              | 翔泳社       | 2,000 |
| 専門 | アジャイル開発の本質とスケールアップ: 変化に強い大規模開発を成功させる14のベストプラクティス(IT Architects' Archive ソフトウェア開発の実践)     | 翔泳社       | 3,600 |
| 専門 | エッセンシャルスクラム: アジャイル開発に関わるすべての人のための完全攻略ガイド(Object Oriented SELECTION)                      | 翔泳社       | 3,800 |
| 専門 | エリック・エヴァンスのドメイン駆動設計: ソフトウェアの核心にある複雑さに立ち向かう(IT Architects' Archive ソフトウェア開発の実践)           | 翔泳社       | 5,200 |
| 専門 | エンジニアのためのGitの教科書: 実践で使えるバージョン管理とチーム開発手法(WEB Engineer's Books)                            | 翔泳社       | 2,200 |
| 専門 | おうちで学べる仮想化のきほん: 現場でも役立つ仮想化の入門書                                                           | 翔泳社       | 2,280 |
| 専門 | コンテナ・ベース・オーケストレーション: Docker/Kubernetesで作るクラウド時代のシステム基盤                                   | 翔泳社       | 3,980 |
| 専門 | システムテスト自動化標準ガイド(CodeZine BOOKS)                                                          | 翔泳社       | 3,800 |
| 専門 | ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業: 1. 増補改訂版                                                     | 翔泳社       | 2,000 |
| 専門 | ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業: 2. 増補改訂版                                                     | 翔泳社       | 2,000 |
| 専門 | ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修: エンジニアになったら押さえておきたい基礎知識, 第2版                                | 翔泳社       | 2,000 |

|    |                                                                                          |           |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修: 開発現場編                                                      | 翔泳社       | 2,000  |
| 専門 | ずっと受けたかったソフトウェア設計の授業: 構造化・モジュール化・仕様化の原理                                                  | 翔泳社       | 2,500  |
| 専門 | チケット駆動開発: プロジェクトを成功に導くための「現場からの改善」提案を完全網羅                                                | 翔泳社       | 3,280  |
| 専門 | ディシプリンド・アジャイル・デリバリー: エンタープライズ・アジャイル実践ガイド(Object Oriented SELECTION)                      | 翔泳社       | 5,200  |
| 専門 | ビヨンドソフトウェアアーキテクチャ: マーケティングとテクノロジーの調和による革新(Object Oriented SELECTION Classics)            | 翔泳社       | 3,800  |
| 専門 | プログラマのためのDocker教科書: インフラの基礎知識&コードによる環境構築の自動化, 第2版                                        | 翔泳社       | 3,000  |
| 専門 | レガシーソフトウェア改善ガイド: 複合型アプリケーション時代に即した開発・保守技法(Object Oriented SELECTION)                     | 翔泳社       | 3,800  |
| 専門 | 実践テスト駆動開発: テストに導かれてオブジェクト指向ソフトウェアを育てる(Object Oriented SELECTION)                         | 翔泳社       | 4,200  |
| 専門 | 実践ドメイン駆動設計: エリック・エヴァンスが確立した理論を実際の設計に応用する(Object Oriented SELECTION)                      | 翔泳社       | 5,200  |
| 専門 | 組織パターン: チームの成長によりアジャイルソフトウェア開発の革新を促す(Object Oriented SELECTION Classics)                 | 翔泳社       | 3,800  |
| 専門 | 知識ゼロから学ぶソフトウェアテスト: アジャイル・クラウド時代のソフトウェアテスト, 改訂版                                           | 翔泳社       | 2,400  |
| 専門 | 知識ゼロから学ぶソフトウェアプロジェクト管理: なぜほとんどのソフトウェア開発は失敗するか                                            | 翔泳社       | 2,280  |
| 専門 | 独習Git                                                                                    | 翔泳社       | 3,280  |
| 専門 | 文字コード「超」研究, 改訂第2版                                                                        | ラトルズ      | 3,480  |
| 専門 | プログラマのための文字コード技術入門(WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                | 技術評論社     | 2,580  |
| 専門 | 日本語入力を支える技術: 変わり続けるコンピュータと言葉の世界(WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                   | 技術評論社     | 2,570  |
| 専門 | ユニコード戦記: 文字符号の国際標準化バトル                                                                   | 東京電機大学出版局 | 2,700  |
| 専門 | Unicode IVS/IVD入門: JIS規格の歴史、異体字問題の解説から、Windows 8での対応方法まで                                 | 日経BP社     | 2,500  |
| 専門 | 自然言語処理と深層学習: C言語によるシミュレーション                                                              | オーム社      | 2,500  |
| 専門 | 言語処理学事典                                                                                  | 共立出版      | 35,000 |
| 専門 | 自然言語処理: Natural Language Processing(情報工学テキストシリーズ 第5巻)                                    | 共立出版      | 2,500  |
| 専門 | 統計的自然言語処理の基礎                                                                             | 共立出版      | 11,000 |
| 専門 | 実践・自然言語処理シリーズ: 第1巻 言語処理システムをつくる                                                          | 近代科学社     | 2,800  |
| 専門 | 自然言語処理教科書: コンピュータサイエンスの注目分野を概観!(I/O BOOKS)                                               | 工学社       | 2,300  |
| 専門 | トピックモデル: Topic Models(機械学習プロフェッショナルシリーズ)                                                 | 講談社       | 2,800  |
| 専門 | 深層学習による自然言語処理(機械学習プロフェッショナルシリーズ)                                                         | 講談社       | 3,000  |
| 専門 | はじめての自然言語処理                                                                              | 森北出版      | 2,200  |
| 専門 | 働きたくないイタチと言葉がわかるロボット: 人工知能から考える「人と言葉」                                                    | 朝日出版社     | 1,700  |
| 専門 | 話し言葉対話の計算モデル: Computational Models of Spoken Language Dialogues                          | 電子情報通信学会  | 3,400  |
| 専門 | 自然言語処理(放送大学教材)                                                                           | 放送大学教育振興会 | 2,500  |
| 専門 | 機械翻訳の原理と活用法: 古典的機械翻訳再評価の試み                                                               | 明石書店      | 8,000  |
| 専門 | 自然言語処理の基本と技術(仕組みが見えるゼロからわかる-Information Technology-)                                     | 翔泳社       | 2,400  |
| 専門 | AVRマイコン・プログラミング入門: ATmega48/88/168の主要な機能を豊富な図解と実例でわかりやすく解説(マイコン活用シリーズ)                   | CQ出版      | 2,900  |
| 専門 | シミュレータで理解しながら習得するアセンブラ言語CASL II: COMET II シミュレータ・ソフトで動かしながら学習できる(サンデープログラマのための教科書シリーズ)   | CQ出版      | 2,400  |
| 専門 | リンカ・ローダ実践開発テクニック: 実行ファイルを作成するために必須の技術(COMPUTER TECHNOLOGY)                               | CQ出版      | 2,800  |
| 専門 | 並列&高速処理のためのマイコン・プログラミング: ロボットもキビキビ動くARMと並列プロセッサXMOsを例にして(TECHI Vol.53 Embedded Software) | CQ出版      | 2,800  |
| 専門 | JavaScriptプログラマのための実践的TypeScript入門                                                       | KADOKAWA  | 1,800  |
| 専門 | シェルスクリプト高速開発手法入門: フルスクラッチから1日でCMSを作る                                                     | KADOKAWA  | 2,600  |
| 専門 | プログラミング言語Dart                                                                            | KADOKAWA  | 3,700  |
| 専門 | C++テンプレートテクニック: 簡潔で再利用しやすいコードのためのC++活用術, 第2版                                             | SBクリエイティブ | 2,800  |
| 専門 | C++のエッセンス                                                                                | SBクリエイティブ | 2,200  |
| 専門 | Eclipseで学ぶはじめてのJava, 第4版                                                                 | SBクリエイティブ | 2,700  |
| 専門 | JavaデベロッパーのためのEclipse完全攻略                                                                | SBクリエイティブ | 2,800  |
| 専門 | Java最強リファレンス                                                                             | SBクリエイティブ | 2,580  |
| 専門 | UNIXシェルスクリプトコマンドブック, 第3版                                                                 | SBクリエイティブ | 2,200  |
| 専門 | UNIXシェルスクリプトマスターピース132                                                                   | SBクリエイティブ | 2,500  |
| 専門 | Xcode 5完全攻略: Xcode 5 Definitive Guide                                                    | SBクリエイティブ | 2,980  |
| 専門 | たのしいRuby, 第5版                                                                            | SBクリエイティブ | 2,600  |
| 専門 | データビジュアライゼーションのためのD3.js徹底入門: Webで魅せるグラフ&チャートの作り方                                         | SBクリエイティブ | 2,800  |
| 専門 | なるほどプログラミング: 動かしながら学ぶ、コンピュータの仕組みとプログラミングの基本                                              | SBクリエイティブ | 1,980  |
| 専門 | ふつうのLinuxプログラミング: Linuxの仕組みから学べるgccプログラミングの王道, 第2版                                       | SBクリエイティブ | 2,750  |
| 専門 | プログラミング言語C++                                                                             | SBクリエイティブ | 8,800  |
| 専門 | プログラミング入門講座: 基本と思考法と重要事項がきちんと学べる授業                                                       | SBクリエイティブ | 1,580  |
| 専門 | プロとしてのOracle PL/SQL入門, 第3版(Oracle現場主義)                                                   | SBクリエイティブ | 2,400  |
| 専門 | みんなのPython: Lightweight Language Python Definitive Guide, 第4版                            | SBクリエイティブ | 2,700  |
| 専門 | やさしいC, 第5版                                                                               | SBクリエイティブ | 2,500  |
| 専門 | やさしいC#, 第2版                                                                              | SBクリエイティブ | 2,580  |
| 専門 | やさしいC++, 第5版                                                                             | SBクリエイティブ | 2,580  |
| 専門 | やさしいJava, 第6版                                                                            | SBクリエイティブ | 2,580  |

|    |                                                                             |                   |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| 専門 | やさしいJava: オブジェクト指向編                                                         | ソフトバンククリエイティブ     | 2,800 |
| 専門 | やさしいJava: 活用編, 第6版                                                          | SBクリエイティブ         | 2,580 |
| 専門 | やさしいPython                                                                  | SBクリエイティブ         | 2,580 |
| 専門 | 確かな力が身につくC#「超」入門 (Informatics & IDEA)                                       | SBクリエイティブ         | 2,580 |
| 専門 | 確かな力が身につくPython「超」入門 (Informatics & IDEA)                                   | SBクリエイティブ         | 2,480 |
| 専門 | 詳解Swift: Programming Language Swift Definitive Guide, 第4版                   | SBクリエイティブ         | 3,200 |
| 専門 | 新・解きながら学ぶC言語                                                                | SBクリエイティブ         | 2,000 |
| 専門 | 新・解きながら学ぶJava                                                               | SBクリエイティブ         | 2,400 |
| 専門 | 新・明解C++入門                                                                   | SBクリエイティブ         | 2,750 |
| 専門 | 新・明解C言語: 入門編                                                                | SBクリエイティブ         | 2,300 |
| 専門 | 新・明解C言語: 実践編                                                                | SBクリエイティブ         | 2,300 |
| 専門 | 新・明解C言語: 中級編                                                                | SBクリエイティブ         | 2,400 |
| 専門 | 新・明解C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造                                                      | SBクリエイティブ         | 2,500 |
| 専門 | 新・明解C言語ポインタ完全攻略                                                             | SBクリエイティブ         | 2,400 |
| 専門 | 新・明解Javaで学ぶアルゴリズムとデータ構造                                                     | SBクリエイティブ         | 2,400 |
| 専門 | 新・明解Java入門                                                                  | SBクリエイティブ         | 2,700 |
| 専門 | 新しいシェルプログラミングの教科書                                                           | SBクリエイティブ         | 2,700 |
| 専門 | 徹底マスターJavaScriptの教科書: プログラミングの教養から、言語仕様、開発技法までが正しく身につく (Informatics & IDEA) | SBクリエイティブ         | 2,980 |
| 専門 | 土日でわかるPythonプログラミング教室 (Informatics & IDEA 短期集中講座)                           | SBクリエイティブ         | 2,380 |
| 専門 | 猫でもわかるC#プログラミング, 第3版 (NEKO series)                                          | SBクリエイティブ         | 2,500 |
| 専門 | 猫でもわかるWindowsプログラミングC#版 (NEKO series)                                       | SBクリエイティブ         | 2,750 |
| 専門 | 本当によくわかるJavaScriptの教科書: はじめての人も、挫折した人も、基礎力が必ず身に付く                           | SBクリエイティブ         | 1,980 |
| 専門 | 明解C++: 中級編, 新版                                                              | SBクリエイティブ         | 2,700 |
| 専門 | アルゴリズムの基礎: Introduction to Algorithms, 第2版                                  | アテック情報処理技術者教育センター | 3,000 |
| 専門 | アルゴリズムを学ぼう                                                                  | アスキー・メディアワークス     | 2,400 |
| 専門 | アルゴリズムを学ぼう: 続                                                               | アスキー・メディアワークス     | 2,500 |
| 専門 | オブジェクト指向JavaScript                                                          | アスキー・メディアワークス     | 3,200 |
| 専門 | つくって覚えるC#入門                                                                 | アスキー・メディアワークス     | 1,800 |
| 専門 | メタプログラミング.NET                                                               | アスキー・メディアワークス     | 3,200 |
| 専門 | CUDA Cプロフェッショナルプログラミング: CUDAの機能・手法を網羅的に解説! (impress top gear)               | インプレス             | 5,000 |
| 専門 | JavaScript関数型プログラミング: 複雑性を抑える発想と実践法を学ぶ (impress top gear)                   | インプレス             | 3,400 |
| 専門 | Javaプログラマーなら習得しておきたいJava SE 8実践プログラミング: 新機能を一挙に解説! (impress top gear)       | インプレス             | 2,800 |
| 専門 | Scalaスケーラブルプログラミング, 第3版                                                     | インプレス             | 4,600 |
| 専門 | Scala関数型デザインとプログラミング: Scalazコントリビューターによる関数型徹底ガイド (impress top gear)         | インプレス             | 3,900 |
| 専門 | Windows 10ユニバーサルアプリ開発: Windows 10 Mobile対応 (THINK IT BOOKS)                 | インプレス             | 1,800 |
| 専門 | Windows PowerShell超入門: 4.0対応                                                | インプレス             | 2,000 |
| 専門 | いちばんやさしいJavaScriptの教本: 人気講師が教えるWebプログラミング入門                                 | インプレス             | 2,200 |
| 専門 | いちばんやさしいPythonの教本: 人気講師が教える基礎からサーバサイド開発まで                                   | インプレス             | 2,200 |
| 専門 | スッキリわかるC言語入門                                                                | インプレス             | 2,700 |
| 専門 | スッキリわかるJava入門, 第2版                                                          | インプレス             | 2,600 |
| 専門 | スッキリわかるJava入門: 実践編, 第2版                                                     | インプレス             | 2,800 |
| 専門 | スラスラ読めるPythonふりがなプログラミング                                                    | インプレス             | 1,850 |
| 専門 | できるVisual Studio 2015                                                       | インプレス             | 1,800 |
| 専門 | できるキッズ子どもと学ぶScratchプログラミング入門                                                | インプレス             | 1,880 |
| 専門 | パソコンで楽しむ自分で動かす人工知能: やってみて、理解する!                                             | インプレス             | 1,800 |
| 専門 | プログラミングを、はじめよう                                                              | インプレス             | 1,780 |
| 専門 | 基礎Python: 入門から実践へステップアップ (IMPRESS KISO SERIES)                              | インプレス             | 2,680 |
| 専門 | 基礎Visual Basic 2015: 入門から実践へステップアップ (IMPRESS KISO SERIES)                   | インプレス             | 3,200 |
| 専門 | 逆引きPython標準ライブラリ: 目的別の基本レシピ180+! (impress top gear)                         | インプレス             | 3,000 |
| 専門 | APIデザインの極意: Java/.NetBeansアーキテクト探究ノート                                       | インプレスジャパン         | 3,200 |
| 専門 | JavaScriptで作るWindowsストアアプリ開発スタートガイド                                         | インプレスジャパン         | 2,800 |
| 専門 | OpenCL入門: マルチコアCPU・GPUのための並列プログラミング, 改訂新版                                   | インプレスジャパン         | 3,500 |
| 専門 | TypeScriptリファレンス                                                            | インプレスジャパン         | 3,400 |
| 専門 | アルゴリズムを、はじめよう                                                               | インプレスジャパン         | 1,680 |
| 専門 | エキスパートObjective-Cプログラミング: iOS/OS Xのメモリ管理とマルチスレッド                            | インプレスジャパン         | 2,000 |
| 専門 | きつねさんでもわかるLLVM: コンパイラを自作するためのガイドブック                                         | インプレスジャパン         | 2,400 |
| 専門 | できるExcel実践マクロ: 面倒な作業が一瞬で終わる!記録&自動化のコツがわかる本                                  | インプレスジャパン         | 1,980 |
| 専門 | はじめてのXcode 4プログラミング                                                         | インプレスジャパン         | 2,600 |
| 専門 | リバースエンジニアリングバイブル: コード再創造の美学                                                 | インプレスジャパン         | 4,000 |

|    |                                                                              |                |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 専門 | Java 8問題集: 理解を深める500問 (SCC Books B-388)                                      | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | Java入門, 改訂版 (SCC Books B-397 Java/バイブルシリーズ)                                  | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | オブジェクト指向プログラミング, 改訂版 (SCC Books B-398 Java/バイブルシリーズ)                         | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | ゲーム作りで学ぶJavaプログラミング入門: Java7版 (SCC Books B-358)                              | エスシーシー         | 2,200 |
| 専門 | ゲーム作りで学ぶVisual Basic 2010入門 (SCC Books B-351)                                | エスシーシー         | 2,200 |
| 専門 | わかりすぎるC言語の教科書: C言語習得のポイントが見えてくる! (SCC Books B-379)                           | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | わかりすぎるJava8の教科書: サンプルゲームを動かしながらJavaプログラムの基礎が学べる! (SCC Books B-376)           | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | わかりすぎるVisual Basic 2013の教科書: サンプルゲームを動かしながらVBプログラムの基礎が学べる! (SCC Books B-374) | エスシーシー         | 2,000 |
| 専門 | Juliaデータサイエンス: Juliaを使って自分でゼロから作るデータサイエンス世界の探索                               | エヌ・ティ・エス       | 3,600 |
| 専門 | マンガと図解でスッキリわかるプログラミングのしくみ                                                    | エムティエヌコーポレーション | 2,000 |
| 専門 | 7つの言語7つの世界: Ruby, Io, Prolog, Scala, Erlang, Clojure, and Haskell            | オーム社           | 3,200 |
| 専門 | ARMマイコンによる組込みプログラミング入門, 改訂2版 (ロボットで学ぶC言語)                                    | オーム社           | 2,500 |
| 専門 | Coders at Work: プログラミングの技をめぐる探求                                              | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | Cによるアルゴリズムとデータ構造                                                             | オーム社           | 2,700 |
| 専門 | Rubyのしくみ                                                                     | オーム社           | 3,200 |
| 専門 | Scheme手習い                                                                    | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | Scheme修行                                                                     | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | たのしいプログラミングPYTHONではじめよう!                                                     | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | プログラミングClojure, 第2版                                                          | オーム社           | 3,400 |
| 専門 | プログラミングElixir                                                                | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | プログラミングのための計算機科学入門: 1 始めるための基本事項                                             | オーム社           | 2,500 |
| 専門 | プログラミングのための計算機科学入門: 2 巣立つための体系的知識                                            | オーム社           | 2,000 |
| 専門 | リファクタリング: 既存のコードを安全に改善する, 新装版                                                | オーム社           | 4,200 |
| 専門 | 関数プログラミングの楽しみ                                                                | オーム社           | 4,200 |
| 専門 | 関数プログラミング珠玉のアルゴリズムデザイン                                                       | オーム社           | 4,200 |
| 専門 | 関数プログラミング入門: Haskellで学ぶ原理と技法                                                 | オーム社           | 3,800 |
| 専門 | 算数でわかるPythonプログラミング                                                          | オーム社           | 1,700 |
| 専門 | 子どもに教えるためのプログラミング入門: ExcelではじめるVisual Basic                                  | オーム社           | 2,000 |
| 専門 | 組込みユーザのためのアセンブリ/C言語読本                                                        | オーム社           | 2,600 |
| 専門 | 達人プログラマー: 職人から名匠への道, 新装版                                                     | オーム社           | 3,200 |
| 専門 | 定本入門COBOL                                                                    | オーム社           | 5,200 |
| 専門 | 例解UNIX/Linuxプログラミング教室: システムコールを使いこなすための12講                                   | オーム社           | 3,700 |
| 専門 | Cython: Cとの融合によるPythonの高速化                                                   | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Cクイックリファレンス                                                                  | オライリー・ジャパン     | 4,600 |
| 専門 | Effective Debugging: ソフトウェアとシステムをデバッグする66項目                                  | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Effective Modern C++: C++11/14プログラムを進化させる42項目                                | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | Effective Python: Pythonプログラムを改良する59項目                                       | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Fluent Python: Pythonicな思考とコーディング手法                                          | オライリー・ジャパン     | 5,800 |
| 専門 | Go言語でつくるインタプリタ                                                               | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | Haskellによる並列・並行プログラミング                                                       | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | Head First C: 頭とからだで覚えるCの基本                                                  | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | Head First Python: 頭とからだで覚えるPythonの基本                                        | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | IPythonデータサイエンスクックブック: 対話型コンピューティングと可視化のためのレシピ集                              | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | Java: The Good Parts                                                         | オライリー・ジャパン     | 2,200 |
| 専門 | JavaScriptで学ぶ関数型プログラミング                                                      | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | JavaScriptによるデータビジュアライゼーション入門                                                | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | Javaによる関数型プログラミング: Java8ラムダ式とStream                                          | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | Javaパフォーマンス                                                                  | オライリー・ジャパン     | 3,900 |
| 専門 | Land of Lisp                                                                 | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | Linuxプログラミングインタフェース                                                          | オライリー・ジャパン     | 7,600 |
| 専門 | Optimized C++: 最適化、高速化のためのプログラミングテクニック                                       | オライリー・ジャパン     | 4,000 |
| 専門 | Processingをはじめよう, 第2版 (Make: PROJECTS)                                       | オライリー・ジャパン     | 2,000 |
| 専門 | Pythonチュートリアル, 第3版                                                           | オライリー・ジャパン     | 1,800 |
| 専門 | PythonとJavaScriptではじめるデータビジュアライゼーション                                         | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | Python文法詳解                                                                   | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | RStudioではじめるRプログラミング入門                                                       | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | Rubyベストプラクティス: プロフェッショナルによるコードとテクニック                                         | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Rクイックリファレンス                                                                  | オライリー・ジャパン     | 4,200 |
| 専門 | Rクックブック                                                                      | オライリー・ジャパン     | 2,800 |

|    |                                                                                                         |            |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | Rグラフィックススクックブック: ggplot2によるグラフ作成のレシピ集                                                                   | オライリー・ジャパン | 3,400 |
| 専門 | R/パッケージ開発入門: テスト、文書化、コード共有の手法を学ぶ                                                                        | オライリー・ジャパン | 2,800 |
| 専門 | アート・オブ・Rプログラミング                                                                                         | オライリー・ジャパン | 3,200 |
| 専門 | アルゴリズムクイックリファレンス, 第2版                                                                                   | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | インタラクティブ・データビジュアライゼーション: D3.jsによるデータの可視化                                                                | オライリー・ジャパン | 2,800 |
| 専門 | オブジェクト指向JavaScriptの原則                                                                                   | オライリー・ジャパン | 2,400 |
| 専門 | コマンドラインではじめるデータサイエンス: 分析プロセスを自在に進めるテクニック                                                                | オライリー・ジャパン | 2,600 |
| 専門 | コンピュータサイエンス探偵の事件簿: データ構造と探索アルゴリズムが導く真実                                                                  | オライリー・ジャパン | 2,500 |
| 専門 | サイバーセキュリティプログラミング: Pythonで学ぶハッカーの思考                                                                     | オライリー・ジャパン | 3,000 |
| 専門 | デバッグの理論と実践: なぜプログラムはうまく動かないのか                                                                           | オライリー・ジャパン | 3,200 |
| 専門 | ハイパフォーマンスPython                                                                                         | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | プログラマが知るべき97のこと                                                                                         | オライリー・ジャパン | 1,900 |
| 専門 | プログラミングC#                                                                                               | オライリー・ジャパン | 4,800 |
| 専門 | プログラミングF#                                                                                               | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | プログラミングScala                                                                                            | オライリー・ジャパン | 3,800 |
| 専門 | メタプログラミングRuby, 第2版                                                                                      | オライリー・ジャパン | 3,000 |
| 専門 | リーダブルコード: より良いコードを書くためのシンプルで実践的なテクニック (THEORY/IN/PRACTICE)                                              | オライリー・ジャパン | 2,400 |
| 専門 | リバースエンジニアリング: Pythonによるバイナリ解析技法 (ART/OF/REVERSING)                                                      | オライリー・ジャパン | 3,200 |
| 専門 | 開眼!JavaScript: 言語仕様から学ぶJavaScriptの本質                                                                    | オライリー・ジャパン | 2,200 |
| 専門 | 言語実装パターン: コンパイラ技術によるテキスト処理から言語実装まで                                                                      | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | 実践Python 3                                                                                              | オライリー・ジャパン | 3,400 |
| 専門 | 実践Qt 4プログラミング                                                                                           | オライリー・ジャパン | 4,200 |
| 専門 | 初めてのPerl, 第7版                                                                                           | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | 初めてのPerl: 続, 改訂第2版                                                                                      | オライリー・ジャパン | 3,600 |
| 専門 | 初めてのプログラミング, 第2版                                                                                        | オライリー・ジャパン | 2,000 |
| 専門 | 詳説Cポインタ                                                                                                 | オライリー・ジャパン | 2,200 |
| 専門 | 正規表現クックブック                                                                                              | オライリー・ジャパン | 4,200 |
| 専門 | 退屈なことはPythonにやらせよう: ノンプログラマーにもできる自動化処理プログラミング                                                           | オライリー・ジャパン | 3,700 |
| 専門 | 入門Python 3                                                                                              | オライリー・ジャパン | 3,700 |
| 専門 | 入門データ構造とアルゴリズム                                                                                          | オライリー・ジャパン | 3,800 |
| 専門 | 入門モダンJavaScript                                                                                         | オライリー・ジャパン | 3,000 |
| 専門 | 64ビットアセンブラ入門: 64ビットCPUの基本構造もやさしく解説                                                                      | カットシステム    | 3,200 |
| 専門 | AVX命令入門: Intel CPUのSIMD命令を使い倒せ                                                                          | カットシステム    | 5,400 |
| 専門 | C#によるOpenCL並列プログラミング                                                                                    | カットシステム    | 3,200 |
| 専門 | C#によるWindowsシステムプログラミング                                                                                 | カットシステム    | 4,400 |
| 専門 | C/C++, FortranプログラマーのためのIntel Parallel Studio XE 2015入門: Windows, LinuxおよびMac OS X向けアプリケーション開発の統合開発スイート | カットシステム    | 5,000 |
| 専門 | C/C++デバッグ & トラブル対策入門: C言語とC++のプログラミングの「困った」はこれで解決!                                                      | カットシステム    | 2,000 |
| 専門 | C/C++プログラマーのためのOpenMP並列プログラミング, 第2版                                                                     | カットシステム    | 4,200 |
| 専門 | Cilkがやってきた: C/C++プログラマーのための並列プログラミング言語                                                                  | カットシステム    | 2,800 |
| 専門 | C言語ははじめの一步, 第2版 (やさしいプログラミング)                                                                           | カットシステム    | 2,400 |
| 専門 | Delphi XE2プログラミング入門: クロスプラットフォーム開発環境の最新版                                                                | カットシステム    | 3,800 |
| 専門 | Fortran 2008入門                                                                                          | カットシステム    | 3,000 |
| 専門 | IoTデバイスプログラミング入門: Windows 10 IoT CoreとRaspberry Piで作るIoTデバイス                                            | カットシステム    | 2,400 |
| 専門 | Java 8のキーポイント: 最新のJavaをより効果的に使うために                                                                      | カットシステム    | 3,200 |
| 専門 | Java8テクニック事典: 最新テクニックを「やりたいこと」から探せるJavaプログラマ必携書!!                                                       | カットシステム    | 3,400 |
| 専門 | JavaFX GUIプログラミング: Vol.1                                                                                | カットシステム    | 3,600 |
| 専門 | JavaFX & Java 8プログラミング: Javaによる新しいGUIプログラミング入門                                                          | カットシステム    | 3,200 |
| 専門 | Javaははじめの一步, 第3版 (やさしいプログラミング)                                                                          | カットシステム    | 2,000 |
| 専門 | Kinect for Windowsアプリを作ろう!                                                                              | カットシステム    | 3,000 |
| 専門 | OBJECT PASCAL HANDBOOK: マルチデバイス開発ツールDelphiのためのプログラミング言語完全ガイド                                            | カットシステム    | 6,000 |
| 専門 | OpenCL 2入門: メニーコアCPU & GPGPU時代の並列処理                                                                     | カットシステム    | 5,400 |
| 専門 | OpenCL応用: メニーコアCPU & GPGPU時代の並列処理                                                                       | カットシステム    | 5,800 |
| 専門 | OpenCL詳説: マルチコアCPU/GPUのための、ヘテロジニアスな並列プログラミング標準フレームワーク                                                   | カットシステム    | 6,800 |
| 専門 | OpenCL並列プログラミング: マルチコアCPU/GPUのための標準フレームワーク                                                              | カットシステム    | 2,800 |
| 専門 | Parallelプログラミングin.NET Framework 4.0                                                                     | カットシステム    | 3,800 |
| 専門 | Processingプログラミング入門: Javaベースのオープンソース統合開発環境                                                              | カットシステム    | 3,000 |
| 専門 | Pythonで始めるOpenCL: メニーコアCPU & GPGPU時代の並列処理                                                               | カットシステム    | 3,800 |
| 専門 | Rで学ぶプログラミングの基礎の基礎                                                                                       | カットシステム    | 2,800 |
| 専門 | Scalaテキスト: 基本文法編                                                                                        | カットシステム    | 2,400 |

|    |                                                                                          |             |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|
| 専門 | Small Basicでlet'sプログラミング: もっと思いどおりにパソコンを使おう!                                             | カットシステム     | 2,600 |
| 専門 | Visual C#データベースプログラミング入門                                                                 | カットシステム     | 2,800 |
| 専門 | Win32/64 APIシステムプログラミング: 32/64ビットの共存、コンパクト版                                              | カットシステム     | 4,200 |
| 専門 | Win64 APIシステムプログラミング: 64ビット徹底活用                                                          | カットシステム     | 8,000 |
| 専門 | インテルXeon Phiコプロセッサ ハイパフォーマンス・プログラミング                                                     | カットシステム     | 6,500 |
| 専門 | インテルXeon Phiコプロセッサ ハイパフォーマンス・プログラミング: Knights Landingエディション                              | カットシステム     | 8,000 |
| 専門 | クイズでマスターC言語                                                                              | カットシステム     | 1,600 |
| 専門 | スクラッチ2.0アイデアブック: ゼロから学ぶスクラッチプログラミング                                                      | カットシステム     | 2,400 |
| 専門 | スクラッチではじめるプログラミング                                                                        | カットシステム     | 3,200 |
| 専門 | ドリル形式でやさしく学ぶC/C++                                                                        | カットシステム     | 2,200 |
| 専門 | プログラミング言語温故知新: 人工言語の継承を学ぶ                                                                | カットシステム     | 3,200 |
| 専門 | プログラムの不思議を解く: 実力派プログラマーのための教養としてのアセンブラ入門                                                 | カットシステム     | 2,600 |
| 専門 | やさしいEmacs-Lisp講座, 改訂版                                                                    | カットシステム     | 2,800 |
| 専門 | やさしいF#入門: 関数型言語を始める                                                                      | カットシステム     | 2,800 |
| 専門 | やさしいJava入門: 講義形式でじっくりマスター, 第3版                                                           | カットシステム     | 2,400 |
| 専門 | やさしいKotlin入門                                                                             | カットシステム     | 2,400 |
| 専門 | やさしいPascal入門                                                                             | カットシステム     | 2,400 |
| 専門 | やさしいPICアセンブラ入門: マイコンで学ぶシンプルなアセンブラプログラミング                                                 | カットシステム     | 2,200 |
| 専門 | やさしいPython入門                                                                             | カットシステム     | 2,200 |
| 専門 | やさしいScala入門: 平明な例と演習問題で学ぶ                                                                | カットシステム     | 2,800 |
| 専門 | やさしい正規表現: オフィススイートで一歩進んだ文書処理                                                             | カットシステム     | 2,000 |
| 専門 | 構造化並列プログラミング: 効率良い計算を行うためのパターン                                                           | カットシステム     | 6,000 |
| 専門 | 高速化プログラミング入門                                                                             | カットシステム     | 3,800 |
| 専門 | 次世代iOS、macOSプログラマーのためのSwift Macアプリ開発入門                                                   | カットシステム     | 3,800 |
| 専門 | 次世代iOS、OS XプログラマーのためのSwift言語入門                                                           | カットシステム     | 2,600 |
| 専門 | 実用的Rubyスクリプティング: 入門から次の段階に進むためのスクリプトの書き方講座                                               | カットシステム     | 3,200 |
| 専門 | 手軽に始める組み込みシステムプログラミング: ARMマイコンを使ってCLEDの点滅からリアルタイムOSの利用/ネットワーク/PWMなどを学ぶ                   | カットシステム     | 3,400 |
| 専門 | 標準COBOLプログラミング, 第2版                                                                      | カットシステム     | 3,800 |
| 専門 | C言語プログラミング基本例題88+88                                                                      | コロナ社        | 2,800 |
| 専門 | MATLABではじめるプログラミング教室                                                                     | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | MATLABによるシステムプログラミング: プロセス・ロボット・非線形システム制御からDCS構築まで                                       | コロナ社        | 2,200 |
| 専門 | Pythonで始めるプログラミング入門                                                                      | コロナ社        | 2,000 |
| 専門 | アクティブラーニングで学ぶJavaプログラミングの基礎: 1                                                           | コロナ社        | 2,000 |
| 専門 | アクティブラーニングで学ぶJavaプログラミングの基礎: 2                                                           | コロナ社        | 2,300 |
| 専門 | アルゴリズム入門, 改訂版                                                                            | コロナ社        | 2,200 |
| 専門 | オブジェクト指向言語Java                                                                           | コロナ社        | 2,900 |
| 専門 | つくって学ぶProcessingプログラミング入門                                                                | コロナ社        | 2,400 |
| 専門 | データ構造とアルゴリズム (電子情報通信リクチャーシリーズ B-8)                                                       | コロナ社        | 3,300 |
| 専門 | データ構造とアルゴリズム (コンピュータサイエンス教科書シリーズ 2)                                                      | コロナ社        | 2,800 |
| 専門 | 実践コンパイラ構成法 (電子通信情報系コアテキストシリーズ C-1)                                                       | コロナ社        | 2,800 |
| 専門 | 魔法のCプログラミング演習書: 入門から実践まで                                                                 | コロナ社        | 2,600 |
| 専門 | 例題で学ぶJava入門                                                                              | コロナ社        | 2,200 |
| 専門 | アルゴリズム設計とデータ構造 (ライブラリ情報学コア・テキスト 3)                                                       | サイエンス社      | 2,300 |
| 専門 | コンパイラの理論と作成技法 (ライブラリ情報学コア・テキスト 12)                                                       | サイエンス社      | 1,700 |
| 専門 | システムプログラミング入門: UNIXシステムコール, 演習による理解 (Computer Science Library 10)                        | サイエンス社      | 2,200 |
| 専門 | プログラミング言語の基礎概念 (ライブラリ情報学コア・テキスト 24)                                                      | サイエンス社      | 1,850 |
| 専門 | モデルの記述と検証のためのプログラミング入門: CafeOBJによる仕様検証 (ライブラリ情報学コア・テキスト 13)                              | サイエンス社      | 2,000 |
| 専門 | やさしく学べるC言語入門: 基礎から数値計算入門まで, 第2版 (UNIX & Information Science 4)                           | サイエンス社      | 2,600 |
| 専門 | 実習Visual Basic: だれでもわかるプログラミング, 最新版 (実習ライブラリ 9)                                          | サイエンス社      | 2,100 |
| 専門 | ARMで学ぶアセンブリ言語入門: ARMを使った組み込みソフトウェア開発の基礎がわかる!                                             | シーアンドアール研究所 | 3,200 |
| 専門 | C言語逆引きハンドブック                                                                             | シーアンドアール研究所 | 3,000 |
| 専門 | Java逆引きハンドブック                                                                            | シーアンドアール研究所 | 4,000 |
| 専門 | Objective-C逆引きハンドブック, 改訂2版                                                               | シーアンドアール研究所 | 3,800 |
| 専門 | R言語逆引きハンドブック, 改訂3版                                                                       | シーアンドアール研究所 | 5,000 |
| 専門 | R言語上級ハンドブック                                                                              | シーアンドアール研究所 | 4,200 |
| 専門 | Swift逆引きハンドブック                                                                           | シーアンドアール研究所 | 4,000 |
| 専門 | Windows PowerShell逆引きハンドブック                                                              | シーアンドアール研究所 | 4,200 |
| 専門 | Windows/Mac/UNIXすべてで20年動くプログラムはどう書くべきか: 一度書けばどこでも、ずっと使えるプログラムを持ち込んでいた人々へ贈る(シェルスクリプトレシピ集) | シーアンドアール研究所 | 3,600 |
| 専門 | すべてのUNIXで20年動くプログラムはどう書くべきか: デプロイ・保守に苦しむエンジニア達へ贈る(シェルスクリプトレシピ集)                          | シーアンドアール研究所 | 2,500 |

|    |                                                                          |               |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | 基礎からわかるC#                                                                | シーアンドアール研究所   | 2,000 |
| 専門 | 基礎からわかるGo言語、改訂2版                                                         | シーアンドアール研究所   | 2,200 |
| 専門 | 基礎からわかるPL/SQL                                                            | シーアンドアール研究所   | 2,600 |
| 専門 | 基礎からわかるScala                                                             | シーアンドアール研究所   | 2,430 |
| 専門 | 基礎からわかるSwift                                                             | シーアンドアール研究所   | 2,300 |
| 専門 | 基礎から学ぶTizenアプリ開発: Tizen OSで動くアプリ開発の手引書                                   | シーアンドアール研究所   | 3,000 |
| 専門 | 基礎から学ぶWindowsストアアプリ開発: Windows 8 PC&タブレットで稼動するアプリ開発の基本書                  | シーアンドアール研究所   | 3,200 |
| 専門 | 基礎から学ぶXamarinプログラミング                                                     | シーアンドアール研究所   | 3,250 |
| 専門 | 中学生でもわかるWindowsストアアプリ開発講座                                                | シーアンドアール研究所   | 2,500 |
| 専門 | いちばんやさしいPython入門教室: 豊富なカラー図解とイラストで超わかる!                                  | ソーテック社        | 2,280 |
| 専門 | 詳細!Python3入門ノート                                                          | ソーテック社        | 2,680 |
| 専門 | 100問でわかるPython                                                           | ソシム           | 1,800 |
| 専門 | 3日でマスターJavaScript                                                        | ソシム           | 1,800 |
| 専門 | LLVM/Clang実践活用ハンドブック                                                     | ソシム           | 2,500 |
| 専門 | Raspberry Piで学ぶARMデバイスライバープログラミング                                        | ソシム           | 2,980 |
| 専門 | Windows PowerShellコマンド&スクリプティングガイド: 動くサンプルで学べる                           | ソシム           | 2,980 |
| 専門 | Windows自動処理のためのWSHプログラミングガイド: ウィンドウズ標準のスクリプト環境で仕事をスマートに! 増補改訂版           | ソシム           | 2,980 |
| 専門 | いまどきのアルゴリズムを使いこなすPHPプログラミング開発テクニック: 基本のソートから、スクレイピング、ベイジアン、SVM、機械学習まで    | ソシム           | 2,980 |
| 専門 | きれいなコードを書くための鉄則                                                          | ソシム           | 1,860 |
| 専門 | タイニーBASICをCで書く: パソコンでもマイコンでも走り、機能拡張し放題。                                  | ソシム           | 3,200 |
| 専門 | プログラミング言語図鑑: プログラミング言語の現在・過去・未来…知ればもっと楽しめる!                              | ソシム           | 1,680 |
| 専門 | 今こそホンキで覚えるPython: 動かしながらさくっと身につく                                         | ソシム           | 2,200 |
| 専門 | 作って身につくC言語入門                                                             | ソシム           | 2,280 |
| 専門 | 世界一わかりやすいObjective-Cプログラミングの授業                                           | ソシム           | 2,480 |
| 専門 | C++言語クイック入門&リファレンス(林晴比古実用マスターシリーズ)                                       | ソフトバンククリエイティブ | 2,800 |
| 専門 | Java言語プログラミングレッスン: 上 Java言語を始めよう、第3版                                     | ソフトバンククリエイティブ | 2,400 |
| 専門 | Java言語プログラミングレッスン: 下 オブジェクト指向を始めよう、第3版                                   | ソフトバンククリエイティブ | 2,400 |
| 専門 | プログラミングの宝箱アルゴリズムとデータ構造、第2版                                               | ソフトバンククリエイティブ | 2,800 |
| 専門 | プロのためのWindowsストアアプリプログラミングガイド                                            | ソフトバンククリエイティブ | 3,200 |
| 専門 | やさしいC: アルゴリズム編                                                           | ソフトバンククリエイティブ | 2,800 |
| 専門 | 作りながら覚えるWindowsストアアプリプログラミング: Windows 8のアプリをJavaScriptで作ろう!              | ソフトバンククリエイティブ | 2,400 |
| 専門 | 詳解Objective-C 2.0、第3版                                                    | ソフトバンククリエイティブ | 3,800 |
| 専門 | 新・明解C言語によるアルゴリズムとデータ構造                                                   | ソフトバンククリエイティブ | 2,600 |
| 専門 | 定本Javaプログラマのためのアルゴリズムとデータ構造                                              | ソフトバンククリエイティブ | 2,700 |
| 専門 | 猫でもわかるC++プログラミング、第2版 (NEKO series)                                       | ソフトバンククリエイティブ | 2,200 |
| 専門 | 猫でもわかるC言語プログラミング、第3版 (NEKO series)                                       | ソフトバンククリエイティブ | 1,900 |
| 専門 | 明快入門C(林晴比古実用マスターシリーズ)                                                    | ソフトバンククリエイティブ | 1,900 |
| 専門 | 明快入門C: スーパービギナー編(林晴比古実用マスターシリーズ)                                         | ソフトバンククリエイティブ | 1,600 |
| 専門 | 明快入門Java(林晴比古実用マスターシリーズ)                                                 | ソフトバンククリエイティブ | 2,800 |
| 専門 | 明快入門インタプリタ開発: 基本技術から処理系の実装まで(林晴比古実用マスターシリーズ)                             | ソフトバンククリエイティブ | 2,800 |
| 専門 | 明快入門コンパイラ・インタプリタ開発: C処理系を作りながら学ぶ(林晴比古実用マスターシリーズ)                         | ソフトバンククリエイティブ | 2,380 |
| 専門 | ハッカーの学校 ハッキング実験室                                                         | データハウス        | 2,800 |
| 専門 | C++11/14コア言語                                                             | ドワンゴ          | 3,800 |
| 専門 | C++によるプログラミングの原則と実践                                                      | ドワンゴ          | 7,000 |
| 専門 | Clean Code: アジャイルソフトウェア達人の技                                              | ドワンゴ          | 3,800 |
| 専門 | Haskellによる関数プログラミングの思考法                                                  | ドワンゴ          | 2,800 |
| 専門 | The Art of Computer Programming: 日本語版: 1 Fundamental Algorithms          | ドワンゴ          | 4,800 |
| 専門 | The Art of Computer Programming: 日本語版: 2 Seminumerical Algorithms        | ドワンゴ          | 4,800 |
| 専門 | The Art of Computer Programming: 日本語版: 3 Sorting and Searching           | ドワンゴ          | 4,800 |
| 専門 | The Art of Computer Programming: 日本語版: 4A Combinatorial Algorithms Part1 | ドワンゴ          | 4,800 |
| 専門 | UNIXプログラミング環境                                                            | ドワンゴ          | 3,200 |
| 専門 | プログラミング作法                                                                | ドワンゴ          | 2,800 |
| 専門 | 江添亮の詳説C++17                                                              | ドワンゴ          | 2,600 |
| 専門 | 純粋関数型データ構造                                                               | ドワンゴ          | 2,500 |
| 専門 | 誰にでもできるらくらくR言語                                                           | ナカニシヤ出版       | 2,400 |
| 専門 | Objective-Cフリーズブック: 使いこなすためのコード&イディオム100+                                | ピアン桐原         | 1,900 |
| 専門 | Objective-Cプログラミング (The Big Nerd Ranch Guide)                            | ピアン桐原         | 2,900 |
| 専門 | プログラミング原論                                                                | ピアン桐原         | 3,400 |
| 専門 | リファクタリングRuby: 実践ワークブック                                                   | ピアン桐原         | 3,200 |

|    |                                                                                                |              |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 専門 | FlashクリエイターのためのAIRプログラミング入門: Android、iPhoneアプリの最短距離!                                           | ピー・エヌ・エヌ新社   | 3,400 |
| 専門 | オンラインジャッジではじめるC/C++プログラミング入門: Online Programming Challenge!                                    | マイナビ         | 2,850 |
| 専門 | プログラミングコンテストチャレンジブック: 問題解決のアルゴリズム活用力とコーディングテクニックを鍛える、第2版                                       | マイナビ         | 3,280 |
| 専門 | プログラミングコンテスト攻略のためのアルゴリズムとデータ構造: AIZU ONLINE JUDGE                                              | マイナビ         | 3,580 |
| 専門 | マイクロソフトOffice用アプリ開発スタートアップガイド: Office 2013およびOffice 365 ProPlusで実行できるアプリの制作を解説!                | マイナビ         | 2,880 |
| 専門 | 開発ツールを使って学ぶ!C言語プログラミング: プロが使うツールでマスター!                                                         | マイナビ         | 2,780 |
| 専門 | 開発のプロが教えるSwift標準ガイドブック                                                                         | マイナビ         | 3,490 |
| 専門 | 速習C言語入門: 脳に定着する新メソッドで必ず身につく、第2版                                                                | マイナビ         | 2,400 |
| 専門 | 目指せプログラマー!プログラミング超入門: プログラミング的な考え方をしっかり身につけよう: Visual Studio Community・C#編                     | マイナビ         | 2,400 |
| 専門 | Kotlinイン・アクション                                                                                 | マイナビ出版       | 3,810 |
| 専門 | PowerShell実践ガイドブック: クロスプラットフォーム対応の次世代シェルを徹底解説                                                  | マイナビ出版       | 3,680 |
| 専門 | スマートスピーカー×AIプログラミング: 自分でつくる人工知能                                                                | マイナビ出版       | 2,900 |
| 専門 | ゼロからやさしくはじめるPython入門: 基本からスタートして、ゲームづくり、機械学習まで学ぼう!                                             | マイナビ出版       | 2,310 |
| 専門 | ちゃんと使える力を身につけるJavaプログラミング入門                                                                    | マイナビ出版       | 2,480 |
| 専門 | プログラミングの世界へようこそ: 絵で見てわかる!                                                                      | マイナビ出版       | 1,790 |
| 専門 | 楽しく学ぶアルゴリズムとプログラミングの図鑑: アルゴリズムのしくみと、主要言語での書き方が、やさしくわかる!                                        | マイナビ出版       | 2,490 |
| 専門 | 実践力を身につけるPythonの教科書                                                                            | マイナビ出版       | 2,580 |
| 専門 | 親子で学ばはじめてのプログラミング: Unityで3Dゲームをつくらう!                                                           | マイナビ出版       | 2,740 |
| 専門 | 人狼知能で学ぶAIプログラミング: 欺瞞・推理・会話で不完全情報ゲームを戦う人工知能の作り方                                                 | マイナビ出版       | 3,680 |
| 専門 | 世界で闘うプログラミング力を鍛える本: コーディング面接189問とその解法                                                          | マイナビ出版       | 3,800 |
| 専門 | インテリジェントウェブアルゴリズム                                                                              | みかん書院        | 3,800 |
| 専門 | 基礎から学ぶアルゴリズムとデータ構造                                                                             | ムイスリ出版       | 2,300 |
| 専門 | Apache POI入門: Java+Apache POI APIでExcelドキュメントを操作する                                             | ラトルズ         | 2,800 |
| 専門 | Objective-C超入門: ゼロからしっかり学べるiPhoneプログラミング、改訂第3版                                                 | ラトルズ         | 2,800 |
| 専門 | Xcode5ではじめるObjective-Cプログラミング                                                                  | ラトルズ         | 2,800 |
| 専門 | XcodeではじめるSwiftプログラミング                                                                         | ラトルズ         | 2,800 |
| 専門 | 絶対現場主義C#入門: 食えるプログラマーになるために                                                                    | ラトルズ         | 1,905 |
| 専門 | Go言語入門                                                                                         | リックテレコム      | 3,200 |
| 専門 | JavaScriptではじめるIoTいろいろの“い”: Raspberry Piで楽々試作                                                  | リックテレコム      | 1,800 |
| 専門 | Unityではじめるおもしろプログラミング入門                                                                        | リックテレコム      | 1,800 |
| 専門 | つないでつないでプログラミング: Node-REDでつくる初めてのアプリ                                                           | リックテレコム      | 2,000 |
| 専門 | プロを目指すSwift基本文法と応用                                                                             | リックテレコム      | 3,000 |
| 専門 | めくってプログラミング: ドリル形式でグングンわかる                                                                     | リックテレコム      | 2,200 |
| 専門 | モバイルで動くウィジェット: 手軽にプログラミング                                                                      | リックテレコム      | 2,600 |
| 専門 | 関数型プログラミングの基礎: JavaScriptを使って学ぶ                                                                | リックテレコム      | 2,800 |
| 専門 | 教えてプログラミング: まずはなんとなく分かんことが大切よ!                                                                 | リックテレコム      | 1,600 |
| 専門 | 新人君!RPGの世界でJavaを学ぼう                                                                            | リックテレコム      | 2,200 |
| 専門 | 非エンジニアのためのプログラミング講座                                                                            | リックテレコム      | 1,800 |
| 専門 | Perl CPANモジュールガイド                                                                              | ワークスコーポレーション | 2,600 |
| 専門 | C言語プログラミング基礎演習ワークブック                                                                           | 英光社          | 1,900 |
| 専門 | Linux GUIプログラミング入門: UbuntuでLazarusを使ってみよう!                                                     | 開成出版         | 2,500 |
| 専門 | 3時間の仕事がつたった3秒で終わるExcelマクロ術 (仕事の教科書BOOKS)                                                       | 学研パブリッシング    | 1,980 |
| 専門 | 楽しいプログラミング: オブジェクト指向言語Rubyを使って                                                                 | 学術図書出版社      | 2,500 |
| 専門 | 配線盤からC言語まで                                                                                     | 丸善プラネット      | 2,400 |
| 専門 | Effective C++: プログラムとデザインを改良するための55項目、第3版 (ADDISON-WESLEY PROFESSIONAL COMPUTING SERIES)       | 丸善出版         | 3,800 |
| 専門 | Effective Java、第2版 (The Java Series)                                                           | 丸善出版         | 3,600 |
| 専門 | More Effective C++: プログラムとデザインを改良するための新35項目、新訂版 (ADDISON-WESLEY PROFESSIONAL COMPUTING SERIES) | 丸善出版         | 3,800 |
| 専門 | アルゴリズム: Algorithms (東京大学工学教程 情報工学)                                                             | 丸善出版         | 2,200 |
| 専門 | アルゴリズム設計マニュアル: 上                                                                               | 丸善出版         | 4,500 |
| 専門 | アルゴリズム設計マニュアル: 下                                                                               | 丸善出版         | 4,500 |
| 専門 | オブジェクト指向のこころ: デザインパターンとともに学ぶ (SOFTWARE PATTERNS SERIES)                                        | 丸善出版         | 3,800 |
| 専門 | プログラミング言語Go (ADDISON-WESLEY PROFESSIONAL COMPUTING SERIES)                                     | 丸善出版         | 3,800 |
| 専門 | プログラミング道への招待                                                                                   | 丸善出版         | 1,800 |
| 専門 | 相互排除問題: 「際どい資源」をいかにプログラムで利用するか                                                                 | 岩波書店         | 4,200 |
| 専門 | 〈標準〉C言語重要用語解説                                                                                  | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | 15時間でわかるJava集中講座                                                                               | 技術評論社        | 2,680 |
| 専門 | 15時間でわかるPython集中講座                                                                             | 技術評論社        | 2,680 |
| 専門 | 15時間でわかるSwift集中講座                                                                              | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | 15時間でわかるUWPアプリ開発集中講座                                                                           | 技術評論社        | 2,780 |



|    |                                                                                                      |       |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 専門 | 2週間でできるスクリプト言語の作り方: オリジナルなスクリプト言語をJava仮想マシン上で作り上げる (Software Design plusシリーズ)                        | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶC#入門: プログラミングの基本をやさしく解説 改訂2版                                                             | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶC言語入門: 一番わかりやすいC言語の入門書 改訂2版                                                              | 技術評論社 | 2,000 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶJava入門 改訂2版                                                                              | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶPython入門                                                                                 | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶRuby入門: 基本文法からライブラリ活用まで                                                                  | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶVisual Basic入門 改訂2版                                                                      | 技術評論社 | 2,500 |
| 専門 | APIデザインケーススタディ: Rubyの実例から学ぶ。問題に即したデザインと普通の考え方 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | AWK実践入門: ライトウェイトなテキスト処理言語の超定番 (Software Design plusシリーズ)                                             | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | C#6実践的プログラミング(入門)講座: コード資産を継承し発展させたい!!                                                               | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | C#エンジニア養成読本: はじめて学ぶC#から最新C#6.0まで情報満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)                       | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | C#によるマルチコアのための非同期/並列処理プログラミング: 最新開発テクニックの基礎&実践知識                                                     | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | C#プログラマーのためのデバッグの基本&応用テクニック: しつこい「バグ」に悩む人の暗雲が晴れる、解決のヒント                                              | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | C#プログラマーのための基礎からわかるLINQマジック: 今後避けては通れない革新的なプログラミング手法の全貌                                              | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | C#プログラミングすぐに現場で使える知識: 速攻入門                                                                           | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | C#プログラミングの冒険: 実践編 ただ書けるだけじゃ物足りない!!                                                                   | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | C#プログラムの効率的な書き方: 省エネ対応                                                                               | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | C#ポケットリファレンス 改訂新版 (Pocket Reference)                                                                 | 技術評論社 | 2,640 |
| 専門 | C#ルールブック (読みやすく効率的なコードの原則)                                                                           | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | C++クラスと継承完全制覇 (新・標準プログラマーズライブラリ)                                                                     | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | C++ポケットリファレンス 改訂第3版 (Pocket Reference)                                                               | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | COBOLポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                                   | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | C言語によるPICプログラミング大全                                                                                   | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | C言語によるはじめてのアルゴリズム入門 改訂第4版                                                                            | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | C言語による標準アルゴリズム事典 改訂新版 (Software Technology 13)                                                       | 技術評論社 | 2,500 |
| 専門 | C言語プログラミングなるほど実験室: コンピュータのしくみがよくわかる!                                                                 | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | C言語ポインタが理解できない理由(わけ) 改訂新版 (プログラミングの教科書)                                                              | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | C言語ポインタ完全制覇 (新・標準プログラマーズライブラリ)                                                                       | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | C言語入門書の次に読む本 改訂新版 (プログラミングの教科書)                                                                      | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | C言語本格入門: 基礎知識からコンピュータの本質まで                                                                           | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | Emacs LISPテクニックバイブル: 真髄を知るLispの掟                                                                     | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | Haskell入門: 関数型プログラミング言語の基礎と実践                                                                        | 技術評論社 | 3,280 |
| 専門 | IntelliJ IDEA/ハンスオン: 基本操作からプロジェクト管理までマスター                                                            | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | JavaScript徹底攻略: jQuery   Node.js   クライアントサイドMVC   CoffeeScript   Backbone.js (WEB+DB PRESS plusシリーズ) | 技術評論社 | 1,880 |
| 専門 | Javaエンジニア養成読本: 現場で役立つ最新知識、満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)                               | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | Javaポケットリファレンス 改訂新版 (Pocket Reference)                                                               | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | Javaルールブック (読みやすく効率的なコードの原則)                                                                         | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | Java本格入門: モダンスタイルによる基礎からオブジェクト指向・実用ライブラリまで                                                           | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | Objective-Cプログラマーズバイブル                                                                               | 技術評論社 | 4,200 |
| 専門 | Perlではじめるプログラミング超入門: はじめてのプログラミング 第2版 (かんたんIT基礎講座)                                                   | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | PL/SQLポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                                  | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | Processingクリエイティブ・コーディング入門: コードが生み出す創造表現                                                             | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | Pythonエンジニアファーストブック                                                                                  | 技術評論社 | 2,400 |
| 専門 | Pythonエンジニア養成読本: いまどきの開発ノウハウ満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)                             | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | Pythonスタートブック: いちばんやさしいPythonの本 増補改訂版                                                                | 技術評論社 | 2,500 |
| 専門 | Pythonライブラリ厳選レシピ: RECIPE Python SELECTION                                                            | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | Ruby徹底攻略: Ruby 2.1   Rails 4   テスト最前線   RubyGems   RubyMotion   mruby   自動化 (WEB+DB PRESS plus)      | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | Swiftポケットリファレンス 改訂新版 (Pocket Reference)                                                              | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | Swift実践入門: 直感的な文法と安全性を兼ね備えた言語 改訂新版 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                           | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | VB.NETルールブック (読みやすく効率的なコードの原則)                                                                       | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | Windows PowerShellポケットリファレンス 改訂新版 (Pocket Reference)                                                 | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | あなたの知らない超絶技巧プログラミングの世界                                                                               | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | いちばんやさしいアルゴリズムの本: 算数の知識でわかる!                                                                         | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | エンジニアのためのデータ可視化(実践)入門: D3.jsによるWebの可視化 (Software Design plusシリーズ)                                    | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | オブジェクト指向をきちんと使いたいあなたへ (SoftwareDesign別冊)                                                             | 技術評論社 | 1,850 |
| 専門 | かんたんプログラミングExcel 2010 VBA: 基礎編                                                                       | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | かんたんプログラミングExcel 2010 VBA: コントロール・関数編                                                                | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | かんたんプログラミングExcel 2010 VBA: 応用編                                                                       | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | かんたんプログラミングVisual Basic 2010: 基礎編                                                                    | 技術評論社 | 2,180 |

|    |                                                                                                     |       |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 専門 | かんたんプログラミングVisual Basic 2010/2008/2005: コントロール編                                                     | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | きちんとわかる!JavaScriptとことん入門                                                                            | 技術評論社 | 2,740 |
| 専門 | コーディングを支える技術: 成り立ちから学ぶプログラミング作法 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                             | 技術評論社 | 2,470 |
| 専門 | ゴールからはじめるC#: 「作りたいもの」でプログラミングのきほんがわかる                                                               | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | これからはじめるプログラミング作って覚える基礎の基礎: 最も親しみやすいプログラミング言語「Scratch」で身につけよう!                                      | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | シェルスクリプト基本リファレンス: #!/bin/shで、ここまでできる。改訂第3版 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                  | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | シェルプログラミング実用テクニック (Software Design plusシリーズ)                                                        | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | ゼロからわかるJava超入門: はじめてのプログラミング 改訂新版                                                                   | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | ゼロからわかるPython超入門: はじめてのプログラミング (かんたんIT基礎講座)                                                         | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | ゼロからわかるVisual Basic超入門: はじめてのプログラミング 改訂2版 (かんたんIT基礎講座)                                              | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | ゼロからわかるオブジェクト指向超入門: Javaで体験するオブジェクト指向                                                               | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | たった1日で基本が身に付く!C#超入門                                                                                 | 技術評論社 | 2,060 |
| 専門 | たった1日で基本が身に付く!Java超入門                                                                               | 技術評論社 | 2,060 |
| 専門 | たった1日で基本が身に付く!Python超入門                                                                             | 技術評論社 | 2,060 |
| 専門 | たった1秒で仕事が片づくExcel自動化の教科書                                                                            | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | たのしいバイナリの歩き方                                                                                        | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | はじめてのAlexaスキル開発: 音声認識アプリ開発の基礎知識を身に付ける!                                                              | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | はじめてのLisp関数型プログラミング: ラムダ計算からリファクタリングまで一気にわかる (Software Design plusシリーズ)                             | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | はじめて学ぶC言語プログラミング入門講座: Beginner's Book                                                               | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | ブレッドボードではじめるマイコンプログラミング (基礎入門)                                                                      | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | プログラマーのためのソースコードを読む技術: 他人が書いたプログラムの行間を読み取るコツ                                                        | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | プログラマのためのコードパズル: JavaScriptで挑むコードゴルフとアルゴリズム                                                         | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | プロになるなら身につけたいプログラマのコーディング基礎力 (SoftwareDesign別冊)                                                     | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | プロを目指す人のためのRuby入門: 言語仕様からテスト駆動開発・デバッグ技法まで (Software Design plusシリーズ)                                | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | みんなのGo言語: 現場で使える実践テクニック                                                                             | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | もっと自在にサーバを使い倒す業務に役立つPerl (Software Design plus)                                                     | 技術評論社 | 2,780 |
| 専門 | 科学技術計算のためのPython入門: 開発基礎、必須ライブラリ、高速化                                                                | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | 関数プログラミング実践入門: 簡潔で、正しいコードを書くために、増補改訂 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                        | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | 現場で使える最新Java SE 7/8速攻入門: Project Coin/ NIO.2/ラムダ式/Stream API/Date and Time API- Javaプログラミングの新しい世界へ! | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | 仕事ではじめるプログラミング研修前の基礎の基礎 (エンジニア(確実)養成講座Ver.1.0)                                                      | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 実戦で役立つC#プログラミングのイディオム/定石&パターン: レベルアップのために不可欠、自分のものにしておくべき知識の数々                                      | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | 実践COBOLプログラミング入門 改訂新版                                                                               | 技術評論社 | 3,400 |
| 専門 | 実践DLR.NET活用テクニック入門: デザインパターンからIronPython開発まで                                                        | 技術評論社 | 3,500 |
| 専門 | 実践F#関数型プログラミング入門                                                                                    | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | 親子でかんたんスクラッチプログラミングの図鑑 (まなびのずかん)                                                                    | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | 正規表現ポケットリファレンス 改訂新版 (Pocket Reference)                                                              | 技術評論社 | 2,180 |
| 専門 | 正規表現技術入門: 最新エンジン実装と理論的背景 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                    | 技術評論社 | 3,300 |
| 専門 | 組込み現場の「C」言語: 基礎からわかる徹底入門: 重点学習+文法編                                                                  | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | 大規模開発でも小規模開発でも使えるTypeScript実践入門: 開発効率が劇的に改善できる魔法のような新プログラミング手法                                      | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | 独習Python入門: 1日でプログラミングに強くなる                                                                         | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | 本格学習Java入門: 基本の修得からゲームプログラミング作成まで 改訂新版                                                              | 技術評論社 | 2,180 |
| 専門 | 裏口からのC#実践入門: パッドノウハウを踏み越えて本物へ!!                                                                     | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | 良いコードを書く技術: 読みやすく保守しやすいプログラミング作法 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                            | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | アルゴリズムから学ぶJavaプログラミング入門                                                                             | 技報堂出版 | 2,400 |
| 専門 | Common Lispオブジェクトシステム: CLOSとその周辺                                                                    | 共立出版  | 5,000 |
| 専門 | C言語 (未来へつなぐデジタルシリーズ 30)                                                                             | 共立出版  | 2,600 |
| 専門 | C言語プログラミング: C Language Programming (情報工学テキストシリーズ 第1巻)                                               | 共立出版  | 2,500 |
| 専門 | Excel環境におけるVisual Basicプログラミング 第3版                                                                  | 共立出版  | 2,300 |
| 専門 | Javaによるプログラミング入門 第2版 (情報がひらく新しい世界 6)                                                                | 共立出版  | 3,300 |
| 専門 | Java言語によるオブジェクト指向プログラミング (未来へつなぐデジタルシリーズ 15)                                                        | 共立出版  | 2,800 |
| 専門 | Linuxによる並行プログラミング入門                                                                                 | 共立出版  | 2,600 |
| 専門 | R言語徹底解説                                                                                             | 共立出版  | 5,400 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造 (未来へつなぐデジタルシリーズ 10)                                                                    | 共立出版  | 2,400 |
| 専門 | インデントレスポス: コンピュータフォレンジックの基礎と実践                                                                      | 日経BP社 | 6,000 |
| 専門 | クラウドデザインパターン: Azureを例としたクラウドアプリケーション設計の手引き (patterns & practices)                                   | 日経BP社 | 3,000 |
| 専門 | ネットワーク仮想化技術NVGREのすべて: OpenFlowに代わる第2のSDN                                                            | 日経BP社 | 2,500 |
| 専門 | はじめてのASP.NET SPA開発入門                                                                                | 日経BP社 | 3,000 |
| 専門 | ひと目でわかるAzure: 基本から学ぶサーバー & ネットワーク構築 改訂新版                                                            | 日経BP社 | 2,500 |
| 専門 | プログラミングASP.NET SignalR (マイクロソフト公式解説書)                                                               | 日経BP社 | 3,200 |

|    |                                                                                                     |              |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 専門 | プログラミングAzure Service Fabric (マイクロソフト公式解説書)                                                          | 日経BP社        | 5,400 |
| 専門 | プログラミングMicrosoft ASP.NET 4 (マイクロソフト公式解説書)                                                           | 日経BP社        | 9,000 |
| 専門 | プログラミングMicrosoft ASP.NET MVC, 第3版 (マイクロソフト公式解説書)                                                    | 日経BP社        | 6,000 |
| 専門 | マイクロサービスwith Docker on Azure (The Addison-Wesley Microsoft Technology Series)                       | 日経BP社        | 3,000 |
| 専門 | 基本がわかる安全設計のWebシステム: 要件定義から役立つ必須知識                                                                   | 日経BP社        | 2,500 |
| 専門 | 情シス・マネジャーのための早わかりAWS入門                                                                              | 日経BP社        | 2,750 |
| 専門 | 誰でもできる!Office 365導入ガイド                                                                              | 日経BP社        | 3,000 |
| 専門 | 徳丸浩のWebセキュリティ教室                                                                                     | 日経BP社        | 1,800 |
| 専門 | Webのしくみと応用 (放送大学教材)                                                                                 | 放送大学教育振興会    | 2,500 |
| 専門 | インターネット講座: ネットワークリテラシーを身につける, 改訂新版                                                                  | 北大路書房        | 2,200 |
| 専門 | WordPress 3サイト構築スタイルブック: 事例で学ぶ, WordPressのCMS的活用術                                                   | 毎日コミュニケーションズ | 2,800 |
| 専門 | 情シス・マネジャーのための早わかりAWS入門                                                                              | 毎日コミュニケーションズ | 2,480 |
| 専門 | WordPress入門講座: 1日でWebサイトが作れる!                                                                       | 洋泉社          | 1,800 |
| 専門 | 10日でおぼえるFacebookアプリ開発入門教室                                                                           | 翔泳社          | 3,200 |
| 専門 | 10日でおぼえるjQuery入門教室, 第2版                                                                             | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | 10日でおぼえるJSP&サーブレット入門教室, 第4版                                                                         | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | 10日でおぼえるPHP入門教室, 第4版                                                                                | 翔泳社          | 2,580 |
| 専門 | 10日でおぼえるWordPress入門教室, 第2版                                                                          | 翔泳社          | 2,400 |
| 専門 | ActionScript 3.0ライブ러리入門: Flash開発をもっと効率的に 一つ上のクリエイティブへ                                               | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | Adobe Edge Animate標準ガイドブック: Web標準技術によるアニメーション制作術 (DESIGN&WEB TECHNOLOGY)                            | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | Amazon Web Servicesクラウドサーバ構築ガイド: コストを削減する導入・実装・運用ノウハウ                                               | 翔泳社          | 3,400 |
| 専門 | Amazon Web Servicesではめめる新米プログラマのためのクラウド超入門: サーバー構築経験が少ないアプリエンジニアにも安心!イチから分かるクラウド入門 (CodeZine BOOKS) | 翔泳社          | 2,980 |
| 専門 | AWSによるサーバーレスアーキテクチャ                                                                                 | 翔泳社          | 3,600 |
| 専門 | Cloudn活用ガイド: コストパフォーマンスに優れたキャリアクラウドの決定版!                                                            | 翔泳社          | 3,200 |
| 専門 | CloudStack徹底入門: オープンソースで実現するクラウド基盤システム                                                              | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | CMSとして使うMovable Type 5ガイドブック: テンプレートもカスタムフィールドもスツクリ使いこなす!                                           | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | CoffeeScriptファーストガイド: モダンJavaScriptによるアプリケーション開発                                                    | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | DBプロフェッショナル: 今すぐできるWeb-DBアプリ開発                                                                      | 翔泳社          | 1,680 |
| 専門 | Dreamweaver標準デザイン講座 (10年古びない!)                                                                      | 翔泳社          | 2,480 |
| 専門 | IaaSシステム構築/管理ガイド: NIFTY Cloud: Technical Guide Book                                                 | 翔泳社          | 2,980 |
| 専門 | Java EE 7徹底入門: 標準Javaフレームワークによる高信頼性Webシステムの構築                                                       | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | jQuery標準デザイン講座: Lectures and Exercises 30 Lessons                                                   | 翔泳社          | 2,480 |
| 専門 | jQuery on Railsシステム構築入門: DB Magazine連載「エンタープライズもRailsで行こう」より (DB Magazine SELECTION)                | 翔泳社          | 2,680 |
| 専門 | JRuby on Rails実践開発ガイド (Professional Ruby Series)                                                    | 翔泳社          | 4,500 |
| 専門 | Linuxサーバーセキュリティ徹底入門: オープンソースによるサーバー防衛の基本                                                            | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | OpenStackクラウドインテグレーション: オープンソースクラウドによるサービス構築入門                                                      | 翔泳社          | 4,200 |
| 専門 | Oracle WebLogic Server 11g構築・運用ガイド                                                                  | 翔泳社          | 4,380 |
| 専門 | PHPLっきり入門教室: 使える力が身につく、仕組みからわかる。                                                                    | 翔泳社          | 2,380 |
| 専門 | PHPの絵本: Webアプリ作りが楽しくなる新しい9つの扉, 第2版                                                                  | 翔泳社          | 1,680 |
| 専門 | PHP逆引きレシピ: すぐに美味しいサンプル&テクニク315, 第2版 (PROGRAMMER'S RECIPE)                                           | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | Play Framework 2徹底入門: JavaではじめるアジャイルWeb開発                                                           | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | PowerShell for Azure: PowerShellを使った快速Azure開発、管理、運用                                                 | 翔泳社          | 3,500 |
| 専門 | React入門: React・Reduxの導入からサーバサイドレンダリングによるUXの向上まで (NEXT ONE)                                          | 翔泳社          | 2,980 |
| 専門 | Ruby On Rails 5の上手な使い方: 現場のエンジニアが教えるRailsアプリケーション開発の実践手法 (WEB Engineer's Books)                     | 翔泳社          | 3,200 |
| 専門 | Sass & Compass徹底入門: CSSのベストプラクティスを効率よく実現するために (DESIGN&WEB TECHNOLOGY)                               | 翔泳社          | 2,980 |
| 専門 | Seasar2徹底入門                                                                                         | 翔泳社          | 3,800 |
| 専門 | SMOでWebサイトに人を呼び込む実践マニュアル: Webページとソーシャルメディアを連携するテクニック                                                | 翔泳社          | 2,200 |
| 専門 | Spring徹底入門: Spring FrameworkによるJavaアプリケーション開発                                                       | 翔泳社          | 4,000 |
| 専門 | UIまで手の回らないプログラマのためのBootstrap3実用ガイド                                                                  | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | VS2010で作るWeb-DBアプリ入門: DB Magazine連載「VS2008で作る簡単Webアプリ開発日誌」より (DB Magazine SELECTION)                | 翔泳社          | 2,400 |
| 専門 | Webサイトパフォーマンス実践入門: 高速なWebページを作りたいあなたに                                                               | 翔泳社          | 3,000 |
| 専門 | Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド: 上野宣が教える情報漏えいを防ぐ技術                                                     | 翔泳社          | 3,200 |
| 専門 | Webデザイン・フォーラム: 10人のプロが教える原則と経験則                                                                     | 翔泳社          | 1,800 |
| 専門 | Web制作者のためのUXデザインをはじめの本: ユーザビリティ評価からカスタマージャーニーマップまで                                                  | 翔泳社          | 2,200 |
| 専門 | Web制作標準講座総合コース: 企画からディレクション、デザイン、実装まで                                                               | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | Web担当者のためのWordPressがわかる本: あらゆるビジネスサイトで使える企画・設計・制作・運用のノウハウ                                           | 翔泳社          | 2,380 |
| 専門 | WordPress Web開発逆引きレシピ (PROGRAMMER'S RECIPE)                                                         | 翔泳社          | 2,800 |
| 専門 | WordPressプラグイン&WebAPI活用ガイドブック: ワンランク上のサイト構築術! (DESIGN&WEB TECHNOLOGY)                               | 翔泳社          | 2,600 |
| 専門 | WordPress逆引きデザイン事典PLUS (DESIGN REFERENCE PLUS)                                                      | 翔泳社          | 2,980 |

|    |                                                                                                               |               |        |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|
| 専門 | WordPress標準デザイン講座: STANDARD 32 LESSONS (STANDARD DESIGN LESSON)                                               | 翔泳社           | 2,680  |
| 専門 | エッセンシャルGoogle Web Toolkit 2: Javaのスキルを無駄にすることなく、クラウドにも対応できる高品質Webアプリケーション構築を目指す (Programmer's SELECTION)      | 翔泳社           | 3,500  |
| 専門 | おうちで学べるセキュリティのきほん: 全く新しいセキュリティの入門書                                                                            | 翔泳社           | 2,200  |
| 専門 | グーグルSEO完全攻略ガイド: PC&モバイル対応                                                                                     | 翔泳社           | 1,680  |
| 専門 | コアjQuery+プラグイン/Query UI開発実践技法 (Programmer's SELECTION)                                                        | 翔泳社           | 3,500  |
| 専門 | jQueryラデザインブック: Joomla!Design Book                                                                            | 翔泳社           | 3,200  |
| 専門 | スラスラわかるPHP: 知識ゼロからプログラムが作れる! (Beginner's Best Guide to Programming)                                           | 翔泳社           | 2,300  |
| 専門 | ソーシャルアプリ入門: SNSプラットフォームビジネスの企画・開発・運営ガイド                                                                       | 翔泳社           | 1,890  |
| 専門 | ニフティクラウド: IaaSによるシステム構築/活用入門                                                                                  | 翔泳社           | 2,980  |
| 専門 | iPhoneプログラマのためのjQuery Mobile標準ガイドブック: スマートフォンサイト制作者&デザイナー必携 (DESIGN&WEB TECHNOLOGY)                           | 翔泳社           | 2,400  |
| 専門 | はじめてのブロックチェーン・アプリケーション: Ethereumによるスマートコントラクト開発入門 (DEV Engineer's Books)                                      | 翔泳社           | 3,000  |
| 専門 | パパッと作る!ホームページ・ビルダーテンプレート400: 企業や店舗の商用サイトに最適!                                                                  | 翔泳社           | 2,800  |
| 専門 | ブラウザハック: Webブラウザからの攻撃手法とその防御法総覧                                                                               | 翔泳社           | 4,600  |
| 専門 | プログラマのためのGoogle Cloud Platform入門: サービスの全体像からクラウドネイティブアプリケーション構築まで                                             | 翔泳社           | 3,000  |
| 専門 | ホームページ辞典: HTML・CSS・JavaScript, 第6版                                                                            | 翔泳社           | 2,000  |
| 専門 | めんどくさいWebセキュリティ: モダンなWebアプリケーションのためのセキュリティガイド                                                                 | 翔泳社           | 2,980  |
| 専門 | モバイルファーストSEO: Web標準の変革に対応したサイト制作                                                                              | 翔泳社           | 1,980  |
| 専門 | 一歩先に行くWordPressのカスタマイズがわかる本: 仕組みや考え方からちゃんとわかりたい人のために                                                          | 翔泳社           | 2,680  |
| 専門 | 絵で見てわかるWebアプリ開発の仕組み                                                                                           | 翔泳社           | 2,280  |
| 専門 | 絵で見てわかるクラウドインフラとAPIの仕組み                                                                                       | 翔泳社           | 2,580  |
| 専門 | 現場のプロが教えるスマートフォンサイト制作ガイドブック: HTML5 & CSS3 & JavaScript (DESIGN&WEB TECHNOLOGY)                                | 翔泳社           | 2,500  |
| 専門 | 作ればわかる!Google App Engine for Javaプログラミング: 作る楽しむ身につく                                                           | 翔泳社           | 3,000  |
| 専門 | 実践Node.jsプログラミング: Node.jsの基礎知識からアプリケーション開発、テスト、配置/応用までスケールアップで高速なWeb構築に必要なすべて (Programmer's SELECTION)        | 翔泳社           | 3,600  |
| 専門 | 小さな会社のWordPressサイト制作・運営ガイド: 自前でできる! (Small Business Support-時間がない 予算がない 知識がない そんな御社でも大丈夫!)                    | 翔泳社           | 2,680  |
| 専門 | 独習ASP.NET: Teach Yourself ASP.NET, 第5版                                                                        | 翔泳社           | 3,800  |
| 専門 | 独習PHP: Teach Yourself PHP, 第3版                                                                                | 翔泳社           | 3,200  |
| 専門 | 入社1年目からの「Web技術」がわかる本: 全体像が見える!                                                                                | 翔泳社           | 2,480  |
| 専門 | 入門Amazon SimpleDBプログラミング: 身近なKVS/クラウドストレージ活用の基礎知識からAPI、クワイアント開発まで (Programmer's SELECTION)                    | 翔泳社           | 3,400  |
| 専門 | 入門Backbone.js Webアプリケーションにしっかりした骨格と連携し、の良さを付与し開発効率とメンテナンス性を高めるMVCフレームワークの理解と実践 (Programmer's SELECTION)       | 翔泳社           | 3,600  |
| 専門 | 完全マスターしたい人のためのイーサネット & TCP/IP入門                                                                               | インプレスジャパン     | 2,000  |
| 専門 | 詳説イーサネット, 第2版                                                                                                 | オライリー・ジャパン    | 4,600  |
| 専門 | Aruba無線LAN設定ガイド                                                                                               | 技術評論社         | 3,580  |
| 専門 | Vyatta仮想ルータ活用ガイド: 仮想ネットワーク設計とプライベートクラウドの構築 (Software Design plus)                                             | 技術評論社         | 3,300  |
| 専門 | オープンソース・ソフトウェアルータVyatta入門: 実践ルーティングから仮想化まで (Software Design plusシリーズ)                                         | 技術評論社         | 3,200  |
| 専門 | IoTデバイス設計・実装: AVRマイコンとPythonではじめよう                                                                            | オーム社          | 2,300  |
| 専門 | 日本のコンピュータ史: The History of Japanese Computers                                                                 | オーム社          | 7,600  |
| 専門 | コンピュータに記憶を与えた男: ジョン・アタナソフの闘争とコンピュータ開発史                                                                        | 河出書房新社        | 2,400  |
| 専門 | コンピュータ開発のはてしない物語: 起源から驚きの近未来まで                                                                                | 技術評論社         | 1,980  |
| 専門 | コンピュータ理論の起源: 第1巻 チューリング                                                                                       | 近代科学社         | 4,200  |
| 専門 | 「Galileo2」ではじめる電子工作: インテルの「IoT」開発用ボードを使いこなす! (I/O BOOKS)                                                      | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | 「Raspberry Pi」でつくる電子工作: “小さなPC”<Linuxボード>の導入と使い方 (I/O BOOKS)                                                  | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | はじめてのFlash PIC: ブラウザでPICをシミュレートできる無料ツール! (I/O BOOKS)                                                          | 工学社           | 2,300  |
| 専門 | チューリングの大聖堂: コンピュータの創造とデジタル世界の到来                                                                               | 早川書房          | 3,500  |
| 専門 | コンピュータって: 機械式計算機からスマホまで                                                                                       | 東洋経済新報社       | 2,200  |
| 専門 | 進化するヒトと機械の音声コミュニケーション                                                                                         | エヌ・ティー・エス     | 19,341 |
| 専門 | 音声に未来はあるか?: スマートスピーカー 家電 スマホ                                                                                  | 日経BP社         | 1,800  |
| 専門 | 僕が伝えたかったこと、古川孝のパソコン秘史: Episode! アスキー時代 (インプレスR&D(NextPublishing) New Thinking and New Ways E-Book/Print Book) | インプレスR&D      | 1,850  |
| 専門 | パーソナルコンピューティングの30年: 日経パソコン1983-2013                                                                           | 日経BP社         | 3,300  |
| 専門 | 僕らのパソコン30年史: ニッポンパソコンクロニクル                                                                                    | 翔泳社           | 1,800  |
| 専門 | シミュレーション辞典: Simulation Dictionary                                                                             | コロナ社          | 9,000  |
| 専門 | 技術者のための情報通信法規教本, 新版                                                                                           | 日本理工出版会       | 2,500  |
| 専門 | UIKit & Swiftプログラミング: 優れたiPhoneアプリ開発のためのUI実装ガイド                                                               | SBクリエイティブ     | 2,980  |
| 専門 | デザイナーのためのiPhoneアプリUI/UX設計 (WEB PROFESSIONAL)                                                                  | アスキー・メディアワークス | 2,600  |
| 専門 | プロタイピング実践ガイド: スマホアプリの効率的なデザイン手法                                                                               | インプレス         | 2,750  |
| 専門 | Android Security: 安全なアプリケーションを作成するために                                                                         | インプレスジャパン     | 3,200  |
| 専門 | Android UI Cookbook for 4.0 ICS(Ice Cream Sandwich)アプリ開発術                                                     | インプレスジャパン     | 3,200  |
| 専門 | iOS デザインスタンダード: 最新のフラットデザインに対応 iPhoneに最適なUI・UXを徹底的に解説!                                                        | インプレスジャパン     | 2,800  |
| 専門 | SMASHING Android UI: レスポンシブUIとデザインパターン                                                                        | インプレスジャパン     | 3,200  |
| 専門 | UIKit徹底解説: iOSユーザーインターフェイスの開発                                                                                 | インプレスジャパン     | 3,800  |



|    |                                                                               |                |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 専門 | スマートフォンデザイン見本帳: SMART PHONE DESIGN CATALOG                                    | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | モバイルデザインパターン: ユーザーインタフェースのためのパターン集, 第2版                                       | オライリー・ジャパン     | 3,700 |
| 専門 | 実践jQuery Mobile                                                               | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | 入門Androidアプリケーションテスト                                                          | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Androidプログラミング入門: 独りで学べるスマホアプリの作り方                                            | コロナ社           | 2,200 |
| 専門 | スマートフォンのためのUIデザイン: ユーザー体験に大切なルールとパターン                                         | ソフトバンククリエイティブ  | 2,300 |
| 専門 | Androidを支える技術: 1 60fpsを達成するモダンなGUIシステム (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                | 技術評論社          | 3,600 |
| 専門 | Androidを支える技術: 2 真のマルチタスクに挑んだモバイルOSの心臓部 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)               | 技術評論社          | 3,600 |
| 専門 | スマートフォンUIデザインパターン: 心地よいユーザーインターフェースの原則                                        | 技術評論社          | 2,280 |
| 専門 | SwiftではじめるiOSアプリ開発: 簡単な「GUIアプリ」をつくる! (I/O BOOKS)                              | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | スマートフォン 個人情報が危ない! 実際の「事例例」をもとに「セキュリティ対策」を解説 (I/O BOOKS)                       | 工学社            | 1,600 |
| 専門 | Javaプログラマ歴20年な人のためのAndroid開発入門                                                | 秀和システム         | 2,800 |
| 専門 | Kivyプログラミング: Pythonでつくるマルチタッチアプリ (実践Pythonライブラリー)                             | 朝倉書店           | 3,200 |
| 専門 | よくわかるjQuery Mobileのしくみ                                                        | 日経BP社          | 2,500 |
| 専門 | SwiftではじめるUI設計 & プログラミング: 「操作性」と「デザイン性」を兼ね備えたアプリの開発手法                         | 翔泳社            | 2,800 |
| 専門 | モバイル・ユーザビリティ: 使いやすいUIデザインの秘訣                                                  | 翔泳社            | 2,800 |
| 専門 | アルファ基VS李世石: 人工知能は基盤の夢を見るか?                                                    | 東京創元社          | 1,800 |
| 専門 | 最強囲碁AIアルファ基解体新書: 深層学習、モンテカルロ木探索、強化学習から見たその仕組み                                 | 翔泳社            | 2,600 |
| 専門 | ディープ・シンキング人工知能の思考を読む                                                          | 日経BP社          | 2,000 |
| 専門 | 人工知能の作り方: 「おもしろい」ゲームAIはいかにして動くのか                                              | 技術評論社          | 2,480 |
| 専門 | AIと人類は共存できるか?: 人工知能SFアンソロジー                                                   | 早川書房           | 2,100 |
| 専門 | 「CuteHSP」ではじめるプログラミング入門: 「Windows」「macOS」「Linux」対応! (I/O BOOKS)               | 工学社            | 1,900 |
| 専門 | C言語教科書: 「言語仕様」から「データ構造」「アルゴリズム」の実装まで (I/O BOOKS)                              | 工学社            | 2,800 |
| 専門 | Haxeプログラミング入門: 1つのプログラムから、いろいろな言語に自動変換! (I/O BOOKS)                           | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | Java8ではじめる「ラムダ式」: 冗長なプログラムの実装が簡潔に! (I/O BOOKS)                                | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | Javaではじめる「ラムダ式」: 冗長なプログラムの実装が簡潔に! (I/O BOOKS)                                 | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | Kinect for Windows SDKプログラミングガイド: Visual C++ (I/O BOOKS)                      | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | Kinect for Windows SDK実践プログラミング: 「深度センサ」「カラーセンサ」「マイクアレイ」を活用! (I/O BOOKS)      | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | Leap Motionプログラミングガイド: 「手」「指」の動きをセンサで検出! 改訂版 (I/O BOOKS)                      | 工学社            | 2,400 |
| 専門 | Processing GUIプログラミング: インストール方法からプログラムの作成法まで (I/O BOOKS)                      | 工学社            | 1,900 |
| 専門 | Processingではじめるプログラミング: 楽しく、簡単に、Javaベースの言語を学ぶ (I/O BOOKS)                     | 工学社            | 2,071 |
| 専門 | Scalaではじめるプログラミング: 「Java」「.NET」のソフト資産を生かして開発を効率化! (I/O BOOKS)                 | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | アルゴリズム大事典: アイデア→アルゴリズム→プログラム (I/O BOOKS)                                      | 工学社            | 2,500 |
| 専門 | アルゴリズム入門: プログラミングの考え方がわかる (I/O BOOKS)                                         | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | シェルスクリプト「レシビ」ブック: 「バックアップ」「更新チェック」「画像加工」…作業を効率的に! (I/O BOOKS)                 | 工学社            | 1,900 |
| 専門 | 関数プログラミング言語「F#」: 次世代言語の導入から文法プログラミングまで (I/O BOOKS)                            | 工学社            | 1,900 |
| 専門 | 基礎からのシェルスクリプト: 「Linux」「MacOS」「Windows」で使える「バッチ処理」! (I/O BOOKS)                | 工学社            | 1,900 |
| 専門 | 仕様記述言語「Z」: 「仕様」の数学的構造化に「自然言語」を使う! (I/O BOOKS)                                 | 工学社            | 2,300 |
| 専門 | GPUプログラミング入門: CUDA5による実装                                                      | 講談社            | 2,800 |
| 専門 | ブロックチェーン・プログラミング: 仮想通貨入門                                                      | 講談社            | 3,700 |
| 専門 | C#人工知能プログラミング: オブジェクト指向+関数型+グラフィックスで体験するAI                                    | 三恵社            | 2,500 |
| 専門 | Constructive Logics for Program Correctness and Verification, Revised Edition | 三恵社            | 1,800 |
| 専門 | Mathematical Theory of Programs                                               | 三恵社            | 2,500 |
| 専門 | Scalaファンクショナルデザイン: 関数型プログラミングの設計と理解                                           | 三恵社            | 2,500 |
| 専門 | プログラム理論                                                                       | 三恵社            | 3,350 |
| 専門 | 初級C言語～やさしいC～                                                                  | 実教出版           | 2,200 |
| 専門 | 初級Java～やさしいJava～                                                              | 実教出版           | 2,200 |
| 専門 | 入門C言語: Programming Language C                                                 | 実教出版           | 2,500 |
| 専門 | GAICAシステム開発の現場SEが教える「Java」最初の一步                                               | 実業之日本社         | 1,600 |
| 専門 | C言語のポイントのツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                                 | 秀和システム         | 2,000 |
| 専門 | Eclipse 4.5ではじめるJavaプログラミング入門 (Java Programming Guide)                        | 秀和システム         | 2,800 |
| 専門 | Haskell: 教養としての関数型プログラミング                                                     | 秀和システム         | 3,400 |
| 専門 | HSPでつくる!はじめてのプログラミングHSP3.5+3Dish入門: オフィシャル                                    | 秀和システム         | 2,300 |
| 専門 | iOS/macOSプログラマのためのXcode時短開発テクニック                                              | 秀和システム         | 1,600 |
| 専門 | ITエンジニアになる!チャレンジC#プログラミング                                                     | 秀和システム         | 2,300 |
| 専門 | Javaのオブジェクト指向がゼッタイにわかる本, 第2版 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                             | 秀和システム         | 2,300 |
| 専門 | LinuxとCpthreadsによるマルチスレッドプログラミング入門: プログラミング基礎講座                               | 秀和システム         | 2,400 |
| 専門 | Pythonプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                            | 秀和システム         | 2,700 |
| 専門 | Pythonプログラミングパーフェクトマスター: Python3対応主要機能徹底解説 (Perfect Master 167)               | 秀和システム         | 2,800 |

|    |                                                                                           |           |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | Pythonプロフェッショナルプログラミング: Python Professional Programming, 第3版                              | 秀和システム    | 2,800 |
| 専門 | Python入門                                                                                  | 秀和システム    | 2,700 |
| 専門 | Spring Framework 5プログラミング入門                                                               | 秀和システム    | 2,800 |
| 専門 | Visual Basic 2017パーフェクトマスター: Microsoft Visual Studio Community 2017版 (Perfect Master 174) | 秀和システム    | 2,900 |
| 専門 | Visual C# 2017パーフェクトマスター: Microsoft Visual Studio Community 2017版 (Perfect Master 173)    | 秀和システム    | 3,200 |
| 専門 | Visual C++ 2017パーフェクトマスター: Microsoft Visual Studio Community 2017版 (Perfect Master 175)   | 秀和システム    | 3,000 |
| 専門 | おもしろまじめなAIスピーカーアプリをつくらう: Google Home (アシスタント) & Amazon Echo (Alexa) 音声アシスタント開発            | 秀和システム    | 2,800 |
| 専門 | これならわかる!C言語入門講座: オンライン実行環境を使ってラクラク学習! 第2版                                                 | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | これならわかる!Java入門講座: つまづきやすいポイントのていねいな解説                                                     | 秀和システム    | 2,300 |
| 専門 | しんせつなPython: プログラミング超初心者から初心者になるための本                                                      | 秀和システム    | 1,700 |
| 専門 | たった2日でできるRuby: 自宅のWindows or MacでOK!                                                      | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | デバッグによるx86プログラム解析入門: x64対応版                                                               | 秀和システム    | 2,400 |
| 専門 | はじめてのPythonAIプログラミング (BASIC MASTER SERIES 481)                                            | 秀和システム    | 1,700 |
| 専門 | はじめてのプログラミングHSP3.4+3Dish超入門: オフィシャル                                                       | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | ハロー“Hello,World”: OSと標準ライブラリのシゴトとしくみ                                                      | 秀和システム    | 3,200 |
| 専門 | プリンシプルオブプログラミング: 3年目までに身につけたい一生役立つ101の原理原則                                                | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | プログラムはこうして作られる: プログラマの頭の中をのぞいてみよう                                                         | 秀和システム    | 1,800 |
| 専門 | わかりやすいC: 入門編                                                                              | 秀和システム    | 2,800 |
| 専門 | 開発現場で役立つCOBOLプログラミング入門, 第2版                                                               | 秀和システム    | 3,200 |
| 専門 | 苦しんで覚えるC言語                                                                                | 秀和システム    | 2,200 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!C/C++逆引き大全560の極意: 560 Tips to Use C/C++ Better!                                 | 秀和システム    | 3,300 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!Pythonプログラミング逆引き大全313の極意: 313 Tips to Use Python Better!                        | 秀和システム    | 2,600 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!Visual Basic 2017逆引き大全555の極意: 555 Tips to Use Visual Basic Better!              | 秀和システム    | 2,700 |
| 専門 | 現場ですぐに使える!VisualC#2017逆引き大全555の極意: 555 Tips to Use Visual C# Better!                      | 秀和システム    | 2,700 |
| 専門 | 作って覚えるVisual Basic 2017デスクトップアプリ入門                                                        | 秀和システム    | 2,300 |
| 専門 | 作って覚えるVisual C# 2017デスクトップアプリ入門                                                           | 秀和システム    | 2,300 |
| 専門 | 作って覚えるVisual C++ 2017デスクトップアプリ入門                                                          | 秀和システム    | 2,300 |
| 専門 | 新わかりやすいJava: 入門編                                                                          | 秀和システム    | 2,600 |
| 専門 | 新わかりやすいJavaオブジェクト指向徹底解説                                                                   | 秀和システム    | 2,980 |
| 専門 | 新わかりやすいJava!はじめてのプログラミング                                                                  | 秀和システム    | 2,400 |
| 専門 | 大熱血!アセンブラ入門                                                                               | 秀和システム    | 4,600 |
| 専門 | Springs of C: 楽しく身につくプログラミング                                                              | 森北出版      | 2,200 |
| 専門 | XMOSプログラミング入門                                                                             | 森北出版      | 2,400 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造, 第3版                                                                         | 森北出版      | 2,300 |
| 専門 | ゼロからはじめるVisual Basic入門: 基礎からゲーム作成まで                                                       | 森北出版      | 2,200 |
| 専門 | 超高速グラフ列挙アルゴリズム: 〈フカシの数え方〉が拓く組合せ問題への新アプローチ                                                 | 森北出版      | 3,200 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造 (グラフィック情報工学ライブラリー GIE-4)                                                     | 理工工学社     | 1,700 |
| 専門 | Javaの手ほどき: 例題学習と問題演習: 学習編                                                                 | 誠文堂新光社    | 1,800 |
| 専門 | 文系学生のためのVisual Basicプログラミング                                                               | 創成社       | 1,900 |
| 専門 | GNU GLOBALハンドブック: ソースコードタグシステム                                                            | 多摩通信社     | 3,800 |
| 専門 | JavaScriptによる情報教育入門                                                                       | 大学教育出版    | 2,000 |
| 専門 | Fortran90/95による実践プログラミング                                                                  | 大阪大学出版会   | 2,500 |
| 専門 | C言語によるプログラミング入門, 第2版 新版                                                                   | 朝倉書店      | 2,200 |
| 専門 | アルゴリズムの基礎: 進化するIT時代に普遍な本質を見抜くもの (情報科学こんせぶつ 4)                                             | 朝倉書店      | 2,900 |
| 専門 | アルゴリズム理論入門, 新版                                                                            | 朝倉書店      | 3,300 |
| 専門 | 楽しく学べるBASICプログラミング: i99-BASICによる計測・制御システム開発入門                                             | 朝倉書店      | 2,700 |
| 専門 | 基本から学ぶC言語プログラミング                                                                          | 電気学会      | 2,100 |
| 専門 | アセンブラ入門CASLⅡ, 第3版                                                                         | 電子開発学園出版局 | 2,300 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造, 第8版 (情報処理基礎講座)                                                              | 電子開発学園出版局 | 2,600 |
| 専門 | スパコンプログラミング入門: 並列処理とMPIの学習                                                                | 東京大学出版会   | 3,200 |
| 専門 | 並列プログラミング入門: サンプルプログラムで学ぶOpenMPとOpenACC                                                   | 東京大学出版会   | 3,400 |
| 専門 | C言語によるPICプログラミング入門                                                                        | 東京電機大学出版局 | 2,200 |
| 専門 | Java (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                                            | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 専門 | Javaで学ぶデータ構造とアルゴリズム                                                                       | 東京電機大学出版局 | 2,800 |
| 専門 | MAC OS X COCOAプログラミング, 第4版                                                                | 東京電機大学出版局 | 4,200 |
| 専門 | PIC16トレーナによるマイコンプログラミング実習                                                                 | 東京電機大学出版局 | 1,900 |
| 専門 | Ruby (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                                            | 東京電機大学出版局 | 2,500 |
| 専門 | プログラミング原論                                                                                 | 東京電機大学出版局 | 2,800 |
| 専門 | プログラミング言語Java, 第4版                                                                        | 東京電機大学出版局 | 3,900 |

|    |                                                                                         |                  |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | リファクタリング (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                                      | 東京電機大学出版局        | 2,500 |
| 専門 | 学生のためのPython                                                                            | 東京電機大学出版局        | 2,500 |
| 専門 | 学生のための基礎Java                                                                            | 東京電機大学出版局        | 1,600 |
| 専門 | エンジニアのためのC言語                                                                            | 日刊工業新聞社          | 2,000 |
| 専門 | .NET開発テクノロジー入門 (MSDNプログラミングシリーズ)                                                        | 日経BP社            | 3,800 |
| 専門 | .NET開発テクノロジー入門: 2016年版                                                                  | 日経BP社            | 3,000 |
| 専門 | Adaptive Code: C#実践開発手法, 第2版 (マイクロソフト公式解説書)                                             | 日経BP社            | 5,000 |
| 専門 | C#ショートコードプログラミング: 短いコードで生産性を高める必修テクニック, 第3版                                             | 日経BP社            | 3,400 |
| 専門 | C#実践開発手法: デザインパターンとSOLID原則によるアジャイルなコーディング (マイクロソフト公式解説書)                                | 日経BP社            | 5,000 |
| 専門 | C言語教科書: 上達編 誰でもわかるC言語ベテラン技                                                              | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | Scalaプログラミング入門: 関数型オブジェクト指向言語の楽しい学び方                                                    | 日経BP社            | 3,200 |
| 専門 | SCRATCHではじめよう!プログラミング入門: ゲームを作りながら楽しく学ぼう                                                | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | Scratchで学ぶプログラミングとアルゴリズムの基本                                                             | 日経BP社            | 2,200 |
| 専門 | Sun SJC-P認定ガイド: Java5/6編                                                                | 日経BP社            | 4,200 |
| 専門 | TypeScript実践マスター                                                                        | 日経BP社            | 3,200 |
| 専門 | TypeScript入門: クラスと型チェック機能を加えたJavaScriptの拡張言語                                            | 日経BP社            | 2,700 |
| 専門 | Windows PowerShell実践システム管理ガイド: 自動化・効率化に役立つPowerShell活用法, 第3版 (TechNet ITプロシリーズ)         | 日経BP社            | 3,800 |
| 専門 | アプリを作ろう!Visual C#入門: Visual C# 2017対応                                                   | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | アプリを作ろう!Visual C++入門: Visual C++2017対応                                                  | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | アルゴリズムの基本                                                                               | 日経BP社            | 2,400 |
| 専門 | スマホで始めるC#入門                                                                             | 日経BP社            | 2,500 |
| 専門 | ひと目でわかるVisual Basic 2017データベース開発入門                                                      | 日経BP社            | 3,200 |
| 専門 | ひと目でわかるVisual C# 2015アプリケーション開発入門 (MSDNプログラミングシリーズ)                                     | 日経BP社            | 2,900 |
| 専門 | プログラミング.NET Framework, 第4版 (マイクロソフト公式解説書)                                               | 日経BP社            | 7,800 |
| 専門 | プログラミングWindows: C#とXAMLによるWindowsストアアプリ開発: 上 (マイクロソフト公式解説書)                             | 日経BP社            | 7,000 |
| 専門 | プログラミングWindows: C#とXAMLによるWindowsストアアプリ開発: 下 (マイクロソフト公式解説書)                             | 日経BP社            | 5,200 |
| 専門 | プログラミングWindows Runtime (マイクロソフト公式解説書)                                                   | 日経BP社            | 3,700 |
| 専門 | プログラミングXamarin: Xamarin.FormsとC#によるクロスプラットフォームモバイルアプリ開発: 上 (マイクロソフト公式解説書)               | 日経BP社            | 6,000 |
| 専門 | プログラミングの心理学                                                                             | 日経BP社            | 2,600 |
| 専門 | プログラムを作ろう!Microsoft Visual Basic 2010入門: Expressエディションで学ぶはじめてのプログラミング (MSDNプログラミングシリーズ) | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | プログラムを作ろう!Microsoft Visual C# 2010入門: Expressエディションで学ぶはじめてのプログラミング (MSDNプログラミングシリーズ)    | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | プログラムを作ろう!Microsoft Visual C++ 2010入門: Expressエディションで学ぶはじめてのプログラミング (MSDNプログラミングシリーズ)   | 日経BP社            | 1,900 |
| 専門 | プロフェッショナルVisual C++ 2010: 基本から各種テクノロジーでの活用法まで (MSDNプログラミングシリーズ)                         | 日経BP社            | 3,800 |
| 専門 | プロフェッショナルマスターVisual C# 2012: 9のカテゴリでマスターする最新C#テクニック (MSDNプログラミングシリーズ)                   | 日経BP社            | 2,600 |
| 専門 | まつもとゆきひろコードの未来: The Future of Computing                                                 | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | まつもとゆきひろ言語のしくみ                                                                          | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | ユニバーサルWindowsアプリ開発入門 (MSDNプログラミングシリーズ)                                                  | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 基礎からしっかり学ぶC#の教科書: C#7対応                                                                 | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 基礎からしっかり学ぶC++の教科書: C++14対応                                                              | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 最新Javaコーディング作法: プロが知るべき, 107の規約と21の心得                                                   | 日経BP社            | 2,200 |
| 専門 | 仕事がはかどるJavaScript“超”活用術: AI、セキュリティ、クラウドを自動処理                                            | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | 仕事がはかどるJavaScriptファイル管理術                                                                | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | 世界でもっとも強力な9のアルゴリズム                                                                      | 日経BP社            | 2,000 |
| 専門 | 独学プログラマー: Python言語の基本から仕事のやり方まで                                                         | 日経BP社            | 2,200 |
| 専門 | Processing!によるプログラミング入門: 図形の描画からゲーム作成まで (情報処理基礎シリーズ)                                    | 日新出版             | 2,700 |
| 専門 | マンガでやさしくわかるプログラミングの基本                                                                   | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,800 |
| 専門 | 日本でいちばんわかりやすいプログラミングのドリル: 知識ゼロからはじめる「きほんのき」                                             | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,000 |
| 専門 | Fortran90/95プログラミング, 改訂新版                                                               | 培風館              | 2,300 |
| 専門 | PCクラスター並列プログラミング: High Performance Fortranで楽々並列化                                        | 培風館              | 3,400 |
| 専門 | プログラミング概論 (電子情報工学ニューコース 16)                                                             | 培風館              | 2,900 |
| 専門 | 実例で学ぶExcel/Cプログラミング入門                                                                   | 培風館              | 1,700 |
| 専門 | アルゴリズムとプログラミング (放送大学教材)                                                                 | 放送大学教育振興会        | 2,900 |
| 専門 | データ構造とプログラミング, 改訂版 (放送大学教材)                                                             | 放送大学教育振興会        | 3,500 |
| 専門 | VPythonプログラミング入門                                                                        | 牧野書店             | 1,800 |
| 専門 | コンピュータープログラミング入門以前                                                                      | 毎日コミュニケーションズ     | 2,300 |
| 専門 | 基礎講座C                                                                                   | 毎日コミュニケーションズ     | 1,980 |
| 専門 | 基礎講座Java                                                                                | 毎日コミュニケーションズ     | 1,980 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造 (実践的技術者のための電気電子系教科書シリーズ)                                                   | 理工図書             | 3,200 |
| 専門 | 大学生のための心理学VC++プログラミング入門                                                                 | 勁草書房             | 3,000 |

|    |                                                                                                                                                          |     |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| 専門 | 10日でおぼえるC#入門教室                                                                                                                                           | 翔泳社 | 2,800 |
| 専門 | 10日でおぼえるC言語入門教室, 第3版                                                                                                                                     | 翔泳社 | 2,200 |
| 専門 | 10日でおぼえるExcel VBA入門教室                                                                                                                                    | 翔泳社 | 2,200 |
| 専門 | 10日でおぼえるJava入門教室, 第3版                                                                                                                                    | 翔泳社 | 2,600 |
| 専門 | 10日でおぼえるObjective-C入門教室                                                                                                                                  | 翔泳社 | 2,800 |
| 専門 | Akka実践バイブル: アクターモデルによる並行・分散システムの実現                                                                                                                       | 翔泳社 | 4,800 |
| 専門 | Beginning Java EE 6: GlassFish 3で始めるエンタープライズJava (Programmer's SELECTION)                                                                                | 翔泳社 | 4,200 |
| 専門 | C#の絵本: C#が楽しくなる新しい9つの扉, 第2版                                                                                                                              | 翔泳社 | 1,780 |
| 専門 | C#プログラミングのための.NETアプリケーション最適化技法: ソースコード、バイナリ、システム、設定ファイル、アルゴリズム、フレームワーク、ポータルサイトなる場所をすべて高いレベル、より高度で実装したアプリケーションを作る (Programmer's SELECTION)                | 翔泳社 | 3,600 |
| 専門 | C#逆引きレシピ (PROGRAMMER'S RECIPE)                                                                                                                           | 翔泳社 | 2,900 |
| 専門 | C++テンプレートメタプログラミング (Programmer's SELECTION)                                                                                                              | 翔泳社 | 3,800 |
| 専門 | C++テンプレート完全ガイド (Programmer's SELECTION)                                                                                                                  | 翔泳社 | 3,980 |
| 専門 | C++の絵本: C++が好きになる新しい9つの扉, 第2版                                                                                                                            | 翔泳社 | 1,780 |
| 専門 | C++プライマー, 第5版                                                                                                                                            | 翔泳社 | 7,800 |
| 専門 | Effective C#4.0: .NET Frameworkを理解しC#を使いこなすための50の方法                                                                                                      | 翔泳社 | 3,600 |
| 専門 | Effective JavaScript: JavaScriptを使うときに知っておきたい68の冴えたやり方                                                                                                   | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Effective Objective-C 2.0: iOS/OS Xプログラミングをスムーズに行うための52項目                                                                                                | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Effective Perl: 上級Perlプログラマへと成長できる120の階段, 第2版                                                                                                            | 翔泳社 | 3,800 |
| 専門 | Effective Ruby: あなたのRubyをより輝かせる48の特別な方法                                                                                                                  | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Intel RealSense SDKセンサープログラミング: 声とジェスチャーでPCを操作する                                                                                                         | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Java: 実践編 アプリケーション作りの基本, 第2版 (プログラミング学習シリーズ)                                                                                                             | 翔泳社 | 1,880 |
| 専門 | Java: 入門編 ゼロからはじめるプログラミング, 第2版 (プログラミング学習シリーズ)                                                                                                           | 翔泳社 | 1,880 |
| 専門 | Java1年生: 体験してわかる!会話でまなべる!プログラミングのしくみ (1年生)                                                                                                               | 翔泳社 | 1,980 |
| 専門 | JavaScript1年生: 体験してわかる!会話でまなべる!プログラミングのしくみ (1年生)                                                                                                         | 翔泳社 | 1,980 |
| 専門 | JavaScriptによるWindows 8.1アプリケーションの構築: HTML, CSS, JavaScript, そしてjQueryを使って、デスクトップからストアアプリまでWindows 8.1プラットフォームで動作するアプリケーションを開発する (Programmer's SELECTION) | 翔泳社 | 3,800 |
| 専門 | Javaの絵本: Javaが好きになる新しい9つの扉, 第3版                                                                                                                          | 翔泳社 | 1,580 |
| 専門 | Java逆引きレシピ: 達人が選んだ珠玉の現場ワザ (PROGRAMMER'S RECIPE)                                                                                                          | 翔泳社 | 2,800 |
| 専門 | Kinectソフトウェア開発講座: 次世代型入力デバイス“Kinect”を使ったアプリケーション開発を完全サポート (Programmer's SELECTION)                                                                       | 翔泳社 | 3,600 |
| 専門 | More Effective C#6.0/7.0: API設計、非同期プログラミング、動的プログラミング、並列処理をクールに使い倒す50の方法                                                                                  | 翔泳社 | 3,400 |
| 専門 | Objective-Cの絵本: iPhone/iPadアプリ開発のための9つの扉                                                                                                                 | 翔泳社 | 1,880 |
| 専門 | Python1年生: 体験してわかる!会話でまなべる!プログラミングのしくみ (1年生)                                                                                                             | 翔泳社 | 1,980 |
| 専門 | Pythonの絵本: Pythonを楽しく学ぶ9つの扉                                                                                                                              | 翔泳社 | 1,780 |
| 専門 | R&JavaScriptによるデータ解析と視覚化テクニック: データをビジュアライズするために知っておきたいR言語とD3ライブラリの使い方のすべて (Programmer's SELECTION)                                                       | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | RxJavaリアクティブプログラミング (CodeZine BOOKS)                                                                                                                     | 翔泳社 | 3,600 |
| 専門 | Scalaパズル: 36の罠から学ぶベストプラクティス                                                                                                                              | 翔泳社 | 3,000 |
| 専門 | Scala逆引きレシピ: すぐに美味しいサンプル&テクニック300 (PROGRAMMER'S RECIPE)                                                                                                  | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Swiftデザインパターン: Swiftデザインパターンを目指すSwiftプログラマのためのパターン別設計技法とそのケーススタディ (Programmer's SELECTION)                                                               | 翔泳社 | 3,800 |
| 専門 | TypeScript実践プログラミング: JavaScriptを使いやすくスケーラブルな言語へと拡張し開発をパワーアップするための現実解 (Programmer's SELECTION)                                                            | 翔泳社 | 3,200 |
| 専門 | Visual Basicの絵本: Windowsプログラミングがわかる9つの扉                                                                                                                  | 翔泳社 | 1,780 |
| 専門 | アルゴリズム図鑑: 絵で見てわかる26のアルゴリズム                                                                                                                               | 翔泳社 | 2,380 |
| 専門 | おうちで学べるアルゴリズムのきほん: 全く新しいアルゴリズムの入門書                                                                                                                       | 翔泳社 | 2,200 |
| 専門 | おうちで学べるプログラミングのきほん: 全く新しいプログラミングの入門書                                                                                                                     | 翔泳社 | 1,980 |
| 専門 | ガベージコレクション: 自動的メモリ管理を構成する理論と実装                                                                                                                           | 翔泳社 | 4,200 |
| 専門 | スターティングGo言語 (CodeZine BOOKS)                                                                                                                             | 翔泳社 | 2,980 |
| 専門 | ストラウストラップのプログラミング入門: C++によるプログラミングの原則と実践                                                                                                                 | 翔泳社 | 7,800 |
| 専門 | スラスラわかるC#: 知識ゼロからプログラムが作れる! (Beginner's Best Guide to Programming)                                                                                       | 翔泳社 | 2,500 |
| 専門 | スラスラわかるC++: 本当に必要なことだけを凝縮! (Beginner's Best Guide to Programming)                                                                                        | 翔泳社 | 2,280 |
| 専門 | スラスラわかるC言語, 第2版 (Beginner's Best Guide to Programming)                                                                                                   | 翔泳社 | 2,200 |
| 専門 | スラスラわかるJava: 知識ゼロからプログラムが作れる! (Beginner's Best Guide to Programming)                                                                                     | 翔泳社 | 2,500 |
| 専門 | スラスラわかるPython: はじめてでもつまずかない! (Beginner's Best Guide to Programming)                                                                                      | 翔泳社 | 2,300 |
| 専門 | その数式、プログラムできますか?: 数式は如何にしてプログラムに翻訳されるのか                                                                                                                  | 翔泳社 | 2,600 |
| 専門 | なっとく!アルゴリズム: 興味はあるけど考えることが苦手なあなたに                                                                                                                        | 翔泳社 | 2,500 |
| 専門 | プログラミング言語D                                                                                                                                               | 翔泳社 | 3,800 |
| 専門 | プログラムの絵本: プログラミングの基本がわかる9つの扉                                                                                                                             | 翔泳社 | 1,780 |
| 専門 | 関数型リアクティブプログラミング (Programmer's SELECTION)                                                                                                                | 翔泳社 | 4,300 |
| 専門 | 空飛ぶPython即時開発指図書 (Programmer's SELECTION)                                                                                                                | 翔泳社 | 2,800 |
| 専門 | 計算機プログラムの構造と解釈, 第2版                                                                                                                                      | 翔泳社 | 4,600 |
| 専門 | 現場で使えるJavaライブラリ: 定番&実用73オープンソースライブラリを一挙解説!                                                                                                               | 翔泳社 | 3,600 |
| 専門 | 現場で使えるデバッグ&トラブルシュート: システム障害を乗り越えるための解析テクニック: Java編                                                                                                       | 翔泳社 | 2,800 |

|    |                                                                                       |                  |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 実践プログラミングDSL:ドメイン特化言語の設計と実装のノウハウ (Programmer's SELECTION)                             | 翔泳社              | 3,800 |
| 専門 | 初めての人のためのLISP,増補改訂版                                                                   | 翔泳社              | 2,980 |
| 専門 | 詳解UNIXプログラミング,第3版                                                                     | 翔泳社              | 8,300 |
| 専門 | PMBOKガイド活用法:日本の企業文化に適應させるためのヒント                                                       | オーム社             | 2,200 |
| 専門 | プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門,第4版                                                             | オーム社             | 2,000 |
| 専門 | マンガでわかるプロジェクトマネジメント                                                                   | オーム社             | 2,200 |
| 専門 | 実践WBS:プロジェクト指向経営の基礎                                                                   | オーム社             | 3,000 |
| 専門 | 演習と実例で学ぶプロジェクトマネジメント入門: Learning Project Management through Practice and Example, 第2版 | ソフトバンククリエイティブ    | 2,480 |
| 専門 | グローバル人材に贈るプロジェクトマネジメント                                                                | 関西学院大学出版会        | 2,500 |
| 専門 | はじめてのPMBOK                                                                            | 技術評論社            | 2,480 |
| 専門 | 世界を動かすプロジェクトマネジメントの教科書:グローバルなチャレンジを成功させるOSの作り方                                        | 技術評論社            | 1,780 |
| 専門 | プロジェクトマネジメント: Project Management (未来へつなぐデジタルシリーズ 6)                                   | 共立出版             | 2,800 |
| 専門 | プロジェクトの概念:プロジェクトマネジメントの知恵に学ぶ                                                          | 近代科学社            | 2,400 |
| 専門 | グローバルプロジェクトチームのまとめ方:リーダーシップの新たな挑戦                                                     | 慶應義塾大学出版会        | 3,600 |
| 専門 | 企業ネットラブル対策バイブル                                                                        | 弘文堂              | 2,100 |
| 専門 | PMBOKガイド・マニュアル                                                                        | 鹿島出版会            | 4,500 |
| 専門 | PMツールの実践的活用法: Project Management                                                      | 鹿島出版会            | 5,800 |
| 専門 | グローバル・プロジェクトマネジメント: 和と洋の知恵を活かすプロジェクト成功のヒント                                            | 鹿島出版会            | 2,500 |
| 専門 | トラブル・プロジェクトの予防と是正:一流のプロジェクト・マネジャーを目指して                                                | 鹿島出版会            | 3,500 |
| 専門 | 戦略的プロジェクト経営                                                                           | 鹿島出版会            | 3,500 |
| 専門 | よくわかる最新PMBOK第6版の基本:プロジェクトマネジメントの最新トレンドを理解 (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)          | 秀和システム           | 2,400 |
| 専門 | よくわかる最新プロジェクトマネジメントの基本と要点:プロマネ入門者必読の知識とノウハウ (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)        | 秀和システム           | 1,800 |
| 専門 | 童話でわかるプロジェクトマネジメント: PMBOK対応                                                           | 秀和システム           | 1,700 |
| 専門 | PMO導入フレームワーク:プロジェクトを成功に導く人・組織・プロセス・ツール                                                | 生産性出版            | 2,200 |
| 専門 | 狩猟型プロジェクトマネジャーの哲学                                                                     | 生産性出版            | 2,800 |
| 専門 | 予定通り進まないプロジェクトの進め方                                                                    | 宣伝会議             | 1,800 |
| 専門 | 世界一わかりやすいプロジェクトマネジメント,第4版                                                             | 総合法令出版           | 2,900 |
| 専門 | ゼロから始めるプロジェクトマネジメント大全:立ち上げから問題解決、実行、終結までの管理手法と実践例                                     | 大和出版             | 2,300 |
| 専門 | 成功する計画の立て方・進め方:やさしいプロジェクト・プランニング                                                      | 日科技連出版社          | 2,200 |
| 専門 | 実践プログラムマネジメント:イノベーションを確実に遂行する                                                         | 日刊工業新聞社          | 2,000 |
| 専門 | 「コンセプト力」でプロジェクトを動かす:プロマネの新必修スキル                                                       | 日経BP社            | 2,400 |
| 専門 | ゼツタイ失敗しない驚異のプロジェクト実行術:準備編 始める前に押さえておこう                                                | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | ゼツタイ失敗しない驚異のプロジェクト実行術:実践編 いつも小脳に携えよう                                                  | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | プロジェクトマネジメント的生活のススメ                                                                   | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | プロジェクトを絶対に失敗させないやり切るための100のヒント                                                        | 日経BP社            | 2,600 |
| 専門 | 基礎から学ぶプロマネ技術必携マニュアル                                                                   | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 失敗から学ぶプロマネ技術36のQ&A                                                                    | 日経BP社            | 2,400 |
| 専門 | 絶対に遅延しないプロジェクト進捗管理:マスタースケジュール、アロードバリュール・マネジメント、PMSIによる科学的・定量的な進捗管理                    | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 誰も教えてくれない計画するスキル:「計画通りにいかない」と悩むならこの本からやり直そう!                                          | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 比較でわかるプロマネ技術                                                                          | 日経BP社            | 2,800 |
| 専門 | 反常識の業務改革ドキュメント:プロジェクトファシリテーション,増補新装版                                                  | 日本経済新聞出版社        | 1,900 |
| 専門 | 担当になったら知っておきたい「プロジェクトマネジメント」実践講座                                                      | 日本実業出版社          | 2,200 |
| 専門 | P2Mプログラム & プロジェクトマネジメント標準ガイドブック: P2M資格試験教科書,改訂3版                                      | 日本能率協会マネジメントセンター | 3,800 |
| 専門 | PMプロジェクトマネジメント: PROJECT MANAGEMENT,改訂6版                                               | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,400 |
| 専門 | 実践プロジェクト & プログラム マネジメント: Project & Program Management                                 | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,800 |
| 専門 | 変革マネジメントの理論と実践:プロジェクトリーダーシップの役割 (和歌山大学経済学部研究叢書 24)                                    | 白桃書房             | 3,300 |
| 専門 | 「実行」に効く計画の技術: theory and practice of planning                                         | 翔泳社              | 1,800 |
| 専門 | PMPパーフェクトマスター                                                                         | 評言社              | 3,600 |
| 専門 | CSIRT:構築から運用まで                                                                        | NTT出版            | 3,400 |
| 専門 | Excelではじめてのビジネスデータ分析:ビッグデータにも挑戦! (SCC Books B-383)                                    | エスシーシー           | 2,000 |
| 専門 | スリムに実現するISO 27001完全事例集:2014年版対応                                                       | オーム社             | 6,500 |
| 専門 | 知の協創支援:脳と計算機でアイデアを紡ぎ出す                                                                | オーム社             | 3,800 |
| 専門 | 実践CSIRTブレイブブック:セキュリティ監視とインシデント対応の基本計画                                                 | オライリー・ジャパン       | 3,200 |
| 専門 | 新入社員と学ぶオフィスの情報セキュリティ入門                                                                | シーアンドアール研究所      | 1,800 |
| 専門 | サイバーセキュリティテスト完全ガイド: Kali Linuxによるペネトレーションテスト                                          | マイナビ出版           | 3,380 |
| 専門 | セキュリティExpert: 2010 内部不正対策の最前線・SaaSセキュリティ                                              | 技術評論社            | 1,580 |
| 専門 | なぜマイクロソフトはサイバー攻撃に強いのか?                                                                | 技術評論社            | 1,880 |
| 専門 | 仕事の現場で即使える!Excelビジネスデータ分析 (PRACTICAL WORKSHOP)                                        | 技術評論社            | 2,480 |
| 専門 | サイバーセキュリティマネジメント入門 (KINZAIバリュール叢書)                                                    | 金融財政事情研究会        | 1,600 |

|    |                                                                                                                         |               |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | Tableauデータ分析:入門から実践まで                                                                                                   | 秀和システム        | 4,800 |
| 専門 | よくわかる最新情報セキュリティの基本と仕組み:基礎から学ぶセキュリティリテラシー,第3版 (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)                                         | 秀和システム        | 1,800 |
| 専門 | 情報セキュリティとプロジェクトにおけるリスクのマネジメント                                                                                           | 創英社           | 1,800 |
| 専門 | 企業活動&ITマネジメント,第2版 (情報処理基礎講座)                                                                                            | 電子開発学園出版局     | 2,600 |
| 専門 | ISO/IEC 27001情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)構築・運用の実践                                                                          | 日科技連出版社       | 2,900 |
| 専門 | ISO/IEC 27017クラウドセキュリティ管理策と実践の徹底解説                                                                                      | 日科技連出版社       | 3,600 |
| 専門 | 機密情報の保護と情報セキュリティ                                                                                                        | 日科技連出版社       | 3,200 |
| 専門 | 審査員が秘訣を教える!「改定ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)」対応・導入マニュアル                                                                   | 日刊工業新聞社       | 2,300 |
| 専門 | IT現場のセキュリティ対策完全ガイド:事件事故の実例から導く                                                                                          | 日経BP社         | 2,500 |
| 専門 | クラウド時代の情報セキュリティ                                                                                                         | 日経BP社         | 2,000 |
| 専門 | 現場で使えるセキュリティ事故対応:実践CSIRT                                                                                                | 日経BP社         | 2,500 |
| 専門 | ISO/IEC 27017:2015(ISO G 27017:2016)ISO/IEC 27002に基づくクラウドサービスのための情報セキュリティ管理策の実践 解説と活用ガイド (Management System ISO SERIES) | 日本規格協会        | 3,400 |
| 専門 | 実例情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)の本質化・効率化,第2版                                                                                 | 日本規格協会        | 1,900 |
| 専門 | 情報セキュリティの基本:この1冊ですべてわかる                                                                                                 | 日本実業出版社       | 1,700 |
| 専門 | Defense Platform: 標的型攻撃対応セキュリティ導入ガイド                                                                                    | 翔泳社           | 3,200 |
| 専門 | はじめてみようSlack:使いこなすための31のヒント                                                                                             | パーソナルメディア     | 1,800 |
| 専門 | ブリッジング:創造的チームの仕事術                                                                                                       | 日経BP社         | 2,000 |
| 専門 | プロジェクト現場のメンタルサバイバル術:16の物語から読み解くプロジェクトマネジメント術と人間術                                                                        | 鹿島出版会         | 2,200 |
| 専門 | JSP帳票アプリケーション実践開発入門                                                                                                     | ソラルズ          | 3,280 |
| 専門 | Oracle Enterprise Manager 12Ciによるシステム運用ガイド                                                                              | FOM出版         | 3,800 |
| 専門 | よくわかるMicrosoft Excel 2016/2013関数テクニックビジネス活用編                                                                            | FOM出版         | 2,300 |
| 専門 | ノンエンジニアのための社内ネットワーク施工・構築ガイド:20~40人規模のLAN環境を自分で作ろう                                                                       | SBクリエイティブ     | 2,600 |
| 専門 | はじめてよう!クラウド仕事術SkyDesk公式ガイド                                                                                              | アスキー・メディアワークス | 1,800 |
| 専門 | Google Appsスタートガイド:いつでもどこでもオフィスワーク!                                                                                     | インプレスジャパン     | 2,400 |
| 専門 | 仮想化インフラを構築する技術                                                                                                          | インプレスジャパン     | 2,000 |
| 専門 | 徹底比較!Google Apps & Office 365:情報基盤移行の鍵を握るクラウド選び:2013年版                                                                  | インプレスジャパン     | 1,800 |
| 専門 | ゴール & ストラテジ入門:残念なシステムの無くし方                                                                                              | オーム社          | 2,800 |
| 専門 | 図解情報システム発注の基礎                                                                                                           | オーム社          | 2,000 |
| 専門 | Enterprise JavaBeans 3.1                                                                                                | オライリー・ジャパン    | 4,200 |
| 専門 | クラウドセキュリティ&プライバシー:リスクとコンプライアンスに対する企業の視点 (THEORY/IN/PRACTICE)                                                            | オライリー・ジャパン    | 3,400 |
| 専門 | Windowsインフラ管理者入門                                                                                                        | カウトシステム       | 4,000 |
| 専門 | ゼロから学ぶ現場で身に付くネットワーク基礎講座                                                                                                 | ソシム           | 1,800 |
| 専門 | スマートフォンの業務利用におけるセキュリティ対策                                                                                                | ソフトバンククリエイティブ | 1,980 |
| 専門 | ITアーキテクチャのセオリー:システム構築の大前提                                                                                               | リックテレコム       | 3,000 |
| 専門 | Google Appsの教科書                                                                                                         | 海文堂出版         | 2,400 |
| 専門 | Hinemos統合管理(実践)入門 (Software Design plus)                                                                                | 技術評論社         | 3,700 |
| 専門 | JBoss Enterprise Application Platform 6構築・運用パーフェクトガイド:企業向けJavaエンタープライズサーバ運用の極意                                          | 技術評論社         | 3,800 |
| 専門 | Spring 3入門:Javaフレームワーク・より良い設計とアーキテクチャ                                                                                   | 技術評論社         | 3,900 |
| 専門 | Spring入門:Javaフレームワーク・より良い設計とアーキテクチャ,改訂新版                                                                                | 技術評論社         | 3,800 |
| 専門 | お金をドブに捨てないシステム開発の教科書:なぜ、要件定義がうまくいっても使えないシステムができてしまうのか?                                                                  | 技術評論社         | 1,880 |
| 専門 | システムの問題地図:「で、どこから変える?」使えないITに振り回される悲しき景色                                                                                | 技術評論社         | 1,680 |
| 専門 | システム発注から導入までを成功させる90の鉄則:情シス・IT担当者(必携)                                                                                   | 技術評論社         | 2,180 |
| 専門 | 新人IT担当者のためのネットワーク管理&運用がわかる本                                                                                             | 技術評論社         | 1,780 |
| 専門 | 新人IT担当者のためのネットワーク構築&管理がしっかりわかる本: The Complete Guidebook for Network                                                     | 技術評論社         | 1,680 |
| 専門 | 1週間でできるkintone:構築→運用 社内だけで完結 (I/O BOOKS)                                                                                | 工学社           | 2,300 |
| 専門 | 仮想デスクトップ「VDI」「DaaS」入門:「シン・クライアント」の選定から「サービス」の導入まで (I/O BOOKS)                                                           | 工学社           | 1,900 |
| 専門 | 「業務知識ベース」でつくる要件定義入門:ベテランSEのノウハウが最短で身につく!                                                                                | 秀和システム        | 2,200 |
| 専門 | 小さな会社ではじめてIT担当になった人のネットワーク超入門                                                                                           | 秀和システム        | 1,600 |
| 専門 | 情報システム監査実践マニュアル,第2版                                                                                                     | 森北出版          | 5,200 |
| 専門 | GeneXus入門:設計すればアプリが動く                                                                                                   | 日経BP社         | 1,600 |
| 専門 | iPhone/iPad企業活用完全ガイド:失敗しない導入から運用まで                                                                                      | 日経BP社         | 2,400 |
| 専門 | iPhone・iPad企業導入ガイドライン:BYOD/COPE実践の手引き                                                                                   | 日経BP社         | 1,800 |
| 専門 | ITアーキテクトの教科書:システム設計の先導者,改訂版                                                                                             | 日経BP社         | 2,500 |
| 専門 | ITアーキテクトはA3用紙に図解する                                                                                                      | 日経BP社         | 2,000 |
| 専門 | JP1によるシステム監視の実践ノウハウ                                                                                                     | 日経BP社         | 2,800 |
| 専門 | JP1によるセキュリティ統制の実践ノウハウ                                                                                                   | 日経BP社         | 2,800 |
| 専門 | RFP&提案書完全マニュアル,改訂版                                                                                                      | 日経BP社         | 2,100 |
| 専門 | ソフトウェアユーザーエクスペリエンス設計:使いやすい業務システムのUI設計手法                                                                                 | 日経BP社         | 2,800 |
| 専門 | はじめてのkintoneアプリ構築入門:スムーズなアプリ作成・導入をサポート                                                                                  | 日経BP社         | 2,200 |

|    |                                                                                                                     |                 |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | ひと目でわかるAD FS 2.0&Office 365連携                                                                                       | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | ひと目でわかるPowerApps/ノーコーディングでのビジネスアプリ作成入門                                                                              | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | ひと目でわかるSharePoint Server 2016                                                                                       | 日経BP社           | 3,400 |
| 専門 | ひと目でわかるSharePoint Server運用管理94のノウハウ                                                                                 | 日経BP社           | 2,500 |
| 専門 | メイドインジャパンのデータベースSymfoware Serverの実力                                                                                 | 日経BP社           | 3,000 |
| 専門 | ユーザーのためのシステム開発の見積もり評価                                                                                               | 日経BP社           | 1,900 |
| 専門 | 開発・改良の切り札システム内製を極める(極める)                                                                                            | 日経BP社           | 1,700 |
| 専門 | 誰でもできる!Dropbox Business導入ガイド                                                                                        | 日経BP社           | 1,900 |
| 専門 | 誰でもできる!G Suite導入ガイド                                                                                                 | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | 誰でもできる!Google Apps導入ガイド                                                                                             | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | 誰でもできる!Workplace by Facebook導入ガイド                                                                                   | 日経BP社           | 1,900 |
| 専門 | DataSpiderガイドブック: データ連携ソフト                                                                                          | 翔泳社             | 3,200 |
| 専門 | ITエンジニアのための(業務知識)がわかる本, 第4版                                                                                         | 翔泳社             | 2,480 |
| 専門 | NTTコミュニケーションズEnterprise Cloudシステム構築ガイド                                                                              | 翔泳社             | 3,400 |
| 専門 | Nutanix: Hyper Converged Infrastructure入門                                                                           | 翔泳社             | 3,480 |
| 専門 | Tivoliバックアップ/リカバリー・ガイドブック: TSMで実現する統合リカバリー環境への第一歩                                                                   | 翔泳社             | 2,800 |
| 専門 | Tivoliビギナーズ・ガイドブック: ITM/Netcool OMNibusで実現する運用監視                                                                    | 翔泳社             | 2,400 |
| 専門 | Windowsでできる小さな会社のLAN構築・運用ガイド, 第3版                                                                                   | 翔泳社             | 2,200 |
| 専門 | 現場で役立つWindows Server 2012 R2 Essentials構築・運用ガイド: もう迷わない!! (Small Business Support)                                  | 翔泳社             | 2,800 |
| 専門 | 小さな会社のAccessデータベース作成・運用ガイド: Windows 10, Access 2016/2013/2010対応 (Small Business Support-時間が無い 予算が無い 知識がない 会社でも大丈夫!) | 翔泳社             | 2,500 |
| 専門 | 小さな会社のLAN構築・運用ガイド: Windowsだけで大丈夫! (Small Business Support-時間が無い 予算が無い 知識がない)                                        | 翔泳社             | 2,400 |
| 専門 | 小さな会社のOffice 365導入・設定ガイド: もう困らない! (Small Business Support-時間が無い 予算が無い 知識がない そんな御社でも大丈夫!)                            | 翔泳社             | 2,800 |
| 専門 | 先輩がやさしく教えるシステム管理者の知識と実務: この1冊があれば現場に立てる!                                                                            | 翔泳社             | 1,780 |
| 専門 | ビットコインとブロックチェーンの歴史・しくみ・未来                                                                                           | SBクリエイティブ       | 1,600 |
| 専門 | 図解でわかるフィンテックいちばん最初に読む本                                                                                              | アニモ出版           | 1,600 |
| 専門 | できるビットコイン入門: 話題の仮想通貨の仕組みから使い方までよく分かる本                                                                               | インプレス           | 1,800 |
| 専門 | 仮想通貨をめぐる法律・税務・会計: これ1冊でわかる!                                                                                         | ぎょうせい           | 2,037 |
| 専門 | ブロックチェーン・レボリューション: ビットコインを支える技術はどのようにビジネスと経済、そして世界を変えるのか                                                            | ダイヤモンド社         | 2,400 |
| 専門 | FinTech・仮想通貨・AIで金融機関はどう変わる!?                                                                                        | ビジネス教育出版社       | 1,800 |
| 専門 | 仮想通貨の時代                                                                                                             | マイナビ出版          | 2,900 |
| 専門 | ブロックチェーン仕組みと理論: サンプルで学ぶFinTechのコア技術                                                                                 | リックテレコム         | 3,000 |
| 専門 | スマートコントラクト本格入門: FinTechとブロックチェーンが作り出す近未来がわかる                                                                        | 技術評論社           | 2,180 |
| 専門 | FinTechとは何か: 金融サービスの民主化をもたらすイノベーション                                                                                 | 金融財政事情研究会       | 1,600 |
| 専門 | 暗号通貨取引の理論                                                                                                           | 金融財政事情研究会       | 2,800 |
| 専門 | 金融とITの政策学: 東京大学で学ぶFinTech・社会・未来                                                                                     | 金融財政事情研究会       | 3,000 |
| 専門 | 文系のためのフィンテック大全                                                                                                      | 金融財政事情研究会       | 3,600 |
| 専門 | FinTech特許入門: FinTech・ブロックチェーン技術を特許で武装せよ(現代産業選書 知的財産実務シリーズ)                                                          | 経済産業調査会         | 2,200 |
| 専門 | 企業のためのフィンテック入門                                                                                                      | 幻冬舎メディアコンサルティング | 1,600 |
| 専門 | フィンテック入門 (I/O BOOKS)                                                                                                | 工学社             | 1,800 |
| 専門 | 最新FinTechの基本と仕組みがよくわかる本: 「フィンテック革命」とは何かがわかる! (図解入門ビジネス-How-nual-)                                                   | 秀和システム          | 1,600 |
| 専門 | 最新ブロックチェーンがよくわかる本: ビットコインから学ぶ、ブロックチェーン! (図解入門-How-nual- Visual Guide Book)                                          | 秀和システム          | 1,600 |
| 専門 | アフター・ビットコイン: 仮想通貨とブロックチェーンの次なる覇者                                                                                    | 新潮社             | 1,600 |
| 専門 | Fin Tech 2.0: 金融とITの関係がビジネスを変える                                                                                     | 中央経済社           | 1,600 |
| 専門 | ブロックチェーンをめぐる実務・政策と法                                                                                                 | 中央経済社           | 3,000 |
| 専門 | 図解FinTechが変えるカード決済ビジネス: 使えるテクノロジーはこれだ!                                                                              | 中央経済社           | 2,200 |
| 専門 | FinTechイノベーション入門 (FinTechライブラリー)                                                                                    | 朝倉書店            | 3,200 |
| 専門 | FinTechの衝撃: 金融機関は何をすべきか                                                                                             | 東洋経済新報社         | 1,800 |
| 専門 | ビットコイン&ブロックチェーン: 決定版                                                                                                | 東洋経済新報社         | 1,600 |
| 専門 | 仮想通貨: 技術・法律・制度                                                                                                      | 東洋経済新報社         | 3,000 |
| 専門 | 金融e時代: 中国における金融デジタル化の現在と未来                                                                                          | 東洋経済新報社         | 2,800 |
| 専門 | 決定版FinTech: 金融革命の全貌                                                                                                 | 東洋経済新報社         | 1,600 |
| 専門 | なぜ、日本でFinTechが普及しないのか: 欧米・中国・新興国の金融サービスから読み解く日本の進む道 (B&Tブックス)                                                       | 日刊工業新聞社         | 1,800 |
| 専門 | FinTechと金融の未来: 10年後に価値のある金融ビジネスとは何か?                                                                                | 日経BP社           | 2,200 |
| 専門 | FinTech大全: 今、世界で起きている金融革命                                                                                           | 日経BP社           | 3,000 |
| 専門 | FinTech入門: テクノロジーが推進する「ユーザー第一主義」の金融革命                                                                               | 日経BP社           | 1,600 |
| 専門 | ビジネスブロックチェーン: ビットコイン、FinTechを生み出す技術革命                                                                               | 日経BP社           | 2,000 |
| 専門 | ブロックチェーンの衝撃: ビットコイン、FinTechからIoTまで社会構造を覆す破壊的技術                                                                      | 日経BP社           | 2,800 |
| 専門 | 仮想通貨の教科書: ビットコインなどの仮想通貨が機能する仕組み                                                                                     | 日経BP社           | 3,400 |
| 専門 | キャッシュフリー経済: 日本活性化のFinTech戦略                                                                                         | 日本経済新聞出版社       | 2,800 |

|    |                                                                         |            |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | デジタル・ゴールド: ビットコイン、その知られざる物語                                             | 日本経済新聞出版社  | 2,800 |
| 専門 | フィンテック金融維新へ                                                             | 日本経済新聞出版社  | 1,800 |
| 専門 | ブロックチェーンの未来: 金融・産業・社会はどう変わるのか                                           | 日本経済新聞出版社  | 2,000 |
| 専門 | ブロックチェーン革命: 分散自律型社会の出現                                                  | 日本経済新聞出版社  | 1,800 |
| 専門 | 成功企業に学ぶ実践フィンテック: 金融革命とその戦士たち                                            | 日本経済新聞出版社  | 1,800 |
| 専門 | はじめてのビットコイン投資: 基礎知識から儲け方までいっしょにわかる本                                     | 洋泉社        | 1,600 |
| 専門 | Fintechのビジネス戦略と法務                                                       | 金融財政事情研究会  | 2,800 |
| 専門 | FinTechビジネスと法25講: 黎明期の今とこれから                                            | 商事法務       | 3,000 |
| 専門 | FinTech法務ガイド                                                            | 商事法務       | 3,800 |
| 専門 | NVivo/リファレンス: 「定性データ」分析ソフトを使いこなす (I/O BOOKS)                            | 工学社        | 1,800 |
| 専門 | 闇(ダーク)ネットの住人たち: デジタル裏社会の内幕                                              | CCCメディアハウス | 2,000 |
| 専門 | PC遠隔操作事件                                                                | 光文社        | 2,400 |
| 専門 | 「サイバー危機(クライシス)」の記録: a decade record(2007-2016) (I/O BOOKS)              | 工学社        | 2,300 |
| 専門 | フューチャー・クライム: サイバー犯罪からの完全防衛マニュアル                                         | 青土社        | 3,400 |
| 専門 | サイバー犯罪対策ガイドブック: 基礎知識から実践対策まで                                            | 民事法研究会     | 2,800 |
| 専門 | サイバー戦争論: ナショナルセキュリティの現在                                                 | 原書房        | 2,500 |
| 専門 | 科学技術研究の倫理入門 (静岡大学人文社会科学部研究叢書 34)                                        | 知泉書館       | 6,000 |
| 専門 | 科学・技術と社会倫理: その統合的思考を探る                                                  | 東京大学出版会    | 2,900 |
| 専門 | Pythonによる数値計算とシミュレーション                                                  | オーム社       | 2,500 |
| 専門 | モデリングとシミュレーション: Octaveによる算法                                             | コロナ社       | 2,600 |
| 専門 | Modelicaによるシステムシミュレーション入門: モデルベース開発のための物理システムモデリング (MBD Lab Series)     | TechShare  | 2,500 |
| 専門 | 工学倫理・技術者倫理: 練習問題および解答例付                                                 | アグネ技術センター  | 1,600 |
| 専門 | 技術者倫理とリスクマネジメント: 事故はどうして防げなかったのか?                                       | オーム社       | 2,000 |
| 専門 | 実務に役立つ技術倫理                                                              | オーム社       | 3,200 |
| 専門 | 科学技術の倫理学                                                                | 梓出版社       | 2,000 |
| 専門 | 科学技術の倫理学 2                                                              | 梓出版社       | 2,400 |
| 専門 | 技術者による実践的工学倫理: 先人の知恵と戦いから学ぶ、第3版                                         | 化学同人       | 2,200 |
| 専門 | 技術者倫理入門: JABEE対応                                                        | 丸善         | 2,100 |
| 専門 | 工学倫理 (化学マスター講座)                                                         | 丸善         | 1,600 |
| 専門 | エンジニアのための人を対象とする研究計画入門: 科学的合理性と倫理的妥当性                                   | 丸善出版       | 3,800 |
| 専門 | 技術者倫理日本の事例と考察: 問題点と判断基準を探る                                              | 丸善出版       | 3,000 |
| 専門 | 大学講義 技術者の倫理学習要領                                                         | 丸善出版       | 5,800 |
| 専門 | 大学講義技術者の倫理入門, 第5版                                                       | 丸善出版       | 1,800 |
| 専門 | 理系のための科学技術者倫理: JABEE基準対応                                                | 丸善出版       | 2,400 |
| 専門 | オムニバス技術者倫理 第2版                                                          | 共立出版       | 2,300 |
| 専門 | はじめての技術者倫理: 未来を担う技術者・研究者のために                                            | 講談社        | 2,000 |
| 専門 | 技術者倫理の世界 第3版                                                            | 森北出版       | 1,900 |
| 専門 | 技術者倫理を考える: 持続可能な社会をめざして、新版                                              | 朝倉書店       | 2,650 |
| 専門 | 工学倫理: 実例で学ぶ技術者の行動規範                                                     | 東京電機大学出版局  | 2,600 |
| 専門 | 技術者のプロマネ!「ミッション遂行力」入門 (B&Tブックス)                                         | 日刊工業新聞社    | 2,200 |
| 専門 | 技術者倫理: 技術者として幸福を得るために考えておくべきこと                                          | 日刊工業新聞社    | 2,200 |
| 専門 | 科学技術者倫理: 本質から考え行動する                                                     | 白桃書房       | 1,800 |
| 専門 | 新しい時代の技術者倫理(放送大学教材)                                                     | 放送大学教育振興会  | 2,800 |
| 専門 | 誇り高い技術者になろう: 工学倫理/ノスメ, 第2版                                              | 名古屋大学出版会   | 2,800 |
| 専門 | 技術の知と倫理: 技術の営みの教養基礎                                                     | 理工図書       | 2,300 |
| 専門 | 工学倫理: 応用倫理学の接点, 改訂版                                                     | 理工図書       | 2,200 |
| 専門 | 技術者倫理の現在                                                                | 勁草書房       | 2,500 |
| 専門 | インダストリーX.0: 製造業の「デジタル価値」実現戦略                                            | 日経BP社      | 2,000 |
| 専門 | 情報ネットワーク (IT Text 一般教育シリーズ)                                             | オーム社       | 2,300 |
| 専門 | 情報ネットワーク (InfoCom Be-TEXT)                                              | オーム社       | 2,800 |
| 専門 | 情報ネットワーク (未来へつなぐデジタルシリーズ 3)                                             | 共立出版       | 2,600 |
| 専門 | 情報ネットワークの仕組みを考える、新版                                                     | 朝倉書店       | 2,500 |
| 専門 | 通信ネットワークのための数理計画法                                                       | コロナ社       | 2,400 |
| 専門 | 無線とネットワークの基礎 (電気・電子工学ライブラリ UKE-G3)                                      | 数理工学社      | 1,800 |
| 専門 | 実践通信ネットワークの信頼性評価技術: 基礎からRを用いたプログラミングまで                                  | 電子情報通信学会   | 3,200 |
| 専門 | 通信ネットワークの信頼性: Reliability of Telecommunications Networks                | 電子情報通信学会   | 2,900 |
| 専門 | 基礎から学ぶトラヒック理論                                                           | 森北出版       | 3,200 |
| 専門 | データの符号化技術と誤訂正の基礎: ブロック符号/畳み込み符号/ターボ符号を理解する、改訂新版 (RFデザイン・シリーズ)           | CQ出版       | 2,200 |
| 専門 | マルチメディア・ストリーミング技術: 動画・音声コンテンツ伝送技術のすべて (IC Series-Industrial Computing-) | CQ出版       | 3,200 |

|    |                                                                                       |               |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | M2M/IoT教科書 (インプレス標準教科書シリーズ)                                                           | インプレス         | 4,700 |
| 専門 | IoTシステム開発スタートアップ: プロトタイプで全レイヤをつなぐ                                                     | リックテレコム       | 2,600 |
| 専門 | IoTネットワークLPWAの基礎: SIGFOX、LoRa、NB-IoT                                                  | リックテレコム       | 2,400 |
| 専門 | M2M基本技術書: ETSI標準の理論と体系                                                                | リックテレコム       | 3,400 |
| 専門 | はじめての情報通信技術と情報セキュリティ                                                                  | 丸善出版          | 2,700 |
| 専門 | IoTエンジニア養成読本: IoTシステムの全体像と現場で求められる技術がわかる! (Software Design plus ガッチリ最新技術)             | 技術評論社         | 1,780 |
| 専門 | IoTエンジニア養成読本: IoTシステムの全体像と現場で必要な技術がわかる! 設計編 (Software Design plus ガッチリ最新技術)           | 技術評論社         | 1,880 |
| 専門 | コンピュータネットワークの構成学 (series電気・電子・情報系 4)                                                  | 共立出版          | 3,000 |
| 専門 | 「LoRa」導入ガイド: 「IoT」「LoRa」の仕組みから、「IoTアプリケーション」の実例まで (I/O BOOKS)                         | 工学社           | 2,300 |
| 専門 | IMS標準テキスト: 新しいモバイルサービスとNGNの中核技術, 改訂版                                                  | リックテレコム       | 5,800 |
| 専門 | 3分間HTTP & メールプロトコル基礎講座 (世界一わかりやすいネットワークの授業)                                           | 技術評論社         | 2,280 |
| 専門 | 3分間ルーティング基礎講座, 改訂新版 (世界一わかりやすいネットワークの授業)                                              | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | TCP/IPネットワーク: ステップアップラーニング, 改訂4版                                                      | 技術評論社         | 1,980 |
| 専門 | ポートとソケットがわかればインターネットがわかる: TCP/IP・ネットワーク技術を学びたいあなたのために (Software Design plusシリーズ)      | 技術評論社         | 2,280 |
| 専門 | IPv6ネットワーク構築実習                                                                        | 共立出版          | 2,400 |
| 専門 | 「IPv6」導入ガイド: 「疑問」「注意点」「運用方法」を利用者の視点で解説! (I/O BOOKS)                                   | 工学社           | 2,300 |
| 専門 | ソケット通信プログラミング: 「iPhone」と「Windowsマシン」でデータを送受信する! (I/O BOOKS)                           | 工学社           | 2,800 |
| 専門 | 詳解NetSNMP: 「ルータ」「スイッチ」など「ネットワーク機器」管理のためのプロトコル (I/O BOOKS)                             | 工学社           | 2,500 |
| 専門 | ns3によるネットワークシミュレーション                                                                  | 森北出版          | 4,200 |
| 専門 | 情報ネットワークの基礎, 第2版 (情報システム工学 MKC-3)                                                     | 数理工学社         | 2,500 |
| 専門 | TCP/IPの基礎                                                                             | 毎日コミュニケーションズ  | 2,200 |
| 専門 | HTTPの教科書: 強靱な技術力と柔軟な思考を味方にするWebプロトコルの基礎                                               | 翔泳社           | 2,600 |
| 専門 | インターネットルーティング入門: 図解でわかる経路制御の仕組み, 第3版                                                  | 翔泳社           | 2,600 |
| 専門 | 独習TCP/IP: IPネットワークング編                                                                 | 翔泳社           | 3,200 |
| 専門 | 独習TCP/IP: Teach Yourself TCP/IP                                                       | 翔泳社           | 2,380 |
| 専門 | Linux高信頼サーバ構築ガイド: クラスタリング編 クラスタリング・システムの信頼性を高めるノウハウ (IC Series-Industrial Computing-) | CQ出版          | 3,600 |
| 専門 | インフラ/ネットワークエンジニアのためのネットワーク技術&設計入門: サーバシステムを変えるネットワークはこうしてできている                        | SBクリエイティブ     | 2,980 |
| 専門 | この一冊で全部わかるサーバーの基本 (Informatics & IDEA イラスト図解式)                                        | SBクリエイティブ     | 1,680 |
| 専門 | この一冊で全部わかるネットワークの基本 (Informatics & IDEA イラスト図解式)                                      | SBクリエイティブ     | 1,680 |
| 専門 | スラスラわかるネットワーク&TCP/IPのきほん: イラスト図解, 第2版                                                 | SBクリエイティブ     | 1,900 |
| 専門 | ネットワーク超入門講座: 現場の基本を集中マスター, 第4版                                                        | SBクリエイティブ     | 1,980 |
| 専門 | パケットキャプチャの教科書 (Informatics & IDEA)                                                    | SBクリエイティブ     | 2,980 |
| 専門 | マンガで学ぶネットワークのきほん                                                                      | SBクリエイティブ     | 1,980 |
| 専門 | 標準テキストWindows Server 2012 R2構築・運用・管理パーフェクトガイド                                         | SBクリエイティブ     | 4,000 |
| 専門 | ネットワーク技術の教科書: 一歩進んだ知識があなたの武器になる!                                                      | アイテック         | 4,200 |
| 専門 | ネットワークフロー解析入門: flow-toolsによるトラブルシューティング                                               | アスキー・メディアワークス | 2,600 |
| 専門 | 次世代ネットワーク制御技術OpenFlow入門                                                               | アスキー・メディアワークス | 2,000 |
| 専門 | Ansible実践ガイド: コードによるインフラ構築の自動化, 第2版 (impress top gear)                                | インプレス         | 3,300 |
| 専門 | Ansible徹底活用ガイド (THINK IT BOOKS)                                                       | インプレス         | 1,800 |
| 専門 | CentOS 7サーバー (できるPRO)                                                                 | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | Cisco ACIポリシーベースのデータセンター: アーキテクチャ/コンセプト/メソドロジー                                        | インプレス         | 4,600 |
| 専門 | Mesos実践ガイド: 次世代の計算資源管理ソフトウェア (impress top gear)                                       | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | OpenDaylight構築実践ガイド (THINK IT BOOKS)                                                  | インプレス         | 2,000 |
| 専門 | Red Hat Enterprise Linux 7 (できるPRO)                                                   | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | VMware Horizon導入実践ガイド: モバイルクラウド時代のワークスタイル変革 (impress top gear)                        | インプレス         | 4,500 |
| 専門 | VMware vSphere 6 (できるPRO)                                                             | インプレス         | 3,400 |
| 専門 | Windows Server 2016 Hyper-V (できるPRO)                                                  | インプレス         | 3,200 |
| 専門 | 新人エンジニアのためのインフラ入門 (Think IT BOOKS)                                                    | インプレス         | 1,800 |
| 専門 | 1週間でCCNAの基礎が学べる本 (徹底攻略)                                                               | インプレスジャパン     | 2,400 |
| 専門 | Ciscoネットワーク構築教科書: 設定編 ルータ/スイッチ/ワイヤレス/セキュリティ                                           | インプレスジャパン     | 4,200 |
| 専門 | Ciscoネットワーク構築教科書: 解説編 ルータ/スイッチ/セキュリティ/ワイヤレス/WAAS                                      | インプレスジャパン     | 4,400 |
| 専門 | VMware vSphere構築・運用レシピ: 96 Recipes for Building & Management                          | インプレスジャパン     | 3,400 |
| 専門 | ひとり情シスのためのWindows Server逆引きデザインパターン: Windows Server2016対応!                            | エクスナレッジ       | 2,800 |
| 専門 | OS X Server実践ワークグループ&インターネットサーバ構築                                                     | オーム社          | 3,500 |
| 専門 | ネットワークセキュリティ: Network Security (現代電子情報通信選書『知識の森』)                                     | オーム社          | 3,600 |
| 専門 | よくわかるストレージネットワークング                                                                    | オーム社          | 3,500 |
| 専門 | 基本からわかる情報通信ネットワーク講義ノート                                                                | オーム社          | 2,500 |
| 専門 | 基本を学ぶコンピュータネットワーク                                                                     | オーム社          | 2,500 |
| 専門 | 将来ネットワーク技術: 次世代から新世代へ (現代電子情報通信選書『知識の森』)                                              | オーム社          | 3,700 |

|    |                                                                                               |                  |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 情報ネットワーク (新インターユニバーシティ)                                                                       | オーム社             | 2,300 |
| 専門 | 情報通信ネットワーク (OHM大学テキスト)                                                                        | オーム社             | 2,600 |
| 専門 | 情報通信ネットワーク (IT Text)                                                                          | オーム社             | 2,800 |
| 専門 | Head Firstネットワーク: 頭とからだで覚えるネットワークの基本                                                          | オライリー・ジャパン       | 3,200 |
| 専門 | Serverspec                                                                                    | オライリー・ジャパン       | 2,800 |
| 専門 | データ分析によるネットワークセキュリティ                                                                          | オライリー・ジャパン       | 3,600 |
| 専門 | 実践Fiddler                                                                                     | オライリー・ジャパン       | 3,200 |
| 専門 | 実践パケット解析: Wiresharkを使ったトラブルシューティング, 第3版                                                       | オライリー・ジャパン       | 3,200 |
| 専門 | 初めてのAnsible                                                                                   | オライリー・ジャパン       | 3,200 |
| 専門 | HTML5/WebSocket/WebRTCによるTypeScriptネットワークプログラミング                                              | カットシステム          | 3,400 |
| 専門 | ネットワーク管理に使うWMI: PowerShellによるWindowsマシン管理                                                     | カットシステム          | 6,000 |
| 専門 | コンピュータネットワークセキュリティ: Computer Network Security                                                 | コロナ社             | 2,500 |
| 専門 | ネットワーク・カオス: 非線形ダイナミクス・複雑系と情報ネットワーク (情報ネットワーク科学シリーズ 第4巻)                                       | コロナ社             | 3,400 |
| 専門 | はじめて学ぶ情報通信                                                                                    | コロナ社             | 2,600 |
| 専門 | 情報ネットワークの数理と最適化: 性能や信頼性を高めるためのデータ構造とアルゴリズム (情報ネットワーク科学シリーズ 第2巻)                               | コロナ社             | 2,600 |
| 専門 | 情報ネットワークの分散制御と階層構造 (情報ネットワーク科学シリーズ 第3巻)                                                       | コロナ社             | 3,000 |
| 専門 | 情報ネットワーク科学入門 (情報ネットワーク科学シリーズ 第1巻)                                                             | コロナ社             | 3,000 |
| 専門 | 情報ネットワーク概論: ネットワークとセキュリティの技術とその理論                                                             | コロナ社             | 2,800 |
| 専門 | 情報通信ネットワーク, 改訂                                                                                | コロナ社             | 2,800 |
| 専門 | 生命のしくみに学ぶ情報ネットワーク設計・制御 (情報ネットワーク科学シリーズ 第5巻)                                                   | コロナ社             | 2,200 |
| 専門 | 分散システム:P2Pモデル (成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書)                                                            | コロナ社             | 2,200 |
| 専門 | ネットワークエンジニアの教科書                                                                               | シーアンドアール研究所      | 2,000 |
| 専門 | 実践!CentOS 7サーバー徹底構築, 改訂第2版                                                                    | ソーテック社           | 2,980 |
| 専門 | 小さな会社の新米サーバー/インフラ担当者のためのLinuxの常識                                                              | ソシム              | 1,680 |
| 専門 | 新米サーバ/インフラ担当者のための仮想サーバ/クラウド技術の常識                                                              | ソシム              | 1,600 |
| 専門 | 一冊でキッチリ身につくサーバーの基本としくみ: イラスト図解                                                                | ナツメ社             | 1,800 |
| 専門 | ステップ方式で仕組みを学ぶIPネットワーク設計演習                                                                     | テクノオプニクス・エナジー出版局 | 2,300 |
| 専門 | Webエンジニアが知っておきたいインフラの基本: インフラの設計から構成、監視、チューニングまで                                              | マイナビ             | 2,680 |
| 専門 | ネットワークの世界へようこそ: 知っておきたいTCP/IPの基礎知識                                                            | マイナビ             | 1,780 |
| 専門 | ネットワーク運用管理の教科書: 現場のプロが教える!                                                                    | マイナビ出版           | 2,980 |
| 専門 | コンピュータ・ネットワーク入門, 改訂版                                                                          | ムイスリ出版           | 2,350 |
| 専門 | パケットキャプチャ実践技術: Wiresharkによるパケット解析応用編, 第2版                                                     | リックテレコム          | 3,400 |
| 専門 | パケットキャプチャ入門: LANアナライザWireshark活用術, 第4版                                                        | リックテレコム          | 2,800 |
| 専門 | 仮想サーバ構築技術入門: Citrix XenServer 5.5編                                                            | リックテレコム          | 2,000 |
| 専門 | 「独習Linux専科」サーバ構築/運用/管理: あなたに伝えたい技と知恵と鉄則 (Software Design plusシリーズ)                            | 技術評論社            | 2,980 |
| 専門 | 28日で即戦力!サーバ技術者養成講座, 改訂3版                                                                      | 技術評論社            | 3,280 |
| 専門 | 3分間ネットワーク基礎講座, 改訂新版 (世界一わかりやすいネットワークの授業)                                                      | 技術評論社            | 1,780 |
| 専門 | Ansible構成管理入門: はじめようInfrastructure as Code (Software Design plusシリーズ)                         | 技術評論社            | 2,480 |
| 専門 | Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V仮想化技術活用ガイド: Cloud OSビジョンを支える基盤技術, 改訂新版                | 技術評論社            | 3,500 |
| 専門 | Nagios統合監視(実践)リファレンス (Software Design plusシリーズ)                                               | 技術評論社            | 3,200 |
| 専門 | OpenSSH(実践)入門 (Software Design plusシリーズ)                                                      | 技術評論社            | 2,980 |
| 専門 | QNAP実践活用ガイドブック: クラウド時代のネットワークストレージ活用術                                                         | 技術評論社            | 2,000 |
| 専門 | VMwareの基本: 仮想化/クラウドのための設計・構築・運用のポイントがわかる, 改訂新版                                                | 技術評論社            | 2,480 |
| 専門 | Zabbix統合監視実践入門: 障害通知、傾向分析、可視化による省力運用, 改訂版 (Software Design plusシリーズ)                          | 技術評論社            | 3,500 |
| 専門 | Zabbix統合監視徹底活用: 複雑化・大規模化するインフラの一元管理 (Software Design plusシリーズ)                                | 技術評論社            | 3,500 |
| 専門 | イラスト図解でよくわかるITインフラの基礎知識                                                                       | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | イラスト図解でよくわかるネットワーク&TCP/IPの基礎知識                                                                | 技術評論社            | 1,780 |
| 専門 | かんたんネットワーク入門: イラストでわかるネットワークのしくみ, 改訂3版                                                        | 技術評論社            | 1,580 |
| 専門 | クラウド時代のネットワーク技術OpenFlow実践入門, 増補改訂版 (Software Design plusシリーズ)                                 | 技術評論社            | 3,200 |
| 専門 | サーバ/インフラ徹底攻略: AWS   テスト駆動インフラ   Immutable Infrastructure   nginx   メンテナンス (WEB+DB PRESS plus) | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | サーバ・インフラ構築・運用完全ガイド                                                                            | 技術評論社            | 3,500 |
| 専門 | サーバ構築の実例がわかるSamba(実践)入門, 改訂新版 (Software Design plusシリーズ)                                      | 技術評論社            | 2,680 |
| 専門 | ゼロからわかるネットワーク超入門: TCP/IP基本のキホン, 改訂2版 (かんたんIT基礎講座)                                             | 技術評論社            | 1,940 |
| 専門 | ソースコードで体感するネットワークの仕組み: 手を動かしながら基礎からTCP/IPの実装までがわかる                                            | 技術評論社            | 2,480 |
| 専門 | ソフトウェアエンジニアのためのITインフラ監視(実践)入門 (Software Design plusシリーズ)                                      | 技術評論社            | 2,280 |
| 専門 | データ分析基盤構築入門: Fluentd、Elasticsearch、Kibanaによるログ収集と可視化                                          | 技術評論社            | 2,980 |
| 専門 | プロのためのLinuxシステム・10年効: シェルスクリプトを書き、ソースコードを読み、自在にシステムを作る (Software Design plusシリーズ)             | 技術評論社            | 3,400 |
| 専門 | プロのためのLinuxシステム構築・運用技術: システム構築運用/ネットワーク・ストレージ管理の秘訣がわかる, 改訂新版 (Software Design plusシリーズ)       | 技術評論社            | 2,980 |
| 専門 | まるごとわかるネットワーク入門                                                                               | 技術評論社            | 1,980 |



|    |                                                                                                         |           |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-------|
| 専門 | ルーター自作でわかるパケットの流れ: ソースコードで体感するネットワークのしくみ                                                                | 技術評論社     | 1,880 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんネットワークのしくみ超入門 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                                | 技術評論社     | 1,780 |
| 専門 | 小悪魔女子大生のサーバエンジニア日記: インターネットやサーバのしくみが楽しくわかる                                                              | 技術評論社     | 1,980 |
| 専門 | 図解サーバー仕事で使える基本の知識: Basic and Useful Knowledge of Server, 改訂新版                                           | 技術評論社     | 1,680 |
| 専門 | 図解でよくわかるネットワークの重要用語解説, 改訂4版                                                                             | 技術評論社     | 1,980 |
| 専門 | 図解ネットワーク仕事で使える基本の知識: Basic and Useful Knowledge of Network, 改訂新版                                        | 技術評論社     | 1,680 |
| 専門 | Javaによるネットワークプログラミング                                                                                    | 技報堂出版     | 2,400 |
| 専門 | コンピュータネットワーク: Computer Network (情報工学テキストシリーズ 第4巻)                                                       | 共立出版      | 2,500 |
| 専門 | コンピュータネットワーク概論 (未来へつなぐデジタルシリーズ 27)                                                                      | 共立出版      | 2,800 |
| 専門 | ネットワークソフトウェア: Network Software (未来へつなぐデジタルシリーズ 16)                                                      | 共立出版      | 2,600 |
| 専門 | 新編図解情報通信ネットワークの基礎                                                                                       | 共立出版      | 2,800 |
| 専門 | ファーストステップ情報通信ネットワーク                                                                                     | 近代科学社     | 2,200 |
| 専門 | はじめてのメディアサーバ: ビデオや音楽を「サーバ」で管理! (I/O BOOKS)                                                              | 工学社       | 1,900 |
| 専門 | OpenFlowネットワーク入門                                                                                        | 国際情報科学協会  | 3,500 |
| 専門 | VMware実践運用管理: VMware vSphere 6対応                                                                        | 秀和システム    | 3,000 |
| 専門 | これならわかる!Linuxサーバー入門講座, 第2版                                                                              | 秀和システム    | 2,600 |
| 専門 | これならわかる!ネットワーク入門講座: TCP/IPが面白い!, 第2版                                                                    | 秀和システム    | 1,900 |
| 専門 | たった2日でわかるLinuxサーバー: 自宅のWindows or MacでOK!                                                               | 秀和システム    | 2,500 |
| 専門 | たった2日でわかるネットワークの基礎: この1冊でザックリ理解!                                                                        | 秀和システム    | 1,800 |
| 専門 | よくわかるWindows Server 2012: ネットワーク構築・管理入門編 (TECHNICAL MASTER 78)                                          | 秀和システム    | 3,200 |
| 専門 | よくわかる最新ネットワーク技術の基本と仕組み: プロに求められるスキルを知る (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)                               | 秀和システム    | 2,000 |
| 専門 | 入門LDAP/OpenLDAPディレクトリサービス導入・運用ガイド, 第3版                                                                  | 秀和システム    | 2,800 |
| 専門 | ネットワークセキュリティ: 入門編                                                                                       | 情報通信振興会   | 2,700 |
| 専門 | NS2によるネットワークシミュレーション入門: 有線からワイヤレスアドホックネットワークまで                                                          | 森北出版      | 2,800 |
| 専門 | ネットワーク: 目には見えないしくみを構成する技術                                                                               | 森北出版      | 2,000 |
| 専門 | ネットワーク技術の基礎, 第2版 (情報工学レクチャーシリーズ)                                                                        | 森北出版      | 3,000 |
| 専門 | ネットワーク工学, 第2版                                                                                           | 森北出版      | 2,400 |
| 専門 | 情報通信ネットワークの基礎                                                                                           | 森北出版      | 2,200 |
| 専門 | 無線分散ネットワーク: Wireless Distributed Networks                                                               | 電子情報通信学会  | 3,800 |
| 専門 | よくわかる情報通信ネットワーク                                                                                         | 東京電機大学出版局 | 1,900 |
| 専門 | 情報ネットワーク教科書                                                                                             | 東京電機大学出版局 | 3,800 |
| 専門 | Active Directory ID管理ガイド: Microsoft Forefront Identity Manager 2010で実装するID統合管理ソリューション (ITプロフェッショナルシリーズ) | 日経BP社     | 3,800 |
| 専門 | Windows Server 2016テクノロジ入門, 完全版                                                                         | 日経BP社     | 5,000 |
| 専門 | Windows Server仮想化テクノロジ入門 (TechNet ITプロシリーズ)                                                             | 日経BP社     | 5,700 |
| 専門 | ネットワークトラブル完全ガイド                                                                                         | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門 | ネットワークトラブル対応徹底解説: クラウド時代のネットワーク設計・構築・運用術                                                                | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門 | ネットワークトラブル対応徹底解説: モバイル/クラウド時代のネットワーク設計・構築・運用術: 2                                                        | 日経BP社     | 2,500 |
| 専門 | ひと目でわかるActive Directory Windows Server 2016版                                                            | 日経BP社     | 3,200 |
| 専門 | ひと目でわかるAzure Active Directory, 第2版                                                                      | 日経BP社     | 3,400 |
| 専門 | ひと目でわかるHyper-V Windows Server 2016版                                                                     | 日経BP社     | 3,000 |
| 専門 | ひと目でわかるWindows Server 2016                                                                              | 日経BP社     | 2,800 |
| 専門 | 基礎から分るSamba 4構築&運用入門                                                                                    | 日経BP社     | 2,685 |
| 専門 | 図オンプレミス/クラウド時代の認証基盤Azure Active Directory完全解説: IDaaSに対応するためのシステム設計とは (マイクロソフト公式解説書)                     | 日経BP社     | 3,700 |
| 専門 | 情報ネットワーク (放送大学教材)                                                                                       | 放送大学教育振興会 | 2,400 |
| 専門 | 情報ネットワークとセキュリティ (放送大学教材)                                                                                | 放送大学教育振興会 | 2,400 |
| 専門 | 10日でおぼえるLinuxサーバー入門教室                                                                                   | 翔泳社       | 2,800 |
| 専門 | Ansible徹底入門: クラウド時代の新しい構成管理の実現                                                                          | 翔泳社       | 3,480 |
| 専門 | OpenFlow徹底入門: SDNを実現する技術と知識                                                                             | 翔泳社       | 3,600 |
| 専門 | Sambaのすべて, 改訂版                                                                                          | 翔泳社       | 5,200 |
| 専門 | Ubuntuサーバー徹底入門                                                                                          | 翔泳社       | 3,800 |
| 専門 | VMware vSphereエンタープライズ・インテグレーション: 仮想化時代のエンジニアになる!                                                       | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | VMware vSphereクラスタ構築/運用の技法: vSphereクラスタの真の力を引き出す                                                        | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | VMware自動化ガイド: スクリプティングとワークフローによる管理テクニック                                                                 | 翔泳社       | 4,200 |
| 専門 | Windowsネットワーク上級リファレンス: Windows 10/8.1/7完全対応                                                             | 翔泳社       | 2,780 |
| 専門 | インフラ管理者のためのRun Book Automation実践ガイド: オープンソースを使ったシステム構築/管理自動化入門                                          | 翔泳社       | 3,200 |
| 専門 | おうちで学べるサーバのきほん: 全く新しいサーバの入門書                                                                            | 翔泳社       | 1,980 |
| 専門 | おうちで学べるネットワークのきほん: 初心者のためのTCP/IP入門                                                                      | 翔泳社       | 1,980 |
| 専門 | コンピュータネットワークとインターネット: 始原から現代まで、深化する技術の道程とその基礎理論                                                         | 翔泳社       | 5,400 |
| 専門 | ゼロからはじめるLinuxサーバー構築・運用ガイド: 動かしながら学ぶWebサーバーの作り方                                                          | 翔泳社       | 2,680 |

|    |                                                                                         |               |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | マスタリングVMware vSphere 5.5                                                                | 翔泳社           | 5,800 |
| 専門 | 擬人化でまなぼ!ITインフラのしくみ: パソコン・ネットワーク・サーバーがわかる!!                                              | 翔泳社           | 1,980 |
| 専門 | 擬人化でまなぼ!ネットワークのしくみ: もしも、プロトコルが人格をもったなら…!?                                               | 翔泳社           | 1,980 |
| 専門 | 入社1年目からの「ネットインフラ」がわかる本                                                                  | 翔泳社           | 2,380 |
| 専門 | よくわかる対話式ホームページ作りの「きほん」: HTML5&CSS3                                                      | FOM出版         | 1,800 |
| 専門 | Google Compute Engine入門                                                                 | KADOKAWA      | 2,200 |
| 専門 | Webプログラミングが面白いほどわかる本: 環境構築からWebサービスの作成まで、はじめからていねいに                                     | KADOKAWA      | 2,500 |
| 専門 | プロフェッショナルのための実践Heroku入門: プラットフォーム・クラウドを活用したアプリケーション開発と運用                                | KADOKAWA      | 1,800 |
| 専門 | 高校生からはじめるプログラミング: N高校のプログラミング教育メソッドを大公開!                                                | KADOKAWA      | 2,000 |
| 専門 | 動画で学ぶWordPressの学校: 初めてWebサイトを立ち上げるときに読む本 (WEB PROFESSIONAL)                             | KADOKAWA      | 2,750 |
| 専門 | Amazon Web Services/パターン別構築・運用ガイド: 一番大切な知識と技術が身につく, 改訂第2版 (Informatics & IDEA)          | SBクリエイティブ     | 3,400 |
| 専門 | Amazon Web Services業務システム設計・移行ガイド: 一番大切な知識と技術が身につく (Informatics & IDEA)                 | SBクリエイティブ     | 3,200 |
| 専門 | Webディレクションの教科書: デザイナーのためのプロの制作術が身につく                                                    | SBクリエイティブ     | 2,300 |
| 専門 | やさしいPHP, 第3版                                                                            | SBクリエイティブ     | 2,600 |
| 専門 | 基礎からのWordPress: Building a Website with WordPress, 改訂版 (BASIC LESSON For Web Engineers) | SBクリエイティブ     | 3,180 |
| 専門 | 基礎からのサードプレット/JSP, 新版 (プログラマの種シリーズ-SE必修!-)                                               | SBクリエイティブ     | 2,800 |
| 専門 | 作りながら学ぶjQueryデザインの教科書                                                                   | SBクリエイティブ     | 2,700 |
| 専門 | 実践でスグに役立つ新しいWebデザイン・制作入門講座: CSSフレームワークとグリッドで作るマルチデバイス対応サイト (Design & IDEA)              | SBクリエイティブ     | 2,300 |
| 専門 | 人を惹きつける美しいウェブサイトの作り方: 人に伝わるデザインと制作のレッスン (Design & IDEA)                                 | SBクリエイティブ     | 2,480 |
| 専門 | 体系的に学ぶ安全なWebアプリケーションの作り方: 脆弱性が生まれる原理と対策の実践, 第2版                                         | SBクリエイティブ     | 3,200 |
| 専門 | 土日でわかるPHPプログラミング教室: 短期集中講座 (Informatics & IDEA)                                         | SBクリエイティブ     | 2,270 |
| 専門 | 本格ビジネスサイトを作りながら学ぶWordPressの教科書                                                          | SBクリエイティブ     | 2,800 |
| 専門 | facebookアプリケーション開発ガイド                                                                   | アスキー・メディアワークス | 2,800 |
| 専門 | Google上位表示64の法則 (WEB PROFESSIONAL)                                                      | アスキー・メディアワークス | 2,380 |
| 専門 | iPhone+Androidスマートフォンスイト制作入門, 改訂新版 (WEB PROFESSIONAL)                                   | アスキー・メディアワークス | 2,200 |
| 専門 | iQuery Mobileスマートフォンスイトデザイン入門 (WEB PROFESSIONAL)                                        | アスキー・メディアワークス | 2,380 |
| 専門 | Webディレクション標準スキル152: 企画・提案からプロジェクト管理、運用まで                                                | アスキー・メディアワークス | 4,280 |
| 専門 | Web制作の現場で使うjQueryデザイン入門, 改訂新版 (WEB PROFESSIONAL)                                        | アスキー・メディアワークス | 2,980 |
| 専門 | 最初のキホンがやさしくわかる絵で学ぶPHP入門                                                                 | アスキー・メディアワークス | 1,800 |
| 専門 | Amazon Web Servicesネットワーク入門: 初めて作るクラウドインフラ (impress top gear)                           | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | AngularJSリファレンス                                                                         | インプレス         | 3,800 |
| 専門 | Angularデベロッパーズガイド: 高速かつ堅牢に動作するフロントエンドフレームワーク                                            | インプレス         | 3,800 |
| 専門 | AWS Lambda実践ガイド: アーキテクチャとイベント駆動型プログラミング (impress top gear)                              | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | CakePHPで学ぶ継続的インテグレーション: 開発チームの進化を劇的に加速させる! (impress top gear)                           | インプレス         | 4,000 |
| 専門 | Drupal 8スタートブック: 作りながら学ぶWebサイト構築 (THINK IT BOOKS)                                       | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | Goプログラミング実践入門: 標準ライブラリでゼロからWebアプリを作る (impress top gear)                                 | インプレス         | 3,400 |
| 専門 | HeartCore導入・構築ガイド: CMSの基礎知識と効果的なWebサイトの作り方                                              | インプレス         | 2,800 |
| 専門 | Laravelリファレンス: Web職人好みの新世代PHPフレームワーク                                                    | インプレス         | 4,200 |
| 専門 | Microsoft Azure実践ガイド: オンプレミスからクラウドへ (impress top gear)                                  | インプレス         | 3,500 |
| 専門 | nginx実践ガイド: 高速・軽量・高機能HTTPサーバーの構築 (impress top gear IT技術者のための現場ノウハウ)                     | インプレス         | 2,800 |
| 専門 | OpenStack-Ansibleで作るHA環境構築手順書: Kilo版 (THINK IT BOOKS)                                   | インプレス         | 4,600 |
| 専門 | OpenStack構築手順書: Liberty版 (THINK IT BOOKS)                                               | インプレス         | 4,600 |
| 専門 | OpenStack構築手順書: Kilo版 (THINK IT BOOKS)                                                  | インプレス         | 4,600 |
| 専門 | OpenStack構築手順書: Mitaka版 (THINK IT BOOKS)                                                | インプレス         | 2,800 |
| 専門 | OpenStack実践ガイド: IT現場の即戦力 (impress top gear IT技術者のための現場ノウハウ)                             | インプレス         | 3,000 |
| 専門 | ownCloudセキュアストレージ構築ガイド (THINK IT BOOKS)                                                 | インプレス         | 2,000 |
| 専門 | SoftLayer詳細解説ガイド (THINK IT BOOKS)                                                       | インプレス         | 2,200 |
| 専門 | WebデベロッパーのためのReact開発入門: JavaScript UIライブラリの基本と活用                                        | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | Web制作者のためのIllustrator & ベクターデータの教科書: マルチデバイス時代に知っておくべき新・グラフィック作成術                       | インプレス         | 2,400 |
| 専門 | Web制作者のためのSassの教科書: Webデザインの現場で必須のCSSプリプロセッサ, 改訂2版                                      | インプレス         | 2,400 |
| 専門 | Windows Azure Packプライベートクラウド構築ガイド (THINK IT BOOKS)                                      | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | WordPress: Linuxユーザーのための構築&運用ガイド (できるPRO)                                               | インプレス         | 2,500 |
| 専門 | いちばんやさしいJimdoの教本: 人気講師が教える本格ホームページの作り方                                                  | インプレス         | 2,200 |
| 専門 | いちばんやさしいPHPの教本: 人気講師が教える実践Webプログラミング, 第2版                                               | インプレス         | 1,980 |
| 専門 | いちばんやさしいWordPressの教本: 人気講師が教える本格Webサイトの作り方, 第3版                                         | インプレス         | 1,580 |
| 専門 | エンジニアのための理論でわかるデザイン入門 (Think IT BOOKS)                                                  | インプレス         | 2,000 |
| 専門 | できる100ワザWordPress: 必ず集まるできる実践・サイト運営術                                                    | インプレス         | 1,780 |
| 専門 | 基礎Ruby on Rails: 入門からゆっくりとステップアップ, 改訂3版 (IMPRESS KISO SERIES)                           | インプレス         | 3,400 |
| 専門 | 詳解VMware NSX: ネットワーク仮想化の基礎と応用                                                           | インプレス         | 5,400 |

|    |                                                                                |                |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 専門 | インターネット白書: Internet White Paper: 2018 デジタルエコノミー新時代の幕開け                         | インプレスR&D       | 3,200 |
| 専門 | Apache Webサーバー, 改訂版 (できるPRO)                                                   | インプレスジャパン      | 2,500 |
| 専門 | Excel VBAでIEを思いのままに操作できるプログラミング術                                               | インプレスジャパン      | 2,300 |
| 専門 | jQuery Mobileスマートフォンサイト・デザイン: Webクリエイターが身につけておくべき新・100の法則。                     | インプレスジャパン      | 2,400 |
| 専門 | jQuery Mobileパートフェクトガイド: 基本からデザインカスタマイズ、パフォーマンスアップまで                           | インプレスジャパン      | 3,000 |
| 専門 | jQuery逆引きマニュアル: Webデザインの現場で役立つ基本と実践                                            | インプレスジャパン      | 3,000 |
| 専門 | PerlフレームワークCatalyst完全入門: MVC開発の流儀を体得!                                          | インプレスジャパン      | 4,200 |
| 専門 | Ruby on Rails環境構築ガイド: ソース管理から公開までを徹底解説                                         | インプレスジャパン      | 2,800 |
| 専門 | いちばんやさしい新しいSEOの教科書: 人気講師が教える検索に強いサイトの作り方                                       | インプレスジャパン      | 1,580 |
| 専門 | イラストでよくわかるPHP: はじめてのWebプログラミング入門                                               | インプレスジャパン      | 1,800 |
| 専門 | きほんからわかるjQuery Mobileコーディング: かんたん7ステップ                                         | インプレスジャパン      | 3,000 |
| 専門 | スッキリわかるサードプレット&JSP入門                                                           | インプレスジャパン      | 2,800 |
| 専門 | はじめてのForce.com: セールスフォース構築入門                                                   | インプレスジャパン      | 3,000 |
| 専門 | プロ・プログラの必ず結果が出るアクセスアップテクニック100: ファンにも検索エンジンにも好かれるブログ運営の極意                      | インプレスジャパン      | 1,800 |
| 専門 | 開発者のためのChromeガイドブック (Google Expert Series)                                     | インプレスジャパン      | 3,200 |
| 専門 | 基礎JSP & サードプレット: 入門から実践へステップアップ (IMPRESS KISO SERIES)                          | インプレスジャパン      | 2,800 |
| 専門 | 基礎PHP: 入門から実践へステップアップ, 改訂3版 (IMPRESS KISO SERIES)                              | インプレスジャパン      | 3,200 |
| 専門 | 個性派jQueryで魅せるWordPressデザインアレンジBook                                             | インプレスジャパン      | 2,500 |
| 専門 | 次世代Webサイト構築ワークフロー: The Next Generation Website Workflow                        | インプレスジャパン      | 2,400 |
| 専門 | 実践Ruby on Rails 4: 現場のプロから学ぶ本格Webプログラミング                                       | インプレスジャパン      | 3,500 |
| 専門 | 実例200に学ぶスマートフォンサイトデザインのアイデア帳                                                   | インプレスジャパン      | 2,200 |
| 専門 | 無料ではじめるWindows Azure × WordPress超入門: クラウド上にWebサイトを構築しよう!                       | インプレスジャパン      | 1,800 |
| 専門 | Webアプリケーション構築, 改訂版 (SCC Books B-399 Java/バイブルシリーズ)                             | エスシーシー         | 2,800 |
| 専門 | 実習で身につく新しいWebデザインの教科書: 基礎から学べるHTML & CSSデザイン (SCC Books B-408)                 | エスシーシー         | 1,900 |
| 専門 | 10日でSEO & アクセスアップJimdoデザインブック: 最新UI & 新テンプレートに対応!                              | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | 10日で作るカッコいいホームページJimdoデザインブック: 新管理メニュー & 最新UIに対応!、改訂新版                         | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | ActionScript 3.0基本が身につくケーススタディ                                                 | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | jQueryデザインブック: 仕事で絶対に使うプロのテクニック                                                | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | jQueryプラグイン徹底活用: プロのデザインアイデアとテクニック                                             | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | Webサイト、これからどうなるの?: キーワードから探るWeb制作の未来像                                          | エムティエヌコーポレーション | 2,000 |
| 専門 | Webディレクションの新標準ルール: 現場の効率をアップする最新ワークフローとマネジメント                                  | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | Webディレクションの新標準ルール: システム開発編 ノンエンジニアでも失敗しないワークフローと開発プロセス                         | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | Webデザイン、これからどうなるの?: キーワードから探るデザイン動向の現在と未来 (Key Trends & Opinions)              | エムティエヌコーポレーション | 2,000 |
| 専門 | Webデザインの見本帳: 実例で学ぶ最新のスタイルとセオリー                                                 | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | Webデザインの新しい教科書: 基礎から覚える、深く理解できる。、改訂新版                                          | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | Webデザイン基礎トレーニング: 現場で使うテクニックをひとつずつ、しっかり。                                        | エムティエヌコーポレーション | 2,300 |
| 専門 | Webデザイン必携。: プロにまなぶ現場の制作ルール84                                                   | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | Web担当者のためのセキュリティの教科書                                                           | エムティエヌコーポレーション | 2,000 |
| 専門 | WordPress 3.x現場のワークフローで覚えるビジネスサイト制作                                            | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | WordPressデザイン: 見た目と効果を向上させるプロのテクニック (仕事のネタ帳)                                   | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | WordPressユーザーのためのPHP入門: はじめから、ていねいに。、第2版                                       | エムティエヌコーポレーション | 2,400 |
| 専門 | WordPress高速化 & スマート運用必携ガイド: サイトの動作速度はもっと速くなる。                                  | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | ウェブデザイン & 配色の見本帳                                                               | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | ウェブデザインのつくり方、インターフェイスデザインの考え方。: 新しいウェブデザインの技法大全!                               | エムティエヌコーポレーション | 2,300 |
| 専門 | ウェブデザインを仕事にする。: プロの考え方、ワークフロー、つくる楽しさ                                           | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | ウェブレイアウトの教科書: PC・スマートフォン・タブレット時代の標準デザイン                                        | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | これからのWebサイト設計の新しい教科書: CSSフレームワークでつくるマルチデバイス対応サイトの考え方と実装                        | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | サイトのタイプ別につくるWebデザインテクニックブック: 仕事ですぐに役立つプロのアイデア                                  | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | すべての人に知っておいてほしいjQuery & jQuery Mobileの基本原則: UIデザインをもっとクリエイティブに表現したいすべてのデザイナーへ。 | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | すべての人を知っておいてほしいWEBデザインの基本原則                                                    | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | すべての人を知っておいてほしいスタイルシートデザインの基本原則                                                | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | すべての人を知っておいてほしいスマートフォンサイトデザインの基本原則: Web制作に携わる人が、いま、一番知っておきたいこと。                | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | スマートフォンサイトデザインブック: 仕事で絶対に使うプロのテクニック                                            | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | スマートフォンサイト制作の教科書: iPhone & Android                                             | エムティエヌコーポレーション | 2,400 |
| 専門 | だから、そのデザインはダメなんだ。: WebサイトのUI設計・情報デザイン 良い・悪いが比べてわかる                             | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | プロが教えるレスポンシブWebデザイン現場のメソッド: レイアウト・UIのマルチデバイス対応手法                               | エムティエヌコーポレーション | 2,300 |
| 専門 | プロが選ぶWORDPRESS優良プラグイン事典                                                        | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | プロとして恥ずかしくない新WEBデザインの大原則                                                       | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | プロならば知っておくべきWebコーディング & デザインの定石100: Webの現場を強化する技術100。                          | エムティエヌコーポレーション | 2,300 |

|    |                                                                                          |                |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------|
| 専門 | レイアウトで選べるWebデザイン・テンプレート集: HTML & CSSが書けなくてもホームページができる                                    | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | レスポンシブ・ウェブデザイン標準ガイド: あらゆるデバイスに対応するウェブデザインの手法                                             | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | レスポンシブWebデザインテクニックブック: プロが教えるマルチデバイス対応の手法                                                | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | 現場でかならず使われているQueryデザインのメソッド                                                              | エムティエヌコーポレーション | 2,600 |
| 専門 | 現場でかならず使われているWordPressデザインのメソッド, アップデート版                                                 | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | 現場で役立つjQueryデザインパーツライブラリ                                                                 | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | 現場のプロが教えるSEOの最新常識 (知らないと困るWebの新ルール ISSUE01)                                              | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | 現場のプロが教えるWebディレクションの最新常識 (知らないと困るWebデザインの新ルール 2)                                         | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | 現場のプロが教えるWebデザイン & レイアウトの最新常識 (知らないと困るWebデザインの新ルール 3)                                    | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | 現場のプロが教えるWEBデザイン新・スタンダードテクニック37                                                          | エムティエヌコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | 現場のプロが教えるWeb制作の最新常識, アップデート版 (知らないと困るWebの新ルール ISSUE02)                                   | エムティエヌコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | 現場のワークフローで覚えるWebサイト制作教室                                                                  | エムティエヌコーポレーション | 2,500 |
| 専門 | RailsによるアジャイルWebアプリケーション開発, 第4版                                                          | オーム社           | 3,200 |
| 専門 | Webインターフェイスで学ぶインタラクションと情報のデザイン                                                           | オーム社           | 2,500 |
| 専門 | ネットワークセキュリティ (IT Text)                                                                   | オーム社           | 2,800 |
| 専門 | 応用Web技術, 改訂2版 (IT Text)                                                                  | オーム社           | 2,500 |
| 専門 | 基礎Web技術, 改訂2版 (IT Text)                                                                  | オーム社           | 2,500 |
| 専門 | Amazon Web Servicesプログラミング: APIの基礎からElastic Beanstalkの利用まで                               | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | AngularJSアプリケーション開発ガイド                                                                   | オライリー・ジャパン     | 2,400 |
| 専門 | Backbone.jsアプリケーション開発ガイド                                                                 | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | Firefox Hacks Rebooted: Mozillaテクノロジ徹底活用テクニック                                            | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | Go言語によるWebアプリケーション開発                                                                     | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | Head First PHP & MySQL: 頭とからだで覚えるWebアプリケーション開発の基本                                        | オライリー・ジャパン     | 4,200 |
| 専門 | Head First Rails: 頭とからだで覚えるRailsの基本                                                      | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | Infrastructure as Code: クラウドにおけるサーバ管理の原則とプラクティス                                          | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | JavaによるRESTfulシステム構築                                                                     | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | jQuery Mobile                                                                            | オライリー・ジャパン     | 1,900 |
| 専門 | jQueryクックブック                                                                             | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | Nodeクックブック                                                                               | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | OpenStack Swift: Swiftオブジェクトストレージの管理と開発                                                  | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | Reactビギナーズガイド: コンポーネントベースのフロントエンド開発入門                                                    | オライリー・ジャパン     | 2,500 |
| 専門 | Seleniumデザインパターン & ベストプラクティス                                                             | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | Web API: The Good Parts                                                                  | オライリー・ジャパン     | 2,200 |
| 専門 | WordPressによるWebアプリケーション開発                                                                | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | ウェブオペレーション: サイト運用管理の実践テクニック (THEORY/IN/PRACTICE)                                         | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | サーバーレスシングルページアプリケーション: S3, AWS Lambda, API Gateway, DynamoDB, Cognitoで構築するスケーラブルなWebサービス | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | シングルページWebアプリケーション: Node.js, MongoDBを活用したJavaScript SPA                                  | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | セマンティックWebプログラミング                                                                        | オライリー・ジャパン     | 3,200 |
| 専門 | ハイパフォーマンスWebサイト: 続 ウェブ高速化のベストプラクティス                                                      | オライリー・ジャパン     | 2,800 |
| 専門 | ハイパフォーマンスブラウザネットワークング: ネットワークアプリケーションのためのパフォーマンス最適化                                      | オライリー・ジャパン     | 4,000 |
| 専門 | パフォーマンス向上のためのデザイン設計                                                                      | オライリー・ジャパン     | 2,400 |
| 専門 | プログラミングGoogle App Engine                                                                 | オライリー・ジャパン     | 3,400 |
| 専門 | プログラミングPHP, 第3版                                                                          | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | プログラミングWindows Azure                                                                     | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | マスタリングNginx                                                                              | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | モダンWeb: 新しいWebプラットフォームの基盤技術                                                              | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | 実践Apium                                                                                  | オライリー・ジャパン     | 2,400 |
| 専門 | 実践Selenium WebDriver                                                                     | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | 初めてのPHP                                                                                  | オライリー・ジャパン     | 3,000 |
| 専門 | 初めてのPHP、MySQL、JavaScript & CSS                                                           | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | 初めての自動テスト: Webシステムのための自動テスト基礎                                                            | オライリー・ジャパン     | 2,800 |
| 専門 | 詳解ActionScript 3.0アニメーション: 衝突判定・AI・3DからビクセルシェーダまでFlash上級テクニック                            | オライリー・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | 詳解Tomcat                                                                                 | オライリー・ジャパン     | 4,600 |
| 専門 | 詳解WordPress                                                                              | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | 情報アーキテクチャ: 見つけやすく理解しやすい情報設計, 第4版                                                         | オライリー・ジャパン     | 3,600 |
| 専門 | 大規模Webアプリケーション開発入門: 変化に強いWeb開発を実現する10の原則                                                 | オライリー・ジャパン     | 2,800 |
| 専門 | 入門React: コンポーネントベースのWebフロントエンド開発                                                         | オライリー・ジャパン     | 2,600 |
| 専門 | Bootstrap4ファーストガイド: CSS設計の手間を大幅に削減!                                                      | カットシステム        | 3,200 |
| 専門 | iPhone & WordPressで作るホームページ: PC不要!!                                                      | カットシステム        | 1,800 |

|    |                                                                                                      |               |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | JQuery Mobileでかんたんスマートフォン向けWebサイト制作                                                                  | カットシステム       | 2,000 |
| 専門 | OneDrive API活用術: Javaでクラウドアプリを開発する!                                                                  | カットシステム       | 4,800 |
| 専門 | p5.jsプログラミングガイド                                                                                      | カットシステム       | 3,800 |
| 専門 | Sassファーストガイド: CSSをワンランク上の記法で作成!                                                                      | カットシステム       | 2,600 |
| 専門 | Twitter APIリファレンスガイドブック: Twitterアプリを開発する                                                             | カットシステム       | 3,000 |
| 専門 | Wixでホームページ制作: 初心者でも今すぐ使える! 改訂                                                                        | カットシステム       | 2,400 |
| 専門 | Wixで作るホームページはじめての一步                                                                                  | カットシステム       | 2,000 |
| 専門 | WSGIウェブプログラミング                                                                                       | カットシステム       | 2,800 |
| 専門 | セマンティック・ウェブ入門                                                                                        | カットシステム       | 3,000 |
| 専門 | はてなブログカスタマイズガイド: HTML&CSSで「はてなブログ」を次のステップへ!                                                          | カットシステム       | 2,600 |
| 専門 | メディアクエリで実現するレスポンシブWebデザイン                                                                            | カットシステム       | 2,400 |
| 専門 | 実践Google Drive API                                                                                   | カットシステム       | 4,000 |
| 専門 | WordPressプラグイン100選                                                                                   | ギャップ・ジャパン     | 3,800 |
| 専門 | シニアが使いやすいウェブサイトの基本ルール                                                                                | グラフィック社       | 2,500 |
| 専門 | Webサービス入門: HTML/CSS/PHP/MySQLによるWebショップ開設                                                            | コロナ社          | 3,000 |
| 専門 | Webプログラミング: 基礎からのステップアップ                                                                             | コロナ社          | 2,000 |
| 専門 | Webページ作成入門: HTML/CSS/JavaScriptの基礎                                                                   | コロナ社          | 2,000 |
| 専門 | インターネット: Internet (コンピュータサイエンス教科書シリーズ 10)                                                            | コロナ社          | 3,000 |
| 専門 | クラウドコンピューティングのためのOSとネットワークの基礎                                                                        | コロナ社          | 2,500 |
| 専門 | セマンティックWebとリンクトデータ: The Semantic Web and Linked Data                                                 | コロナ社          | 3,000 |
| 専門 | 例題で学ぶJavaアプレット入門                                                                                     | コロナ社          | 2,200 |
| 専門 | 例題で学ぶWebデザイン入門                                                                                       | コロナ社          | 2,400 |
| 専門 | Google Chrome HACK                                                                                   | シーアンドアール研究所   | 2,100 |
| 専門 | gulpではじめるWeb制作ワークフロー入門: Webデザイナーの仕事を楽にする!                                                            | シーアンドアール研究所   | 3,420 |
| 専門 | IaaSで始めるクラウドコンピューティング入門                                                                              | シーアンドアール研究所   | 3,600 |
| 専門 | JQuery+jQuery UI+jQuery Mobile逆引きハンドブック                                                              | シーアンドアール研究所   | 4,300 |
| 専門 | JQueryプラグイン逆引きハンドブック                                                                                 | シーアンドアール研究所   | 3,000 |
| 専門 | LINEアニメーションスタンプを作って売る本                                                                               | シーアンドアール研究所   | 1,720 |
| 専門 | OpenStack徹底活用テクニックガイド                                                                                | シーアンドアール研究所   | 3,680 |
| 専門 | PHP逆引きハンドブック                                                                                         | シーアンドアール研究所   | 3,200 |
| 専門 | Twitterボットプログラミングテクニック                                                                               | シーアンドアール研究所   | 2,000 |
| 専門 | Webエンジニアの教科書                                                                                         | シーアンドアール研究所   | 2,000 |
| 専門 | ネットワークをめぐるアキレスの冒険: インターネットの動作原理とセキュリティの基礎知識                                                          | シーアンドアール研究所   | 2,130 |
| 専門 | わかばちゃんと学ぶWebサイト制作の基本: 企画・制作・運用のキホンがわかる                                                               | シーアンドアール研究所   | 2,200 |
| 専門 | 基礎から学ぶfacebookアプリ開発: facebook上で動くアプリ開発の手引き書                                                          | シーアンドアール研究所   | 3,500 |
| 専門 | 基礎から学ぶVue.js                                                                                         | シーアンドアール研究所   | 3,420 |
| 専門 | Angular Webアプリ開発スタートブック                                                                              | ソーテック社        | 2,750 |
| 専門 | FuelPHP入門. 改訂                                                                                        | ソーテック社        | 2,780 |
| 専門 | SEO対策: 検索上位サイトの法則52                                                                                  | ソーテック社        | 1,580 |
| 専門 | WordPress Perfect GuideBook                                                                          | ソーテック社        | 1,680 |
| 専門 | YouTube成功の実践法則53: 稼げる「動画作成テクニック」と「実践ノウハウ」                                                            | ソーテック社        | 1,580 |
| 専門 | レスポンシブWebデザイン: HTML5+CSS3でつくる!                                                                       | ソーテック社        | 2,580 |
| 専門 | 実践マスターPHP+MySQL: データベースの基本からWebアプリの制作まで                                                              | ソーテック社        | 2,500 |
| 専門 | 詳細!PHP7+MySQL入門ノート                                                                                   | ソーテック社        | 2,980 |
| 専門 | 世界一やさしいブログの教科書1年生: 再入門にも最適!                                                                          | ソーテック社        | 1,580 |
| 専門 | 無料でではじめる本格サイトJimdoウェブデザイン                                                                            | ソーテック社        | 2,180 |
| 専門 | 3日でマスターPHP                                                                                           | ソシム           | 1,880 |
| 専門 | jQueryレッスンブック: ステップバイステップ形式でマスターできる                                                                  | ソシム           | 2,480 |
| 専門 | PHPによるWordPressカスタマイズブック                                                                             | ソシム           | 2,800 |
| 専門 | PHPレッスンブック: ステップバイステップ形式でマスターできる                                                                     | ソシム           | 2,400 |
| 専門 | いまだきのJSプログラマーのためのNode.jsとReactアプリケーション開発テクニック: Electron, React Native, Flux, Expressと組み合わせて簡単にアプリ作成! | ソシム           | 3,400 |
| 専門 | ネットワーク仮想化とSDN/OpenFlowのしくみ: 図で考えるから見えてくる。                                                            | ソシム           | 2,000 |
| 専門 | はじめてのEdge Animate: コードが苦手な人にも朗報!タイムラインでアニメーションを作れる!                                                  | ソシム           | 2,400 |
| 専門 | マルチデバイス時代のWebデザインガイドブック                                                                              | ソシム           | 2,400 |
| 専門 | レスポンシブWebデザイン: 制作の実践的ワークフローとテクニック                                                                    | ソシム           | 2,800 |
| 専門 | 最初に「読む」PHP                                                                                           | ソシム           | 2,400 |
| 専門 | 新人デザイナーのためのWebデザインを基礎から学べる本                                                                          | ソシム           | 2,000 |
| 専門 | C#ではじめるSilverlight実践プログラミング: 基本概念の理解から応用プログラムへの適用まで                                                  | ソフトバンククリエイティブ | 3,000 |
| 専門 | Eclipseで学ぶはじめてのサプレット&JSP                                                                             | ソフトバンククリエイティブ | 2,857 |

|    |                                                                                             |                 |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------|
| 専門 | HerokuではじめるRailsプログラミング入門                                                                   | ソフトバンククリエイティブ   | 3,200 |
| 専門 | PHPによるWebアプリケーションスーパーサンプル: 活用編, 第3版                                                         | ソフトバンククリエイティブ   | 3,200 |
| 専門 | PHPハンドブック (Handbook Series)                                                                 | ソフトバンククリエイティブ   | 2,300 |
| 専門 | Rails 3レシブブック190の技                                                                          | ソフトバンククリエイティブ   | 2,980 |
| 専門 | StrutsによるWebアプリケーションスーパーサンプル, 第3版                                                           | ソフトバンククリエイティブ   | 3,200 |
| 専門 | スマートフォンサイトコーディング&デザイン: SmartPhone Site Cording & Design                                     | ソフトバンククリエイティブ   | 2,480 |
| 専門 | フロントエンドエンジニアの教科書: HTML・CSS・JavaScript+α 次世代コーダーのための仕事術                                      | ソフトバンククリエイティブ   | 2,600 |
| 専門 | やさしいWebアプリプログラミング                                                                           | ソフトバンククリエイティブ   | 2,600 |
| 専門 | レスポンシブWebデザイン「超」実践デザイン集中講義: 使える技術がしかり身につく                                                   | ソフトバンククリエイティブ   | 2,200 |
| 専門 | 基礎からのASP.NET, 改訂版 (プログラマの種シリーズ-SE必修!-)                                                      | ソフトバンククリエイティブ   | 3,200 |
| 専門 | 基礎からのPHP (BASIC LESSON For Web Engineers)                                                   | ソフトバンククリエイティブ   | 2,800 |
| 専門 | 自分で作れる!おしゃれなWebサイト: WordPressで初めてでも簡単にできる                                                   | ソフトバンククリエイティブ   | 2,200 |
| 専門 | ハッカーの学校                                                                                     | データハウス          | 3,500 |
| 専門 | インターネット数理科学: 数学から生まれるイノベーション                                                                | ナノオトニクス・エナジー出版局 | 3,500 |
| 専門 | WordPressではじめるかわいいうェブサイト: 欲しかったサイトが簡単にできる!                                                  | ビー・エヌ・エヌ新社      | 2,300 |
| 専門 | いちばんやさしいDreamweaver: 作りながら覚える、ウェブサイト制作の基本                                                   | ビー・エヌ・エヌ新社      | 2,600 |
| 専門 | デザインング・タンブラー: Designing Tumblr                                                              | ビー・エヌ・エヌ新社      | 1,600 |
| 専門 | 超明快Webユーザビリティ: ユーザーに「考えさせない」デザインの法則                                                         | ビー・エヌ・エヌ新社      | 2,400 |
| 専門 | ActionScript 3.0イメージエフェクト: スクリプトで作る画像効果                                                     | ボーンデジタル         | 7,000 |
| 専門 | IA/UXブラクティス: モバイル情報アーキテクチャとUXデザイン                                                           | ボーンデジタル         | 2,500 |
| 専門 | コーディングWebアクセシビリティ: WAI-ARIAで実現するマルチデバイス環境のWebアプリケーション                                       | ボーンデジタル         | 2,300 |
| 専門 | デザインングWebアクセシビリティ: アクセシブルな設計やコンテンツ制作のアプローチ                                                  | ボーンデジタル         | 3,000 |
| 専門 | 実践!コンテンツファーストのWebサイト運用: a-blog cmsではじめるCMSプロトタイピング                                          | ボーンデジタル         | 2,500 |
| 専門 | Dreamweaver CS6マスターブック: for Windows & Mac                                                   | マイナビ            | 2,480 |
| 専門 | Googleクラウドスクリーピング: Google Apps ScriptによるGoogle!パワーアップ活用ガイド                                  | マイナビ            | 2,300 |
| 専門 | Web制作・運用現場のための「課題解決」の教科書: 円滑に制作・運用し、成果を出していくための現場の「見える化」、「改善」、「チーム運営」、「ルール作成」テクニック!         | マイナビ            | 2,380 |
| 専門 | WordPressで作る魅せるWebサイトのデザインコレクション: 使いやすいWordPressのテーマを本書オリジナルで用意しました                         | マイナビ            | 2,400 |
| 専門 | WordPressをちゃんと使うための教科書                                                                      | マイナビ            | 2,800 |
| 専門 | クリエイターの卵のためのWebデザイン集中講座                                                                     | マイナビ            | 2,580 |
| 専門 | これからの「標準」を学ぶマルチデバイス対応サイト構築 (Web Designing BOOKS)                                            | マイナビ            | 2,980 |
| 専門 | ちゃんと使える力を身につけるWebとプログラミングのきほんのきほん                                                           | マイナビ            | 2,480 |
| 専門 | ビジネスサイト制作で学ぶWordPress!テーマカスタマイズ!徹底攻略: プロが教えるWordPressステップアップ・テクニック                          | マイナビ            | 2,880 |
| 専門 | 現場で適用する力を身につけるNode.jsの教科書                                                                   | マイナビ            | 3,180 |
| 専門 | 超実践的Webディレクターの教科書: 第一線のプロがホンネで教える                                                           | マイナビ            | 2,280 |
| 専門 | Amazon Web Servicesを使ったサーバーレスアプリケーション開発ガイド: サーバーレスアプリケーション開発の詳細がわかる!                        | マイナビ出版          | 3,000 |
| 専門 | PHP7+MariaDB/MySQLマスターブック: 環境構築から実践的なシステム作成まで完全習得!                                          | マイナビ出版          | 2,840 |
| 専門 | React開発現場の教科書: Atomic DesignによるモダンUIコンポーネント開発                                               | マイナビ出版          | 3,490 |
| 専門 | Webデザインとコーディングのきほんのきほん                                                                      | マイナビ出版          | 2,680 |
| 専門 | Wixで無料&簡単に作る集客できるデザインホームページ                                                                 | マイナビ出版          | 2,290 |
| 専門 | これ1冊でゼロから学べるWebプログラミング超入門: HTML/CSS/JavaScript/PHPをまるごとマスター                                 | マイナビ出版          | 2,680 |
| 専門 | ドリル式やさしくはじめるWebデザインの学校: 講義+BINDを使ったチュートリアルによる短期マスターコース                                      | マイナビ出版          | 2,280 |
| 専門 | ノンデザイナーでもわかるUX+理論で作るWebデザイン: 基礎から考え方、実践まで                                                   | マイナビ出版          | 2,490 |
| 専門 | はじめての一步!サクサクわかるWordPress: 4.x対応                                                             | マイナビ出版          | 1,680 |
| 専門 | フロントエンドエンジニアのための現在とこれからの必須知識: 変化の激しい技術情報に埋もれないために。                                          | マイナビ出版          | 2,580 |
| 専門 | フロントエンド専門制作会社で使える速く正確なWeb制作のための実践的メソッド: ワークフロー構築、コーディング規約、制作 & デリクションTopなど、高品質な制作を支える現場の仕事術 | マイナビ出版          | 2,450 |
| 専門 | よくわかるPHPの教科書: PHP7対応版                                                                       | マイナビ出版          | 2,480 |
| 専門 | 効果的な導入・運用のためのAmazon Web Services活用入門                                                        | マイナビ出版          | 2,990 |
| 専門 | BINDの教科書: Web制作のあらゆる「やりたい!」を実現する。新版                                                         | メディアライフ・パブリッシング | 2,400 |
| 専門 | BACKBONE.JSガイドブック                                                                           | ラトルズ            | 2,380 |
| 専門 | Googleプログラミング入門: 覚えておきたいGoogle AJAX APIの基礎知識                                                | ラトルズ            | 2,600 |
| 専門 | はじめてのフレームワークとしてのFuelPHP, 改訂版                                                                | ラトルズ            | 3,480 |
| 専門 | はじめて作る人のためのiPhoneウェブ・アプリケーションfor Windows                                                    | ラトルズ            | 2,180 |
| 専門 | 新人プログラマのためのjQuery Webアプリケーション開発講座                                                           | ラトルズ            | 2,800 |
| 専門 | Kotlin Webアプリケーション: 新しいサーバサイドプログラミング                                                        | リックテレコム         | 3,000 |
| 専門 | WebRTCブラウザベースのP2P技術                                                                         | リックテレコム         | 3,400 |
| 専門 | Windows Azureテクニカルハンドブック                                                                    | リックテレコム         | 3,400 |
| 専門 | いきなりはじめるPHP: ワクワクドキの入門教室                                                                    | リックテレコム         | 1,800 |
| 専門 | クラウド活用エンジニア入門: AWSで実践演習                                                                     | リックテレコム         | 2,500 |
| 専門 | スマートにプログラミングfacebookアプリ開発                                                                   | リックテレコム         | 2,600 |



|    |                                                                                            |              |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------|
| 専門 | ネットワーク仮想化: 基礎からすっきりわかる入門書                                                                  | リックテレコム      | 2,500 |
| 専門 | ActionScript Beautifl Code: Beautifl:Flash Gallery of wonderfl                             | ワークスコーポレーション | 3,200 |
| 専門 | IAシンキング: Web制作者・担当者のためのIA思考術                                                               | ワークスコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | ipmobile!によるモバイルサイト構築: Ruby on Rails 3で作る                                                  | ワークスコーポレーション | 2,200 |
| 専門 | Twitter APIプログラミング                                                                         | ワークスコーポレーション | 2,600 |
| 専門 | Webデレクション: (社)全日本能率連盟登録資格Web検定公式テキスト, 第2版 (ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 3)                          | ワークスコーポレーション | 3,100 |
| 専門 | Webデザイン: (社)全日本能率連盟登録資格Web検定公式テキスト, 第2版 (ウェブの仕事力が上がる標準ガイドブック 2)                            | ワークスコーポレーション | 3,400 |
| 専門 | Webデザイン受発注のセオリー: デザインコントロールが身につく本                                                          | ワークスコーポレーション | 2,800 |
| 専門 | ウェブ配色決めるチカラ: 問題を解決する色彩とコミュニケーション                                                           | ワークスコーポレーション | 2,300 |
| 専門 | ケータイサイト解体新書: デザインパターンから理解する実装テクニック                                                         | ワークスコーポレーション | 2,600 |
| 専門 | 失敗しないWeb制作: プロジェクト監理のタマエと実践                                                                | ワークスコーポレーション | 2,600 |
| 専門 | 僕たちのインターネット史: Our History of Internet                                                      | 亜紀書房         | 1,600 |
| 専門 | スパム: インターネットのダークサイド                                                                        | 河出書房新社       | 2,400 |
| 専門 | 3ステップでしっかり学ぶPHP入門: 基本文法からデータベースまで                                                          | 技術評論社        | 2,460 |
| 専門 | Amazon Web Services実践入門 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                            | 技術評論社        | 2,580 |
| 専門 | Amazon Web Services負荷試験入門: クラウドの性能の引き出し方がわかる (Software Design plusシリーズ)                    | 技術評論社        | 3,800 |
| 専門 | AngularJSアプリケーションプログラミング: AngularJS Application Programming                                | 技術評論社        | 3,700 |
| 専門 | Angularアプリケーションプログラミング: 開発の勘所と手順をしっかりとマスター                                                 | 技術評論社        | 3,700 |
| 専門 | AWSエキスパート養成読本: Amazon Web Servicesに最適化されたアーキテクチャを手に入れる (Software Design plusシリーズ ガッツリ最新技術) | 技術評論社        | 1,980 |
| 専門 | BIND FOR WEBSITE 3ではじめるホームページ公式完全ガイド: デザインされたウェブ作りのための基礎・応用・ヒントを満載!                        | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | CakePHP2実践入門 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                       | 技術評論社        | 2,880 |
| 専門 | CODA入門: エレガントなWeb開発・美しいコード                                                                 | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | Electronではじめるアプリ開発: JavaScript/HTML/CSSでデスクトップアプリを作ろう                                      | 技術評論社        | 2,680 |
| 専門 | FortiGate完全攻略: セキュリティアプライアンスNo.1                                                           | 技術評論社        | 2,800 |
| 専門 | Google App Engine実践リファレンス                                                                  | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | IBM Bluemixクラウド開発入門: Webから拡張知能Watsonまで実践解説 (Software Design plusシリーズ)                      | 技術評論社        | 2,800 |
| 専門 | jQuery Mobileポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                 | 技術評論社        | 2,580 |
| 専門 | jQueryポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                        | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | jQuery仕事の現場でサッと使える! デザイン教科書: プロに必要な実践知識がここにあり! (Webデザイナー養成講座 jQuery)                       | 技術評論社        | 2,780 |
| 専門 | jQuery本格入門: JavaScript開発・デザイン効率化の基礎からAjax・jQueryまで, 改訂新版                                   | 技術評論社        | 3,300 |
| 専門 | Laravelエキスパート養成読本: モダンな開発を実現するPHPフレームワーク! (Software Design plusシリーズ ガッツリ最新技術)              | 技術評論社        | 1,980 |
| 専門 | Mackerelサーバ監視(実践)入門: SaaSで実現する統合インフラ管理                                                     | 技術評論社        | 2,900 |
| 専門 | Nginxポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                         | 技術評論社        | 2,780 |
| 専門 | nginx実践入門 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                                          | 技術評論社        | 2,770 |
| 専門 | Palo Alto Networks構築実践ガイド: 次世代ファイアウォールの機能を徹底活用                                             | 技術評論社        | 4,800 |
| 専門 | Perl徹底攻略: 再入門   高速Web開発   イベント駆動   大規模システム   ログ活用   パフォーマンス改善 (WEB+DB PRESS plusシリーズ)      | 技術評論社        | 2,180 |
| 専門 | PHP x 携帯サイト実践プログラミング                                                                       | 技術評論社        | 3,200 |
| 専門 | PHPエンジニア養成読本: 現場で役立つマイミドキ開発/ノウハウ満載! (Software Design plusシリーズ ガッツリ最新技術)                    | 技術評論社        | 1,980 |
| 専門 | PHPはどのように動くのか: PHPコアから読み解く仕組みと定石                                                           | 技術評論社        | 2,280 |
| 専門 | PHPポケットリファレンス, 改訂第3版 (Pocket Reference)                                                    | 技術評論社        | 2,580 |
| 専門 | PHPライブラリ&サンプル実装活用厳選100: Webサービス編/UI編/ユーティリティ編/通信編/フレームワーク編 (Software Design plusシリーズ)      | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | Ruby on Rails 5アプリケーションプログラミング: Ruby on Rails 5 Application Programming                    | 技術評論社        | 3,600 |
| 専門 | Selenium実践入門: 自動化による継続的なブラウザテスト (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                    | 技術評論社        | 3,300 |
| 専門 | Slack入門: ChatOpsによるチーム開発の効率化                                                               | 技術評論社        | 1,980 |
| 専門 | WebSphere Application Server構築・運用バイブル: WAS9.0/8.5/Liberty対応, 改訂新版                          | 技術評論社        | 4,800 |
| 専門 | Webアプリエンジニア養成読本: しくみ、開発、環境構築・運用…全体像を最新知識で最新から! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)    | 技術評論社        | 1,880 |
| 専門 | Webサービスのつくり方: 「新しい」を生み出すための33のエッセイ (Software Design plusシリーズ)                              | 技術評論社        | 2,180 |
| 専門 | Webサイト制作者のためのPHP入門講座                                                                       | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | WebデザイナーのためのjQuery入門: 魅力的なユーザーインターフェースを手軽に作る, 改訂版                                          | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | Webデザイン標準テキスト: 変化に流されない制作コンセプトと基本スタイル (Books for Web Creative)                             | 技術評論社        | 2,380 |
| 専門 | Webフロントエンドハイパフォーマンスチューニング: Webサイト・アプリケーションを徹底的に高速化                                         | 技術評論社        | 2,680 |
| 専門 | Webを支える技術: HTTP、URI、HTML、そしてREST (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                   | 技術評論社        | 2,570 |
| 専門 | Web開発の基礎徹底攻略: Web技術まるごと整理   コーディング   設計   データベース&SQL   インフラ (WEB+DB PRESS plusシリーズ)        | 技術評論社        | 1,880 |
| 専門 | Web開発者のための大規模サーバースtructure入門: データ構造、メモリ、OS、DB、サーバ/インフラ (WEB+DB PRESS plusシリーズ)             | 技術評論社        | 2,580 |
| 専門 | Web技術の重要用語解説: 図解満載                                                                         | 技術評論社        | 1,680 |
| 専門 | ウェブデザインコードネットワークカタログ: 現場で求められるデザインティスト別に200を超える優れたウェブサイトを収録                                | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | ウェブ配色コーディネートカタログ: 200を超える優れたウェブサイトからアイデアを得て、セオリーを学ぶ                                        | 技術評論社        | 2,480 |
| 専門 | エンジニアのためのWordPress開発入門: アーキテクチャを熟知し、脱・自己流コーディングを実現する (Engineer's Libraryシリーズ)              | 技術評論社        | 2,980 |
| 専門 | かんたんASP.NET (プログラミングの教科書)                                                                  | 技術評論社        | 3,300 |

|    |                                                                                                  |       |       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 専門 | クラウドエンジニア養成読本: クラウドを武器にするための知識&実例満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる)                    | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | クラウド開発徹底攻略: AWS自動化   Docker   Google Cloud Platform   Heroku   BigQuery (WEB+DB PRESS plusシリーズ)  | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | サーバ構築の実際がわかるApache(実践)運用/管理 (Software Design plus)                                               | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | サーバレット&JSPポケットリファレンス (Pocket Reference)                                                          | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | しっかり学ぶはじめてのDreamweaverドリル (デザインドリル)                                                              | 技術評論社 | 2,180 |
| 専門 | スマートフォンサイト制作入門                                                                                   | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | ゼロからできるPHP+MySQL Webシステム構築: 導入効果バツン!!                                                            | 技術評論社 | 2,980 |
| 専門 | ゼロからわかるPHP超入門: Webプログラミングの第一歩, 改訂新版                                                              | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | ゼロからわかるサーバレット&JSP超入門: はじめてのWebアプリ開発 (かんたんIT基礎講座)                                                 | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | ソーシャルアプリプラットフォーム構築技法: SNSからBOTまでITをコアに成長する企業の教科書 (Software Design plusシリーズ)                      | 技術評論社 | 2,800 |
| 専門 | たった1日で基本が身に付く! Ruby on Rails超入門                                                                  | 技術評論社 | 2,060 |
| 専門 | パーフェクトJava EE (PERFECT SERIES 08)                                                                | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | パーフェクトPHP (PERFECT SERIES 03)                                                                    | 技術評論社 | 3,600 |
| 専門 | パーフェクトRuby on Rails (PERFECT SERIES 07)                                                          | 技術評論社 | 2,880 |
| 専門 | はじめてのフロントエンド開発: React、Angular、Vue.js、React Nativeを使って学ぶ                                          | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | プロになるためのPHPプログラミング入門: Web開発の基礎からフレームワーク活用まで                                                      | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | プロになるためのWeb技術入門: なぜ、あなたはWebシステムを開発できないのか                                                         | 技術評論社 | 2,280 |
| 専門 | フロントエンドエンジニア養成読本: HTML、CSS、JavaScriptの基本から現場で役立つ技術まで満載! (Software Design plusシリーズ 10年先も役立つ力をつくる) | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | フロントエンド開発徹底攻略: HTML5/CSS3/JavaScript   UIデザイン   CoffeeScript   Sass (WEB+DB PRESS plus)          | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | マジメだけのおもしろいセキュリティ講義: 事故が起きる理由と現実的な対策を考える (Software Design plusシリーズ)                              | 技術評論社 | 2,600 |
| 専門 | 過負荷に耐えるWebの作り方: 国民的アイドルグループ選抜総選挙の舞台裏 (Software Design plus)                                      | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 基礎からのWebアプリケーション開発入門: Webサーバを作りながら学ぶ (Software Design plusシリーズ)                                  | 技術評論社 | 2,680 |
| 専門 | 基本からしっかり学ぶSymfony2入門: Symfonyをマスターするための最短コース                                                     | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんJimdo: 無料で作るホームページ, 改訂3版 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                              | 技術評論社 | 1,780 |
| 専門 | 今すぐ使えるかんたんぜったいデキます! ホームページ作成超入門: Jimdo公認 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                        | 技術評論社 | 1,580 |
| 専門 | 最速攻略CGI/Perlサンプル大全集                                                                              | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | 趣味や仕事で使える!かんたんホームページのつくり方                                                                        | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | 小さなお店&会社のWordPress超入門: 初めてでも安心!思いどおりのホームページを作ろう!                                                 | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | 小さなお店&会社のホームページJimdo入門                                                                           | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | 新人IT担当者のためのWebサイト構築&運営がわかる本                                                                      | 技術評論社 | 1,780 |
| 専門 | 新人IT担当者のためのクラウド導入&運用がわかる本                                                                        | 技術評論社 | 1,680 |
| 専門 | 新米IT担当者のためのWebサイトしくみ・構築・運営がしっかりわかる本                                                              | 技術評論社 | 1,680 |
| 専門 | 世界一わかりやすいAdobe XD UIデザインとプロトタイプ制作の教科書: CC対応                                                      | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 世界一わかりやすいconcrete5導入とサイト制作の教科書                                                                   | 技術評論社 | 3,280 |
| 専門 | 世界一わかりやすいSEO対策最初に読む本: 内部&外部対策からコンテンツSEOまで!                                                       | 技術評論社 | 1,680 |
| 専門 | 世界一わかりやすいWordPress導入とサイト制作の教科書                                                                   | 技術評論社 | 2,380 |
| 専門 | 成果を出し続けるための王道SEO対策実践講座: 長期に渡り効果を継続する理論と経験に基づいた78の実効テクニック                                         | 技術評論社 | 1,980 |
| 専門 | 即戦力になるためのPHPシステム開発の教科書                                                                           | 技術評論社 | 3,200 |
| 専門 | 速習デザインDreamweaver CS6: レッスン&レットライ形式で基本が身につく (Quick Master of Design)                             | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | 速習デザインWebデザイン基礎: レッスン&レットライ形式で基本が身につく, 改訂3版 (Quick Master of Design)                             | 技術評論社 | 2,480 |
| 専門 | 超速Webページ速度改善ガイド: 使いやすさは「速さ」から始まる (WEB+DB PRESS plusシリーズ)                                         | 技術評論社 | 2,580 |
| 専門 | Webシステムの開発技術と活用方法 (未来へつなぐデジタルシリーズ 19)                                                            | 共立出版  | 2,800 |
| 専門 | Web制作の技術: 企画から実装、運営まで (未来へつなぐデジタルシリーズ 32)                                                        | 共立出版  | 2,600 |
| 専門 | インターネット.7つの疑問: 数理から理解するその仕組み (共立スマートセレクション 26)                                                   | 共立出版  | 1,800 |
| 専門 | インターネット工学 (シリーズ知能機械工学 5)                                                                         | 共立出版  | 2,800 |
| 専門 | クラウド技術とクラウドインフラ: 黎明期から今後の発展へ                                                                     | 共立出版  | 2,300 |
| 専門 | ネットワークセキュリティ: Network Security (未来へつなぐデジタルシリーズ 36)                                               | 共立出版  | 2,800 |
| 専門 | 演習で学ぶWebサイト・Webアプリケーション制作入門: Introduction to Web site and Web application Development            | 共立出版  | 2,400 |
| 専門 | Javaによるインターネットプログラミング, 新訂版                                                                       | 近代科学社 | 2,800 |
| 専門 | Linked Data: Webをグローバルなデータ空間にする仕組み                                                               | 近代科学社 | 3,200 |
| 専門 | NetCommons実践デザインカスタマイズ: 私にもできちゃった! (ネットコモンズ公式マニュアル)                                              | 近代科学社 | 3,400 |
| 専門 | NetCommons事例でわかるサイト構築: 私にもできちゃった! (ネットコモンズ公式マニュアル)                                               | 近代科学社 | 2,800 |
| 専門 | ウェブユニバーサルデザイン: Web Universal Design                                                              | 近代科学社 | 2,700 |
| 専門 | 面白チャレンジインターネットガジェット入門: USB、I2C、UART、XBe…自由自在                                                     | 近代科学社 | 1,800 |
| 専門 | 「.NET開発者」のためのSilverlight入門: XAMLからはじめるアプリケーション開発の基礎 (I/O BOOKS)                                  | 工学社   | 2,300 |
| 専門 | 「ツイッター」「ブログ」「ホームページ」導入と使い方: 市民が情報発信するコミュニケーションツール! (I/O BOOKS)                                   | 工学社   | 1,900 |
| 専門 | 1人でつくる「Ruby on Rails」アプリケーション: Webアプリケーションの開発から公開まで! (I/O BOOKS)                                 | 工学社   | 1,900 |
| 専門 | 256将軍と学ぶWebサーバ: 「仕組み」と「構築法」のイロハがわかる! (I/O BOOKS)                                                 | 工学社   | 1,900 |
| 専門 | ActionScript3教科書: Flashを使いこなすためのオブジェクト指向言語 (I/O BOOKS)                                           | 工学社   | 2,500 |

|    |                                                                             |        |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------|--------|-------|
| 専門 | Adobe XD Webプロトタイプツール: Webデザインに動的要素をプログラミングなしで盛り込む! (I/O BOOKS)             | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | Amazon Web ServicesではじめるWebサーバ:「アマゾン」の「クラウド」でWebサーバ構築! (I/O BOOKS)          | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | BlueGriffonによるホームページ作成:「HTML5」に対応した無料のホームページ作成ソフト (I/O BOOKS)               | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | DreamweaverではじめるWebサイト構築:「HTML」「CSS」を効率良くコーディング (I/O BOOKS)                 | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | Flex4プログラミングガイド: Webアプリ開発のための「ツール」&「開発フレームワーク」 (I/O BOOKS)                  | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | IFTTTレシピブック: if then (I/O BOOKS)                                            | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | mixiで学ぶOpenSocialアプリケーション開発: 日本で一番人気のSNSのアプリを作成 (I/O BOOKS)                 | 工学社    | 3,200 |
| 専門 | PHP演習: サーバサイド用スクリプト言語 (I/O BOOKS)                                           | 工学社    | 2,800 |
| 専門 | PHP入門: サーバサイド用スクリプト言語 (I/O BOOKS)                                           | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | Silverlight実践プログラミング: 実開発に役立つサンプルプログラム集 (I/O BOOKS)                         | 工学社    | 2,500 |
| 専門 | Webアプリどこでもパソコン術: インターネットが、あなたの「オフィス」になる! (I/O BOOKS)                        | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | Webクリエイターズガイドブック:「HTML」「CSS」の基礎を固めて、思いどおりのWebデザイン表現 (I/O BOOKS)             | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | Webシステム用ライブラリ活用ガイド: 短いコードを書くだけでプログラムの「使い勝手」が大きく変わる! (I/O BOOKS)             | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | クラウド利用術最前線:「ネットワーク技術」の“今”がわかる! (I/O BOOKS)                                  | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | ゲームSNSの作り方:「ASP.NET」+「Silverlight」で作るWebアプリケーション (I/O BOOKS)                | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめての「Ruby on Rails」5:「Webアプリ」作りに定番の「フレームワーク」を使う! (I/O BOOKS)               | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのAdobe Edgeツール & サービス: 無料で使える高機能Web制作ツール (I/O BOOKS)                    | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのAngular4:「TypeScript」で開発する、オープンソースの「Webフレームワーク」 (I/O BOOKS)            | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのAngularJS:「双方向データ結合」&「依存性注入」 (I/O BOOKS)                               | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのAVG: 無料で使えるアンチウイルスソフト (I/O BOOKS)                                      | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのBootstrap:「見栄えのするサイト」を手軽に作る! (I/O BOOKS)                               | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのCakePHP: 日本でも人気!無料で使えるPHP用フレームワーク、改訂版 (I/O BOOKS)                      | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのG Dataインターネットセキュリティ2011: 高性能セキュリティソフトの「導入」と「活用術」 (I/O BOOKS)           | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのGoogle App Engine:「Go言語」編「Webアプリ」を「GAE/G」で手軽に「開発」「公開」「運用」! (I/O BOOKS) | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのGoogle App Engine for Java: 巨大サーバを利用したWebアプリ開発の基本! (I/O BOOKS)         | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのJavaフレームワーク: 代表的「Javaフレームワーク」7つの基本的な使い方 (I/O BOOKS)                    | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのJoomla!: 無料のCMSでカンタンWebページ管理 (I/O BOOKS)                               | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのJRuby on Rails:「Java」+「Ruby」でWebアプリケーション開発 (I/O BOOKS)                 | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのMarkdown: 軽量マークアップ言語の記法と使い方 (I/O BOOKS)                                | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのPHP:「手軽」に使える「埋め込み型」のプログラミング言語 (I/O BOOKS)                              | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのRuby on Rails 3:「Webアプリケーション」作りに定番の「フレームワーク」を使う! (I/O BOOKS)           | 工学社    | 2,300 |
| 専門 | はじめてのSpring Boot: スプリング・フレームワークで簡単Javaアプリ開発、改訂版 (I/O BOOKS)                 | 工学社    | 2,500 |
| 専門 | はじめてのThunderbird3: 人気メールの「基本操作」と「アドオン」 (I/O BOOKS)                          | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | やさしいWindows Liveメール: 標準メールソフトの導入から活用まで! 第2版 (I/O BOOKS)                     | 工学社    | 1,600 |
| 専門 | やさしいSkype: 国内も海外も無料で通話できる! (I/O BOOKS)                                      | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | わかるFirefox: 人気ブラウザの「基本操作」から「アドオン」まで (I/O BOOKS)                             | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | わかるThunderbird: 人気メールの「基本操作」と「アドオン」 (I/O BOOKS)                             | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | 公開API活用ガイド: Webの「API」を使って「Webサービス」をより便利に! (I/O BOOKS)                       | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | 迷惑メール撃退マニュアル: すごい「スパム」や悪質な「フィッシング」から身を守る! (I/O BOOKS)                       | 工学社    | 1,900 |
| 専門 | はじめてのWebページ作成: HTML・CSS・JavaScriptの基本                                       | 講談社    | 1,900 |
| 専門 | 10分でできるホームページ: CMS&クラウドコンピューティングによる本格ウェブサイトスタートガイド、第2版                      | 自由国民社  | 1,600 |
| 専門 | PHP入門 (30時間アカデミック)                                                          | 実教出版   | 1,600 |
| 専門 | Webデザイン (30時間アカデミック)                                                        | 実教出版   | 1,600 |
| 専門 | ASP.NET MVC 5実践プログラミング                                                      | 秀和システム | 3,500 |
| 専門 | CakePHP超入門                                                                  | 秀和システム | 2,800 |
| 専門 | EclipseではじめるJavaフレームワーク入門、第5版                                               | 秀和システム | 2,800 |
| 専門 | IEを自在に操るExcel VBAプログラミング入門: データの収集・加工を完全自動化!                                | 秀和システム | 2,200 |
| 専門 | ITエンジニアになる!チャレンジPHPプログラミング                                                  | 秀和システム | 2,700 |
| 専門 | Javaサーバサイドプログラミングパーフェクトマスター: 本格派Webエンジニアを目指す人のための (Perfect Master 163)      | 秀和システム | 3,500 |
| 専門 | Node.js超入門                                                                  | 秀和システム | 3,000 |
| 専門 | PHPサーバサイドプログラミングパーフェクトマスター: フロントエンドエンジニアのための (Perfect Master 161)           | 秀和システム | 3,400 |
| 専門 | PHPとMySQLのツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                              | 秀和システム | 2,500 |
| 専門 | PHPフレームワークCakePHP3入門                                                        | 秀和システム | 2,800 |
| 専門 | PHPフレームワークLaravel入門                                                         | 秀和システム | 3,000 |
| 専門 | Python Django超入門                                                            | 秀和システム | 3,000 |
| 専門 | Ruby on Rails 5超入門                                                          | 秀和システム | 2,700 |
| 専門 | Spring Boot2プログラミング入門                                                       | 秀和システム | 2,800 |
| 専門 | Spring Data JPAプログラミング入門                                                    | 秀和システム | 4,000 |
| 専門 | Spring MVC/Rooプログラミング入門                                                     | 秀和システム | 2,800 |

|    |                                                                            |            |       |
|----|----------------------------------------------------------------------------|------------|-------|
| 専門 | Webアプリ開発を加速するCakePHP2定番レシピ119                                              | 秀和システム     | 2,400 |
| 専門 | WordPressのツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                             | 秀和システム     | 2,500 |
| 専門 | WordPress本格Webサイト構築パーフェクトマスター: プロフェッショナルが実践する! (Perfect Master 160)        | 秀和システム     | 2,800 |
| 専門 | おもしろまじめなチャットボットをつくろう                                                       | 秀和システム     | 2,600 |
| 専門 | はじめてのASP.NET Webフォームアプリ開発: C#対応版 (TECHNICAL MASTER 84)                     | 秀和システム     | 3,000 |
| 専門 | はじめてのASP.NET Webフォームアプリ開発: Visual Basic対応版 (TECHNICAL MASTER 85)           | 秀和システム     | 3,000 |
| 専門 | はじめてのJSP & サーブレット: Tomcat 8対応、第2版 (TECHNICAL MASTER 86)                    | 秀和システム     | 2,800 |
| 専門 | はじめてのブログをワードプレスで作るための本: ブログで稼ぎたいけば、WordPressで自作するしかありません。                  | 秀和システム     | 1,800 |
| 専門 | はじめての無料でできるホームページ作成Jimdo入門、第2版 (BASIC MASTER SERIES 488)                   | 秀和システム     | 1,680 |
| 専門 | フツウのWebデザイナーから卒業して食べるWebクリエイターになるためのWORDPRESS基本と極意                         | 秀和システム     | 1,700 |
| 専門 | ホームページ作成のツボとコツがゼッタイにわかる本 (最初からそう教えてくれればいいのに!)                              | 秀和システム     | 2,400 |
| 専門 | よくわかる最新サーバサイド技術の基本と仕組み: 仕事の意味と役割を知る (図解入門・How-nual・ Visual Guide Book)     | 秀和システム     | 1,600 |
| 専門 | わかりやすいJava EEウェブシステム入門                                                     | 秀和システム     | 3,200 |
| 専門 | 作りながら学ぶReact入門                                                             | 秀和システム     | 2,000 |
| 専門 | 思い通りのページをつくるために知っておきたいWordPressのきほん                                        | 秀和システム     | 2,380 |
| 専門 | 小さな会社ではじめてIT担当になった人のMicrosoft 365 Business超入門                              | 秀和システム     | 1,600 |
| 専門 | 詳解!Google Apps Script完全入門: Google Apps & G Suiteの最新プログラミングガイド              | 秀和システム     | 2,600 |
| 専門 | 職業(プロの)デザイナーでなくてもWebの表現を豊かにできる本:「あのサイトみたいにな」を実現できる! (最初からそう教えてくれればいいのに!)   | 秀和システム     | 2,500 |
| 専門 | Webアプリケーション構築入門: 実践Webページ制作からマッシュアップまで、第2版                                 | 森北出版       | 2,800 |
| 専門 | フリーソフトで学ぶセマンティックWebとインタラクション                                               | 森北出版       | 2,800 |
| 専門 | 新・セキュリティポリシー: いい人も悪い人もいるインターネットの世界 (情報処理基礎講座)                              | 電子開発学園出版局  | 2,200 |
| 専門 | 学生のためのPHP言語: 基礎からウェブシステムまで                                                 | 東京電機大学出版局  | 1,900 |
| 専門 | 演習Webプログラミング入門: HTML CSS JavaScript、改訂版                                    | 同友館        | 2,500 |
| 専門 | Amazon Web Servicesクラウドデザインパターン実装ガイド、改訂版                                   | 日経BP社      | 3,800 |
| 専門 | Amazon Web Servicesクラウドデザインパターン設計ガイド、改訂版                                   | 日経BP社      | 2,700 |
| 専門 | Amazon Web Services完全ソリューションガイド                                            | 日経BP社      | 2,900 |
| 専門 | Amazon Web Services基礎からのネットワーク&サーバー構築: さわって学ぶクラウドインフラ、改訂版                  | 日経BP社      | 2,700 |
| 専門 | Amazon Web Services設計 & 開発ガイド: シナリオで学ぶパブリッククラウド                            | 日経BP社      | 3,700 |
| 専門 | Amazon Web Services定番業務システム12パターン設計ガイド                                     | 日経BP社      | 2,500 |
| 専門 | Angular2によるモダンWeb開発: TypeScriptを使った基本プログラミング                               | 日経BP社      | 2,800 |
| 専門 | AngularによるモダンWeb開発: 実際の開発で必要な知識を凝縮: 実践編                                    | 日経BP社      | 3,500 |
| 専門 | ASP.NET MVCプログラミング入門 (MSDNプログラミングシリーズ)                                     | 日経BP社      | 3,200 |
| 専門 | Azureテクノロジー入門: 2018                                                        | 日経BP社      | 2,500 |
| 専門 | Cloud First Architecture設計ガイド                                              | 日経BP社      | 2,000 |
| 専門 | Google Cloud Platformエンタープライズ設計ガイド                                         | 日経BP社      | 2,700 |
| 専門 | Google Wave入門: サービス概要、APIからオープンソースWaveサーバーまでリアルタイムWebの最前線                  | 日経BP社      | 3,000 |
| 専門 | Webアクセシビリティ完全ガイド: ウェブコンテンツJIS(X8341-3:2010)徹底解説                            | 日経BP社      | 3,800 |
| 専門 | Webシステム入門: アーキテクチャーからHTML5まで                                               | 日経BP社      | 2,200 |
| 専門 | Windows Azure APIリファレンス (MSDNプログラミングシリーズ)                                  | 日経BP社      | 3,200 |
| 専門 | Windows Azure Platform開発入門: Windows Azure開発の基本をわかりやすく解説! (MSDNプログラミングシリーズ) | 日経BP社      | 3,800 |
| 専門 | Windows Azureアプリケーション開発入門: 作って感じるクラウドコンピューティング、第2版 (MSDNプログラミングシリーズ)       | 日経BP社      | 2,800 |
| 専門 | Windows Azureエンタープライズアプリケーション開発技法 (マイクロソフトコンサルティングサービステクニカルリファレンスシリーズ)     | 日経BP社      | 2,600 |
| 専門 | Windows Azureエンタープライズクラウドコンピューティング実践ガイド                                    | 日経BP社      | 2,100 |
| 専門 | シリコンバレーの英語: スタートアップ天国のしくみ                                                  | IBCパブリッシング | 1,800 |
| 専門 | 英文契約書の作成実務とモデル契約書、第4版                                                      | 中央経済社      | 2,800 |
| 専門 | 辞典ではわからないビジネスパーソンのための経済・金融英単語の使い方事典                                        | 三修社        | 2,400 |
| 専門 | ビジネス法務英文用語集                                                                | 商事法務       | 3,600 |
| 専門 | 英語のプレゼン直前5日間の技術 (しごとのミニマム英語 3)                                             | アルク        | 1,600 |
| 専門 | プレゼンの英語: 実践で役立つ表現1500                                                      | ジャパンタイムズ   | 2,000 |
| 専門 | ビジネスパーソンのミーティング・プレゼンテーション英語表現                                              | 語研         | 1,600 |
| 専門 | 英語でプレゼン・スピーチ15の法則: 一流ビジネスパーソンが無意識にやっている                                    | 三修社        | 2,000 |
| 専門 | ステイプ・ジョブズに学ぶ英語プレゼン: 聞き手の心をつかむストーリーと50表現                                    | 日経BP社      | 1,600 |
| 専門 | グローバルビジネスコミュニケーション研究: GLOBAL BUSINESS COMMUNICATION Theory and Application | 文真堂        | 2,500 |
| 専門 | 世界で戦う英語のロジカルプレゼン (CD BOOK)                                                 | 明日香出版社     | 2,400 |
| 専門 | ビジネスパーソンのための英語発信力強化演習: 通訳訓練法でプレゼンテーションを成功させる                               | 理論社        | 2,400 |
| 専門 | ITプロジェクトの英語: MP3音声無料ダウンロード (ビジネスエキスパートEnglish)                             | ジャパンタイムズ   | 1,800 |
| 専門 | 英語の決算書を読むスキル: 海外企業のケーススタディで基礎と実践をおさえる                                      | ダイヤモンド社    | 1,900 |
| 専門 | 会計プロフェッショナルの英単語100: 世界の一流企業はこう語る                                           | ダイヤモンド社    | 2,000 |
| 専門 | 英文会計のコミュニケーション、第2版                                                         | 同文館出版      | 3,900 |

|    |                                                                                                       |                  |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------|
| 専門 | 図解&キーワードで学ぶ金融英語: MP3音声無料ダウンロード (ビジネスエキスパートEnglish)                                                    | ジャパンタイムズ         | 1,800  |
| 専門 | 金融英文700選 (KINZAIレビュー叢書)                                                                               | 金融財政事情研究会        | 1,600  |
| 専門 | 金融英語の基礎と応用: すぐに役立つ表現・文例1300                                                                           | 講談社              | 3,500  |
| 専門 | 外資系金融の英語: すぐに役立つ表現例と基礎知識                                                                              | 中央経済社            | 2,400  |
| 専門 | 金融英語入門: A Guide to Financial English, 第2版                                                             | 東洋経済新報社          | 1,800  |
| 専門 | 世界中で通じる理系研究者の英語: English for Researchers in Engineering and Science                                   | アスク出版            | 2,000  |
| 専門 | 科学技術英語論文の徹底添削: ライティングレベルに対応した添削指導                                                                     | コロナ社             | 2,400  |
| 専門 | 理科系のための英語の書き方: 論文・履歴書・推薦状・ビジネスレター                                                                     | ジャパンタイムズ         | 2,200  |
| 専門 | 理科系のための英語プレゼンテーションの技術: English Presentation Skills for Scientists and Engineers, 改訂新版                 | ジャパンタイムズ         | 3,000  |
| 専門 | 科学論文の英語用法百科: English Composition for Scholarly Works: 第2編 冠詞用法                                        | 京都大学学術出版会        | 2,600  |
| 専門 | 技術英語論文の書き方: これなら使える100例                                                                               | 共立出版             | 2,700  |
| 専門 | 英語論文ライティング教本: 正確・明確・簡潔に書く技法                                                                           | 講談社              | 3,500  |
| 専門 | 理工系なら必ず知っておきたい英語論文を読みこなす技術: 頻出単語をイメージで把握! 論文の定型文だからわかりやすい!                                            | 誠文堂新光社           | 2,200  |
| 専門 | 理科系のための学会・留学英会話テクニック                                                                                  | 朝倉書店             | 2,600  |
| 専門 | 理系英語で使える強力動詞60                                                                                        | 朝倉書店             | 2,300  |
| 専門 | 理系英会話アクティブラーニング: 1 テツヤ、国際学会いってらっしゃい                                                                   | 羊土社              | 2,400  |
| 専門 | 理系英会話アクティブラーニング: 2 テツヤ、ディスカッションしようか                                                                   | 羊土社              | 2,200  |
| 専門 | 知財担当者のための実務英文入門                                                                                       | オーム社             | 2,400  |
| 専門 | 知財英語通信文必携 (現代産業選書 知的財産実務シリーズ)                                                                         | 経済産業調査会          | 2,800  |
| 専門 | 国際技術ライセンス契約: 交渉から契約書作成まで, 3訂版                                                                         | 同文館出版            | 3,500  |
| 専門 | 技術者の実務英語: 日常業務の英語表現                                                                                   | AI               | 3,800  |
| 専門 | エンジニアのための英文超克服テキスト                                                                                    | オーム社             | 2,400  |
| 専門 | マンガでわかる技術英語                                                                                           | オーム社             | 2,300  |
| 専門 | 科学技術英語動詞活用辞典: Using Verbs in English Scientific and Technical Writing                                 | オーム社             | 18,000 |
| 専門 | 科学技術英語表現辞典: Compilation of Scientific and Technical Expressions in English, 第3版                       | オーム社             | 15,000 |
| 専門 | 科学技術英語翻訳集中ゼミ: Fast Track to English Scientific and Technical Writing                                  | オーム社             | 5,000  |
| 専門 | 科学技術英和大辞典: ハンディコンパクト, 第2版                                                                             | オーム社             | 15,000 |
| 専門 | 科学技術英和大辞典: ハンディコンパクト, 第3版                                                                             | オーム社             | 15,000 |
| 専門 | ネイティブスピーカーも納得する技術英語表現: Technical English Expressions for Effective Communication with Native Speakers | コロナ社             | 3,100  |
| 専門 | マスターしておきたい技術英語の基本, 決定版                                                                                | コロナ社             | 2,500  |
| 専門 | テクニカル・ライティング必須ポイント50                                                                                  | 丸善出版             | 1,900  |
| 専門 | 東工大英単: 科学・技術例文集                                                                                       | 研究社              | 2,200  |
| 専門 | プロが教える技術翻訳のスキル                                                                                        | 講談社              | 2,400  |
| 専門 | ITエンジニアが覚えておきたい英語動詞30                                                                                 | 秀和システム           | 1,800  |
| 専門 | プレゼンを100%成功させる!! ITエンジニアの英語: この表現を使うだけであなたの「評価」が大きく変わる!!                                              | 秀和システム           | 2,000  |
| 専門 | 技術英語の基盤, 改訂新版                                                                                         | 朝日出版社            | 2,200  |
| 専門 | 使える理系英語の教科書: ライティングからプレゼン、ディスカッションまで                                                                  | 東京大学出版会          | 2,200  |
| 専門 | 読み手の心を捉える「英文テクニカルライティング」                                                                              | 日刊工業新聞社          | 2,000  |
| 専門 | これなら通じる技術英語ライティングの基本                                                                                  | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,800  |
| 専門 | 理工系学生および技術者のための工学英語: 2                                                                                | 日本理工出版会          | 2,600  |
| 専門 | 製造現場の英語: 世界中で通じる!                                                                                     | アスク出版            | 1,600  |
| 専門 | イラストで覚える生産現場の英語: 現地スタッフに伝えたいノウハウとルール (ビジネスエキスパートEnglish)                                              | ジャパンタイムズ         | 2,000  |
| 専門 | ものづくり現場の英会話ハンドブック (CD BOOK)                                                                           | 研究社              | 1,600  |
| 専門 | 英語で学ぶトヨタ生産方式: エッセンスとフレーズのすべて, 改訂新版                                                                    | 研究社              | 1,800  |
| 専門 | ものづくりの英会話: 5Sと作業現場                                                                                    | 三修社              | 2,200  |
| 専門 | ものづくりの英語表現, 増補改訂版                                                                                     | 三修社              | 2,000  |
| 専門 | アウトソーシングのためのビジネス英文メール入門: 発注にかかわる24場面を収録                                                               | オーム社             | 2,200  |
| 専門 | 「説明」するためのビジネス英語表現練習帳                                                                                  | DHC              | 1,700  |
| 専門 | グローバル思考の英会話: イェール大学言語学博士特別セミナー                                                                        | DHC              | 1,600  |
| 専門 | 外資系エグゼクティブが教える超実戦的英会話トレーニング                                                                           | DHC              | 1,900  |
| 専門 | 即戦力がつくビジネス英会話: 基本から応用まで, 改訂増補版                                                                        | DHC              | 2,100  |
| 専門 | 即戦力がつくビジネス英会話: 2                                                                                      | DHC              | 2,100  |
| 専門 | 即戦力がつくビジネス英単語頻出200                                                                                    | DHC              | 2,000  |
| 専門 | グローバルエリートのためのビジネス・キーワード100: 成功を収めたリーダーたちの言葉の使い方                                                       | IBCパブリッシング       | 1,600  |
| 専門 | バズ単: 使いこなすための「ビジネス英語情報辞典」                                                                             | IBCパブリッシング       | 2,400  |
| 専門 | ビジネスeメール英語表現事典: DICTIONARY OF BUSINESS EMAIL EXPRESSIONS                                              | IBCパブリッシング       | 3,200  |
| 専門 | 海外取引でよく使われる与信管理の英語: 会計や法律の知識だけではカバーできない、グローバル・ビジネスでは必須のスキ部門                                           | IBCパブリッシング       | 2,400  |
| 専門 | 世界とたたかうビジネスパーソンのための英語の使い方                                                                             | IBCパブリッシング       | 2,200  |
| 専門 | ビジネスで1番よく使う英語Eメール: 基本から実践まで実例シーン140 (BIZ No.1)                                                        | Jリサーチ出版          | 1,600  |

|    |                                                               |               |       |
|----|---------------------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | ビジネスで1番よく使う英単語最重要1000語 (BIZ No.1)                             | Jリサーチ出版       | 1,600 |
| 専門 | 会社でよく使うミーティングのひと言英語フレーズ                                       | KADOKAWA      | 1,600 |
| 専門 | ネイティブが教えるコミュニケーションテクニック60: NHKラジオ入門ビジネス英語 (NHK CD BOOK)       | NHK出版         | 1,900 |
| 専門 | 関谷英里子のビジネスに効く英単語101: NHKラジオ入門ビジネス英語 (NHK CD BOOK)             | NHK出版         | 1,900 |
| 専門 | 実践ビジネス英語: ニューヨークシリーズベストセレクション (NHK CD BOOK)                   | NHK出版         | 2,000 |
| 専門 | ビジネス英語を磨く英文法Smart Reference                                   | Z会CA          | 1,900 |
| 専門 | 英文ビジネスEメール実例・表現1200, 改訂版                                      | Z会CA          | 1,900 |
| 専門 | 仕事で使えるMyフレーズ: 中学英語だけで解決! 60シーン                                | Z会CA          | 1,600 |
| 専門 | 5分で書く! 英文ビジネスeメールパターン辞典                                       | アスク出版         | 2,300 |
| 専門 | BeNative! ITの英語                                               | アルク           | 1,600 |
| 専門 | BeNative! 金融の英語                                               | アルク           | 1,600 |
| 専門 | ククタンビジネス(Advanced): 聞いて覚えるコーパス単熟語 (アルクの「グローバル英語」シリーズ)         | アルク           | 1,800 |
| 専門 | ククタンビジネス(Basic): 聞いて覚えるコーパス単熟語 (アルクの「グローバル英語」シリーズ)            | アルク           | 1,800 |
| 専門 | ククタンビジネス(Super): 聞いて覚えるコーパス単熟語 (アルクの「グローバル英語」シリーズ)            | アルク           | 2,200 |
| 専門 | グローバルビジネス英会話: Basic (アルクの「グローバル英語」シリーズ)                       | アルク           | 1,800 |
| 専門 | グローバルビジネス英会話: Advanced (アルクの「グローバル英語」シリーズ)                    | アルク           | 1,800 |
| 専門 | グローバルビジネス英会話: Super (アルクの「グローバル英語」シリーズ)                       | アルク           | 1,800 |
| 専門 | はじめての英文契約書の読み方 (アルクはたらく×英語)                                   | アルク           | 1,800 |
| 専門 | ビジネス英会話高速変換トレーニング: どんな仕事の状況でも使える万能80パターンを完全マスター               | アルク           | 2,200 |
| 専門 | ビジネス英語和英活用辞典: あなたのビジネス文書がThe Economistの英語に変わる!                | アルク           | 4,800 |
| 専門 | 社内英語ワールドサバイバル本: 明日からすぐ使えるサバイバル術が身に付く                          | アルク           | 1,800 |
| 専門 | 相手を「必ず動かす」英文メールの書き方, 改訂版                                      | アルク           | 1,900 |
| 専門 | 相手を必ず味方につける英会話のロジック                                           | アルク           | 1,900 |
| 専門 | ひと目でわかる英文契約書: 読み方とチェックの仕方                                     | かんき出版         | 2,400 |
| 専門 | ビジネスで世界を相手にする人の英語: ネイティブの使うこなれたフレーズと、相手・状況に応じた使い分け表現          | クロスメディア・ランゲージ | 2,080 |
| 専門 | ビジネス英語の敬語: 微妙なニュアンスを英語で伝える、状況に応じた丁寧表現                         | クロスメディア・ランゲージ | 2,080 |
| 専門 | シャドーイングで耳から鍛える仕事で使う英会話                                        | コスモビア         | 1,600 |
| 専門 | 英文Eメール超リアルパターン500+: ビジネスにすぐ使える                                | コスモビア         | 1,800 |
| 専門 | 仕事で使える英文法                                                     | コスモビア         | 1,800 |
| 専門 | そのまま使える基本のビジネス英語 書く: basic business English Writing           | ジャパンタイムズ      | 1,600 |
| 専門 | そのまま使える基本のビジネス英語 話す: basic business English Speaking          | ジャパンタイムズ      | 1,600 |
| 専門 | トラブル回避&解決のビジネス英語1000                                          | ジャパンタイムズ      | 2,200 |
| 専門 | ビジネスQuick English: Business Quick English: 〈オフィス英語〉All in One | ジャパンタイムズ      | 1,700 |
| 専門 | 外資の社内英語ビジネスに効く! パワフル動詞460 (Business English NEXTシリーズ)         | ジャパンタイムズ      | 1,700 |
| 専門 | 好印象を与える仕事の英文レター・Eメールの書き方                                      | ジャパンタイムズ      | 1,900 |
| 専門 | 誰も教えてくれなかった外資の社内英語900 (Business English NEXTシリーズ)             | ジャパンタイムズ      | 1,800 |
| 専門 | 日本人に共通するビジネス英語のミス (Business English NEXTシリーズ)                 | ジャパンタイムズ      | 1,700 |
| 専門 | リーダーとして話すための英語! パワーフレーズ3000, 増補改訂版                            | すばる舎          | 2,800 |
| 専門 | ビジネスパーソンが必ず使う英語表現204                                          | ダイヤモンド社       | 1,600 |
| 専門 | ビジネス英語4週間集中プログラム: もし海外出張まで、あと1カ月しかなかったら!?                     | ダイヤモンド社       | 2,100 |
| 専門 | 海外出張/カタログ・ウェブサイト/展示会で売れる英語                                    | ダイヤモンド社       | 1,600 |
| 専門 | 思い通りに相手を動かす英文! パワーメール20の鉄則: ビジネスメールに自信がつく!                    | ダイヤモンド社       | 1,600 |
| 専門 | このメールはこう書く!! 定型表現208 (基礎からわかる会社で使う英語)                         | ピアソン桐原        | 1,700 |
| 専門 | ビジネス会議: 式典・公式発表の英語表現: ネイティブのエグゼクティブはこんな英語を使っている! (CD BOOK)    | ベレ出版          | 2,500 |
| 専門 | 場面別ビジネス英会話: 決まり表現&英語実況中継 (CD BOOK)                            | ベレ出版          | 2,200 |
| 専門 | 説得力のある英文ビジネスEメールが書ける: 実例表現とトレーニング                             | ベレ出版          | 1,800 |
| 専門 | 即効会社の英語ハンドブック: これ一冊で乗り切れる (CD BOOK)                           | ベレ出版          | 1,600 |
| 専門 | 的確に伝わる英文ビジネスEメール例文集                                           | ベレ出版          | 1,800 |
| 専門 | 言いたいことを言い合える上司と部下のストレスフリー英会話: 会議 報告 アフター5                     | マクミランランゲージハウス | 1,800 |
| 専門 | 書ける!! Eメール・ライティング通動解速トレーニング: 1駅3分集中!                          | マクミランランゲージハウス | 1,700 |
| 専門 | 書ける!! オフィス文書通動解速トレーニング: 1駅3分集中!                               | マクミランランゲージハウス | 1,700 |
| 専門 | 話せる!! ビジネス英語通動解速トレーニング: 1駅3分集中!                               | マクミランランゲージハウス | 1,800 |
| 専門 | 話せる!! 商談英会話通動解速トレーニング: 1駅3分集中!                                | マクミランランゲージハウス | 1,800 |
| 専門 | 英文ビジネスメール/オフィスメール入門: プレインイングリッシュによるビジネスコミュニケーション戦略            | 丸善出版          | 2,400 |
| 専門 | 英文ビジネスライティング大全: レター、Eメール、見積書、催促状から履歴書まで                       | 桐原書店          | 2,800 |
| 専門 | ビギナーのための経済英語: 経済・金融・証券・会計の基本用例320, 第2版                        | 慶應義塾大学出版会     | 2,000 |
| 専門 | 元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本 (現代産業選書)                         | 経済産業調査会       | 2,200 |
| 専門 | すぐに使えるビジネス英語スピーチ100: 上達の秘訣30+モデル文100 (CD BOOK)                | 研究社           | 2,400 |
| 専門 | 英文ビジネスEメールの正しい書き方: 実践応用編                                      | 研究社           | 1,600 |

|    |                                                                                      |           |        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------|
| 専門 | 秘書の英語: 実務ハンドブック                                                                      | 研究社       | 1,800  |
| 専門 | 朝イチ10分ビジネス英会話トレーニング: 応答の基本パターンの確認から場面別演習までを攻略                                        | 語学春秋社     | 1,800  |
| 専門 | ビジネスパーソンの英会話フレーズ525                                                                  | 語研        | 1,600  |
| 専門 | やさしく書ける英文ビジネスメール・レター                                                                 | 語研        | 2,000  |
| 専門 | 外国人との交渉に成功するビジネス英語                                                                   | 語研        | 2,000  |
| 専門 | グロービッシュではじめるビジネス英語ライティング                                                             | 三修社       | 1,600  |
| 専門 | そのまま使える英文ビジネス文書の書き方と活用例セレクト109: 取引や社内連絡、会議、交渉、就職活動などさまざまな場面で活用自在                     | 三修社       | 1,900  |
| 専門 | ビジネス英会話ダイアローグ: 130の実践シーンで展開する                                                        | 三修社       | 2,400  |
| 専門 | 世界基準のビジネス英会話                                                                         | 三修社       | 2,600  |
| 専門 | キーワードで引く英文ビジネスレター事典: Looking Up by Keywords Business Letter Expressions, 第2版         | 三省堂       | 2,300  |
| 専門 | ひとりでエクササイズビジネス英語: レベル1                                                               | 三省堂       | 1,800  |
| 専門 | ひとりでエクササイズビジネス英語: レベル2                                                               | 三省堂       | 2,200  |
| 専門 | とっさに頼れるオフィスのスマート英語                                                                   | 実業之日本社    | 1,600  |
| 専門 | グローバル時代のビジネス英語雑談力: 中身の濃い雑談ができると仕事がうまく回り出す!                                           | 秀和システム    | 1,600  |
| 専門 | ディクテーションで覚えるビジネス英語必須パターン123                                                          | 秀和システム    | 1,900  |
| 専門 | 一流企業のビジネス英語                                                                          | 秀和システム    | 2,200  |
| 専門 | 大前研一の今日から使える英語: 「自信がない」ビジネスマンにすぐに効く英語のコツ                                             | 小学館       | 1,600  |
| 専門 | 英語高速メソッドビジネス英会話集: ネイティブの脳&耳になる!!                                                     | 新星出版社     | 1,800  |
| 専門 | 負けない英文契約書: 不利な条項への対応術                                                                | 清文社       | 3,000  |
| 専門 | マーケティング英語の教科書: 完璧ではなくても、仕事で自信を持てる英語 (宣伝会議養成講座シリーズ)                                   | 宣伝会議      | 1,800  |
| 専門 | 実務で即活用英文契約サンプル集                                                                      | 創英社       | 2,000  |
| 専門 | 新ビジネス・イングリッシュ入門: An Introduction to Business English for International Trade, 改訂版    | 創成社       | 1,600  |
| 専門 | 1日5分ビジネス英語トレーニング: 海外経験ゼロでも話せるようになる                                                   | 総合法令出版    | 1,600  |
| 専門 | 1日5分ビジネス英単語トレーニング: TOEIC対策にも使える                                                      | 総合法令出版    | 1,800  |
| 専門 | 英文契約書を読みこなす: 新版                                                                      | 大修館書店     | 1,900  |
| 専門 | 山本孝夫の英文契約ゼミナール: ENGLISH CONTRACT SEMINAR                                             | 第一法規      | 5,500  |
| 専門 | Wordで10倍伝わる! 英文ライティング: ビジネスEメールからIR・プレスリリースまで                                        | 中央経済社     | 2,000  |
| 専門 | すぐに使える! 税務の英文メール                                                                     | 中央経済社     | 3,000  |
| 専門 | そのまま使える経理の英文メール                                                                      | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | ネイティブに笑われない英文ビジネスEメール: Googleで検索するだけ!                                                | 中央経済社     | 1,800  |
| 専門 | 英文ビジネス・メールの作法: コミュニケーションリスクを抑えるテクニック                                                 | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 英文契約一般条項の基本原則Q&A                                                                     | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 英文契約書・社内文書の用語・用例ハンドブック                                                               | 中央経済社     | 2,800  |
| 専門 | 英文契約書のための和英用語例辞典                                                                     | 中央経済社     | 3,400  |
| 専門 | 英文契約書の理論と実務: The Theory and Practice of Drafting International Contracts             | 中央経済社     | 4,200  |
| 専門 | 英文契約書作成のための和英頻出用例辞典                                                                  | 中央経済社     | 4,800  |
| 専門 | 英文契約書作成のための和英用語法辞典                                                                   | 中央経済社     | 4,800  |
| 専門 | 会計パーソンのための英語学習法                                                                      | 中央経済社     | 2,200  |
| 専門 | 経理で使う英文メール: 日常業務から決算、税務申告まで                                                          | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | 自分で読み書きできる英文ビジネス契約書                                                                  | 中央経済社     | 2,500  |
| 専門 | 初めての人のための英文契約書の実務: 読み方・作り方・交渉の考え方                                                    | 中央経済社     | 2,600  |
| 専門 | CD-ROMでそのまま使える英文メール5000                                                              | 中経出版      | 2,800  |
| 専門 | 頻出ランキング順中学英語だけで話せるビジネス英会話                                                            | 中経出版      | 1,700  |
| 専門 | 最新ビジネス英文Eメール辞典: Dictionary of Proven Business E-mails                                | 朝日出版社     | 3,700  |
| 専門 | 今すぐ使えるワンランク上の実践ビジネス英語: 68シーンで完全マスター!                                                 | 東洋経済新報社   | 1,800  |
| 専門 | 営業・企画担当者のための英文契約・交渉入門: 英文契約のエキスパートが教える (DO BOOKS)                                    | 同文館出版     | 2,600  |
| 専門 | 英文ビジネスレターの発達史: 16世紀以降の通信文(レター)の変遷と特徴を探る (神奈川大学経済貿易研究叢書 第31号)                         | 同文館出版     | 3,800  |
| 専門 | 会計人のための楽しく学ぶビジネス英語                                                                   | 同文館出版     | 1,800  |
| 専門 | ビジネス・キャッツ: プロジェクトで学ぶ実践ビジネス英語                                                         | 南雲堂       | 1,800  |
| 専門 | 国際ビジネス英和活用辞典: 国際取引・貿易・為替・証券                                                          | 日外アソシエーツ  | 5,200  |
| 専門 | すぐに使えるらくらくビジネス英会話: 豊富なシーンで役立つ「会話」と「フレーズ」満載!                                          | 日刊工業新聞社   | 1,800  |
| 専門 | 英文ビジネスメール200の鉄則: Iron Laws with 200 Techniques for Effective English Business Emails | 日経BP社     | 1,800  |
| 専門 | 英文契約書の基本表現: 契約書が楽しく読めるようになる                                                          | 日本加除出版    | 2,400  |
| 専門 | 実務英文契約書文例集, 第2版                                                                      | 日本加除出版    | 4,400  |
| 専門 | 英文ビジネス契約書大辞典: A DICTIONARY FOR STANDARD INTERNATIONAL BUSINESS CONTRACTS, 増補改訂版      | 日本経済新聞出版社 | 24,000 |
| 専門 | 英文メールの基本: ネイティブに誤解なく、きちんと伝わる                                                         | 日本実業出版社   | 1,600  |
| 専門 | 国際交渉の法律英語: そのままだ文書化できる戦略的表現                                                          | 日本評論社     | 3,200  |
| 専門 | 体系的な新国際ビジネスのコミュニケーション: 電子化を背景とした新貿易立国                                                | 白桃書房      | 2,315  |
| 専門 | 21日で速習! 「社内公用語の英語」の重要表現600 (CD BOOK)                                                 | 明日香出版社    | 1,600  |

|    |                                                                      |                  |       |
|----|----------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | わかりやすいビジネス英文Eメールの基本公式30: ビジネス現場の英文Eメール作成術                            | 明日香出版社           | 1,600 |
| 専門 | 世界で戦う人の英語面接と英文履歴書                                                    | 明日香出版社           | 2,700 |
| 専門 | 世界で戦う伝わるビジネス英語                                                       | 明日香出版社           | 2,200 |
| 専門 | 世界で戦う伝わる英語ミーティング (CD BOOK)                                           | 明日香出版社           | 2,200 |
| 専門 | 世界で戦う伝わる英文ビジネスEメール                                                   | 明日香出版社           | 2,000 |
| 専門 | 定型パターンですぐに書けるビジネス英文Eメール                                              | 明日香出版社           | 2,000 |
| 専門 | 和英対照英文ビジネスEメール事例集                                                    | 論創社              | 2,000 |
| 専門 | カスタマーサービスの英語: お客様の苦情・要求にはこう対応したい!                                    | 研究社              | 1,600 |
| 専門 | 英文契約書の基礎と使い方がわかる本 (貿易実務シリーズ)                                         | シーアンドアール研究所      | 2,900 |
| 専門 | 貿易実務入門と英文契約書の読み方, 改訂新版                                               | 創元社              | 2,000 |
| 専門 | 貿易実務の基本と三国間貿易完全解説                                                    | 中央経済社            | 2,800 |
| 専門 | 英文販売・代理店契約: その理論と実際, 第2版                                             | 同文館出版            | 2,900 |
| 専門 | 英文契約書ハンドブック: 元商社ベテラン法務マンが書いた                                         | 日本能率協会マネジメントセンター | 2,800 |
| 専門 | トランスレーション・スタディーズ                                                     | みすず書房            | 4,800 |
| 専門 | 通訳翻訳訓練: 基本的概念とモデル                                                    | みすず書房            | 5,000 |
| 専門 | 翻訳学入門, 新装版                                                           | みすず書房            | 5,400 |
| 専門 | 翻訳理論の探求                                                              | みすず書房            | 5,000 |
| 専門 | よくわかる翻訳通訳学 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)                                    | ミネルヴァ書房          | 2,400 |
| 専門 | 翻訳教育                                                                 | 河出書房新社           | 1,800 |
| 専門 | 翻訳と語用論 (龍谷叢書 42)                                                     | 開拓社              | 2,400 |
| 専門 | AI時代の翻訳に役立つGoogle活用テクニック                                             | 丸善出版             | 1,600 |
| 専門 | 翻訳に遊ぶ                                                                | 岩波書店             | 2,400 |
| 専門 | 翻訳について (叢書・エクリチュールの冒険)                                               | 月曜社              | 3,400 |
| 専門 | 翻訳の基本: 続 素直な訳文の作り方                                                   | 研究社              | 1,700 |
| 専門 | 翻訳研究のキーワード                                                           | 研究社              | 3,200 |
| 専門 | リングイストを知っていますか?: 言語・経験・おもてなしの世界で働く                                   | 現代書館             | 1,800 |
| 専門 | 翻訳の倫理学: 彼方のものを迎える文字                                                  | 晃洋書房             | 2,800 |
| 専門 | 翻訳通訳研究の新地平: 映画・ゲーム・テクノロジー・戦争・教育と翻訳通訳 (立教大学異文化コミュニケーション学部研究叢書 1)      | 晃洋書房             | 2,200 |
| 専門 | 翻訳等価再考: 翻訳の言語・社会・思想                                                  | 晃洋書房             | 4,500 |
| 専門 | 翻訳のレッスン: できる翻訳者になるためにプロフェッショナル4人が本気で教える (講談社パワウングリッシュ)               | 講談社              | 1,700 |
| 専門 | ディスカッションから学ぶ翻訳学: トランスレーション・スタディーズ入門                                  | 三省堂              | 2,200 |
| 専門 | 翻訳と話法: 語りの声を聞く                                                       | 松籟社              | 1,800 |
| 専門 | 通訳とはなにか: 異文化とのコミュニケーションのために                                          | 生活書院             | 2,200 |
| 専門 | 日仏翻訳交流の過去と未来: 来るべき文芸共和国に向けて                                          | 大修館書店            | 3,300 |
| 専門 | 翻訳技法実践論: 『星の王子さま』をどう訳したか                                             | 平凡社              | 2,500 |
| 専門 | 翻訳のポイエーシス: 他者の詩学 (ポイエーシス叢書 60)                                       | 未來社              | 2,200 |
| 専門 | 文化と政治の翻訳学: 異文化研究と翻訳の可能性 (明石ライブラリー 136)                               | 明石書店             | 3,800 |
| 専門 | 新ビジネスミーティングの英語表現                                                     | ジャパンタイムズ         | 2,200 |
| 専門 | 英語で経済・政治・社会を討論する技術と表現: 「科学技術」「環境問題」「医療問題」などさまざまな分野を英語で発信する (CD BOOK) | ベレ出版             | 2,200 |
| 専門 | 日本人についての質問に論理的に答える発信型英語トレーニング                                        | ベレ出版             | 1,900 |
| 専門 | 英語とはどんな言語か: より深く英語を知るために (開拓社言語・文化選書 43)                             | 開拓社              | 1,900 |
| 専門 | 英語のスタイル: 教えるための文体論入門                                                 | 研究社              | 2,800 |
| 専門 | アメリカ人の言語観を知るための10章: 先住民・黒人・ヒスパニック・日系の事例から                            | 大学教育出版           | 2,100 |
| 専門 | 英語学が語るもの: 英語学を楽しむ12のエッセンス                                            | くろしお出版           | 2,200 |
| 専門 | 日英対照英語学の基礎                                                           | くろしお出版           | 1,800 |
| 専門 | ベーシック新しい英語学概論: A Basic Guide to English Linguistics                  | ひつじ書房            | 1,700 |
| 専門 | 英語学を学ぼう: 英語学の知見を英語学習に活かす (開拓社言語・文化選書 69)                             | 開拓社              | 1,900 |
| 専門 | 言語の探求と思索: 英語学と文化記号学からのアプローチ                                          | 開拓社              | 3,600 |
| 専門 | グローバルコミュニケーションのための英語学概論                                              | 慶應義塾大学出版会        | 2,700 |
| 専門 | 世界の英語と社会言語学: 多様な英語でコミュニケーションする                                       | 慶應義塾大学出版会        | 2,900 |
| 専門 | はじめての英語学, 改訂版                                                        | 研究社              | 2,500 |
| 専門 | 英語談話標識用法辞典: 43の基本ディスコース・マーカー                                         | 研究社              | 6,000 |
| 専門 | 言語帝国主義: 英語支配と英語教育                                                    | 三元社              | 3,800 |
| 専門 | 現代言語理論の概説                                                            | 鷹書房弓プレス          | 3,000 |
| 専門 | ファンダメンタル英語史: Fundamentals of Historical English Linguistics, 改訂版     | ひつじ書房            | 1,600 |
| 専門 | 英語化する世界、世界化する英語                                                      | みすず書房            | 6,200 |
| 専門 | 世界の英語ができるまで                                                          | 亜紀書房             | 2,000 |
| 専門 | 言語変化: 動機とメカニズム                                                       | 開拓社              | 4,600 |
| 専門 | 言葉をさかのぼる: 歴史に閉ざされた英語と日本語の世界 (開拓社言語・文化選書 22)                          | 開拓社              | 1,800 |

|    |                                                                            |            |        |
|----|----------------------------------------------------------------------------|------------|--------|
| 専門 | 知っておきたい英語の歴史 (開拓社叢書 24)                                                    | 開拓社        | 3,000  |
| 専門 | 歴史的にみた英語の語形成 (開拓社言語・文化選書 54)                                               | 開拓社        | 1,900  |
| 専門 | 英語の「なぜ?」に答えるはじめての英語史                                                       | 研究社        | 2,200  |
| 専門 | 英語の帝国: ある島国の言語の1500年史 (講談社選書メチエ 633)                                       | 講談社        | 1,700  |
| 専門 | 英語のルーツ                                                                     | 春風社        | 2,000  |
| 専門 | 聖書でたどる英語の歴史: Tracing the History of the English Language through the Bible | 大修館書店      | 2,200  |
| 専門 | 物語英語の歴史                                                                    | 悠書館        | 2,600  |
| 専門 | Sherlock Holmesの英語 (開拓社言語・文化選書 65)                                         | 開拓社        | 1,900  |
| 専門 | 新たな英語史研究をめざして: 詩学と記号論を視点に (開拓社言語・文化選書 76)                                  | 開拓社        | 2,000  |
| 専門 | 最新英語学・言語学用語辞典                                                              | 開拓社        | 4,600  |
| 専門 | あいまいなのは日本語か、英語か?: 日英語発想の違い                                                 | ひつじ書房      | 1,680  |
| 専門 | 英語へのまなざし: 斎藤英学塾10周年記念論集                                                    | ひつじ書房      | 6,000  |
| 専門 | 英語研究の次世代に向けて: 秋元美治教授定年退職記念論文集 (ひつじ研究叢書 言語編第83巻)                            | ひつじ書房      | 15,000 |
| 専門 | 英語のデザインを読む (阪大英文学会叢書 8)                                                    | 英宝社        | 2,800  |
| 専門 | 21世紀英語研究の諸相: 言語と文化からの視点                                                    | 開拓社        | 7,600  |
| 専門 | ことばとこころの探求                                                                 | 開拓社        | 6,600  |
| 専門 | 英語学点描                                                                      | 開拓社        | 3,600  |
| 専門 | 英語学・英文学の理論と応用                                                              | 御茶の水書房     | 3,000  |
| 専門 | 英語学習者のためのGoogle・英辞郎検索術 (開拓社言語・文化選書 48)                                     | 開拓社        | 1,800  |
| 専門 | 英語文学テキストの語学的研究法                                                            | 九州大学出版会    | 4,800  |
| 専門 | 英語修得の思想と方法                                                                 | 彩流社        | 2,500  |
| 専門 | 教養人の英語                                                                     | 彩流社        | 2,500  |
| 専門 | 英語コーパスを活用した言語研究                                                            | 大修館書店      | 2,800  |
| 専門 | 英語学習のメカニズム: 第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法                                           | 大修館書店      | 1,600  |
| 専門 | 英語学習者コーパス活用ハンドブック                                                          | 大修館書店      | 2,200  |
| 専門 | 社会人のための英語の世界ハンドブック                                                         | 大修館書店      | 2,200  |
| 専門 | TOEFL iBT対策「超上級」英単語                                                        | IBCパブリッシング | 2,200  |
| 専門 | TOEFLによく出るアカデミック英単語                                                        | IBCパブリッシング | 2,400  |
| 専門 | TOEFL ITPテストスピードマスター完全模試                                                   | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | TOEFL ITPテスト総合スピードマスター: 入門編                                                | リサーチ出版     | 1,600  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテストスピーキング: 高得点に不可欠な話し方の秘訣が満載                                 | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテストボキャブラリー: 頻度順のランク分けで効率よく語彙力が身につく                           | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテストライティング: 正確で論理的な文章表現力を磨き上げる                                | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテストリーディング: より速くより効果的に長文を読み解く秘法を公開                            | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテストリスニング: 合計9時間のリスニング問題で徹底的に耳を鍛える                            | リサーチ出版     | 2,200  |
| 専門 | まるわかりTOEFL iBTテスト完全模試                                                      | リサーチ出版     | 2,000  |
| 専門 | はじめて受けるTOEFL TESTチャレンジ模試: 実戦模試3回分+学習アドバイス                                  | Z会         | 2,800  |
| 専門 | TOEFL iBT TESTスピーキングのエッセンス: 論理性×表現力を高めるトレーニング                              | Z会CA       | 2,400  |
| 専門 | TOEFL iBT TESTライティングのエッセンス: 論理性×表現力を高めるトレーニング                              | Z会CA       | 2,400  |
| 専門 | TOEFL iBT TESTリーディングのエッセンス: 論理性×実戦力を高めるトレーニング                              | Z会CA       | 2,400  |
| 専門 | TOEFL iBT TESTリスニングのエッセンス: 論理性×実戦力を高めるトレーニング                               | Z会CA       | 2,400  |
| 専門 | はじめて受けるTOEFL TEST攻略×アプローチ: 全セクション対応語彙トレーニング+設問タイプ別攻略法+模試, 改訂版              | Z会CA       | 2,100  |
| 専門 | スコア80突破ゼミTOEFL iBTテスト                                                      | アルク        | 2,800  |
| 専門 | スコア80突破ゼミTOEFL iBTテスト: インプット強化編                                            | アルク        | 2,800  |
| 専門 | スコア80突破ゼミTOEFL iBTテスト: アウトプット強化編                                           | アルク        | 2,800  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL iBTテスト                                                          | アルク        | 2,400  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL iBTテストスピーキングライティング: 苦手なセクションもこれで克服!                             | アルク        | 2,800  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL iBTテストリーディングリスニング: 苦手なセクションもこれで克服!                              | アルク        | 2,800  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL iBTテスト模試3回分: 本番形式3回分でスコアと自信を獲得, 改訂版                             | アルク        | 2,800  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL iBTテスト                                                          | アルク        | 2,400  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL ITPテストリーディング                                                    | アルク        | 2,400  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL ITPテストリスニング                                                     | アルク        | 2,400  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL ITPテスト文法                                                        | アルク        | 2,400  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFL ITPテスト模試4回分                                                     | アルク        | 2,800  |
| 専門 | 完全攻略!TOEFLテスト英単語4000: FOR THE TOEFL ITP TEST & TOEFL iBT TEST              | アルク        | 2,600  |
| 専門 | 聞いて覚える英単語クタンTOEFL TEST: イディオム編                                             | アルク        | 1,800  |
| 専門 | 最強のTOEFL iBT入門: この1冊で、はじめての受験も安心!                                          | コスモビア      | 2,200  |
| 専門 | TOEFL iBTテストはじめてゼミスピーキングの教科書                                               | ジャパンタイムズ   | 2,100  |
| 専門 | TOEFL iBTテストはじめてゼミライティングの教科書                                               | ジャパンタイムズ   | 2,100  |

|    |                                                                        |          |       |
|----|------------------------------------------------------------------------|----------|-------|
| 専門 | TOEFL ITPテスト完全制覇                                                       | ジャパンタイムズ | 2,600 |
| 専門 | TOEFLテストボキャブラリー+例文3900 (留学対策シリーズ)                                      | ジャパンタイムズ | 2,900 |
| 専門 | TOEFLテスト完全対策&模試 (TOEFL iBT Testパーフェクト対策シリーズ)                           | ジャパンタイムズ | 1,800 |
| 専門 | 学問分野別TOEFLテストビジュアル英単語                                                  | ジャパンタイムズ | 2,200 |
| 専門 | 同義語とあわせて覚えるTOEFLテスト頻出英単語4000 (TOEFL iBT Testパーフェクト対策シリーズ)              | ジャパンタイムズ | 2,400 |
| 専門 | 〈集中ゼミ〉TOEFL iBTテストライティング統合問題                                           | ティエス企画   | 2,500 |
| 専門 | TOEFL ITPテストリーディング教本: 団体受験, 改訂版 (トフルゼミナールの教本シリーズ)                      | ティエス企画   | 2,000 |
| 専門 | TOEFL ITPテストリスニング教本: 団体受験, 改訂版 (トフルゼミナールの教本シリーズ)                       | ティエス企画   | 2,300 |
| 専門 | TOEFL TEST対策iBT & ITP基礎演習: スコアアップの土台を作る8 STEPS, 新装版                    | ティエス企画   | 2,000 |
| 専門 | TOEFL TEST対策iBTライティング: 表現力を高める175の鉄則, 新版                               | ティエス企画   | 2,500 |
| 専門 | TOEFL TEST対策発音・聞き取りトレーニング: 英語の口と耳を作る20 UNITS, 改訂版                      | ティエス企画   | 1,800 |
| 専門 | TOEFLテストiBT & ITP英単語: ハイスコア獲得のためのRole Playing                          | ティエス企画   | 2,500 |
| 専門 | TOEFLテスト学習法ガイド: iBT100点・ITP600点攻略のための                                  | ティエス企画   | 1,600 |
| 専門 | TOEFLテスト完全英文法: ハイスコア獲得のためのThree Steps                                  | ティエス企画   | 2,500 |
| 専門 | TOEFLテスト集中攻略スピーキング: iBT対策目標スコア80~100点                                  | ティエス企画   | 2,600 |
| 専門 | TOEFLテスト集中攻略リーディング: iBT対策目標スコア80~100点                                  | ティエス企画   | 2,400 |
| 専門 | TOEFLテスト集中攻略リスニング: iBT対策目標スコア80~100点                                   | ティエス企画   | 2,600 |
| 専門 | TOEFLテスト速読速聴トレーニング英検2級レベル                                              | ティエス企画   | 1,800 |
| 専門 | TOEFLテスト速読速聴トレーニング英検準2級レベル                                             | ティエス企画   | 1,800 |
| 専門 | スピーキング・ライティング攻略のためのTOEFL iBTテスト必修フレーズ100                               | ティエス企画   | 2,200 |
| 専門 | ゼロからわかるTOEFL iBTテスト総合対策: この1冊ですべてがわかる完全版 (CD-Book)                     | ティエス企画   | 2,200 |
| 専門 | はじめて受けるTOEFL ITPテスト教本: 団体受験, 改訂版 (トフルゼミナールの教本シリーズ)                     | ティエス企画   | 2,000 |
| 専門 | はじめて受けるTOEFL TEST iBT完全攻略: ゼロからわかるスコアアップ術 (CD-Book)                    | ティエス企画   | 2,200 |
| 専門 | 一気に攻略TOEFL ITPテスト文法                                                    | ティエス企画   | 2,300 |
| 専門 | 毎日ミニ模試TOEFLテストITP: 7日間完全集中プログラム, 増補第2版                                 | ティエス企画   | 2,000 |
| 専門 | TOEFLテスト上級英単語2500 (東進ブックス)                                             | ナガセ      | 2,000 |
| 専門 | TOEFLテスト必修英単語2500 (東進ブックス)                                             | ナガセ      | 2,000 |
| 専門 | TOEFL iBTテスト本番模試 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 8)                                   | 旺文社      | 2,800 |
| 専門 | TOEFL ITPテストリーディング問題攻略 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 4)                             | 旺文社      | 2,000 |
| 専門 | TOEFL ITPテストリスニング問題攻略 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 5)                              | 旺文社      | 2,300 |
| 専門 | TOEFL ITPテスト文法問題攻略, 改訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 3)                            | 旺文社      | 2,000 |
| 専門 | TOEFL ITPテスト本番模試, 改訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 2)                              | 旺文社      | 2,000 |
| 専門 | TOEFLテストライティング問題100, 改訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 7)                           | 旺文社      | 2,100 |
| 専門 | TOEFLテストリーディング問題270, 4訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 4)                           | 旺文社      | 2,100 |
| 専門 | TOEFLテストリスニング問題190, 4訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 5)                            | 旺文社      | 2,400 |
| 専門 | TOEFLテスト英熟語700, 4訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 3)                                | 旺文社      | 1,800 |
| 専門 | TOEFLテスト英単語3800, 4訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 2)                               | 旺文社      | 2,300 |
| 専門 | はじめてのTOEFL ITPテスト完全対策, 改訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 1)                         | 旺文社      | 2,000 |
| 専門 | はじめてのTOEFLテスト完全対策: すべてのセクションに対応, 改訂版 (TOEFLテスト大戦略シリーズ 1)               | 旺文社      | 2,200 |
| 専門 | かなり詳しく学べるTOEFL iBTテスト: 入門編                                             | 河合出版     | 2,000 |
| 専門 | かなり詳しく学べるTOEFL iBTテスト: リーディング・リスニング演習編                                 | 河合出版     | 2,000 |
| 専門 | かなり詳しく学べるTOEFL iBTテスト: スピーキング・ライティング演習編                                | 河合出版     | 2,000 |
| 専門 | はじめて受けるTOEFLテストパーフェクト英単語                                               | 桐原書店     | 2,200 |
| 専門 | TOEFL iBTテスト完全教本: A STRATEGIC GUIDE TO THE TOEFL iBT TEST              | 研究社      | 2,500 |
| 専門 | TOEFL ITPテスト公式テスト問題&学習ガイド (CD BOOK)                                    | 研究社      | 2,800 |
| 専門 | TOEFL iBT TESTオンライン実戦模試: 日本語対訳版                                        | 語研       | 3,600 |
| 専門 | TOEFL ITP TEST 1回分模試: ペーパーテスト式団体受験プログラム                                | 語研       | 1,600 |
| 専門 | TOEFL ITP TESTリスニング完全攻略: ペーパーテスト式団体受験プログラム                             | 語研       | 2,800 |
| 専門 | TOEFL ITP TEST実戦問題集: ペーパーテスト式団体受験プログラム                                 | 語研       | 2,800 |
| 専門 | TOEFL TEST究極単語 (きわめたん) 5000: TOEFL ITP TEST, TOEFL iBT TEST対策          | 語研       | 2,000 |
| 専門 | TOEFL TEST究極単語 (きわめたん) ADVANCED 3000: TOEFL ITP TEST, TOEFL iBT TEST対策 | 語研       | 2,400 |
| 専門 | はじめて受けるTOEFL ITP TEST総合対策: ペーパーテスト式団体受験プログラム                           | 語研       | 2,600 |
| 専門 | 全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題580問: ペーパーテスト式団体受験プログラム                        | 語研       | 2,200 |
| 専門 | 全問正解するTOEFL ITP TEST文法問題対策: ペーパーテスト式団体受験プログラム                          | 語研       | 2,000 |
| 専門 | 頻出テーマではじめてのTOEFLテスト完全攻略                                                | 高橋書店     | 2,300 |
| 専門 | TOEFL TEST最頻出ボキャブラリー完全詳解                                               | 三修社      | 1,800 |
| 専門 | TOEFL TEST模擬試験&「レクチャー問題」リスニング徹底練習300問                                  | 三修社      | 2,500 |
| 専門 | 全セクション対応TOEFL TESTはじめての徹底攻略!                                           | 三修社      | 2,300 |
| 専門 | TOEFL Test iBTリーディング: 実践編                                              | 南雲堂      | 2,200 |



|    |                                                                                    |          |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|
| 専門 | TOEFL iBT TESTスピーキング+ライティング完全攻略 (CD BOOK)                                          | 明日香出版社   | 2,400  |
| 専門 | 奇跡の音(ミラクルリスニング)8000Hz英語聴覚セラピー: ビジネス日常英会話編                                          | きこ書房     | 1,800  |
| 専門 | 入門英語音声学                                                                            | 研究社      | 2,000  |
| 専門 | 英語の文字・綴り・発音のしくみ                                                                    | 研究社      | 2,800  |
| 専門 | スベリングの英語史                                                                          | 早川書房     | 2,700  |
| 専門 | ネイティブ感覚に近づく英語のニュアンス                                                                | 開拓社      | 1,800  |
| 専門 | 英語の意味を極める: 1 名詞・形容詞・副詞編 (一歩進める英語学習・研究ブックス)                                         | 開拓社      | 1,600  |
| 専門 | 英語の意味を極める: 2 動詞・前置詞編 (一歩進める英語学習・研究ブックス)                                            | 開拓社      | 1,600  |
| 専門 | 英語の語彙に与えた外国語の影響                                                                    | 燃焼社      | 2,800  |
| 専門 | 英語辞書マイスターへの道: A Practical Guide to Using English Dictionaries (ちよとまじめに英語を学ぶシリーズ 1) | ひつじ書房    | 1,600  |
| 専門 | 英語の辞書史と語彙史: 方法論的考察                                                                 | 松柏社      | 2,800  |
| 専門 | 英語辞書をつくる: 編集・調査・研究の現場から                                                            | 大修館書店    | 2,500  |
| 専門 | ジョンソンと「国語」辞典の誕生: 十八世紀巨人の名言・金言 (愛知大学文学叢書 19)                                        | 春風社      | 2,500  |
| 専門 | 啓蒙思想下のジョンソン辞書: 知の集成を目指して                                                           | 春風社      | 5,000  |
| 専門 | 和英語林集成の研究                                                                          | 明治書院     | 13,000 |
| 専門 | 英語クラスターハンドブック: 基本単語のつながり用例辞典                                                       | 開拓社      | 3,800  |
| 専門 | 斎藤さんの英和辞典: 響きあう日本語と英語を求めて                                                          | 岩波書店     | 2,200  |
| 専門 | 熟語本位英和辞典: SAITO'S IDIOMOLOGICAL ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY, 新版                    | 岩波書店     | 10,000 |
| 専門 | 日英ことわざ文化事典                                                                         | 丸善出版     | 3,800  |
| 専門 | 英語接辞の魅力: 語彙力を高める単語のメカニズム (開拓社言語・文化選書 39)                                           | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 英単語のいのち                                                                            | 春風社      | 1,800  |
| 専門 | ことわざから探る英米人の知恵と考え方 (開拓社言語・文化選書 74)                                                 | 開拓社      | 2,000  |
| 専門 | 英語定型表現研究: 歴史・方法・実践                                                                 | 開拓社      | 4,000  |
| 専門 | 英語の命令文: 神話と現実                                                                      | くろしお出版   | 2,200  |
| 専門 | 文化の観点から見た文法の日英対照: 時制・相・構文・格助詞を中心に (ひつじ研究叢書 言語編第98巻)                                | ひつじ書房    | 4,800  |
| 専門 | 文化化とイディオム化, 増補 (ひつじ研究叢書 言語編第28巻)                                                   | ひつじ書房    | 5,000  |
| 専門 | 英語の素朴な疑問から本質へ: 文法を作る文法 (開拓社言語・文化選書 55)                                             | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 機能・視点から考える英語のからくり (開拓社言語・文化選書 63)                                                  | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 語と句と名付け機能: 日英語の「形容詞+名詞」形を中心に                                                       | 開拓社      | 3,000  |
| 専門 | 実用英文典                                                                              | 開拓社      | 7,400  |
| 専門 | 新英文法概説: A New Outline of English Grammar                                           | 開拓社      | 3,500  |
| 専門 | 英語語法学の展開: New Aspects of Current English Usage                                     | 関西大学出版部  | 1,800  |
| 専門 | 英語語法学をめざして                                                                         | 関西大学出版部  | 3,200  |
| 専門 | 英語語法詳解: 英語語法学の確立へ向けて                                                               | 三省堂      | 3,800  |
| 専門 | 実践英語文法詳解: 英語力を身につけるための文法入門                                                         | 朝日出版社    | 3,000  |
| 専門 | 英語とはどのような言語か: 英語を効率よく学びたい人のために (阪南大学叢書 99)                                         | 文理閣      | 1,900  |
| 専門 | 文化化する英語 (開拓社言語・文化選書 47)                                                            | 開拓社      | 1,800  |
| 専門 | 文法変化と言語理論                                                                          | 開拓社      | 4,600  |
| 専門 | 文化化と構文化 (ひつじ研究叢書 言語編第104巻)                                                         | ひつじ書房    | 9,200  |
| 専門 | 英語の仕組みと文法のからくり: 語彙・構文アプローチ (開拓社言語・文化選書 34)                                         | 開拓社      | 1,600  |
| 専門 | 関連性モダリティの事象: イントネーションと構文                                                           | 開拓社      | 3,600  |
| 専門 | 英語の呼びかけ語                                                                           | 大阪教育図書   | 2,800  |
| 専門 | 日英対照名詞の意味と構文                                                                       | 大修館書店    | 2,500  |
| 専門 | 英語冠詞の論理: 英語冠詞の体系的理解と使い方                                                            | 一灯舎      | 1,800  |
| 専門 | 英文ライティング「冠詞」自由自在                                                                   | 日刊工業新聞社  | 1,800  |
| 専門 | 英語と日本語における数量表現と関係節の解釈に関する記述的・理論的研究                                                 | 開拓社      | 3,600  |
| 専門 | 英語の仮定法: 仮定法現在を中心に (開拓社叢書 23)                                                       | 開拓社      | 3,300  |
| 専門 | 英語仮定法を洗い直す (開拓社言語・文化選書 64)                                                         | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 時間と言語を考える: 「時制」とはなにか (開拓社言語・文化選書 61)                                               | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 動詞の意味を分解する: 様態・結果・状態の語彙意味論 (開拓社言語・文化選書 71)                                         | 開拓社      | 2,000  |
| 専門 | 意味解釈の中のモダリティ: 上 (開拓社言語・文化選書 72)                                                    | 開拓社      | 2,000  |
| 専門 | 意味解釈の中のモダリティ: 下 (開拓社言語・文化選書 73)                                                    | 開拓社      | 2,000  |
| 専門 | 英語の法助動詞 (開拓社言語・文化選書 49)                                                            | 開拓社      | 1,900  |
| 専門 | 英語副詞配列論: 様態性の尺度と副詞配列の相関 (ひつじ研究叢書 言語編第116巻)                                         | ひつじ書房    | 8,000  |
| 専門 | 英語の前置詞 (開拓社言語・文化選書 31)                                                             | 開拓社      | 1,800  |
| 専門 | 英文創作教室: 英日対訳                                                                       | 研究社      | 2,800  |
| 専門 | 英文校正会社が教える英語論文のミス: 分野別強化編                                                          | ジャパンタイムズ | 2,000  |
| 専門 | 英文校正会社が教える英語論文のミス100                                                               | ジャパンタイムズ | 2,000  |
| 専門 | はじめての英語論文パターン表現&引ける使える文例集, 増補改訂版                                                   | ずばる舎     | 2,400  |

|    |                                                                                                           |                   |       |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------|
| 専門 | Writing for Academic Purposes: 英作文を卒業して英語論文を書く                                                            | ひつじ書房             | 2,000 |
| 専門 | MLA英語論文作成ガイド: 補遺・APA方式                                                                                    | 英光社               | 2,300 |
| 専門 | アカデミックライティング入門: 英語論文作成法, 第2版                                                                              | 慶應義塾大学出版会         | 2,000 |
| 専門 | シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル                                                                                       | 慶應義塾大学出版会         | 8,000 |
| 専門 | 英語論文の書き方入門: ACADEMIC WRITING                                                                              | 慶應義塾大学出版会         | 2,000 |
| 専門 | 英文ライティングと引用の作法: 盗用と言われないための英文指導                                                                           | 研究社               | 2,200 |
| 専門 | 英語論文基礎表現717                                                                                               | 三修社               | 1,600 |
| 専門 | 英語論文重要語彙717                                                                                               | 三修社               | 3,200 |
| 専門 | 英語論文数字表現717                                                                                               | 三修社               | 1,700 |
| 専門 | 基本例文200で学ぶ英語論文表現: アウトプット練習問題集                                                                             | 三修社               | 1,600 |
| 専門 | MLAハンドブック                                                                                                 | 秀和システム            | 2,800 |
| 専門 | 最新英語論文によく使う表現: 基本編                                                                                        | 創元社               | 2,400 |
| 専門 | 大学生のためのアカデミック英文ライティング: 検定試験対策から英文論文執筆まで                                                                   | 大修館書店             | 1,700 |
| 専門 | ことばの仕組みから学ぶ和文英訳のコツ (開拓社言語・文化選書 46)                                                                        | 開拓社               | 1,800 |
| 専門 | 英文読解術: 東大名誉教授と名作・モームの『物知り博士』で学ぶ                                                                           | DHC               | 1,600 |
| 専門 | 英文翻訳術: 東大名誉教授と名作・モームの『大佐の奥方』を訳す                                                                           | DHC               | 2,000 |
| 専門 | 誤訳をしないための翻訳英和辞典+22のテクニック, 改訂増補版                                                                           | DHC               | 1,700 |
| 専門 | はじめての映像翻訳: 英語力を「伸ばす!」英日英字幕&吹き替え演習48                                                                       | アルク               | 1,800 |
| 専門 | 翻訳スキルハンドブック: 英日翻訳を中心に (アルクはたらく×英語)                                                                        | アルク               | 2,100 |
| 専門 | 英語文章読本: How English Works                                                                                 | 研究社               | 2,000 |
| 専門 | 英和翻訳基本辞典: The English-Japanese Basic Translation Dictionary                                               | 研究社               | 2,800 |
| 専門 | 英文を読み解き訳す: 出版翻訳デビューの手ほどき                                                                                  | 三省堂               | 2,500 |
| 専門 | 翻訳の布石と定石: 実務翻訳プロへの道                                                                                       | 三省堂               | 2,600 |
| 専門 | 誤訳ゼロトレーニング: Professional Guide for Translators: how to avoid mistakes and upgrade your translation skills | 秀和システム            | 1,800 |
| 専門 | 誤訳の常識                                                                                                     | 聖文新社              | 1,600 |
| 専門 | 誤訳の典型                                                                                                     | 聖文新社              | 1,600 |
| 専門 | 本格派のための「英文解釈」道場                                                                                           | 大修館書店             | 2,200 |
| 専門 | 本格派のための「英文解釈」道場: 続                                                                                        | 大修館書店             | 2,000 |
| 専門 | 翻訳力錬成テキストブック: 英文を一点の曇りなく読み解く, 決定版                                                                         | 日外アソシエーツ          | 9,800 |
| 専門 | 英語リプロダクショントレーニング: English Reproduction Training: ビジネス編 通訳メンソッドから「確実に話せる!」を実感できる! (CD BOOK)                | DHC               | 1,900 |
| 専門 | つぶやき英語: ビジネス編 短い言葉で仕事や会社のことを伝える900表現                                                                      | アスク出版             | 1,900 |
| 専門 | プライベートレッスン形式で学ぶ成功する英語プレゼン: はじめてでもこわくない!                                                                   | コスモビア             | 2,200 |
| 専門 | 英会話1000本ノック: ビジネス編 会話のマナーからプレゼンテクニックまで                                                                    | コスモビア             | 2,000 |
| 専門 | 英会話超リアルパターン500+: パターンを知れば英語は話せる!: ビジネス編                                                                   | コスモビア             | 1,800 |
| 専門 | 相手を動かす英語プレゼンテーション: 今の英語力で最高のパフォーマンスをする!                                                                   | コスモビア             | 1,900 |
| 専門 | 日常会話の英語ディスカッション                                                                                           | ベレ出版              | 1,600 |
| 専門 | 英語のプレゼンテーション: スキルアップ術                                                                                     | 研究社               | 1,800 |
| 専門 | 6ステップでだれでもできる! プロの英語プレゼン                                                                                  | 中央経済社             | 1,800 |
| 専門 | 英語会議の基本ステップ: 15のトピックでシンプルに学ぶ                                                                              | 中央経済社             | 2,200 |
| 専門 | リン・スタートアップを駆使する企業                                                                                         | 日経BP社             | 2,000 |
| 専門 | 起業の科学 スタートアップサイエンス                                                                                        | 日経BP社             | 2,300 |
| 専門 | イノベーションのジレンマ 増補改訂版                                                                                        | 翔泳社               | 2,000 |
| 専門 | キヤズム Ver.2 増補改訂版                                                                                          | 翔泳社               | 2,000 |
| 専門 | 大学での学びをアクティブにする アカデミック・スキル入門                                                                              | 有斐閣               | 1,700 |
| 専門 | ゼミで学ぶスタディスキル [第3版]                                                                                        | 北樹出版              | 1,900 |
| 専門 | 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 4                                                                       | 国際ビジネスコミュニケーション協会 | 2,800 |
| 専門 | 大学生のためのキャリアデザイン入門                                                                                         | 有斐閣               | 1,800 |
| 専門 | キャリアデザイン学への招待                                                                                             | ナカニシヤ出版           | 2,200 |
| 専門 | キャリアデザイン入門Ⅱ基礎力編 第2版                                                                                       | 日本経済新聞出版社         | 860   |
| 専門 | TOEIC Speaking & Writing 公式 テストの解説と練習問題                                                                   | 国際ビジネスコミュニケーション協会 | 2,800 |
| 専門 | キャリアアップのための戦略論                                                                                            | 日本経済新聞出版社         | 860   |
| 専門 | なぜ部下はリーダーの足を引っ張るのか                                                                                        | ずばる舎              | 1,400 |
| 専門 | 仕事の哲学                                                                                                     | ダイヤモンド社           | 1,400 |
| 専門 | コンピュータはなぜ動くのか〜知っておきたいハードウェア&ソフトウェアの基礎知識〜                                                                  | 日経BP社             | 2,400 |
| 専門 | プログラムはなぜ動くのか 第2版 知っておきたいプログラムの基礎知識                                                                        | 日経BP社             | 2,400 |
| 専門 | アルゴリズムとデータ構造                                                                                              | 数理工学社             | 1,700 |
| 専門 | MacBook マスターブック macOS Mojave対応版                                                                           | マイナビ出版            | 1,680 |
| 専門 | Pages・Numbers・Keynote マスターブック                                                                             | マイナビ出版            | 2,280 |
| 専門 | 入門者の Linux                                                                                                | 講談社               | 1,160 |

|    |                                                             |                  |       |
|----|-------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | macOS コマンド入門                                                | 技術評論社            | 2,600 |
| 専門 | 応用事例とイラストでわかる離散数学                                           | 共立出版             | 2,400 |
| 専門 | コンピュータアーキテクチャ(電子情報通信レクチャーシリーズ)                              | コロナ社             | 2,700 |
| 専門 | コンピュータの構成と設計 第5版 上                                          | 日経BP社            | 4,200 |
| 専門 | コンピュータの構成と設計 第5版 下                                          | 日経BP社            | 4,200 |
| 専門 | iPhone のすごい中身                                               | 日本実業出版社          | 1,800 |
| 専門 | ジャイロセンサ技術                                                   | 東京電機大学出版局        | 2,600 |
| 専門 | わかりやすいGPS測量                                                 | オーム社             | 2,500 |
| 専門 | カオス時系列解析の基礎と応用                                              | 産業図書             | 3,700 |
| 専門 | 情報工学のための離散数学入門                                              | 数理工学社            | 1,700 |
| 専門 | 初等離散数学                                                      | 森北出版             | 1,800 |
| 専門 | データ解析のための統計モデリング入門                                          | 岩波書店             | 3,800 |
| 専門 | デジカメの画像処理                                                   | オーム社             | 3,000 |
| 専門 | フリーソフトでつくる音声認識システム(第2版)                                     | 森北出版             | 3,400 |
| 専門 | これなら分かる最適化数学-基礎原理から計算手法まで                                   | 共立出版             | 2,900 |
| 専門 | 数理計画法                                                       | オーム社             | 2,800 |
| 専門 | 組合せ最適化-メタ戦略を中心として                                           | 朝倉書店             | 4,800 |
| 専門 | 詳解 ディープラーニング                                                | マイナビ出版           | 3,400 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド1                                          | アドコム・メディア        | 1,905 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド2                                          | アドコム・メディア        | 1,905 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド3                                          | アドコム・メディア        | 1,905 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド4                                          | アドコム・メディア        | 1,905 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド5                                          | アドコム・メディア        | 1,429 |
| 専門 | コンピュータビジョン 最先端ガイド6                                          | アドコム・メディア        | 1,905 |
| 専門 | デジタル画像処理 [改訂新版]                                             | 画像情報教育振興協会       | 3,900 |
| 専門 | 【経営学イノベーション】1 経営学入門(第2版)                                    | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | 11からの経営学(第2版)                                               | 碩学舎              | 2,400 |
| 専門 | 技術マネジメント入門                                                  | 日本経済新聞出版社        | 830   |
| 専門 | コア・テキスト イノベーション・マネジメント                                      | 新世社              | 2,980 |
| 専門 | 起業したらまっさきに読む経営の本 新装版                                        | クロスメディア・パブリッシング  | 1,680 |
| 専門 | 新・現代会計入門 第3版                                                | 日本経済新聞出版社        | 3,500 |
| 専門 | ビジネススクールで教える経営分                                             | 日本経済新聞出版社        | 860   |
| 専門 | 武器としての会計思考力 会社の数字をどのように戦略に活用するか?                            | 日本実業出版社          | 1,700 |
| 専門 | グループディスカッションで学ぶ 社会学トレーニング                                   | 三省堂              | 1,600 |
| 専門 | 自分で調べる技術-市民のための調査入門                                         | 岩波書店             | 760   |
| 専門 | 社会科学の考え方-認識論、リサーチ・デザイン、手法                                   | 名古屋大学出版          | 3,600 |
| 専門 | 投資と金融が分かりたい人のための ファイナンス理論入門                                 | CCC メディアハウス      | 1,800 |
| 専門 | 起業のエクイティ・ファイナンス-経済革命のための株式と契約                               | ダイヤモンド社          | 3,600 |
| 専門 | 起業のファイナンス 増補改訂                                              | 日本実業出版社          | 2,300 |
| 専門 | 技術マネジメント入門                                                  | 日本経済新聞出版社        | 830   |
| 専門 | コア・テキスト生産管理                                                 | 新世社              | 2,400 |
| 専門 | 一流ビジネススクールで教える デジタル・シフト戦略 テクノロジーを武器にするために必要な変革              | ダイヤモンド社          | 2,800 |
| 専門 | オープン・イノベーションの教科書-社外の技術でビジネスをつくる実践ステップ                       | ダイヤモンド社          | 1,800 |
| 専門 | 世界のビジネスリーダーがいまアートを学んでいること                                   | クロスメディア・パブリッシング  | 1,780 |
| 専門 | 図解で学ぶゲーム理論入門                                                | 日本能率協会マネジメントセンター | 1,500 |
| 専門 | ゲーム理論・入門 新版-人間社会の理解のために                                     | 有斐閣              | 1,900 |
| 専門 | トヨタ方式リーダー育成法                                                | 日本経済新聞出版社        | 1,400 |
| 専門 | ワークショップ-新しい学びと創造の場                                          | 岩波書店             | 820   |
| 専門 | ファンリテーターの道具箱-組織の問題解決に使えるパワーツール 49                           | ダイヤモンド社          | 1,429 |
| 専門 | 『MAKE SPACE メイクスペース スタンフォード大学 d スクールが実践する創造性を最大化する「場」の つくり方 | CCC メディアハウス      | 3,600 |
| 専門 | すぐやる人だけがチャンスを手に入れる                                          | ぱる出版             | 1,300 |
| 専門 | Amazon Web Services 基礎からのネットワーク&サーバー構築 改訂版                  | 日経BP社            | 2,700 |
| 専門 | 絵で見てわかるクラウドインフラと API の仕組み                                   | 翔泳社              | 2,580 |
| 専門 | Hadoop 徹底入門 第2版オープンソース分散処理環境の構築                             | 翔泳社              | 3,800 |
| 専門 | HBase 徹底入門 Hadoop クラスタによる高速データベースの実現                        | 翔泳社              | 3,980 |
| 専門 | デジタルの未来 事業の存続をかけた変革戦略                                       | 日本経済新聞出版社        | 2,000 |
| 専門 | スクラム実践入門-成果を生み出すアジャイルな開発プロセス                                | 技術評論社            | 2,580 |
| 専門 | 新興国投資戦略                                                     | 東洋経済新報社          | 1,600 |
| 専門 | イノベーションは新興国に学べ!-カネをかせげず、シンプルであるほど増大する破壊力                    | 日本経済新聞出版社        | 1,900 |

|    |                                                                |                  |       |
|----|----------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 専門 | 金融情報システムのリスクマネジメント大規模開発から FinTech まで 6 観点(CORE-OQ)の戦略的活用       | 日科技連出版社          | 2,800 |
| 専門 | FinTech 入門                                                     | 日経BP社            | 1,600 |
| 専門 | 企業のためのフィンテック入門                                                 | 幻冬舎メディアコンサルティング  | 1,600 |
| 専門 | 深層学習 Deep Learning(監修:人工知能学会)                                  | 近代科学社            | 3,500 |
| 専門 | 機械学習のための連続最適化                                                  | 講談社              | 3,200 |
| 専門 | これなら分かる最適化数学-基礎原理から計算手法まで                                      | 共立出版             | 2,900 |
| 専門 | 起業の科学 スタートアップ・サイエンス                                            | 日経BP社            | 2,300 |
| 専門 | Lean UX 第2版 -アジャイルなチームによるプロダクト開発 (THE LEAN SERIES)             | オライリージャパン        | 2,500 |
| 専門 | ビジュナリー・カンパニー -時代を超える生存の原則                                      | 日経BP社            | 1,942 |
| 専門 | リーンプランディング -リーンスタートアップによるブランド構築 (THE LEAN SERIES)              | オライリージャパン        | 3,000 |
| 専門 | ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか                                        | NHK 出版           | 1,600 |
| 専門 | 経営戦略原論                                                         | 東洋経済新報社          | 2,000 |
| 専門 | コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法                                         | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 2,400 |
| 専門 | イノベーションの DNA 破壊的イノベータの 5 つのスキル (Harvard Business School Press) | 翔泳社              | 2,000 |
| 専門 | トラクション スタートアップが顧客をつかむ 19 のチャネル                                 | オライリージャパン        | 2,200 |
| 専門 | 経営戦略原論                                                         | 東洋経済新報社          | 2,000 |
| 専門 | コンサルを超える 問題解決と価値創造の全技法                                         | ディスカヴァー・トゥエンティワン | 2,400 |
| 専門 | イノベーションの DNA 破壊的イノベータの 5 つのスキル (Harvard Business School Press) | 翔泳社              | 2,000 |
| 専門 | HIGH OUTPUT MANAGEMENT-人を育て、成果を最大にするマネジメント                     | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント                         | 新潮社              | 1,700 |
| 専門 | Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール                              | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた                            | 講談社              | 1,500 |
| 専門 | STARTUP(スタートアップ):アイデアから利益を生み出す組織マネジメント                         | 新潮社              | 1,700 |
| 専門 | Y コンビネーター シリコンバレー最強のスタートアップ養成スクール                              | 日経BP社            | 1,800 |
| 専門 | スタートアップ・バイブル シリコンバレー流・ベンチャー企業のつくりかた                            | 講談社              | 1,500 |
| 専門 | やさしい Java 第7版                                                  | SB クリエイティブ       | 2,580 |
| 専門 | スッキリわかる Java 入門 第2版                                            | インプレス            | 2,600 |
| 専門 | やさしい Java 第7版                                                  | SB クリエイティブ       | 2,580 |
| 専門 | スッキリわかる Java 入門実践編 第2版                                         | インプレス            | 2,800 |
| 専門 | マスタリング TCP/IP 入門編 第5版                                          | オーム社             | 2,200 |
| 専門 | コンピュータネットワーク 第5版                                               | 日経BP社            | 8,000 |
| 専門 | プロフェッショナル IPv6                                                 | ラムダノート           | 5,000 |
| 専門 | プロになるための Web 技術入門-なぜ、あなたは Web システムを開発できないのか                    | 技術評論社            | 2,280 |
| 専門 | Web サーバを作りながら学ぶ 基礎からの Web アプリケーション開発入門                         | 技術評論社            | 2,680 |
| 専門 | 体系的に学ぶ 安全な Web アプリケーションの作り方 第2版 脆弱性が生まれる原理と対策の実践               | SB クリエイティブ       | 3,200 |
| 専門 | ソフトウェア工学の基礎                                                    | 岩波書店             | 4,200 |
| 専門 | UML モデリング入門                                                    | 日経BP社            | 2,400 |
| 専門 | データベース : 基礎からネット社会での応用まで(情報工学テキストシリーズ)                         | 共立出版             | 2,500 |
| 専門 | UX デザインの教科書                                                    | 丸善出版             | 3,000 |
| 専門 | ノンデザイナーズ・デザインブック第4版                                            | マイナビ出版           | 2180  |
| 専門 | Web エンジニアの教科書                                                  | シーアンドアール研究所      | 2,000 |
| 専門 | Web を支える技術 -HTTP、URI、HTML、そして REST                             | 技術評論社            | 2,570 |
| 専門 | 実例で学ぶソフトウェア開発                                                  | オーム社             | 2,800 |
| 専門 | プロフェッショナル要件定義の教科書                                              | 中央経済社            | 2,400 |
| 専門 | システム設計のセオリー -ユーザー要求を正しく実装へつなぐ                                  | リックテレコム          | 3,300 |
| 専門 | プロジェクトマネジメントの基本 この1冊ですべてわかる                                    | 日本実業出版社          | 1,800 |
| 専門 | 図解入門よくわかる 最新 PMBOK 第6版の基本                                      | 秀和システム           | 2,400 |
| 専門 | 実務で役立つ WBS 入門                                                  | 翔泳社              | 2,200 |
| 専門 | モチベーション 3.0 単行本                                                | 講談社              | 1,800 |
| 専門 | さあ、才能(じぶん)に目覚めよう 新版<ストレングス・ファインダー2.0>                          | 日本経済新聞出版社        | 1,800 |
| 専門 | サービスデザインの教科書:共創するビジネスのつくりかた                                    | エヌティティ出版         | 2,700 |
| 専門 | ソフトウェア品質知識体系ガイド-SQuBOK Guide(第2版)                              | オーム社             | 4,000 |
| 専門 | 動かないコンピュータ~情報システムに見る失敗の研究~                                     | 日経BP社            | 1,500 |
| 専門 | イノベーションを確実に遂行する 実践プログラムマネジメント                                  | 日刊工業新聞社          | 2,000 |
| 専門 | SECBOOKS 共通フレーム 2013                                           | 独立行政法人情報処理推進機構   | 1,429 |
| 専門 | データドリブンマーケティング                                                 | ダイヤモンド社          | 2,800 |
| 専門 | 数字思考力 x Excel でマーケティングの成果を上げる本                                 | 翔泳社              | 1,600 |
| 専門 | 改訂2版 データサイエンティスト養成読本 [プロになるためのデータ分析力が身につく!]                    | 技術評論社            | 1,980 |
| 専門 | データ分析基盤構築入門[Fluentd、Elasticsearch、Kibana によるログ収集と可視化]          | 技術評論社            | 2,980 |

|    |                                                |               |       |
|----|------------------------------------------------|---------------|-------|
| 専門 | M2M/IoT 教科書                                    | インプレス         | 4,700 |
| 専門 | IoT の基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書                      | SB クリエイティブ    | 2,300 |
| 専門 | スーパーコンピュータ(岩波講座 計算科学 別巻)                       | 岩波書店          | 950   |
| 専門 | 俯瞰図から見える IoT で激変する日本型製造業ビジネスモデル                | 日刊工業新聞社       | 2,000 |
| 専門 | 大胆予測! IoT が生み出すモノづくり市場 2025                    | 日刊工業新聞社       | 1,800 |
| 専門 | マスタリング TCP/IP 入門編 第 5 版                        | オーム社          | 2,200 |
| 専門 | インターネットルーティング入門 第 3 版                          | 翔泳社           | 2,600 |
| 専門 | 情報セキュリティプロフェッショナル教科書                           | アスキー・メディアワークス | 4,700 |
| 専門 | サイバーセキュリティ 2020 脅威の近未来予測                       | インプレス R&D     | 2,000 |
| 専門 | マスタリング TCP/IP ルーティング編                          | オーム社          | 2,400 |
| 専門 | インターネットルーティング入門 第 3 版                          | 翔泳社           | 2,600 |
| 専門 | CSIRT:構築から運用まで                                 | エヌティティ出版      | 3,400 |
| 専門 | すべてわかるセキュリティ大全 2018                            | 日経BP社         | 2,800 |
| 専門 | マスタリング TCP/IP ルーティング編                          | オーム社          | 2,400 |
| 専門 | インターネットルーティング入門 第 3 版                          | 翔泳社           | 2,600 |
| 専門 | ゼロからわかる UML 超入門改訂 2 版 はじめてのモデリング               | 技術評論社         | 2,180 |
| 専門 | IT アーキテクト 最強の指南書                               | 日経BP社         | 2400  |
| 専門 | サイバーセキュリティテスト完全ガイド ~Kali Linux によるペネトレーションテスト~ | マイナビ出版        | 3380  |
| 専門 | 1500 語で通じる非ネイティブ英語 グロービッシュ入門                   | 中経出版          | 1,500 |
| 専門 | 大学生のためのアカデミック英文ライティング:検定試験対策から英文論文執筆まで         | 大修館書店         | 1,700 |
| 専門 | 通訳の技術                                          | 研究社           | 2,200 |
| 専門 | 対デジタル・ディスラプター戦略 既存企業の戦い方                       | 日本経済新聞出版社     | 2,000 |
| 専門 | the four GAFA 四騎士が創り変えた世界                      | 東洋経済新報社       | 1,800 |



## 【洋書】一般図書

| 科目区分 | 書名詳細                                                                                                                                                                  | 出版社                     | 価格     |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|--------|
| 一般   | A Global History of Modern Historiography, 2nd ed.                                                                                                                    | Routledge               | 6,667  |
| 一般   | A History of East Asia: From the Origins of Civilization to the Twenty-First Century, 2nd ed.                                                                         | Cambridge U.P.          | 4,504  |
| 一般   | A Little History of Religion (Little Histories)                                                                                                                       | Yale U.P.               | 1,998  |
| 一般   | A Student's Dictionary of Psychology and Neuroscience, 6th ed.                                                                                                        | Routledge               | 2,702  |
| 一般   | American Literature in the World – An Anthology from Anne Bradstreet to Octavia Butler                                                                                | Columbia U.P.           | 5,329  |
| 一般   | Ancient Civilizations, 4th ed.                                                                                                                                        | Routledge               | 19,829 |
| 一般   | Critical Thinking: The Basics (The Basics)                                                                                                                            | Routledge               | 2,882  |
| 一般   | Debating Modern Revolution: The Evolution of Revolutionary Ideas (Debates in World History)                                                                           | Bloomsbury Academic     | 2,702  |
| 一般   | Dictionary of Languages: The Definitive Reference to More Than 400 Languages                                                                                          | Columbia U.P.           | 3,590  |
| 一般   | Discovering Psychology, 7th ed.                                                                                                                                       | Worth Pub.              | 15,588 |
| 一般   | Eastern Europe since 1945, 5th ed.                                                                                                                                    | Palgrave Macmillan      | 4,675  |
| 一般   | English Literature in Context, 2nd ed.                                                                                                                                | Cambridge U.P.          | 13,517 |
| 一般   | Ethics: The Basics, 2nd Edition, 2nd ed.                                                                                                                              | Wiley-Blackwell         | 3,990  |
| 一般   | European Literary History: An Introduction                                                                                                                            | Routledge               | 5,946  |
| 一般   | Everyday Ethics: A Case Study Analysis                                                                                                                                | Routledge               | 7,389  |
| 一般   | Excursions in World Music, 7th ed.                                                                                                                                    | Routledge               | 21,631 |
| 一般   | Explorations in History and Globalization                                                                                                                             | Routledge               | 5,225  |
| 一般   | Exploring Psychology in Modules, 10th ed.                                                                                                                             | Worth Pub.              | 14,614 |
| 一般   | Fundamentals of Geomorphology, 4th ed. (Routledge Fundamentals of Physical Geography)                                                                                 | Routledge               | 10,362 |
| 一般   | Global Ethics: An Introduction, 2nd ed.                                                                                                                               | Polity Press            | 9,319  |
| 一般   | Global Ethics, 2nd ed.                                                                                                                                                | Polity Press            | 3,590  |
| 一般   | Global History and New Polycentric Approaches: Europe, Asia and the Americas in a World Network System, 1st ed. 2018 (Palgrave Studies in Comparative Global History) | Palgrave Macmillan      | 4,365  |
| 一般   | Globalization in World History, 2nd ed. (Themes in World History)                                                                                                     | Routledge               | 5,586  |
| 一般   | Historical Dictionary of the Cold War, 2nd ed. (Historical Dictionaries of War, Revolution, and Civil Unrest)                                                         | Rowman & Littlefield    | 15,821 |
| 一般   | History: An Introduction to Theory, Method and Practice, 2nd ed.                                                                                                      | Routledge               | 4,504  |
| 一般   | History of the Middle Ages 300pb, 2nd ed.                                                                                                                             | Rowman & Littlefield    | 11,491 |
| 一般   | How to Begin Studying English Literature, 4th ed. (Palgrave Study Skills)                                                                                             | Palgrave Macmillan      | 3,584  |
| 一般   | Human Geography: Here and Now.                                                                                                                                        | Edward Elgar            | 9,004  |
| 一般   | Introducing Japanese Religion, 2nd ed. (World Religions)                                                                                                              | Routledge               | 5,586  |
| 一般   | Journey into Philosophy: An Introduction with Classic and Contemporary Readings                                                                                       | Routledge               | 8,470  |
| 一般   | Key Methods in Geography, 3rd ed.                                                                                                                                     | Sage Pub.               | 6,307  |
| 一般   | Languages of the World, 2nd ed.                                                                                                                                       | Cambridge U.P.          | 14,419 |
| 一般   | Linguistics: An Introduction to Language and Communication, 7th ed.                                                                                                   | The MIT Press           | 16,654 |
| 一般   | Literary Analysis: The Basics (The Basics)                                                                                                                            | Routledge               | 2,882  |
| 一般   | Modern Britain, 1750 to the Present (Cambridge History of Britain, Vol. 4)                                                                                            | Cambridge U.P.          | 4,144  |
| 一般   | Music Fundamentals: A Balanced Approach, 3rd ed.                                                                                                                      | Routledge               | 13,517 |
| 一般   | Philosophy of Religion: A Contemporary Introduction, 2nd ed. (Routledge Contemporary Introductions to Philosophy)                                                     | Routledge               | 6,487  |
| 一般   | Psychology, 4th ed./IE.                                                                                                                                               | Worth Pub.              | 12,665 |
| 一般   | Psychology in Everyday Life, 4th ed.                                                                                                                                  | Worth Pub.              | 17,537 |
| 一般   | Psychology: A Complete Introduction (Complete Introduction)                                                                                                           | Hodder Education        | 2,341  |
| 一般   | South Asia in World History (New Oxford World History)                                                                                                                | Oxford U.P., New York   | 2,658  |
| 一般   | The Atlantic in Global History: 1500–2000, 2nd ed.                                                                                                                    | Routledge               | 6,307  |
| 一般   | The Norton Introduction to Philosophy, 2nd ed.                                                                                                                        | W.W. Norton & Co., Inc. | 11,491 |
| 一般   | The Oxford Dictionary of Philosophy, 3rd ed. (Oxford Quick Reference)                                                                                                 | Oxford U.P.             | 2,161  |
| 一般   | The Oxford Handbook of the Victorian Novel (Oxford Handbooks)                                                                                                         | Oxford U.P.             | 5,407  |
| 一般   | The Oxford Illustrated History of Modern China (Oxford Illustrated History)                                                                                           | Oxford U.P.             | 4,506  |
| 一般   | Thinking Philosophically: An Introduction to the Great Debates                                                                                                        | Wiley                   | 3,990  |
| 一般   | Understanding Art, 11th ed. (Mindtap Course List)                                                                                                                     | Cengage Learning        | 34,634 |
| 一般   | What Is the Argument? – An Introduction to Philosophical Argument and Analysis                                                                                        | The MIT Press           | 7,727  |

|    |                                                                                                            |                                     |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 一般 | World Prehistory: A Brief Introduction, 9th ed.                                                            | Routledge                           | 16,402 |
| 一般 | A Contemporary Introduction to Sociology: Culture and Society in Transition, 3rd ed.                       | Routledge                           | 16,041 |
| 一般 | American Government and Politics Today, Brief, 10th ed.                                                    | Wadsworth                           | 18,811 |
| 一般 | American Politics and Society, 9th ed.                                                                     | Wiley-Blackwell                     | 7,321  |
| 一般 | An Introduction to African Politics, 4th ed.                                                               | Routledge                           | 19,829 |
| 一般 | An Introduction to International Relations, 3rd ed.                                                        | Cambridge U.P.                      | 9,011  |
| 一般 | Beginning Constitutional Law, 2nd ed. (Beginning the Law)                                                  | Routledge                           | 4,144  |
| 一般 | British Politics, 3rd ed.                                                                                  | Palgrave Macmillan                  | 6,234  |
| 一般 | China in the 21st Century: What Everyone Needs to Know, 3rd ed. (What Everyone Needs to Know)              | Oxford U.P., New York               | 2,258  |
| 一般 | Comparative Politics of Southeast Asia: An Introduction to Governments and Political Regimes, 1st ed. 2018 | Springer International Publishing   | 11,691 |
| 一般 | Contemporary Economics: An Applications Approach, 8th ed.                                                  | Routledge                           | 7,569  |
| 一般 | Contemporary India (The Basics)                                                                            | Routledge                           | 2,702  |
| 一般 | Contemporary Society: An Introduction to Social Science, 14th ed.                                          | Routledge                           | 20,730 |
| 一般 | Economic Literacy: Basic Economics with an Attitude, 4th ed.                                               | Rowman & Littlefield                | 6,162  |
| 一般 | Economics, 5th ed.                                                                                         | Worth Pub.                          | 10,911 |
| 一般 | Economics                                                                                                  | Oxford U.P.                         | 4,504  |
| 一般 | Essential Concepts in Sociology, 2nd ed.                                                                   | Polity Press                        | 3,324  |
| 一般 | Essentials of Economics, 4th ed.                                                                           | Worth Pub.                          | 14,614 |
| 一般 | Essentials of Sociology, 6th ed.                                                                           | W.W. Norton & Co., Inc.             | 14,622 |
| 一般 | European Union Politics, 5th ed.                                                                           | Oxford U.P.                         | 5,946  |
| 一般 | Foundations of Economics, 4th ed.                                                                          | Oxford U.P.                         | 8,290  |
| 一般 | How the Law Works, 4th ed.                                                                                 | Routledge                           | 4,504  |
| 一般 | Human Rights: A Primer, 2nd ed.                                                                            | Routledge                           | 4,685  |
| 一般 | Introduction to Global Politics, 3rd ed.                                                                   | Routledge                           | 6,487  |
| 一般 | Introduction to Law, 2nd ed.                                                                               | Springer International Publishing   | 10,132 |
| 一般 | Japanese Politics and Government                                                                           | Routledge                           | 6,307  |
| 一般 | Law and Society: An Introduction, 2nd ed.                                                                  | Routledge                           | 12,075 |
| 一般 | Political Science: A Global Perspective                                                                    | Sage Pub.                           | 5,406  |
| 一般 | Politics Latin America, 3rd ed.                                                                            | Routledge                           | 9,552  |
| 一般 | Principles of Economics, 8th ed. (Mankiw's Principles of Economics)                                        | Cengage Learning                    | 36,000 |
| 一般 | Sociology: The Basics, 2nd ed. (The Basics)                                                                | Routledge                           | 3,423  |
| 一般 | The Economy                                                                                                | Oxford U.P.                         | 7,208  |
| 一般 | A Beginner's Further Guide to Mathematical Logic                                                           | World Scientific                    | 3,197  |
| 一般 | A First Course in Engineering Drawing, 1st ed. 2018                                                        | Springer Singapore                  | 14,614 |
| 一般 | A Modern Course in University Physics: Optics, Thermal Physics, Modern Physics                             | World Scientific                    | 15,721 |
| 一般 | A Student's Guide to Infinite Series and Sequences (Student's Guides)                                      | Cambridge U.P.                      | 3,242  |
| 一般 | An Introduction to Molecular Ecology, 3rd ed.                                                              | Oxford U.P.                         | 7,389  |
| 一般 | Atkins' Physical Chemistry, 11th ed.                                                                       | Oxford U.P.                         | 7,600  |
| 一般 | Basic Electronics: Principles and Applications                                                             | Cambridge U.P.                      | 13,517 |
| 一般 | Biochemistry and Molecular Biology, 6th ed.                                                                | Oxford U.P.                         | 7,208  |
| 一般 | Biology: A Global Approach, 11th ed./Global ed.                                                            | Pearson Education                   | 7,994  |
| 一般 | Biotechnology: An Illustrated Primer, 2nd ed.                                                              | Wiley-VCH                           | 10,658 |
| 一般 | Biotechnology and Society – An Introduction                                                                | University of Chicago Press         | 10,170 |
| 一般 | Brown's Introduction to Organic Chemistry, 6th ed. / Global ed.                                            | Wiley                               | 9,060  |
| 一般 | CRC Handbook of Chemistry and Physics, 98th ed.                                                            | CRC Press                           | 26,318 |
| 一般 | Ecology, 4th ed.                                                                                           | Sinauer Associates, Inc. Publishers | 19,978 |
| 一般 | Electrical and Electronic Principles and Technology, 6th ed.                                               | Routledge                           | 26,138 |
| 一般 | Engineering Chemistry: Fundamentals and Applications                                                       | Cambridge U.P.                      | 14,419 |
| 一般 | Environment                                                                                                | W.H. Freeman and Company            | 12,665 |
| 一般 | Environmental Science and Technology: Concepts and Applications, 3rd ed.                                   | Bernan                              | 21,650 |
| 一般 | Exploring Mathematics: Problem-Solving and Proof, 1st ed. 2018 (Springer Undergraduate Mathematics Series) | Springer International Publishing   | 5,455  |

|    |                                                                                                           |                                                     |        |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|
| 一般 | Fundamentals of Environmental Studies                                                                     | Cambridge U.P.                                      | 9,912  |
| 一般 | Genetics: A Conceptual Approach, 6th ed.                                                                  | W.H. Freeman and Company                            | 11,691 |
| 一般 | Geosystems Core                                                                                           | Pearson Education (Prentice Hall USA)               | 16,681 |
| 一般 | How Structures Work: Design and Behaviour from Bridges to Buildings, 2nd ed.                              | Wiley-Blackwell                                     | 7,994  |
| 一般 | Inorganic Chemistry: From Periodic Classification to Crystals                                             | International Scientific and Technical Encyclopedia | 23,316 |
| 一般 | Introduction to Engineering: An Assessment and Problem Solving Approach (100 Cases)                       | CRC Press                                           | 16,582 |
| 一般 | Lehninger Principles of Biochemistry, 7th ed./IE.                                                         | W.H. Freeman and Company                            | 13,250 |
| 一般 | Making Sense of Genes                                                                                     | Cambridge U.P.                                      | 4,504  |
| 一般 | Molecular Biotechnology: Principles and Applications of Recombinant DNA, 5th ed.                          | American Society for Microbiology                   | 19,107 |
| 一般 | Organic Chemistry As a Second Language: First Semester Topics, 4th ed.                                    | Wiley                                               | 7,587  |
| 一般 | Physical Chemistry Essentials, 1st ed. 2018                                                               | Springer International Publishing                   | 7,793  |
| 一般 | Power Electronics: Circuit Analysis and Design, 2nd ed.                                                   | Springer International Publishing                   | 19,486 |
| 一般 | Pratt's Essential Biochemistry, Global ed.                                                                | Wiley                                               | 9,060  |
| 一般 | Problems and Solutions in University Physics: Optics, Thermal Physics, Modern Physics                     | World Scientific                                    | 7,727  |
| 一般 | Process Engineering: Addressing the Gap between Studies and Chemical Industry (De Gruyter Textbook)       | Walter de Gruyter & Co.                             | 12,464 |
| 一般 | Quantum Field Theory and Condensed Matter: An Introduction (Cambridge Monographs on Mathematical Physics) | Cambridge U.P.                                      | 13,517 |
| 一般 | Solid State Physics, Revised ed.                                                                          | Cengage Learning Asia Pte Ltd.                      | 9,800  |
| 一般 | The Stair-Step Approach in Mathematics, 1st ed. 2017 (Problem Books in Mathematics)                       | Springer International Publishing                   | 14,614 |
| 一般 | Why Ecology Matters                                                                                       | University of Chicago Press                         | 3,430  |

【洋書】専門図書

| 科目区分 | 書名詳細                                                                                                             | 出版社                               | 価格     |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門   | A History of Science in World Cultures: Voices of Knowledge                                                      | Routledge                         | 6,487  |
| 専門   | Academic Vocabulary: Academic Words, 6th ed.                                                                     | Longman Publishing Group          | 5,116  |
| 専門   | Academic Writing: A Handbook for International Students, 5th ed.                                                 | Routledge                         | 4,504  |
| 専門   | Academic Writing Step by Step: A Research-Based Approach (Frameworks for Writing)                                | Equinox Pub.                      | 4,945  |
| 専門   | American Think Starter : Student's Book                                                                          | Cambridge U.P. (ELT)              | 2,800  |
| 専門   | An Educator's Guide to Internet and Social Media Law in the Classroom                                            | Carswell Professional Publishing  | 11,358 |
| 専門   | Authors, Users, and Pirates – Copyright Law and Subjectivity                                                     | The MIT Press                     | 4,663  |
| 専門   | Before You Write Your Novel: Essential Skills for the First-time Novelist                                        | Routledge                         | 3,062  |
| 専門   | Better Reading English: Improve Your Understanding of Written English (Better Reading Language)                  | McGraw-Hill                       | 2,831  |
| 専門   | Business Ethics: A Virtue Ethics and Common Good Approach                                                        | Routledge                         | 6,982  |
| 専門   | Business Ethics: An Ethical Decision-Making Approach (Foundations of Business Ethics)                            | Wiley                             | 8,318  |
| 専門   | Business Ethics 3.0: The New Integral Ethics from a CEO's Perspective                                            | R. Oldenbourg Verlag GmbH         | 5,836  |
| 専門   | Business Ethics: A Kantian Perspective, 2nd ed.                                                                  | Cambridge U.P.                    | 5,766  |
| 専門   | Chicago Guide to Grammar, Usage, and Punctuation                                                                 | University of Chicago Press       | 6,170  |
| 専門   | Comparative Defamation and Privacy Law (Cambridge Intellectual Property and Information Law, 32)                 | Cambridge U.P.                    | 4,685  |
| 専門   | Critical Reading and Writing in the Digital Age: An Introductory Coursebook, 2nd ed.                             | Routledge                         | 6,532  |
| 専門   | Cyber War                                                                                                        | Oxford U.P.                       | 6,217  |
| 専門   | Detox Your Writing: Strategies for Doctoral Researchers                                                          | Routledge                         | 5,406  |
| 専門   | Doing English: A Guide for Literature Students, 4th ed. (Doing... Series)                                        | Routledge                         | 3,062  |
| 専門   | Einstein and Twentieth-Century Politics                                                                          | Oxford U.P.                       | 4,506  |
| 専門   | English for Academic Correspondence, 2nd ed. (English for Academic Research)                                     | Springer International Publishing | 4,675  |
| 専門   | English for Everyone: English Vocabulary Builder (Library Edition) (English for Everyone)                        | Dorling Kindersley                | 4,996  |
| 専門   | English for Interacting on Campus (English for Academic Research)                                                | Springer International Publishing | 4,051  |
| 専門   | English for Presentations at International Conferences, 2nd ed. (English for Academic Research)                  | Springer International Publishing | 4,675  |
| 専門   | English for Writing Research Papers, 2nd ed. (English for Academic Research)                                     | Springer International Publishing | 4,675  |
| 専門   | English Grammar: A Resource Book for Students, 2nd ed. (Routledge English Language Introductions)                | Routledge                         | 4,685  |
| 専門   | English Grammar Drills, Second Edition, 2nd ed.                                                                  | McGraw-Hill                       | 2,664  |
| 専門   | Ethical Business Cultures in Emerging Markets                                                                    | Cambridge U.P.                    | 7,208  |
| 専門   | Ethical Leadership: Progress with a Moral Compass                                                                | Routledge                         | 7,208  |
| 専門   | Ethics in the Anthropology of Business: Explorations in Theory, Practice, and Pedagogy (Anthropology & Business) | Routledge                         | 4,504  |
| 専門   | Europe and World Society                                                                                         | Routledge                         | 6,667  |
| 専門   | Families, Intimacy and Globalization: Floating Ties, 1st ed. 2018 (Sociology for Globalizing Societies)          | Palgrave Macmillan                | 5,455  |
| 専門   | Fowler's Concise Dictionary of Modern English Usage, 3rd ed. (Oxford Quick Reference)                            | Oxford U.P.                       | 2,161  |
| 専門   | From Globalization to World Society: Neo-Institutional and Systems-Theoretical Perspectives                      | Routledge                         | 7,208  |
| 専門   | Garner's Modern English Usage, 4th ed.                                                                           | Oxford U.P., New York             | 6,661  |
| 専門   | Global Data Protection in the Field of Law Enforcement: An EU Perspective (Routledge Research in EU Law)         | Routledge                         | 8,334  |
| 専門   | Global Historical Sociology                                                                                      | Cambridge U.P.                    | 4,865  |
| 専門   | Global Issues: An Introduction, 5th ed.                                                                          | Wiley-Blackwell                   | 6,655  |
| 専門   | Globalization: An Introduction to the End of the Known World                                                     | Routledge                         | 4,504  |

|    |                                                                                                                                                             |                                       |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 専門 | Grammar, Meaning, and Concepts: A Discourse-Based Approach to English Grammar                                                                               | Routledge                             | 6,667  |
| 専門 | How Good Policies and Business Ethics Enhance Good Quality of Life: The Selected Works of Alex C. Michalos, 1st ed. 2017                                    | Springer International Publishing     | 12,470 |
| 専門 | Introducing Needs Analysis and English for Specific Purposes (Routledge Introductions to English for Specific Purposes)                                     | Routledge                             | 5,225  |
| 専門 | Is English Changing? (Routledge Guides to Linguistics)                                                                                                      | Routledge                             | 3,964  |
| 専門 | Making 20th Century Science                                                                                                                                 | Oxford U.P., New York                 | 6,986  |
| 専門 | Managing Cyber Attacks in International Law, Business, and Relations: In Search of Cyber Peace                                                              | Cambridge U.P.                        | 4,504  |
| 専門 | McNae's Essential Law for Journalists, 24th ed.                                                                                                             | Oxford U.P.                           | 4,504  |
| 専門 | Miss Manners Minds Your Business                                                                                                                            | W.W. Norton & Co., Inc.               | 2,258  |
| 専門 | New Oxford Style Manual, 3rd ed.                                                                                                                            | Oxford U.P.                           | 4,506  |
| 専門 | Newton's Apple and Other Myths about Science                                                                                                                | Harvard U.P.                          | 3,723  |
| 専門 | On Faith and Science                                                                                                                                        | Yale U.P.                             | 3,997  |
| 専門 | On Writing Well: The Classic Guide to Writing Nonfiction                                                                                                    | HarperCollins Publishers              | 2,829  |
| 専門 | Organizational Ethics: A Practical Approach, 4th ed.                                                                                                        | Sage Pub.                             | 11,536 |
| 専門 | Oxford Student's Dictionary                                                                                                                                 | Oxford U.P.                           | 2,251  |
| 専門 | Oxford Student's Thesaurus                                                                                                                                  | Oxford U.P.                           | 2,251  |
| 専門 | Perfecting Your English Pronunciation, 2nd ed.                                                                                                              | McGraw-Hill                           | 4,163  |
| 専門 | Practice Makes Perfect: English Grammar for ESL Learners, Third Edition, 3rd ed.                                                                            | McGraw-Hill                           | 2,498  |
| 専門 | Presentation Skills for Students, 3rd ed. (Palgrave Study Skills)                                                                                           | Palgrave Macmillan                    | 3,895  |
| 専門 | Programmed Inequality: How Britain Discarded Women Technologists and Lost Its Edge in Computing (History of Computing)                                      | The MIT Press                         | 3,330  |
| 専門 | Queer: A Reader for Writers                                                                                                                                 | Oxford U.P., New York                 | 6,320  |
| 専門 | Recoding Gender: Women's Changing Participation in Computing                                                                                                | The MIT Press                         | 4,163  |
| 専門 | Regulating Speech in Cyberspace                                                                                                                             | Cambridge U.P.                        | 6,757  |
| 専門 | Regulation of Speech in Multicultural Societies                                                                                                             | Routledge                             | 6,127  |
| 専門 | Renovating Your Writing: Shaping Ideas and Arguments into Clear, Concise, and Compelling Messages, 2nd ed.                                                  | Routledge                             | 3,603  |
| 専門 | Respectable Deviance and Purchasing Medicine Online: Opportunities and Risks for Consumers, 1st ed. 2018 (Palgrave Studies in Cybercrime and Cybersecurity) | Palgrave Macmillan                    | 7,793  |
| 専門 | Robotica: Speech Rights and Artificial Intelligence                                                                                                         | Cambridge U.P.                        | 3,423  |
| 専門 | Science and Nature: Past, Present, and Future                                                                                                               | Routledge                             | 5,406  |
| 専門 | Science in the Public Sphere: A history of lay knowledge and expertise                                                                                      | Routledge                             | 6,487  |
| 専門 | Science Policy Up Close                                                                                                                                     | Harvard U.P.                          | 4,130  |
| 専門 | Science Writing in Greco-Roman Antiquity (Key Themes in Ancient History (Paperback))                                                                        | Cambridge U.P.                        | 3,423  |
| 専門 | Social and Cultural Foundations in Global Studies (Foundations in Global Studies)                                                                           | Routledge                             | 6,487  |
| 専門 | Social Changes in a Global World                                                                                                                            | Sage Pub.                             | 4,865  |
| 専門 | Spreadable Media: Creating Value and Meaning in a Networked Culture (Postmillennial Pop)                                                                    | New York U.P.                         | 3,330  |
| 専門 | Strange Science: Investigating the Limits of Knowledge in the Victorian Age                                                                                 | University of Michigan Press          | 9,992  |
| 専門 | Style: Lessons in Clarity and Grace, 12th ed.                                                                                                               | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 7,780  |
| 専門 | Taking Ethics Seriously: Why Ethics Is an Essential Tool for the Modern Workplace                                                                           | Productivity Press Inc.               | 5,586  |
| 専門 | Taking Sides: Clashing Views in Business Ethics and Society, 15th ed.                                                                                       | McGraw-Hill                           | 11,213 |
| 専門 | Territories of Science and Religion                                                                                                                         | University of Chicago Press           | 3,280  |
| 専門 | The Blackwell Companion to Globalization                                                                                                                    | Wiley-Blackwell                       | 7,321  |
| 専門 | The Cambridge Guide to Learning English as a Second Language                                                                                                | Cambridge U.P.                        | 7,208  |
| 専門 | The Economics of Open Access (New Horizons in Law and Economics Series)                                                                                     | Edward Elgar                          | 11,717 |
| 専門 | The End of Ownership – Personal Property in the Digital Economy                                                                                             | The MIT Press                         | 2,524  |
| 専門 | The English Language (Very Short Introductions, Vol. 551)                                                                                                   | Oxford U.P.                           | 1,300  |
| 専門 | The ESL Writer's Handbook, 2nd Ed., 2nd ed. (Pitt Series in English as a Second Language)                                                                   | University of Michigan Press          | 4,996  |
| 専門 | The Future of Tech Is Female: How to Achieve Gender Diversity                                                                                               | New York U.P.                         | 4,996  |

|    |                                                                                                                             |                                       |        |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 専門 | The History and Philosophy of Science: A Reader                                                                             | Bloomsbury Academic                   | 5,406  |
| 専門 | The Oxford Handbook of the History of Physics (Oxford Handbooks)                                                            | Oxford U.P.                           | 9,010  |
| 専門 | The Quotable Guide to Punctuation                                                                                           | Oxford U.P., New York                 | 2,822  |
| 専門 | The Rise of Early Modern Science: Islam, China, and the West, 3rd ed.                                                       | Cambridge U.P.                        | 5,045  |
| 専門 | The Rise of Modern Science Explained: A Comparative History                                                                 | Cambridge U.P.                        | 3,783  |
| 専門 | The Routledge Student Guide to English Usage: A guide to academic writing for students                                      | Routledge                             | 5,406  |
| 専門 | The Sociology of Globalization, 2nd ed.                                                                                     | Polity Press                          | 3,857  |
| 専門 | Top 50 Vocabulary Mistakes: How to Avoid Them, 1st ed. 2018 (Easy English!)                                                 | Springer International Publishing     | 4,675  |
| 専門 | Top the Ielts: Opening the Gates to Top Qs-Ranked Universities                                                              | World Scientific                      | 3,730  |
| 専門 | Wealth, Commerce, and Philosophy – Foundational Thinkers and Business Ethics                                                | University of Chicago Press           | 5,990  |
| 専門 | Women in Kolkata’ s IT Sector: Satisficing Between Work and Household, 2014th ed. (SpringerBriefs in Sociology)             | Springer India                        | 9,742  |
| 専門 | Word Games, Riddles and Logic Tests: Tax Your Brain and Boost Your English, 1st ed. 2018 (Easy English!)                    | Springer International Publishing     | 4,675  |
| 専門 | Worldviews: An Introduction to the History and Philosophy of Science, 3rd ed.                                               | Wiley-Blackwell                       | 6,153  |
| 専門 | Write No Matter What – Advice for Academics                                                                                 | University of Chicago Press           | 1,830  |
| 専門 | Writing Short Stories: A Routledge Writer’s Guide, 2nd ed.                                                                  | Routledge                             | 3,242  |
| 専門 | Writing with Clarity and Style: A Guide to Rhetorical Devices for Contemporary Writers, 2nd ed.                             | Routledge                             | 6,757  |
| 専門 | Mathematical Foundations of Advanced Informatics: Volume 1: Inductive Approaches: Vol. 1 Inductive Approaches, 1st ed. 2018 | Springer International Publishing     | 6,429  |
| 専門 | Introduction to Relation Algebras: Relation Algebras, Volume 1: Vol. 1, 1st ed. 2017                                        | Springer International Publishing     | 15,588 |
| 専門 | Advanced Topics in Relation Algebras: Relation Algebras, Volume 2: Vol. 2, 1st ed. 2017                                     | Springer International Publishing     | 15,588 |
| 専門 | A Concise Introduction to Statistical Inference                                                                             | Chapman & Hall/CRC                    | 8,470  |
| 専門 | A Course On Abstract Algebra, 2nd ed.                                                                                       | World Scientific                      | 11,724 |
| 専門 | A Course on Basic Model Theory, 1st ed. 2017                                                                                | Springer Singapore                    | 10,911 |
| 専門 | A Dictionary of Computer Science, 7th ed. (Oxford Quick Reference)                                                          | Oxford U.P.                           | 2,341  |
| 専門 | Analysis of Survival Data with Dependent Censoring: Copula-Based Approaches, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Statistics)    | Springer Singapore                    | 7,793  |
| 専門 | A Practical Guide to Linux Commands, Editors, and Shell Programming, 4th ed.                                                | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 7,992  |
| 専門 | A Student’s Guide to Bayesian Statistics                                                                                    | Sage Pub.                             | 5,946  |
| 専門 | Abstract Algebra: A Gentle Introduction (Textbooks in Mathematics)                                                          | Chapman & Hall/CRC                    | 10,994 |
| 専門 | Advanced Design and Implementation of Virtual Machines                                                                      | CRC Press                             | 13,742 |
| 専門 | Advanced Multicore Systems-On-Chip: Architecture, On-Chip Network, Design, 1st ed. 2017                                     | Springer Singapore                    | 18,706 |
| 専門 | Advances in Principal Component Analysis: Research and Development, 1st ed. 2018                                            | Springer Singapore                    | 22,409 |
| 専門 | Adventures in Graph Theory, 1st ed. 2017 (Applied and Numerical Harmonic Analysis)                                          | Birkhäuser                            | 15,588 |
| 専門 | Big Data and Visual Analytics, 1st ed. 2017                                                                                 | Springer International Publishing     | 23,383 |
| 専門 | Bio-Inspired Computing for Image and Video Processing                                                                       | Chapman & Hall/CRC                    | 17,125 |
| 専門 | Algebra 1: Groups, Rings, Fields and Arithmetic, 1st ed. 2017 (Infosys Science Foundation Series)                           | Springer Singapore                    | 11,691 |
| 専門 | Articulating Design Decisions                                                                                               | O’Reilly                              | 7,026  |
| 専門 | Basic Elements of Computational Statistics, 1st ed. 2017 (Statistics and Computing)                                         | Springer International Publishing     | 10,444 |
| 専門 | Basic Graph Theory, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                 | Springer International Publishing     | 7,014  |
| 専門 | Building Evolutionary Architectures                                                                                         | O’Reilly                              | 9,991  |
| 専門 | Cloud Foundry: The Definitive Guide                                                                                         | O’Reilly                              | 8,325  |
| 専門 | Combinatorial Set Theory: With a Gentle Introduction to Forcing, 2nd ed. (Springer Monographs in Mathematics)               | Springer International Publishing     | 20,265 |

|    |                                                                                                                                                   |                                                     |        |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|
| 専門 | Combinatorics, Second Edition, 2nd ed. (Discrete Mathematics and Its Applications)                                                                | Chapman & Hall/CRC                                  | 13,878 |
| 専門 | Computer Architecture: Fundamentals and Principles of Computer Design, 2nd ed.                                                                    | CRC Press                                           | 21,631 |
| 専門 | Computer Architecture, 6th ed. (The Morgan Kaufmann Series in Computer Architecture and Design)                                                   | Morgan Kaufmann                                     | 14,649 |
| 専門 | Computer Organization: Basic Processor Structure                                                                                                  | Chapman & Hall/CRC                                  | 11,174 |
| 専門 | Computer Organization and Design: The Hardware Software Interface (The Morgan Kaufmann Series in Computer Architecture and Design)                | Morgan Kaufmann                                     | 12,650 |
| 専門 | Computer Systems: Digital Design, Fundamentals of Computer Architecture and Assembly Language, 1st ed. 2018                                       | Springer International Publishing                   | 10,911 |
| 専門 | Computer, Embedded, and Software Systems                                                                                                          | CRC Press                                           | 13,880 |
| 専門 | Computers as Components: Principles of Embedded Computing System Design, 4th ed. (The Morgan Kaufmann Series in Computer Architecture and Design) | Morgan Kaufmann                                     | 11,984 |
| 専門 | Connections in Discrete Mathematics: A Celebration of the Work of Ron Graham                                                                      | Cambridge U.P.                                      | 8,110  |
| 専門 | Creativity in Load-Balance Schemes for Multi/Many-Core Heterogeneous Graph Computing: Emerging Research and Opportunities                         | IGI Global                                          | 20,651 |
| 専門 | Crossbar-Based Interconnection Networks: Blocking, Scalability, and Reliability, 1st ed. 2018 (Computer Communications and Networks)              | Springer International Publishing                   | 12,003 |
| 専門 | Crossing Numbers of Graphs (Discrete Mathematics and Its Applications)                                                                            | CRC Press                                           | 17,350 |
| 専門 | DataFlow Supercomputing Essentials: Algorithms, Applications and Implementations, 1st ed. 2017 (Computer Communications and Networks)             | Springer International Publishing                   | 12,003 |
| 専門 | Decision Procedures: An Algorithmic Point of View, 2nd ed. (Texts in Theoretical Computer Science. An EATCS Series)                               | Springer Verlag                                     | 10,444 |
| 専門 | Design and Analysis of Experiments, 2nd ed. (Springer Texts in Statistics)                                                                        | Springer International Publishing                   | 15,588 |
| 専門 | Design of FPGA-Based Computing Systems with OpenCL, 1st ed. 2018                                                                                  | Springer International Publishing                   | 21,434 |
| 専門 | Designing Distributed Systems                                                                                                                     | O’Reilly                                            | 7,492  |
| 専門 | Designing for Human-Machine Symbiosis Using the Uranos Model: Emerging Research and Opportunities                                                 | IGI Global                                          | 20,818 |
| 専門 | Discrete Mathematics and Applications, 2nd ed. (Textbooks in Mathematics)                                                                         | Chapman & Hall/CRC                                  | 11,535 |
| 専門 | Distributed Computing in Big Data Analytics: Concepts, Technologies and Applications, 1st ed. 2017 (Scalable Computing and Communications)        | Springer International Publishing                   | 21,434 |
| 専門 | Dynamic Data Analysis: Modeling Data with Differential Equations, 1st ed. 2017 (Springer Series in Statistics)                                    | Springer-Verlag New York                            | 19,486 |
| 専門 | Embedded and Real-Time Operating Systems, 1st ed. 2017                                                                                            | Springer International Publishing                   | 15,588 |
| 専門 | Embedded Linux Systems with the Yocto Project (Prentice Hall Open Source Software Development)                                                    | Pearson Education (PH USA)                          | 6,660  |
| 専門 | Embedded Operating Systems: A Practical Approach, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                                              | Springer International Publishing                   | 7,014  |
| 専門 | Energy Efficient Computing: Devices, Circuits, and Systems (Devices, Circuits, and Systems)                                                       | CRC Press                                           | 19,829 |
| 専門 | Equipment Selection for Mining: With Case Studies, 1st ed. 2018 (Studies in Systems, Decision and Control, Vol.150)                               | Springer International Publishing                   | 18,706 |
| 専門 | Essentials of Computer Architecture, 2nd ed.                                                                                                      | Chapman & Hall/CRC                                  | 10,994 |
| 専門 | Exercising Essential Statistics, 4th ed.                                                                                                          | CQ Press                                            | 7,929  |
| 専門 | Exploratory Multivariate Analysis by Example Using R, Second Edition, 2nd ed. (Chapman & Hall/CRC Computer Science & Data Analysis)               | Chapman & Hall/CRC                                  | 17,350 |
| 専門 | Farey Sequences: Duality and Maps Between Subsequences                                                                                            | Walter de Gruyter & Co.                             | 19,478 |
| 専門 | First Hitting Time Regression Models                                                                                                              | International Scientific and Technical Encyclopedia | 14,655 |
| 専門 | Foundations of Mathematics (Contemporary Mathematics, Vol. 690)                                                                                   | American Mathematical Society                       | 18,486 |
| 専門 | Foundations of Programming Languages, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                          | Springer International Publishing                   | 8,767  |
| 専門 | From Arithmetic to Zeta-Functions: Number Theory in Memory of Wolfgang Schwarz, 1st ed. 2016                                                      | Springer International Publishing                   | 18,706 |

|    |                                                                                                                                                         |                                   |        |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | From Basic Survival Analytic Theory to a Non-Standard Application, 1st ed. 2017 (BestMasters)                                                           | Springer Verlag                   | 9,352  |
| 専門 | From Variability Tolerance to Approximate Computing in Parallel Integrated Architectures and Accelerators, 1st ed. 2017                                 | Springer International Publishing | 23,383 |
| 専門 | Fundamentals of Discrete Math for Computer Science: A Problem-Solving Primer, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                        | Springer International Publishing | 9,352  |
| 専門 | Fundamentals of Nonparametric Bayesian Inference (Cambridge Series in Statistical and Probabilistic Mathematic, 44)                                     | Cambridge U.P.                    | 11,715 |
| 専門 | Generalized Jeffrey Conditionalization: A Frequentist Semantics of Partial Conditionalization, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)        | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Generating Random Networks and Graphs                                                                                                                   | Oxford U.P.                       | 9,914  |
| 専門 | Geometry and Complexity Theory (Cambridge Studies in Advanced Mathematics, 169)                                                                         | Cambridge U.P.                    | 9,011  |
| 専門 | Graceful, Harmonious and Magic Type Labelings: Relations and Techniques, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Mathematics)                                   | Springer International Publishing | 10,716 |
| 専門 | Grammar of Complexity: From Mathematics to a Sustainable World                                                                                          | World Scientific                  | 13,057 |
| 専門 | Handbook of Meta-Analysis (Chapman & Hall/CRC Handbooks of Modern Statistical Methods)                                                                  | CRC Press                         | 16,584 |
| 専門 | Handbook of Quantile Regression (Chapman & Hall/CRC Handbooks of Modern Statistical Methods)                                                            | Chapman & Hall/CRC                | 20,730 |
| 専門 | Handbook of Regression Methods                                                                                                                          | Chapman & Hall/CRC                | 20,730 |
| 専門 | Handbook of Statistical Analysis and Data Mining Applications, 2nd ed.                                                                                  | Academic Pr.                      | 13,316 |
| 専門 | Harnessing the UEFI Shell: Moving the Platform Beyond DOS, 2nd ed.                                                                                      | Walter de Gruyter & Co.           | 14,323 |
| 専門 | Heterogeneity, High Performance Computing, Self-Organization and the Cloud, 1st ed. 2018 (Palgrave Studies in Digital Business & Enabling Technologies) | Palgrave Macmillan                | 4,365  |
| 専門 | High Performance Computing                                                                                                                              | Morgan Kaufmann                   | 16,646 |
| 専門 | High-Performance Computing in Finance: Problems, Methods, and Solutions (Chapman and Hall/CRC Financial Mathematics Series)                             | Chapman & Hall/CRC                | 23,434 |
| 専門 | Hyperplane Arrangements: An Introduction, 1st ed. 2017 (Universitext)                                                                                   | Springer International Publishing | 9,352  |
| 専門 | Induction, Bounding, Weak Combinatorial Principles, and the Homogeneous Model Theorem (Memoirs of the American Mathematical Society)                    | American Mathematical Society     | 12,490 |
| 専門 | Inequalities and Extremal Problems in Probability and Statistics                                                                                        | Academic Pr.                      | 16,646 |
| 専門 | Information Loss in Deterministic Signal Processing Systems, 1st ed. 2018 (Understanding Complex Systems)                                               | Springer International Publishing | 23,383 |
| 専門 | Information Theory: Part I: An Introduction to the Fundamental Concepts                                                                                 | World Scientific                  | 4,530  |
| 専門 | Internally Compensated LDO Regulators for Modern System-on-Chip Design, 1st ed. 2018                                                                    | Springer International Publishing | 18,706 |
| 専門 | Introduction to Compiler Design, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                                     | Springer International Publishing | 7,014  |
| 専門 | Introduction to CUDA and GPU Programming (Chapman & Hall/CRC Computational Science)                                                                     | Chapman & Hall/CRC                | 9,732  |
| 専門 | Introduction to Data Compression, 5th ed. (The Morgan Kaufmann Series in Multimedia Information and Systems)                                            | Morgan Kaufmann                   | 15,322 |
| 専門 | Introduction To Number Theory (Essential Textbooks in Mathematics, Vol.0)                                                                               | World Scientific                  | 7,727  |
| 専門 | Introduction to Parallel Computing                                                                                                                      | Cambridge U.P.                    | 10,814 |
| 専門 | Introductory Statistics, 4th ed.                                                                                                                        | Academic Pr.                      | 16,654 |
| 専門 | Intuitive Introductory Statistics, 1st ed. 2017 (Springer Texts in Statistics)                                                                          | Springer International Publishing | 13,250 |
| 専門 | Invasive Computing for Mapping Parallel Programs to Many-Core Architectures, 1st ed. 2018 (Computer Architecture and Design Methodologies)              | Springer Singapore                | 22,409 |
| 専門 | Invitation to Linear Algebra (Textbooks in Mathematics)                                                                                                 | Chapman & Hall/CRC                | 14,781 |
| 専門 | Latent Variable Models: An Introduction to Factor, Path, and Structural Equation Analysis, Fifth Edition, 5th ed.                                       | Routledge                         | 20,730 |
| 専門 | Lattices Applied to Coding for Reliable and Secure Communications, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Mathematics)                                         | Springer International Publishing | 7,793  |
| 専門 | Learning FPGAs                                                                                                                                          | O'Reilly                          | 8,325  |

|    |                                                                                                                                                             |                                   |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | Linear Algebra: Ideas and Applications Set, 4th ed.                                                                                                         | Wiley-Blackwell                   | 18,519 |
| 専門 | Linux for Developers: Jumpstart Your Linux Programming Skills (Developer's Library)                                                                         | Addison-Wesley (USA)              | 5,994  |
| 専門 | Linux for Embedded and Real-time Applications, 4th ed.                                                                                                      | Newnes                            | 8,318  |
| 専門 | Linux Pocket Guide: Essential Commands., 3rd ed.                                                                                                            | O'Reilly                          | 2,663  |
| 専門 | Linux Server Security: Hack and Defend                                                                                                                      | Wiley                             | 6,661  |
| 専門 | Logic and Language Models for Computer Science: Third Edition, 3rd ed.                                                                                      | World Scientific                  | 13,057 |
| 専門 | Mastering Modern Linux, 2nd ed.                                                                                                                             | Chapman & Hall/CRC                | 9,732  |
| 専門 | Mathematical Foundations of Time Series Analysis: A Concise Introduction, 1st ed. 2017                                                                      | Springer International Publishing | 14,809 |
| 専門 | Mathematical Statistics: Essays on History and Methodology, 1st ed. 2017 (Springer Series in Statistics)                                                    | Springer Verlag                   | 17,147 |
| 専門 | Mathematical Statistics                                                                                                                                     | Wiley-Blackwell                   | 10,658 |
| 専門 | Matrix and Tensor Factorization Techniques for Recommender Systems, 1st ed. 2016 (SpringerBriefs in Computer Science)                                       | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Maximum-Entropy Networks: Pattern Detection, Network Reconstruction and Graph Combinatorics, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Complexity)                    | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Measuring the Data Universe: Data Integration Using Statistical Data and Metadata Exchange, 1st ed. 2018                                                    | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | ModelEd, TestEd, TrustEd: Essays Dedicated to Ed Brinksma on the Occasion of His 60th Birthday, 1st ed. 2017 (Lecture Notes in Computer Science, Vol.10500) | Springer International Publishing | 12,665 |
| 専門 | Models of Computation, 1st ed. 2017 (Texts in Theoretical Computer Science. An EATCS Series)                                                                | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Modern Language Models and Computation: Theory with Applications, 1st ed. 2017                                                                              | Springer International Publishing | 19,486 |
| 専門 | Modular Forms: A Classical Approach (Graduate Studies in Mathematics, Vol. 179)                                                                             | American Mathematical Society     | 15,655 |
| 専門 | Multilevel Analysis: Techniques and Applications, Third Edition, 3rd ed. (Quantitative Methodology Series)                                                  | Routledge                         | 6,667  |
| 専門 | Multivariate Kernel Smoothing and Its Applications (Chapman & Hall/CRC Monographs on Statistics & Applied Probability)                                      | Chapman & Hall/CRC                | 17,350 |
| 専門 | Neuomorphic Cognitive Systems: A Learning and Memory Centered Approach, 1st ed. 2017 (Intelligent Systems Reference Library, Vol.126)                       | Springer International Publishing | 18,706 |
| 専門 | New Advances in Statistics and Data Science, 1st ed. 2017 (ICSA Book Series in Statistics)                                                                  | Springer International Publishing | 12,003 |
| 専門 | Nonlinear Approaches in Engineering Applications: Energy, Vibrations, and Modern Applications, 1st ed. 2018                                                 | Springer International Publishing | 23,384 |
| 専門 | Nonparametric Kernel Density Estimation and Its Computational Aspects, 1st ed. 2018 (Studies in Big Data, Vol. 37)                                          | Springer International Publishing | 22,409 |
| 専門 | Nonparametric Statistics: Theory and Methods                                                                                                                | World Scientific                  | 13,057 |
| 専門 | Normally-Off Computing, 1st ed. 2017                                                                                                                        | Springer Tokyo                    | 17,147 |
| 専門 | Numerical Ecology with R, 2nd ed. (Use R!)                                                                                                                  | Springer International Publishing | 11,690 |
| 専門 | On Sets and Graphs: Perspectives on Logic and Combinatorics, 1st ed. 2017                                                                                   | Springer International Publishing | 8,884  |
| 専門 | Open Source Architecture                                                                                                                                    | Thames and Hudson                 | 3,368  |
| 専門 | Openacc for Programmers: Concepts and Strategies                                                                                                            | Addison-Wesley (USA)              | 6,660  |
| 専門 | Operating Systems: Internals and Design Principles, 9th ed./Global ed.                                                                                      | Pearson Education                 | 8,060  |
| 専門 | Parallel Processing: A Practical Approach (Chapman & Hall/CRC Computational Science)                                                                        | Chapman & Hall/CRC                | 13,066 |
| 専門 | Parallel Programming                                                                                                                                        | Morgan Kaufmann                   | 10,652 |
| 専門 | Parallel Programming for Modern High Performance Computing Systems                                                                                          | Chapman & Hall/CRC                | 17,350 |
| 専門 | Philosophy, Computing and Information Science                                                                                                               | Routledge                         | 7,208  |
| 専門 | Physical Perspectives on Computation, Computational Perspectives on Physics                                                                                 | Cambridge U.P.                    | 13,519 |
| 専門 | Predicative Arithmetic (Mathematical Notes, Vol. 32)                                                                                                        | Princeton U.P.                    | 11,990 |

|    |                                                                                                                                                                   |                                       |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 専門 | Probabilistic Cellular Automata: Theory, Applications and Future Perspectives, 1st ed. 2018 (Emergence, Complexity and Computation, Vol.27)                       | Springer International Publishing     | 21,434 |
| 専門 | Probability Distributions: With Truncated, Log and Bivariate Extensions, 1st ed. 2018                                                                             | Springer International Publishing     | 12,003 |
| 専門 | Probability on Graphs: Random Processes on Graphs and Lattices, 2nd ed. (Institute of Mathematical Statistics Textbooks, Vol. 1)                                  | Cambridge U.P.                        | 4,865  |
| 専門 | Probability, Decisions and Games: A Gentle Introduction using R                                                                                                   | Wiley–Blackwell                       | 6,655  |
| 専門 | Problems in Abstract Algebra (Student Mathematical Library, Vol. 82)                                                                                              | American Mathematical Society         | 8,660  |
| 専門 | Process Algebras for Petri Nets: The Alphabetization of Distributed Systems (Monographs in Theoretical Computer Science. An EATCS Series)                         | Springer International Publishing     | 12,470 |
| 専門 | Properly Colored Connectivity of Graphs, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Mathematics)                                                                             | Springer International Publishing     | 7,793  |
| 専門 | Quantum Information and Consciousness: A Gentle Introduction                                                                                                      | CRC Press                             | 22,533 |
| 専門 | Quantum Information Theory, 2nd ed.                                                                                                                               | Cambridge U.P.                        | 9,912  |
| 専門 | Regular Graphs: A Spectral Approach (de Gruyter Series in Discrete Mathematics and Applications, Vol. 4)                                                          | Walter de Gruyter & Co.               | 17,529 |
| 専門 | Rendezvous in Distributed Systems: Theory, Algorithms and Applications, 1st ed. 2017                                                                              | Springer Singapore                    | 18,706 |
| 専門 | Rethinking Public Key Infrastructures and Digital Certificates – Building in Privacy                                                                              | The MIT Press                         | 4,796  |
| 専門 | Robust Multivariate Analysis, 1st ed. 2017                                                                                                                        | Springer International Publishing     | 14,614 |
| 専門 | Sets and Computations (Lecture Notes Series, Institute for Mathematical Sciences, National University of Singapore, 33)                                           | World Scientific                      | 14,389 |
| 専門 | Shell Programming in Unix, Linux and OS X: The Fourth Edition of Unix Shell Programming, 4th ed. (Developer's Library)                                            | Addison–Wesley (USA)                  | 5,994  |
| 専門 | Solid State Quantum Information – An Advanced Textbook: Quantum Aspect of Many-Body Systems                                                                       | World Scientific                      | 11,724 |
| 専門 | Statistical Distributions: Applications and Parameter Estimates, 1st ed. 2017                                                                                     | Springer International Publishing     | 16,562 |
| 専門 | Statistical Modeling for Degradation Data, 1st ed. 2017 (ICSA Book Series in Statistics)                                                                          | Springer Singapore                    | 21,434 |
| 専門 | Statistical Regression and Classification: From Linear Models to Machine Learning (Chapman & Hall/CRC Texts in Statistical Science)                               | Chapman & Hall/CRC                    | 9,732  |
| 専門 | Statistics in Context                                                                                                                                             | Oxford U.P., New York                 | 21,184 |
| 専門 | System Architecture: Strategy and Product Development for Complex Systems                                                                                         | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 18,892 |
| 専門 | Task Scheduling for Multi-core and Parallel Architectures: Challenges, Solutions and Perspectives, 1st ed. 2017                                                   | Springer Singapore                    | 18,706 |
| 専門 | The Incomputable: Journeys Beyond the Turing Barrier, 1st ed. 2017 (Theory and Applications of Computability)                                                     | Springer International Publishing     | 18,706 |
| 専門 | The Minimum Description Length Principle and Its Applications in Statistical Learning and Signal Processing (Chapman & Hall/CRC Computer Science & Data Analysis) | Chapman & Hall/CRC                    | 15,770 |
| 専門 | The Theory of Quantum Information                                                                                                                                 | Cambridge U.P.                        | 10,814 |
| 専門 | The Tower of Hanoi – Myths and Maths, 2nd ed.                                                                                                                     | Birkhäuser                            | 17,147 |
| 専門 | Theory of Probability: A critical introductory treatment (Wiley Series in Probability and Statistics)                                                             | Wiley–Blackwell                       | 17,320 |
| 専門 | Theory of Reversible Computing, 1st ed. 2017 (Monographs in Theoretical Computer Science. An EATCS Series)                                                        | Springer Tokyo                        | 20,265 |
| 専門 | Topological Theory of Graphs                                                                                                                                      | Walter de Gruyter & Co.               | 25,324 |
| 専門 | Uncertainty Analysis of Experimental Data with R                                                                                                                  | Chapman & Hall/CRC                    | 13,880 |
| 専門 | Understanding Information: From the Big Bang to Big Data, 1st ed. 2017 (Advanced Information and Knowledge Processing)                                            | Springer International Publishing     | 23,383 |
| 専門 | Understanding Regression Analysis: An Introductory Guide, 2nd ed. (Quantitative Applications in the Social Sciences, 57)                                          | Sage Pub.                             | 3,603  |
| 専門 | Unix and Linux System Administration Handbook, 5th ed.                                                                                                            | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 9,325  |
| 専門 | Variational Methods: In Imaging and Geometric Control (Radon Series on Computational and Applied Mathematics, Vol. 18)                                            | Walter de Gruyter & Co.               | 21,818 |

|    |                                                                                                                                                                                           |                                                     |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------|
| 専門 | VMware Software-Defined Storage: A Design Guide to the Policy-Driven, Software-Defined Storage Era                                                                                        | Sybox Inc.                                          | 7,994  |
| 専門 | Watch What I Do – Programming by Demonstration                                                                                                                                            | The MIT Press                                       | 9,726  |
| 専門 | Wave Theory of Information                                                                                                                                                                | Cambridge U.P.                                      | 14,419 |
| 専門 | White Noise Analysis and Quantum Information                                                                                                                                              | World Scientific                                    | 13,057 |
| 専門 | Why We Live in Hierarchies?: A Quantitative Treatise, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Complexity)                                                                                         | Springer International Publishing                   | 7,793  |
| 専門 | Algebra 2: Linear Algebra, Galois Theory, Representation theory, Group extensions and Schur Multiplier, 1st ed. 2017 (Infosys Science Foundation Series)                                  | Springer Singapore                                  | 11,691 |
| 専門 | Algebraic and Geometric Methods in Discrete Mathematics (Contemporary Mathematics, Vol. 685)                                                                                              | American Mathematical Society                       | 18,486 |
| 専門 | Algorithmics of Nonuniformity: Tools and Paradigms (Discrete Mathematics and Its Applications)                                                                                            | CRC Press                                           | 20,730 |
| 専門 | An Illustrated Theory of Numbers                                                                                                                                                          | American Mathematical Society                       | 11,491 |
| 専門 | Analysis of Step-Stress Models                                                                                                                                                            | Academic Pr.                                        | 13,316 |
| 専門 | Applied Combinatorics, Third Edition, 3rd ed.                                                                                                                                             | CRC Press                                           | 20,054 |
| 専門 | Applied Logic for Computer Scientists: Computational Deduction and Formal Proofs, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                 | Springer International Publishing                   | 7,014  |
| 専門 | Applied Multivariate Research: Design and Interpretation, 3rd ed.                                                                                                                         | Sage Pub.                                           | 19,829 |
| 専門 | Applying Graph Theory in Ecological Research                                                                                                                                              | Cambridge U.P.                                      | 7,884  |
| 専門 | ARM Microprocessor Systems: Cortex-M Architecture, Programming, and Interfacing                                                                                                           | CRC Press                                           | 13,878 |
| 専門 | An Introduction to Distance Geometry applied to Molecular Geometry, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                                     | Springer International Publishing                   | 8,573  |
| 専門 | Adventures in Raspberry Pi, 3rd ed.                                                                                                                                                       | Wiley                                               | 3,330  |
| 専門 | An Introduction to Single-User Information Theory, 1st ed. 2018 (Springer Undergraduate Texts in Mathematics and Technology)                                                              | Springer Singapore                                  | 7,062  |
| 専門 | Official GRE Quantitative Reasoning Practice Questions: Vol. 1, 2nd ed.                                                                                                                   | McGraw–Hill                                         | 3330   |
| 専門 | Measuring Entrepreneurial Businesses: Current Knowledge and Challenges: Vol. 75 (Markets and Governments in Economic History)                                                             | University of Chicago Press                         | 17420  |
| 専門 | 21st Century Entrepreneurship                                                                                                                                                             | International Scientific and Technical Encyclopedia | 15988  |
| 専門 | A Business History of India: Enterprise and the Emergence of Capitalism from 1700                                                                                                         | Cambridge U.P.                                      | 4504   |
| 専門 | A Critical Introduction to Coaching and Mentoring: Debates, Dialogues and Discourses                                                                                                      | Sage Pub.                                           | 4865   |
| 専門 | A Dictionary of Marketing, 4th ed. (Oxford Quick Reference)                                                                                                                               | Oxford U.P.                                         | 2341   |
| 専門 | A Dozen Lessons for Entrepreneurs                                                                                                                                                         | Columbia U.P.                                       | 3324   |
| 専門 | A Handbook for Managing Mentoring Programs: Starting, Supporting and Sustaining, New ed.                                                                                                  | Routledge                                           | 15140  |
| 専門 | A Research Agenda for Human Resource Management (Elgar Research Agendas)                                                                                                                  | Edward Elgar                                        | 4497   |
| 専門 | A Very Short, Fairly Interesting and Reasonably Cheap Book about Human Resource Management (Very Short, Fairly Interesting & Cheap Books)                                                 | Sage Pub.                                           | 2882   |
| 専門 | Academic Entrepreneurship: How to Bring Your Scientific Discovery to a Successful Commercial Product                                                                                      | Wiley–Blackwell                                     | 7987   |
| 専門 | Accountability in Human Resource Management: Connecting HR to Business Results, 2nd ed.                                                                                                   | Routledge                                           | 8290   |
| 専門 | Accounting: A Smart Approach, 3rd ed.                                                                                                                                                     | Oxford U.P.                                         | 8290   |
| 専門 | Acquisitions by Emerging Multinational Corporations: Motivation and Performance of Transactions in Western Europe and North America, 1st ed. 2018 (Schriften zum europäischen Management) | Springer Verlag                                     | 15588  |
| 専門 | Advanced Introduction to Entrepreneurial Finance (Elgar Advanced Introductions Series)                                                                                                    | Edward Elgar                                        | 4497   |
| 専門 | Advisory Boards in Startups: Investigating the Roles of Advisory Boards in German Technology-Based Startups, 1st ed. 2017                                                                 | Springer Verlag                                     | 11691  |
| 専門 | An Introduction to Human Resource Management, 3rd ed.                                                                                                                                     | Sage Pub.                                           | 21631  |

|    |                                                                                                                                                                                     |                                       |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------|
| 専門 | An Introduction to Organisational Behaviour for Managers and Engineers: A Group and Multicultural Approach                                                                          | Routledge                             | 6667  |
| 専門 | Applications of Management Science (Applications of Management Science, 17)                                                                                                         | Emerald Group Publishing Ltd.         | 21316 |
| 専門 | Artificial Intelligence for Marketing: Practical Applications (Wiley and SAS Business Series)                                                                                       | Wiley                                 | 6655  |
| 専門 | Barron's GRE, with Bonus Online Tests., 22nd ed.                                                                                                                                    | Barron's Educational Series, Inc.     | 4495  |
| 専門 | Behavioral Corporate Finance, 2nd ed.                                                                                                                                               | McGraw-Hill                           | 23316 |
| 専門 | Big Data Management, 1st ed. 2017                                                                                                                                                   | Springer International Publishing     | 20265 |
| 専門 | Building Wealth through Venture Capital: A Practical Guide for Investors and the Entrepreneurs They Fund                                                                            | Wiley                                 | 4656  |
| 専門 | Business Accounting, 3rd ed.                                                                                                                                                        | Palgrave Macmillan                    | 9742  |
| 専門 | Business Architectures for Risk Assessment and Strategic Planning: Emerging Research and Opportunities                                                                              | IGI Global                            | 25814 |
| 専門 | Business Essentials, 11th ed.                                                                                                                                                       | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 20571 |
| 専門 | Business Essentials, Global Edition, 11th ed./Global Edition                                                                                                                        | Pearson Education                     | 6661  |
| 専門 | Business Management, 14th ed.                                                                                                                                                       | Cengage Learning                      | 16914 |
| 専門 | Business to Business Marketing Management: A Global Perspective, 3rd ed.                                                                                                            | Routledge                             | 5946  |
| 専門 | Business-To-Business Marketing, 4th ed.                                                                                                                                             | Sage Pub.                             | 8110  |
| 専門 | Cambridge Handbook of Organizational Project Management                                                                                                                             | Cambridge U.P.                        | 20730 |
| 専門 | Capability Building and Global Innovation Networks                                                                                                                                  | Routledge                             | 8334  |
| 専門 | Case Studies for Corporate Finance: From A (Anheuser) to Z (Zypps)                                                                                                                  | World Scientific                      | 21983 |
| 専門 | Cases in Human Resource Management                                                                                                                                                  | Sage Pub.                             | 5586  |
| 専門 | Choosing to Change: An Alternative Understanding of Change Management                                                                                                               | Routledge                             | 5406  |
| 専門 | Collaborating for the Future: Multistakeholder Partnerships for Solving Complex Problems                                                                                            | Oxford U.P.                           | 11266 |
| 専門 | Collaborative Innovation Networks: Building Adaptive and Resilient Organizations, 1st ed. 2018 (Studies on Entrepreneurship, Structural Change and Industrial Dynamics)             | Springer International Publishing     | 17927 |
| 専門 | Consensus Building in Group Decision Making: Searching the Consensus Path with Minimum Adjustments, 1st ed. 2016                                                                    | Springer Singapore                    | 12470 |
| 専門 | Corporate Entrepreneurship                                                                                                                                                          | Routledge                             | 7208  |
| 専門 | Corporate Finance: Theory and Practice, 5th ed.                                                                                                                                     | Wiley                                 | 9326  |
| 専門 | Corporate Finance: The Basics (The Basics)                                                                                                                                          | Routledge                             | 3964  |
| 専門 | Corporate Governance in Developing and Emerging Markets                                                                                                                             | Routledge                             | 20730 |
| 専門 | Corporate Social Responsibility and Corporate Governance: Concepts, Perspectives and Emerging Trends in Ibero-America (Developments in Corporate Governance and Responsibility, 11) | Emerald Group Publishing Ltd.         | 20809 |
| 専門 | Cost and Management Accounting                                                                                                                                                      | Cengage Learning EMEA                 | 7440  |
| 専門 | Cracking the GRE Premium Edition with 6 Practice Tests, 2019: The All-In-One Solution for Your Highest Possible Score (Graduate School Test Preparation)                            | Listening Library                     | 6327  |
| 専門 | Creative Direction in a Digital World: A Guide to Being a Modern Creative Director                                                                                                  | CRC Press                             | 5766  |
| 専門 | Decision Making and Problem Solving, 3rd ed. (Creating Success)                                                                                                                     | Kogan Page                            | 2251  |
| 専門 | Decision-Making in High Risk Organizations Under Stress Conditions                                                                                                                  | CRC Press                             | 12075 |
| 専門 | Decisions                                                                                                                                                                           | Edward Elgar                          | 3596  |
| 専門 | Defining Moments: When Managers Must Choose Between Right and Right                                                                                                                 | Harvard Business School Press         | 5829  |
| 専門 | Digital Analytics for Marketing                                                                                                                                                     | Routledge                             | 7208  |
| 専門 | Digital Marketing: A Practical Approach, 3rd ed.                                                                                                                                    | Routledge                             | 7569  |
| 専門 | Emergent Knowledge Strategies: Strategic Thinking in Knowledge Management, 1st ed. 2018 (Knowledge Management and Organizational Learning, Vol.4)                                   | Springer International Publishing     | 18706 |
| 専門 | Emerging Asian Economies and MNCs Strategies (New Horizons in International Business Series)                                                                                        | Edward Elgar                          | 14421 |
| 専門 | Emerging Economy MNEs: Exploring the Integration of Knowledge Transfer and Strategy for Sustainable Performance, 1st ed. 2017                                                       | Palgrave Macmillan                    | 8573  |

|    |                                                                                                                                     |                                   |       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------|
| 専門 | Encyclopedia of Human Resource Management                                                                                           | Edward Elgar                      | 8111  |
| 専門 | Engineering Entrepreneurship from Idea to Business Plan: A Guide for Innovative Engineers and Scientists                            | Cambridge U.P.                    | 4504  |
| 専門 | Entrepreneurial Ecosystems and the Diffusion of Startups (Science, Innovation, Technology and Entrepreneurship Series)              | Edward Elgar                      | 14421 |
| 専門 | Entrepreneurial Financial Management: An Applied Approach, 4th ed.                                                                  | Routledge                         | 12256 |
| 専門 | Entrepreneurship in Theory and Practice, 2nd ed.                                                                                    | Edward Elgar                      | 5407  |
| 専門 | Entrepreneurship, Innovation and Technology: A Guide to Core Models and Tools                                                       | Routledge                         | 8111  |
| 専門 | Entrepreneurship: The Practice and Mindset                                                                                          | Sage Pub.                         | 16043 |
| 専門 | Essential Words for the GRE, 4th ed. (Barron's Essential Words for the GRE)                                                         | Barron's Educational Series, Inc. | 2496  |
| 専門 | Essentials of Entrepreneurship: Changing the World, One Idea at a Time, 2nd ed.                                                     | Edward Elgar                      | 5398  |
| 専門 | Essentials of Marketing Management, 2nd ed.                                                                                         | Routledge                         | 9011  |
| 専門 | Exploring Morgan's Metaphors: Theory, Research, and Practice in Organizational Studies                                              | Sage Pub.                         | 8470  |
| 専門 | Finance at Work (Routledge International Studies in Money and Banking)                                                              | Routledge                         | 18927 |
| 専門 | Financial Accounting: A Concepts-Based Introduction                                                                                 | Routledge                         | 8290  |
| 専門 | Financial Accounting and Reporting: A Global Perspective, 5 ed.                                                                     | Cengage Learning EMEA             | 8040  |
| 専門 | Financial Accounting, Reporting, and Analysis, 2nd ed.                                                                              | Oxford U.P.                       | 10588 |
| 専門 | Financial Modeling: An Introductory Guide to Excel and VBA Applications in Finance, 1st ed. 2017 (Global Financial Markets)         | Palgrave Macmillan                | 9352  |
| 専門 | Financial Valuation: Applications and Models, 4th ed. (Wiley Finance)                                                               | Wiley                             | 21983 |
| 専門 | Financing Entrepreneurship and Innovation in Emerging Markets                                                                       | Academic Pr.                      | 11984 |
| 専門 | Financing High-Tech Startups: Using Productive Signaling to Efficiently Overcome the Liability of Complexity, 1st ed. 2018          | Springer International Publishing | 17927 |
| 専門 | Foundational Research in Entrepreneurship Studies: Insightful Contributions and Future Pathways, 1st ed. 2018                       | Palgrave Macmillan                | 17927 |
| 専門 | Foundations of Business, 6th ed. (Mindtap Course List)                                                                              | South-Western Publishing Co.      | 15848 |
| 専門 | From Science to Startup: The Inside Track of Technology Entrepreneurship, 1st ed. 2016                                              | Springer International Publishing | 4675  |
| 専門 | Fundamentals of Business Process Management, 2nd ed.                                                                                | Springer Verlag                   | 9352  |
| 専門 | Fundamentals of Human Resource Management: Functions, Applications, Skill Development                                               | Sage Pub.                         | 13700 |
| 専門 | Global Women Leaders (New Horizons in Leadership Studies Series)                                                                    | Edward Elgar                      | 12618 |
| 専門 | Globalizing Human Resource Management, 2nd ed. (Global HRM)                                                                         | Routledge                         | 8290  |
| 専門 | GRE Prep 2018: Test Prep Book, Study Guide, & Practice Test Questions for the Ets Graduate Record Examination                       | TEST Prep Books                   | 2496  |
| 専門 | GRE Verbal Workbook, 9th ed. (Kaplan Test Prep)                                                                                     | Kaplan Publishing                 | 3329  |
| 専門 | Handbook of Qualitative Research Techniques and Analysis in Entrepreneurship (Research Handbooks in Business and Management Series) | Edward Elgar                      | 7210  |
| 専門 | Handbook of Research Methods on Human Resource Development (Handbooks of Research Methods in Management Series)                     | Edward Elgar                      | 7210  |
| 専門 | Hedge Fund Compliance: Risks, Regulation, and Management (Wiley Finance)                                                            | Wiley                             | 9992  |
| 専門 | Hedge Funds (Financial Markets and Investments)                                                                                     | Oxford U.P., New York             | 13190 |
| 専門 | High Performance Through Business Process Management: Strategy Execution in a Digital World, 3rd ed.                                | Springer International Publishing | 10911 |
| 専門 | High Velocity Hiring: How to Hire Top Talent in an Instant                                                                          | McGraw-Hill                       | 4996  |
| 専門 | How to Create a Successful Business Plan: For Entrepreneurs, Scientists, Managers and Students                                      | World Scientific                  | 3863  |
| 専門 | How to Resolve Conflict in Organizations: The Power of People Models and Procedure                                                  | Routledge                         | 5406  |
| 専門 | Human Resource Management: Strategic and International Perspectives, 2nd ed.                                                        | Sage Pub.                         | 7208  |
| 専門 | Human Resource Management: Theory and Practice                                                                                      | Sage Pub. India                   | 5407  |
| 専門 | Improving Managerial Talent: Practical Psychology for Human Resourcing and Learning & Development Professionals                     | Routledge                         | 8111  |
| 専門 | Innovation Africa: Emerging Hubs of Excellence                                                                                      | Emerald Group Publishing Ltd.     | 8825  |
| 専門 | Innovation in Emerging Markets, 1st ed. 2016 (International Political Economy Series)                                               | Palgrave Macmillan                | 13639 |

|    |                                                                                                                                                                                             |                                   |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------|
| 専門 | Innovation, Governance and Entrepreneurship: How Do They Evolve in Middle Income Countries?: New Concepts, Trends and Challenges, 1st ed. 2017                                              | Palgrave Macmillan                | 25332 |
| 専門 | Inside Organizations: Exploring Organizational Experiences                                                                                                                                  | Sage Pub.                         | 3964  |
| 専門 | Instructor's Manual for Strategic Marketing Cases in Emerging Markets: A Companion Volume, 1st ed. 2017                                                                                     | Springer International Publishing | 4675  |
| 専門 | Integrated Business Planning: How to Integrate Planning Processes, Organizational Structures and Capabilities, and Leverage SAP IBP Technology, 1st ed. 2018 (Management for Professionals) | Springer International Publishing | 14029 |
| 専門 | International Financial Management, 3rd ed.                                                                                                                                                 | Cambridge U.P.                    | 13878 |
| 専門 | International Human Resource Management: Contemporary HR Issues in Europe, 3rd ed.                                                                                                          | Routledge                         | 7569  |
| 専門 | International Organizational Behavior: Transcending Borders and Cultures, 2nd ed.                                                                                                           | Routledge                         | 16897 |
| 専門 | International Strategy of Emerging Market Firms: Absorbing Global Knowledge and Building Competitive Advantage                                                                              | Routledge                         | 7569  |
| 専門 | Introducing Employment Relations, 4th ed.                                                                                                                                                   | Oxford U.P.                       | 8470  |
| 専門 | Introduction to Accounting                                                                                                                                                                  | Oxford U.P.                       | 8290  |
| 専門 | Introduction to Industrial/Organizational Psychology, 7th ed.                                                                                                                               | Routledge                         | 24335 |
| 専門 | Is Entrepreneurship Dead? – The Truth About Startups in America                                                                                                                             | Yale U.P.                         | 3997  |
| 専門 | Leadership and Cultural Change: Managing Future Well-Being                                                                                                                                  | Routledge                         | 18927 |
| 専門 | Leadership Explained: Leading Teams in the 21st Century                                                                                                                                     | Routledge                         | 19829 |
| 専門 | Leadership in Practice: Theory and Cases in Leadership Character                                                                                                                            | Routledge                         | 6848  |
| 専門 | Leading and Motivating Global Teams: Integrating Offshore Centers and the Head Office (Best Practices and Advances in Program Management)                                                   | Auerbach Publishers               | 13968 |
| 専門 | Learning from Entrepreneurial Failure                                                                                                                                                       | Cambridge U.P.                    | 5406  |
| 専門 | Management Accounting and Control: Tools and Concepts in a Central European Context                                                                                                         | Wiley–VCH                         | 7327  |
| 専門 | Management Accounting for Beginners (Routledge Focus on Business and Management)                                                                                                            | Routledge                         | 4504  |
| 専門 | Management Accounting in the Contemporary Business World, 1st ed. 2017                                                                                                                      | Palgrave Macmillan                | 10716 |
| 専門 | Management and Cost Accounting                                                                                                                                                              | Wiley–VCH                         | 5589  |
| 専門 | Management by Permission: Managing People in the 21st Century, 1st ed. 2016 (Management for Professionals, Vol.0)                                                                           | Springer International Publishing | 9352  |
| 専門 | Management Fundamentals: Concepts, Applications, and Skill Development, 7th ed.                                                                                                             | Sage Pub.                         | 18567 |
| 専門 | Managing Change, Creativity and Innovation, 3rd ed.                                                                                                                                         | Sage Pub.                         | 7929  |
| 専門 | Managing Cultural Diversity in Small and Medium-Sized Organizations: A Guideline for Practitioners, 1st ed. 2017 (Internationale Wirtschaftspartner)                                        | Springer Verlag                   | 10132 |
| 専門 | Managing for Happiness: Games, Tools, and Practices to Motivate Any Team                                                                                                                    | Wiley                             | 4663  |
| 専門 | Managing in Developing Countries                                                                                                                                                            | Routledge                         | 7929  |
| 専門 | Mapping Motivation for Coaching (The Complete Guide to Mapping Motivation)                                                                                                                  | Routledge                         | 10139 |
| 専門 | Marketing: An Introduction, 4th ed.                                                                                                                                                         | Sage Pub.                         | 8290  |
| 専門 | Marketing High Technology Services                                                                                                                                                          | Routledge                         | 16223 |
| 専門 | Marketing Research: A Concise Introduction, 2nd ed.                                                                                                                                         | Sage Pub.                         | 6848  |
| 専門 | Marketing Theory: A Student Text, 3rd ed.                                                                                                                                                   | Sage Pub.                         | 7749  |
| 専門 | Mastering Private Equity: Transformation via Venture Capital, Minority Investments and Buyouts                                                                                              | Wiley                             | 9992  |
| 専門 | McGraw-Hill Education 8 GRE Practice Tests, Third Edition, 3rd ed.                                                                                                                          | McGraw-Hill                       | 3330  |
| 専門 | Motivating People in a Week (In a Week)                                                                                                                                                     | Hodder Education                  | 1800  |
| 専門 | Motivation: The Manager's Key to Closing the Commitment Gap                                                                                                                                 | F.A. Praeger, Inc.                | 6162  |
| 専門 | Multi-Stakeholder Decision Making for Complex Problems: A Systems Thinking Approach with Cases                                                                                              | World Scientific                  | 13057 |
| 専門 | New Organizational Forms, Controls, and Institutions: Understanding the Tensions in 'Post-Bureaucratic' Organizations, 1st ed. 2017                                                         | Palgrave Macmillan                | 18706 |
| 専門 | Next Generation Demand Management: People, Process, Analytics, and Technology (Wiley and SAS Business Series)                                                                               | Wiley                             | 6655  |
| 専門 | Official GRE Super Power Pack, Second Edition, 2nd ed.                                                                                                                                      | McGraw-Hill                       | 11991 |
| 専門 | Official GRE Value Combo                                                                                                                                                                    | McGraw-Hill                       | 4796  |
| 専門 | On the Line: Business Education in the Digital Age, 1st ed. 2018                                                                                                                            | Springer International Publishing | 21825 |

|    |                                                                                                                                                                           |                                   |       |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-------|
| 専門 | Organisational Behaviour: An Introduction, 1st ed. 2016                                                                                                                   | Palgrave Macmillan                | 9742  |
| 専門 | Organization Design: The Practitioner's Guide, 3rd ed.                                                                                                                    | Routledge                         | 8110  |
| 専門 | Organization Development: Strategies for Changing Environments, 2nd ed.                                                                                                   | Routledge                         | 10453 |
| 専門 | Organization Development: The Process of Leading Organizational Change, 4th ed.                                                                                           | Sage Pub.                         | 13700 |
| 専門 | Organizational Behavior: Integrating Individuals, Groups, and Organizations, 5th ed.                                                                                      | Routledge                         | 10453 |
| 専門 | Organizational Behavior: A Critical-Thinking Approach                                                                                                                     | Sage Pub.                         | 18386 |
| 専門 | Organizational Behaviour, 2nd ed.                                                                                                                                         | Oxford U.P.                       | 9011  |
| 専門 | Organizational Behaviour and Work: A Critical Introduction, 5th ed.                                                                                                       | Oxford U.P.                       | 8110  |
| 専門 | Organizational Creativity: A Practical Guide for Innovators & Entrepreneurs                                                                                               | Sage Pub.                         | 8110  |
| 専門 | Organizational Identity and Firm Growth: Properties of Growth, Contextual Identities and Micro-Level Processes, 1st ed. 2017                                              | Palgrave Macmillan                | 15588 |
| 専門 | Organizational Routines: How They Are Created, Maintained, and Changed (Perspectives on Process Organization Studies)                                                     | Oxford U.P.                       | 11897 |
| 専門 | Peer Supervision in Coaching and Mentoring: A Versatile Guide for Reflective Practice                                                                                     | Routledge                         | 6307  |
| 専門 | People, Management and Organizations, 1st ed. 2018                                                                                                                        | Palgrave Macmillan                | 10716 |
| 専門 | Principles of Management: Efficiency and Effectiveness in the Private and Public Sector, 1st ed. 2018 (Springer Texts in Business and Economics)                          | Springer International Publishing | 13250 |
| 専門 | Principles of Marketing, Global Edition, 17th ed.                                                                                                                         | Pearson Education                 | 6661  |
| 専門 | Private Equity and Venture Capital in Europe, 2nd ed.                                                                                                                     | Academic Pr.                      | 13316 |
| 専門 | Problem Solving in Organizations: A Methodological Handbook for Business and Management Students, 3rd ed.                                                                 | Cambridge U.P.                    | 7884  |
| 専門 | Project Finance for Business Development (Wiley and SAS Business Series)                                                                                                  | Wiley                             | 7994  |
| 専門 | Reimagining Work: Strategies to Disrupt Talent, Lead Change, and Win with a Flexible Workforce                                                                            | Wiley                             | 3330  |
| 専門 | Rethinking Entrepreneurial Human Capital: The Role of Innovation and Collaboration, 1st ed. 2018 (Studies on Entrepreneurship, Structural Change and Industrial Dynamics) | Springer International Publishing | 17927 |
| 専門 | Rethinking Innovation and Design for Emerging Markets: Inside the Renault Kwid Project                                                                                    | Auerbach Publishers               | 7028  |
| 専門 | Services Marketing Cases in Emerging Markets: An Asian Perspective, 1st ed. 2017                                                                                          | Springer International Publishing | 10911 |
| 専門 | Shaping the Digital Enterprise: Trends and Use Cases in Digital Innovation and Transformation, 1st ed. 2017                                                               | Springer International Publishing | 12470 |
| 専門 | Short Introduction to Corporate Finance (Cambridge Short Introductions to Management)                                                                                     | Cambridge U.P.                    | 8110  |
| 専門 | Slow Tech and ICT: A Responsible, Sustainable and Ethical Approach, 1st ed. 2018                                                                                          | Palgrave Macmillan                | 7793  |
| 専門 | Smart Choices: A Practical Guide to Making Better Decisions                                                                                                               | Harvard Business School Press     | 5829  |
| 専門 | Startup Opportunities: Know When to Quit Your Day Job, 2nd ed.                                                                                                            | Wiley                             | 3590  |
| 専門 | Stock Markets and Corporate Finance                                                                                                                                       | World Scientific                  | 10392 |
| 専門 | Strategic Human Resource Management, 2nd ed.                                                                                                                              | Oxford U.P.                       | 8110  |
| 専門 | Strategic Human Resource Management: An International Perspective, 2nd ed.                                                                                                | Sage Pub.                         | 7208  |
| 専門 | Strategic Management Accounting: A Practical Guidebook with Case Studies, 1st ed. 2018 (Management for Professionals)                                                     | Springer Singapore                | 10911 |
| 専門 | Strategic Marketing Cases in Emerging Markets, 1st ed. 2017                                                                                                               | Springer International Publishing | 8573  |
| 専門 | Strategy, HRM, and Performance, 2nd ed.                                                                                                                                   | Oxford U.P.                       | 4504  |
| 専門 | Supply Chain Finance: Integrating Operations and Finance in Global Supply Chains, 1st ed. 2018 (EURO Advanced Tutorials on Operational Research)                          | Springer International Publishing | 12003 |
| 専門 | Techniques for Coaching and Mentoring, 2nd ed.                                                                                                                            | Routledge                         | 6307  |
| 専門 | Technology-Based Nascent Entrepreneurship: Implications for Economic Policymaking, 1st ed. 2017 (Palgrave Advances in the Economics of Innovation and Technology)         | Palgrave Macmillan                | 18706 |
| 専門 | The Cambridge Handbook of Workplace Training and Employee Development (Cambridge Handbooks in Psychology)                                                                 | Cambridge U.P.                    | 13878 |



|    |                                                                                                                                                                                    |                                   |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | The Economics of Crowdfunding: Startups, Portals and Investor Behavior, 1st ed. 2018                                                                                               | Palgrave Macmillan                | 22409  |
| 専門 | The Economics of Motivation and Organization                                                                                                                                       | Edward Elgar                      | 6309   |
| 専門 | The Global Human Resource Management Casebook, 2nd ed. (Global HRM)                                                                                                                | Routledge                         | 9912   |
| 専門 | The Human Capital Imperative: Valuing Your Talent, 1st ed. 2017                                                                                                                    | Palgrave Macmillan                | 5922   |
| 専門 | The Human Element of Big Data: Issues, Analytics, and Performance                                                                                                                  | CRC Press                         | 16762  |
| 専門 | The Official Guide to the GRE General Test., 3rd ed.                                                                                                                               | McGraw-Hill                       | 6661   |
| 専門 | The Oxford Handbook of Organizational Identity                                                                                                                                     | Oxford U.P.                       | 17125  |
| 専門 | The Oxford Handbook of Skills and Training (Oxford Handbooks)                                                                                                                      | Oxford U.P.                       | 19829  |
| 専門 | The Oxford Handbook of Talent Management (Oxford Handbooks)                                                                                                                        | Oxford U.P.                       | 17125  |
| 専門 | The Oxford Handbook of Work Engagement, Motivation, and Self-Determination Theory (Oxford Library of Psychology)                                                                   | Oxford U.P., New York             | 9193   |
| 専門 | The Startup Checklist: 25 Steps to a Scalable, High-Growth Business                                                                                                                | Wiley                             | 4263   |
| 専門 | Training and Assessing Non-Technical Skills: A Practical Guide                                                                                                                     | CRC Press                         | 7028   |
| 専門 | Trusting Judgements: How to Get the Best out of Experts                                                                                                                            | Cambridge U.P.                    | 3783   |
| 専門 | Unicorn Tears: Why Startups Fail and How To Avoid It                                                                                                                               | Wiley                             | 3197   |
| 専門 | Valuation for M&A: Building and Measuring Private Company Value, 3rd ed. (Wiley Finance)                                                                                           | Wiley                             | 11325  |
| 専門 | Valuation of Human Capital: Quantifying the Importance of an Assembled Workforce, 1st ed. 2017                                                                                     | Palgrave Macmillan                | 8573   |
| 専門 | Venture Capital and Firm Performance: The Korean Experience in a Global Perspective (Routledge Studies in International Business and the World Economy)                            | Routledge                         | 18927  |
| 専門 | Venture Capital and the Inventive Process: VC Funds for Ideas-Led Growth, 1st ed. 2016                                                                                             | Palgrave Macmillan                | 10716  |
| 専門 | Venture Capital Tax Reliefs: Third Edition, 3rd ed.                                                                                                                                | Bloomsbury Academic               | 23434  |
| 専門 | Venture Deals: Be Smarter Than Your Lawyer and Venture Capitalist, 3rd ed.                                                                                                         | Wiley                             | 6655   |
| 専門 | Weygandt's Managerial Accounting: Tools for Business Decision Making, Global ed.                                                                                                   | Wiley                             | 11991  |
| 専門 | What Everyone Needs to Know about Tax: An Introduction to the UK Tax System                                                                                                        | Wiley                             | 4656   |
| 専門 | Working with Millennials: Using Emotional Intelligence and Strategic Compassion to Motivate the Next Generation of Leaders                                                         | F.A. Praeger, Inc.                | 6162   |
| 専門 | Workplace Research: Conducting Small-Scale Research in Organizations                                                                                                               | Sage Pub.                         | 4504   |
| 専門 | A Concise Introduction to Programming in Python, Second Edition, 2nd ed. (Chapman & Hall/CRC Textbooks in Computing)                                                               | Chapman & Hall/CRC                | 7,028  |
| 専門 | A Guide to Financial Regulation for Fintech Entrepreneurs                                                                                                                          | Wiley                             | 5,322  |
| 専門 | Advanced Microservices: A Hands-on Approach to Microservice Infrastructure and Tooling, 1st ed.                                                                                    | Apress                            | 5,844  |
| 専門 | Algorithms in a Nutshell, 2e, 2nd ed.                                                                                                                                              | O'Reilly                          | 9,991  |
| 専門 | An Introduction to Component-Based Software Development (Series on Component-Based Software Development, 3)                                                                        | World Scientific                  | 10,392 |
| 専門 | An Introduction to the Analysis of Algorithms: 3rd Edition, 3rd ed.                                                                                                                | World Scientific                  | 13,057 |
| 専門 | API Management: An Architect's Guide to Developing and Managing APIs for Your Organization, 1st ed.                                                                                | Apress                            | 5,455  |
| 専門 | Artificial Intelligence: Foundations of Computational Agents, 2nd ed.                                                                                                              | Cambridge U.P.                    | 10,814 |
| 専門 | Artificial Intelligence and Exponential Technologies: Business Models Evolution and New Investment Opportunities, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Applied Sciences and Technology) | Springer International Publishing | 10,716 |
| 専門 | Artificial Intelligence and Games, 1st ed. 2018                                                                                                                                    | Springer International Publishing | 6,429  |
| 専門 | Artificial Intelligence and the Two Singularities (Chapman & Hall/CRC Artificial Intelligence and Robotics Series)                                                                 | Chapman & Hall/CRC                | 5,586  |
| 専門 | Big Data: A Primer, 2015th ed. (Studies in Big Data, Vol.11)                                                                                                                       | Springer India                    | 8,767  |
| 専門 | Big Data 2.0 Processing Systems: A Survey, 1st ed. 2016 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                                                       | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Artificial Intelligence for .NET: Speech, Language, and Search: Building Smart Applications with Microsoft Cognitive Services APIs, 1st ed.                                        | Apress                            | 6,818  |
| 専門 | Artificial Intelligence Tools for Cyber Attribution, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                                             | Springer International Publishing | 7,793  |

|    |                                                                                                                                              |                                         |        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------|
| 専門 | Automated Workflow Scheduling in Self-Adaptive Clouds: Concepts, Algorithms and Methods, 1st ed. 2017 (Computer Communications and Networks) | Springer International Publishing       | 7,014  |
| 専門 | AWS Certified Advanced Networking Official Study Guide: Specialty Exam                                                                       | Sybex Inc.                              | 7,994  |
| 専門 | Bad Programming Practices 101: Become a Better Coder by Learning How (Not) to Program, 1st ed.                                               | Apress                                  | 3,896  |
| 専門 | Begin to Code with C#                                                                                                                        | Microsoft Press Div. of Microsoft Corp. | 5,328  |
| 専門 | Beginning C++17: From Novice to Professional, 5th ed.                                                                                        | Apress                                  | 7,793  |
| 専門 | Beginning Ethical Hacking with Python, 1st ed.                                                                                               | Apress                                  | 3,896  |
| 専門 | Beginning Oracle Database 12c Administration: From Novice to Professional, 2nd ed.                                                           | Apress                                  | 7,014  |
| 専門 | Beginning SOLID Principles and Design Patterns for ASP.NET Developers, 1st ed.                                                               | Apress                                  | 6,234  |
| 専門 | Big Data Factories: Collaborative Approaches, 1st ed. 2017 (Computational Social Sciences)                                                   | Springer International Publishing       | 6,818  |
| 専門 | Beginning SQL Queries: From Novice to Professional, 2nd ed.                                                                                  | Apress                                  | 4,207  |
| 専門 | Beginning SQL Server R Services: Analytics for Data Scientists, 1st ed.                                                                      | Apress                                  | 5,143  |
| 専門 | Bitcoin and Blockchain Security                                                                                                              | Artech House Publishers                 | 16,487 |
| 専門 | Blockchain: A Practical Guide to Developing Business, Law, and Technology Solutions                                                          | McGraw-Hill                             | 5,829  |
| 専門 | Blockchain Basics: A Non-Technical Introduction in 25 Steps, 1st ed.                                                                         | Apress                                  | 4,480  |
| 専門 | Blockchain Enabled Applications: Understand the Blockchain Ecosystem and How to Make it Work for You, 1st ed.                                | Apress                                  | 6,429  |
| 専門 | Collaborative Cyber Threat Intelligence: Detecting and Responding to Advanced Cyber Attacks at the National Level                            | Auerbach Publishers                     | 11,174 |
| 専門 | Combinatorial Testing in Cloud Computing, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                  | Springer Singapore                      | 8,769  |
| 専門 | Cloud Computing and Software Services: Theory and Techniques                                                                                 | CRC Press                               | 13,517 |
| 専門 | Bridging the Gap between Requirements Engineering and Software Architecture: A Problem-Oriented and Quality-Driven Method, 1st ed. 2017      | Springer Verlag                         | 13,250 |
| 専門 | Compact Data Structures: A Practical Approach                                                                                                | Cambridge U.P.                          | 13,066 |
| 専門 | Compilation for Secure Multi-party Computation, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)                                            | Springer International Publishing       | 8,573  |
| 専門 | Computer Networks and Communication Systems                                                                                                  | CRC Press                               | 13,880 |
| 専門 | Concise Guide to Formal Methods: Theory, Fundamentals and Industry Applications, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)     | Springer International Publishing       | 10,716 |
| 専門 | Concise Guide to Software Engineering: From Fundamentals to Application Methods, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)     | Springer International Publishing       | 8,573  |
| 専門 | Cyber Society, Big Data, and Evaluation: Comparative Policy Evaluation                                                                       | Routledge                               | 4,504  |
| 専門 | Cyberspace and Cybersecurity, Second Edition, 2nd ed.                                                                                        | Auerbach Publishers                     | 11,174 |
| 専門 | Cloud Broker and Cloudelet for Workflow Scheduling, 1st ed. 2017 (KAIST Research Series)                                                     | Springer Singapore                      | 18,511 |
| 専門 | Cloud Computing: Principles, Systems and Applications, 2nd ed. (Computer Communications and Networks)                                        | Springer International Publishing       | 25,332 |
| 専門 | Cloud Computing: Concepts and Practices, 1st ed. 2018                                                                                        | Springer International Publishing       | 17,147 |
| 専門 | Data Analytics with Hadoop                                                                                                                   | O'Reilly                                | 4,161  |
| 専門 | Data Protection: Ensuring Data Availability                                                                                                  | Auerbach Publishers                     | 9,236  |
| 専門 | Data Science: Create Teams That Ask the Right Questions and Deliver Real Value, 1st ed.                                                      | Apress                                  | 5,143  |
| 専門 | Database Systems: A Pragmatic Approach, 2nd ed.                                                                                              | Apress                                  | 7,793  |
| 専門 | Decentralized Applications                                                                                                                   | O'Reilly                                | 6,493  |
| 専門 | Decentralized Computing Using Blockchain Technologies and Smart Contracts: Emerging Research and Opportunities                               | IGI Global                              | 19,985 |
| 専門 | Deep Learning                                                                                                                                | The MIT Press                           | 10,658 |
| 専門 | Demystifying Big Data and Machine Learning for Healthcare                                                                                    | CRC Press                               | 11,354 |
| 専門 | Designing and Developing Customer-Centric Information Systems                                                                                | CRC Press                               | 13,968 |

|    |                                                                                                                                                            |                                   |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | Developing a Data Warehouse for the Healthcare Enterprise: Lessons from the Trenches, Third Edition, 3rd ed.                                               | Productivity Press Inc.           | 9,732  |
| 専門 | Digital Audio Watermarking: Fundamentals, Techniques and Challenges, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Electrical and Computer Engineering)                  | Springer Singapore                | 8,573  |
| 専門 | DNS Security Management (IEEE Press Series on Networks and Services Management)                                                                            | Wiley-Blackwell                   | 13,989 |
| 専門 | Economic Models for Managing Cloud Services, 1st ed. 2018                                                                                                  | Springer International Publishing | 12,003 |
| 専門 | Effective Python: 59 Specific Ways to Write Better Python (Effective Software Development)                                                                 | Addison-Wesley (USA)              | 5,328  |
| 専門 | E-Government for Good Governance in Developing Countries: Empirical Evidence from the eFcz Project                                                         | Anthem Press                      | 5,633  |
| 専門 | Electronic Access Control, 2nd ed.                                                                                                                         | Butterworth-Heinemann             | 11,984 |
| 専門 | Electronic Trading And Blockchain: Yesterday, Today And Tomorrow                                                                                           | World Scientific                  | 9,060  |
| 専門 | Elementary Functions: Algorithms and Implementation, 3rd ed.                                                                                               | Birkhauser Boston                 | 11,691 |
| 専門 | Embedded Software Development: The Open-Source Approach (Embedded Systems, Vol. 4)                                                                         | CRC Press                         | 17,664 |
| 専門 | Embedded System Design: Embedded Systems Foundations of Cyber-Physical Systems, and the Internet of Things, 3rd ed. (Embedded Systems)                     | Springer International Publishing | 11,691 |
| 専門 | Emotional Banking: Fixing Culture, Leveraging FinTech, and Transforming Retail Banks into Brands, 1st ed. 2018                                             | Palgrave Macmillan                | 5,143  |
| 専門 | Enterprise Cloud Computing for Non-Engineers (Technology for Non-Engineers)                                                                                | Auerbach Publishers               | 9,732  |
| 専門 | Essence of Systems Analysis and Design: A Workbook Approach, 1st ed. 2017                                                                                  | Springer Singapore                | 13,639 |
| 専門 | Essential C# 6.0, 5th ed. (Addison-Wesley Microsoft Technology)                                                                                            | Addison-Wesley (USA)              | 7,992  |
| 専門 | Essential Excel 2016: A Step-by-Step Guide, 1st ed.                                                                                                        | Apress                            | 7,014  |
| 専門 | Ethical Reasoning in Big Data: An Exploratory Analysis, 1st ed. 2016 (Computational Social Sciences)                                                       | Springer International Publishing | 13,250 |
| 専門 | Ethics and Governance in Project Management: Small Sins Allowed and the Line of Impunity (Best Practices and Advances in Program Management, Vol. 26)      | Auerbach Publishers               | 10,092 |
| 専門 | Ethics of Information and Communication Technologies, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Applied Sciences and Technology)                                     | Springer International Publishing | 7,793  |
| 専門 | Expert Hadoop Administration: Managing, Tuning, and Securing Spark, YARN, and HDFS (Addison-Wesley Data & Analytics)                                       | Addison-Wesley (USA)              | 6,660  |
| 専門 | Failure-Modes-Based Software Reading, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                                    | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | FinTech: The Technology Driving Disruption in the Financial Services Industry                                                                              | Auerbach Publishers               | 8,470  |
| 専門 | Fintech and the Remaking of Financial Institutions                                                                                                         | Academic Pr.                      | 14,980 |
| 専門 | FinTech in Germany, 1st ed. 2017                                                                                                                           | Springer International Publishing | 14,029 |
| 専門 | FinTech Innovation: From Robo-Advisors to Goal Based Investing and Gamification (The Wiley Finance Series)                                                 | Wiley                             | 6,661  |
| 専門 | FinTech Revolution: Universal Inclusion in the New Financial Ecosystem, 1st ed. 2018                                                                       | Palgrave Macmillan                | 5,455  |
| 専門 | Flexible Network Architectures Security: Principles and Issues                                                                                             | Auerbach Publishers               | 11,174 |
| 専門 | Flexible, Reliable Software: Using Patterns and Agile Development, 2nd ed. (Chapman & Hall/CRC Textbooks in Computing)                                     | CRC Press                         | 13,880 |
| 専門 | Functional Software Size Measurement Methodology with Effort Estimation and Performance Indication                                                         | Wiley-Blackwell                   | 15,988 |
| 専門 | Fundamentals of Big Data Network Analysis for Research and Industry                                                                                        | Wiley-Blackwell                   | 10,658 |
| 専門 | Fundamentals of Complex Networks: Models, Structures and Dynamics                                                                                          | Wiley                             | 16,654 |
| 専門 | Fundamentals of Computational Intelligence: Neural Networks, Fuzzy Systems, and Evolutionary Computation (IEEE Press Series on Computational Intelligence) | Wiley-Blackwell                   | 15,988 |
| 専門 | Getting Started with Adafruit FLORA                                                                                                                        | Wiley                             | 2,829  |
| 専門 | Getting Started with OpenBTS                                                                                                                               | O'Reilly                          | 3,329  |
| 専門 | GPU Programming in MATLAB                                                                                                                                  | Morgan Kaufmann                   | 7,987  |
| 専門 | Guide to Competitive Programming: Learning and Improving Algorithms Through Contests, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)              | Springer International Publishing | 7,014  |
| 専門 | Guide to Computer Network Security, 4th ed. (Computer Communications and Networks)                                                                         | Springer International Publishing | 9,352  |

|    |                                                                                                                                    |                                   |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | Guide to Data Structures: A Concise Introduction Using Java, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)               | Springer International Publishing | 8,261  |
| 専門 | Guide to Graph Algorithms: Sequential, Parallel and Distributed, 1st ed. 2018 (Texts in Computer Science)                          | Springer International Publishing | 10,444 |
| 専門 | Guide to Scientific Computing in C++, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                                           | Springer International Publishing | 7,014  |
| 専門 | Guide to Security in SDN and NFV: Challenges, Opportunities, and Applications, 1st ed. 2017 (Computer Communications and Networks) | Springer International Publishing | 8,261  |
| 専門 | Hadoop in 24 Hours, Sams Teach Yourself (Sams Teach Yourself in 24 Hours)                                                          | Sams                              | 6,660  |
| 専門 | Hidden Semi-Markov Models: Theory, Algorithms and Applications                                                                     | Elsevier Science                  | 5,322  |
| 専門 | High Performance SQL Server: The Go Faster Book, 1st ed.                                                                           | Apress                            | 5,455  |
| 専門 | Human Change Management Body of Knowledge (HCMBOKR), 3rd ed. (Best Practices and Advances in Program Management)                   | Auerbach Publishers               | 10,588 |
| 専門 | Imposing Risk: A Normative Framework (Oxford Legal Philosophy)                                                                     | Oxford U.P.                       | 9,013  |
| 専門 | Industry 4.0: The Industrial Internet of Things, 1st ed.                                                                           | Apress                            | 5,143  |
| 専門 | Innovation Project Management Handbook                                                                                             | Productivity Press Inc.           | 8,470  |
| 専門 | Insider's Guide to Cyber Security Architecture                                                                                     | Auerbach Publishers               | 9,732  |
| 専門 | Internet Afterlife: Virtual Salvation in the 21st Century                                                                          | F.A. Praeger, Inc.                | 7,994  |
| 専門 | Internet of Things: Building Blocks and Business Models, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Electrical and Computer Engineering)      | Springer International Publishing | 8,573  |
| 専門 | Internet-of-Things (IoT) Systems: Architectures, Algorithms, Methodologies, 1st ed. 2018                                           | Springer International Publishing | 13,250 |
| 専門 | Introducing Ethereum and Solidity: Foundations of Cryptocurrency and Blockchain Programming for Beginners, 1st ed.                 | Apress                            | 7,208  |
| 専門 | Introduction to Machine Learning with Applications in Information Security                                                         | Chapman & Hall/CRC                | 9,011  |
| 専門 | Introduction to Property Testing                                                                                                   | Cambridge U.P.                    | 12,616 |
| 専門 | Introduction to Recursive Programming                                                                                              | CRC Press                         | 11,174 |
| 専門 | iOS Code Testing: Test-Driven Development and Behavior-Driven Development with Swift, 1st ed.                                      | Apress                            | 7,014  |
| 専門 | IoT Fundamentals: Networking Technologies, Protocols, and Use Cases for the Internet of Things (Fundamentals)                      | Cisco Press                       | 7,326  |
| 専門 | IoT Security Issues                                                                                                                | Walter de Gruyter & Co.           | 6,625  |
| 専門 | Java 9 Recipes: A Problem-Solution Approach, 3rd ed.                                                                               | Apress                            | 8,767  |
| 専門 | Java 9 Revealed: For Early Adoption and Migration, 1st ed.                                                                         | Apress                            | 7,208  |
| 専門 | Kubernetes Management Design Patterns: With Docker, CoreOS Linux, and Other Platforms, 1st ed.                                     | Apress                            | 5,922  |
| 専門 | Leading Complex Projects: A Data-Driven Approach to Mastering the Human Side of Project Management                                 | Wiley                             | 6,661  |
| 専門 | Learning Practical FinTech from Successful Companies                                                                               | Wiley                             | 4,988  |
| 専門 | Load Modelling and Generation in IP-based Networks: A Unified Approach and Tool Support, 1st ed. 2017                              | Springer Verlag                   | 11,691 |
| 専門 | Low Level X Window Programming: An Introduction by Examples, 1st ed. 2017                                                          | Springer International Publishing | 11,106 |
| 専門 | Low-Level Programming: C, Assembly, and Program Execution on Intel® 64 Architecture, 1st ed.                                       | Apress                            | 10,716 |
| 専門 | Managing Networks in Project-Based Organisations                                                                                   | Wiley-Blackwell                   | 13,323 |
| 専門 | Mastering Bitcoin: Programming the Open Blockchain, 2nd ed.                                                                        | O'Reilly                          | 5,827  |
| 専門 | Mastering Software Variability with FeatureIDE, 1st ed. 2017                                                                       | Springer International Publishing | 11,690 |
| 専門 | MicroPython for the Internet of Things: A Beginner's Guide to Programming with Python on Microcontrollers, 1st ed.                 | Apress                            | 6,429  |
| 専門 | Mobile Cloud Computing                                                                                                             | Morgan Kaufmann                   | 10,652 |
| 専門 | Mobile Encryption: Securing and Encrypting Mobile Devices                                                                          | CRC Press                         | 11,174 |
| 専門 | Modeling and Simulation in HPC and Cloud Systems, 1st ed. 2018 (Studies in Big Data, Vol.36)                                       | Springer International Publishing | 13,562 |
| 専門 | Modeling Companion for Software Practitioners, 1st ed. 2018                                                                        | Springer Verlag                   | 8,261  |
| 専門 | Models to Code: With No Mysterious Gaps, 1st ed.                                                                                   | Apress                            | 5,922  |

|    |                                                                                                                                                      |                                   |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | Modern API Design with ASP.NET Core 2: Building Cross-Platform Back-End Systems, 1st ed.                                                             | Apress                            | 3,895  |
| 専門 | Moving Hadoop in the Cloud                                                                                                                           | O'Reilly                          | 6,660  |
| 専門 | Multibiometric Watermarking with Compressive Sensing Theory: Techniques and Applications, 1st ed. 2018 (Signals and Communication Technology)        | Springer International Publishing | 13,562 |
| 専門 | Multilevel Modeling of Secure Systems in QoP-ML                                                                                                      | Auerbach Publishers               | 8,290  |
| 専門 | Network Information Theory                                                                                                                           | Cambridge U.P.                    | 8,110  |
| 専門 | Network Traffic Anomaly Detection and Prevention: Concepts, Techniques, and Tools, 1st ed. 2017 (Computer Communications and Networks)               | Springer International Publishing | 11,691 |
| 専門 | Object-Oriented Design with ABAP: A Practical Approach, 1st ed.                                                                                      | Apress                            | 8,767  |
| 専門 | Optimized C++                                                                                                                                        | O'Reilly                          | 9,991  |
| 専門 | Optimized Cloud Based Scheduling, 1st ed. 2018 (Studies in Computational Intelligence, Vol. 759)                                                     | Springer International Publishing | 13,562 |
| 専門 | Oracle SQL Revealed: Executing Business Logic in the Database Engine, 1st ed.                                                                        | Apress                            | 3,896  |
| 専門 | Orchestrating and Automating Security for the Internet of Things: Delivering Advanced Security Capabilities from Edge to Cloud for IoT               | Cisco Press                       | 10,657 |
| 専門 | Practical API Architecture and Development with Azure and AWS: Design and Implementation of APIs for the Cloud, 1st ed.                              | Apress                            | 5,454  |
| 専門 | Practical C++ Financial Programming, 1st ed.                                                                                                         | Apress                            | 13,639 |
| 専門 | Practical Hive: A Guide to Hadoop's Data Warehouse System, 1st ed.                                                                                   | Apress                            | 5,455  |
| 専門 | Practical Information Security: A Competency-Based Education Course, 1st ed. 2018                                                                    | Springer International Publishing | 14,614 |
| 専門 | Privacy as Trust: Information Privacy for an Information Age                                                                                         | Cambridge U.P.                    | 6,081  |
| 専門 | Pro Continuous Delivery: With Jenkins 2.0, 1st ed.                                                                                                   | Apress                            | 7,403  |
| 専門 | Pro Functional PHP Programming: Application Development Strategies for Performance Optimization, Concurrency, Testability, and Code Brevity, 1st ed. | Apress                            | 6,818  |
| 専門 | Pro JPA 2 in Java EE 8: An In-Depth Guide to Java Persistence APIs, 3rd ed.                                                                          | Apress                            | 7,325  |
| 専門 | Probabilistic Foundations of Statistical Network Analysis (Chapman & Hall/CRC Monographs on Statistics & Applied Probability)                        | Chapman & Hall/CRC                | 7,028  |
| 専門 | Processing Big Data with Azure HDInsight: Building Real-World Big Data Systems on Azure HDInsight Using the Hadoop Ecosystem, 1st ed.                | Apress                            | 6,818  |
| 専門 | Professional C# 7 and .NET Core 2.0                                                                                                                  | Wrox Press Inc.                   | 7,994  |
| 専門 | Professional C++, 4th ed.                                                                                                                            | Wrox Press Inc.                   | 8,660  |
| 専門 | Professional Hadoop                                                                                                                                  | Wrox Press Inc.                   | 8,327  |
| 専門 | Programming Interviews Exposed: Coding Your Way Through the Interview, 4th ed.                                                                       | Wrox Press Inc.                   | 3,997  |
| 専門 | Programming Language Concepts, 2nd ed. (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                                    | Springer International Publishing | 10,326 |
| 専門 | Programming with Scala: Language Exploration, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)                                                | Springer International Publishing | 7,014  |
| 専門 | Project Management Case Studies, 5th ed.                                                                                                             | Wiley                             | 10,825 |
| 専門 | Project Management for Performance Improvement Teams (The Little Big Book Series)                                                                    | Productivity Press Inc.           | 3,423  |
| 専門 | Project Management Metrics, KPIs, and Dashboards: A Guide to Measuring and Monitoring Project Performance, 3rd ed.                                   | Wiley                             | 9,992  |
| 専門 | Project. Program. Change                                                                                                                             | Taylor and Francis                | 13,880 |
| 専門 | Python Unit Test Automation: Practical Techniques for Python Developers and Testers, 1st ed.                                                         | Apress                            | 5,454  |
| 専門 | QoS Prediction in Cloud and Service Computing: Approaches and Applications, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Computer Science)                        | Springer Singapore                | 10,716 |
| 専門 | Raspberry Pi IoT Projects: Prototyping Experiments for Makers, 1st ed.                                                                               | Apress                            | 4,472  |
| 専門 | Real-World Algorithms: A Beginner's Guide                                                                                                            | The MIT Press                     | 5,995  |
| 専門 | Re-engineering the Uptake of ICT in Schools, Softcover reprint of the original 1st ed. 2015                                                          | Springer International Publishing | 9,742  |
| 専門 | Requirements Engineering, 4th ed.                                                                                                                    | Springer International Publishing | 11,690 |
| 専門 | Requirements Engineering for Software and Systems, Third Edition, 3rd ed. (Applied Software Engineering Series)                                      | Auerbach Publishers               | 14,418 |

|    |                                                                                                                                                                   |                                                |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------|
| 専門 | Research and Development in Digital Media, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Computer Science)                                                                      | Springer International Publishing              | 7,793  |
| 専門 | Research Methods for Cyber Security                                                                                                                               | Syngress Publishing                            | 11,984 |
| 専門 | Researching Complex Information Infrastructures: Design Characteristics of ICT Tools for Examining Modern Technology Usage, 1st ed. 2017 (Medien der Kooperation) | Springer Verlag                                | 13,639 |
| 専門 | Reusable Firmware Development: A Practical Approach to APIs, HALs and Drivers, 1st ed.                                                                            | Apress                                         | 7,403  |
| 専門 | Risk Thinking for Cloud-Based Application Services                                                                                                                | Auerbach Publishers                            | 11,174 |
| 専門 | Semantic Applications: Methodology, Technology, Corporate Use, 1st ed. 2018                                                                                       | Springer Verlag                                | 8,767  |
| 専門 | Social Media: A Reference Handbook (Contemporary World Issues )                                                                                                   | ABC-Clio                                       | 9,992  |
| 専門 | Software Quality Assurance: Consistency in the Face of Complexity and Change, 1st ed. 2017 (Undergraduate Topics in Computer Science)                             | Springer International Publishing              | 7,014  |
| 専門 | Software Testing Automation Tips: 50 Things Automation Engineers Should Know, 1st ed.                                                                             | Apress                                         | 4,480  |
| 専門 | Source Code Modularization: Theory and Techniques, 1st ed. 2017                                                                                                   | Springer International Publishing              | 13,639 |
| 専門 | Supply Chain Finance and Blockchain Technology: The Case of Reverse Securitisation, 1st ed. 2018 (SpringerBriefs in Finance)                                      | Springer International Publishing              | 8,573  |
| 専門 | Swift in the Cloud                                                                                                                                                | Wiley                                          | 5,329  |
| 専門 | The Blockchain Alternative: Rethinking Macroeconomic Policy and Economic Theory, 1st ed.                                                                          | Apress                                         | 3,896  |
| 専門 | The Blockchain: A Guide for Legal and Business Professionals                                                                                                      | Thomson West Publishing International Division | 9,318  |
| 専門 | The Business Blockchain: Promise, Practice, and Application of the Next Internet Technology                                                                       | Wiley                                          | 4,654  |
| 専門 | The C# Programmer's Study Guide (MCSd): Exam: 70-483, 1st ed.                                                                                                     | Apress                                         | 5,922  |
| 専門 | The Essentials of Managing Programmes, 6th ed. (Essentials of Project and Programme Management)                                                                   | Routledge                                      | 4,957  |
| 専門 | The Evolution of Project Management Practice: From Programmes and Contracts to Benefits and Change (Advances in Project Management)                               | Routledge                                      | 6,309  |
| 専門 | The FINTECH Book: The Financial Technology Handbook for Investors, Entrepreneurs and Visionaries                                                                  | Wiley                                          | 6,653  |
| 専門 | The ICT Age, Unbridged ed.                                                                                                                                        | Cambridge Scholars Press                       | 11,940 |
| 専門 | The INSURTECH Book: The Insurance Technology Handbook for Investors, Entrepreneurs and FinTech Visionaries                                                        | Wiley                                          | 6,653  |
| 専門 | The Next Generation CISO: Insights from Today's Security Leaders for Tomorrow's                                                                                   | CRC Press                                      | 11,174 |
| 専門 | The Truth Machine: The Blockchain and the Future of Everything                                                                                                    | St. Martin's Press                             | 4,495  |
| 専門 | Theory and Models for Cyber Situation Awareness, 1st ed. 2017 (Lecture Notes in Computer Science, Vol.10030)                                                      | Springer International Publishing              | 8,573  |
| 専門 | Thinking-Driven Testing: The Most Reasonable Approach to Quality Control, 1st ed. 2018                                                                            | Springer International Publishing              | 8,261  |
| 専門 | Topological UML Modeling (Computer Science Reviews and Trends)                                                                                                    | Elsevier Science                               | 6,653  |
| 専門 | Towards a Code of Ethics for Artificial Intelligence, 1st ed. 2017 (Artificial Intelligence: Foundations, Theory, and Algorithms)                                 | Springer International Publishing              | 7,014  |
| 専門 | Tutorials on the Foundations of Cryptography: Dedicated to Oded Goldreich, 1st ed. 2017 (Information Security and Cryptography)                                   | Springer International Publishing              | 12,470 |
| 専門 | Unraveling Software Maintenance and Evolution: Thinking Outside the Box, 1st ed. 2017                                                                             | Springer International Publishing              | 8,767  |
| 専門 | Windows Security Monitoring: Scenarios and Patterns                                                                                                               | Wiley                                          | 6,661  |
| 専門 | Beyond the Code                                                                                                                                                   | Oxford U.P.                                    | 17,125 |
| 専門 | Beyond the Internet of Things: Everything Interconnected, 1st ed. 2017 (Internet of Things)                                                                       | Springer International Publishing              | 23,384 |
| 専門 | Big and Complex Data Analysis: Methodologies and Applications, 1st ed. 2017 (Contributions to Statistics)                                                         | Springer International Publishing              | 17,147 |
| 専門 | Big Data: Principles and Paradigms                                                                                                                                | Morgan Kaufmann                                | 10,652 |
| 専門 | Big Data Analytics: Methods and Applications, 1st ed. 2016                                                                                                        | Springer India                                 | 15,588 |
| 専門 | Big Data Analytics with Applications in Insider Threat Detection                                                                                                  | Auerbach Publishers                            | 20,020 |

|    |                                                                                                                                                                 |                                       |        |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 専門 | Big Data Analytics: A Management Perspective, 1st ed. 2016 (Studies in Big Data, Vol.21)                                                                        | Springer International Publishing     | 18,706 |
| 専門 | Big Data and Computational Intelligence in Networking                                                                                                           | CRC Press                             | 25,912 |
| 専門 | Big Data and Smart Service Systems                                                                                                                              | Academic Pr.                          | 13,323 |
| 専門 | Big Data Applications and Use Cases, 1st ed. 2016 (International Series on Computer Entertainment and Media Technology)                                         | Springer International Publishing     | 18,706 |
| 専門 | Big Data Concepts, Theories, and Applications, 1st ed. 2016                                                                                                     | Springer International Publishing     | 20,265 |
| 専門 | Big Data in Healthcare: Extracting Knowledge from Point-of-Care Machines, 1st ed. 2017 (SpringerBriefs in Pharmaceutical Science & Drug Development)            | Springer International Publishing     | 10,716 |
| 専門 | Big Data in the Arts and Humanities: Theory and Practice (Data Analytics Applications)                                                                          | Auerbach Publishers                   | 18,026 |
| 専門 | Big Data Management and Processing (Chapman & Hall/CRC Big Data Series)                                                                                         | Chapman & Hall/CRC                    | 22,533 |
| 専門 | Big Data Optimization: Recent Developments and Challenges, 1st ed. 2016 (Studies in Big Data, Vol.18)                                                           | Springer International Publishing     | 23,384 |
| 専門 | Big Data Over Networks                                                                                                                                          | Cambridge U.P.                        | 12,256 |
| 専門 | Big Data Science for Criminology and the Social Sciences: From Case Studies to Theory                                                                           | CRC Press                             | 13,968 |
| 専門 | Big-Data Analytics for Cloud, IoT and Cognitive Computing                                                                                                       | Wiley-Blackwell                       | 13,316 |
| 専門 | Bitcoin and Beyond: Cryptocurrencies, Blockchains, and Global Governance (RIPE Series in Global Political Economy)                                              | Routledge                             | 25,912 |
| 専門 | Building Apps for the Universal Windows Platform: Explore Windows 10 Native, IoT, HoloLens, and Xamarin, 1st ed.                                                | Apress                                | 6,818  |
| 専門 | Building the Network of the Future: Getting Smarter, Faster, and More Flexible with a Software Centric Approach                                                 | Chapman & Hall/CRC                    | 7,028  |
| 専門 | C Recipes: A Problem-Solution Approach, 1st ed.                                                                                                                 | Apress                                | 6,818  |
| 専門 | C# 6 for Programmers, 6th ed. (Deitel Developer)                                                                                                                | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 7,326  |
| 専門 | C# 7.0 All-in-One For Dummies                                                                                                                                   | Wiley                                 | 6,660  |
| 専門 | C# 7.0 Pocket Reference                                                                                                                                         | O'Reilly                              | 3,329  |
| 専門 | C# and XML Primer, 1st ed.                                                                                                                                      | Apress                                | 3,896  |
| 専門 | C++ Without Fear: A Beginner's Guide That Makes You Feel Smart, 3rd ed.                                                                                         | Pearson Education (PH USA)            | 4,661  |
| 専門 | C++17 Quick Syntax Reference: A Pocket Guide to the Language, APIs and Library, 3rd ed.                                                                         | Apress                                | 3,895  |
| 専門 | Calendrical Calculations: The Ultimate Edition, 4th ed.                                                                                                         | Cambridge U.P.                        | 7,433  |
| 専門 | Clean C++: Sustainable Software Development Patterns and Best Practices with C++ 17, 1st ed.                                                                    | Apress                                | 6,818  |
| 専門 | Cloud Computing, 2nd ed.                                                                                                                                        | Morgan Kaufmann                       | 9,986  |
| 専門 | Cloud Computing                                                                                                                                                 | Cambridge U.P.                        | 9,912  |
| 専門 | Creating Maintainable APIs: A Practical, Case-Study Approach, 1st ed.                                                                                           | Apress                                | 8,571  |
| 専門 | Cloud Native Java                                                                                                                                               | O'Reilly                              | 9,991  |
| 専門 | Cloud Service Benchmarking: Measuring Quality of Cloud Services from a Client Perspective, 1st ed. 2017                                                         | Springer International Publishing     | 10,911 |
| 専門 | Coding For Dummies                                                                                                                                              | Wiley                                 | 3,995  |
| 専門 | New Approaches to English Linguistics: Building Bridges: 177 (Studies in Language Companion Series, Vol. 177)                                                   | John Benjamins                        | 15,434 |
| 専門 | Non-Professional Interpreting and Translation: State of the Art and Future of an Emerging Field of Research: Vol. 129 (Benjamins Translation Library, Vol. 129) | John Benjamins                        | 15,434 |
| 専門 | Explication in Consecutive Interpreting: Vol. 135 (Benjamins Translation Library, Vol. 135)                                                                     | John Benjamins                        | 15,434 |
| 専門 | Teaching Dialogue Interpreting: Research-based proposals for higher education: Vol. 138 (Benjamins Translation Library, Vol. 138)                               | John Benjamins                        | 15,434 |
| 専門 | Requests in American and British English: A Contrastive Multi-Method Analysis: Vol. 265 (Pragmatics and Beyond New Series, 265)                                 | John Benjamins                        | 14,810 |
| 専門 | A Rulebook for Arguments, 5th ed.                                                                                                                               | Hackett Publishing Co. Inc.           | 2,365  |
| 専門 | A Workbook for Arguments, Second Edition: A Complete Course in Critical Thinking, 2nd ed.                                                                       | Hackett Publishing Co. Inc.           | 5,971  |
| 専門 | An Introduction to English Grammar, 4th ed.                                                                                                                     | Routledge                             | 5,225  |

|    |                                                                                                                                              |                                       |        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|--------|
| 専門 | Analysing Sentences: An Introduction to English Syntax, 4th ed. (Learning about Language)                                                    | Routledge                             | 5,225  |
| 専門 | Answers for Modern Communicators: A Guide to Effective Business Communication                                                                | Routledge                             | 7,208  |
| 専門 | Applied Translation Studies, 1st ed. 2018                                                                                                    | Palgrave Macmillan                    | 4,363  |
| 専門 | Argumentation and Debate: Critical Thinking for Reasoned Decision Making, 13th ed.                                                           | Cengage Learning                      | 33,300 |
| 専門 | Be(com)ing a Conference Interpreter (Benjamins Translation Library, Vol.124)                                                                 | John Benjamins                        | 15,434 |
| 専門 | Being a Successful Interpreter: Adding Value and Delivering Excellence                                                                       | Routledge                             | 5,225  |
| 専門 | Better Presentations: A Guide for Scholars, Researchers, and Wonks                                                                           | Columbia U.P.                         | 3,324  |
| 専門 | Business Advantage Intermediate : Personal Study Book with Audio CD (Business Advantage)                                                     | Cambridge U.P. (ELT)                  | 2,400  |
| 専門 | Business and Administrative Communication, 11th ed.                                                                                          | McGraw-Hill                           | 23,700 |
| 専門 | Business and Professional Communication: Keys for Workplace Excellence, 3rd ed.                                                              | Sage Pub.                             | 15,502 |
| 専門 | Business Communication, 3rd ed.                                                                                                              | Cengage Learning                      | 16,781 |
| 専門 | Business Communication: Rethinking your professional practice for the post-digital age, 2nd ed.                                              | Routledge                             | 8,470  |
| 専門 | Business Communication                                                                                                                       | Oxford U.P., South African Branch     | 4,504  |
| 専門 | Business Communication Essentials: A Skills-Based Approach, 7th ed.                                                                          | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 25,501 |
| 専門 | Business Communication Today, 14th ed.                                                                                                       | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 25,501 |
| 専門 | Business Communication: Building Critical Skills, 6th ed.                                                                                    | McGraw-Hill                           | 24,938 |
| 専門 | Business Communication: Developing Leaders for a Networked World, 2nd ed.                                                                    | McGraw-Hill                           | 38,360 |
| 専門 | Business Communication: Polishing Your Professional Presence, 3rd ed.                                                                        | Pearson Education (Prentice Hall USA) | 23,875 |
| 専門 | Business Communication: Process & Product, 9th ed. (Mindtap Course List)                                                                     | Cengage Learning                      | 41,627 |
| 専門 | Business English, 6th ed.                                                                                                                    | Barron's Educational Series, Inc.     | 2,829  |
| 専門 | Business English B2 Student's Book                                                                                                           | Garnet Publishing Ltd.                | 6,309  |
| 専門 | Business Idioms in America, 2nd ed.                                                                                                          | Nova Press                            | 4,155  |
| 専門 | Business Negotiation: A Practical Workbook                                                                                                   | Routledge                             | 32,672 |
| 専門 | Business Reading (Collins English for Business)                                                                                              | HarperCollins Publishers              | 2,701  |
| 専門 | Business Update 1 Student's Book                                                                                                             | Garnet Publishing Ltd.                | 4,731  |
| 専門 | Business Venture: Beginner : Workbook, 3rd ed.                                                                                               | Oxford U.P. (ELT)                     | 1,490  |
| 専門 | Business Vocabulary in Use: Advanced Book with Answers, 2nd ed.                                                                              | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,190  |
| 専門 | Business Vocabulary in Use: Elementary to Pre-intermediate Book with Answers, 2nd ed.                                                        | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,190  |
| 専門 | Business Vocabulary in Use: Intermediate Book with Answers, 2nd ed.                                                                          | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,190  |
| 専門 | Cambridge English for Engineering Intermediate to Upper Intermediate : Student's Book with Audio CDs (2)                                     | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,000  |
| 専門 | Cambridge English for Human Resources :Intermediate to Upper Intermediate : Student's Book with Audio CDs (2)                                | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,000  |
| 専門 | Cambridge English for Marketing : Student's Book with Audio CD                                                                               | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,000  |
| 専門 | Cambridge English for the MediaIntermediate : Student's Book with Audio CD                                                                   | Cambridge U.P. (ELT)                  | 3,000  |
| 専門 | Changing the Sales Conversation: Connect, Collaborate, and Close                                                                             | McGraw-Hill                           | 2,931  |
| 専門 | Coaching with Colleagues 2nd Edition: An Action Guide for One-to-One Learning, 2nd ed.                                                       | Palgrave Macmillan                    | 7,403  |
| 専門 | College English and Business Communication, 10th ed.                                                                                         | McGraw-Hill                           | 26,114 |
| 専門 | Communicating Across Cultures : Student's Book with Audio CD (Cambridge Business Skills)                                                     | Cambridge U.P. (ELT)                  | 2,870  |
| 専門 | Consecutive Interpreting: An Interdisciplinary Study, 1st ed. 2018 (Palgrave Studies in Translating and Interpreting)                        | Palgrave Macmillan                    | 15,588 |
| 専門 | Consecutive Notetaking and Interpreter Training (Routledge Advances in Translation and Interpreting Studies)                                 | Routledge                             | 20,730 |
| 専門 | Cracking the TOEFL IBT with Audio CD, 2018 Edition: The Strategies, Practice, and Review You Need to Score Higher (College Test Preparation) | Listening Library                     | 5,827  |
| 専門 | CVs, Resumes, and LinkedIn: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                     | Springer-Verlag New York              | 3,116  |

|    |                                                                                                                                                                                                 |                                   |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | Dialogue Interpreting: A Guide to Interpreting in Public Services and the Community (Routledge Interpreting Guides)                                                                             | Routledge                         | 5,406  |
| 専門 | English Language Training in the Workplace: Case Studies of Corporate Programs in China, 1st ed. 2016 (Technical and Vocational Education and Training: Issues, Concerns and Prospects, Vol.22) | Springer International Publishing | 14,029 |
| 専門 | English Politeness and Class                                                                                                                                                                    | Cambridge U.P.                    | 19,153 |
| 専門 | English Pronunciation for Speakers of Spanish: From Theory to Practice (Mouton Textbook, vol. 290)                                                                                              | Mouton de Gruyter                 | 6,228  |
| 専門 | English Syntax and Argumentation, 5th ed. (Palgrave Modern Linguistics)                                                                                                                         | Palgrave Macmillan                | 5,143  |
| 専門 | Essential Words for the TOEFL, 7th ed.                                                                                                                                                          | Barron's Educational Series, Inc. | 1,996  |
| 専門 | Essentials of Business Communication, 11th ed. (Mindtap Course List)                                                                                                                            | South-Western Publishing Co.      | 30,637 |
| 専門 | Exploring ELF in Japanese Academic and Business Contexts: Conceptualisation, research and pedagogic implications                                                                                | Routledge                         | 20,730 |
| 専門 | Giving Academic Presentations, 2nd ed. (Michigan Series in English for Academic & Professional Purposes)                                                                                        | University of Michigan Press      | 4,321  |
| 専門 | HBR Guide to Better Business Writing (HBR Guide Series) (Harvard Business Review Guides)                                                                                                        | Harvard Business School Press     | 3,322  |
| 専門 | HBR Guide to Dealing with Conflict (HBR Guide Series) (Harvard Business Review Guides)                                                                                                          | Harvard Business School Press     | 3,322  |
| 専門 | HBR Guide to Making Every Meeting Matter (HBR Guide Series)                                                                                                                                     | Harvard Business School Press     | 6,661  |
| 専門 | HBR Guide to Negotiating (HBR Guide)                                                                                                                                                            | Harvard Business School Press     | 3,322  |
| 専門 | HBR Guide to Performance Management (HBR Guide Series)                                                                                                                                          | Harvard Business School Press     | 6,661  |
| 専門 | How to Deliver a Ted Talk: Secrets of the World's Most Inspiring Presentations, Revised and Expanded New Edition, with a Foreword by Richard St. John                                           | McGraw-Hill                       | 3,663  |
| 専門 | How to Run Seminars and Workshops: Presentation Skills for Consultants, Trainers, Teachers, and Salespeople, 4th ed.                                                                            | Wiley                             | 6,128  |
| 専門 | How to Speak So People Really Listen: The Straight-Talking Guide to Communicating with Influence and Impact                                                                                     | Capstone Publishing Ltd.          | 2,389  |
| 専門 | How to Write Better Business Letters, 5th ed. (Barron's How to Write Better Business Letters)                                                                                                   | Barron's Educational Series, Inc. | 2,496  |
| 専門 | How to Write Effective Business English, 2nd ed. (Better Business English)                                                                                                                      | Kogan Page                        | 3,377  |
| 専門 | How to Write Reports and Proposals, 4th ed. (Creating Success)                                                                                                                                  | Kogan Page                        | 2,251  |
| 専門 | How to Write Successful Fundraising Appeals, 3rd ed. (The Jossey-Bass Nonprofit Guidebook Series)                                                                                               | Wiley                             | 5,995  |
| 専門 | How to Write: Successful CVs and Job Applications, 2nd ed.                                                                                                                                      | Oxford U.P.                       | 1,800  |
| 専門 | How to Write: Successful Essays, Dissertations, and Exams, 2nd ed.                                                                                                                              | Oxford U.P.                       | 1,800  |
| 専門 | Human Issues in Translation Technology (The IATIS Yearbook)                                                                                                                                     | Routledge                         | 14,058 |
| 専門 | In Focus: Strategies for Business Writers.                                                                                                                                                      | University of Michigan Press      | 4,654  |
| 専門 | Intelligent Business Elementary Workbook with CD: Elementary Business English                                                                                                                   | Pearson (ELT)                     | 2,560  |
| 専門 | Intelligent Business Pre-Intermediate Workbook with CD                                                                                                                                          | Pearson (ELT)                     | 2,560  |
| 専門 | International Negotiations : Student's Book with Audio CDs (2) (Cambridge Business Skills)                                                                                                      | Cambridge U.P. (ELT)              | 2,870  |
| 専門 | Interpersonal Skills in Organizations, 5th ed.                                                                                                                                                  | McGraw-Hill                       | 15,853 |
| 専門 | Interpreting As Interaction (Language In Social Life)                                                                                                                                           | Routledge                         | 18,927 |
| 専門 | Introducing Business English (Routledge Introductions to English for Specific Purposes)                                                                                                         | Psychology Pr.                    | 4,685  |
| 専門 | Introducing English for Specific Purposes (Routledge Introductions to English for Specific Purposes)                                                                                            | Routledge                         | 19,829 |
| 専門 | Introducing English for Specific Purposes (Routledge Introductions to English for Specific Purposes)                                                                                            | Routledge                         | 4,865  |
| 専門 | Introducing English Language: A Resource Book for Students, 2nd ed. (Routledge English Language Introductions)                                                                                  | Routledge                         | 5,406  |
| 専門 | Introducing English Syntax: A Basic Guide for Students of English                                                                                                                               | Routledge                         | 5,406  |
| 専門 | Introducing Genre and English for Specific Purposes (Routledge Introductions to English for Specific Purposes)                                                                                  | Routledge                         | 5,406  |

|    |                                                                                                                                                                                     |                               |        |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------|
| 専門 | Introducing Global Englishes                                                                                                                                                        | Routledge                     | 6,127  |
| 専門 | Introducing Interpreting Studies, 2nd ed.                                                                                                                                           | Routledge                     | 21,631 |
| 専門 | Introduction to English Linguistics, 3rd ed. (Mouton Textbook)                                                                                                                      | Mouton de Gruyter             | 4,045  |
| 専門 | Language in Business, Language at Work, 1st ed. 2018                                                                                                                                | Palgrave Macmillan            | 5,143  |
| 専門 | Language in International Business                                                                                                                                                  | Edward Elgar                  | 4,957  |
| 専門 | Leading in English: How to Confidently Communicate and Inspire Others in the International Workplace                                                                                | Wiley                         | 3,997  |
| 専門 | Lexical meaning as a testable hypothesis: The case of English look, see, seem and appear (Studies in Functional and Structural Linguistics, Vol. 75)                                | John Benjamins                | 15,434 |
| 専門 | M: Business Communication, 3rd ed.                                                                                                                                                  | McGraw-Hill                   | 18,598 |
| 専門 | Meaning in English: An Introduction (Cambridge Introductions to the English Language)                                                                                               | Cambridge U.P.                | 4,955  |
| 専門 | Media/Impact: An Introduction to Mass Media, 12th ed. (Mindtap Course List)                                                                                                         | Cengage Learning              | 41,294 |
| 専門 | Meetings, Negotiations, and Socializing: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                                               | Springer-Verlag New York      | 3,116  |
| 専門 | Moving Into Business Studies Teacher's Book (Moving Into ESAP)                                                                                                                      | Garnet Publishing Ltd.        | 3,830  |
| 専門 | Negotiation: Readings, Exercises and Cases, 7th ed.                                                                                                                                 | McGraw-Hill                   | 5,100  |
| 専門 | Negotiation, 7th Revised ed.                                                                                                                                                        | McGraw-Hill                   | 5,100  |
| 専門 | Negotiation, 7th ed.                                                                                                                                                                | McGraw-Hill                   | 24,971 |
| 専門 | Note-taking for Consecutive Interpreting: A Short Course, 2nd ed. (Translation Practices Explained)                                                                                 | Routledge                     | 4,865  |
| 専門 | On Ethics and Interpreters (Studies in Language, Culture and Society, 5)                                                                                                            | Peter Lang                    | 10,083 |
| 専門 | Oxford English for Careers: Engineering 1 : Teacher's Resource Book                                                                                                                 | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Oxford English for Careers: Finance 1 : Teacher's Resource Book                                                                                                                     | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Oxford English for Careers: Oil and Gas 1 : Teacher's Resource Book                                                                                                                 | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Oxford English for Careers: Oil and Gas 2 : Teacher's Resource Book                                                                                                                 | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Oxford English for Careers: Technology 1 : Teacher's Resource Book                                                                                                                  | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Oxford English for Careers: Technology 2 : Teacher's Resource Book                                                                                                                  | Oxford U.P. (ELT)             | 2,840  |
| 専門 | Perfect Phrases ESL Everyday Business. (Perfect Phrases Series) (Perfect Phrases Series)                                                                                            | McGraw-Hill                   | 2,331  |
| 専門 | Power Cues: The Subtle Science of Leading Groups, Persuading Others, and Maximizing Your Personal Impact                                                                            | Harvard Business School Press | 4,663  |
| 専門 | Present Like a Pro: The Modern Guide to Getting Your Point Across in Meetings, Speeches, and the Media                                                                              | F.A. Praeger, Inc.            | 3,663  |
| 専門 | Presentations, Demos, and Training Sessions: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                                           | Springer-Verlag New York      | 3,116  |
| 専門 | Pros and Cons: A Debaters Handbook, 19th ed.                                                                                                                                        | Routledge                     | 3,964  |
| 専門 | Re-Making Communication at Work, 2013rd ed.                                                                                                                                         | Palgrave Macmillan            | 6,818  |
| 専門 | Research on Translator and Interpreter Training: A Collective Volume of Bibliometric Reviews and Empirical Studies on Learners, 1st ed. 2018 (New Frontiers in Translation Studies) | Springer Singapore            | 15,588 |
| 専門 | Routledge Encyclopedia of Interpreting Studies                                                                                                                                      | Taylor and Francis            | 54,079 |
| 専門 | Sales Hunting: How to Develop New Territories and Major Accounts in Half the Time Using Trust as Your Weapon, 1st ed.                                                               | Apress                        | 5,455  |
| 専門 | Semantic Structure in English (Studies in Functional and Structural Linguistics, Vol. 73)                                                                                           | John Benjamins                | 16,369 |
| 専門 | Sounds Fascinating: Further Observations on English Phonetics and Phonology                                                                                                         | Cambridge U.P.                | 4,504  |
| 専門 | Speak English or What? (Oxford Studies in Language and Law)                                                                                                                         | Oxford U.P., New York         | 10,392 |
| 専門 | Strategic Writing: Multimedia Writing for Public Relations, Advertising and More, 4th ed.                                                                                           | Routledge                     | 10,813 |
| 専門 | Telephone and Helpdesk Skills: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                                                         | Springer-Verlag New York      | 3,116  |
| 専門 | The Discussion Book: 50 Great Ways to Get People Talking                                                                                                                            | Jossey Bass                   | 3,324  |
| 専門 | The Handbook of English Pronunciation (Blackwell Handbooks in Linguistics)                                                                                                          | Wiley                         | 25,981 |
| 専門 | The Language of Business Meetings (Cambridge Applied Linguistics)                                                                                                                   | Cambridge U.P. (ELT)          | 4,310  |
| 専門 | The Official Guide to the TOEFL Test with DVD-ROM, 5th ed.                                                                                                                          | McGraw-Hill                   | 6,661  |
| 専門 | The Pragmatics of Quoting Now and Then (Topics in English Linguistics, Vol. 89)                                                                                                     | Mouton de Gruyter             | 15,582 |
| 専門 | The Routledge Handbook of Interpreting                                                                                                                                              | Routledge                     | 7,208  |

|    |                                                                                                                                                                              |                                   |        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------|
| 専門 | The Routledge Handbook of Translation Studies and Linguistics (Routledge Handbooks in Translation and Interpreting Studies)                                                  | Routledge                         | 31,546 |
| 専門 | The Speaking Self: Language Lore and English Usage: Second Edition, 1st ed. 2017 (Springer Texts in Education)                                                               | Springer International Publishing | 13,250 |
| 専門 | The World of Negotiation: Theories, Perceptions and Practice                                                                                                                 | World Scientific                  | 11,058 |
| 専門 | Thinking English Translation: Analysing and Translating English Source Texts (Thinking Translation)                                                                          | Routledge                         | 5,406  |
| 専門 | TOEFL Pocket Vocabulary: 600 Words ] 420 Idioms + Practice Questions                                                                                                         | Kaplan Publishing                 | 2,829  |
| 専門 | TOEFL Power Vocab: 800+ Essential Words to Help You Excel on the TOEFL (College Test Preparation)                                                                            | Listening Library                 | 2,329  |
| 専門 | Translating as a Purposeful Activity: Functionalist Approaches Explained, 2nd ed. (Translation Theories Explored)                                                            | Routledge                         | 4,685  |
| 専門 | Translation and Interpreting Pedagogy in Dialogue with Other                                                                                                                 | John Benjamins                    | 13,220 |
| 専門 | Translation as Citation (Global Asias)                                                                                                                                       | Oxford U.P.                       | 9,013  |
| 専門 | Translation: The Basics (The Basics)                                                                                                                                         | Routledge                         | 3,423  |
| 専門 | Universal or Diverse Paths to English Phonology (Topics in English Linguistics, Vol. 86)                                                                                     | Mouton de Gruyter                 | 17,141 |
| 専門 | User Guides, Manuals, and Technical Writing: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                                    | Springer-Verlag New York          | 3,116  |
| 専門 | Verbal Judo: The Gentle Art of Persuasion                                                                                                                                    | HarperCollins Publishers          | 2,663  |
| 専門 | Visual Analytics for Management: Translational Science and Applications in Practice                                                                                          | Routledge                         | 8,650  |
| 専門 | What Is Cultural Translation? (Bloomsbury Advances in Translation)                                                                                                           | Bloomsbury Academic               | 4,504  |
| 専門 | Word-Formation in English, 2nd ed. (Cambridge Textbooks in Linguistics)                                                                                                      | Cambridge U.P.                    | 5,406  |
| 専門 | Work with Me: How to Get People to Buy into Your Ideas                                                                                                                       | Wiley-Blackwell                   | 2,664  |
| 専門 | Workplace Writing: Beyond the Text                                                                                                                                           | Routledge                         | 5,406  |
| 専門 | Write Like a Pro: Ten Techniques for Getting Your Point Across at Work (and in Life)                                                                                         | F.A. Praeger, Inc.                | 6,162  |
| 専門 | Writing a Convincing Business Plan, 4th ed. (Barron's Business Library)                                                                                                      | Barron's Educational Series, Inc. | 3,162  |
| 専門 | Writing at Work: A Guide to Better Writing in Administration, Business and Management                                                                                        | Routledge                         | 18,927 |
| 専門 | Writing for the TOEFL iBT : with MP3 CD, 6th ed.                                                                                                                             | Barron's Educational Series, Inc. | 3,662  |
| 専門 | Discussing Design                                                                                                                                                            | O'Reilly                          | 4,161  |
| 専門 | Dynamic Presentations : Student's Book with Audio CDs (2) (Cambridge Business Skills)                                                                                        | Cambridge U.P. (ELT)              | 2,870  |
| 専門 | Effective Group Discussion: Theory and Practice, 14th ed.                                                                                                                    | McGraw-Hill                       | 20,881 |
| 専門 | Effective International Business Communication: Build Your Interpersonal Skills in English (Collins English for Business)                                                    | HarperCollins Publishers          | 3,377  |
| 専門 | Effective Negotiation: From Research to Results, 3rd ed.                                                                                                                     | Cambridge U.P.                    | 9,011  |
| 専門 | Email and Commercial Correspondence: A Guide to Professional English, 2014th ed. (Guides to Professional English)                                                            | Springer-Verlag New York          | 3,116  |
| 専門 | English at Work Book with Audio CD: Practical Language Activities for Working in the UK                                                                                      | Cambridge U.P. (ELT)              | 6,480  |
| 専門 | English for Banking Course Book with Audio CDs                                                                                                                               | Garnet Publishing Ltd.            | 5,407  |
| 専門 | English for Banking Teacher's Book.                                                                                                                                          | Garnet Publishing Ltd.            | 3,830  |
| 専門 | English for Business Studies : Student's Book, 3rd ed.                                                                                                                       | Cambridge U.P. (ELT)              | 3,200  |
| 専門 | English for Business Studies : Teacher's Book, 3rd ed.                                                                                                                       | Cambridge U.P. (ELT)              | 3,200  |
| 専門 | English for Business Studies Course Book with Audio CDs                                                                                                                      | Garnet Publishing Ltd.            | 5,407  |
| 専門 | English for Everyone: Business English, Practice Book (English for Everyone)                                                                                                 | Dorling Kindersley                | 3,322  |
| 専門 | English for Management Studies in Higher Education Studies Teacher's edition, Teacher's ed. (English for Specific Academic Purposes, English for Specific Academic Purposes) | Garnet Publishing Ltd.            | 3,830  |
| 専門 | English for the Energy Industries: Oil, Gas and Petrochemicals Teacher's Book                                                                                                | Garnet Publishing Ltd.            | 3,830  |
| 専門 | English for the Financial Sector : Student's Book                                                                                                                            | Cambridge U.P. (ELT)              | 3,000  |
| 専門 | English for the Financial Sector : Teacher's Book                                                                                                                            | Cambridge U.P. (ELT)              | 2,800  |
| 専門 | Lean Customer Development: Building Products Your Customers Will Buy                                                                                                         | O' Reilly Media                   | 3,677  |
| 専門 | UX for Lean Startups: Faster, Smarter User Experience Research and Design                                                                                                    | O' Reilly Media                   | 4,389  |
| 専門 | Business Venture: Beginner: Workbook                                                                                                                                         | Oxford University Press           | 1,490  |

|    |                                                                                    |                              |       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------|
| 専門 | The Practice of Management Reissue 版                                               | HarperBusiness               | 3,022 |
| 専門 | Competitive Strategy New 版                                                         | Free Press                   | 3,732 |
| 専門 | The Innovator's Dilemma: When New Technologies Cause Great Firms to Fail Reprint 版 | Harvard Business Review Pres | 4,256 |
| 専門 | Marketing Management, Global Edition                                               | Pearson Education Limited    | 6,820 |
| 専門 | Oliver Twist (AmazonClassics Edition) (English Edition)                            | Pearson Japan                | 2,013 |
| 専門 | Pride and Prejudice (Penguin Classics)                                             | Penguin Classics             | 1,535 |
| 専門 | Alice's Adventures in Wonderland (Dover Thrift Editions)                           | Dover Publications           | 1,352 |
| 専門 | The Remains of the Day                                                             | Faber & Faber                | 1,974 |
| 専門 | The Scarlet Letter                                                                 | Createspace Independent Pub  | 2,041 |
| 専門 | Moby Dick: Or, the Whale                                                           | Createspace Independent Pub  | 5,107 |
| 専門 | The Adventures of Huckleberry Finn                                                 | Arcturus                     | 876   |
| 専門 | The Great Gatsby                                                                   | Alma Books                   | 1,535 |
| 専門 | The Old Man and The Sea                                                            | Independently published      | 1,098 |

# Maruzen eBook Library(電子書籍) タイトルリスト

| 書名                                                                                               | 著編者           | 出版社    | 発行年  | 金額    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|--------|------|-------|
| 聞いて覚える英単語キクタンTOEFL test 頻出編 ―ITP & iBT面対応―                                                       | 小川, 淳子        | アルク    | 2009 | 4,000 |
| 英字新聞「日経ウィークリー」活用法 3 ―TOEIC対策必携書―                                                                 | 杉田, 米行        | 大学教育出版 | 2012 | 2,700 |
| TOEICテスト魔法の単語帳                                                                                   | 白野, 伊津夫       | 研究社    | 2009 | 3,300 |
| 頂上制覇TOEICテストリーディングPart5&6究極の技術(テクニク) ―Book3―                                                     | ロバート・ヒルキ      | 研究社    | 2013 | 4,200 |
| 頂上制覇TOEICテストリーディングPart7究極の技術(テクニク) ―Book4―                                                       | ロバート・ヒルキ      | 研究社    | 2013 | 5,300 |
| TOEICテスト攻略トントンメソッド 金メダルコース ―英語の師匠オーガ&セインpresent―                                                 | 大賀, リエ        | 南雲堂    | 2014 | 5,800 |
| TOEICテスト攻略トントンメソッド 銀メダルコース ―英語の師匠オーガ&セインpresent―                                                 | 大賀, リエ        | 南雲堂    | 2014 | 5,800 |
| TOEICテスト攻略トントンメソッド 銅メダルコース book1 ―英語の師匠オーガ&セインpresent―                                           | 大賀, リエ        | 南雲堂    | 2014 | 5,800 |
| TOEICテスト攻略トントンメソッド 銅メダルコース ―英語の師匠オーガ&セインpresent―                                                 | 大賀, リエ        | 南雲堂    | 2014 | 5,800 |
| 全問解く!新TOEICテストリーディング速答力 ―Part7―                                                                  | 甲斐, 幸治        | アスク出版  | 2012 | 5,000 |
| U-CANのリーディング問題集 for the TOEIC test                                                               | 駒崎, 共子        | ユーキャン  | 2010 | 3,300 |
| U-CANの文法・語彙問題集for the TOEIC test                                                                 | 横本, 勝也        | ユーキャン  | 2010 | 3,300 |
| 留学不要の英語勉強法 ―留学はゼロ。それでもTOEIC975点。英検1級。通訳案内士国家試験合格。―(Beret books)                                  | 坂口, 雅彦        | ベレ出版   | 2014 | 3,900 |
| 新TOEICテスト実践勉強法                                                                                   | 石井, 展哉        | ベレ出版   | 2007 | 3,600 |
| 英語上達完全マップ ―初級からTOEIC900点レベルまでの効果的勉強法―(Beret books)                                               | 森沢, 洋介        | ベレ出版   | 2005 | 3,900 |
| 英語で意見を論理的に述べる技術とトレーニング ―発信型英語スーパースピーキング 英検1級、通訳ガイド試験、TOEFLやGRE対策としても有効なスピーキング対策決定版―(Beret books) | 植田, 一三        | ベレ出版   | 2004 | 5,200 |
| TOEICテストPart3&4鬼の速達リスニング (TTTスーパー講師シリーズ)                                                         | テッド寺倉         | アルク    | 2014 | 3,100 |
| TOEICテストPart5文法をこれ以上無理やっちゃうほどやさしく教える本 (TTTスーパー講師シリーズ)                                            | 天満, 嗣雄        | アルク    | 2014 | 3,100 |
| TOEICテストPart5でできる人、できない人の頭の中 (TTTスーパー講師シリーズ)                                                     | TEX加藤         | アルク    | 2013 | 3,100 |
| TOEICテスト究極のゼミ Part7                                                                              | ヒロ前田          | アルク    | 2012 | 8,000 |
| TOEICテスト究極のゼミ Part3&4                                                                            | ヒロ前田          | アルク    | 2013 | 9,200 |
| TOEICテスト究極のゼミ Part5&6                                                                            | ヒロ前田          | アルク    | 2012 | 8,000 |
| TOEICテスト究極のゼミ Part2&1                                                                            | 西嶋, 倫一        | アルク    | 2013 | 8,000 |
| TOEICテスト全パート完全攻略 完全改訂版                                                                           | 石井, 展哉        | アルク    | 2014 | 7,300 |
| キクタンTOEIC test score 600 改訂版                                                                     | 一杉, 武史        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| キクタンTOEIC test score 800 改訂版                                                                     | 一杉, 武史        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| キクタンTOEIC Test Score 990 改訂版                                                                     | 一杉, 武史        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| TOEICテストいきなり600点!                                                                                | 横川, 綾子        | アルク    | 2012 | 6,000 |
| TOEIC TEST 文法・語彙出るところだけ!問題集 改訂版                                                                  | 小石, 裕子        | アルク    | 2015 | 5,300 |
| 必ず聞き取れる新TOEICテストリスニング                                                                            | 河野, 太一        | アルク    | 2009 | 6,000 |
| TOEICテストやたらと出る英単語クイックマスター (TTTスーパー講師シリーズ)                                                        | テッド寺倉         | アルク    | 2013 | 3,100 |
| TOEIC TEST 英文法出るところだけ! 改訂版                                                                       | 小石, 裕子        | アルク    | 2015 | 4,000 |
| 新TOEICテスト900点突破20日間特別プログラム                                                                       | 小山, 克明        | アルク    | 2010 | 8,800 |
| TOEIC TEST 英単語出るところだけ! 改訂版                                                                       | 小石, 裕子        | アルク    | 2015 | 6,000 |
| TOEICテスト究極の模試600問                                                                                | ヒロ前田          | アルク    | 2012 | 9,200 |
| 聞いて覚える英単語キクタンTOEFL TEST イディオム編                                                                   | 高橋, 基治        | アルク    | 2011 | 6,000 |
| TOEICテストおまかせ730点!                                                                                | 石井, 洋佑        | アルク    | 2015 | 6,600 |
| TOEICテスト基本例文700選 (TTTスーパー講師シリーズ)                                                                 | 基本例文700選制作委員会 | アルク    | 2013 | 3,100 |
| TOEICテスト非公式問題集至高の400問 ―新形式問題対応―                                                                  | ヒロ前田          | アルク    | 2016 | 8,000 |
| TOEICテスト中学英文法で600点!                                                                              | 小石, 裕子        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| TOEIC TEST 最終チェックとウォーミングアップ                                                                      | 石井, 展哉        | ベレ出版   | 2014 | 4,200 |
| TOEIC TEST 速読WPMトレーニング (Beret books)                                                             | 西村, 恵美        | ベレ出版   | 2015 | 4,200 |
| TOEICテスト完全教本新形式問題対応                                                                              | ロバート・ヒルキ      | 研究社    | 2016 | 5,100 |
| TOEIC TEST 英単語出るところだけ!                                                                           | 小石, 裕子        | アルク    | 2016 | 6,000 |
| TOEICテスト新形式問題やり込みドリル                                                                             | ヒロ前田          | アルク    | 2016 | 6,300 |
| TOEIC TEST 英文法出るところだけ!                                                                           | 小石, 裕子        | アルク    | 2016 | 4,000 |
| TOEIC TEST 文法・語彙出るところだけ!問題集                                                                      | 小石, 裕子        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| TOEIC listening and readingテストおまかせ730点!                                                          | 石井, 洋佑        | アルク    | 2016 | 6,600 |
| キクタンTOEIC TEST SCORE 500 改訂版                                                                     | 一杉, 武史        | アルク    | 2016 | 5,300 |
| TOEIC L&Rテスト究極のゼミ Part3&4                                                                        | 早川, 幸治        | アルク    | 2017 | 7,600 |
| TOEIC L&Rテスト究極のゼミ Part2&1                                                                        | 西嶋, 倫一        | アルク    | 2017 | 6,600 |
| 完全攻略!TOEFLテスト英単語4000 ―for the TOEFL ITP test&TOEFL iBT test―                                     | 河野, 太一        | アルク    | 2014 | 8,600 |
| 3週間で攻略TOEIC L&Rテスト600点! (残り日数逆算シリーズ)                                                             | 渋谷, 奈津子       | アルク    | 2017 | 6,000 |
| TOEIC L&Rテスト究極のゼミ Part5&6                                                                        | 前田, ヒロ        | アルク    | 2017 | 6,600 |
| 2ヵ月で攻略TOEIC L&Rテスト600点! ―あと40日―(残り日数逆算シリーズ)                                                      | 溝口, 優美子       | アルク    | 2017 | 7,600 |
| TOEIC test!リスニング出るところだけ! ―直前5日間で100点伸ばす!―                                                        | 小石, 裕子        | アルク    | 2017 | 5,300 |
| TOEIC L&Rテスト究極のゼミ Part7                                                                          | ヒロ前田          | アルク    | 2017 | 7,300 |
| 2ヵ月で攻略TOEIC L&Rテスト730点! (残り日数逆算シリーズ)                                                             | 横本, 勝也        | アルク    | 2017 | 7,600 |
| 3週間で攻略TOEIC L&Rテスト730点! (残り日数逆算シリーズ)                                                             | 小山, 克明        | アルク    | 2017 | 7,000 |
| TOEICテストbeyond990超え!リーディング7つのコアスキル                                                               | テッド寺倉         | アルク    | 2015 | 7,600 |
| TOEIC L&Rテスト至高の模試600問 ―新形式問題対応―                                                                  | ヒロ前田          | アルク    | 2017 | 8,600 |

|                                                                                                                    |                            |           |      |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|-----------|------|--------|
| 完全攻略!TOEFL ITPテスト文法                                                                                                | 岩村, 圭南                     | アルク       | 2016 | 8,000  |
| 完全攻略!英検準1級                                                                                                         | 神部, 孝                      | アルク       | 2017 | 7,000  |
| TOEIC L&Rテストいきなり600点!                                                                                              | 横川, 綾子                     | アルク       | 2017 | 6,000  |
| はじめてのTOEFL iBTテスト総合対策                                                                                              | 西部, 有司                     | アスク出版     | 2015 | 7,200  |
| TOEFLIBTテストスコア・アップ大特訓 ―10日間集中―                                                                                     | 植田, 一三                     | アスク出版     | 2015 | 7,200  |
| TOEFLテスト英語の基本                                                                                                      | 西部, 有司                     | アスク出版     | 2016 | 5,500  |
| 完全攻略!英検3級                                                                                                          | Evine                      | アルク       | 2017 | 5,000  |
| 完全攻略!英検準2級 増補版                                                                                                     | Evine                      | アルク       | 2017 | 5,000  |
| 3週間で攻略TOEIC L&Rテスト900点! (残り日数逆算シリーズ)                                                                               | 大里, 秀介                     | アルク       | 2017 | 8,000  |
| TOEIC L&Rテスト英文法ゼロからスコアが稼げるドリル                                                                                      | 高橋, 基子                     | アルク       | 2017 | 4,000  |
| キクタン英検 1級 ―聞いて覚えるコーパス単語―改訂版                                                                                        | 一杉, 武史                     | アルク       | 2017 | 5,300  |
| キクタン英検 準1級 ―聞いて覚えるコーパス単語―改訂版                                                                                       | 一杉, 武史                     | アルク       | 2017 | 5,300  |
| キクタン英検 2級 ―聞いて覚えるコーパス単語―改訂版                                                                                        | 一杉, 武史                     | アルク       | 2017 | 5,300  |
| キクタン英検 準2級 ―聞いて覚えるコーパス単語―改訂版                                                                                       | 一杉, 武史                     | アルク       | 2017 | 5,300  |
| 2ヵ月で攻略TOEIC L&Rテスト900点! (残り日数逆算シリーズ)                                                                               | 天満, 嗣雄                     | アルク       | 2017 | 9,900  |
| キクタン英検 3級 ―聞いて覚えるコーパス単語―改訂版                                                                                        | 一杉, 武史                     | アルク       | 2017 | 5,300  |
| TOEIC L&Rテスト直前の技術                                                                                                  | ロバート・ヒルキ                   | アルク       | 2018 | 7,300  |
| TOEIC L&Rテスト全パート攻略絶対突破!500点                                                                                        | 早川, 幸治                     | アルク       | 2018 | 6,000  |
| はじめて受けるTOEIC L&Rテスト全パート完全攻略                                                                                        | 小石, 裕子                     | アルク       | 2018 | 6,000  |
| 現代企業論 (専門基礎ライブラリー)                                                                                                 | 関, 智宏                      | 実教出版      | 2008 | 5,500  |
| 日本の持続的成長企業 ―「優良・長寿」の企業研究―                                                                                          | リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所 | 東洋経済新報社   | 2010 | 4,000  |
| 本当のホワイト企業の見つけ方 ―指標とランキングでわかる!―                                                                                     | 東洋経済CSRプロジェクトチーム           | 東洋経済新報社   | 2014 | 3,600  |
| レジリエント・カンパニー ―なぜあの企業は時代を超えて勝ち残ったのか = Resilient company―                                                            | ピーター・D・ビーダーセン              | 東洋経済新報社   | 2015 | 3,600  |
| 組織の経済学入門 ―新制度派経済学アプローチ = Introduction to organizational economics : new institutional economics approaches―改訂版 (※) | 菊沢, 研宗                     | 有斐閣       | 2016 | 6,200  |
| 企業の持続性と組織変革                                                                                                        | 横谷, 正人                     | 文真堂       | 2016 | 6,200  |
| 日本企業社会論                                                                                                            | 渡辺, 敏雄                     | 税務経理協会    | 2008 | 7,000  |
| 絶対調企業 (週刊東洋経済eビジネス新書 No.204)                                                                                       | [東洋経済] 編集局 [編]             | 東洋経済新報社   | 2017 | 1,400  |
| 地方の名門企業 (週刊東洋経済eビジネス新書 No.242)                                                                                     | 東洋経済新報社                    | 東洋経済新報社   | 2017 | 1,600  |
| 現代企業のICT多国籍企業                                                                                                      | 夏目, 啓二                     | 文真堂       | 2017 | 6,600  |
| サービス・イノベーションの海外展開 ―日本企業の成功事例とその要因分析―                                                                               | 伊丹, 敬之                     | 東洋経済新報社   | 2017 | 11,900 |
| 企業統治と成長戦略                                                                                                          | 宮島, 英昭                     | 東洋経済新報社   | 2017 | 15,900 |
| 多国籍企業の戦略経営                                                                                                         | 佐久間, 信夫                    | 白桃書房      | 2013 | 6,800  |
| 就職四季報優良・中堅企業版 2019年版                                                                                               | 東洋経済新報社                    | 東洋経済新報社   | 2017 | 6,300  |
| 研究開発機能の空間的分業 ―日系化学企業の組織・立地再編とグローバル化―                                                                               | 鎌倉, 夏実                     | 東京大学出版会   | 2018 | 10,900 |
| 中小企業の事業承継                                                                                                          | 中村, 康平                     | 有斐閣       | 2017 | 9,900  |
| 業界メガ再編で変わる10年後の日本 ―中堅・中小企業M&Aが再編の主役だ― (※)                                                                          | 渡部, 恒郎                     | 東洋経済新報社   | 2017 | 4,700  |
| ガバナンス革命の新たなロードマップ ―2つのコードの高度化による企業価値向上の実現― (※)                                                                     | 北川, 哲雄                     | 東洋経済新報社   | 2017 | 11,900 |
| 業界分析ハンドブック ―経営戦略が評価される企業75― (※)                                                                                    | みずほ証券エクイティ調査部              | 東洋経済新報社   | 2017 | 6,600  |
| なぜ「健康経営」で会社が変わるのか ―判例から学ぶ、健康に配慮する企業が生き残る理由―                                                                        | 岡田, 邦夫                     | 法研        | 2018 | 3,000  |
| 絶対調企業【epubリフロー版】 (週刊東洋経済eビジネス新書 No.204)                                                                            |                            | 東洋経済新報社   |      | 1,400  |
| 地方の名門企業【epubリフロー版】 (週刊東洋経済eビジネス新書 No.242) (※)                                                                      |                            | 東洋経済新報社   |      | 1,600  |
| コミュニカ ―コミュニケーションカー                                                                                                 | 松村, 清                      | 商業界       | 2011 | 5,600  |
| 戦略家への道 (ストラテジック コミュニケーション 1)                                                                                       | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2002 | 4,300  |
| 戦略的プレゼンテーション (ストラテジック コミュニケーション 2)                                                                                 | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2002 | 4,300  |
| グループミーティングの戦略 (ストラテジック コミュニケーション 3)                                                                                | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2003 | 4,300  |
| 戦略的ネゴシエーション (ストラテジック コミュニケーション 4)                                                                                  | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2003 | 4,300  |
| 論理的コミュニケーション戦略 (ストラテジック コミュニケーション 5)                                                                               | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2004 | 4,300  |
| ディベート戦略 (ストラテジック コミュニケーション 6)                                                                                      | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2004 | 4,300  |
| 戦略的マネジメント (ストラテジック コミュニケーション 7)                                                                                    | 岩下, 貢                      | 慶應義塾大学出版会 | 2005 | 4,300  |
| 外資系コンサルに学ぶ聞き方の教科書                                                                                                  | 清水, 久三子                    | 東洋経済新報社   | 2014 | 3,300  |
| 世界で働く人になる! ―人づきあいと英語のスキルを劇的に上げる41の方法―                                                                              | 田島, 麻衣子                    | アルク       | 2014 | 4,700  |
| 「教える」「学び人」のコミュニケーション                                                                                               | 長谷川, 宏司                    | 大学教育出版    | 2016 | 2,000  |
| アクティブ・ラーニングで身につけるコミュニケーション力 ―聞く力・話す力・人間力―                                                                          | 切田, 節子                     | 近代科学社     | 2016 | 6,000  |
| 国際コミュニケーション ―地球規模でつながる―                                                                                            | 平山, 修平                     | 実教出版      | 2016 | 5,000  |
| 集団コミュニケーション ―自分を活かす15のレッスン―                                                                                        | 浅井, 重紀子                    | 実教出版      | 2016 | 4,700  |
| 連系研究者のはじめての英語コミュニケーション                                                                                             | 森村, 久美子                    | アスク出版     | 2016 | 6,100  |
| 社内営業の教科書 ―上司・同僚・部下を味方につける― (※)                                                                                     | 高城, 幸司                     | 東洋経済新報社   | 2017 | 5,000  |
| グローバルな環境でたくましく生きるためのヒント26 (世界で働く人になる! 実践編)                                                                         | 田島, 麻衣子                    | アルク       | 2018 | 5,000  |
| 飲みば飲みほど業績が上がる「飲み力」仕事術                                                                                              | 藍原, 節文                     | 商業界       | 2016 | 5,500  |
| セブーンイレブンの仕事術                                                                                                       | 岩本, 浩治                     | 商業界       | 2009 | 5,000  |
| 「A4一枚」仕事術                                                                                                          | 三木, 雄信                     | 東洋経済新報社   | 2007 | 3,300  |
| 仕事ができる人の黄金のスピーチの技術                                                                                                 | 西野, 浩輝                     | 東洋経済新報社   | 2008 | 3,100  |
| 仕事ができる人の5日で身につく「伝える技術」改訂版                                                                                          | 西野, 浩輝                     | 東洋経済新報社   | 2012 | 3,300  |
| 「段取り」の鉄人 ―四川飯店・陳建一が語る一流になるための仕事術―                                                                                  | 陳, 建一                      | 東洋経済新報社   | 2012 | 3,300  |
| スピード仕事術 ―成功する人はみんな知っている―                                                                                           | 西村, 克己                     | 東洋経済新報社   | 2007 | 3,300  |

|                                                                 |               |                        |         |      |        |
|-----------------------------------------------------------------|---------------|------------------------|---------|------|--------|
| Idea hacks!2.0 ―人生と仕事を豊かにする「超」発想のコツと習慣―                         | 原尻 淳一         |                        | 東洋経済新報社 | 2011 | 3,300  |
| アイデアをカタチにする仕事術 ―ビジネス・プロデューサーの7つの能力―                             | 吉田 就彦         |                        | 東洋経済新報社 | 2010 | 3,300  |
| アイデアハック! ―今日スグ役立つ仕事のコツと習慣―                                      | 原尻 淳一         |                        | 東洋経済新報社 | 2006 | 3,300  |
| 抜擢される人の人脈力 ―早回しで成長する人のセオリー―                                     | 関島 悦子         |                        | 東洋経済新報社 | 2008 | 3,300  |
| クラウド時代のタスク管理の技術 ―驚くほど仕事が片付いてしまう―                                | 佐々木 正悟        |                        | 東洋経済新報社 | 2011 | 3,600  |
| ◎機嫌な職場 ―「職場コミュニティ」再構築の方法―                                       | 酒井 穰          |                        | 東洋経済新報社 | 2011 | 3,300  |
| これから働き始める人のための実践の仕事論                                            | 大谷 謙治         | 学文社                    |         | 2014 | 5,000  |
| キャリア教育論 ―仕事・学び・コミュニティ―                                          | 荒木 淳子         | 慶應義塾大学出版会              |         | 2015 | 6,200  |
| 知っておきたい業界別「仕事」を考える本（森ゼミ×就職活動の神様）                                | 館部 礼二         | ユーキャン                  |         | 2013 | 3,900  |
| わずか5分で成果を上げる実務直結のExcel術                                         | 奥谷 隆一         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア |         | 2015 | 3,300  |
| 仕事のカタログ 2016-17年版 ―「なりたたい自分」を見つける! : 1600職種適職ナビゲーター―（自由国民がイイト版） |               | 自由国民社                  |         | 2015 | 5,300  |
| PDCAプロフェッショナル ―結果を出すための「思考と技術」―                                 | 稲田 将人         | 東洋経済新報社                |         | 2016 | 5,300  |
| ライフハック心理学 ―心の力で快適に仕事を効率化する方法 : life hack―                       | 佐々木 正悟        | 東洋経済新報社                |         | 2010 | 3,300  |
| 図解クラウド仕事術 ―もうここまで来ている、Android/iPhone/iPadで実践するモバイルクラウド全案―       | 山名 一郎         | 東洋経済新報社                |         | 2011 | 3,600  |
| MBA式考える文章術 ―ビジネス文書の心技術―                                         | 山本 和隆         | 東洋経済新報社                |         | 2011 | 4,400  |
| 10年後、仕事で差がつく戦略思考 ―一生役立つ「考えるスキル」の磨きかた―                           | 広瀬 一          | 東洋経済新報社                |         | 2011 | 3,300  |
| 求めすぎない仕事術                                                       | 綾西 聰          | 東洋経済新報社                |         | 2010 | 3,100  |
| 「働くこと」を企業と大人にたずねたい ―これから社会へ出る人のための仕事の物語―                        | 中澤 二朗         | 東洋経済新報社                |         | 2011 | 3,300  |
| 10倍ラクして成果を上げる完全自動のExcel術                                        | 奥谷 隆一         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア |         | 2016 | 3,300  |
| よくわかる自信がつくビジネス文書（FOM出版のみどりの本）                                   | 富士通エフ・オー・エム   | 富士通エフ・オー・エム            |         | 2010 | 4,300  |
| よくわかる自信がつくビジネスマナー 改訂2版（FOM出版のみどりの本）                             | 富士通エフ・オー・エム   | 富士通エフ・オー・エム            |         | 2009 | 4,300  |
| よくわかる自信がつくプレゼンテーション ―引きつけて離さないテクニック―（FOM出版のみどりの本）               | 富士通エフ・オー・エム   | 富士通エフ・オー・エム            |         | 2012 | 4,500  |
| 仕事のコミュニケーション論 ―人間関係の基本と自信を身につける―                                | 川村 福造         | 白桃書房                   |         | 2013 | 6,300  |
| 外資系コンサルのビジネス文書作成術 ―ロジカルシンキングと文章術によるWord文書の作り方―                  | 吉澤 準特         | 東洋経済新報社                |         | 2017 | 6,000  |
| 突発的な仕事に先手を打つ残業ゼロのビジネス整理術                                        | 芳垣 玲子         | 税務経理協会                 |         | 2014 | 3,700  |
| スーパーマーケット実力店長の仕事術 ―「基本5原則」の実践が生み出す最強の店づくり―                      | 加藤 津代志        | 商業界                    |         | 2015 | 6,200  |
| 産業・組織心理学（朝倉心理学講座 13）                                            | 古川 久敬         | 朝倉書店                   |         | 2006 | 3,900  |
| バーナードの組織理論と方法                                                   | 丸山 祐一         | 日本経済評論社                |         | 2006 | 5,300  |
| 組織を守り強くするNo.2の指南書 ―トップを支え組織を生かす実力者になるためのバイブル―                   | 宮内 勝彦         | 商業界                    |         | 2011 | 5,000  |
| 組織自律力 ―マネジメント像の転換―                                              | 佐藤 剛          | 慶應義塾大学出版会              |         | 2006 | 7,400  |
| 組織を動かすコミュニケーション力（RYOKU） ―企業・学校・サークルあらゆる組織の円滑な運営のために―            | 高橋 真知子        | 実教出版                   |         | 2010 | 5,000  |
| 組織が活きるチームビルディング ―成果が上がる、業績が上がる―                                 | 北森 義明         | 東洋経済新報社                |         | 2008 | 3,600  |
| 社員をバーベキューに行かせよう! ―結束と成果はこうすれば生まれる―                              | 蓬台 浩明         | 東洋経済新報社                |         | 2010 | 3,300  |
| グローバルで勝てる組織をつくる7つの鍵 ―人材活用の新戦略―                                  | 篠原 隆史         | 東洋経済新報社                |         | 2012 | 4,900  |
| 人が育つ仕組みをつくれ! ―リーダーとして一冊に心得ると―                                   | 常盤 文克         | 東洋経済新報社                |         | 2014 | 3,300  |
| Shadow Work ―知識創造を促す組織戦略 = Shadow work―                         | 一條 和生         | 東洋経済新報社                |         | 2007 | 5,300  |
| MBB「思い」のマネジメント実践ハンドブック ―社員が「思い」を持てれば組織は強くなる―                    | 徳岡 晃一郎        | 東洋経済新報社                |         | 2013 | 4,000  |
| 学習を促す組織文化 ―マルチレベル・アプローチによる実証分析―                                 | 北居 明          | 有斐閣                    |         | 2014 | 12,300 |
| アンジャイルに効くアイデアを組織に広めるための48のパターン（※）                               | Mary Lynn Man | 丸善出版                   |         | 2014 | 8,300  |
| 中国企業における組織と個人の関係（埼玉学園大学研究叢書 第11巻）                               | 張 英莉          | 八千代出版                  |         | 2015 | 7,500  |
| 組織の真 ―人間行動の現実―                                                  | クリス・アーギリス     | 文眞堂                    |         | 2016 | 4,400  |
| 現代組織論                                                           | 田尾 雅夫         | 勁草書房                   |         | 2012 | 8,100  |
| 組織コミットメント再考 ―中日米における実証研究を手がかりに―                                 | 王 英燕          | 文眞堂                    |         | 2017 | 7,100  |
| 二重性のダイナミクス ―組織変革の構造―                                            | 渡辺 伊津子        | 白桃書房                   |         | 2013 | 6,800  |
| 経営組織論（はじめての経営学）（※）                                              | 鈴木 竜太         | 東洋経済新報社                |         | 2018 | 7,300  |
| リーダーなら解いておきたい職場づくりの練習問題52                                       | 平堀 剛          | 商業界                    |         | 2012 | 5,500  |
| 人の噂は七五日or九日? ―数々の「英語・日本語」表現くらべ―（丸善ライブラリー 343）                   | 山田 雅重         | 丸善出版                   |         | 2001 | 1,680  |
| 感じのよい英語・感じのよい日本語 ―日英比較コミュニケーションの文法―                             | 水谷 信子         | くろしお出版                 |         | 2015 | 2,700  |
| 日英対照形容詞・副詞の意味と構文                                                | 影山 太郎         | 大修館書店                  |         | 2009 | 7,200  |
| 日英対照名詞の意味と構文                                                    | 影山 太郎         | 大修館書店                  |         | 2011 | 6,900  |
| 文章のレッスン                                                         | 前田 鑑          | 大修館書店                  |         | 2008 | 5,500  |
| 有動詞の通言語的研究 ―日本語と諸言語の対照から見えてくるもの―                                | ハルデン プラシヤント   | くろしお出版                 |         | 2015 | 10,200 |
| 形態論（朝倉日英対照言語学シリーズ 4）（※）                                         | 津原 朗子         | 朝倉書店                   |         | 2016 | 9,000  |
| 論語コンプリート ―全文完全対照版：本質を捉える「一文超訳」・現代語訳・書き下し文・原文―                   | 孔子            | 誠文堂新光社                 |         | 2016 | 4,000  |
| 五力国語共通のことわざ辞典 ―日本語・台湾語・英語・中国語・韓国語対照―                            | 張 福武          | 慧文社                    |         | 2007 | 11,600 |
| 六力国語共通のことわざ集 ―日本語・英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語対照―                  | 張 福武          | 慧文社                    |         | 2015 | 8,800  |
| 英語の表現（日本語から考える!）                                                | 関山 健治         | 白水社                    |         | 2011 | 4,200  |
| 一歩進んだ日本語文法の教え方 1                                                | 庵 功雄          | くろしお出版                 |         | 2017 | 3,100  |
| 文章力・論理力を高める日本語トレーニング                                            | 松谷 英明         | 学友出版                   |         | 2014 | 2,000  |
| データで学ぶ日本語学入門（※）                                                 | 計量国語学会        | 朝倉書店                   |         | 2017 | 8,600  |
| 新人日本語教師のためのお助け便利帖                                               | 鴻野 豊子         | 翔泳社                    |         | 2015 | 6,600  |

|                                                                              |                        |                        |     |      |        |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------------------------|-----|------|--------|
| 新人日本語教師のための授業づくり練習帖                                                          | 鴻野 豊子                  |                        | 翔泳社 | 2016 | 6,600  |
| 日本語会話トレーニングブック ―ビジネスで必要な発信力を身につけよう!―                                         | 奥村 真希                  | アルク                    |     | 2011 | 7,300  |
| 日本語のしくみ 新版                                                                   | 山田 敏弘                  | 白水社                    |     | 2015 | 3,600  |
| ビジネス教養としてのデザイン ―資料作成で活きるシンプルデザインの考え方―（できるビジネス）                               | 佐藤 好彦                  | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア |     | 2015 | 4,800  |
| すぐ役立つ文書・書式大事典 最新版                                                            | 日本語文書研究会               | 法研                     |     | 2010 | 1,900  |
| 論理が伝わる世界標準の「書く技術」―「パラグラフ・ライティング」入門―（ブルーバックス B-1793）                          | 倉島 保美                  | 講談社                    |     | 2012 | 2,000  |
| 大人のためのビジネス英文法                                                                | 畠山 雄二                  | くろしお出版                 |     | 2015 | 3,100  |
| ビジネスメールの中国語                                                                  | 林 松壽                   | 三修社                    |     | 2011 | 4,400  |
| 英語で書くあいさつ・お知らせ ―日常・社交・ビジネスに―                                                 | デビッド・A・セイン             | アスコ出版                  |     | 2015 | 4,400  |
| 社員と会社の繁栄のための就業規則サブ・ルール                                                       | BWS労務研究会               | 労働新聞社                  |     | 2008 | 2,700  |
| ビジネス社会で成功するマナーとスキル                                                           | 柳原 省吾                  | 実教出版                   |     | 2010 | 2,600  |
| ビジネスコミュニケーション ―コンタクトセンターのプロから学ぶ：電話対応の基礎とビジネスマナー：コンタクトセンター検定試験公式テキスト：エントリー資格― | 日本コンタクトセンター教育検定協会      | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2014 | 3,800  |
| 日韓マナー・慣習基本事典 ―プライベートからビジネスまで知っておきたい11章―                                      | 佐藤 貞悦                  | 勉誠出版                   |     | 2015 | 3,800  |
| 勝つ!ビジネスマナーと仕事術                                                               | ビジネスマナー研究会             | 法研                     |     | 2006 | 1,500  |
| 社会人になる前に知っておきたいビジネスパーソンの常識とマナー                                               | 白川 美知子                 | 学文社                    |     | 2016 | 6,000  |
| ビジネスコミュニケーションスキルを磨く10のステップ 改訂版                                               | 富士通エフ・オー・エム            | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2014 | 3,000  |
| ビジネスプレゼンテーション（ビジネスシリーズ）                                                      | 武田 秀子                  | 実教出版                   |     | 2002 | 5,500  |
| 自己表現の技法 ―文章表現・コミュニケーション・プレゼンテーション―（専門基礎ライブラリー）                               | 畑山 浩昭                  | 実教出版                   |     | 2004 | 5,500  |
| ビジネスプレゼンテーション 改訂版（ビジネスシリーズ）                                                  | 武田 秀子                  | 実教出版                   |     | 2011 | 5,500  |
| プレゼン力が授業をえる!                                                                 | 大島 武                   | メヂカルフレンド社              |     | 2010 | 5,800  |
| コピーライター×マジシャンのプレゼンのアイデアノート51                                                 | 内田 伸哉                  | 東洋経済新報社                |     | 2012 | 2,900  |
| プロフェッショナル・プレゼンテーション（アクション・ラーニング・シリーズ）                                        | 土井 哲                   | 東洋経済新報社                |     | 2003 | 4,400  |
| 理科系のための実戦英語プレゼンテーション                                                         | 廣岡 慶彦                  | 朝倉書店                   |     | 2014 | 9,300  |
| 実践ドリルで学ぶ Office活用術2013対応 ―文書作成・プレゼンに役立つ!―（NOA SCHOOLING TXT）                 | noa出版                  | ノア出版                   |     | 2015 | 3,200  |
| 論理が伝わる世界標準の「プレゼン術」 ―一生モノの「説得技法」―（ブルーバックス B-1847）                             | 倉島 保美                  | 講談社                    |     | 2014 | 2,000  |
| プレゼンテーション+PowerPoint 2013（30時間アカデミック）                                        | 池内 健治                  | 実教出版                   |     | 2013 | 3,900  |
| ドリルでマスター!PowerPoint2016&プレゼンテーション ―練習問題全119題―                                | noa出版                  | ノア出版                   |     | 2016 | 3,700  |
| 実践ドリルで学ぶOffice活用術 ―文書作成・プレゼンに役立つ! : Word・Excel・PowerPoint 2016対応―            | noa出版                  | ノア出版                   |     | 2016 | 3,400  |
| 理系英語のプレゼンテーション（理系たまごシリーズ・世界で活躍する理工系研究者を目指して 4）                               | 野口 ジュディー               | アルク                    |     | 2007 | 12,600 |
| 日商PC検定試験プレゼン資料作成3級公式テキスト&問題集（FOM出版のみどりの本）                                    | 日本商工会議所IT活用能力検定試験制度研究会 | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2015 | 7,500  |
| 日商PC検定試験文書作成・データ活用・プレゼン資料作成3級知識科目公式問題集（FOM出版のみどりの本）                          | 日本商工会議所IT活用能力検定試験制度研究会 | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2016 | 3,000  |
| 日商PC検定試験プレゼン資料作成2級公式テキスト&問題集（FOM出版のみどりの本）                                    | 日本商工会議所IT活用能力検定試験制度研究会 | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2015 | 7,500  |
| 日商PC検定試験文書作成・データ活用・プレゼン資料作成2級知識科目公式問題集（FOM出版のみどりの本）                          | 日本商工会議所IT活用能力検定試験制度研究会 | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2016 | 3,000  |
| よくわかる自信がつくプレゼンテーション ―引きつけて離さないテクニック―改訂版                                      | 富士通エフ・オー・エム            | 富士通エフ・オー・エム            |     | 2018 | 4,500  |
| 外資系コンサルのプレゼンテーション術 ―課題解決のための考え方&伝え方―（※）                                      | 菅野 誠二                  | 東洋経済新報社                |     | 2018 | 6,000  |
| 30時間でマスタープレゼンテーション+PowerPoint 2016 ―Windows10対応―                             | 実教出版企画開発部              | 実教出版                   |     | 2016 | 2,800  |
| Keynoteで魅せる「伝える」プレゼンテーションテクニック                                               | 長沢 智浩                  | ラトルズ                   |     | 2018 | 6,900  |
| ITで人はどうなる ―人間重視の情報技術を―                                                       | 斉藤 正男                  | 東京電機大学出版局              |     | 2003 | 4,700  |
| ICTを活用した外国語教育 ―information and communication technology―                     | CIEU外国語教育研究部会          | 東京電機大学出版局              |     | 2008 | 7,700  |
| ITパスポート試験午前精選予想400題試験問題集 平成21年度版                                             | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2008 | 6,200  |
| 学生のためのIT入門                                                                   | 若山 芳三郎                 | 東京電機大学出版局              |     | 2001 | 4,700  |
| ITサービスマネージャ試験午前精選予想500題試験問題集 平成21年度版 ―新試験制度完全準拠―                             | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2009 | 7,700  |
| ITストラテジスト試験午前精選予想500題試験問題集 平成21年度版 ―新試験制度完全準拠―                               | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2009 | 8,200  |
| ケータイで人はどうなる ―IT世代の行方―                                                        | 斉藤 正男                  | 東京電機大学出版局              |     | 2009 | 3,900  |
| ITパスポート試験午前精選予想400題+最新200題試験問題集 平成22年度版                                      | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2009 | 6,400  |
| これ一冊でわかるeラーニング専門家の基本 ―ICT・ID・著作権から資格取得準備まで―（青山学院大学総合研究所叢書）                   | 玉木 欽也                  | 東京電機大学出版局              |     | 2010 | 8,700  |
| ITサービスマネージャ午前試験問題集 ―合格精選500題―                                                | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2010 | 7,700  |
| ITストラテジスト午前試験問題集 ―合格精選500題―                                                  | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2010 | 7,700  |
| ITパスポート試験精選予想424題+最新200題試験問題集 平成23年度版                                        | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2010 | 6,200  |
| ITパスポート試験精選予想424題+最新200題試験問題集 平成24年度版                                        | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2011 | 6,200  |
| ICTを活用した大学授業（高等教育シリーズ 118）                                                   | 小原 芳明                  | 玉川大学出版部                |     | 2002 | 4,400  |
| 基本情報ITパスポート計算ドリル                                                             | 大滝 みや子                 | 実教出版                   |     | 2009 | 2,700  |
| ITILの基礎 ―ITIL ファンデーションシラバス2011試験対応―                                          | 菅野 厚                   | マイナビ                   |     | 2013 | 6,900  |
| ITパスポート試験精選予想400題+最新200題試験問題集 平成26年度版                                        | 東京電機大学                 | 東京電機大学出版局              |     | 2014 | 6,900  |



|                                                                                                                      |                     |                        |      |        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------------|------|--------|
| チケット&計測でITプロジェクト運営の体質改善                                                                                              | 神谷 芳樹               | オーム社                   | 2013 | 6,600  |
| 教職・情報機器の操作 ―教師のためのICTリテラシー入門―                                                                                        | 高橋 参吉               | コロナ社                   | 2011 | 6,600  |
| メディアICT (メディア学大系 10)                                                                                                 | 寺澤 卓也               | コロナ社                   | 2013 | 7,200  |
| 厳選問題集500題 平成27年度版 ―ITパスポート試験: IP―                                                                                    | 東京電機大学              | 東京電機大学出版局              | 2014 | 6,200  |
| ICTとば辞典 ―ネット時代のニュースがよくわかる250の重要キーワード―                                                                                | 大谷 和利               | 三省堂                    | 2015 | 4,400  |
| IT時代のショップ開業学 ―フэшション店の開業から運営まで―                                                                                      | 熊崎 高道               | アルノオーネ                 | 2002 | 3,800  |
| 必携ICTガイドブック ―マシンコードからクラウドまで―                                                                                         | 清野 克行               | ラトルズ                   | 2015 | 8,200  |
| データベーススペシャリスト教科書 平成28年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                                       | 瀬戸 美月               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 8,600  |
| Cisco CCNP Routing & Switching SWITCH教科書「300-115J」対応 ―試験番号300-115J―(徹底攻略)                                            | ソキウス・ジャパン           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 13,600 |
| ORACLE MASTER Bronze DBA 12c問題集 ―試験番号120-065―(徹底攻略)                                                                  | 高山 智史               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 10,600 |
| Java SE7/8 Bronze問題集「120-814」対応 ―試験番号120-814―(徹底攻略)                                                                  | 志賀 澄人               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 7,600  |
| ITパスポート過去問題集 平成27年度秋期 ―かんたん合格―                                                                                       | 関久保 恭子              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 3,900  |
| 基本情報技術者過去問題集 平成27年度秋期 ―かんたん合格: 過去問4回分+Webで1回分―                                                                       | ノマド・ワークス            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,900  |
| MCSA Windows Server 2012「70-410/R2対応問題集 インストールと構成編 ―試験番号70-410―(徹底攻略)                                                | グローバルナレッジネットワーク株式会社 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 10,700 |
| 徹底攻略MTA Security問題集「98-367」対応 (徹底攻略)                                                                                 | 新井 慎太郎              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 9,000  |
| Cisco CCNA Routing & Switching/CCENT問題集「100-101J」「200-101J」「200-120J」対応 ―試験番号100-101J 200-101J 200-120J―(徹底攻略)       | ソキウス・ジャパン           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 10,900 |
| ネットワークスペシャリスト教科書 平成27年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                                       | 瀬戸 美月               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 9,200  |
| ネットワークスペシャリスト過去問題集 平成27年度 ―かんたん合格―                                                                                   | 五十嵐 聡               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 9,900  |
| ITパスポート過去問題集 平成27年度春期 ―かんたん合格―                                                                                       | 関久保 恭子              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 3,900  |
| Rails4技術者認定シルバー試験問題集 (徹底攻略)                                                                                          | 山田 裕進               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| 応用情報技術者教科書 平成27年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                                             | 瀬戸 美月               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 7,900  |
| 基本情報技術者教科書 平成27年度 ―かんたん合格―(徹底攻略情報処理シリーズ)                                                                             | 五十嵐 順子              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 4,300  |
| かんたん合格ITパスポート教科書 平成27年度 (Tettei kouryaku joho shori)                                                                 | 坂下 夕里               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 3,300  |
| 基本情報技術者教科書 平成27年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                                             | 月江 伸弘               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 5,300  |
| ORACLE MASTER Bronze 12c SQL基礎問題集 ―試験番号120-061―(徹底攻略)                                                                | 佐藤 明夫               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| データベーススペシャリスト教科書 平成27年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                                       | 瀬戸 美月               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,200  |
| LPI問題集Level3「300」対応 ―試験番号300 Mixed Environment Exam―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                           | 中島 能和               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| Java SE7 Silver問題集「120-803」対応 ―試験番号120-803―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                    | 志賀 澄人               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| Cisco CCNA Routing & Switching教科書 ICND2編 ―「200-101J」「200-120J」対応: 試験番号200-101J 200-120J―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)       | ソキウス・ジャパン           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 11,900 |
| LPI問題集Level2「Ver4.0J」対応 ―試験番号LPI Level2 Exam 201 LPI Level2 Exam 202―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                          | 中島 能和               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 8,300  |
| 1週間でLPICの基礎が学べる本 第2版(徹底攻略)                                                                                           | 中島 能和               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 7,300  |
| Cisco CCENT/CCNA Routing & Switching教科書 ICND1編 ―「100-101J」「200-120J」対応: 試験番号100-101J 200-120J―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略) | ソキウス・ジャパン           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 11,900 |
| 徹底攻略 MTA Windows OS問題集「98-349」対応 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                              | 新井 慎太郎              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 7,000  |
| PHP5技術者認定「上級」試験問題集「PJO-200」対応 ―試験番号PJO-200―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                    | 鈴木 憲治               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 12,300 |
| Java SE7 Bronze問題集「120-802」対応 ―試験番号120-802―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                    | 志賀 澄人               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 7,300  |
| MTAネットワーク問題集「98-366」対応 ―試験番号98-366―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                            | 高田 早苗               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 6,600  |
| PHP5技術者認定「初級」試験問題集「PJO-100」対応 ―試験番号PJO-100―(ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                                    | 内山 祥恵               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2012 | 7,600  |
| 現場の情報化 ―IT利用実践の組織論的研究―                                                                                               | 松嶋 豊                | 有斐閣                    | 2015 | 16,500 |
| ITロードマップ 2016年版 ―情報通信技術は5年後こう変わる―                                                                                    | 野村総合研究所デジタルビジネス推進部  | 東洋経済新報社                | 2016 | 5,300  |
| ICT未来予想図 ―自動運転, 知能化都市, ロボット実装に向けて―(共立スマートセレクション = Kyoritsu smart selection 9)                                        | 土井 美和子              | 共立出版                   | 2016 | 5,300  |
| ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 平成28-29年度版 (よくわかるマスター)                                                                         | 富士通エフ・オー・エム         | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 3,300  |
| IT業界を楽しく生き抜くための「つまみくい勉強法」(技評SE選書 015)                                                                                | 奥 乃美                | 技術評論社                  | 2010 | 2,900  |

|                                                                                                 |                            |                        |      |       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------|------|-------|
| 情報セキュリティ読本 ―IT時代の危機管理入門―4訂版                                                                     | 情報処理推進機構(IPA)              | 実教出版                   | 2013 | 1,500 |
| 情報機器の操作 ―教員のためのICT活用法: 教職必修―                                                                    | 模本 竜二                      | 実教出版                   | 2013 | 5,000 |
| 情報通信ネットワーク (IT text)                                                                            | 飯田 史郎                      | オーム社                   | 2015 | 7,700 |
| 情報と職業 改訂2版 (IT text)                                                                            | 駒谷 昇一                      | オーム社                   | 2015 | 6,900 |
| ソフトウェア開発 改訂2版 (IT text)                                                                         | 小泉 寿男                      | オーム社                   | 2015 | 7,700 |
| IT技術者の長寿と健康のために                                                                                 | 情報通信医学研究所                  | 近代科学社                  | 2016 | 8,000 |
| ITパスポート過去問題集 平成29年度春期 ―かんたん合格―                                                                  | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 3,900 |
| かんたん合格ITパスポート教科書 平成29年度                                                                         | 坂下 夕里                      | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 3,300 |
| ITパスポート試験直前対策1週間完全プログラム (よくわかるマスター)                                                             | 富士通エフ・オー・エム                | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 3,000 |
| ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 平成30-31年度版 (よくわかるマスター)                                                    | 富士通エフ・オー・エム                | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 3,300 |
| ITパスポート過去問題集 平成28年度秋期 ―かんたん合格―                                                                  | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 3,900 |
| ITパスポート過去問題集 平成29年度秋期 ―かんたん合格―                                                                  | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 3,900 |
| ITパスポート試験書いて覚える学習ドリル シーラバVer3.0準拠―(よくわかるマスター)                                                   | 富士通エフ・オー・エム                | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 2,500 |
| 21世紀ICT企業の経営戦略 ―変貌する世界の大型企业体制―(龍谷大学社会科学研究所叢書 第114巻)                                             | 夏目 啓二                      | 文眞堂                    | 2017 | 6,200 |
| ICT実務のためのインターネット政策論の基礎知識 ―テクノロジー・ユーザー・ビジネスにより進化し続けるネットワーク―                                      | クリストファー・ユウ                 | 勁草書房                   | 2017 | 9,100 |
| かんたん合格ITパスポート教科書 平成30年度                                                                         | 坂下 夕里                      | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 3,300 |
| ITパスポート過去問題集 平成30年度春期 ―かんたん合格―                                                                  | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 3,900 |
| ICTの進展と情報活用能力 ―変容する組織と個人の関係性―                                                                   | 小豆川 裕子                     | 白桃書房                   | 2012 | 7,800 |
| IT投資マネジメントの変革                                                                                   | 松島 桂樹                      | 白桃書房                   | 2013 | 6,300 |
| コーポレートベンチャーリング新時代 ―本格化するベンチャーの時代と大手ICT企業の成長戦略―                                                  | 湯川 抗                       | 白桃書房                   | 2013 | 6,800 |
| ITナビゲーター 2018年版                                                                                 | 野村総合研究所ICT・メディア産業コンサルティング部 | 東洋経済新報社                | 2017 | 8,000 |
| 文系女子のためのITパスポート合格テキスト&問題集                                                                       | 滝口 直樹                      | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 4,600 |
| 徹底攻略ITパスポート教科書+模擬問題                                                                             | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 5,300 |
| ICTを活用した出版と図書館の未来 ―立命館大学文学部のアクティブラーニング―                                                         | 湯浅 俊彦                      | 出版メディアバル               | 2018 | 3,300 |
| 現場で困らないITエンジニアのための英語リ―ディング                                                                      | 西野 竜太郎                     | 翔泳社                    | 2017 | 6,000 |
| ITロードマップ 2018年版 ―情報通信技術は5年後こう変わる―(※)                                                            | 野村総合研究所ビジネスIT推進部           | 東洋経済新報社                | 2018 | 8,600 |
| ネットワークセキュリティ (IT text)                                                                          | 菊池 清明                      | オーム社                   | 2017 | 7,700 |
| 厳選問題集300題 ―ITパスポート試験: IP―                                                                       | 東京電機大学                     | 東京電機大学出版局              | 2017 | 6,700 |
| ITパスポート過去問題集 平成30年度秋期 ―かんたん合格―                                                                  | 関久保 恭子                     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 3,900 |
| 学生のための情報リテラシー ―Office XP版―                                                                      | 若山 芳三郎                     | 東京電機大学出版局              | 2003 | 5,700 |
| 学生のための情報リテラシー ―Office/Vista版―                                                                   | 若山 芳三郎                     | 東京電機大学出版局              | 2007 | 5,800 |
| 学生のための情報リテラシー                                                                                   | 若山 芳三郎                     | 東京電機大学出版局              | 2001 | 5,200 |
| 文科系のための情報発信リテラシー                                                                                | 永嶋 研宣                      | 東京電機大学出版局              | 2004 | 6,200 |
| OpenOffice.orgで学ぶコンピュータリテラシー 第2版                                                                | 永嶋 研宣                      | 東京電機大学出版局              | 2009 | 7,200 |
| 学生のための情報リテラシー ―Office 2010/Windows 7版―                                                          | 若山 芳三郎                     | 東京電機大学出版局              | 2011 | 5,700 |
| 情報生活のリテラシー (生活環境学ライブラリー 1)                                                                      | 野田 隆                       | 朝倉書店                   | 2002 | 3,200 |
| PC-UNIX (はじめて学ぶしっかり学ぶ情報リテラシー 1)                                                                 | 石田 晴久                      | 実教出版                   | 2001 | 5,500 |
| XP対応新情報化リテラシー入門 ―Word,Excelからシスアドまで―                                                            | 河合 久                       | 実教出版                   | 2004 | 6,600 |
| CGリテラシー―Photoshop & Illustrator ―Photoshop 7.0・Illustrator 10 for Windows―                      | 影山 明俊                      | 実教出版                   | 2003 | 7,700 |
| CGリテラシー―Photoshop & Illustrator CS2 for Windows                                                 | 影山 明俊                      | 実教出版                   | 2006 | 7,700 |
| CGリテラシー―Photoshop & Illustrator                                                                 | 影山 明俊                      | 実教出版                   | 2010 | 7,700 |
| CGリテラシー―Flash CS5/ActionScript3.0                                                               | 影山 明俊                      | 実教出版                   | 2011 | 7,700 |
| 情報リテラシー―Office 2007 ―Windows vista対応―(30時間アカデミック)                                               | 杉本 くらみ子                    | 実教出版                   | 2009 | 3,500 |
| 情報リテラシー―Office 2010 ―Windows7対応―(30時間アカデミック)                                                    | 杉本 くらみ子                    | 実教出版                   | 2011 | 3,500 |
| Office 2007で学ぶコンピュータリテラシー                                                                       | 小野目 豪                      | 実教出版                   | 2004 | 5,500 |
| Office 2007で学ぶコンピュータリテラシー                                                                       | 小野目 如快                     | 実教出版                   | 2008 | 5,500 |
| Office 2010で学ぶコンピュータリテラシー                                                                       | 小野目 如快                     | 実教出版                   | 2011 | 5,500 |
| Windows XPで学ぶコンピュータリテラシー                                                                        | 小野目 豪                      | 実教出版                   | 2002 | 5,500 |
| 電脳の教室 ―コンピュータリテラシー― 新版                                                                          | 佐藤 淳一                      | 武蔵野美術大学出版局             | 2011 | 4,400 |
| 学生のための情報リテラシー ―Office 2013/Windows 8.1版―                                                        | 若山 芳三郎                     | 東京電機大学出版局              | 2014 | 5,700 |
| 学生のためのアカデミック情報リテラシー ―Office 2013対応―(NOA SCHOOLING TXT)                                          | 阿部 勘一                      | ノア出版                   | 2014 | 3,700 |
| これだけは知っておこう情報リテラシー ―ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティと情報モラルなど「しくみと中身」がよくわかる―(第3版 (NOA SCHOOLING TXT)) | noa出版                      | ノア出版                   | 2012 | 3,000 |
| 入門情報リテラシー ―Office 2013/2010対応―(※)                                                               | 喜家村 奨                      | コロナ社                   | 2015 | 7,300 |
| 情報リテラシー―Office2013 ―Windows8/8対応―(30時間アカデミック)                                                   | 杉本 くらみ子                    | 実教出版                   | 2013 | 3,600 |
| Office 2013で学ぶコンピュータリテラシー                                                                       | 小野目 如快                     | 実教出版                   | 2013 | 5,500 |

|                                                                                                                                                                           |                    |                        |      |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------|------|--------|
| 実践コンピュータリテラシー入門                                                                                                                                                           | 宮脇 典彦              | 実教出版                   | 2013 | 5,300  |
| ネットシネレーションのための情報リテラシー&情報モラル ―ネット犯罪・ネットいじめ・学校裏サイト―                                                                                                                         | 加納 寛子              | 大学教育出版                 | 2008 | 2,900  |
| 情報リテラシー ―メディアを手中におさめる基礎能力―第3版                                                                                                                                             | 山川 修               | 森北出版                   | 2013 | 5,500  |
| モバイルネットワーク時代の情報倫理―被害者・加害者にならないためのメディアリテラシー―第2版                                                                                                                            | 山住 富也              | 近代科学社                  | 2015 | 5,300  |
| コンピュータリテラシー (ファーストステップ)                                                                                                                                                   | 中井 秀樹              | 近代科学社                  | 2012 | 7,300  |
| Microsoft Office 2013を使った情報リテラシーの基礎                                                                                                                                       | 切田 節子              | 近代科学社                  | 2014 | 8,300  |
| CGリテラシー―Photoshop & Illustrator CC+CS6 (※)                                                                                                                                | 彩山 明俊              | 実教出版                   | 2015 | 7,700  |
| 情報リテラシーOffice 2016 (30時間アカデミック)                                                                                                                                           | 杉本 くみ子             | 実教出版                   | 2016 | 3,600  |
| 情報リテラシー教科書 ―Windows 10/Office2016対応版―                                                                                                                                     | 矢野 文彦              | オーム社                   | 2017 | 5,300  |
| 情報リテラシー教科書 ―Windows 10/Office2016+Access2016対応版―                                                                                                                          | 矢野 文彦              | オーム社                   | 2017 | 6,100  |
| 学生のためのアカデミック情報リテラシー ―Office2016対応―                                                                                                                                        | 阿部 勘一              | /ア出版                   | 2017 | 3,700  |
| LibreOfficeで学ぶ情報リテラシー                                                                                                                                                     | 畔津 忠博              | 東京電機大学出版局              | 2016 | 7,500  |
| 学生のための情報リテラシー ―Office 2016/Windows 10版―                                                                                                                                   | 若山 芳三郎             | 東京電機大学出版局              | 2016 | 5,700  |
| 情報リテラシー 本編                                                                                                                                                                | 富士通エフ・オー・エム株式会社    | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,000  |
| 情報リテラシー 入門編                                                                                                                                                               | 富士通エフ・オー・エム株式会社    | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 2,500  |
| 情報リテラシー アプリ編                                                                                                                                                              | 富士通エフ・オー・エム株式会社    | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 4,500  |
| 情報リテラシー 総合編                                                                                                                                                               | 富士通エフ・オー・エム株式会社    | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 6,200  |
| 情報リテラシー                                                                                                                                                                   | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 5,000  |
| 情報リテラシー (入門編)                                                                                                                                                             | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 2,500  |
| 情報リテラシー (総合編)                                                                                                                                                             | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 6,200  |
| 情報リテラシー (アプリ編)                                                                                                                                                            | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2013 | 4,500  |
| 情報リテラシー [本編] ―情報モラル&情報セキュリティ: Windows 8.1 Internet Explorer 11 Microsoft Word 2013 Microsoft Excel 2013 Microsoft PowerPoint 2013―                                        | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2015 | 5,000  |
| 情報リテラシー 入門編 ―情報モラル&情報セキュリティ: Windows 8.1 Internet Explorer 11 Microsoft Word 2013 Microsoft Excel 2013 Microsoft PowerPoint 2013―                                         | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2015 | 2,500  |
| 情報リテラシー 総合編 ―情報モラル&情報セキュリティ: Windows 8.1 Internet Explorer 11 Microsoft Word 2013 Microsoft Excel 2013 Microsoft PowerPoint 2013/Microsoft Access 2013/HTML 4.01/CSS 2.1― | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2015 | 6,200  |
| Office2016で学ぶコンピュータリテラシー                                                                                                                                                  | 小野目 如快             | 実教出版                   | 2017 | 5,800  |
| 情報リテラシー 総合編 改訂版                                                                                                                                                           | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 6,200  |
| 情報リテラシー 改訂版                                                                                                                                                               | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 5,000  |
| 情報リテラシー 入門編 改訂版                                                                                                                                                           | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 2,500  |
| 情報リテラシー アプリ編 改訂版                                                                                                                                                          | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 4,500  |
| 学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー                                                                                                                                             | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 3,000  |
| これだけは知っておこう情報リテラシー ―ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティ&情報モラルなどしくみと中身」がよくなる―第4版 (noa schooling text)                                                                              | noa出版              | noa出版                  | 2017 | 3,100  |
| 大学一年生のための情報リテラシー (※)                                                                                                                                                      | 小椋 理子              | 丸善出版                   | 2018 | 6,600  |
| コンピュータアーキテクチャ (OHM大学テキスト)                                                                                                                                                 | 中島 康彦              | オーム社                   | 2012 | 7,200  |
| コンピュータアーキテクチャ 第2版 (※)                                                                                                                                                     | 福本 聡               | 朝倉書店                   | 2015 | 9,600  |
| 表現の自由とアーキテクチャ―情報社会における自由と規制の再構成―                                                                                                                                          | 成原 慧               | 勁草書房                   | 2016 | 16,500 |
| 図解コンピュータアーキテクチャ入門 第2版                                                                                                                                                     | 堀 桂太郎              | 森北出版                   | 2011 | 6,900  |
| 基礎から学ぶコンピュータアーキテクチャ                                                                                                                                                       | 遠藤 敏夫              | 森北出版                   | 2008 | 7,200  |
| コンピュータアーキテクチャ (情報工学レクチャーシリーズ)                                                                                                                                             | 成瀬 正               | 森北出版                   | 2016 | 7,700  |
| AWS Lambda実践ガイド ―アーキテクチャとイベント駆動型プログラミング― (Impress top gear)                                                                                                               | 大澤 文孝              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 9,900  |
| チューリングの計算理論入門 ―チューリング・マシンからコンピュータへ― (ブルーバックス B-1851)                                                                                                                      | 高岡 詠子              | 講談社                    | 2014 | 1,900  |
| +Gainer―physical computing with gainer―                                                                                                                                   | GainerBook Labo    | オーム社                   | 2008 | 10,500 |
| ソフトウェア・通信ネットワーク 改訂3版 (図解コンピュータ概論)                                                                                                                                         | 橋本 洋志              | オーム社                   | 2010 | 7,000  |
| ハードウェア 改訂3版 (図解コンピュータ概論)                                                                                                                                                  | 橋本 洋志              | オーム社                   | 2010 | 7,000  |
| デジタル作法 ―カーニハン先生の「情報」教室―                                                                                                                                                   | Brian W. Kernighan | オーム社                   | 2013 | 6,100  |
| モジュール化で理解する電子工作の基本ワザ                                                                                                                                                      | 松原 拓也              | オーム社                   | 2011 | 7,000  |
| XP対応新基礎コンピュータ演習 ―Windows, Word, Excel, Access, PowerPoint, Internet, HTML―                                                                                                | 山本 誠次郎             | 実教出版                   | 2003 | 5,000  |
| Vista対応新基礎コンピュータ演習                                                                                                                                                        | 山本 誠次郎             | 実教出版                   | 2008 | 5,000  |
| コンピュータ設計の基礎                                                                                                                                                               | Ando, Hisa         | マイナビ                   | 2010 | 6,400  |
| 高性能コンピュータ技術の基礎                                                                                                                                                            | Ando, Hisa         | マイナビ                   | 2011 | 6,400  |
| ボクのBeagleBone Black工作ノート                                                                                                                                                  | 鈴木 哲哉              | ラトルズ                   | 2014 | 7,200  |
| コンピュータの名著・古典100冊 ―若きエンジニア「必読」のブックガイド―改訂新版                                                                                                                                 | 石田 晴久              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2006 | 3,300  |
| コンピュータサイエンス ―計算を通して世界を観る― (サイエンス・パレット 028)                                                                                                                                | 渡辺 治               | 丸善出版                   | 2015 | 3,300  |
| コンピュータ設計概論 ―OMOSから組み込みCPUまで― (※)                                                                                                                                          | 鎌田 弘之              | コロナ社                   | 2014 | 9,300  |
| コンピュータ工学入門 (※)                                                                                                                                                            | 鏡 慎吾               | コロナ社                   | 2015 | 9,300  |
| 計算機システム基礎 (シリーズ知能機械工学 7)                                                                                                                                                  | 山田 宏尚              | 共立出版                   | 2015 | 8,600  |
| 新編マイクロコンピュータ技術入門 (※)                                                                                                                                                      | 松田 忠重              | コロナ社                   | 2015 | 8,300  |

|                                                                                         |                  |                        |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------|------|--------|
| 今すぐ使えるかんたんiPad完全 (コンプリート) ガイドブック ―困った解決&便利技: 最新OS 7対応― (Imasugu Tsukaeru Kantan Series) | リンクアップ           | 技術評論社                  | 2014 | 3,000  |
| 今すぐ使えるかんたんiPad ―iPad Air/iPad mini対応版― (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                 | 田中 拓也            | 技術評論社                  | 2014 | 2,500  |
| ITの基礎 (ファーストステップ)                                                                       | 国友 義久            | 近代科学社                  | 2011 | 7,300  |
| コンピュータ理論の起源 (第1巻)                                                                       | 伊藤 和行            | 近代科学社                  | 2014 | 13,900 |
| コンピュータのしくみ (※)                                                                          | 吉川 雅弥            | コロナ社                   | 2017 | 8,300  |
| コンピュータ科学の基礎                                                                             | 田嶋 拓也            | 共立出版                   | 2017 | 8,000  |
| Ship it!ソフトウェアプロジェクト成功のための達人式ガイドブック                                                     | Jared Richardson | オーム社                   | 2006 | 7,200  |
| Subversion実践入門 ―達人プログラマーに学ぶバージョン管理― 第2版                                                 | Mike Mason       | オーム社                   | 2007 | 7,200  |
| アジャイルレトロスペクティブズ ―強いチームを育てる「ふりかえり」の手引き―                                                  | Esther Derby     | オーム社                   | 2007 | 6,600  |
| 入門git                                                                                   | Travis Swicegood | オーム社                   | 2009 | 6,600  |
| Gitによるバージョン管理                                                                           | 岩松 信洋            | オーム社                   | 2011 | 7,700  |
| ソフトウェアの世界でキャリアを築く                                                                       | Sam Lightstone   | オーム社                   | 2012 | 7,700  |
| ソフトウェア品質知識体系ガイド ―SQuBOK Guide―                                                          | SQuBOK策定部会       | オーム社                   | 2007 | 9,700  |
| ハードウェア/ソフトウェア (基本情報技術者テキスト 1)                                                           | 平井 利明            | 実教出版                   | 2009 | 5,500  |
| 形式手法入門 ―ロジックによるソフトウェア設計―                                                                | 中島 震             | オーム社                   | 2012 | 7,700  |
| アジャイル概論 (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                                       | 設楽 秀輔            | 東京電機大学出版局              | 2012 | 6,400  |
| ソフトウェア品質知識体系ガイド ―SQuBOK Guide V2― 第2版                                                   | SQuBOK策定部会       | オーム社                   | 2014 | 11,000 |
| ソフトウェアエンジニアリング基礎知識体系 ―SWEBOK V3.0―                                                      | 松本 吉弘            | オーム社                   | 2014 | 11,000 |
| ソフトウェア工学 第3版 (情報科学こんせぶつ 7)                                                              | 中所 武司            | 朝倉書店                   | 2014 | 8,600  |
| ソフトウェアシステム工学入門 (未来へつなぐデジタルシリーズ)                                                         | 五月女 健治           | 共立出版                   | 2014 | 8,600  |
| エクストリームプログラミング                                                                          | Beck, Kent       | オーム社                   | 2015 | 6,100  |
| ゴール&ストラテジ入門 ―残念なシステムの無くし方: GQM+Strategies―                                              | Victor Basili    | オーム社                   | 2015 | 7,700  |
| Docker コンテナ実践検証 (Think IT Books)                                                        | 佐藤 司             | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,700  |
| 「要求」の基本原則 (技研SE選書 003)                                                                  | 岡 大勝             | 技術評論社                  | 2009 | 2,500  |
| チームコンサート超入門 ―デスマーチ対策ツール: IBM rational team concert ―改訂版                                 | デスマーチ対策室         | 技術評論社                  | 2012 | 4,200  |
| Dockerエキスパート養成読本 ―活用の基礎と実践ノウハウ満載!― (Software design plusシリーズ)                           | 杉山 貴章            | 技術評論社                  | 2015 | 3,300  |
| ソフトウェア工学 (情報工学レクチャーシリーズ)                                                                | 高橋 直久            | 森北出版                   | 2010 | 8,300  |
| Event-B ―リファインメント・モデリングに基づく形式手法―                                                        | 中島 震             | 近代科学社                  | 2015 | 12,600 |
| ソフトウェア工学                                                                                | 岸 知二             | 近代科学社                  | 2016 | 10,600 |
| SPINモデル検査 ―検証モデリング技法 = Model checking with SPIN―                                        | 中島 震             | 近代科学社                  | 2008 | 12,600 |
| はじめて学ぶコンピュータ概論 ―ハードウェア/ソフトウェアの基本― (※)                                                   | 寺嶋 廣克            | コロナ社                   | 2016 | 7,000  |
| アジャイルコーチング                                                                              | Rachel Davies    | オーム社                   | 2017 | 7,700  |
| ソフトウェアグローバルバージョン入門 ―国際化I18Nと地域化L10Nによる多言語対応― (Impress top gear)                         | 西野 竜太郎           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 8,000  |
| 無料でWindowsが快適になる鉄板フリーソフト2017 ―「窓の社」公式― (Impress mook)                                   |                  | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 2,400  |
| Mesos実践ガイド ―次世代の計算資源管理ソフトウェア― (Impress top gear)                                        | 古賀 政純            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 9,900  |
| 入門独立成分分析                                                                                | 村田 昇             | 東京電機大学出版局              | 2004 | 8,700  |
| Excelでかんたん統計分析 ―「分析ツール」を使いこなそう―                                                         | 近藤 宏             | オーム社                   | 2007 | 7,700  |
| RIによるやさしい統計学                                                                            | 山田 剛史            | オーム社                   | 2008 | 7,500  |
| SASによる統計分析 ―SAS Enterprise Guideユーザーズガイド―                                               | 高橋 良太            | オーム社                   | 2008 | 13,000 |
| RIによる統計解析                                                                               | 青木 繁伸            | オーム社                   | 2009 | 10,500 |
| The R tips ―データ解析環境Rの基本技・グラフィックス活用集― 第2版                                                | 舟尾 暢男            | オーム社                   | 2009 | 10,500 |
| 統計を知らない人のためのSAS入門                                                                       | 大橋 涉             | オーム社                   | 2010 | 8,300  |
| SPSSによるやさしいアンケート分析 第2版                                                                  | 小木曽 道夫           | オーム社                   | 2012 | 6,600  |
| SPSSによるやさしい統計学 第2版                                                                      | 岸 学              | オーム社                   | 2012 | 6,600  |
| 統計学の基礎 (講座情報をよむ統計学 1)                                                                   | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2002 | 3,900  |
| 統計学の論理 (講座情報をよむ統計学 2)                                                                   | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2002 | 3,900  |
| 統計学の数理 (講座情報をよむ統計学 3)                                                                   | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2002 | 3,900  |
| 統計グラフ (講座情報をよむ統計学 4)                                                                    | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2003 | 3,900  |
| 統計の誤用・活用 (講座情報をよむ統計学 5)                                                                 | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2003 | 4,300  |
| 質的データの解析 ―調査情報のよみ方― (講座情報をよむ統計学 6)                                                      | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2003 | 3,900  |
| クラスター分析 (講座情報をよむ統計学 7)                                                                  | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2003 | 3,900  |
| 主成分分析 (講座情報をよむ統計学 8)                                                                    | 上田 尚一            | 朝倉書店                   | 2003 | 4,300  |
| はじめてのS-PLUS/R言語プログラミング ―例題で学ぶS-PLUS/R言語の基本―                                             | 竹内 俊彦            | オーム社                   | 2005 | 7,700  |
| Excelで学ばやさしい統計学                                                                         | 田久 浩志            | オーム社                   | 2004 | 6,100  |
| 線形モデルからの出発 ―統計学の基礎 1― (統計科学のフロンティア 1)                                                   | 竹村 彰通            | 岩波書店                   | 2003 | 9,400  |
| 統計学の基礎概念を見直す ―統計学の基礎 2― (統計科学のフロンティア 2)                                                 | 竹内 啓             | 岩波書店                   | 2003 | 9,900  |
| モデル選択 ―予測・検定・推定の交差点― (統計科学のフロンティア 3)                                                    | 下平 英寿            | 岩波書店                   | 2004 | 9,400  |
| 階層ベイズモデルとその周辺 ―時系列・画像・認知への応用― (統計科学のフロンティア 4)                                           | 石黒 真木夫           | 岩波書店                   | 2004 | 10,500 |
| 多変量解析の展開 ―隠れた構造と因果を推理する― (統計科学のフロンティア 5)                                                | 甘利 俊一            | 岩波書店                   | 2002 | 9,900  |
| パターン認識と学習の統計学 ―新しい概念と手法― (統計科学のフロンティア 6)                                                | 麻生 英樹            | 岩波書店                   | 2003 | 10,500 |
| 特異モデルの統計学 ―未解決問題への新しい視点― (統計科学のフロンティア 7)                                                | 福水 健次            | 岩波書店                   | 2004 | 10,500 |
| 経済時系列の統計 ―その数理的基礎― (統計科学のフロンティア 8)                                                      | 刈屋 武昭            | 岩波書店                   | 2003 | 12,100 |
| 生物配列の統計 ―核酸・タンパクから情報を読む― (統計科学のフロンティア 9)                                                | 岸野 洋久            | 岩波書店                   | 2003 | 10,500 |
| 言語と心理の統計 ―ことばと行動の確率モデルによる分析― (統計科学のフロンティア 10)                                           | 金 明哲             | 岩波書店                   | 2003 | 10,500 |
| 確率計算の新しい手法 ―計算統計 1― (統計科学のフロンティア 11)                                                    | 汪 金芳             | 岩波書店                   | 2003 | 9,400  |

|                                                                  |                    |                        |      |        |
|------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------|------|--------|
| マルコフ連鎖モンテカルロ法とその周辺 ―計算統計 2―(統計科学のフロンティア 12)                      | 伊庭 幸人              | 岩波書店                   | 2005 | 13,200 |
| 基礎統計学 ―REAL DATAで学ぶ―(30講シリーズ)                                    | 東田 啓               | 実教出版                   | 2002 | 5,000  |
| 統計を知らない人のためのSAS入門 Ver.9.3対応版                                     | 大橋 渉               | オーム社                   | 2012 | 8,300  |
| わかりやすい統計学 第2版                                                    | 松原 望               | 丸善出版                   | 2009 | 4,000  |
| 身近な事例で学ぶやさしい統計学                                                  | 石村 光資郎             | オーム社                   | 2012 | 6,400  |
| Excelで学ぶ多変量解析入門 ―Excel2013/Excel2010対応版―                         | 菅 民郎               | オーム社                   | 2013 | 7,700  |
| Excelで学ぶ共分散構造分析とグラフィカルモデリング ―Excel2013/Excel2010/2007対応版―        | 小島 隆矢              | オーム社                   | 2013 | 10,500 |
| Excelで学ぶ統計解析入門 ―Excel2013/2010対応版―                               | 菅 民郎               | オーム社                   | 2013 | 7,200  |
| SAS enterprise guide 基本操作・データ編集編                                 | 高柳 良太              | オーム社                   | 2014 | 5,500  |
| 入門実践する統計学                                                        | 飯 友良               | 東洋経済新報社                | 2012 | 6,600  |
| SAS enterprise guide 多変量解析編(多変量解析編)                              | 高柳 良太              | オーム社                   | 2014 | 7,700  |
| SPSSによる応用多変量解析                                                   | 三輪 哲               | オーム社                   | 2014 | 8,800  |
| SAS enterprise guide アンケート解析編(アンケート解析編)                          | 高柳 良太              | オーム社                   | 2014 | 7,700  |
| SAS enterprise guide 基本統計編(基本統計編)                                | 高柳 良太              | オーム社                   | 2014 | 5,500  |
| Excelで学ぶ統計的予測                                                    | 菅 民郎               | オーム社                   | 2014 | 8,800  |
| 統計数字を読み解くセンス ―当確はなぜすぐわかるのか?―(DOJIN選書 27)                         | 青木 繁伸              | 化学同人                   | 2009 | 4,200  |
| ベイズ統計の理論と方法                                                      | 渡辺 澄夫              | コロナ社                   | 2012 | 8,300  |
| データ解析のためのSAS入門                                                   | 宮岡 悦良              | 朝倉書店                   | 2014 | 15,900 |
| 明日からビジネスで使えるExcelとRによるデータ解析入門(※)                                 | 上村 龍太郎             | 丸善出版                   | 2014 | 11,900 |
| トランスクリプトーム解析(シリーズUseful R 7)                                     | 門田 幸二              | 共立出版                   | 2014 | 11,900 |
| 空間統計学:自然科学から人文・社会科学まで ―自然科学から人文・社会科学まで―(統計ライブラリー)                | 瀬谷 創               | 朝倉書店                   | 2014 | 11,600 |
| 基礎からのベイズ統計学 ―ハミルトニアンモンテカルロ法による実践の入門―                             | 豊田 秀樹              | 朝倉書店                   | 2015 | 10,600 |
| 基本統計学 第4版(※)                                                     | 宮川 公男              | 有斐閣                    | 2015 | 6,200  |
| 高次元データ分析の方法 ―Rによる統計的モデリングとモデル統合―(統計ライブラリー)(※)                    | 安道 知寛              | 朝倉書店                   | 2014 | 11,600 |
| 多変量データ解析(シリーズ多変量データの統計科学 1)                                      | 杉山 高一              | 朝倉書店                   | 2014 | 12,600 |
| 実践R統計分析                                                          | 外山 信夫              | オーム社                   | 2015 | 10,500 |
| ゼロからの統計学 ―使えるシーンが見える―                                            | 竹田 茂生              | くろしお出版                 | 2010 | 4,000  |
| やさしく学ぶSPSSによる統計解析                                                | 石村 光資郎             | オーム社                   | 2014 | 6,600  |
| ドキュメント・プレゼンテーション生成(シリーズUseful R 9)                               | 高橋 康介              | 共立出版                   | 2014 | 11,300 |
| できるやさしく学ぶExcel統計入門 ―難しいことはパソコンにまかせて仕事で役立つデータ分析ができる本―             | 羽山 博               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,000  |
| 例題で学ぶ統計入門                                                        | 高田 佳和              | 森北出版                   | 2013 | 5,500  |
| 例題で学ぶExcel統計入門 第2版                                               | 白石 修二              | 森北出版                   | 2012 | 5,000  |
| 金融データ解析の基礎(シリーズUseful R 8)                                       | 高柳 慎一              | 共立出版                   | 2014 | 11,900 |
| 戦略的データマイニング(シリーズUseful R 4)                                      | 星 洋平               | 共立出版                   | 2014 | 11,900 |
| 統計・多変量解析とソフトウェアエンジニア ―超多自由度系解析を目指して―改訂版(計算科学講座;第1部 計算科学の基盤 3)    | 古橋 武               | 共立出版                   | 2014 | 15,200 |
| 応用をめざす数理統計学(統計解析スタンダード)(※)                                       | 国友 直人              | 朝倉書店                   | 2015 | 11,600 |
| セミパラメトリック推測と経験過程(統計ライブラリー)                                       | 久保木 久孝             | 朝倉書店                   | 2015 | 12,300 |
| ベイズ計算統計学(統計解析スタンダード)                                             | 古澄 英男              | 朝倉書店                   | 2015 | 11,300 |
| 統計学 改訂版(New liberal arts selection)(※)                           | 森棟 公夫              | 有斐閣                    | 2015 | 7,100  |
| Rのパッケージおよびツールの作成と応用(シリーズUseful R 10)                             | 石田 基広              | 共立出版                   | 2014 | 11,300 |
| 見えないものをさぐる―それがベイズツールによる実践ベイズ統計―                                  | 藤田 一弥              | オーム社                   | 2015 | 5,500  |
| 対応分析入門 ―原理から応用まで:解説Rで検算しながら理解する―                                 | Stern-Erik Clausen | オーム社                   | 2015 | 7,200  |
| 数理統計学の基礎(クロスセクショナル統計シリーズ 1)                                      | 尾畑 伸明              | 共立出版                   | 2014 | 8,300  |
| SAS Studioによるやさしい統計データ分析                                         | 高浪 洋平              | オーム社                   | 2016 | 6,100  |
| ウソを見破る統計学 ―退屈させない統計入門―(ブルーバックス B-1724)                           | 神永 正博              | 講談社                    | 2011 | 2,000  |
| なっとくする統計                                                         | 森 真                | 講談社                    | 2003 | 6,000  |
| ようこそ「多変量解析」クラブへ ―何をどう計算するのか―(ブルーバックス B-1890)                     | 小野田 博一             | 講談社                    | 2014 | 1,900  |
| 予測にいかす統計モデリングの基本 ―ベイズ統計入門から応用まで―                                 | 樋口 知之              | 講談社                    | 2011 | 6,200  |
| 高校数学でわかる統計学 ―本格的に理解するために―(ブルーバックス B-1757)                        | 竹内 淳               | 講談社                    | 2012 | 2,000  |
| シリーズ「行動計量の科学」(6)                                                 | 日本行動計量学会           | 朝倉書店                   | 2015 | 10,600 |
| SAS enterprise guide 顧客分析編 ―enterprise guide + enterprise miner― | 高柳 良太              | オーム社                   | 2016 | 10,500 |
| Excelで学ぶ統計解析入門 ―Excel2016/2013対応版―                               | 菅 民郎               | オーム社                   | 2016 | 7,500  |
| SAS enterprise guide 品質管理編                                       | 高柳 良太              | オーム社                   | 2016 | 10,500 |
| 基本統計学 新版                                                         | 岡本 雅典              | 実教出版                   | 2012 | 6,400  |
| 欠測データの統計解析(統計解析スタンダード)                                           | 阿部 貴行              | 朝倉書店                   | 2016 | 11,300 |
| 一般線形モデル(統計解析スタンダード)                                              | 汪 金芳               | 朝倉書店                   | 2016 | 11,900 |
| はじめての統計データ分析 ―ベイズ的<ポストp値時代>の統計学―(※)                              | 豊田 秀樹              | 朝倉書店                   | 2016 | 8,600  |
| 統計学基礎                                                            | 栗木 進二              | 共立出版                   | 2016 | 6,300  |
| フィールドデータによる統計モデリングとAIC (ISMシリーズ:進化する統計数理 2)                      | 島谷 健一郎             | 近代科学社                  | 2012 | 12,100 |
| 製品開発のための統計解析入門 ―JMPによる品質管理・品質工学―(ISMシリーズ:進化する統計数理 4)             | 河村 敏彦              | 近代科学社                  | 2015 | 11,300 |
| 法廷のための統計リテラシー ―合理的討論の基盤として―(ISMシリーズ:進化する統計数理 3)                  | 石黒 真木夫             | 近代科学社                  | 2014 | 11,900 |
| はじめての数理統計学                                                       | 古島 幹雄              | 近代科学社                  | 2007 | 6,600  |
| 極値統計学 (ISMシリーズ:進化する統計数理 5)                                       | 高橋 倫也              | 近代科学社                  | 2016 | 13,900 |
| モデリングの諸相 ―ORと数理科学の交叉点―(シリーズ:最適化モデリング 5)                          | 山下 浩               | 近代科学社                  | 2016 | 10,600 |
| 土木・交通工学のための統計学 ―基礎と演習―(※)                                        | 轟 朝幸               | コロナ社                   | 2015 | 8,300  |

|                                                                                   |                  |                                  |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------|------|--------|
| 7日間集中講義「Excel統計学入門 ―データを見ただけで分析できるようになるために―                                       | 米谷 学             | オーム社                             | 2016 | 6,900  |
| SAS enterprise guide 保健・看護統計編                                                     | 高柳 良太            | オーム社                             | 2016 | 10,500 |
| The R tips ―データ解析環境Rの基本技・グラフィックス活用集―第3版                                           | 舟尾 暢男            | オーム社                             | 2016 | 9,900  |
| わかりやすい数学モデルによる多変量解析入門 第2版                                                         | 木下 栄蔵            | 近代科学社                            | 2009 | 8,300  |
| 例題とExcel演習で学ぶ多変量解析(回帰分析・判別分析・コンジョイント分析編)                                          | 菅 民郎             | オーム社                             | 2016 | 7,700  |
| 教養のための統計入門(事例でわかる統計シリーズ)                                                          | 大田 靖             | 実教出版                             | 2016 | 6,400  |
| 生存時間解析・ロジスティック回帰分析・時系列分析編(例題とExcel演習で学ぶ多変量解析 生存時間解析・ロジスティック回帰分析・時系列分析編)           | 菅 民郎             | オーム社                             | 2017 | 9,700  |
| 挫折しない統計学入門 ―数学苦手意識を克服する―                                                          | 浅野 晃             | オーム社                             | 2017 | 6,100  |
| AMOS, EQS, CALISによるグラフィカル多変量解析 ―目で見える共分散構造分析―増補版3刷                                | 増野 裕             | 現代数学社                            | 2007 | 8,000  |
| SAS enterprise guide 時系列分析編                                                       | 高柳 良太            | オーム社                             | 2017 | 10,500 |
| 例題とExcel演習で学ぶ多変量解析 因子分析・コレスポンデンス分析・クラスター分析編                                       | 菅 民郎             | オーム社                             | 2017 | 8,300  |
| 理工系のための統計入門(事例でわかる統計シリーズ)                                                         | 鎌倉 稔成            | 実教出版                             | 2016 | 6,100  |
| Rで楽しむ統計 (Wonderful R 1)                                                           | 奥村 晴彦            | 共立出版                             | 2016 | 8,300  |
| 経時データ解析(統計解析スタンダード)                                                               | 船渡川 伊久子          | 朝倉書店                             | 2015 | 11,300 |
| 線形代数学に基づくデータ解析法                                                                   | 原田 史子            | 共立出版                             | 2016 | 9,900  |
| 定性的データ分析(シリーズUseful R 5)                                                          | 金 明哲             | 共立出版                             | 2016 | 12,600 |
| SPSSによる統計データ解析 ―医学・看護学・生物学・心理学の例題による統計学入門―                                        | 柳井 晴夫            | 現代数学社                            | 2006 | 7,700  |
| SPSSによる実践統計分析                                                                     | 林 雄亮             | オーム社                             | 2017 | 8,300  |
| スパースモデリングと多変量データ解析(岩波データサイエンス vol. 5)                                             | 岩波データサイエンス刊行委員会  | 岩波書店                             | 2017 | 4,400  |
| StanとRでベイズ統計モデリング (Wonderful R 2)                                                 | 松浦 健太郎           | 共立出版                             | 2016 | 9,900  |
| 1歩前からはじめる「統計」の読み方・考え方                                                             | 神林 博史            | ニルヴァ書房                           | 2016 | 6,900  |
| 基礎編 第2版(「わからかアカデミズム」「わかる」シリーズ、よくわかる統計学 1)                                         | 金子 治平            | ニルヴァ書房                           | 2011 | 8,300  |
| 経済統計編 第2版(「わからかアカデミズム」「わかる」シリーズ、よくわかる統計学 2)                                       | 御園 謙吉            | ニルヴァ書房                           | 2011 | 8,300  |
| Juliaデータサイエンス ―Juliaを使って自分ですら作るデータサイエンス世界の探索―                                     | Anshul Joshi     | エヌ・ティー・エス                        | 2017 | 8,000  |
| ロバスト統計 ―外れ値への対処の仕方―(ISMシリーズ:進化する統計数理 6)                                           | 藤澤 洋徳            | 近代科学社                            | 2017 | 11,600 |
| JMPではじめる統計的問題解決入門                                                                 | 三井 正             | オーム社                             | 2017 | 8,800  |
| データ分析をマスターする12のレッスン(有斐閣アルマ Basic)(※)                                              | 畑農 鋭矢            | 有斐閣                              | 2017 | 5,100  |
| 経済・経営統計入門 第4版                                                                     | 稲葉 三男            | 共立出版                             | 2017 | 7,600  |
| 実践ベイズモデリング ―解析技法と認知モデル―                                                           | 豊田 秀樹            | 朝倉書店                             | 2017 | 10,600 |
| 生物・農学系のための統計学 ―大学での基礎学修から研究論文まで―(※)                                               | 平田 昌彦            | 朝倉書店                             | 2017 | 11,900 |
| 角度データのモデリング (ISMシリーズ:進化する統計数理 7)                                                  | 清水 邦夫            | 近代科学社                            | 2018 | 12,300 |
| 現代数理統計学の基礎(共立講座 数学の魅力 11)                                                         | 久保川 達也           | 共立出版                             | 2017 | 10,600 |
| ベイズ推定入門 ―モデル選択からベイズの最適化まで―                                                        | 大関 真之            | オーム社                             | 2018 | 6,600  |
| Rで学ぶ多変量解析(※)                                                                      | 長畑 秀和            | 朝倉書店                             | 2017 | 12,600 |
| あなたのまわりのデータの不思議 ―統計から読み解く―                                                        | 斎山 三平            | 実教出版                             | 2017 | 3,300  |
| Pythonによる統計分析入門                                                                   | 山内 長承            | オーム社                             | 2018 | 7,500  |
| 例題と演習でわかる離散数学                                                                     | 加納 幹雄            | 森北出版                             | 2013 | 6,600  |
| 離散数学「数え上げ理論」―「おみやげの配り方」から「Nクイーン問題」まで―(ブルーバックス B-1619)                             | 野嶋 昭弘            | 講談社                              | 2008 | 2,200  |
| はじめての離散数学                                                                         | 小倉 久和            | 近代科学社                            | 2011 | 8,000  |
| 離散数学への入門 ―わかりやすい離散数学―                                                             | 小倉 久和            | 近代科学社                            | 2005 | 8,000  |
| 離散数学 第2版(情報工学レクチャーシリーズ)                                                           | 陳 慰              | 森北出版                             | 2017 | 7,200  |
| 日本英学史叙説 ―英語の受容から教育へ―                                                              | 庭野 吉弘            | 研究社                              | 2008 | 12,400 |
| 英語を学ぶ日本人のための基礎英語学                                                                 | 堀江 周三            | 大学教育出版                           | 2004 | 4,400  |
| コミュニケーションの英語学 ―話し手と聞き手の談話の世界―(開拓社言語・文化選書 13)                                      | 安武 知子            | 開拓社                              | 2009 | 3,800  |
| 英語談話標識用語辞典 ―43の基本ディスコース・マーカ―                                                      | 松尾 文子            | 研究社                              | 2015 | 13,200 |
| Emotional intelligence for dummies (―For dummies)                                 | Steven J. Stein  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2009 | 2,900  |
| Mindfulness at work for dummies (―For dummies)                                    | Shamash Alidina  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2014 | 3,000  |
| Organisational behaviour for dummies (―For dummies)                               | Cary L. Cooper   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 2,600  |
| Performance coaching for dummies (―For dummies)                                   | Gladeana McMahon | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2008 | 3,500  |
| Answering tough interview questions for dummies UK ed., portable ed(―For dummies) | Rob Yeung        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 2,400  |
| Winning on Betfair for dummies (―For dummies)                                     | Jack Houghton    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 1,300  |
| Starting a business on eBay.co.uk for dummies (―For dummies)                      | Dan Matthews     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 3,600  |
| Paying less tax 2006/2007 for dummies (―For dummies)                              | Tony Levene      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 2,400  |
| Buying a property in Eastern Europe for dummies (―For dummies)                    | Colin Barrow     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 3,700  |
| Starting a Yahoo! business for dummies (―For dummies)                             | Rob Snell        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン / ワイリー・ブラックウェル | 2006 | 3,300  |

|                                                                      |                      |                                    |      |       |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------|------|-------|
| Public relations for dummies 2nd ed(---For dummies)                  | Eric Yaverbaum       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| Accounting workbook for dummies (---For dummies)                     | John A. Tracy        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| Six sigma workbook for dummies (---For dummies)                      | Craig Gygi           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| Franchising for dummies 2nd ed(---For dummies)                       | Michael Seid         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 3,300 |
| Hedge funds for dummies (---For dummies)                             | Ann C. Logue         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,300 |
| Strategic planning for dummies (---For dummies)                      | Erica Olson          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Quality control for dummies (---For dummies)                         | Larry Webber         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,000 |
| Web marketing for dummies (---For dummies)                           | Jan Zimmerman        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,300 |
| Managing debt for dummies (---For dummies)                           | John Ventura         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,400 |
| Working after retirement for dummies (---For dummies)                | Lita Epstein         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Negotiating for dummies 2nd ed(---For dummies)                       | Michael C. Donaldson | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,600 |
| Advertising for dummies 2nd ed(---For dummies)                       | Gary Dahl            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Lean for dummies (---For dummies)                                    | Natalie J. Sayer     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Cool careers for dummies 3rd ed(---For dummies)                      | Marty Nemko          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,600 |
| New product development for dummies (---For dummies)                 | Robin Karol          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Nonprofit law & governance for dummies (---For dummies)              | Jill Gilbert Welytok | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,300 |
| Foreclosure investing for dummies (---For dummies)                   | Ralph R. Roberts     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,000 |
| Small business financial management kit for dummies (---For dummies) | Tage C. Tracy        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,300 |
| Protecting your pension for dummies (---For dummies)                 | Robert D. Gary       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Balanced scorecard strategy for dummies (---For dummies)             | Chuck Hannabarger    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Bookkeeping workbook for dummies (---For dummies)                    | Lita Epstein         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,600 |
| Telephone sales for dummies (---For dummies)                         | Dirk Zeller          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,600 |
| Investing online for dummies 6th ed(---For dummies)                  | Matt Krantz          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,300 |
| House selling for dummies 3rd ed(---For dummies)                     | Eric Tyson           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,600 |
| The complete MBA for dummies 2nd ed(---For dummies)                  | Kathleen Allen       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,000 |
| Commercial real estate investing for dummies (---For dummies)        | Peter Conti          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,000 |
| Foreclosure self-defense for dummies (---For dummies)                | Ralph R. Roberts     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,600 |
| Precious metals investing for dummies (---For dummies)               | Paul Mladjenovic     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,300 |
| Sarbanes-Oxley for dummies 2nd ed(---For dummies)                    | Jill Gilbert Welytok | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Value investing for dummies 2nd ed(---For dummies)                   | Peter J. Sander      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Candlestick charting for dummies (---For dummies)                    | Russell Rhoads       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,300 |
| Business etiquette for dummies 2nd ed(---For dummies)                | Sue Fox              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,000 |
| Consulting for dummies 2nd ed(---For dummies)                        | Bob Nelson           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,000 |
| Home staging for dummies (---For dummies)                            | Christine Rae        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,600 |
| Accounting for dummies 4th ed(---For dummies)                        | John A. Tracy        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Patents, copyrights & trademarks for dummies 2nd ed(---For dummies)  | Henri Charmasson     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,300 |
| Retail business kit for dummies 2nd ed(---For dummies)               | Rick Segel           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 4,600 |

|                                                                 |                         |                                    |      |       |
|-----------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Swing trading for dummies (---For dummies)                      | Omar Bassal             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,300 |
| Investing for dummies 5th ed(---For dummies)                    | Eric Tyson              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Wii for dummies (---For dummies)                                | Kyle Orland             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Mortgages for dummies 3rd ed(---For dummies)                    | Eric Tyson              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,300 |
| Selling your business for dummies (---For dummies)              | Barbara Findlay Schenck | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,300 |
| Successful time management for dummies (---For dummies)         | Dirk Zeller             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,600 |
| Market timing for dummies (---For dummies)                      | Joe Duarte              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,300 |
| Grant writing for dummies 3rd ed(---For dummies)                | Beverly A. Browning     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Making millions for dummies (---For dummies)                    | Robert Doyen            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,600 |
| Index investing for dummies (---For dummies)                    | Russell Wild            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,300 |
| Managing your money all-in-one for dummies (---For dummies)     | Ted Benna               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,900 |
| Marketing kit for dummies 3rd ed(---For dummies)                | Alexander Hiam          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,900 |
| Veterans benefits for dummies (---For dummies)                  | Rod Powers              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,600 |
| Financing real estate investments for dummies (---For dummies)  | Ralph R Roberts         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Home buying for dummies 4th ed(---For dummies)                  | Eric Tyson              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Running a bed & breakfast for dummies (---For dummies)          | Mary White              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Buying a property in Spain for dummies (---For dummies)         | Colin Barrow            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Asset allocation for dummies (---For dummies)                   | Jerry A. Miccolis       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,300 |
| Business valuation for dummies (---For dummies)                 | Lisa Holton             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Nonprofit bookkeeping & accounting for dummies (---For dummies) | Sharon Farris           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Insurance for dummies 2nd ed(---For dummies)                    | Jack Hungelmann         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,900 |
| Loan modification for dummies (---For dummies)                  | Ralph R. Roberts        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,600 |
| Performance appraisals & phrases for dummies (---For dummies)   | Ken Lloyd               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 2,300 |
| Fundamental analysis for dummies (---For dummies)               | Matt Krantz             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| XBRL for dummies (---For dummies)                               | Charles Hoffman         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,900 |
| Conflict resolution at work for dummies (---For dummies)        | Vivian Scott            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,600 |
| Home-based business for dummies 3rd ed(---For dummies)          | PaulSarah Edwards       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,600 |
| The leadership brain for dummies (---For dummies)               | Marilee Sprenger        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,900 |
| Green careers for dummies (---For dummies)                      | Carol McClelland        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,600 |
| Fundraising for dummies 3rd ed(---For dummies)                  | John Mutz               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,900 |
| Identity theft for dummies (---For dummies)                     | Michael J. Arata, Jr.   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,900 |
| Social entrepreneurship for dummies (---For dummies)            | Mark B. Durieux         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| Marketing research kit for dummies (---For dummies)             | Michael R. Hyman        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,900 |
| Dividend stocks for dummies (---For dummies)                    | Lawrence Carrel         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| Local online advertising for dummies (---For dummies)           | Court Cunningham        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,600 |
| Business innovation for dummies (---For dummies)                | Alexander Hiam          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 2,900 |
| PRINCE2 for dummies 2nd ed(---For dummies)                      | Nick Graham             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 4,600 |

|                                                                   |                         |                                    |      |       |
|-------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Investing for dummies 3rd ed(---For dummies)                      | Tony Levene             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,700 |
| Call centers for dummies 2nd ed(---For dummies)                   | Réal Bergevin           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| Canadian small business kit for dummies 2nd ed(---For dummies)    | Margaret Kerr           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 1,700 |
| Winning on Betfair for dummies 2nd ed(---For dummies)             | Alex Gowar              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,500 |
| Online business all-in-one for dummies (---For dummies)           | Colin Barrow            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 4,300 |
| Auditing for dummies (---For dummies)                             | Maire Loughran          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| Managing for dummies 3rd ed(---For dummies)                       | Bob Nelson              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,000 |
| Canadian small business kit for dummies 3rd ed(---For dummies)    | Margaret Kerr           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 4,200 |
| Facebook advertising for dummies (---For dummies)                 | Paul Dunay              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,900 |
| Leadership for dummies (---For dummies)                           | John Marrin             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 2,600 |
| Training for dummies (---For dummies)                             | Elaine Biech            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 2,900 |
| VoIP for dummies (---For dummies)                                 | Timothy V. Kelly        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 3,300 |
| Your dream career for dummies (---For dummies)                    | Carol L. McClelland     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 2,400 |
| Athletic scholarships for dummie (---For dummies)                 | Patrick Britz           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| Personal bankruptcy laws for dummies 2nd ed(---For dummies)       | James P. Caher          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| Xero for dummies 2nd ed(---For dummies)                           | Heather Smith           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 4,600 |
| Mindfulness at work essentials for dummies (---For dummies)       | Shamash Alidina         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 1,800 |
| Communication essentials for dummies (---For dummies)             | Elizabeth Kuhnke        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 1,800 |
| Preventing identity theft for dummies (---For dummies)            | Michael J. Arata, Jr.   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 2,900 |
| Buzz marketing with blogs for dummies (---For dummies)            | Susannah Gardner        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 3,300 |
| Syndicating web sites with RSS feeds for dummies (---For dummies) | Ellen Finkelstein       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 3,300 |
| Investing online for dummies 5th ed(---For dummies)               | Kathleen Sindell        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 3,300 |
| Emerging markets for dummies (---For dummies)                     | Ann C. Logue            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Business ethics for dummies (---For dummies)                      | Norman E. Bowie         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 2,900 |
| Forensic accounting for dummies (---For dummies)                  | Frimette Kass-Shraibman | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Economics for dummies 2nd ed(---For dummies)                      | Sean Flynn              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 2,900 |
| Financial accounting for dummies (---For dummies)                 | Maire Loughran          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Mergers & acquisitions for dummies (---For dummies)               | Bill Snow               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Behavioral economics for dummies (---For dummies)                 | Morris Altman           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,900 |
| Commodities for dummies 2nd ed(---For dummies)                    | Amine Bouchentouf       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Content marketing for dummies (---For dummies)                    | Susan Gunelius          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Cause marketing for dummies (---For dummies)                      | Joe Waters              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Location-based marketing for dummies (---For dummies)             | Aaron Strout            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,300 |
| Running a restaurant for dummies 2nd ed(---For dummies)           | Michael Garvey          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,000 |
| Economic indicators for dummies (---For dummies)                  | Michael Griffis         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,600 |
| Cash flow for dummies (---For dummies)                            | Tage C. Tracy           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Culinary careers for dummies (---For dummies)                     | Michele Thomas          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,000 |

|                                                                  |                              |                                    |      |       |
|------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Strategic planning kit for dummies 2nd ed(---For dummies)        | Erica Olsen                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 4,600 |
| Web marketing for dummies 3rd ed(---For dummies)                 | Jan Zimmerman                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Small business for dummies 4th ed(---For dummies)                | Eric Tyson                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,000 |
| Exchange-traded funds for dummies 2nd ed(---For dummies)         | Russell Wild                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Islamic finance for dummies (---For dummies)                     | Faleel Jamaldeen             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Social media metrics for dummies (---For dummies)                | Leslie Poston                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,300 |
| Agile project management for dummies (---For dummies)            | Mark C. Layton               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,900 |
| Selling all-in-one for dummies (---For dummies)                  | Tom Hopkins                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,900 |
| Business succession planning for dummies (---For dummies)        | Arnie Dahlke                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Job interviews for dummies 4th ed(---For dummies)                | Joyce Lain Kennedy           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,500 |
| Energy investing for dummies (---For dummies)                    | Nick Hodge                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Bookkeeping kit for dummies (---For dummies)                     | Lita Epstein                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 4,600 |
| Managerial accounting for dummies (---For dummies)               | Mark P. Holtzman             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Lean for dummies 2nd ed(---For dummies)                          | Natalie Sayer                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Six Sigma for dummies 2nd ed(---For dummies)                     | Craig Gygi                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,300 |
| Intermediate accounting for dummies (---For dummies)             | Maire Loughran               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Video marketing for dummies (---For dummies)                     | Kevin Daum                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,300 |
| Web marketing all-in-one for dummies 2nd ed(---For dummies)      | John Arnold                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 4,600 |
| Leading business change for dummies (---For dummies)             | Christina Tangora Schlachter | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Social CRM for dummies (---For dummies)                          | Kyle Lacy                    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| Sage 50 Accounts for dummies 2nd ed(---For dummies)              | Jane Kelly                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,300 |
| Business continuity for dummies (---For dummies)                 | Stuart Sterling              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Bond investing for dummies 2nd ed(---For dummies)                | Russell Wild                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Running a food truck for dummies (---For dummies)                | Richard Myrick               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,000 |
| Business studies for dummies (---For dummies)                    | Richard Pettinger            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Passing the PRINCE2 exams for dummies (---For dummies)           | Nick Graham                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,900 |
| Planning a Prince2 project in a day for dummies (---For dummies) | Nick Graham                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 700   |
| Google+ marketing for dummies (---For dummies)                   | Jesse Stay                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| Small business marketing for dummies 3rd ed(---For dummies)      | Barbara Findlay Schenck      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,900 |
| Pinterest marketing for dummies (---For dummies)                 | Kelby Carr                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,600 |
| Records management for dummies (---For dummies)                  | Blake Richardson             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,900 |
| Managerial economics for dummies (---For dummies)                | Robert Graham                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Estate & trust administration for dummies 2nd ed(---For dummies) | Margaret Atkins Munro        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Human resources kit for dummies 3rd ed(---For dummies)           | Max Messmer                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 4,600 |
| Corporate finance for dummies (---For dummies)                   | Michael Taillard             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Job search letters for dummies (---For dummies)                  | Joyce Lain Kennedy           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,400 |
| Pop-up business for dummies (---For dummies)                     | Dan Thompson                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,300 |

|                                                                       |                                 |                                    |      |       |
|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Business efficiency for dummies (---For dummies)                      | Marina Martin                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Competitive intelligence for dummies (---For dummies)                 | James D. Underwood              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Cost accounting for dummies (---For dummies)                          | Ken Boyd                        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Crowdfund investing for dummies (---For dummies)                      | Sherwood Neiss                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Property management kit for dummies 3rd ed(---For dummies)            | Robert S. Griswold              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 4,600 |
| Business gamification for dummies (---For dummies)                    | Kris Duggan                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Giving a presentation in a day for dummies (---For dummies)           | Marty Brounstein                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 700   |
| Effective time management in a day for dummies (---For dummies)       | Dirk Zeller                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 700   |
| Investing online for dummies 8th ed(---For dummies)                   | Matt Krantz                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| White papers for dummies (---For dummies)                             | Gordon Graham                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Project management for dummies 4th ed(---For dummies)                 | Stanley E. Portny               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Critical conversations for dummies (---For dummies)                   | Christina Tangora<br>Schlachter | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,600 |
| Negotiating commercial leases & renewals for dummies (---For dummies) | Dale Willerton                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Accounting for dummies 5th ed(---For dummies)                         | John A Tracy                    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| Kickstarter for dummies (---For dummies)                              | Aimee Cebulski                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,300 |
| Business analysis for dummies (---For dummies)                        | Paul Mulvey                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Neuromarketing for dummies (---For dummies)                           | Stephen J.Genco                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Penny stocks for dummies (---For dummies)                             | Peter Leeds                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Social media engagement for dummies (---For dummies)                  | Aliza Sherman                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| Econometrics for dummies (---For dummies)                             | Roberto Pedace                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| PMP certification all-in-one for dummies 2nd ed(---For dummies)       | Cynthia Snyder                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 5,900 |
| Operations management for dummies (---For dummies)                    | Mary Ann Anderson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Xero for dummies (---For dummies)                                     | Heather Smith                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,900 |
| Business writing for dummies (---For dummies)                         | Natalie Canavor                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Micro-entrepreneurship for dummies (---For dummies)                   | Paul Mladjenovic                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| International finance for dummies (---For dummies)                    | Ayse Y. Evrensel                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Nonprofit kit for dummies 4th ed(---For dummies)                      | Stan Huttonand                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Business models for dummies (---For dummies)                          | Jim Muehlhausen                 | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,900 |
| Frontier markets for dummies (---For dummies)                         | Gavin Graham                    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Investment banking for dummies (---For dummies)                       | Matthew Krantz                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Data driven marketing for dummies (---For dummies)                    | David Semmelroth                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Financial spread betting for dummies (---For dummies)                 | Vanya Dragomanovich             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,800 |
| Creating a business plan for dummies (---For dummies)                 | Veechi Curtis                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Business planning essentials for dummies (---For dummies)             | Veechi Curtis                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 1,800 |
| Job searching with social media for dummies 2nd ed(---For dummies)    | Joshua Waldman                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,600 |
| Social media design for dummies (---For dummies)                      | Janine Warner                   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,900 |
| Success as a real estate agent for dummies 2nd ed(---For dummies)     | Dirk Zeller                     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |

|                                                                      |                     |                                    |      |       |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------------------------|------|-------|
| Business storytelling for dummies (---For dummies)                   | Karen Dietz         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Success as an introvert for dummies (---For dummies)                 | Joan Pastor         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| High-powered investing all-in-one for dummies 2nd ed(---For dummies) | Jason W. Best       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Customer experience for dummies (---For dummies)                     | Roy Barnes          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Employee engagement for dummies (---For dummies)                     | Bob Kelleher        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Planning for long-term care for dummies (---For dummies)             | Carol Levine        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 2,600 |
| Running great meetings & workshops for dummies (---For dummies)      | Jessica Pryce-Jones | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 1,700 |
| Visual social marketing for dummies, a Wiley brand (---For dummies)  | Krista Neher        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,300 |
| Marketing automation for dummies (---For dummies)                    | Mathew Sweezey      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Reading financial reports for dummies 3rd ed(---For dummies)         | Lita Epstein        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| Landlord's legal kit for dummies (---For dummies)                    | Laurence Harmon     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Business statistics for dummies (---For dummies)                     | Alan Anderson       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| Venture capital for dummies (---For dummies)                         | Nicole Gravagna     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| Flipping houses for dummies 2nd ed(---For dummies)                   | Ralph R. Roberts    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| Trading for dummies 3rd ed(---For dummies)                           | Michael Griffis     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Small business taxes for dummies (---For dummies)                    | Eric Tyson          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Day trading for dummies 3rd ed(---For dummies)                       | Ann C. Logue        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,300 |
| Managing all-in-one for dummies (---For dummies)                     | Marty Brounstein    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Accounting all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Ken Boyd            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Lead generation for dummies (---For dummies)                         | Dayna Rothman       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Credit repair kit for dummies 4th ed(---For dummies)                 | Steven Bucci        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,300 |
| Technical analysis for dummies 3rd ed(---For dummies)                | Barbara Rockefeller | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Business networking for dummies (---For dummies)                     | Stefan Thomas       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| Lean Six Sigma business transformation for dummies (---For dummies)  | Roger Burghall      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Decision-making for dummies (---For dummies)                         | Dawna Jones         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Sage instant accounts for dummies (---For dummies)                   | Jane Kelly          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| 1,001 accounting practice problems for dummies (---For dummies)      | Kate Mooney         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Limited liability companies for dummies 3rd ed(---For dummies)       | Jennifer Reuting    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Grant writing for dummies 5th ed(---For dummies)                     | Beverly Browning    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Innovative presentations for dummies (---For dummies)                | Ray Anthony         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Trend trading for dummies (---For dummies)                           | Barry Burns         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| Dark pools & high frequency trading for dummies (---For dummies)     | Jay Vaananen        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Running a bar for dummies 2nd ed(---For dummies)                     | Ray Foley           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,000 |
| Marketing for dummies 4th ed(---For dummies)                         | Alexander Hiam      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,300 |
| Scrum for dummies (---For dummies)                                   | Mark C. Layton      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,900 |
| Key performance indicators for dummies (---For dummies)              | Bernard Marr        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Personal branding for dummies 2nd ed(---For dummies)                 | Susan Chritton      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,300 |

|                                                              |                       |                                    |      |       |
|--------------------------------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|------|-------|
| Project management checklists for dummies (‐For dummies)     | Nick Graham           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 2,000 |
| Real estate investing for dummies 3rd ed(‐For dummies)       | Eric Tyson            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,000 |
| Bookkeeping for dummies 2nd ed(‐For dummies)                 | Lita Epstein          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,000 |
| Branding for dummies 2nd ed(‐For dummies)                    | Bill Chiaravalle      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Business development for dummies (‐For dummies)              | Anna Kennedy          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Selling for dummies 4th ed(‐For dummies)                     | Tom Hopkins           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,000 |
| Resumes for dummies 7th ed(‐For dummies)                     | DeCarlo Laura         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 2,500 |
| Trading options for dummies 2nd ed(‐For dummies)             | Joe Duarte            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Successful time management for dummies 2nd ed(‐For dummies)  | Dirk Zeller           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,000 |
| Social media marketing for dummies 3rd ed(‐For dummies)      | Shiv Singh            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Currency trading for dummies 3rd ed(‐For dummies)            | Kathleen Brooks       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Salesforce service cloud for dummies (‐For dummies)          | Jon Paz               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,900 |
| Getting the job you want after 50 for dummies (‐For dummies) | Kerry Hannon          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,000 |
| Starting a business all-in-one for dummies (‐For dummies)    | Kathleen R. Allen     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,900 |
| Recognizing & engaging employees for dummies (‐For dummies)  | Bob Nelson            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Business coaching and mentoring for dummies (‐For dummies)   | Marie Taylor          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Lean Six Sigma For Dummies 3rd ed(‐For dummies)              | John Morgan           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Direct selling for dummies (‐For dummies)                    | Belinda Ellsworth     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Training and development for dummies (‐For dummies)          | Elaine Blech          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Import/export kit for dummies 3rd ed(‐For dummies)           | John J. Capela        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Bookkeeping all-in-one for dummies (‐For dummies)            | Lita Epstein          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,900 |
| Sales management for dummies (‐For dummies)                  | Butch Bellah          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Productivity for dummies (‐For dummies)                      | Ciara Conlon          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 2,600 |
| Sales presentations for dummies (‐For dummies)               | Julie M. Hansen       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,300 |
| Influencer marketing for dummies (‐For dummies)              | Kristy Sammis         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Personal finance for dummies 8th ed(‐For dummies)            | Eric Tyson            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Personal finance after 50 for dummies 2nd ed(‐For dummies)   | Eric Tyson            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Inbound marketing for dummies (‐For dummies)                 | Scott Anderson Miller | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| Investing in bonds for dummies (‐For dummies)                | Russell Wild          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 2,500 |
| Investing in ETFs for dummies Portable ed(‐For dummies)      | Russell Wild          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 2,500 |
| Investing in dividends for dummies Portable ed(‐For dummies) | Lawrence Carrel       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 2,500 |
| Investing in commodities for dummies (‐For dummies)          | Amine Bouchentouf     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 2,500 |
| High-level investing for dummies (‐For dummies)              | Paul Mladjenovic      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Content marketing strategies for dummies (‐For dummies)      | Stephanie Diamond     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,900 |
| Microeconomics for dummies (‐For dummies)                    | Lynne Pepall          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Home buying kit for dummies 6th ed(‐For dummies)             | Eric Tyson            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,900 |
| Penny stocks for dummies 2nd ed(‐For dummies)                | Peter Leeds           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |

|                                                                           |                          |                                    |      |       |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Mutual funds for dummies 7th ed(‐For dummies)                             | Eric Tyson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Account-based marketing for dummies (‐For dummies)                        | Sangram Vajre            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Investing online for dummies 9th ed(‐For dummies)                         | Matt Krantz              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Small business marketing strategies all-in-one for dummies (‐For dummies) | U.S. Chamber of Commerce | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,900 |
| Stock investing for dummies 5th ed(‐For dummies)                          | Paul Mladjenovic         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,300 |
| Business plans kit for dummies 5th ed(‐For dummies)                       | Steven D. Peterson       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 4,600 |
| Fundamental analysis for dummies 2nd ed(‐For dummies)                     | Matt Krantz              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Crowdsourcing for dummies (‐For dummies)                                  | David Alan Grier         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| Business plans for dummies 3rd ed(‐For dummies)                           | Paul Tiffany             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,900 |
| Charity and philanthropy for dummies (‐For dummies)                       | Karl Muth                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,900 |
| ITIL for dummies (‐For dummies)                                           | Peter Farenden           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 4,600 |
| Sage one for dummies (‐For dummies)                                       | Jane Kelly               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,600 |
| Numeracy tests for dummies (‐For dummies)                                 | Colin Beveridge          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,000 |
| Lean six sigma for dummies 2nd ed(‐For dummies)                           | John Morgan              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| IFRS for dummies (‐For dummies)                                           | Steve Collings           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,600 |
| Managment for dummies 2nd ed(‐For dummies)                                | Richard Pettinger        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,700 |
| Time management for dummies UK ed(‐For dummies)                           | Clare Evans              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,300 |
| Psychometric tests for dummies (‐For dummies)                             | Liam Healy               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,400 |
| eBay.co.uk Business All-in-One For Dummies (‐For dummies)                 | Marsha Collier           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 5,200 |
| Consulting for dummies (‐For dummies)                                     | Bob Nelson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 4,300 |
| Business plans for dummies 2nd ed(‐For dummies)                           | Paul Tiffany             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,700 |
| Starting and running an online business for dummies 2nd ed(‐For dummies)  | Dan Matthews             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,700 |
| Interpreting company reports for dummies UK ed(‐For dummies)              | Alan Bonham              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,800 |
| Job hunting & career change all-in-one for dummies (‐For dummies)         | Kate Burton              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,900 |
| Sorting out your finances for dummies 2nd ed(‐For dummies)                | Melanie Bien             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,800 |
| Selling for dummies 2nd ed(‐For dummies)                                  | Tom Hopkins              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,900 |
| eBay listings that sell for dummies (‐For dummies)                        | Marsha Collier           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 3,900 |
| QuickBooks 2007 for dummies (‐For dummies)                                | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 2,900 |
| Service oriented architecture for dummies (‐For dummies)                  | Judith Hurwitz           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,900 |
| QuickBooks 2007 all-in-one desk references for dummies (‐For dummies)     | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,900 |
| Microsoft SharePoint 2007 for dummies (‐For dummies)                      | Vanessa Williams         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 4,200 |
| Peachtree for dummies 3rd ed(‐For dummies)                                | Elaine Marmel            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,600 |
| Act! by Sage for dummies 9th ed(‐For dummies)                             | Karen S. Fredriks        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,600 |
| GoldMine 8 for dummies (‐For dummies)                                     | Joel Scott               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 4,300 |
| QuickBooks 2008 for dummies (‐For dummies)                                | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Business intelligence for dummies (‐For dummies)                          | Swain Scheps             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,900 |
| IT disaster recovery planning for dummies (‐For dummies)                  | Peter Gregory            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,900 |

|                                                                           |                    |                                    |      |       |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------|------|-------|
| SAP GRC for dummies (---For dummies)                                      | Denise Vu Broady   | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,900 |
| Crystal Reports 2008 for dummies (---For dummies)                         | Allen G. Taylor    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 3,900 |
| Microsoft Exchange Server 2007 for dummies (---For dummies)               | John Paul Mueller  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 4,600 |
| QuickBooks 2009 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,600 |
| Microsoft PerformancePoint 2007 for dummies (---For dummies)              | Rachel Blum        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,900 |
| QuickBooks 2009 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 4,600 |
| Service oriented architecture for dummies 2nd ed(---For dummies)          | Judith Hurwitz     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 4,200 |
| Starting an online business all-in-one for dummies 2nd ed(---For dummies) | Shannon Belew      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,900 |
| PRINCE2 for dummies (---For dummies)                                      | Nick Graham        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 4,600 |
| SharePoint 2007 collaboration for dummies (---For dummies)                | Greg Harvey        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2009 | 3,300 |
| QuickBooks 2010 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,600 |
| QuickBooks 2010 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 4,900 |
| eBay for seniors for dummies (---For dummies)                             | Marsha Collier     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,600 |
| Microsoft business intelligence for dummies (---For dummies)              | Ken Withee         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 4,600 |
| QuickBooks 2011 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,600 |
| SharePoint 2010 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Emer McKenna       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 5,900 |
| mySAP ERP for dummies (---For dummies)                                    | Andreas Vogel      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 4,200 |
| ACT! 2006 for dummies (---For dummies)                                    | Karen S. Fredricks | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 3,300 |
| Quickbooks 2006 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,900 |
| eBay bargain shopping for dummies (---For dummies)                        | Marsha Collier     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2003 | 2,000 |
| Amazon.com for dummies (---For dummies)                                   | Mara Friedman      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 2,900 |
| Quickbooks 2004 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 2,900 |
| Crystal reports 10 for dummies (---For dummies)                           | Allen G. Taylor    | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 3,600 |
| Peachtree for dummies (---For dummies)                                    | Elaine Marmel      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 3,300 |
| ACT!2005 for dummies (---For dummies)                                     | Karen S. Fredricks | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 3,300 |
| QuickBooks simple start for dummies (---For dummies)                      | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2004 | 3,600 |
| eBay business all-in-one desk reference for dummies (---For dummies)      | Marsha Collier     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2005 | 3,900 |
| QuickBooks 2011 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 4,600 |
| SharePoint 2010 development for dummies (---For dummies)                  | Ken Withee         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,900 |
| Starting an eBay business for dummies 4th ed(---For dummies)              | Marsha Collier     | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2011 | 3,600 |
| QuickBooks 2012 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,300 |
| QuickBooks 2012 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 4,600 |
| Microsoft SharePoint 2013 for dummies (---For dummies)                    | Ken Withee         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,900 |
| Starting an online business for dummies 7th ed(---For dummies)            | Greg Holden        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| QuickBooks 2014 all-in-one for dummies (---For dummies)                   | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| QuickBooks 2014 for dummies (---For dummies)                              | Stephen L. Nelson  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,600 |
| MSP for dummies (---For dummies)                                          | Alan Ferguson      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |

|                                                                                          |                          |                                    |      |       |
|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Sage Timeslips for dummies (---For dummies)                                              | Elaine Marmel            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,900 |
| QuickBooks 2015 for dummies (---For dummies)                                             | Stephen Nelson           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,600 |
| QuickBooks 2015 all-in-one for dummies (---For dummies)                                  | Stephen Nelson           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 4,600 |
| Starting an online business all-in-one for dummies 4th ed(---For dummies)                | Shannon Belew            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Quickbooks online for dummies (---For dummies)                                           | Elaine Marmel            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 3,600 |
| QuickBooks 2016 for dummies (---For dummies)                                             | Stephen Nelson           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| QuickBooks 2016 all-in-one for dummies (---For dummies)                                  | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 4,600 |
| Quickbooks online for dummies 2nd ed(---For dummies)                                     | Elaine Marmel            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Project 2016 for dummies (---For dummies)                                                | Cynthia Snyder           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,600 |
| Salesforce.com for dummies 6th ed(---For dummies)                                        | Liz Kao                  | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,900 |
| eBay for dummies 9th ed(---For dummies)                                                  | Marsha Collier           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,300 |
| Home accountz for dummies (---For dummies)                                               | Quentin Pain             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,300 |
| eBay.co.uk for dummies 3rd ed(---For dummies)                                            | Marsha Collier           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 3,800 |
| eBay.co.uk for dummies 2nd ed(---For dummies)                                            | Marsha Collier           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2007 | 3,300 |
| Welding for dummies (---For dummies)                                                     | Steven Robert Farnsworth | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2010 | 3,300 |
| Business math for dummies (---For dummies)                                               | Mary Jane Sterling       | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2008 | 2,900 |
| Predictive analytics for dummies (---For dummies)                                        | Anasse Bari              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,900 |
| Financial risk management for dummies (---For dummies)                                   | Aaron Brown              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,800 |
| Business funding for dummies (---For dummies)                                            | Helene Panzarino         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,000 |
| Cheese for dummies (---For dummies)                                                      | Laurel Miller            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,600 |
| Starting an Etsy business for dummies 2nd ed(---For dummies)                             | Kate Gatski              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,600 |
| The GMAT for dummies 5th ed(---For dummies)                                              | Scott Hatch              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2006 | 2,600 |
| GMAT for dummies Premier 6th ed(---For dummies)                                          | Lisa Zimmer Hatch        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,900 |
| Real estate license exams for dummies 2nd ed(---For dummies)                             | John A. Yoegel           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 3,000 |
| PHR/SPHR exam for dummies (---For dummies)                                               | Sandra M. Reed           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 4,600 |
| CPA exam for dummies (---For dummies)                                                    | Kenneth W. Boyd          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 4,600 |
| Mindful leadership for dummies (---For dummies)                                          | Juliet Adams             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 2,900 |
| Answering tough interview questions for dummies UK ed., 2nd ed(---For dummies)           | Rob Yeung                | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 2,000 |
| Investing in your 20s & 30s for dummies (---For dummies)                                 | Eric Tyson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,400 |
| Starting & running a business all-in-one for dummies 3rd ed(---For dummies)              | Liz Barclay              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2017 | 3,800 |
| Quantitative finance for dummies (---For dummies)                                        | Steve Bell               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2016 | 3,400 |
| Project management essentials for dummies (---For dummies)                               | Nick Graham              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 2,000 |
| Bookkeeping essentials for dummies 2nd Australian ed(---For dummies)                     | Veechi Curtis            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2015 | 2,000 |
| Success as a real estate agent for dummies Australian and New Zealand ed(---For dummies) | Terri M. Cooper          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2014 | 3,800 |
| Getting started in property investing for dummies Australian ed(---For dummies)          | Bruce Brammall           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2013 | 2,000 |
| Tax for Australians for dummies 3rd ed(---For dummies)                                   | Jimmy B. Prince          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,900 |
| Investing in shares for dummies UK ed., 2nd ed(---For dummies)                           | David Stevenson          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウエル | 2012 | 2,900 |



|                                                                                   |                          |                                    |      |       |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|------|-------|
| Personal finance in your 20s for dummies (―For dummies)                           | Eric Tyson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2011 | 1,700 |
| Tax for Australians for dummies 2015-16 ed(―For dummies)                          | Jimmy B. Prince          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2016 | 2,500 |
| Mortgage management for dummies (―For dummies)                                    | Eric Tyson               | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 2,600 |
| Marketing for dummies UK ed., 3rd ed(―For dummies)                                | Ruth Mortimer            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 2,900 |
| Winning new business for dummies (―For dummies)                                   | Stewart Stuchbury        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,000 |
| Investing for dummies UK ed., 4th ed(―For dummies)                                | Tony Levene              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2015 | 3,000 |
| Starting a business for dummies UK ed., 4th ed(―For dummies)                      | Colin Barrow             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2014 | 3,000 |
| Marketing to millennials for dummies (―For dummies)                               | Corey Padveen            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,300 |
| Managing millennials for dummies (―For dummies)                                   | Hannah L. Ubl            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,300 |
| Flipping houses for dummies 3rd ed(―For dummies)                                  | Ralph R. Roberts         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,300 |
| Accounting for dummies 6th ed(―For dummies)                                       | John A. Tracy            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2016 | 3,300 |
| Xero for dummies 3rd ed(―For dummies)                                             | Heather Smith            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| Trading for dummies 4th ed(―For dummies)                                          | Lita Epstein             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| Franchise management for dummies (―For dummies)                                   | Michael H. Seid          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| LinkedIn profile optimization for dummies (―For dummies)                          | Donna Serdula            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| Employer branding for dummies (―For dummies)                                      | Richard Mosley           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| 1,001 praxis core practice questions for dummies (―For dummies)                   | Carla Kirkland           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| Grant writing for dummies 6th ed(―For dummies)                                    | Beverly A. Browning      | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2016 | 3,600 |
| Project management for dummies UK ed., 2nd ed(―For dummies)                       | Nick Graham              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2015 | 3,600 |
| HR for small business for dummies Australian ed(―For dummies)                     | Paul Maguire             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2014 | 3,600 |
| Managing your investment portfolio for dummies (―For dummies)                     | David Stevenson          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2013 | 3,600 |
| Successful online start-ups for dummies Australian & New Zealand ed(―For dummies) | Stefan Korn              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 3,600 |
| Financial modeling in Excel for dummies (―For dummies)                            | Danielle Stein Fairhurst | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,900 |
| Career development all-in-one for dummies (―For dummies)                          | Shamash Alidina          | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,900 |
| Nonprofit kit 5th ed(―For dummies)                                                | Stan Hutton              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 4,600 |
| Bookkeeping & accounting all-in-one for dummies UK ed(―For dummies)               | Colin Barrow             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2015 | 4,600 |
| Business skills all-in-one for dummies UK ed(―For dummies)                        | Colin Barrow             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 4,800 |
| SketchUp for dummies (―For dummies)                                               | Aidan Chopra             | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 5,200 |
| Building wealth for Canadians all-in-one for dummies (―For dummies)               | Bryan Borzykowski        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 5,900 |
| Bookkeeping for dummies 2nd Australian & New Zealand ed(―For dummies)             | Veechi Curtis            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2015 | 3,600 |
| QuickBooks 2012 for dummies UK ed(―For dummies)                                   | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2012 | 3,300 |
| Quickbooks 2017 for dummies (―For dummies)                                        | Stephen L. Nelson        | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,600 |
| SharePoint 2016 for dummies (―For dummies)                                        | Rosemarie Withee         | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2016 | 3,900 |
| MYOB software for dummies 8th Australian ed(―For dummies)                         | Veechi Curtis            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2015 | 4,600 |
| Starting an online business all-in-one for dummies 5th ed(―For dummies)           | Shannon Belew            | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 4,600 |
| Predictive analytics for dummies 2nd ed(―For dummies)                             | Anasse Bari              | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,900 |
| Real estate license exams for dummies 3rd ed(―For dummies)                        | John A. Yoegel           | ワイリー・パブリッシング・ジャパン<br>／ワイリー・ブラックウェル | 2017 | 3,300 |
| The Job Interview                                                                 |                          | HALICO                             |      | 3,300 |

|                                                                       |                         |            |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------|------|--------|
| The First Week on the Job                                             |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Presentation                                                      |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Meeting                                                           |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Email                                                             |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| Entertaining Overseas Visitors                                        |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| First Business Trip Overseas                                          |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Office Conflict                                                   |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Product Launch                                                    |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| The Mentor                                                            |                         | HALICO     |      | 3,300  |
| 翻訳と異文化 ―原作との「ずれ」が語るもの―                                                | 北條 文雄                   | みすず書房      | 2004 | 4,400  |
| 中国ビジネス通訳裏話 ―だから、漢語はおもしろい―                                             | 戸毛 敏美                   | 東方書店       | 2013 | 1,800  |
| 出版翻訳プロの条件                                                             | 藤岡 啓介                   | 出版メディアパル   | 2011 | 4,900  |
| コミュニティ通訳 ―多文化共生社会のコミュニケーション―                                          | 水野 真木子                  | みすず書房      | 2015 | 11,600 |
| 英日実務翻訳の方法 改訂版                                                         | 田原 利雄                   | 大修館書店      | 2009 | 4,200  |
| 江戸時代の通訳官 ―阿蘭陀通詞の語学と実務―                                                | 片桐 一男                   | 吉川弘文館      | 2016 | 11,000 |
| プロが教える技術翻訳のスキル                                                        | 時國 滋夫                   | 講談社        | 2013 | 5,300  |
| 通訳ガイドというおしごと ―仕事の始め方から技術を磨くコツまで。通訳ガイドを知ろう―(アルクはたらく×英語 1)              | 島崎 秀定                   | アルク        | 2016 | 5,300  |
| 通訳ガイドがナビする東京歩き 増補改訂版(対訳ニッポン)                                          | 松岡 明子                   | IBCパブリッシング | 2014 | 3,300  |
| 翻訳というおしごと (アルクはたらく×英語)                                                | 実川 元子                   | アルク        | 2016 | 5,000  |
| 翻訳スキルハンドブック ―英日翻訳を中心に―(アルクはたらく×英語)                                    | 駒宮 俊友                   | アルク        | 2017 | 7,000  |
| ビジネス英語の落とし穴 (丸善ライブラリー 342)                                            | 小林 薫                    | 丸善出版       | 2001 | 1,680  |
| 英語表現・論理トレーニング ―ビジネスから国際関係文書・公式文書まで―                                   | 小野田 摂子                  | 丸善出版       | 2008 | 4,000  |
| 外国特許出願のための特許英語表現文例集                                                   | 吉田 弘                    | 丸善出版       | 2011 | 5,300  |
| ビジネス英語はIRレポートで学べ! ―学生時代の英語力不問!お金も時間もかからない!―                           | 中村 澄子                   | 東洋経済新報社    | 2009 | 3,300  |
| 金融英語入門 第2版                                                            | 柴田 真一                   | 東洋経済新報社    | 2011 | 4,000  |
| 使える金融英語100のフレーズ                                                       | 柴田 真一                   | 東洋経済新報社    | 2005 | 4,000  |
| ICT時代の英語コミュニケーション ―基本ルール―                                             | 篠田 義明                   | 南雲堂        | 2014 | 6,800  |
| 英文書類や英語論文で必須の基本表現 ―これだけは身に付けたい基礎ルール―                                  | 篠田 義明                   | 南雲堂        | 2015 | 8,800  |
| 効果的な英語コミュニケーション技法                                                     | 金徳 多恵子                  | 南雲堂        | 2012 | 6,000  |
| はじめての英語スピーチアクト                                                        | 鈴木 利彦                   | 南雲堂        | 2012 | 5,300  |
| 英語リーディングの王道                                                           | ジム・カヌーセン                | 南雲堂        | 2014 | 6,600  |
| ここまで通じる日本人英語 ―新しいライティングのすすめ―                                          | 宮田 学                    | 大修館書店      | 2002 | 6,400  |
| 論理的な英語が書ける本                                                           | 崎村 耕二                   | 大修館書店      | 2009 | 6,600  |
| アウトプットに必要な基本英語表現                                                      | ジェームス・バーダマン             | 研究社        | 2015 | 3,100  |
| 製造現場の英語 ―世界中で通じる!―                                                    | デビッド・A・セイン              | アスク出版      | 2013 | 4,400  |
| 英語談話表現辞典                                                              | 内田 聖二                   | 三省堂        | 2009 | 10,600 |
| 英語が激伸びする10の条件                                                         | 石井 展哉                   | ベレ出版       | 2013 | 3,900  |
| 今度こそ必ずモノにする英語習得プランニングノート ―書き込み式話す聞く読む書く >>>>4技能習得プログラム― (Beret books) | 土屋 雅稔                   | ベレ出版       | 2011 | 3,600  |
| 英語ネイティブスピードリーディング ―全速力のマーキングを使ったりーディング・トレーニングで英文速読能力が格段にアップする!―       | 黒川 裕一                   | ベレ出版       | 2011 | 5,000  |
| 中上級者がぶつかる壁を破る英語学習最強プログラム                                              | 土屋 雅稔                   | ベレ出版       | 2010 | 4,100  |
| 真実的・効率的英語学習最強プログラム (Beret books)                                      | 土屋 雅稔                   | ベレ出版       | 2008 | 3,900  |
| みんなの接客英語 ―全業種で使える―                                                    | 広瀬 直子                   | アルク        | 2015 | 6,000  |
| 英語でソクゾクするちょっと怖い話 ―どんだん読める背筋がひんやり―                                     | ちよつと怖い語政策委員会            | アルク        | 2014 | 4,700  |
| 英語でハッとする聖書の話 ―どんだん読める教養が深まる―                                          | 石黒 マリ―・ローズ              | アルク        | 2015 | 5,000  |
| 英語で泣けるちょっといい話 2 ―どんだん読めるほろりとくる―                                       | 英語出版編集部ちよつと<br>いい話製作委員会 | アルク        | 2015 | 4,700  |
| パワ―音読入門 ―最強の英語独習メソッド: POD―                                            | 横山 カズ                   | アルク        | 2015 | 5,000  |
| もしも英語ができたなら… ―ネイティブ講師が教える「脱・ペーパーズピーカー」の秘訣―(アルク・ライブラリー)                | デビッド・バーカー               | アルク        | 2016 | 3,000  |
| 英語のプレゼン直前5日間の技術 (しごとのミニマム英語 3)                                        | 愛場 吉子                   | アルク        | 2014 | 5,300  |
| キクタン【Advanced】6000 ―聞いて覚えるコーパス英単語―改訂版(英語の超人になる!アルク学参シリーズ)             | アルク高校教材編集部              | アルク        | 2012 | 4,700  |
| キクタン【Basic】4000 ―聞いて覚えるコーパス英単語―改訂版(英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                | アルク高校教材編集部              | アルク        | 2012 | 4,700  |
| キクタン「Super」12000 ―聞いて覚えるコーパス英単語―改訂版(英語の超人になる!アルク学参シリーズ)               | アルク高校教材編集部              | アルク        | 2012 | 5,300  |
| キクタン「Entry」2000 ―聞いて書いて覚えるコーパス英単語―改訂版(英語の超人になる!アルク学参シリーズ)             | アルク文教編集部                | アルク        | 2015 | 4,700  |
| 英語の発音直前6時間の技術 (しごとのミニマム英語 4)                                          | 小川 直樹                   | アルク        | 2014 | 4,700  |
| 英語で元気が出るちょっといい話 ―どんだん読める明日への活力がわいてくる―                                 | ちよつと怖い話製作委員会            | アルク        | 2012 | 4,700  |
| 英語の交渉直前7時間の技術 (しごとのミニマム英語 6)                                          | ロッシェル・カッパ               | アルク        | 2015 | 5,700  |
| 英語の会議直前5時間の技術 (しごとのミニマム英語 2)                                          | 柴山 かつの                  | アルク        | 2014 | 5,300  |
| スラスラ読める最初の1000語 (究極の英語リーディング: Standard Vocabulary List Vol.1)         |                         | アルク        | 2014 | 5,700  |
| どんだん読める初級の2000語 (究極の英語リーディング: Standard Vocabulary List Vol.2)         |                         | アルク        | 2015 | 5,700  |
| サクサク読める初・中級の3000語 (究極の英語リーディング: Standard Vocabulary List Vol.3)       |                         | アルク        | 2015 | 5,700  |

|                                                                                    |                     |             |      |       |
|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-------------|------|-------|
| Standard vocabulary list 1000語レベルで1万語「最初の1000語」(究極の英語リスニング Vol. 1)                 |                     | アルク         | 2008 | 5,700 |
| Standard vocabulary list 2000語レベルで1万語「自然な2000語」(究極の英語リスニング Vol. 2)                 |                     | アルク         | 2008 | 5,700 |
| Standard vocabulary list 3000語レベルで1万語「深まる3000語」(究極の英語リスニング Vol. 3)                 |                     | アルク         | 2008 | 5,700 |
| Standard vocabulary list 6000語レベルで1万語「ネイティブが話す6000語」(究極の英語リスニング Vol. 4)            |                     | アルク         | 2010 | 5,700 |
| 英語の基礎を成す「最初の1000語」(究極の英語ディクテーション Vol.1)                                            | 横本, 勝也              | アルク         | 2015 | 6,300 |
| 日常生活で活躍する「初級の2000語」(究極の英語ディクテーション Vol.2)                                           | 横本, 勝也              | アルク         | 2015 | 6,300 |
| 英語で泣けるちょっといい話 [1] —とんどん読める心温まる—                                                    | 英語出版編集部ちよっといい話製作委員会 | アルク         | 2011 | 4,700 |
| 灘高キムタツのセンター試験英語リスニング合格の法則 基礎編 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                 | 木村, 達哉              | アルク         | 2005 | 4,700 |
| キクタンリーディング「Basic」4000 —聞いて読んで覚えるコーパス英単語—改訂版 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                   | アルク文教編集部            | アルク         | 2015 | 4,700 |
| キクタンリーディング「Advanced」6000 —聞いて読んで覚えるコーパス英単語—改訂版 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                | アルク文教編集部            | アルク         | 2015 | 4,700 |
| キクタンリーディング「Super」12000 —聞いて読んで覚えるコーパス英単語—改訂版 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                  | アルク文教編集部            | アルク         | 2015 | 6,000 |
| 新ユメタン 0 中修了〜高校基礎レベル —夢をかなえる英単語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                               | 木村, 達哉              | アルク         | 2015 | 5,300 |
| 英語の面接直前5時間の技術 (しごとのミニマム英語 5)                                                       | 花田, 七星              | アルク         | 2015 | 5,300 |
| キクタン「中学英単語」高校入試レベル —聞いて覚えるコーパス英単語—改訂版 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                         |                     | アルク         | 2015 | 4,000 |
| 英語と仲直りできる本 —ネイティブ講師が教える英語上手の秘訣— (アルク・ライブラリー)                                       | デビッド・バーカー           | アルク         | 2016 | 3,000 |
| 新ユメタン 3 スーパーハイレベル —夢をかなえる英単語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                 | 木村, 達哉              | アルク         | 2015 | 5,300 |
| 新ユメタン 2 難関大学合格必須レベル —夢をかなえる英単語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                               | 木村, 達哉              | アルク         | 2015 | 5,300 |
| 新ユメタン 1 大学合格必須レベル —夢をかなえる英単語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                 | 木村, 達哉              | アルク         | 2015 | 5,300 |
| 灘高キムタツの東大英語リーディング (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                             | 木村, 達哉              | アルク         | 2006 | 7,300 |
| 灘高キムタツの東大英語ライティング&グラマー (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                        | 木村, 達哉              | アルク         | 2006 | 6,000 |
| 灘高キムタツのセンター試験英語リスニング合格の法則 実践編 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                                 | 木村, 達哉              | アルク         | 2005 | 4,700 |
| 英語の電話直前3時間の技術 (しごとのミニマム英語 1)                                                       | 竹村, 和浩              | アルク         | 2014 | 4,700 |
| 英語で心いやされるちょっといい話 —とんどん読める誰かに話したくなる—                                                | ちよっといい話製作委員会        | アルク         | 2014 | 4,700 |
| 英語でやる気が出る仕事の話 —とんどん読める毎日が楽しくなる—                                                    | やる気が出る仕事の話製作委員会     | アルク         | 2015 | 4,700 |
| 起きてから寝るまで英語で「7つの習慣」                                                                | フランクリン・コヴィー・ジャバン    | アルク         | 2016 | 5,300 |
| 起きてから寝るまで子育てで英語表現600 わんぱくキッズ編 —親子の1日を全部英語で言う—とんどん話せるようになる—                         | 吉田, 研作              |             | 2016 | 7,100 |
| キクタン英語でコレ言える? 身のまわり編 —聞いて覚える日常英単語—                                                 | 一杉, 武史              | アルク         | 2016 | 5,000 |
| 起きてから寝るまで話せる英文法 —1日の生活に合わせ、文法が身に付くフレーズを英語でつぶやく—会話力&文法力がみるみるアップ—                    | 長尾, 和夫              | アルク         | 2015 | 5,700 |
| はじめての英文契約書の読み方 (アルクはたらく×英語)                                                        | 寺村, 淳               | アルク         | 2016 | 6,000 |
| 英語実践力獲得への道 —ストラテジーと演習—                                                             | 中田 康行               | 大学教育出版      | 2016 | 2,700 |
| 日常会話の英語ディスカッション                                                                    | Nicholas Woo        | ベレ出版        | 2015 | 4,400 |
| 英語は早ければたった1日で話せるようになる (Beret books)                                                | 宗形, 諭史              | ベレ出版        | 2015 | 3,900 |
| やっぱり英語はおもしろい                                                                       | 宗宮, 喜代子             | くらしお出版      | 2015 | 2,900 |
| 日本人が誤解しやすい英語生活マナーブック —keeping it smooth— (対訳ニッポン)                                  | ジェームス・M・バーダマン       | IBC/パブリッシング | 2007 | 3,100 |
| シリコンバレーの英語 —スタートアップ天国のしくみ—                                                         | ロッシェル・カップ           | IBC/パブリッシング | 2015 | 4,000 |
| グローバルエリート —世界で成功する英語力とビジネス力を身につける方法—                                               | ロッシェル・カップ           | IBC/パブリッシング | 2014 | 3,300 |
| 15週間で英語力倍増 (語学シリーズ 1)                                                              | 山西, 敏博              | 大学教育出版      | 2014 | 2,200 |
| マンガでわかる技術英語                                                                        | 坂本, 真樹              | オーム社        | 2016 | 6,400 |
| キクジュク「basic」1800 —聞いて覚えるコーパス英熟語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                              | 一杉, 武史              | アルク         | 2006 | 4,700 |
| キクジュク「super」3600 —聞いて覚えるコーパス英熟語— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                              | 一杉, 武史              | アルク         | 2007 | 5,300 |
| 3000語レベルでUK英語入門 (究極のイギリス英語リスニング standard)                                          | 英語出版編集部             | アルク         | 2009 | 5,700 |
| 6000語レベルでUK英語探究 (究極のイギリス英語リスニング deluxe)                                            | 英語出版編集部             | アルク         | 2009 | 5,700 |
| Business「3000語レベルでアメリカ人と渡り合う」—standard vocabulary list 1-3— (究極のビジネス英語リスニング Vol.1) | 英語出版編集部             | アルク         | 2011 | 6,000 |
| Business「6000語レベルでライバル会社と戦う」—standard vocabulary list 1-6— (究極のビジネス英語リスニング Vol.2)  | 英語出版編集部             |             | 2011 | 6,000 |
| ユメパン 1: 高校修了〜大学入試レベル —夢をかなえる英文法— (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)                              | 木村, 達哉              | アルク         | 2011 | 4,700 |
| Business「9000語レベルで世界へ飛び出す」—standard vocabulary list 1-9— (究極のビジネス英語リスニング Vol.3)    | 英語出版編集部             |             | 2011 | 6,000 |
| 相手と場面で使い分ける英語表現ハンドブック                                                              | 高橋, 朋子              | アルク         | 2017 | 6,600 |

|                                                                       |                    |                        |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------|------|--------|
| ケイヘザリ tea time talk —ココロに届く、いい話、いい英語—                                 | Kay Hetherly       | アルク                    | 2017 | 4,000  |
| 「カジュアル系」英語のトリセツ —文字でも会話する今どきの英会話—                                     | ルーク・タニクリフ          | アルク                    | 2017 | 5,000  |
| キクタンリーディング「Entry」2000 —聞いて読んで覚えるコーパス英単語—改訂版 (英語の超人になる!アルク学参シリーズ)      |                    | アルク                    | 2017 | 4,700  |
| 日常生活英語のトリセツ —基本表現—                                                    | 長尾, 和夫             | アスク出版                  | 2016 | 5,000  |
| ビギナーのための経済英語 —経済・金融・証券・会計の基本用例320—第2版                                 | 日向 清人              | 慶應義塾大学出版会              | 2017 | 6,200  |
| すき間時間にしっかり聞き取る超短トレーニング×100 (アルク・ライブラリー・1分間英語(イングリッシュ)リスニング編)          | 岩村, 圭南             | アルク                    | 2016 | 3,000  |
| すき間時間にどンドン話せる超短トレーニング×100 (アルク・ライブラリー・1分間英語(イングリッシュ)スピーキング編)          | 岩村, 圭南             | アルク                    | 2016 | 3,000  |
| キクタンメディカル 1 人体の構造編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 5)           | 高橋, 玲              | アルク                    | 2010 | 9,300  |
| キクタンメディカル 2 症候と疾患編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 6)           | 高橋, 玲              | アルク                    | 2010 | 9,300  |
| キクタンメディカル 3 診療と臨床検査編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 7)         | 高橋, 玲              | アルク                    | 2010 | 9,300  |
| キクタンメディカル 4 保健医療編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 8)            | 押味, 貴之             | アルク                    | 2011 | 9,300  |
| キクタンメディカル 5 看護とケア編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 9)           | 平野, 美津子            | アルク                    | 2011 | 9,300  |
| キクタンメディカル 6 薬剤編 —聞いて覚える医学英単語— (医学英語シリーズ: 英語でつなぐ世界といのち 10)             | 高橋, 玲              | アルク                    | 2011 | 9,300  |
| 音読して楽しむ名作英文 —美しい表現を声に出して英語のセンスを磨く— (アルク・ライブラリー)                       | 安井, 京子             | アルク                    | 2017 | 3,000  |
| 起きてから寝るまで英語表現1000 —1日の「体の動き」「心のつぶやき」を全部英語で書いて会話力アップ!—                 | 荒井, 貴和             | アルク                    | 2017 | 5,300  |
| 接遇英語のプロが教える「出だし」だけ+ジェスチャーからはじめるおもてなし英語                                | 中野, 美夏子            | アルク                    | 2018 | 4,700  |
| 英語の経済指標・情報の読み方 —お金の運用のプロがやっている!—                                      | 北都, 光              | アルク                    | 2018 | 5,300  |
| システム設計 —基幹業務システム開発のためのウォータフォールモデル技法— 第2版                              | 鈴木, 洋光             | 東京電機大学出版局              | 2005 | 7,000  |
| アジャイルプラクティス —達人プログラマーに学ぶ現場開発者の習慣—                                     | Venkat Subramaniam | オーム社                   | 2007 | 6,600  |
| Manage It! 現場開発者のための達人型プロジェクトマネジメント                                   | Johanna Rothman    | オーム社                   | 2008 | 8,800  |
| Release It! —本番用ソフトウェア製品の設計とデプロイのために—                                 | Michael T. Nygard  | オーム社                   | 2009 | 9,900  |
| 情報プログラマー —ソフトウェア開発者の幸せな生き方—                                           | Chad Fowler        | オーム社                   | 2010 | 6,600  |
| 抽象によるソフトウェア設計 —Alloyではじめる形式手法—                                        | Daniel Jackson     | オーム社                   | 2011 | 12,500 |
| ソフトウェア開発へのSWEBOOKの適用                                                  | 松本, 吉弘             | オーム社                   | 2005 | 8,300  |
| 実践反復型ソフトウェア開発                                                         | 津田, 義史             | オーム社                   | 2012 | 7,700  |
| テスト駆動開発 (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                     | 設楽, 秀輔             | 東京電機大学出版局              | 2013 | 6,400  |
| データベース (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                      | 橋本, 大輔             | 東京電機大学出版局              | 2013 | 6,400  |
| スマートフォン&タブレットアプリ開発会社年鑑 2015 (Web designing books)                     | 栗原, 亮              | マイナビ                   | 2014 | 10,500 |
| ソフトウェア開発実践 —科学技術シミュレーションソフトの設計—                                       | 佐藤, 文俊             | 東京大学出版会                | 2015 | 15,400 |
| 知識労働とソフトウェア開発 (技評SE選書 018)                                            | 荒井, 玲子             | 技術評論社                  | 2010 | 3,000  |
| ソフトウェア開発はなぜ難しいのか —人月の神話を超えて— (技評SE選書 005)                             | 大槻, 繁              | 技術評論社                  | 2009 | 2,400  |
| ソフトウェア開発の名著を読む 第2版 (技評SE選書 004)                                       | 柴田, 芳樹             | 技術評論社                  | 2009 | 2,500  |
| ソフトウェア開発で伸びる人, 伸びない人 第2版 (技評SE選書 002)                                 | 荒井, 玲子             | 技術評論社                  | 2009 | 2,500  |
| ソフトウェア設計論 —役に立つUMLモデリングへ向けて— (※)                                      | 松浦, 佐江子            | コロナ社                   | 2016 | 9,600  |
| アジャイル開発への道案内                                                          | 片岡 雅憲              | 近代科学社                  | 2017 | 8,300  |
| BIMソッドによる形式仕様記述 —ソフトウェアシステムのモデル化とその検証— (トップエスエー実践講座)                  | 末岡 啓伸              | 近代科学社                  | 2007 | 11,900 |
| ソフトウェア・パターン —パターン指向の実践ソフトウェア開発— (トップエスエー実践講座)                         | 深沢, 良彰             | 近代科学社                  | 2007 | 11,900 |
| SPINIによる設計モデル検証 —モデル検査の実践ソフトウェア検証— (トップエスエー実践講座)                      | 萩谷 昌己              | 近代科学社                  | 2008 | 11,900 |
| ソフトウェア科学基礎 —最先端のソフトウェア開発に求められる数理的基礎— (トップエスエー基礎講座)                    | 田中 謙               | 近代科学社                  | 2008 | 12,600 |
| 実践的ソフトウェア工学 —実践現場から学ぶソフトウェア開発の勘所— (トップエスエー入門講座)                       | 浅井 治               | 近代科学社                  | 2009 | 8,300  |
| 要求工学概論 —要求工学の基本概念から応用まで— (トップエスエー基礎講座)                                | 妻木 俊彦              | 近代科学社                  | 2009 | 12,600 |
| VDM++による形式仕様記述 —形式仕様入門・活用の第一歩— (トップエスエー実践講座)                          | 石川 冬樹              | 近代科学社                  | 2011 | 12,600 |
| UPPAALによる性能モデル検証 —リアルタイムシステムのモデル化とその検証— (トップエスエー実践講座)                 | 大須賀 昭彦             | 近代科学社                  | 2012 | 12,600 |
| よくわかるズバリ解決Microsoft PowerPoint 2013 —Windows 8/7対応—                   | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2013 | 2,800  |
| バツフェルト演習Excel                                                         |                    | 実教出版                   | 2004 | 2,600  |
| OneNote 2013基本マスターブック —最新版Windows/iPhone&iPad/Androidアプリ対応— (できるポケット) | インサイトイメージ          | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 3,000  |
| できるExcel魅せる&伝わるグラフ —2013/2010対応—                                      | きたみ, あきこ           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 4,800  |
| Windows 8.1特選活用技 —最新Update対応版— (今すぐ使えるかんたんmini)                       | リンクアップ             | 技術評論社                  | 2014 | 1,500  |
| よくわかるMicrosoft PowerPoint 2016 基礎                                     | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft PowerPoint 2016 応用                                     | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2016 基礎                                         | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2016 応用                                         | 富士通エフ・オー・エム        | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,000  |

|                                                                                             |                 |                        |      |        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------|------|--------|
| ASTERIA WARP基礎と実践 改訂版                                                                       | インフォテリア         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 8,600  |
| ASTERIA WARP逆引きファレンス                                                                        | 大月、宇美           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 9,300  |
| データベーススペシャリスト試験精選予想500題試験問題集 平成21年度版 午前—新試験制度完全準備—                                          | 東京電機大学          | 東京電機大学出版局              | 2008 | 8,500  |
| データベーススペシャリスト試験午前 平成22年度版—精選予想500題+最新55題試験問題集—                                              | 東京電機大学          | 東京電機大学出版局              | 2009 | 7,500  |
| データベーススペシャリスト午前試験問題集—合格精選500題—                                                              | 東京電機大学          | 東京電機大学出版局              | 2010 | 7,700  |
| FileMaker Pro 12基礎講座 —for Win/Mac—                                                          | 小山、香織           | オーム社                   | 2012 | 4,400  |
| データベースとアルゴリズム (基本情報技術者テキスト2)                                                                | 岩井、宏            | 実教出版                   | 2009 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2010 (FOM出版のみどりの本 ビジネス活用編)                                            | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム            | 2012 | 5,700  |
| 7つのデータベース7つの世界 —PostgreSQL, Riak, HBase, MongoDB, CouchDB, Neo4J, Redis—                    | Eric Redmond    | オーム社                   | 2013 | 7,700  |
| パーフェクト演習Access                                                                              | バックトレイス         | 実教出版                   | 2005 | 2,800  |
| データベース+Access 2007/2010 (30時間アカデミック)                                                        | 町田、欣弥           | 実教出版                   | 2011 | 4,000  |
| 速効図解Access2013 —総合版—                                                                        | 国本、温子           | マイナビ                   | 2013 | 5,200  |
| FileMaker Pro 13基礎講座 —for Win/Mac—                                                          | 小山、香織           | オーム社                   | 2014 | 5,300  |
| 今すぐ使えるかんたんExcelデータベース—Excel 2010/2007対応— (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                   | 井上、香緒里          | 技術評論社                  | 2012 | 3,300  |
| 今すぐ使えるかんたんAccess 2013 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                                      | 井上、香緒里          | 技術評論社                  | 2014 | 3,200  |
| データベースの基礎                                                                                   | 永田、武            | コロナ社                   | 2011 | 6,600  |
| データベースと知識発見                                                                                 | 北上、始            | コロナ社                   | 2013 | 7,700  |
| よくわかるMicrosoft Access 2013 ビジネス活用編 (FOM出版のみどりの本)                                            | 富士通エフ・オー・エム株式会社 | 富士通エフ・オー・エム            | 2015 | 5,700  |
| データ集計・分析のためのSQL入門                                                                           | ALBERT          | マイナビ                   | 2014 | 8,000  |
| MySQL (Dekiru pro)                                                                          | 赤井、誠            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 7,200  |
| Accessクエリ基本マスターブック (できるポケット)                                                                | 国本、温子           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 3,000  |
| できるExcelデータベース —データ活用・業務効率化に役立つ本：2013/2010/2007対応—                                          | 早坂、清志           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 5,100  |
| できるAccessクエリ—データ抽出・解析に役立つ本—                                                                 | 国本、温子           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 5,000  |
| Access基本マスターブック (できるポケット)                                                                   | 広野、忠敏           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 2,900  |
| できるAccess2010                                                                               | 広野、忠敏           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2011 | 5,100  |
| FileMaker Pro開発運用講座 第2版                                                                     | 高岡、幸生           | オーム社                   | 2015 | 13,200 |
| データベース—ビッグデータ時代の基礎— (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 26)      | 三石、大            | 共立出版                   | 2014 | 9,300  |
| データベース—基礎からネット社会での応用まで— (情報工学テキストシリーズ 第6巻)                                                  | 三木、光範           | 共立出版                   | 2015 | 8,300  |
| いばばんやさしいデータベースの本 (技評SE選書 017)                                                               | 五十嵐、貴之          | 技術評論社                  | 2010 | 2,900  |
| できるExcelデータベース —大量データのビジネス活用に役立つ本—                                                          | 早坂、清志           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2016 | 5,100  |
| Access 2013/2010基本技 (今すぐ使えるかんたんrmini)                                                       | 技術評論社編集部        | 技術評論社                  | 2015 | 1,700  |
| PostgreSQL全機能バイブル—現場で役立つa to z：内部構造の詳説から運用管理までPostgreSQLのすべてを網羅—                            | 鈴木、啓修           | 技術評論社                  | 2012 | 1,700  |
| データベース (情報工学レクチャーシリーズ)                                                                      | 石川、博            | 森北出版                   | 2008 | 8,800  |
| MySQL即効クエリチューニング (Think IT Books)                                                           | yoku0825        | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2016 | 6,000  |
| データベース応用—データモデリングから実装まで— (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 34) | 片岡、信弘           | 共立出版                   | 2016 | 10,600 |
| よくわかるMicrosoft Access 2013 (FOM出版のみどりの本 基礎)                                                 | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム            | 2013 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2013 (FOM出版のみどりの本 応用)                                                 | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム            | 2013 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2010 (FOM出版のみどりの本 基礎)                                                 | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 5,000  |
| よくわかるMicrosoft Access 2010 (FOM出版のみどりの本 応用)                                                 | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 5,000  |
| データベーススペシャリスト教科書 平成30年度 (徹底攻略)                                                              | 瀬戸、美月           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 8,600  |
| スッキリわかるSQL入門—ドリル215問付き!—                                                                    | 中山、清喬           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2013 | 7,400  |
| Javaで学ぶ数値解析                                                                                 | 和光システム研究所       | 東京電機大学出版局              | 2005 | 7,700  |
| 学生のための詳解C                                                                                   | 中村、隆一           | 東京電機大学出版局              | 2007 | 5,700  |
| Squeakプログラミング—簡単に作れるビジュアル教材—                                                                | 福村、好美           | 東京電機大学出版局              | 2007 | 5,900  |
| H8アセンブラ入門                                                                                   | 浅川、毅            | 東京電機大学出版局              | 2003 | 6,400  |
| Z80アセンブラ入門                                                                                  | 堀、桂太郎           | 東京電機大学出版局              | 2004 | 6,200  |
| C言語によるH8マイコン制御                                                                              | 浅川、毅            | 東京電機大学出版局              | 2005 | 6,200  |
| 学生のためのExcel & Access                                                                        | 若山、芳三郎          | 東京電機大学出版局              | 2005 | 5,400  |
| 学生のための基礎C                                                                                   | 若山、芳三郎          | 東京電機大学出版局              | 2005 | 3,900  |
| 例題でわかるC++Builder—しっかり作れるビジュアルソフト—                                                           | 中村、隆一           | 東京電機大学出版局              | 2001 | 7,500  |
| 学生のためのExcel VBA                                                                             | 若山、芳三郎          | 東京電機大学出版局              | 2003 | 4,100  |
| 学生のための入門Java—JBuilderではじめるプログラミング—                                                          | 中村、隆一           | 東京電機大学出版局              | 2002 | 4,900  |
| 学生のためのVisual Basic.NET                                                                      | 若山、芳三郎          | 東京電機大学出版局              | 2004 | 5,200  |
| PIGアセンブラ入門                                                                                  | 浅川、毅            | 東京電機大学出版局              | 2001 | 6,400  |

|                                                                           |                 |             |      |        |
|---------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------|------|--------|
| たのしくできるPICプログラミングと制御実験                                                    | 鈴木、美朗志          | 東京電機大学出版局   | 2002 | 7,500  |
| 学生のための詳解Visual Basic                                                      | 山本、昌弘           | 東京電機大学出版局   | 2009 | 6,400  |
| 工学のためのVBAプログラミング基礎                                                        | 村木、正芳           | 東京電機大学出版局   | 2009 | 5,700  |
| 学生のための基礎Java                                                              | 照井、博志           | 東京電機大学出版局   | 2011 | 4,100  |
| プログラミングのための線形代数                                                           | 平岡、和幸           | オーム社        | 2004 | 8,300  |
| ITRONプログラミング入門—H8マイコンとHOSで始める組み込み開発—                                      | 濱原、和明           | オーム社        | 2005 | 7,200  |
| On Lisp—advanced techniques for common Lisp—                              | Paul Graham     | オーム社        | 2007 | 10,500 |
| プログラミングErlang                                                             | Joe Armstrong   | オーム社        | 2008 | 12,100 |
| OCによる探索プログラミング—基礎から遺伝的アルゴリズムまで—                                           | 伊庭、斉志           | オーム社        | 2008 | 8,800  |
| プログラミングR—基礎からグラフィックスまで—                                                   | 高階、知巳           | オーム社        | 2008 | 10,500 |
| OCによるソフトウェア開発の基礎—データ構造とアルゴリズムの基礎から—                                       | 小高、知宏           | オーム社        | 2009 | 6,600  |
| プログラミングのための確率統計                                                           | 平岡、和幸           | オーム社        | 2009 | 8,300  |
| プログラミングClojure                                                            | Stuart Halloway | オーム社        | 2010 | 9,400  |
| プログラミングRuby1.9 言語編                                                        | Dave Thomas     | オーム社        | 2010 | 10,500 |
| プログラミングRuby1.9 ライブラリ編                                                     | Dave Thomas     | オーム社        | 2010 | 12,100 |
| 7つの言語7つの世界—Ruby, Io, Prolog, Scala, Erlang, Clojure and Haskell—          | Bruce A. Tate   | オーム社        | 2011 | 8,800  |
| すげぇ!Haskellたのしく学ぼう!                                                       | Miran Lipovača  | オーム社        | 2012 | 7,700  |
| Androidプログラミングマスターブック                                                     | 見手倉、理弘          | オーム社        | 2012 | 8,300  |
| 最新プログラミング技術入門「C言語」(基礎シリーズ)                                                | 伊理、正夫           | 実教出版        | 2005 | 5,500  |
| はじめてのプログラミング C言語編                                                         | 野地、保            | 実教出版        | 2003 | 5,000  |
| はじめてのプログラミング Java編                                                        | 野地、保            | 実教出版        | 2003 | 5,000  |
| はじめて学ぶC言語入門 改訂版                                                           | 斎藤、泰保子          | 実教出版        | 2001 | 5,500  |
| プログラミング入門C言語 (情報処理技術者テキスト)                                                | 浅井、宗海           | 実教出版        | 2005 | 5,500  |
| プログラミング入門COBOL (情報処理技術者テキスト)                                              | 浅井、宗海           | 実教出版        | 2005 | 5,000  |
| プログラミング入門CASLII (情報処理技術者テキスト)                                             | 浅井、宗海           | 実教出版        | 2004 | 5,000  |
| プログラミング入門Java 改訂版 (情報処理技術者テキスト)                                           | 浅井、宗海           | 実教出版        | 2007 | 5,500  |
| 関数プログラミング入門—Haskellで学ぶ原理と技法—                                              | Richard Bird    | オーム社        | 2012 | 10,500 |
| プログラミングHaskell                                                            | Graham Hutton   | オーム社        | 2009 | 7,700  |
| 1ランク上のPICマイコンプログラミング—シミュレータとデバuggの活用法—                                    | 高田、直人           | 東京電機大学出版局   | 2013 | 7,200  |
| 学生のための画像処理プログラミング演習—Visual C++ .NET版—                                     | 村上、伸一           | 東京電機大学出版局   | 2012 | 5,200  |
| Javaで学ぶデータ構造とアルゴリズム                                                       | 杉山、行浩           | 東京電機大学出版局   | 2012 | 7,200  |
| Java (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                            | 浜川、剛            | 東京電機大学出版局   | 2012 | 6,400  |
| Ruby (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 基礎編)                                            | 川端、崇裕           | 東京電機大学出版局   | 2012 | 6,400  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2010マクロ/VBA (FOM出版のみどりの本)                            | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム | 2012 | 6,500  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2010VBAプログラミング実践 (FOM出版のみどりの本)                       | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム | 2012 | 6,000  |
| よくわかるはじめてでもわかるJava入門 (FOM出版のみどりの本)                                        | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム | 2009 | 6,000  |
| プログラミングClojure 第2版                                                        | Stuart Halloway | オーム社        | 2013 | 9,400  |
| 書き込んで使える「C」プログラミングの教科書                                                    | 羽山、博            | オーム社        | 2009 | 6,600  |
| 入門ANSI-C 3訂版 (基礎編)                                                        | 石田、晴久           | 実教出版        | 2005 | 7,200  |
| 初級C言語—やさしいC—                                                              | 後藤、良和           | 実教出版        | 2010 | 6,100  |
| プログラミングの基礎                                                                | 羽山、博            | マイナビ        | 2010 | 6,100  |
| リファクタリング (シリーズアジャイルソフトウェア開発技術 応用編)                                        | 設楽、秀輔           | 東京電機大学出版局   | 2013 | 6,400  |
| マインコンプログラミング実習—PIC16レナによる—                                                | 田中、博            | 東京電機大学出版局   | 2013 | 4,900  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2013マクロ/VBA (FOM出版のみどりの本)                            | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム | 2014 | 6,500  |
| すくいErlangゆかいに学ぼう!                                                         | Fred Hébert     | オーム社        | 2014 | 10,500 |
| リファクタリング 新装版—既存のコードを安全に改善する—                                              | Martin Fowler   | オーム社        | 2014 | 11,600 |
| Pythonではじめよう!—たのしいプログラミング—                                                | Jason R. Briggs | オーム社        | 2014 | 7,700  |
| 今すぐ使えるかんたんExcelマクロ&VBA (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                   | 門脇、香奈子          | 技術評論社       | 2013 | 3,200  |
| ICTビジネス (メディア学大系 8) (※)                                                   | 榎、俊吾            | コロナ社        | 2015 | 8,600  |
| Rubyのしくみ                                                                  | Pat Shaughnessy | オーム社        | 2014 | 8,800  |
| Webプログラミング—基礎からのステップアップ— (※)                                              | 大和田、勇人          | コロナ社        | 2014 | 6,600  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2013VBAプログラミング実践 (FOM出版のみどりの本)                       | 富士通エフ・オー・エム     | 富士通エフ・オー・エム | 2015 | 6,000  |
| C言語による画像処理プログラミング入門：サンプルプログラムから学ぶ—サンプルプログラムから学ぶ—新版 (※)                    | 長尾、智晴           | 朝倉書店        | 2014 | 9,900  |
| コンパイラ (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 24)  | 佐渡、一広           | 共立出版        | 2014 | 8,600  |
| 入門C言語 (※)                                                                 | 筧、捷彦            | 実教出版        | 2014 | 6,900  |
| 絶対現場主義C#入門—食えるプログラマーになるために—                                               | 丸岡、孝司           | ラトルズ        | 2011 | 5,300  |
| Apache POI入門—Java+Apache POI APIでExcelドキュメントを操作する—                        | 丸岡、孝司           | ラトルズ        | 2012 | 7,700  |
| Xcode5ではじめるObjective-Cプログラミング                                             | 大津、真            | ラトルズ        | 2014 | 7,700  |
| XcodeではじめるSwiftプログラミング                                                    | 大津、真            | ラトルズ        | 2014 | 7,700  |
| Objective-C超入門—ゼロからしっかり学べるiPhoneプログラミング—改訂第3版                             | 大川内、隆朗          | ラトルズ        | 2014 | 7,700  |
| Rubyで作る奇妙なプログラミング言語—ヘンな言語のつくりにかた—                                         | 原、悠             | マイナビ        | 2008 | 9,400  |
| オンラインジャッジではじめるC/C++プログラミング入門 = Online programming challenge!              | 渡部、有隆           | マイナビ        | 2014 | 7,900  |
| プログラミングコンテスト攻略のためのアルゴリズムとデータ構造                                            | 渡部、有隆           | マイナビ        | 2015 | 9,900  |
| Write portable code—複数プラットフォームに移植可能なソフトウェアの開発技法—                          | Brian Hook      | マイナビ        | 2006 | 16,000 |
| ちゃんと使える力を身につけるWebとプログラミングのきほんのきほん                                         | 大澤、文孝           | マイナビ        | 2015 | 6,900  |
| 目指せプログラマー!プログラミング超入門 Visual Studio Community・C#編—プログラミング的な考え方をしっかり身につけよう— | 塚田、津耶乃          | マイナビ        | 2015 | 6,600  |

|                                                                                                  |                    |                        |      |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------|------|--------|
| Excel VBAでデータ分析                                                                                  | 川上, 恭子             | マイナビ                   | 2015 | 5,400  |
| Excel VBA誰でもできる「即席マクロ」でかんたん効率化                                                                   | きたみ, あきこ           | マイナビ                   | 2015 | 4,700  |
| 速習C言語入門 ―脳に定着する新メソッドで必ず身につく―第2版                                                                  | 菅原, 朋子             | マイナビ                   | 2012 | 6,600  |
| Visual CH2013画像処理・数値プログラミング (Mynavi advanced library)                                            | 石立, 喬              | マイナビ                   | 2014 | 11,000 |
| プログラミングコンテストチャレンジブック ―問題解決のアルゴリズム活用力とコーディングテクニックを鍛える―第2版                                         | 秋葉, 拓哉             | マイナビ                   | 2012 | 9,100  |
| 開発ツールを使って学ぶC言語プログラミング                                                                            | 坂井, 弘亮             | マイナビ                   | 2014 | 7,700  |
| できるVisual Studio (ビジュアル スタジオ) 2015                                                               | 広野, 忠敏             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,300  |
| JavaからはじめようAndroidプログラミング ―Android Studio対応版―                                                    | 大津, 真              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 7,700  |
| Kinect v2プログラミング実践 ―医療やビジネスで注目されるKinect v2多機能センサーの可能性を広げる実践プログラムを学ぼう― (Think IT Books)           | 薬師寺, 国安            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,700  |
| Scala関数型デザイン&プログラミング ―Scalaズコントリビューターによる関数型徹底ガイド― (Impress top gear)                             | Paul Chiusano      | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 12,900 |
| いちばんやさしいPHPの教本 ―人気講師が教える実践Webプログラミング―                                                            | 柏岡, 秀男             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,700  |
| ユニバーサルWindowsアプリ開発 (Think IT Books)                                                              | 薬師寺, 国安            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,700  |
| Kinect v2プログラミング入門 ―Visual Basicで構築するセンサーアプリ集: Unity連携でモーションキャプチャも実現できる―v1.0.0版 (Think IT Books) | 薬師寺, 国安            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 4,700  |
| スッキリわかるJava入門 実践編 第2版                                                                            | 中山, 清喬             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 7,800  |
| スッキリわかるJava入門【入門編】第2版                                                                            | 国本, 大悟             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 5,700  |
| APIデザインの極意 ―Java/NetBeansアーキテクト探究ノート―                                                            | Jaroslav Tulach    | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| TypeScriptリファレンス                                                                                 | わかめ, まさひろ          | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,900  |
| Android Pattern Cookbook ―マーケットで埋もれないための差別化戦略―                                                   | あんざい, ゆき           | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 8,600  |
| 初歩からわかるAndroid最新プログラミング 増補改訂版                                                                    | 柴田, 文彦             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2013 | 8,200  |
| ゼロからは始めるVisual Basic入門 ―基礎からゲーム作成まで―                                                             | 藤本, 邦昭             | 森北出版                   | 2012 | 6,100  |
| Linuxによる並行プログラミング入門                                                                              | 猪平, 栄一             | 共立出版                   | 2014 | 8,600  |
| C言語 (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 30)                           | 今野, 将              | 共立出版                   | 2014 | 8,600  |
| Adobe JavaScriptリファレンス (New thinking and new ways)                                               | 古族, 一浩             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2013 | 10,600 |
| 楽しく学べるBASICプログラミング ―99-BASICによる計測・制御システム開発入門― (※)                                                | 西本, 澄              | 朝倉書店                   | 2016 | 9,000  |
| GPUプログラミング入門 ―CUDA5による実装―                                                                        | 伊藤, 智義             | 講談社                    | 2013 | 6,200  |
| プログラミング20言語習得法 ―初心者のための実践独習ガイド― (ブルーバックス B-1881)                                                 | 小林, 健一郎            | 講談社                    | 2014 | 2,200  |
| 脱入門者のExcel VBA ―自力でプログラミングする極意を学ぶ― (ブルーバックス B-1962)                                              | 立山, 秀利             | 講談社                    | 2016 | 3,300  |
| 入門者のExcelVBA ―初めての人のにベストな学び方― (ブルーバックス B-1769)                                                   | 立山, 秀利             | 講談社                    | 2012 | 2,000  |
| 入門者のJavaScript ―作りながら学ぶwebプログラミング― (ブルーバックス B-1850)                                              | 立山, 秀利             | 講談社                    | 2014 | 2,200  |
| 使えるIMATLAB/Simulinkプログラミング                                                                       | 青山, 貴伸             | 講談社                    | 2007 | 17,600 |
| 実例で学ぶExcel VBA ―定番プログラムを使いこなす― (ブルーバックス B-1802)                                                  | 立山, 秀利             | 講談社                    | 2013 | 2,000  |
| 初級Java ―やさしいJava = Java for beginners―                                                           | 長, 慎也              | 実教出版                   | 2012 | 6,100  |
| Javaプログラマーなら習得しておきたいJava SE 8実践プログラミング ―新機能を一拳に解説― (Impress top gear)                            | Cay S. Horstmann   | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 9,000  |
| Excelマクロ&VBA基本マスターブック ―2016/2013/2010/2007対応― (できるポケット)                                          | 小館, 由典             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2016 | 2,700  |
| 楽しく学べるC言語                                                                                        | 長尾, 文孝             | 共立出版                   | 2016 | 7,600  |
| はじめてのOSコーディング ―UNIX V6で学ぶカーネルのしくみ― (Software design plusシリーズ)                                    | 青柳, 隆宏             | 技術評論社                  | 2013 | 5,300  |
| Androidエンジニア養成読本 Vol.2 ―現場で役立つノウハウと仕事にしたい人のための必須知識満載― (Software design plusシリーズ)                 | Software design編集部 | 技術評論社                  | 2013 | 3,200  |
| C#エンジニア養成読本 ―はじめて学ぶC#から最新C#6.0まで情報満載― (Software design plusシリーズ)                                 | 岩永, 信之             | 技術評論社                  | 2015 | 3,300  |
| C言語プログラミングなるほど実験室 ―コンピュータのしくみがよくわかる―                                                             | 矢沢, 久雄             | 技術評論社                  | 2015 | 4,300  |
| はじめて学ぶC言語プログラミング入門講座                                                                             | 西村, 広光             | 技術評論社                  | 2014 | 3,800  |
| アセンブリ言語スタートブック ―CASL II & COMET II で学ぶ―                                                          | 高田, 美樹             | 技術評論社                  | 2009 | 4,800  |
| かんたんAndroidアプリ作成入門 (プログラミングの教科書)                                                                 | 朝井, 淳              | 技術評論社                  | 2013 | 5,000  |
| かんたんC# (プログラミングの教科書)                                                                             | 伊藤, 達也             | 技術評論社                  | 2010 | 4,700  |
| かんたんC言語 (プログラミングの教科書)                                                                            | 大川内, 隆朗            | 技術評論社                  | 2010 | 4,200  |
| かんたんJava (プログラミングの教科書)                                                                           | 今川, 美保             | 技術評論社                  | 2010 | 4,300  |
| Pythonスタートブック ―いちばんやさしいPythonの本―                                                                 | 辻, 真吾              | 技術評論社                  | 2010 | 4,200  |
| 夢みるプログラム ―人工無脳・チャットボットで考察する会話と心のアルゴリズム―                                                          | 加藤, 真一             | ラトルズ                   | 2016 | 6,100  |
| C言語によるPICプログラミング入門                                                                               | 浅川, 毅              | 東京電機大学出版局              | 2015 | 5,700  |

|                                                                    |                     |                        |      |        |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------|------------------------|------|--------|
| JavaとUMLで学ぶオブジェクト指向プログラミング                                         | 半田, 久志              | 近代科学社                  | 2014 | 8,300  |
| コンピュータ科学とプログラミング入門 ―コンピュータとアルゴリズムの基礎―                              | 小高, 知宏              | 近代科学社                  | 2015 | 7,600  |
| Python ―言語によるプログラミングイントロダクション― (世界標準MIT教科書)                        | ジョン V. グッターゲ        | 近代科学社                  | 2014 | 12,600 |
| 効果的プログラム開発技法 第5版                                                   | 国友, 義久              | 近代科学社                  | 2009 | 9,300  |
| プログラミングElixir                                                      | Dave Thomas         | オーム社                   | 2016 | 7,700  |
| Pythonで始めるプログラミング入門 (※)                                            | 大和田, 勇人             | コロナ社                   | 2015 | 6,600  |
| 達人プログラマー 新装版 ―職人から名匠への道―                                           | Andrew Hunt         | オーム社                   | 2016 | 8,800  |
| Rubyで数独 ―AIプログラミング入門―                                              | 佐藤, 理史              | 近代科学社                  | 2016 | 8,000  |
| 子どもに教えるためのプログラミング入門 ―ExcelではじめるVisual Basic―                       | 田中, 一成              | オーム社                   | 2016 | 5,500  |
| MATLABによるシステムプログラミング ―プロセス・ロボット・非線形システム制御からDCS構築まで―                | 鄭, 明聡               | コロナ社                   | 2016 | 7,300  |
| プログラミング道への招待 (※)                                                   | 竹内, 郁雄              | 丸善出版                   | 2017 | 6,000  |
| C言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング                                             | 小高, 知宏              | 近代科学社                  | 2017 | 8,000  |
| プログラマのための論理パズル ―難題を突破する論理思考トレーニング―                                 | Dennis E. Shasha    | オーム社                   | 2009 | 6,600  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2016マクロ/VBA                                   | 富士通エフ・オー・エム         | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 6,500  |
| 学生のためのExcel VBA 第2版                                                | 若山, 芳三郎             | 東京電機大学出版局              | 2016 | 4,700  |
| Excel VBAを極める勝ちワザ700 ―2016/2013/2010/2007対応― (できる逆引き)              | 国本, 温子              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2016 | 8,900  |
| いちばんやさしいPHPの教本 ―人気講師が教える実践Webプログラミング―第2版                           | 柏岡, 秀男              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,900  |
| できるキッズ子どもと学ぶScratchプログラミング入門                                       | 竹林, 暁               | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,600  |
| JavaScript関数型プログラミング ―複雑性を抑える発想と実践法を学ぶ― (Impress top gear)         | Luis Atencio        | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 11,300 |
| プログラミングの世界へようこそ ―絵で見てわかる―                                          | 尾川, 一行              | マイナビ                   | 2016 | 5,000  |
| Cプログラミング入門以前                                                       | 村山, 公保              | マイナビ                   | 2006 | 6,400  |
| ジョーコーディング ―職人達の技法― (Mynavi advanced library)                       | Ozy                 | マイナビ                   | 2014 | 13,800 |
| 基礎からきっちり覚える機械語入門 (Mynavi advanced library)                         | 渡辺, 徹               | マイナビ                   | 2014 | 11,600 |
| 0と1のコンピュータ世界バイナリで遊ぼう!                                              | 坂井, 弘亮              | マイナビ                   | 2014 | 7,900  |
| コンピュータープログラミング入門以前                                                 | 岩永, 信之              | マイナビ                   | 2011 | 6,400  |
| 恋するプログラム ―Rubyでつくる人工無脳― (Mynavi advanced library)                  | 秋山, 智俊              | マイナビ                   | 2014 | 9,100  |
| よくわかるMicrosoft Excel 2016 VBA プログラミング実践(FPT1704)                   | 富士通エフ・オー・エム         | 富士通エフ・オー・エム            | 2017 | 6,000  |
| いちばんやさしいPythonの教本 ―人気講師が教える基礎からサーバサイド開発まで―                         | 鈴木, たかのり            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,600  |
| Python言語によるプログラミングイントロダクション ―データサイエンスとアプリケーション― (世界標準MIT教科書)       | John V. Guttag      | 近代科学社                  | 2017 | 15,200 |
| 2週間でJava SE Bronzeの基礎が学べる本 (徹底攻略)                                  | 志賀, 澄人              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 9,000  |
| オブジェクト指向言語Java (※)                                                 | 小林, 貴訓              | コロナ社                   | 2016 | 9,600  |
| 魔法のCプログラミング演習書 ―入門から実践まで― (※)                                      | 倉光, 君郎              | コロナ社                   | 2017 | 8,600  |
| つくって学ぶProcessingプログラミング入門 (※)                                      | 長名, 優子              | コロナ社                   | 2017 | 8,000  |
| CUDA Cプログラミング実践入門 ―CUDAの機能・手法を網羅的に解説!― (impress top gear)          | John Cheng          | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 16,500 |
| Goプログラミング実践入門 ―標準ライブラリでゼロからWebアプリを作る― (impress top gear)           | Sau Sheong Chang    | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 11,300 |
| Scalaスケーラブルプログラミング 第3版                                             | Martin Odersky      | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2016 | 15,200 |
| C言語プログラミング基本例題88+88 (※)                                            | 富永, 和人              | コロナ社                   | 2017 | 9,300  |
| C++でつくるUnreal Engine アプリ開発 for Windows & macOS ―初歩からプラグイン開発まで―     | 鈴木, 晃               | ラトルズ                   | 2018 | 6,900  |
| Scratchで楽しくレッツプログラミング ―ジュニア・プログラミング検定公式テキスト: サーティファイ情報処理能力認定委員会公認― | 富士通エフ・オー・エム         | 富士通エフ・オー・エム            | 2018 | 6,200  |
| できるキッズ子どもと学ぶビジュアルプログラミング入門                                         | デジタルポケット            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,000  |
| プログラミングを, はじめよう                                                    | 立山, 秀利              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2018 | 5,900  |
| 逆引きPython標準ライブラリ ―目的別の基本レシビ180+― (Impress top gear)                | 大津, 真               | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2018 | 9,900  |
| オブジェクト指向Javaプログラミング入門 第2版                                          | 多田, 昌裕              | 近代科学社                  | 2018 | 9,300  |
| Python1年生 ―体験してわかる! 会話でまなべるプログラミングのしくみ― (1年生)                      | 森, 巧尚               | 翔泳社                    | 2017 | 6,500  |
| JavaScript1年生 ―体験してわかる! 会話でまなべるプログラミングのしくみ― (1年生)                  | リブワークス              | 翔泳社                    | 2017 | 6,500  |
| その数式, プログラムできますか? ―数式は如何にしてプログラムに翻訳されるのか―                          | アレクサンダー・A・ステパノフ     | 翔泳社                    | 2015 | 8,600  |
| Akka実践バイブル ―アクターモデルによる並行・分散システムの実現―                                | Raymond Roestenburg | 翔泳社                    | 2017 | 15,900 |
| ビスケッドであそぼう ―園児・小学生からはじめるプログラミング― (ぼうけんキッズ)                         | デジタルポケット            | 翔泳社                    | 2017 | 6,000  |
| こんにちには! プログラミング (ルビエのぼうけん)                                         | リンダ・リウカス            | 翔泳社                    | 2016 | 6,000  |
| いちばんやさしいJavaScriptの教本 ―人気講師が教えるWebプログラミング入門―                       | 岩田, 宇史              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,600  |
| ゼロから始める超入門はじめてのプログラミング (マイナビムック special)                           | マイナビ                | マイナビ                   | 2017 | 4,400  |
| 学生のためのPython                                                       | 本郷, 健               | 東京電機大学出版局              | 2017 | 6,400  |
| いちばんやさしいExcel VBAの教本 ―人気講師が教える実務に役立つマクロの始め方―                       | 伊藤, 謙人              | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2018 | 6,600  |
| 例解UNIX/Linuxプログラミング教室 ―システムコールを使いこなすための12講―                        | 富永, 和人              | オーム社                   | 2018 | 10,200 |

|                                                                           |                                                       |                        |      |        |
|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|------------------------|------|--------|
| ARMマイコンによる組込みプログラミング入門 ―ロボットで学ぶC言語―改訂2版                                   | ヴィストン                                                 | オーム社                   | 2018 | 6,900  |
| スッキリわかるC言語入門                                                              | 中山 清喬                                                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 9,000  |
| CSAクラウド・セキュリティ・ガイドンス ver.1.0 日本語版                                         | Cloud Security Alliance                               | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2010 | 11,000 |
| 指紋認証技術 ―バイオメトリクス・セキュリティ―                                                  | 画像電子学会                                                | 東京電機大学出版局              | 2005 | 7,000  |
| 電子透かし技術 ―デジタルコンテンツのセキュリティ―                                                | 画像電子学会                                                | 東京電機大学出版局              | 2004 | 7,000  |
| 情報セキュリティ教科書                                                               | 高田 伸彦                                                 | 東京電機大学出版局              | 2008 | 9,000  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題試験問題集 平成21年度版                                  | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2008 | 7,500  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題+最新110題試験問題集 平成22年度版                           | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2009 | 7,500  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題+最新110題試験問題集 平成23年度版                           | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2010 | 7,500  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題+最新110題試験問題集 平成24年度版                           | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2011 | 7,500  |
| セキュリティと標準化・情報化と経営 (基本情報技術者テキスト 5)                                         | 平井 利明                                                 | 実教出版                   | 2009 | 5,000  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題+最新110題試験問題集 平成25年度版                           | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2012 | 7,500  |
| よくわかるパソコンセキュリティ入門 (FOM出版のみどりの本)                                           | 富士通エフ・オー・エム                                           | 富士通エフ・オー・エム            | 2010 | 2,500  |
| 加害者・被害者にならないための情報セキュリティ                                                   | 富士通エフ・オー・エム                                           | 富士通エフ・オー・エム            | 2013 | 4,300  |
| マスタリングTCP/IP 情報セキュリティ編                                                    | 斎藤 孝道                                                 | オーム社                   | 2013 | 7,700  |
| 情報セキュリティ概論                                                                | 瀬戸 洋一                                                 | 日本工業出版                 | 2007 | 8,800  |
| サイバーセキュリティにおける生体認証技術                                                      | 瀬戸 洋一                                                 | 共立出版                   | 2002 | 6,200  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前精選予想500題+最新110題試験問題集 平成26年度版                           | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2014 | 7,500  |
| サイバーリスクの脅威に備える ―私たちに求められるセキュリティ三原則― (DOJIN選書 68)                          | 松浦 幹太                                                 | 化学同人                   | 2015 | 4,800  |
| 情報セキュリティ入門 第3版                                                            | 羽室 英太郎                                                | 慶應義塾大学出版会              | 2014 | 8,700  |
| つながる機器に広がる脅威 2013―求められる一人一人の意識の向上― (情報セキュリティ白書)                           | 情報処理推進機構                                              | 情報処理推進機構               | 2013 | 3,300  |
| もはや安全ではない 2014―高めようリスク感度― (情報セキュリティ白書)                                    | 情報処理推進機構                                              | 情報処理推進機構               | 2014 | 4,400  |
| はじめての情報通信技術と情報セキュリティ (※)                                                  | 諏訪 敬祐                                                 | 丸善出版                   | 2015 | 9,000  |
| サイバーセキュリティ新時代 2015―あらゆる変化へ柔軟な対応を― (情報セキュリティ白書)                            | 情報処理推進機構                                              | 情報処理推進機構               | 2015 | 4,400  |
| 厳選問題集510題 平成27年度版 ―情報セキュリティスペシャリスト試験午前: SC―セキュリティ経営 ―ポスト3.11の復元力 (レジエンス)― | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2014 | 7,700  |
| スリムに実現するISO27001完全実例集 ―2014年版対応―                                          | 林 猛一郎                                                 | 勁書房                    | 2011 | 8,800  |
| 情報セキュリティ入門 ―情報倫理を学ぶ人のために―改訂版                                              | 村島 昭男                                                 | オーム社                   | 2015 | 17,900 |
| 米国モバイル通信市場アウトルック 2013                                                     | 会田 和弘                                                 | 共立出版                   | 2014 | 9,000  |
|                                                                           | 前田 正明                                                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 7,300  |
| 情報セキュリティ内部監査の教科書 (Security series)                                        | 日本セキュリティ監査協会                                          | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 10,600 |
| API対策入門 ―新型サイバー攻撃の検知と対応― (Security series)                                | 日本セキュリティ監査協会                                          | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2012 | 7,300  |
| SPREAD情報セキュリティサポーター能力検定公式テキスト (Security series)                           | セキュリティ対策推進協議会                                         | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 5,300  |
| クラウド環境におけるアイデンティティ管理ガイドライン 改訂新版 (Security series)                         | 日本ネットワークセキュリティ協会アイデンティティ管理ワーキンググループ                   | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 8,300  |
| 内部不正対策14の論点 (New thinking and new ways)                                   | 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) 組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応ワーキンググループ | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,300  |
| アプリビジネスで転ばないためのスマートフォンプライバシーの基礎知識 (New thinking and new ways)             | 寺田 真治                                                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2012 | 5,300  |
| サイバーセキュリティ入門 ―私たちを取り巻く光と闇― (共立スマートセレクション = Kyoritsu smart selection 7)    | 猪俣 敦夫                                                 | 共立出版                   | 2016 | 5,300  |
| 情報セキュリティ白書 (2016)                                                         | 情報処理推進機構                                              | 情報処理推進機構               | 2016 | 4,400  |
| コンテンツ・セキュリティと法                                                            | 山本 隆司                                                 | 商事法務                   | 2015 | 5,300  |
| 情報セキュリティスペシャリスト試験午前厳選問題集510題 平成28年度版                                      | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2015 | 7,500  |
| 情報セキュリティマネジメント過去問題集 平成28年度春期 (徹底攻略)                                       | 五十嵐 聡                                                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 4,900  |
| 実践サイバーセキュリティモニタリング                                                        | 八木 毅                                                  | コロナ社                   | 2016 | 9,000  |
| 暗号と情報セキュリティ (リスク工学シリーズ 8) (※)                                             | 岡本 栄司                                                 | コロナ社                   | 2016 | 8,600  |
| 情報セキュリティマネジメント試験対策テキスト&過去問題集 平成28年度秋期 (よくわかるマスター)                         | 富士通エフ・オー・エム                                           | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,500  |
| 短期集中!情報セキュリティマネジメント試験 (よくわかるマスター)                                         | 富士通エフ・オー・エム                                           | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 3,800  |
| 情報セキュリティマネジメント試験対策テキスト&過去問題集 平成29年度版 (よくわかるマスター)                          | 富士通エフ・オー・エム                                           | 富士通エフ・オー・エム            | 2016 | 5,500  |
| 厳選問題集400題情報セキュリティマネジメント試験午前 平成29年度版                                       | 東京電機大学                                                | 東京電機大学出版局              | 2016 | 6,200  |
| 情報セキュリティマネジメント過去問題集 平成28年度秋期 (徹底攻略)                                       | 五十嵐 聡                                                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 4,900  |

|                                                                                   |                      |                        |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------|------|--------|
| 情報セキュリティマネジメント過去問題集 平成29年度秋期 (徹底攻略)                                               | 五十嵐 聡                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 4,900  |
| 広がる利用、見えてきた脅威 2017―つながる社会へ着実な備えを― (情報セキュリティ白書)                                    | 情報処理推進機構             | 情報処理推進機構               | 2017 | 4,400  |
| セキュリティコンテストチャレンジブック ―CTFで学ぼう情報を守るための戦い方―                                          | 碓井 利宣                | マイナビ                   | 2015 | 8,800  |
| セキュリティコンテストのためのCTF問題集                                                             | 清水 祐太郎               | マイナビ                   | 2017 | 9,100  |
| どうなるどうする現場に学ぶ情報セキュリティ 改訂版                                                         | 富士通エフ・オー・エム株主会       | 富士通エフ・オー・エム            | 2015 | 1,800  |
| どうなるどうする個人情報保護がよくわかる ―改正対応―                                                       | 富士通エフ・オー・エム          | 富士通エフ・オー・エム            | 2017 | 1,800  |
| 個人情報管理ハンドブック 第3版                                                                  | TMI総合法律事務所           | 商事法務                   | 2016 | 7,200  |
| 短期集中!情報セキュリティマネジメント試験 改訂版 (よくわかるマスター)                                             | 富士通エフ・オー・エム          | 富士通エフ・オー・エム            | 2017 | 3,800  |
| 現代組織の情報セキュリティ・マネジメント ―その戦略と導入・策定・運用―                                              | 税所 哲郎                | 白桃書房                   | 2012 | 8,000  |
| 情報セキュリティマネジメント過去問題集 平成30年度春期 (徹底攻略)                                               | 五十嵐 聡                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 4,900  |
| 情報セキュリティマネジメント教科書 (徹底攻略 平成30年度)                                                   | 瀬戸 美月                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,900  |
| 厳選問題集300題 ―情報セキュリティマネジメント試験午前: SG―                                                | 東京電機大学               | 東京電機大学出版局              | 2017 | 7,200  |
| 情報セキュリティマネジメント過去問題集 (徹底攻略 平成30年度秋期)                                               | 五十嵐 聡                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 4,900  |
| ネットワークスペシャリスト試験午前精選予想500題試験問題集 平成21年度版 ―新試験制度完全準拠―                                | 東京電機大学               | 東京電機大学出版局              | 2009 | 7,200  |
| ネットワークスペシャリスト午前試験問題集 ―合格精選500題―                                                   | 東京電機大学               | 東京電機大学出版局              | 2010 | 7,200  |
| よくわかる情報通信ネットワーク                                                                   | 山内 雪路                | 東京電機大学出版局              | 2010 | 4,900  |
| ネットワーク技術 (基本情報技術者テキスト 4)                                                          | 岩井 宏                 | 実教出版                   | 2009 | 4,400  |
| ネットワーク構築の基礎                                                                       | Gene                 | マイナビ                   | 2009 | 6,100  |
| 短期集中!ネットワークスペシャリスト教本                                                              | Gene                 | マイナビ                   | 2014 | 7,700  |
| 情報通信ネットワーク (OHM大学テキスト)                                                            | 滝根 哲哉                | オーム社                   | 2013 | 7,200  |
| ネットワークスペシャリスト午前試験問題集 ―合格精選500題― 第2版                                               | 東京電機大学               | 東京電機大学出版局              | 2013 | 7,200  |
| 情報ネットワーク教科書                                                                       | 高田 伸彦                | 東京電機大学出版局              | 2013 | 9,800  |
| コンピュータネットワーク (基本を学ぶ)                                                              | 菅原 真司                | オーム社                   | 2012 | 6,900  |
| ネットワーク科学 ―つながりが解き明かす世界のかたち― (サイエンス・バレット015) (※)                                   | Guido Caldarelli     | 丸善出版                   | 2014 | 3,300  |
| 基礎からわかるTCP/IPネットワークコンピューティング入門 第3版                                                | 村山 公保                | オーム社                   | 2015 | 5,500  |
| 分散システム ―P2Pモデル― (成蹊大学アジア太平洋研究センター叢書)                                              | 滝沢 誠                 | コロナ社                   | 2014 | 7,300  |
| コンピュータネットワーク = Computer network (情報工学テキストシリーズ 第4巻)                                | 佐藤 健哉                | 共立出版                   | 2014 | 8,300  |
| 情報ネットワークへの仕組みを考える 新版 (※)                                                          | 河西 宏之                | 朝倉書店                   | 2014 | 8,300  |
| Cisco LANスイッチ教科書 第3版                                                              | シスコシステムズ合同会社基盤技術グループ | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 12,900 |
| 完全マスターしたい人のためのイーサネット&TCP/IP入門                                                     | 横 正憲                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 5,100  |
| コンピュータネットワーク概論 (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 27) | 水野 忠則                | 共立出版                   | 2014 | 9,300  |
| コンピュータネットワークセキュリティ                                                                | 八木 毅                 | コロナ社                   | 2015 | 8,300  |
| 無線ネットワークシステムのしくみ ―IoTを支える基盤技術― (共立スマートセレクション = Kyoritsu smart selection 15)       | 塚本 和也                | 共立出版                   | 2017 | 6,000  |
| いちばんやさしいネットワークの本 (技研SE選書 010)                                                     | 五十嵐 順子               | 技術評論社                  | 2010 | 2,400  |
| ネットワーク社会における情報の活用と技術 [本編] 3訂版                                                     | 岡田 正                 | 実教出版                   | 2010 | 5,500  |
| ネットワークスペシャリスト教科書 平成28年度 (ITプロ/ITエンジニアのための徹底攻略)                                    | 瀬戸 美月                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 9,200  |
| クラウド時代のネットワーク技術 ―OpenFlow実践入門― (Software design plusシリーズ)                         | 高宮 安仁                | 技術評論社                  | 2013 | 5,300  |
| 今すぐ使えるかんたんパソコンLAN ―Windows8/7/Vista/XP対応版― (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)       | リブワークス               | 技術評論社                  | 2013 | 2,900  |
| Wi-Fi無線LAN基本&便利技 改訂新版 (今すぐ使えるかんたんmini)                                            | リンクアップ               | 技術評論社                  | 2013 | 1,900  |
| インフラエンジニア教本 ―ネットワーク構築技術解説― (Software design別冊)                                    | 技術評論社                | 技術評論社                  | 2015 | 4,500  |
| ネットワーク工学 第2版                                                                      | 村上 泰司                | 森北出版                   | 2014 | 6,600  |
| ネットワーク技術の基礎 第2版 (情報工学レクチャーシリーズ)                                                   | 宮保 憲治                | 森北出版                   | 2015 | 8,300  |
| ネットワーク ―目には見えないしくみを構成する技術―                                                        | 井口 信和                | 森北出版                   | 2015 | 5,500  |
| 情報通信ネットワーク (ファーストステップ)                                                            | 浅井 宗海                | 近代科学社                  | 2011 | 7,300  |
| モバイルネットワーク (未来へつなぐデジタルシリーズ = Connection to the future with digital series 33)     | 北須賀 輝明               | 共立出版                   | 2016 | 9,900  |
| 複雑ネットワーク ―基礎から応用まで―                                                               | 増田 直紀                | 近代科学社                  | 2010 | 9,300  |
| 自己組織化する複雑ネットワーク ―空間上の次世代ネットワークデザイン―                                               | 林 幸雄                 | 近代科学社                  | 2014 | 9,000  |
| ネットワーク科学の道具箱 ―つながりが隠れた現象をひもとく―                                                    | 林 幸雄                 | 近代科学社                  | 2007 | 8,600  |
| 1週間でCCNAの基礎が学べる本 第2版 (徹底攻略)                                                       | 谷本 篤民                | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 7,300  |
| ECHONET Lite入門 ―スマートハウスの通信技術を学ぼう―                                                 | 杉村 博                 | オーム社                   | 2016 | 6,900  |
| NASオールカタログ ―ネットワークハードディスク― (impress book 2016-2017)                               |                      | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 3,700  |
| 情報ネットワーク概論 ―ネットワークとセキュリティの技術とその理論―                                                | 井関 文一                | コロナ社                   | 2014 | 9,300  |
| 情報通信ネットワークの基礎 = Foundation of information communication network                   | 宇野 新太郎               | 森北出版                   | 2016 | 6,100  |
| 世界一やさしいWi-Fi (Impress book)                                                       |                      | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 1,600  |
| ネットワークの世界へようこそ ―知っておきたいTCP/IPの基礎知識: 絵で見てわかる!―                                     | 星 紀明                 | マイナビ                   | 2015 | 4,900  |

|                                                                                                        |               |                        |      |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------|------|--------|
| ネットワークスペシャリスト教科書（徹底攻略 平成29年度）                                                                          | 瀬戸 美月         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 9,200  |
| 擬人化でまなぼネットワークのしくみ                                                                                      | 岡嶋 裕史         | 翔泳社                    | 2016 | 6,500  |
| 擬人化でまなぼITインフラのしくみ                                                                                      | 岡嶋 裕史         | 翔泳社                    | 2016 | 6,500  |
| ネットワークスペシャリスト教科書（徹底攻略 平成30年度）                                                                          | 瀬戸 美月         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2018 | 9,200  |
| はじめてのAI（エーアイ）プログラミング—C言語で作る人工知能と人工無能—                                                                  | 小高 知宏         | オーム社                   | 2006 | 7,700  |
| はじめてのAIアプリケーション—C言語で作るネットワークエージェントと機械学習—                                                               | 小高 知宏         | オーム社                   | 2010 | 6,600  |
| 人工知能と人工生命の基礎                                                                                           | 伊庭 斉志         | オーム社                   | 2013 | 7,700  |
| AIによる大規模データ処理入門                                                                                        | 小高 知宏         | オーム社                   | 2013 | 7,700  |
| 人工知能が加速させるロボットの進化（ロボコンマガジン No.104）                                                                     |               | オーム社                   | 2016 | 2,800  |
| 人工知能とロボコン—RoboCup、マイクロマウスの過去・現在・未来を徹底取材!—（ロボコンマガジン No.111）                                             |               | オーム社                   | 2017 | 2,800  |
| 知能の原理—身体性に基づく構成論的アプローチ—                                                                                | Pfeifer, Rolf | 共立出版                   | 2010 | 12,100 |
| 知識システムの装束基礎—スライドで理解する人工知能技術—                                                                           | 新谷 虎松         | コロナ社                   | 2012 | 8,100  |
| 人工知能の方法—ゲームからWWWまで—（※）                                                                                 | 伊庭 斉志         | コロナ社                   | 2014 | 10,900 |
| 人工知能の基礎 第2版                                                                                            | 馬場口 登         | オーム社                   | 2015 | 8,000  |
| 人工知能入門                                                                                                 | 小高 知宏         | 共立出版                   | 2015 | 7,600  |
| イラストで学ぶ人工知能概論                                                                                          | 谷口 忠大         | 講談社                    | 2014 | 5,800  |
| 一人称研究のすすめ—知能研究の新しい潮流—                                                                                  | 諏訪 正樹         | 近代科学社                  | 2015 | 9,000  |
| 人工知能とは                                                                                                 | 松尾 豊          | 近代科学社                  | 2016 | 8,000  |
| 情報社会の「哲学」—グーグル・ビッグデータ・人工知能—                                                                            | 大黒 恭彦         | 勁草書房                   | 2016 | 11,300 |
| 新人工知能の基礎知識                                                                                             | 太原 育夫         | 近代科学社                  | 2008 | 9,300  |
| 坂本真樹先生が教える人工知能がほぼほぼわかる本                                                                                | 坂本 真樹         | オーム社                   | 2017 | 5,000  |
| 人工知能の創発—知能の進化とシミュレーション—                                                                                | 伊庭 斉志         | オーム社                   | 2017 | 7,700  |
| マンガでわかる人工知能—all about artificial intelligence—                                                         | 藤木 俊明         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 4,700  |
| エンジニアのためのAI入門（Think IT Books）                                                                          | Think IT編集部   | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 7,300  |
| いちばんやさしい人工知能ビジネスの教科書—人気講師が教えるAI・機械学習の事業化—                                                              | 二木 康晴         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,500  |
| 2020年、人工知能は車を運転するのか—自動運転の現在・過去・未来—                                                                     | 西村 直人         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 4,400  |
| ビジネスに効くAI—60分完全理解—（週刊東洋経済eビジネス新書 No.221）                                                               |               | 東洋経済新報社                | 2017 | 1,600  |
| パソコンで楽しむ自分で動かす人工知能                                                                                     | 中島 能和         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,400  |
| 決定版AI人工知能                                                                                              | 樋口 晋也         | 東洋経済新報社                | 2017 | 5,300  |
| 強いAI・弱いAI—研究者に聞く人工知能の実像—                                                                               | 島海 不二夫        | 丸善出版                   | 2017 | 6,000  |
| あなたのラボにAI（人工知能）×ロボットがやってくる—研究に生産性と創造性をもたらすテクノロジ—（実験医学 別冊）                                              | 夏目 徹          | 羊土社                    | 2017 | 10,900 |
| ディスカッションを科学する—人間と人工知能の共生—                                                                              | 長尾 確          | 慶應義塾大学出版会              | 2018 | 11,200 |
| AI vs.教科書が読めない子どもたち（※）                                                                                 | 新井 紀子         | 東洋経済新報社                | 2018 | 5,000  |
| 人工知能と社会—2025年の未来予想—                                                                                    | 栗原 聡          | オーム社                   | 2018 | 5,000  |
| おうちで学べる人工知能のきほん—楽しく読める人工知能の教科書—                                                                        | 東中 竜一郎        | 翔泳社                    | 2017 | 6,500  |
| はじめての人工知能—Excelで体験しながら学ぶAI—                                                                            | 浅井 登          | 翔泳社                    | 2016 | 7,500  |
| AI時代の情報教育                                                                                              | 加納 寛子         | 大学教育出版                 | 2017 | 2,200  |
| いちばんやさしい機械学習プロジェクトの教科書—人気講師が教える仕事にAIを導入する方法—                                                           | 荻原 祐介         | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2018 | 5,600  |
| 人工知能—AIの基礎から知探素へ—                                                                                      | 趙 強福          | 共立出版                   | 2017 | 8,300  |
| 認知的インタラクションデザイン学（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.1）             | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| ニューラルネットワーク研究のフロンティア（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.2）         | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| 超高齢化社会とAI（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.3）                    | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| 創設30周年記念特集（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.4）                   | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| 人工知能とは何か?—人工知能学会・情報処理学会共同企画—（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.5） | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| 2018年度人工知能学会全国大会（第30回）（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.31 No.6）       | 人工知能学会        | オーム社                   | 2016 | 6,600  |
| Well-being Computing（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.1）         | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| ゲーム産業における人工知能（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.2）                | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| 顔文字の科学 人文科学とAI（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.3）               | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| 広告とAI不動産とAI（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.4）                  | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| AI社会論（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.5）                        | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| 脳科学とAIのフロンティア（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.32 No.6）                | 人工知能学会        | オーム社                   | 2017 | 6,600  |
| AI計算資源（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.33 No.1）                       | 人工知能学会        | オーム社                   | 2018 | 6,600  |

|                                                                                                                  |                  |                        |      |        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------|------|--------|
| AIとデータ—データに基づく意思決定と社会イノベーション創出—（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.33 No.2）        | 人工知能学会           | オーム社                   | 2018 | 6,600  |
| 人工知能と人材 コモンセンス（人工知能：journal of Japanese Society for Artificial Intelligence Vol.33 No.3）                         |                  | オーム社                   |      | 6,600  |
| パラケルスと魔術的ルネサンス（Bibliotheca hermetica叢書）                                                                          | 菊地原 洋平           | 勁草書房                   | 2013 | 14,700 |
| IoTデバイス設計・実装—AVRマイコンとPythonではじめよう：AVRマイコンとオープンソースライブラリを活用しCInternet of Thingsを実装する—                              | 武藤 佳恭            | オーム社                   | 2015 | 6,400  |
| イノベーション・ドライバーズ—IoT時代をリードする競争力構築の方法—                                                                              | 氏家 豊             | 白桃書房                   | 2016 | 7,300  |
| かんたんスマートフォン+FlashAirで楽しむIoT電子工作                                                                                  | 小松 博史            | オーム社                   | 2017 | 5,500  |
| 体験する!オープンソースハードウェア—NanoPi NEO,Arduino他で楽しむIoT設計—                                                                 | 武藤 佳恭            | 近代科学社                  | 2017 | 7,600  |
| 掘り起こせIoT金脈（週刊東洋経済eビジネス新書 No.192）                                                                                 | 東洋経済新報社          | 東洋経済新報社                | 2016 | 1,400  |
| IoT時代のアライアンス戦略—人工知能の進化とマッチング数理モデルの提案—                                                                            | 富田 賢             | 白桃書房                   | 2017 | 6,800  |
| IoT技術テキスト 基礎編—「MCPC IoTシステム技術検定基礎対応」公式ガイド—                                                                       | 岡嶋 正一            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2017 | 7,500  |
| 日・米・IoT最終戦争—日本はセンサーとロボットで勝つ—                                                                                     | 泉谷 渉             | 東洋経済新報社                | 2017 | 5,000  |
| IoT時代の情報通信政策 = Info-communication policy in the IoT era                                                          | 福家 秀紀            | 白桃書房                   | 2017 | 7,300  |
| 日本vs.アメリカvs.欧州自動車世界戦争—EV・自動運転・IoT対応の行方—（※）                                                                       | 泉谷 渉             | 東洋経済新報社                | 2018 | 5,000  |
| 「クラウド化」!と「ビッグデータ活用」!はなぜ進まないのか?—Cloud + Big data—                                                                 | 柴田 英寿            | 東洋経済新報社                | 2012 | 3,600  |
| クラウド産業論—流動化するプラットフォーム・ビジネスにおける競争と規制—                                                                             | 岡田 羊祐            | 勁草書房                   | 2014 | 9,700  |
| 医療関係者のための Google & クラウド活用ガイド—Windows/Mac/iPad/iPhone/Androidで使える!—                                               | 丸山 康孝            | 中山書店                   | 2013 | 8,500  |
| クラウド技術とクラウドインフラ—黎明期から今後の発展へ—                                                                                     | 黒川 利明            | 共立出版                   | 2014 | 7,600  |
| ストレージ技術—クラウドとビッグデータの時代 = Storage technology—                                                                     | 喜連川 優            | オーム社                   | 2015 | 9,700  |
| Dropbox（できるポケット+）                                                                                                | コグレ、マサト          | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2011 | 1,900  |
| Windows Azure Packプライベートクラウド構築ガイド—Windows Azure PackとHyper-Vを使った仮想マシン提供サービスを手順を追って詳細に解説!—（Think IT Books）        | 樋口 勝一            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 8,300  |
| Google Driveを使った業務データ移行入門（Think IT Books）                                                                        | 清野 克行            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,700  |
| SoftLayerシステム構築実践ガイド（Think IT Books）                                                                             | 日本SoftLayerユーザー会 | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,000  |
| VMware Horizon導入実践ガイド—モバイルクラウド時代のワークスタイル変革 = Practical guide to VMware Horizon implementation—（Impress top gear） | 大谷 篤志            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 14,900 |
| Amazon Web Services入門—企業システムへの導入障壁を徹底解消—                                                                         | 加藤 章             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2014 | 6,600  |
| 無料ではじめるWindows Azure × WordPress超入門—クラウド上にWebサイトを構築しよう!—                                                         | 戸倉 彩             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2013 | 3,800  |
| Googleドキュメント—Chromebookビジネス活用術—（仕事で使える!）                                                                         | 深川 岳志            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Googleスプレッドシート—Chromebookビジネス活用術—（仕事で使える!）                                                                       | 丹羽 国彦            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Googleカレンダー—Chromebookビジネス活用術—（仕事で使える!）                                                                          | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Google Apps 導入編—次世代クラウドグループウェアの全貌—（仕事で使える!）                                                                      | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Gmail—クラウドメール徹底活用術—（仕事で使える!）                                                                                     | 深川 岳志            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Googleフォーム—Webフォーム&アンケート活用術—（仕事で使える!）                                                                            | 丹羽 国彦            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Googleドライブ—クラウドストレージ徹底活用術—（仕事で使える!）                                                                              | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Chromeアプリ徹底活用—シナリオ別厳選アプリ挙解説—（仕事で使える!）                                                                            | 深川 岳志            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Googleクラウド会議術—会議スタイル・イノベーションガイド—（仕事で使える!）                                                                        | 樋口 剛             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Google Apps セキュリティー解説編—次世代クラウドセキュリティの全貌—（仕事で使える!）                                                                | 樋口 剛             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Google!ハングアウト—クラウドコミュニケーション徹底活用術—（仕事で使える!）                                                                       | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Googleサイト—クラウド時代のポータル構築術—（仕事で使える!）                                                                               | 丹羽 国彦            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Chromebook 設定 & 応用編—クラウド活用ワークスタイル導入ガイド—（仕事で使える!）                                                                 | 小林 直史            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,700  |
| Chromebook—ビジネスマンのクラウド活用ガイド—2015年7月最新改訂版（仕事で使える!）                                                                | 深川 岳志            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Chromebook ビジネス活用編—クラウド時代のパソコン管理術—（仕事で使える!）                                                                      | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Google Apps 脱MS Office編—コスト削減ライセンス最適化ガイド—（仕事で使える!）                                                               | 樋口 剛             | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 4,000  |
| Chromeデジタルサイネージ—IoTで変わるデジタル広告ビジネス—（仕事で使える!）                                                                      | 小林 直史            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Google Apps モバイルデバイス管理編—BYOD実践ガイド!Android for Work対応版—（仕事で使える!）                                                  | 佐藤 芳樹            | インプレスR&D／インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |

|                                                                                                                      |                 |                        |      |        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------|------|--------|
| Googleサイト 活用編 ―Webサイト&Googleアナリティクス運用術―(仕事で使える!)                                                                     | 松田 篤之           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Googleスライド クラウド時代のプレゼンテーション活用術―(仕事で使える!)                                                                             | 丹羽 国彦           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Windows10 ―Googleの提唱する100%Web実践ガイド―(仕事で使える!)                                                                         | 佐藤 芳樹           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| はじめてのChromebook クラウドで全部作業できるパソコンの第一歩―(New thinking and new ways)                                                     | 一条 真人           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,400  |
| Chrome・Chromebook定番「拡張機能」セクションズ (New thinking and new ways)                                                          | 武井 一巳           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 2,000  |
| Dropbox基本&便利技 (今すぐ使えるかんたんAmini)                                                                                      | リンクアップ          | 技術評論社                  | 2012 | 2,000  |
| iCloud(アイクラウド)基本&便利技 (今すぐ使えるかんたんAmini)                                                                               | リンクアップ          | 技術評論社                  | 2012 | 2,200  |
| iCloud基本&便利技 ―iOS対応版―(今すぐ使えるかんたんAmini)                                                                               | リンクアップ          | 技術評論社                  | 2014 | 2,200  |
| Amazon Web Servicesネットワーク入門 ―初めて作るクラウドインフラ: introducing Amazon Virtual Private Cloud connectivity―(Impress top gear) | 大澤 文孝           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 8,300  |
| クラウドHACKS! ―同期と共有でラクチン・ノマドワークスタイル―                                                                                   | 小山 龍介           | 東洋経済新報社                | 2010 | 3,300  |
| クラウド&データセンター完全ガイド 2017年夏号 ―戦略的ITインフラがビジネスを強くする: for digital transformation―(Impress mook)                            |                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,600  |
| クラウド&データセンター完全ガイド 2017年秋号 ―クラウド & データ センター カンゼン ガイド―(Impress mook)                                                   |                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,600  |
| 洪庵のくすり箱                                                                                                              | 米田 該典           | 大阪大学出版会                | 2001 | 3,900  |
| Microsoft Azure実践ガイド ―オンプレミスからクラウドへ―(impress top gear)                                                               | 真壁 徹            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 11,600 |
| クラウド&データセンター完全ガイド (No. 59 2018年冬号)                                                                                   |                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,600  |
| プログラマのためのGoogle Cloud Platform入門 ―サービスの全体像からクラウドネイティブアプリケーション構築まで―                                                   | 阿佐 志保           | 翔泳社                    | 2017 | 9,900  |
| クラウド&データセンター完全ガイド 2018年春号 ―戦略的ITインフラがビジネスを強くする: for digital transformation―(Impress mook)                            |                 | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 6,600  |
| Jw_cad/ハンドブック困った!&便利技176 (できるポケット)                                                                                   | 稲葉 幸行           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,900  |
| サービス工学の技術 ―ビッグデータの活用と実践―                                                                                             | 本村 陽一           | 東京電機大学出版局              | 2012 | 7,200  |
| ビッグデータ時代のライフログ ―ICT社会の「人の記憶」―                                                                                        | 安岡 寛道           | 東洋経済新報社                | 2012 | 5,300  |
| ビッグデータ入門 一分析から価値を引き出すデータサイエンスの時代へ: いま必要知識が3時間で身につく―(できるポケット)                                                         | 小林 孝嗣           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 2,300  |
| フロンタル/ビッグデータサイエンス入門―基本概念からマイニング技術、応用まで―                                                                              | 石川 博            | コロナ社                   | 2014 | 13,900 |
| ビッグデータ時代のゲノムクス情報処理                                                                                                   | 北上 始            | コロナ社                   | 2014 | 12,300 |
| ディープラーニング/ビッグデータ機械学習 ―あるいはその心理学―                                                                                     | 浅川 伸一           | 新曜社                    | 2015 | 4,000  |
| ビッグデータ・リトルデータ・ノーデータ ―研究データと知識インフラ―                                                                                   | クリスティン L.ボーグマン  | 勁草書房                   | 2017 | 13,800 |
| スマートグリッド・エコミクス ―フィールド実験・行動経済学・ビッグデータが拓くエネルギー政策―                                                                      | 依田 高典           | 有斐閣                    | 2017 | 9,300  |
| FinTechは保険業界の「何」を変えるのか? ―「AI+ビッグデータ」がもたらす金融イノベーション―                                                                  | 藤井 秀樹           | 東洋経済新報社                | 2017 | 5,000  |
| IoT時代のビッグデータビジネス革命 ―新スマートシティ創造のための実践的活用術―                                                                            | 岡村 久和           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 6,600  |
| Hadoopクラスター構築実践ガイド ―ビッグデータ分析基盤の構築事例集―(impress top gear)                                                              | 古賀 政純           | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 11,300 |
| インターンシップで志望の業界・職種に内定する方法                                                                                             | 太田 智文           | 東洋経済新報社                | 2009 | 3,200  |
| インターンシップ ―キャリア形成に資する就業体験―第2版                                                                                         | 古閑 博美           | 学文社                    | 2015 | 6,300  |
| 就職四季報企業研究・インターンシップ版 2019年版 (※)                                                                                       | 東洋経済新報社         | 東洋経済新報社                | 2017 | 4,700  |
| インターンシップ 2020年度版 ―仕事のポイントを知る!見る!考える!―(内定獲得のメソッド)                                                                     | 岡 茂信            | マイナビ                   | 2018 | 4,300  |
| ビジネス実務総論 改訂版(ビジネスシリーズ)                                                                                               | 森脇 道子           | 実教出版                   | 2011 | 6,100  |
| ビジネス能力検定ジョブパス2級 2013年度版 ―要点と演習―                                                                                      | ビジネス能力検定研究会     | 実教出版                   | 2013 | 5,300  |
| ビジネス能力検定ジョブパス3級 2013年度版 ―要点と演習―                                                                                      | ビジネス能力検定研究会     | 実教出版                   | 2013 | 4,400  |
| 5万店もあるんだからコンビニで起業しなさい                                                                                                | 三橋 一公           | 商業界                    | 2013 | 5,000  |
| マイファーム荒地からの挑戦 ―農と人をつなぐビジネスで社会を変える―                                                                                   | 西辻 一真           | 学芸出版社                  | 2012 | 5,300  |
| 俺のフィロソフィ ―仕組みが勝って、人で優勝する俺のイタリアンの成功哲学―                                                                                | 坂本 業            | 商業界                    | 2014 | 5,000  |
| アントレプレナーシップ入門 ―ベンチャーの創造を学ぶ― Introduction to entrepreneurship : understanding new venture creation (有斐閣ストウディア) (※)    | 忽那 憲治           | 有斐閣                    | 2013 | 4,000  |
| 経営人材を育てる! ―CEO人材欠乏症の日本を変える―                                                                                          | 廣瀬敬宏・オホシノベ・スーケル | 慶應義塾大学出版会              | 2013 | 5,600  |
| 中国中小企業の起業・経営・人材管理 ―民営化企業の多様化に迫る―(現代中国地域研究叢書 9)                                                                       | 北 蕾             | 勁草書房                   | 2014 | 12,100 |
| イタリアの起業家ネットワーク ―産業集積プロセスとしてのスピノツフの連鎖―                                                                                | 稲垣 京輔           | 白桃書房                   | 2003 | 8,700  |
| 起業革命 ―「スタートアップ」のプロが伝授する事業創出のノウハウ―                                                                                    | エム・A・P・事業開発ワループ | 東洋経済新報社                | 2011 | 3,300  |
| ベンチャー経営論 (はじめての経営学) (※)                                                                                              | 長谷川 博和          | 東洋経済新報社                | 2018 | 6,600  |
| 会社をつくれば自由になれる ―中年起業という提案―(しごとのわ)                                                                                     | 竹田 茂            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 4,800  |
| ベシック経営学辞典                                                                                                            | 片岡 信之           | 中央経済社                  | 2004 | 4,290  |
| 経営学入門 (経営学イノベーション 1)                                                                                                 | 十川 廣國           | 中央経済社                  | 2006 | 3,630  |
| 経営戦略論 (経営学イノベーション 2)                                                                                                 | 十川 廣國           | 中央経済社                  | 2006 | 3,630  |
| 経営組織論 (経営学イノベーション 3)                                                                                                 | 十川 廣國           | 中央経済社                  | 2006 | 3,630  |
| 現代経営学の再構築 ―普遍経営学への小歩― 第2版                                                                                            | 岩森 龍夫           | 東京電機大学出版局              | 2002 | 13,300 |
| 経営・商学系大学院生のための論文作成ガイドブック 改訂版                                                                                         | 片岡 信之           | 文眞堂                    | 2010 | 3,600  |

|                                                           |                 |           |      |        |
|-----------------------------------------------------------|-----------------|-----------|------|--------|
| 経営哲学を展開する ―株主市場主義を超えて―                                    | 京都大学京セラ経営哲学寄附講座 | 文眞堂       | 2009 | 5,000  |
| 実践経営学 (講座/経営教育 1)                                         | 日本経営教育学会        | 中央経済社     | 2009 | 10,500 |
| テイラー (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 1)                           | 中川 誠士           | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| ファョール ―ファョール理論とその継承者たち―(経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 2)         | 佐々木 恒男          | 文眞堂       | 2011 | 4,400  |
| メイヨ―レスリスバーガー ―人間関係論―(経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 3)            | 吉原 正彦           | 文眞堂       | 2013 | 4,400  |
| フォレット (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 4)                          | 三井 泉            | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| バリー・ミンズ (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 5)                        | 三井 浩            | 文眞堂       | 2013 | 4,400  |
| バーナード (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 6)                          | 藤井 一弘           | 文眞堂       | 2011 | 4,400  |
| サイモン (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 7)                           | 田中 政光           | 文眞堂       | 2011 | 4,400  |
| ウードワード (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 8)                         | 岸田 民樹           | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| アンソフ (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 9)                           | 麻本 佳和           | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| ドラッカー (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 10)                         | 河野 大樹           | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| ―ツグワツニュー―経営共同体の思想―(経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 11)             | 田中 照純           | 文眞堂       | 2012 | 4,400  |
| グーテンベルク (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 12)                       | 海道 ノブチカ         | 文眞堂       | 2013 | 4,400  |
| 日本の経営学説 1 (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 13)                     | 小笠原 英司          | 文眞堂       | 2013 | 4,400  |
| 日本の経営学説 2 (経営学史叢書: 経営学史学会創立20周年記念 14)                     | 片岡 信之           | 文眞堂       | 2013 | 4,400  |
| 経営学史事典 ―経営学史学会創立20周年記念― 第2版                               | 経営学史学会          | 文眞堂       | 2012 | 6,600  |
| 基礎と応用で学ぶ経営学 ―ひとつの国際比較―                                    | 高橋 由明           | 文眞堂       | 2006 | 5,500  |
| 企業の本質 (専門基礎ライブラリー・経営学: 1)                                 | 周佐 喜和           | 実教出版      | 2009 | 4,200  |
| グローバル・環境・情報化社会とマネジメント (専門基礎ライブラリー・経営学: 2)                 | 周佐 喜和           | 実教出版      | 2009 | 4,200  |
| グローバル化の経営学 (専門基礎ライブラリー)                                   | 丹野 勲            | 実教出版      | 2007 | 5,500  |
| 経営学 新版 (専門基礎ライブラリー)                                       | 高柳 暁            | 実教出版      | 2006 | 5,500  |
| 中国哲学と現代科学 ―氣と理に導かれた「正しい経営」―                               | 唐澤 昌敬           | 慶應義塾大学出版会 | 2013 | 4,800  |
| ドラッカー、その思想                                                | 三戸 公            | 文眞堂       | 2011 | 6,200  |
| ヤバい経営学 ―世界のビジネスで行われている不都合な真実―                             | フリーク・ヴァーミューレン   | 東洋経済新報社   | 2013 | 3,600  |
| はじめての経営学                                                  | 東洋経済新報社         | 東洋経済新報社   | 2013 | 2,700  |
| 新しい市場のつくりかた ―明日のための「余談の多い」経営学―                            | 三宅 秀道           | 東洋経済新報社   | 2012 | 4,400  |
| 企業の経済学 ―構造と成長―                                            | 中林 真幸           | 有斐閣       | 2014 | 12,600 |
| ドラッカーと論語                                                  | 安富 歩            | 東洋経済新報社   | 2014 | 3,600  |
| 動物園マネジメント ―動物園から見てくる経営学―                                  | 児玉 敏一           | 学文社       | 2013 | 8,600  |
| 経営変革と組織ダイナミズム ―組織アライメントの研究―(早稲田大学学術叢書 9)                  | 鈴木 勘一郎          | 早稲田大学出版部  | 2011 | 7,300  |
| 人生を変えるMBA ―「神戸方式」で学ぶ最先端の経営学―                              | 神戸大学専門職大学院      | 有斐閣       | 2015 | 6,000  |
| 農業経営学の現代的眺望                                               | 李 載法            | 日本経済評論社   | 2014 | 7,600  |
| はじめて学ぶ人のための経営学 第3版                                        | 片岡 信之           | 文眞堂       | 2015 | 5,500  |
| 地方のための経営学 ―高知発、地域ビジネス創造から事業化へ―                            | 桂 信太郎           | 千倉書房      | 2015 | 5,000  |
| 経営学で考える = Managementthink (※)                             | 高橋 伸夫           | 有斐閣       | 2015 | 7,100  |
| 戦略・起業・イノベーション (アントレプレナーの経営学 1)                            | エリック・ボール        | 慶應義塾大学出版会 | 2016 | 11,200 |
| リーダーシップ・組織・新トピックス (アントレプレナーの経営学 2)                        | エリック・ボール        | 慶應義塾大学出版会 | 2016 | 9,900  |
| 経営学と組織論の探究 ―松本芳男論文集―                                      | 松本 芳男           | 学文社       | 2016 | 16,500 |
| 自治会・町内会の経営学 ―21世紀の住民自治発展のために―                             | 石栗 伸郎           | 文眞堂       | 2016 | 6,100  |
| 経営倫理とプラグマティズム ―ジョン・デューイの思想に依拠した序説的考察―(文眞堂現代経営学選集 第II期第8巻) | 岩田 浩            | 文眞堂       | 2016 | 8,200  |
| 経営学と文明の転換 ―知識経営論の系譜とその批判的研究―(文眞堂現代経営学選集 第II期第9巻)          | 藤沼 司            | 文眞堂       | 2015 | 6,000  |
| 回転寿司の経営学                                                  | 米川 伸生           | 東洋経済新報社   | 2011 | 3,600  |
| 経営を見る眼 ―日々の仕事の意味を知るための経営入門―                               | 伊丹 敬之           | 東洋経済新報社   | 2007 | 3,600  |
| 使える経営学                                                    | 杉野 幹人           | 東洋経済新報社   | 2014 | 3,600  |
| 経営学を学んでいないドクターのためのクリニック成功マニュアル                            | 梅岡 比佐           | 中外医学社     | 2016 | 5,900  |
| 経営の経済学 = Business economics 第3版 (※)                       | 丸山 雅祥           | 有斐閣       | 2017 | 6,600  |
| 経営の解釈学                                                    | 稲垣 保弘           | 白桃書房      | 2013 | 8,000  |
| 仕事の経営学 ―職務の機能と進路を考える―                                     | 川村 稲造           | 白桃書房      | 2012 | 6,300  |
| 事例で学ぶ経営学 改訂版                                              | 今口 忠昭           | 白桃書房      | 2012 | 6,800  |
| 経営学講義 新訂版                                                 | 板倉 宏昭           | 勁草書房      | 2017 | 11,900 |
| 経営者のための企業広報 ―松下幸之助などに学ぶ原点と時代感覚―                           | 杉田 芳夫           | 丸善出版      | 2003 | 4,400  |
| 渋沢栄一―の企業者活動の研究 ―戦前期企業システムの創出と出資者経営者の役割―                   | 島田 昌和           | 日本経済評論社   | 2007 | 7,200  |
| 小山昇健から会社のつくり方 ―中小企業のカリスマ経営者: 日本経営品質賞二冠「武蔵野」徹底解剖!―         |                 | 商業界       | 2012 | 5,300  |
| 経営者論 (講座/経営教育 2)                                          | 日本経営教育学会        | 中央経済社     | 2009 | 11,800 |
| プロフェッショナルリーダーの教科書 ―危機を乗り越え、勝ち続けるための鉄則―                    | 経営者ブートキャンプ      | 東洋経済新報社   | 2011 | 3,300  |
| 経営支配とは何か ―日本版コーポレート・ガバナンス・コードとは―                          | 今井 祐            | 文眞堂       | 2014 | 5,500  |
| 超顧客主義 ―顧客を超える経営者たちに学ぶ―                                    | 片平 秀貴           | 東洋経済新報社   | 2003 | 4,900  |
| 企業家学のすすめ (※)                                              | 宮本 又郎           | 有斐閣       | 2014 | 8,400  |
| 経営戦略としての事業継続マネジメント ―予測不能な危機に強い組織づくりのための経営者の役割―            | KPMGビジネスアドバイザー  | 東洋経済新報社   | 2013 | 7,500  |
| 企業不祥事の研究 ―経営者の視点から不祥事を見る―                                 | 井上 泉            | 文眞堂       | 2015 | 4,900  |
| 経営者自己統治論 ―社会に信頼される企業の形成―                                  | 平田 光弘           | 中央経済社     | 2008 | 11,000 |
| 危機にこそ、経営者は戦わなければならない ―言い訳をしない実践経営学: best selection―       | 金川 千尋           | 東洋経済新報社   | 2011 | 3,600  |
| 「好き嫌い」と経営                                                 | 楠木 建            | 東洋経済新報社   | 2014 | 3,600  |
| アクション・バイアス ―自分を変え、組織を動かすためになすべきこと―                        | ハイク・ブルック        | 東洋経済新報社   | 2015 | 4,000  |

|                                                                                   |                              |            |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------|------|--------|
| 「好き嫌い」と才能<br>経営者のための実践コーポレートガバナンス入門 ―稼ぐ力を取り戻す!― (※)                               | 楠木 建                         | 東洋経済新報社    | 2016 | 4,000  |
| 情熱商人 ―ドン・キホーテ創業者の革命的小売経営論―                                                        | 安田 隆夫                        | 商業界        | 2013 | 5,300  |
| アメーバ経営論 ―ミニ・プロフィットセンターのメカニズムと導入―                                                  | 三失 裕                         | 東洋経済新報社    | 2003 | 7,700  |
| 競争戦略論 第2版 (Hitotsubashi Business Review books)                                    | 青島 矢一                        | 東洋経済新報社    | 2012 | 5,800  |
| 会社と社会を幸せにする健康経営                                                                   | 田中 滋                         | 勁草書房       | 2010 | 8,600  |
| 資源ベースの経営戦略論                                                                       | デビッド・J. コリス                  | 東洋経済新報社    | 2004 | 8,400  |
| 戦略経営論                                                                             | ガー・サローナー                     | 東洋経済新報社    | 2002 | 10,600 |
| Excelで学ぶAHP入門 ―問題解決のための階層分析法―                                                     | 高萩 栄一郎                       | オーム社       | 2005 | 6,600  |
| よくわかるAHP ―孫子の兵法の戦略モデル―                                                            | 木下 栄蔵                        | オーム社       | 2006 | 7,700  |
| Excelで学ぶ意思決定論                                                                     | 柏木 吉基                        | オーム社       | 2006 | 8,800  |
| 意思決定のためのリスクマネジメント                                                                 | 榎本 徹                         | オーム社       | 2011 | 7,000  |
| プロの資料作成力 ―意思決定者を動かすテクニックとおもてなしの心―                                                 | 清水 久三子                       | 東洋経済新報社    | 2012 | 4,000  |
| 意思決定のマネジメント (Hitotsubashi Business Review books)                                  | 長瀬 勝彦                        | 東洋経済新報社    | 2008 | 5,300  |
| 不確実性下の意思決定理論                                                                      | イツァーク・ギルボア                   | 勁草書房       | 2014 | 11,700 |
| 情報ネットワークによる組織の意思決定                                                                | 城川 俊一                        | 東洋大学出版会    | 2017 | 8,800  |
| AHPとコンジョイント分析                                                                     | 木下 栄蔵                        | 現代数学社      | 2004 | 7,500  |
| 定量分析の教科書 ―ビジネス数学力養成講座―                                                            | グロース                         | 東洋経済新報社    | 2016 | 5,800  |
| パズル理論 ―意思決定にみるジグソーパズル型と知恵の輪型―                                                     | 前川 佳一                        | 白桃書房       | 2013 | 7,300  |
| イノベーション・エコシステムと新成長戦略                                                              | 齊藤 茂樹                        | 丸善出版       | 2012 | 7,500  |
| スーパーマーケットのバリューイノベーション ―新しい価値創造―                                                   | 水元 均                         | 商業界        | 2010 | 5,300  |
| 東北からの挑戦 (地域発イノベーション 1)                                                            | 地域発イノベーション事例<br>調査研究プロジェクト   | 河北新報出版センター | 2012 | 4,700  |
| 東北企業の資源発掘・展開・発展 (地域発イノベーション 2)                                                    | 地域発イノベーション事例<br>調査研究プロジェクト   | 河北新報出版センター | 2013 | 4,700  |
| ソーシャルイノベーション ―地域公共圏のガバナンス―                                                        | 松行 康夫                        | 丸善出版       | 2011 | 8,000  |
| ビジネスモデルイノベーション ―知を価値に転換する資産の戦略論―                                                  | 野中 郁次郎                       | 東洋経済新報社    | 2012 | 6,200  |
| 流れを経営する ―持続的イノベーション企業の動態理論―                                                       | 野中 郁次郎                       | 東洋経済新報社    | 2010 | 7,100  |
| 事業創成 ―イノベーション戦略の彼岸― (※)                                                           | 小林 敏男                        | 有斐閣        | 2014 | 4,700  |
| サービス・イノベーション ―価値共創と新技術導入― (※)                                                     | 南 知恵子                        | 有斐閣        | 2014 | 5,100  |
| イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット ―特集― (経営教育研究 v. 19<br>no. 1)                           | 日本マネジメント学会機<br>関誌委員会         | 学文社        | 2016 | 6,600  |
| 財政、公共政策、イノベーション、経済成長 (応用経済学シリーズ・トピックス応用経<br>済学: 2 第3巻)                            | 青木 玲子                        | 勁草書房       | 2015 | 15,400 |
| コンテンツ産業とイノベーション ―テレビ・アニメ・ゲーム産業の集結―                                                | 半澤 誠司                        | 勁草書房       | 2016 | 11,700 |
| 図解&事例で学ぶイノベーションの教科書                                                               | カデナクリエイト                     | マイナビ       | 2015 | 4,100  |
| イノベーション―活性化のための方策―                                                                | 後藤 晃                         | 東洋経済新報社    | 2016 | 5,800  |
| 流通イノベーションへの挑戦                                                                     | 田口 冬樹                        | 白桃書房       | 2016 | 7,300  |
| モノづくり企業の技術経営 ―事業システムのイノベーション能力―                                                   | 山田 基成                        | 中央経済社      | 2010 | 7,500  |
| グローバル・イノベーションのマネジメント ―日本企業の海外研究開発活動を中心と<br>して―                                    | 岩田 智                         | 中央経済社      | 2007 | 8,000  |
| イノベーション・マネジメント ―プロセス・組織の構造化から考える―                                                 | 野城 智也                        | 東京大学出版会    | 2016 | 8,000  |
| イノベーション時代の競争政策 ―研究・特許・プラットフォームの法と経済―                                              | 小田切 宏之                       | 有斐閣        | 2016 | 9,300  |
| サービスサイエンス ―新時代を拓くイノベーション経営を目指して―                                                  | 北原光典科学技術大学<br>院工学MATコース編集委員会 | エヌ・ティ・エス   | 2007 | 4,200  |
| データ市場 ―データを活かすイノベーションゲーム―                                                         | 大澤 幸生                        | 近代科学社      | 2017 | 11,600 |
| イノベーションとは何か                                                                       | 池田 信夫                        | 東洋経済新報社    | 2011 | 4,400  |
| 非連続イノベーションへの解 ―研究開発型産業のR&D生産性向上の鍵―                                                | 小久保 欣哉                       | 白桃書房       | 2017 | 8,500  |
| 企業家活動でたどるサステイナブル経営史 ―CSR経営の先駆者に学ぶ― (法政大<br>学イノベーション・マネジメント研究センター叢書 11)            | 長谷川 直哉                       | 文眞堂        | 2016 | 5,500  |
| アライアンス・イノベーション ―大企業とベンチャー企業の提携: 理論と実際―                                            | 中村 裕一郎                       | 白桃書房       | 2013 | 8,500  |
| ソーシャル・ネットワークとイノベーション戦略 ―組織からコミュニティのデザインへ―                                         | 中野 勉                         | 有斐閣        | 2017 | 8,600  |
| オープン・イノベーションの衝撃 (一橋ビジネスレビュー 60巻2号(2012AUT.))                                      | 一橋大学イノベーション研<br>究センター        | 東洋経済新報社    | 2012 | 4,400  |
| 新会社法と中小会社会計                                                                       | 武田 隆二                        | 中央経済社      | 2006 | 4,290  |
| 会計基準の国際的統一 ―国際会計基準への各国の対応―                                                        | 平松 一夫                        | 中央経済社      | 2005 | 6,930  |
| 新現代会計学の基礎                                                                         | 新井 益太郎                       | 実教出版       | 2001 | 7,700  |
| 企業と会計 = Business & accounting                                                     | 水口 剛                         | 税務経理協会     | 2011 | 5,800  |
| 24週間で独学合格!公認会計士試験[O秘]学習法 ―東大首席が明かす公認会計士<br>試験の最短合格法!―                             | 中尾 宏規                        | 税務経理協会     | 2010 | 3,100  |
| グローバルキャリアをめざせUSCPA米国公認会計士合格へのパスポート                                                | 三輪 豊明                        | 税務経理協会     | 2013 | 2,500  |
| 入門会計学 ―財務諸表を読むためのエッセンス― (専門基礎ライブラリー)                                              | 片山 寛                         | 実教出版       | 2009 | 5,300  |
| 図解による簿記・会計・財務のしくみ 第2版                                                             | 阿部 健夫                        | 自由国民社      | 2013 | 5,000  |
| 管理会計の理論と実務 ―大手民鉄とゼネコンの管理会計システム―                                                   | 片岡 健治                        | 税務経理協会     | 2013 | 7,400  |
| 領収書1枚で経理セン스가身につく本 ―なぜニンジンが会議費に化けるのか?―                                             | 梅田 泰宏                        | 東洋経済新報社    | 2009 | 3,300  |
| 会計学はどこで道を間違えたのか                                                                   | 田中 弘                         | 税務経理協会     | 2013 | 6,900  |
| 仕事に使える会計知識が身につく本 (「1秒」で財務諸表を読む方法)                                                 | 小宮 一慶                        | 東洋経済新報社    | 2008 | 3,300  |
| 会計知識を使って経済や企業戦略を読み解く本 (「1秒」で財務諸表を読む方法 企<br>業分析編)                                  | 小宮 一慶                        | 東洋経済新報社    | 2010 | 3,300  |
| 直観でわかる企業会計 = Understanding practical business accounting by an<br>intuitive sense | 國方 康任                        | 東洋経済新報社    | 2009 | 3,300  |
| 入門企業財務 ―戦略と実務―第4版                                                                 | 津森 信也                        | 東洋経済新報社    | 2011 | 6,400  |
| 会計ドレッシング ―10 episodes―                                                            | 村井 直志                        | 東洋経済新報社    | 2011 | 3,600  |
| 最新アメリカの会計原則                                                                       | あらた監査法人                      | 東洋経済新報社    | 2014 | 9,700  |
| 企業会計入門 ―考えて学ぶ― (※) ◆新版販売中(補訂版)                                                    | 齋藤 静樹                        | 有斐閣        | 2014 | 4,000  |

|                                                                                    |                       |                           |      |        |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------|------|--------|
| 財務会計・入門 ―企業活動を描き出す会計情報とその活用法―第10版(有斐閣ア<br>ルマ Basic) (※) ◆新版販売中(第12版)               | 桜井 久勝                 | 有斐閣                       | 2015 | 4,000  |
| はじめて出会う会計学 新版(有斐閣アルマInterest) (※)                                                  | 川本 淳                  | 有斐閣                       | 2015 | 4,400  |
| 企業会計入門 ―考えて学ぶ―補訂版 (※)                                                              | 齋藤 静樹                 | 有斐閣                       | 2016 | 4,000  |
| 会計学の基本問題                                                                           | 友岡 賛                  | 慶應義塾大学出版会                 | 2016 | 13,400 |
| 財務会計・入門 ―企業活動を描き出す会計情報とその活用法―第10版補訂(有斐<br>閣アルマ Basic) (※) ◆新版販売中(第7版)              | 桜井 久勝                 | 有斐閣                       | 2016 | 4,000  |
| 自己株式会計論                                                                            | 梶田 龍三                 | 白桃書房                      | 2001 | 9,300  |
| レピュテーション・マネジメント ―内部統制・管理会計・監査による評判の管理―                                             | 榎井 通晴                 | 中央経済社                     | 2008 | 7,500  |
| 現代フランス管理会計 ―会計、コントロール、ガバナンス = Comptabilité de gestion<br>française contemporaine―  | 大下 丈平                 | 中央経済社                     | 2009 | 8,000  |
| アメリカSECの会計政策 ―高品質で国際的な会計基準の構築に向けて―                                                 | 杉本 徳栄                 | 中央経済社                     | 2009 | 10,200 |
| 制度変化する会計学 ―会計基準のコンパジェンスを見ずして―                                                      | 藤井 秀樹                 | 中央経済社                     | 2007 | 7,500  |
| 社会的存在としての財務諸表監査                                                                    | 栗濱 竜一郎                | 中央経済社                     | 2011 | 7,500  |
| 会計制度の解明 ―ドイトとの比較による日本のグランドデザイン―                                                    | 坂本 孝司                 | 中央経済社                     | 2011 | 14,600 |
| M&Aの会計システム                                                                         | 藤田 敬司                 | 中央経済社                     | 2009 | 8,000  |
| 暖簾の会計 = Accounting for goodwill                                                    | 山内 咲                  | 中央経済社                     | 2010 | 11,000 |
| 知的資産の監査                                                                            | 池田 公司                 | 中央経済社                     | 2009 | 10,200 |
| 会計基準の整合性分析 ―実証研究との接点を求めて―                                                          | 米山 正樹                 | 中央経済社                     | 2008 | 8,000  |
| ゲーム理論で考える企業会計 ―会計操作・会計規制・会計制度―                                                     | 田村 威文                 | 中央経済社                     | 2011 | 7,500  |
| 品質コストの管理会計                                                                         | 梶原 武久                 | 中央経済社                     | 2008 | 7,500  |
| イギリスの暖簾と無形資産の会計                                                                    | 白石 和孝                 | 税務経理協会                    | 2003 | 8,400  |
| デリバティブ会計の論理                                                                        | 田口 聡志                 | 税務経理協会                    | 2005 | 11,100 |
| 会計Hacks! ―楽しんで資産を増やすお金のコツと習慣―                                                      | 小山 龍介                 | 東洋経済新報社                   | 2010 | 3,300  |
| アメリカの会計原則 2012年版                                                                   | あらた監査法人               | 東洋経済新報社                   | 2011 | 7,500  |
| IFRSのからくり (週刊東洋経済eビジネス新書 No.114)                                                   | 東洋経済新報社               | 東洋経済新報社                   | 2015 | 1,400  |
| 実践!会計力 (週刊東洋経済eビジネス新書 No.240)                                                      | 東洋経済新報社               | 東洋経済新報社                   | 2017 | 1,700  |
| 財務会計 第5版 (Hakuto accounting)                                                       | 平野 秀輔                 | 白桃書房                      | 2017 | 8,300  |
| 財務管理の基礎知識 ―財務諸表の見方から経営分析、管理会計まで―第3版                                                | 平野 秀輔                 | 白桃書房                      | 2017 | 5,200  |
| 図解一番はじめに読む時価・減損会計の本                                                                | 小澤 善哉                 | 東洋経済新報社                   | 2014 | 4,400  |
| 図解管理会計入門                                                                           | 渡辺 康夫                 | 東洋経済新報社                   | 2014 | 4,000  |
| アンソニー会計学入門 第2版                                                                     | ロバート・アンソニー            | 東洋経済新報社                   | 2007 | 6,200  |
| テキストアンソニー会計学                                                                       | ロバート・アンソニー            | 東洋経済新報社                   | 2016 | 9,300  |
| なぜ、会計嫌いのあいつが会社の数字に強くなった? ―図だけでわかる財務3表―                                             | 村上 裕太郎                | 東洋経済新報社                   | 2016 | 3,300  |
| スタンダード管理会計 第2版                                                                     | 小林 啓孝                 | 東洋経済新報社                   | 2017 | 10,600 |
| 政府・自治体・パブリックセクターの公監査基準                                                             | 鈴木 豊                  | 中央経済社                     | 2004 | 13,200 |
| 継続企業監査論 ―ゴーイング・コンサーン問題の研究―                                                         | 林 隆敏                  | 中央経済社                     | 2005 | 8,000  |
| 企業戦略評価の理論と会計情報                                                                     | 山本 達司                 | 中央経済社                     | 2002 | 8,400  |
| 財務会計・入門 ―企業活動を描き出す会計情報とその活用法―第11版(有斐閣ア<br>ルマ Basic) (※) ◆新版販売中(第12版)               | 桜井 久勝                 | 有斐閣                       | 2017 | 4,000  |
| 最新アメリカの会計原則 第2版                                                                    | PwCあらた                | 東洋経済新報社                   | 2017 | 15,200 |
| ケースでまなぶ財務会計 ―新聞記事のケースを通して財務会計の基礎をまなぶ―<br>第1版                                       | 永野 則雄                 | 白桃書房                      | 2013 | 6,800  |
| ストック・オプション会計                                                                       | 山下 克之                 | 白桃書房                      | 2013 | 8,800  |
| 最強の会計力 ―会社四季報から始める企業分析: 決定版―                                                       | 東洋経済新報社               | 東洋経済新報社                   | 2017 | 4,000  |
| 管理会計・入門 ―戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング―第4版(有斐<br>閣アルマ Basic) (※)                         | 浅田 孝幸                 | 有斐閣                       | 2017 | 5,100  |
| アカウンタビリティから経営倫理へ ―経済を超えるために―                                                       | 國部 克彦                 | 有斐閣                       | 2017 | 9,000  |
| 持株会社の実務 ―ホールディングカンパニーの経営・法務・財務・会計―第8版<br>(※)                                       | 發知 敏雄                 | 東洋経済新報社                   | 2018 | 11,900 |
| 飲食店経営者のためのかんたん確定申告 ―無料&かんたん&時短ワザならカシオの<br>HANJO会計で青色申告― (Impress mook)             | 安藤 由紀                 | インプレスR&Dインプレスビジ<br>ネスメディア | 2017 | 1,700  |
| 会計学原理                                                                              | 友岡 賛                  | 税務経理協会                    | 2012 | 7,400  |
| 「書斎の会計学」は適用するか                                                                     | 田中 弘                  | 税務経理協会                    | 2015 | 9,000  |
| BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)の導入で会社の経理は軽くて強くなる ―<br>アウトソーシング・経理標準化の手引き: speedy & strong― | CSアカウンティング            | 税務経理協会                    | 2015 | 4,500  |
| 新財務諸表論 第5版                                                                         | 田中 弘                  | 税務経理協会                    | 2015 | 10,100 |
| 正確な決算を早くラクに実現する経理の技30 ―1,000社以上を見てきた経理BPO会<br>社が教える―                               | 中尾 篤史                 | 税務経理協会                    | 2016 | 4,000  |
| 最近の粉飾 ―その実態と発見法―第7版                                                                | 井端 和男                 | 税務経理協会                    | 2016 | 9,000  |
| GDPも純利益も意欲で来る ―「賢者の会計学」と「愚者の会計学」―                                                  | 田中 弘                  | 税務経理協会                    | 2016 | 9,600  |
| グローバルキャリアをめざせUSCPA米国公認会計士合格へのパスポート 第3版                                             | 三輪 豊明                 | 税務経理協会                    | 2016 | 2,700  |
| 粉飾発見に役立つやさしい決算書の読み方 ―会計知識のない人の入門書―                                                 | 井端 和男                 | 税務経理協会                    | 2017 | 4,500  |
| 財務会計・入門 ―企業活動を描き出す会計情報とその活用法―第12版(有斐閣ア<br>ルマ Basic) (※)                            | 桜井 久勝                 | 有斐閣                       | 2018 | 4,000  |
| 日本の企業会計のゆくえ (一橋ビジネスレビュー 60巻1号(2012SUM.))                                           | 一橋大学イノベーション研<br>究センター | 東洋経済新報社                   | 2012 | 4,400  |
| なぜこの会社に人材が集まるのか ―10%の超優良企業だけがやっている〴〵人を幸せ<br>にする〴〵経営―                               | 坂本 光司                 | 商業界                       | 2013 | 5,200  |
| 社員とのトラブルを防ぐ人事労務の基本 ―あなたの手元にこの一冊―                                                   | 糸原 宏                  | 労働新聞社                     | 2013 | 7,200  |
| 採用担当者の心得 ―中小企業でも優秀な人材を採用できる!―(労新新書 001)                                            | 小石原 隆史                | 労働新聞社                     | 2013 | 2,100  |
| まる分かり平成24年改正高年齢者雇用安定法 ―運用指針確定版―                                                    | 労働新聞社                 | 労働新聞社                     | 2012 | 1,400  |
| HRMマスターコース ―人事スペシャリスト養成講座―                                                         | 須田 敏子                 | 慶應義塾大学出版会                 | 2005 | 8,500  |



|                                                     |                 |             |      |        |
|-----------------------------------------------------|-----------------|-------------|------|--------|
| 事例でわかる問題社員への対応アドバイス                                 | 戸原 一郎           | 新日本法規出版     | 2013 | 6,600  |
| 健かりたければ女性の力を借りなさい                                   | 小山 昇            | 商業界         | 2014 | 5,000  |
| 承認欲求 ―「認められたい」をどう活かすか?―                             | 太田 肇            | 東洋経済新報社     | 2007 | 3,600  |
| 認め上手 ―人を動かす53の知恵―                                   | 太田 肇            | 東洋経済新報社     | 2009 | 3,100  |
| 人事と法の対話 ―新たな融合を目指して― (※)                            | 守島 基博           | 有斐閣         | 2013 | 4,200  |
| 非正規社員をめぐるトラブル相談ハンドブック                               | 非正規社員問題研究会      | 新日本法規出版     | 2015 | 5,000  |
| 労働契約と就業規則のしくみ ―図解で早わかり：最新版―                         | 小島 彰            | 三修社         | 2013 | 3,000  |
| 人的資源管理の基本 新版第2版                                     | 白木 三秀           | 文眞堂         | 2015 | 5,500  |
| 企業のための外国人雇用実務ガイド ―在留資格取得のポイントと労務管理―                 | 佐藤 正巳           | 法研          | 2014 | 2,200  |
| 新しい人事労務管理 第5版(有斐閣アルマ Specialized) (※)               | 佐藤 博樹           | 有斐閣         | 2015 | 4,400  |
| ワーク・ライフ・バランスと働き方改革                                  | 佐藤 博樹           | 勁草書房        | 2011 | 7,500  |
| 日本の雇用慣行は変化しているのか ―本社人事部の役割― (慶應義塾大学産業研究所叢書)         | 一守 靖            | 慶應義塾大学出版会   | 2016 | 14,200 |
| 「履修履歴」面接 ―導入、質問、評価のすべて―                             | 辻 太一朗           | 東洋経済新報社     | 2015 | 4,000  |
| 労務専門弁護士が教えるSNS・ITをめぐる雇用管理 ―Q&Aとポイント・書式例―            | 小山 博章           | 新日本法規出版     | 2016 | 5,500  |
| 組織的管理から自律的管理へ ―キャリア開発による新しい管理論の試み―                  | 岡本 英嗣           | 白桃書房        | 2010 | 6,900  |
| 風を起す社員の鍛え方 ―「諦めない勇気、やりきる信念」を育てる―                    | 中島 弘明           | ダイヤモンド社     | 2015 | 3,000  |
| 時代を勝ち抜く人材採用                                         | 武井 繁            | ダイヤモンド社     | 2015 | 3,000  |
| 「不良」社員が会社を伸ばす                                       | 太田 肇            | 東洋経済新報社     | 2010 | 2,900  |
| ワーク・ルールズ! ―君の生き方とリーダーシップを変える―                       | ラズロ・ボック         | 東洋経済新報社     | 2015 | 4,400  |
| 労働法で人事に新風を                                          | 大内 伸哉           | 商事法務        | 2016 | 3,800  |
| 日本型人事管理 ―進化型の発生プロセスと機能性―                            | 平野 光俊           | 中央経済社       | 2006 | 7,100  |
| Q&A有期契約労働者の無期転換ルール                                  | 別城 信太郎          | 新日本法規出版     | 2017 | 4,200  |
| 女性社員の労務相談ハンドブック ―女性活躍推進法・改正育児介護休業法対応―               | 山浦 美紀           | 新日本法規出版     | 2017 | 4,000  |
| 「日系人」活用戦略論 ―ブラジル事業展開における「バウンダリー・スパーナー」としての可能性―      | 古沢 昌之           | 白桃書房        | 2013 | 8,500  |
| 人材イノベーション ―ワーク・ライフ施策、組織コミットメントおよび企業業績―              | 威 恵善            | 白桃書房        | 2013 | 9,700  |
| グローバル人材獲得戦略ハンドブック ―成果を挙げる人材を見極める「究極の質問」― (※)        | ルー・アドラー         | 東洋経済新報社     | 2017 | 8,000  |
| モテる会社の人事のしくみ ―給料で社員は口説けない―                          | 高山 正            | 税務経理協会      | 2017 | 5,100  |
| 経験から学ぶ人的資源管理 新版(有斐閣ブックス 456) (※)                    | 上林 憲雄           | 有斐閣         | 2018 | 6,200  |
| ICTだけじゃない富士通の働き方改革 ―社員がやりがいを持って働ける職場環境の実現―          | 富士通エフ・オー・エム株式会社 | 富士通エフ・オー・エム | 2018 | 3,800  |
| 中国現地法人の労務管理Q&A                                      | 尹 秀鍾            | 慶應義塾大学出版会   | 2018 | 9,300  |
| 金融と法 ―企業ファイナンス入門―                                   | 大塚 尚司           | 有斐閣         | 2010 | 11,000 |
| 金融危機の本質は何か ―ファイナンス理論からのアプローチ―                       | 野口 悠紀雄          | 東洋経済新報社     | 2009 | 4,000  |
| 企業金融講義                                              | 岩村 充            | 東洋経済新報社     | 2005 | 9,300  |
| 数理ファイナンス (大学数学の世界 2)                                | 楠岡 成雄           | 東京大学出版会     | 2015 | 9,900  |
| 確率微分方程式入門 ―数理ファイナンスへの応用― (数学のかんどころ 26)              | 石村 直之           | 共立出版        | 2014 | 6,300  |
| Yahoo!ファイナンスで速攻決算書分析                                | 坂本 剛            | 中央経済社       | 2014 | 2,900  |
| 国際ビジネス・ファイナンス (アントレプレナーの経営学 3)                      | エリック・ボール        | 慶應義塾大学出版会   | 2016 | 9,900  |
| なっとくする数理ファイナンス                                      | 森 真             | 講談社         | 2001 | 6,000  |
| ファイナンスにおける数値計算手法の新展開 (ジャフィー・ジャーナル：金融工学と市場計量分析)      | 日本金融・証券計量・工学学会  | 朝倉書店        | 2016 | 11,300 |
| 金融市場の高頻度データ分析 ―データ処理・モデリング・実証分析― (ファイナンス・ライブラリー 13) | 林 高樹            | 朝倉書店        | 2016 | 12,300 |
| ビジネスマンのためのファイナンス入門 ―55のキーワードで基礎からわかる―               | 山沢 光太郎          | 東洋経済新報社     | 2004 | 4,900  |
| 入門ビジネス・ファイナンス                                       | 西山 茂            | 東洋経済新報社     | 2008 | 4,400  |
| 財務マネジメントの基本と原則 ―これ一冊で「使えるファイナンス」の真髄が身に付く―           | デイビッド・メッキン      | 東洋経済新報社     | 2008 | 4,400  |
| 確率制御の基礎と応用 (ファイナンス・ライブラリー 14)                       | 辻村 元男           | 朝倉書店        | 2016 | 9,900  |
| ファイナンス法大全 上                                         | 西村総合法律事務所       | 商事法務        | 2003 | 10,200 |
| ファイナンス法大全 下                                         | 西村総合法律事務所       | 商事法務        | 2003 | 10,200 |
| ファイナンス法大全アップデート = Corpus juris finance              | 西村ときわ法律事務所      | 商事法務        | 2006 | 9,500  |
| ファイナンス法 ―金融法の基礎と先端金融取引のエッセンス―                       | 酒井 俊和           | 商事法務        | 2016 | 7,500  |
| ベイズモデリングによるマーケティング分析                                | 照井 伸彦           | 東京電機大学出版局   | 2008 | 8,700  |
| 現代マーケティング論 (専門基礎ライブラリー)                             | 武井 寿            | 実教出版        | 2006 | 5,500  |
| 買いの法則、売りの原則 ―街が教える繁盛への道―                            | 金子 吾雄           | 商業界         | 2005 | 5,300  |
| エリア・マーケティングアーキテクト                                   | 岩田 貴子           | 税務経理協会      | 2011 | 7,400  |
| シニアカスタマー                                            | 松村 清            | 商業界         | 2007 | 5,000  |
| よくわかるWeb/モバイル/ソーシャルメディアマーケティングの教科書                  | 櫻沢 信行           | マイナビ        | 2013 | 6,900  |
| 価値づくりマーケティング ―需要創造のための実践知―                          | 上原 信彦           | 丸善出版        | 2014 | 9,300  |
| サービスデザイン ―ユーザーエクスペリエンスから事業戦略をデザインする―                | ANDY POLAINE    | 丸善出版        | 2014 | 8,000  |
| サイトサーチアナリティクス ―アクセス解析とUXによるウェブサイトの分析・改善手法―          | LOUIS ROSENFELD | 丸善出版        | 2012 | 8,000  |
| 「主婦の気分」マーケティング ―「商品づくり」「売場づくり」の新しい価値観―              | 大給 近憲           | 商業界         | 2014 | 5,000  |
| 実践BtoBマーケティング ―法人営業成功の条件―                           | 余田 拓郎           | 東洋経済新報社     | 2013 | 4,900  |
| リーダーになる人の「ランチェスター戦略」入門 ―プロフェッショナルの「思考と行動」の原則―       | 福田 秀人           | 東洋経済新報社     | 2009 | 3,600  |
| 価値創造の思考法                                            | 小阪 裕司           | 東洋経済新報社     | 2012 | 3,600  |
| 新人マーケティング乙女待奮闘記 (ビジネス・ライトノベル)                       | 小関 尚紀           | 東洋経済新報社     | 2009 | 2,900  |
| 最強の営業戦略 ―企業成長をドライブするマーケティング理論と実践の仕掛け―               | 栗谷 仁            | 東洋経済新報社     | 2009 | 5,300  |
| マーケティングマインドのみがき方                                    | 岸田 雅裕           | 東洋経済新報社     | 2010 | 3,300  |
| その1人が30万人を動かす! ―影響力を味方につけるインフルエンサー・マーケティング―         | 本田 哲也           | 東洋経済新報社     | 2007 | 4,000  |

|                                                                                   |                  |                        |      |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------|------|--------|
| 顧客力を高める ―売れる仕組みをどうつくるか―                                                           | 平井 孝志            | 東洋経済新報社                | 2007 | 3,600  |
| BtoBマーケティング ―日本企業のための成長シナリオ―                                                      | 余田 拓郎            | 東洋経済新報社                | 2011 | 6,200  |
| 実践力を鍛える戦略ノート マーケティング編                                                             | 原田 勉             | 東洋経済新報社                | 2006 | 4,900  |
| 現代マーケティング・リサーチ ―市場を読み解くデータ分析― (※)                                                 | 照井 伸彦            | 有斐閣                    | 2013 | 6,000  |
| はじめてのマーケティング = Marketing for beginners (有斐閣ストゥディア) (※)                            | 久保田 進彦           | 有斐閣                    | 2013 | 4,000  |
| 日本の消費者はなぜタワなのか ―日本的・現代的特性とマーケティング対応―                                              | 三浦 俊彦            | 有斐閣                    | 2013 | 14,200 |
| 今すぐ使えるかんたんFacebookページ作成&運営入門 (Imasugu Tsukaeru Kantan Series)                     | リンクアップ           | 技術評論社                  | 2014 | 3,000  |
| eビジネス&マーケティングの教科書 ―ビジネスからみた情報活用学―                                                 | 大嶋 淳俊            | 学文社                    | 2014 | 6,600  |
| 因子分析大作戦 (とある弁当屋の統計技師 (データサイエンティスト) 2)                                             | 石田 基広            | 共立出版                   | 2014 | 4,300  |
| マーケティングの基礎 (First Stageシリーズ 商業・経済)                                                | 小林 一             | 実教出版                   | 2014 | 4,700  |
| 消費者行動のモデル (シリーズマーケティング・エンジニアリング 3) (※)                                            | 木戸 茂             | 朝倉書店                   | 2014 | 10,600 |
| ブランド評価手法 ―マーケティング視点によるアプローチ― (シリーズマーケティング・エンジニアリング 5) (※)                         | 守口 剛             | 朝倉書店                   | 2014 | 11,300 |
| 宝塚ファンから読み解く超高関と消費者へのマーケティング = Marketing for ultra-high involvement consumers      | 和田 充夫            | 有斐閣                    | 2015 | 6,600  |
| ネットマーケティング検定公式テキスト インターネットマーケティング基礎編 第2版                                          | 藤井 裕之            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 6,600  |
| 実践Googleタグマネージャ入門 増補版                                                             | 畑岡 大作            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,300  |
| 新しいアナリティクスの教科書 ―データと経営を結び付けるWeb解析の進化したステージ― (アナリティクス・エンジニアリング公式テキスト : a2i books)  | アナリティクスアソシエーション  | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 6,600  |
| Googleアナリティクス ―実践Webサイト分析入門 : Web担当者が身につけておくべき新・100の法則。―                          | いちしま 泰樹          | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 6,300  |
| LINE®公式ガイド ―繁盛店につながる集客・運営 : 小さなお店の店長・スタッフが実践すべき新・100の法則。―                         | トライバルメディアハウス     | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 5,700  |
| マーケティングと広告の心理学 (朝倉実践心理学講座 2)                                                      | 杉本 徹雄            | 朝倉書店                   | 2013 | 8,000  |
| ケースに学ぶマーケティング (有斐閣ブックス 473) (※)                                                   | 青木 幸弘            | 有斐閣                    | 2015 | 4,900  |
| マーケティングの統計モデル (統計解析スタンダード)                                                        | 佐藤 忠彦            | 朝倉書店                   | 2015 | 10,600 |
| マーケティング・データ分析の基礎 (シリーズUseful R 3)                                                 | 里村 卓也            | 共立出版                   | 2014 | 11,900 |
| DSP/RTBオーディエンスターゲティング入門 ―ビッグデータ時代を実現する「枠」から「人」への広告革命― (New thinking and new ways) | 横山 隆治            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2012 | 6,000  |
| DMP入門 ―顧客を知るためのデータマネジメントプラットフォーム― (New thinking and new ways)                     | 横山 隆治            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2013 | 5,300  |
| オンラインビデオ広告入門 ―テレビCMを超える! クロスデバイス時代のコンテンツ新戦略― (New thinking and new ways)          | 横山 隆治            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 5,300  |
| BtoG向けマーケティングオートメーションGCM入門 (New thinking and new ways)                            | 岡本 泰治            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2015 | 5,300  |
| 位置情報ビッグデータ ―ウェアラブルコンピューティング時代を切り拓く― (New thinking and new ways)                   | 神武 直彦            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 6,000  |
| 自動車ビッグデータでビジネスが変わる! ―プロブカー最新情報― (New thinking and new ways)                       | 杉浦 孝明            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 4,000  |
| オープンデータ超入門 (New thinking and new ways)                                            | 林 雅之             | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2014 | 4,000  |
| 外部マーケティング資源としての消費者行動 ―市場の異質性から競争優位を獲得する―                                          | 西本 章宏            | 有斐閣                    | 2015 | 10,900 |
| 競争を味方につけるマーケティング ―脱コモディティ化のための新発想―                                                | 講又 壮太郎           | 有斐閣                    | 2016 | 6,300  |
| 図解&事例で学ぶWebマーケティングの教科書                                                            | ショーケース・ティービー     | マイナビ                   | 2015 | 4,400  |
| 図解&事例で学ぶマーケティングの教科書                                                               | シェルパ             | マイナビ                   | 2015 | 3,600  |
| わかりやすいマーケティング・コミュニケーションと広告                                                        | 石崎 徹             | 八千代出版                  | 2016 | 5,800  |
| 未来洞察のための思考法 ―シナリオによる問題解決― (KDDI総研叢書 3) (※)                                        | 藍田 祐一            | 勁草書房                   | 2016 | 9,900  |
| Rで学ぶ統計データ分析 ―マーケティングデータを分析しながら正しい理論と分析力を身につける―                                    | 本橋 永至            | オーム社                   | 2015 | 7,200  |
| ビッグデータ時代のマーケティング ―ベジアンモデリングの活用―                                                   | 佐藤 忠彦            | 講談社                    | 2013 | 7,100  |
| 最新マーケティング・サイエンスの基礎                                                                | 頼野 照彦            | 講談社                    | 2010 | 5,300  |
| Instagramマーケティング ―写真1枚で「欲しい」を引き出す技術―                                              | オプト              | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 6,000  |
| 観光マーケティングの現場 ―ブランド創出の理論と実践―                                                       | 吉田 春生            | 大学教育出版                 | 2016 | 2,500  |
| データサイエンティスト養成読本 機械学習入門編 (Software design plusシリーズ)                                |                  | 技術評論社                  | 2015 | 3,800  |
| マス・カスタマイゼーション戦略のメカニズム ―顧客対応マーケティングの実践と成果 = Mass-customization strategy―           | 片野 浩一            | 白桃書房                   | 2007 | 6,900  |
| 日本企業のグローバル・マーケティング                                                                | グローバル・マーケティング研究会 | 白桃書房                   | 2009 | 6,900  |
| データサイエンティストハンドブック                                                                 | 丸山 宏             | 近代科学社                  | 2015 | 8,300  |
| マーケティングの批判精神 ―持続可能社会の実現を目指して―                                                     | 折笠 和文            | 白桃書房                   | 2016 | 6,100  |
| 入門・マーケティング戦略 (※)                                                                  | 池尾 森一            | 有斐閣                    | 2016 | 4,700  |
| サービスデザイン ―フレームワークと事例で学ぶサービス構築―                                                    | 山岡 俊樹            | 共立出版                   | 2016 | 10,600 |
| ワンカップ大関は、なぜ、トップを走り続けることができるのか? ―日本酒の歴史を変えたマーケティング戦略―                              | ダイヤモンド・ビジネス企画    | ダイヤモンド社                | 2014 | 2,700  |
| RIによるデータ駆動マーケティング                                                                 | 豊田 裕貴            | オーム社                   | 2017 | 7,200  |
| いちばんやさしいInstagramマーケティングの教科書 ―アカウント運用からキャンペーンまでひとりでも成果が出せる―                       | 藤田 和重            | ラトルズ                   | 2016 | 6,000  |
| マーケティング戦略 第5版(有斐閣アルマ Specialized) (※)                                             | 和田 充夫            | 有斐閣                    | 2016 | 4,400  |
| フェイス・トゥ・フェイス・ブック ―クチコミ・マーケティングの効果を最大限に高める秘訣―                                      | エド・ケラー           | 有斐閣                    | 2016 | 8,600  |

|                                                                                     |                  |                        |      |        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------|------|--------|
| マーケティング・エンジニアリング入門 (有斐閣アルマ Specialized) (※)                                         | 上田 雅夫            | 有斐閣                    | 2017 | 4,400  |
| 「あるある」で学ぶ右肩上がりのWebマーケティング (できるビジネス)                                                 | 山道 正明            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 4,400  |
| こども文化・ビジネスを学ぶ                                                                       | 白土 健             | 八千代出版                  | 2016 | 4,400  |
| いまさら聞けないWebマーケティング ―初歩から学べる集客のセオリー―                                                 | 佐藤 和明            | マイナビ                   | 2015 | 5,500  |
| グローバル・ブランド・イメージ戦略 ―異なる文化圏ごとにマーケティングの最適化を探る―                                         | 古川 裕康            | 白桃書房                   | 2016 | 7,300  |
| マーケティング論 改訂版                                                                        | 新津 重幸            | 白桃書房                   | 2017 | 6,400  |
| コトラーのマーケティング・コンセプト                                                                  | フィリップ・コトラー       | 東洋経済新報社                | 2003 | 4,900  |
| 日本流通マーケティング史 ―現代流通の史的諸相―                                                            | 小原 博             | 中央経済社                  | 2005 | 7,100  |
| デジタルマーケティングの教科書 ―5つの進化とフレームワーク―                                                     | 牧田 幸裕            | 東洋経済新報社                | 2017 | 6,600  |
| グローバル・マーケティング戦略 (有斐閣アルマ Specialized) (※)                                            | 三浦 俊彦            | 有斐閣                    | 2017 | 4,900  |
| Googleアナリティクス ―Web解析の現場で使える実践ワザ260: Googleタグマネージャ/オプティマイズ/データスタジオ対応―増補改訂2版 (できる逆引き) | 木田 和広            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 8,200  |
| イノベーションの普及における正当化とフレーミングの役割 ―「自分へのご褒美」消費の事例から―                                      | 鈴木 智子            | 白桃書房                   | 2013 | 8,500  |
| 宅急便を創った男小倉昌男さんのマーケティング力                                                             | 中田 信哉            | 白桃書房                   | 2013 | 4,200  |
| 顧客志向の新製品開発 ―マーケティングと技術のインタフェイス―                                                     | 川上 智子            | 有斐閣                    | 2005 | 11,300 |
| マンガでわかるWebマーケティング ―Webマーケティング―瞳の挑戦―改訂版                                              | 村上 佳代            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 6,000  |
| マンガでわかるWebマーケティング ―Webマーケティング―瞳の挑戦―(シーズン2)                                          | 村上 佳代            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2012 | 3,800  |
| いちばんやさしいデジタルマーケティングの教本 ―人気講師が教えるメディアと販促の新しい基礎―                                      | 田村 修             | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,900  |
| いちばんやさしいデータフィードマーケティングの教本 ―人気講師が教える広告効果を高める商品データ活用法―                                | 杉原 剛             | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 5,300  |
| いちばんやさしいLINEビジネスコネクットの教本 ―人気講師が教える双方向マーケティング実践―                                     | 豊田 義和            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 5,300  |
| いちばんやさしいWebマネジメントの教本 ―人気講師が教える最強のサイト運営チームの作り方―                                      | 桐谷 晃司            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 15,900 |
| いちばんやさしいグロースハックの教本 ―人気講師が教える急成長マーケティング戦略―                                           | 金山 裕樹            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2016 | 15,900 |
| いちばんやさしいコンバージョン最適化の教本 ―人気講師が教える実践デジタルマーケティング―                                       | 深田 浩嗣            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2017 | 5,600  |
| マーケティングをつかむ 新版 (Textbooks tsukamu) (※)                                              | 黒岩 健一郎           | 有斐閣                    | 2018 | 4,700  |
| マーケティング ―「顧客ファースト」の時代を生き抜く新しいルール― (MarkeZine BOOKS. デジタル時代の基礎知識)                    | 逸見 光次郎           | 翔泳社                    | 2017 | 4,600  |
| リサーチ ―多彩なデータから顧客の「すべて」を知る新しいルール― (MarkeZine BOOKS. デジタル時代の基礎知識)                     | 石渡 佑矢            | 翔泳社                    | 2017 | 5,500  |
| リードビジネス「打ち手」大全 ―デジタルマーケティングで顧客を増やす最強の戦略86― (できるMARKETING Bible)                     | 上島 千鶴            | インプレスR&D/インプレスビジネスメディア | 2018 | 7,500  |
| 戦略的産業財マーケティング ―B2B営業成功の7つのステップ― (※)                                                 | 笠原 英一            | 東洋経済新報社                | 2018 | 11,300 |
| UXリサーチの道具箱 ―イノベーションのための質的調査・分析―                                                     | 榎本 徹也            | オーム社                   | 2018 | 6,100  |
| どんな人でも一流に育つくみ ―マクドナルドの教え方ユニクロの鍛え方―                                                  | 有本 均             | 商業界                    | 2013 | 5,000  |
| 成長する管理職 ―優れたマネジャーはいかに経験から学んでいるのか―                                                   | 松尾 睦             | 東洋経済新報社                | 2013 | 6,200  |
| レバレッジ・マネジメント ―少ない労力で大きな成果をあげる経営戦略―                                                  | 本田 直之            | 東洋経済新報社                | 2009 | 3,600  |
| 人材マネジメント論 ―儲かる仕組みの崩壊で変わる人材マネジメント―新版                                                 | 高橋 俊介            | 東洋経済新報社                | 2006 | 5,300  |
| MBB「思い」のマネジメント ―知識創造経営の実践フレームワーク―                                                   | 一條 和生            | 東洋経済新報社                | 2010 | 4,000  |
| なぜ、この人に部下は従うのか 新装版 ―「人を動かす」心理法則48―                                                  | 渋谷 昌三            | 東洋経済新報社                | 2014 | 3,100  |
| マネジメント・コントロール ―8つのケースから考える人と企業経営の方向性― (※)                                           | 横田 絵理            | 有斐閣                    | 2014 | 4,900  |
| プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門 第3版                                                           | 広兼 修             | オーム社                   | 2014 | 5,500  |
| マンガでわかるプロジェクトマネジメント                                                                 | 広兼 修             | オーム社                   | 2011 | 6,100  |
| 日本の新しい成長産業とマネジメント革新 (経営教育研究 Vol.18 No.1)                                            | 日本マネジメント学会機関誌委員会 | 学文社                    | 2015 | 6,600  |
| 特集地域企業の経営戦略とマネジメント (経営教育研究 Vol. 18 no.2)                                            | 日本マネジメント学会機関誌委員会 | 学文社                    | 2015 | 6,600  |
| 経営教育研究 ―日本マネジメント学会誌― (Vol.19No.2(2016July))                                         | 日本マネジメント学会機関誌委員会 | 学文社                    | 2016 | 6,600  |
| 企業変革と戦略マネジメント ―特集― (経営教育研究 v. 20 no. 1)                                             | 日本マネジメント学会機関誌委員会 | 学文社                    | 2017 | 6,600  |
| 地域創生のマネジメント (経営教育研究 v.20 no.2)                                                      | 日本マネジメント学会機関誌委員会 | 学文社                    | 2017 | 6,600  |
| 公共マネジメント ―組織論で読み解く地方公務員― (有斐閣ブックス [471]) (※)                                        | 田尾 雅夫            | 有斐閣                    | 2015 | 5,100  |
| 企業・大学はグローバル人材をどう育てるか ―国際コミュニケーションマネジメントのすすめ―                                        | 本名 雅行            | アスク出版                  | 2012 | 6,600  |
| 改善活動のマネジメント ―問題発見・解決能力を組織に蓄積する―                                                     | 坂爪 裕             | 慶應義塾大学出版会              | 2015 | 8,400  |
| 図解&事例で学ぶ課長・部長マネジメントの教科書                                                             | ジェルバ             | マイナビ                   | 2015 | 3,600  |
| 信頼型マネジメントによる農協生産部会の革新                                                               | 西井 賢悟            | 大学教育出版                 | 2006 | 3,100  |
| グローバル人的資源管理論 ―「規範的統合」と「制度的統合」による人材マネジメント― (Hakuto management)                       | 古沢 昌之            | 白桃書房                   | 2008 | 8,700  |
| 人的資源マネジメント ―「意識化」による組織能力の向上―                                                        | 古川 久敬            | 白桃書房                   | 2010 | 8,100  |
| プロジェクトの概念 ―プロジェクトマネジメントの知恵に学ぶ―                                                      | 日本プロジェクトマネジメント協会 | 近代科学社                  | 2013 | 8,000  |
| 組織のなかで人を育てる ―企業内人材育成とキャリア形成の方法―                                                     | 佐藤 厚             | 有斐閣                    | 2016 | 8,000  |
| 個性を活かす人材マネジメント ―近未来型人事革新のシナリオ―                                                      | 谷内 篤博            | 勁草書房                   | 2016 | 8,800  |

|                                                           |                   |           |      |        |
|-----------------------------------------------------------|-------------------|-----------|------|--------|
| 価値創出をにうな人材の育成 ―こつくりとヒトづくり― (機幹「知の統合」シリーズ)                 | 本多 敏              | 東京電機大学出版局 | 2016 | 4,700  |
| これからのマネジャーの教科書 ―自己変革し続けるための3つのカー                          | グロービス経営大学院        | 東洋経済新報社   | 2016 | 4,000  |
| 変革マネジメントの理論と実践 ―プロジェクトリーダーシップの役割― (和歌山大学経済学部研究叢書 24)      | 野間口 隆郎            | 白桃書房      | 2013 | 8,000  |
| コトラーの「予測不能時代」のマネジメント (※)                                  | フィリップ・コトラー        | 東洋経済新報社   | 2018 | 8,000  |
| プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門 第4版                                 | 広兼 修              | オーム社      | 2018 | 5,500  |
| 日本企業の組織と戦略 ―新モデルマネジメントへの期待― (一橋ビジネスレビュー 62 巻1号(2014SUM.)) | 一橋大学イノベーション研究センター | 東洋経済新報社   | 2014 | 4,400  |
| できる人材がすぐに辞めない職場のつくり方 ―「ここでずっと働きたい」と言ってもらえる「定着」マネジメント―     | 岡本 文宏             | 商業界       | 2018 | 5,900  |
| なぜこの会社はモチベーションが高いのか ―働く皆が幸せな会社―                           | 坂本 光司             | 商業界       | 2009 | 5,000  |
| 目標管理はポートフォリオで成功する ―看護管理・学校運営のためのモチベーションマネジメント―            | 鈴木 敏恵             | メヂカルフレンド社 | 2006 | 6,600  |
| お金より名譽のモチベーション論 ―「承認欲求」を刺激して人を動かす―                        | 太田 肇              | 東洋経済新報社   | 2007 | 3,600  |
| 表彰制度 ―会社を変える最強のモチベーション戦略―                                 | 太田 肇              | 東洋経済新報社   | 2013 | 3,600  |
| 「売れない時代」の新・集客戦略 ―コスト削減に向けた顧客モチベーション・マーケティング―              | 内藤 耕              | 東洋経済新報社   | 2011 | 5,300  |
| 行動を起こし、持続する力 ―モチベーションの心理学―                                | 外山 美樹             | 新曜社       | 2011 | 3,300  |
| 実践的リーダーシップ・トレーニング ―元気で安全な組織づくりの基礎とノウハウ―                   | 吉田 道雄             | メヂカルフレンド社 | 2011 | 6,200  |
| プロの課題設定力 ―問題解決力より重要なビジネスリーダーのスキル―                         | 清水 久三子            | 東洋経済新報社   | 2009 | 3,300  |
| 世界で通用するリーダーシップ                                            | 三谷 宏幸             | 東洋経済新報社   | 2012 | 3,600  |
| 30代でチームのリーダーになったら最初に読む本 ―スカラー変革入門: リーダーシップ・ルネッサンス―        | 岡村 衛一郎            | 東洋経済新報社   | 2012 | 3,300  |
| グローバルプロジェクトチームのまとめ方 ―リーダーシップの新たな挑戦―                       | ルス・マルティネリ         | 慶應義塾大学出版会 | 2015 | 11,200 |
| リーダーシップの意味構成 ―解釈主義的アプローチによる実践理論の探求―                       | 片岡 登              | 白桃書房      | 2010 | 8,500  |
| リーダーシップ強化ノート ―変革ビジョンの設計と実行のための演習帳―                        | 大中 忠夫             | 東洋経済新報社   | 2007 | 6,200  |
| グロービス流リーダー基礎力10 (27歳からのMBA)                               | グロービス経営大学院        | 東洋経済新報社   | 2015 | 3,300  |
| プロフェッショナルリーダーシップ ―結果を出す意志とスキル― (BBT大学シリーズ)                | 森 時彦              | 東洋経済新報社   | 2016 | 3,300  |
| ファシリテーションの教科書 ―組織を活性化させるコミュニケーションとリーダーシップ―                | グロービス             | 東洋経済新報社   | 2014 | 5,300  |
| リーダーシップの哲学 ―12人の経営者に学ぶリーダーの育ち方―                           | 一條 和生             | 東洋経済新報社   | 2015 | 4,000  |
| 現代トップリーダーとイノベーション                                         | 池内 守厚             | 白桃書房      | 2012 | 5,800  |
| 正統派リーダーの教科書 (※)                                           | 江口 克彦             | 東洋経済新報社   | 2018 | 4,300  |

## 図書リスト(一部抜粋)

<学術雑誌>

【電子ジャーナル】

| ISSN     | タイトル                                                  | 商品種別                              | 発行冊数 |
|----------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------|------|
| 08908044 | IEEE Network: The Magazine of Global Internetworking  | Electronic Journal on Single site | 6    |
| 19493053 | IEEE Transactions: Smart Grid                         | Electronic Journal on Single site | 6    |
| 10577149 | IEEE Transactions: Image Processing                   | Electronic Journal on Single site | 12   |
| 15566013 | IEEE Transactions: Information Forensics and Security | Electronic Journal on Single site | 12   |
| 17936462 | International Journal of Neural Systems               | Electronic Journal on Single site | 10   |
| 15564967 | Journal of Field Robotics                             | Electronic Journal on Single site | 8    |
| 15249050 | IEEE Transactions: Intelligent Transportation Systems | Electronic Journal on Single site | 12   |
| 19493045 | IEEE Transactions: Affective Computing                | Electronic Journal on Single site | 4    |

【外国雑誌】

|          |                                    |       |    |
|----------|------------------------------------|-------|----|
| 15740137 | Computer Science Review            | Paper | 4  |
| 0167739X | Future Generation Computer Systems | Paper | 12 |

【和雑誌】

| 商品コード      | 商品名                                         | 出版社名                | 刊期  | 年間発刊回数 |
|------------|---------------------------------------------|---------------------|-----|--------|
| 0600102055 | 人事マネジメント 月刊 (冊子)                            | (株)ビジネスパブリッシング      | 月刊  | 12     |
| 0600101430 | 企業と人材 月刊 (冊子)                               | (株)産労総合研究所          | 月刊  | 12     |
| 0600100586 | 通訳翻訳ジャーナル 季刊 (冊子)                           | イカロス出版 株式会社         | 季刊  | 4      |
| 0600303673 | Business Law Journal(ビジネス・ロー・ジャーナル) 月刊 (冊子) | レクスネクス・ジャパン         | 月刊  | 12     |
| 0600101316 | 情報の科学と技術 月刊 (冊子)                            | 一般社団法人 情報科学技術協会     | 月刊  | 12     |
| 0600100550 | ダイヤモンド ハーバードビジネスレビュー 月刊 (冊子)                | 株式会社 ダイヤモンド社        | 月刊  | 12     |
| 0600101118 | 週刊 ダイヤモンド 週刊 (冊子)                           | 株式会社 ダイヤモンド社        | 週刊  | 50     |
| 0600101393 | 日経ビジネス 週刊 (冊子)                              | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 週刊  | 50     |
| 0600101592 | 日経パソコン 月2回 (冊子)                             | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 月2回 | 24     |
| 0600100702 | 日経ソフトウェア 隔月 (冊子)                            | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 隔月  | 6      |
| 0600101394 | 日経コンピュータ 隔週 (冊子)                            | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 隔週  | 26     |
| 1019755124 | 日経クラウドファースト 月刊 (冊子)                         | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 月刊  | 12     |
| 0600302969 | 日経SYSTEMS 月刊 (冊子)                           | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 月刊  | 12     |
| 0600100698 | 日経PC21 月刊 (冊子)                              | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 月刊  | 12     |
| 0600300161 | 日経Network 月刊 (冊子)                           | 株式会社 日経BP読者サービスセンター | 月刊  | 12     |
| 0600100998 | コンピュータソフトウェア 季刊 (冊子)                        | 岩波書店                | 季刊  | 4      |
| 0600301859 | 経営情報学会誌 季刊 (冊子)                             | 国際文献社               | 季刊  | 4      |
| 0600303920 | 経営システム 季刊 (冊子)                              | 国際文献社               | 季刊  | 4      |
| 0600303921 | 日本経営工学会論文誌 季刊 (冊子)                          | 国際文献社               | 季刊  | 4      |
| 0600103731 | 日本経営学会誌 年2回 (冊子)                            | 千倉書房                | 年2回 | 2      |
| 0600100050 | CNN ENGLISH EXPRESS(CD付) 月刊 (冊子+電子(無料))     | 朝日出版社               | 月刊  | 12     |
| 0600103192 | 一橋ビジネスレビュー 季刊 (冊子)                          | 東洋経済新報社予約サービスセンター   | 季刊  | 4      |
| 0600103631 | 週刊東洋経済(本誌) 週刊 (冊子)                          | 東洋経済新報社予約サービスセンター   | 週刊  | 50     |
| 0600100070 | リーダーズダイジェスト(英語版) 月刊 (冊子)                    | 日販アイ・ピー・エス(DIP)     | 月刊  | 12     |
| 0600301137 | News Week 英語版 週刊 (冊子)                       | 日販アイ・ピー・エス(DIP)     | 週刊  | 50     |
| 0600301761 | 通訳翻訳研究 年刊 (冊子)                              | 日本通訳翻訳学会事務局         | 年刊  | 1      |
| 0600101110 | エコノミスト 週刊 (冊子)                              | 毎日新聞出版株式会社          | 週刊  | 49     |
| 0600100113 | 会計 月刊 (冊子)                                  | 有限会社 森山書店           | 月刊  | 12     |

【データベース】

| No | 買切<br>/年間購読 | 商品名                        | 出版社名                              | 商品概要                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|-------------|----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 年間購読        | KOD                        | 研究社                               | 研究社の英語辞書検索サービス。手軽に使用したい方から各方面のプロフェッショナルまで、英語の辞書検索に関するあらゆるニーズに応えるデータベースです。一般的な辞書の他、『研究社ビジネス英和辞典』、『総合ビジネス英語文例事典』、『英和コンピューター用語辞典』など、専門的な辞書もご利用いただけます。                                                                                                    |
| 3  | 年間購読        | JRS 経営情報サービス               | 経営ソフトリサーチ                         | JRS経営情報サービスは、経営幹部から実務担当者まで、企業を中心に活用されているデータベースです。経営相談、業種・業界動向、社員教育、ビジネスマナー、書式、朝礼のスピーチ例まで、実際のビジネスの現場ですぐに活用できる実践的なコンテンツが多数搭載されています。                                                                                                                     |
| 5  | 年間購読        | AFP World Academic Archive | AFP フランス通信社<br>(取扱い: クリエイティブ・リンク) | AFP World Academic Archiveは、世界各国で13,000社以上の報道機関に配信されているAFP通信の報道写真、映像、ニューステキストのデータベースです。<br>報道写真と映像、速報性に特化したニュースが、リアルタイムで刻々とアップデートされています。<br>また、配信されたニュース素材がアーカイブとして保存され、ジャンルや時系列から過去の情報を検索できる資料性の高いデータベースになっていることもAFP World Academic Archiveの大きな特徴です。 |
| 4  | 年間購読        | ヨミダス歴史館                    | 読売新聞社                             | 明治7(1874)年の読売新聞創刊号から最新号までの1,300万件以上の記事をウェブ上で検索・閲覧できます。英字新聞「The Japan News」も収録しており、邦文の関連記事と比べて読むことが出来て、英語学習にも役立ちます。                                                                                                                                    |

興味のある学問分野別受験・入学意向者集計結果

|                               |    | 全体     | 情報学   | 経済・経営・商学 | 工学（情報を除く） | 理学    | 総合科学 | 文学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む） | 語学（言語学など含む） | 法学（政治学など含む） | 社会学  | 国際関係学 | 教員養成・教育学 | 学（食物・栄養学、被服学、児童学など含む） | （美術・デザイン、音楽など含む）芸術学 | 看護・保健学 | 医・歯・薬学 | 農・水産学 | その他  | まだ決めていない | 無回答  |
|-------------------------------|----|--------|-------|----------|-----------|-------|------|----------------------------|-------------|-------------|------|-------|----------|-----------------------|---------------------|--------|--------|-------|------|----------|------|
| 「受験したい」と回答した高校生               | 人数 | 1,468  | 342   | 323      | 251       | 208   | 93   | 314                        | 226         | 146         | 123  | 163   | 207      | 195                   | 372                 | 180    | 122    | 96    | 137  | 162      | 19   |
|                               | 割合 | 100.0% | 23.3% | 22.0%    | 17.1%     | 14.2% | 6.3% | 21.4%                      | 15.4%       | 9.9%        | 8.4% | 11.1% | 14.1%    | 13.3%                 | 25.3%               | 12.3%  | 8.3%   | 6.5%  | 9.3% | 11.0%    | 1.3% |
| 「入学したい」と回答した高校生<br>（受験意向者ベース） | 人数 | 1,320  | 311   | 287      | 229       | 185   | 86   | 277                        | 201         | 130         | 109  | 143   | 187      | 177                   | 336                 | 162    | 106    | 82    | 122  | 151      | 17   |
|                               | 割合 | 100.0% | 23.6% | 21.7%    | 17.3%     | 14.0% | 6.5% | 21.0%                      | 15.2%       | 9.8%        | 8.3% | 10.8% | 14.2%    | 13.4%                 | 25.5%               | 12.3%  | 8.0%   | 6.2%  | 9.2% | 11.4%    | 1.3% |

「電子学園『i専門職大学』（仮称）設置に関するアンケート調査」より